参考資料
（別冊）

目 次

1.ワークショップ結果..... 1-1
2.おでかけワークショップ結果 2-1
3.中学生ワークショップ結果 3-1
4.高校生ワークショップ結果 4-1
5.市民 1,500 人アンケート結果.....5-1
6.市民 4,000 人アンケート結果.....6-1
7.４候補地の可能性調査結果 7-1
8.タウンミーティング結果.....8-1
9.職員アンケート結果 9-1
10.市民 8,000 人アンケート結果 10-1
11.かわらばん vol.1～6..... 11-1
12.新庁舎整備情報.....12-1

1.ワークショップ結果

1. ワークショップ結果

新庁舎整備基本構想の再策定にあたり、新庁舎整備ロードマップに記載されている STEP ごとの視点に重きを置きながら、市民の皆様に情報を伝え、意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映することを目的として、以下の通り、市民ワークショップを開催しました。ワークショップは市民の皆様に新庁舎整備を楽しく自分ごととして捉えていただき、他者との対話を通じて理解を深められるよう進めました。

また、全3回の市民ワークショップでは参加の少なかった外国人市民や障がい児者、子育て世代の市民の皆様の意見を伺うため、それぞれを対象としたワークショップを個別に行いました。

No	ワークショップ名	テーマ	日時		場所	参加人数
1	第1回市民ワークショップ	市民が考える「10 年後の市の役割」	1日目	令和 5 年 7 月 23 日(日) 9:30～11:30	生涯学習センター 201	30 人
			2日目	令和 5 年 7 月 26 日(水) 19:00～21:00	生涯学習センター 201	31 人
			3日目	令和 5 年 7 月 29 日(土) 14:00～16:00	生涯学習センター 404	27 人
2	第2回市民ワークショップ	「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」	1日目	令和 5 年 9 月 24 日(日) 14:00～17:00	生涯学習センター 201	22 人
			2日目	令和 5 年 9 月 25 日(月) 18:00～21:00	生涯学習センター 201	23人
			3日目	令和 5 年 9 月 30 日(土) 14:00～17:00	生涯学習センター 201	22人
3	第3回市民ワークショップ	「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」	1日目	令和 5 年 12 月 2 日(土) 15:30～18:30	生涯学習センター 201	15人
			2日目	令和 5 年 12 月 3 日(日) 14:00～17:00	生涯学習センター 201	18人
			3日目	令和 5 年 12 月 7 日(木) 18:00～21:00	生涯学習センター 201	24人

No	ワークショップ名	テーマ	日時		場所	参加人数
4	子育て世代対象 新庁舎整備 ワークショップ	「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」	－	令和６年 ７月10日(水) 10:00～11:30	みのかも健康プラザ研修室	10人
5	外国人市民対象新庁舎整備 ワークショップ	「こんな市役所だったらいいな」	－	令和６年 ７月27日(土) 15:00～16:30	生涯学習センター202	13人
6	障がい児者に やさしい新庁舎整備 ワークショップ	「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」	－	令和６年 ８月27日(火) 13:30～15:00	生涯学習センター201	17人

（1）第１回市民ワークショップ

第1回　市民ワークショップ　結果概要
テーマ:市民が考える「10 年後の市の役割」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第１回のワークショップは「市の役割の見える化」をテーマに、全３日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1 日目	2 日目	3 日目
日時	令和 5 年 7 月 23 日（日） 9:30～11:30	令和 5 年 7 月 26 日（水） 19:00～21:00	令和 5 年 7 月 29 日（土） 14:00～16:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター404
参加人数	30 人	31 人	27 人

(2)開催内容

１．あいさつ
２．情報提供
３．ワークショップガイダンス
４．ウォーミングアップ
　お題：「１０年後の私の暮らしと美濃加茂市」
５．グループワーク
　お題：市民が考える「１０年後の市の役割」
６．全体発表
７．おわりに

(3)参加者募集の概要

●対象：市内在住・市内在勤の中学生以上
●定員：36 名
●申込方法：応募用紙にて参加申込（電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール）
●申込期限：７月 18 日（火）〆切
●募集方法：市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、広報折込チラシ(1 万 4 千人)、各種団体への文書の送付。

(4)主催者・事務局・ファシリテーター

●事務局：美濃加茂市　新庁舎整備推進課　５名（高田、春見、日比野、楯、朝日）
●市長・副市長、市の職員（各部長８名、新庁舎整備事業プロジェクトワークショップ部会　大坪、中尾、朝日、宮崎、各務、富岡、柴田、田口、井戸、鈴木、梅村）
●ワークショップ開催補助：（株）テイコク（豊嶋、成瀬明、成瀬大、山崎、桐山、牧野、青木）

●ファシリテーター（全体の進行役）：パブリック・ハーツ（水谷／豊田／出口／稲葉）
●グループファシリテーター（グループの進行役）：６名（WS 部会：４名、事務局：2 名）
一日目（楯雄至、日比野公哉、大坪加奈、中尾絢子、朝日建太朗、宮崎貴大）
二日目（日比野公哉、各務実里、富岡慧、柴田賢二、中尾絢子、梅村侑）
三日目（日比野公哉、田口昌広、井戸駿介、鈴木奈津子、梅村侑）

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、１０年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

全体の傾向としては、安心安全なまちづくりをする存在であることや、多様な人が暮らす美濃加茂市であることから、こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であることが求められていました。

新しい庁舎に対してのご意見としては、ＤＸ化による効率化や機能の集約、誰もが使いやすい立地であること、安心安全なまちのための施設であることが求められていました。

(2)各開催日の結果の概要

１日目	【市民に寄り添い、まもる行政の存在】 ・市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在であること。困った時にスムーズに助けてくれる存在であってほしい。 ・介護や健康を安心して提供すること。相談できること。 ・10 年後の市の役割①市民の生活を支える行政（支える扶助費が増えないようにする）であること。 ・市民の生活を守る・護る存在であること。 ・市民の為の住よい町づくりをしてほしい。特に「多文化共生」がキーワードである。 ・市と市民との協働（市民のつながりを強化する必要がある） ・市民の声をよく聞いてほしい（要望をよく聞いてほしい。金がない予算がないで断られている） 【安心安全なまちのための公共施設（新庁舎)】 ・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。 ・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要である。 【市民の憩いの場となる新庁舎】 ・市民が憩いの場として使える場所がほしい。 ・こどもの健康を守る存在であってほしい。 【コンパクトな新庁舎】 ・新庁舎は機能的コンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎となっている）とする。 ・新庁舎は、ムダな機能はつけない。 【わかりやすい行政サービス】 ・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、１つの窓口でわかるようにしてほしい。 ・市の行政サービスについて、周知が必要である。 【その他】 ・こどものある世帯が増えるような市にする。 ・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）をしてほしい。 ・デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。 ・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい。 ・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。 ・10 年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政であること。
２日目	【地域のまとまり】 ・自治会が減ることへの対応が必要とされている。 ・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化がはかられることを求めている。 ・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応が必要である。 【魅力ある市をつくる（支えあい、希望の持てるまち)】 ・こどもが明るく・安心して住めるよう美濃加茂市が求められている。 ・挑戦したい人を全力で応援する、まちのあり方が求められている。 ・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿にこどもが憧れ、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市としていきたいと考えている。 ・市民が困っていることをすくい上げて解決するような市を求めている。 （困っている声が届かない、困ったときにどう相談したらよいかわからないと感じる。） ・共存をテーマに子育てや自然の維持、生きがいをもって暮らせるまちづくりが求められている。 ・こどもや子育て世代から高齢者までが共存できるまちを望んでいる。

	・障がい者の方による介護（老聾介護）の問題の解決が求められている、また、その不安に対する理解や共有が必要である。 ・ゆりかごから墓場まで保証されていて、ママ保育の環境も整っていて、美濃加茂市で生活していきたいと他市がうらやむ共存できる街であって欲しい。 【産業振興】 ・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。 ・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。 【安心安全なまち】 ・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。 ・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。 【DX 化による効率化】 ・DX を活用し、役場での手続きを減らすことで小さい市役所とすることが求められている。 ・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにすることが求められている。 【その他】 ・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。 ・市民によりそう市の職員になってほしい。
3 日目	【安心安全なまち】 ・防災拠点となる災害に強い市にしたい。 ・防災に強い体制づくりが必要である。 【魅力ある市をつくる】 ・若い人達が市を作っていくことが必要である。 ・障がい者にやさしいまちにしたい。 ・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。 ・人口が増加するような魅力のある市としたい。 ・高齢者、障がい者、こども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後にしたい。 【コンパクトな新庁舎（市役所機能の集約）】 ・市役所は 1 ヶ所にまとめて、機能を集約して欲しい。 ・市役所機能を集約して、高齢者でも使いやすいようにして欲しい。 ・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。 【DX 化による効率化】 ・デジタル(DX)化を推進してオンライン手続きやハンコ廃止等を実現して欲しい。 【その他】 ・市議員の定数を減らす。 ・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

(3)各開催日のグループごとの結果の概要

■7/23　A 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
居場所づくり	美濃太田駅を発展させたい。公園、図書館、防災センター、マルシェ	美濃太田駅南の発展	
	市民が憩いの場として使える場所がほしい	憩いの場	2
	市民が楽しく気楽につどえる場所		
	市役所内に人が集まれたり、勉強できる場所がほしい	勉強できる場	
	市役所と付属で体育館や図書館など、人がたくさん集まるといい。		1
	公園（遊ぶ場所）の管理	公園整備	
		庁舎と他公共施設	1
市の役割	災害についての知識を一人一人がもっと身につけられる	災害への知識	
	災害に強い老後安心できる暮らしを作る	災害時の対応	1
	市民サービスの将来像とし住みやすさを追求し安全で安心してくらせる市としてもらう	安心、安全	1
		物価高	
	子育て支援の充実	子育て支援	1
	住みよい街づくり、防災、雇用、医療、少子高齢、環境、子育て、教育福祉		
市役所のサービス	むずかしい手続きなしで、行政の活動ができる様になる。	ワンストップで解決！！	
	悩み事が一つの建物で解決してほしい。	簡単に手続き	1
	市役所だけでなく他の施設も一緒に作って一度の来庁で済ませる様に		
	市役所の本庁だけでは出来ない事を今の連絡所を整備して対応する		1
		市役所いかなくても OK	
	お役所仕事と言われない様に市民のための行政を進めてほしい。	ひらかれた庁舎	
	市民が気楽に来庁出来る体制作りを進める		
	職員の方が楽しく仕事が出来る空間		
	市役所では何ができるかもっとアピールするべき		
その他	どうして新庁舎を作るのか。【目的】老朽化/防災以外		
	現在来庁するのに大変な所もあるため、交通方法を考えて欲しい。		
	職員の教育（あいさつを含めて）気軽に相談のできる市民相談窓口を設ける		
	明るい庁舎		
	市の行政サービスもっと周知！！		2
	市の財源について収入源を考える企業誘致		

3)意見の概要

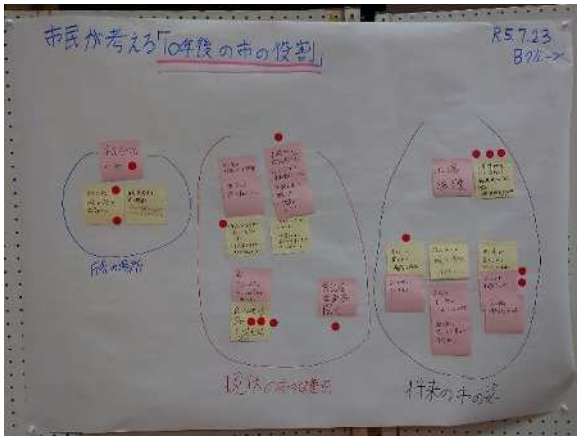
以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市民が憩いの場として使える場所がほしい。

・市の行政サービスについて、周知が必要である。

■7/23 B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
庁舎の場所	市民が考える市の役割、市民を守る為の市役所でなければならない	市民を守るため	1
	市民を守る、庁舎を安全、安心な場所に		2
現状の市⇒改善点	市民が相談するとすぐ返事が来ない、高齢者の事務が色々と分かれている。	市と県の役割が不明確	1
		担当する課がわかりにくい	
	連絡所の活用が知りたい、一人暮らしの方の色々な申請が難しくなっている	連絡所の使用料高、 市の指導で健康増進しているのに高齢になると運転× →申請がしにくい	
	枝分かれした窓口⇒一本化した窓口	案内たらいまわし →１つの窓口でわかるように	3
		自治会要望を聞く	1
将来の市の姿	工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい	工場誘致	3
	様々な人と関われる場所の提供	自分の考えを言い合える	1
	話し合いの場を増やしてほしい	高校生若い層がこれから 先の話を、話し合いは若い人を集めて年代毎に	
	地域が盛り上がるイベントの企画	イベントを季節問わず	2
		楽しめる場所としての市	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、１つの窓口でわかるようにしてほしい。

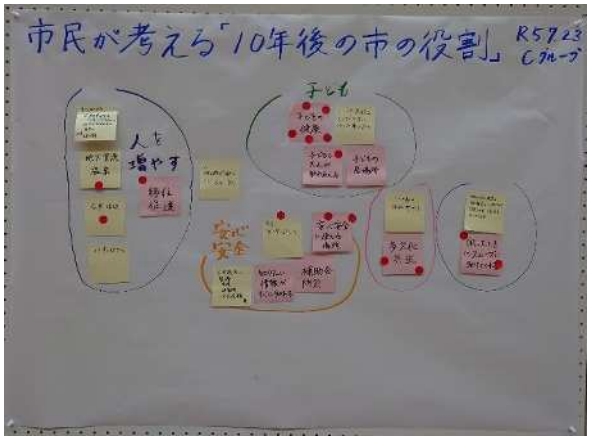
・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。

・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい。

・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）してほしい。

■7/23 C班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
人を増やす	資源、地下資源 地域交通の要素 美濃加茂地方は資源に恵まれている		
	地下資源、温泉		1
	企業誘致		1
	仕事の町づくり		
		移住促進	1
子ども	小、中、高校生も行きやすい、行く用事がある。	こどもの居場所	
		こどもの健康	5
		こどもと大人が触れ合える	1
安心安全	役割、市民の安定な生活	知りたい情報がすぐ知れる	1
	公共施設の整備、学校体育館文化会館等	安心安全に使える場所	2
		補助金防災	
その他	市民の為の住よい町づくり	多文化共生	2
	市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる。	困った時にスムーズに助けてくれる	2
	美濃加茂市の全国アピール、子育て、福祉、教育		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・こどもの健康を守る存在であってほしい。

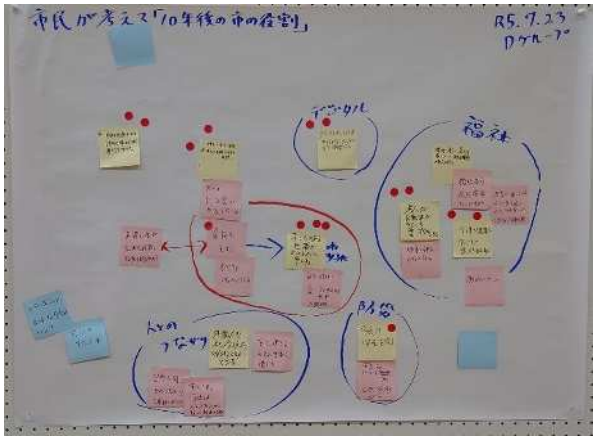
・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要である。

・市民の為の住よい町づくりをしてほしい。特に「多文化共生」がキーワードである。

・市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在であること。困った時にスムーズに助けてくれる存在であってほしい。

■7/23 D 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
デジタル	デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。		2
福祉	福祉、厚生に関わる事について、親近感のある対応。	福祉委員、民生委員さんの動き	
		本当に困っている人に手を差しのべられない、地域では限界	
	介護や健康を安心して提供する	相談したい	2
	高齢者が自動車がなくても買い物ができる	移動手段がなくなる	2
少子化	10 年後の市の役割①市民の生活を支える行政	支える扶助費が増えないように	2
		雇用を生む	1
		美濃加茂市企業を誘致する気はあるのか？	
		すべてにつながってくる	
	こどものある世帯が増えるような市にする	自分の班には 2/14 子供のいる世帯（本郷町）	3
防災	市民の安全を守る	安全→ゲリラ豪雨、自然災害から	1
人とのつながり	外国人の方と今以上につながることができる	家を建てる外国人世帯も増えた	
		日本人同士とのつながりも希薄化している	
		市内にある団地は人がスカスカになってしまうのでは？	
その他	10 年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政		2
	人口減るのに立派な庁舎はいる？		
	窓口の市民対応		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・こどものある世帯が増えるような市にする。

・デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。

・介護や健康を安心して提供すること。相談できること。

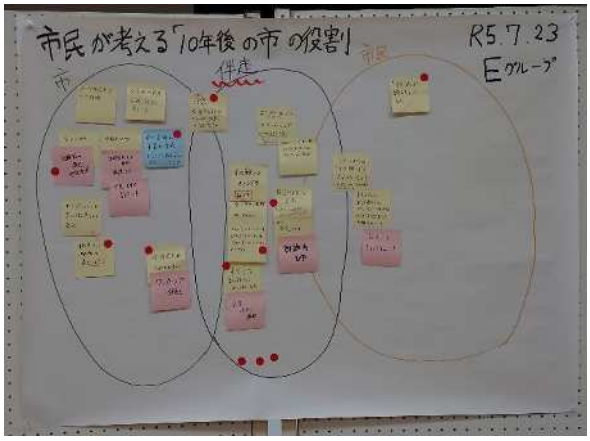
・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。

・10 年後の市の役割①市民の生活を支える行政（支える扶助費が増えないようにする）であること。

・10 年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政であること。

■7/23 E 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市	第一は市民生活への援助		
	市全体の発展を願う行政をすること		
	市民の福祉	交通面の強化、利便性 UP	1
	行政サービス	正確なサービス提供、満足度 UP	
		市民活動サポート	
	モチベーションの高い職員さんの育成		
	職員さん（現場の声をきく！）		1
	分庁舎方式は止めてほしい	ワンストップ手続き	1
	小さな庁舎、各連絡所のサテライト機能の拡充		1
伴走	可茂地域のリーダーシップ（市町村合併にむけて）		
	みのかも定住自立圏地域共同での話し合いの場を！		
	魅力的なまち（人口 UP）	財政力 UP	1
	市を発展させる		
	市と市民との協働	市民のつながり強化	3
	市と市民の連携　例、ごみ拾い		
	市民が「市が何かしてくれる」と期待するより、自ら何をすべきか考えてくれるように働きかける		1
	こどもを真ん中においたまち		1
市民	「行政」に頼らないまち		1
	こどもの為に「一肌脱げる」大人が増える（こども会、地域の活動の活発化）		
	おじいちゃんおばあちゃんからこどもまでがつながる機会を！（市民運動会など）	世代をわけない	
その他	市の各町が平等に発展していく仕組みをつくってほしい		1

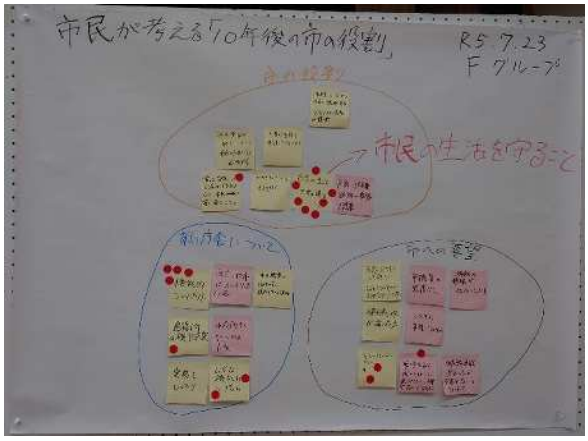
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市と市民との協働（市民のつながりを強化する必要がある）

■7/23 F班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市の役割	制度をわかりやすく説明する。公的な情報の提供	戸籍、住民票、道路の整備、健康	
	住民票など取りに行く市民のためになる市役所		
	大事な書類を申請してとりにいく		
	安心安全な生活ができるように市民に寄り添うこと。		1
	わからないことを聞きに行く		
	市民の生活を守る・護ること		7
新庁舎について	機能的コンパクト	県庁、他市はスッキリした庁舎	4
	市の職員が働きやすい機能的な建物		
	連絡所の機能充実	市役所まで行くのは大変	1
	実務をしっかり		
	ムダな機能はつけない		2
市への要望	高齢者にやさしくしてほしい。何をしているのかわからない人が多い	市職員の態度が、、、	
	保健センターが遠くなった	移転の情報が伝わってなかった	
		システム英語わからない	
	市民の声をよく聞いてほしい	要望をよく聞いてほしい、金がない予算がないで断られる	3
		加茂野連絡所に意見したが、予算がないと言われた。	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市民の生活を守る・護る存在であること。

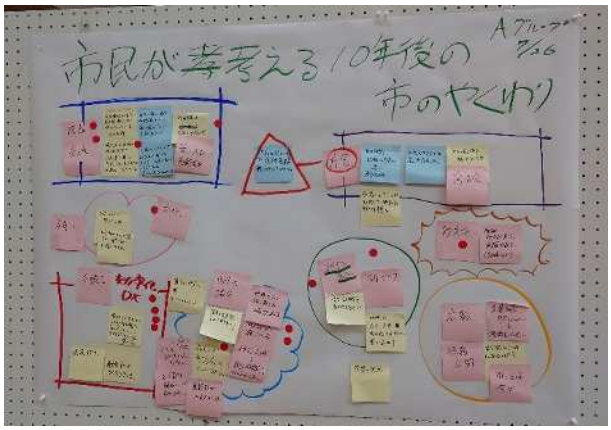
・新庁舎は機能的コンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎となっている）とする。

・市民の声をよく聞いてほしい（要望をよく聞いてほしい。金がない予算がないで断られている）

・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

■7/26 A 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
福祉／交流	住民福祉が増進し民主的魅力のある街になっている事を期待		
	現在ある各地の連絡所が住民たちが集う充実したサテライト機能をこなしている		1
	住みやすい　老若男女問わず	若い人も高齢者も	
		福祉	1
		交流	1
子育て	こども、高齢者に安心な市		
	10 年後はいないと思うが高齢者によりそってほしい		
		文化	1
効率化 DX	役場まで出かけなくても済むようになって、小さい市役所でいいと思う	手続き	4
	環境作り		
	連絡所がなくなりました		
まちの活気	暮らしやすい町、できることから		
	活気のある街（中心街など）	町の活気	
		地域の人と話し合える協力しあえる	
		自治会が減っている	2
		住む人が減る→街の機能が↓（下がる）なんとかしたい	2
	外国人とか自治会に入ってくれない	連絡所が使われていない	1
		文化歴史　まちを知らない人が多い	
		どう案内すればいいかわからない	
庁舎	役場へはコミュニティバスで無料で行ける様に		
	市民の困りごとを解決する役割	自治会	
多文化		多文化	1
		多文化共生問題もある（自治会とか）	
文化	一言で美濃加茂を表せるものこと	アイデンティティ	1
	地域の文化、歴史町の成り立ちを学び直す	町づくり	1
防災	防災の拠点		
PR／広報	まず何のためにあるのか？	美濃加茂 PR しにくい→特徴をつくりたい	
		”市”とはなにか	
		広報	
		情報公開	
その他	市内の高齢者達が市職員として走り廻ってほしい		
	大垣のソフトピアが生まれ変わったデジタル社会の起点となるため、美濃加茂に立地する		
	駅前に住んでいますが道路事情が悪いので「こないで」	庁舎	
	国の政策と自治体との役割が連動するのか	庁舎	
	10 年もかかるとは思わなかった		

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

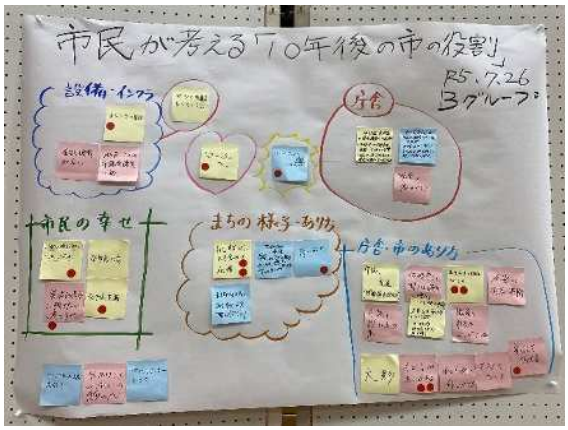
・DX を活用し、役場での手続きを減らすことで小さい市役所とすることが求められている。

・自治会が減ることへの対応が必要とされている。

・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応が必要である。

■7/26 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
設備インフラ	インフラの管理		1
	地区の格差を少なくする	金融機関がない	
		地区ごとの市議会議員の数	
市民の幸せ	こどもが明るく暮らせる安心して住める	美濃加茂市に残りたいと思うこども	2
	全市民元気		
	全市民笑顔		1
自然／文化	自然や文化の大切さ		1
まちの様子 あり方	挑戦したい人を全力で応援		2
庁舎	補助金交付金に係る国庫への返納	職員は働きやすさ	
	市役所の不祥事の要因と今後の対策		
	市長の海外出張を議会決議により取り込む		
庁舎 市のあり方	市民と友達に（関係値を深める）	市役所と関わる機会の増加	
	10 年後の市役所名実とも市役所のなって欲しい　市（市民の）役（役に立つ）所（所）	市民に役立つ所 職員と市民のコミュニケーション	
	老聾介護の問題をなくしてほしい	不安の共有、理解	2
	火影（ほかげ：アニメ「NARUTO-ナルト-」において、里を守る里長）	こどもがあこがれる	2
		市のために命をかける	
		不安をなくす	
		安心してくらせる	1
その他	コンサルの人は有給？	分かりにくい市民との感覚のズレ	
	ファシリテーターとは？		
	ボランティアの推進（だれでもできる）		1
	環境　できるを増やす、可能性を上げていける		
	夢がある町		1
	利便性が高く安心、安全、安定可能な街づくり		
	「分庁舎方式」は市民が願うものではない大反対、市庁舎は一ヶ所で全てが対処できることを市民は望んでいる		

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・こどもが明るく・安心して住めるよう美濃加茂市が求められている。

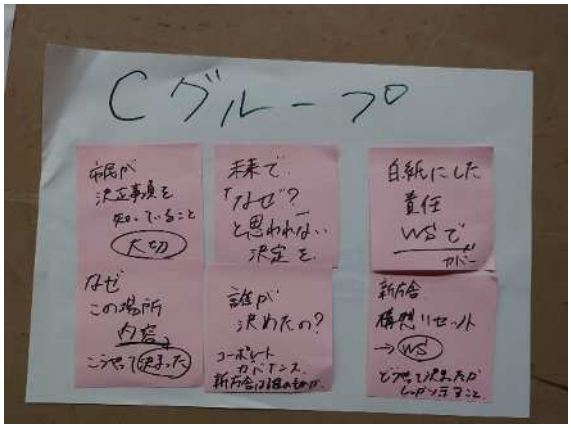
・挑戦したい人を全力で応援する、まちのあり方が求められている。

・障がい者の方による介護（老聾介護）の問題の解決が求められている、また、その不安に対する理解や共有が必要である。

・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿にこどもが憧れ、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市としていきたいと考えている。

■7/26 C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
防災	防災対策を進めて市民が安心してくらせる		1
	防災の強化		
	防災拠点　司令部		
健康	いつもでも健康に暮らせるよう健康づくりの取り組み、メニューがたくさんある		
	クアオルト無償化		
高齢化など	高齢化がいっそう進んでいる。キメ細かな公共交通が整備されている		1
	財の再配分		
	文化、伝統等経済合理性の維持		
	消防　PTA		
子育て	安心安全	認知症になっても地域で役割をもって	
	こども達の笑顔		
	もちつもたれつ地域イキイキ	地域で支え合い	1
	公助の範囲定義		
	認知症の方の行方不明がなくなる	高齢者×こども	1
	ごちゃまぜ社会で生きやすい		
	認知症の方も赤ちゃんあやしが上手	共働き	1
	学童が中 3 まで OK になる		1
	高校の無償化		
	子育てしやすい街の給食も安全安心なオーガニック無料給食、大学生の奨学金制度がある		
	子育て支援		
	高校生まで健康保険の無償化	子育てに不安	
雇用	企業との連携		2
	働きざかりの人をサポート		
	雇用が生まれる町若者雇用		
まちの活性化	データ化見える化		1
	コンセプトと現状のリアルタイム見える化		
	民主主義本質の浸透		
	自治会への入会率 UP	自治会入会のメリット	1
	活発な自治会のサポート		
	各地域のまちづくり協議会活動が活発に活動している		2
	駅前商店街の活性に力を入れる人がいない	まち全体の活気	

	駅前のにぎわい		
	人が寄れる所を作る（駅前）		1
	ライン下の復活に力を入れる		
	高山線の複線化に力を入れる		
	交通インフラの整備		
経済／環境	緑いっぱい		
	地域経済の流動性確保	公共性（高）、利益（低）	
	ソーシャルビジネスへの投資		
	農業林業の後継者が出来ている		2
	環境基準の整備		1
福祉／子育て	東中のへや増設	ハード面	
	障がい者施設の充実		
	保育園の建て替え		
新庁舎		市民が決定事項を知っている事が大切	
		未来で「なぜ？」と思われない決定を	
		白紙にした責任、WS でカバー	
		なぜこの場所この内容こうやって決まった	
		誰が決めたの？ コーポレートガバナンス、 新庁舎は誰のものか	

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

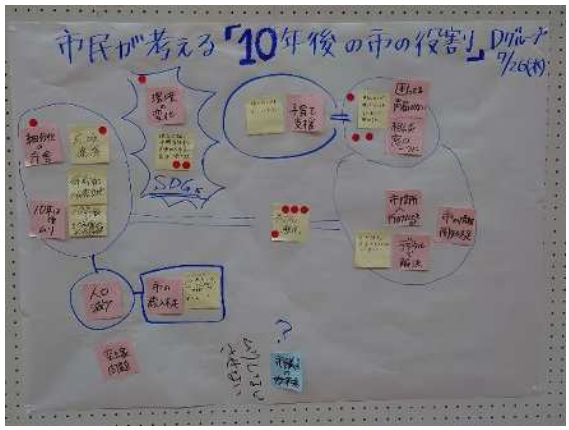
・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。

・各地域のまちづくり委員会が活発に活動することで、まちの活性化がはかられることを求めている。

・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。

■7/26 D 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
合併／分散	広域連携	細分化の庁舎	1
	部局単位の分散立地		
	10 年後～50 年後の広域合併	10 年後はムリ	
		細分化の庁舎	1
人口減少	人口減少にいる令和 5 年 57000 人の中外国人 10%→実人口は？	市の歳入不足	
		人口減少	
		空き家問題	
環境問題	環境問題を食料自給率を美濃加茂市民が計画実行する	環境の変化	1
子育て	子育てのしやすい市にしてほしい	子育て支援	
相談	市民の方々が困っていることをすくいあげて解決する	困ってる声が届かない	3
		相談窓口一つに	
デジタル化／DX	デジタル強化		4
	もっと便利の利用できるようにしてほしい	市役所に行かなくても OK	
		デジタルで解決	
		市の情報周知不足	
その他	市議員のムリしないさせない		

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市民が困っていることをすくい上げて解決するような市を求めている。

（困っている声が届かない、困ったときにどう相談したらよいかわからないと感じる。）

・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにすることが求められている。

■7/26 E 班

1. ワークショップの様子

2．ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
防災	10 年後も今も災害時に市民の生活を守る事が最重要	人の命を守る	4
		庁舎が災害に強い	
安心安全	全市民が安心して暮らせる安全なまちづくり		3
子ども	ゆりかごから墓場まで保障されて、美濃加茂市で生活して行きたいと他市がうらやむ共存出来る街であって欲しい	ママ保育	2
		少子化対策	
		中学校をつくる	
よりそい	市民によりそう市の職員になってほしい	市民によりそう	2
		市民の声をすくい上げる	
魅力づくり		魅力あるまちづくり	3
		魅力を発信すること	
	カフェ、図書館、食堂などがあると、、、、		
	手続き以外で利用できる所がある		
		出入りしやすい場所	
	関係人口をふやそう		
効率化 DX	手続きがしやすい		
その他	地域おこし隊を呼ぼう		
		職員が働きやすいように	

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。

・全市民が安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。

・ゆりかごから墓場まで保障されて、ママ保育の環境も整っていて、美濃加茂市で生活して行きたいと他市がうらやむ共存出来る街であって欲しい。

・市民によりそう市の職員になってほしい。

・市の魅力をつくることが求められている。

■7/26 F 班

1. ワークショップの様子

2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
自然	・自然を大切にし地域が笑顔で明るい社会心豊かな社会のその希望、夢のリーダー級	自然	
		農地の維持の費用がかかる	
		畑、田を維持できず借地も多い	1
		自然を大切にする→健康にも	1
		農地が受け継がれない-あれている	1
		もっと山の整備があるとよい	
		災害	1
デジタル化	・デジタル化の進展に対応できるように高齢者への支援	世代	
		おとしより	
		80 代買い物不便→改善してほしい	
		例）マイナポイント一人ではむずかしい	
共存	・共存		5
子育て	・図書館、公園、健康こども部の窓口－一ヶ所にまとめる	まとめ手続きができるようになる	
	・親亡き後も重度の障がいをもっている人が安心して暮らせるような施設（グループホーム等）	障がいのある方が自立で稼ぐことができる場をつくる	1
		教育、発達支援、外国籍	1
		障がいある人も共存	
		やりがいがもてる	
	・特別支援関係（カナリア等）を人の集まるキレイな建物に一般も遊べる		
	・発達障がいの子や外国籍の子が増加する可能性がある。支援の対応口		
	・働きやすい	子育て世代	
	・子育てがしやすい		
庁舎	・北方町の庁舎　町民を大切に思っていると感じる	ステキな建物	
		仙台市に例がある。いい例を市がみつける	
地域	・「地域ぐるみの子育て」この意識をどのように活発するか		1
いきがい	・核としての役割いきがいづくり		
	・一人一人が参加して創出していく市にしていく方向性を示す		
	・自治会加入の減少で地域コミュニティの形成が心配 まちづくりへの意識の高揚	個性、経験を活かす	
		ボランティアを応援してほしい、参加するキカイつくり	
		交流しやすい、コミュニケーションが広がる	
人材育成	・厳しい意見だが市民への対応がきちんとできるような職員の能力の向上、人材育成	心づかいが足りない　ex)今日の案内、飲み物、あつさ対策	
		総合案内できる人	
		市の業務を管理者がもっと責任をもつ	
PR	・美濃太田→美濃加茂	駅の名前を変えてもっと PR	2
		市がアピール	
その他	SDG s モデル配水溝の手入れコンポスト（好気性、オシャレ）推進		1
		△（頂点）はダメ　○（中心）市が担っていく	
		現状 CS に市があまり関わっていない	

3. 意見の概要

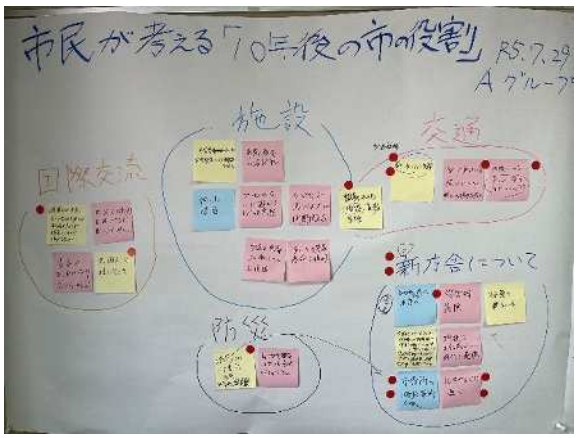
以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・共存をテーマに子育てや自然の維持、生きがいをもって暮らせるまちづくりが求められている。

・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。

■7/29 A 班

1)ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
国際交流	外国人との交流。近くに多くの外国人が住み始めているが、自治会に入らなくて交流ができない	交流のきっかけづくり	1
	外国人の住みやすさ	外国人の意見反映できるか、関心がうすい	1
施設	庁舎整備のよる活性化	市民、経済の活性化	
		歩道を整備、歩くことを推進	
		歩いて健康寿命を伸ばす	
	プール必要	川遊びは危険	
		子どもが年中遊べるプール	
交通	整備された施設、道路、学校		
	あい愛バス整備	空で走っている、使いにくい、バス停が近くない	1
		利益がでていない、タクシー券の方が良いのでは	1
防災	防災について ・水害、風 ・食料 ・どう助けるか	自治会員の家族構成もわからない	1
新庁舎について	消防署と隣接	災害時危険	1
	変化に対応できる新庁舎、行政機能にする（現代は多様な変化が起っている）	2 年後は未完成でいい。徐々に	
	市役所は 1 ヶ所にまとめる（分庁舎、分室は不便、機能が下がる）	10 年後では遅い	2
	市役所の機能集約（分室なし）		2
	太田町から外へ、本庁へ		1

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市役所は 1 ヶ所にまとめて、機能を集約して欲しい。

■7/29 B 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市職員・議会	現在の問題が解決され、見える化出来ていること！！	市職員が自分たちの仕事の仕方、スタンスを見直してほしい（考えてほしい）	1
	市各仕事作業がみえる様になっているか？	仕事への責任を自覚しているか？自分の役割	
教育・子育て	教育の場の充実（学校以外）		1
	こどもの成長を守る		
	子育て世代支援	公園、学校（以外）民間の拡充	
多文化	外国籍の人たちとの共生	文化の理解→バランスをとる、橋渡し	1
防災	災害に強い市に（防災拠点）	拠点（スペース）確保	3
	緊急時の避難方法、経路	無線→知らせる	
	市民の命を守る防災	どうやって把握できる	
		駐車場が広い	
福祉	高齢者が安心して生活できる福祉が充実した市役所		
	市民が相談できる場になる（今以上に）		1
	福祉の充実した市になってほしい	自立できない施設→充実　安心して	
	市民生活のサポートをする		
魅力	市の魅力発信	市も発信（市長、組織的）	
		観光資源	
デジタル	デジタル化され便利な市役所		
	手続きはすべてスマホでできる ICT の充実	SNS	1
	効率的な行政（コスト減）	税収減	
	アナログをのこして	デジタルに対応できない人の為	
市民自治	世代間の交流サポート		
	地域活動のサポート（つなぐ）		
	自治会のサポート	自分たちでどうにかする→意識	
		まち協クリーンパートナー	
庁舎	市民が集う会館ではなくてよい（側にある）	市の機能	1
	機能化近代化された市役所のビルが建ち広い駐車場と共に利用し易い市役所		1
10 年後	私は…生きていないだろう。では何も言えないか…		
	人口が増えて道が広くもっと住みよくなっていくと思う		1
その他	図書館費用 3 億円予算今そうなってる		
	現在の問題をまず抽出すべきだ		
	使われなかった助成金の予算のあつかい		
	健康センター移転費用 1 億円の使いみち		
	議会の乖離		
	健康センター移転必要あったか？		
	健康センター移転誰が決定？		
	健康センターいつ決定？		
	市職員誰の為の！仕事するか自覚		
	こういったワークショップの結果が正しく市民職員に広く伝わる		1
	公報は聞こえない、防災ラジオが様なしていないスマホがあるから？		
	市会議員は市民声を市に伝えてね		
	停電の時の		
	高齢者もこどもも元気で安心してくらせる		1
	ご近所の相互互助	コミュニケーション	

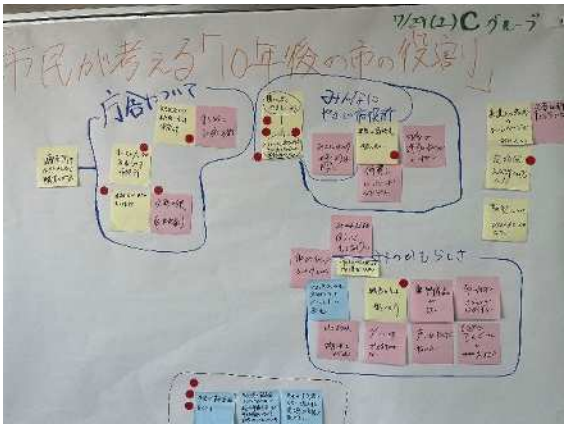
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・防災拠点となる災害に強い市にしたい。

■7/29 C 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市役所の位置	分庁舎なくして本庁舎で全部運営する。	まとめた 1 ヶ所の庁舎	1
	すべての人々が利用しやすい市役所		1
	高齢者がきやすい場所	交通の便利	2
	連絡所や公民館で職員が対応		
みんなにやさしい市役所	障がい者にやさしい町		3
	上からの目線での対応でなく聞く耳を持った職員であってほしい		1
	業務の簡略化　市民と共に…	みんなわかりやすいような対応	1
		何課に行っていいかわからない	
		担当が違うとわからないといわれる	
美濃加茂らしさ	市に対して常に関心は持てる行政をしてほしい	みんなが関心もてるように	
		市がイベントのきっかけをつくる	
	特色をもった街つくり	特産品がない	1
		かきようかん-蜂屋柿をまぜこむ	
		外に PR できるものがない	
		声に出すだけで動かない	
		市の全体のビジョンが分かりづらい	
		自慢できる、てんぐさんの大きさ	
行政	どの年代でも参加できるイベントの企画		
	市議員の定数を減らす		3
	市民の為の市議会メンバーであってほしい。 現状の市議本当に必要な議論しているか？ 派閥の圧がありそうです		
	市長の”アラ”探しではなく協力する姿を見せる市議であってほしい		
その他	美濃加茂はホームページがみにくい	必要な情報にたどりつけない	
	自治会入会率 100％へ		1
	防災について　避難勧告が遅い		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

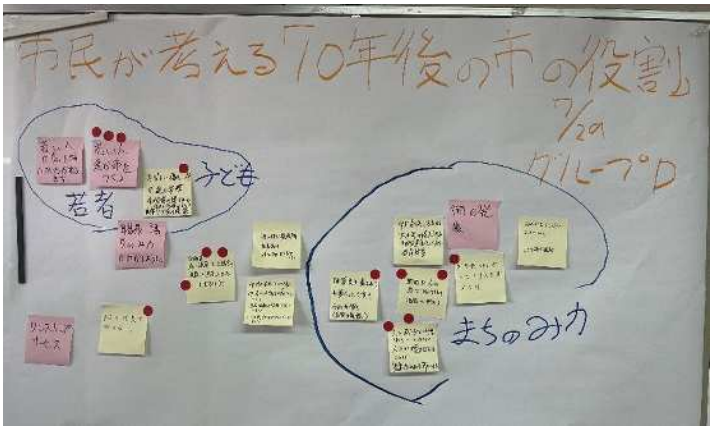
・障がい者にやさしいまちにしたい。

・市議員の定数を減らす。

・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。

■7/29 D 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
子育て	こどもに優しい市、交通安全。学校等の建て替え（民間の力を頼ってほしい）医療ケア児の施策		1
		若い人達が市をつくる	3
		若い人が育った時に魅力があるまち	
		職員、議員の魅力がわかるように	
行政	市議員、若い議員、女性議員の定数決定（立法化）		3
	市長の理想を知りたい		
	みんなの居場所老若男女誰も誰も取りこぼさない		
	市民の安全安心を守る 市民の幸福度がアップしていること 市民活動が活発になっていること たて割行政はなくなっていること	ワンストップサービス	
町の魅力	市内全域の活性化 太田南の個人所有の固定資産化に対し 税金対策	街の発展	
	障がい児が生まれても安心して育てられる街（民間施設）		1
	新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）		2
	町の特徴が一言で言える町づくり		1
	人口減少が予想される…ではなく、人口が増加するような魅力のある市にする		2
	美濃加茂らしさのおもてなし。小さな親切運動		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・若い人達が市を作っていくことが必要である。

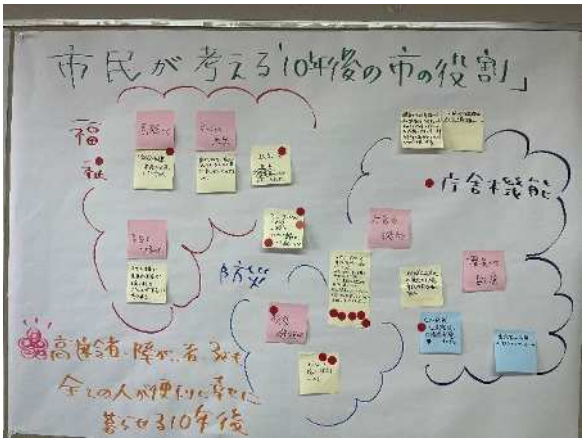
・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。

・人口が増加するような魅力のある市としたい。

■7/29 E 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
福祉	社会保証、老後の心配のない市政	高齢化	1
	身寄りのない（あっても疎遠）高齢者が安心してくらせる施設	サービスの充実	
	福祉の充実。マイノリティ、障がい者の住みやすい街		1
子育て	子育て世帯が美濃加茂市で子育てするとメリットが大きいと思える	子育て、少子化	
DX 化	デジタル（DX)化推進、オンライン手続き、ハンコ廃止など		3
庁舎機能	現在でも 10 年後でも市の役割は「市民が幸せにくらせる市にする」ことが役割であると思います。10 年後を創造する事はできないと思います。		
	この話し合い課題はよくないと思います。		
	市庁舎へ訪れた時、用件が市庁舎で済む様にしてほしい。 あちこちに市の業務を分散しないでほしい。 一つの建物内（敷地）で用件が済むように。 現在健康センターへ行ったりあちらこちら分散しているので年齢を重ねると困る	庁舎の機能	5
	地球温暖化の危険から市民、市民の命を守る市政	環境配慮	
防災	防災に強い体制づくり		2
		防災避難所	1
その他	CO 2 削減。公共施設に太陽光発電装置を		1
	清流里山公園の観光の活性化		
まとめ	高齢者、障がい者、こども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・市役所機能を集約して、高齢者でも使いやすいようにして欲しい。

・デジタル(DX)化を推進してオンライン手続きやハンコ廃止等を実現して欲しい。

・防災に強い体制づくりが必要である。

・高齢者、障がい者、こども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後。

第１回市民ワークショップ　アンケート結果

1.　ワークショップ概要

①　目的

市の考える市の役割と市民の考える市の役割をそれぞれが認識する。

②　対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者　88 名

③　実施日時

① 2023 年 7 月 23 日（日）9:30～11:30

② 2023 年 7 月 26 日（水）19:00～21:00

③ 2023 年 7 月 29 日（土）14:00～16:00

④　アンケート回収状況

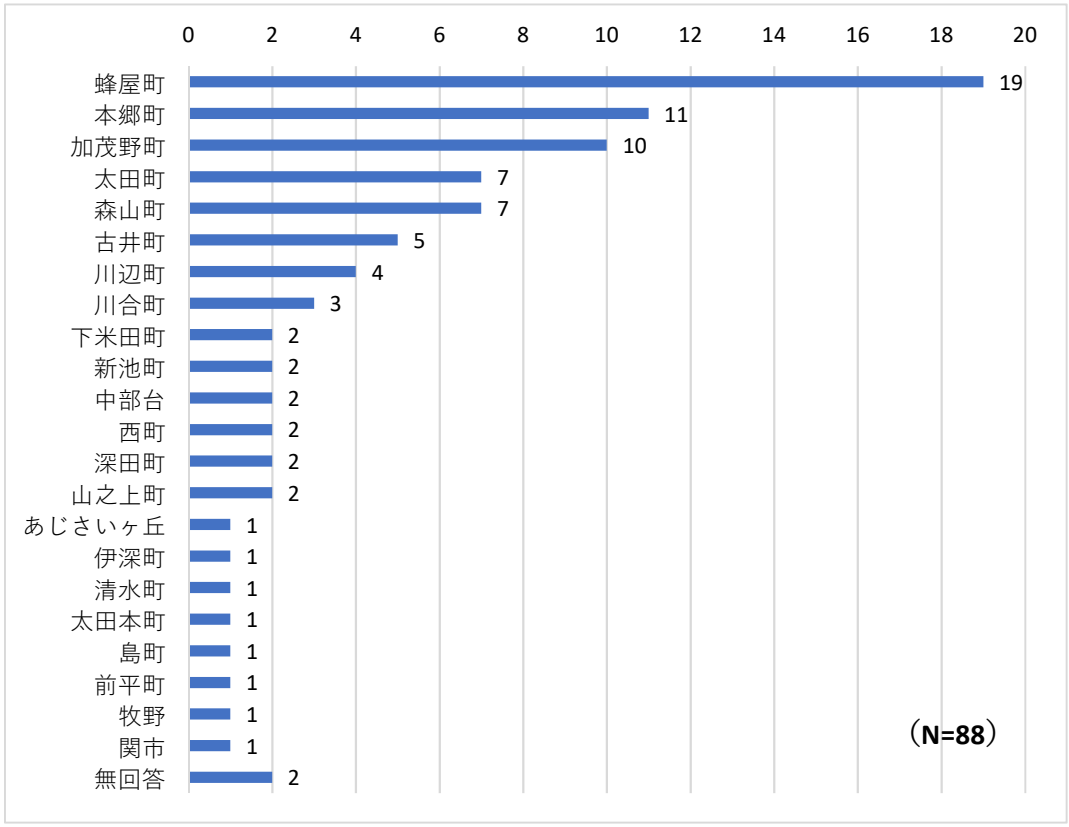
76 件 回収（紙：59 件、Google フォーム：17 件（8 月 7 日 13 時〆））

2.　ワークショップ参加者の属性

（１）住所

「蜂屋町」からの参加者が全体の 20%を占め、「本郷町」「加茂野町」「太田町」「森山町」が続いた。

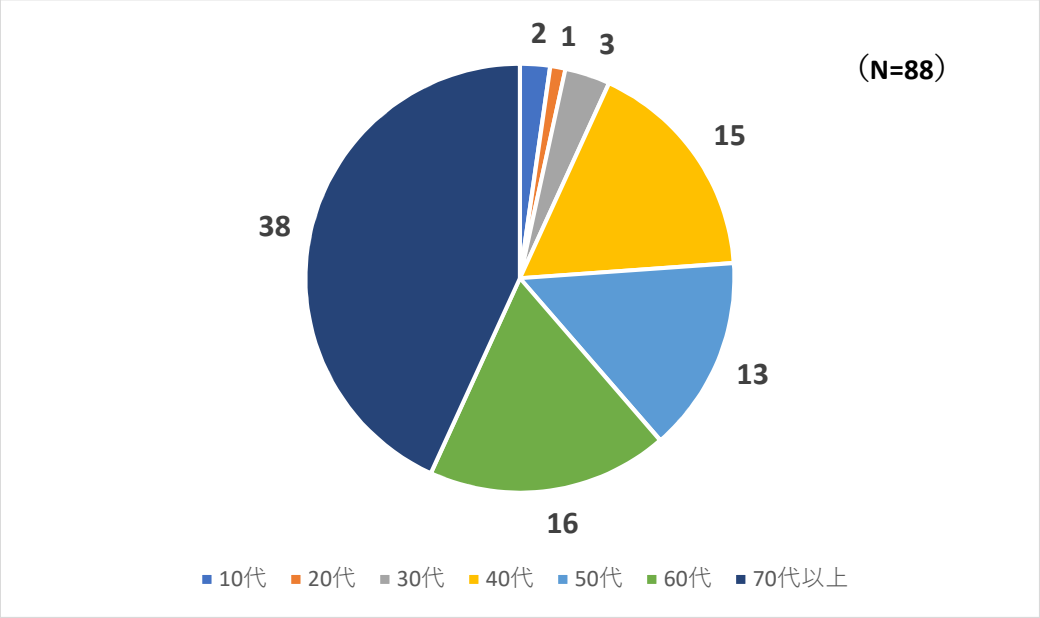
図表 1　参加者の住所



（２）年代

70 代以上の参加者が半数弱を占め、40 代・50 代・60 代がそれぞれ約 15%ずつの参加であった。年齢層は高いが 10 代・20 代・30 代の参加者もおり、幅広い年齢層の参加があった。

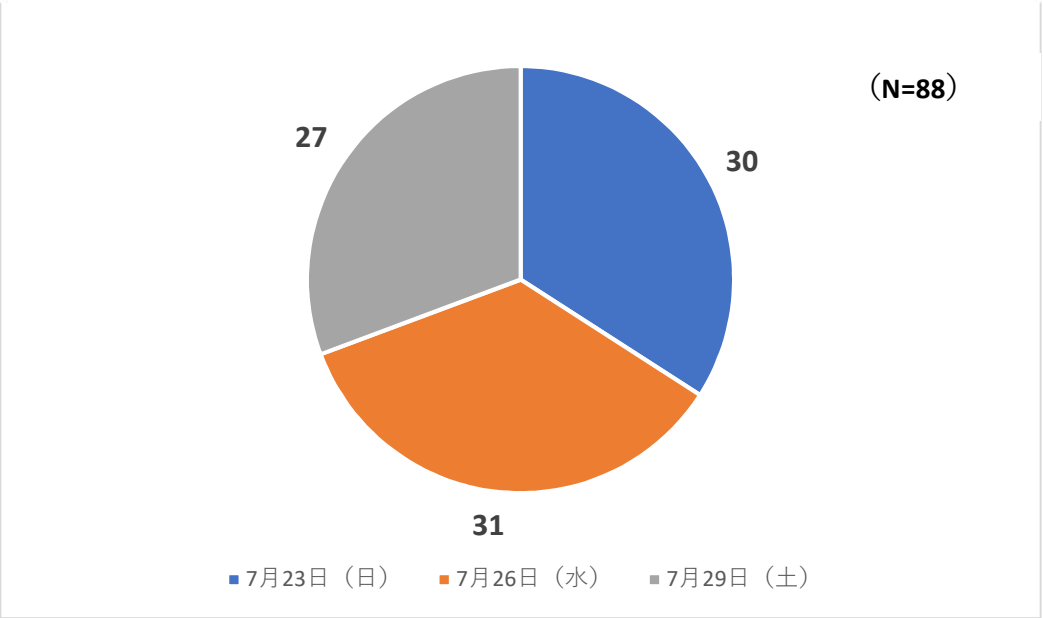
図表 2　参加者の年代



（３）参加日

平日は夜間、土日は日中の開催だったが、各日程満遍なく、約 30 人の参加があった。

図表 3　参加日別参加人数



3.　アンケート結果

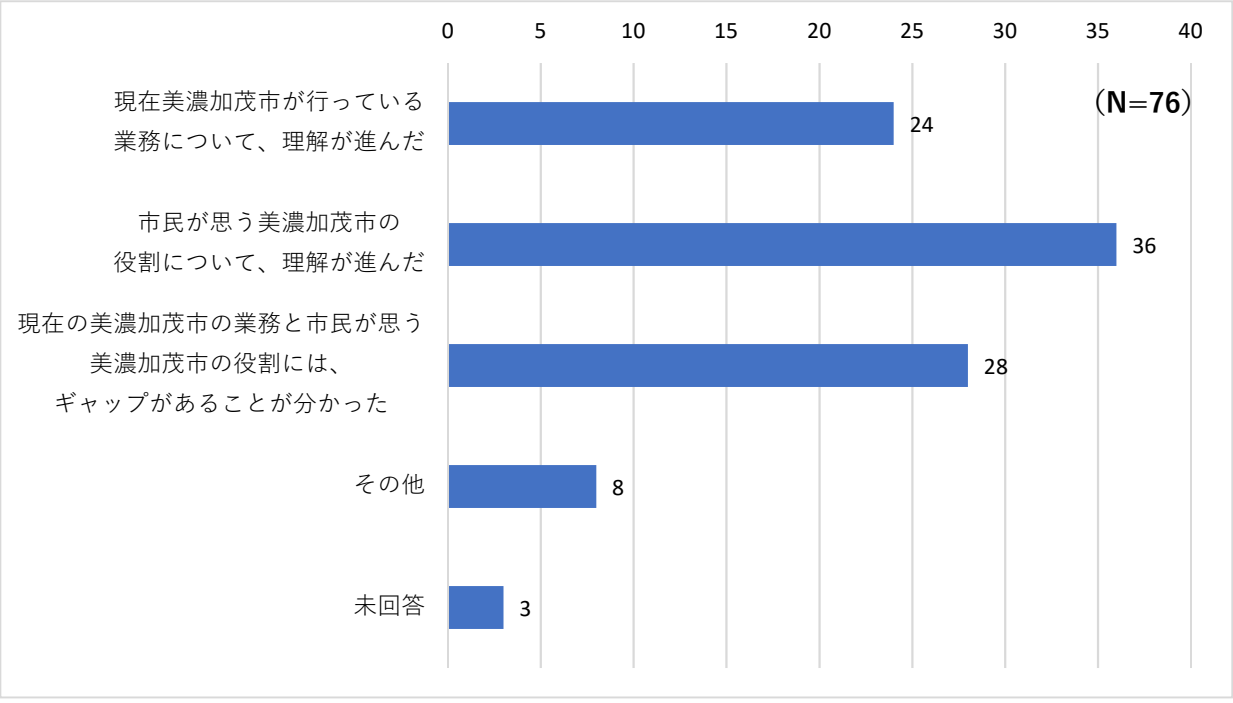
問１．ワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」が最も多く、次いで「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」が続いた。一方で、アンケート回答者の30%が「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」を選択した。

	回答者数【N=76】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ	24
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ	36
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった	28
その他	8
未回答	3
合計	99

※複数回答有

図表 4　「市の役割」について



◇自由意見

・ワークショップに参加してよかったと思う。

・市の事業の説明が長いので、レジュメをご覧くださいで十分だと思う。

・業務はわからない。

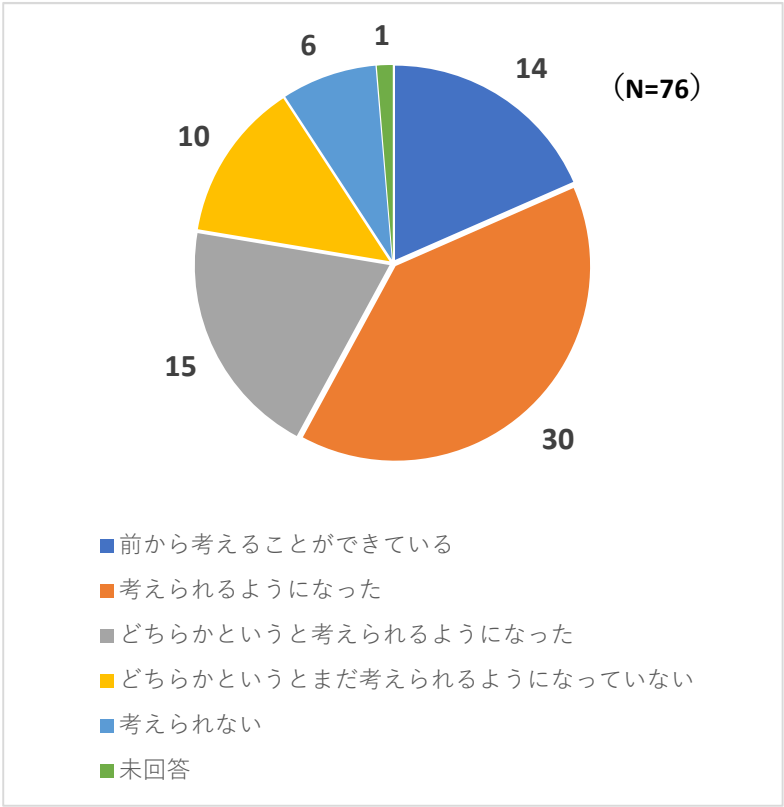
・募集記事にテーマの記載はあったが事前に想定していたものとは少し違っていた。可能であれば、もう少し具体的なテーマの回に再度参加したい。

問２．10 年後の市の役割を考えることができましたか。

「前から考えることができている」が最も多く、「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」と回答した回答者が約80%となった。一方で、「考えられない」を選択した回答者からは「2～3 年スパンで考える事が大切」との意見があった。

	回答者数【N=76】
前から考えることができている	14
考えられるようになった	30
どちらかというと考えられるようになった	15
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	10
考えられない	6
未回答	1
合計	76

図表 5　10 年後の市の役割について



問３．本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。（自由記入）

「まちづくりへの市民参加」や「地域のコミュニティづくり」といった、市民を巻き込んだまちづくりを推進してほしいという意見が多くあった。また、「人口減少／少子化対策」といった、現在進行している問題に対する意見が多く見当たった。

【まちづくりへの市民参加】
・市政の自分ごと化の推進
・市民を巻き込んだ街づくり
・恐れず市民の言葉を聞く機会を大切にして欲しい
・市民と市との思いが一致すること
・市民の意識づくりだと思う。2025 年問題、少子高齢化、認知症、IT、AI など価値観が大きく変化している。美濃加茂市を大切に思い市民として自信と誇りの持てる未来に向かって舵を切る大きなチャンスでもあると思う。
・期待感

【人口減少／少子化対策】
・少子化対策にもなるが、子育て支援の役割がもっと必要であると思った。
・将来国民、市民として生活し、国を支える子ども達を守ることは一番だいじなことと思う。学校での低学年から高学年までの健康診断を充実させてほしい。
・行政、教育、文化等壁がある様に感じた。「子どもファースト」を最大重要と共有してもらいたい。高齢者福祉は次点と覚悟してもらいたい。
・健康寿命を延ばす
・人口減少は防ぎようがないので、関係人口を増やすことを考えよう。
・雇用が生まれる町になるといいと思う。
・人口増加策

【福祉】
・福祉計画の充実が不可欠である。
・共存がテーマになる、、、の話しがポイントだと感じた。新たな役割ではなくても住民福祉を最優先にしていけたら支え合える美濃加茂市になると感じた。

【地域のコミュニティづくり】
・自治会員を増やす
・多文化共生、近い将来国、市内等外国の人は多くなる。又自治会加入者は減少傾向にある。
・市民の力(自治会以外)の活用を進める必要、市民負担を増やさず住みよい市にするため。
・憩いの場を多くの場所に設ける

・各所の連絡所をもっと活用して、市民の憩いの場として発展させたら良い。

【魅力あるまちづくり／広報】

・自然環境を活かした魅力ある地域づくり、観光開発
・美濃加茂市の魅力とその発信

【DX】

・DX 推進のための市民 IT リテラシー向上施策
・市政見える化のためのデータ収集の仕組みづくり

【窓口対応】

・届け申告等の事務手続きは、LINE 等により身近にできて役所に行かずにすむ訳である。これから役所は、市民によりそい行政を行わなければならない。ここへ行けば、ふるい廻されずに解決出来る相談窓口業務が整う環境であってほしい。

【市政の透明性】

・今の問題が今後の課題になると言う事である事は理解したので、そこは KPI 等で解決していくしかないのでは無いか。
・市議会の動きは不透明。
・行政にも柔軟さはとても重要だとは思うが、土木、建築、建設となると少し話が変わってくる。人口や税収の減少、縮小といった負の予測にもしっかりと向き合い、ハッキリと公表して、中長期的な見通しのもと、だから今こうする事が必要だと丁寧に説明していってほしい。できれば、市職員が直接、コンサルタント業者の力を借りないで。
・市民のためになる市にしてほしい

【市の発展・活性化】

・これまでの市の発展をみると、太田地区が中心となって発展してきたように思う。美濃加茂市は８つの町からつくられているので８つの町をバランスよく発展させて頂きたい
・美濃加茂市の発展は太田中心でなく全体を考え駅北を中心に全体的な発展を望む所である
・企業誘致

【新庁舎整備】

・10 年後では遅い！早目に（先に）たてられそうな土地についての条件を出してほしい
・市役所の役割ということであれば、土曜日、日曜日に開庁してほしい。平日は週休３日でも良いので。また、本庁舎ではなく、連絡所を開けて、大体の事は連絡所でできるようにしてほしい。各課が持ち回りで連絡所を巡回していけば、そもそも新市庁舎に行く必要がない。地区の市民と行事を行う所長とは別に窓口業務の責任者を置けば特に問題はないと思う。
・大きな箱物より、きめ細やかなソフト面での実績を積み上げ、品格のある美濃加茂市の地位に繋げ、近隣市町村と共に成長して欲しい。

・連絡所の役割は意外に大きいと思った。

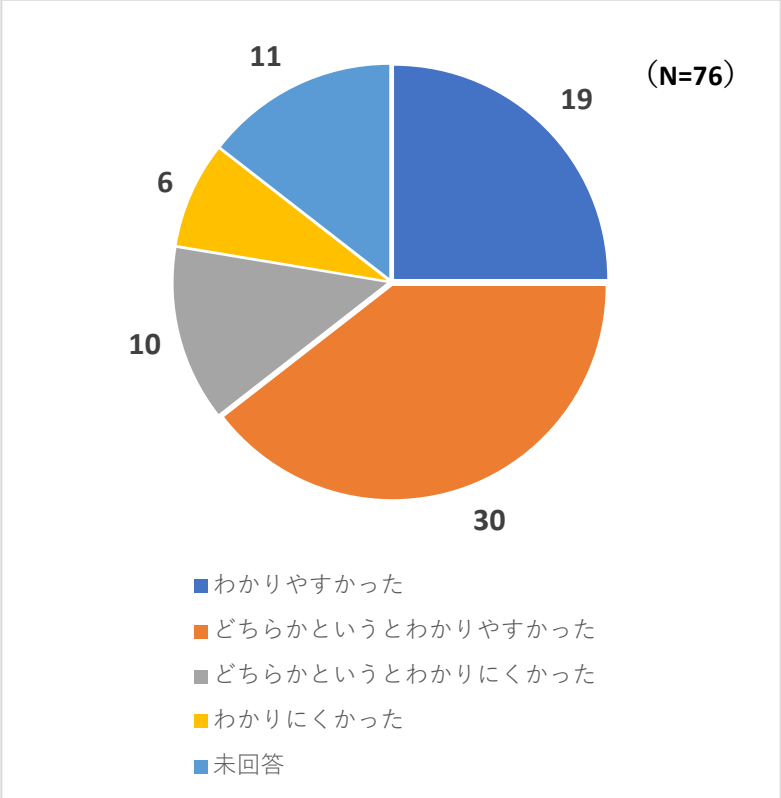
【ワークショップ】
・さまざまな意見がでて、とてもよいワークショップでした。
・他人の意見も聞いてみるのも少しは理解が進んだ気がする。
・市職員とのコミュニケーションが計れなかったことが残念
・本日は今後の市のあり方中心だったので、市長、職員、議員がワークショップ参加された多くの人たちと意見の場に参加したい！
・前回の進め方は根幹より派生的、周辺的な機能を打ち出していた。極めて違和感を持った。今回は地についたストーリーを描いてほしい。他市の新築状況（大垣、各務原、羽島、土岐）を十分研究されたい
・テーマの題名がよく理解できず
・いろんな年代・世代、小中高校や PTA などからワークショップができると良かった
・グループで意見を出し合えて、活発な話し合いができた。大変有意義な時間が過ごせた。話し合いの時間がもう少し長くてもいいかと思った。今日の準備等、本当にお疲れ様でした！！

問４．本日のワークショップの説明について

「わかりやすかった」「どちらかというとわかりやすかった」が合わせて約 70%となった。しかし、自由意見として、「共通認識に至るには話し合う時間が少ない」といった意見があった。また、「新庁舎について今まで検討した内容が不明」「このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか？」という検討プロセスに関する意見があった。

	回答者数【N=76】
わかりやすかった	19
どちらかというとわかりやすかった	30
どちらかというとわかりにくかった	10
わかりにくかった	6
未回答	11
合計	76

図表 6　ワークショップの説明について



◇自由意見

【時間配分】

・前に市の事業の説明や、先生の話しが長くて、グループでの話し合う時間が少ない。

・共通認識まで至らなかったことが残念でした。短時間では難しいのかもしれませんが、少しモヤモヤします。

【市職員とのコミュニケーション】

・同じ会議室に市職員がたくさんいるのに市役所側の考え方があまり見えてこない、また、参加者の考え方が十分に伝わっているとは思えない。

【ワークショップ内容】

・10 年後と言われてショックでした

・ワークショップ全体のストーリー、そして今日果たすべきことがらが不明確だった。

・もっと具体的な話がしたかった。

【新庁舎検討プロセス】

・今まで検討した内容が不明であった。

・このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか?

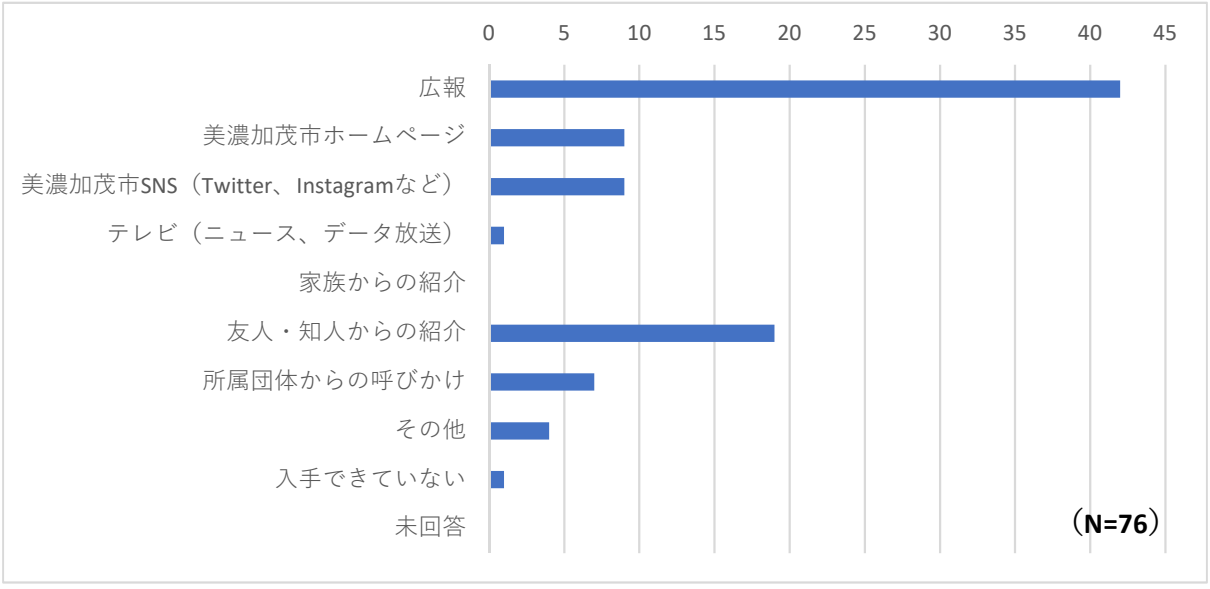
・この新庁舎の事を市民合意に持っていくのは難しく、今回も流れて永遠に話し合うのかな。

問５．新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

「広報」が最も多く、回答者の約 60%を占めた。次いで、「友人・知人からの紹介」「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市 SNS」が続いた。その他の意見として、「美濃加茂メール」「市のグリーンキーパー」があった。

	回答者数【N=76】
広報	42
美濃加茂市ホームページ	9
美濃加茂市 SNS（Twitter、Instagram など）	9
テレビ（ニュース、データ放送）	1
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	19
所属団体からの呼びかけ	7
その他	4
入手できていない	1
未回答	0
合計	92

図表 7　新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問６．新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。
（自由記入）

新庁舎整備について、「立地」「ボリューム」「災害対策」の観点からの意見が多く寄せられた。特に、市役所の機能を一か所に集結させず、ＤＸの推進や各自の既存施設を活用させるという意見が複数見られた。また、市役所は災害時の対策拠点となることから、水害等から安全な立地での建設を望む意見が多い。

新庁舎整備の検討プロセスについての意見も多く、集められた意見にどんなものがあったか、そしてそれがどのようなプロセスで新庁舎整備に反映され、どう決定されたのか発信してほしいという意見がみられた。

◇新庁舎整備について

【立地】

・人が来やすいよう日が多く差す明るい場所にして欲しい。
・個人的には車に乗れなくなった時、自分で行ける市役所であって欲しい。
・市内どこでも自由に
・市民が１年間でそんなに回数行く所ではないと思います。ただしアクセスは便利な方がよいことはいうまでもありません。市外の人はともかく、JR 駅に近いことは必須ではないかと思います。バスコースの工夫で対応可能では。ただし、駐車場は一定数以上必要。岐阜県の公共施設の常識。
・ネットワークの活用により分散化させるのが良いと思う。
・分庁舎方式はやめてほしい。
・太田駅前の商店街の活性化の為といって活用しないで１ヶ所に集約するのは良いと思う
・アクセスしやすい、コンパクトな新庁舎

【ボリューム】

・市役所はコンパクトでよい。住んでいる地域の交流センターなどの機能を強化して、市民の要望や課題に真摯に向き合って対応してほしい。
・市役所は「市民が集う場」ではないと明確にした方がよいと思います。必ずそういう希望が出ると思いますが、文化会館、生涯学習センター、公民館、文化の森など他の施設の有効活性を優先すべきと思います。市役所にその機能を持たせるとどんどん大きくなります。コスト増になります。
・市民が手続きが必要な部署はひとまとめにして、他の業務を行う部署は分散させるなどして、小さな市役所としてはどうか。
・極端な事を書くと庁舎は無くても良いと思っている。市議会議場でさえ多目的ホールのような所で可動式の机と椅子で良いと思う。健康課やこども未来課が医療センターに入居した現在、全ての課が一同に揃う総合庁舎的、市のランドマーク的な高層階の建屋は不要だと思う。デジタル化とともに、連絡所の機能を充実していけば、新庁舎が何処にあっても、どんな外観でもたいした問題では無いのではないか？

【災害対策】

・安全安心な庁舎
・一番の課題である「場所」については、防災上の観点から、駅前がふさわしいとは思いません。水害のおそれがあることは論外ですが、周辺に広場はとれる方が、災害時には有効です。市の中心部からそれほど離れない、一段上の土地で適地があればと思います。
・防災も考え駅北以上の標高が必須だと思います。職員だけの建物なら何処でも頑丈な部屋さえあれば事務は出来ると思います。
・まちづくりの貢献する環境を考慮した利便性が高く機能的な整備を推進する防災拠点として、防災センター（消防署等と同じ施設内にする）又図書館の公園憩いの場と一部の市民の中には新庁舎を駅前に整備し、商業ビルを建設して駅南地区の発展を考えてみえるようですが新庁舎は駅南地区の発展とは切り離して災害に強い整備地を選んで欲しい。
・やはり新庁舎事業は災害等避難場確保等の役目もあると思います（緊急時）消防署との1体等と課題が多いと思うので市民理解を充分にする必要があると思います
・地球温暖化が本当に心配な毎日です。ぜひとも安全な地域、水につからない所に市庁舎は建ててほしい。温暖化対策のひとつとして、新庁舎には太陽光発電装置をぜひつけて頂きたい。電力も地産地消の第一歩として考えてほしい。
・今後災害の発生頻度が高くなってきます。防災について踏み込んだ検討をお願いします。
・新市役所は水害などにならない所に作ってほしい
・新庁舎は第一に安心、安全を考えた場所に

【DX】

・窓口業務は、支社、コンビニ、ネットを活用し、市役所へ直接出向かなくてもよいように。10年たったらガラリとかわるのでは。
・市からの情報発信は、スマホなど格段に進んできたと思います。引き続きお願いします。
・人口が減っていく中、大きな新庁舎は不要です。コンパクトにする為にデジタル化を進めてほしい。

【検討プロセス】

・今回のようにいろいろな地域、年代の方の意見を取り入れ整備を進めてほしい。特に、候補地選定から候補地の決定に関しては、議論に時間をかけて進めてほしい。
・このWSで集まった意見にどんなものがあったか、そしてそれがどういうプロセスで新庁舎整備に反映させるのかが分かるとありがたい。
・自分や他の参加者の方の意見は聴けたが、現行政職員さんの考えも聴いたり意見交換したりする機会がほしい。これまで、不透明とはいえ、議論はされてきているはずで、その内容はぜひ議論する手前の土台としてオープンにしてほしい。
・建てる場所が決まったら教えてほしい。同じ場所に建替は可能？誰に決定権はあるの？最終判断は？意見吸上げの方法は？”なるほど！そうやって決まったんだね”と分かるように伝えてほしいし表示してほしい。

・細やかな情報発信、ポータルサイトへの誘導をお願いします。今日上がった意見を深堀するワークショップがあるともっと親近感がわくと思います。
・前市長体制は市民説明が充分されていない状態で進んでいた。
・WS 参加者だけでなく、幅広い年代（特に若い人）の声を拾い上げて（聞きに行って）参考にして頂きたいと思う。
・意見をきくのは結構だが、100 人いれば 100 とおりの考えがある。「総合計画」的なものできちんと議論してほしい。
・県内の多くの市町村役場に行っているが、新しいところは、それぞれ工夫がされている。コストとの見合いなので、職員の意見を参考に、専門的によく検討されればよいと思う。そこに、市長の「思い・こだわり」があってもよいと思う。

【ワークショップ】
・ぜひワークショップを小学生、中学生、高校生対象でやってほしい
・小学生や中学生向けのワークショップもやって頂ければ、おもしろいと思う
・市民との対話を大事にしてくださる美濃加茂市の姿勢に大変嬉しい想いでいっぱい。これをきっかけに、対話文化が美濃加茂市の特色の一つになるといいなと思った。小中学高校でも子どもと大人の対話を通して、『自分たちの学校は自分たちでつくっていく！』と、なれば様々な諸問題は問題で無くなることでしょう。
・今まで新庁舎については、5～6 年間かけての資料があります。それを発表して今回のワークショップにした方が良かったと思います。（アンケート結果の件も）
・今回のテーマと庁舎建設との関係がよくわからない。
・当日は雨が降って、多少は涼しくなっていたが、それでも室内は暑かった。公舎の中なので、飲料の持込は NG かと思って持ち込まなかった。冒頭で水分補給の案内か、願わくは参加の案内にその旨を 1 文記載があると良かったと思う。

【その他（新庁舎)】
・利用しやすい庁舎
・管理修繕費の掛かりそうな箱物はやめ、自然と融合したオシャレな空間を作って欲しい。人が集まりやすい発信力のあるスポットにして欲しい。リバーポートパークは大成功だと思う。市民が足を運びたい、集まりたい、このような素敵な庁舎で働きたいと思えるような、美濃加茂市のシンボルとなるものを作ってほしい。
・市職員が、効率的に仕事ができることが第一。ICT に対応し、フレキシブルに活用できる会議スペース。職員と市長、職員同士が意見交換できる仕組みとスペース。今回、健康課などが市役所から遠く離れてしまったのは、まずかったのではないか。
・失敗のない建築となってほしい
・市民が利用することは年に数回だと思います。職員ファーストの使いやすい事務がしやすい建物でよいのではないか
・託児（子どもが待機できるスペース）があれば子連れの方も来れると思います。ぜひ多世代の方から意見を聞かれると良いと思う。

・市庁舎へ来るのが楽しみになる行政＋憩いの場にしてほしい

◇その他

・厳しい財政対策として企業誘致に力を入れて欲しい（大型店舗（イオンタウン）が誘致出来ればにぎわう街、美濃加茂市となる。
・広大な自然環境資源、文化歴史を活かし次の世代へ負担のない市政、人材育成文教都市静かな町を，車時代、交通、駐車場、土地の活用が応用範囲広がる等ソフト面の利便性を考慮してほしい。
・市民が安心して暮らせることが第一。防災、福祉はかなり進んできたように思う。
・いずれにしろ、市町村はすべての事に責任がある。重点がひとつということはない。それぞれの中の各論的な事業に優先順位をつけていくことが課題だと思う。
・住みやすい町だと思いますので、内外に魅力をもっとアピールしていただきたい。
・いつ行っても対応できるよう市の職員の皆さんの能力の向上を願っている。
・今日のような行事は民間に頼らず、職員で運営できるように職員の皆さんのスキルアップを期待する。
・美濃加茂市に生まれて良かった、美濃加茂市に住んで良かった、そう思える他市町村に誇れる行政を進めて欲しい

新庁舎整備に係る経緯と今後について

美濃加茂市　新庁舎整備ロードマップ

令和5年3月

資料１

見直しの経緯

第1章　新庁舎整備ロードマップとは

（2）新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係

2021年（令和3年度）途中まで

(旧)新庁舎整備基本構想
現庁舎の課題を整理し、今後の新庁舎整備について「2050年を見据えたまちづくり」の視点から方向性を示したもの。具体的な4つの候補地を選定した。

(旧)新庁舎整備基本計画(案)
基本構想で選定された4つの候補地から、美濃太田駅周辺候補地を新庁舎の整備地とし、新庁舎の整備方針や機能・規模を示したもの。

2022年1月（令和4年）

市長が整備地決定の過程において市民の意見の聴取が不十分であり、
市民との合意形成ができていないことを理由とし、新庁舎整備事業の見直しを表明

2022年3月（令和4年）

新庁舎整備事業を見直すことを政策決定

- 4候補地が白紙になった
- 全て白紙になった

2023年3月（令和5年）

新庁舎整備ロードマップ策定

新庁舎整備ロードマップとは・・・
これまでの進め方の検証を踏まえ、基本構想の見直し、新たな基本計画を作るための指針

2023年4月～（令和5年）

基本構想の見直しスタート

資料２

新庁舎整備ロードマップの策定体制

第1章　新庁舎整備ロードマップとは

(1) 新庁舎整備ロードマップ策定の背景・目的　～令和4年度の取り組み～

◆ (旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)の見直しの決定

2022(令和4)年の市議会第1回定例会で市長は、「新庁舎整備事業の見直しにあたっては、基本構想にある新庁舎整備の基本理念、基本方針などのコンセプトを尊重しつつ、**コロナ禍を経た社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方**などの視点を付与し、基本構想において示された4カ所の候補地の見直しも含め、新たな新庁舎整備にむけた取り組みを始めていきたい」と考えを示しました。また、「取り組みをスタートさせるにあたっては、はじめに、**これまでの計画が『多くの市民の意見や提案を反映したものであったか』を検証する作業を進め、市民の皆様が疑問に思われたこと、強い関心を持たれたことを明らかにしていきたい**と思っております」と述べました。

2022

2022.4
- 新庁舎整備事業について検証を開始
- 新庁舎整備事業プロジェクトチーム「情報整理部会」が始動

2022.7
- 新庁舎整備事業プロジェクトチーム「検証部会」が始動

2022.7-8
- 新庁舎整備における市民アンケート調査を実施

2022.11
- 新庁舎整備における市民アンケート調査結果を市ホームページなどで公表

◆ プロジェクトチームによる検証作業スタート

令和4年度、市では「(旧)新庁舎整備基本計画(案)がなぜ多くの市民と合意形成をすることができなかったのか」について、市民アンケートを実施したり、新庁舎整備事業プロジェクトチームを発足させたりして検証を開始しました。

◆ 市民アンケートの実施

市民アンケートは、市民の皆さんのご意見や新庁舎に対する考えを把握し、これまでの新庁舎整備の推進についても検証しながら、今後の進め方に反映するために実施しました。

統計学上、アンケート回答数が1,000以上であれば、対象人口全体にアンケート調査をする場合と比較して、誤差は3%以下になるとされており、高い精度で市民全体の傾向が把握できることから、今回はこの方法を採用しました。

2022(令和4)年の7月22日から8月12日にかけて実施した市民アンケートは、無作為抽出した市内に在住する15歳以上の市民4,000人を対象とした結果、回収率45.2%、1,809人から回答をいただくことができました。

◆ 検証結果

これまでの計画が「多くの市民の意見や提案を反映したものであったか」の検証結果については、第3章 参考資料(4)新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会資料のとおりです。また、市民の皆さんが疑問に思われたこと、強い関心を持たれたことは、第3章 参考資料(1)-1 令和3年度までの市民意見の整理・集計結果のP.21、 市民の皆さんと合意形成できていないと思われる部分は、参考資料(1)-2 令和3年度までの市民意見の整理・集計結果のP.33のとおりです。

◆ 新庁舎整備ロードマップの策定

この新庁舎整備ロードマップは、これまでの検証に基づき、これからの新庁舎整備の進め方についてのプロセスを定めたものであり、市民の皆さんと共有して、新庁舎整備を一緒に進めていく指針となるものです。

資料３

基本構想・基本計画の内容は現状と未来の市の姿を踏まえて、見直す

第1章　新庁舎整備ロードマップとは

（2） 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係

(旧)新庁舎整備基本構想におけるコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまぁるいまちづくりひろば

・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎
- にぎわいをうむ
- 人が行き交い、商いが育まれる
- 美濃加茂暮らしを楽しくする

安全で安心な庁舎
- 災害に耐え、市民の暮らしを守る
- 地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎
- 利用しやすい
- 働きやすい
- バリアフリー
- ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎
- 市民活動ができる
- 市民が気軽に関わり活動できる
- ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎
- 環境負荷の低減
- 自然環境を活かす
- 社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応

このコンセプトについては、市民アンケートの結果やコロナ禍を経た社会情勢の変化、デジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ、再度市民の皆さんと検討して作っていきます。

資料４

新庁舎整備の進め方

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

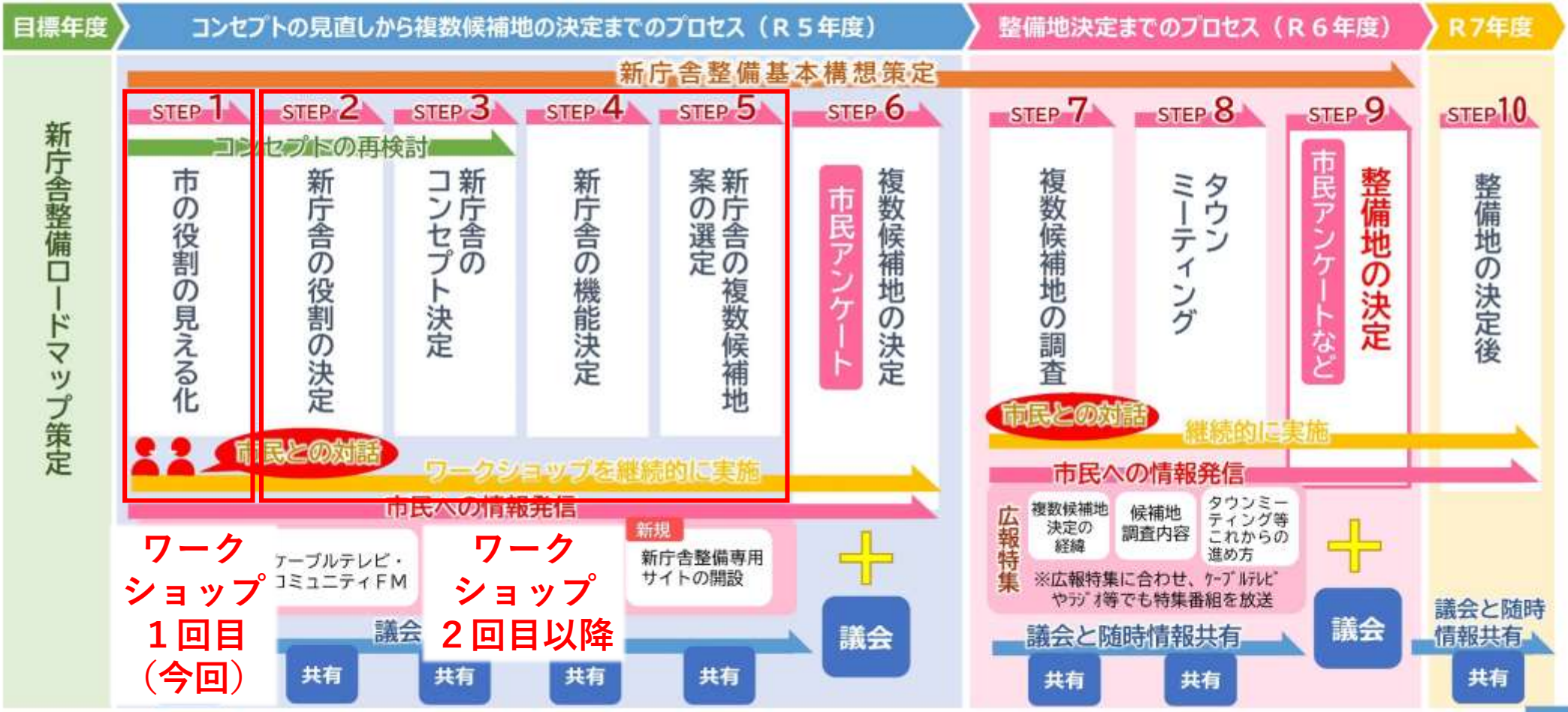
(1)全体プロセス　市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。

資料５

ワークショップの実施計画

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス　市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。



資料６

今回のワークショップのテーマと目的

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

R5年度

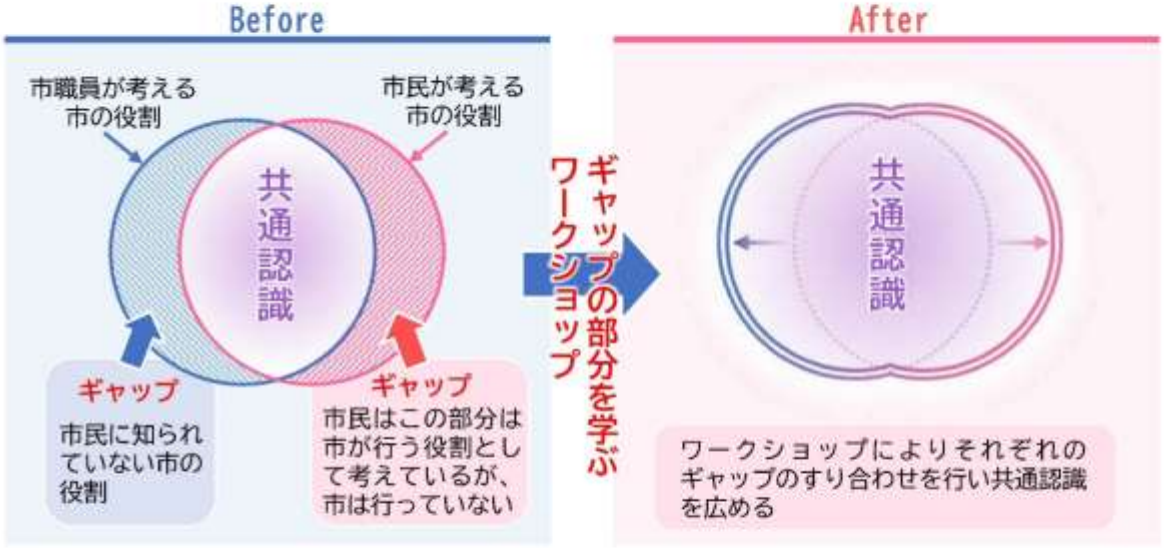
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定

STEP 1　市の役割の見える化

市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割の認識のすり合わせを行います。市民と市職員の考えのギャップについて学びあう機会を設け、市の役割について共通認識とします。

STEP1で実施すること

市民との対話（ワークショップ）



市民の役割

ワークショップ等で市民が考える市の役割について、現在の考えを発信し、市職員や他の市民と共有する。
その上で、自分が知らない市の役割や市職員が考える市の役割について学んでいく。

市職員の役割

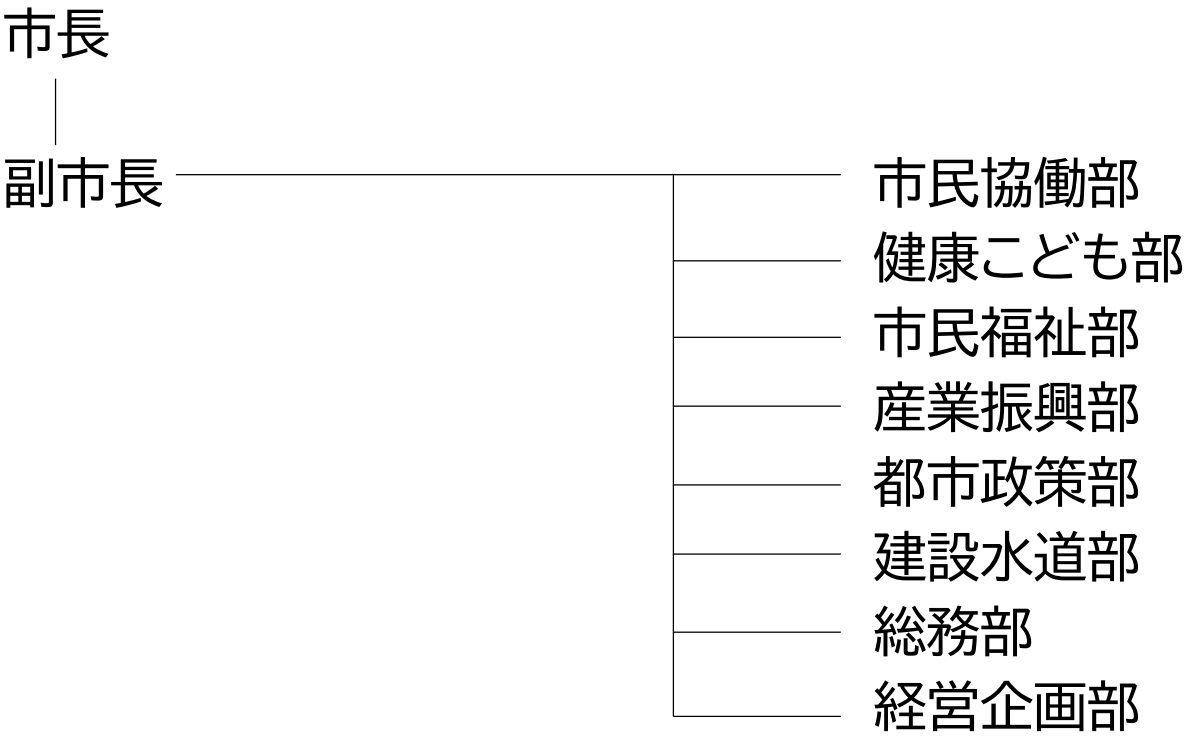
市民が市の役割について学ぶことができる機会を提供する。
また、市職員も市民の考えを学び、市の役割を検討し、見直しをする。

資料７

＜市の役割＞

資料８

美濃加茂市行政組織



公営企業（建設水道部）
議会事務局
監査委員事務局
選挙管理委員会事務局
農業委員会事務局
固定資産評価審査委員会事務局
教育委員会事務局

資料９

各部署の業務内容（出典：美濃加茂市部設置条例）

部署	業務内容（事務分掌）
(1)　市民協働部	ア　公共交通及び移住・定住に関すること。 イ　多文化共生の推進、男女共同参画及び人権政策に関すること。 ウ　地域共生のまちづくりの推進に関すること。 エ　生涯学習に関すること。 オ　スポーツ振興に関すること(学校における体育に関することを除く。)。 カ　文化振興に関すること(文化財の保護に関することを除く。)。
(2)　健康こども部	ア　健康普及、保健指導その他市民の健康に関すること。 イ　保育園、幼稚園及び認定こども園に関すること。 ウ　子育て支援に関すること。
(3)　市民福祉部	ア　国民健康保険に関すること。 イ　後期高齢者医療に関すること。 ウ　国民年金に関すること。 エ　介護保険に関すること。 オ　介護予防に関すること。 カ　高齢者、障害者、児童、母子及び父子福祉並びに生活保護その他の社会福祉に関すること。

資料１０

各部署の業務内容（出典：美濃加茂市部設置条例）

部署	業務内容（事務分掌）
(4)　産業振興部	ア　商業及び工業に関すること。 イ　消費生活に関すること。 ウ　観光に関すること。 エ　産業政策に関すること。 オ　農業及び林業に関すること。 カ　森林の保全に関すること。 キ　環境保全及び公害対策に関すること。 ク　廃棄物及びリサイクルに関すること。
(5)　都市政策部	ア　都市計画に関すること。 イ　立地適正化計画に関すること。 ウ　住宅政策に関すること。 エ　開発指導に関すること。 オ　土地区画整理に関すること。 カ　企業誘致に関すること。
(6)　建設水道部	ア　道路及び河川に関すること。 イ　公園に関すること。

資料１１

各部署の業務内容（出典：美濃加茂市部設置条例）

部署	業務内容（事務分掌）
(7)　総務部	ア　議会に関すること。 イ　法規に関すること。 ウ　情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 エ　財産の管理及び行政文書に関すること。 オ　情報化及び庁内の電算の総合調整に関すること。 カ　市税に関すること。 キ　債権回収に関すること。 ク　消防及び防災に関すること。 ケ　交通安全及び防犯に関すること。 コ　戸籍及び住民基本台帳に関すること。

資料１２

各部署の業務内容（出典：美濃加茂市部設置条例）

部署	業務内容（事務分掌）
(8)　経営企画部	ア　市の重要政策の企画及び調整に関すること。 イ　組織及び行政改革に関すること。 ウ　広聴に関すること。 エ　公共施設の管理及び計画に関すること。 オ　財政に関すること。 カ　契約に関すること。 キ　工事検査に関すること。 ク　秘書に関すること。 ケ　広報に関すること。 コ　職員に関すること。 サ　定住自立圏構想の推進に関すること。 シ　広域行政に関すること。

資料１３

市の役割(出典:美濃加茂市第6次総合計画)

WALKABLE CITY MINOKAMO

～すべての健康のために、歩き続けるまち～

【基本構想】

健康な心を育む
- ✓ 思いやりの心
- ✓ 他者への関心
- ✓ 豊かな心
- ✓ チャレンジ精神

健康な体をつくる
- ✓ 全世代の健康増進
- ✓ 健康寿命の延伸
- ✓ 予防医療の推進
- ✓ 生涯元気

健康な社会を形成する
- ✓ 成長する産業
- ✓ 自然との調和
- ✓ 安心安全なまち
- ✓ 健全な行財政

6つのまちづくり宣言

ハニカム構造とは、正六角形を並べた構造のこと言い、軽くて丈夫で、少ない材料で大きな強さに耐えられる特徴があります。行政は、限られた経費で最大の効果を発揮する必要があることから、このハニカム構造のような仕組み、体制、持続可能な事業の展開を目指します。

【基本計画】 令和2年度～6年度

健康増進

生涯健康で、元気に生きる！

心と体の健康を図り、「生涯元気なまち」を目指します！（健康・福祉分野）

KPI
- ① 健康寿命の延伸（男性）79.90歳→81.00歳（女性）85.00歳→86.00歳
- ② 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合 53.1%→70.0%

＜主要な取り組み（施策）＞
- まず一歩。健康はウォーキングから
- 介護のいらないライフプラン
- 発達支援は、早期発見、早期療育

女性若者活躍

女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！

女性や若者が輝き、自分らしく生きられるまちを目指します！（Caminho・教育分野）

KPI
- ① 生まれる赤ちゃんの人数（年間） 191人→500人
- ② 女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合 20.0%→40.0%

- みんなにやさしく、楽しく子育て
- チャレンジ。自分で学べる教育支援
- 若者のチカラと生涯学習で未来を

多文化共生

みんなで一歩を踏み出そう！

お互いのことを理解し、ダイバーシティを活かした魅力あるまちを目指します！（協働・まちづくり分野）

KPI
- ① 外国人市民の高校進学率 93.1%→97.6%
- ② 多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合 36.3%→50.0%

- 外国人市民も地域のパートナー
- 外国人児童生徒の教育支援

産業振興

活力と"豊かさ"あふれるまち！

付加価値を高め、つくる楽しみと生きがいを感じるまちを目指します！（産業振興分野）

KPI
- ① 1人当たりの市内総生産額 4,021千円→4,100千円
- ② 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合 34.0%→50.0%

- 変わる、はじまる、みのかもツーリズム
- 「働く」から「働きたい」場所へ
- まもる農業、残す里山

地域再生

地域の魅力をアップデート！

１０年先を見据えたまちづくりを目指します！（まちづくり・都市整備分野）

KPI
- ① あい愛バス利用者数 84,759人→120,000人
- ② 住みよいまちだと感じる人の割合 72.2%→80.0%

- みんなのまちを、みんなでつくる
- スクラップ or リノベーション&ビルド
- 地球とまちの環境を守る
- みんなの活動を、みんなで支える

防災減災

もしものとき、生き残るために！

自助・互助・共助を意識することで、様々な環境に適応し、生き延びる力を身に付けることを目指します！（防災・防犯分野）

KPI
- ① 自主防災組織率 79.1%→100%
- ② 災害のための備えができている人の割合 52.0%→75.0%

- 「もしも」の時に備え、生き残る
- みんなの目で見守る防犯・交通安全

※各政策②のKPIについては、毎年行う市民満足度調査により、測定する。

資料１４

市の役割（出典：美濃加茂市第6次総合計画）

【配布資料の見方】

実施計画事業一覧（第6次総合計画を達成するために実施する事業）

政策	健康増進	KPI	①健康寿命の延伸 (男性)79.9歳➡81.0歳 (女性)85.0歳➡86.0歳 ②健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合53.4%➡70.0%

主要な取り組み	
❶	まず一歩。健康はウォーキングから。
❷	介護のいらないライフプラン。
❸	発達支援は、早期発見、早期療育。

取組	事業名	所管課	KPI連動	宣言連動
❶	生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	①、②	
❶	ウォーキング推進事業	スポーツ振興課	①、②	
❶	市民大会開催事業	スポーツ振興課	①、②	
❶	ちゅうたいクラブ事業	スポーツ振興課	①、②	
❶	牧野ふれあい広場整備事業	スポーツ振興課	①、②	
❶	かもけんウォーキング事業（定住）	スポーツ振興課	①、②	
❶	食生活改善業務	健康課	①、②	
❶	健康づくり事業	健康課	①、②	
❶	ヘルステック健康まちづくり事業	健康課	①、②	
❶	健康啓発活動等支援事業	健康課	①、②	
❶	健康データ調査分析事業（定住）	健康課	①、②	
❶	みのかも健康の森活用事業	農林課	②	女性
❶	都市公園整備事業	土木課	①、②	地域
❷	市民ミュージアム活動事業	文化振興課	①、②	
❷	介護予防事業	高齢福祉課	①、②	
❸	幼児療育支援事業（定住）	子育て支援課	①	
❸	カナリヤの家管理運営事業	子育て支援課	①	
❸	発達支援事業	学校教育課	①	
❸	教育支援事業	学校教育課	①	

合計19事業

政策に対し、特に取り組む内容

政策に対し、実施していく事業の内容

資料１５

市の役割（事務対応）

【配布資料の見方】

事務事業一覧

番号	所属名称	事業名称
1	会計課 会計課	会計事務
2	監査委員事務局 監査委員事務局	固定資産評価審査委員会事務
3	監査委員事務局 監査委員事務局	監査委員事務
4	議会事務局 議会事務局	議会運営事務
5	議会事務局 議会事務局	議長会負担金
6	議会事務局 議会事務局	議員費
7	議会事務局 議会事務局	議員活動費
8	教育委員会事務局 学校教育課	就学時健康診断実施事業
9	教育委員会事務局 学校教育課	教育センター運営事業
10	教育委員会事務局 学校教育課	中学校教育振興事業
11	教育委員会事務局 学校教育課	事務局運営事業(学校教育課)
12	教育委員会事務局 学校教育課	いじめ対策事業
13	教育委員会事務局 学校教育課	教育センター研修事業
14	教育委員会事務局 学校教育課	教職員研修事業
15	教育委員会事務局 学校教育課	活躍する生徒支援事業
16	教育委員会事務局 学校教育課	地域・家庭教育推進事業
17	教育委員会事務局 学校教育課	清流の国ふるさと魅力体験事業
18	教育委員会事務局 学校教育課	学校運営協議会事業
19	教育委員会事務局 学校教育課	道徳教育実践事業
20	教育委員会事務局 教育総務課	事務局運営事業(教育総務課)
21	教育委員会事務局 教育総務課	太田小管理費
22	教育委員会事務局 教育総務課	古井小管理費
23	教育委員会事務局 教育総務課	山之上小管理費
24	教育委員会事務局 教育総務課	蜂屋小管理費
25	教育委員会事務局 教育総務課	加茂野小管理費

各部署ごとに対応している
事業内容を示している

資料１６

市民の皆様からのご意見（一部抜粋）

事業名（仮称）	事業内容
都市圏直通バス運行事業	名古屋市への直通バス運行
高校生対象インターンシップ事業	高校生向けの企業参観、工場見学会や企業説明会の実施
福祉医療費助成拡大事業	福祉医療費助成を18歳まで拡大
帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業	帯状疱疹ワクチンを接種する際の費用の一部を助成
あい愛バス発着拠点施設設置事業	大手町公園に発着拠点施設を設置し、あい愛バス待合場だけでなく、学生の学習の場、市政の情報発信の場とするもの
まちづくりDX事業	市役所での申請・受付・相談業務について各連絡所でオンラインで行うことができるようにする事業
公共交通による移動手段の充実	病院、買い物などの外出に不自由なく移動できるようにあい愛バスの運行を公共交通を充実させるもの
広聴推進事業	市民の声を手軽に（ラインなどで）伝えていただく手段の構築
書かない窓口	各種証明書の交付請求や住所異動の届出等の際に、申請書や届出書への記載をシステムにより自動化し、手続きの利便性向上や迅速性を高める。
おん祭夏の陣イベント事業	おん祭夏の陣において、盆踊りをできるようにしてほしい
公共施設Wi-Fi設備整備事業	生涯学習センターをはじめとする市民が多く利用する公共施設にWi-Fi設備を設置
国道21号渋滞対策事業	国道21号（可児市住吉南交差点～加茂野町稲辺）の渋滞対策として、道路車線数2車線を4車線にする道路拡幅事業
定住促進住宅拡充事業	市営住宅の中で空き室となっている部屋の定住促進住宅移行を図る
市内イベント情報集約発信事業	行政・民間の区別なく市内のイベント情報をAIで集約して発信するサイトの構築
中高生のための文化の森学習スペースの無料開放	中学生や高校生が無料で学習できるスペースの開放

資料１７

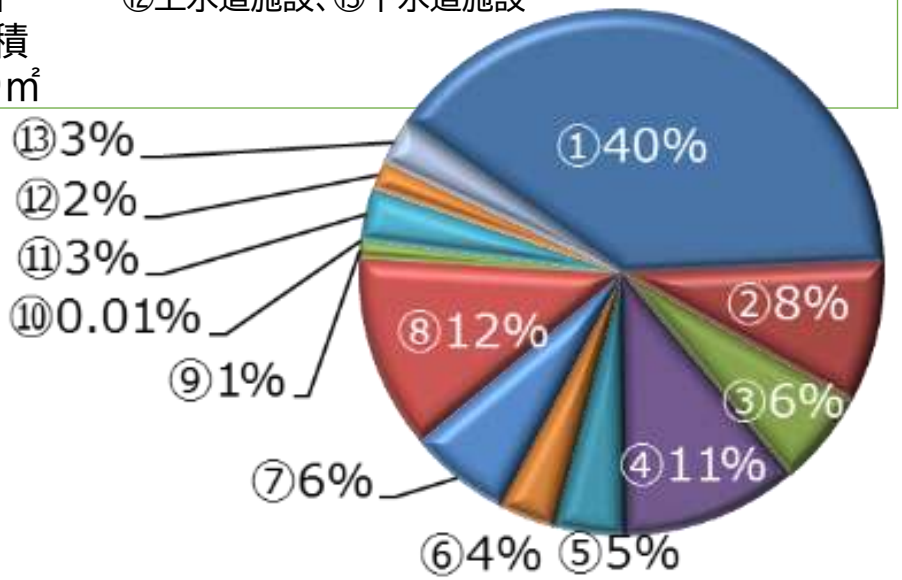
美濃加茂市の公共施設の現状と課題（出典：公共施設等総合管理計画など）

1. 学校、市営住宅、スポーツ・レク施設が全体の約60%を占めます。

美濃加茂市は、約650棟、約17万㎡の公共施設を保有しており、「学校教育系施設」が約40%と最も面積が多く、次いで「公営住宅」、「スポーツ・レクリエーション系施設」の順となっています。

（令和2年度末時点）

公共施設区分	大分類
一般会計 延床面積 159,651㎡	①学校教育系施設、②市民文化系施設 ③社会教育系施設、④ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設 ⑤子育て支援施設、⑥保健・福祉施設、⑦行政系施設、 ⑧公営住宅、⑨公園、⑩供給処理施設、⑪その他
企業会計 延床面積 7,429㎡	⑫上水道施設、⑬下水道施設

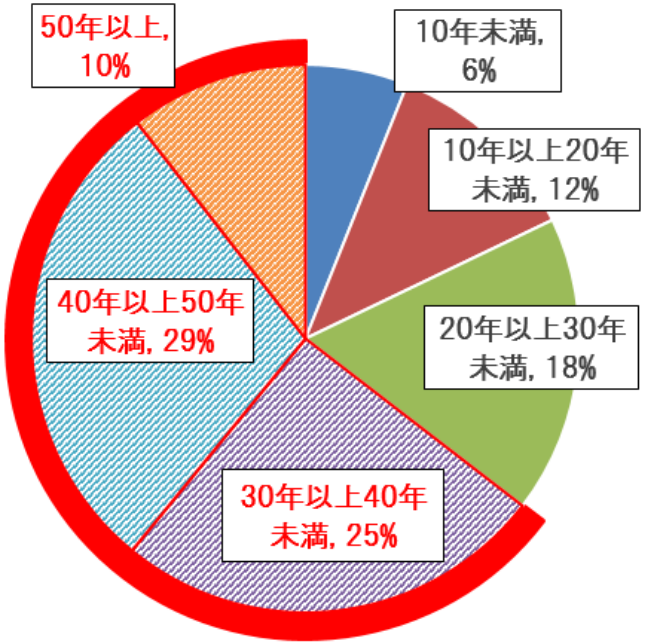


2. 公共施設の老朽化が進んでおり、改修・建替えなどが必要です。

美濃加茂市の公共施設は、築30年以上を経過した建物が全体のおよそ65%を占めるなど、多くの公共施設が老朽化し、大規模改修・建替えが必要な状況となっています。

築30年以上経過した建物　約65 %
築20年以上経過した建物　約82 %

（令和2年度末時点）

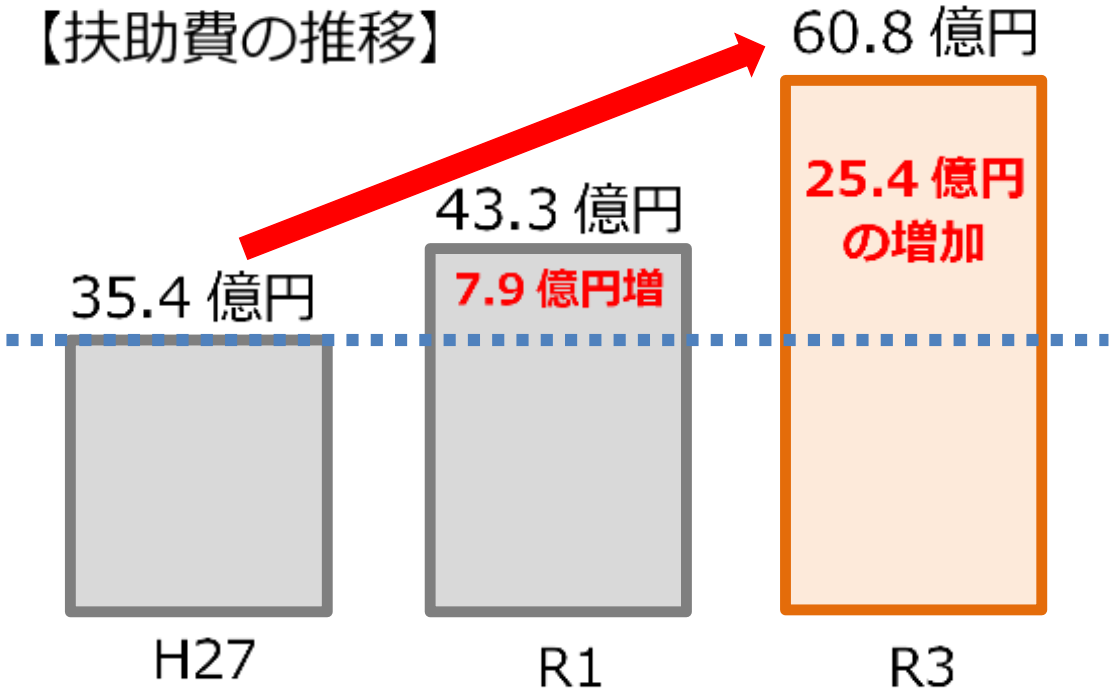


資料１８

美濃加茂市の公共施設の現状と課題(出典:公共施設等総合管理計画など)

3. 将来的には財政状況が厳しくなることが予想されます。

美濃加茂市の財政は、現在は健全な状態ですが、平成27年度と比較すると令和3年度は扶助費※1が約25億円増加するなど、義務的経費※2は増加傾向にあります。今後は少子高齢化による扶助費の増加や人口減による市税収入の減少などにより、将来的には財政状況が厳しくなることが予想されます。



※1:扶助費とは生活に困っている人や子育てをしている世帯、障がいを持っている人などの生活を社会全体で支えるための費用です。

※2:義務的経費とは、市の歳出のうち、その支出が義務づけられ、簡単に削減することができない費用をいいます。扶助費、人件費、公債費(市債(市の借金)の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための費用)から構成されています。

（2）第 2 回市民ワークショップ

第2回　市民ワークショップ　結果概要
テーマ:「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第２回のワークショップは「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに、全３日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1 日目	2 日目	3 日目
日時	令和 5 年 9 月 24 日（日） 14:00～17:00	令和 5 年 9 月 25 日（月） 18:00~21:00	令和 5 年 9 月 30 日（土） 14:00～17:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	22 人	23 人	22 人

(2)開催内容

1．あいさつ
2．情報提供
3．ワークショップガイダンス
4．ウォーミングアップ
　お題：「情報提供資料の説明を聞いて気付いたこと」
5．グループワーク
　お題：「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」
6．全体発表
7．おわりに

(3)参加者募集の概要

●対象：市内在住・市内在勤の中学生以上
●定員：36 名
●申込方法：応募用紙にて参加申込（電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール）
●申込期限：９月 18 日（月）〆切
●募集方法：広報折込チラシ、市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、連絡所・市内施設（47 か所）へのポスター・チラシの設置。

(4)事務局

●事務局：美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」について考えていただきました。

全体の傾向として、「新庁舎の役割」は窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点として対応や情報提供を行うこと及び連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。また、「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」や「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等の相反する意見が出されました。

「新庁舎のコンセプト」は「頼りになる／バリアフリー／便利」といった、すべての市民のサポートを円滑に行うことに関するご意見や「つながる／集う／多様性／気軽さ／多目的」といった、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。一方で「コンパクト／お金がかからない」といった、庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

(2)全開催日の結果の概要

①新庁舎の役割の概要　★は特に多いご意見

カテゴリー	新庁舎の役割
どんな人にも対応	・ハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる ・高齢者にやさしく、わかりやすい ・誰でも気軽に利用できる ・来庁者の立場に立った対応 ★どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど） ★色々な事情がある人の相談の受け入れ ・自己承認感をもらえる所 ・どんな自分でも受け入れてもらえる場所 ・ほっとできる場所 ・多様性を受け入れる環境 ・外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように ★弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所
困りごとを解決する場所	・市民が相談したいことを解決できる ・そこに行けば何かしらの結果が得られる場所 ・手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。 ・困ったことをスカッと解決できる所
相談	・相談者が安心して相談できる ・相談しやすい ・相談に気軽に行ける。 ・専門的な相談機能。
プライバシー確保	★プライバシーが守られる ・プライバシーの確保 ・話す内容が他人の耳に入らないこと
子育て世代も使いやすい環境	・こどもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる ★相談者などがこどもを預かってもらえる場所 ・こどもを見守りながら居る場所 ・子育てに手厚い。 ★子育てに関する相談ができて、安心できる場所 ・安心して妊産婦がいける場所 ・妊婦さんが静かにゆっくりできるところ ★子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ
勤労世代も頼りやすい環境	・サラリーマンは平日日中に市役所にいけない ★（平日に）働く人も頼りやすい庁舎
高齢者支援	・高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい
わかりやすい動線	・トイレがわかりやすい ・シンプルで目的を遂げやすい。 ・目的の場所がわかりやすい。 ・どの課に行けば良いかすぐわかる。 ・来庁者の利便性を高める機能 ・総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。 ★駐車場の位置が分かりやすいこと
わかりやすい窓口対応	・申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。 ・どこに相談してよいかわかりやすく、たらい回し× ★たらいまわしにされない ・窓口など案内をわかりやすく ・タライ回しにされないような対応
交通の便が良い庁舎	・公共交通機関で便利に行くことができる ・学校や保育園からも使いやすくする ・交通面で便利な市役所 ★交通の便がいいこと ★駐車場が広いこと ・車、バス、自転車、徒歩で行きやすい ・周囲の交通状況への影響が少ない
暮らしの拠点	・暮らしの拠点

カテゴリー	新庁舎の役割
市民協働	・議会の様子が分かる庁舎 ・食糧などを提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。 ・安心・安全　モラルの確立のリーダー ・自治力アップする所 ・市民の声をより気軽に市政に届けられるサービス
交流の拠点	★市民も職員も誰もが集える場所 ・誰もが集いやすい交流の場 ・年齢、国の壁を越えて交流できる場所 ・市民活動しやすい。 ・交流拠点になる。 ・市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。（例：岐阜メディアコスモス） ・イベントもできる。→交流 ・集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方がある
憩いの場	・こども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために） ・市役所に用事がなくても利用できる場・歩いて散歩がてら立ち寄れるところ ★こどもが行きたいという場所（ヒマつぶしに行ける場所） ・こども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある
わくわくできる場所	・わくわくできる場所 ・ワクワクを生み出す場所に
学ぶことができる庁舎	・教育の充実 ・市民が自然環境について学ぶことができる庁舎
情報発信・集約	・様々な情報を市民へ ・発信力 ・情報共有の場 ★受けられる支援をすべての市民に知らせる ・支援が必要な人に情報が届く ・情報の集約機能 ・市内、市外への市の情報発信の中心
市の PR	・特産品のＰＲができる ・目につく場所に市のＰＲ（庁舎 1F など） ・観光の拠点、市のＰＲ ・関係人口を増やすために外に対して情報を発信
産業振興	・農業産業を支援する役割 ・観光振興はやってほしい！
企業・起業支援	・起業相談 ・商工会と連携 ・企業誘致
働きやすい環境	★そこで働く人たちが働きやすい庁舎 ・市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎 ★市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！ ・職員の業務が遂行しやすく、ストレスなく働ける ・職員が自発的に動ける。 ・職員の働きがいがある庁舎 ・職員の声が届く。 ★働く人が活き活きできる場所 ・働きやすい→モチベーションにつながる ・職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によいサービスを提供できるようになる ・役所内の情報共有がスムーズにできている。業務の連携が取れている
集約	・バラバラな市役所は不便。健康課は不便。 ・分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる） ・庁舎は分散しない方がいい。本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる ・用件が 1 箇所で処理できること
分散	・連絡所など強力なサポート ★連絡所で解決できる幅を増やす ・「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出回れるようになること。 ・新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。

カテゴリー	新庁舎の役割
行かなくても良い仕組み	・庁舎に行かなくても手続きができる ★手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。 ・家から申請して入手できる ・庁舎に来たくても来れない人の相談にのる
デジタル化	・デジタルの拠点 ・一緒にデジタルに慣れる。 ・デジタルが苦手な人も困らない仕組み
低コスト	・コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え ・市民が自由に過ごせたり自由に使えるスペースは不要。コストが増えるから ・あまりお金がかかっていないこと ・お金のかからない新庁舎にしたい ・庁舎は小さく予算をかけすぎない
フレキシブルに変化	・将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作ってほしい。 ・何が起こるかわからない→変化への対応できるように ・時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること ★変化に対応できる、多目的に使える
まちづくり	・総合的な事業展開できる新庁舎 ・多目的に展開できる土地 ・新庁舎周りのまちづくり ・新しいまちづくり拠点。 ・市の中心的存在。
まちのシンボル	・美濃加茂市のシンボル的な場所 ・美濃加茂市のランドマーク　みんなが集まる場所 ・まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。 ・他市の人が「美濃加茂」をわかるような場所を作ってほしい。 ・市のイメージＵＰ ・位置を真ん中にしてハブにする ・市民が誇れるなにかひとつ
シンボル化しないこと	・シンボル化しない
災害時の拠点	・災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。 ・災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。 ★災害時も市民を守る司令をできる役割 ・災害時に真っ先に市民を救済できる ・緊急時のすばやい発信ができるように ★災害時の拠点、緊急時の対応ができる ・防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望 ・全国から応援に来てくれた時に受け入れられる ・災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎 ★市民が災害時に行ける
環境配慮・SDGs	・環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携
ゴミ処理	★ゴミ処理（ビン、カンなど） ・ゴミを便利に出せるように常時回収ボックスを設置してほしい。
山間部への援助	・太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある

②新庁舎のコンセプトの概要

キーワード	コンセプト
頼りになる	・とりあえず庁舎に ・まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。 ・「市民相談所」 ・市民に寄り添う新庁舎 ・1人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎 ・おれがやっとくわ、みのかも新庁舎 ・困りごとも普段もまかせときゃーえーて、えか！ ・雨が降っても晴れの日も優しい、いつでも集える「テントな新庁舎」 ・すぐ"やる"市役所 ・市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所 ・市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う） ・市民に寄り添う市役所
バリアフリー	・「見えるバリアフリー」「動くバリアフリー」「コミュニケーションバリアフリー」 （障がいを持った人も誰もがわかりやすく、動きやすく、コミュニケーションができる。）
便利	・一つの地に、一つの建物を。 ・生活に便利な新庁舎 ・すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎 ・利便性わかりやすい案内板 ・Compact City(Ciudad)
つながる	・人と人の関わりの拠点「つながる美濃加茂」 ・でっかく「つながる」「つなげる」（広くつながりたい。） ・職員だけでなく、ボランティアや有志など市民全員、いろんな人と出会える「たよりになる人、ここにいます」 ・さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所 ・デジタル化してもみのかもでみんなとつながる ・コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト ・いざという時自然とみんなで助け合える市
集う	・日本の中心である美濃加茂市に、全ての人が集う新庁舎 ・ゆりかごから墓場まで来続けられる市民の拠点 ・すべての市民の集いの場
多様性	・「主役は〇〇」（美濃加茂市の全員、職員、企業、市民） ・若者と高齢者の共生な町 ・だれもが笑顔で共存できる中心となる新庁舎 ・みぃんながよりそえる新庁舎 ・多文化交流があり安心・安全な新庁舎
気軽さ	・バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。老若男女、異国の人手も障がいの有無に限らず、誰でも。公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 ・気軽に、コーヒータイム的に
多目的	・いつでも！誰でも！何にでも！（公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも）
地域の中心	・ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか ・美濃飛騨の結節点として育てる（特徴を生かす、育てる）
ワクワク	・ショッピングモールのようにワクワクする所で人が自然に安心して集まる「市民モールみのかも」 ・相談にきて、ワクワクして帰る「みんなの新庁舎」 ・遊園地のような庁舎（ワクワクする場所） ・あじさいの花のようにそれぞれが咲く、「わくわく集まるあじさいタウン」
働きやすい	・市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）
時代に対応	・時代に合った便利な新庁舎 ・新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎 ・時代に柔軟に対応できる新庁舎 ・ミニマム・シンプル＆フレキシブル。将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。 ・将来用途に対応可能な新庁舎
未来	・「まちがつながる、みらいにつなぐ」 ・今だけではなく、未来を見据えた「次世代新庁舎」「未来へつなぐ新庁舎」 ・多様性を大事にし、色々な人が安心して暮らせるまち「今日と明日をつなげる場所」 ・「未来が集まる場」 ・共に歩み安心な未来へつなぐ拠点
連絡所との連携	・連絡所の充実 ・出かける市役所 ・行かなくてもいい新庁舎

キーワード	コンセプト
連絡所との連携	・どこでも新庁舎（1 つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する） ・新庁舎の輪
デジタル化	・どこにでも市役所
コンパクト	・シンプルな安心コンパクト新庁舎 ・必要十分な新庁舎 ・市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
お金がかからない	・税金でつくるので、安く作るため、市の土地を有効活用
安心安全	・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎 ・粘り強く、しなりのある、「内外強靭」 ・有事の際、心強い新庁舎 ・市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎 ・他の行政機関と円滑な災害対応できる ・再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる） ・安全・安心な新庁舎 ・市民の安全を守る市役所
自然・環境豊	・高台から見渡せるように、広い公園の一角に建つ新庁舎 ・自然の中の新庁舎 ・自然を大切にしたゆとりのある環境、共存しあう（つどう）夢のある新庁舎 ・山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市 ・四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる
日本一	・日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎 ・日本一の市になる為の新庁舎
その他	・「水のような市役所」 ・「道の駅　美濃加茂市役所」 ・アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎 ・笑顔のつながり ・市民、市（庁舎）がお互いに支えあえる、サポーターとしての新庁舎 ・「よく」わかる新庁舎（市のやること、動線、市の動き） ・（公と私の）メリ・ハリのはっきりした庁舎 ・のんびりそこそこ ・住んで良かった幸せと感じられる市 ・市民の想い、期待を具現化する新庁舎

(3)各開催日のグループごとの結果の概要

■9/24　A 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	バリアフリーの新庁舎	施設のハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる庁舎。	
	高齢者にやさしい庁舎、わかりやすく	情報の入手手段や伝え方などソフト面においてもバリアフリーであること	2
	（ハード面）バリアフリー。聴覚障がい者対応。会議や議場はヒアリングループを設置		1
	ソフト＆ハード面で各窓口での対応。音声翻訳ソフトなど。		
	ハード面でバリアフリー（エレベーターや車いす対応）	どんな人にもやさしい庁舎	
	そこに行けば何かしらの結果が得られる場所。	相談したいことなどが解決できることが大切。	
	窓口などの見える化。待ち順などが分かる窓口。	どこにどの窓口があるのか？や申請の手順が庁舎内で導線が見える化されている。	2
	こどもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる。		
	議会の様子が分かる庁舎。	現在は議場の入り口が狭かったり傍聴がしづらかったりしているので、傍聴がしやすい。距離感が近く様子が見れるようにする。	1
	そこで働く人たちが働きやすい庁舎	市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎。職員が働きやすい環境づくりが出来ている。	2
地域のまとまり	自治会の加入を促進する	市からの情報は自治会を通じて住民に周知されるので、自治会に加入してもらいたい。	1
		現状として、自治会に加入するメリットが感じられずに退会される人もいる。	
		自治会のありかたを見直す必要もあるだろう。	
	外国の方への地域ルールの指導（ゴミの出し方やルール）がされる		
魅力ある市をつくる	誰でも参加しやすい設備の整った会議室（フリースペース） プロジェクターやオンライン会議システム、補聴機器などがある。	誰でもが気軽に利用できるスペースや機器が揃っている	
	年齢、国の壁を越えて交流できる場所であってほしい	誰もが集いやすい交流の場づくりがあるとよい。	
産業振興	（なし）		

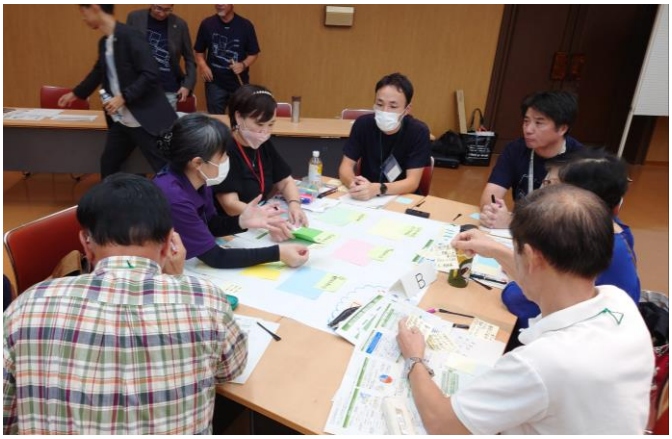
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	常にホームページは新しく（台風時の休校などの情報をアップしてほしい）	台風や災害などが発生したときの学校判断の休校措置など対応がバラバラな場合、ホームページを見れば各校の対応が見れるようになるとよい。（現在は、そうした情報がどこにも公開されていないので分からない）	
便利なまち	公共交通機関で便利に行くことが出来る。	駅や市役所など公共施設を中核にした路線図などを考える。	
	バスの充実。学校や保育園などで使いやすくする。		
	庁舎に行かなくても手続きができる。オンライン窓口がある。	相談ごともオンラインでできるとよい。	
	手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。	高齢の方にとってはデジタル化、オンライン化は対応が難しい。オンラインとオフライン（窓口）が併用されてどちらでも利用できる。	4
	手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。	申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。	1
新庁舎建設の費用（※）	コンパクトに小さく。民間に任せられるところは任せて。	現在は庁舎外に賃貸で入居している課もある。全ての事業課が庁舎内に入れるようになる。	1
	コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え		1
こんな設備があるとよい（※）	サロンや展望室など集える場所があると行きやすい。		
	子育てに手厚い。庁舎内に一時預かりができる、本が読めるような場所があるとよい		
	みんなの冷蔵庫の役割（貧困対策）	食糧など提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。	
	美濃加茂市のシンボル的な場所		

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
まちがつながる、みらいにつなぐ	まちがつながれば、人がつながる。人がつながり未来につながる。
	さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所
いつでも！誰でも！何にでも！ バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。 老若男女、異国の人でも、障がいの有無に限らず、誰でも。 公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。 市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 建材にアベマキを使ってほしい。	アクセスとしてあい愛バスが乗り入れ、利用が増えるとサービスが充実し、更に利用者が増える好循環になる。
・見えるバリアフリー ・動くバリアフリー ・コミュニケーションバリアフリー	障がいを持った人にも分かりやすく（見える）、ハード面でも動きやすく（車いす対応など）、市民と職員のコミュニケーションが気軽に行える
たよりになる人、ここにいます	たよりになる人は職員に限らない。ボランティアや有志など市民全員。ここにくればいろんな人と出会える。
つかいやすい	
メリ・ハリのはっきりした庁舎	公と私のメリハリ（区別）がついている。職員への個人的/感情的な攻撃（クレーム）などが生じない。
気軽に、コーヒータイム的に	コーヒータイムのような気軽さで。
とりあえず庁舎に	
まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。	

■9/24　B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	バラバラな市役所は不便。健康課は不便。		1
	たくさんの相談スペース（小部屋）でプライバシーがある。	申請より相談が大事	
	来庁者の立場に立った対応		
	子育てに関する相談ができて、安心できる場所。	・保健センターの場所が悪い。 ・職員が安心！市民も安心して妊産婦が行ける場所に！	2
地域のまとまり		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	交流センターを活用すればいい！	・連絡所を兼ねている。 ・各学区毎くらいにある。→近さが一番！	1
	公民館の役割は？	館長はいない。	
	自治会の存在感はあるが、加入者は減少中である。	・入会金を無料にしてほしい。 ・外国人は自治会に入っていない。 ・楽しい行事を自治会で作る。 ・「楽しい人」がいる自治会でないと入らない。	
魅力ある市をつくる		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	こども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために）		
	市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！	市民の憩いの場は、既存の交流センターや公民館を活用しよう！	4
	市民が自由に過ごせたり、自由に使えるスペースは不要	コストが増えるから	
	駅前再開発について、先回の再開発は投資しただけで、金銭的に困った店舗の人が多くいた。慎重に考えてほしい。		2
	いずれ撤去されるシティホテル跡地は、森に近い公園として整備してほしい。		1
	将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作ってほしい。		
産業振興	農業・産業を支援する役割	許認可・助成金・補助金のこと以外の市の役割は、新庁舎には不要である。	1
	観光振興はやってほしい！		

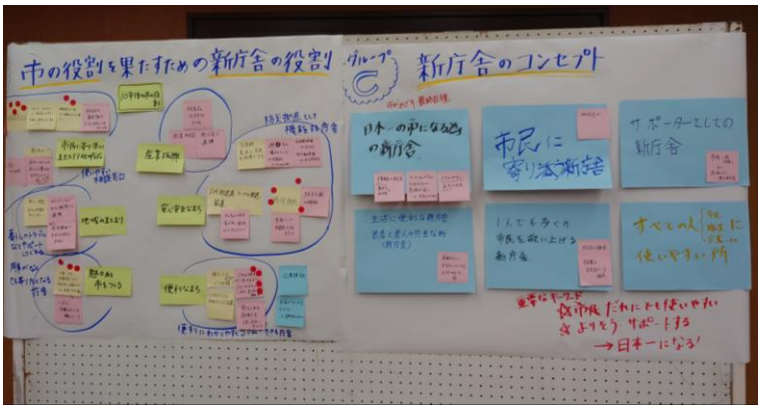
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。		1
	災害に強い立地、建物の造り、ランニングコストがかかりにくいものにしてほしい。		3
	災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。そのために、水がついてはダメで、広い駐車場があってほしい。		1
	避難する時に広い道路が必要。	緊急車両が通れるために広い道路が必要！建物よりもまず道路！！	
	災害時も市民を守る指令をできる役割	・市長から部下たちにスムーズに指令できるように。 ・連絡方法を整備する必要もある。	
便利なまち	証明書の発行のデジタル化。家から申請して入手できるようにしてほしい。	・市役所に市民は行かなくて良い。 ・マイナンバーカードと連携すれば良い。 ・各課に行く必要はない。	
	職員の業務が遂行しやすい。福利厚生（例：休憩スペース・コンビニ・カフェ）を充実してほしい。	職員にストレスなく働いてほしい！	1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
内外強靭	ねばり強い。しなりがある。
必要十分な新庁舎	
有事の際心強い新庁舎	
市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎	
アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎	
新しい市役所は「市民相談所」	市民をまもり支える
時代に合った便利な新庁舎	
新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎	
日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎	
時代に柔軟に対応できる新庁舎	

■9/24　C 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	相談窓口	どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど）	4
		スマホアプリなどを活用して、事前予約ができたり、障がいがある人でもスムーズに適切な相談窓口に行けるようなシステムを作る	
	リモートオンラインで相談できる　庁舎に来られない方もいる		
	相談者が安心して相談できる場・人	たらいまわしにされない工夫として、相談の事前予約ができるように	2
	老人ホーム	老人ホーム自体は庁舎になくてもＯＫ 高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい	
		子育て世帯が使う保健センターと物理的に近くに設置し、連携すれば、庁舎も利用してもらえるようになる（子育てしていてもなかなか庁舎に行く予定はないため）	
地域のまとまり	安心・安全　モラルの確立のリーダー	警察など別の機関と連携して、何かトラブルがあったときの対応をしてほしい 例）自治会でもめたときの対応など	
魅力ある市をつくる	公園・カフェ・図書館など市役所に用事がなくても利用できる場	一方で、予算的には難しいので、機能としてはシンプルでありつつ利用したくなるような工夫が必要	3
産業振興		特産品のＰＲができる	
		企業相談	
		商工会と連携	
安心安全なまち	災害時に真っ先に市民を救済できる	避難場所としての機能（川の氾濫時）	
		立体駐車場→避難所として利用 地下駐車場→遊水地として利用（水を貯める）	
	ＦＭ放送局設置	緊急時のすばやい発信ができるように	
	ケーブル放送		
	防災拠点	防災公園の機能	4
		本部として機能できるように	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	市民サービス　ゴミ処理（ビン、カンなど）	ゴミを便利に出せるように 具体的には、わざわざビニール袋に入れなくても、常時回収ボックスを設置していてほしい 関市や富加町の例を見てほしい	4
	モバイルバッテリー回収ボックス設置		
		ゴミ処理については、受け入れる市側も使いやすい（負担にならないような）サービスであるべき	
その他の意見（※）	企業誘致	働く場を増やすことが産業振興につながる	
	お金がないからできない　は説明じゃない	以前、ゴミの回収ボックスに関する要望を市職員にしたところ、「お金がないからできない」という回答があった。考える姿勢を見せてほしかった。	

（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
日本一の市になる為の新庁舎	市が目指す最終目標
	魅力や住みやすさについての情報の発信
	住みやすいまちの日本一
	ＷＳで皆さんの意識が高いと感じた→日本一になる可能性がある
市民に寄り添う新庁舎	STEP2 で相談窓口についての話が盛り上がったことを考えても、市民に寄り添うということが重要
サポーターとしての新庁舎	市民・市（庁舎）がお互いに支えあえる
・生活に便利な新庁舎 ・若者と高齢者の共生な町（新庁舎）	高齢化に対応していけるモデル的な市を目指す
1 人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎	・防災の視点 ・弱者を守るという視点
すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎	

■9/24　D 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	市役所職員の環境整備 「現場主義」		2
地域のまとまり	総合的な事業展開できる新庁舎 図書館、体育館、コンビニ、喫茶店、市役所	面の一つととらえる	1
	一団の土地として考え、機能する。 多目的に展開できる土地		
	自己承認感もらえる所	コミュニティ	1
	どんな自分でも受け入れてもらえる場所		
	わくわくできる場所 学校、施設 高齢者、障がい者ごちゃまぜ		
	ほっとできる場所		
	教育の充実 ・待機児童 ・学童保育		
	まちづくり、自治会、ボランティア団体の発展、リーダーシップ		
	自治力アップする所		
魅力ある市をつくる	情報発信機能 様々な情報を市民へ	存在が学びになる	1
	市民が自然環境について学ぶことができる庁舎		
	美濃加茂市のランドマーク みんなが集まる場所	美濃加茂といえばとなる場	1
産業振興	ケア部門の仕事は市が担当して働く人を保証し、確保する	福祉部門	1
安心安全なまち	災害時の拠点 緊急時の対応ができる		3
	災害時に重要な拠点となるべき →それには人材の育成が必要	ハードだけでなくソフトも （人材、リーダーシップ）	1
	防災に優れた市民生活を守る市民の命を守る立場に立つ		2
	人材を市に求めるだけか。 ほかの関係機関に求めるのか。 職員にたよるだけでなく人材を育てる		
	防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望		2

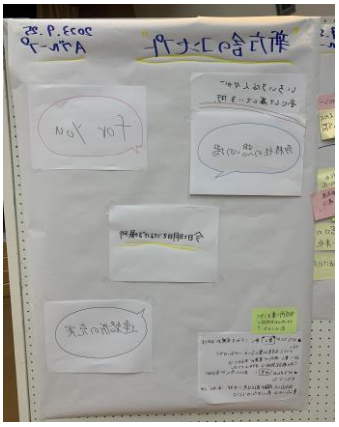
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	歩いて散歩がてら立ち寄れるところ	各地に権限機能を充実	
	市の役割は 10 年でいいが、建物は土地と共に 30 年先を見越したまちづくり		
	便利な市役所 交通面、機能面		
	連絡所など強力なサポート 連絡所ができること増		1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
広い公園の一角に立つ新庁舎	高台から見渡せるように
わくわく集まるあじさいタウン	あじさいの花のようにそれぞれが咲く
・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎	安心、安全
・みんなの新庁舎 ・みんな尊い存在と認め合い のんびり聴いて話そう 川、森、山を愛でながら もうワクワク止まらない新庁舎	相談に来て、ワクワクして帰る
・次世代新庁舎 ・未来へつなぐ新庁舎	今だけではなく、未来を見据えて
安心コンパクト新庁舎	庁舎はシンプル、ほかに予算を

■9/25 A 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

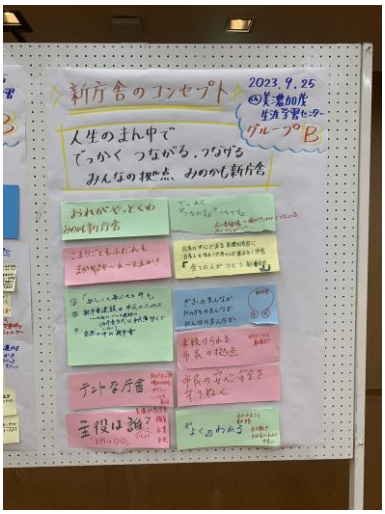
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	発信力		
	対応の均一化	担当者が違うと対応が変わる	1
	たらい回し×	どこに相談してよいかわかりやすく	2
	窓口の一本化		
	一人高齢者		
	駆け込み寺		
	弱い存在の強みを活かす	子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ	2
地域のまとまり	IT 化（DX）	IT で連絡所の機能充実など	6
魅力ある市をつくる	ワクワクを生み出す場所に		
	本庁舎よりも連絡所の機能充実	相談しやすい	4
	住民福祉の充実・向上		
産業振興	新自由主義に負けるな！職員が怯えている	商工会議所に市役所が負けている	
	新庁舎周りのまちづくり		
安心安全なまち	安心安全な防災拠点		1
便利なまち	ペーパーレス		
新庁舎の機能（※）	交流の拠点		
	食堂があると言い		
	ミニ県庁のようなものはどうかと	物や形に拘らない	
	広いスペース、明るい空間	プライバシーの確保	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
今日と明日をつなげる場所	
→多様性の思いの場	
→いろんな人々が安心して暮らせる街	
→For　You	
→連絡所の充実	
皆さんが集まることに拘る意味が分かりません	市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
防災に本当に関心があるのか疑問です	

■9/25 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	明るくきれいで入りやすい。		
	市民の誰もが集える場所	市民も、職員も！	5
	休憩できる場所。	社食・食堂	
	待ち合わせスポット・カフェ・広場等	妊婦さんが静かにゆっくりできるところ。	
	こどもの待機場所	こどもを見守りながら居る場所	
	相談に気軽に行ける。	市民活動しやすい。	
地域のまとまり	職員が自発的に動ける。		
	職員の働きがいがある庁舎		
	職員の声が届く。		
	職員が活力ある庁舎		1
	取り上げられない市役所は、一つの建物場所であるべき。		
	新しい庁舎建設が、そこで働く職員の意識改革を求める。		
	にぎやかなまちづくりのために庁舎計画を立て、強引に推し進めたことは何人なのか？		
	いろいろ出される市民の要望は、縛ることになる。（意見は意見として列挙して施策として活かしてほしい。）		
魅力ある市をつくる	まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。	他市の人が「美濃加茂」をわかるような場所を作ってほしい。	
	こどもがいても手続きしやすい。		
	新しいまちづくり拠点。市の中心的存在。	・将来を見据えて用地を決めよう！！ ・50 年先、100 年先を見据えた建物	1
	図書館と新庁舎を一緒にできませんか？	・交流拠点になる。 例：岐阜メディアコスモス ・市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。	
産業振興	起業相談、企業サロン	既存の組織としては「姫 biz」がある。	
	商談の場	商工会を新庁舎に入れる。	
	サテライトオフィス	既存のものは、商店街にはある。	

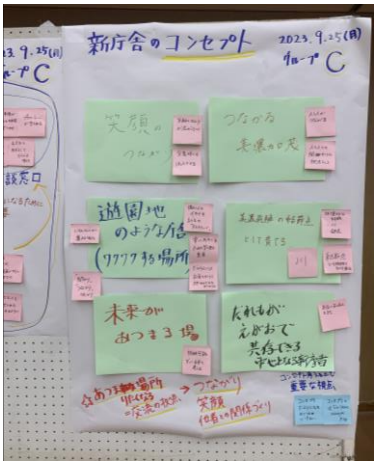
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	避難所	市民が災害時に行ける！	3
	防災拠点	絶対もちこたえる！	1
	駐車場でイベントができる。	イベントもできる。 →交流	
	大きな駐車場	全国から応援に来てくれた時に受け入れられる。	4
	テポドンから身を守れる。	地下を作る。 →災害時のシェルターになる。	
	新庁舎は安全安心な防災拠点となることが大前提。		
	自動車社会に適応した広い駐車場	旧計画業務基本は概ね集約されているのに、なぜ実行計画でできないのか。	
便利なまち	駐車場から庁舎へベルトコンベアで行ける。	車椅子が通れる広い廊下を作ってください。	
	ドライブスルー		
	バリアフリー		1
	トイレがわかりやすい	トイレを広くしてほしい。 天井を高くしてほしい。	
	分かりやすい動線	バリアフリー	
	シンプルで目的を遂げやすい。		
	目的の場所がわかりやすい。		
	どの課に行けば良いかすぐわかる。		
	デジタルの拠点	・人間の価値を出していくべきだ。 ・いかに人が幸せに暮らせるかを軸にしよう！！	
	一緒にデジタルに慣れる。	・交流のきっかけになる。 ・気軽に尋ね合える。	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
おれがやっとくわ、みのかも新庁舎	
困りごとも普段もまかせときゃーえーて、えか！	
安心して暮らせる町を	
新庁舎建設は市民のために	一つの地に、一つの建物を。（分庁舎方式は市民が望んでいない。）
自然の中の新庁舎	
テントな庁舎	・雨が降っても晴れの日も優しい。 ・いつでも集える。
主役は誰でしょう？「主役は〇〇」	・美濃加茂市の全員 ・職員 ・企業 ・市民
でっかく「つながる」「つなげる」	・広い駐車場→場がきっかけにつながる。 ・広くつながりたい。
全ての人が集う新庁舎	日本の中心である美濃加茂市に。日本人を含め（世界の人が集まる）庁舎。
ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか	生から死までの真ん中にある新庁舎
来続けられる市民の拠点	ゆりかごから墓場まで
市民の安心安全を守り抜く	
「よく」わかる	・市のやること ・動線 ・市の動き ・わかる→わかりやすい

■9/25 C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	市民とつながる		
	市民に寄り添う	庁舎に来たくてもこれない人の相談にのる 例）DX、職員が外に出ていく	1
	多様性を受け入れる環境	色んな人を受け入れられるように	
	暮らしの拠点	子育て、相談窓口、福祉、介護など様々な分野における拠点	1
	相談機能の充実 安心して相談できる場の設定	色々な事情がある人の相談の受け入れ	3
		プライバシーが守られる	
		たらいまわしにされない	
		相談者などがこどもを預かってもらえる場所	
		相談機能を充実するうえで、仕組みばかり整えても意味がない 対応する職員のスキルが大事であり、職員のキャリアアップ（スキルアップ）が重要	
地域のまとまり（庁舎の役割以外）		外国の方は新庁舎に関心を持っているか 人口の 10%近くの外国人がいるため、その意見も重要	
		自治会に加入する人が少ない	
魅力ある市をつくる	市のイメージＵＰ	建物自体に魅力がある 例えば、ただの箱のような形の建物だと行きたいと思えない、市産材を使用するなど特色を生かした魅力ある建物にしてほしい	1
	市のシンボル的建物		
	働く人が活き活きできる場所	働きやすい→モチベーションにつながる	5
		働く人の笑顔が増える	
	ハード（建物・外形）よりソフト	魅力ある市をつくるためには、ソフト（サービスの質等）の方が重要である	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
魅力ある市をつくる	こどもが行きたいという場所 （ヒマつぶしに行ける場所）	新庁舎建設について、無関心な市民が多いという現状は、普段から庁舎に足を運ぶ機会がないことに要因の一つがあると思う。こどもの頃から何度も足を運んでいれば、庁舎への関心をもてるようになるはず	2
		庁舎に関心が持てるような工夫の例 ・１Ｆにレストランやテナントなどがあって、庁舎のある建物に入りやすい工夫をする ・ガラス張りにした議会を１Ｆや２Ｆに置いて、市政に興味を持たせる工夫をする ・庁舎のレストランやカフェなどで、議員さんとつながれる（話す機会などがある）	
産業振興		目につく場所に市のＰＲ（庁舎 1F など）	
		市に関わってくれる企業とのつながり（オンラインなども活用して、より広く自由につながってほしい）	
安心安全なまち	防災の中心（ハード的）	災害時にびくともしない	3
	災害時の司令塔		
便利なまち	交通の便がいいこと 駐車場が広いこと	車社会なので、庁舎を建設するうえで必須の条件となる	2
その他（分散と集中について）（※）		証明書の発行は支所やコンビニでもできるため、機能としては分散しても OK	
		来庁者の利便性を考えて一か所に集中するべき部署もある （例えば相談をしにいってその担当課が別の場所にあるとなると大変）	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
笑顔のつながり	笑顔が新たな笑顔をつくり、笑顔のつながりが広がっていく
	笑顔のつながりがある庁舎は、災害時にもホッとできる
つながる美濃加茂	人と人がつながる
	人と人の関わりの拠点として
遊園地のような庁舎（ワクワクする場所）	働く人のイキイキがこどもの「行きたい」につながる
	遊園地は楽しく遊ぶために乗り物の管理などをしっかりしている 市庁舎も、楽しく遊べるための管理が重要
	だからと言って、お金をかけて大きいものをつくってほしいわけではない
	いろんな人が集まる場所
	「関わり」「つながり」のきっかけになる場所であってほしい
未来が集まる場	ずっと未来を考え続ける場所　持続可能にもつながる
美濃飛騨の結節点として育てる	美濃加茂市の地理的な特徴が川と鉄道の結節点があるということ
	結節点という特徴を生かす、育てる
だれもがえがおで共存できる中心となる新庁舎	お互いに支えあえるまち

■9/25 D 班

1. ワークショップの様子

2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	住人の期待、相談によりそう行政であってほしい	相談安心	2
	なぜそうなるか立場をよくみて小さなことでも考え取り合ってほしい		
	こどもがいても安心な待合場所		
	こども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある		
	職員がフットワークが軽く外へ行ける組織づくり	解決までのスムーズさ	
	市役所の仕事の見直し		
	困ったことをスカッと解決できる所		
	職員も安心して働くことができる		
	市民中心、市はサポート		
	誰もが安心して相談に行けること		1
	情報共有の場	意見の分析、理解	
地域のまとまり	加茂野の連絡所はこどもが集まっている	連絡所との関係性	2
	連絡所で解決できる幅を増やす		
魅力ある市をつくる	時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること →柔軟なレイアウト		
	あまりお金がかかっていないこと →他のことにお金が使えるから	予算	
	お金のかからない新庁舎にしたい		1
	庁舎は商売ではない。 にぎわいづくりは別		
	会議室やミーティングが気軽に無料でできる場所		1
	明るいフロア		
	アベマキを使用した木造		
	ホッと一息コーヒーを飲める場所がある		
	影色をながめながらゆっくりと食事がとれる場所		
	安全な場所、みんなが集まりやすい場所（車社会で）		
	観光の際のパーキングになる		
	人が集まるところを作って、そこの一角に市役所があるといい	シンボル化しない	1
	公園の中にある庁舎		1
	市役所は市の顔であってはいけない。 市役所は市民のためのもの。市の顔は市民		2

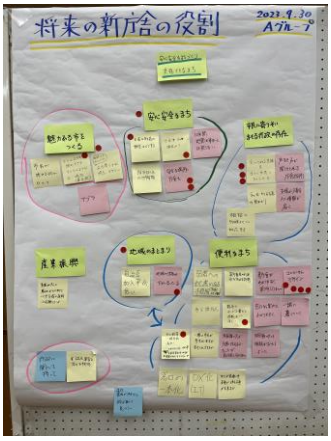
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
産業振興	イベントホールを庁舎に		
	城にする		
	ホテル機能 バイキングの朝食も食べられる		
安心安全なまち	災害時に対策本部として機能すること （電源、水、強い建物）		
	防災対策本部 被災時にしっかりと動ける		
	お金を安くする方法 ①前平公園は市の所有 ②すべて条件がそろっている 【疑問】前平の年間の利用者数		
	市民が納得できる場所 市所有の前平公園		
	位置を真ん中にしてハブにする	ゾーニング （庁舎→商業地・住居→生産地）	
便利なまち	車、バス、自転車、徒歩で行きやすい （逃げ場としてふさわしい）		

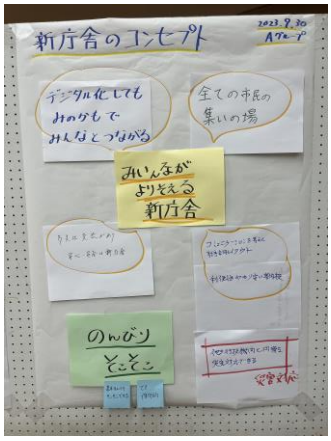
(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
自然を大切にしたゆとりのある環境 共存し合う（つどう）夢のある新庁舎	アベマキ、杉、松、木材建築の活用 代替、再利用できる
道の駅 美濃加茂市役所	・アベマキ造りの道の駅 ・そこで農作物を売る農家、新しい店 ・周りにある里山公園で遊ぶこども ・その一角にあるアベマキ造りの新庁舎 ・自然と人が集まる場所
水のような市役所	・普段意識しない。でも必要なもの ・すぐそばにある ・形を自由に変えられる ・人が集まるオアシス ・時代や技術に合わせた柔軟なレイアウト ・みんなにとって大事なところ でもそんなに肩肘張らないゆるやかな場所
市民モールみのかも みんなで のんびり かかわって もりあげよう	・ショッピングモールのようにワクワクする所がたくさんあって、人が自然に集って、かつ、安心できる場所 ・アベマキを使ってあたたかな雰囲気で
①安全な場所 ②税金で作るため安く作る →結果前平公園につくる	市の土地を有効活用

■9/30　A 班

1. ワークショップの様子





2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

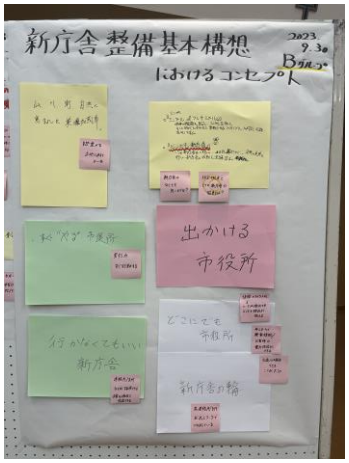
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い守る行政の存在	受けられる支援をすべての市民に知らせる	声なき声が聞き取れる	3
	社会的弱者の見守り	支援が必要な人に情報が届く	
	相談の多様化に対応する		
地域のまとまり	自治会加入率が低い	地域の活動が下火になっている	2
魅力ある市を作る	市民が誇れるなにかひとつ		
	ふらっと立ち寄り話ができるアゴラのような広い場所（集会所）		1
	相談やおしゃべりに立ち寄りやすい明るいデザイン		1
産業振興	美濃加茂の農地がなくなっていく中、今後の食料は問題ないか		
安心安全なまち	生活を守るための防災はどうする		1
	新庁舎建設は 10 年後で確定か？	10 年間地震が来ないとは限らない	1
	防災拠点としての機能	安全な場所に庁舎を	2
便利なまち	弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所	ユニバーサルデザイン	4
	来庁者の利便性を高める機能	来庁者がわかりやすく説明してほしい	
	多言語対応	外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように	
	職員はサービス業だと認識してほしい	窓口など案内をわかりやすく	1
	一般の市民が多文化共生を受け入れられるのか	外国籍の方が戸建住宅に住むようになったが自治会には加入しない	
	市職員、一般市民、年齢隔たりなく使いやすい		1
	窓口の一本化		
	DX 化（IT）		
	DX が進む中全員が使うことができるか	デジタルが苦手な人も困らない仕組み	

（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
みぃんながよりそえる新庁舎	
→デジタル化してもみのかもでみんなとつながる	
→すべての市民の集いの場	
→多文化交流があり安心・安全な新庁舎	
→コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト	
→利便性わかりやすい案内板	
のんびりそこそこ	基本なんでもそこそこできる
	でも保守的
他の行政機関と円滑な災害対応できる	災害対応

■9/30 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	新庁舎をなるべく一か所にまとめてもらいたい。来庁するのに便利		
	窓口が一本化されている。ワンストップに集約されている。		
	総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。	床に行先を示すラインが引かれている、など。	
	各連絡所の格上げを望む。支所に格上げをして本庁への確認などなく決定権を持たせてもらいたい。	連絡所で判断/決定ができるようになる。	4
	「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出回れるようになること。	顔が分かる職員が支所にいる状態を望む。	1
	新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。	現場に近いところで職員が働くことで、より具体的/実働的になる。	
		新庁舎に求める役割が申請から相談に変化していくのであれば、連絡所の方が充実していくことが良いのでは？	
	作業ではなく、仕事をしてほしい（＝価値を生み出す）		1
	職員が行きやすい、働きやすい職場環境や配置を考える。	職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によいサービスを提供できるようになる	1
	職員の働きやすさ	職員も楽しく働けることが大切。	
	議員の方が住民とワークショップなどを開催し、その声を拾って議会に届けられるようになるとよい。		
地域のまとまり	太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある		
魅力ある市をつくる	環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携	新庁舎のありかたとして SDGs を意識したもの、そうしたコンセプトを大切にする	
	連絡所や支所の充実において、空き家などをリノベーションして活用するなども SDGs 的な取り組みになる		
	既ににぎわいがある場所、拠点になっているところに新庁舎を建設するのも良い。		
	新庁舎が拠点になって、周辺がにぎわい活性化していくということも考えられる		
産業振興	企業誘致に力を入れて市税を潤してほしい。		1
	農業に従事する高齢者への対応	田畑の継承問題や農業振興に力を入れる	

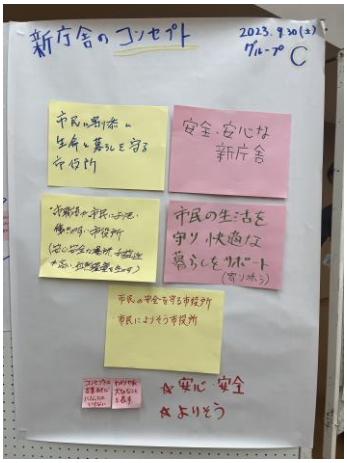
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	防災拠点	災害時にも機能する新庁舎	
安心安全なまち／便利なまち	災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎	役割が明確になっており、災害時に機能する	1
	高齢者の人と市役所が連絡が取れる	日ごろから顔が見える関係づくり	
	DX 化。庁舎にいかなくても良い。		1
便利なまち／新庁舎に求められる役割やサービス（※）	横ぐしの情報連携	役所内の情報共有がスムーズにできている。業務の連携が取れている	
	機能的にも複雑ではない庁舎		
	時代に合わせてフレキシブルに変形できる庁舎		1
	乗合タクシーサービスがある		
	一家に一台 PC を配布し、市役所とつながるようにする。市役所サービスが受けられるアプリを開発する		
	防災の司令塔としての機能（対応のまとめ役）		
新庁舎に求められる役割やサービス（※）	横断的に連携することが必要な業務		
	専門的な相談機能。情報の集約機能		
	音声で話したことが意見として AI で文字化・集約され、市民の意見としてまとめられる。	市民の声をより気軽に市政に届けられるサービスとして	4

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市	自然豊かな立地にあるとよい。
すぐ"やる"市役所	実行力がある市役所、すぐに行動する
出かける市役所	市民が市役所に行くのではなく、市が市民・地域に出てくる。 →市役所機能の分散・地域化
行かなくてもいい新庁舎	連絡所や支所などで相談でき、必要なときには新庁舎に訪問できる。
ミニマム・シンプル＆フレキシブル。 将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。	大きな道路に面しているなど、交通が確保できることは大切。
どこでも新庁舎 1 つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する	新庁舎はひょっとするとなくてもよいのかもしれない。
どこにでも市役所	必要な情報が安全な場所にクラウド化され、どこからでもアクセスできるようになると、ハード（建物）がなくなっても、どこでも市役所の機能を担うことができるようになる。
	再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる）
新庁舎の輪	各連絡所や支所がネットワークでつながり、全体として「新庁舎の輪」ができている

■9/30　C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	対応が優しい（話しやすい雰囲気）電話などの応対	何でも聞きやすい	2
	気軽に相談できる（行きたくなるような）		
	利便性の高い行政サービスを提供		2
	自宅で申請できる	デジタル化 一方で、市役所は市の思いを受け止める場であってほしい。「ＨＰにあります」とかではなく、一人ひとりのできること、できないことに寄り添ってほしい	
	土・日営業	第２土曜はやっています等	
	時間を長くしてほしい	サラリーマンは平日日中に市役所にいけない	
地域のまとまり	意見なし		
魅力ある市をつくる	分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる）	庁舎は分散しない方がいい 本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる	
		職員が働きやすい庁舎＝市民にとって利用しやすい	3
産業振興	観光・市民交流の拠点、市のＰＲ	関係人口を増やすために外に対して情報を発信	
安心安全なまち	防災拠点となる市役所（広い駐車場、広いスペースで変化への対応、来場しやすい場所で利便性も確保、自然災害に耐えられる）	温暖化、水害、地震、台風、集中豪雨など様々な災害に耐えられるように	5
		何が起こるかわからない→変化への対応できるように	
		消防署を水が付かないところでかつ市役所の近くに置くべき	
	スムーズに安全対策対応ができる（物資がすぐ届く）	司令塔	
	いざという時の防災拠点	庁舎がしっかりした作りだと気持ち的に安心	
便利なまち	交通の便が良い		
	駐車場を広く　交通スムーズ		
	その他の意見	あい愛パスを増やしてほしい	
		タクシーパスポートを高齢者に配ってほしい	

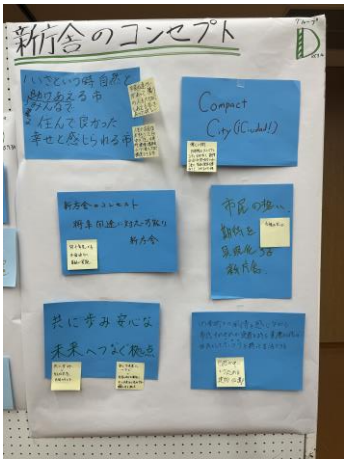
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
その他 （※）	庁舎に交流の場は必要？→必要ない	庁舎は小さく予算をかけすぎない	
		市役所以外に遊べる交流の場はある	
		逆に市役所以外の使われていない施設を有効活用すべき	
		新庁舎には、交流の場よりも質の高いサービスを求めたい	
		庁舎で市民の人の文化活動を紹介してあるような場あるとよい（集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方）	
	変化に対応できる、多目的に使える	その時々によってニーズや必要な機能は変わっていくため、変化に対応できて多目的に使える庁舎であることが重要	3

（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所	
市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）	
安全・安心な新庁舎	
市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う）	
・市民の安全を守る市役所 ・市民に寄り添う市役所	

■9/30 D 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	（平日に）働く人も頼りやすい庁舎	時間的アクセシビリティ	2
	すぐやる課 （松戸のようにワンストップで解決できる課の新設）	窓口の１本化	2
	用件が１箇所で処理できること		1
	タライ回しにされないような対応		1
	周囲の交通状況への影響が少ない		
	DX 推進による小さい新庁舎 （各連絡所が相談窓口として機能）	空間的アクセシビリティ	1
	話す内容が他人の耳に入らないこと	プライバシー	1
	個別ブース		
	「すぐやる課」の多文化対応		1
地域のまとまり	自治会退会による地区連携減少への対応	自治のルールづくり	
	自治会と氏子を分けてほしい		
	近くのごみ収集場所を利用しても良い規約づくり		
魅力ある市をつくる／産業振興	市のシンボル化		
	高台 （遠くからでもどこにあるか分かる）		
	展望台		
	市内、市外への市の情報発信の中心	市内への発信が自治へつながる。 市外への発信が市の魅力アップにつながる。	1
安心安全なまち	位置		2
	防災の拠点		2
	地盤的に高い場所		
	災害時に応援物資運搬車両がアクセスできる場所		
	防災上安全であること	司令塔となる	
	水害に強い新庁舎 （洪水に強い場所、建物）	洪水の経験を活かす	1
	周りにあまり建物がないところ	空き地を利用した避難が可能	
	駐車場の位置が分かりやすいこと		3
便利なまち	（便利なまちを実現するために） 行政職員が働きやすい庁舎	・庁舎内の動線 ・リモートワーク	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
1．いざという時自然とみんなで助け合える市 2．住んで良かった幸せと感じられる市	市民の連携があって、隣の人も大切にしあえる市であってほしい。 人生で衣食住がそろうこと。その中で「住」は場所、 環境（精神的ムード）で大切で提供できる市
Compact City(Ciudad)	優しい街 日本語のコンパクトシティではなく、英語のほうが意味合いが強い。 多文化共生を兼ねて。（）内はスペイン語
将来用途に対応可能な新庁舎	何十年先でも不自由なく事務が万能
市民の想い、期待を具現化する新庁舎	今後もずっと。 （新庁舎自体が想いを具現化された場所ということではなく、想いを具現化する存在として新庁舎がある）
共に歩み安心な未来へつなぐ拠点	共に歩み＝多文化共生（外国人の方とも）。 安心な未来へつなぐ＝災害時でも安心。ずっと未来まで住みやすいまちを守る拠点
四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる	自然の中にとけ込める建物、位置！

第２回市民ワークショップ　アンケート結果

1.　ワークショップ概要

①　目的

将来の新庁舎の役割を検討する。また、それを踏まえ、新庁舎のコンセプトを考える。

②　対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者　67 名

③　実施日時

① 2023 年 9 月 24 日（日）14:00～17:00
② 2023 年 9 月 25 日（月）18:00～21:00
③ 2023 年 9 月 30 日（土）14:00～17:00

④　実施場所

生涯学習センター201

⑤　アンケート回収状況

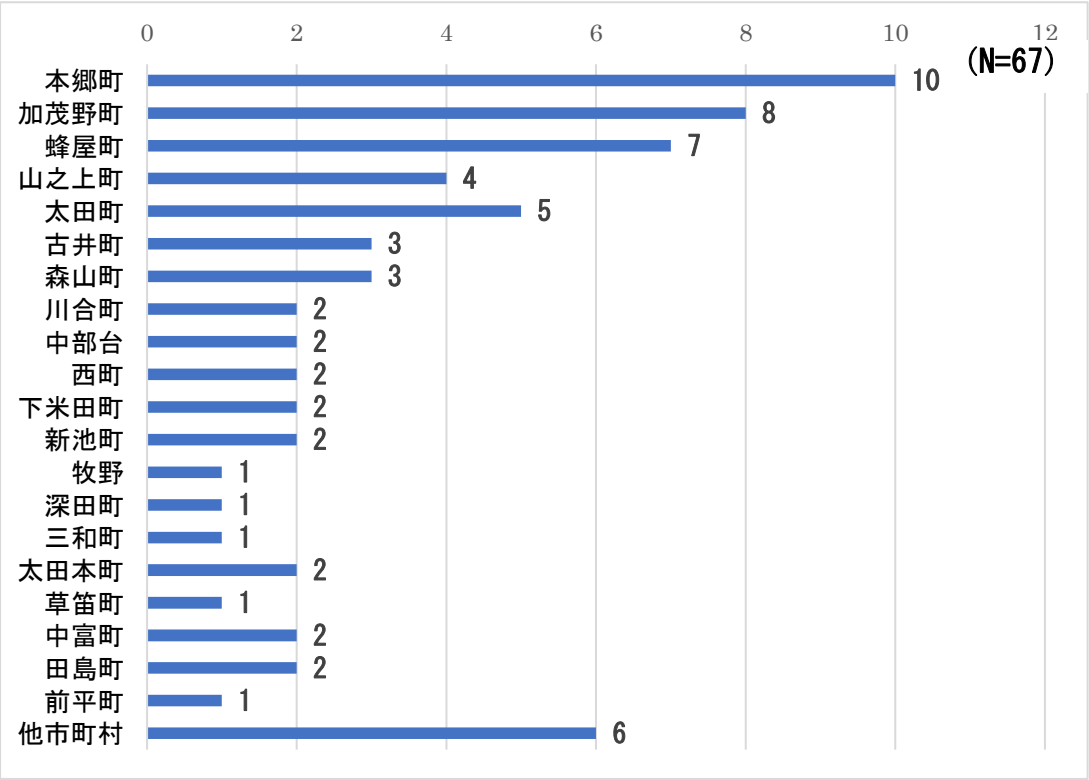
51 件 回収（紙：33 件、Google フォーム：18 件（10 月 3 日〆））

2.　ワークショップ参加者の属性

（1）　住所

本郷町が最も多く、加茂野町、蜂屋町が続いた。

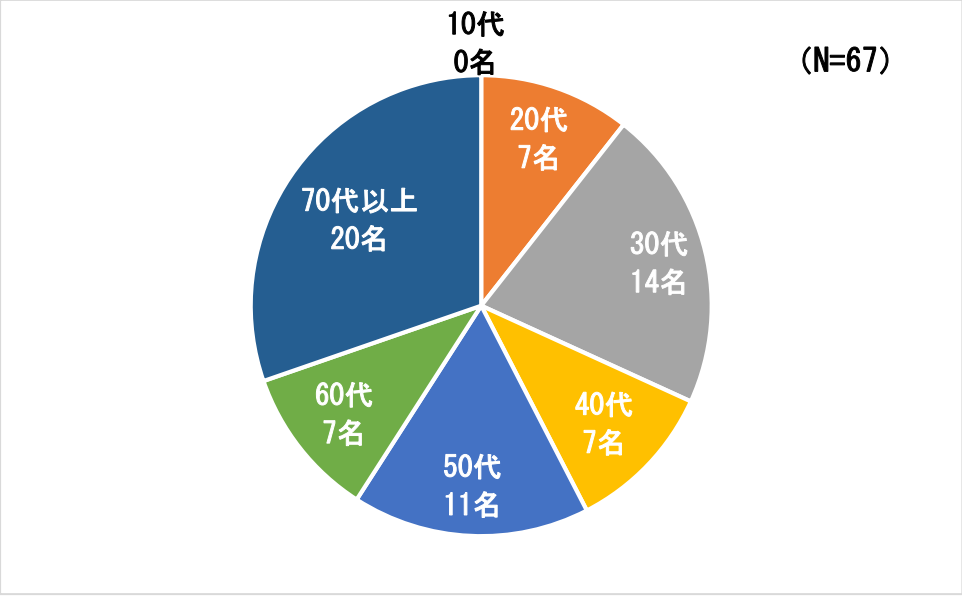
図表 1　参加者の住所



（2）　年代

70 代以上が最も多く 20 名、次いで 30 代が 14 名、50 代が 11 名と続いた。

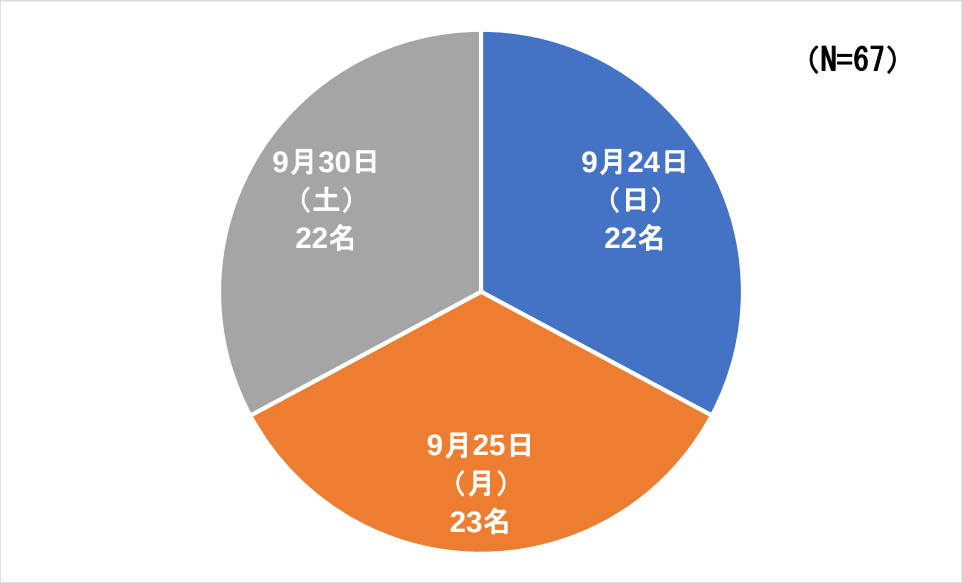
図表 2　参加者の年代



（３）参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、各日程満遍なく、参加があった。

図表 3　参加日別参加人数



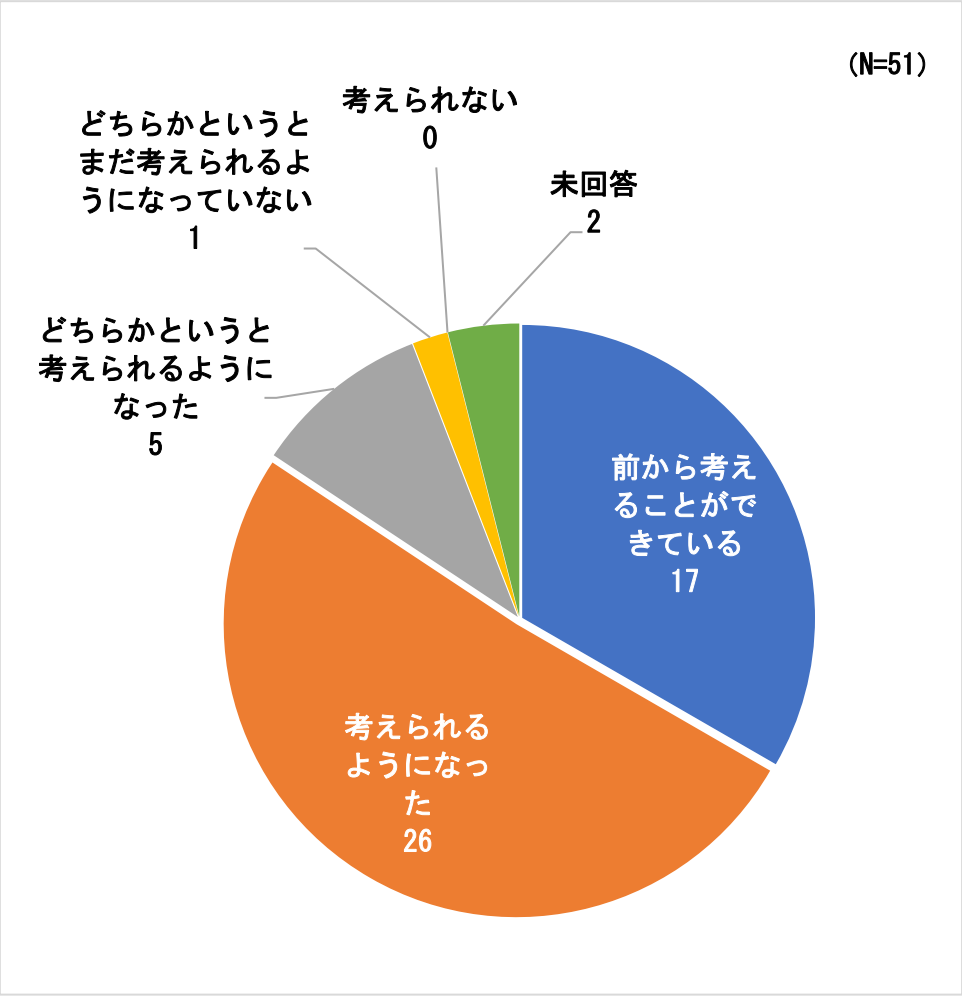
3.　アンケート結果

問１.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」が続いた。「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができている	17
考えられるようになった	26
どちらかというと考えられるようになった	5
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 4　「新庁舎の役割」について

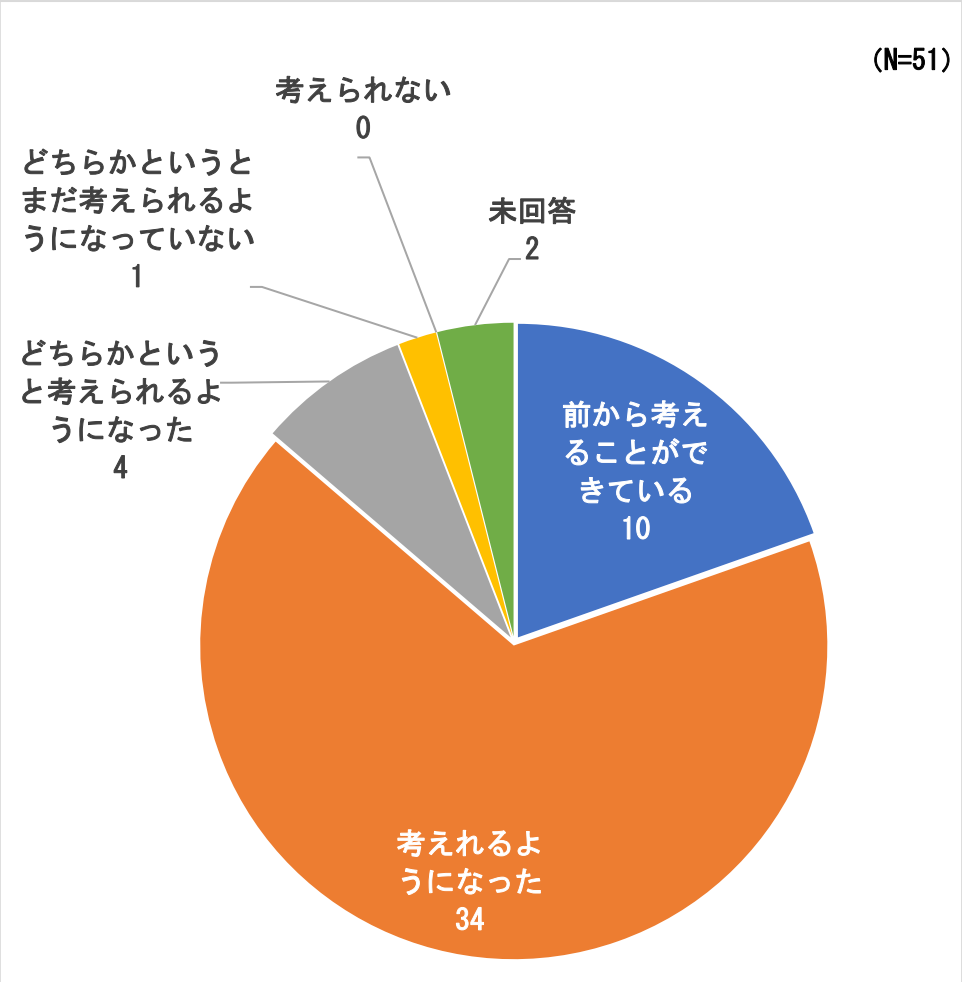


問２．「新庁舎のコンセプト」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」が続いた。「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができている	10
考えられるようになった	34
どちらかというと考えられるようになった	4
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 5　「新庁舎のコンセプト」について



問３．本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。（自由記入）

「安心して市民が集える場所」といった、市民が行きやすく、安心して利用できる庁舎という意見が多く出された。一方で、「コスト」に関して、費用をかけすぎないことや、新庁舎に最低限必要な役割・機能のみを持たせることについての意見が出された。また、ワークショップについて、他者の意見から自身の考えを再考できたといった意見もあった。

【安心して市民が集える場所】
・市民が集える場所でありたい
・行きやすい役所
・市民が安心して集える場所、もっと気軽に立ち会える場所
・皆が安心、安全に行ける庁舎を望みます
・だれでも気軽に
・安心安全な新庁舎には、しなやかボディ＆市民のますます対話力
・市民の安全、安心な暮らしを守る
・安心して相談できる
・「となりの新庁舎」

【使いやすい新庁舎】
・すべての人（市民・職員・企業等）が使いやすい新庁舎

【住みやすい市】
・日本一の住みやすい市になってほしい

【分庁舎】
・どこでも新庁舎というキャッチフレーズ

【立地】
・立地条件

【見越した計画】
・５０年後１００年後を見越した計画が必要である

【ユニバーサルデザイン】
・妊娠から出産まで何十回病院に通うかを考えて、私は中部医療センターにこども課があってよかったと思う。それに、あじさい広場があるから、園の手続き等のときよかった。ユニバーサルデザインの１つだと思います。

【災害時の対応】

・新庁舎の役割として一番必要な事、防災拠点としての機能、他行政機関と円滑な災害対応ができるようにしておく、又、災害発生時の対応として民間会社等と協定を結んでおく。

・災害に強い建物と言う意見も聞かれたが、美濃加茂市民の防災意識がそれほど高いとは思えない。美濃加茂に限らず消防団に問題があるのは認識しているが、これほど消防団に人が集まらないのは、防災の優先順位はそれほど高く無いのでは。地震で倒れなくて、川水に流されなくて建物だけ残っていても動ける人員がいなくては。見学できていないので間違っているかもしれないが、文化の森の管理棟二階には、緊急時の会議室が整備済と聞いている。

【共生する庁舎】

・若者と高齢者の共生する庁舎

・行政として「住民福祉の充実・向上」を図る政策を出す。但し、当然ながら公正・公平の精神を忘れない！

【市民】

・庁舎がシンボルになるのではなく、市民が主役になれるような市役所であること

【コスト】

・B グループ（9/30）の考えに共感できた。連絡所の強化、新庁舎に注力しすぎる。コストをかけすぎるのはちがうと思う。

・要望を詰め込みすぎてコストをかけすぎないこと

・新庁舎には、行政手続きの事務をする場所、将来や過去の事業や予算の検討や検証ができる様、資料や書類などが安全に確実に保管できる場所であれば十分だと思います。

・人が集まれる場所は既に沢山ある。いろいろな団体や組織、市役所の各課、自治会などが行事をしても、思うように人は集まらない。新庁舎に多目的ホールの様なものを組み込めば一時は賑わうかもしれないが長くは続かない。

・前回のワークショップで、９割以上の方が年に１回市役所へ来るぐらい、市役所へくる頻度は低い。ところがみなさん、市民が集う場、まるでサッカーやライブに集まるような所に新庁舎なってほしいと言う。広くて立派な施設つくりはお金がどれだけかかるか？結局できるのは地味なものになり、市民（ワークショップ参加者）はがっかりしてしまうのではないか。

【市民協働】

・市関係者（役職員、市民、市会議員）目的をもった共同の働きを求める

・地方自治に係わる規則などがあるかもしれないが、市議会議場も閉会中は一般市民が会議室などとして使えたら良いと思う。固定された机や革張りの椅子が必要だとは思わない。

【プライバシーの確保】

・問題を抱え相談に来た市民の個人情報はしっかりと保護できるだけのスペースは必要だと思います

【ワークショップ】

・人それぞれ種々雑多な意見がある、その話を聞いて自分の考えを再考する機会が得られた
・様々な意見があるけど、みんな言いたいことは近いと思った
・多様な意見
・市役所メインという視点をやめてみるのもおもしろいと思う
・コンセプトは DNA ですから、沢山有れば良いと思います。この中でシンボルになるスローガン的な言葉が見つかれば幸いです。
・R4 に実施したアンケートに必要な事がまとまっていると考えます。大切にすべき視点の中にコンセプトのヒントがあり、現庁舎にもとめるものの中に新庁舎にもとめる答えがあると思います。
・コンセプトは全体を貫く基本的な概念です。初めてコンセプトを考える方にとっては難しかったかもしれません。
・コンセプトについてもう少し説明があった方が良いと思いました。スタバは第 3 の場所のコンセプトをもとに立地、インテリア、使うカップ、接客方法等を決めている。
・特別に報酬も無いのに自身の意志で応募して平日の夕刻に集まった参加者(の意見)はとても貴重だと思います。ですが、皆が集まれるとか災害に強いとか、当たり障りの無いと言うか聞きさわりが良い意見が多い様に感じられた。
・最後発表後の意見確認は不要だった。それぞれのグループで議論をし出したことに否定的な話や今回のテーマとは異なる話がでてきてしまい後味が悪いものとなってしまった。
・多文化共生、防災等、どれも重要な様々な意見があるため、うまくまとめる手腕が必要

【新庁舎整備】

・広報誌などに載せて各家庭で、学校で、会社で話しあえるといい
・市民はもとより、市職員の本職ならびに活力を新庁舎建設を機に原点に立ち帰る好機としてとらえ、職員の意識改革も併せて啓蒙に努力、新庁舎計画に反映していただきたい。
・立地場所選定に時間がかかりすぎ
・このようなステップが必要でしょうか？
・建設までのステップが長すぎるように思います

【周知】

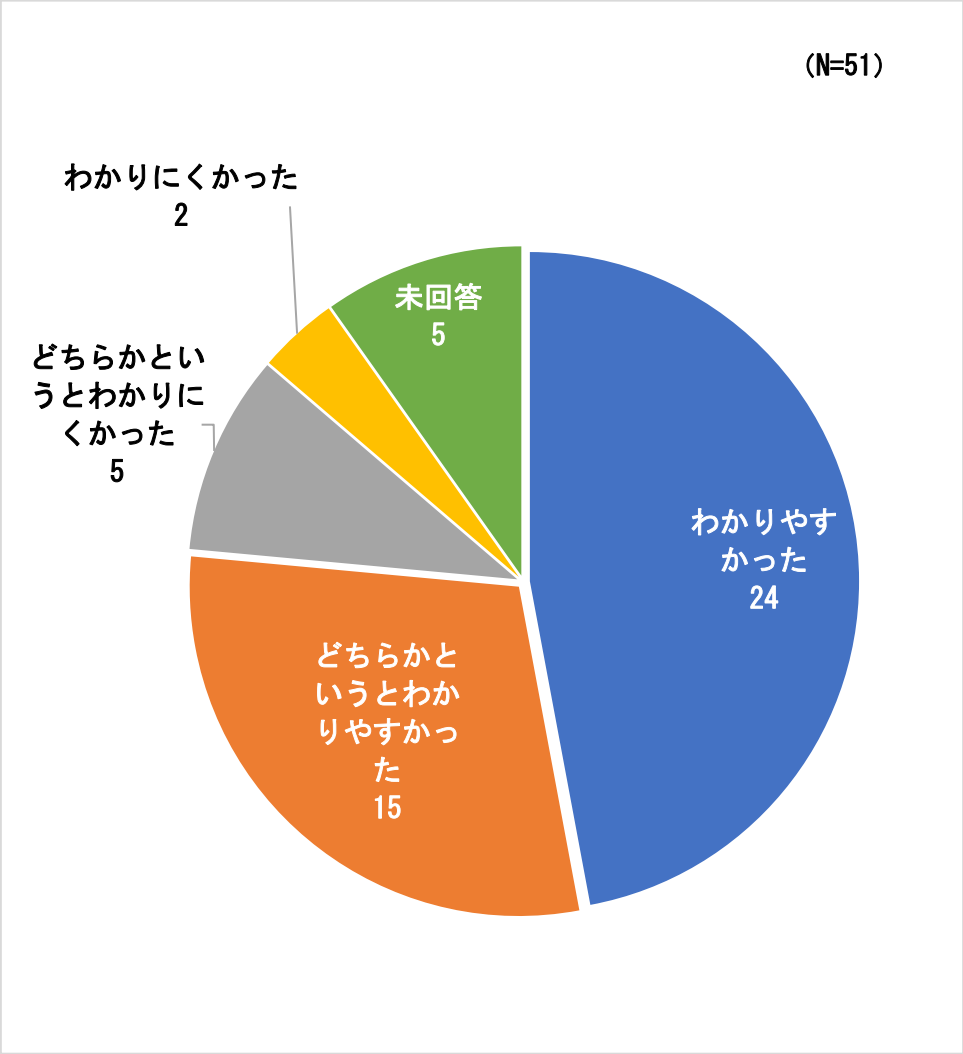
・未来へつなぐ新庁舎、次世代新庁舎として話し合ったが市全体に周知していっているか？

問４．本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=51】
わかりやすかった	24
どちらかというとわかりやすかった	15
どちらかというとわかりにくかった	5
わかりにくかった	2
未回答	5
合計	51

図表 6　ワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。（今後の運営で参考とさせていただきます。）（自由記入）

今回は事前に情報提供資料の送付を行っていたため、当日の情報提供時間の短縮を求める意見が多く出された。また、役割とコンセプトについて、違いのイメージが付きにくく話しにくかったという意見が出された。

【進め方】
・ザックリとした結論など誰にも出せないテーマで第1回を費やすのなら、だんだん具体的な設問になってきた第2回は参加者の意見も具体的になってくるので、step2 と step3 は2日に分けたほうが良かったのではないかと思います。担当課、担当者は大変だと思います。
・1番最後の各グループの発表の時に、意見を聞かれたが無くしても良いと思いました
・新庁舎の役割はほぼ決まっていると思います。新庁舎のコンセプトが重要だと思うので、ここについてもっと時間をかけて話し合いたいです。ここで話し合った内容の情報共有が大切だと考えます。

【新庁舎の役割とコンセプト】
・参加者には step2 の新庁舎の役割と step3 の新庁舎のコンセプトの相違がキチンと把握できていない様に感じられた
・役割の範囲なのかコンセプトの範囲なのか判断が難しくどのタイミングで発言すると良いのか戸惑った。ファシリテーターには、その意見は後半のコンセプトの時間で改めてなどと整理して進行してほしかった。

【情報提供】
・最初の情報提供が長い
・事前に送られた資料と同じ内容のパワーポイントなので必要性を感じない
・資料がバラバラだと見にくい、探しにくい、1冊にまとめて欲しい
・次第は前に掲示して、1人ずつはいらないと思う（ペーパーレスにして）
・紙が多いと思う、もったいない
・次第の2番情報提供について、話が少し長いと感じた。郵送書類で確認できるので、もう短縮しても良いかと感じた。意見を捻出するのに時間を要する。第一回のワークショップの内容をホームページで事前に見ていれば、話すことをまとめてワークショップに臨むことができる。しかし、ホームページを全く見ていない人にとっては、郵送された書類をみて臨むことになる。今回、郵送書類が届くのが遅かったと感じたので、もう少し早いといいかもしれない。
・いままでの問題点の説明が不足している

【グループトーク】
・グループトークしだすと、ざわざわして声が聞き取りにくい
・テーブルの間隔が近すぎて声が聞き取りにくいので、もっと離すか、小グループに分けて隣室で説明はリモートで聞くのはどうか？
・チーム内で話す声が聞き取りにくかった。テーマから外れた意見もあったように思う。

【参加者以外】
・職員の方が多すぎるのではないかと感じました
・外野の方（市議、職員）はお静かにして頂きたい
・話し合い中に両サイドに立たれると威圧感を感じる

【子育て世代】
・もう少しバランス的に、若い女性の意見が欲しいです。特に子育て世代！

【新庁舎整備】
・新庁舎の立地場所から入ってほしい
・新庁舎建設のためのポイントをついた話し合いかということを考えると考えさせられる
・この先どうやって進んでいくかわかりにくいです
・ワークショップで出た意見を出来るだけ多くを取り上げて実施して欲しい
・大風呂敷広げるのは夢があるが、どうするの？現実の庁舎は夢の遊園地、アミューズメント施設の中にあるようにはならず、どう終着、おとしどころつくるのか心配。
・200 人/55000 人＝0.36%　周知率、市民が理解したことを確認すべき！！

【ワークショップの感想】
・ファシリテーターが場の空気をほんわかさせてくださいます。ありがとうございます。
・分かりやすかった
・良いと思います
・前よりわかりやすい

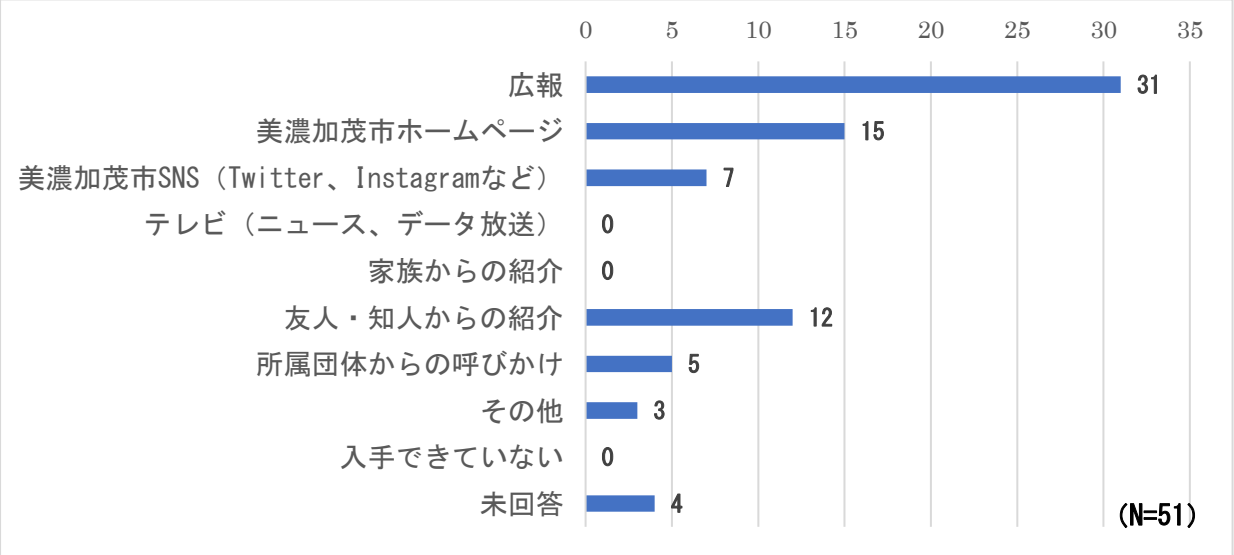
問５．新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。（複数回答）

第 1 回ワークショップ時同様、「広報」から情報を入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「友人・知人からの紹介」が続いた。

その他の意見では、「すぐメール美濃加茂」「会社にチラシ」という意見もあった。

	回答者数【N=51】
広報	31
美濃加茂市ホームページ	15
美濃加茂市 SNS（Twitter、Instagram など）	7
テレビ（ニュース、データ放送）	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	12
所属団体からの呼びかけ	5
その他	3
入手できていない	0
未回答	4
合計	77

図表 7　新庁舎整備に関する情報の入手方法について



▼その他意見（自由記入）
・すぐメール美濃加茂
・会社にチラシ

問６．新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。
（自由記入）

新庁舎に対し、様々な観点から意見が出された。建設費だけでなく、維持管理費（ランニングコスト）も考慮して検討して欲しいといった意見があった。

また、今後の検討について、現庁舎や他市町村の見学や市内イベント時で周知を行うなど、より市民の皆さんに認知頂くための方策を頂くことができた。

【庁舎】
・開放感があり、見渡しやすい建物だと良いと思います。駐車場が広く、食事が出来る場所や庭園、市民の集いやすい場所であっても良いかと思います。
・一階のみですべての課があって、歩いていけるバリアフリーの市役所であってほしい。他に新庁舎建設について市民は賛成しているのか？物価高で生活が苦しい市民が多いのではないか？
・分庁舎式はよくない
・心の支えとなる居場所（気楽に相談できる場所、何人も自由に活用できる場所。）、災害にも脅かされない存在であってほしい。市役所に勤める職員が使いやすく、居心地の良い場所で仕事ができるようにしてほしい。（住民サービスでストレスが溜まると思うので、少しでも軽減できるような施設を。職員が使える食堂やフィットネス、カフェ、福利厚生を充実。）
・規模→自由につかえるスペース、待合スペースのニーズをどこまで満たすのか？一カ所に大、中、小、規模の建物か？サテライトか？

【立地】
・やはり北側の高台に（あじさいの丘付近）
・新庁舎のみの土地ではなく、30 年後を見越した計画が必要
・場所の確保を優先してほしい
・場所→駅前商業ビル問題の方向性を決めてから考える？デジタル化により駐車場の不安は不必要になるかも、サテライトになれば不要。

【災害対策】
・防災で重要なのは停電したときの各地との連絡をどうするのか。公共の通信では限界があると思います。
・庁舎は駅前ではなく水害の心配もなく、市民や県内から車で来やすく駐車場の大きな場所に移転すべきである。

【職員の働きやすさ】
・職員の働きやすい環境が第一である

【予算】

・一時的な建設費だけでなく、維持管理を続ける予算も大切だと思う。高層階の建物だと、窓拭き一つ考えても都会の専門業者に依頼しないといけない、空調設備などの修理や交換でも大型の重機が必要になってくる。低層階(出来れば平屋)の建物であれば、窓拭きはシルバー人材センターで出来る。設備の管理や補修も市内の電気工事店、水道工事店で対応出来る。

・市民の憩いの場は、別に公民館などで対応すべき、市庁舎に期待するとコスト増になります。今日の話し合いでも、同様の意見が多数派でした。用地選定が難問ですね。

・予算→どの位？ランニングコストも考えて、50 年後、100 年後の財政は？次の新庁舎問題の時の事も考える必要がある。

【市民の意見】

・旧基本計画に寄せる市民の意見は新庁舎建設への市民の意見とほぼ同じであることに気づく。基本理念の「にぎわいのある町の核」として新庁舎建設を強引に決め、市民をまどわせたことは認め難い。市民の判決が下されたのに相変わらず駅前庁舎建設を市民、市当局に主張するスタンスは許し難い。しかし市民が選んだ議員たちだ。屈せず市民の願いを貫徹していただきたい。

・だれでも、気軽に、バリアフリー、市民の声を聞け

【駅前再開発】

・美濃太田駅南口の再開発も同時に進めてほしい

【美濃加茂市の魅力】

・今日参加して改めて美濃加茂市の魅力は公園にあると確信しました。観光の目的としてのまちなか自然公園はどうでしょう。リバーポートパークのようなコンセプトで既存の公園を魅力あるパークに変えていくのです。新庁舎の隣にも音楽フェス等が出来るような公園を併設したいですね。今回も皆さんと意見を出し合える素晴らしい機会を与えて下さってありがとうございます。

【前回計画】

・早めにどうして駅前に決めたのか、又、それが不評だったのか、わかってもらえているのか知りたい。別の候補地が、なぜいけなかったのか、コンパクトシティのこういう条件を知りたい。いろいろ出てくる可能性のある土地について、そこではダメな理由を前もって知りたい。

【新庁舎整備検討】

・計画を前倒してでも、早く新庁舎を建てるべきだと存じます

・みんなの新庁舎であるがゆえに、みんなが知っているか？周知ができているか、つたえただけではないか？本当に伝わっているか？受け取った側は本当に理解しているの

か？市の一方的にならないぞ！！
・概略設計以降も大事、利用する外来者、市民にとっても日常的に使う職員にとっても、ここのツメが甘いという感じのする市庁舎もある。真剣につめてほしい。
・ワークショップが形式だけで終わることのないようにする。３～４年内に完成したい。
・新庁舎が完成して、コンセプト通りの建物(器)が出来たね！と言えると良いですね。最近近くでも新しく庁舎が出来ています、少しでも多く見学して参考にしてください。仕事がら愛知県と岐阜東濃エリアの全ての市役所、役場へ２ヵ月に１回は伺います。おそらく参考に成る庁舎もあると思います。宜しくお願いいたします。

【ワークショップ/話し合い】
・ワークショップは良い方法だと思いました
・話し合いで大切なこと、テーマ・今回のコンセプト
・平日の１８時開始はなかなか辛い。土曜日や日曜日も日程にあるというかもしれないが、まだ水田や畑の仕事の残る時期なので、土日の昼間は無理だという人もいると思う。広く沢山の人の意見を聞く場がワークショップだと思うが、第１回よりもテーブルも参加者もが少ないのは開始時間の影響もあるのではないか。２回に分けて１９時開始の方が参加しやすいのでは。もちろん違う環境で生活されている人がいることはわかっていますが、市職員や市議会議員ではなく、参加者中心で時間設定してほしい。次回に応募しても当選するかどうかわからないので、沢山書きました。
・若者の意見も必要。学校でワークショップをやって欲しい。
・１回目に比べて参加者が少なく残念に思った
・テーマがわかりにくい面があるのではないか？

【今後の検討方法】
・他市町村の評判の良い庁舎、施設を見学するツアーを企画して欲しい。個人では見学しにくい。
・突撃インタビューをする。街に出て、井戸端会議してる人、集りに参加して意見を聞く→スーパー・駅前・こども食堂・いきいきサロン、市民フェスなど人が集まってる所へ行って、話しを聞く（認知度を高める為)。
・現在の庁舎内を知る必要があると思う→見学して良い所悪い所を洗い出してはどうか？時間がとれなければ、ビデオ撮影してプロジェクターで流す、利用者の目線で動線を確認してみてはどうか？

【感想】
・次回も参加したいです
・できあがるのを楽しみにする市民が増えていくといいですね
・次回ワークショップで意見します
・これからも一緒になって考えていきます！！
・色々な話を聞けてよかったです

・今回の意見を反映して欲しい
・意見を聞く場をつくってくださり、ありがとうございます
・この度はこのような場を設けてくださいまして誠にありがとうございます。本当にありがたいことです。他の人の話を聞くことで、自分の考えに幅が広がる、豊かになると感じます。私は対話文化がますます美濃加茂市の特色になると嬉しいと思いました。何かと大変かと思いますが、参加者がわちゃわちゃ楽しんでいれば周りの人も覗いてみようかなぁと思われると思います。引き続き楽しく参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。
・ステップ5新庁舎の複数候補地等の選定ワークショップで色々な面から色々な意見をのべさせて頂きたく思っています。1．防災拠点としてどこが一番いいのか　2．ライフサイクルコストの最適化、利便性　3．災害時に対応出来る広場の設置、庁舎はコンパクトでも広い駐車場を確保（敷地面積の広い候補地）　4．長く円滑に使い続けることが出来る新庁舎　5．議会運営を高める市民力、行政に関心が薄いように思われる。努力いただいていますので、今後期待しています。

新庁舎整備に係る経緯と今後について

美濃加茂市　新庁舎整備ロードマップ

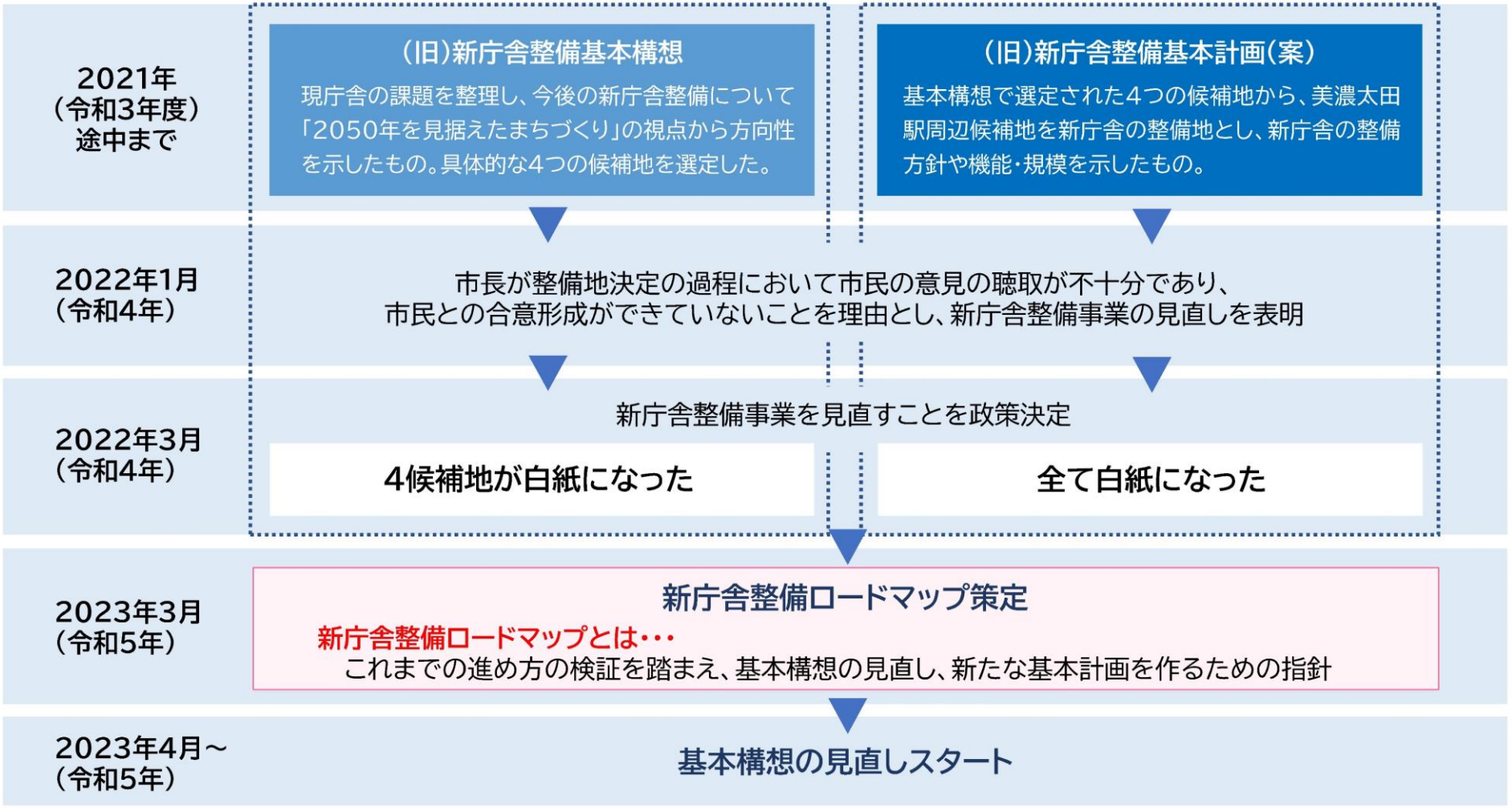
令和5年3月

資料１

見直しの経緯

第1章　新庁舎整備ロードマップとは

（2） 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



資料２

ワークショップの実施計画

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス　市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。

資料３

前回のワークショップ　＜市の役割＞

■STEP1「市の役割の見える化」
「10年後の市の役割」をテーマに参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。

①個人でフセンに意見を書き出す

②意見をだしあう

③シールで大事だと思うものに投票

④グループの意見を発表！

市民ワークショップ				おでかけワークショップ
7/23(日)	7/26(水)	7/29(土)	計3回	計10回(9月20日時点)
30人	31人	27人	計88人	計170人

資料４

今回のワークショップのテーマと目的①

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

R5年度

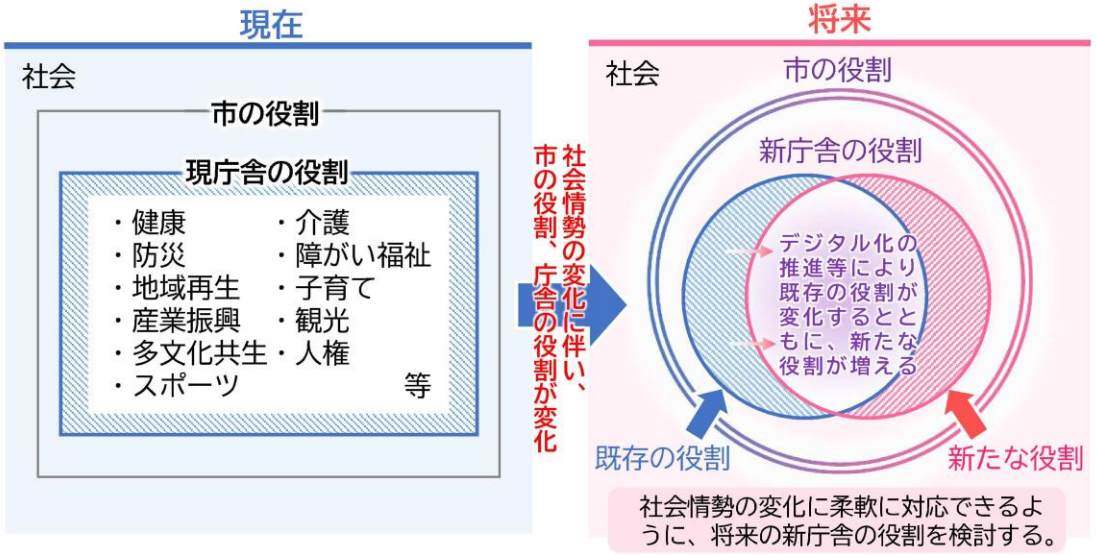
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のｺﾝｾﾌﾟﾄ決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定

STEP 2　新庁舎の役割の決定

STEP１で考えた、市の役割を踏まえた上で、新庁舎の役割を検討します。コロナ禍を経た社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ見直しを行います。

ＳＴＥＰ２で実施すること

市民との対話
（ワークショップ）



市民の役割

年代・性別・居住地の様々な美濃加茂市民のモデルを考え、モデルごとの将来・行政との関わり・美濃加茂の魅力を考えながら、そのモデルが5年、10年先の希望を実現するためのストーリーをつくりあげる。それぞれのストーリーから市に何が求められるか、新庁舎はどのような役割を持つ必要があるのかをワークショップ形式で考える。

市職員の役割

ワークショップに参加し、職員としての立場で考えを発信していく。また、各担当課が専門性を発揮し、まちづくりに関して市としての方針を示す。

資料５

今回のワークショップのテーマと目的②

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

R5年度

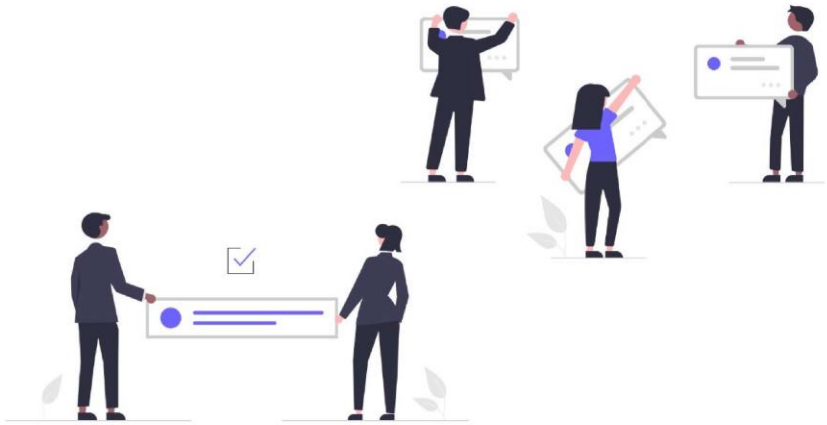
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のｺﾝｾﾌﾟﾄ決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定

STEP 3　新庁舎のコンセプト決定

STEP１・STEP２による市の役割、新庁舎の役割を明示したうえで、
新庁舎のコンセプトを再検討し決定します。

STEP３で実施すること

市民との対話
（ワークショップ）



市民の役割　ワークショップの中で（旧）新庁舎整備基本構想のコンセプト案を再検討し、新たなコンセプト案を提言する。

市職員の役割　市民の意見を踏まえ、新たなコンセプト案を決定する。

資料６

＜第1回WSの振り返り＞
市の役割

資料７

第一回WSまとめ

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

●**安心安全**な**まちづくり**をする存在であること

●多様な人が暮らす美濃加茂市で…
こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが
共存できる**まち**を支える存在であること

市民に寄り添い、まもる行政の存在

市と市民との協働・声が届く・
福祉・厚生・多文化共生・議会

地域のまとまり

自治体・まちづくり協議会・
人口減による機能低下への対応・
まちづくり意識

魅力ある市をつくる

こども・若者・挑戦する人・
文化や自然との共生・人口増・
地域の盛り上げ・憩い・交流

産業振興

企業・農業・地元産業・
税収アップ・雇用

安心安全なまち

防災・情報が得られる・
生活を守る・命を守る

便利なまち

DX（デジタル化）推進・交通・
連携・スムーズな行政サービス

資料８

＜新庁舎の役割･コンセプト＞

資料９

市役所ってどんなところ？

【市役所のしごと】

結婚の手続き

困りごと相談

1．市民サービス

・市民の窓口・市民相談

2．市政を動かし、発展させる

・市政運営、議会

・防災拠点

道路の維持管理

農業・林業の
サポート

3．みんなで市をつくっていく

・市民とつながる

・まちとつながる

若い人を応援！

市民協働や
子育てサポート

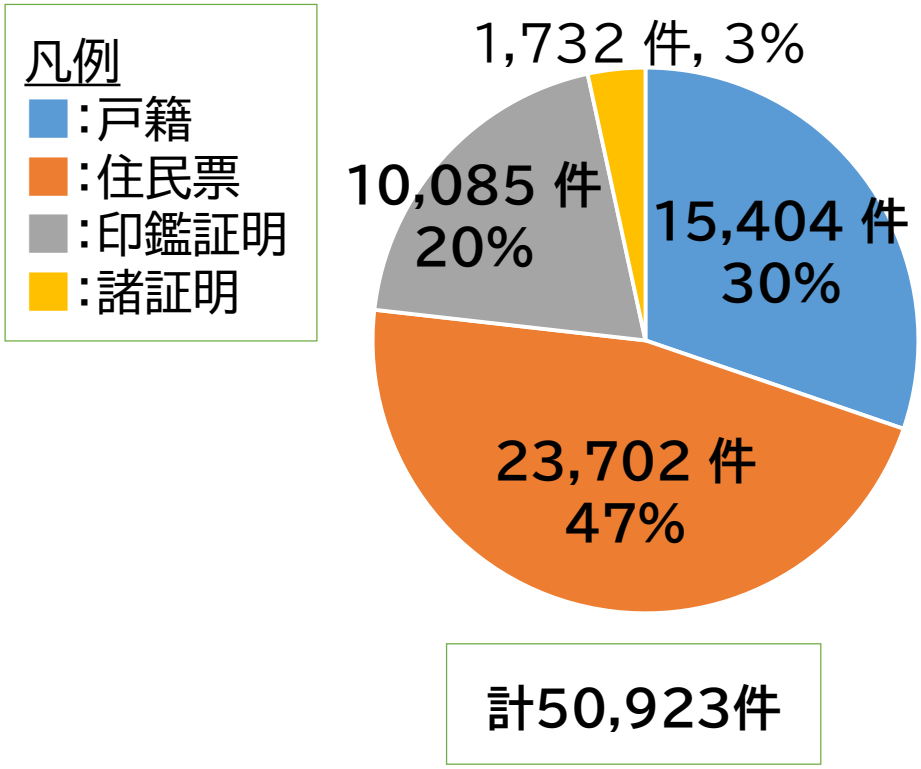
地域イベントへ
の参加・協力

資料10

市役所って　どんな人が来る？

平成29年度に実施した新庁舎市民アンケートでは、
来庁した方の**76.1%**が**市民窓口サービス**を目的としています。

■申請目的の来庁
令和4年度市民課窓口での戸籍・住民票等交付数



計50,923件

令和4年度の市民課窓口での証明書の交付件数（自動交付機除く）のうち、
97%は戸籍、住民票、印鑑証明です。

将来、証明書交付のデジタル化が進むと、自宅等から申請が可能になり、来庁の必要がなくなるかもしれません。

資料11

市役所って　どんな人が来る？

■相談目的の来庁

一生の間で、みなさんは様々なタイミングで市役所へ来庁されます。

近年、高齢化や共働き世帯の増加に伴い、
高齢福祉課や子育て支援課などの**相談件数が増加傾向**にあります。

また、経済状況の悪化やストレスを抱える人の増加により、福祉課や健康課への
相談も多くあります。

住民票・戸籍・印鑑証明・税証明など

母子手帳発行	出生届	乳幼児健診	入園手続	学童申請	成人健診	介護認定申請／更新		
出生前	０歳	３歳	６歳	１８歳	４０歳	６５歳	７５歳以降

多
- 子育て相談
- 教育相談

- 生活困窮相談
- 介護相談
- こころの相談室
- 健康相談

多

資料12

市役所って　どんな人が来る？

■これからの市役所は何のために必要か？

いままでは申請目的で来庁する人が多くいましたが、DX(デジタル化)推進によって、今後は**申請目的の来庁者が減り**、現在増加傾向にある、各課への**相談目的での来庁者が増える**と予想されます。

①申請目的

②相談目的

①DX(デジタル化)推進で
来庁者が**減る**と考えられます。

②高齢化や時代の変化に伴い
様々な相談目的の来庁者が
増えると考えられます。

①申請目的

②相談目的

どんな人が
これからの市庁舎にくるだろう。

未来の庁舎の役割を
考えてみよう

資料13

（旧）基本構想で考えた　新庁舎の役割

【理想とする未来の美濃加茂市】

2050 年になっても
みんなが幸せを感じることができる市役所のあるまち

＜未来に届けたいタネ＞（理想の実現のための市役所の役割）

- ・災害にとっても強い／防災
- ・みんなが使いやすい
- ・市民が一日過ごせる
- ・ほっとできる
- ・自由に使うスペース
- ・ビジネス交流
- ・将来の変化に対応できる
- ・情報発信基地
- ・まちの中に人に流れができる
- ・楽しい広場
- ・地球にやさしい
- ・ユニバーサルデザイン
- ・子育てサポート
- ・開放的な建物
- ・憩いの場所
- ・アクセスが良い

新庁舎の役割 1
すべての市民の
くらしを守る

新庁舎の役割 2
みんなの活動を
サポートする

新庁舎の役割 3
美濃加茂市の
魅力そのものを
向上させる

＜新庁舎の位置づけ＞

従来の市役所という概念のない、市民のよりどころとなる場所

＝

まちまるごと市役所　「ふりかえればそこにある　あなたに寄り添う」

資料14

（旧）基本構想で考えた　新庁舎のコンセプト

（旧）新庁舎整備基本構想におけるコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまぁるいまちづくりひろば

・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎

- にぎわいをうむ
- 人が行き交い、商いが育まれる
- 美濃加茂暮らしを楽しくする

安全で安心な庁舎

- 災害に耐え、市民の暮らしを守る
- 地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎

- 利用しやすい
- 働きやすい
- バリアフリー
- ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎

- 市民活動ができる
- 市民が気軽に関わり活動できる
- ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎

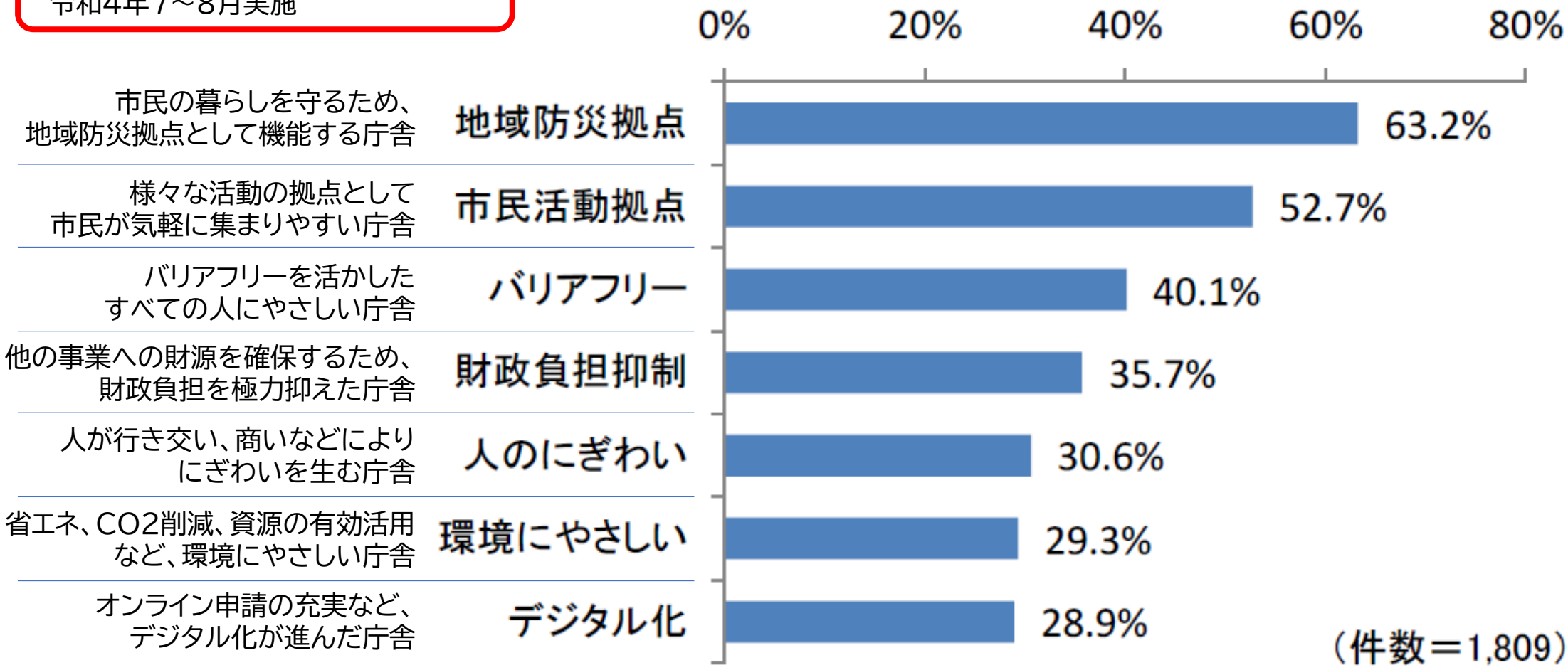
- 環境負荷の低減
- 自然環境を活かす
- 社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応

このコンセプトについては、市民アンケートの結果やコロナ禍を経た社会情勢の変化、デジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ、再度市民の皆さんと検討して作っていきます。

資料15

新庁舎整備において大切にすべき視点は？

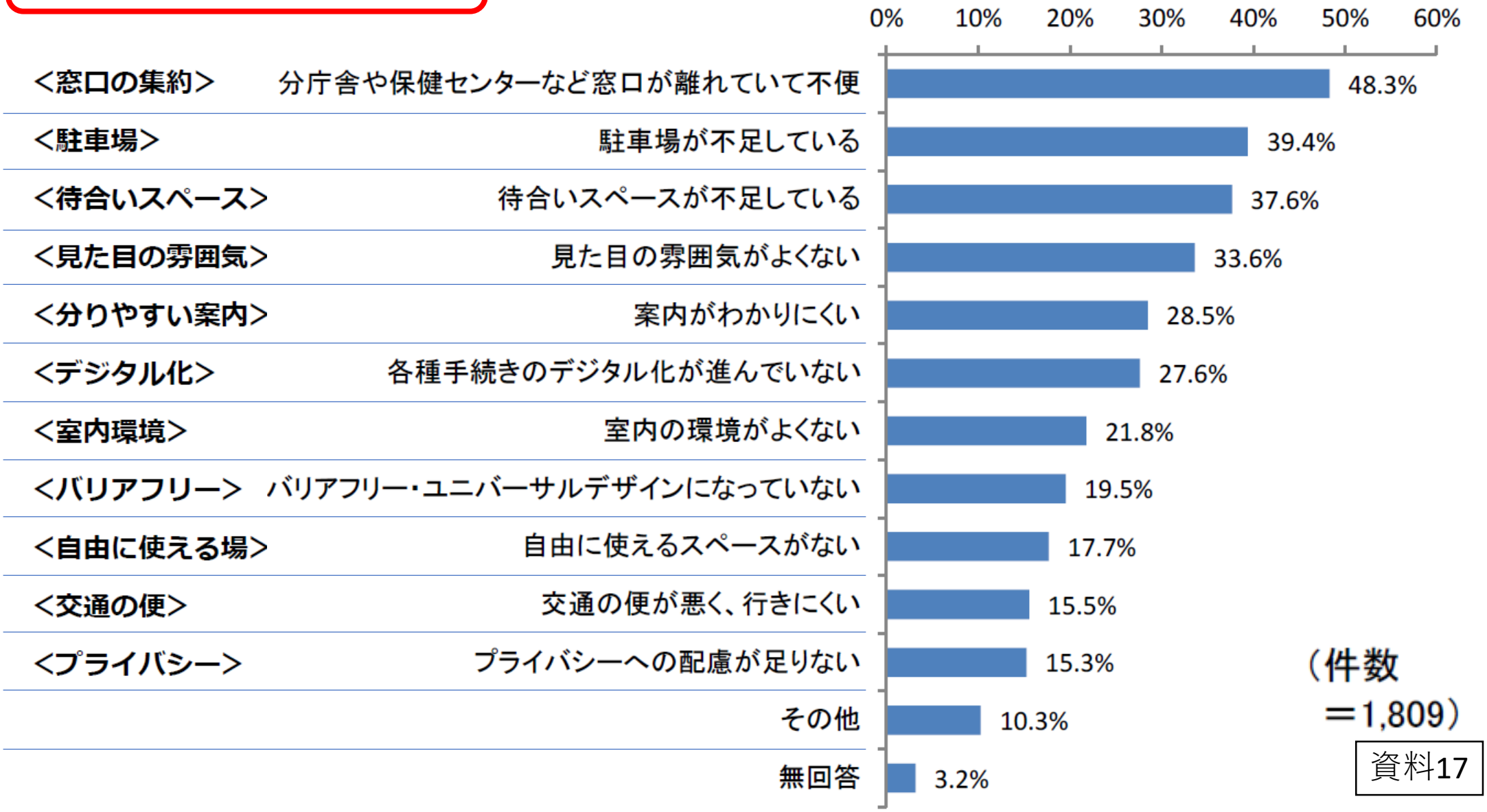
＜新庁舎に関する市民アンケート＞
令和4年7～8月実施



資料16

現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分は？

＜新庁舎に関する市民アンケート＞
令和4年7～8月実施



（件数＝1,809）

資料17

新庁舎の役割・機能の関係（例）

前回 → 今回 → 次回

市の役割 （第1回WSより）	新庁舎の役割（例）	新庁舎の機能（例）
・安心安全なまち	・災害時の司令塔となる	・災害対策室 （人員待機・通発信機器） ・地震に強い建物
・魅力ある市をつくる	・市民と協働する ・まちづくりを考える	・ミーティングスペース ・会議・相談室 ・市民が集まれる空間
・便利なまち	・市民サービスを提供する （申請手続き） ・情報を発信する	・集約された窓口 ・働きやすい執務空間 ・DXに対応する設備
⋮	⋮	⋮

資料18

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.1
第１回市民
ワークショップ

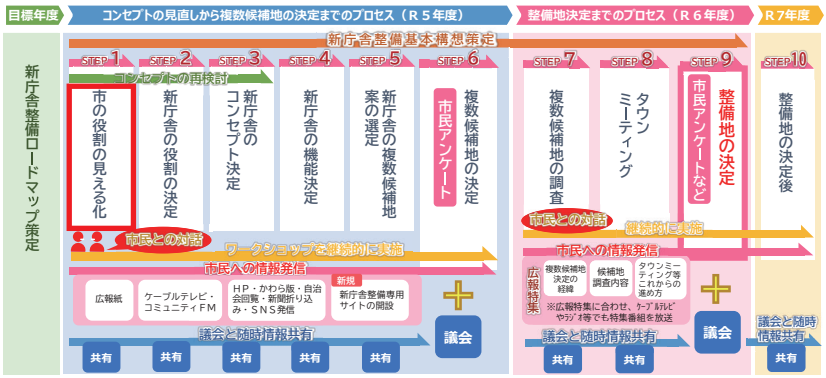
資料８

みんなの新庁舎 第１回市民ワークショップを開催しました！

新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、基本構想を見直すことといたしました。

新庁舎整備基本構想の再策定は「新庁舎整備ロードマップ」に沿って進めていきます。

今回、みんなの新庁舎 第１回市民ワークショップを開催いたしましたので、その結果をお知らせいたします。



【今後の新庁舎整備の進め方（新庁舎整備ロードマップより）】

第１回は７月 23 日（日）、26 日（水）、29 日（土）に開催しました。今回は STEP１「市の役割の見える化」を行うため、「10 年後の市の役割」をテーマに、事前応募頂いた合計 88 名の参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。おでかけワークショップは９月６日時点で９回実施し、合計 152 名の方と意見交換をさせていただきました。ワークショップ後に実施したアンケートの回答結果については、回答いただいたうちの 89%の方が「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」と回答し、市の役割について多くの市民の皆様と共通認識を持つことができました。

「10 年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

① 市民に寄り添い、まもる行政の存在
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② 地域のまとまり
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ 魅力ある市をつくる
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ 産業振興
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ 安心安全なまち
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ 便利なまち
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

ワークショップ参加者の主なご意見は裏面をご覧ください。

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp/

新庁舎整備情報サイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

【第１回市民ワークショップ参加者の主なご意見】

①市民に寄り添い、まもる行政の存在

●市と市民の協働
・市と市民が協働する（市民のつながりを強化する）
●声が届く
・市民や地区の希望を公的機関として、限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在。
・困った時にスムーズに助けてくれる存在。
・市民に寄り添う市の職員。
●福祉・厚生・多文化共生
・市民の生活を守る・護る存在
・介護や健康を安心して提供すること。
・こどもや子育て世代から高齢者・障がい者が共存できるまち。
●議会
・市議員の定数を減らす。
・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

②地域のまとまり

●自治会・まちづくり協議会
・自治会が減ることへの対応
・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化をはかる。
●人口減による機能低下への対応
・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応
●まちづくり意識
・若い人達が市を作っていくことが必要。
・生きがいを持って暮らせるまちづくり。

③魅力ある市をつくる

●こども・若者・挑戦する人を支援する
・こどもの健康を守る存在であってほしい。
・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿を見て、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市
・挑戦したい人を全力で応援する。
●文化や自然との共生
・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。
●人口増
・人口が増加するような魅力のある市としたい。
・こどものある世帯が増えるような市にする。
●地域の盛り上げ
・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）
●憩い・交流
・市民が憩いの場として使える場所がほしい。
●その他
・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。
・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。

④産業振興

●企業・雇用
・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。
●農業・地元産業
・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。
●税収アップ
・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。
・工場誘致に力を入れてほしい。

⑤安心安全なまち

●防災・生活を守る・命を守る
・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。
・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要
・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。
・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。
・防災に強い体制づくりが必要である。

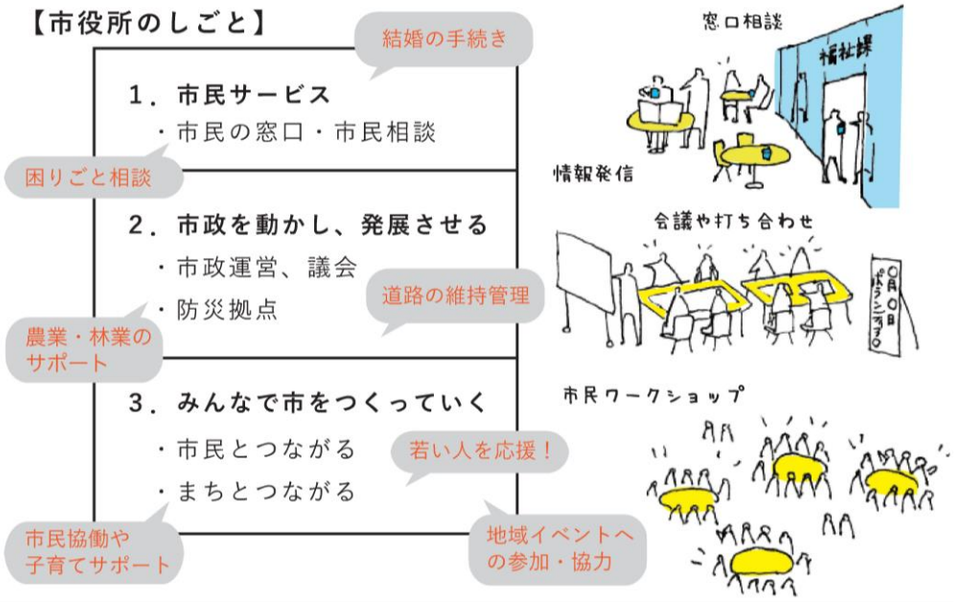
⑥便利なまち

●DX（デジタル化）推進
・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにする。
・デジタル化を推進して、オンライン手続きやハンコ廃止等で市役所に出向かず申請できる。
●交通
・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。
●連携・スムーズな行政サービス
・市役所機能を１か所に集約して、使いやすいようにして欲しい。
・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、１つの窓口でわかるようにしてほしい。
・市の行政サービスについて、周知してほしい。
●コンパクトな新庁舎
・新庁舎は、機能性をコンパクト(県庁、他市はスッキリした庁舎になっている)とする。
・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

みんなの新庁舎第2回市民ワークショップ　（オモテ）

今回のテーマは 「新庁舎の役割」・「新庁舎のコンセプト」です。
ここでは、市役所のいまの姿や、昨年度までに考えられてきた未来の姿を掲載しています。これらを参考に、みんなで新庁舎の姿を考えましょう！

市役所って　どんなところ？



（旧）基本構想で考えた　新庁舎の役割

【理想とする未来の美濃加茂市】

2050 年になっても
みんなが幸せを感じることができる市役所のあるまち

＜未来に届けたいタネ＞
（理想の実現のための市役所の役割）

・災害にとっても強い／防災	・まちの中に人に流れができる
・みんなが使いやすい	・楽しい広場
・市民が一日過ごせる	・地球にやさしい
・ほっとできる	・ユニバーサルデザイン
・自由に使うスペース	・子育てサポート
・ビジネス交流	・開放的な建物
・将来の変化に対応できる	・憩いの場所
・情報発信基地	・アクセスが良い

新庁舎の役割 1
すべての市民のくらしを守る

新庁舎の役割 2
みんなの活動をサポートする

新庁舎の役割 3
美濃加茂市の魅力そのものを向上させる

＜新庁舎の位置づけ＞

従来の市役所という概念のない、市民のよりどころとなる場所

＝＝

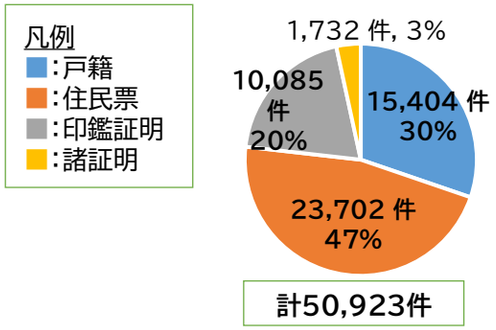
まちまるごと市役所　「ふりかえればそこにある　あなたに寄り添う」

市役所って　どんな人が来る？

市役所には、どんな目的で来る？

平成29年度に実施した新庁舎市民アンケートでは、来庁した方の**76．1%**が**市民窓口サービス**を目的としています。

■申請目的の来庁
令和4年度市民課窓口での戸籍・住民票等交付数



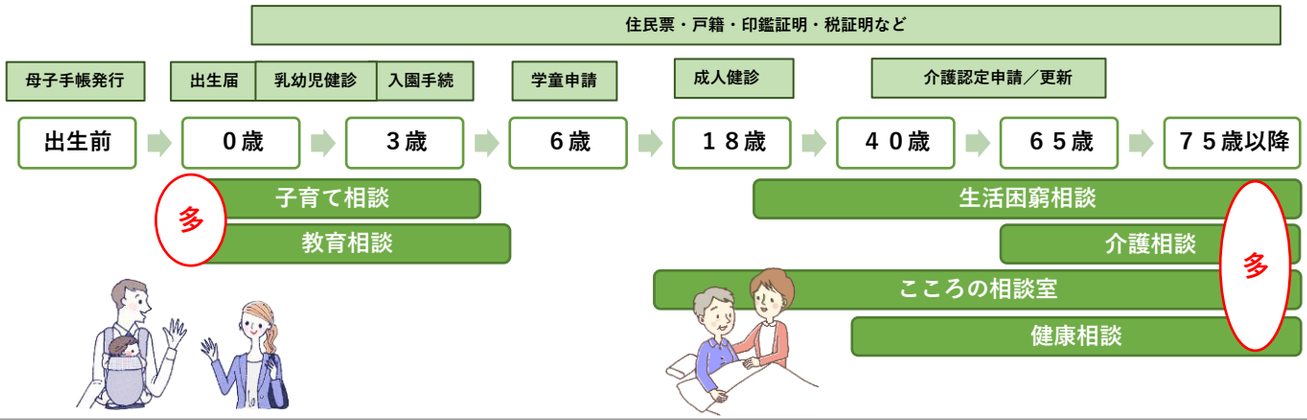
計50,923件

令和4年度の市民課での証明書の交付件数（自動交付機除く）のうち、97%は戸籍、住民票、印鑑証明です。

将来、証明書交付のデジタル化が進むと、自宅等から申請が可能になり、来庁の必要がなくなるかもしれません。

■相談目的の来庁

一生の間、みなさんは様々なタイミングで市役所へ来庁されます。
近年、高齢化や共働き世帯の増加に伴い、高齢福祉課や子育て支援課などの**相談件数が増加傾向**にあります。
また、経済状況の悪化やストレスを抱える人の増加により、福祉課や健康課への相談も多くあります。



これからの市役所は何のために必要か？

■いままで、市役所へは…

①申請目的

②相談目的

のため来ています。

■これからは…

①DX（デジタル化）推進で来庁者が**減る**と考えられます。

②高齢化や時代の変化に伴い様々な相談目的の来庁者が**増える**と考えられます。

■そのため…

①申請目的

②相談目的

になると考えられます。

（旧）基本構想で考えた　新庁舎のコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまぁるいまちづくりひろば
・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎
- にぎわいをうむ
- 人が行き交い、商いが育まれる
- 美濃加茂暮らしを楽しくする

安全で安心な庁舎
- 災害に耐え、市民の暮らしを守る
- 地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎
- 利用しやすい
- 働きやすい
- バリアフリー
- ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎
- 市民活動ができる
- 市民が気軽に関わり活動できる
- ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎
- 環境負荷の低減
- 自然環境を活かす
- 社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応

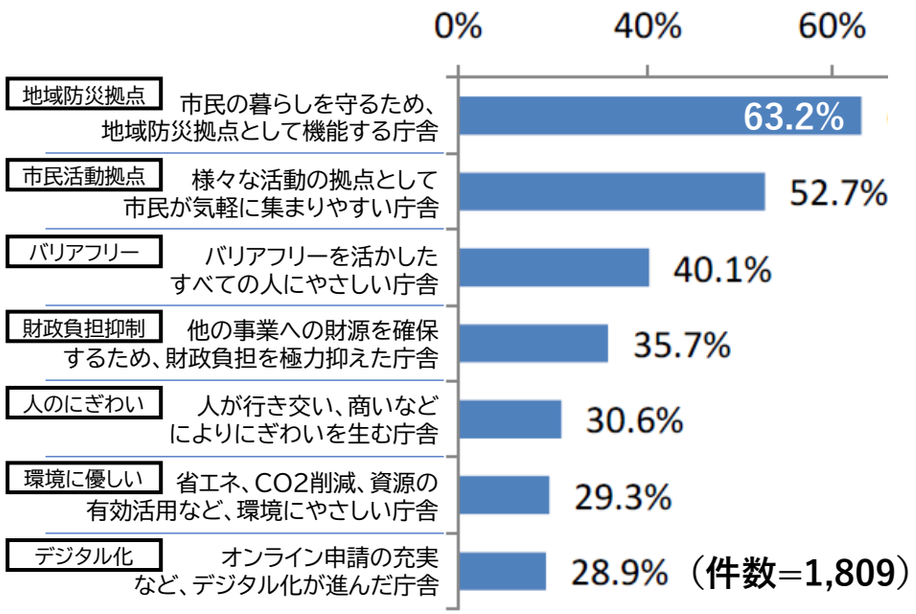
新庁舎の役割・機能の関係 （例）

前回 → 今回 → 次回

市の役割（第1回WSより）	新庁舎の役割 （例）	新庁舎の機能 （例）
・安心安全なまち	・災害時の司令塔となる	・災害対策室（人員待機・通発信機器） ・地震に強い建物
・魅力ある市をつくる	・市民と協働する ・まちづくりを考える	・ミーティングスペース ・会議・相談室 ・市民が集まれる空間
・便利なまち	・市民サービスを提供する（申請手続き） ・情報を発信する	・集約された窓口 ・働きやすい執務空間 ・DXに対応する設備
⋮	⋮	⋮

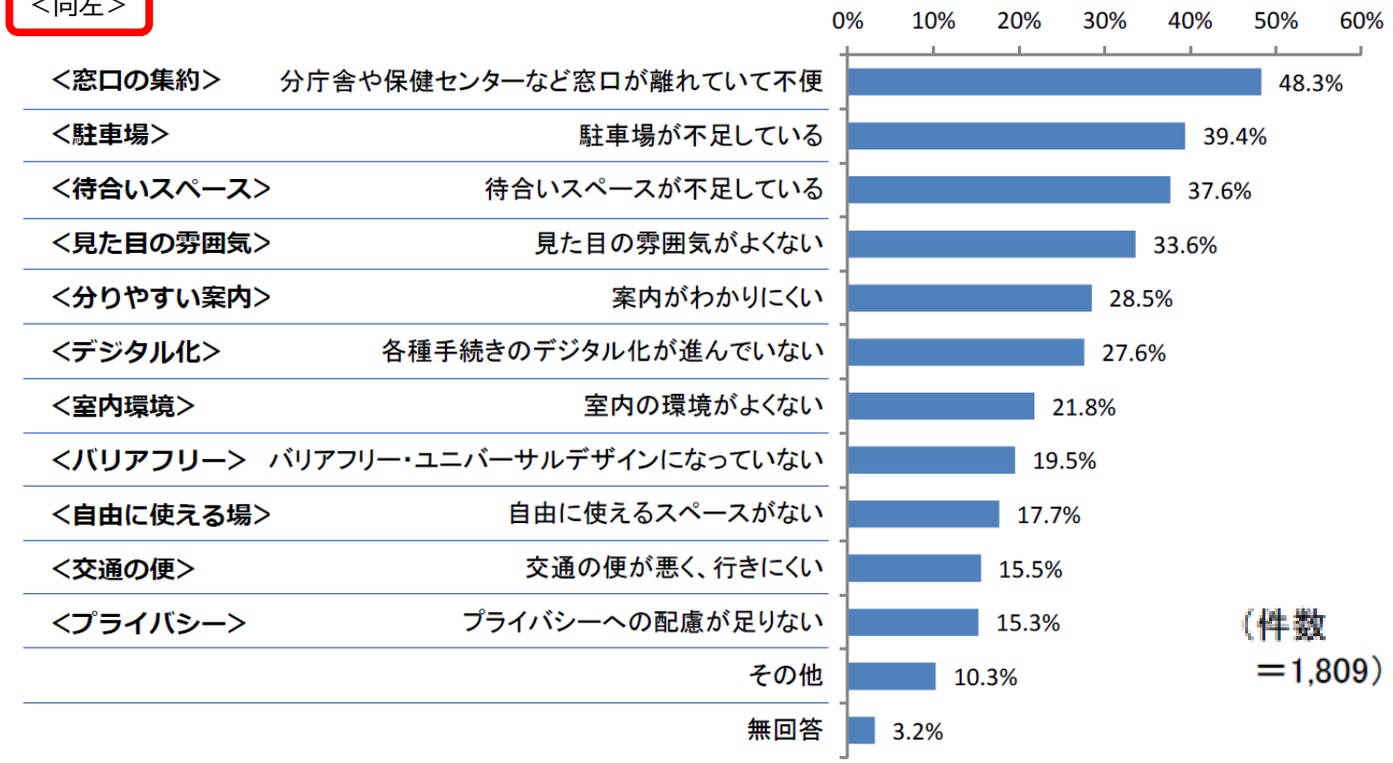
新庁舎整備において大切にすべき視点は？

＜新庁舎に関する市民アンケート＞令和4年7～8月実施



現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分は？

＜同左＞



リバーポートパーク美濃加茂（美濃加茂市）

RIVER PORT PARK
Minokamo

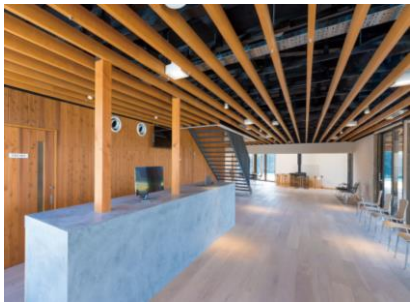
PLAY WITH THE EARTH
FOR THE FUTURE

リバーポートパーク
RIVER PORT PARK
美濃加茂

CONCEPT

人と人・川と街をつなぐ
地球と遊べる街、美濃加茂を発信する公園

「のんびり過ごす」「楽しむ」「癒される」といった公園本来の機能に加え、レジャーとフィットネスをテーマとし、川、森という環境を活かしながら「自然と寄り添うライフスタイル」を提案します。



都心部近郊で本格アウトドア体験
『まちなかアウトドア』

名古屋から1時間、本格的な川のアクティビティや海外スタイルのBBQを楽しむことができる。またフィットネス場としての利用が可能な『まちなかアウトドア』の拠点。

岐阜県新庁舎

コンセプト
～Consept～
『県政の拠点』
『清流の国ぎふの象徴』

県庁舎前の並木

1 県民の暮らしを守る

通常建物の1.5倍の耐震性を確保
5階に危機管理フロアを配置するとともに、
ライフラインの複線化や浸水対策を実施

災害対策本部

建物の揺れを軽減させる装置

2 地域の魅力を発信する

「清流の国ぎふ」のショーウィンドーとして、
外壁にタイル、内装にヒノキ、
美濃和紙をはじめとする
県産材・県産品をふんだんに活用

1階「GALLERY GIFU」

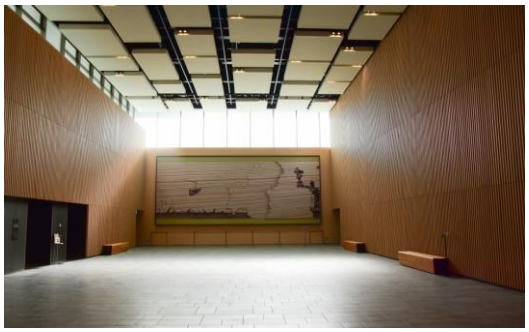
行政棟エントランス

3 環境負荷やライフサイクルコストを低減させる

再生可能エネルギーの活用、
省資源対策などにより、旧県庁舎に比べ、
単位面積当たりの
温室効果ガス排出量を43.6%削減

ひさしを用いた自然採光

太陽光を庁内電力に活用



岐阜市新庁舎

基本理念

市民に親しまれ
長く使い続けることを
前提とした新庁舎

～5つのコンセプト～

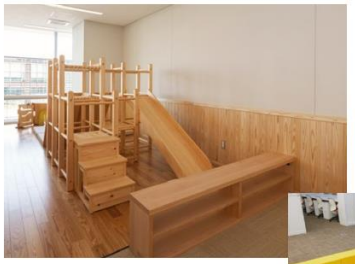
1 にぎわいを生む魅力ある新庁舎
みんなの広場 カオカオの拡充、開放的なエントランスモールと多目的な市民交流スペース

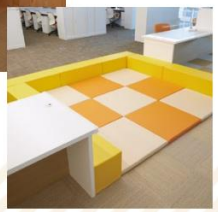
2 都市や歴史、自然と調和する新庁舎
ぎふらしさを想起させる建築、豊かな緑の整備

3 快適で安全な新庁舎
ユニバーサルデザインの採用、様々な利便施設の設置

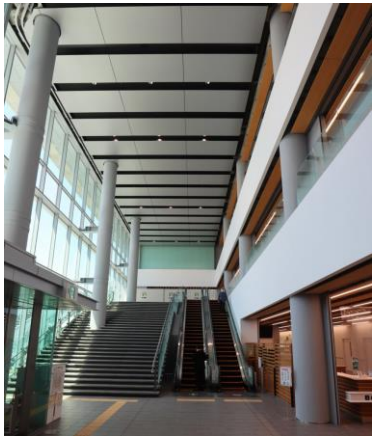
4 いのちと暮らしを守る新庁舎
高度な防災拠点機能、立体駐車場や防災広場の活用

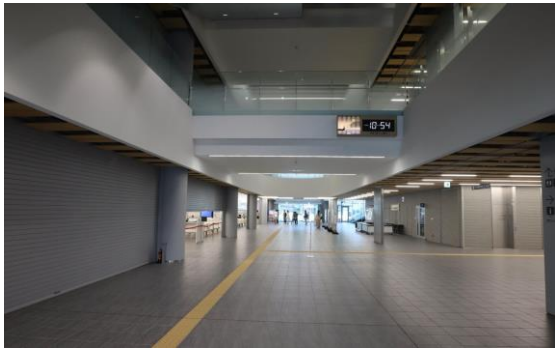
5 持続可能で長寿命な新庁舎
再生可能エネルギーの活用、ライフサイクルコストの縮減

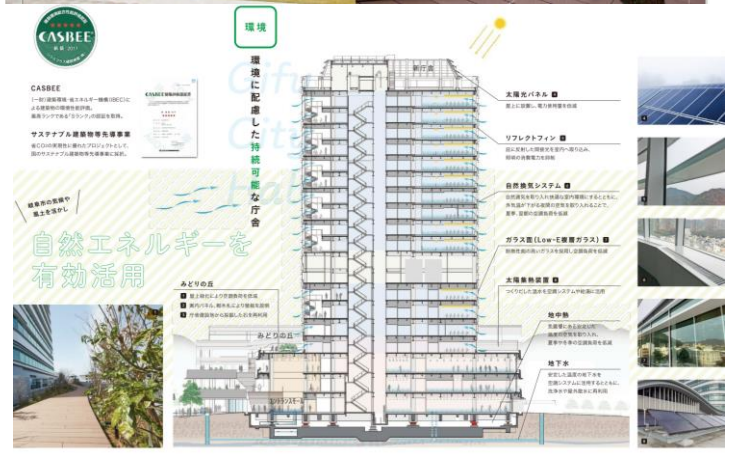




キッズルーム、キッズコーナー







レストラン 2階：北東側
開放的なテラスを備え、みんなの広場 カオカオからのアクセスも良いレストラン。

（3）第 3 回市民ワークショップ

第3回　市民ワークショップ　結果概要
テーマ:「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに沿って、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第3回のワークショップは「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに、全3日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1日目	2日目	3日目
日時	令和 5 年 12 月 2 日(土) 15:30～18:30	令和 5 年 12 月 3 日(日) 14:00～17:00	令和 5 年 12 月 7 日(木) 18:00～21:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	15 人	18 人	24 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. ウォーミングアップ
   お題:「情報提供資料の説明を聞いて気付いたこと」
5. グループワーク
   お題:「新庁舎の機能」「複数候補地の選定」
6. 全体発表
7. おわりに

(3)参加者募集の概要

- ●対象:市内在住・市内在勤の中学生以上
- ●定員:36 名／回×3 回
- ●申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール)
- ●申込期限:11 月 21 日(火)〆切
- ●募集方法:広報折込チラシ(1 万 4 千人)、市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、公共施設・民間事業者の合計 74 施設への掲示、太田町交差点角 LED 広告

(4)事務局

- ●事務局:美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、新庁舎の役割をもとに「新庁舎の機能」を、市内全域における基本的な立地の条件や主な市有地周辺のエリアをもとに「新庁舎の複数候補地案」を考えていただきました。

「新庁舎の機能」の全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。

特に新庁舎の役割のうち「働きやすい環境」に対しては、庁内の縦割りをなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。また、新庁舎の役割のうち「災害時の拠点」に対しては、拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所等の市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見が出されました。新庁舎の役割のうち「デジタル化」に対しては、デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

「新庁舎の複数候補地案」の全体の傾向として、各候補地に対して、「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からのご意見が多く出されました。利便性については公共交通機関による来庁だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかどうかについても議論がされました。市民からの提案として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設周辺(みのかも健康の森・中部国際医療センター(健康プラザ)・みのかも文化の森・総合福祉会館・ぎふ清流里山公園・岐阜県立国際たくみアカデミー・前平公園内等)が提案されました。

第3回市民ワークショップ意見
（「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」）

【STEP4　新庁舎の機能】　■第3回市民ワークショップでは、下記機能（例）や機能に関するご意見を出していただきました。そのご意見を「新庁舎の役割」ごとに整理しました。

新庁舎の役割：誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに 提供される

新庁舎の機能（例）
- 受けられる支援の情報が必要な人に届く仕組み
- 市外へ市の魅力を発信する仕組み
- 市へ伝えたいことを伝えられる機能（例：音声の自動文字起こしで聴取等）
- 市民の文化活動を紹介するような展示スペース
- オンラインの相談窓口
- プライバシーの保護
- 本庁舎より連絡所が機能充実
- 庁舎内の動線を明確にする
- 駐車場でイベント開催
- 新庁舎と図書館を一緒にする

機能に関する意見
- 議会が近い存在になる工夫（聞きやすい傍聴席・議員との面接・議場の有効活用等）
- 受けられる支援や仕組みの発信
- 必要な情報を各自が取りにいける機能・仕組み
- 市や、市民のこころのシンボルになるもの・建築
- 交通の便が良い新庁舎
- 他の施設との併設
- 市民の展示スペース
- 人が集まり、くつろげる広場
- リラックスできるカフェや勉強スペース
- 交流の場は既存施設を用いる/併設しない
- 自然がある　/　・ イベント開催
- 相談にタイムリーに対応できる（人員配置の工夫・集約など）
- プライバシー保護の仕組み・工夫
- 相談の総合窓口・コンシェルジュ

新庁舎の役割：こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる

新庁舎の機能（例）
- 多言語対応 ／・ 視覚・聴覚障がい対応
- 子育て世代も利用しやすい（子どもの遊び場併設等）
- 高齢者も移動しやすく、わかりやすい
- ユニバーサルデザイン
- 誰もが気軽に利用できるスペース

機能に関する意見
- 連絡所や地域の核となる施設（学校等）での相談などの対応
- 外国の方の専用窓口　/・ 託児スペース
- 案内役コンシェルジュやタブレット
- どんな人でも行きたくなる・行きやすい
- 目的地に行きやすい工夫・動線
- 困りごとの相談ができる/・たらい回しされない
- 大人だけでなく、子供も集まり助けられる場所
- 小さい子供が遊べる場所
- 外国の方との交流の場

新庁舎の役割：災害時の拠点として、緊急時の対応ができる

新庁舎の機能（例）
- 災害対策本部
- 災害時に拠点として活用できる大きな駐車場
- 浸水対策
- FM放送局
- シェルター
- 災害時の電源確保

機能に関する意見
- 災害時、拠点として機能が発揮できる
- 他拠点・他地域と連携する仕組み
- 災害時活用できる広い敷地
- 避難場所・シェルターとしての活用
- インフラ（電気・水等）の確保
- 無線・衛星
- 災害時に安全な道路交通の確保
- その他防災対策（かまどベンチ・マンホールトイレ・テント等）
- 災害時の事業継続の計画（BCP）

新庁舎の役割：業務効率の向上につながる環境の充実

新庁舎の機能（例）
- 職員がストレスなく働けるよう、多目的な要素をいれる（休憩スペース・コンビニ・カフェ等）
- 横ぐし（部署間）の情報連携を取りやすくする
- リモートワークの導入

機能に関する意見
- 職員の求める庁舎環境
- 部・課を超えた連携のしくみ
- 機能の集約
- 職員も市民も利用できる食堂・コンビニ等
- 職員のリフレッシュになる機能・環境（休憩スペース・自然と共生した環境）
- 職員の教育・スキルアップ
- デジタル化に対応できる職員
- 業務のデジタル化（押印廃止・セキュリティ強化）

新庁舎の役割：環境の変化に対応できる庁舎

新庁舎の機能（例）
- リモートワークの導入

機能に関する意見
- フレキシブルに使える建築
- 50年100年先を想定して諸問題を考えたい
- SDGsの拠点・モデル化を通じて市内へ発展

新庁舎の役割：平日に働く人も頼りやすい

新庁舎の機能（例）
- 事前予約ができる、便利な相談窓口
- 起業相談
- 商工事業者と連携した機能

機能に関する意見
- 起業したい外国人の方への相談や説明窓口
- オンライン相談・書類確認

新庁舎の役割：申請等の手続きがオンラインでできる

新庁舎の機能（例）
- LINE等のSNSやホームページとの連携
- デジタル化と合わせた連絡所の活用
- デジタルが苦手な人も困らない仕組み（一緒にデジタルに慣れることができるスペース）
- オンライン申請（自宅でも申請可）

機能に関する意見
- オンライン相談・オンラインで書類確認
- デジタルになじめる機能・仕組
- リモートの活用による集約された窓口
- デジタルが苦手な人でも困らない機能・仕組み

新庁舎の役割：行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能（例）
- ワンフロアの総合窓口

機能に関する意見
- 全ての機能がコンパクトで一か所に集まっている。
- リフレッシュ機能は庁舎内でなく近くに設ける
- 連絡所について、各地域で対応できるように整備
- 市の負担がどれくらいになるのか見える化してほしい
- 建設費に対する財政計画

その他
- 市の魅力のPR　・PRを上手にする（アンテナショップなど）
- 美濃加茂のマークを作り特産物に貼る、庁舎にちりばめる
- 5年以上先の新庁舎を待たず、できるものは実現して

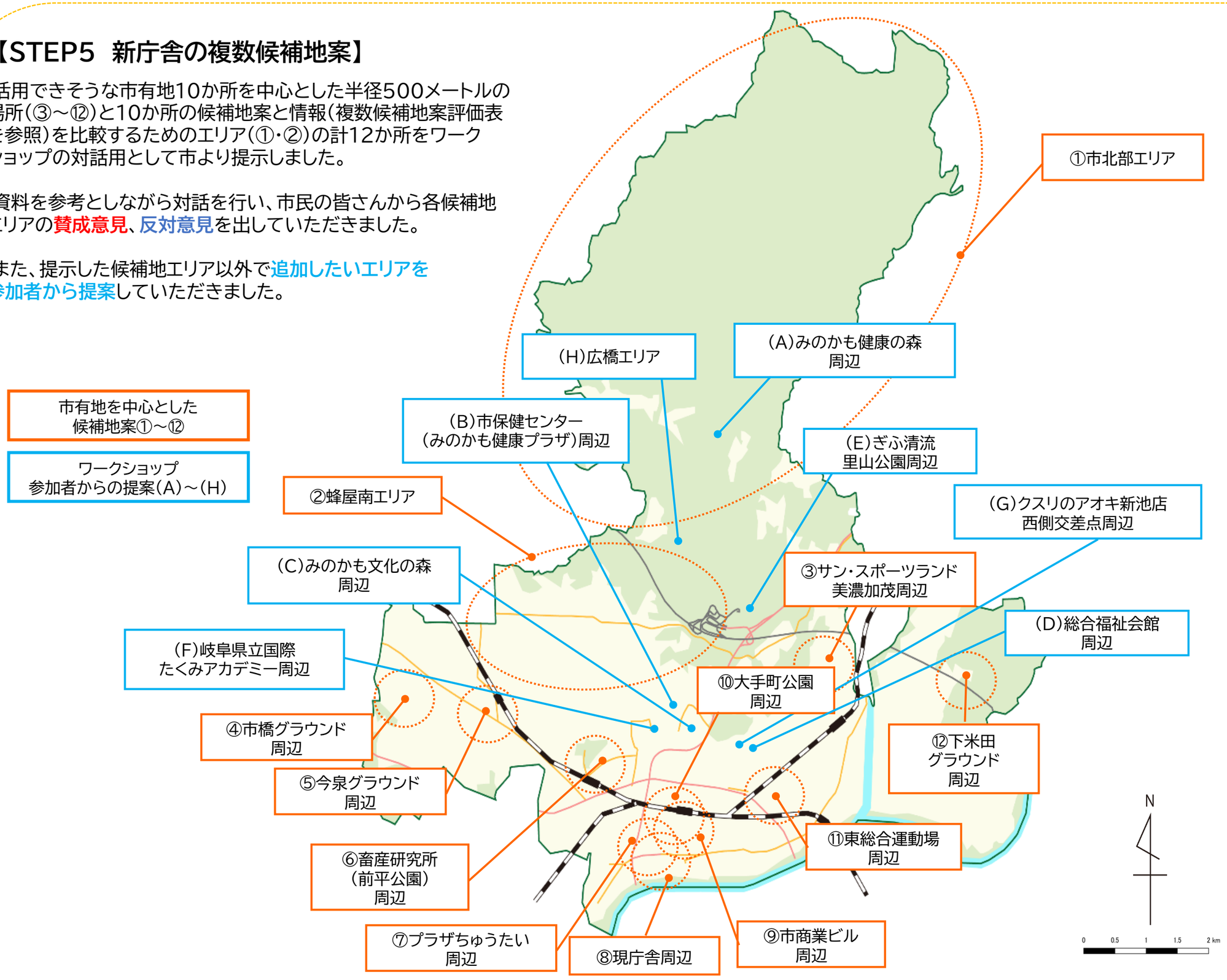
第3回市民ワークショップ　新庁舎の複数候補地案に対して出たご意見

【STEP5　新庁舎の複数候補地案】

◇活用できそうな市有地10か所を中心とした半径500メートルの場所(③～⑫)と10か所の候補地案と情報(複数候補地案評価表を参照)を比較するためのエリア(①・②)の計12か所をワークショップの対話用として市より提示しました。

◇資料を参考としながら対話を行い、市民の皆さんから各候補地エリアの**賛成意見**、**反対意見**を出していただきました。

◇また、提示した候補地エリア以外で**追加したいエリアを参加者から提案**していただきました。



■ワークショップ参加者のご意見　一覧（重複意見を除く）

番号	エリア	市民の意見
1	市北部エリア	〈賛成意見〉 ・田んぼが多く、土地が十分にある。（市有地ではないが。あまり北へは行かないあたりがよいのでは。） ・移住も見込める ・伊深地区（将来の人口減少による市町村合併を考えての立地） ・自然が豊かで森がみえるので、庁舎に行く度に心が癒される。 〈反対意見〉 ・設置場所を決めにくい ・土砂災害のリスクがあるのではないか？
2	蜂屋南エリア	〈賛成意見〉 ・土地が安く、大きく空いている。 ・地盤が硬く、液状化もしにくい。 ・浸水の心配がない。 ・人口増加も北へ移動しており、市の発展になる。 ・環境が良く、里山を体感できて里山千年構想とつながる。 ・緊急輸送道路や国道、高速道路が近く、交通の便が良い。 ・中部国際医療センターが近い。 ・堂上蜂屋柿のPR 〈反対意見〉 ・設置場所を決めにくい ・交通はあとから整備される ・新たに土地購入が必要 〈その他〉 ・ヤマザキマザックの周辺の農地はどうか？
3	サン・スポーツランド美濃加茂周辺	〈賛成意見〉 ・保健センターが近い。 ・高位段丘にあり、水害が少ない。 ・高速道路が近い。 ・市有地が広い。 ・放棄地の果樹園が多い。（買収しやすいのではないか。）
4	市橋グラウンド周辺	〈反対意見〉 ・敷地面積が狭い
5	今泉グラウンド周辺	〈賛成意見〉 ・平地で造成・建築費用を抑えることが出来る。 ・浸水や土砂崩れが少なく、災害の心配がない。 ・都市部を避ければ、災害時などに混乱しない。 ・今泉周辺は人口増加中（加茂野地区には1万人／5万5千人が住んでいる。） ・駅が近い（美濃太田駅から2駅でいける） ・穏やかな風景が広がっている。 〈反対意見〉 ・敷地面積が狭い。 ・今の中心部からは少し離れているのではないか？ ・土地が十分に確保できるだろうか？
6	畜産研究所（前平公園）周辺	〈賛成意見〉 ・市有地で広い敷地面積が確保できる →交流の拠点でも使いやすく、災害に強く、駐車場も十分に確保できる。 →敷地面積が確保できるから市役所機能を集約でき、仕事がしやすい。 ・災害対策一番重視。 ・道路整備もしやすい。 ・地盤が強固で高台のため、浸水害等の災害に強い。 ・中部国際医療センターや公園からも近いので、市の主要な施設が集約される。 ・自然環境が良い。 ・駅にも近くアクセスが良い。 ・輸送路が近く、災害時の対応に適している。 ・緑が多く、来訪者や職員が気持ちよく過ごせる。ストレスが減り、こころのゆとりが増す。 ・消防本部も移動できるほどの広さ。 ・中部国際医療センターに近い。 ・前平グラウンドを含む公園と一体化。 ・インターや工業団地が近いから、企業・産業支援もしやすいのでは。 ・公園やスポーツ施設があるエリアのため交流の拠点にもなる。 ・前平公園単独でも考えられるが、畜産研究所と一体的に市庁舎関連施設として整備することもできる。 〈反対意見〉 ・一部、液状化の可能性がある。 ・道が狭く、渋滞がひどいエリアなので避けたい場所。→道路の整備が必要・斜面なので造成費用心配。 ・国の道路を整備しない限りNO！交通量がものすごい。 ・公園がなくなると現在の利用者はさみしいと感じるだろう。 ・前平公園は都市公園なので、無くすとなると新たに公園を別の場所に作る必要がある。
7	プラザちゅうたい周辺	〈賛成意見〉 ・道路がきちんと整備されているし、人口も多くたくさんの人が行きやすい。 ・体育館も含めた複合施設になるといい。 ・災害を恐れるよりも普段の使いやすさを考えたい。 〈反対意見〉 ・現状、浸水害の影響あり、危険性が高い。
8	現庁舎周辺	〈賛成意見〉 ・現庁舎周辺の人が逃げ込める場所としての避難所の機能。 ・市有地があるので、買収の必要がない。 ・近くに病院があり、利便性が高い。 〈反対意見〉 ・浸水害の影響あり→災害対策本部としての機能を果たせるか心配。 ・駐車場面積が少なく確保しにくい。 ・交通が混雑。 〈その他〉 ・市合併時の各連絡所の充実を図る前提ならOK。 ・再建中の庁舎移転が可能かどうか？
9	市商業ビル周辺	〈賛成意見〉 ・交流の拠点として、駅が近いのはプラス ・買収の必要がない。 ・駅前の活性化。 ・ランドマーク的な高層ビル。駐車場や市役所スペースの他、賃貸スペースを取り企業などの誘致をするなど柔軟に活用する。 ・大型のコンベンション施設としても活用する。そのためにも駅に近い方が良い。 〈反対意見〉 ・狭いから駐車場が確保できない。 ・交流の拠点としては、今の状況をみると人が集まらないから難しい。 ・浸水害の影響あり、災害時に情報発信等の機能を発揮できないのでは ・道路拡張などの整備が必要 〈その他〉 ・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
10	大手町公園周辺	〈賛成意見〉 ・広い市有地の土地があるから、買収の必要がない。 ・道路からのアクセスが良く、駅に近い。市の真ん中。→多治見を参考に再開発を見越した開発をする。 ・商工会が近くにあり連携しやすい。 ・現庁舎周辺より標高が高く、災害が少ない ・利便性が高い。 ・コンパクトにすることで、小さな土地でも十分に収まるのではないか。 〈反対意見〉 ・駐車場が確保できるか？ ・美濃太田駅の再開発が必要ではないか？ ・災害の拠点には狭い。 ・駐車場の購入費用が心配である。 〈その他〉 ・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
11	東総合運動場周辺	〈賛成意見〉 ・利便性。 ・災害の危険性少ない。 ・広い市有地がある。 ・人口が多いので、便利になるといい。 〈反対意見〉 ・用途地域的に難しい。 ・交通量の増加が心配。 ・建物＋駐車場の確保は難しい。
12	下米田グラウンド周辺	〈賛成意見〉 ・自然豊かで庁舎に行く度に心が癒される。 ・里山千年構想とつながっている。 〈反対意見〉 ・市街地から離れすぎている。

■ワークショップ参加者のご意見　一覧（重複意見を除く）

番号	エリア	市民の意見
9＋10	9（市商業ビル周辺）＋10（大手町公園周辺	〈賛成意見〉 ・買収の必要がない。 ・広い土地があるから。
A	みのかも健康の森周辺	〈賛成意見〉 ・自然豊かな場所
B	市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺	〈賛成意見〉 ・山だから土地代が安い。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。 ・市役所への相談が多い子育ての関連施設近くが良い。 ・保健センターが近い。 〈反対意見〉 ・市有地が無いので、新たな土地購入が必要。 〈その他〉 ・中部国際医療センターの北西部・マザック第二工場の北側が良い。 ・みのかも文化の森周辺が良い。 ・中部国際医療センター「以外」が良い。（絶対ダメ！）
C	みのかも文化の森周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センター付近である。 ・災害が少なく、利便性がたかく、医療も充実している。
D	総合福祉会館周辺	〈賛成意見〉 ・福祉会館に近い。 ・福祉関連の相談が多いので関連施設近くに。 〈反対意見〉 ・用途指定あり。 ・文教地区。

番号	エリア	市民の意見
E	ぎふ清流里山公園周辺	〈賛成意見〉 ・市街地から近く、利便性も悪くない。 ・美濃加茂のシンボル＝自然というイメージに一致している。 ・斜面のままの建物で良い。 ・自然との調和を大事にしたい。 ・自然豊かな場所。 ・SDGs、今は森の中に施設ができる時代。 ・ぎふ清流里山公園とのコラボで令和の楽市に。 ・ぎふ清流里山公園と駐車場の共用。 ・里山と庁舎の融合にチャレンジ。 ・ヤギを飼う。 ・ビオトープ。 ・中部国際医療センターやみのかも文化の森とEVの公共交通機関で結ぶ。 ・森や山と共生する里山の役場。 ・交通の要（東海環状道、R41）で周辺自治体と連携しやすい。 ・家族で行く身近な場所。 ・里山の役場。 ・低層階の木造建築 ・駅から遠くても公共交通を整備すれば良い。 〈反対意見〉 ・ぎふ清流里山公園自体は県の都市公園のため使用できない。 ・土地が十分にあるが、買収などの必要があるだろう
F	岐阜県立国際たくみアカデミー周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センターの横　幹線道路がある。 ・広い土地がたくさんありそう。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。
G	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺	〈賛成意見〉 ・土地が広い　田んぼなので土地代も安い　排水ができる ・ちょうど市の中心の場所なので、どこからでも行き来しやすい ・主要道路からのアクセスはよさそう。 〈反対意見〉 ・市の所有地ではないので、土地買収などにお金がかかる 〈その他〉 ・山之上町　クスリのアオキ北側の田んぼのエリア。 ・クスリのアオキ北側の林エリア

番号	エリア	市民の意見
H	広橋エリア	〈賛成意見〉 ・自然がある。

第3回市民ワークショップ　アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

市の役割、新庁舎の役割・コンセプトを踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討する。その上で、候補地案について検討する。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者　57 名

③ 実施日時

① 2023 年 12 月 2 日(土)15:30～18:30
② 2023 年 12 月 3 日(日)14:00～17:00
③ 2023 年 12 月 7 日(木)18:00～21:00

④ 実施場所

生涯学習センター201

⑤ アンケート回収状況

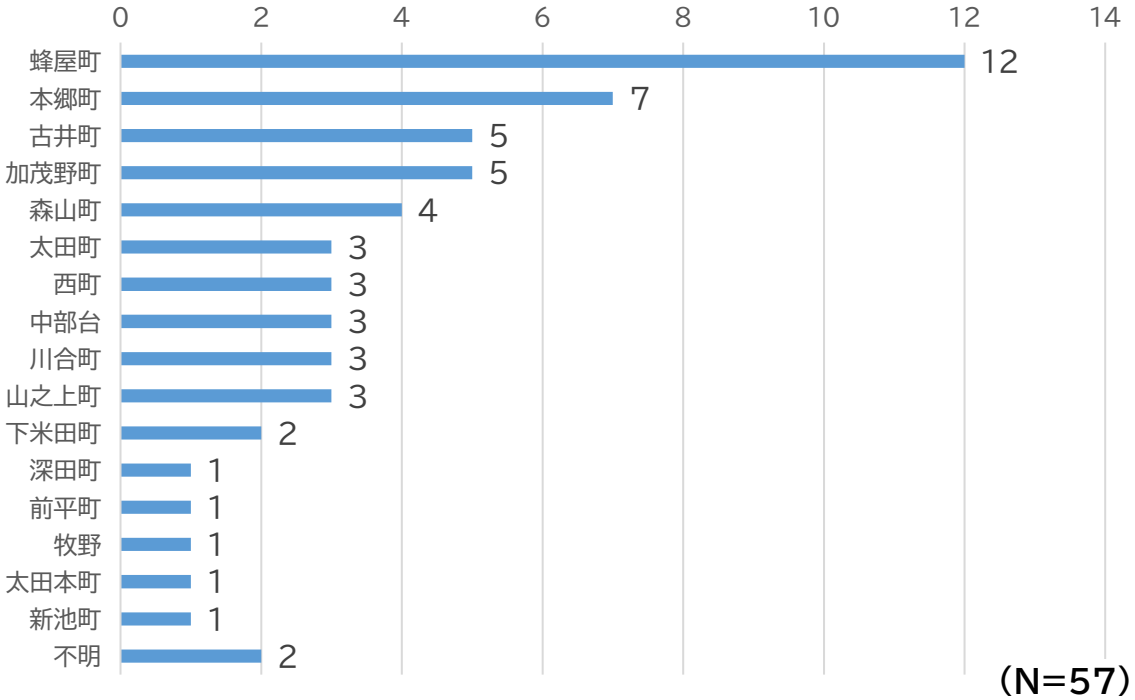
45 件 回収(紙:30 件、Google フォーム:15 件(12 月 15 日〆))

2. ワークショップ参加者の属性

（1） 住所

蜂屋町が最も多く、本郷町、古井町、加茂野町が続いた。

図表 1 参加者の住所

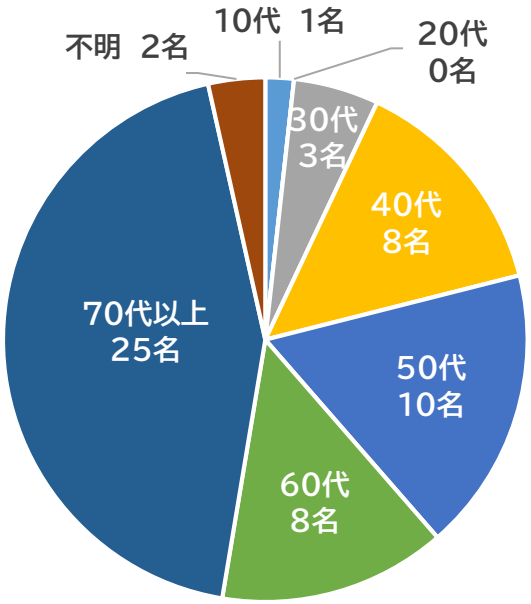


（N=57）

（2） 年代

70 代以上が最も多く25名、次いで 50 代が10名、40 代と 60 代が8名と続いた。

図表 2 参加者の年代

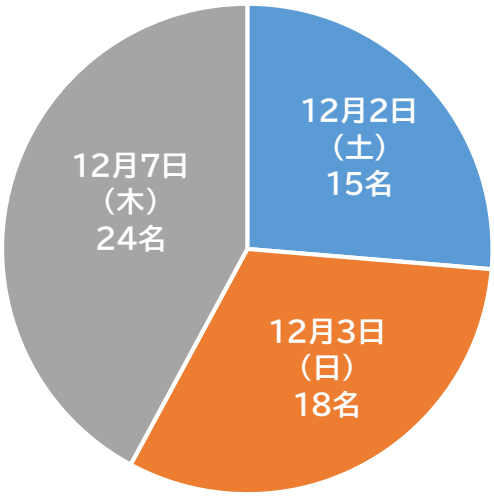


（N=57）

(3)参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、平日の 12 月7日(木)が 24 名で最も参加者が多かった。

図表 3 参加日別参加人数



(N=57)

3. アンケート結果

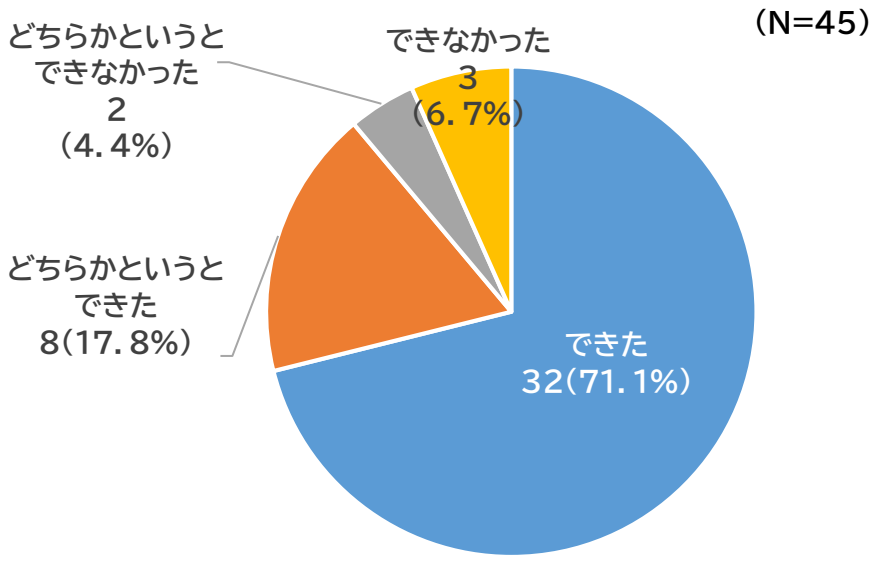
問1. ワークショップに参加されることへ価値を感じることができましたか。

a.情報収集ができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、88. 9%の参加者がワークショップに参加して、情報収集ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	32
どちらかというとできた	8
どちらかというとできなかった	2
できなかった	3
未回答	0
合計	45

図表 4 情報収集ができたか

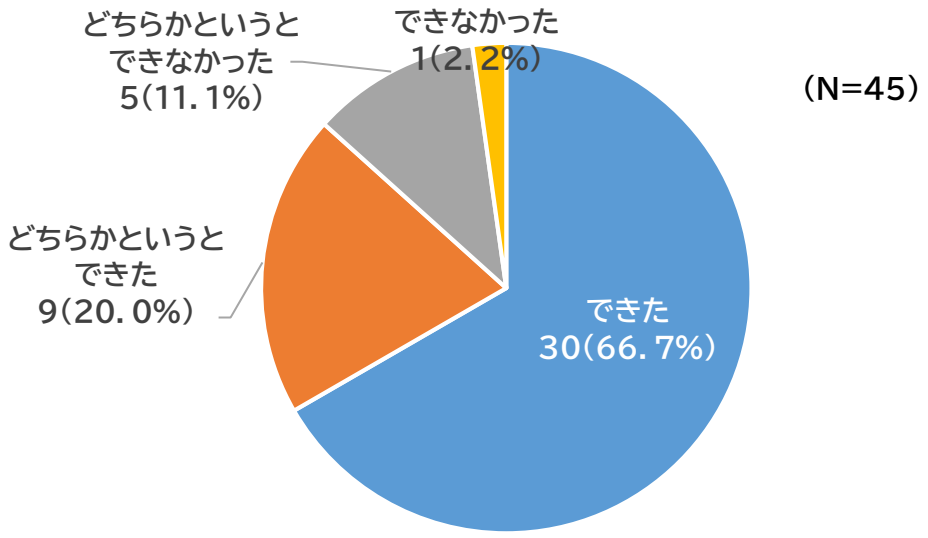


b.市民同士や市職員との対話ができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86．7%の参加者がワークショップに参加して、市民同士や市職員の対話ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	5
できなかった	1
未回答	0
合計	45

図表 5　市民同士や市職員との対話ができたか

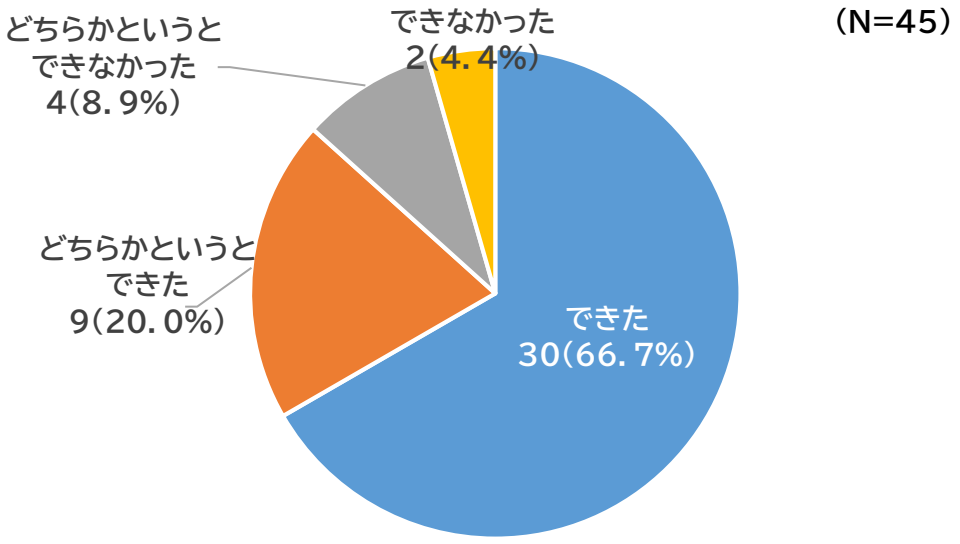


c.新庁舎事業に関わることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86．7%の参加者がワークショップに参加して、新庁舎事業に関わることができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	4
できなかった	2
未回答	0
合計	45

図表 6 新庁舎事業に関わることができたか

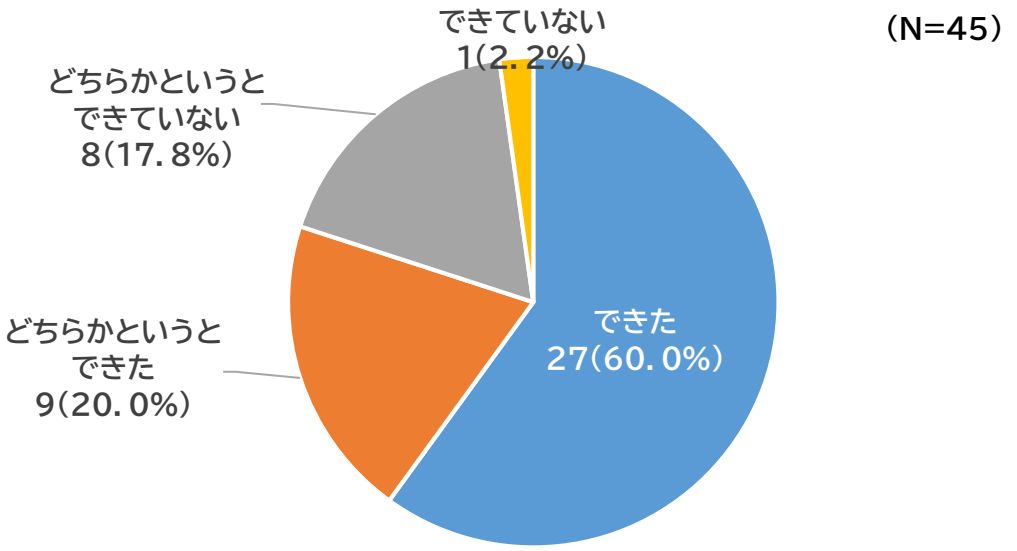


問2. ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、80. 0%の参加者がワークショップに参加して、納得のいく候補地案への評価ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	27
どちらかというとできた	9
どちらかというとできていない	8
できていない	1
未回答	0
合計	45

図表 7 ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができたか



問3. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の機能・複数候補地案に必要であると思ったことがあれば教えてください。（自由記入）

新庁舎の機能については、コンパクト化に関する意見が多く出された。複数候補地案については、各候補地での庁舎建築の在り方や、建設にあたり具体的に考慮すべき点が出された。また、整備を進めるにあたり、ワークショップ出席者に限らない多くの市民の意見を聞くことを求める意見が出された。

【土地の確保】
・緊急の場合のヘリ等の発着地としても広い敷地の確保が望まれる。過去に新成人が空から視察できたという、うらやましい事もあり、広さが望まれる。
・市有地である。土地の確保が有利。
・土地の確保
・1　一箇所で事が済む庁舎が望ましい。2　職員、公用車、来庁者の駐車場が敷地内にある事。3　借地でない事。4　余裕の有る敷地の確保。

【防災】
・自分の考えは、コンパクトで災害に強い庁舎です。市民アンケートでは経費面も合わせて聞いてください。
・防災拠点となると利便性、発展性が指針になると思います。
・50 年・100 年を見とおす。高台が良いと思う。

【コンパクト】
・現在の連絡所の充実を計りコンパクトに。
・議場、対面相談窓口、防災指揮所及び避難所は必須とし、事務及びバックオフィス機能はDX化し分散処理する事で市庁舎に来なくてもリモートサービスを受けられる様になり必然的に箱はミニマムになる。
　建築は森との共生、里山の役場らしく県内木材を多用した低層の建物を個別に作る事でフレキシブルに増殖出来るようにする。
　象徴としての大箱では無く、機能を環境に融和させ、かつ持続的に維持（屋根上ソーラー、電動バス、グリーンカーテン、ビオトープ、里山ガーデンなど）出来る市庁舎を期待。
・大きな建物は要らないと感じました。必要だと思ったことは、地域の連絡所、学校・図書館などの一角を小さな分庁舎とすることです。

【複合用途】
・交流スペース、職員さんの働きやすさを重視してカフェまたは勉強スペースが機能として必要だと感じた！

【将来性】
・庁舎は長い時代(時間)と共に変化する建物で無くては成らないと考えました。

【市のシンボル】
・市のシンボルとしての役割も考慮すると良い。

【候補地案】
・前回市長選で美濃太田駅はダメと判断されています。美濃加茂市の今後の発展を考えれば美濃太田駅北側が良いと思います。
・既存の価値観ではなく、新たな新天地として、三和、伊深を候補に入れる視点も大切だと思いました。
・自然との調和のある庁舎が必要だと感じた。大きな箱物でなくても、1・2階建ての建物がその敷地内にいくつかある方が良いと感じた。
・自然との調和、里山に庁舎があると良い理由
…純粋にワクワクする。
…ただ無機質な箱物をつくるよりも、自然と調和して思いのある庁舎を作る方が今後の歴史を繋いで、新たに歴史を作っていく為にも良いと思うし、市民としても庁舎を守るのに貢献したいと思える。
…市役所で働く方がより活き活き働ける。

【懸念点】
・グラウンドを潰すのはやめて下さい。スポ少野球で練習、試合に使います。小学生が自転車でも通える地域の大切なグラウンドです。その他に、園庭の狭い保育園、幼稚園が運動会をしたり、近くの高校が部活に使用しています。災害時には避難所になります。なので、グラウンドは残して下さい。
　畜産試験場になる場合、豚の慰霊碑を小さくてもいいので、建てて下さい。
　前平公園辺りが、工場の車が多くて子どもの事故があると、おっしゃっていた方がみえました。大切な子どもの命です。早急に対策して下さい。もし新庁舎を建てる場合にも、周辺の道路編成もしっかりやって下さい。
　大手町公園周辺に行く道に鉄道下を通るアンダーパスがあり、大雨の時は通行止めになるので、よくないのでは。

【他市事例】
・参加するにあたって、北方町、各務原市の庁舎と可児市の mano を見学して来ました。北方町はコンパクトで親しみやすい遊び心のある自然を感じられる素敵な庁舎でした。
　各務原市は街中でデジタル案内や飛行機のマークを色んな所に散りばめて、まさに各務原だなと感じました。各窓口ブースの案内板は大きな文字や色でお

年寄りにも分かりやすい案内でした。隣接してまちづくり課があって色々な催し物が出来るスペースがあり、市民もまちづくりに参加出来そうな感じでした。
　可児市の駅前に隣接された mano はこども課等が入った施設ですが、ゆったりしていて贅沢な気持ちにさせてくれました。学生の勉強スペースもあり、駅を利用する学生の待ち時間等には最高だと思いました。そこで駅北の大手町公園は庁舎には少し狭いので、可児市の mano の様な施設を建てると、子育て支援に取り組んでいる美濃加茂市を強くアピールできるのでは無いかと感じました。子供だけでなく皆が集えるスペースも取れそうです。庁舎は別の場所にしっかりと事務ができる様、区別するのも良いかなと、感じました。

【市職員】
・市職員の充実を図って下さい。
・市職員の主体性。

【まちづくり】
・日本人、美濃加茂市民としてどのようなまちづくりをしていくか、をみなさんで考えていきたい。

【費用】
・具体的な費用
・財政面の資料があると考えの視点がもっと広がったと思う。商業施設（前回の案）の案との比較が話題となったか。

【整備の進め方】
・第 3 回、第 2 回ワークショップで民主的に市民の声を聞き良くまとめられている。その内容はブレがなく市職員の意識改革も重要であることが提起されたことが大切だと考える。よくぞ 2 回目のワークで取りまとめていただいたことに敬意も表します。より良き「みのかも」未来（将来）の活力を市民に訴えていくには大切なことです。
・新庁舎が皆さん（市民の皆さん）の大切なものです。力を合わせて良いものにしたいです。
・夢を語れる代表が必要
・ワークショップの意見を生かして下さい。市議の方も参考にしてください。
・住んでいる人の意見が重要と思います。
・最初は自分の意見を話すことが出来ないかと思いましたが、ファシリテーターやグループメンバーのおかげで意見がスムーズにでたと思います。
・全ての候補地に必ず課題があるので、その解決を含めて検討して下さい。

・ワークショップに参加される多くの方の意見を聞いたり、今後実施されると思われるアンケート結果を重視する事が必要であると思いました。基金はどの程度あてられるのか、市債は確保されるのか、確保されるとしたら金額は県国からの助成金を出来る限り補助が受けられるようにして下さい。
・もう少したくさんの人の意見が必要であると感じた。参加者が限られているような気がする。ワークショップ以外の方法を考えてはどうか。
・機能（外観や景観を含む）と候補地は、とても分けては考えられないと思いました。テーマがだんだん具体的になってきて、参加者の意見も説得力が増してきた様に思います。参加者が、第1回開催以前から思っていた事が、やっと他の人に伝えられるという感じでしょうか？それぞれが推す、それぞれの候補地も理由を聞くと一定の納得をします。特化した機能を持つ庁舎建設を目指す場合はこの候補地以外は考えづらい、またはこの候補地に建設する庁舎にはこの様な機能を重視する、といった様に機能と候補地には密接に関連していると思います。市民にアンケートとして問う場合は、こういう機能を備えた庁舎をここに作る、この場所にこういった外観の庁舎を作るという様に、機能と候補地を合わせて質問してはどうでしょうか？

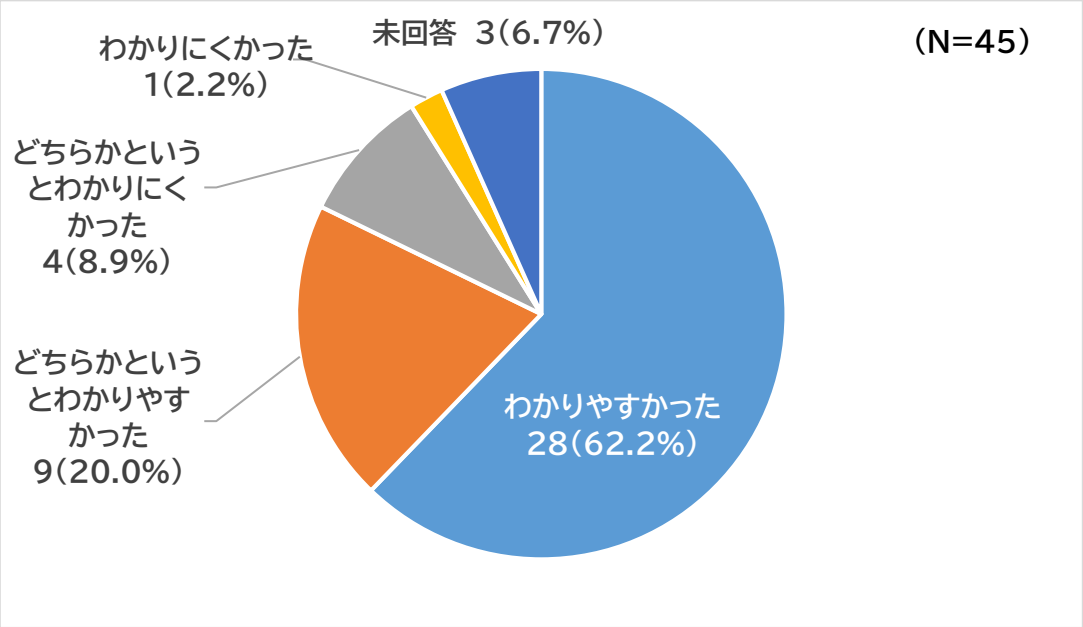
【情報提供】
・参考資料がたくさんあって良かったです。それを礎に考えることができました。今日、参加した者だけでなく幅広く知らせていくことが大切だと思います。

問4. 本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=45】
わかりやすかった	28
どちらかというとわかりやすかった	9
どちらかというとわかりにくかった	4
わかりにくかった	1
未回答	3
合計	45

図表 8 ワークショップの説明・進行について



〇ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。（今後の運営で参考とさせていただきます。）（自由記入）

グループワークについて、意見を出しやすくすることや、話し合いに集中できるようにすることを求める意見が出された。第 2 回市民ワークショップについてのアンケートで市民から課題点として挙げられた、情報提供の長さについての意見は出されなかった。資料については、事前の読み込みのアピールが必要との意見が出された。

【高評価】
・3 回目に参加してわかりやすくなりました。
・1 回目より 2 回目の方がわかりやすくなり、だんだんと市民と市の職員さんのコミュニケーションをとれてきて嬉しく思いました。
・今回ので OK
・現段階では OK だと思います。
・特になし（時間的にやむ得ない）
・わかりやすくまとめて頂きありがとうございます

【時間配分】
・最後に 30 分くらい話し合う時間がほしい。
・候補地案資料 2 が細かくて読む時間がなかった。郵送の資料に入れて、事前に欲しかった。
・他の開催日、他のテーブルの途中経過も気になります。グループ発表が終わって、解散の挨拶の後で、希望する人は他のテーブルの気になる箇所などを質問したり確認したりできる時間が少しあっても良いのではないですか？

【グループ分け】
・グループに分かれて少人数なので意見が出し易い。他の方の意見も聞き易い。
・なかなか意見が言いにくい。グループで意見がまとまると他の意見は言いにくい。
・初めて参加した人と 3 回目の方との認識の違いに少し違和感がありました。これまで10年後の美濃加茂市について色々話し合って来ましたが、一つにまとめるではなく色んな意見がある中、では場所を選びましょうと言う流れでしたが、初めて参加された方は「何のビジョンも無く場所選びはどうかな」と、これまでのワークがなかった様な入り方だったので、初参加者は一つのテーブルにし、新たな意見を発表される方が、ファシリテーターも進行しやすい様に感じました。熟したチームも新しいチームもお互いの意見に感心すると思いますし、新しい考え方も出しやすいのではないかと感じました。

【進行】
・グループのファシリテーターはもう少し議論の方向性でかじってを取ってほしい。候補地案の所は迷走した。

【参加者の年代】
・若い人が少ない(いなかった)のが残念(B グループ)

【市職員】
・市の職員は市民へのサービス業として考え、市民から求めているものを聞くことも大切だが、市民に何をしたいかという市の職員としての主体性の元に運営してくださると、より参加したくなると思います。

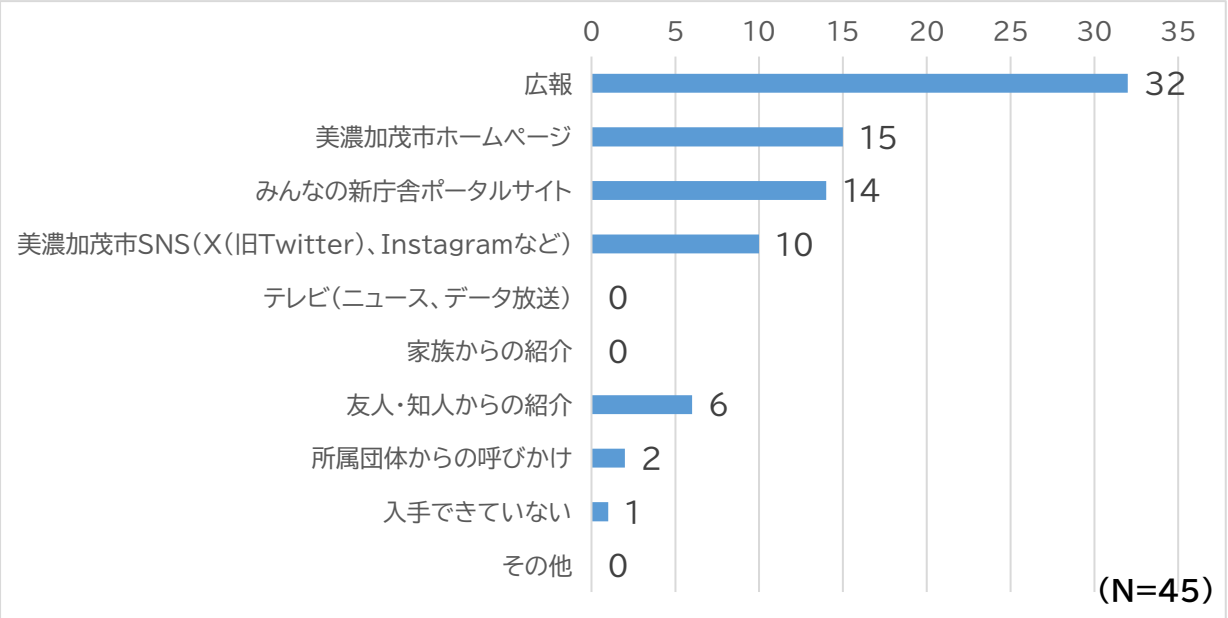
【その他】
・①初参加者もいるので必ず自己紹介をきちんとさせるべき。今回途中で発言を遮られ尋ねられるような事があった。
②未だに駅前の地主の個人名を出して批判する者がメンバーに数名いたが、それにより話の本質がズレる可能性を心配する。
③参加者同士の組み合わせはなるべく重複させない方が適してるかと思う。
④事前の資料を見ていないかのような参加者がいたが、資料送付時にもう少し事前の読み込みをアピールするべきである。
・現実的に市民の意見がどこまで届くのか？解りにくかった。
・各テーブルのファシリテーターの方は、本当によくやって下さいます。とっても有難いです。ファシリテーターが参加者に意見を求めた時、傍聴の男性の方がその参加者に話しかけて、中断しました。また、別の女性の方が、話し合い中、参加者に名刺を渡して話していました。時間が限られている大切な話し合いを邪魔しないで欲しいです。終わってからやって欲しいです。
・水谷先生の笑顔にいつも癒されます。さまざまな市民を優しく受け入れてくださいますお姿が私にとっての大きな学びとなります。

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

第2回ワークショップ時同様、「広報」から情報を入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)」が続いた。

	回答者数【N=45】
広報	32
美濃加茂市ホームページ	15
みんなの新庁舎ポータルサイト	14
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram など)	10
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	6
所属団体からの呼びかけ	2
入手できていない	1
その他	0
合計	80

図表 9 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。（自由記入）

新庁舎の機能については、防災のために必要なものやユニバーサルデザインをはじめ、様々な意見が出された。また、長期目線での候補地の選定や、庁舎完成後も含めた対話の継続を求める意見も出された。また、他市事例を実際に見たうえで書かれた、新庁舎整備に対する意欲がうかがえる意見も出された。

【新庁舎の機能】
・美濃加茂市の福祉が向上する事を大前提でサテライトの在り方も含め、機能を検討して下さい。
・災害対策本部対策室の設置、危機管理室の配置。
・情報・通信設備の設置。
・耐震性の確保
・市民の安全安心を確保するために広い一時避難スペースの確保（現在の学習センターでは狭い、災害への対応避難経路をはっきりしておく）
・非常用電源設備の確保（避雷装置の設置を含む）
・飲料水の貯蓄装置の設置
・災害発生時に、消防車両等の緊急車両が活動できる敷地内スペースを確保する。
・防災システムの活用、被災状況の把握（地域の防災組織や関係機関と連絡を取り、対応できるように通信設備を配置する）
・浸水対策
・非常食・防災資材の備蓄（大きな防災倉庫）
・総合案内の設置（庁舎内に案内表示）できればあらゆる年齢層に対応できるように案内係を置く。
・ディスプレイを備えた番号案内の採用（住民票等頻繁に利用される窓口は、法務局等で採用しているような、番号札方式がよいのでは）
・個室型相談室の設置（プライバシーに考慮した）
・市民生活に係る窓口は１階とする。
・ユニバーサルデザインに配慮した庁舎、すべての人が安心で、使いやすい施設の整備。
・利用者へ配慮した駐車スペースの確保、専用駐車場から正面玄関入口までの歩道にアーケードを設置する
・エレベーターは車いすが回転できる広さとする
・廊下は車いすがすれ違える広さを確保する。
・多目的トイレの設置
・CO2 排出量の低減を図る、環境にやさしい庁舎。（再生エネルギーの活用、自然エネルギーの活用）再生エネルギーの活用について、自然採光・通風の確保、

太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用をして断熱性・気密性の向上を図る。
・施設（庁舎）の長寿命化を図る、耐久性の高い材料設備機器
・コンパクトシティ
・防犯対策、防犯カメラ。緊急通報装置の設置
・来庁者・職員の安全管理、セキュリティ対策（入退出の管理）
・規模では無く市民ファーストでの機能。内閣府の未来都市認定を受けて SDGs に即し未来に向けて持続性の有る市庁舎を願う。

【設備・構造】
・新庁舎に人が集まりやすい事。
・コンパクトにしすぎない事。
・行きたい必要な部署を分かりやすくしてほしい。
・一つの窓口で要件が済ませるようにしてほしい。
・通路やトイレのバリアフリー化
・市民同士の交流の出来る場所・休憩できる場所を設置する。
・十分な駐車場の確保。
・ライフサイクルコストを少なくできる場所を選ぶ、コンパクトな庁舎。
・市政情報や観光情報の発言一覧コーナー
・図書館を同じ敷地内に建設する。でなければ市職員・議員が調査研究できる市・議会図書室の設置。
・議員と面接できる応接室の設置。
・議場の有効活用、閉会中、傍聴席の整備。

【候補地】
・候補地の選定にあたって複数の意見（場所）を出せとの呼びかけは適切ではない。2.3 と無視して提起したが非常に不満。ワークショップの市民の意見に応えられ、建設土地代金もいらず一番安く市民の大方の意見を叶えられ建築できる土地は前平区である。それ以外の土地は考えられない（複数候補地を挙げて議論するといろいろ困難をきたす。）
・改めて駅南が無かったのは残念。
・市有地が無くても今後のまちづくりが大切である。用地は建設費の1/10程度であると思います。新しい候補地をのぞみます。
・数年前に作成いただいた、候補地別の 60 年間のライフサイクルコスト（経済性）の見直しをしていただきたい。A 実現性（土地、建物（新庁舎）、その他）B 発展性（将来の街づくり）C 経済性（60 年間のライフサイクルコスト（初期整備費用＋維持管理費））
・安全性及び災害対策機能が確保できる場所（浸水被害の低い場所）
・十分な駐車場が一か所で確保でき、交通渋滞が起きない場所

・来庁者の必要な手続きがワンストップで行うことが出来る場所、①一緒にあるとよい施設、市民が使える会議室交流施設 ②レストラン、カフェ③銀行、ATM ④図書館又は図書コーナー⑤多目的スペース（ギャラリー物産展ミニコンサート） 第 3 回ワークショップで頂いた、候補地資料①②③は細かく調査され、詳しく作成されていて大変役に立ちました。ありがとうございました。
・畜産試験場跡地には、農業系の大学を持ってきたら、大学生とか若い人が通って来てくれたら町が元気になりそう。
・さて、先日、各務原市役所、北方町役場、岐阜県庁（前を通っただけ）、多治見駅北分庁舎に見学しに行きました。その私の実感からの候補地を選んでみました。ご報告いたします。結論→12

　根拠①大きな庁舎は要らない、なぜなら・中に入るのに緊張する。・広いフロアにたくさんの職員さんがいて、カウンターに座ると、皆さんがこちらを見ているような感覚になり緊張する。

　根拠②自然豊かな場所で自然に溶け込む庁舎にすればリラックスできる、なぜなら・北方町役場は三階建てで一番自然素材が使われていて市民に寄り添ってくださっていることを感じた。さすが！”まちの住み心地ランキング”岐阜県 No.1 の町役場と感じた（でもフロアは広すぎる）・近くに米田白山、さくらの森があり散策ついでに市役所に寄られる・市街地から遠いのが実はメリットで市民の健康向上に繋がる。市内各地に小さな分庁舎があれば遠くても問題はない・自然を大切にする庁舎の姿は市民へのメッセージとなり、市民自身の自己承認感アップに繋がる。

　根拠③土砂災害警戒区域ではあるが小さな分庁舎が機能していれば、庁舎が崩れたとしても市民は自分たちで何とかする力、自治力が備わっているから大丈夫、なぜなら小さな分庁舎の機能アップのためには、地域のみなさんとの対話が必要であり、対話を重ねるうちに馴染みの関係がうまれ、それが地域愛となるから。

【将来性】
・市民に選択した理由を経済性ばかりでなく、長期的視点も含めて説明されたい。
・まずは広い土地を探すこと。50 年先 100 年先のことを考えて災害のない土地を選ぶこと。
・未来を見越した新庁舎を望みます。

【地域活性化】
・新たな新天地で人の流れが出来、美濃加茂市が発展してゆく方向を目指してほしいです。
・建設時の時代をあらわし、日本の歴史・文化に沿った施設であって欲しいです。最先端であり、日本的美しさを考えていきたい。

・新庁舎は美濃加茂市のシンボルであって欲しい。緑に囲まれた所も大切にして欲しい。若い人達が自慢できるデザインにもして欲しい。住みやすい美濃加茂をアピール出来る庁舎であって欲しい。

【防災】
・災害に強い新庁舎にしてほしい

【市職員の働きやすさ】
・職員が市民のことを考えながら仕事に専念できるような環境作りの観点をもう少し持って頂きたい。やはり一番市役所を使うのは職員さんだと思います。職員さんの目線が市民の目線となるように、組織内で階級もクロスしながら、コミュニケーションをとってはどうでしょうか？？頑張ってください。応援しております。

【他市事例】
・美濃加茂市ラインに市長からのメッセージで、こんな機能があるよとか参考になるものを持って来て～何とかと言うのを拝見して、実際に他の庁舎を見学に行きました。北方町役場は隣に防災公園があり、かまどベンチがありました。各務原市役所は近くに元々広い公園があります。新しい庁舎でもあり、経済性環境配慮、ユニバーサルデザイン、機能的効率的に考えられていました。岐阜県庁舎にも、芝生の広場があったのには驚きました。柱が建ててあり、有事の際には何かに使われると思われます。他の庁舎を拝見して、美濃加茂市の庁舎がどうなるかますます楽しみになりました。これからも市民との対話を継続的に実施と、ロードマップに記載してありますので、実施をよろしくお願いします。

【整備の進め方】
・早く建ててほしい（生きているうちに見たい！）
・多数意見に引きずられず、よく検討してください。（市長の一般意志？）連絡所の活用の意見もありました。周辺部の地区はそちらが大事かもしれません。
・土地・建物でしか対応できないここと、導入する設備で対応できること。ハード対策とソフト対策といった層別化もして下さい。
・一部の人だけの意見が集約されていく不安がある。
・私も含めて市民は勝手な事を言うが、実際には年に一度庁舎に行くくらいかと思う。だから市役所で働く人の意見をもっと聞いてみたい。実際に働くその方々が活き活きした場所になれば、よりパフォーマンスがあがると思う。庁舎整備が完了した後にも、1 年毎にワークショップを行い、良い庁舎（市政）を作るには？のワークショップを開催していく事が大事だと思った。一市民としては、前市長の時に一度決まった新庁舎の案が廃案になって良かったと思います。長丁場でかなり大変な取組だと思いますが、頑張ってください。私の思い

通りの場所や建物にならなくてもいいです。作った後に、この場所にして良かった、この建物にして良かったと思えるように建てた後の行動がより大事だと思います。私も少しでも貢献できるように頑張ります。
・東中学校や加茂高校でワークショップを開催したとありました。現在の中学生や高校生の意見にとても興味がありますどこかの機会で紹介してもらえませんか？毎回このアンケートには時間をかけて力を込めて書いていますが、読んでいただけていますか？資料を残すために、手書きだとパソコン入力の時に一度は目を通すと思いますが、メール送信だとコピーするだけなので。

【ワークショップ】
・楽しくワークショップが出来て大変良かったと思いました。職員さんも親切に教えて頂きありがとうございました。
・皆さんとても熱心に意見を出されて、あらためて美濃加茂市ってすごい！と思いました。こうしたワークショップを開いて下さり職員さん方には本当に頭が下がります。本当に疲れさまでした。
・多くの市民の方に参加していただけるワークショップの設置をしていただきたい。

【その他】
・人口密度の中心も大切ですが、地理的に美濃加茂市の中心的場所に建設して欲しい。建設費も重要だが維持管理費、修繕費の事も考えて建設して欲しい。例えば、平屋造りとか。
・現庁舎の跡地でも、立体駐車場であれば災害のヘリポートになる。お祭りの駐車場に使える。身体障がい者や高齢者の見学場所にできる。
・現庁舎のままがいい。生涯学習センターがあるので、市役所関連の会議や集合に使える。
・現庁舎が空地になった場合数年間、現庁舎周辺は衰退するのでは　美濃加茂市は無駄に広い土地をかかえ込み、岐阜県に貸していた土地が返却されたらレンタル料が無くなりむしろマイナスになるのでは？
・日頃から何かとお世話になりましてありがとうございます。当日の資料についても、あれだけ丁寧な資料を作成するに、どれほどの時間をかけられたのかと、思い感謝の気持ちでいっぱいです。愛があれば大丈夫。I LOVE ME、I LOVE YOU、I LOVE MINOKAMO、I LOVE　地球。
・他市の事例を見学をして感じたことは、新庁舎、建てて終わりじゃないんだな、みんなで育み合っていくものなんだなということです。何年経っても古さが味わいになるような、みんなで可愛いがれる可愛い庁舎になることを私は夢描いています。

新庁舎整備に係る経緯と今後について

美濃加茂市　新庁舎整備ロードマップ

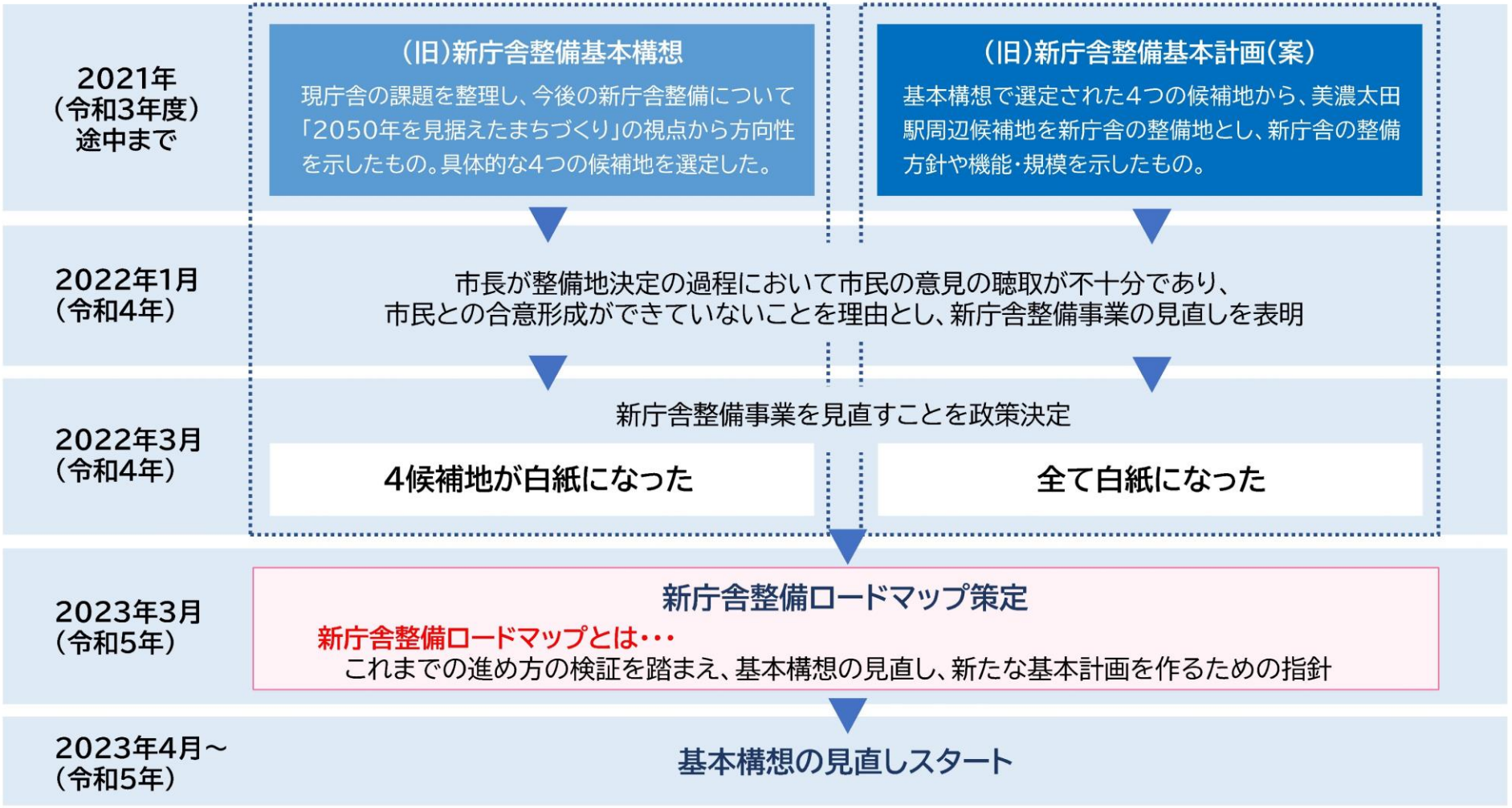
令和5年3月

資料１

見直しの経緯

第1章　新庁舎整備ロードマップとは

（2） 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



資料２

ワークショップの実施計画

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス　市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。

資料３

第1回市民ワークショップ　＜STEP1＞

■STEP1「市の役割の見える化」
「10年後の市の役割」をテーマに参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。

①個人でフセンに意見を書き出す

②意見を出し合う

③シールで大事だと思うものに投票

④グループの意見を発表！

第1回市民ワークショップ				おでかけワークショップ
7/23(日)	7/26(水)	7/29(土)	計3回	計10回(9月20日時点)
30人	31人	27人	計88人	計170人

資料４

第2回市民ワークショップ〈STEP2,3〉

■第2回市民ワークショップ　STEP2「新庁舎の役割」 STEP3「新庁舎のコンセプト」
「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに参加者のみなさんと意見を出し合いました。

①個人で意見を書き出す

②意見を出し合う

③まとめ

④全体発表

■東中学校で中学3年生、加茂高校で高校2年生を対象に市や新庁舎に係るワークショップを行いました。

第2回市民ワークショップ				おでかけワークショップ	東中学校3年生ワークショップ	加茂高校2年生ワークショップ
9/24(日)	9/25(月)	9/30(土)	計3回	計16回(11月28日時点)	2回	1回
22人	23人	22人	計67人	計268人	281人	236人

資料５

今回のワークショップのテーマと目的①

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

R5年度

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のｺﾝｾﾌﾟﾄ決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定

STEP 4　新庁舎の機能決定

STEP１～３による、市の役割、新庁舎の役割、コンセプトを踏まえ、
新庁舎に必要な機能を検討します。

STEP４で実施すること

市民との対話
（ワークショップ）

市民の役割

ワークショップの中で社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスを踏まえ新庁舎に必要な機能を検討する。

市職員の役割

新庁舎の機能を検討する前に、前提条件の整理を行う。市民とともに新庁舎に必要な機能を検討し、機能を決定する。

資料６

今回のワークショップのテーマと目的②

第2章　今後の新庁舎整備の進め方について

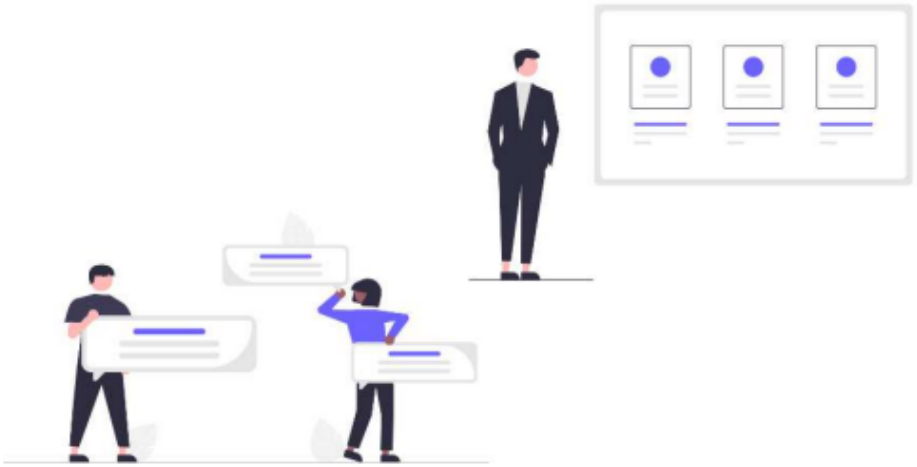
(4)各ステップについて

R5年度

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のｺﾝｾﾌﾟﾄ決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定

STEP 5　新庁舎の複数候補地案の選定

STEP４で決定した新庁舎の機能や、課題の実現性、市の方針を踏まえた上で、複数候補地案を検討・提示します。その上で市民との対話により候補地案を吟味し、必要であれば、市民は前提条件が踏まえられた別の候補地案を市に提言します。



STEP５で実施すること

市民との対話
（ワークショップ）

市民の役割

市が提案した新庁舎の候補地案を吟味する。前提条件が踏まえられた新たな候補地案がある場合は市に提言を行う。

市職員の役割

前提条件を踏まえた候補地案について複数検討する。その後市民から新たな候補地案が提言された場合は、前提条件を満たしているかどうか検証し、候補地案に含めるか検討し、候補地案を選定する。

資料７

＜第2回市民ワークショップの振り返り＞

新庁舎の役割
新庁舎のコンセプト

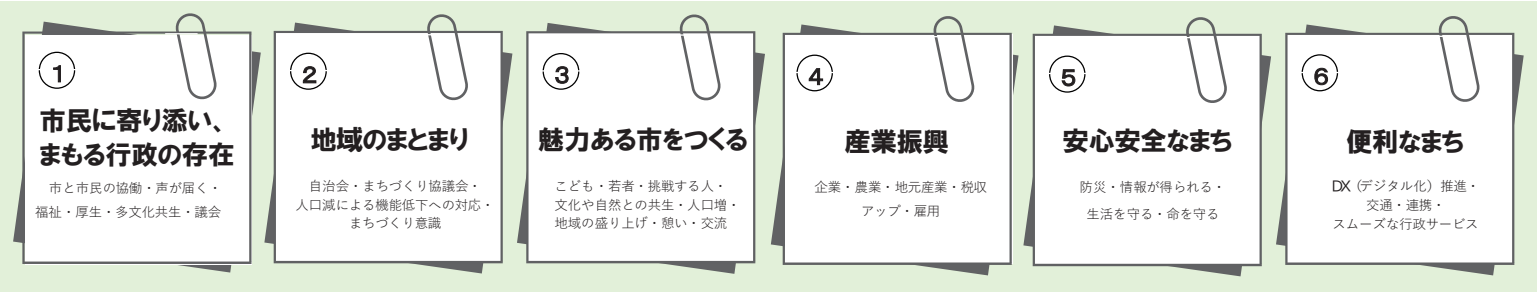
資料８

第2回市民ワークショップまとめ

STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに新庁舎に必要な役割を考えました。

第1回市民ワークショップで考えた「市の役割」⇒



STEP2 全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

STEP2【代表的なご意見】（抜粋）

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく**、活き活きできる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

資料９

第2回市民ワークショップまとめ

STEP3 「新庁舎のコンセプト」 概要

- 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3　全体の傾向

- すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- **いつでもだれでも相談**できる**頼り**になる新庁舎
- **気軽に集いつながる**新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- **新しい時代に対応**できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプルなコンパクト**新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- みんなが使いやすい**心と身体のバリアフリー**新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした**心地よい新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボル的**な新庁舎
- **職員が**活き活きできる**働きやすい**新庁舎

資料１０

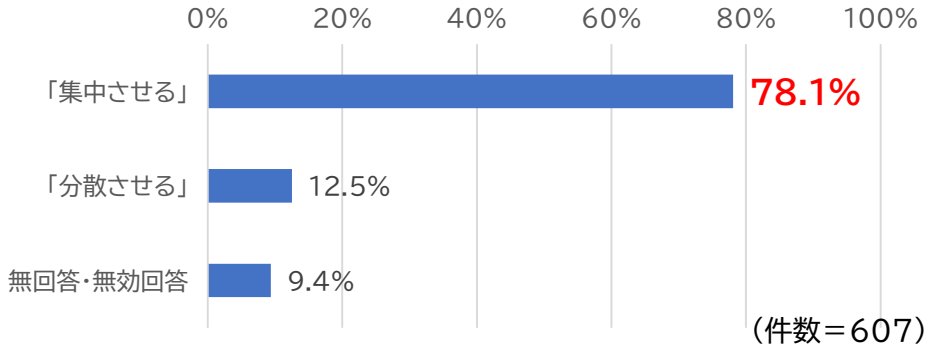
市民アンケート結果

■第2回の市民ワークショップ（STEP2・STEP3）をふまえ、新庁舎の役割等について、市民全体の傾向を把握するため、無作為抽出した市民1,500人を対象にアンケートを行いました。（回収数：607人）

STEP2 「新庁舎の役割」に対する市民アンケート結果

ワークショップで出された相反する役割について、どちらを重要と思うか選択いただきました。

●市役所機能を「集中させる」／「分散させる」

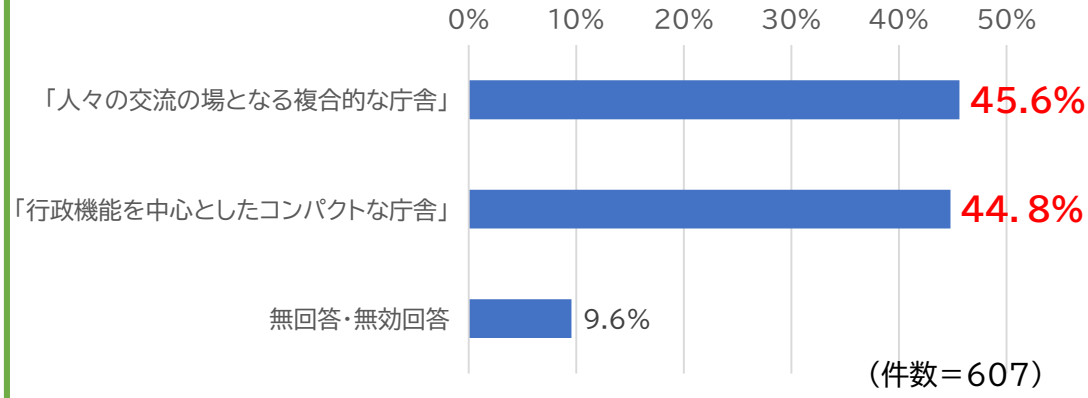


・全年代・全地域において、市役所機能を「集中させる」が過半数を占めました。

・「集中させる」を選んだ理由は「1か所で市役所の用事を済ませられるとよい」が1位となっています。

・「分散させる」を選んだ理由は「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」と「市役所の建物規模を抑えられる（既存の施設を利用し建設費を抑える）とよい」が1位となっています。

●「人々の交流の場となる複合的な庁舎」／「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」



・「複合的な庁舎」と「コンパクトな庁舎」はおおよそ半数ずつに意見が分かれました。

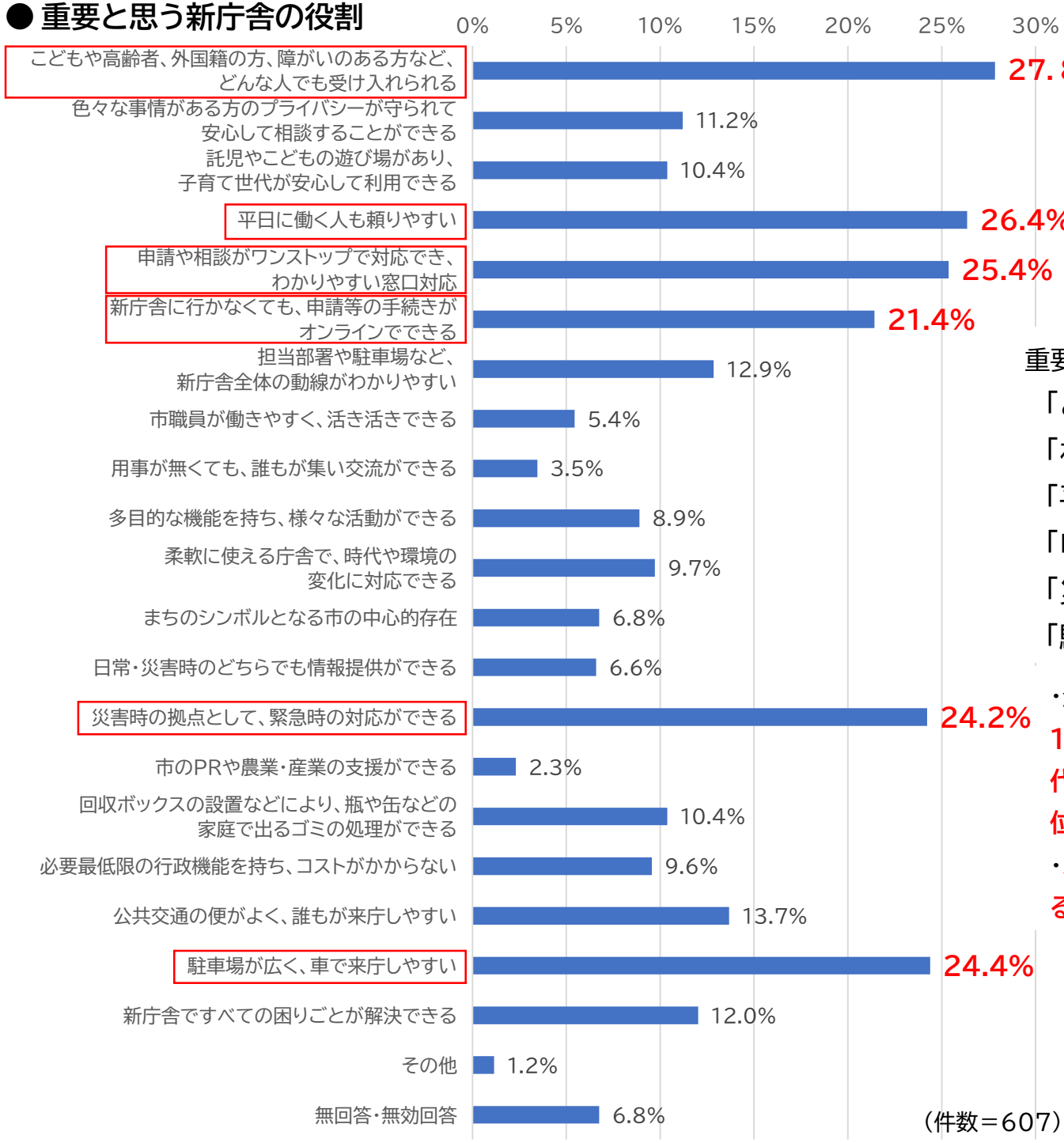
・20代以下では「複合的な庁舎」が過半数を占め、30代以上は20代以下と比べると、「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」の割合が大きくなりました。

・「複合的な庁舎」を選んだ理由は「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が1位となっています。

・「コンパクトな庁舎」を選んだ理由は「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」が1位となっています。

ワークショップで考えた新庁舎の役割について、重要と思う項目を選択いただきました。

● 重要と思う新庁舎の役割



重要と思う新庁舎の役割として下記が多く選ばれました。

「どんな人でも受け入れられる」
「わかりやすい窓口対応」
「平日に働く人も頼りやすい」
「申請等の手続きがオンラインでできる」
「災害時の拠点」
「駐車場が広く、車で来庁しやすい」

・全体で最も高い**「どんな人でも受け入れられる」は10代・80代以上で1位**となっており、**20代～50代の働く世代では「平日に働く人も頼りやすい」が1位**となっています。

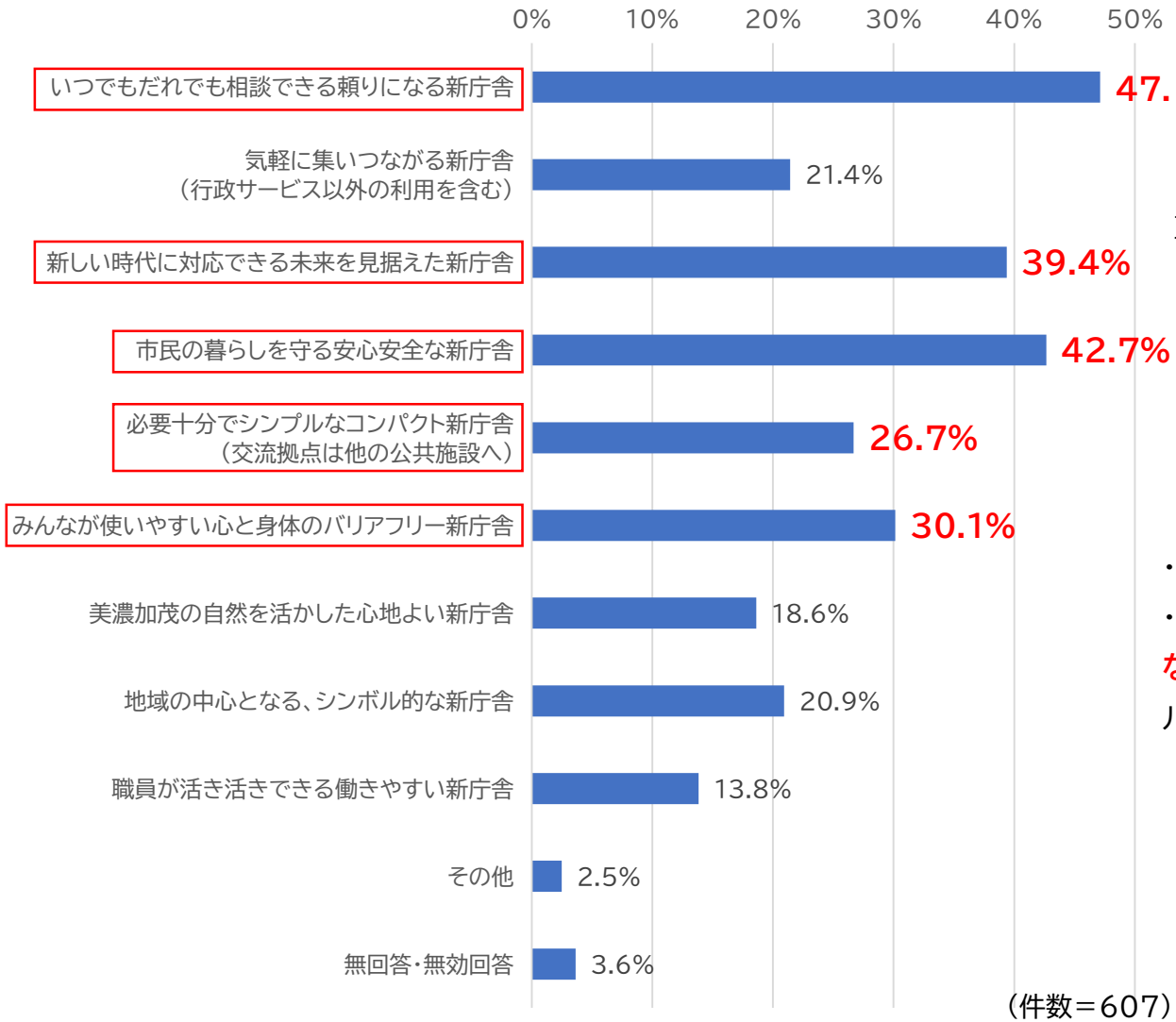
・**30代以下では「子育て世代が安心して利用できる」が3位**と全体よりも高い順位となっています。

資料１２

市民アンケート結果

STEP3 「新庁舎のコンセプト」に対する市民アンケート結果

ワークショップで考えた新庁舎のコンセプトについて、重要と思う項目を選択いただきました。



（件数＝607）

重要と思う新庁舎のコンセプトとして下記が多く選ばれました。

「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」
「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」
「新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎」
「みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎」
「必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎」

・**10代では「気軽に集いつながる新庁舎」が2位**となっています。
・**20代以下と70代以上では、「地域の中心となる、シンボル的な新庁舎」が5位以内**となっており、30代～50代よりもシンボル的な新庁舎を重要と思う人の割合が高くなっています。

資料１３

複数候補地案

この資料は、第３回ワークショップにおける対話のため、新庁舎整備の複数候補地案として提示するものです。

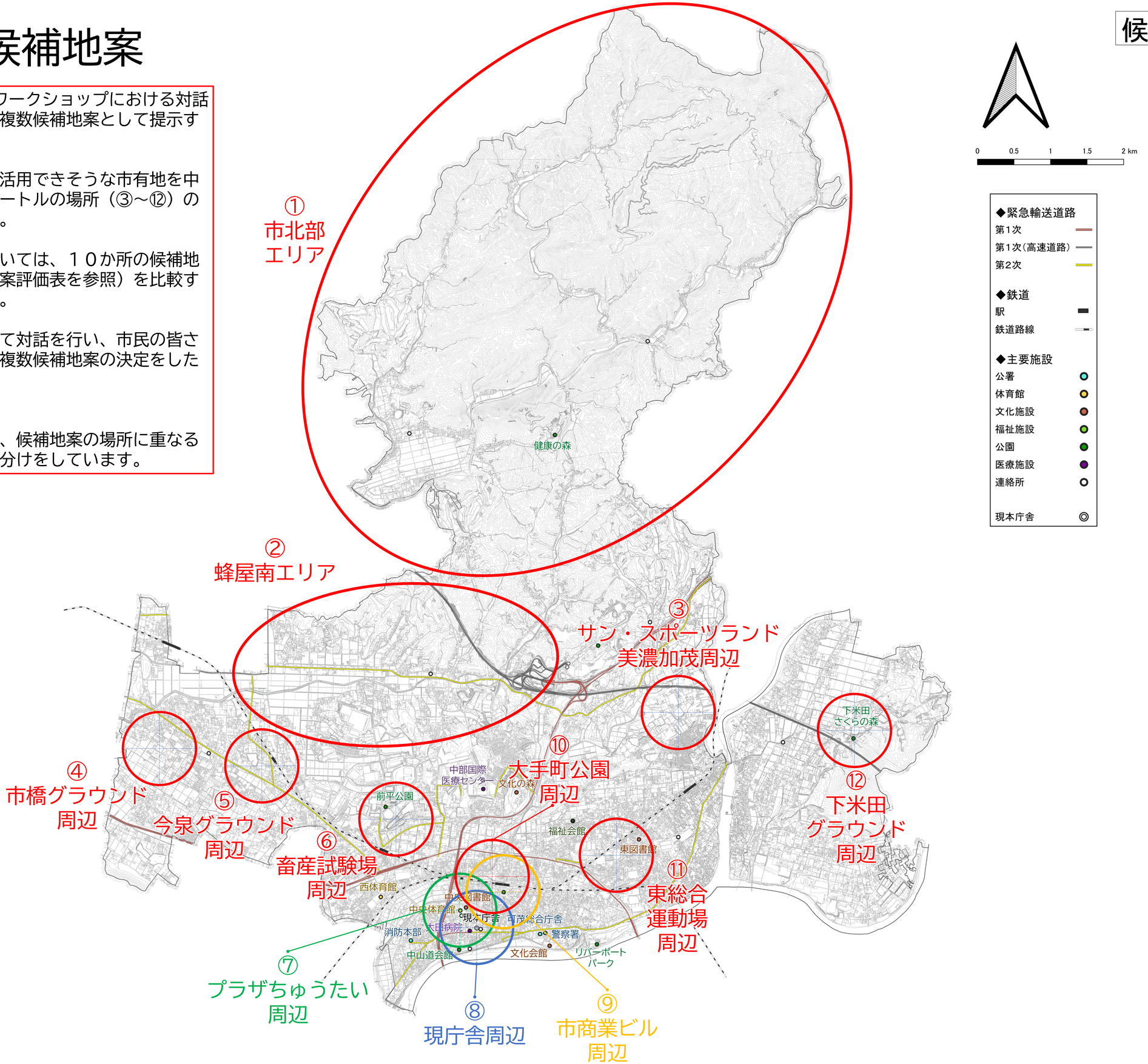
なお、候補地案は、活用できそうな市有地を中心にした半径５００メートルの場所（③～⑫）の１０か所としています。

①・②のエリアについては、１０か所の候補地案と情報（複数候補地案評価表を参照）を比較するため掲載しています。

この資料を参考にして対話を行い、市民の皆さんからの声を反映し、複数候補地案の決定をしたいと考えています。

※　⑦～⑩については、候補地案の場所に重なる部分があるため色分けをしています。

候補地案資料①



複数候補地案評価表

候補地案資料②

			① 市北部エリア	② 蜂屋南エリア	③ サン・スポーツランド美濃加茂周辺	④ 市橋グラウンド周辺	⑤ 今泉グラウンド周辺	⑥ 畜産試験場周辺	⑦ プラザちゅうたい周辺	⑧ 現庁舎周辺	⑨ 市商業ビル周辺	⑩ 大手町公園周辺	⑪ 東総合運動場周辺	⑫ 下米田グラウンド周辺
総合評価 ○：１５点以上 △：１０～１４点 ▲：　９点以下			▲ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎を建てられる市有地がない	▲ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	△ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	△ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	△ ・市街地からやや離れるが、鉄道駅が徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	○ ・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	○ ・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地があり、駐車場も周辺で確保可能	○ ・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地があり、駐車場も周辺で確保可能	○ ・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・市有地以外で駐車場の確保が必要	○ ・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	○ ・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響が小さく、緊急輸送道路も整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	▲ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・駐車場の確保の検討が必要
利便性	市街地（ＤＩＤ地区）からの距離		▲ 市街地から離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている	△ 市街地周辺	○ 市街地	○ 市街地	○ 市街地	○ 市街地	△ 市街地周辺	▲ 市街地からやや離れている
	２車線道路との接道		△ 場所が決まっていないため	△ 場所が決まっていないため	△ 市道南上野池下線から離れている	△ 市道若宮加茂野線から離れている	△ 市道若宮加茂野線から離れている	△ 市道西町作り洞線から離れている	○ 市道島深田線と接道する	○ 県道２０７号線（各務原美濃加茂線）と接道する	○ 市道美濃太田駅南線と接道する	○ 市道田島飛鹿線と接道する	○ 神明森山線と接道する	△ 市道今８７号線、市道今２４３号線から離れている
	鉄道駅からの距離		▲ 離れている	▲ 離れている	▲ 離れている	▲ 離れている	△ 加茂野駅から800m圏内	△ 前平駅から800m圏内	○ 美濃太田駅から800m圏内	○ 美濃太田駅から800m圏内	○ 美濃太田駅から800m圏内	○ 美濃太田駅から800m圏内	△ 美濃川合駅から1,600m圏内	▲ 離れている
災害	浸水害	計画規模降雨	△ 一部影響あり 大洞川、廿屋川、川浦川	△ 一部影響あり 蜂屋川、詰田川	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	○ 影響なし	△ 一部影響あり 深渡川、飯田川
		想定最大規模降雨	△ 一部影響あり 大洞川、廿屋川、太市川、川浦川	△ 一部影響あり 蜂屋川、詰田川	○ 影響なし	△ 一部影響あり 蜂屋川	△ 一部影響あり 蜂屋川	△ 一部影響あり 木曽川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	▲ 影響あり 木曽川、加茂川	△ 一部影響あり 木曽川	△ 一部影響あり 深渡川、飯田川
	土砂災害		▲ 警戒区域が広域に分布	△ 警戒区域が一部あり	△ 警戒区域が一部あり	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	▲ 警戒区域が広域に分布
	液状化（南海トラフ地震）		△ 一部で可能性あり	▲ 広域で可能性あり	▲ 全域で可能性あり	△ 一部で可能性が高い	▲ 全域で可能性が高い	△ 一部で可能性が高い	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし
	緊急輸送道路		▲ 離れている	△ 整備されている（２次道路）	▲ 離れている	△ 整備されている（２次道路）	△ 整備されている（２次道路）	△ 整備されている（２次道路）	○ 整備されている（１次道路）	○ 整備されている（１次道路）	○ 整備されている（１次道路）	○ 整備されている（１次道路）	○ 整備されている（１次道路）	▲ 離れている
用地	市有地		▲ 市有地なし	▲ 市有地なし	○ サン・スポーツランド美濃加茂（23,922㎡）	△ 市橋グラウンド（7,963㎡）	△ 今泉グラウンド（約9,000㎡）	○ 畜産試験場（約60,000㎡）	△ プラザちゅうたい（12,748㎡）	△ 現庁舎（7,179㎡）	△ 市商業ビル（3,608㎡）	△ 大手町公園（約7,700㎡）	△ 東総合運動場（11,348㎡）	△ 下米田グラウンド（9,000㎡）
	用途地域		○ 無指定地域	○ 無指定地域、第二種低層住居専用地域、第一種住居地域、工業地域、工業専用地域 ※一部建設不可の地域あり	○ 無指定地域	○ 無指定地域	○ 無指定地域	○ 無指定地域	○ 第二種住居地域、近隣商業地域	○ 第二種住居地域、商業地域	○ 商業地域	○ 第二種住居地域	▲ 第一種住居地域 第二種中高層住居専用地域 ※事務所等の床面積が1,500㎡を超えるものは建設不可	○ 無指定地域
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		▲ 用地取得が必要	▲ 用地取得が必要	○ 市有地のみで平面駐車場が確保可能	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	○ 市有地のみで平面駐車場が確保可能	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・現庁舎敷地、分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	△ 分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	▲ 市有地以外で敷地確保など検討必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要
評価点			6	7	12	12	12	16	16	16	15	16	15	9

※評価基準の△・▲は、新庁舎建設の際に配慮（費用、時間等）が必要になる可能性があることを示したものであり、建設できないことを表すものではありません。

評価基準

候補地案資料③

評価視点	選定指標		評価基準		
			○：２点	△：１点	▲：０点
利便性	市街地からの距離		エリアの50%以上が市街地（ＤＩＤ地区）に属する。	エリアの中心が市街地（ＤＩＤ地区）まで2㎞圏内。	市街地から離れている。
	２車線道路との接道		市有地が２車線道路と接道している。	市有地が２車線道路と接道していない。	ー
	鉄道駅からの距離		エリアの中心からＪＲの駅までの距離が800ｍ以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からＪＲの駅までの距離が1,600ｍ以内（徒歩20分以内）、長良川鉄道の駅までの距離が800ｍ以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からＪＲの駅までの距離が1,600ｍ超（徒歩20分超）、長良川鉄道の駅までの距離が800ｍ超（徒歩10分超）
災害	浸水害	計画規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
		想定最大規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
	土砂災害		エリア全域で土砂災害の影響がない。	エリア内の一部に警戒区域が分布する。	エリア内の広域に警戒区域が分布する。
	液状化（南海トラフ地震）		エリア全域で液状化の影響がない。	エリアの50%未満に液状化の可能性がある。	エリアの50%以上に液状化の可能性がある。
	緊急輸送道路		第一次緊急輸送道路（高速道路の場合はＩＣ）がエリア内に整備されている。	第二次緊急輸送道路がエリア内に整備されている、または、エリアの中心から第一次緊急輸送道路まで1㎞圏内。	緊急輸送路道路がエリア内に整備されていない。
用地	市有地		エリア内に2.1ha以上の市有地がある。	エリア内に2.1ha未満の市有地がある。	エリア内に庁舎を建てられる規模の市有地がない。
	用途地域		庁舎建設に影響する用途制限なし。	ー	庁舎建設に影響する用途制限あり。
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		エリア内の市有地のみで平面駐車場（1.8ha）が確保できる。	エリア内の市有地では平面駐車場が確保できないが、立体駐車場の整備や周辺敷地（現在の職員駐車場）で駐車場が確保できる。	用地の取得が必要。

事前資料１

新庁舎の役割（第2回ワークショップの主な意見）

第2回市民ワークショップで出された主な新庁舎の役割とその役割を果たすために必要な機能（例）

第3回市民ワークショップでは、STEP4で機能のご意見を出していただき、そのご意見を踏まえSTEP5で候補地案に関するご意見を出していただきます。

《新庁舎の役割》情報発信・集約

新庁舎の機能（例）

- 受けられる支援の情報が必要な人に届く仕組み
- 市外へ市の魅力を発信する仕組み
- 市へ伝えたいことを伝えられる機能（例：音声の自動文字起こしで聴取等）

《新庁舎の役割》交流の拠点

新庁舎の機能（例）

- 市民の文化活動を紹介するような展示スペース
- 駐車場でイベント開催
- 新庁舎と図書館を一緒にする

《新庁舎の役割》働きやすい環境

新庁舎の機能（例）

- 職員がストレスなく働けるよう、多目的な要素をいれる（休憩スペース・コンビニ・カフェ等）
- 横ぐし（部署間）の情報連携を取りやすくする
- リモートワークの導入
- 庁舎内の動線を明確にする

《新庁舎の役割》どんな人にも対応可能

新庁舎の機能（例）

- 多言語対応
- 視覚・聴覚障がい対応
- 子育て世代も利用しやすい（子どもの遊び場併設等）
- 高齢者も移動しやすく、わかりやすい
- ユニバーサルデザイン
- 誰もが気軽に利用できるスペース

《新庁舎の役割》災害時の拠点

新庁舎の機能（例）

- 災害対策本部
- 災害時に拠点として活用できる大きな駐車場
- 浸水対策
- FM放送局
- シェルター
- 災害時の電源確保

《新庁舎の役割》企業・産業支援

新庁舎の機能（例）

- 起業相談
- 商工会と連携した機能
- 特産品のPR

《新庁舎の役割》困りごとの相談

新庁舎の機能（例）

- 事前予約ができる、便利な相談窓口
- 本庁舎より連絡所が機能充実
- オンラインの相談窓口
- プライバシーの保護

《新庁舎の役割》デジタル化

新庁舎の機能（例）

- LINE等のSNSやホームページとの連携
- デジタル化と合わせた連絡所の活用
- デジタルが苦手な人も困らない仕組み（一緒にデジタルに慣れることができるスペース）
- オンライン申請（自宅でも申請可）

事前資料②

STEP5
基本条件の整理

情報提供資料

- この資料は、STEP5のグループワークで複数候補地案を考えるにあたって、市内全域における基本的な立地の条件を表したものです。

●目次

利便性

① 〔基礎知識〕立地に関する法律 P1
② 主要な施設の立地 P1
③ 人口分布 P2
④ 人口集中地区（DID） P3

災害

① 想定浸水深（計画規模降雨） P4
② 想定浸水深（想定最大規模降雨） P5
③ 土砂災害の恐れのある地域 P6
④ 液状化の恐れのある地域 P7
⑤ 緊急輸送道路網 P8

参考

① 建設地・規模 P9
② 工事費 P9
③ 立地適正化計画 P10
④ 都市計画区域　用途地域 P10
⑤ 農業振興地域内　農用地区域 P11

利便性① 〔基礎知識〕立地に関する法律

●地方自治法

・第４条第２項〔事務所の設置又は変更〕
　前項の事務所（※市役所）の位置を定め又はこれを変更するに当っては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

- 庁舎の立地は、法律により、**利便性を考慮**することが定められています。

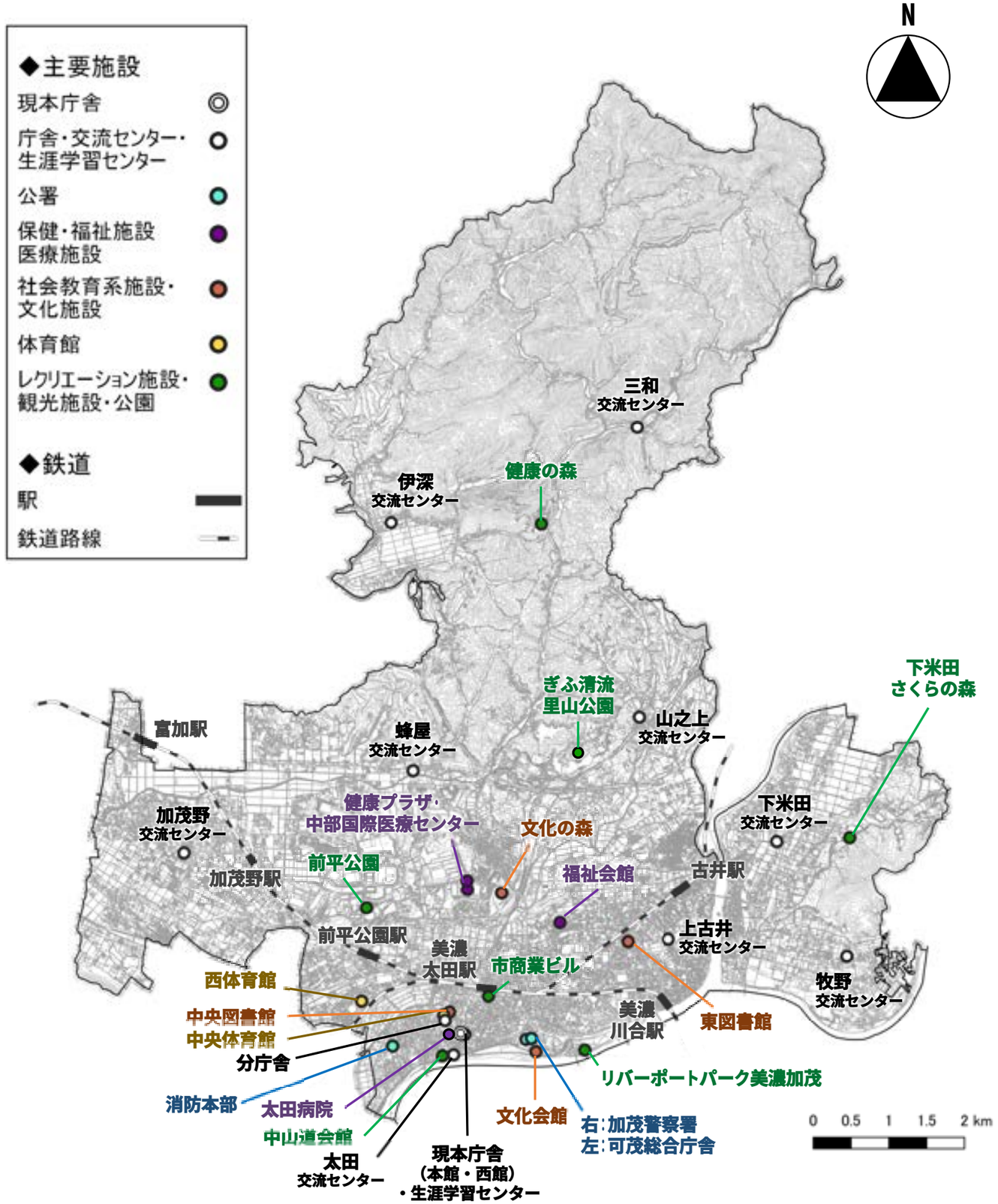
○（参考）官公庁施設の建設等に関する法律

・第１条〔目的〕
　この法律は、**国家機関の建築物の**位置、構造、営繕及び保全並びに一団地の官公庁施設等について規定して、その災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進とを図ることを目的とする。

・第５条第１項〔庁舎の位置〕
　庁舎は、それぞれの用途に応じて、**公衆の利便と公務の能率**上適当な場所に建築しなければならない。

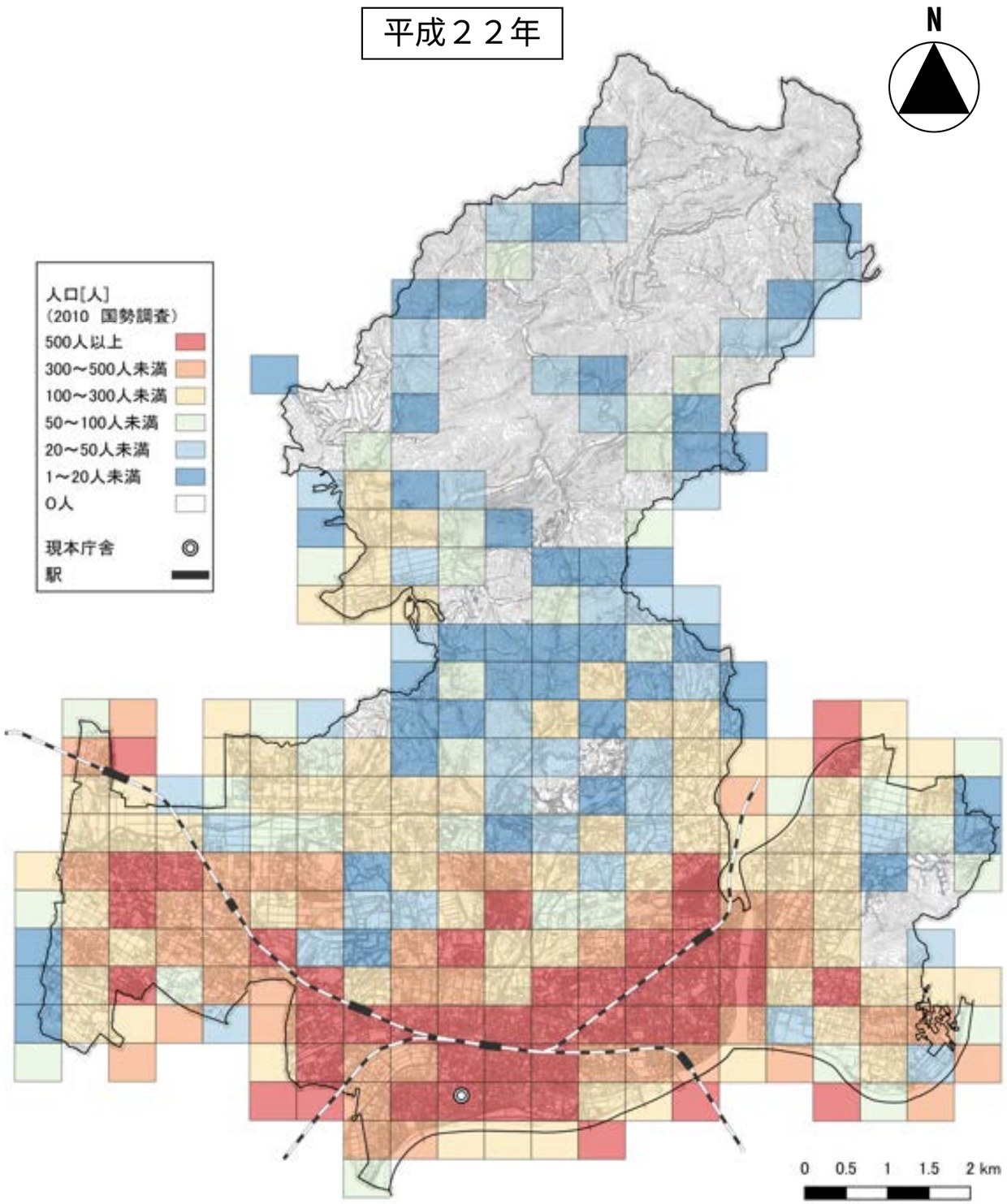
- 官公庁施設の建設等に関する法律は、**国家機関の建築物について**定めた法律ですが、庁舎の立地について、地方自治法と同じく**住民の利便性**に加え、**職員の働きやすさ**を考慮することが定められています。

利便性② 主要な施設の立地



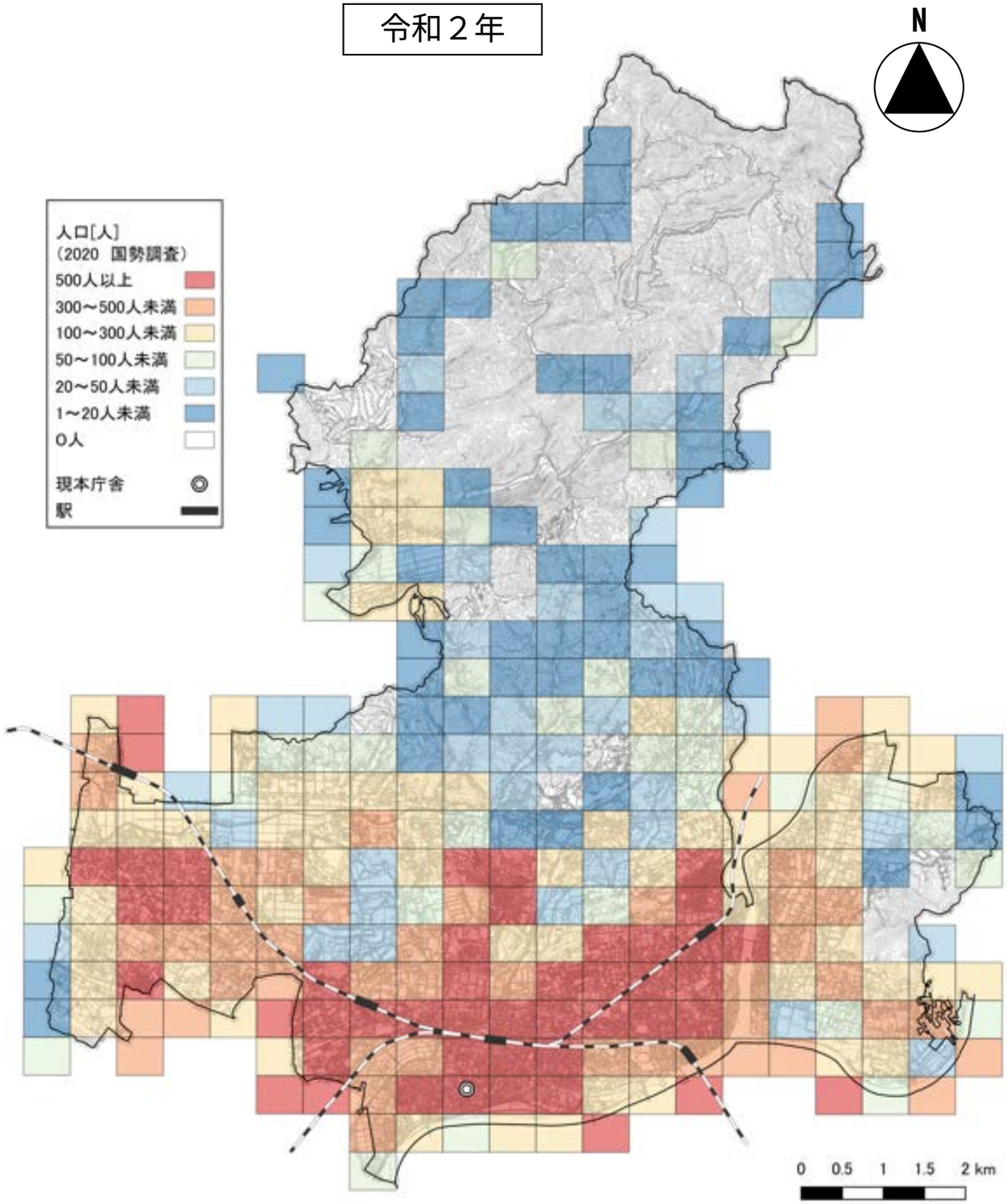
利便性③ 人口分布

平成２２年



出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロードー小地域-国勢調査-２０１０年-４次メッシュ(５００mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[２０２３/11/16に利用]

令和２年



出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロードー小地域-国勢調査-２０２０年-４次メッシュ(５００mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[２０２３/11/16に利用]

利便性④ 人口集中地区（DID）

●人口集中地区（DID）とは

- 人口密度が1k㎡当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のことです。

●市の人口集中地区

- 人口集中地区は、美濃太田駅の北側に広がっており、近年徐々にその面積は増加しています。

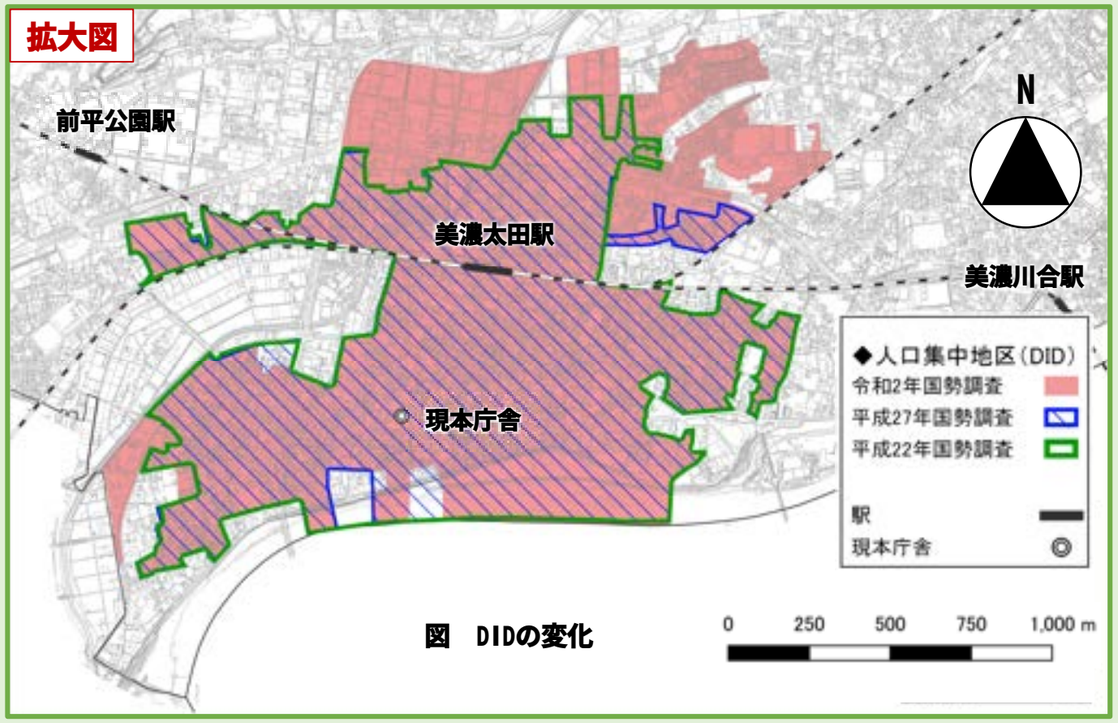


図　DIDの変化

出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロードー小地域-国勢調査のうち、
2020年・2015年・2010年の、人口集中地区-世界測地系平面直角座標系・
Shapefileを利用して作成[2023/10/17に利用]

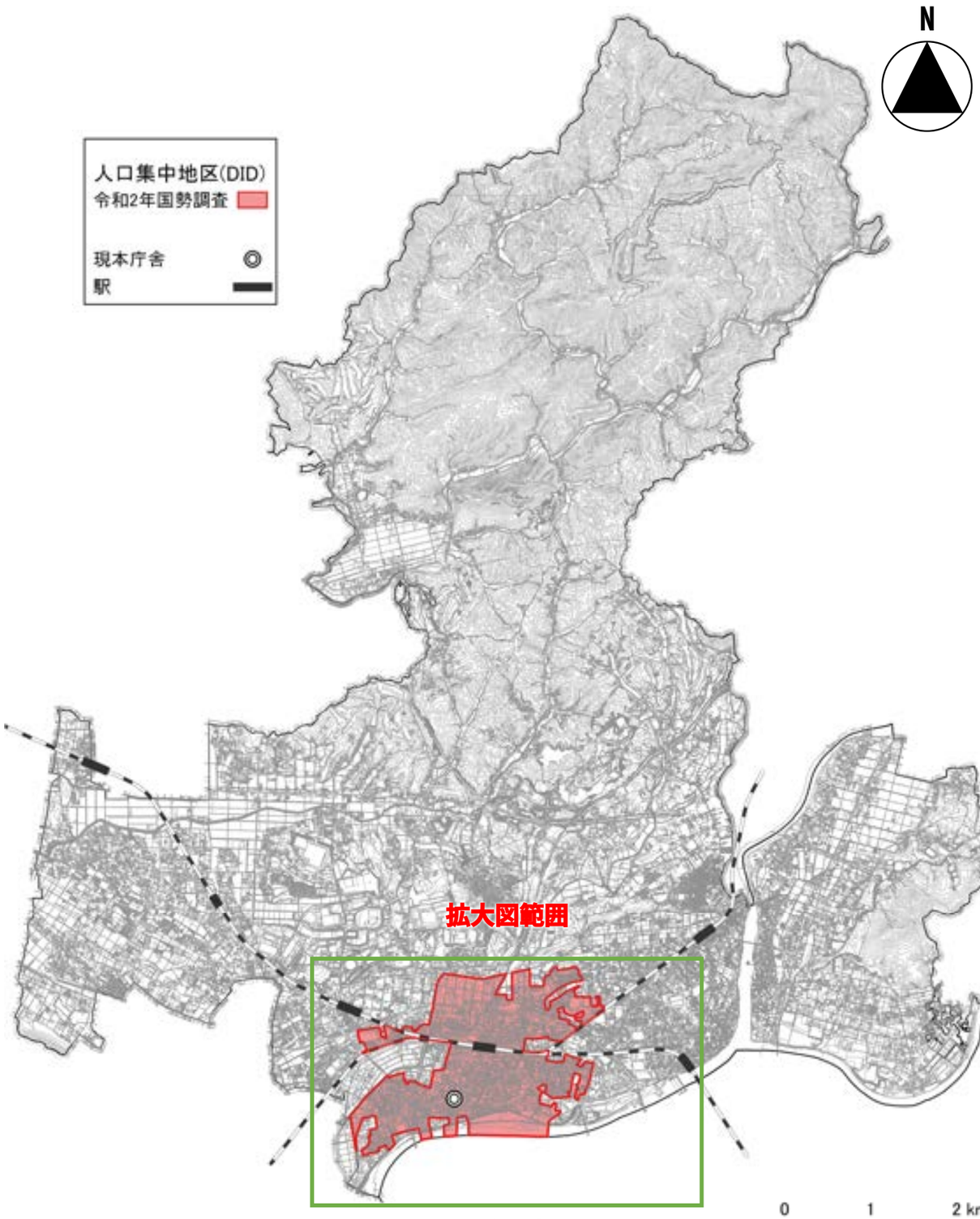


図　現在の市のDID

災害① 想定浸水深（計画規模降雨）

●計画規模の降雨とは

- その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。
- 河川の流域の大きさや、氾濫が想定される範囲などを考慮して定めたもので、河川毎に個別に定めています。

●木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

- 木曽川の**計画規模降雨は、**100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。

- 右上地図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。**現本庁舎**では**0.5～3.0m**の浸水が想定されています。
- 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間※は4時間未満**と想定されています。

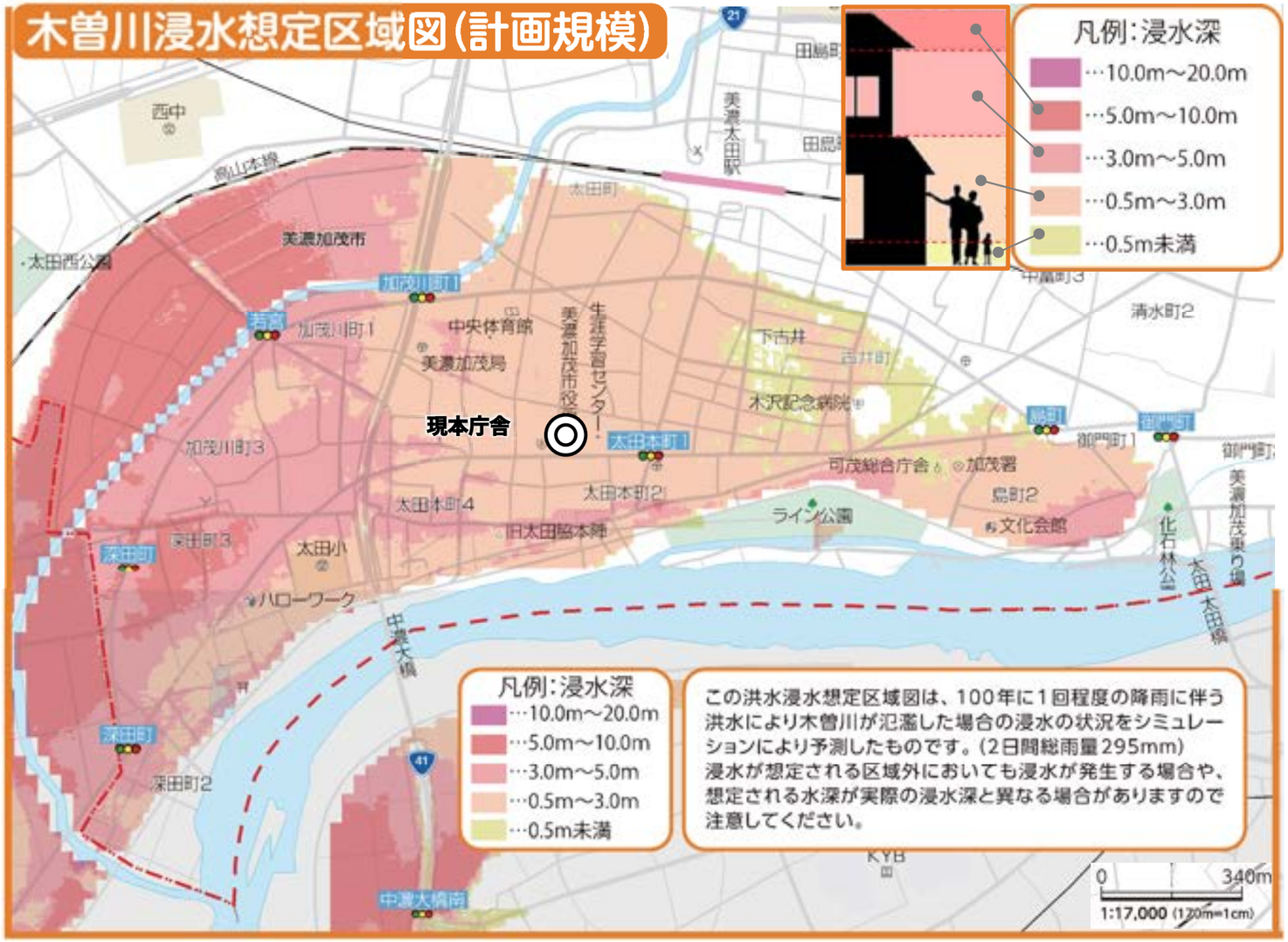
  ※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

- 建設が予定されている新丸山ダムは、9・28水害と同規模の河川水量においても安全に水を流すことを目標としており、今渡ダム下流地点では約2.7mの水位低下効果が見込まれています。

- 木曽川以外の河川の情報は、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。

・飛騨川　・太市川
・加茂川　・納古川
・蜂屋川　・深渡川
・詰田川　・飯田川
・大洞川　・川浦川
・廿屋川

計画規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。



出典：美濃加茂市ハザードマップ、水害ハザードマップ作製の手引き（国土交通省）を加工して作成

災害② 想定浸水深（想定最大規模降雨）

●想定最大規模の降雨とは

- 想定しうる最大規模の降雨のことです。「想定最大規模」の降雨規模は、基本的には**1000年に1回程度**（1年の間に発生する確率が1/1000(0.1%)以下の降雨）を想定しています。

●木曽川の洪水浸水想定区域（想定最大規模）

- 例として、木曽川の想定最大規模降雨による浸水が想定される区域は右上の図の通りです。
  これは、木曽川流域の範囲で平均して2日間で527㎜の雨が降ることを想定しています。

- 右上地図は想定最大規模で氾濫した場合の浸水想定です。
  現本庁舎では**10.0～20.0m**の浸水が想定されています。
- 想定最大規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間※は21時間未満**と想定されています。

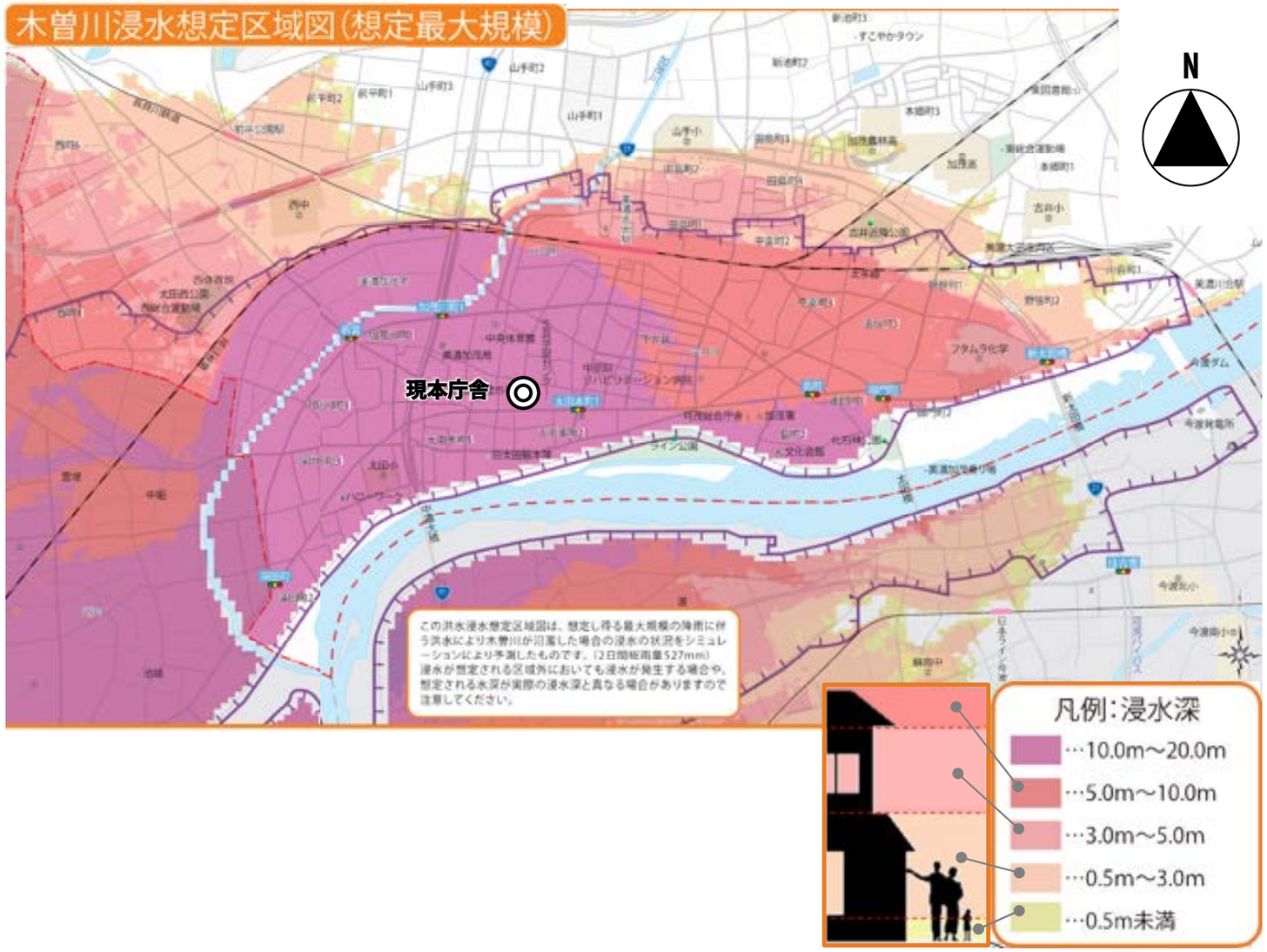
※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

- 木曽川以外の河川の情報は、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。

・飛騨川　・太市川
・加茂川　・納古川
・蜂屋川　・深渡川
・詰田川　・飯田川
・大洞川　・川浦川
・廿屋川

想定の前提となる流域

想定最大規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で527㎜の雨が降ることを想定しています。



災害③　土砂災害の恐れのある地域

●土砂災害とは

- 大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりする自然災害のことです。
- このうち、右の地図では「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の恐れのある地域を示しています。

図　急傾斜地の崩壊と土石流の説明

出典：「土砂災害防止法の概要」（国土交通省,H23.8）より抜粋
https://www.mlit.go.jp/river/sabo/dosyahou_review/01/110803_shiryo2.pdf

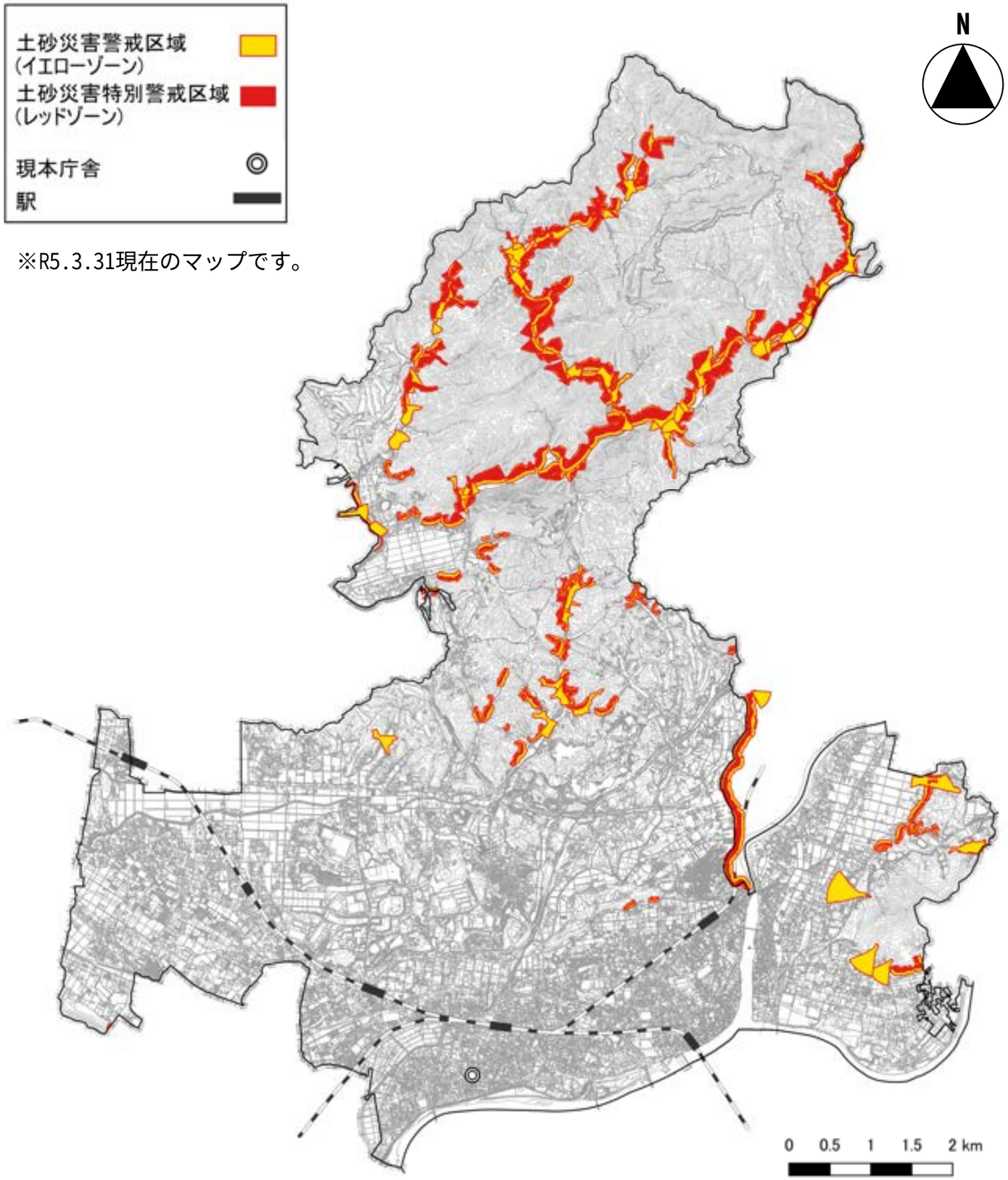
●レッドゾーン・イエローゾーン

- 土砂災害のおそれのある地域は、土砂災害防止法に基づきイエローゾーンとレッドゾーンに分けられます。
- どちらの区域内にも新庁舎は建設しないことが望ましいと考えられます。

表　各ゾーンに対する新庁舎建設の考え方

区域	［イエローゾーン］ 土砂災害警戒区域	［レッドゾーン］ 土砂災害特別警戒区域
説明	土砂災害のおそれがある地域	土砂災害の恐れのある地域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある地域
土砂災害防止法上の方針	危険の周知、警戒避難体制の整備	特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等
新庁舎建設における考え方	この区域内には建設しないことが望ましいと考えられます。	

※R5.3.31現在のマップです。



災害④　液状化の恐れのある地域

●液状化とは

- 地震が発生して地盤が強い衝撃を受け、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことです。
- 液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、また、それまで安定していた地盤が急に柔らかくなるため、その上に立っていた建物が沈んだり（傾いたり）、地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんできたり、地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生します。

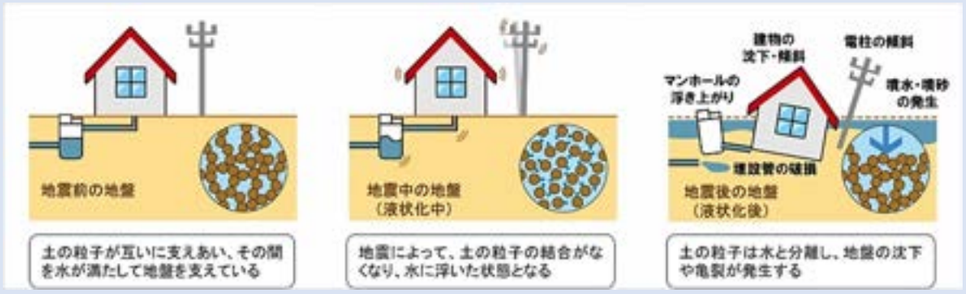


図　液状化のしくみ

出典：「液状化現象について」（国土交通省）より抜粋
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html［2023.5最終更新］

●液状化対策

- 液状化の「可能性が高い」地域、「可能性がある」地域に建設する場合は、地盤改良などの対策を講じる必要があります。

写真 1-1　住宅地の噴砂の状況

写真 1-2　地下埋設物の浮き上がり

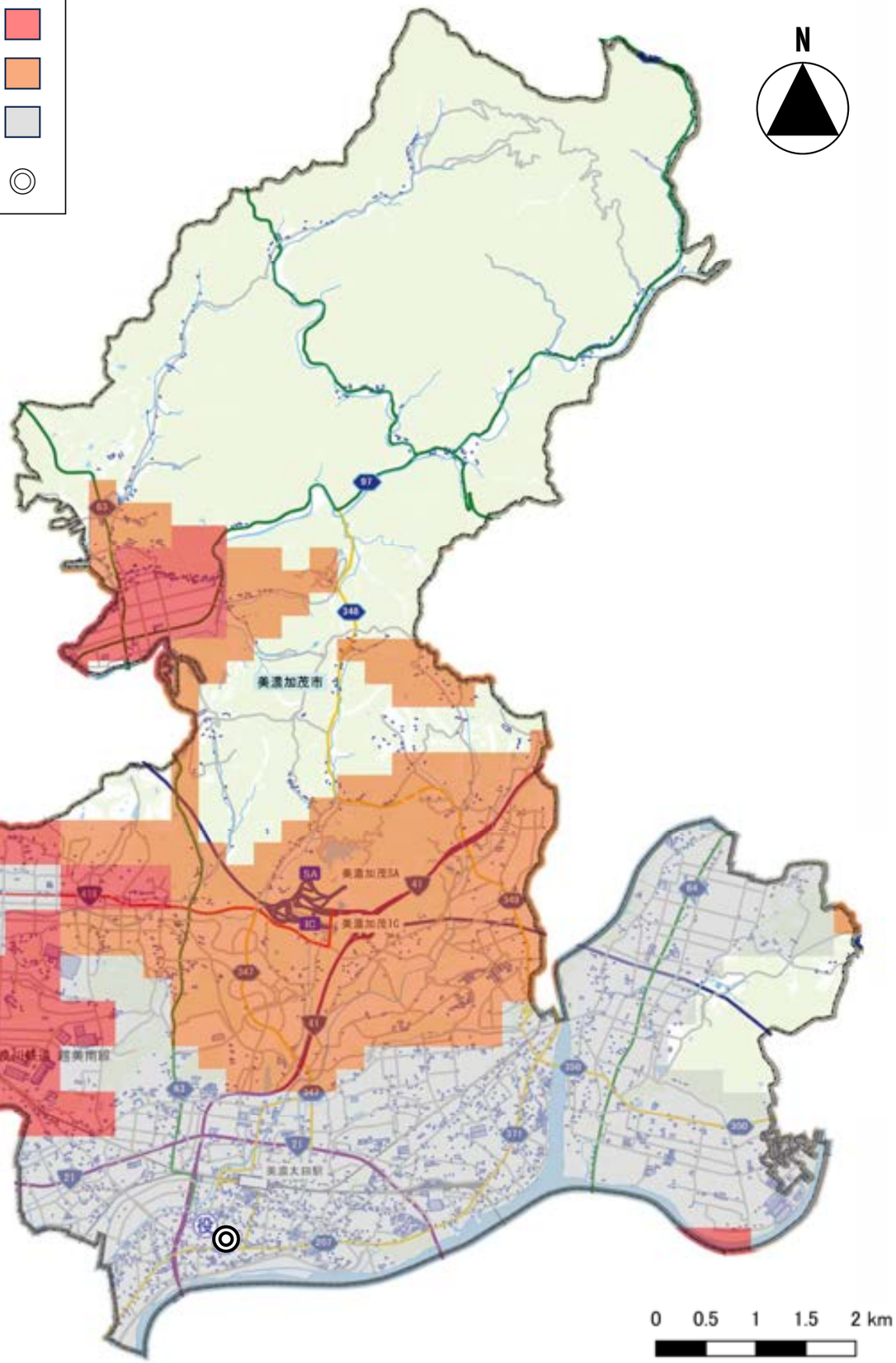
写真 1-3　建物の傾斜被害

図　液状化の被害

出典：「市街地液状化対策推進ガイダンス［本編］」（国土交通省都市局都市安全課,R1.6）より抜粋
https://www.mlit.go.jp/common/001123039.pdf

可能性が高い（PL＞15）
可能性がある（5＜PL≦15）
可能性が極めて低い（PL＝0）
現本庁舎

南海トラフ地震の場合



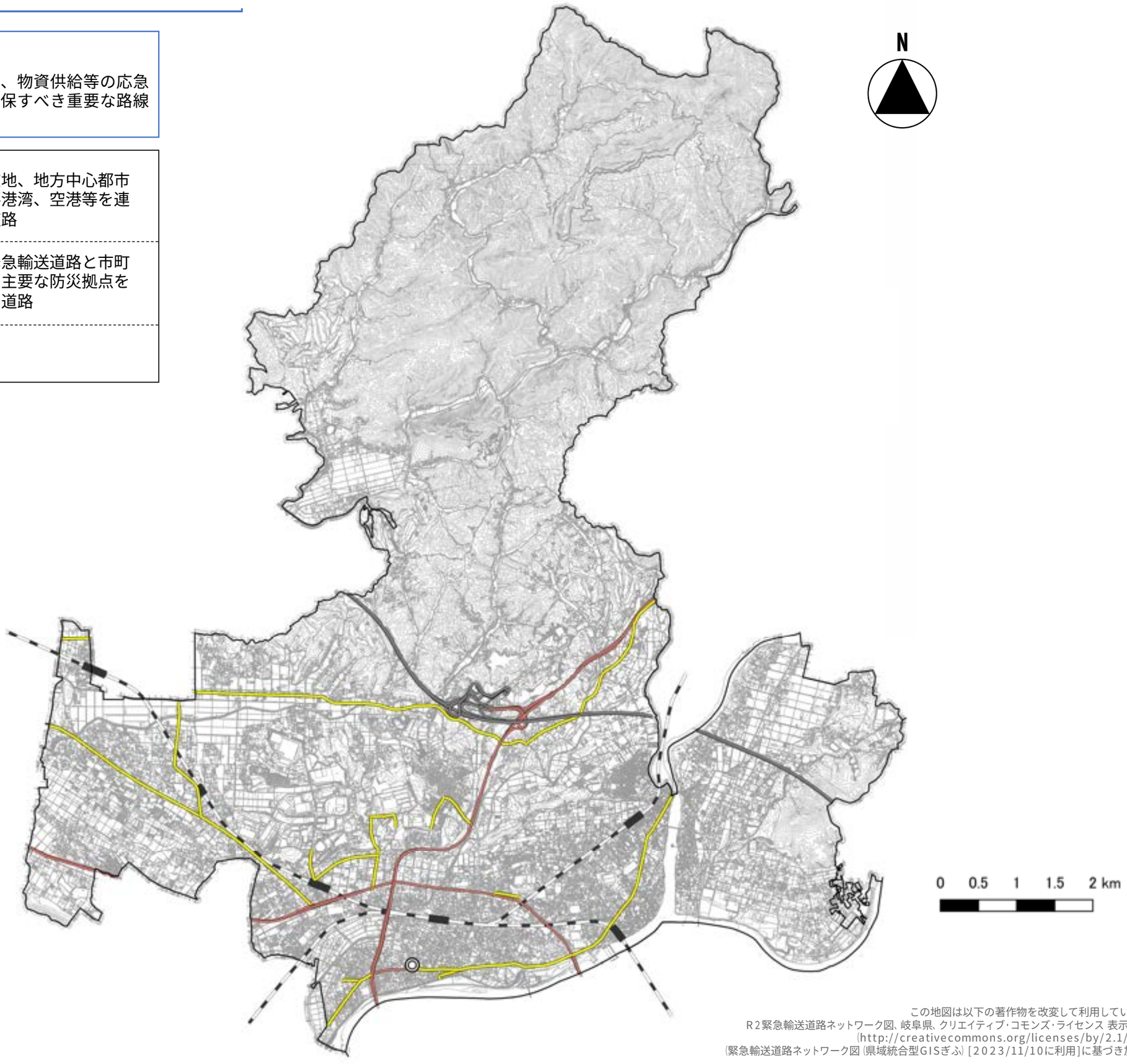
出典：岐阜県地震危険度マップ　液状化危険度分布図（県域統合型GISぎふ）を加工

災害⑤ 緊急輸送道路網

●緊急輸送道路

- 災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のことです。

第1次		県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路
第1次（高速道路）		
第2次		第１次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点を連絡する道路
現本庁舎	◎	



この地図は以下の著作物を改変して利用しています
R２緊急輸送道路ネットワーク図、岐阜県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 2.1
〔http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/〕
〔緊急輸送道路ネットワーク図〔県域統合型GISぎふ〕[２０２３/11/10に利用]に基づき加筆〕

参考① 建設地・規模

●建設地

- 新庁舎の建設地は、市有地であればコストを抑えることができます。

●必要な規模

- 新庁舎は、本庁舎（本館・西館）・分庁舎を統合した規模を想定します。

- 駐車場は、来庁者用及び公用車、職員用（計 約570台）を想定します。すべて平面駐車場で確保する場合、面積は約1.4ha必要となります。

駐車場面積の算定

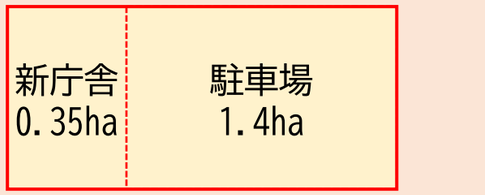
	台数	×基準面積※	＝駐車場面積
来庁者用・公用車	230台	25㎡/台 （通路部分を含む）	5,750㎡
職員用	337台		8,425㎡
合計	567台		**14,175㎡**

※基準面積は「平成22年度地方債同意等基準運用要綱」（総務省）による

- 新たな敷地において、敷地内で建替えを考えた場合、
  駐車場面積 ＋ 新庁舎面積（３階建てを想定） ＋ 既設建物面積
  1.4ha 0.35ha 0.35ha
  より、**2.1ha**程度の敷地面積が必要となります。

  ※既設建物は新庁舎建設後に取壊し、新庁舎工事中も必要駐車台数は確保するものと想定します。

- 新たな敷地において、庁舎建設と駐車場確保を考えた場合、
  駐車場面積 ＋ 新庁舎面積（３階建てを想定）
  1.4ha 0.35ha
  より、**1.8ha**程度の敷地面積が必要となります。



参考② 工事費

●工事費

- 建物本体の工事費は、概ね55～60億円を見込んでいます。算定根拠は下に示します。

  （この金額には、地盤改良、造成工事、外構工事のほか、庁舎建設の周辺環境に伴う道路や水路等の基盤整備、現庁舎の解体工事、防災拠点機能、市民交流機能、備品購入、職員駐車場の確保に関する費用は含まれません）

＜算定根拠＞

① **床面積**
国土交通省及び総務省の基準に基づき算出すると、約8,500～9,800㎡となります。ただし、防災拠点機能や市民交流機能はここに含まれません。
※今後、現庁舎の実態調査等により面積は増減する可能性があります。

② **床面積あたりの工事費**
近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価は平均で約47万円、最大で約51万円です。
事例の工事時期から現在までに工事費は約1.27倍高騰していることから、（約47～51万円）×1.27＝約60～65万円を想定します。

近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価

	完成	建物本体の工事費 ※	÷床面積	＝床面積当たり工事費	（参考）人口（令和5年4月）
土岐市役所	R1	約40億円	9,703㎡	**約41万円**	55,514人
大垣市役所	R1	約104億円	20,806㎡	**約50万円**	158,676人
各務原市役所	R5	約76.9億円	16,238㎡	**約47万円**	145,311人
羽島市役所	R3	約49.4億円	9,706㎡	**約51万円**	66,729人

※市町村によっては、本体工事費に
地中熱設備や液状化対策工事などが含まれている

床面積当たり工事費： 平均値～最大値 約47～51万円/㎡
工事費高騰分（1.27倍）を見込み （約47～51万円）×1.27＝約**60～65万円/㎡**

③ **建物本体の工事費**
①床面積の平均×②床面積当たり工事費より、概ね55～60億円の見込みとなります。

①床面積	×②床面積あたり工事費	＝建物本体の工事費
9,150㎡	約60～65万円/㎡	**約55～60億**

参考③　立地適正化計画

●立地適正化計画とは

- 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で、住宅と生活サービスに関連する医療、福祉、商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りながら、公共交通と連携したまちづくりを進めるものです。
- 現計画は2020～2040年の20年後を展望した計画です。5年をめどに見直します。

●都市機能誘導区域とは

- 医療・福祉・商業などの都市機能を誘導・集約し、効率的な都市サービスの提供を図る区域です。
- 美濃加茂市では、美濃太田駅周辺、古井駅周辺、蜂屋南地区の３エリアを位置づけ、都市の活力（にぎわい・回遊性など）を向上させる機能を備えた都市拠点となることを目指しています。
- 現行の計画では、市役所は美濃太田駅周辺地区に誘導することとしています。
- 新庁舎を都市機能誘導区域外に建設する場合、立地適正化計画の変更・見直しの必要性を検討することとなり、多くの時間と労力がかかります。

出典：美濃加茂市立地適正化計画

図　都市機能誘導区域とそれぞれの誘導施設

参考④　都市計画区域　用途地域

●都市計画区域とは

- 都市計画法に基づき、市街地を中心として、一つのまとまった都市として整備・開発または、保全する必要のある地域です。

●用途地域とは

- 計画的な市街地を形成するために、建築できる建物の種類や用途の制限を定めた地域です。
- 美濃加茂市では、１２の用途地域の他、特別用途地区（用途地域に重ねて地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護などの実現を図る地区）と特定用途制限地域（用途地域が定められていない区域の良好な環境を形成・保持するための区域）が指定されています。

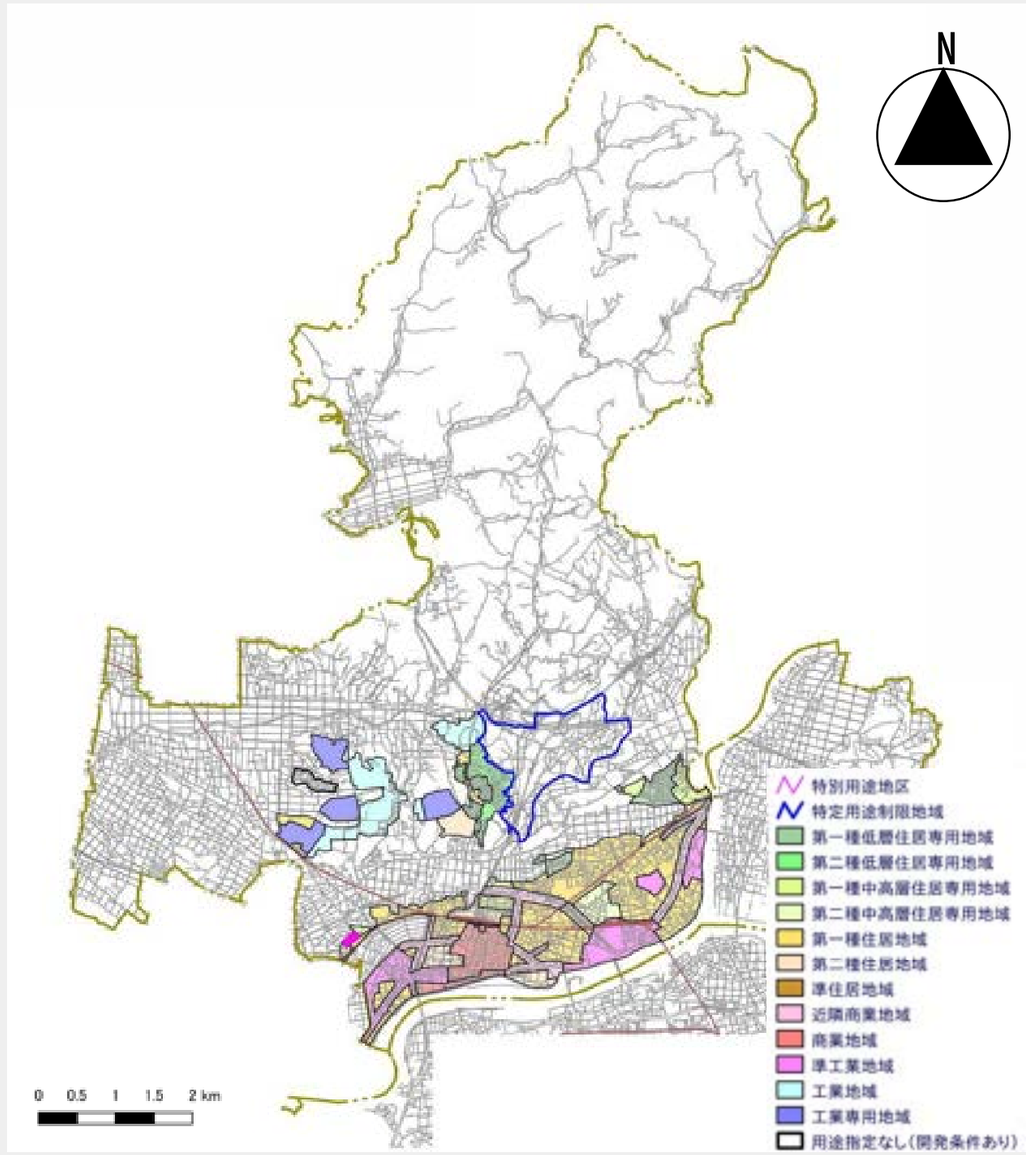


図　都市計画総括図

参考⑤　農業振興地域内　農用地区域

●農業振興地域とは

- 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の振興を図るべき地域として都道府県知事が指定する地域です。

●農用地区域とは

- 農業振興地域のうち、今後10年以上の長期にわたり農業上の利用を確保し、農業振興を図っていこうとする土地の区域です。
- 農用地区域に指定された土地は原則、農業上の用途以外に利用できません。
- 新庁舎を農用地区域に建設しようとする場合、一定の条件を満たしたうえで手続きを行う必要があります。

（4）子育て世代対象ワークショップ

子育て世代対象ワークショップ　結果概要
テーマ:「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、市民ワークショップへの参加が難しかった子育て世代の方に向けて、託児も可能な市民ワークショップを開催しました。今回は、「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」をテーマに話し合いたくさんのご意見を頂きました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

●日時:2024 年7月 10 日(水)　10:00～11:30
●場所:みのかも健康プラザ研修室
●参加人数:10 名
●託児利用者数:4名

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ウォーミングアップ
　お題:「情報提供に対する感想、今日に期待すること」
4. グループワーク
　お題:「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」
5. 全体発表
6. おわりに

(3)参加者募集の概要

●対象:小学生以下のお子さんをお持ちの方(夫婦での参加可)
●申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEB フォーム(QR コード)、電子メール)
●申込期限:7月 2 日(火)　〆切
●募集方法:市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市 LINE、美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)、すぐメールみのかも、新聞、子育て支援センターInstagram、ファミリーサポートセンターLINE、リオラ Instagram、保育園、小学校のメール

(4)事務局

美濃加茂市　総務部　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

ハード面に関する意見の傾向として、駐車場の歩道スペースを広くすることや移動のしやすさといった安全面、ワンフロアで手続きが完結でき、移動しなくてもよい窓口の配置、小さな子どもを一緒に連れて行くことができる託児スペースやキッズスペース、親同士や子ども同士の交流場所の整備といった意見が出されました。

ソフト面では、オンラインでスマホから手続きできるシステム、本庁舎で手続きや相談が全てできるよう整備してほしいといった相談機能の充実や窓口の集約に関係する意見が出されました。

ハート面では、職員に話しかけやすい雰囲気づくり、子育て世代が安心して行ける雰囲気づくりといった職員に対する意見が出されました。

※ハード面:建物・設備等
ソフト面:利用方法・サポート等
ハート面:想い・考え方等

(2)全体の結果概要

①新庁舎の機能(まとめ)　　※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
食堂	ハード	食堂(定時は職員・市民、長期休暇は子どもに展開)	子ども食堂		2
			休みの日に食事を作らなくても良い！		
駐車場	ハード	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの大変。雨の日も、、、		1
			立体駐車場あり！		
			駐車場からのアプローチ。不自由な人でも歩きやすいように		
	ハード	歩いてすぐにつける駐車場(小さい子を連れて)	歩道のある駐車場		1
	ハード	ベビーカーが広がるスペース。道路が狭いと危ない			1
	ハード	屋根付きおもいやり駐車場あるといい			1
ゆっくりできるスペース	ハード	授乳室は区切らず長イスで話せるように			1
	ハード	子供が一緒に行ってくれる(行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流も生まれるスペースが欲しい		1
	ハード	子供のころから親しめる	中庭アスレチック		1
			小学生にあがった子と未就学児一緒に遊べる場所		
休憩	ハード	休憩できるところ	離乳食自販機		2
窓口	ハード	窓口も必要(プライバシーの観点から)	総合案内		1
			ドライブスルー窓口		
	ハード	ワンフロアで手続きできる			1
	ハード	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい			3
手続き	ソフト	スマホで家から手続きができる仕組み、QR コード化			1
他施設と併設	ハード	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)			2
バス、自転車	ハード	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い		1
			バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、		
			目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい		
			レンタルサイクルでも〇		
分庁舎	ハード	分庁舎は移動が大変 １つにまとめてほしい			1
雰囲気づくり・声かけ	ハート	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ		3
部署の連携	ソフト	他部署同士連携してほしい			1
その他	ハード	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか？子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい		1
			電話も別になっている		
	ハード	ベビーベッドが受付やブースの近くに欲しい	受付の待ち時間に子供といるスペース		2
	ソフト	ネット予約待ち時間の表示			2

②新庁舎の機能(ハード)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
雰囲気づくり・声かけ	室内の明るさ(入ると何か不安になる)		
	どの窓口に相談したら良いかわかりやすく		
分散	子どもをみる時間があるので近い方が良い		
駐車場	駐車場が広い	車幅が狭いとあぶない	
		ベビーカーも安心	
	屋根付きおもいやり駐車場あるといい		
託児	託児所のある市役所ってあるのかな？保育士さんがいてくれるといい	ファミサポ的な機能	
		託児の機能のある市役所	
他施設と併設	図書館がとなりにある	本が好きな子どもや大人がつどいやすい	
		ついでに市役所に行ける	
	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)		
窓口	窓口も必要(プライバシーの観点から)	総合案内	
		ドライブスルー窓口	
	ワンフロアで手続きできる		
	明るい場所にして欲しい		
	移動が楽。バリアフリー窓口から窓口	窓口は1つで役所側が動くと良い！	
	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい		
情報発信	市のイベントなどの情報がまとまっているスペース		
受付環境	キッズスペース		
	荷物置き場		
	ベビーベッドが受付やブースの近くに欲しい	受付の待ち時間に子供といるスペース	
子どもを連れていきやすい	小さな子どもを連れて行きやすい庁舎(託児、少しさわがしくても気にせずいられるなど)		
	託児ができる		
	子どもによっては預けられない子がいる	子どもも大人の話を聞いている、子どもに聞かせたくない話もある(遊び場があれば、気をまぎらわせる)	
休憩	休憩できるところ	離乳食自販機	
	コミュニティーの場になる		
	ショッピングモールにある子どもを遊ばせながら休憩できる場所		
	子どもを見ながらや、テーブルを使いたいときに、座れるところなどいろいろできるところがあるといい		
ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインもとり入れつつ、おしゃれな外観、内観が行きたくなる庁舎にしたい		
	庁内雰囲気、課ごとに違っていいと思います		
	子ども向けの課は明るい雰囲気にするとか		

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
ゆっくりできるスペース	授乳室は区切らず長イスで話せるように		
	託児スペース(手続き中に一時的)	授乳室のサイズはワンフロアに大きく、子どものスペースをつくるのもあり	
	子供が一緒に行ってくれる(行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流も生まれるスペースが欲しい	
	子供のころから親しめる	中庭アスレチック	
		小学生にあがった子と未就学児一緒に遊べる場所	
分庁舎	分庁舎は移動が大変 1つにまとめてほしい		
バス、自転車	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い	
		バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、	
		目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい	
		レンタルサイクルでも〇	
駐車場	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの大変。雨の日も、、、	
		立体駐車場あり！	
		駐車場からのアプローチ。不自由な人でも歩きやすいように	
	入り口が分かりやすい		
	駐車場危なくないように		
	歩いてすぐにつける駐車場(小さい子を連れて)	歩道のある駐車場	
	ベビーカーが広がるスペース。道路が狭いと危ない		
食堂	食堂(定時は職員・市民、長期休暇は子どもに展開)	子ども食堂	
		休みの日に食事を作らなくても良い！	
その他	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか？子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい	
		電話も別になっている	
	通路はベビーカーを引きながらすれちがうことができるといい	出かける前に時間がかかる(トイレ、ぐずるなど) 子供を連れて移動が大変	
		市役所に来るまでが大変	

③新庁舎の機能(ソフト)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
窓口	市役所に行くことを最低限にして欲しい		
ソフト	スマホで家から手続きができる仕組み、QR コード化		
	学生たち向け情報配信		
交流	親同士の交流、相談		
ユニバーサルデザイン	子ども向け(子ども課)来庁者向けの設備(タブレット、動画視聴できると子供もあきない。おもちゃだと衛生的管理もあるので)		
バス、自転車			あい愛バスに自転車を乗せれるようにしてほしい
雰囲気づくり・声かけ	窓口の職員が他の人を対応しているときに、案内してくれる人がいると良い		
部署の連携	他部署同士連携してほしい		
受付環境	子連れで落ち着いて話せる環境		
休憩	テーブル(休憩用)		
分庁舎	本庁舎で手続き相談等すべてできる		
情報発信	市の情報が届かない、受け取ることができない(忙しい、気にとまらない)		
	保育園など小、中、高の子どものお母さんなど対象者別に情報発信をしてほしい		
その他	離乳食を販売している		
	ウォーターサーバー		

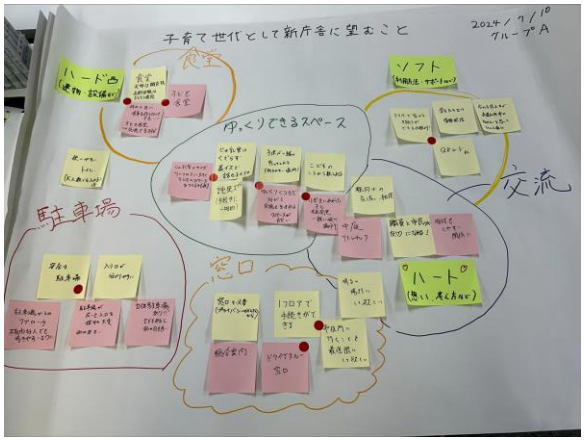
④新庁舎の機能(ハート)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	
雰囲気づくり・声かけ	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ	
	入り口に入るとすぐに声かけてもらえるとうれしい		
ハート	子どもに「しー」と言われなくてもよい雰囲気	子育て世代が安心していける雰囲気	

(3)グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
食堂	ハード	食堂(定時は職員・市民、長期休暇は子どもに展開)	子ども食堂		2
			休みの日に食事を作らなくても良い！		
駐車場	ハード	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの大変。雨の日も、、、		1
			立体駐車場あり！		
			駐車場からのアプローチ。不自由な人でも歩きやすいように		
	ハード	入り口が分かりやすい			
ゆっくりできるスペース	ハード	授乳室は区切らず長イスで話せるように			1
	ハード	託児スペース(手続き中に一時的)	授乳室のサイズはワンフロアに大きく、子どものスペースをつくるのもあり		
	ハード	子供が一緒に行ってくれる(行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流も生まれるスペースが欲しい		1
	ハード	子供のころから親しめる	中庭アスレチック		1
			小学生にあがった子と未就学児一緒に遊べる場所		
窓口	ハード	窓口も必要(プライバシーの観点から)	総合案内		1
			ドライブスルー窓口		
	ハード	ワンフロアで手続きできる			1
	ハード	明るい場所にして欲しい			
	ソフト	市役所に行くことを最低限にして欲しい			
ソフト	ソフト	スマホで家から手続きができる仕組み、QR コード化			1
	ソフト	学生たち向け情報配信			
	ハート	今の子供たちが美濃加茂市に住みたいと思ってもらえる様に			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
交流	ソフト	親同士の交流、相談			
	ハート	職員と市民が友になれる	相談もしやすい関係に		

■B 班

1)ワークショップの様子

2)新庁舎の機能(まとめ)

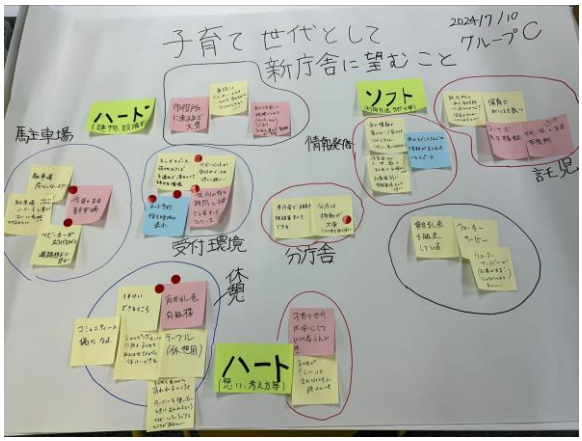
※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
ユニバーサルデザイン	ハード	ユニバーサルデザインもとり入れつつ、おしゃれな外観、内観が行きたくなる庁舎にしたい			
	ハード	庁内雰囲気、課ごとに違っていいと思います			
	ハード	子ども向けの課は明るい雰囲気にするとか			
	ソフト	子ども向け(子ども課)来庁者向けの設備(タブレット、動画視聴できると子供もあきない。おもちゃだと衛生的管理もあるので)			
他施設と併設	ハード	図書館がとなりにある	本が好きな子どもや大人がつどいやすい		
			ついでに市役所に行ける		
	ハード	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)			2
駐車場	ハード	駐車場が広い	車幅が狭いと危ない		
			ベビーカーも安心		
	ハード	屋根付きおもいやり駐車場あるといい			1
子どもを連れていきやすい	ハード	小さな子どもを連れて行きやすい庁舎(託児、少しさわがしくても気にせずいられるなど)			
	ハード	託児ができる			
	ハード	子どもによっては預けられない子がいる	子どもも大人の話を聞いている、子どもに聞かせたくない話もある(遊び場があれば、気をまぎらわせる)		
バス、自転車	ハード	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い		1
			バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、		
			目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい		
			レンタルサイクルでも〇		

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
	ソフト			あい愛バスに自転車を乗せれるようにしてほしい	
窓口	ハード	移動が楽。バリアフリー窓口から窓口	窓口は1つで役所側が動くと良い！		
	ハード	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい			3
雰囲気づくり・声かけ	ハード	室内の明るさ（入ると何か不安になる）			
	ハート	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ		3
	ハード	どの窓口に相談したら良いかわかりやすく			
	ハート	入り口に入るとすぐに声かけてもらえるとうれしい			
	ソフト	窓口の職員が他の人を対応しているときに、案内してくれる人がいると良い			
部署の連携	その他	保健師さんが家に来てくれる日とポイントを受けるための面談の日程がかぶっていた			
	ソフト	他部署同士連携してほしい			1
分散	ハード	子どもをみる時間があるので近い方が良い			
	その他			三和交流センターでできる手続きが増えてほしい	
その他	ハード	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか？子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい		1
			電話も別になっている		
	その他			働いていなくてもはいれる幼稚園増やしてほしい、、、（近くの幼稚園に入れなかった）	

■C 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
駐車場	ハード	駐車場危なくないように			
	ハード	歩いてすぐにつける駐車場(小さい子を連れて)	歩道のある駐車場		1
	ハード	ベビーカーが広がるスペース。道路が狭いと危ない			1
受付環境	ハード	キッズスペース			
	ハード	荷物置き場			
	ソフト	子連れで落ち着いて話せる環境			
	ハード	ベビーベッドが受付やブースの近くに欲しい	受付の待ち時間に子供といるスペース		2
	ソフト	ネット予約待ち時間の表示			2
休憩	ハード	休憩できるところ	離乳食自販機		2
	ハード	コミュニティーの場になる			
	ハード	ショッピングモールにある子どもを遊ばせながら休憩できる場所			
	ハード	子どもを見ながらや、テーブルを使いたいときに、座れるところなどいろいろできるところがあるといい			
	ソフト	テーブル(休憩用)			
ハート	ハート	子どもに「しー」と言われなくてもよい雰囲気	子育て世代が安心していける雰囲気		
分庁舎	ソフト	本庁舎で手続き相談等すべてできる			
	ハード	分庁舎は移動が大変 1 つにまとめてほしい			1
情報発信	ソフト	市の情報が届かない、受け取ることができない(忙しい、気にとまらない)			
	ソフト	保育園など小、中、高の子どものお母さんなど対象者別に情報発信をしてほしい			
	ハード	市のイベントなどの情報がまとまっているスペース			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
託児	ハード	託児所のある市役所ってあるのかな？保育士さんがいてくれるといい	ファミサポ的な機能		
	ハード		託児の機能のある市役所		
その他	ソフト	離乳食を販売している			
	ソフト	ウォーターサーバー			
	ハード	通路はベビーカーを引きながらすれちがうことができるといい	出かける前に時間がかかる (トイレ、ぐずるなど) 子供を連れて移動が大変		
			市役所に来るまでが大変		

子育て世代ワークショップ　アンケート結果

1.　ワークショップ概要

①　目的

令和 5 年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった現在子育て中の方々に、「子育てにやさしい新庁舎の機能」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

②　テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード（建物・設備等）に関することを主なテーマとする。ソフト（利用方法・サポート等)、ハート（想い・考え方等）に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③　対象

子育て世代　10 名

④　実施日時

2024 年 7 月 10 日（水）10：00～11：30

⑤　実施場所

みのかも健康プラザ研修室

⑥　アンケート回収状況

8 件 回収（紙：2 件、Google フォーム：6 件（7 月 17 日〆））

2.　アンケート結果

問１．本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=8】
満足	6
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	0
合計	8

問２．新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

	回答者数【N=8】
美濃加茂市ホームページ	1
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	0
美濃加茂市 LINE	2
美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)	0
すぐメールみのかも	3
新聞	0
子育て支援センターInstagram	0
ファミリーサポートセンターLINE	1
リオラ Instagram	1
保育園・小学校のメール	2
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	2
所属団体からの呼びかけ	1
未回答	0
合計	13

問３．本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

●市役所が手続きだけでなく、コミュニティの場にもできないかという意見もあり、人が集まれる機能もできるといいと思いました。他の世代の意見も知りたいです。
●候補地が４箇所に絞られたということ。
●市役所や市長に任せるのではなく、市民自ら声を上げ、市政の方向を認知することが大切だと再認識した。
●新しくなるといいなと思った
●新庁舎整備にあたって様々な世代の市民の意見を反映しようと努力されていると感じました。
●移設場所の候補、まだ決め兼ねている
●より多くの市民に新庁舎整備に関心を持ってもらって、意見や要望を出してもらいたいけど、関心を高めることが課題なのかなと感じました。オンラインで済む手続きはオンラインにして、市役所窓口は相談に行く場所、とか、各課の窓口に移動して手続きするのではなくて一つの窓口で済ませられるようにするとか、これまでの市役所を前提にしていては思いつかないことで新鮮に感じました。
●いろんな方みえますが、子育て世代の意識、重要だと思う。いろんな意見がきけてよかった

問４．言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

●この町に住んで良かった、これがあるからこの町に引越しした、この制度があるから…と他市町村と比べて人は移動すると思います。現時点の美濃加茂市は子育てに特化した法制度や施設は他市町村に比べて少ないと思います。未来の市政を運営するためには、子育て世代がすみやすい魅力ある町づくりが必要と思います。子育て世代が魅力に感じる町にするためにも、その魅力を新庁舎に詰め込んでも良いと思います。
大垣市や各務原市、本巣市、他にもあると思いますが、どの新庁舎も同じような配置図で子育て世代に関しての大きな改革はしてないように感じました。他市町村との違いを出すためにも、その点において美濃加茂市の新庁舎は切り込んで欲しいです。
例えば
１フロア全て子育て関連施設にする。
・未就学児～小学生が遊べる空間を設ける（屋内遊具施設）
・食堂（職員や市民、子どもは格安でご飯が食べられる空間）
・市長の話の中にも、子育て施設を新庁舎に作るのか、別のところにつくるのかという話もありました。他の施設を作ろうとしても、また時間とお金がかかるので、確実に建設予定の新庁舎に子育てに対して特化した施設を作って欲しいです。

●新庁舎整備とは離れますが、各自治会と市との連携や運営に対してもっとうまく繋がれると良いなと思っています。2年前自治会の班長をやりましたが、災害時支援が必要な家庭のリストには独居老人のことしか書いておらず、他にも障がいのある子どものいる家庭や小さい子どものいる家庭など、地域住民の情報がもっとあると良いなと思いました。同じ自治会の発達障がいの子供をもつ方は様々な支援を受けたり、消防にも連絡していたにも関わらず、自治会には情報提供されていませんでした。
●託児を利用してまで参加してくださった方に感謝。自家用車がなくてもアクセスしやすいようにお願いします。
●場所について。

問5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

●進行状況を詳しく知っていく機会がほしい

問6. 美濃加茂市は令和6年2月に子育て支援に関するアンケートを実施いたしました。その結果、子ども教室の実施について、特に学習支援や運動指導などの取り組みで利用したいという意見が多く寄せられました。
学習支援や運動指導の取り組みについて、具体的に期待する内容やご意見がございましたら、自由にご記入ください。

【学習支援】

●夏休みの宿題を教えてもらえたり、前学期でわからなかったところの復習
●ソロバン教室、英語教室、プログラミング習い事のようなことができる
●ネイチャー体験。蜂屋小など山に隣接しているところは、昆虫や草花などの観察する。学校ごとで特色を出す
●日本の伝統文化、茶道、書道、花道
●同級生だけでなく上下のお友達とかかわれるプログラムがあるといいです。
●小学校で学んだ勉強の復習（親だと素直に話を聞いてくれないので、こういったのでやってもらえるとありがたいなと思います）
●必要だと思う。特に子供は休みでも親が仕事という場合もあるので、市の施設で行っていただけると安心感がある。
●利用しやすい場所や日程で実施があれば参加したいです。

【運動指導】

●ダンス、マット体操、レクリエーション、球技、走り方教室
●部活動のような感じで取り組めるといいなと思います。
●スポーツではなく、運動習慣に繋がりそうなストレッチや筋トレ。勝ち負けのあるスポーツは苦手でも、ストレッチや筋トレならみんなでするのも楽しいという子もいるのではと思います。一緒に食事バランスのことも学べると過度なダイエットなどへの対策にもなるのかなと思います。みんなで体育館でだるまさんがころんだとかでも楽しめるかとも思います。
●学区外の友達とも交流できるのはとても良い
●逆上がりや縄跳びなど苦手なことにも楽しく取り組めると良いと思います。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。

市の役割について（STEP1）

第１回市民ワークショップ（令和５年７月）は「１０年後の市の役割」をテーマに行いました。
これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・

① **市民に寄り添い、まもる行政の存在**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② **地域のまとまり**
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ **魅力ある市をつくる**
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ **産業振興**
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ **安心安全なまち**
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ **便利なまち**
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

新庁舎の役割・コンセプトの決定（STEP2，3）

第2回市民ワークショップ（令和5年9月）のご意見や1,500人市民アンケート（令和5年11月）の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

concept 新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る
未来を見据えた新庁舎

8つの役割

安心
1つ 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
2つ こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
3つ 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
4つ 業務効率の向上につながる職場環境の充実

未来
5つ 環境の変化に対応できる庁舎
6つ 平日に働く人も頼りやすい
7つ 申請等の手続きがオンラインでできる
8つ 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能決定（STEP4）

第３回市民ワークショップ(令和５年１２月)のご意見や４，０００人市民アンケート(令和６年２月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度（重要度）の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ

コンセプト	役割		重点機能
市民の安心な暮らしを守る 未来を見据えた新庁舎	安心	誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される	・総合窓口 ・受けられる支援や仕組みのわかりやすさ ・プライバシーの守られる相談ブース
		こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	・わかりやすい案内サインや動線
		災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	・災害対策
		業務効率の向上につながる職場環境の充実	・情報セキュリティの強化 ・会議室やミーティングスペースの充実
	未来	環境の変化に対応できる庁舎	・フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間
		平日に働く人も頼りやすい	・デジタルの申請・書類発行
		申請等の手続きがオンラインでできる	
		行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎	・ワンフロアの相談窓口

新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1～10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1～9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で充分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

これまでのワークショップで出た機能の例

総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、
ワンストップ(１つの窓口)だけで
手続きが完結させることができ、
利用者の移動負担を軽減できる。

プライバシーに配慮した窓口

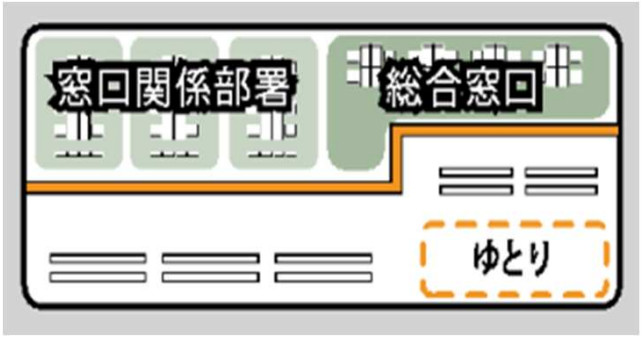
パーテーションや半個室の相談ブース
を設けることで、相談者のプライバシー
を守りながら相談や手続きができる。

ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、
お子様連れの方など多様な方に配慮した、
だれもが安心して利用できる
分かりやすいデザインとする。

ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに
集約し、来庁者の移動を少なくし て、
利便性の向上を図る。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを
目指して、庁舎内に市民が集い、
交わる市民交流スペースを設置。

市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の
特産物、特産品のPR及び購入をしたり
市政情報を得る場となる。

～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。

授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。

～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。

デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。

～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）

バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場を設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。

（5）外国人市民対象ワークショップ

外国人市民対象ワークショップ　結果概要

テーマ:「こんな市役所だったらいいな」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各STEPに基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、市民ワークショップへの参加が難しかった外国人市民の方に向けて市民ワークショップを開催しました。今回は、「こんな市役所だったらいいな」をテーマに話し合い、たくさんのご意見を頂きました。

1．開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

- 日時:2024年7月27日(土)15:00～16:30
- 場所:生涯学習センター202
- 参加人数:13名(ブラジル、フィリピン、ベトナムなど)

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ウォーミングアップ
   お題:「自己紹介、情報提供に対する感想」
4. グループワーク
   お題:「こんな市役所だったらいいな」
5. 全体発表
6. おわりに

グループワーク

テーマ:「こんな市役所だったらいいな」

(3)参加者募集の概要

- 対象:美濃加茂市に住んでいる又は働いている中学生以上の外国人市民
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEBフォーム(QRコード)、電子メール)
- 申込期限:7月19日(金)〆切
- 募集方法:市HPへの掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市LINE、美濃加茂市SNS(Instagram、Facebook)、外国人向け広報、多文化共生Instagram、多文化共生Facebook、派遣会社へのチラシ配布

(4)事務局

美濃加茂市　総務部　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

ハード面に関する意見として、複雑で多種多様な手続きを要する市役所において、外国人の方がより分かりやすく手続きを行えるように総合窓口やワンストップ窓口の設置をしてほしいという意見が多く出されました。また、外国人の方が日本語や日本文化について学んだり、日本人との交流スペースを求める意見も全体として出ています。

ソフト面では、窓口での多言語対応のための翻訳機やタブレットの設置の他、災害放送や市からの情報など必要な情報が現状として届いていない、あるいは多言語対応されていないことへの不安の声があがり、安心して暮らすために整えて欲しいという意見が出されました。

ハート面では、多国籍の人が住む美濃加茂市だからこそ、それぞれの文化を理解し、配慮して欲しいといった意見が出されました。

全体を通して、現状の問題や課題を踏まえた上で、より分かりやすい案内や窓口対応、安心して暮らすための設備の見直しといった意見が多く出されました。

※ハード面:建物・設備等
ソフト面:利用方法・サポート等
ハート面:想い・考え方等

(2)全体の結果概要

①新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
総合案内	ハード	総合受付がほしい	どこに何があるかわからない		6
	ハード		1つの建物に集めてほしい		
災害	ソフト	災害放送、日本語わからない	あとから見れるアプリがあるけどみんな知らない		1
	ソフト		災害について分からない。どんな準備？どんな被害？		
	ソフト		外国人向けセミナーあるけど、参加する人が限られている		
つながり	その他	市民のなかでリーダーをつくる	自治会と繋がる		2
税金の仕組み	ソフト	保険。税金。各国の	生活のルール。外の国との税の仕組みの違いを説明		1
情報発信	ソフト	美濃加茂市に、はじめて来た外国人(日本人も含む)に市のルールを伝える場所	市のルールをしっかり伝える		3
	ソフト	国際交流の拠点となる場所。そこには外国人が気軽に立ちよれ、相談ができる。又、他の外国人、団体とも連携がとれるための席もあると良い			
	ソフト	掲示板(自由に利用できるもの。コミュニティー。 自営業者の紹介			
	ソフト	市役所から交流する場がほしい(ボランティア等)			
	ソフト	コミュニケーションをとりたい。日本を理解していく場			
	ソフト	Facebook、LINE など コミュニケーション			
	ソフト	ポータルサイトが古い	インスタグラムもたくさん 更新してほしい		4

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
窓口の手続き	ソフト	外国人の課を訪れる人は、日中に働いている人が多いので開庁時間の拡張	窓口の時間の拡張。 土日の開庁		2
	ソフト	転入・転出。 税金手続き	ワンフロアで手続きできる		
施設・設備	ハード	屋上にレストラン・カフェ			2
通訳・やさしい日本語	ソフト	サイン（駐車場や車いすなど）	やさしい日本語が良い		2
	ソフト	30か国の人に通訳で対応するのは難しい			
子供スペース	ハード	親が手続きをしているとき、子どもがあそべるスペース			2
	ハード	3才以下の子どもを見てくれる場所			
	ハード	手続きのときにこどもが待てるスペース			
窓口	ハード	ワンストップ窓口を新しい市役所に。			1
	ソフト	翻訳用タブレットの調子によって話が伝わらないことがある			1
	ソフト	病気の説明が難しい			1
	ソフト	災害時に避難情報を早く提示してほしい			1
	ソフト	相談の多い部署に通訳の職員を固めて配置してほしい			1
	ソフト	ゴミの分別をわかりやすく			1
外国の文化	ソフト	日本の市民と外国市民が交流できる機会			1
	ハート	外国人の文化を理解し、配慮してほしい。			1
	ハード	外国籍の市民が日本語・文化を学べる場所。日本のみなさんも他の国のことにふれあえるところがあると良いです。			2

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
児童保育	ソフト	認可外保育園に市役所から保育士を紹介・支援してほしい			2

②新庁舎の機能（ハード）

カテゴリー	市民の意見	つけたし意見	その他
総合案内	総合受付がほしい	どこに何があるかわからない	
		1つの建物に集めてほしい	
わかりやすい窓口案内	プライバシー		
こども	子供のあそび場	真ん中にあったらいい	
		えほんとかあそべるスペース	
つながり	ファミリーレストランかカフェがあり、職員と市民も気楽にできる場所		
施設・設備	コインロッカー		
	職員・市民の使えるジム		
	屋上にレストラン・カフェ		
子供スペース	親が手続きをしているとき、子どもがあそべるスペース		
	3才以下の子どもを見てくれる場所		
	手続きのときにこどもが待てるスペース		
窓口	ワンストップ窓口を新しい市役所に		
	ゆったり過ごせる待合環境		
外国の文化	外国の展示会を開いて交流する場所		
	いろいろな国の文化や物を展示できるスペース		
	市役所からも知ってほしい事を伝えられる場所		
	外国籍の市民が日本語・文化を学べる場所。日本のみなさんも他の国のことにふれあえるところがあると良いです。		
児童保育	子育てに配慮した環境		
その他	診療所	市民とちゃんと話してくれる病院	

③新庁舎の機能(ソフト)

カテゴリー	市民の意見	つけたし意見	その他
わかりやすい窓口案内	相談員。何をしたいか聞いてくれる人がいてくれるといい	近くの課とのつながり	
		窓口の人、数年で変わってしまう	
混まないように	市民課が混まないために用紙に記入するのではなく、機械化してほしい	ネットからでも手続きができる	
		コンビニからでも書類が取れることをみんなにどう伝えるか	
発信	ポータルサイトが古い	インスタグラムもたくさん更新してほしい	
災害	災害放送、日本語わからない	あとから見れるアプリがあるけどみんな知らない	
		災害について分からない。どんな準備？どんな被害？	
		外国人向けセミナーあるけど、参加する人限られている	
税金の仕組み	保険。税金。各国の	生活のルール。外の国との税の仕組みの違いを説明	
情報発信	美濃加茂市に、はじめて来た外国人(日本人も含む)に市のルールを伝える場所	市のルールをしっかり伝える	
	国際交流の拠点となる場所。そこには外国人が気軽に立ちよれ、相談ができる。又、他の外国人、団体とも連携がとれるための席もあると良い		
	掲示板（自由に利用できる物）。コミュニティー。自営業者の紹介		
	市役所から交流する場がほしい(ボランティア等)		
	コミュニケーションをとりたい。日本を理解していく場		
	Facebook、LINE など コミュニケーション		
窓口の手続き	外国人の課を訪れる人は、日中に働いている人が多いので開庁時間の拡張	窓口の時間の拡張。土日の開庁	
	転入・転出。税金手続き	ワンフロアで手続きできる	
通訳・やさしい日本語	サイン(駐車場)	やさしい日本語が良い	
	30か国の人に通訳で対応するのは難しい		

カテゴリー	市民の意見	つけたし意見	その他
窓口	翻訳用タブレットの調子によって話が伝わらないことがある		
	病気の説明が難しい		
	障がいの種類別に窓口を分けて、わかりやすく、話しやすくしてほしい		
	災害時に避難情報を早く提示してほしい		
	相談の多い部署に通訳の職員を固めて配置してほしい		
	話す言葉によってブースを分けてほしい		
	ゴミの分別をわかりやすく		
	もっと明るい雰囲気がある市役所が良いと思います。		
外国の文化	日本の市民と外国市民が交流できる機会		
児童保育	認可外保育園に市役所から保育士を紹介・支援してほしい		

④新庁舎の機能(ハート)

カテゴリー	市民の意見	つけたし意見	その他
外国の文化	外国人の文化を理解し、配慮してほしい。		

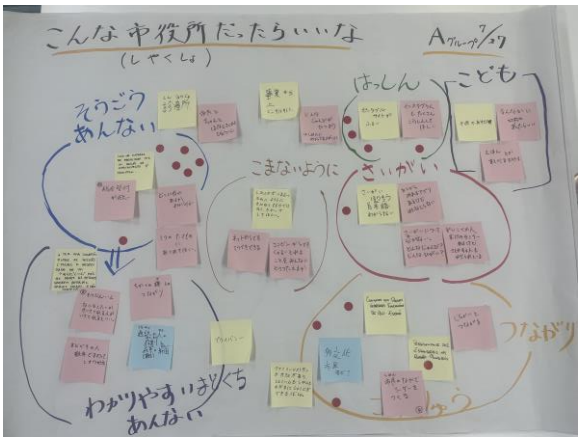
⑤新庁舎の機能(その他)

カテゴリー	市民の意見	つけたし意見	その他
つながり	市民のなかでリーダーをつくる	自治会と繋がる	
その他	事業立上コンサルタント	どんな準備が必要→市民に分かってる人がいるといい	

(3)グループごとの結果の概要

■A班

1)ワークショップの様子



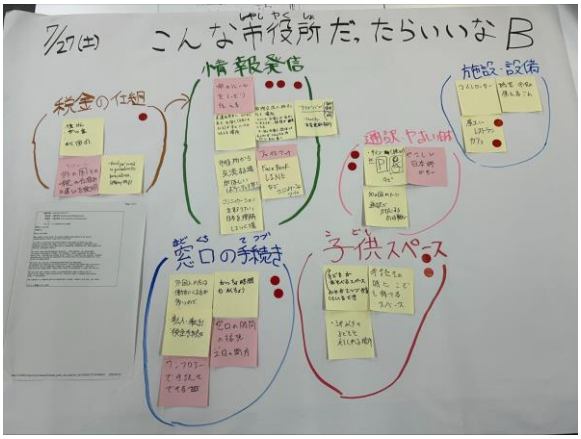
2)新庁舎の機能（まとめ）　※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハード:ピンク その他:オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
総合案内	ハード	総合受付がほしい	どこに何があるかわからない		6
	ハード		1つの建物に機能を集めてほしい		
わかりやすい窓口案内	ソフト	相談員。何をしたいか聞いてくれる人がいてくれるといい	近くの課とのつながり	通訳の人の役割と仕事(業務)の範囲	
	ソフト		窓口の人、数年で変わってしまう		
	ハード	プライバシー			
混まないように	ソフト	市民課が混まないために用紙に記入するのではなく、機械化してほしい	ネットからでも手続きができる		
	ソフト		コンビニからでも書類が取れることをみんなにどう伝えるか		
発信	ソフト	ポータルサイトが古い	インスタグラムもたくさん更新してほしい		4
災害	ソフト	災害放送、日本語ではわからない	あとから見れるアプリがあるけどみんな知らない		1
	ソフト		災害について分からない。どんな準備？どんな被害？		
	ソフト		外国人向けセミナーがあるけど、参加する人が限られている		
こども	ハード	子どものあそび場	真ん中にあったらいい		
	ハード		えほんとかあそべるスペース		

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
つながり	その他	市民のなかでリーダーをつくる	自治会と繋がる		2
	ハード	ファミリーレストランかカフェがあり、職員と市民も気楽に過ごせる場所			
その他	ハード	診療所	市民とちゃんと話してくれる病院		
	その他	事業立上コンサルタント	どんな準備が必要→市民に分かってる人がいるといい		

■B班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能（まとめ）

※大事だと思うところに 1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハード：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
税金の仕組み	ソフト	保険。税金。各国の	生活のルール。外の国との税の仕組みの違いを説明		1
情報発信	ソフト	美濃加茂市に、はじめて来た外国人(日本人も含む)に市のルールを伝える場所	市のルールをしっかり伝える		3
	ソフト	国際交流の拠点となる場所。そこには外国人が気軽に立ちよれ、相談ができる。又、他の外国人、団体とも連携がとれる席もあるとよい			
	ソフト	掲示板（自由に利用できるもの）コミュニティー。自営業者の紹介			
	ソフト	市役所から交流する場の提供がほしい（ボランティア等）			
	ソフト	コミュニケーションをとりたい。日本を理解していく場			3
	ソフト	Facebook、LINE など コミュニケーション			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
窓口の手続き	ソフト	外国人の課を訪れる人は、日中に働いている人が多いので開庁時間の拡張	窓口の時間の拡張。 土日の開庁		2
	ソフト	転入・転出。 税金手続き	ワンフロアで手続きできる		
施設・設備	ハード	コインロッカー			
	ハード	職員・市民の使えるジム			
	ハード	屋上にレストラン・カフェ			2
通訳・やさしい日本語	ソフト	サイン（駐車場や車いすなど）	やさしい日本語が良い		2
	ソフト	30か国の人に通訳で対応するのは難しい			
子供スペース	ハード	親が手続きをしているとき、子どもがあそべるスペース			2
	ハード	3才以下の子どもを見てくれる場所			
	ハード	手続きのときに子どもが待てるスペース			

■C班

1)ワークショップの様子

2)新庁舎の機能（まとめ）

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
窓口	ハード	ワンストップ窓口を新しい市役所に			1
	ソフト	翻訳用タブレットの調子によって話が伝わらないことがある			1
	ソフト	病気の説明が難しい			1
	ソフト	障がいの種類別に窓口を分けて、わかりやすく、話しやすくしてほしい			
	ソフト	災害時に避難情報を早く提示してほしい			1
	ソフト	相談の多い部署に通訳の職員を固めて配置してほしい			1
	ソフト	話す言葉によってブースを分けてほしい			
	ソフト	ゴミの分別をわかりやすく			1
	ソフト	もっと明るい雰囲気がある市役所が良いと思います。			
	ハード	ゆったり過ごせる待合環境			
外国の文化	ハード	外国の展示会を開いて交流する場所			
	ハード	いろいろな国の文化や物を展示できるスペース			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
外国の文化	ハード	市役所からも知ってほしい事を伝えられる場所			
	ソフト	日本の市民と外国市民が交流できる機会			1
	ハート	外国人の文化を理解し、配慮してほしい。			1
	ハード	外国籍の市民が日本語・文化を学べる場所。日本のみなさんも他の国のことにふれあえるところがあると良いです。			2
児童保育	ソフト	認可外保育園に市役所から保育士を紹介・支援してほしい			2
	ハード	子育てに配慮した環境			

外国人市民対象ワークショップ　アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

令和5年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった外国人市民の方々に、「こんな市役所だったらいいな」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

② テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード(建物・設備等)に関することを主なテーマとする。ソフト(利用方法・サポート等)、ハート(想い・考え方等)に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるように<u>ご発言の奥にある真のニーズをお聴きする</u>。

③ 対象

外国人市民　13名

④ 実施日時

2024年7月27日(土)15:00～16:30

⑤ 実施場所

生涯学習センター202

⑥ アンケート回収状況

11件 回収

2. アンケート結果

問1. 本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=11】
満足	9
やや満足	1
やや不満	1
不満	0
未回答	0
合計	11

問2. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

	回答者数【N=11】
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	4
美濃加茂市SNS(Instagram、Facebook など)	4
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	6
所属団体からの呼びかけ	2
その他	0
未回答	0
合計	17

問3. 本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

●紙面上ではとても良いことが書かれていると思いました。仕事(外国人窓口)の質をよくすることに関しては、新たなビルが建つ建たないに関係なく少しずつ実行されるべきです。

●たのしみです

●外国人の方々の意見もとても価値あるものだと思いました。

●市が外国人のコミュニティに寄り添おうとしているその目的はすばらしいです。コミュニティの方々が参加しないのは残念です。

●ないです。

●美濃加茂市ではこのワークショップのような外国人住民を支援するとりくみを行っています。この取り組みは美濃加茂市が外国人を大歓迎していることを強く感じさせます。

●他の参加者から新しいアイディアを得ることが出来ました。

●とてもすてきで満足です。よろしくお願いします。

●必要なことは全て含められていました。

問4. 言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

●言いたいことはたくさんありますが、時間やまたこのように意見を述べる機会が少ないのかもしれません。例えば、教育や市での登録を行う時の指導について述べるなど。

●公的な機関が外国人に合わせるべきなのか、それとも逆なのか、どちらでしょう？

●ないです。

●日本人社会全体が、外国人住民がより豊かで繁栄し健全な日本社会の実現に貢献することができるように支援することを願っています。

問5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

●良い庁舎が出来上がることを期待しています。
●将来住人に課される追加の費用がないことを願います。年齢を重ねていっている人たちや通訳など公的な職に就いている人たちのためのキャリアの道があると良いです。
●楽しみです。
●外国人住民の意見も重要視している市に感謝したいです。
●新しい美濃加茂市役所を楽しみにしています。
●今の状況では建設は非常に良いです。よろしくお願いします。
●新しい建物を建設するこのプロジェクトに外国人も含めてくださりありがとうございました。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。

市の役割について（STEP1）

第１回市民ワークショップ（令和５年７月）は「１０年後の市の役割」をテーマに行いました。
これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・

① **市民に寄り添い、まもる行政の存在**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② **地域のまとまり**
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ **魅力ある市をつくる**
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ **産業振興**
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ **安心安全なまち**
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ **便利なまち**
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

新庁舎の役割・コンセプトの決定（STEP2，3）

第2回市民ワークショップ（令和5年9月）のご意見や1,500人市民アンケート（令和5年11月）の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

concept 新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る
未来を見据えた新庁舎

8つの役割

安心
1つ 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
2つ こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
3つ 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
4つ 業務効率の向上につながる職場環境の充実

未来
5つ 環境の変化に対応できる庁舎
6つ 平日に働く人も頼りやすい
7つ 申請等の手続きがオンラインでできる
8つ 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能決定（STEP4）

第３回市民ワークショップ(令和５年１２月)のご意見や４，０００人市民アンケート(令和６年２月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度（重要度）の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ

コンセプト	役割		重点機能
市民の安心な暮らしを守る 未来を見据えた新庁舎	安心	誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される	・総合窓口 ・受けられる支援や仕組みのわかりやすさ ・プライバシーの守られる相談ブース
		こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	・わかりやすい案内サインや動線
		災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	・災害対策
		業務効率の向上につながる職場環境の充実	・情報セキュリティの強化 ・会議室やミーティングスペースの充実
	未来	環境の変化に対応できる庁舎	・フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間
		平日に働く人も頼りやすい	・デジタルの申請・書類発行
		申請等の手続きがオンラインでできる	
		行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎	・ワンフロアの相談窓口

新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1～10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1～9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で充分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

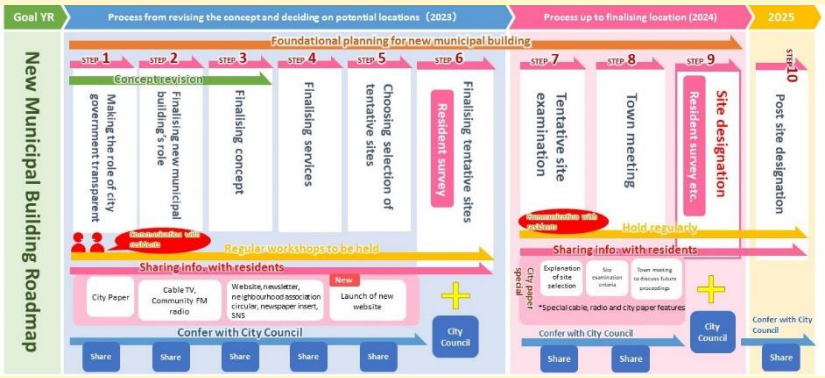
みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

Workshop Information Sheet

A roadmap for the new municipal building construction

To date, resident workshops and surveys have been held in line with the‘New Municipal Building Construction Roadmap’ in order to fully reach a consensus with residents on contruction. The workshop proposed this time is to create the opportunity for those who may have found it difficult to take part previously (international residents, those with disabilities, and those with small children) the chance to share their opinions.



Minokamo City’s role (STEP 1)

The first workshop was held (July 2023) under the theme of ‘Minokamo City’s role in a decade from now’. Participants have come up with what kind of new municipal building would be required based on the city’s future role(s) since then.

Most common answers for the role of Minokamo City in 10 years time:

(!) To be at the core of creating a safe and peaceful city

(!) To be a city that supports harmonious existence between those of all ages, those with disabilities, and international residensts.

Ex.

1. An administration that cares for and protects its residents
   Collaboration between the city and its residents / making voices heard / welfare / multi-cultural coexistence / discussion
2. Unity among communities
   Neighborhood Associations / Town Planning Councils / Response to de-population / Town development awareness
3. Creating a city that attracts people
   Children / young people / those seeking a challenge / culture and nature / population growth / energising local community / refuge / exchange
4. Industrial Promotion
   Business / agriculture / local industries / increased tax revenue and employment
5. Safety and Security
   Disaster prevention / Information distribution / Protecting and saving lives
6. Frictionless living
   Promoting DX (digitalization) / transportation / collaboration / seamless administrative services

Deciding on the role and concept of the new municipal building (STEP 2 + 3)

The role of and concept for the new building was decided based on feedback from the second resident’s workshop (September 2023), the results of a survey of 1,500 residents (November 2023), and interviews with city employees. Construction will continue to be carried out realise a municipal hall that is reliable, can adapt to an ever-changing future, and that provides peace of mind to the residents of Minokamo City.

Concept
Municipal Building Concept

Protecting **Peace of mind** in daily life

A new municipal building adaptable to the **Future**

8 Roles

Peace of mind

1. Accessible for everyone and seamless provision of services
2. Can serve the young and old, international residents, those with disabilities, etc.
3. A base for times of disaster Prepared for emergencies
4. Strategies for work optimisation creating a rewarding workplace

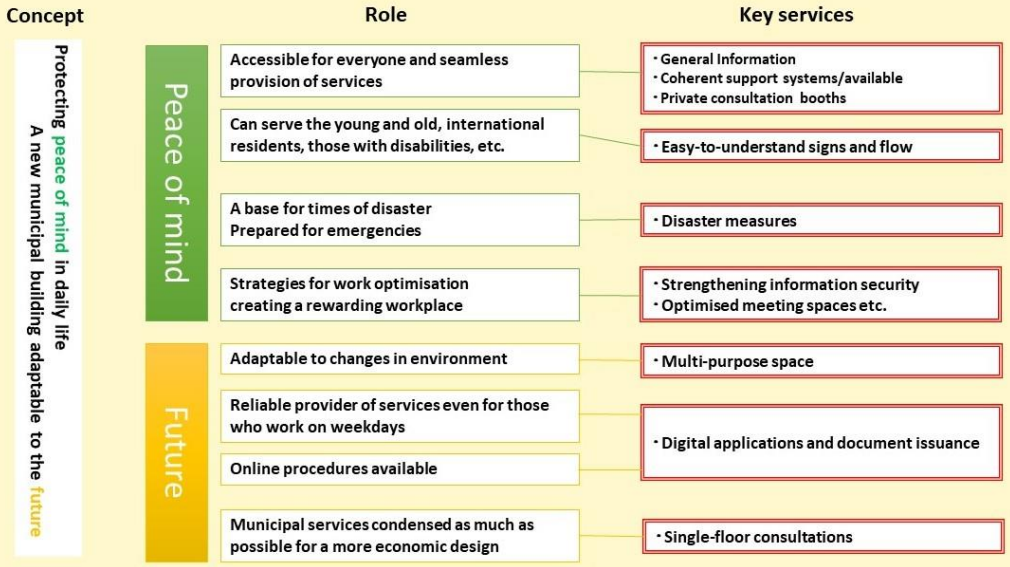
Future

5. Adaptable to changes in environment
6. Reliable provider of services even for those who work on weekdays
7. Online procedures available
8. Municipal services condensed as much as possible for a more economic design

Deciding on services to be provided (STEP 4)

Feedback from the 3rd residents workshop (December 2023), results of a 4,000 person survey (February 2024), opinions from city employees were gathered and analyzed in order to determine what services were seen as necessary from the perspective of city residents and employees for the new municipal building. The services that were most frequently answered as necessary were given high priority (importance) and designated as key services.

Role of new municipal building and key services



Excerpts of results related to services provided

Q. Select services you think are particularly important as services at the new municipal building.
*Services selected by 15% or more of all respondents

4,000 Residents (Top 10 responses)

1	General Information (One-stop service)	30.6 %
2	Easy-to-understand signs and flow	30.5 %
3	Support and systems available	27.3 %
4	Disaster Management Office	24.1 %
5	Initial evacuation shelter	21.9 %
6	Large car park (to be used during disaster)	21.9 %
7	Storage (emergency supplies, etc.)	21.5 %
8	Digital applications and document issuance	19.8 %
9	Single-floor consultations	18.4 %
10	Strengthening information security	15.6 %

Staff survey results (Top 9 responses)

* Services especially necessary for residents at the new municipal building

1	General Information (One-stop service)	44.8 %
2	Private consultation booths	39.3 %
3	Easy-to-understand signs, information touch panel	37.3 %
4	Conference rooms and meeting spaces	24.7 %
5	Digital applications and document issuance	23.4 %
6	Spacious toilet	21.4 %
7	Cafeteria, convenience store, etc.	18.8 %
8	Power outage measures (emergency power generation equipment, etc.)	15.9 %
9	Multi-purpose space	15.6 %

A workshop for those whose opinions have not been heard sufficiently in previous workshops (international residents, people with disabilities, and people with young children) will be held so that we can brainstorm together about what kind of municipal building you would like to see in Minokamo!

See below for the latest information on the new municipal building construction
https://minokamochosha.jp

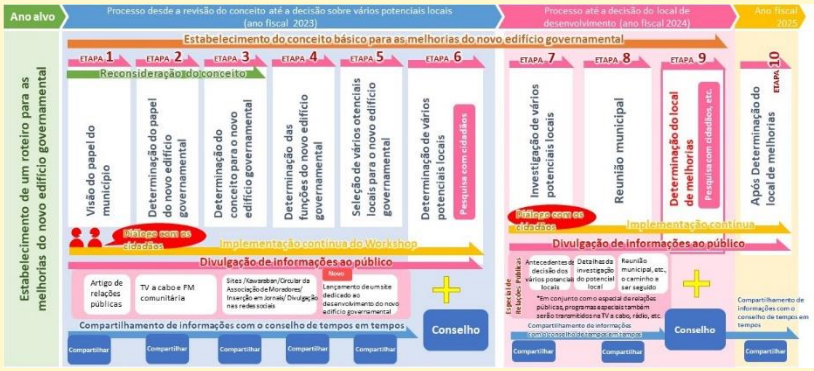
Everyone's New Municipal Building Portal site

Issued by: Minokamo City General Affairs Department
New Municipal Building Construction Promotion Division

Material Informativo do Workshop

Roteiro de Melhorias do Novo Edifício Governamental

Até o momento, foram realizados workshops e pesquisas com os cidadãos de acordo com o "Roteiro de de Melhorias do Novo Edifício Governamental", a fim de chegar a um consenso total com os cidadãos sobre as melhorias do novos edifício governamental. Desta vez, será realizado um workshop para ouvir opiniões de estrangeiros, pessoas com deficiência e a geração que cria filhos, que tiveram dificuldade em participar dos workshops para cidadãos.



Sobre o papel do município (ETAPA 1)

O 1º workshop para cidadãos (julho de 2023) foi realizado sob o tema "O papel do município daqui a 10 anos".
Com base nestes papéis do município, estamos pensando em qual tipo de novo edifício governamental será necessário.

Opiniões representativas sobre "O papel do município daqui a 10 anos"

(!) Ser uma entidade que ajuda a criar uma cidade segura e protegida.

(!) Apoiar uma cidade onde crianças, adultos, idosos, pessoas com deficiência e estrangeiros possam coexistir.

Por exemplo:

1. **Existência de um governo que esteja próximo e proteja os cidadãos**
   Cooperação/vozes ouvidas/bem-estar/bem-estar público/multiculturalismo/ assembleia entre o município e seus cidadãos
2. **Coesão regional**
   Associações de moradores/ Conselho de Desenvolvimento Municipal/ enfrentamento do declínio de funções devido ao declínio populacional/ conscientização sobre o desenvolvimento urbano
3. **Criação de uma cidade atraente**
   Crianças/ jovens, pessoas que desafiam/convivência com a cultura e a natureza/ crescimento populacional/ revitalização da região/ descontração/ interação
4. **Promoção industrial**
   Empresas/ agricultura/ indústria local/aumento de receitas fiscais/ emprego
5. **Cidade tranquila e protegida**
   Prevenção de desastres/ obtenção de informações/proteção de meios de subsistência/ proteção de vidas
6. **Cidade conveniente**
   Promoção de DX (digitalização)/transporte /coordenação/ serviços administrativos sem problemas

Determinar o papel e o conceito do novo edifício governamental (ETAPAS 2, 3)

Com base nas opiniões do 2º workshop com cidadãos (setembro de 2023), nos resultados de uma pesquisa para 1.500 cidadãos (novembro de 2023) e em entrevistas com funcionários da prefeitura, foram decididos os papéis e o conceito do novo edifício governamental. Com base nesses papéis e conceitos, prosseguiremos com o projeto de melhorias do novo edifício governamental para que seja um edifício no qual os cidadãos possam confiar com tranquilidade e antecipe o futuro em constante mudança.

Conceito
Conceito do Novo Edifício Governamental

Proteger a vida **tranquila** dos cidadãos

Novo Edifício Governamental antecipando o **futuro**

8 Papéis

Tranquilidade

1º Acessível a todos e com fornecimento tranquilo dos serviços necessários

2º Aberta a todos os tipos de pessoas, incluindo crianças, idosos, estrangeiros e pessoas com deficiência

3º Centro de desastres, capaz de responder a emergências

4º Aprimorar o ambiente de trabalho para melhorar a eficiência operacional

Futuro

5º Edifício governamental que possa responder às mudanças do meio ambiente

6º Fácil de usar mesmo para pessoas que trabalham durante a semana

7º Procedimentos de solicitação, etc. podem ser feitos online

8º Um edifício governamental que centraliza ao máximo as funções administrativas e reduz os custos de construção

Determinar as funções do novo edifício governamental (ETAPA 4)

Com base nas opiniões do 3º workshop de cidadãos (dezembro de 2023) e nos resultados da pesquisa com 4.000 cidadãos (fevereiro de 2024), as funções necessárias foram coletadas e organizadas a partir da perspectiva dos cidadãos e dos funcionários, e as funções do novo edifício governamental foram determinadas. As funções que receberam o maior número de respostas como sendo necessárias foram priorizadas (em termos de importância) e posicionadas como funções prioritárias.

Papel do Novo Edifício Governamental e posicionamento das principais funções

Trechos dos resultados relacionados às funções do novo edifício governamental

P. Selecione os itens que você acha que são particularmente necessários em relação às "funções do edifício governamental ":
*Função da taxa de resposta de pelo menos 15% de todos os entrevistados.

Resultados de uma pesquisa com 4.000 cidadãos (1º ao 10º lugar)

1º	Balcão de informações gerais (serviço em um só lugar)	30.6%
2º	Sinalização de informações e linhas de fluxo de fácil entendimento	30.5%
3º	Apoio e mecanismos disponíveis	27.3%
4º	Escritório de Medidas de Prevenção de Desastres	24.1%
5º	Função primária do abrigo	21.9%
6º	Estacionamento amplo que pode ser usado em caso de desastre	21.9%
7º	Espaço de armazenamento (suprimentos de emergência, etc.)	21.5%
8º	Emissão de solicitação/documento digital	19.8%
9º	Balcão de consultas em um único andar	18.4%
10º	Fortalecimento da segurança das informações	15.6%

Resultados da pesquisa com funcionários (1º ao 9º lugar)

*Funções do novo edifício governamental que são especialmente necessárias para os cidadãos

1º	Balcão de informações gerais (serviço em um só lugar)	44.8%
2º	Cabines de consulta com proteção à privacidade.	39.3%
3º	Sinalização de informações e linhas de fluxo de fácil entendimento, painel de toque de informações	37.3%
4º	Salas de conferências e espaços para reuniões	24.7%
5º	Emissão de solicitação/documento digital	23.4%
6º	Banheiros amplos	21.4%
7º	Cafeterias, lojas de conveniência, etc.	18.8%
8º	Medidas para falta de energia (equipamento de geração de energia de emergência, etc.)	15.9%
9º	Espaços que podem ser reutilizados com flexibilidade	15.6%

Realizaremos um workshop voltado para estrangeiros, pessoas com deficiência e pessoas que criam filhos, cujas opiniões não pudemos ouvir plenamente em workshops anteriores.
Vamos pensar juntos que tipo de prefeitura você deseja na sua perspectiva!

Para obter as informações mais recentes sobre as melhoris do novo do edifício governamental:
https://minokamochosha.jp

Site do portal "Novo Edifício Governamental de Todos"

Publicador: Divisão de Promoção de Melhorias de Novos Edifícios Governamentais, Departamento de Assuntos Gerais da Cidade de Minokamo

これまでのワークショップで出た機能の例

総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、
ワンストップ(１つの窓口)だけで
手続きが完結させることができ、
利用者の移動負担を軽減できる。

プライバシーに配慮した窓口

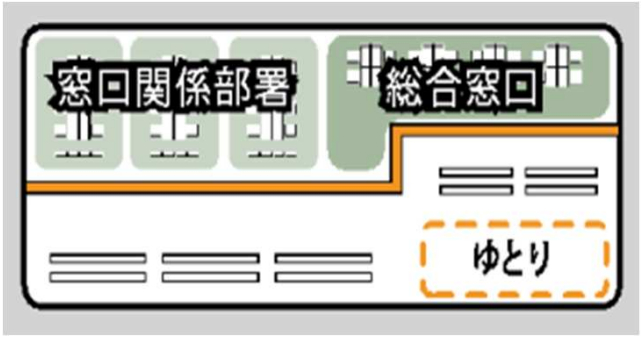
パーテーションや半個室の相談ブース
を設けることで、相談者のプライバシー
を守りながら相談や手続きができる。

ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、
お子様連れの方など多様な方に配慮した、
だれもが安心して利用できる
分かりやすいデザインとする。

ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに
集約し、来庁者の移動を少なくし て、
利便性の向上を図る。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを
目指して、庁舎内に市民が集い、
交わる市民交流スペースを設置。

市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の
特産物、特産品のPR及び購入をしたり
市政情報を得る場となる。

～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。

授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。

～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。

デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。

～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）

バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場を設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。

Case studies of services provided as a result of previous workshops

General Information Counter

Multiple procedures can be taken care of at this one-stop counter. Thus reducing the burden of visitors having to move to different areas for different procedures.

Privacy-conscious counters

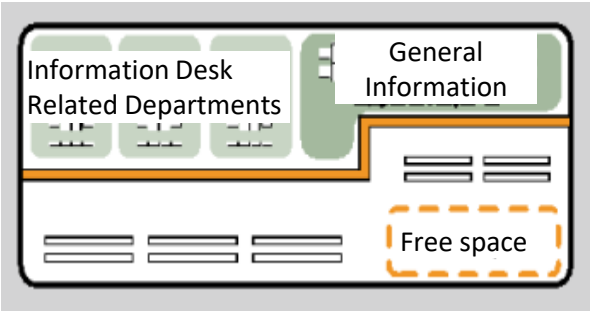
Partitions and semi-private consultation booths were introduced allowing visitor's privacy to be protected during consultations.

Universal Design

The building is designed to be easily navigated by a variety of people, including the elderly, people with disabilities, international residents, and those with young children.

Single-floor resident services

Services frequently used by residents were consolidated to one floor reducing transfer times between services and becoming more convenient.



Hub for residents

A space was created for residents to gather and interact within the municipal buildings with the goal of creating more liveliness in the town.

Hub for residents and city staff

The antenna shop in Minokamo City promotes And sells local specialities, as well as being a place where visitors can obtain city government information.

For those raising children

Comfortable waiting areas

Visitors can wait comfortably in the spacious waiting area kids spaces.

Nursing room

Visitors with infants don’t need to worry about finding a suitable space with this facility fitted with a baby seat, changing board, hot water for making formula milk etc. available.

For international residents

Easy to understand signage

Simple Japanese (aka yasashii nihongo), English, and Portuguese is used for the signs in the corridors and stairways naking it easy for international residents to naviate.

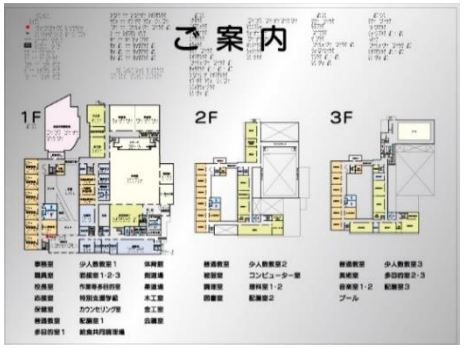
Digital Signage

Multilingual support to meet the various needs of visitors that introduces the correct counter to visit, information on events,and resident activities.

For people with disabilities

Audio guide and Braille installed

Facility has been designed taking the needs of visually and hearing impaired visitors into consideration. (Audio guide, Braille, electronic bulletin board, etc.)



Barrier-free buildings

A step-free floor plan, multi-purpose toilets on each floor, and spcially allocated parking spots make it easier for wheelchair users and the elderly to visit with peace of mind.

Exemplos de funções de workshops anteriores

Balcão de informações gerais

Mesmo quando vários procedimentos são necessários, o procedimento pode ser concluído em apenas um lugar (1 balcão), reduzindo a carga de viagem do usuário.

Balcão amigável à privacidade

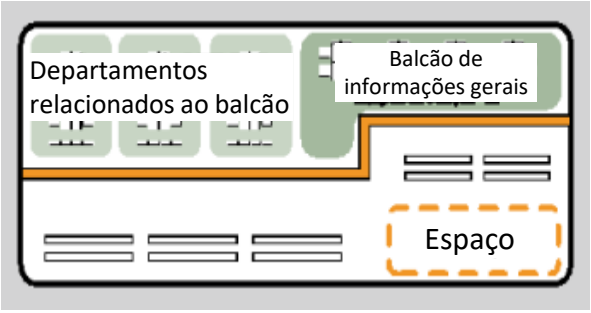
As divisórias e as cabines de consulta semiprivadas permitem que as consultas e os procedimentos sejam realizados com privacidade.

Design universal

O edifício deve ser projetado para ser fácil de entender e seguro para todos, levando em conta uma gama diversificada de pessoas, incluindo idosos, pessoas com deficiência, estrangeiros e pessoas com crianças.

Balcão dos cidadãos em um único andar

A conveniência é melhorada com a consolidação dos balcões usados com mais frequência pelos cidadãos em um único andar, reduzindo o número de visitantes que se deslocam de um lugar para outro.



Espaço de interação entre cidadãos

Com o objetivo de criar vivacidade na cidade, um espaço de intercâmbio cívico para os cidadãos se reunirem e conviverem foi estabelecido dentro do edifício do governo.

Espaço de interação entre cidadãos e funcionários

As “lojas antenas” serão locais para promover e adquirir produtos locais e especialidades da cidade de Minokamo, bem como obter informações sobre o governo municipal.

Geração que cria filhos

Ambiente de espera confortável

Áreas de espera espaçosas, espaços para crianças e outras instalações são fornecidas para garantir que os visitantes possam passar o tempo de espera confortavelmente.

Sala de amamentação

Sala de amamentação com assentos para bebês, provador e instalações de água quente para ajustar o leite e outros produtos também estão disponíveis para quem tem bebês possa utilizá-la com tranquilidade.

Estrangeiros

Sinalização de fácil entendimento

Placas em japonês de fácil compreensão, inglês e português são colocadas nos corredores e escadas.

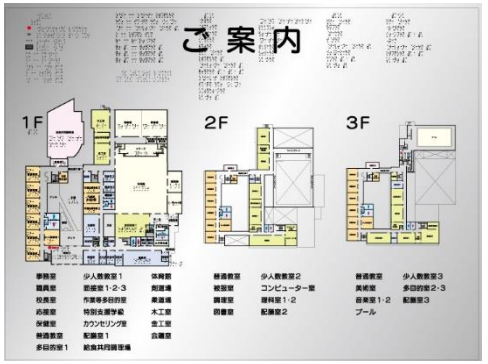
Sinalização digital

Tem uma função multilíngue para orientar os visitantes ao balcão de acordo com sua finalidade e uma função para informá-los sobre eventos, acontecimentos e informações sobre atividades cívicas.

Pessoas com deficiência

Instalação de orientação por áudio e Braille

Instalações para deficientes visuais e auditivos (orientação por áudio, Braille, sinalização elétrica, etc.)



Edifício com acessibilidade

A planta sem degraus, banheiros multifuncionais em cada andar e vagas de estacionamento bem planejadas permitem que cadeirantes e idosos utilizem as instalações com tranquilidade.

（6）障がい児者にやさしいワークショップ

障がい児者にやさしい新庁舎整備ワークショップ　結果概要
テーマ:「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、これまでの市民ワークショップへの参加が難しかった障がい児者の方に向けて、市民ワークショップを開催しました。今回は、「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」をテーマに話し合いたくさんのご意見を頂きました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

●日時:2024 年 8 月 27 日(火)　13:30～15:00

●場所:生涯学習センター201

●参加人数:17 名

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. グループワーク
   お題:「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」
4. 全体発表
5. おわりに

(3)参加者募集の概要

●対象:美濃加茂市在住又は在勤の障がいのある方(中学生以上)、養護者の方

※養護者とは障がい児者の身辺の世話や金銭の管理を行う家族、親族、同居人、知人などです。

●申込方法:応募用紙にて参加申込(郵送または持ち込み)、電話、WEB フォーム(QR コード)、電子メール

●申込期限:8 月 9 日(金)　〆切

●募集方法:市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市 LINE、美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)、すぐメールみのかも、身体障害者福祉協会美濃加茂支部への周知、福祉事業所(社会福祉協議会、地域生活支援センターひびき、カナリヤの家)から施設利用者への周知

(4)事務局

美濃加茂市　総務部　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

ハード面に関する意見として、駐車場から市役所入口や建物内の窓口などの移動に対する意見が多く出されました。例えば、駐車場の車用駐車ブロックや通路幅等、駐車場内を移動するときに障がい児者の方でも安全に通行できる配慮が欲しいといった意見や、音声案内を設置して視覚障がいのある方でも移動しやすいように配慮してほしいといった意見が多く出されました。

ソフト面では、申請書の簡潔化やデジタル化に関する意見が出されました。今の手続きでは書類が多すぎる事や、同じ内容を何度も記載しなければならないため、身体への負担があることなどの意見があがりました。

ハート面では、デジタル化が進む中で、障がい児者の方がついていけないことも多いため、便利な機能の中にも障がい児者への配慮を忘れないで欲しいといった意見が出されました。

※ハード面:建物・設備等
ソフト面:利用方法・サポート等
ハート面:想い・考え方等

(2)全体の結果概要

①新庁舎の機能(まとめ)　　※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
安らげる・静かな空間	ハード	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい			1
	ハード	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室			1
交流スペース	ハード	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所			1
	ハード	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)			1
	ハード	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい		1
	ハード	市民交流スペース。コンサートのできる場所			1
窓口の見える化	ハード	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリングループ・タブレット＋音声認証アプリ、透明ディスプレイ			2
	ハード	やさしい日本語(小学生くらいの単語)イラストでもいい。			1
デジタル化・効率化	ソフト	オンライン申請拡大(スマホ、PC)移動不要			1
	ソフト	各申請書類、簡素化(指紋認証などで)住所、氏名等			1
誰にもやさしい	ハード	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる		2
			手すり、目の不自由な人にも対応		
案内	ハード	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示			1
	ソフト	各課窓口に筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状況づくり		1
	ハード	かっこいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので上手くサービスをつないでほしい		2
申請書・書類	ソフト	申請書の簡潔化			1
	ソフト	外国語、各通訳書類を作成する			1
	ソフト	視覚障がい者への市からの封書等。音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げている		1
			ヘルパーさん不足でこれから困る		
	ソフト		点字対応はラグができてしまうのでオンタイムで受けとれない		
認定調査	ソフト	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして残せないか	介護保険の方が簡単になっている	1
			書き方も統一されていない		
			前の情報を探すのも大変		
リラックスして聞き取りできる	ハード	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所		1

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
サービスエリアみたいなトイレ	ハード	トイレの広さ。鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じピクトグラムで分かるのか？		1
			車イスが回転できる広さ。オストメイト対応。音声案内		
			多目的トイレでもベビートイレが広がっていると車イスが通れない		
			自動で流れると、準備できていなくて濡れるときがある→手動がよい		
			鏡に角度がないと見えにくい		
車椅子も通りやすく使いやすい	ハード	机やイスなど車椅子に配慮→高さ、スペース。タッチパネルの角度	車いすが通れない		1
			通れない時にイス等をどけてもらえる→申し訳なく思ってしまう		
	ハード	市庁舎のアクセス。コミュニティバス停。雨天でも OK。駐車場にも	運転手さんに対応してもらうの申し訳なく思ってしまう		1
			市役所まで直通のバスがない		
			雨ざらしは困る		
			アメリカだとバスのスロープが自動に出てくる！		
庁舎の位置	ハード	駐車場が広いこと、庁舎から離れた所に作らず庁舎に接近していること			1
デジタル化との共存	ハート	デジタル化は世の流れですが、その流れについていけない障がい者、高齢者の事も考えてほしい			1
	ソフト	各種申請の手続きをタッチペンかその他、紙とえんぴつ以外で			1
エレベーター、エスカレーター	ハード	エレベーターを増やす。不便になっている。			1
	ハード	エレベーターの操作をタッチパネルでなくボタン操作でできると良い			1
庁舎の機能	ハード	庁舎周辺の信号は音響信号があると良い。点字ブロックはもちろん、横断歩道上にエスコートゾーンを設けてほしい。			1
	ハード	ワンストップ窓口			1
	ハード	現在の庁舎の横に生涯学習センターがあり、大変利用価値がある。新庁舎にはぜひ現在の生涯学習センターの集会室、学習室、会議室を備えて欲しい			1

②新庁舎の機能(ハード)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
安らげる・静かな空間	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい		
	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室		
	長イス、飲み物買える休めるコーナー		
	音に過敏な子、静かな空間での対応手続き		
	掲示物もない方がいい		
	壁で囲まれているなど		
交流スペース	動きたい子どもが保護者と共に待てる空間や場所(手続きできる)		
	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所		
	アート		
	美濃加茂の工芸品や絵画といった展示室があれば		
	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)		
	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい	
	市民交流スペース。コンサートのできる場所		
窓口の見える化	会議室や議場でヒアリングループ(埋め込み型)例:各務原市役所		
	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリングループ・タブレット+音声認証アプリ、透明ディスプレイ		
	窓口の見える化:音声認識、次の人がわかる電光掲示板、透明ディスプレイ		
	行先案内、床に表示		
	掲示文についてわかりやすく、ふりがなを打つ。イラストなどあるコーナー		
	やさしい日本語(小学生くらいの単語)イラストでもいい。		
交通	市役所に直通のバスが出てるといい!		
誰にもやさしい	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる	
		手すり、目の不自由な人にも対応	
トイレ	車いすのトイレが 2 つ以上あるといい、1 つ埋まっていると入れない	障がいのないかたも入れるようにする	
	段差。上がれないようになる、こけてしまう。		
	トイレについて、ストーマ対応もないといけない	トイレ分かりやすく、近く	
通路	エレベーターのスペースは広くしてもらえると車イスの方も使用しやすい	車いすの人が通行しやすいような通路設計	
	車いす等が(段差があっても)入れるようにする必要		
案内	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示		
	案内の音声、点字だけでなくボタンを押すとルートがわかる機能があるとわかりやすい(ナビ)	職員の負担、利用者の心の負担も減る	
		だれにでも、分かりやすい案内	
	各課に呼び出し電光掲示板設置	タブレットやテレビ等、色々な方法がある	
		言われても聞こえないと後回しになってしまう	

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
案内	かっこいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので上手くサービスをつないでほしい	
	市役所へ行った時いろんな窓口ではなく、ひとつで出来る。	手続きそのもののスムーズ化	
プライバシー	広い空間と秘密が守れる相談室		
	プライバシーが守れる相談窓口		
アクセス	総合案内板（音声、点字、映像など誰でも分かりやすい）		
	音声案内		
	入り口にチャイムをつけてほしい（音声案内）		
	音声案内をつけて欲しい（ここは、トイレです等）		
	バス降車場をもっと増やしてほしい	あい愛バス	
	人感センサーでの音声案内		
安全な庁舎	間違って人の駐車場に入らないように		
	道路からのアクセス。車が多いからこそ点字ブロックなど配慮をお願いしたい		
	トイレをどの階でも同じような場所に設置して欲しい。		
	駐車場内の車どめ。視覚障がいの方が危ない		
	バリアフリー。ユニバーサルデザイン		
分かりやすい窓口	1つの窓口で職員の人が動いて、複数の手続きをしたい。		
リラックスして聞き取りできる	日が当たる	吹き抜けほしい	
	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所	
ピクトグラムで案内を分かりやすく	ピクトグラムの使用（子ども・外国人・聴覚障がい者）	パッと見て分かると◎→案内サイン迷わないように	
サービスエリアみたいなトイレ	トイレの広さ。鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じピクトグラムで分かるのか？	
		車イスが回転できる広さ。オストメイト対応。音声案内	
		多目的トイレでもベビートイレが広がっていると車イスが通れない	
		自動で流れると、準備できていなくて濡れるときがある→手動がよい	
		鏡に角度がないと見えにくい	
	サービスエリア→（特に刈谷）のトイレを目指して！		
車椅子も通りやすく使いやすい	段差がなくフラットな床	わかりやすいフラット→色味によって分かりにくい	
	机やイスなど車椅子に配慮→高さ、スペース。タッチパネルの角度	車いすが通れない	
		通れない時にイス等をどけてもらえる→申し訳なく思ってしまう	
	市庁舎のアクセス。コミュニティバス停。雨天でも OK。駐車場にも	運転手さんに対応してもらうの申し訳なく思ってしまう	
		市役所まで直通のバスがない	
		雨ざらしは困る	
		アメリカだとバスのスロープが自動に出てくる！	
庁舎の位置	駐車場が広いこと、庁舎から離れた所に作らず庁舎に接近していること		
	美濃太田駅の 2 階と庁舎をつなぐ。使いやすくなる		
	美濃太田駅の寂れがひどい、、ぜひ駅前がにぎやかになる新庁舎を望みます		
エレベーター、エスカレーター	庁舎の規模がまだわかりませんが、東西の両方にエレベーター、エスカレーターをつけてほしい		
	エレベーターを増やす。不便になっている。		

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
エレベーター、 エスカレーター	エスカレーターがあるとしたら、上り・下りの音声案内がほしい		
	庁舎入口にも音声案内		
	エレベーターの操作をタッチパネルでなくボタン操作でできると良い		
	ボタンに凹凸があった方が分かりやすい		
庁舎の機能	庁舎周辺の信号は音響信号があると良い。点字ブロックはもちろん、横断歩道上にエスコートゾーンを設けてほしい。		
	健康プラザ内にある子育て支援課を、同じ場所に		
	ワンストップ窓口		
	現在の庁舎の横に生涯学習センターがあり、大変利用価値がある。新庁舎にはぜひ現在の生涯学習センターの集会室、学習室、会議室を備えて欲しい		

③新庁舎の機能(ソフト)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
窓口の見える化	いつも対応してくれる職員がわかると安心。待ち状況とか		
	窓口にいる人(本日対応できる人)の名前がわかるコーナー(壁に掲示など)		
	外国籍の方でもわかりやすい案内		
デジタル化・効率化	オンライン申請拡大(スマホ、PC)移動不要		
	市役所は手続業務を効率化し、相談問題解決型		
	ハンコの全面廃止		
	各申請書類、簡素化(指紋認証などで)住所、氏名等		
案内	各課窓口に筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状況づくり	
	外国人の通訳者。手話の出来る人を常におく。	通訳機器なども利用しながら(デジタル機器)	
	総合窓口、受付タブレットを使用。	使いなれていない人でも	
	耳マーク表示版を分かりやすい場所に置く。	1回で済むようにしないと車いすなどの人が、大変	
情報共有	自治会に入ってなくても、市の情報を受け取れるよう教えてくれるサービス	防災について(ハザードマップ)も届く必要がある。	
分かりやすい窓口	各課の移動を各課職員で案内できる。		
来庁しなくても手続きできる	来庁しなくても手続きができる(障がいを持っていても)		
聴覚に障がい	手話通訳者増員		
	呼出しバイブ		
	文字テロップ		
申請書・書類	申請書の簡潔化		
	外国語、各通訳書類を作成する		
	申請書等の役所言葉が難しい		
	視覚障がい者への市からの封書等。音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げている	
		ヘルパーさん不足でこれから困る	
		点字対応はラグができてしまうのでオンタイムで受けとれない	
認定調査	窓口対応。各部署との連携		
	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして残せないか	介護保険の方が簡単になっている
		書き方も統一されていない	
		前の情報を探すのも大変	
	福祉業務の効率化		
庁舎の機能	昼間来られない人、夜の営業日を設ける		
	昼と同じ機能がある夜営業		
デジタル化との共存	各種申請の手続きをタッチペンかその他、紙とえんぴつ以外で		
	デジタル化と紙面上でも共存できる		
その他	必要な情報を得られる。例えば引っ越しに必要な手続きなど。職員さん把握できていますか?		

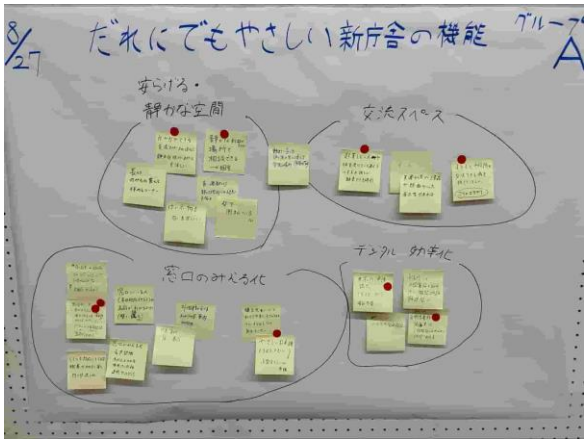
④新庁舎の機能（ハート）

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
申請書・書類	精神障がいの方も書類を何枚も書くのがつらい	住所等、同じ内容を何回も書かないといけない	
デジタル化との共存	デジタル化は世の流れですが、その流れについていけない障がい者、高齢者の事も考えてほしい		

(3)グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
安らげる・静かな空間	ハード	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい			1
	ハード	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室			1
	ハード	長イス、飲み物買える休めるコーナー			
	ハード	音に過敏な子、静かな空間での対応手続き			
	ハード	掲示物もない方がいい			
	ハード	壁で囲まれているなど			
交流スペース	ハード	動きたい子どもが保護者と共に待てる空間や場所(手続きできる)			
	ハード	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所			1
	ハード	アート			
	ハード	美濃加茂の工芸品や絵画といった展示室があれば			
	ハード	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)			1
窓口の見える化	ハード	会議室や議場でヒアリングループ(埋め込み型)例:各務原市役所			
	ハード	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリングループ・タブレット＋音声認証アプリ、透明ディスプレイ			2
	ソフト	いつも対応してくれる職員がわかると安心。待ち状況とか			
	ソフト	窓口にいる人(本日対応できる人)の名前がわかるコーナー(壁に掲示など)			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
窓口の見える化	ハード	窓口の見える化：音声認識、次の人がわかる電光掲示板、透明ディスプレイ			
	ハード	行先案内、床に表示			
	ソフト	外国籍の方でもわかりやすい案内			
	ハード	掲示文についてわかりやすく、ふりがなを打つ。イラストなどあるコーナー			
	ハード	やさしい日本語（小学生くらいの単語）イラストでもいい。			1
デジタル化・効率化	ソフト	オンライン申請拡大（スマホ、PC）移動不要			1
	ソフト	市役所は手続業務を効率化し、相談問題解決型			
	ソフト	ハンコの全面廃止			
	ソフト	各申請書類、簡素化（指紋認証などで）住所、氏名等			1

■B 班

1)ワークショップの様子

2)新庁舎の機能(まとめ)

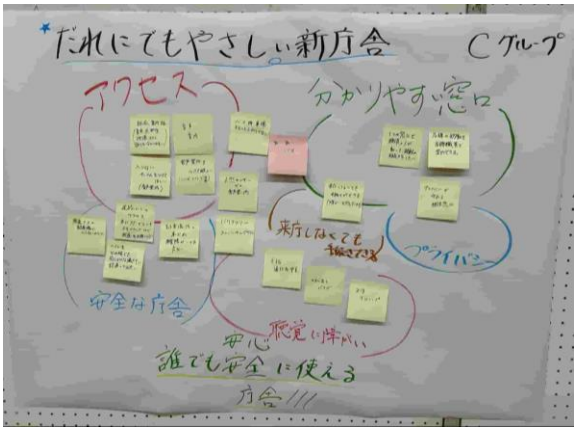
※大事だと思うところに１人３枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
交通	ハード	市役所に直通のバスが出てるといい！			
誰にもやさしい	ハード	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる		2
			手すり、目の不自由な人にも対応		
トイレ	ハード	車いすのトイレが２つ以上あるといい、１つ埋まっているとはいれない	障がいのないかたも入れるようにする		
	ハード	段差。上がれないようになる、こけてしまう。			
	ハード	トイレについて、ストーマ対応もないといけない	トイレ分かりやすく、近く		
通路	ハード	エレベーターのスペースは広くしてもらえると車イスの方も使用しやすい	車いすの人が通行しやすいような通路設計		
	ハード	車いす等が(段差があっても)入れるようにする必要			
案内	ハード	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示			1
	ハード	案内の音声、点字だけでなくボタンをおすとルートがわかる機能があるとわかりやすい(ナビ)	職員の負担、利用者の心の負担も減る		
			だれにでも、分かりやすい案内		
	ハード	各課に呼び出し電光掲示板設置	タブレットやテレビ等、色々な方法がある		
			言われても聞こえないと後回しになってしまう		
	ソフト	各課窓口に筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状況づくり		1
	ソフト	外国人の通訳者。手話の出来る人を常におく。	通訳機器なども利用しながら(デジタル機器)		
	ソフト	総合窓口、受付タブレットを使用。	使いなれていない人でも		
	ハード	かっこいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので上手くサービスをつないでほしい		2
	ソフト	耳マーク表示版を分かりやすい場所に置く。	1回で済むようにしないと車いすなどの人が、大変		
	ハード	市役所へ行った時いろんな窓口ではなく、ひとつで出来る。	手続きそのもののスムーズ化		

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた 枚数
情報共有	ソフト	自治会に入ってなくても、市の情報を受け取れるよう教えてくれるサービス	防災について（ハザードマップ）も届く必要がある。		
プライバシー	ハード	広い空間と秘密が守れる相談室			
交流	ハード	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい		1

■C 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
アクセス	ハード	総合案内板(音声、点字、映像など誰でも分かりやすい)			
	ハード	音声案内			
	ハード	入り口にチャイムをつけてほしい(音声案内)			
	ハード	音声案内をつけて欲しい(ここは、トイレです等)			
	ハード	バス降車場をもっと増やしてほしい	あい愛バス		
	ハード	人感センサーでの音声案内			
安全な庁舎	ハード	間違って人の駐車場に入らないように			
	ハード	道路からのアクセス。車が多いからこそ点字ブロックなど配慮をお願いしたい			
	ハード	トイレをどの階でも同じような場所に設置して欲しい			
	ハード	駐車場内の車どめ。視覚障がいの方が危ない			
	ハード	バリアフリー。ユニバーサルデザイン			
分かりやすい窓口	ハード	1つの窓口で職員の人が動いて、複数の手続きをしたい。			
	ソフト	各課の移動を各課職員で案内できる。			
来庁しなくても手続きできる	ソフト	来庁しなくても手続きができる(障がいを持っていても)			
プライバシー	ハード	プライバシーが守れる相談窓口			
聴覚に障がい	ソフト	手話通訳者増員			
	ソフト	呼出しバイブ			
	ソフト	文字テロップ			

■D 班

1)ワークショップの様子

2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた 枚数
申請書・書類	ソフト	申請書の簡潔化			1
	ソフト	外国語、各通訳書類を作成する			1
	ソフト	申請書等の役所言葉が難しい			
	ソフト	視覚障がい者への市からの封書等。音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げている		1
			ヘルパーさん不足でこれから困る		
			点字対応はラグができてしまうのでオンタイムで受けとれない		
	ハート	精神障がいの方も書類を何枚も書くのがつらい	住所等、同じ内容を何回も書かないといけない		
認定調査	ソフト	窓口対応。各部署との連携			
	ソフト	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして残せないか	介護保険の方が簡単になっている	1
			書き方も統一されていない		
			前の情報を探すのも大変		
	ソフト	福祉業務の効率化			
リラックスして聞き取りできる	ハード	日が当たる	吹き抜けほしい		
	ハード	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所		1
ピクトグラムで案内を分かりやすく	ハード	ピクトグラムの使用(子ども・外国人・聴覚障がい者)	パッと見て分かると◎→案内サイン迷わないように		
サービスエリアみたいなトイレ	ハード	トイレの広さ。 鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じピクトグラムで分かるのか？		1
	ハード		車イスが回転できる広さ。オストメイト対応。音声案内		
	ハード		多目的トイレでもベビートイレが広がっていると車イスが通れない		
	ハード		自動で流れると、準備できていなくて濡れるときがある→手動がよい		
	ハード		鏡に角度がないと見えにくい		
	ハード	サービスエリア→(特に刈谷)のトイレを目指して！			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた 枚数
車椅子も通りやすく使いやすい	ハード	段差がなくフラットな床	わかりやすいフラット→色味によって分かりにくい		
	ハード	机やイスなど車椅子に配慮→高さ、スペース。タッチパネルの角度	車いすが通れない		1
			通れない時にイス等をどけてもらえる→申し訳なく思ってしまう		
	ハード	市庁舎のアクセス。コミュニティバス停。雨天でも OK。駐車場にも	運転手さんに対応してもらうの申し訳なく思ってしまう		1
			市役所まで直通のバスがない		
			雨ざらしは困る		
			アメリカだとバスのスロープが自動に出てくる！		
その他	ソフト	必要な情報を得られる。例えば引っ越しに必要な手続きなど。職員さん把握できていますか？			

■E 班

1)ワークショップの様子

2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
庁舎の位置	ハード	駐車場が広いこと、庁舎から離れた所に作らず庁舎に接近していること			1
	ハード	美濃太田駅の 2 階と庁舎をつなぐ。使いやすくなる			
	ハード	美濃太田駅の寂れがひどい、、ぜひ駅前がにぎやかになる新庁舎を望みます			
デジタル化との共存	ハート	デジタル化は世の流れですが、その流れについていけない障がい者、高齢者の事も考えてほしい			1
	ソフト	各種申請の手続きをタッチペンかその他、紙とえんぴつ以外で			1
	ソフト	デジタル化と紙面上でも共存できる			
エレベーター、エスカレーターについて	ハード	庁舎の規模がまだわかりませんが、東西の両方にエレベーター、エスカレーターをつけてほしい			
	ハード	エレベーターを増やす。不便になっている。			1
	ハード	エスカレーターがあるとしたら、上り・下りの音声案内がほしい			
	ハード	庁舎入口にも音声案内			
	ハード	エレベーターの操作をタッチパネルでなくボタン操作でできると良い			1
	ハード	ボタンに凹凸があった方が分かりやすい			
庁舎の機能	ハード	庁舎周辺の信号は音響信号があると良い。点字ブロックはもちろん、横断歩道上にエスコートゾーンを設けてほしい。			1
	ソフト	昼間来られない人、夜の営業日を設ける			
	ソフト	昼と同じ機能がある夜営業			
	ハード	健康プラザ内にある子育て支援課を、同じ場所に			

カテゴリー	ハード：緑 ソフト：水色 ハート：ピンク その他：オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
庁舎の機能	ハード	ワンストップ窓口			1
	ハード	現在の庁舎の横に生涯学習センターがあり、大変利用価値がある。新庁舎にはぜひ現在の生涯学習センターの集会室、学習室、会議室を備えて欲しい			1
	ハード	市民交流スペース。コンサートのできる場所			1

障がい児者にやさしい新庁舎整備ワークショップ　アンケート結果

1.　ワークショップ概要

①　目的

令和 5 年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった障がい児者の方々に、「だれにでもやさしい新庁舎の機能」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

②　テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード（建物・設備等）に関することを主なテーマとする。ソフト（利用方法・サポート等)、ハート（想い・考え方等）に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③　対象

障がい児者と養護者　17 名

④　実施日時

2024 年 8 月 27 日(火)　13：30～15：00

⑤　実施場所

生涯学習センター201

⑥　アンケート回収状況

10 件 回収（紙：9 件、Google フォーム：1 件（9 月 1 日〆））

2.　アンケート結果

問１．本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=10】
満足	8
やや満足	0
やや不満	1
不満	0
未回答	1
合計	10

問２．新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

	回答者数【N=10】
美濃加茂市ホームページ	3
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	0
美濃加茂市 LINE	1
美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)	0
すぐメールみのかも	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
福祉事業所からの紹介	5
所属団体からの呼びかけ	1
その他	1
未回答	0
合計	12

問３．本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

●いろんな人へ丁寧な対応をできることが必要。障がいを持っている人が発言すると具体化できる。
●あったらいいと思うことは多くの方が同じ考えをもっていることに気づけた。
●やさしい町づくりに新庁舎がいこいの場にもなれるように。
●だれにでも優しいということが大切であると感じました。
●多くの方々が真剣に考え取り組んでいることがわかりました。
●小グループでの話し合いのため、気兼ねなく話すことができた。
●出された意見も少なく、かつ十分な意見交換ができず、もっと理解を深めたかった。

問４．言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

●現在の自分の障がいしか考えていなかったが、トイレやエレベーターも大切なこと。
●新庁舎の場所について検討しているのか？
●言いやすい雰囲気で十分話せました。
●外出のままならない障がい者には市庁舎の中で図書室やレストラン、理美容室など利用ができる、ソフトハード面でも明るく広く優しい場所であってほしい。

問５．新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

●情報がいろいろほしい。
●場所を早めに決定してほしい。
●今回の意見を生かした新庁舎が出来るようお願いします。
●今後も皆さまでより良い新庁舎をつくって頂けたらと思います。
●もっといろいろな立場の方の意見を聞いてほしい。

問 6. 障がいのある人が利用しやすいように新庁舎を整備する上で新庁舎整備において考慮すべきことがあればご自由にご記入ください。

【身体障がい】

●交通のアクセスを考え、気軽に行ける市役所であって欲しい。
●移動スペースも広くする。バリアフリー。案内をわかりやすく。
●段差解消
●通路や幅の広さ。トイレの設備
●障がい者にもいろんな人がいることを考慮してお願いします。例えば視覚障がい者の人はどうしたらいいでしょう。
●〈アクセス〉公共交通機関、タクシーを利用して一人で市庁舎に行けるよう配慮してほしい。自家用車を使った場合、輪止めの幅が狭くて通り抜けできない場合があるので、車椅子の幅を考慮してほしい。
〈トイレ〉自動洗浄の場合、思わず衣類が濡れてしまう時があるので、手動で確実に洗浄できるようにしてほしい。鏡を設置して車椅子での角度にも配慮してほしい。タッチパネルの位置、トイレットペーパーの位置など座って取れる位置にしてほしい。

【知的障がい】

●見て分かりやすい案内、書類。

【精神障がい】

●落ちつける場所。丁寧な説明を出来る場所。混乱しても落ちついて対応できるスタッフ。
●人目が気にならないスペースをつくること。
●静かな環境
●案内のわかりやすさ。優しい声かけ、案内。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。

市の役割について（STEP1）

第１回市民ワークショップ（令和５年７月）は「１０年後の市の役割」をテーマに行いました。
これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・

① **市民に寄り添い、まもる行政の存在**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② **地域のまとまり**
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ **魅力ある市をつくる**
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ **産業振興**
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ **安心安全なまち**
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ **便利なまち**
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

新庁舎の役割・コンセプトの決定（STEP2，3）

第2回市民ワークショップ（令和5年9月）のご意見や1,500人市民アンケート（令和5年11月）の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

concept 新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る
未来を見据えた新庁舎

8つの役割

安心
1つ 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
2つ こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
3つ 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
4つ 業務効率の向上につながる職場環境の充実

未来
5つ 環境の変化に対応できる庁舎
6つ 平日に働く人も頼りやすい
7つ 申請等の手続きがオンラインでできる
8つ 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能決定（STEP4）

第３回市民ワークショップ(令和５年１２月)のご意見や４，０００人市民アンケート(令和６年２月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度（重要度）の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ

コンセプト	役割		重点機能
市民の安心な暮らしを守る 未来を見据えた新庁舎	安心	誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される	・総合窓口 ・受けられる支援や仕組みのわかりやすさ ・プライバシーの守られる相談ブース
		こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	・わかりやすい案内サインや動線
		災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	・災害対策
		業務効率の向上につながる職場環境の充実	・情報セキュリティの強化 ・会議室やミーティングスペースの充実
	未来	環境の変化に対応できる庁舎	・フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間
		平日に働く人も頼りやすい	・デジタルの申請・書類発行
		申請等の手続きがオンラインでできる	
		行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎	・ワンフロアの相談窓口

新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1～10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1～9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で充分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

これまでのワークショップで出た機能の例

総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、
ワンストップ(１つの窓口)だけで
手続きが完結させることができ、
利用者の移動負担を軽減できる。

プライバシーに配慮した窓口

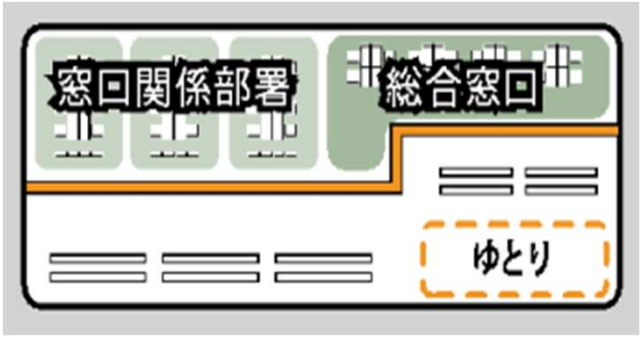
パーテーションや半個室の相談ブース
を設けることで、相談者のプライバシー
を守りながら相談や手続きができる。

ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、
お子様連れの方など多様な方に配慮した、
だれもが安心して利用できる
分かりやすいデザインとする。

ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに
集約し、来庁者の移動を少なくし て、
利便性の向上を図る。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを
目指して、庁舎内に市民が集い、
交わる市民交流スペースを設置。

市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の
特産物、特産品のPR及び購入をしたり
市政情報を得る場となる。

～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。

授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。

～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。

デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。

～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）

バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場を設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。

2.おでかけワークショップ結果

2. おでかけワークショップ結果

新庁舎整備に興味や意見のある市内の団体の方を対象に、対話を通じて理解を深め、その上で意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映することを目的として、以下の通り、おでかけワークショップを開催しました。

応募団体の要望により、「ワークショップ形式」もしくは「ヒアリング形式」にて実施しました。

No	団体名	日時	会場	参加人数	形式
1 ※	議員報告意見交換会 （加茂野）	令和5年 7 月 23 日(日) 13:00～13:30	加茂野交流センター	25人	ヒアリング
2 ※	議員報告意見交換会 （山之上）	令和5年 7 月 23 日(日) 16:00～16:30	フルーピア山之上	10人	ヒアリング
3	美濃加茂商工会議所 蜂屋地区懇談会	令和5年 8 月 18 日(金) 18:30～19:30	蜂屋交流センター	11人	ヒアリング
4	山之上まちづくり協議会	令和5年 8 月 21 日(月) 19:30～21:00	山之上交流センター	23人	ワークショップ
5	美濃加茂商工会議所 太田Ⅰ・Ⅱ、下古井合同 地区別懇談会	令和5年 8 月 24 日(木) 18:30～19:30	商工会議所 3階会議室	35人	ヒアリング
6	一般社団法人 中濃法人会美濃加茂支部	令和5年 8 月 25 日(金) 15:00～16:00	商工会議所 3階会議室	15人	ヒアリング
7	みのかも市民会議	令和5年 8 月 25 日(金) 18:00～19:30	リバーポートパーク 美濃加茂	13人	ワークショップ
8	まちオフィス美濃加茂	令和5年 9 月 6 日(水) 18:00～19:00	まちオフィス 美濃加茂	11人	ヒアリング
9	美濃加茂商工会議所 女性会	令和5年 9 月 20 日(水) 15:30～17:00	リバーポートパーク 美濃加茂　2階	15人	ヒアリング
10	みのかも市民会議	令和5年 10 月 10 日(火) 18:30～20:00	生涯学習センター404	9人	ワークショップ
11	元気東魂P	令和5年 10 月 24 日(火) 19:00～20:30	生涯学習センター404	5人	ワークショップ
12	議員報告意見交換会 （上古井）	令和5年 10 月 25 日(水) 19:00～20:30	上古井交流センター	25人	ヒアリング
13	議員報告意見交換会 （下米田）	令和5年 10 月 26 日(木) 19:00～20:30	下米田交流センター	12人	ヒアリング
14	議員市政報告会	令和5年 11 月 18 日(土) 19:00～20:30	小山会館	33人	ヒアリング
15	美濃加茂商工会議所 青年部	令和5年 11 月 28 日(火) 17:00～18:00	商工会議所 3階会議室	13人	ヒアリング
16	水曜クラブ （美濃加茂商工会議所）	令和6年 2 月 14 日(水) 18:00～18:40	シティホテル 3F	16人	ヒアリング
17 ※	美濃加茂市議会議員 OB 会	令和6年5月28日(火) 11:00～12:00	美濃加茂市役所 第2議会 委員会室	11人	ヒアリング

No	団体名	日時	会場	参加人数	形式
18	美濃加茂市の未来を考える市民の会	令和6年6月26日(水) 19:00～21:00	生涯学習センター201	31 人	ヒアリング
19	美濃加茂市の未来を考える市民の会	令和6年 10 月 7 日(月) 19:00～21:00	生涯学習センター201	30 人	ヒアリング
20 ※	美濃加茂市議会議員 OB 会	令和6年12月6日(金) 11:00～11:50	美濃加茂市役所第2議会委員会室	15人	ヒアリング
21 ※	議員報告意見交換会	令和 7 年1月7日(火) 19:00～20:30	生涯学習センター202	30人	ヒアリング

ワークショップ形式:直近の日時指定ワークショップをもとに、希望時間に合わせたワークショップを実施。

ヒアリング形式:新庁舎整備ロードマップ等の説明を行い、市長や職員と意見交換を実施。

※No.1/2/17/20/21は、新庁舎整備事業の進捗状況の説明を中心に開催したため、まとめ資料等は無し。

おでかけワークショップ（美濃加茂商工会議所蜂屋地区懇談会）
ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年8月18日（金） 18:30～19:30

場所：蜂屋交流センター

参加者（事務局を除く）：会員 11 人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆見直しの経緯について

参加者）

（旧）基本構想・基本計画の見直しは、前回の市長選で決まったが、市役所としてはどう思われていたか。議会や検討チーム等の一部の人達は新庁舎整備について理解しているが、住民はほとんど分かっていなかったと思うが、どう分析されたのか。

市職員）

市長選後、色々な方にヒアリングを行い調べました。その結果、（旧）基本構想や基本計画を作っていた時に、市役所から市民の方への情報提供が不足しており、市民の耳に届いていなかったことで合意を得られなかったのではないかと思っています。市民の皆さんと合意形成を行うため、新庁舎整備ロードマップを策定し、日頃から庁舎にみえる方や市民へ電話でご意見を伺い、皆さんの所へ出かけてご意見を頂いて、まとめあげていくべきということになりました。尚且つ、情報提供を毎月のように広報誌にも情報を載せさていただいておりますし、新庁舎整備のポータルサイトや SNS へ情報をたくさん載せて、若い人たちに

も情報を流しながら進めていきたいと考えています。

◆今後の進め方について

参加者）

（旧）基本構想・計画の時は、一部の人達だけで決めてしまっていると感じていたが、ロードマップに示されているようなステップを踏んで、徐々に進めていくことはすごく良いことだと思う。また、議会で決定することは票数を得られれば簡単だと思うが、すべての議員が各地域の意見を反映しているわけではないと思うので、郵便投票の様なことも考えていると聞いて安心すると感じました。前とは全然違う進め方だと思ったので、このまま進めていただけるとありがたいと思います。

市職員）

（旧）基本構想や（旧）基本計画の策定時も、有識者の方や市民の代表の方に検討に入っていただいたり、委員会をやる時に、市民の皆さんも傍聴できるようオープンに行っていました。しかし、取り組みが市民の皆さんの耳に届いていなかったという事は我々の反省点です。

◆候補地について

参加者）

新庁舎の候補地について、どこにでも新庁舎を建てられるわけではないと思うが、ある程度の候補地は絞られているのではないか。

市職員）

今、候補地は全くの白紙の状態であり、どこなら良いということはありませんが、法的な制限で建てられない場所は当然候補地にはなり得ないと思っている。しかし、市が持っている土地ではなく、新たに土地を購入することも視野に入ってくれば、当然お金はかかります。それでも、市民の希望となれば、土地を購入して新庁舎を建てることになるかもしれません。

前回の検討時は、少しでもお金をかけないために市有地を中心に候補地を絞っていたが、今回白紙になった以上、市民の皆さんの意見も聞いて、候補地を決めたいと思っている。そのため、美濃加茂市全域が候補地だと思っています。また、前回の候補地を決める時には専門的な委員会の中で ４ つの候補地を決めたが、今回は ０ から見直しをしようと進めている。例えば、駅北にある市の公園は都市計画公園として縛りがあるが、本当に庁舎の建築が不可能なのか検証しているところです。都市計画図の中でどのくらいの時間をかければ法的な整備をして、建物を建てられるのか、他にどういった場所が候補地となりえるかをしっかりと調べ上げ、市の考え方について情報提供をした上で、ステップ ４、５ のワークショップを行いたいと考えている。

◆人口減少を見据えた計画について

参加者）

今後、人口が減っていく中で税収も減っています。一般企業は AI を導入して人員の削除をしています。こういった流れの中で、今から何年後の未来を見据えて庁舎を建てるかによって、庁舎のサイズ感や中のシステムは大きく変わると思います。市としては何年後の人口を見据えているのか、どういった指針をだすのでしょうか？

市職員）

少子化が問題になってきた時に、美濃加茂市も「人口ビジョン」を作っています。現状は微増の状態で全国でも非常に珍しい町ですが、2035～2040 年くらいをピークに人口が下がっていくと考えています。また、高齢化率は今 23%くらいだが、これが 25, 30 となった時にどうなるかも視野に入れて、人口ビジョン等も踏まえながら、考えないといけないと思っています。

今、市役所に来る市民の 9 割が証明書や住民票の発行といったものに限られていますが、今後デジタル化が進むと、その 9 割の方は家から書類を入手できるようになり、市役所に来る必要がなくなる可能性があります。新庁舎に今ほどの窓口が必要なのかという問題がありますが、一方で多種多様な相談が増えています。昔は相談窓口でも、あまり仕切りが無いものだったが、今は仕切りをつけて、色々な相談を市役所で多く受けているため、充実した相談スペースが必要ではないかと考えています。

市民の皆様に 10 年後の未来、どういう市になったらいいですか？と考えていただいているところですが、スペースを狭くしていい部分、市民に必要な部分を総合的に考えて庁舎の大きさも決めていきたいと思います。

◆市職員の考える市の役割について

参加者）

ロードマップのステップ1に「市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割の共通認識を広める」とあるが、市職員の方は市にどういう役割があると考えているか。

市職員）

美濃加茂市に限らず、市町村は 10 年ごとに総合計画を作り、目指すべき姿を作っています。美濃加茂市は最新で第 6 次総合計画を定めており、健康増進や女性、若者活躍等の6つの重要ポイントをまとめており、この総合計画を基に業務を行っています。これが資料 7 のビフォーにおける青丸部分の市役所の考える市の役割です。今回ワークショップを行い、市民の皆様に考えていただいたところはピンクの部分です。市の考える役割と市民の皆さんが考えている市の役割と一致するところが共通認識となります。ピンク色の月形の部分は、行政は 10 年の計画を作って進めているが、市の役割として今の時代はもっとこうして欲しいと市民の皆さんが考えていることとなります。市民の皆さんが考えている市の役割と市が今進めようと思っている市の役割に、こういった違いがあることを分かっていただく事が今回のステップ 1 のワークショップの目的でした。アフターの図のように共通認識を広められるよう、今後も進めていきたいと思います。また、おでかけワークショップでもワークショップ形式を行う予定なので、ご意見をいただきながら進めていきます。

◆市役所への相談について

参加者）

先ほど市役所へ相談者が結構みえると言っていましたが、どういった悩みや年代の人が多いのかデータ等はあるか。

市職員）

データを取っていないので、感覚的になるが、福祉関係の相談が多いです。生活困窮や収入が減ってしまったことの相談というケースは非常に多いです。加えて、国保や年金、国保料の支払いに関する相談が

あります。保険がないと病院にかかれないこともあるので、ご相談にくる方は非常に多いです。先ほど言われたように市民課に来るお客さんは 9 割が証明書、1 割が住民票の移動くらいという感じです。

今の庁舎は 62 年前に建ちましたが、その時はこどもや高齢者を家族や地域でしっかり見ていく生活スタイルがあったと思うので、市役所の相談業務に子育て支援や高齢者の方を守っていくような相談はほとんどなかったのではないかと思います。最近は、人と人との関係が希薄になってきたという事もあり、子育て支援課ができ、介護保険の制度ができたので、それを市の業務でやらないといけません。自助、公助でなく共助というところで、市に求められているものが 60 年前からは変わっているので、時代の流れも相談業務が増えている要因の 1 つかと思います。今後少子高齢化が進んでいくと、高齢者支援等の相談業務がもっと増えると考えています。

◆市が行う支援について

参加者）

私は仕事で再就職支援などをしています。色々な給付金の受給者の中に、受給後もできるだけ楽をしたいので、受給したままの人が増えているのではないかと思います。その人たちを生活困窮者としていいのか、受給の条件をもう少し厳しくして再就職を促せば、事業者が今一番困っている人材不足も解決できるのではないかと思います。

市職員）

私も昔、福祉課で生活保護等の担当をしていましたが、その頃と比べると受給者は圧倒的に増えています。本当は必要最低限の支援を行うことで、状況を改善しながら生活してもらいたいが、そうでない人もいる事は私も耳にしています。

◆市職員について

参加者）

市役所の職員の業務の幅が広くなっており、忙しいのだと思うが、担当の方が変わると、やり方がガラリと変わってしまうと感じます。補助金があったとしても、情報を出すと自分の仕事が増える、という感じが伝わってくることもあり、市民の為にプラスになる情報を積極的に出して欲しいと思います。全て職員さんに頼るというわけじゃなくて、市民もタッグを組んでチャレンジしていけば良いと思います。

市職員）

大変ご迷惑をおかけしています。職員の人事異動はありますが、その時にきちんとどういった法律に基づいた制度があり、補助金を出しているのか等を引継がないと、今言われたような事が起こる可能性も出てきてしまいます。我々市職員はプロフェッショナルだという意識をしっかり持つべきだと庁内でも話をしているところです。ただし、職員の数自体もかなり不足しています。国が出している資料には、人口が 5 万人から 20 万人くらいの間で 1 次 2 次 3 次の産業構造が美濃加茂市とよく似ている自治体は全国に美濃加茂市を含めて 78 自治体くらいあります。その中で美濃加茂市は職員数が下から 3 番目で、78 団体の平均値から見ても職員数は 50 人少ない状態です。その分、会計年度任用職員を雇いながら業務を行っています。先ほどお話のあった、市民の利益になることはどんどん表に出していくことも我々がやっていかなければと考えています。新庁舎も単に我々が仕事をするだけのワークスペースだけで終わらないようにしっかり考えていきたいなと思います。

◆今後の税収について

参加者）

美濃加茂市が消滅都市でないのは外国人の方が多いからという認識です。実際戸建の数と人口をみると、人口に対して戸建数は多くないと思いますが、外国人が多いのは要因かなと思います。しかし、その方々が県外に仕事に出てしまうこともあると思うが、その場合、税収も今の試算より一気に減るのではないか。

市職員）

外国人の人口ですが、約 10%で市の中では全国でトップクラスです。リーマンショック前までは 11.2%で全国 1 位でした。リーマンショックで一時減少しましたが、また増え続けており、今の人口増にかなり影響しています。外国人の子供たちも増えています。日本人の人口は下がっていますが、他の自治体に比べると美濃加茂はほぼ横ばいです。ただし、昼夜間人口は以前と比べて大きく変わりました。かつては昼間の人口が多かったのですが、名古屋のベッドタウンや岐阜のベッドタウンになることで市外に仕事に行かれるので昼間の人口の方が少なくなります。

働く場所は外にあっても、外国人の市民であっても、日本人の市民であっても、美濃加茂市民ですので、個人住民税は美濃加茂市に入ります。外に働きに行くからと税収が下がることはあまり考えなくてもよく、人口減少や高齢化の方が税収の減少に大きな影響を与えるのではないかと思っています。

◆交通手段について

参加者）

電車で市役所にくる人は何割いますか？

市職員）

1 割弱です。色々な考え方がありますが、立て直す前の県庁や関市役所は郊外に建てています。当時はかなり批判も受けたそうですが、庁舎の周りが発展したという事実も現実にあります。ただ、同じことを今もう一回できるかは分かりません。特に美濃加茂市は車社会ですが、それがずっと続くのか、もしくは、高齢の皆さんが免許返納をし始めているので、駅に近い方がいいという考え方もあります。離れてでも車で行ければいいのか、あい愛バスを拡充するのか、様々な事も合わせて皆さんと相談していきたいと思います。

参加者）

北部からすると太田地区はすごく遠いが、北部から新庁舎へ行くために電車は使わない。

市職員）

将来は多分こうなるという予測を皆さんと一緒にしていかざるを得ないと思っています。市民が 10 年後 20 年後どういった生活をしたいのか、車に乗らなくてもどこにでも行ける街にしたいのか、車で移動できればよいのか、自動運転が普及するので車でよいという話かもしれません。市民の考え方や気持ちをしっかりと汲み取っていきたいなと思っています。

参加者）

バスを見ていると乗っている人が少ないので、乗る人がいない場所を走らせるより、バスを少なくしながら、本当に必要な所にタクシーチケットを配布する等、方法を考えてみたらどうか。どうしても車がないと病院にいけない人のために、やりかたを考えてみてはどうか。ただ走っているだけのバスは無駄のような気がします。

市職員）

オンデマンドという考え方があって、タクシーのようにドア to ドアが一番いいという方もお見えになるし、健康の為にバス停まで歩きたいという方もお見えになります。ただ、やはり買い物して帰りに重い荷物を持って歩くのは大変だという方もいらっしゃいます。例えば、年間 5 億、10 億かけてもいいと皆さんが判断されれば、タクシーチケット等も可能でしょうし、できるだけ抑えるのであれば、一番効率的な所はどこなんだという事を考えなければいけません。今全国の自治体でも、どういった方法がいいか検討されています。美濃加茂市は路線時間やバス停の場所等、見直しをかけながら、大きなバスが必要な所、小さいバスで問題ない所等、今色々と工夫しているので、これから市民の方の免許返納等、変化も含めながら、どう見直しをしていくかを常に考えていきたいと思っています。

◆複合施設化について

参加者）

市役所がどこになろうがシティホテルが併設されるのか？

市職員）

前回の計画ではシティホテルは竣工後 30 年以上経っていたので、取壊しのお話をさせていただいて、市役所に併設する案としていました。今回新庁舎計画が白紙に戻ったので、シティホテルの取り壊しも白紙になりました。今の状態を保ちつつ使用する可能性もありますが、違う用途に使う可能性もあります。皆さんのご自宅も修繕を屋根や壁などにしますよね。商業ビルもすごい費用がかかるものなので、費用をかけていくべきなのか、または民間に建ててもらって、市はそこを借りようという方法がいいのか。しっかり検討していきたいと思います。庁舎と少し切り離しながらも考えていかないといけないと思っています。

参加者）

コンベンションホールはどうか。

市職員）

コンベンションホールはこの辺の地域にはありません。今まで美濃加茂市がホールを必要とする場合周辺の自治体に借りたりしてきましたが、コロナの影響でホールの数が落ち込んでしまった事もあり、前回の基本計画では、コンベンションホールを庁舎の中に持ちましょうという計画でした。しかし、今回計画が白紙になったので、今後コンベンションホールはあのまま市商業ビル、シティホテルとして残していくべきなのか、庁舎の中に作るべきなのか、考えていく必要があります。庁舎の中に作れば、当然庁舎の建設費用も上がります。何億円というレベルであがるので、それでも必要とされるのかどうか、皆さんと色々話をしないといけないと思っています。

市職員）

皆さん 5 万 7 千人全員の意見を聞いても、1 つの答えにはならないと思います。最後は市議会議員が市議会で決めるんだと考える方もいますが、議員の方たちへ行政の執行部側が提案を上程して初めてそれをいいか悪いか判断されます。したがって、我々行政はどこがいいか、しっかり見極める責任がありま

す。その為に、皆さんから意見をたくさん聞いているので、たくさん意見が出てきた中で、法律的に難しい案や実現するには 20 年かかってしまう案、お金がかかりすぎてしまう案等を整理しながら候補地を例えば 3 ヶ所に絞り、メリットやデメリットをしっかりと示して、最後には住民投票やアンケート等で、住民の皆さんが決めて、それを議会に上程するというように我々がやっていこうと思っています。我々も努力しますのでご理解いただけたらと思います。

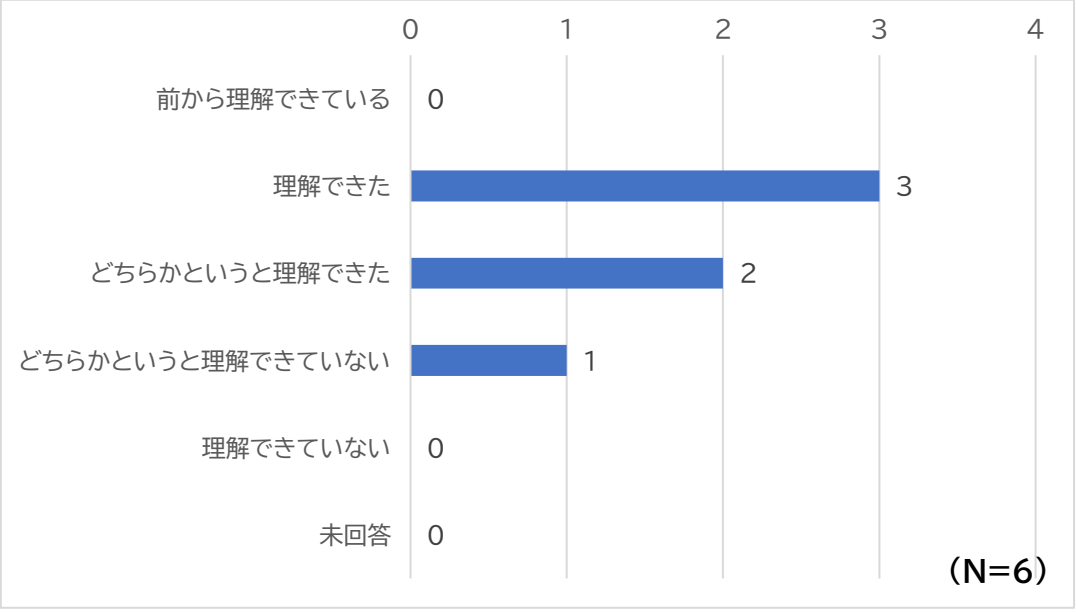
(2)アンケート結果の概要　※回答者数　6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかというと理解できた」が続いた。「どちらかというと理解できていない」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかというと理解できた	2
どちらかというと理解できていない	1
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図 1.　新庁舎整備の理解について

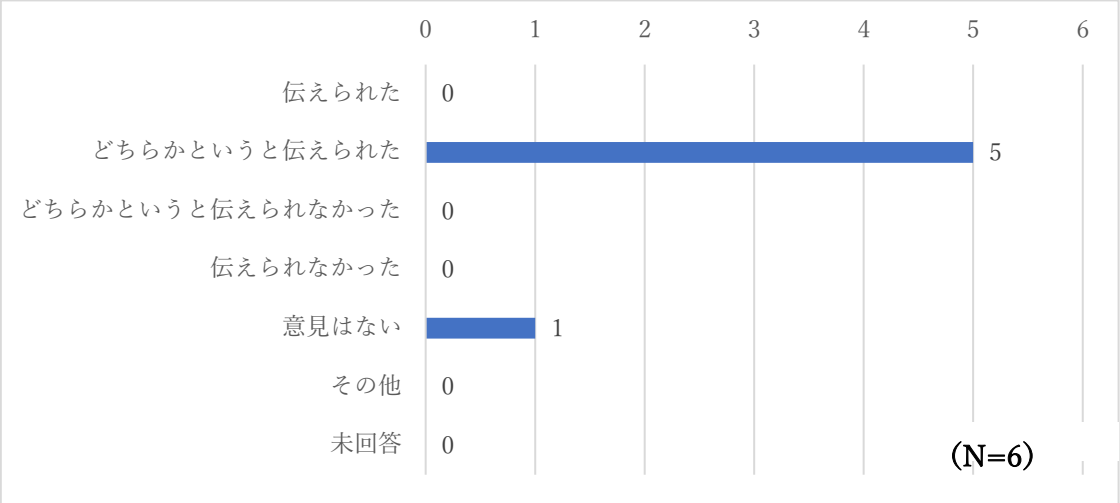


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかというと伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=6】
伝えられた	0
どちらかというと伝えられた	5
どちらかというと伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
合計	6

図 2.　新庁舎への意見について

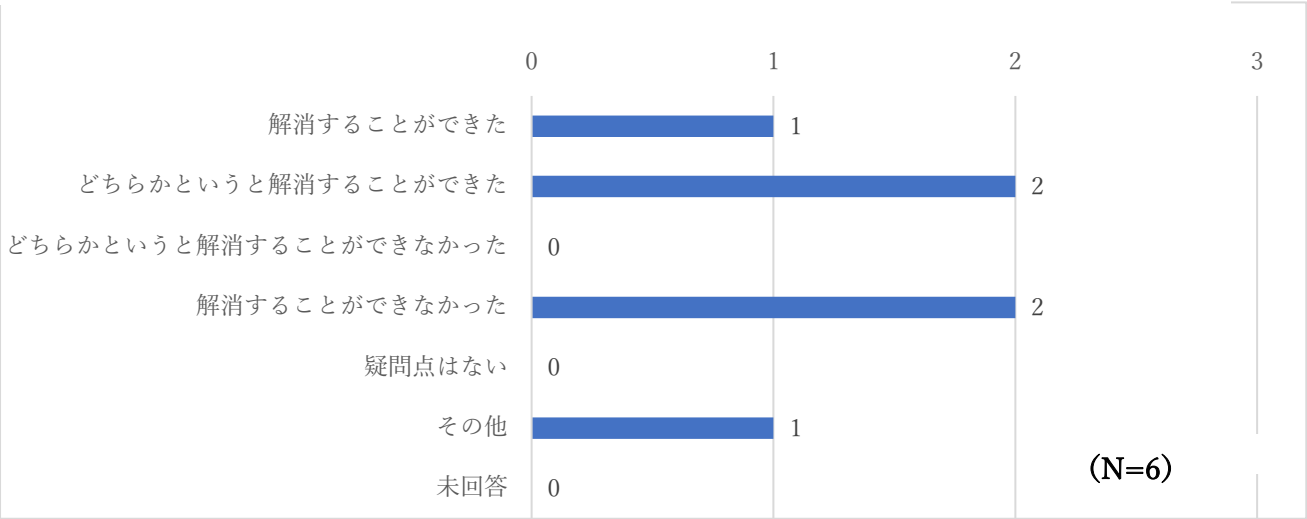


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」、「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	2
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	2
疑問点はない	0
その他	1
合計	6

図 3.　疑問点の解消について

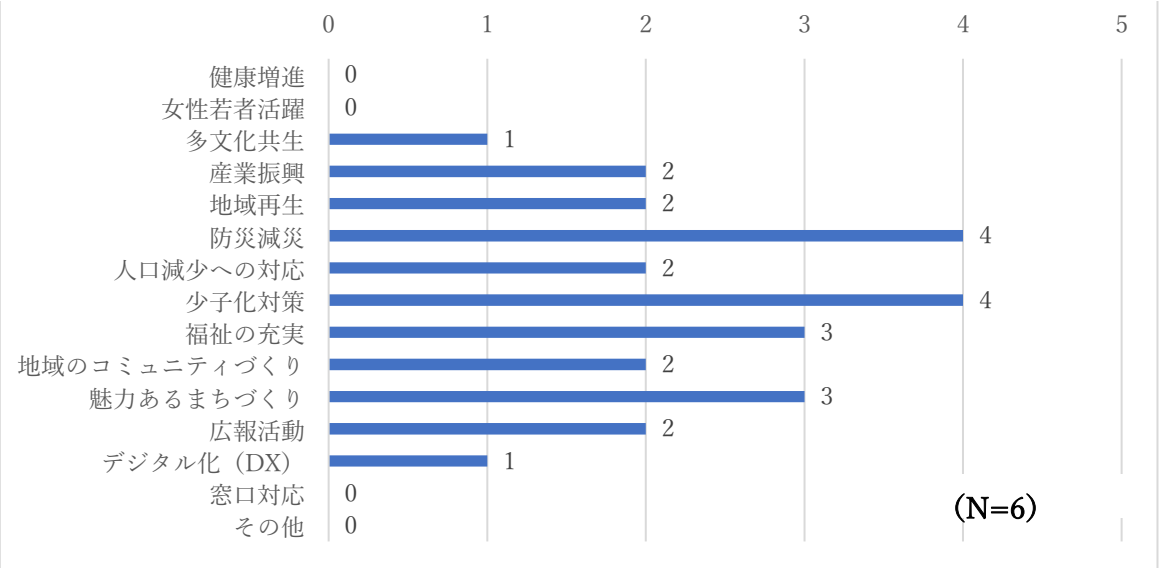


問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？（複数回答）

「防災減災」、「少子化対策」が最も多く、次いで「福祉の充実」、「魅力あるまちづくり」が続いた。

	回答者数【N=6】
健康増進	0
女性若者活躍	0
多文化共生	1
産業振興	2
地域再生	2
防災減災	4
人口減少への対応	2
少子化対策	4
福祉の充実	3
地域のコミュニティづくり	2
魅力あるまちづくり	3
広報活動	2
デジタル化（DX）	1
窓口対応	0
その他	0
合計	26

図 4.　「市の役割」について



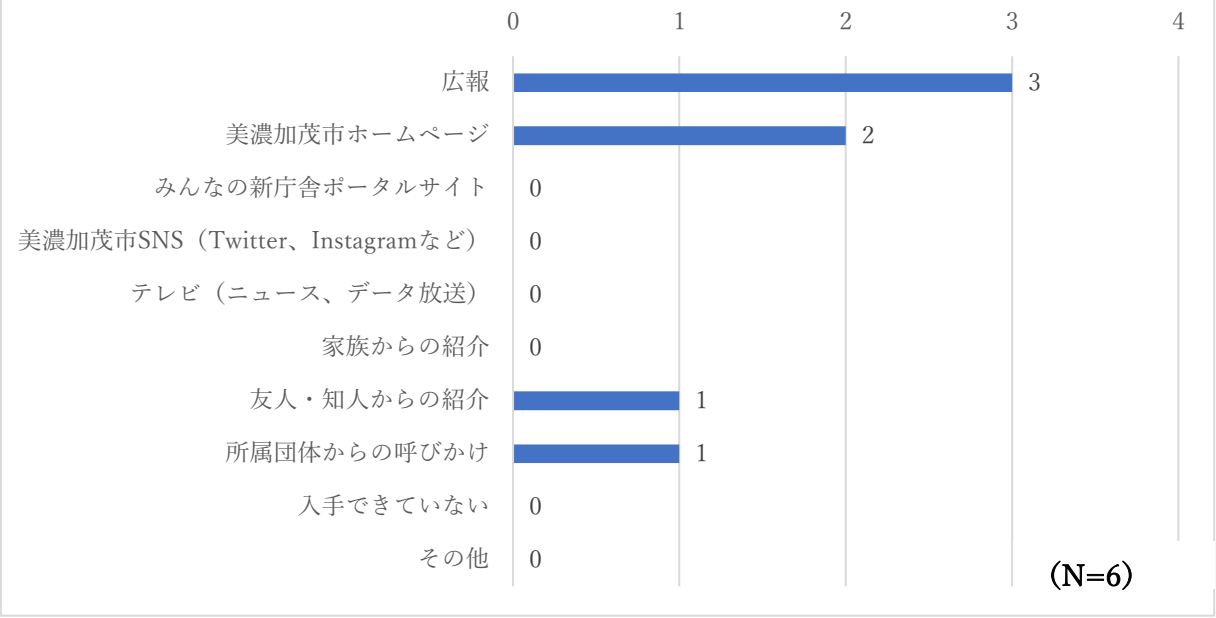
※複数回答有

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「友人・知人からの紹介」、「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 5.　新庁舎整備に関する情報の入手方法について



※複数回答有

問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

（自由記入）

◇自由意見

・利用される年代、用件の多い方を優先していただく

・決定する場合、住民投票をぜひしていただきたい。

おでかけワークショップ(山之上まちづくり協議会)
ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP1「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 8 月 21 日(月) 19:30~21:00

場所:山之上交流センター

参加者(事務局を除く):23人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題:市民が考える「10年後の市の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

グループに分かれ、10年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

全体の傾向としては、次世代の美濃加茂市を担う人材を増やすこと、子育て世代や若い世代の負担を減らし活力のある市とすることが求められていました。その方法として、子育てのしやすい環境を整えることや、企業誘致により雇用を増やし、人口を増やすことがあげられました。一方で、高齢者の移動手段を確保して欲しいといった、今後さらに増えるであろう課題もみられました。

また、新しい庁舎に対してのご意見としては、AI、IT化の促進、市民が安心できる施設であることが求められていました。

(2)ワークショップ結果の概要

【魅力のある市をつくる】
・若い世代の負担が少なく、魅力的な街づくりをする。
・農地法的に誘致は難しいが、スポーツ施設やジム、プールを作ってほしい。

【人口増加】
・産業誘致を増やし、人口を増加して欲しい。
・若者をとりこみ、市民を元気にし、人口を増加して活力のある市にしたい。

【子育てのしやすい環境】
・子育てがしやすい環境にしてほしい。
・少子化対策をし、安心して子育てのできる町にしてほしい。

【高齢化対策】
・高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない人がいるので、タクシーや補助、又はバス停以外でも、停車して欲しい。
・高齢者の移動手段問題を市が助けてくれる町になってほしい。

【産業誘致】
・まともな企業を誘致し雇用を生み、人口を増やして財政を豊かにする。
・企業誘致が必要である。
・市民税が安くなる為の工業誘致をし、市民への助成ができ、健全な財政でもうけられる市になってほしい。

【環境にやさしい町】
・環境にやさしい町にしてほしい。(ごみゼロ、不農作地活用、森林伐採)

【その他】
・自治会に予算を出して、加入するメリットを作る。
・若い人がでていき、後継者不足の産業を支援する。
・AI、IT 化を進めてほしい。
・先をみて活力のある職員育成を市内部でしてほしい。

(3)各グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
自治会	自治会加入率を上げ連帯感を強める	情報が伝わらない	
		自治会に予算を 加入するメリット	4
	自治会たてなおす	自治体の役割を果たしてない	
地域	地区別の産業に支援し、希望のある後継者育成を望む。(例)果樹、田園、その他		1
		若い人が出ていく後継者不足	2
		移住者がサポート	
	三和、伊深、山之上の少子高齢化をくいとめる		
		全て市がやるのではなく自分たちで	
		連絡所の充実、本所職員は減らす	
庁舎	デジタル化することによりコンパクトな新庁舎、そもそも新庁舎は必要か？市民は誰も困らない		1
	市民が必要とする市役所		
		今のままでよいのでは… 耐震補強の意味	
		市が案を出す	1
企業	まともな企業を誘致して雇用を生み人口を増やす→財政を豊かにする		2
		扶助費の増加につながる	
		シティホテルの今後	
若者	若い世代が魅力的な街づくり(負担が少ない)		2
		子育て支援	
	安心して生活できる市		1
		30～40 代少ない、10年後不安	
ワークショップについて	このワークショップに 1520 万使う必要があるのか？ファシリテーターは外部委託でムダな経費		
	旧基本構想 1100 万円、R5 年基本構想 1520 万は必要か？更に 800 万追加されると聞く		
	予算をかけずワークショップを開催してはどうか、職員がやる		

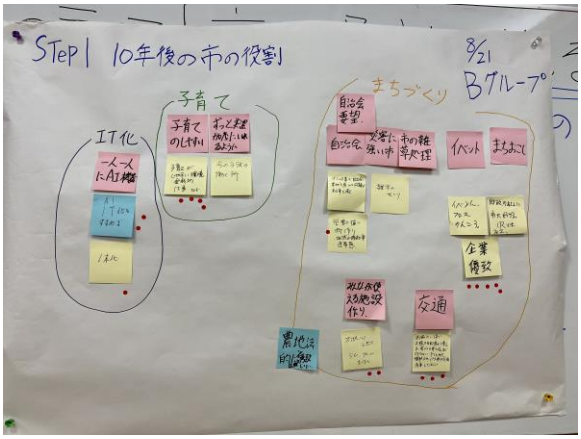
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・自治会に予算を出して、加入するメリットを作る。
・若い人がでていき、後継者不足の産業を支援する。
・企業を誘致し雇用を生み、人口を増やして財政を豊かにする。
・若い世代の負担が少なく、魅力的な街づくりをする。

■B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
IT 化	一本化		1
		一人一人に AI 機器	
		AI、IT 化を進める	2
子育て	子育てがしやすい環境。金銭的、仕事など		4
		子育てのしやすい	
	今の子供の働く所		
		ずっと美濃加茂にいれるように	
まちづくり	ゴミ収集で自治会未加入者との問題があると聞く	自治会要望	
		自治会	
	雑木の整理	市の雑草処理	
	災害に強い街づくり、地域の備品庫、連帯感	災害に強い市	1
	イベント、フェス、観光	イベント	
	財政の安定、市が儲かる、IRとは、フェス	まちおこし	
	企業誘致		5
	スポーツ施設、ジム、プールを作る	農地法的に誘致は難しい	2
	高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない、タクシー〇、補助又はバス停以外でも、停車してほしい	交通	3

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・AI、IT化を進める。

・子育てがしやすい環境にする。

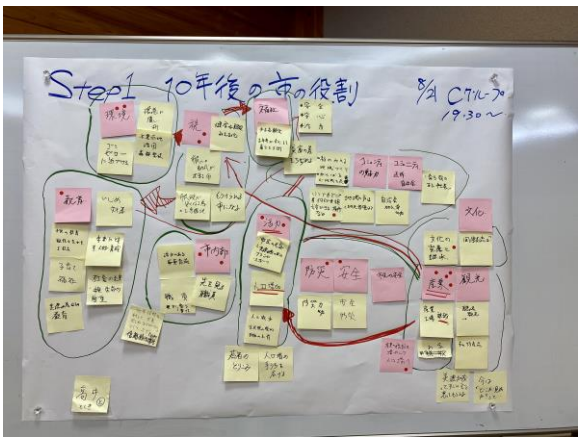
・企業誘致が必要である。

・農地法的に誘致は難しいが、スポーツ施設やジム、プールを作る。

・高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない人がいるので、タクシーや補助、又はバス停以外でも、停車してほしい。

■C 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
環境	環境にやさしい町		
	不農作地活用、森林伐採		
	ごみゼロに近づける		
		環境	2
教育	いじめ対策		
	子どもの教育、個性を活かせる教育		
	子育て、福祉		
	美濃加茂ならではの教育		
	未来に託す、人材、育成		
	教育の充実、生命の尊重		
		教育	1
市内部	活力のある職員育成		
	職員が育つ、育てる		
	先を見る職員		
	世界情勢を踏まえて支度。信頼感の醸成		
		市内部	2
税	健全な財政、見える化		
	市民への助成ができる市		
	市民税が安くなる為の工業誘致		
	もうけられる市になる		
		税	2
福祉	少子高齢化、お年寄りが安心して暮らせる街		
	安全、安心、活力		
	貧富の差を縮める		
		福祉	
コミュニティ	顔の見える地域づくり、頑張る人の地域応援		
	いつでもどこでも何人でも相談できる場所など		1
	地域の声は〈地元要望は〉		
	自治会加入率 UP		
	育ち感のある社会		
		コミュニティの魅力	
		コミュニティ、近所、自治会	
活力	市民の元気→美濃加茂のほこり ・ブランド・スポーツ		
	人口増加		
	人口減少、住民税の増加、物価の上昇		
	若者のとりこみ		
	人口増の手うちを広げる		
		活力	2
防災・安全	防災力 UP		

	安全、防災		
		防災	1
		安全	1
		市民の安全	
文化	文化の発展と継承		1
	国際交流は？		
		文化	
産業	産業、工業誘致		
	お金		
		産業	4
		産業の誘致を増やして人口増へ	1
観光	美濃加茂→観光		
	市の特産品		
	美濃加茂ってすごいぞと思ってもらえる		
	今は「どこが見どころか？」と…		
		観光	

3）意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・環境にやさしい町にしてほしい。（ごみゼロ、不農作地活用、森林伐採）

・先をみて、活力のある職員育成を市内部でしてほしい。

・市民への助成ができる健全な財政の市になってほしい。

・若者をとりこみ、市民を元気にし、人口を増加して活力のある市にしたい。

・産業や工業を誘致してほしい。

■D 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
移動手段		移動手段	3
	10 年後の山之上は、市は高齢者を助けてくれる町になると良い。医者に行くにも行けない人が多くなる。買い物に行くにも行けなくなる		
		昔は長男が家を継ぐ、今は違う、家はどうなる	
		移動手段の問題	
		タクシーチケット昔あったのに今はない、あると便利	
		近くにスーパーもない	
		南坂→みんな仲が良い、あい愛バスよく使える、病院行く	
健康づくり		健康づくり	1
	市内に住んでいられる		
	高齢者に優しい町、健康づくり		
		健康づくり	
		元気に山之上で暮らしたい	
		介護の問題	
		介護予防、ウォーキング	
空き家問題		空き家問題	3
	空き家の対応、地域への加入等		
コミュニティ	人口減が進む→ 今と同じように(レベルで)地域コミュニケーションあり、交通バス便利、安心して暮らせる 市→地区の現状を知ること、出前サービス他		
		行政から小さなコミュニティへの出前サービス(お出かけ WS)	
交流センター		地域の拠点を充実してほしい(各交流センター)	
		交流センター大切	
高齢化対策	高齢者に優しい町		
		経済的な不安もある	
子育てしやすい町		子育てしやすい町	7
	少子化対策、子ども達が楽しい町、集まる町		
	子育てしやすい町、安心して子育てできる		
		お母さんが安心して子育てできる環境が大切	
		子どもと向き合う時間を大切に	
山之上へ愛着		山之上へ愛着	1
		地元への愛着を作っていく	

		金谷子ども　50→3 人になった	
		まち協が頑張っている→市も応援して欲しい	
		若者がでていってしまう、魅力がない？	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

・高齢者の移動手段問題を市が助けてくれる町になって欲しい。

・空き家問題の対応をしてほしい。

・安心して子育てのできる、子育てしやすい町にしてほしい。

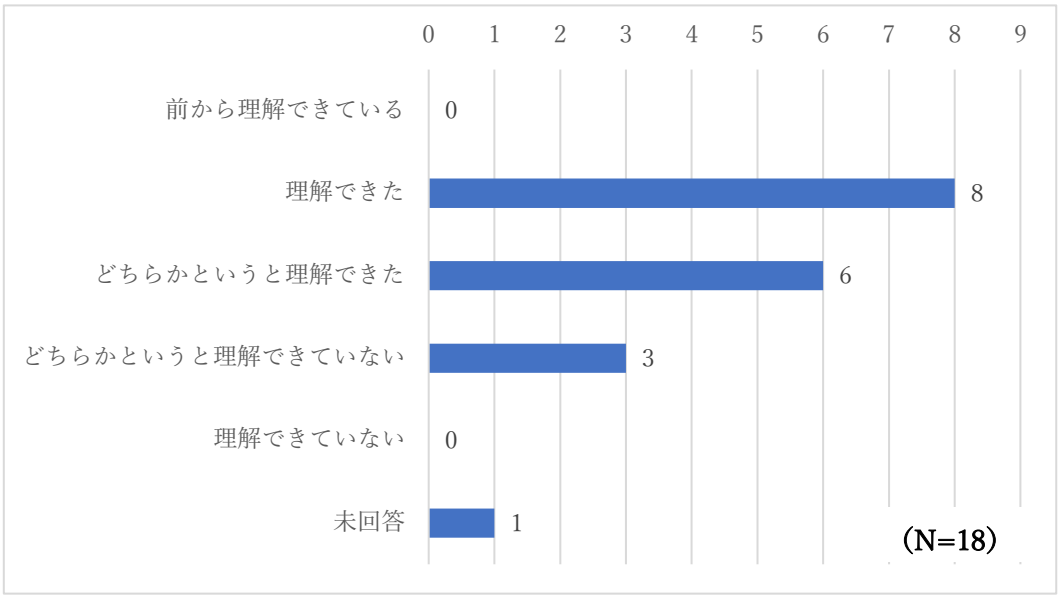
(4)アンケート結果の概要　※回答者数　18名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、「どちらかというと理解できた」が続いた。

	回答者数【N=18】
前から理解できている	0
理解できた	8
どちらかというと理解できた	6
どちらかというと理解できていない	3
理解できていない	0
未回答	1
合計	18

図 1　新庁舎ロードマップの理解度

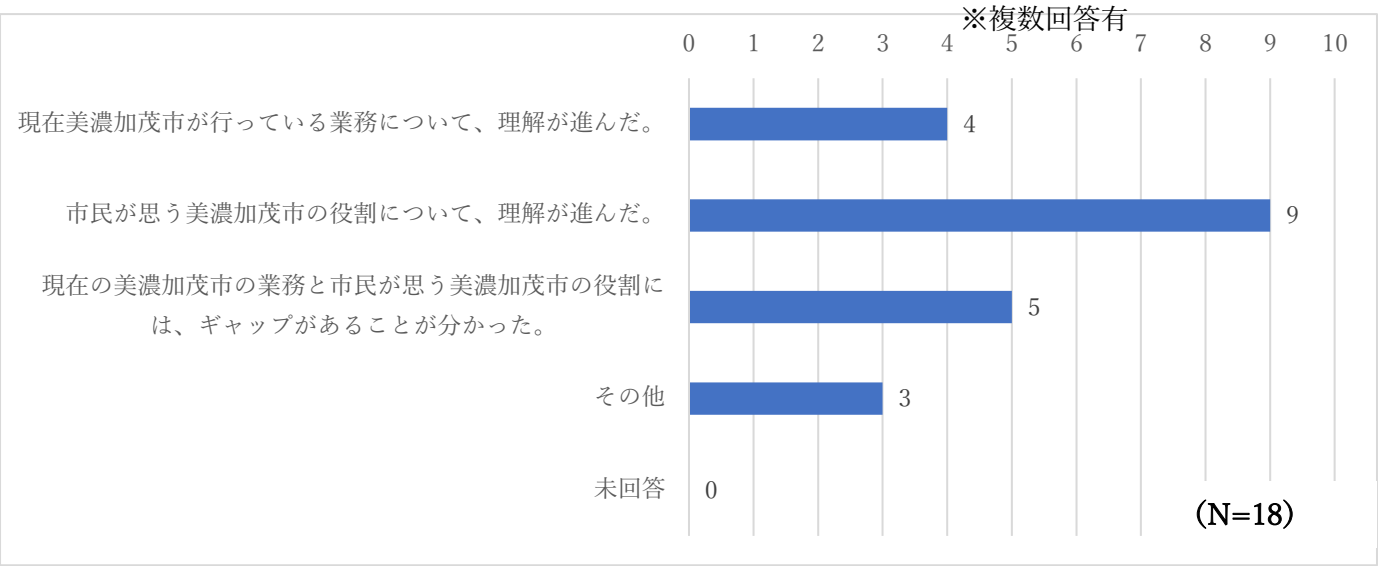


問2. ワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。」が最も多く、「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。」が続いた。

	回答者数【N=18】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。	4
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。	9
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。	5
その他	3
未回答	0
合計	21

図 2「市の役割」について



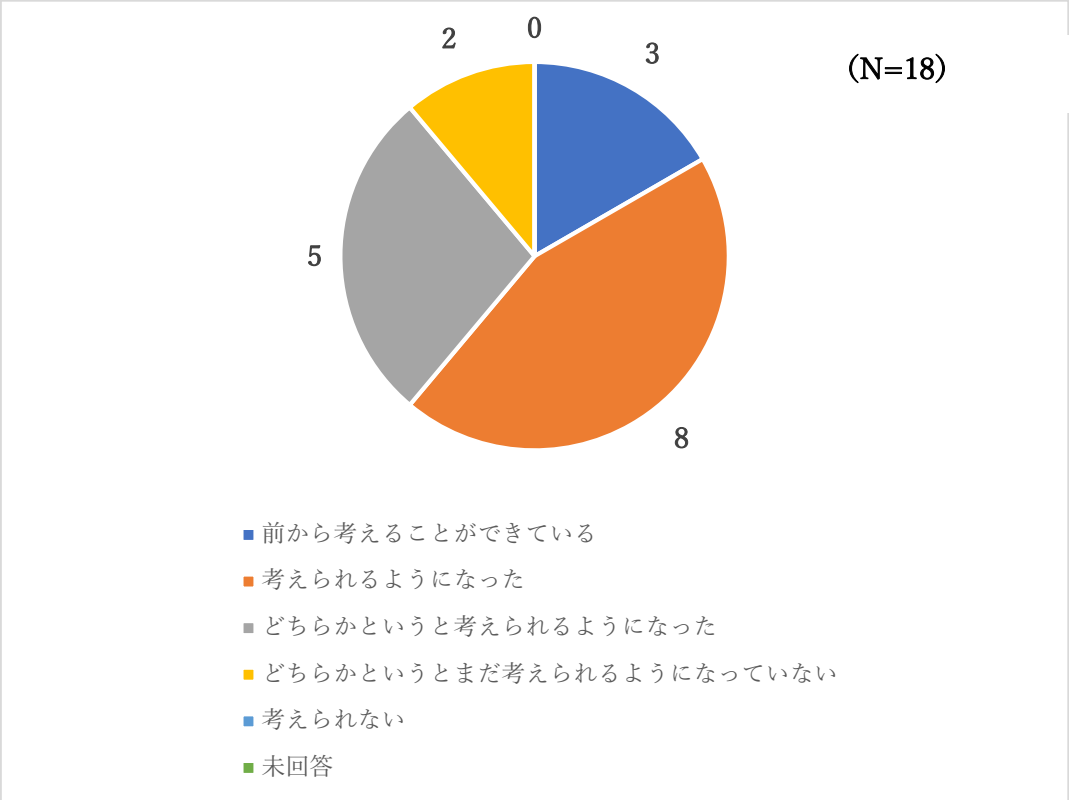
◇自由意見
・昔の市の人と今の人は考え方が違うと思う
・コロナを終えて改めて庁舎の役割、分散化を考える

問3. 10 年後の市の役割を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、「どちらかというと考えられるようになった」が続いた。「前から考えることができている」を合わせると、89%が肯定的な回答となった。

	回答者数【N=18】
前から考えることができている	3
考えられるようになった	8
どちらかというと考えられるようになった	5
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	2
考えられない	0
未回答	0
合計	18

図 3　10 年後の市の役割について



問4. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことが
あれば教えてください。（自由記入）

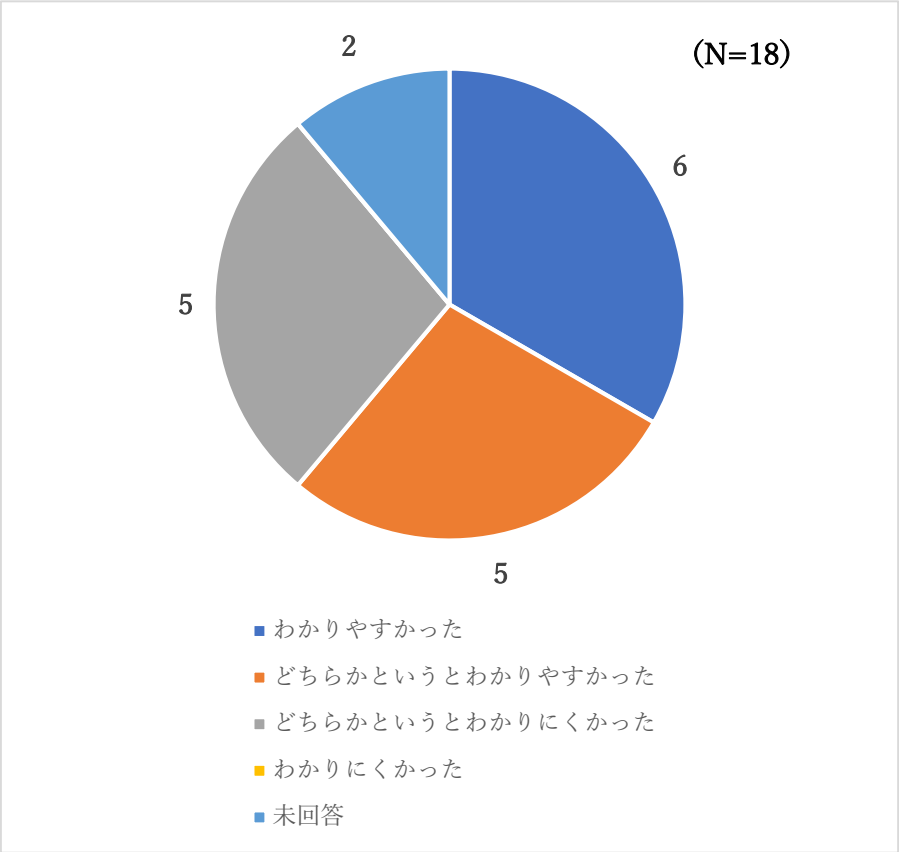
◇自由意見
・高齢化、少子化、空き家問題
・財政の問題
・X 町（地域）別_連絡所の機能拡大
・「市の役割」までお話しできていないような

問5. 本日のワークショップの説明について

「わかりやすかった」「どちらかというとわかりやすかった」を合わせて半数以上であったが、「どちらかというとわかりにくかった」が約3割となった。

	回答者数【N=18】
わかりやすかった	6
どちらかというとわかりやすかった	5
どちらかというとわかりにくかった	5
わかりにくかった	0
未回答	2
合計	18

図 4　10 年後の市の役割について



〇わかりにくい、さらに知りたいと思ったこと

◇自由意見

・一般市民が具体的に関係することがわからなかった。

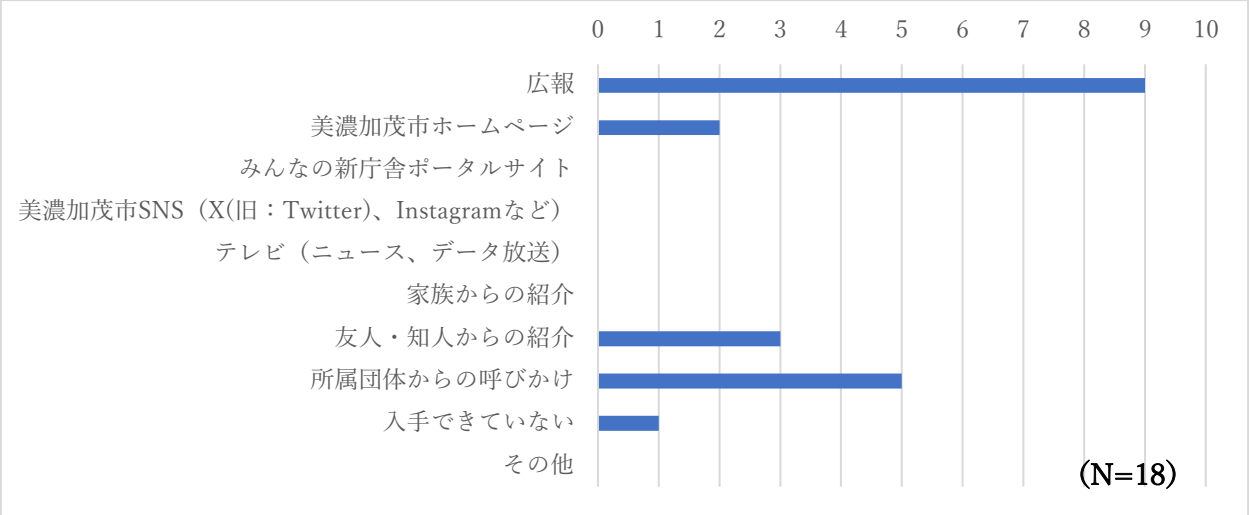
・市の役割の 10 年先のガイドライン

問6. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで、「その他」「美濃加茂市ホームページ」が続いた。その他の意見として、「美濃加茂メール」「市のグリーンキーパー」があった。

	回答者数【N=18】
広報	9
美濃加茂市ホームページ	2
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	3
その他	5
入手できていない	1
未回答	0
合計	20

図 5　10 年後の市の役割について　※複数回答有



問7. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

（自由記入）

◇自由意見

・小さな市民のための庁舎

・新庁舎を作る必要がありますか？

・ワークショップでの意見を大切にしながら決めてほしい

・次ステップに期待

・そもそも基本構想に今回のような予算をかける必要があるのか？

おでかけワークショップ（美濃加茂商工会議所太田Ⅰ・Ⅱ、下古井合同地区懇談会）
ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年8月24日（木） 18:30～19:30

場所：商工会議所3階会議室

参加者（主催者・事務局を除く）：会員　35人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆検討に関する経費について

参加者）

理念や考え方だけでなく、検討にあたり発生する公金がどのようになっているかについても市民は敏感になっているので、数字的な裏付けをきちんと示してほしい。

市職員）

旧基本構想および旧基本計画の両方を合わせた委託費としては 3,023 万円を使用していました。人件費は別となります。今後、こう言った情報発信についてもどのように出していくのかしっかり検討して、市民の皆様にもご理解いただきたいと考えています。

◆進め方について

参加者）

旧計画の時も、色々な会議やワークショップを行っていた中で、計画が白紙になった経緯や今までどの

ように検証されてきたのかがわからない。旧計画から今までの検討にかかった経費を考えると、それこそ税金の無駄使いではないかと思います。個人的には候補地がどこか等よりも見直しの経緯について、納得のいく説明をしていただきたい。

市職員）

平成28年度から令和3年度途中までの6年弱の期間をかけて策定した、旧基本構想・旧基本計画案が白紙となりましたが、当時、市民の皆様から頂いたご意見は今も残っており、そういった意見も参考にしながら再策定を行っていく考えです。また、検証について、令和4年度に1年間をかけて、庁内で構成した2つのプロジェクトチームでしっかりと検証させて頂きました。その結果、どういった検討の進め方をしていくか、ロードマップとしてまとめ、市民の皆さんと共有して進めていこうとなりました。

また、①前回は限られた人数からの市民意見であったので、もっとたくさんの市民の皆さんの意見を聞く必要がある②専用のポータルサイトや回覧板等、いろいろなツールを使いながら市民の皆さんと情報共有をして進めることに努めてまいりたいと考えています。

参加者）

ロードマップにおける市民アンケートの役割が大きいが、前回のアンケートで4000人に対して回収率が 45.2%の半分にも届いていない。これを何回もやったところで意味があるのか。

参加者）

民主主義をはき違えてらっしゃらないかと思う。なんで計画を0からにしたのか、今まで策定委員とやってきたことは無駄だったのかと感じます。また、市の職員が仕事する上でやりやすい場所を作りたいという考えも以前の説明会からもありましたが、なぜ0からのスタートなのか。また選挙があれば、検討中として先延ばしにして、職員を付き合わせるほど、市民の関心はないと思う。

参加者）

美濃加茂に住んで子どもを育てていて、前市長時代の新庁舎の説明等も聞いてきたが、予算や水害対策などのも討論もされてきていて説明不足と感じることはありませんでした。関心があるから情報を得れていたということもありますが、3000万の委託費もかけて策定した旧計画を白紙にした理由や誰がどう決めたのかを知りたいと思います。また、水害の心配も身近にあるので、いつになったら計画が進むのか教えてほしい。市民の声をというが、市民はプロではないので、市としてはどうしたいのか筋道を提示してもらわないと、丸投げされているようで困る。

市職員）

旧計画が白紙になった経緯としては、市長選後の第1回定例会で市長が発言された内容に基づいて白紙になりました。実際に、旧基本構想・旧基本計画についてもたくさんの市民の皆さんのご意見を頂いて策定を行いましたが、その後の市民アンケートにおいて、4候補地の中で1つの候補地に決定をしてから説明会を開催した事などについて、進め方に疑問があるといった意見がありました。

◆市役所の役割について

参加者）

文化センターや中体の施設は市民が使う場であるが、市役所は職員の職場なので、きちんと内容を整理して職員が働きやすい場としてほしい。アンケートでもわかっているが、市民の約7割が年に1回程度しか市役所に来ておらず、年に数回と回答した人も合わせると9割以上となる。あくまでも市職員の職場で、サービスとしての窓口に市民が来るということを整理してほしい。

また、市役所ができることによって、賑わいができるかについては4000人のアンケートから考えると市役所の利用回数は少ないが、一方で市役所の設置により周辺の賑わいをもたらすと考える市民もいる。行政として、市役所のロケーションによって賑わいの創出をするようなイメージがあるかどうかお聞きしたい。

市職員）

庁舎は職員が働く場所ということで、昨年度も市民アンケートと並行して職員へのアンケートも取っており、職員が考える新庁舎像もしっかりと受け止めて進めていく必要があると考えている。

賑わいの創出については旧基本構想のコンセプトの中にも入っていました。しかし、昨年度4000人の市民アンケートを行った中で、順位としてはそんなに高くない結果となっています。したがって、こういったコンセプトについても9月下旬に行う、ロードマップ STEP2・3のワークショップの中で賑わいについて、市民の皆さんの意見を確認していきたいと考えています。

◆議会との関係について

参加者）

新庁舎に関して、議会との関係はどうなっていますか。

市職員）

議会にも「新庁舎建設特別委員会」が組まれていて、市役所側から情報を提供させて頂いたり、議員の皆様からご意見を頂くということを続けています。特に、昨年度の見直しに関する検証やロードマップを作成する段階で今後の進め方について全部説明させて頂いて、ここまでよく頑張ってくれたという議員さんもみえますし、市民の関心が向かないことについて厳しいご意見も頂いているところであります。そういった中で、市長はアンケート回答率 45.2%の回答されない方をどう振り向かせるかを考えてほしいといわれています。年齢層によって、広報誌で見る方もいれば SNS で見る方もいるので、どういった情報提供が一番いいかを我々も考えて、色々な情報提供をしながら、中学生や高校生といった未来の美濃加茂市を担っていただく子にも声をかけて頂いています。また、その子たちが家庭で話すことで無関心だった人たちにも振り向いてもらうこともできないかと、今、必死になっています。ただし、どれだけ市民の方と話しても、土地の取得費やレッドゾーンで難しい等、市民の方々からのご意見だけでは 1 か所に絞ることはできないと思っています。そういった市民の皆さんからは見えづらいところをしっかりと行政が見極めて、複数の候補地から市民の皆さんに選んでいただく、ということを行政の責任としてやっていかざるを得ないと思っています。そこで、複数候補地をどこにするのかを決めていく情報として、皆さんと意見交換をしていきたいと考えています。

参加者）

市民の声とあるが、市民の声を代表するために議員、議会があるのではないか。

市議会議員）

議員になった当初に、現庁舎について、大きな地震が来た時に建物は壊れないが、天井が落ちてきたりとか、職員の命は守れないと説明を受けています。庁舎は職員が働く場ということや場所や災害、金銭的なメリット・デメリットも考慮して、旧計画では方向性を決めておりました。今回、市民の皆様への説明不足を理由に白紙にされましたが、最終的に議決をするのは議員だと思いますので、アンケートの結果や直接、皆様の意見や市職員の意見を聞いて、自分たちで判断していきたいと思います。

◆検討期間中の災害対策について

参加者）

スピード感があまりにないのではないか。長く検討するほど経費もどんどん膨らんでいる。可児市が古くなった商業施設に図書館を増設するというプランを見て、なんて頭が柔らかいのだろうとびっくりしました。現庁舎はお尻に火がついているくらい古い建物で、明日地震があったら市役所が使えないとなったら困るにもかかわらず、何年もかかるスケジュールで市民の意見を聞いているが、もし有事の際、現庁舎が使用できなくなった場合の市役所の代替を考えていたりするのか。

市職員）

現庁舎は 62 年が経過した建物で、県下 21 市の中で最も古い建物になっております。耐震工事は行っているので、震度 6 強がきても、いきなり倒壊はしないと思っております。ただ、熊本地震のように、震度 6 が来て、その後にまた余震で震度 6 が来るような、我々の想像した以上のものが来たら、耐えられるかは、かなり疑問符がつくと思いますし、建物、いわゆる箱物は耐えたとしても、設備が使えなくなる恐れがあり、災害拠点として機能することは難しいと思っています。そのため、文化の森 2 階の情報学習室で、代替ができるように、設備を整えさせていただきました。自家発電装置も付けておりますので、いざ、現庁舎が使えなくなった時には災害拠点とする準備は進めさせていただいています。ただ、先ほどお話しされたように、あまりにも時間がかかるのではないかというご意見について、私も同感ですので、少しでも早くやっていきたいと思っております。市長の考え方と市民の考え方がすり合ったところで、いかに早くできるか、事務局としては常に最短のスケジュールで動いていますので、ご理解いただきたいと思っています。

◆市民の関心について

参加者）

なぜ新庁舎について関心・興味のない方がたくさんいるか、どう認識されていますか。

市職員）

アンケートの中でも、市役所に年に 1 回しか来ない、 あるいは市役所って行ったことがないという人が結構お見えになっていて、そういったところが無関心・興味がないというところに繋がっているのだと思います。

参加者）

人は目に見えないと魅力を感じることができないと思うので、決定案や固まった案でなくても良いので、どういったものを考えているだとか、まだまだ使える空き家を活用するだとか、前回の検討時に示していたように、写真などで見える化した案を市役所の入り口や放送などで見えるようにしてもらえるとワクワクすることができると思う。

市職員）
　前回行っていたような、パースや写真を使った周知を今回もやっていかないといけないと思っています。

参加者）
　なぜ同じことを繰り返すのかが理解ができません。

◆太田南地区の発展について
参加者）
　旧計画で、太田南地区に新庁舎をつくるということで、商工会としても昔の賑わいを取り戻そう、組合を作って頑張ろうと夢や構想を描いた中で白紙となった。旧計画であった前の駅前通りのところでだめなのか。

参加者）
　今までも色々な政治家の方たちが太田南地区の再発展を謳われてきたが成功してこなかった。美濃加茂市にはたくさんの地区があるが、それぞれの町に役割があると思うので、美濃加茂市として街をどうしていきたいのか方針を出してほしい。

参加者）
　旧基本計画で決まっていた駅前にできるだろうなと思っていた人、太田の町の活性化を期待した人はたくさんいるので、白紙にしたのであれば、今後、どのようにしていくのか、コンセプトや指針を示してもらわないと関心度も下がってしまう。

◆現庁舎について
参加者）
　現庁舎が岐阜県最古の庁舎なのであれば、それを売りにしてもいいのではないか。天井が落ちるのであれば、落ちないように変えればいいのではないか。新庁舎建設に多額のお金がかかるのであれば、岐阜県最古の市役所として現庁舎を残して売りにすることもできるのではないか。

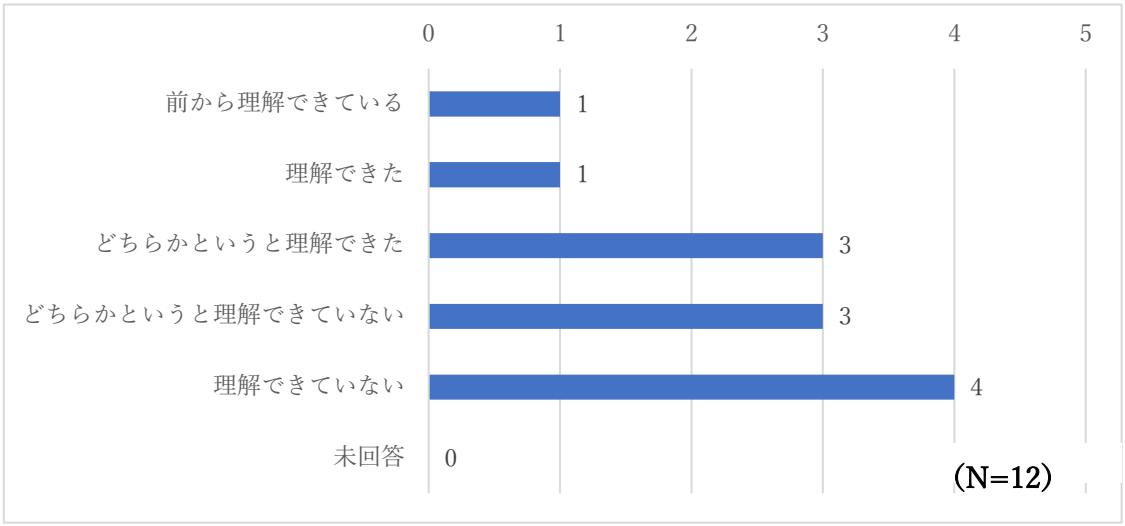
(2)アンケート結果の概要　※回答者数　12名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できていない」が最も多く、次いで「どちらかというと理解できた」、「どちらかというと理解できていない」が続いた。

	回答者数【N=12】
前から理解できている	1
理解できた	1
どちらかというと理解できた	3
どちらかというと理解できていない	3
理解できていない	4
未回答	0
合計	12

図 1.　新庁舎整備の理解について

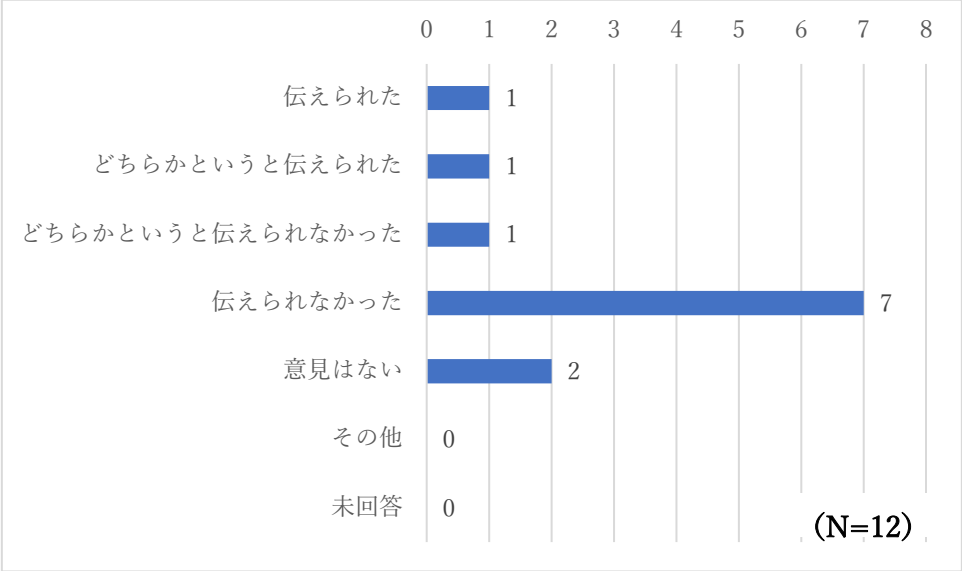


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられなかった」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=12】
伝えられた	1
どちらかというと伝えられた	1
どちらかというと伝えられなかった	1
伝えられなかった	7
意見はない	2
その他	0
未回答	0
合計	12

図 2.　ワークショップでの意見について

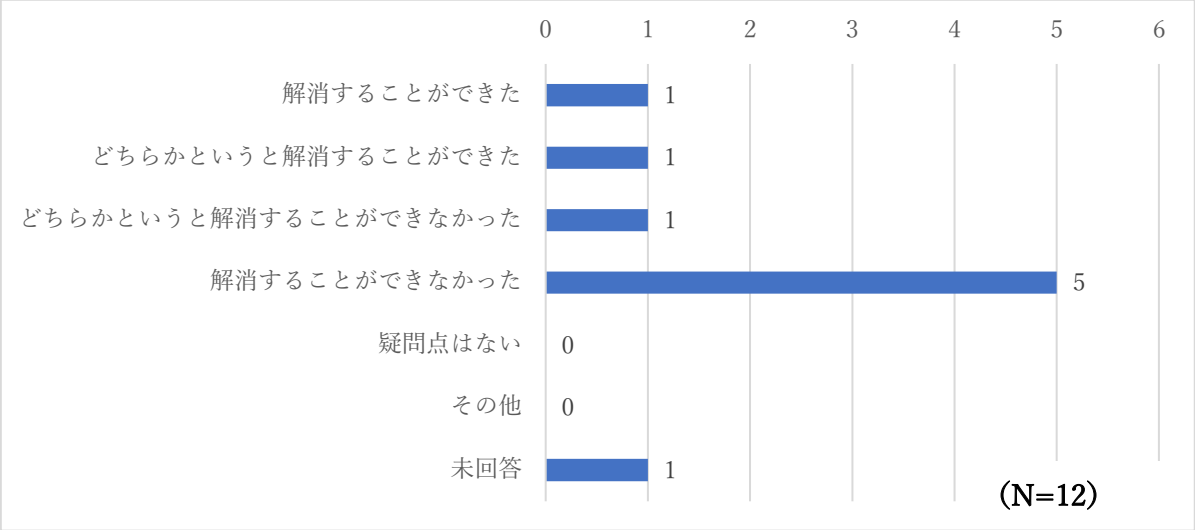


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」、「どちらかというと解消することができた」、「どちらかというと解消することができなかった」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=12】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	1
どちらかというと解消することができなかった	2
解消することができなかった	7
疑問点はない	0
その他	0
未回答	1
合計	12

図 3.　本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？



〇問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。（自由記入）

◇自由意見
・市長の白紙撤回の理由
・何故白紙に戻して0からになったのか。

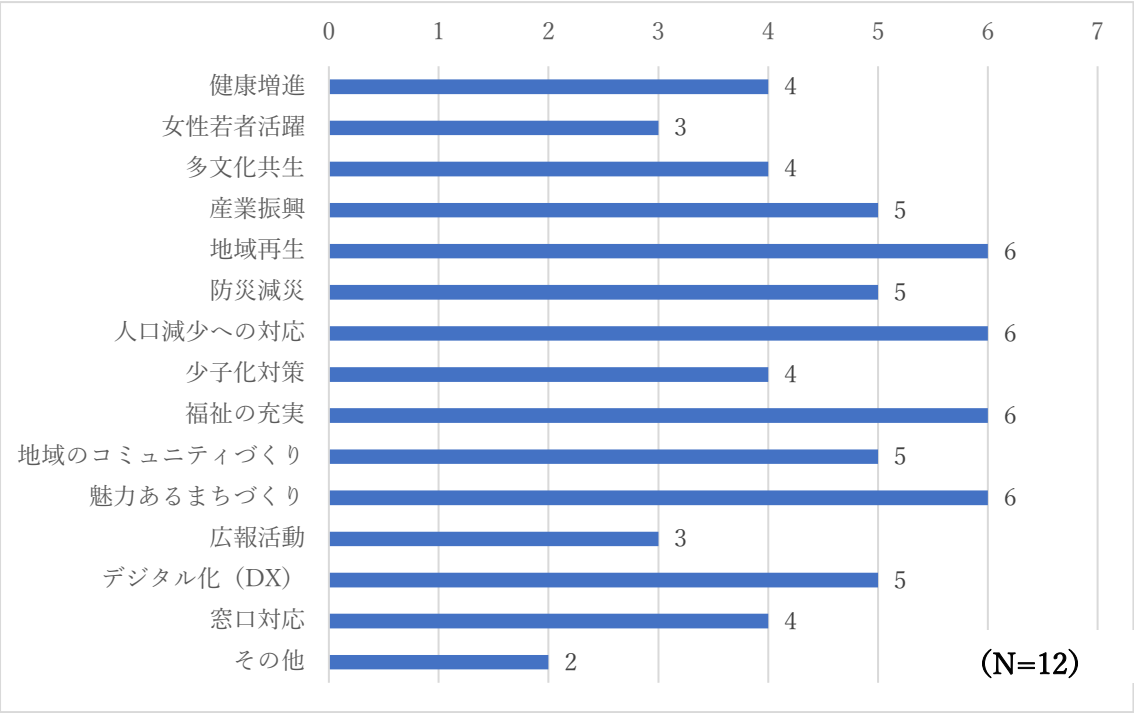
問 4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？（複数回答）

「地域再生」、「人口減少への対応」、「福祉の充実」「魅力あるまちづくり」が最も多く、次いで「産業振興」、「防災減災」、「地域のコミュニティづくり」、「デジタル化（DX）」が続いた。その他の意見で、全ての項目が思い浮かぶという意見もあった。

	回答者数【N=12】
健康増進	4
女性若者活躍	3
多文化共生	4
産業振興	5
地域再生	6
防災減災	5
人口減少への対応	6
少子化対策	4
福祉の充実	6
地域のコミュニティづくり	5
魅力あるまちづくり	6
広報活動	3
デジタル化（DX）	5
窓口対応	4
その他	2
合計	68

※複数回答有

図 4.　「市の役割」について

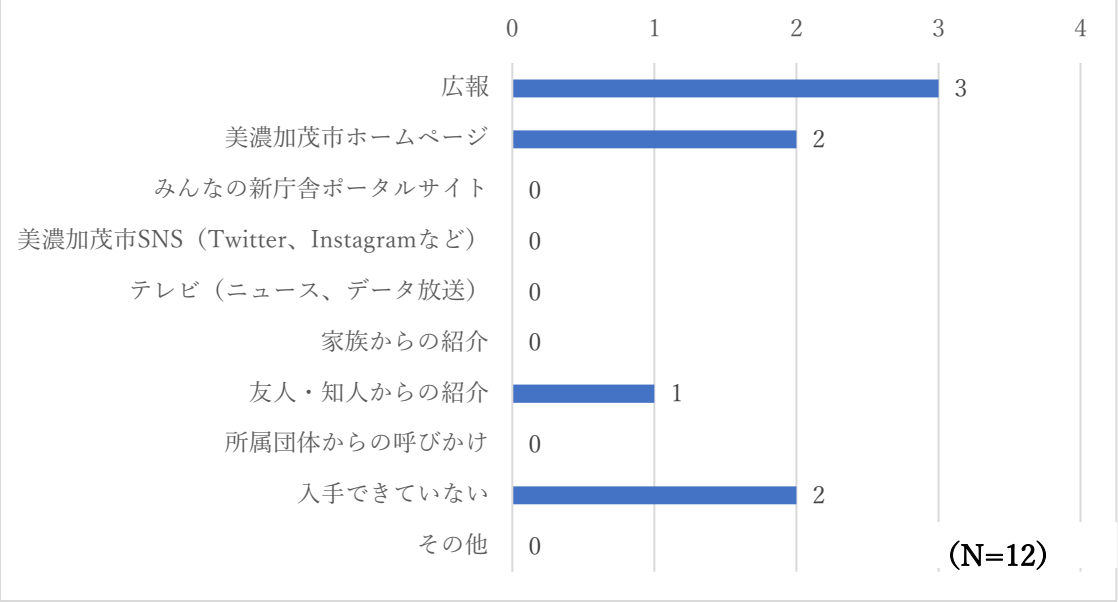

0
1
2
3
4
5
6
7
健康増進
4
女性若者活躍
3
多文化共生
4
産業振興
5
地域再生
6
防災減災
5
人口減少への対応
6
少子化対策
4
福祉の充実
6
地域のコミュニティづくり
5
魅力あるまちづくり
6
広報活動
3
デジタル化（DX）
5
窓口対応
4
その他
2
(N=12)

問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」、「入手できていない」が続いた。「友人・知人からの紹介」という意見もあった。

	回答者数【N=12】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	0
入手できていない	2
その他	0
合計	8

図 5.　新庁舎整備に関する情報の入手方法について　※複数回答有



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。（自由記入）

◇自由意見

・庁舎移転と街の賑わいは別物です。市議会議員の話も耐震の事を挙げていたが、何処に移そうが同じ事なので解っていらっしゃらない。時間の先延ばしは止めお尻の日にちを決めて事にあたっていただきたい。

・とにかく早く作って欲しい！！アンケートワークショップやりすぎ。

・「市民みんなで検討しているよ」感の見え見えのアリバイ作りはもういい加減やめて、スピード感もってやれよ！

・新庁舎整備委託料についてワークショップ初回に伝えるべき！！

・スピード感がない

おでかけワークショップ（一般社団法人　中濃法人会　美濃加茂支部）
ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年8月25日（金）　15:00～16:00

場所：商工会議所

参加者（事務局を除く）：会員　15人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆災害について

参加者）

岐阜県には美濃加茂以外に市がありますが、60 年以上経過した庁舎でまだやっている所は他にもあるのか。震度 6 のような地震が起きた時にどれくらいの世帯が崩れてしまうのか。市民の意見を聞くのも大事ですが、言いたい放題いう人がいるので揉めるのであって、ある時には決断が必要になってきます。市長、市役所建設部の慣れているプロにこのマスタープランを任せてもいいのではないかと思います。

市職員）

岐阜県内の中では、一番古い建物になっていることは間違いありません。やはり建て替えをしている各務原市や土岐市など、実は同じ場所に建て替えるというのは案外早く進みます。場所を変えるとなると少し時間がかかるところもあります。今後、美濃加茂市も皆さんのお話をさせて頂く中で例えば今の場所にもう一度建てるという話や、あるいは違う所へ建て替えるかということもあるかもしれない。それによってスピード感も少しずつ変わってくるかと思っています。

新庁舎が水に浸かったとして 1、2 階が浸かっても 3 階以上がしっかりと機能していて、災害の拠点となればいいのではという意見もあるので、そういった事もしっかりと踏まえながら、お話していきたいと思います。

市民の皆さんから話を聞けば聞くほど、色んな話が出てきます。最後は皆さんの一つの意見になることは、多分簡単にはいかないと思いますが、行政としてもまちづくりのプロフェッショナルとして我々が最後は、時間がかかりすぎる、お金がかかりすぎる、土砂災害の危険の可能性が高いなどを見極めて、しっかり責任を持ってここにするということを議会に上程していく責任は我々にあると考えております。

参加者）

私は、関市に住んでいます。関の市役所、旧市役所は山の斜面に建って、駐車場も遠かったですし、今の立地は市民の方から水害が危ないとか、ちょっと不便だと言う意見もあります。

市職員）

美濃加茂市の場合、今の場所だと不便だという話、駐車場が狭い部分については、少しお話いただいていますが、場所的な事に対しての不満はないです。ただ、100 年や 1000 年に 1 回の災害で浸かる可能性は十分にあるという事は 1 つの問題点として挙げられています。

また、9 月号の広報誌をしっかりと見ていただいていると思うのでありがたいですが、実を言うと 40 年前に美濃加茂市は 9.28 災害の非常に大きな災害に遭っています。木曽川の水が十六銀行辺りまで浸かりました、あの時下水などがなっていなかったので、相当な下水も溢れましたし、各家庭の畳も腐って、非常に大変な事になった事が市民の方の心の中に残っているところがあり、浸水がある所は嫌だという意見が非常に強いのは、美濃加茂の特徴であると思っています。

だからといって今のところに建ててはいけないという理由もないです。例えば 1、2 階は立体駐車場にして 3 階以上を災害拠点、対策本部にすることもできます。そこをどうしていこうかという所を皆さんと詰めていきたいなと思います。

参加者）

水害の話が出ましたが、浸かっている時間を考えれば、そこまで気にすることではないのかと思います。本当にたくさんの意見を聞いてコンセプトをまとめるのは、非常に大変な作業だと思います。ですが、コンセプトを決めてそれに見合った庁舎を作っていただくのも大事だと思います。これから人口はそんなに増えることがないと思うので、その辺りも考えていただいた規模の調査を作って頂ければと思います。

市職員）

人口の話ですが、皆さんも地方創生という言葉を耳にされた方あるかと思います。少子化、高齢化が進み、人口減少して消滅可能性都市と言われた町もあります。美濃加茂はどこに入るかというと、実は微増ですが、人口がまだ増えている町でもあります。

そうすると外国人が増えているから、人口が増えているのだという方も非常に多くみえますが、日本人の人口もほぼ横ばいです。これもちょっと全国的には珍しい状況の町だからといってこれから人口が 6 万、7 万人と増えていくかというとそれはさすがに無理だと思っています。地方創生として美濃加茂市も人口ビジョンを作りました。その時に美濃加茂市の人口はどこがピークで下がっていくかというと、2035 年から 2040 年くらいがピークになり、そこから下がっていく。この下がり幅を少しでも下げようと努力を

しましょうとなりましたが、今おっしゃられたように人口が減っていき、当然税収も減っていくので、その時にあった庁舎という事も視野にいれながらぜひ考えていきたいと思います。

◆プロセスについて

参加者）

説明をお聞きして、非常に完成形を求めているように思います。色んなプランがあって、そのプランの１つが出てくるとそれに付帯する色んな事項があります。

民主主義というのは基本的にみんなができないから専門家に任せるということで、何を我々が求めているかというと、完璧な市役所を求めているのではなく、毎日の行政を滞りなくやっていただければいいと思っています。もう少し柔らかくやっていただけるとわかりやすいです。

市職員）

全体、プロセスをお話させていただきました。８ ページの中でこれまでのプロセスと新しいプロセスの事を説明させていただいたのですが、決して、過去のこのプロセスが悪かったかと言われるとそうではなく、全国でやっている流れと同じ流れ方をやっています。そこに対して問題はなかったと思っていますが、ただその情報が市民に伝わっていなかったから、市民の皆さんから「いや、俺たち聞いてないよ。そんな話だったの？」という事で反対される方もおみえになったので、そこは我々もしっかり反省しなければならないと思いました。今回新しいプロセスで最初から市民の皆さんと話していこうと、プロの有識者をいれるのではなく、市民意見をまとめていこうという方向性になりました。我々も手探り状態で、全国でもこういった形で市役所、庁舎を作っていくケースは稀なので、もしかしたらこの方向性を変えなきゃいけないことも視野に入れていることをご理解していただきたいと思います。

参加者）

市の職員は行政のプロなので、大前提の条件から漏れるような候補地が出て困らないよう、「こういう条件の中から考えてくださいね」とある程度提示しておけば、そのスケジュールはもっと前倒しにならないですか。

市職員）

スケジュールを少しでも前倒ししたいところは、我々も事務局も同じ考え方です。少しでも早くとは思っています。その為にどういった手法がいいかという部分について、その前提条件を先に出したりすることがいいのか。中にはそれを出すと市が誘導してしまうという批判も、前回たくさんありましたので、それらをどう見極めて、どのタイミングで出していくのか我々も今必死になって考えて進めています。これからステップ３ をやっていく中でどういった段階、あるいは4、5の中でどう出していくのかその辺も我々も見極めさせていただいていますので、ご理解いただきたいと思います。

◆SNS・媒体について

参加者）

SNS をという話があり、皆さんへ情報が行くとは思いますが、美濃加茂以外の人が見ることができ、何かと問題を言ってくる場合もあるのではないかと思います。市の事は市で片付けていかないとと思います。たくさん情報をもらっても、私達の町はやっぱり私達の町だという風に進めていかないとと思いまし

た。一遍に情報を市民に知ってもらうというのは、ここでうたってしまうと逆にデメリットがあるものではないかなと感じました。

市職員）

SNS は本当に色んな方が見ていて、全国、世界のすべての方がみて、美濃加茂に関係ない方からもご意見がきっと出てくると思います。

実は昨年の 7 月～8 月にかけて市民 4000 人の方にアンケートをとりました。その時「どういった媒体を使って情報を得られますか？」という質問をさせていただきました。一番高かったのは広報誌です。広報誌で情報を得たいという人が非常に高かったです。ただそれを年齢層に分けてみますと、10.20.30 代はやはり SNS が情報を得やすいと出ています。だから Yahoo ニュースとかで取り上げてもらう形でもいいですけど、やはりインフルエンサーとして誰かに情報発信をしていただく。年配の方たちは割と新庁舎等に興味があるのですが、若い年齢の方たちがそういったことにあまり興味がないので、しっかり情報発信をして振り向いていただくことも大切だと思います。

当然リスクも踏まえた上で考えていく必要があるので、いただいた情報を鵜呑みにするのではなくて、しっかりと整理をした上でやっていく必要はあると思いながらも、ありとあらゆる形での媒体を使って情報発信をしていきたいと考えております。

◆上位計画について

参加者）

立地適正化、コンパクトシティを盛んに言っていましたが、それはまだ行政の色んな都市デザインをする考え方の中に残っていますか。例えば庁舎はその中で都市拠点に入ってきますよね。誘導区域内にその都市拠点というものを建設しないといけないということであれば、今回の手法をみるとアンケート等が主体になっていますが、最初の前提で網をかけないと、全くそのコンセプトから外れた候補地が出てこないかなと思います。

市職員）

立地適正化計画については、当然生きています。ただどんな計画でも何年かに 1 回は見直さなければならないので、今後今の時代にあったものに変えていく可能性はあります。

今言われたように、この計画とまた違った答えが出てきたらどうするのかということもあると思います。複数の候補地のアンケートを行う前に、市としても前提条件を出していかなければならないと思います。例えば極端な話ですが、土砂災害のレッドゾーンと言われるところを 1 つに選ぶわけにいかないわけです。そういった事も踏まえながら、立地適正化計画や都市計画マスタープラン、美濃加茂の最上位計画である第 6 次総合計画にあったところが一体どこなのかという事も踏まえた上で、最終的には整備地も絞っていく作業は必要になると思います。

◆見直し方法について

参加者）

2 ヶ月前に転勤してきたばかりですが、一個人の意見として、基本構想、基本計画が全て白紙で構想の4候補地が白紙になったと記載がありますが、その理由が市民の意見の聴取が不十分であったのであれば、元々の基本のベース構想に市民の意見を整合させて、市の方からこういう案はどうですか？とやった

方が時間的にも短くなると思いますし、予算的にも新しく 1 からスタートするよりもかからないと思いますが、その辺はいかがですか。

市職員）

旧基本構想あるいは基本計画を策定するとき、市民の方たちとワークショップをずっとやっていました。その時の候補地が、実を言うと 8 ヶ所の候補地を市民の方から出していただいた。それを策定委員会の方で 4 つに絞り込み、その後、未来のまちづくり委員会で有識者たちが入って、4 つから 1 つに絞ってきた経緯があります。この 1 つになった事を説明会で市民の方にお話したら、やはり情報が伝わっていなくて、いきなり 1 個でもってきたという話になってしまいました。しっかりと情報が市民の方に伝わってなかったと反省し、今回は最初から皆さんと一緒に考えてそれを絞り込んでいく作業になるので多少時間はかかるかなと思っています。

参加者）

きちんとした計画が出ているのを、初めて知ってびっくりしました。市にお金がいくらあって、いくらならこの調査に出せるのか、大体いくらくらいあればいいのかを考えて土地の購入を考えると、ここは無理だとかいいとかなるので、その辺りの絞り込みと、お金がどのくらいを考えてみえるのかなと思っています。

市職員）

市役所を作るのに 100 億かけてもいいよ。200 億かけてもいいよという意見もあるかもしれませんが、市民の生活をこれから支えていく行政がどれだけでも借金していいわけではないと思います。大体一般論で、他市町村が建てている庁舎が大体 50 とか 60 億という金額になります。

それが、新しく用地を取得するのか、あるいは元々持っていた土地なのかによっても変わってくると思いますし、市民の皆様から色々お話を聞いていると、ある程度賑わいとして、こういったものを入れた方がいいのではないか、市役所の職員が働く場所なので、箱物でいいじゃないか、という意見もあります。それによって大きさが変わってきます。一般論として県内のものを調べる限り、50、60 億くらいはかかるかなと思います。人件費や資材が高騰している時代にどこまで抑えられるのかというのも我々はしっかり調査していくべきかと思っています。

◆市民と市職員について

参加者）

共通認識を得るということで、市の職員の認識と市民の方の認識の共通認識を得たということになっていますが、実際に新しい庁舎で働かれる職員の方たちが自分たちの意見が反映されているか、自分たちの思いが反映されていると思う事が出来れば、今後も優秀な人材が来るのかなと思います。

市の職員の方々も合意形成やワークショップに出て、職員の代表として出られると思いますので、作ってもらう形ではなくて、自分たちも参加して新しい庁舎を作ったと言えることができると納得感があっていいのではないかと思います。具体的なそういった活動が内部で話は出ているものなのでしょうか。

市職員）

昨年、市民 4000 人にアンケートを取った際に、実は職員にもアンケートを取り、市民の考え方と職員の考え方にどれくらいのずれがあるのか、今働いてるところで何が不便で、こうしたらもっと市民の方にも

っと利用していただけるんじゃないか等、意見を聴取しました。また、仕事が終わった後、生涯学習センターで説明会や意見交換会などもしていました。市民ワークショップを交えた結果をもって、市職員とも話して、やっていきたいと思っています。

◆新庁舎の規模について

参加者）

最近の市役所や県庁は市民の人口に合わせた大きさには似合わないような建物を建てていると感じ、もっとコンパクトでいいのではないかと思います。

市職員）

市民や市の職員の数から基本的な建物の大きさは国の基準が示されています。それに照らし合わせると今の庁舎は小さいです。小さくても、なんとかなっているのは、隣の生涯学習センターで会議室は使えるからというところがあります。これから建てる所で何か他の公共施設と隣あって会議室を上手く利用していければ、良いと思います。例えば関市のように郊外に建てて周りに他の公共施設がないとなった時は、会議室を作らないと回りません。大きくしないといけない場合もあるので、その辺はこれから建てる場所や機能、そういう事を見据えながら、どの大きさにしていくか考えていく。それによって費用も大きく変わるので、そこはしっかりと見極めていきたいと思います。

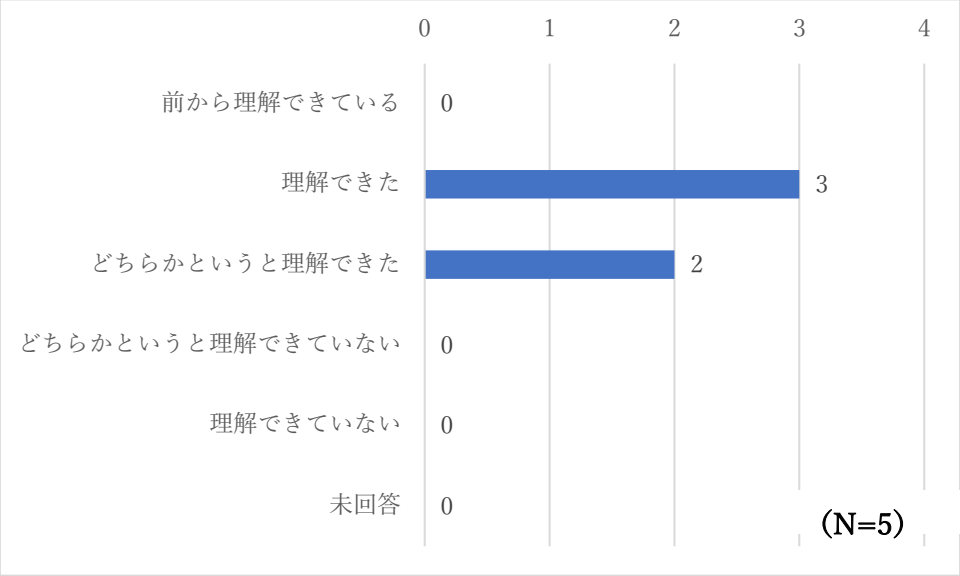
(2)アンケート結果の概要　※回答者数　5名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかというと理解できた」が続いた。

	回答者数【N=5】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかというと理解できた	2
どちらかというと理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	5

図 1.　新庁舎整備の理解について

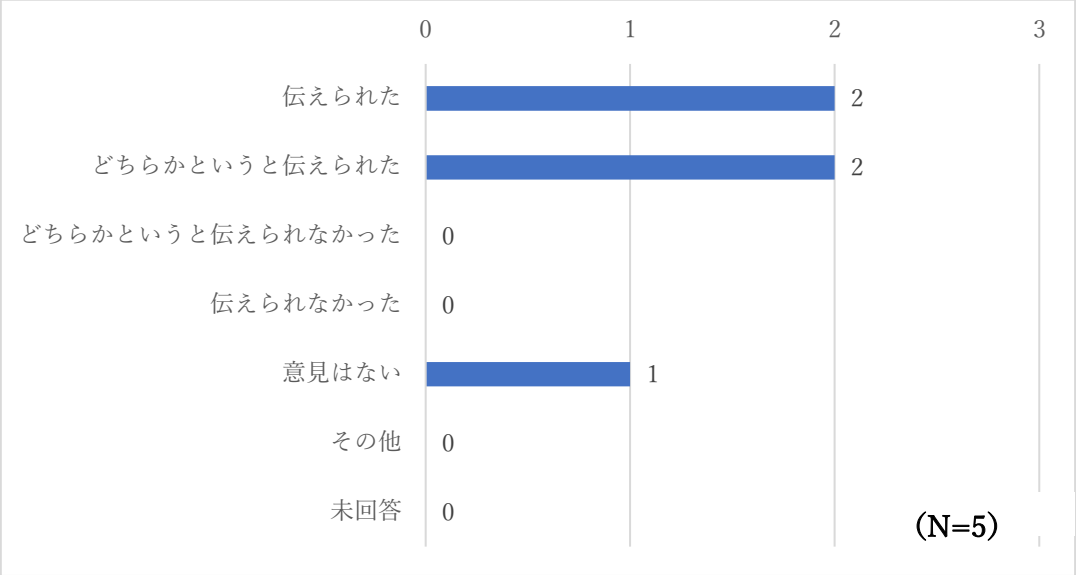


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられた」、「どちらかというと伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=5】
伝えられた	2
どちらかというと伝えられた	2
どちらかというと伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
未回答	0
合計	5

図 2.　ワークショップでの意見について

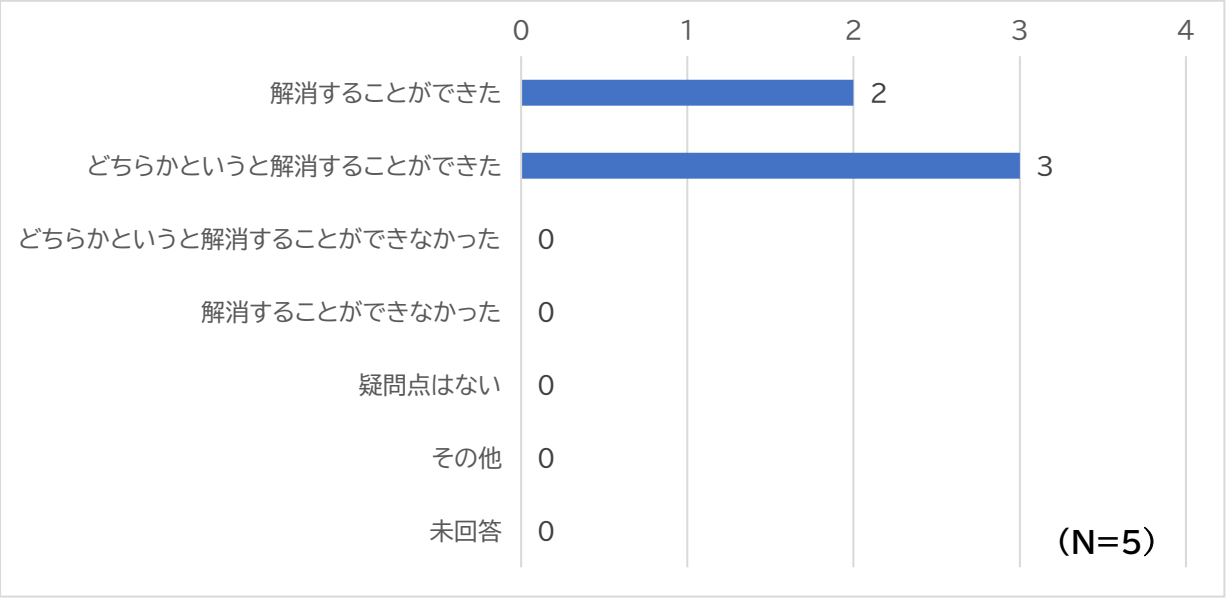


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=5】
解消することができた	2
どちらかというと解消することができた	3
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	5

図 3.　新庁舎整備に対する疑問点解消について



〇問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。

◇自由意見

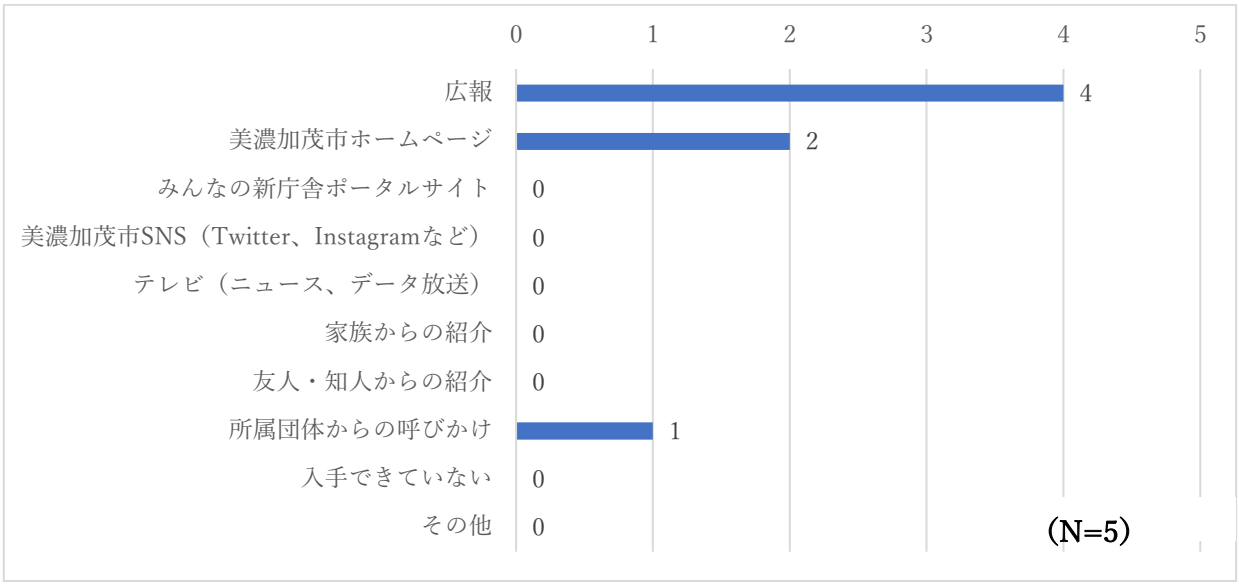
・市町村合併の話の再燃はないのか、合併した場合の検討は？庁舎は合併をした場合

問 4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=5】
広報	4
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 4.　新庁舎整備に関する情報について　※複数回答有



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。
（自由記入）

◇自由意見
・他の市町からも頼られる行政と地域であり続けたい！交通の要で、他の市町から羨ましがられる美濃加茂市であり続けたい
・建設費を安くお願いします。

おでかけワークショップ（みのかも市民会議）
テーマ：市民が考える「10 年後の市の役割」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年 8 月25日（月） 18:00～19:30

場所：リバーポートパーク美濃加茂

参加者（事務局を除く）：13人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題：市民が考える「10年後の市の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

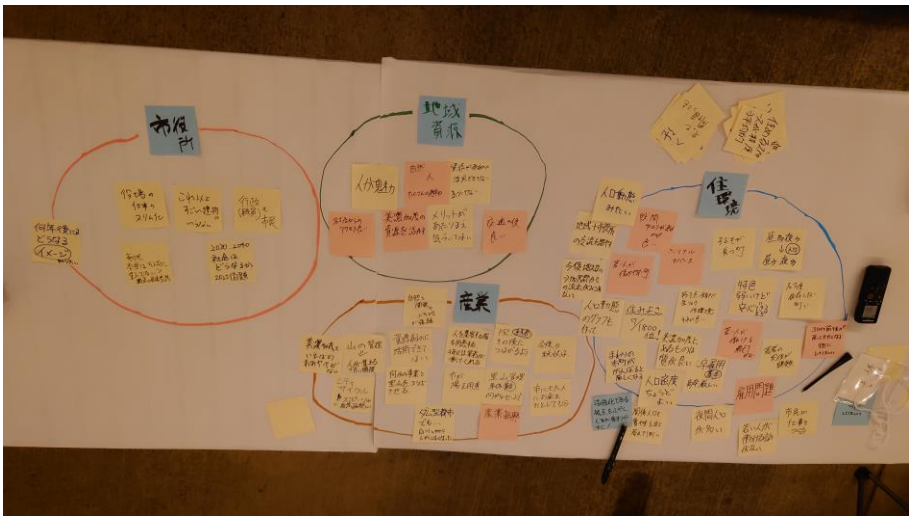
2. 結果の概要

（1）全体の傾向

各開催日において、10年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

地域資源を生かしてほしいという意見が多く、特に自然や里山を活かして産業を発達させるという意見が多かった。また、若者の雇用環境や子育て環境を整えること等で、ほどよく住みよい住環境があること求める意見が多かった。

(2)ワークショップの結果の概要



カテゴリー	市民の方の意見	補足
市役所	何年後にはどうなるイメージ知りたい	
	これ以上すごい建物はいらない	
	行政(職員)も市民	
	本当はそんなに望んでない？職員の○○○○	
	2030.2040 社会はどうなるか？2025 問題	
地域資源	人が魅力	名古屋からのアクセス良い
	資源があるのに活用できてない、気づいてない	自然、人、たくさんの魅力
	交通の便良い	美濃加茂の資源を活かす
	メリットが当たり前、気づいてない	
産業	山の管理→人が集まる→良い循環	
	自然と開発のバランスが課題	
	資源あるのに活用できてない	
	里山管理単体(難)何かとセットで	
	何かの事業と里山をコラボさせる	
	ダム型都市でも…白川とかから人がこなくなった	
	シティサイクル、スポーツでなく産業振興として	
	人を集客する場を用意する→あとは業者が乗ってくれる	
	市が場を用意	
	PR、事業者その後につながるよう	
	美濃加茂といえばのおみやげがない	産業振興
	今後の税収は	
	市に来た人にお金をおとしてもらう	
住環境	人口動態みたい	
	人口動態のグラフも作って	
	今後増えない→加茂郡からの流出がみこめない	
	関係人口を増やす方法を考えて欲しい	
	夜間人口が多い	
	昼多夜少→昼少夜多(人口)	
	活性化できる根点をふやし人が集まりやすく	
	平均点全部！！医療、住環境それが良い	
	美濃加茂にあるものは質が良い	
	人口密度ちょうどよい	
	地域＋市役所の交流を増やす	
	子どもが育つ町	
	特色弱いけど安心できるまち	
	住みよさ 7/1800 位	
	名古屋依存しない町に	
	まわりの市町ががんばると厳しくなる	
	大卒雇用(基本)高卒厳しい	

	若者の定住が課題	30 代前後が戻ってきたく
	若い人が働ける会社がない	若い人が働ける場所がない
	市民が仕事をつくる	雇用問題
	チャレンジできる街にしてほしい	

(3)その他の意見

カテゴリー	市民の方の意見
幸せなまち	ブータンより幸せなまち
	世界のウェルビーイング City になる
流行りに 流されない	時代や流行りに流されず
	流行りはすたれます
	漠然ではなくデータと科学的な視点で
モデル都市	ほぼほぼなまち
	スキマ→伸びしろ(余裕)
	スリム化
	モデル都市？
	当たり前のメリット→魅力点を強調し人が集まりやすい拠点づくりを
人との つながり	人と人がつながりやすい町
	どんどん輪をつないでいってほしい
	住みよさ 7/1800 位
	人と人が気軽に声を掛け合えるまちみのかも♡
	人が良い
ほど良い	いいころかげん
	いいころ加減の極み みのかも♡
	「ほど良い」
	いいあんばい
少子高齢化	子どもが育つ町
	若者の定住
	少子高齢化が更に進む社会を念頭に置いて美濃加茂を評価すると、斜陽美濃加茂は更に進み「福祉の向上」を望めなくなる！！
連絡所	新庁舎の件を考えると〈高齢社会〉市として合併した折に定めた「連絡所」の役割が重要視される
資源活用	美濃加茂の資源活用
その他	「ハブ」&「スポーク」システムの強化
	生活環境、発展の余白)マルチリンク、パラレルリンク
	Action
	市が場を用意

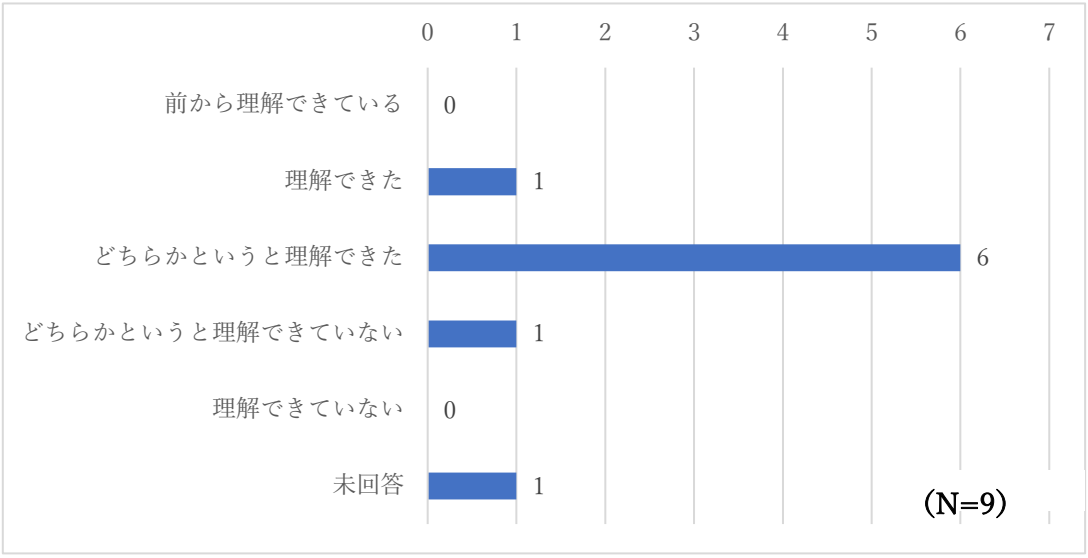
(4)アンケートの結果の概要　※回答者数　9名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「どちらかというと理解できた」が最も多く、次いで「理解できた」、「どちらかというと理解できていない」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=9】
前から理解できている	0
理解できた	1
どちらかというと理解できた	6
どちらかというと理解できていない	1
理解できていない	0
未回答	1
合計	9

図 1.　新庁舎整備の理解について



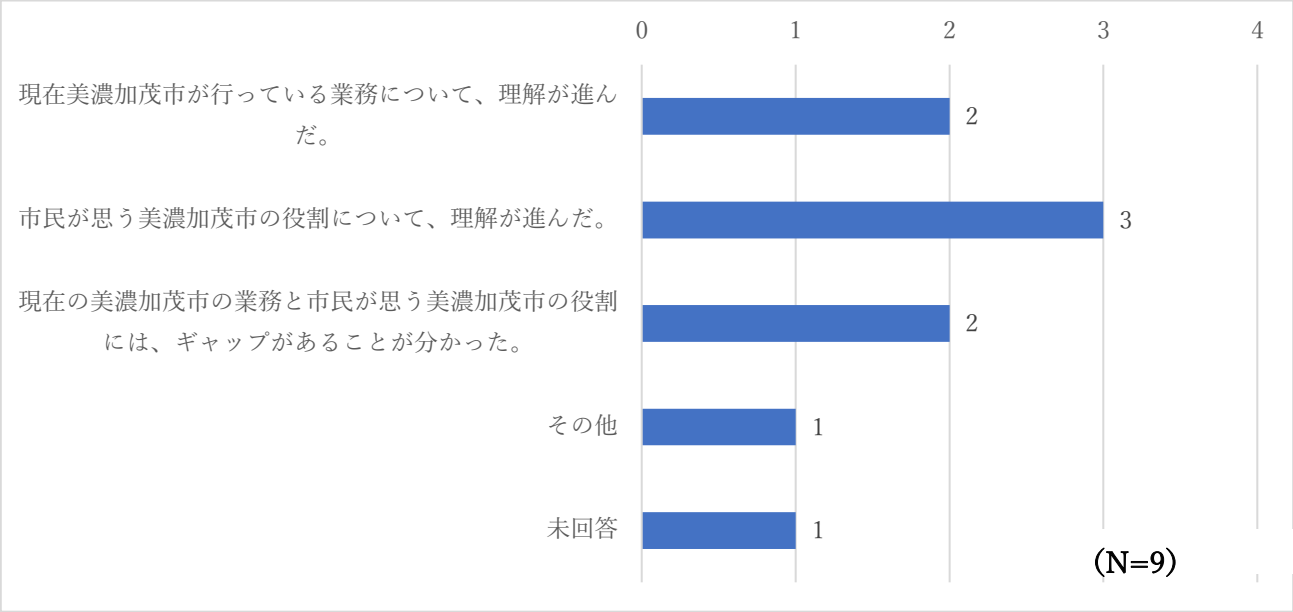
問 2. 本日のワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。」が最も多く、次いで「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。」、「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。」が続いた。

	回答者数【N=9】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。	2
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。	3
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。	2
その他	1
未回答	1
合計	9

図 2.　「市の役割」について

※複数回答有



◇自由意見

・役割というよりいいところ探し？

問 3. 10 年後の市の役割を考えることができましたか。

「考えられるようになった」、「どちらかというと考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」、「考えられない」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=9】
前から考えることができている	1
考えられるようになった	3
どちらかというと考えられるようになった	3
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	1
未回答	1
合計	9

図 3.　10 年後の市の役割について

問 4. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。（自由記入）

◇自由意見

・市役所での取り組みを今以上に見える化してもらえるとよいと思いました。

・新たに、というわけでなくて、基本的な部分である、市民へ寄り添うことだと思います。それをなくして、役割を果たせないのではないでしょうか。

・市庁舎から出て働く、フットワークの良い職員さん達を期待します

・行政としてしなければいけないことを明確にして、地域や外の人と話し合える余裕をつくる必要がある。

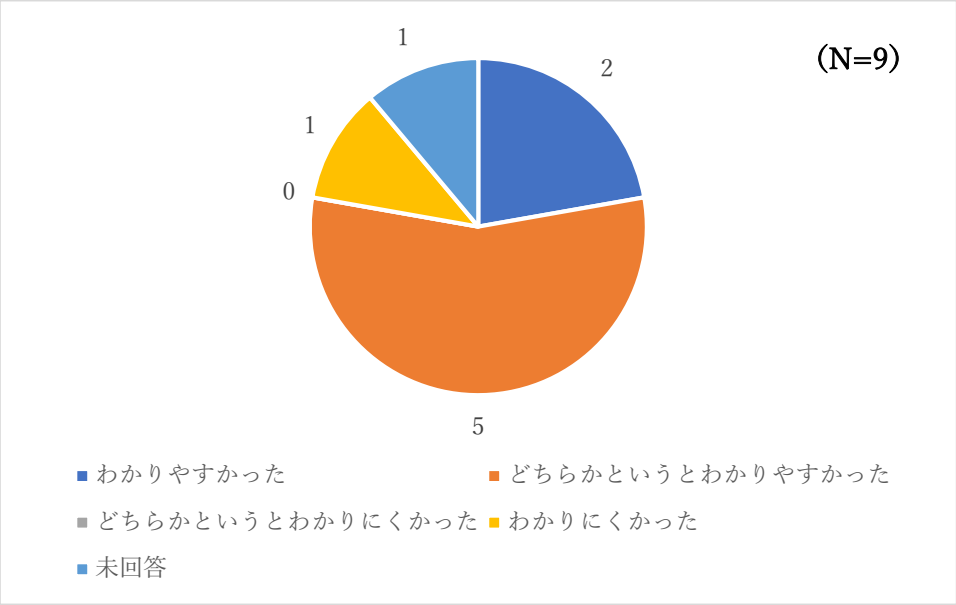
・人とのつながり強化、人が集まる拠点を作る（若者の就職も含め）

問 5. 本日のワークショップの説明について

「どちらかというとわかりやすかった」が最も多く、次いで「わかりやすかった」が続いた。
「わかりにくかった」という意見もあった。

	回答者数【N=9】
わかりやすかった	2
どちらかというとわかりやすかった	5
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	1
未回答	1
合計	9

図 4.　ワークショップの説明について



〇わかりにくい、さらに知りたいと思った内容がありましたら教えてください。(自由記入)

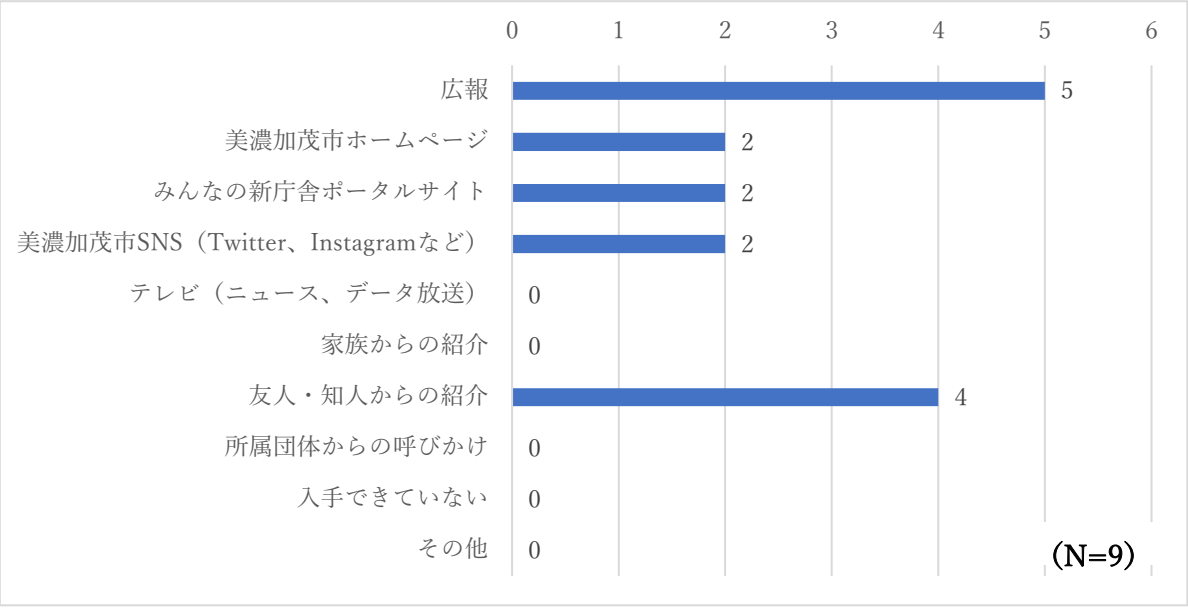
◇自由意見
・導入の部分の説明は、駆け足での説明でしたから、理解はできませんでしたが、資料を読んで理解を深めたいと思います。
・直接市庁舎の事でなく、その前段階のおはなしでしたね。それは良い事ですが
・市民の認識

問 6. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「友人・知人からの紹介」が続いた。

	回答者数【N=9】
広報	5
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	2
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	2
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	4
所属団体からの呼びかけ	0
入手できていない	0
その他	0
合計	15

図 5.　新庁舎整備に関する情報の入手方法について　※複数回答有



問 7. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。（自由記入）

◇自由意見

・方向性を早めに出していただきたいです！

・新庁舎の場所がどこであろうと、ハコの外観がどうであろうと、行政サービスの「質」が保証される事が本質。サービスの質が現状維持ではなく、向上させる事ができるように、現状も問題を把握して、そのソリューションを新庁舎が果たせるように、設計をお願いします。市民の利用をイメージしたカフェやイベント向けスペースなどは魅力的ですが、本当に生活に窮している市民が、また辛い思いをされている市民が、声を出したくても出せない子供たちが、美濃加茂市で少しでも幸せを感じる事ができますように。そのための「市」の働きを、改めて求めます。幸福度の高い人々の意見ばかりに偏重されませぬように、お願い申し上げます。

・すみません、まだ意見するほどの理解ができていません

・ハブ＆スポークシステムが重要視された

おでかけワークショップ（まちオフィス美濃加茂）
ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（主催者・事務局を除く）

日時：2023 年9月6日（月） 18:00～19:00

場所：まちオフィス美濃加茂

参加者（主催者・事務局を除く）：11 人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆財源について

参加者）

新庁舎を建てる財源は何か。

市長）

市の税金や借金等の市の単独財源が基本となります。また、立地適正化計画内のエリアであれば、条件はありますが国からの補助がでる等、建物の内容によって補助金を加えることができます。

ただし、皆さんの税金がベースになるため、使い道を皆さんと考えていきたいと思っています。

参加者）

100 億と 60 億の費用案を比較して、60 億の案が採用された場合は、要するに余った 40 億は、他の事業に回せるのか。

市長）

新庁舎にかけるお金が圧縮されればされるだけ、他の予算に回すことは可能です。

前回計画の 60 億円という建設費が特別高かったかというとそうではなく、市役所と一緒に他の用途も作る作戦でありました。新庁舎はコンパクトにつくり、新庁舎以外の前平公園や中央体育館等、歴史を持ったスポーツ施設や図書館等、公共施設を今後どうしていくかに予算を使うこともできます。また、箱物だけではなく、こどもたちの給食費無償化や医療費等、予算は限られる中で使い道は様々あるので、どう予算を回していくかが大前提になります。

◆現庁舎について

参加者）

今の庁舎はどうなるのか。

市長）

色々な選択肢があります。今の庁舎をリノベーションして使うことや同じ場所で立て直すこともできますが、どれ程の予算が必要となるか検討中です。

また、現庁舎は地震が起きた場合どうなるか、よくご質問を受けます。現庁舎は耐震補強が済んでいるため、地震でいきなり倒壊することはありません。しかし、熊本地震のような震度 6 以上の地震が連続で起こると、不具合が生じる可能性があります。こういった危機感がある中で、庁舎を直していくのか、作り変えるのか、作り変えるのであればどこにするか議論、整理という話が出てきています。

◆コンセプトについて

参加者）

前回計画時も広く色々な議論があったと思います。自分も参加したが、ワークショップがあり、色々な年齢層へのアンケートや有識者会議、市議会での議論もあり、決して閉鎖的であったとは思いません。今回始まった再検討に、自分たちも参加してきたいと思っているが、いずれにしても聞いてないという人は出てくると思います。圧倒的な得票率で選ばれた市長が未来を描いていく中で、どんな庁舎であるべきで、どの場所に作りたいということを明確に打ち出しても良いと思います。最終的には行政が決めるので、求める機能やコンセプトのようなものを教えて頂きたい。

市長）

ワークショップを何のためにやるかということであるが、市民一人ひとりが人任せにしないで考えていく姿をこども達に見せていかないと、未来を担うこども達も人任せにしてしまうと思います。新庁舎という、市にとって大きな買い物をする機会を、市民の皆さんと考える機会としたいと思っています。

コンセプトについても皆さんと考えていきたいと思っているが、大事だと思っていることとしては、時代の流れにあったものをつくらないといけないと思っています。また、新庁舎ができた場所とその周りをどう発展していくかを考えなければいけないと思います。実際、全国の市役所をみてみると、市役所自体が賑わいを生む効果は少ないが、投資をする以上、どうすれば周りも一緒に活性化していけるかを考えたいと思っています。

◆再策定の評価について

参加者）

前回と同じようなワークショップをやったり、同じようなステップを予定しているが、どれくらい今回は頑張ったのかをできれば数字で出してほしい。

市長）

前回の計画時、どこから皆さんと意見がずれてしまったのか、庁内で検証しました。構想段階では多くの人にワークショップ等に入ってもらっていましたが、最終的な決定に至り、計画を作る段階で市民の方々が意見を言う場が急に無くなりました。市役所としては、ここまで意見を聞いたから、この先は市役所で最善を決めていこうという覚悟で計画を作っていましたが、最終的にアンケートを取った際、場所や規模や予算の話でみんなの意見が全然通ってないのではないかと反対する人が結構いました。したがって、今回はアンケートを定期的にとり、常に市民の方々がどの方向を向いているか確認をしながら進めていきます。時間は多くないですが、アンケートやワークショップの結果がどうなっているか、数値的にも公表し、常に透明性をもっていかなければいけないと思っています。

市職員）

旧基本構想・基本計画の策定時もワークショップやアンケートを行っていましたが、コロナ禍もあり、参加者は少なかった実状もあり、昨年実施した市民アンケートでも、もっとたくさんの意見を反映する必要があるという声も頂きました。今回はワークショップで複数の意見を頂いて、アンケートでどの意見が市民の皆さん全体の意見として多いのか、統計的な根拠として示せるようにしていきたいと思います。

◆投資効果について

参加者）

新庁舎を作るための、予算は損失だと言われていますが、仮に、投資だとした場合、税収の増加が効果になるかと思います。そうなった時、年間どのくらいの税収が増加すれば、投資効果があったとできるのか、評価基準などありますか。

市長）

公共施設は一般的に「コストセクター」と呼ばれ、コストしか生まないと考えられています。ただし、成功した例として、地方にプロ仕様のバレーコートの体育館をつくったところ、毎週のように大学生が合宿に来るようになり、周辺にホテルができ、消費が増えた自治体があります。結果的に体育館の投資を 10 年程で回収しようと計画していたものが、3 年程で回収できました。しかし、公共施設の中でも投資効果を生まないと考えられているのが市役所となります。今、デジタル化で市役所に行かなくて良いまちにしていこうという流れがあることを考えると、お金の回収は難しいです。あい愛バスのように、バスの料金で投資回収するだけでなく、バスがあることで消費が増え、まちとしての投資効果を生むように、複合的な投資効果を作ることが目標となります。

参加者）

前回の計画で商業ビルと市役所を合わせていましたが、一緒に商業施設を建てたとしても市は潤わないと思います。また、最近は民間の協力を得て、民間の建物を使わせてもらう動きもあると思います。名鉄の神宮前の開発では、従来の駅ビルではなく、平屋のお店を複数つくるということを計画しており、すごく安価に建設できる事例もあります。税金をたくさん使って立派な建物を作っても、何十年後には足かせになるので、若い人たちが喜ぶとは全く考えられません。

市長）
民間の参画というのは本当に大事な話だと思います。同じビルでも民間が建てる場合と行政が建てる場合だと、行政は価格等すべてがオープンになることや、民間の付き合い等の理由で、民間の方が圧倒的に安くできることがあります。官民連携といった方法も考えていかなければいけないと思います。
また、全国的に再開発が進んでいる所を見に行くと、まちの中で一番良い場所に大きなビルを建てることはしていません。公園やこどもたちが遊べるような場所を作るなど、再開発のイメージは今どんどん変わっています。今までは高山に向かうお客さんたちが素通りしていた美濃太田駅にちょっと寄ってみようと思ってもらえるような地域・場所にもできると思うので、市民の方にも神宮の事例を見に行ってみたり、他の地域を見に行ってみる気持ちになってもらったりして、まちづくりの話をしていきたいと思っています。

◆駅前再開発について
参加者）
駅前を大きく変えていくとなると、シティホテルをどうするかという問題があると思います。暗く、築年数も経っている建物ですが、毎年少なからず維持管理費が市から出ているのは明らかだと思うので、公園等、何かここから動き出すことで、シティホテルの西側エリアも動き出すことができると思います。民間側としても、新しいまちをつくりたいと思っていますが、大多数の地権者がシティホテルについて気にしています。
市長）
議会でもシティホテルについては話をしていますが、シティホテルの維持運営に年間約 4,000 万円を支払っており、今後は建物が古くなっていくので、もっとお金がかかることになります。このエリアにとって、シティホテルの場所が大事なのはわかっているので、エリアの方々からすると、この場所に何があってほしいか、どんな感じが良いかを西・東地区のみなさんとも考えていかなければいけないとお話しました。この地域以外の市民の方々にも面白そうと思ってもらえるよう先頭に立って考えなければならないと思っているので、皆さんと意見交換をしながら考えていきたいと思っています。

参加者）
自分のバレエ教室の生徒は幼稚園が終わった後に北口の方の公園へ遊びに行っているようだが、トイレが無いのか、トイレに行くために教室に戻ってくることがあるので、公園は需要があるのかなと思いました。また、生徒の多く電車でレッスンに来るが、周辺にコンビニが無いので不便だと思います。ただ、夜の飲食店等、人が集まるようになると、レオタードを着て行き帰りする生徒の治安を考えると心配だなと思います。
市長）
おっしゃる通りで、人が集まることは良いことだと思いますが、住んでいる方々はこれ以上増えてほしくないと考える人がいて、ギャップがあったりしますよね。コロナの影響もあり、最近は自治会や地域で意見を言い合えていないことがあると思うので、ワークショップでも思ったことを言ってみるといい機会になると思っています。こういったご意見は大事だと思うので、ぜひ地域でまたやっていただいて、私たちも入らせて頂ければと思います。

◆新庁舎の立地について

参加者）

東京で働いている親戚の知り合いが美濃加茂市役所へ来たことがあるそうだが、公共交通機関からすごく遠いと言ってたそうです。都心の人からすると不便だと感じるのかもしれないと思いました。ただ、自分や地元の人からすると気にならないと思うし、あまり市役所に行かないので、どこに移転すると良いかは何が良いかわからないと思います。

◆前回計画を白紙にした影響について

参加者）

前回計画で庁舎移転が計画されていた地域の代表だったので、3年前に、そろそろ立ち退かなければいけないので、次はどこへ移動するのか、商店の方はどうするか覚悟していてくださいと話をしていたのですが、計画が白紙になりました。実際、土地や家を探したりしていた中で、突然白紙となったので、その後説明がされず2年ぐらいが経ちました。特に契約があったわけではありませんが、庁舎移転が計画されていた、この地域の多くの人が市のやり方はどうなんだという気持ちがありました。

市長）

立ち退きの話は、表面に出てくる話ではない段階でしたので、事前にお話が進んでいたと思いますが、配慮が欠けていたのは確かだと思います。計画を見直すことについて、まだご理解を頂けない方もたくさんいらっしゃると思うので、しっかりと説明をしながら、この地域を市としてどうしていくか皆さんと今後考えていきたいと思っています。この点については、引き続きご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本当に色々とご迷惑をおかけしまして、申し訳ありません。

◆外国の方への意見聴取について

参加者）

ワークショップや、市民のアンケート等を参考にしたとありましたが、その中に、外国人の割合はどのくらいありますか。

市長）

7月下旬に開催した第1回ワークショップにはみえませんでしたが、昨年度行った 4000 人を対象とした市民アンケートは、外国人の方も対象に入っています。

外国人の方と一緒に住んでいるまちなので、日本人の意見だけでなく、外国人の方の意見も取り入れて、まち作りをしていくのが1番良いと思っています。美濃加茂市は製造業等が多いので、毎年、外国人の割合も増えています。課題としては、地域のコミュニティにおいて、外国の方と中々距離感があるかと思います。この後、外国人のコミュニティの方とお話しする機会があるので、こちらからもどんどんまちについての話題を投げて行こうと思います。若い皆さんの感覚からすると、国際化は当たり前だと思うので、そういったご意見をぜひいただければと思います。

◆他市の事例について

参加者）

色んな場所に視察に行かれたと思いますが、その中で、こういうところよかったなというのがあれば、教えていただきたいです。

市長）

新庁舎の例として、撤退したデパートをそのまま借りる、撤退したドラッグストアの後に入る、民間が建てた所を間借りするという、お金をかけない良い事例等があります。

いなべ市では、アウトドア施設の横に市役所があり、平日は市役所職員のための駐車場ですが、土日はその隣にあるアウトドア施設のお客さんのための駐車場になります。美濃加茂市庁舎の駐車場は、土日使われていません。生涯学習センターの利用者が使ってはいますが、使われていないスペースをどうのように、土日と平日で使い分けるか、工夫ができると思います。

再開発について、参考となる代表例が、東京駅です。昔はゴミゴミしていたそうですが、今は皇居側に出ると広場になっています。当時は駅を出て 1 番前の地価の高い場所を誰が買うのかと議論になったそうですが、あえて売らずに広場にしたそうです。そうすると、その広場の周りが良い場所になってくるので活性化しました。こういった、一番良い場所に広場をつくって、その周りにお店やホテルを建てていくっていうような事例が良いのではないかと思います。加えて、東京駅は車が駅の前まで入れず、歩行者優先になっています。子供連れとかお年寄りとか私たちも、車を無視して歩くことができるようになっていて、土日にイベントができたり、色々な使い方ができるようになっています。あと、最近、この辺りだと、岡崎市がすごくまちづくりがうまくいっています。公園リノベーションがうまくいっていて、公園をすごく良い場所に作ったことや、橋自体を公園にしています。事例紹介になってしまいますが、もしよかったら、岡崎とかに遊びに行ってもらうと、まちづくりの成功例がみてわかると思います。職員さんたちもこういった研究をしているので、一緒になって見学ツアーとかも良いと思います。結構、市の職員さんは色々な場所に足を運んで、皆さんからどんな質問があっても答えられるように、すごく勉強を繰り返していますので、聞いていただければと思います。

◆その他

参加者）

ここは、まちベンチというところで、3年前くらいに皆さんと作ったスペースです。私は名古屋から週2、3回は美濃加茂に来ていますが、美濃加茂には市役所の方々も地域の方々も含め、すごく良い方々がいて、まちベンチのメッセージにもあるように、本当に思いを持った方々がいらっしゃいます。日本全国に行っていますが、人の良さが飛び抜けていると思います。

一言だけ言いたいのは、こういう話はネガティブな話になりがちだと思います。もっとポジティブに、こんなことやりたいとかを話して、暗い会を無くしたいと思っています。例えば、市長ではなく、藤井浩人さん個人としてこんなことやりたいと言っていいと思います。外の人間としても美濃加茂が大好きだから、すごく思います。こんな良い人がいるのであれば、こんなまちになってもらいたいな、そうすれば毎週、毎日、来るのになと思っていますし、もっと大好きな人が美濃加茂に来てもらえるようにしてもらいたいなと思っています。

市長）

前の計画の時に最後大変だと思ったのは、反対派の人ばかり来て、行政との議論ではなく、一方的な説

明会になってしまったことです。そこに入りこんでしまうと、なかなか出られなくなりました。市長、職員として、こうしなければならないというものはありませんし、職員さんたちも、1 番市民の方が喜ぶことはこうかなと思って考えていますが、市民の方々が全然そんなの思ってないよという、ずれが出てしまいます。正直、考えることは、めんどくさいことですが、ここから逃げて後から反対することはやめた方が良いですよね。子供の頃、親に任せているのに、親がやることに対して文句を言うと、親はいい気しないですよね。それと一緒で、僕ら自身が、僕も一市民としてこうありたいと意見は言いたいですが、立場は逃げられませんので、僕が言うのは最後でいいかなと思っています。僕の一意見よりも、5万7千人の皆さんの意見こそ、もっと口を開いて、想いを出していけるような雰囲気つくりをしていくべきだと思います。色々と暗い雰囲気になってしまったのは、反省点だと思っています。次からは意見が活発にできるようなものにしたいなと思っています。

市民の方も行政の方も、言いにくいことをもっと言って、ぶつけていけるような環境を作ってかないと前には進めないので、言いたいことは言う。そしてスッキリして、今日であればまちのことを考えているので、まちのことを思って、時には相手にとって嫌な思いをさせるかもしれないけど、言うことでより良い、話し合いができてくると思います。これはこれで楽しいだけじゃなく混沌とするような会議もあっていいと思います。だから、市役所のこの新庁舎整備のワークショップはできるだけ参加しようと思っています。当然、その中には厳しいご意見もあると思いますが、我々、覚悟していますので、本音を話しながらも、最終的には皆さんに笑ってもらえるような会にしていきたいと思います。

◆その他

参加者）

私は東京大学の学生ですが、出身が岐阜の池田町というところで、結構ゆかりも近いのでこの事業も好きになったのですが、美濃加茂市に1つ感じているのは、行政と市民の方の距離がすごく近いなと思っています。市役所の人とお話しながらこういうことができて、すごくいい環境だと思うので、どんどんワークショップのような会話をさせてもらえればと思っています。

駅前の再開発に興味がありますが、物を作って終わりにしたくは無いという思いがすごくあります。駅前にコミュニティスペースを作って終わりだとか、庁舎を移転して終わりみたいなことではなくて、人がそこでどうやって活躍できるのか、どうやって生きていくのかっていうところまでもっと踏み込んで話していけたらいいと思います。こういう場は大切にしていきたいなということを準市民として思っています。

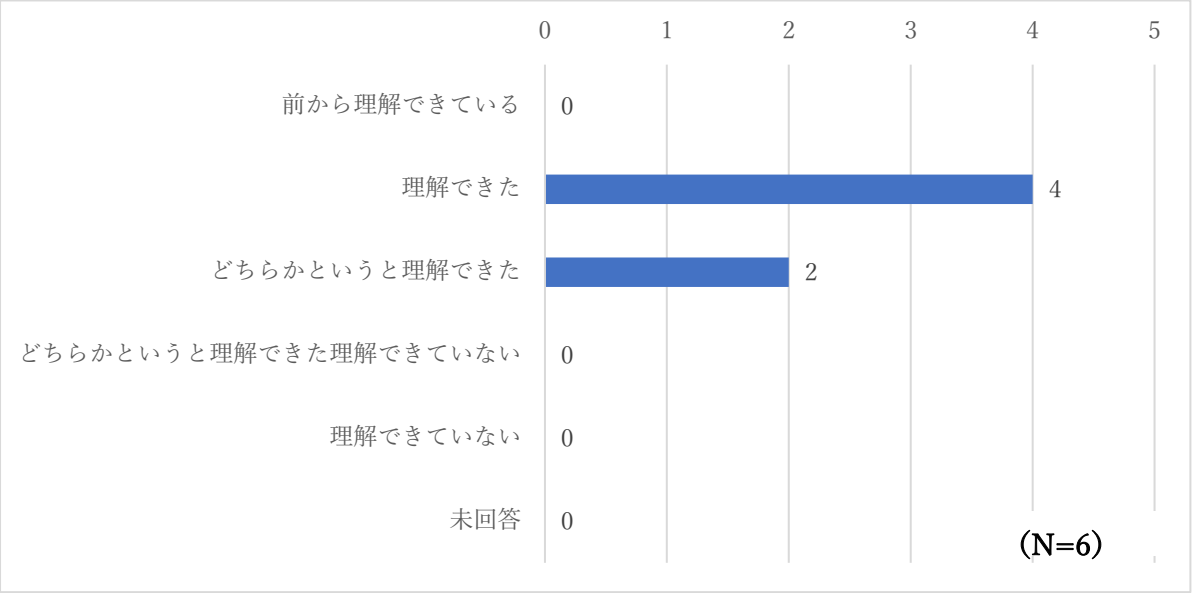
(2)アンケート結果の概要　※回答者数　6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかというと理解できた」が続いた。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	4
どちらかというと理解できた	2
どちらかというと理解できた理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図表 1　新庁舎整備の理解について

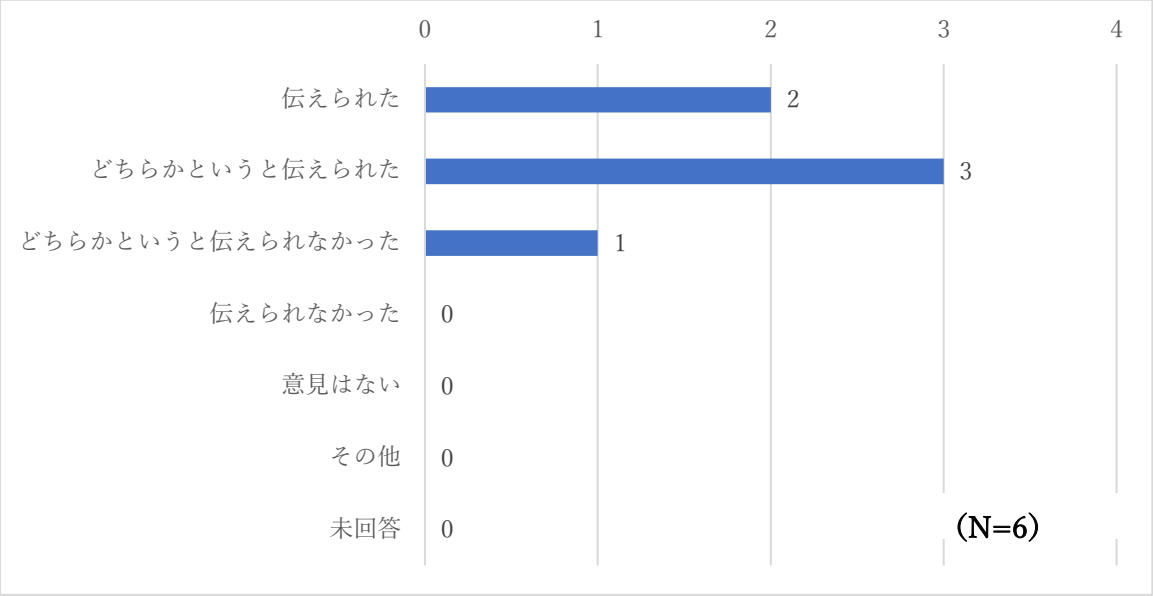


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかというと伝えられた」が最も多く、次いで「伝えられた」が続いた。
「どちらかというと伝えられなかった」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
伝えられた	2
どちらかというと伝えられた	3
どちらかというと伝えられなかった	1
伝えられなかった	0
意見はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 2　新庁舎整備への意見を伝えられたか

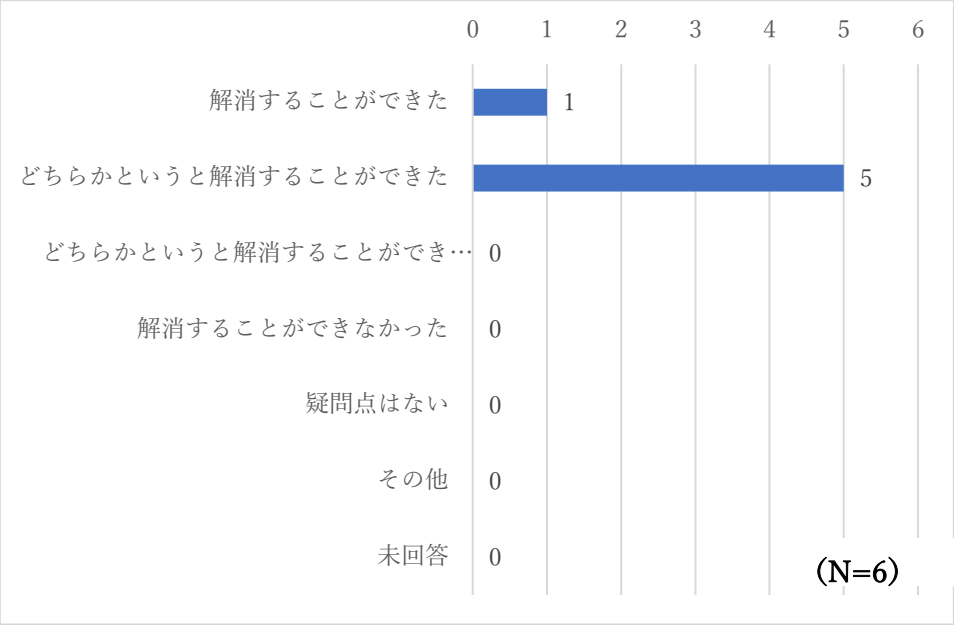


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」という意見が最も多く、次いで「解消することができた」という意見だった。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	5
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 3　疑問点の解消



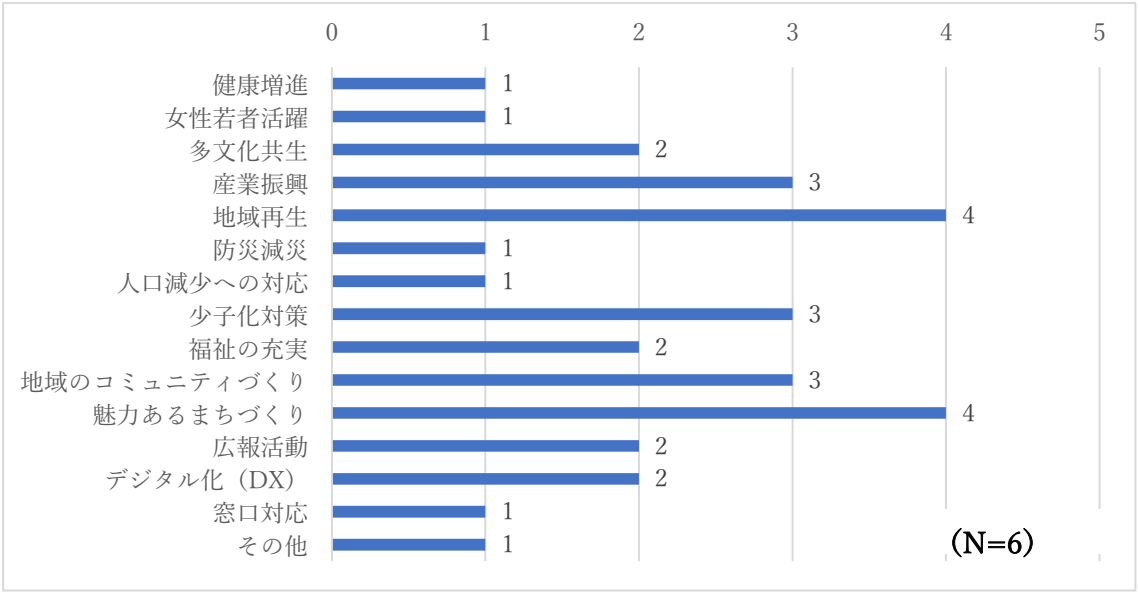
問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？（複数回答）

「地域再生」「魅力あるまちづくり」という意見が最も多く、次いで「産業振興」「少子化対策」「地域のコミュニティづくり」が続いた。「その他」で市民生活の安全、治安が悪い地域があるという意見もあった。

	回答者数【N=6】
健康増進	1
女性若者活躍	1
多文化共生	2
産業振興	3
地域再生	4
防災減災	1
人口減少への対応	1
少子化対策	3
福祉の充実	2
地域のコミュニティづくり	3
魅力あるまちづくり	4
広報活動	2
デジタル化（DX）	2
窓口対応	1
その他	1
合計	31

※複数回答有

図表 4　「市の役割」について



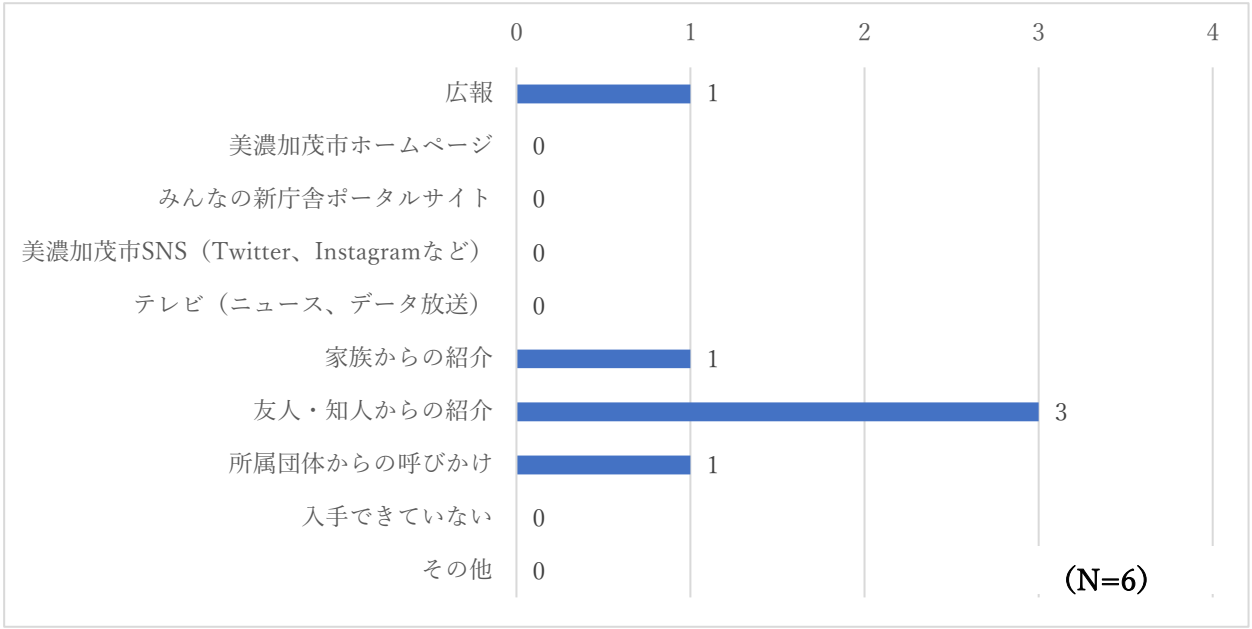
問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。（複数回答）

「友人・知人からの紹介」が最も多く、次いで、「広報」「家族からの紹介」「所属団体からの呼びかけ」が続いた。

	回答者数【N=6】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS（Twitter、Instagram など）	0
テレビ（ニュース、データ放送）	0
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	3
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	6

※複数回答有

図表 5　新庁舎整備に関する情報の入手方法



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

・大きな施設は不要ではないかと思う
・過剰な予算をたてず、柔らかい考えで、進めてもらいたい
・本日はありがとうございました。今日、駅前のワークショップに参加させていただき、参加者の方々の熱量を感じました。ただ、市長の民意をという言葉ですが、私は駅前で商売をやっていますが、住まいは市内の別地域です。住んでいる地域で、「新庁舎」というワードは全く話題に上がることがないので、もっとそうした地域も巻き込んでください。

おでかけワークショップ（美濃加茂商工会議所　女性会）
ヒアリングまとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年9月 20 日（水）　15:30～17:00

場所：リバーポートパーク美濃加茂　ビジターハウス 2 階

参加者（事務局を除く）：15人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆前計画白紙の経緯について

参加者）

市民ではないので、すごく私事的なことを伺います。候補地が、白紙になった等の噂を時々聞きます。そもそも、決定にあたっては住民投票がなされたという話を聞いたりしますが、住民投票がなされた過去があるのですか。

市長）

住民投票はしておりません。私が市長選で当選した時に、自分自身もこの政治的な決定に対して多くの市民の方が、前計画では納得できないのではないかと感じたため、議会にもお話をした上でアンケートを取りました。その結果、賛成は 26.8 パーセント、反対は 40.8 パーセントいう差がありました。また、前計画はコロナの影響がない中での計画であったことも考慮し、世の中的に働き方も変わる中で、市役所を今後も利用する皆さんと考え直した方がいいのではないかと考えました。ある意味で政治的なことも含めて

の決定ですし議会でも逐一、確認はされているのが今の状況です。計画はあったが自ら白紙にしてもう 1 回作り直しています。

参加者）
　その時のアンケートでは全市民の何パーセントから集計ができましたか。
市職員）
　資料の 4 ページをご覧ください。右半分の上から 2 つ目に市民アンケートについて書いてあります。15 歳以上の市民 4000 人を対象とした結果、回収率 45.2 パーセント、1809 人の方から回答をいただきました。

参加者）
　これは 2 回目ですか。1 回目は、代表者からのアンケート回答が 1000 以上であれば誤差は 3 パーセントとなっていますが、2 回アンケートを行ったということですか。
市職員）
　市民アンケート自体は、昨年度の 7 月から 8 月にかけて行いました。正式に市民 4,000 人にアンケートを送ったのは、この 1 回だけです。他にも、元々の旧基本構想や旧基本計画を作成する中で、ワークショップの来場者の方やイベントへお出かけして色々な方から話を聞くアンケートを行いました。

◆基本構想策定に係る費用・委託について
参加者）
　平成28年から令和 4 年の 3 月末まで、基本構想も基本計画もやっていました。市長が選挙で選ばれ、今の新庁舎計画を白紙にしましたが、3,000 万ぐらいのお金をかけてやってきた前計画の結果はどうなっていますか。前計画は白紙だからでは説明が足りないと思います。前の結果と掛かったお金の報告が 1 番必要じゃないですか。今やっていることが悪いとは言いません。でも、また同じことをやろうと思って、コンサルタントにたくさんお金払いますよね。前のミユキデザイン、玉野総合、サーベイリサーチセンターで、今、テイコクですよね。以前のワークショップでもコンサルタントが来ていました。7 月に市職員 6 人と富士通のフォロー2 人の計 8 人で新庁舎のための組織ができました。その後、市長がワークショップをやるために若い人材 10 人を指名しました。他に素敵な人たちがいっぱいいるのに、どうしていつも丸投げで、コンサルを委託して使うのですか。コンサルで入ってくる人がいるけど、美濃加茂市を歩いたこともない、見たこともない、食事したこともない人たちがやってきて、どうして美濃加茂市のことは分かるのですか。今、市長が、任命した 6 人と富士通 2 人と市の職員 12 人、立派なスタッフがいるじゃないですか。自分の周りの立派なスタッフ、その人たちにお任せしたら、もっと素敵な美濃加茂市ができると私は思います。
市職員）
　コンサルの活用については、昨年度の検証した中で、我々のやっていることが市民に届いてないことや駅前ありきである、市が完全に誘導しているといったご意見をたくさんいただきました。確かに、言われるようにいろんな職員がいますので、そこだけでやっていく方法も 1 つあります。ですが、市の職員が全てやってしまうと、また以前の方向性に引っ張っていくのではないか、という批判も必ず出てくると思いますので、美濃加茂市を知っている、知っていないというよりも、第 3 者の目で今日の皆さんの意見、考え

方をしっかりまとめていただくっていう意味でコンサルに入っていただいています。我々が誘導してはいないということを、しっかりと形作るために、今回、委託を活用しています。

市長）

今のご意見は実は庁内でも、かなり戸惑いの声が出ており、7 月のワークショップのあとも、お出かけワークショップを何度か開催しています。ファシリテーションは難しい面があり、今おっしゃられたように、美濃加茂市のことを知らない人がなんでそんなことをいうのと時々言われると、私も少しおかしいなと思うこともあります。今でも担当課では、このファシリテーションのあり方について、任せきりにせず、我々としてはもっと厳しくやるべきことを依頼して、任せないといけないと思ってやっております。

実はこの間まで新庁舎整備課の正職員は 2 人でしたが、もう 1 人正職員に入っていただきました。市長が任命した 12 人はあくまでもワークショップの時だけの参加で、若手の意見を取り入れることや、若手にも自分のことだと思って市民の皆さんと意見交換してもらおうと思って入れました。富士通も含めて新庁舎専属ではないので、これから新庁舎整備のボリュームが大きくなるにつれ、市役所の職員を新庁舎整備へ割かないといけないですが、他の部署も人が足りていません。職員の数が足りないというのは、正直全体の課題であるので、そこに今回のコンサルの力で、プラスアルファの力をいただいている状況です。

参加者）

広報誌に出ている情報によると、新庁舎整備グループへ市の職員に加えて民間の企業（富士通）から 2 人がみえるとありました。富士通の方たちは行政向きの人たちで、市にとってはいいけど私たちにとってはいいことはないのではと思います。このような世の中で、経営者も大変で市民はもっと大変だが、今までのやり方ありきでなく、違う方法でできないのでしょうか。丸投げするのはどうかと思います。

参加者）

費用についての資料はそちらだけにあって、私たちがもらっている資料だけでは、話題についていけないです。

市職員）

これから内容の説明をさせていただきます。まず、白紙になった旧基本構想と旧基本計画がございます。これらが、平成 28 年度から令和 3 年度までで作ってきたもので、全てを合算して 3,023 万円の金額がコンサルタント会社の委託費用です。正確に言いますと、委託した金額は 3,023 万円ですが、それ以外にも、例えば、新庁舎の関係で出張した時の旅費や、コピー機使用料、担当の職員の給与、人件費等は別でございます。その辺りの説明がしっかりできるように、新庁舎に係る経費の合計について算出する必要があると考えております。

◆災害対策について

参加者）

老朽化して建て替えるのであれば、1 番大事なことは、洪水や地震といった震災に強いこと、それと避難地として適当な広さがあること。地盤の強さは委託しなくてもわかるのではないですか。そしたら、これほど日数は掛からないのではないですか。もし何か災害があった時に、救助活動ができる場所、駐車場、避難所になる場所で、洪水に強く地震に強い場所はそんなにないと思います。それをなぜ委託しないといけないのですか。

◆新庁舎整備の進め方について

参加者）

場所を指定せずに市民に聞いても、プロでもない普通の人が言ったところで、そこが最適かどうか分かりません。ある程度色々なことを調べた上で候補地を作って、ここそこならみんなが使える最適な場所ですと示すべきだと思います。適当にみんなが言ったところに決めると、そこがダメだった時にさらに時間かかるので、ある程度最適な場所を決めてから、その中で選ぶべきだと思います。そして市長が、僕はこうしたいと意見を言ってくれた方がみんなが付いていきやすいと思います。

参加者）

それを希望している方が多くて、市長になられたのかなと思います。市長に任せられると思って投票された人が多かったのかなと思います。ステップ4の新庁舎の機能決定というのも、今機能しているのであれば、新たにこういうことがしたいなど聞き出したら、きりがないです。私たちに聞かれてもと思うので、ある程度プロに決めてほしいと思います。候補地についても、私は地盤調査が仕事でないので、ある程度ここの地盤が硬いですよ、大丈夫ですよっていうのを、例えば市長に思いがあるのであれば、多少、坂で行きにくいけど、ここが 1 番防災・地震に強いですよと説得してくれたら、家から遠いけどいいかもしれないと思えるかなと思います。アンケートだと、自分の家の近くを選んでしまうと思います。

市職員）

今おっしゃった、複数候補地の件ですが、ステップで行おうとしています。今回のロードマップのステップ 5 のところを見ていただきますと、複数候補地の選定と書かせていただいております。市としては、例えば、ここは農用地なので、宅地開発したら 10 年ぐらいかかるかもしれません。ここは地震が起きた時、土が液状化してしまう場所のため、ふさわしくないのではないか。ここは 100 年に 1 度の洪水で水がつくところです。ここでもいいと思いますか。と聞くようになるかと思います。金額は 60 億円ぐらいかかると言われていましたが、7, 8 年前から 1.25 倍物価が上がっています。加えて、他の公共施設でも老朽化が進んでいますので、市として新庁舎にかけられるお金の上限を提示した上で、市民の皆さんの意見を聞こうと思っています。

参加者）

そうであれば、ステップ5を最初に行うべきだと思います。

参加者）

ちなみに今、候補地は出ていないのですか。

市職員）

候補地は今出ていません。検討中です。

市長）

前の計画を振り返ると安全は大事だけど、せっかく庁舎を作るなら、庁舎を中心に経済が活性化するような庁舎にしてほしいという意見や、最近、市民同士の繋がりが減ってきたから、市民の交流の場も新庁舎に入れてほしいなど、色々なニーズがありました。それらを全部一緒にすると、費用が上がるので、優先順位をどうするかが重要になります。安全のためだけでいいよっていうご意見も多くあります。それに絞

ってしまえば、もっと安全な場所や土地の安いところもありかもしれないですが、不便で困るから、1 か所にやっぱり全部集めてほしいっていうご意見もあります。他には、連絡所が近くにあるのだから、連絡所でなんでもできるようにすれば、新庁舎が小さくてもいいよという意見もあります。今の市役所は、40 年前と同じだけ雨が降ってしまうと水に浸かるところにあるため、その時のために避難場所として文化の森に、パソコンなどのサーバーも含め、我々の災害対策の場所は設けています。何かあった時に対応する場所は、病院もありますし、少し高台のところで色々対応できるような訓練とかも進めています。そういったことも考えた中で、新庁舎に何を期待するのかが複雑に絡んできています。

優先順位をつけるためにも、行政の役割として地域でできること、市民の皆さんが担っていただけることは何かということをこのワークショップで 1 時間半ぐらいかけて、様々な問題に気づいてもらいたいという意図で行っています。最短に行うのであれば、いきなりステップ 5 でもいいですが、そこから紐解いていかないと、前のようにいくつか問題が発生する可能性が高くなるため、ステップ 1 から組めるが良い計画と考えています。

参加者）

今の美濃加茂市民が未来にどのぐらいの人口になるかっていうことをよく考えてみると、今の器がいるかどうかっていうことも考えないといけないと思います。また、これからデジタル化が進んでいくと、市民が市役所に行くのは生まれた時、死んだ時、出ていった時、結婚した時、離婚した時の 5 回ぐらいだと思います。そうなると、今の器がいるかどうかっていうことと、市役所の中でどういう仕事をするかということで、器を考えるのがまず大事なことだと思います。

ワークショップでは 88 名の意見を聞いたとのことですが、5 万 5 千人の人口がいる中で、88 名の意見が真実だと思っている市役所の気持ちは分かりません。加えて、そもそも新庁舎がいるのか不思議に思います。建て替えるのであれば、平成 15 年に耐震補強をお金をかけて行いましたが、何をやったのか不思議です。今回のワークショップ以外に中学校で意見を聞いたとの事ですが、全然世間のことも株価も知らない、納税もしていない子供たちに話を聞く必要があったのか不思議です。納税する人たちに話を聞いてほしいなと思います。

先日北海道に行きましたが、ある村では廃校した小学校でクラフトビールを作っていました。美濃加茂市も、例えば三和や山之上は人口が 100 人もいない場所なので、学校を統合し、スクールバスで子供たちを通わせ、廃校を市役所にしたら、随分変わるのではないかと思います。SDGs ではないが、古いものを上手に使ったすごい町と認知されるのではないかと思います。他の市町村をみても、あるものを活用しているところもあるので、新しく庁舎を作らなくてもいいのではないかと思うので、よく考えて頂きたいです。

参加者）

市役所は仕事をする場所なので、市のあり方と市役所は全く別の場所だと思います。有事の際は、地元のコミュニティセンターで対応すればよいと思います。今5万 5 千人の市民と言いますが、多死社会で 3 分の 1 くらい減ると考えられますので、今の器の庁舎は本当に必要なのか疑問に思います。

市長）

市の課題に市民の方々に関心を持ってもらわないといけないと感じています。最近の問題ですと、ごみ

の収集場所を管理する人は一部で無法状態になっているような地域があって、すぐ市役所に通報する人もいれば、しっかり自治会で管理している地域がありますが、納めている税金は一緒で不平等じゃないかという声も出ています。最近は、関心を持ちたくないので、耳にも入ってこないような非認知の方も出てきてしまっています。新庁舎には 60 億円というとんでもないお金を使うわけなので、すごく大事な市民アンケートでありますが、結果だと 3 分の 1 以上の人が判断できなかったとか知らなかったと言われてしまっています。本当は、もっと 1 人 1 人の職員さんの力で、出会った人に声をかけて聞いていく機会を作らなければいけないと思っています。情報発信は、議会でも指摘してもらっています。大きな課題なのでなんとかやっていきたいと思っています。

◆建設費用について

参加者）

勉強不足で申し訳ないですが、60 億というのはどこから出て、国からいただけるお金っていうのはどういう状態になっていますか。

市職員）

市の庁舎を建てる時に、国の補助金は基本的にはありません。例えば、そこに交流センターのような部分や子育て支援施設等、市民に使われる施設が含まれると、その分に対して一部補助金が出る場合がありますが、市役所の職員が働くワークスペースを作るだけということであれば、ほぼ何もないという状況です。県産材の木材を使い、内装を木質化する場合は、県から 1 平米あたり 5000 円、上限額 3000 万の補助金ありますが、県産材を使った場合の上乗せ分に対しての補助金です。そのため、建物そのものに対しては基本的にはほぼありません。

参加者）

結局借金になるわけですね。借金が今、トントンくらいじゃないですか。

市長）

借金はありますが、全国からみても徐々に減らすことができています。

市職員）

庁舎の建設基金を平成 24 年度から少しずつ積み立てをしており、今、貯金ができていると思います。全てを、貯金して建設してしまうと、今美濃加茂市にお住まいの方だけが負担をすることなります。これを、借金をして 20 年、30 年かけて払っていくと、これから美濃加茂市に住む人たちも一緒に負担をしていくこととになり、公平となります。他の自治体でも、建設費の約半分を積立金で、残りの半分を市債（借金）とすることが、一般的な考え方になります。

◆市職員のための新庁舎・自治会について

参加者）

市役所に行くと私も思いますが、建物が耐震でいいけれど、現状もうもたないのではないかと感じます。例えば、家を新築にするとがんばろうという気持ちになりますが、今の庁舎で仕事をしている職員としては気持ちがあがらないのではないかと思います。いろいろな意見がありますが、新庁舎にすることも市民、職員のひとつの希望だと思います。

また、新庁舎も大事ですが、自治会の問題についても大事で、自治会の費用を払っている人と払っていない人で、バランスが取れていない部分が気になることがあります。美濃加茂市があまり力を入れていなかった自治会に力を入れると、すごく楽になることが増えると思います。

市職員）

庁舎の状況についてお話をさせていただきます。今 62 年経った庁舎で、平成 14 年、15 年に耐震工事をやっています。したがって、例えば熊本の大地震のように震度 6 弱強の地震が来た時に、建物がぐしゃっといきなり潰れることは基本的にないと思っています。ただ、熊本の時に本震と余震がありましたね。震度 6 弱が 2 回来ました。そうなった場合に建物が潰れないという保証は今のところないです。1 番問題になるのは、多分最初の地震だけでも、水道・ガス・空調はほぼ止まります。62 年経って、水道管や何もかもがかなり老朽化していて、ポンってずれた瞬間には多分全部止まってしまうので、市役所の仕事をあそこでやるということは非常に難しくなります。例えば、証明が欲しいと市役所にお見えになったとしても、それを出すことができなくなってしまいます。もし庁舎を建て替えない場合、現庁舎の設備を直すのに、新しい庁舎を建てるだけと同じぐらいの費用がかかるだろうと言われています。今のものを使うのか、立て替えるのか、そこは皆さんの色々なご意見を聞いて、どうしていくべきなのか考えなきゃいけないです。

新潟県の長岡市は駅の近くにありますが、元スーパーを買い取って改装して市役所としています。美濃加茂市でもそういった場所があれば可能性はあります。今日こういったご意見を皆さんからいただいたことは、非常に大きなヒントになります。一方で、過去に私が説明会等を行った際に、美濃加茂市の顔としてお城のようにしてほしいといった意見をいただいたこともあります。意見は色々ありますが、その中でどれだけの費用がかかるのか、あるいは我々が行政として皆さんに市民サービスを行っていく上でどういった方法が 1 番適切なやり方なのかを見極めるために、皆さんの意見を聞いて、最後は行政が調査を行いながら、見極めていきたいと思います。

◆水害対策について

参加者）

少なくとも、日立市役所のようにはやってほしくないですよね。東日本大震災の影響で新設されましたが、その後、洪水で浸水しました。あれは、想定外で仕方ないって言えば仕方ないと。よく行政が想定外でしたって言われるからね。でも、そういう逃げ道は作ってほしくないですね。過去に、水に浸かったとこだけは絶対に話してほしい。もう、それだけは、最低限やってほしいと思います。水害が一番怖いと思います。

市職員）

水害は、今、雨雲が来ているだとか、ある程度予測ができる部分があるので、逃げることに対する時間的な余裕はありますが、やはり建物浸かってしまうと、色々支障も出てきます。日立市役所と今回我々が考えていることと違うのは、万が一、水に浸かったとしても、1 階に電気設備等を置かずに、2 階や 3 階にそういった設備を置くことで、万が一何かがあったとしても大丈夫なようにしていきたいと考えています。日立市役所みたいにならないよう、しっかりと我々も 1 つの教訓として考えていきたいと思います。

市職員）

先ほど、スペースの考え方もご意見いただきましたので、今の市の考え方をお話させていただきます。やはりコンパクトな市役所を目指すべきではないかということが、令和 4 年度の検証の中でも、多く出ていた意見です。令和 4 年度に取ったアンケートの結果も今日持ってきておりますけども、あまり市役所に

見える方が少ないです。年に数回程度という方が 48.7 パーセント、年に 1 回程度で 29 パーセント、利用していないという方は 14 パーセントとなるので、90 パーセント以上の方がそれぐらいのレベルということになっています。前に取ったアンケートを見てみますと、大体、市役所に来る方の 70 パーセント以上が市民課に来るお客様で、住民票と証明書の戸籍、その 3 つで 90 パーセントを超えています。今後、やはりデジタル化になっていきますと、連絡所どころか、自宅で申請ができるというような時代が来ると思います。そうなると、今まで市役所に来ていた方は来なくなると考えられます。

時代の流れで予測できることもありますし、例えば、庁舎ができた 62 年前は、おそらくお客さんは今と全然違っていると思います。例えば、今だと介護保険制度がありますが、60 年前はそんな制度はなくて、ご自宅でおじい様、おばあ様を面倒見るというのが、主流でした。でも、今は変わってきている。今、例えば子育ての関係の悩みを相談される方がものすごく増えていますが、60 年前にそれがあったかというと、共働きが少なかった時代ですから、そういった相談はあまりありませんでした。時代によって、相談の内容も変わってきています。また、デリケートな内容になってくるので、やはり個室的なところも必要かもしれない。今はないですね。ただ、デジタル化で来場者の申請なんかはまた変わり、自宅でできることが増えるので、そういったことを予測しながらスペースも考えていく必要があるかなと思っています。

◆これまでの検討結果について

参加者）

今お配りいただいた資料について、毎年 900 万だとか 1800 万だとかの費用を使って一体何をして、その結果を市民に落とさないのですか。落とされているのですか。これって膨大なお金だと思います。それを使いました、でも白紙に戻して、今期 2400 万でっていう話じゃなくて、今までこれだけの結果があって、こういうコンサルを受けたよっていうのは、市民のお金だから市民に公開するべきだと思いますけど、そこはどうお考えですか。

市長）

そこはおっしゃる通りで、情報発信が足りないというのはご指摘の通りだと思います。議会では、白紙に戻すということは、今まで積み上げてきた意見とか予算を 1 回白紙に戻すことになるのではないかというご意見が当然あります。それでも、先ほどの 60 億円という投資を考えた時に、この決して小さい金額じゃない 3000 万であっても使える情報とか、使えるデータは引き続きしっかり使えます。これからの建設において 60 億を使った後に、無駄なものを作らないように、今の段階で立ち止まることは立ち止まるということで、何とか、議会の方にもご理解をいただいています。伝わっていないと言われると確かにその通りなので、この辺りももっと市民の皆さんに、実は前の計画でこれだけ使っていたと、でも同じ失敗をするつもりはないです。というご理解は得ていかなきゃいけないと思うので、そこはご指摘をしっかり受け取りたいと思います。

参加者）

この資料を見て驚いたぐらいで、この初回の 945 万円でどういう情報をこのミユキデザインさんからもらったのか、それはやっぱり市民へ落とさないといけないと思います。市役所の中で取捨選択をされているとのことですが、捨てようと思った情報が市民の中では捨てないでおきたい情報かもしれないから、大事なお金を使った情報のどれを選んでどれを採択するかというのは、市民にも公開すべきだと、私は思

います。
市職員）
　現在、旧基本構想や旧基本計画はみんなの新庁舎というポータルサイト、いわゆるホームページに全て載せてあります。

参加者）
　例えば、私の仕事柄、厚生労働省のホームページなど、難しい書類を見にいきますが、いっぱい文章だけ書いてあって、読み解けないことがあります。文章を見ただけで、多分ほとんどの市民は、はいって、こう、その場から去っていく。例えば、今回いただいた、このロードマップですら、よくわからないという市民がほとんどなので、もうちょっとわかりやすく、どういうことコンサルにしてもらったのか、どんなデザインをしてもらったのか、調整してホームページにあげていただくのがお客様たちじゃないかなと思うんですけども。もらったものを載せるだけであれば誰でもできるので、そこを調整して市民の方にわかりやすく伝えるということをやっていただくのがよろしいかなと思います。
市職員）
　ありがとうございます。本当に我々が 1 番今、難しいなと思っているのは、市民に情報を届けるということが非常に難しいと思っています。例えば、メールで皆さんにお知らせしたり、ホームページに載せたり、いろんな形で考えていますが、じゃあ、それで全員に届いたのか、理解していただいたのかと言われると、そうでない場合がいっぱいあるわけですよね。今、SNSも使って、どんどん、媒体を広げることをやっていますが、我々職員が地元に行って、そこでみんなと会話する中でいろんな情報をお話していくってことも、とても大切だと思っています。ただ、先ほど市長も言われましたけど、本当に職員はいっぱいいっぱいの状況の中で、なかなか外へ出てきれてないという反省点もあります。先ほどちょっと、デジタル化、デジタルトランスフォーメーションという話があがりましたが、そういうことをやっていくと、市の職員も時間ができて、外に出てみなさんとお話する時間ができるということも合わせて一緒に考えております。どう情報提供すべきか、試行錯誤してやっていきますので、また、素晴らしいご意見があれば、ぜひお聞かせいただいて、実現に向けて我々も頑張っていきます。

◆職員数について
参加者）
　今、市の職員は足りていますか？定数がありますよね。
市職員）
　定数条例がありまして、その定数は足りています。産業累計や、人口などからみた、全国の 78 類似団体の中で、美濃加茂市の職員数は下から 4 番目に少ないです。この 78 団体の平均値で比較して計算してみると、美濃加茂市職員は 50 人増やすと平均値になります。

参加者）
　人が足りない、時間がないと言う話であれば、単純に増やせばいいと思います。
市職員）
　例えば 1 つの年に 50 人雇ってしまうと、同年代の人ばかりになってしまいます。年数が経った時に一

気に抜けてしまう問題が起きるので、ある程度計画的に増やしながら、中途採用で 30 代、40 代の少ないところを穴埋めしています。

参加者）
　例えば今年度予定外に辞める職員の方はいますか？
市職員）
　今年度はまだわかりませんが、昨年度は 1 人、2 人ですが、若い方で自分のやりたいことを見つけたから退職しますという方も少なからずいました。

◆市長の役割について
参加者）
　この件に関して、市民の皆さんの意見といつもいいますが、市長が１番トップなのでお願いしたいのは、リーダーとして引っ張っていってほしいと思っています。60 年後でも 70 年後でもここでよかったと思えるような市役所になるように、リーダーとして責任をもってほしいと思います。
市長）
　最初に申し上げた通り聞けば聞くほど、選択肢は増えてしまうので、職員さんからも苦しくなってきませんか？と言うことも当然あります。今日やってもらったように、色々な方の意見をまず聞く。聞かないことには、 いいご意見や課題が見えてこなかったりします。今回いただいた意見は、地域や自治会のお話であったり、職員数の話にも関係してきました。ただし、時間をかけすぎるつもりは全くないので、ここぞという時にはしっかり方向性を示しその理由を説明したいと思うので、逃げるつもりは全くありません。

◆決定方法について
参加者）
　決定方法に市民アンケートや住民投票がありますが、そうなると責任は誰がとるのですか。
市長）
　最後は住民が決めることが大事だとは思っていますが、住民投票をやるにしても、あれもこれもそれもというつもりもないので、このまま進めていく中でしっかり市として、抑えていくことが出てくると思います。市民に丸投げということには絶対なりません。

◆プレミアム商品券について
参加者）
　産業振興課もいらっしゃるので、一つだけ聞いてください。2 回プレミアム商品券出しましたよね。前とやり方を変えましたよね。その結果どうだったのか、何も反映していただいてないと思います。今後 3 回、4 回あるかもしれませんが、前のことが、勉強されていない。プレミアム商品券に関しても、何が良かったのか、何が悪かったのか私たちは何も聞いていない。
市長）
　プレミアム商品券の件だけでなくて、今日改めて感じるのは、市民のみなさんと色々な事業をやりますけど、その結果報告を議会の方でチェックはしていますが、市民の方向けに出せていなかったと感じます。

来年こうしますばかり聞いて 1 つ 1 つ、良かったことも悪かったことも含めて、関心持っていただけることは、無関心ではない。議会をクリアできてればよい時代ではないので、今後はインターネットを使いながら、情報公開をやっていきたいと思っています。

市職員）

全体の費用対効果を公開してないのは事実です。現在のものは 10 月いっぱいまでは商品の引き換え期間中です。2 回やらせていただいたところで、その反省を踏まえて、少しでも事業者さんの負担を減らしていこうという趣旨で、3 回目をやらせていただきました。それが昨年です。その結果、少しでも事業者さんへという観点で始めましたが、物価高騰とちょうど重なってしまった状況です。プレミアム商品券を利用する消費者対応と事業者対応が一緒になってしまいました。本来の目的は事業者さんの支援ということで始めた事業でしたが、生活支援も入ったため、途中で締め切りを昨年の 12 月に急遽伸ばさせていただきました。事業者さんには大変ご迷惑をおかけしてしまいました。総合的に考えて、今度こうしていきたいということはありますが、実際に予算がつくかどうかは決まっていないので、新規にやる予定は今のところ出していないです。

1 つ新たに分かった内容につきましては、12 月の期限の時に多くの申し込みがあったということで、事業者さんに補助金としてお金を振り込みました。その後、本年度の 10 月までに使える期間を伸ばしました。私も商品券を申し込んで買ったのですが、まだ持っています。お金出して買ったが、使わずに残っているという事例が結構あることが見えてきました。今の時期に商品券を事業者さんへ持ってくるお客さんもいらっしゃり、戸惑われている事業者さんもみえます。事業者としては最初にお金が入っているので、そこで完結していますが、5000 円分を出すと、その分の対価として商品を出さないといけない。でも、それはその時の仕入れの計画には反映されていないので、時期的なずれが非常にあるということが今の反省点です。

参加者）

わかりました。もうひとつ、事務費用が掛かりすぎる。それと、外の業者に丸投げしすぎだと思います。この間商業部会でも話をしましたが、バックにかかるようなお金があるので、良かったのか。税金を使っているのだから、私たちがよかったのか分からないことも色々と検証していただいて、もう 1 回、改めて何かの形で報告していただけたらと思います。

◆情報管理について

参加者）

本当にあってはならないような、行政のお役所仕事だなと感じる経験しました。去年、主人が亡くなりました。2 月に中部国際医療センターのデータを見たら、私自身だけでは介護できないぐらい悪くなるだろうと思って、介護申請をしました。ただ、面会できなかったので、オンラインの面会でしたが、主人が亡くなって一月過ぎてから、「介護認定できませんでした、検討します。」と連絡が来ました。さらに 2 ヶ月してから要支援に認定しましたと連絡がありました。こういうことがありますか。最初の 1 回、支援にできませんでしたというのは、オンラインだから元気そうに見えただろうし、分からなかったかもしれないけど、病院から出された資料を見て、緩和ケアがなければ絶対自分では面倒を見れないということは素人の私も判断が付きました。それにも関わらず、ちゃんと先生も出ていらっしゃるでしょうし、介護の方、皆さんプロで

すよね。それで、死亡届を出して、保険証を全部返したのに、それが亡くなって 2 ヶ月過ぎてから認定しますって、どう思いますかと。今コンピューターの時代ですよね。亡くなったって言ったらわかるはずですよ。これ言うつもりなかったですよ。だけど、職員の人数が足りないとか色々おっしゃったら、人数が足りなくてもコンピューター1 つで出るわけじゃないですか。

市長）

ちょっと私も今即答はできないですけれども、本当に申し訳ない限りです。職員の人数ではなくて、個人情報の管理の仕方が、介護は介護、住民票は住民票と縦割りにまだなっているところはあります。そこのミスであって、本来であればチェックはできるはずなので、こちらの対応に問題です。申し訳ないです。

◆今後の進め方について

参加者）

ずっとお話を聞いていました。私の思い、意見をちょっと述べさせていただきます。美濃加茂市は70周年になります。それから、人口が 5 万 5 千人います。人口が減ってきているのに、市庁舎はそんなに大きなものを建てなくてもいいと思います。

本当に私がずっとここに住んでいて思うことは、やっぱりどこに建てても同じことですよ。木曽川のあたりに住んでいる人は、洪水になるからダメだとか、今の庁舎は地震が来たらだめだとか言いますが、洪水は今でも線状降水帯がいっぱいあるので、これから先だっていくらでもありますよ。そういうことよりも、まず市庁舎のことだけを考えたら、何年か前にあったように、太田駅前で開発をして、国の補助もしてもらえるとか、色々ことを聞きましたが、私は本当にあの時に、この土地に住んでいて、今しかやる時がないと思いました。でも、それはダメになっちゃったから仕方がないけど、これからは後退することなく進めていってほしいから、皆さんによく知っていただいて、どうしたらいいのかということを本当に真剣に考えていただいて、今の市庁舎の場所に建て直してもいいし、よそに建ててもいいけど、何がしたいのかということを皆さんに本当に、切実に考えてほしいです。

先ほど市長が言われたように、学校のトイレが汚いとか、どこどこを直したいとか、そういうことは各家庭でもあります。直したいけどお金がないとか、建てたいけどお金がないとか、そういう切実な問題があって、市庁舎のことも皆さん考えていると思いますが、何が 1 番大切なのかということを考えていただいて、やるならやると、皆さんに賛同いただいて進めていってほしいです。コンパクトでいいから、人口も減ってくるし、60 年先どうなっているかわからないけど、時代は変わってきて、市役所の仕事もリモートでできるようになって、本当に私はコンパクトで無理のない市庁舎を建てていただきたいけど、駅前でやると、災害のことを考えると、駐車場はなく車を置けないという点もあるから、そういうことも本当に考えて市庁舎作りをやっていただきたいと私は本当に切に思います。木曽川に住んでいる中山道沿いの人も、水が来たらどこよりも先につく。でも、地震が起きたら、どこの家にもくるので、本当に真剣に考えて意見交換をしていただきたいと思います。

おでかけワークショップ（みのかも市民会議）
ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP2「新庁舎の役割」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年 10 月 10 日（火） 18:30～20:00

場所：生涯学習センター404

参加者（事務局を除く）：9 人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題：「新庁舎の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)ワークショップ結果の概要

「安心安全なまち」や「便利なまち」という市の役割に対する、新庁舎の役割への意見が多く出されました。特に、今ある福祉を手厚くしていくことや今後増えていくと予想される相談目的の来庁に対して対応するために、地域分散型の庁舎とすることや情報発信の強化、DX 化の推進といった意見が出されました。

また、市民サービスを充実させるために職員の働きやすい環境を整えるべきといった意見が出されました。

■新庁舎の役割の概要　★はシールが貼られたご意見

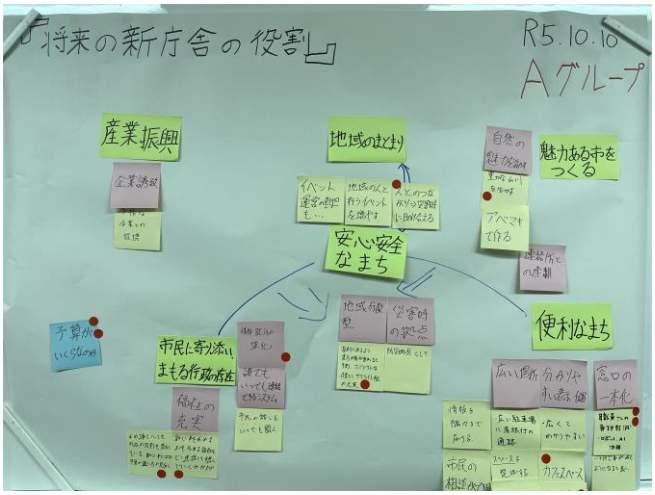
カテゴリー	新庁舎の役割
コスト	★求める事といっても行政の役割を果たしている。新しい事ではなく予算の使い方の見直し ・コスト削減別の所にまわせる
災害時の拠点	・防災拠点として ・災害時の拠点
産業振興	・企業誘致 ・多様な企業との連携
市民利用スペース	・広い駐車場に屋根付きの通路 ・広い場所、わかりやすい表示、位置
情報発信・集約	★情報発信の強化 ・誰でもいつでも連絡できるシステム
自然を活かす	★豊かな山川を活かす ・自然の魅力を活かす ・アベマキで作る
地域の拠点	・地域の拠点 ・地域の人と行うイベントを増やす ・イベント運営の負担も、、、 ★人とのつながり⇒災害時に助け合える
デジタル化	・デジタル化による弊害はおこさない ★DX　スマートで効率のいい行政サービス ・DX 化で職員を必要なところへ ・市役所を市民はあまり使わない ・デジタルできない人へのカバー⇒若い世代が充実している ・人手が必要な場所を手厚く
どんな人にも 対応できる	・市民の話しをいつでも聞く ★心の支え ・市民サービスの向上

カテゴリー	新庁舎の役割
	★新しい事を求めるより今ある福祉をどう連携して手厚くしていくかが大切 ・福祉の充実
働きやすい環境	・市職員が笑顔で働ける環境 ★職員の働きやすい環境 ・職員を大切に ・職員の意見も吸上げるべき ・市民はあまり使わない
分散	★資料にあるような来庁の質が変わると予測、コンパクトな庁舎としサテライト方式の充実 ・地域分散型 ★機能を分散させてからコンパクトな新庁舎 ・コンパクト、窓口は小さく ・人が集まるのは市役所でなくてもいい ・連絡所の機能拡充 ・連絡所との連携 ・連絡所でも窓口業務を
その他	・ミスの削減市民に返ってくる

(2)各グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
市民に寄り添い、まもる行政の存在	アベマキで作る	連絡所との連携	
	市民の話しをいつでも聞く	誰でもいつでも連絡できるシステム	
地域のまとまり	イベント運営の負担も、、、		
魅力ある市をつくる	地域の人と行うイベントを増やす		
	人とのつながり⇒災害時に助け合える		1
	豊かな山川を活かす	自然の魅力を活かす	1
産業振興	多様な企業との連携	企業誘致	
安心安全なまち		情報発信の強化	1
	求める事といっても行政の役割を果たしている。新しい事ではなく予算の使い方の見直し	福祉の充実	1
	新しい事を求めるより今ある福祉をどう連携して手厚くしていくかが大切		1
	資料にあるような来庁の質が変わると予測、コンパクトな庁舎としサテライト方式の充実	地域分散型	1
便利なまち	防災拠点として	災害時の拠点	
	広い駐車場に屋根付きの通路	広い場所、わかりやすい表示、位置	

カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
その他	スペースを提供する		
	情報を隅々まで届ける		
	市民の相談ができる		
	人が集まれる広い会場		
	広くてわかりやすい		
	カフェスペース		1
	人と人をつなげる		1
	職員さんの負担軽減。ロボット、AI 活用	窓口の一本化	2
	一ヶ所で事が済むようになると良い		
	予算がいくらなのか		

■B 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

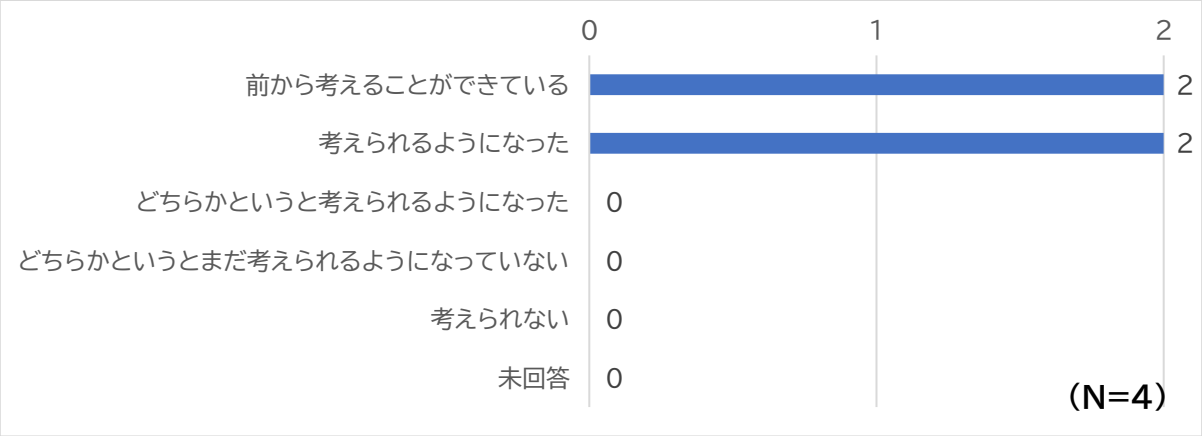
カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
市民に寄り添い、まもる行政の存在	心の支え	デジタル化による弊害はおこさない	1
	市職員が笑顔で働ける環境	市民サービスの向上	
地域のまとまり安心安全なまち		下米田は災害時孤立する	
		地域の拠点	
便利なまち	機能を分散させてからコンパクトな新庁舎	連絡所の機能拡充	2
	デジタルできない人へのカバー	若い世代が充実している	
安心安全なまち	DX スマートで効率のいい行政サービス	人手が必要な場所を手厚く	4
便利なまち		DX 化で職員を必要なところへ	
	連絡所でも窓口業務を		
	コンパクト、窓口は小さく	人が集まるのは市役所でなくてもいい	
	職員の働きやすい環境	ミスの削減市民に返ってくる	5
	職員を大切に	職員の意見も吸上げるべき	
		市民はあまり使わない	
		コスト削減別の所にまわせる	

(3)アンケート結果の概要　※回答者数　4 名

問1.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。(1 つに〇)

	回答者数【N＝4】
前から考えることができている	2
考えられるようになった	2
どちらかというと考えられるようになった	0
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	0
未回答	0

図 1　「新庁舎の役割」について



問2. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(コンセプトやその理由をご記入いただける場合はこちらにお願いいたします。)

◇自由意見

・「コンパクトな市役所」 出先機関(連絡所)の充実。

介護保険、要介護認定・要支援認定の手続きを連絡所でも可能にする。

・役割は市民アンケートでほぼ出ていると思います。大切な事は予算をカットして

‘‘何よりも福祉の充実‘‘を向上させる事だと考えます。

コンセプト提案:何よりも福祉の充実

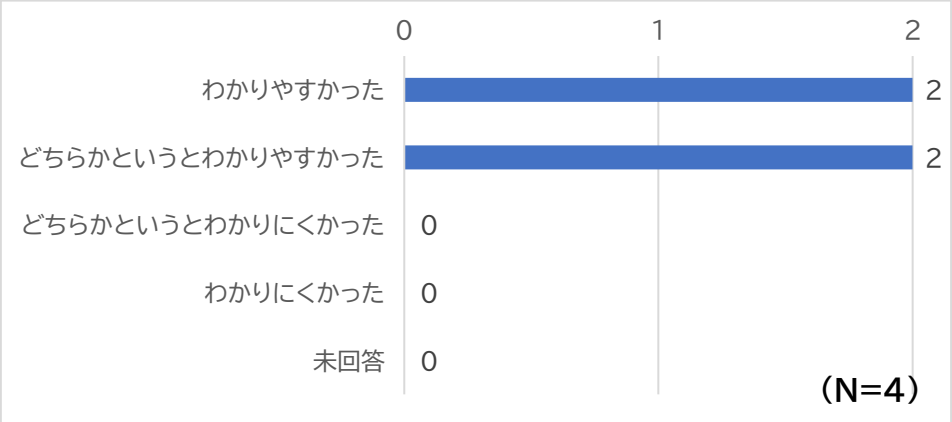
理由:庁舎に予算をかけて福祉に予算が届かないのでは困ります。

又、子ども達に負担をかけないでほしいです。

問 3. 本日のワークショップの説明・進行について（1 つに〇）

	回答者数【N＝4】
わかりやすかった	2
どちらかというとわかりやすかった	2
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	0
未回答	0

図 2 本日のワークショップの説明・進行について



〇ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。（今後の運営で参考とさせていただきます。）

◇自由意見

・その場で皆さんの意見をまとめていく進め方は、わかりやすくてよかったです。

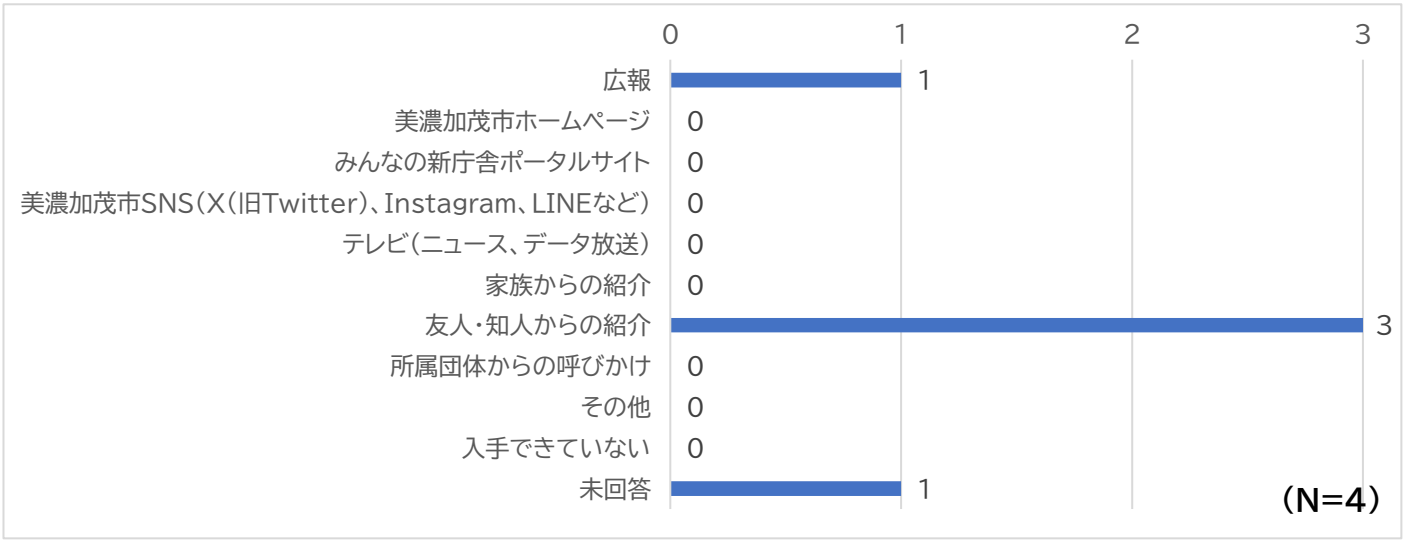
・様々な考えをお持ちの方々が集まるので、運営は大変と思います。
分かりやすい言葉や話すスピードに考慮してください。

・よく耳にするのがこうして時間をかける事にも予算が使われている・・・。
だから急で進めろよ・・・聞こえます。私は急ぐ必要はないと考える。

問4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答者数【N＝4】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram、LINE など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	3
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
入手できていない	0
未回答	1

図 3 新庁舎整備に関する情報について



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見
・小さくまとまらず、計画して欲しいです。
・国は昭和の大合併、平成の大合併と町村の数を減らしてきました。
令和の大合併に備えた市役所の規模にしてください。

おでかけワークショップ(元気東魂 P)
ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP1「市の役割」で出た「市民に寄り添い、まもる行政の存在」を主なテーマに STEP2「新庁舎の役割」について考えて頂きました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 10 月 24 日(火) 19:00~20:30

場所:生涯学習センター404

参加者(事務局を除く):5人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダン
4. グループワーク
   お題:「新庁舎の役割」
5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)ワークショップ結果の概要

「市民に寄り添い、まもる行政の存在」を主なテーマに新庁舎の役割について考えて頂きました。市のサービスを安心して受けられることや、相談に対して傾聴することが求められていました。また、市から市民へのサポートだけではなく、ボランティア活動等の市民主導の取組により、市民と市の職員が”お互いに”寄り添うことが大事だという意見がありました。

市政への市民参加のためにも、ワークショップ等で市民参加が可能な場を作っていくことを期待されていました。

（2）ワークショップ結果

1）ワークショップの様子

2）ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	補足
相談の総合窓口的役割	求めている情報を教えてもらえる（分業でなく、全体的な視点で説明してもらえる）	
	困りごとワンストップ相談。とりあえずなんでも市民のために	
	なんでも相談できる⇒事業所を紹介できる	
	困っている人と助けられる人をつなぐ市役所	
	連絡所。広く浅く、やさしく	連絡所の機能の充実
安心・安全に、気軽に相談できる	安心して相談できる場	
	安全に相談できる	
	気軽に問い合わせができる	
	市と市民の垣根が低すぎても良くないと思うが、困りごとがあったら伺える、寄り添ってもらえる。	
	子連れ、託児。子どもを遊ばせながら相談できる。	
市民の活動を応援する	市民の方の意見のやりたいこと、してほしいことをしっかり聴く。	
	相談だけではなく、「市民が自分でやりたいことをやりに行ける場」であっても良い。	
	新しいアイデアを応援してもらえる（新しいつながりの提案）	
	やさしい、受け入れられる雰囲気	
	市民の活動を応援する。	

カテゴリー	市民の方の意見	補足
傾聴、よく聴く	やさしい言葉で伝えてもらえる。	
	話をよく聞く。	
	一年間、ずっとためこんでいた姑の悪口を穏やかな笑顔と傾聴で話すことが出来た。寄り添ってもらえていると感じた。	
	困ったときに、あて(頼り)になる。	
	相手の立場に立ち、相手の話をじっくりと聴くこと	若者にこのワークショップに参加してほしかったので、子どもに半ば強引にでも参加してもらおうと思ったが、子どもの立場にたったら参加したいと思わないだろうと率直に意見をくれた。子どもに寄り添っているなぁと感じた。
市役所職員が十分に活躍できる(自分の仕事に臨める、健やかである)	市役所で働く人々が輝いていてカッコイイ！その人たちに頼りたいと思い、市役所に行きたい。 美濃加茂市で働きたい、につながる。	
	相談される職員さんの健康を守る。ゆとりやスキル	
	健康食を出してくれる社食(庁舎内食堂)。市民も利用できる。	
	広報、市民サポートなど専門の職員を増員する。	特性に合わせた仕事ができる。
	まずは相談、そこから対面で話ができる。	まずは電話やオンラインなどで相談し、そこから対面でじっくりと話ができる。
	No と言える市役所	必要なことに時間が割けるようになる。
市民と市の職員がお互いに寄り添う、顔が見える。認め合える。	登山道の整備を市の職員の人と一緒に創り上げる体験ができた。ボランティア活動に顔を出してねぎらう(部課長クラスの人の参加)	
	お互いに感謝の心を忘れないこと。市民ばかりが寄り添ってもらうではなくお互いに。	
	寄り添ってもらえると、寄り添える。	
	市民が先を歩き(市民主導)、それをサポートするのが行政！！	
市民が参加できる場をつくる。民意を高めていく。	10 代、若者が面白い、関心を持ってもらえる場をつくる	
	マインクラフトで 10 年後の美濃加茂市をつくるコンテスト	
	今回のワークショップが楽しかったので、お題を出してほしい(年に一度、数回行う)	テーマごとに話し合うワークショップを毎年開催する
		民意を高めていく。みんなで考えることを常態的に行っていく。

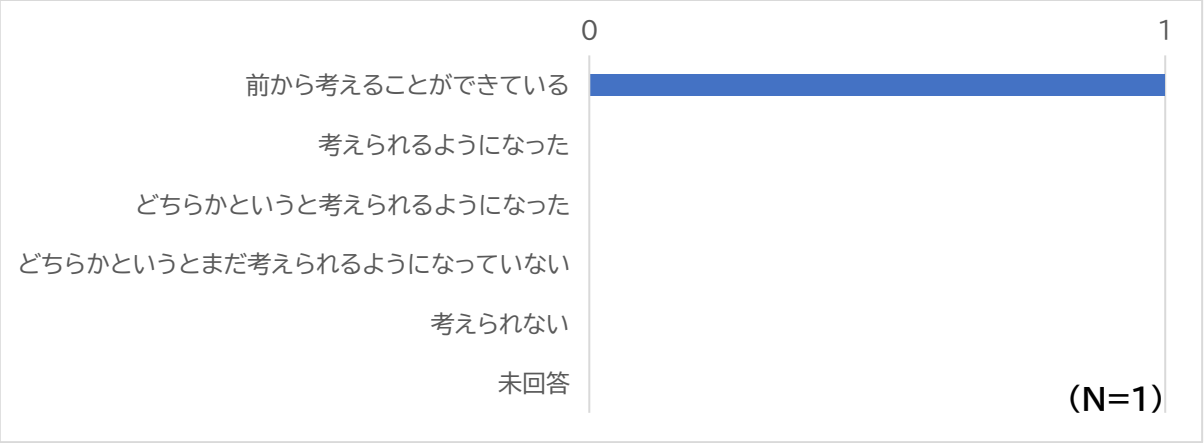
カテゴリー	市民の方の意見	補足
市民ファシリテーターを育てる	お互いがお互いを助け合える。市民ファシリテーターの育成	
	市民に自分の価値を見出せる役割や機会がある。	
新庁舎の構造	事務方の方がしっかりと働ける場所が確保されている。合わせて市民が集う場所がある。（両方が区分けされている）	
	議会の見学がしやすい場所になる。ネットだけではなく生の会議の臨場感を感じたい。	議会の環境整備をする。

(3)アンケート結果の概要　※回答者数　1 名

問1.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。(1 つに〇)

	回答者数【N＝1】
前から考えることができている	1
考えられるようになった	0
どちらかというと考えられるようになった	0
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	0
未回答	0

図 1　「新庁舎の役割」について



問2. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(コンセプトやその理由をご記入いただける場合はこちらにお願いいたします。)

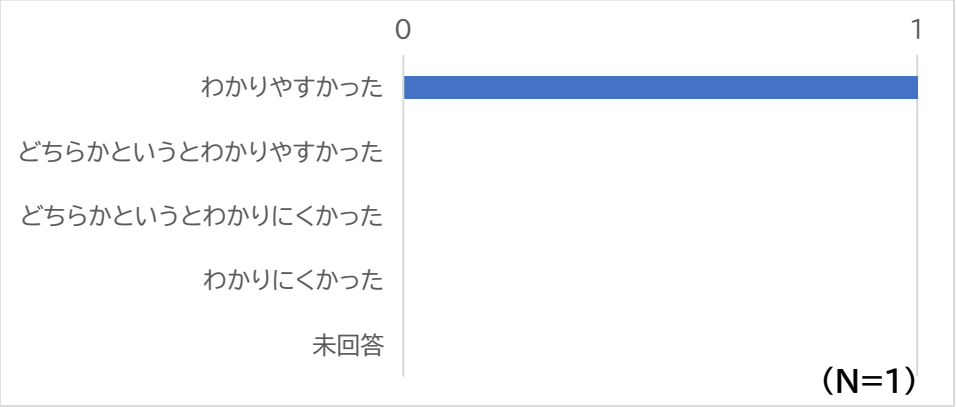
◇自由意見

・新庁舎は職員が働くエリアと市民が憩えるエリアを融合したシンボリックな庁舎にしてもらいたい

問 3. 本日のワークショップの説明・進行について（1 つに〇）

	回答者数【N＝1】
わかりやすかった	1
どちらかというとわかりやすかった	0
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	0
未回答	0

図 2 本日のワークショップの説明・進行について



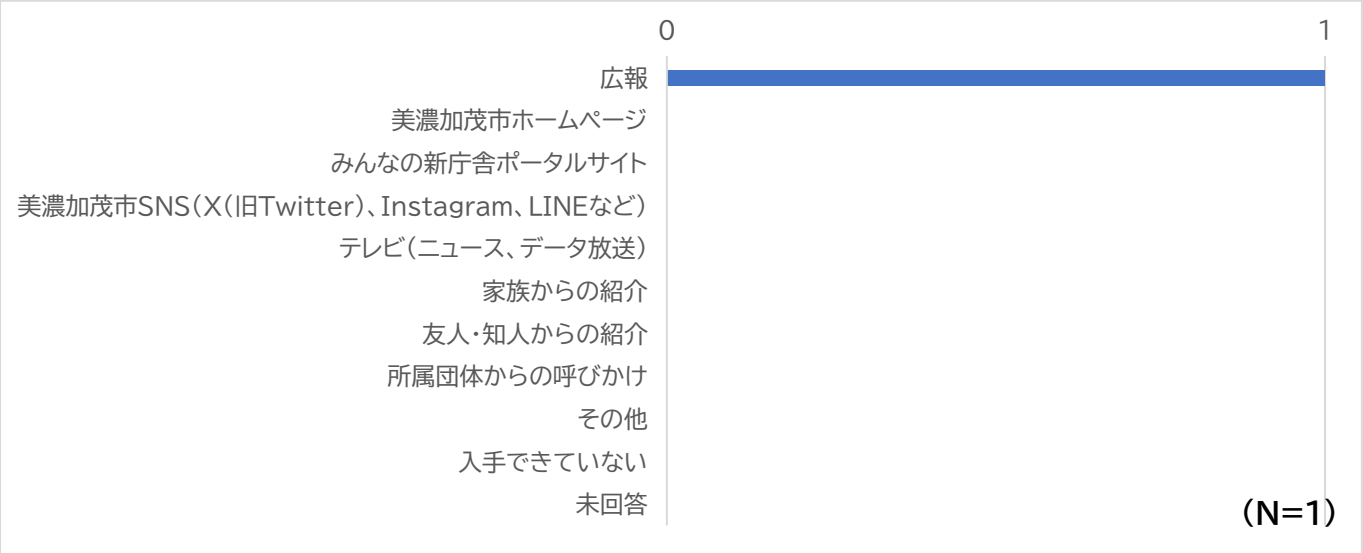
〇ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。（今後の運営で参考とさせていただきます。）

◇自由意見
・見事にまとめて頂いて素晴らしいと思いました。

問4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答者数【N＝1】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram、LINE など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
入手できていない	0
未回答	0

図 3 新庁舎整備に関する情報について



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見

・緑の公園の中にあり、ここで仕事されてて素敵だなと思えるような自慢出来る庁舎にしてもらいたい。このたびはこの様な機会を頂いてありがとうございました。フラットな感じで対応して頂き、心に残る素敵な時間でした。

おでかけワークショップ（議員報告意見交換会（上古井））
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要
（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）
日時：2023 年 10 月 25 日（水） 19:00～20:30
場所：上古井交流センター
参加者（事務局を除く）：25 人

（2）開催内容
1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局
美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要
新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答
市民）
新庁舎のことが良い感じになってきても、市長が交代してまた白紙になったら市民は一体何をしたのかということになる。市長選で相手の悪口をただ言っているようではおかしい。市長が代わるたびに白紙になっているようでは、美濃加茂市は何をやっているのかということになる。
市職員）
やってきていることを形にしたいとは職員も思っている。あとは市民と合意形成できるかというところで全力を尽くしていくので、ご理解をいただきたい。

市民）
継続はしていただけるのか。引き継ぎというか。
市職員）
ロードマップに沿ってしっかり進めていきたいと考えている。

市民）
今市長のマニフェストと言われたが、市長は市長として新庁舎をどうするかというマニフェストというのはあったのか。市長としての考えがあるのかないのか一切聞こえてこない。
市職員）

当時の選挙の時には、今まで作ってきた基本計画の見直しをするということを言ってみえた。

市民）
今日まで、市長が理想とする庁舎の姿というのは一切明かされていないと思う。この前の議会で山田栄議員が市長に密約は絶対ないですねと 2、3 回確認していた。それを聞いて市長はもう頭の中にある程度庁舎のイメージがあるのではないかと思った。市民には権利と義務があるが、義務を果たさずに権利だけ主張する人は市民ではないという本を読んだことがある。前回のアンケートの回答数も少なかったし、真剣に庁舎のことを考えている市民は三割程度しかいないのではないか。市としての計画はもう決まっていて、市民を持ち上げているだけではないか。
市職員）
アンケートの回収率は 45.2%だが、市民満足度調査などのアンケートは全国的に 30%程度というのが一般的であり、かなり高かった印象がある。密約という言葉もあったが、美濃加茂の全域が候補地であり、場所は一切決まっていない。今後、市民からももちろん意見を聞くが、行政としての候補地の案というのも複数示させていただきたい。候補地に関するアンケートもしっかりとっていきたい。

市民）
藤井市長は自分の理想というのはないのか。
市職員）
理想やご自身の考えというのは聞いていない。市民の声を丁寧に聞くということで、ロードマップに沿って進めていくということを言ってみえる。

市民）
前の市長の時の方が駅前と密約していたのではないか。候補地の決定方法で議会とアンケートと住民投票があるが、議会で決めるということは、現在の議員が投票で決まっていないので無いと思う。住民投票しかない。
議員）
地方自治法により、整備地を議会で決めるということは決まっている。当然住民からの意見を得て決定する。また、前市長が密約をしていたとは思っていない。

市民）
駅前開発にするなら更地にして駐車場が必要。今の再開発の考え自体がおかしい。
議員）
今、組合と会社が再開発を進めており、今後説明があると思う。当然議員も市民へ説明していく。

市民）
ロードマップは良いと思う。美濃加茂市は交通も整っているし、人柄もよいと思うので、このまちをどうしていくのかということを考えてまちづくりをしていくと良い。渡辺直由市長の時の、まあるいまちみのかもという言葉が良いと思っていた。候補地についてはそれぞれの地区の人で考えがあると思う。これから 10

年後、20 年後のまちのために、誰かに託すという意味で建設的な意見をしていった方がよい。議会の先生たちにも公平な目で見ていっていただきたい。

市民）
　市役所と消防署は絶対に機能停止してはならない。駅前開発は新庁舎とは別でやればよい。新庁舎は高台になければならない。また、50 年後のために、新庁舎が2つできる場所を確保することが必要。候補地は住民投票をした方がよいと思う。

市民）
　第2回ワークショップが定員割れしているが、どう思われるか。
市職員）
　知らない方と話し合いをすることに抵抗がある人もいるというのは事実だと思う。現在、3日間のワークショップの他におでかけワークショップも開催しており、サークル等で何回も呼ばれて行っている。

おでかけワークショップ(議員報告意見交換会(下米田))
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要
(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)
日時:2023 年 10 月 26 日(木) 19:00~20:30
場所:下米田交流センター
参加者(主催者・事務局を除く):12 人

(2)開催内容
1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局他
事務局:美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要
新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答
市民)
アンケートについて、市民が 50000 人いるのに、1500 人に聞くだけでいいのか。
市職員)
統計学的な根拠に基づいており、4000 人にアンケートを行って仮に 30%が回答したとすると 1200 人になる。1000 人を超えている場合は、その対象と 3%の誤差しかないということになる。今回 1500 人対象のアンケートを行うが、例えば 3 割となると 450 人となるが、400 人を超えると誤差が 5%と言われている。ワークショップで出た 67 人の意見を元にして 1500 人に聞けば、市民全体の傾向とそんなに変わらない数字が出てくる。

市民)
それは年齢も別々にしているのか。
市職員)
別にしている。
市職員)
基本的には各地区や年齢層を加味しながら無作為抽出でお願いするという形になる。

市民)

候補地が4か所ということで書いてあるが、場所をしっかり書いてほしい。

市職員）

基本構想の時には8か所の候補地が挙がっており、4か所に絞られた。その後、基本計画の未来のまちづくり委員会で 1 つになった。ただ、現在候補地は全くない。今後出てくる候補地を市民の皆さんに公開していきたい。

市民）

便利な場所が良い。市役所は年に1度くらいしか行かない。

市職員）

仰る通り市役所に来る人は少ない。今はコンビニで各種証明書が取れる。

市民）

10 円で安いというのもある。

市職員）

10 円なのは今年度いっぱいだが、オンライン申請のことなども含めて新庁舎のことを考えていきたい。

おでかけワークショップ（議員市政報告会）
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要
（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）
日時：2023 年 11 月 18 日（土） 19:00～20:30
場所：小山会館
参加者（事務局を除く）：33 人

（2）開催内容
1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局
美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要
新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答
市民）
ロードマップには大変立派なことが書いてあるが、総務部長達は前の市長の時にもう場所を決定してしまって、絵（パース）も作って広報で配っていた。有識者の方が決めたからもう自分は関係ないと思っていらっしゃるのか。その時のメンバーにあなたたちは入っていたのではないか。市民はみんな反対して、その問題で市長が交代した。市長が交代したのは、市役所を建てる場所がおかしいというのが旗印だった。市民の声が反映されていないから、今度は反映されると書いてあるが、職員も市議会議員も同じメンバーで方針をがらっと変えることができるのか。職員も半数以上が駅前がいいと言って決めてしまった。もう一度言うが、パースまで作ってしまった。それについて市議会議員は一言も謝罪をしていない。一億近く市民の税金を使って申し訳なかったと、市民の意見を吸い上げずに勝手に決めてしまったから悪かったと、だから市長さんまで交代になったと、私達が悪かったと市の広報で謝ったのか。よほど慎重にやっていただかなければ二の舞になる。まずは反省でありお詫びである。なぜこれが4年前にできなかったのかということを心に留めて再出発してほしい。
市職員）
28年度からこの事業がスタートしたが、自分は平成30年度から基本構想や基本計画に企画課長として携わっていた。市民の意見をどれほど吸い上げたかというのは、基本構想は市民とのワークショップを多く行い、8 か所の候補地がまず出てきて、話し合いの中で4か所に絞り込んだ。その後、未来のまちづくり委員会で有識者や、市民の代表、団体の代表の方々に専門的な知見から1つに絞ったという経緯がある。ただ反省

しなければいけないのは、1か所に絞る時に未来のまちづくり委員会を開催することを、広報やホームページで周知はしたが、市民に届いていなかった。傍聴に来る人が非常に少なかったというのが反省点であり、絞り込む過程がブラックボックスだと感じてしまう方が多かった。周知が市民に届かなかったというところが大きな反省点である。そのため、昨年度に藤井市長より事業の検証の指示を受け、検証部会を立ち上げて検証してきた。そこで、今回は有識者会議ではなく、市民との意見交換で決めていくという方向性に大きく変更をしている。全国でも庁舎建設で有識者会議を立ち上げないというのは珍しい。自分達も雲をつかむような状況で進めさせていただいているが、皆さんの意見を拾いながら、最後は行政として、あるいは市長が責任を持って説明できるというところで議会に上程していくというところは当然責任を持ってやっていくことが必要だと思っている。その根拠として皆さんと意見交換をしていきたいと思っているので、ご理解をいただきたい。

市民）
　自分は新庁舎整備推進課によく電話をしているので分かっていると思うが、今日はなるべく前向きに話をしたい。市民の声や市民アンケートというのは、非常に聞こえは良いが、では市民が決めて、建ててから何かあった時に市民も責任を伴うが、そこまで考えてみんな意見を言っているのか？と思う。市民が責任を持ってここにしたいという意見を集めるのはちょっと難しいのではないかと思う。市長が決めたことならば仕方ない。もう一つ思うのは、市長は人気があるので、独断で理想的な美濃加茂市の庁舎を作る気は無いのかということを市長に言っておいてほしい。さすが藤井市長だと言えるような、50 年後か 100 年後か分からないが、あれだけのものを作ったんだと言えるような庁舎を作ってほしい。
市職員）
　まず1つ目について、対話で意見が一つになるというのは我々も想定がし難い。色々な意見があるので、一つにまとまるということはないかもしれないが、ただそういった意見を聞かずに行政が決めてしまうということがやはりブラックボックスだと思うので、色んな意見を頂いて最後に候補地が3つとか4つになるかもしれないが、それをアンケートなり住民投票なりやるかもしれないし、そこに本当に建てられるのかという調査は我々が責任を持ってしっかりと行う。なので最後にこの場所でどうですかと議会に上程する責任は行政あるいは市長にしっかりあると思っているので、そこを何の根拠もなく出して、市民が自分たちは聞いていないと言わないように、多くの方と意見交換する必要がある。2つ目について、市長が責任を持ってという声はたくさんいただく。市長は、そうすることはできなくはないが、大勢の市民がそれで納得されるのかということを言われる。まずは行政と市民との対話だけではなく、市民と市民の意見交換をして進めていくべきということを言われる。最終的には1つに決める時が来るが、今は市民の声を聞く必要があるとご理解いただきたい。

市民）
　ロードマップの 9 ページだが、市民アンケートは2月というふうに言われた。4000 人しか取らないようだが、そうするとステップ1からステップ5まではいつ終わっているのか。例えばステップ1の市の役割の見える化だが、市の役割や新庁舎のコンセプトというのはどこかに書いてあるのか。ステップ1での結果、STEP 2についての結果というのは本当は今日提示していただけるとありがたかったが、どう思われるか。
市職員）

ステップの1から6までというのを令和 5 年度で計画しており、ロードマップは令和4年度末に、こう進めていこうと計画したものになる。ステップ1のワークショップは7月に3日間かけて行ったが、本日配布したワークショップまとめというものに、どのような目的でどのように行い、どんな意見が出たのかということをまとめている。

市民）
代表的な意見を聞いているのではなく、見える化や役割の決定したものはあるのかという質問。見える化というのは、これが結果ですかということ。色んな意見が出たということではなく、結果かどうかを聞いている。
市職員）
STEP1の結果を書いている。

市民）
これは結果ではなく代表的な意見である。見える化という、最終的に決めたものがあるかどうかを聞いている。
市職員）
市の役割のついては、まだ結果ということにはなっていない。

市民）
そうすると、STEP1は終わっていないということか。
市職員）
市の役割の見える化については、13 ページに STEP1の詳細が記載されている。

市民）
これは決め方ではないか。いつ結果を出すのか。一つ一つ結果を出して行くべき。結果を出さずに意見をまとめただけでは、市の結論がない。
市職員）
STEP1については意見をまとめた形になっているが、その皆さんから出た意見をもとに STEP2、3を行った。STEP2、3には決定という言葉を書いているが、こちらに関しては今現在 1500 人を対象にした市民アンケートを行っており、そのアンケートを確認した上で決定していくということにしている。

市民）
なぜ 1500 人か分からないが、いつ決定するのか。
市職員）
今年度中に決定する。

市民）
今年度中ではないだろう。2月に 6 をやると言っているのだから。

市職員）
　STEP2・3の結果というものをワークショップで出す。

市民）
　アンケートの結果ではなくて決定を聞いている。
市職員）
　コンセプトと役割は一部の人だけに聞いたものではいけないので、アンケートでも聞いたうえで絞り込んだ上で決定をする。アンケートはこの間締め切ったので、その意見を集約して決定する。その決定を 12 月のワークショップでお示しさせていただく。

市民）
　アンケートの結果ではなく、ちゃんと決定ということでお願いしたい。

市民）
　若い人の意見ということで、中学生に意見を聞いていたと思うが、結果はもう出ているか。これから美濃加茂を担っていく若い人の意見はどうなのかということを知りたい。
市職員）
　加茂高校生 2 年生の 240 名に対し、これから意見を聞いていくので、まだ結果は出ていない。また、東中学校 3 年生の 280 名との対話も来週行うのでまだ結果は出ていない。

市民）
　若い人に期待するのは、自分達との発想の違い、自分が思いつかないようなものがあると思うので、そういうものに期待したい。美濃加茂市長は人気があって若いので、発想を変えることもできるのではないか。

おでかけワークショップ（美濃加茂商工会議所　青年部）
ヒアリングまとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年 11 月 28 日（火）17:00～18:00

場所：商工会議所3階会議室

参加者（事務局を除く）：13 人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局他

●美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答

◆新庁舎に対する関心について

参加者）

この新庁舎の件は、行政に対して無関心な人に関心を持っていただく、きっかけ作りとしてはいいチャンスだと実感しています。今後の 10 年、20 年後、今回の新庁舎の決定までの流れが、いろんな行政に関心を持っていただけるきっかけになると思います。ワークショップの第 2 回に若者が増えた経緯は、工夫をされたのかなと 1 つ気になりました。若者に興味を持っていただけたヒントがあれば教えていただきたいです。

市職員）

1 回目と比べ全体の人数としては、2 回目の方が少し減っていますが、若い世代の割合は増えております。ポスター設置のお願いを 70 店舗ぐらい増やし、例えばスタバなど、若者が行きそうなところに貼ったことに効果があったかなと思っております。また、instagram の広告なども検討しており、若い世代の目に届くようなことを更に増やしていきたいなと思っております。

市長）

本当に政治も含めて関心を持っていただくことは課題です。1 歩踏み込んで、「あなたにも考えてほしいんですよ」という本気を、僕らはもっと行動に変えていくべきだと思っております。また、結果は12月に発表予定ですが、11月に行った市民アンケートでも 10 代から関心がないという回答をもらっているため、やっぱりこちらから積極的にいかなければいけないと思っております

30代の子育て世代であっても、生活とは関係ない、実感がわかないと思います。でも、将来的に関係があることをまず理解いただきたいです。

また、若い世代の方で参加してくださる方から、どうせ新庁舎は作るんでしょという意見を頂くことが多くあります。実際に作る方向でありますが、お金のかけ方はまだこれから自由が効きます。市役所を作ることは、利益を生む施設ではないんですよね。だから、あくまで皆さんからお預かりした税金を使うことになります。建設費はおよそ60億円、維持管理費を抑えられるような建物にした方がいいんじゃないかと。でも、年配の方の中には、せっかくなら豪華にと仰る方もいらっしゃいます。様々な意見がありますが、若い人がそこまで言うなら、確かにもうちょっと抑えてもいいかもとか、こういう機能あった方がいいのかもという論点も出てきております。

◆市としての方向性の提示について

参加者）

この新庁舎については、候補地等も含めて非常に難しい道を選択されたのではないかと感じております。皆さんの候補地についての意見を聞き、すばらしいと思いましたが、その一方で、市役所の皆さんからある程度の導きの必要があるのではと感じました。どのようにお考えか伺いたいです。

市長）

おっしゃる通り、0 から考えてくださいっていうのは正直難しいですよね。前回計画があったので市民

の皆さんとしても、結構情報を持った状態でワークショップに来ていただいています。ワークショップをやりながらどのタイミングで市としての意見を言っていこうかと考えていましたが、専門家が話し合ったとしても落ち着くようなところにわりかし落ち着いています。ここから先、建物の形状、造り、場所が生む周辺に対する効果は行政がもっている情報であり、また、今の時代どう評価されるかってことが非常に大事だと思います。我々も国交省や内閣府、国会議員の先生にもしっかりリードしてもらい、日本で最先端の庁舎はどのようなものか、情報収集しているところです。今は生活に密着した意見を吸い上げている段階ではありますが、具体的な話をする段階になりましたら、色々と情報量が出てくると思いますので、情報を共有させていただき、議論の材料にしていきたいと考えております。

◆候補地の選定について

参加者）

前回計画時のワークショップ等に何回か出席させていただいておりますが、駅前に建てる前提で話をされているように感じていました。結局 1 回白紙になりましたが、あの時と違った候補地はあるのですか。

市長）

前提の1つとして、市が持っている土地があります。次の第 3 回ワークショップで資料を準備しているところですが、今の市役所の場所、駅前の商業ビル、プラザちゅうたい、東総合のグランド、前平公園付近など、できるだけすべてを示しています。新たに土地を取得することも視野に入れていますが、インフラ整備等お金がかかることもあります。今後、議論が進む中で場所によっては費用が高いだとか時間がかかりすぎるといったこともある可能性がありますが、大多数の市民の意見に対して、我々が政治的な意図でねじ曲げる必要はないので、現段階では全てが候補地であると提案した状況で第 3 回のワークショップに入っていく形になります。

参加者）

先ほど市長が市役所はお金を生む場所ではないというようなことを言ってみえましたが、前回計画時に 1 階に喫茶店やいろんな店舗を入れるという構想があったと思うんですよね。またそういうような構想の話もありますか。

市長）

あります。実際、市民に行ったアンケートの中には、図書館や交流の場を併設させるといった意見もありました。図書館自体、お金を生まないですが、今ある施設 2 つを 1 つに複合にすることで行政全体のコストを下げるのもアイデアのひとつです。併設させるもので、利益が生まれるとよいかとも考えております。まさに最近の手法で、民間に施設を建ててもらって、そこを間借するアイデアもあります。いろんな選択肢があるので、可能性を残した状況で、ステップ 4、5 に入っていき、皆様にぜひご参加いただけるとありがたいです。

参加者）

これからお金を払っていくような中高生から意見を吸い上げることが大事だと思います。

◆今後の進め方について

参加者）

８ 月に結婚して、岐阜市民から美濃加茂市民になりました。ご存じだと思いますが、岐阜市の庁舎も新しくなりました。岐阜の市役所は複合施設になっていますが、隣に図書館メディアコスモス、駐車場にキッチンカーなど、お金を生むことは結構あると思います。市役所食堂と言って、市役所に職員以外でも入れる施設もあります。そういうものをどんどん入れてもらうといいのかなと思います。僕は結婚してから美濃加茂市役所に何回か手続きで行っていますが、それ以外で、なにか出来事がないと市役所に行くことがないと思います。今、若い子たちが行かない理由はそこだと思うんですよね。それを踏まえた上で、これからお金を生む 10 代、20 代の子たちが市役所について興味を持てるような、来たいと思えるようにしてほしいと思います。例えば、何かあったときに市役所に頼れるように、児童館のような遊べる場所があると、こどもたちも市役所に根付くと思います。また、子どもたちが行けるような場所に作ってもらえるといいかなと思います。

市長）

とても大事な論点だと思います。役所の職員が働くだけの機能に加えて、施設をつくるとすると追加の費用がかかることになります。そのため、一部の機能を削り、その費用を別の場所に使ったり、機能・予算の配分を考える必要があります。また、役所の将来の位置付けについては意見が分かれており、若い世代の一部ではバーチャルの役所で代替できるのではないかという意見もあります。他には、建物としての役所の建設にかかる費用を減らし、若者や高齢者が日々利用できるサービスにお金を投入するべきだという意見もあります。最低限で、職員さんだけがしっかりと仕事がこなせるような場所でいいんじゃないかといった意見もあるため、今後のワークショップ等に是非参加して頂ければと思います。また、こういった機会も作っていただければ私たちも積極的に情報共有させていただきますのでよろしくお願いします。

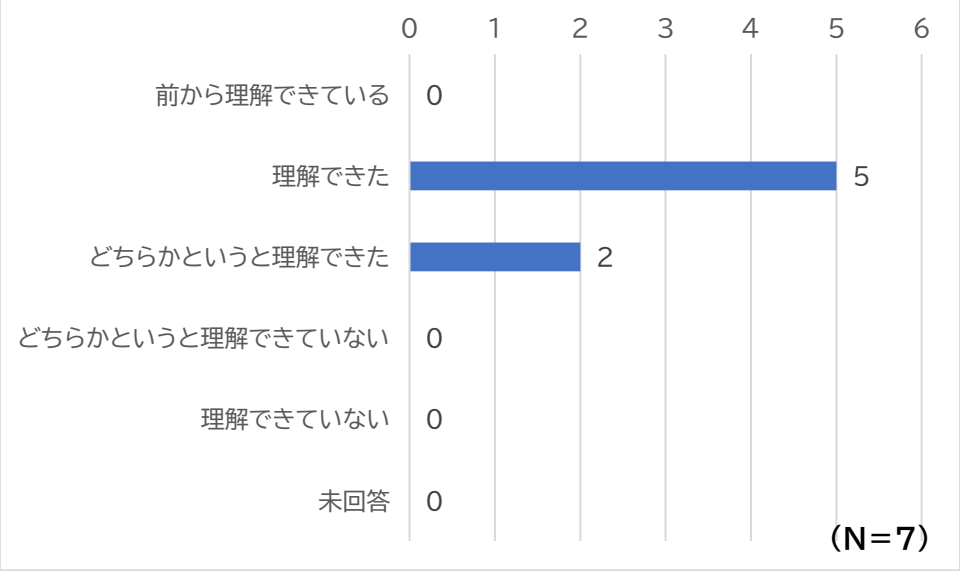
(2)アンケート結果の概要　※回答者数　7名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

回答者全員が「理解できた」もしくは「どちらかというと理解できた」と回答した。

	回答者数【N=7】
前から理解できている	0
理解できた	5
どちらかというと理解できた	2
どちらかというと理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	7

図表 1. 新庁舎整備の理解について

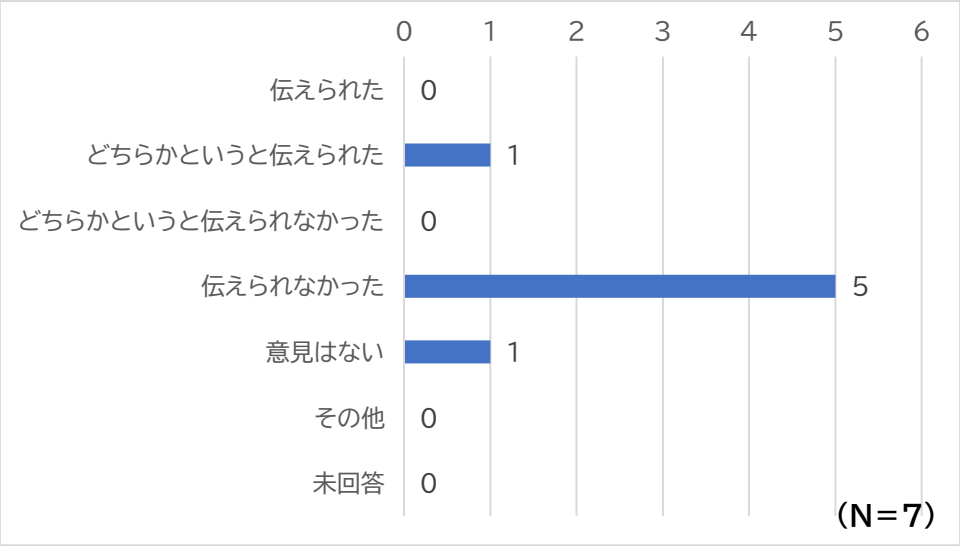


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられなかった」が最も多く、次いで「どちらかというと伝えられた」「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=7】
伝えられた	0
どちらかというと伝えられた	1
どちらかというと伝えられなかった	0
伝えられなかった	5
意見はない	1
その他	0
未回答	0
合計	7

図表 2. 新庁舎整備への意見について

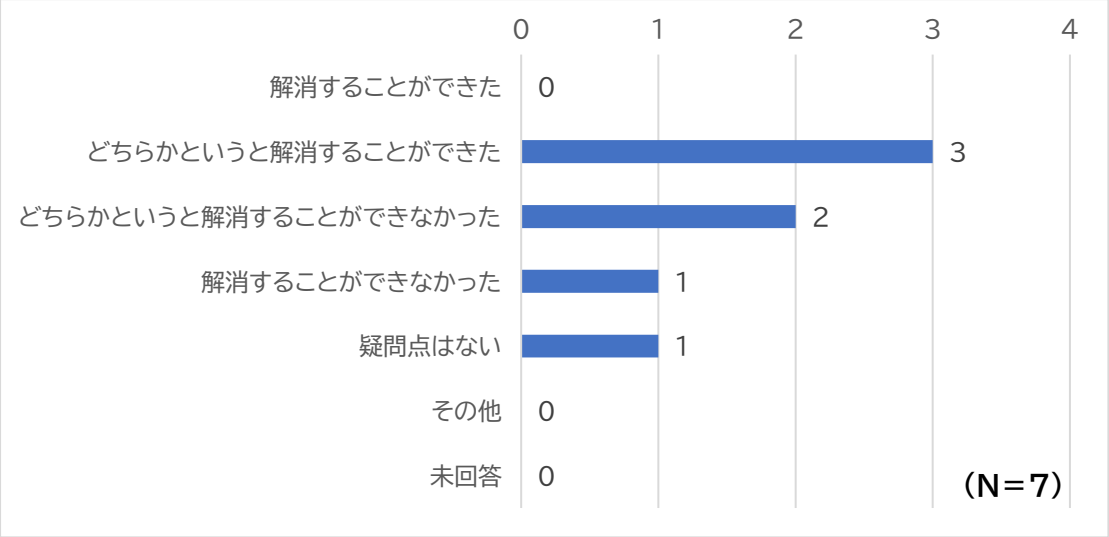


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」という意見が最も多く、次いで「解消することができなかった」が続いた。

	回答者数【N=7】
解消することができた	0
どちらかというと解消することができた	3
どちらかというと解消することができなかった	2
解消することができなかった	1
疑問点はない	1
その他	0
未回答	0
合計	7

図表 3. 疑問点の解消について



〇問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。

◇自由意見

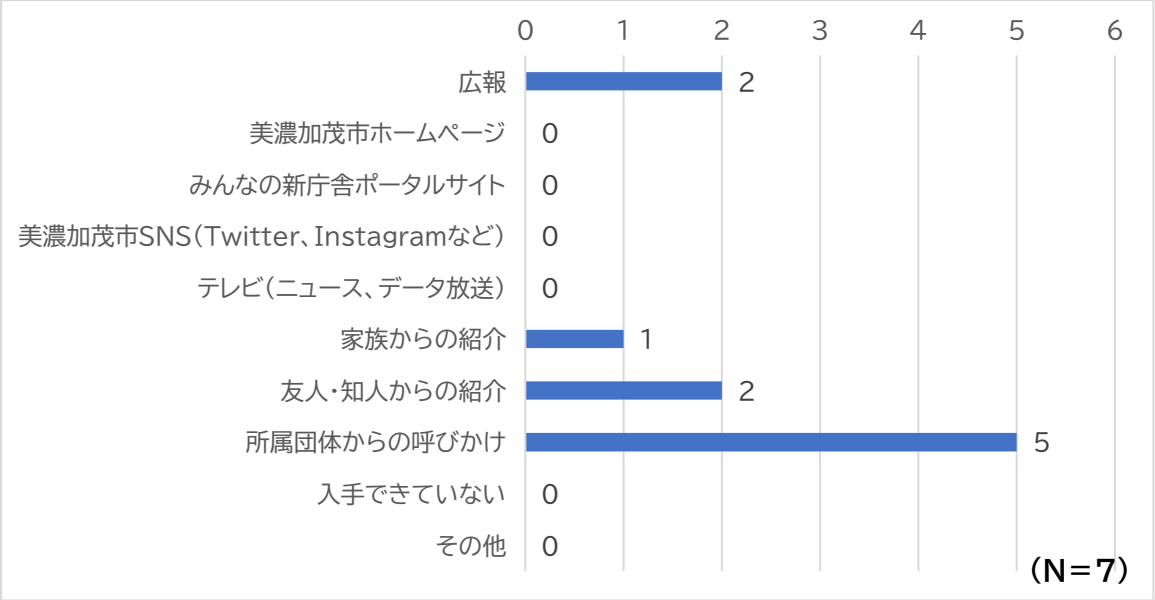
- 既存の庁舎にかかっている現状のコストと、新庁舎にかかるであろうコスト（予想金額）を周知して欲しい。
- 予算面、シティホテルの今後
- 新庁舎の場所が現在の場所と変わる場合、現在の場所の活用は決まっていますか？
- 候補予定地の地盤調査が済んでいるのか気になりました。これからの選考にしてもある程度場所の候補はあると思うので、先に場所の選定をしてからコンセプトや役割機能の議論が出来れば、イメージしやすいのではと感じました。

問 4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「所属団体からの呼びかけ」が最も多く、次いで、「広報」「友人・知人からの紹介」が続いた。

	回答者数【N=7】
広報	2
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	2
所属団体からの呼びかけ	5
入手できていない	0
その他	0
合計	10

図表 4. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



※複数回答有

問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見

- この新庁舎策定の機会を、市民が財政に関心を持つ機会となって欲しいと思います。
- 古井駅周辺はどうされる予定ですか。
- 子供は希望です。 建物に使う予算を子育て、子供達に使えるといいと思います。
- 利益を産む新庁舎が持続可能だと思います。
- 多目的ホールがあれば利用価値が高いと思います。
- 美濃加茂市民でどれだけの人が周知しているか？人数など知りたい

おでかけワークショップ（水曜クラブ（美濃加茂商工会議所））
ヒヤリング結果まとめ

1. 開催概要
（1）日時・場所・参加人数（主催者・事務局を除く）
日時：2024 年 2 月 14 日（水） 18:00～18：40
場所：シティホテル美濃加茂
参加者（主催者・事務局を除く）：16 人

（2）開催内容
1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

（3）事務局他
事務局：美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 概要
新庁舎整備ロードマップについて情報提供を行い、質疑応答を行った。

（1）質疑応答
市民）
二点質問がある。一点目はこれだけ当初の計画から延びたわけだが、それによってどのくらい費用が上がったのか。資材も非常に高騰している。この数年で計画が延びたことによって資材も高騰してきているわけだが、それによって経費がどのくらい増えているのか。二点目は、新聞で候補地の採点について、前平と駅前と旧庁舎が一番点数が高いと載っていたが、あれを公表したのは市なのか。公表したにも関わらず今全く候補地が決まっていないようだが、市民に選ばれた議員がいて、そこで行政がある程度決定して意見を聞いていくものではないか。市民アンケートというと聞こえは良いが、混乱するだけであり、悪戯に期限が延びて費用が高騰していくだけというふうに思えてならない。

市職員）
一点目について、最初に計画を始めた時から現在までで、物価の高騰は 1.27 倍と算出しているが、新庁舎を建てるのはまだこれから先になるので、物価がどうなっていくのかは分からない。あるいはこれから整備地が決まっていくが、場所によっても大きく変わってくる。土壌改良や土地の買い増しなどの調査はこれから行うので、今 20 か所ある候補地を 3 か所から 5 か所くらいに絞って、来年度調査をしていく中で明らかになると考えている。ただ資材の高騰に関しては今確実に上がっており、算出の中では 1.27 倍ということで考えている。二点目について、アンケートを行うと様々な意見が出るというのはその通りである。市として提示した候補地は 12 か所だが、市民の提案により 20 か所まで増えた。よって、アンケートを行うことでよ

り多くの意見が出る可能性はある。来年度には最後に 1 つの整備地に決めなければいけないが、行政としては当然最終的な判断をする必要があると考えているし、議員の皆様にも位置条例を定める議決権があるので、責任を持って決めるということが最後に残ってくると考えている。

市民）
今の考え方だと、3 か所を公表したというのは不合理だと思うが、どうして公表したのか。

市職員）
12 月に第 3 回ワークショップを行った際に資料を出したが、出したのは 3 か所ではなく 12 か所。

市民）
12 か所だったかもしれないが、新聞では高得点のところは 3 か所だと書いてあった。それを公表した意図というのはどこにあるのか。

市職員）
公表した内容は、利便性、災害に関する事、市の用地に関することという大項目が 3 つある。市有地があるかということや、土砂災害や液状化の危険性がないかを国や県の資料から評価している。市民から出てきた 8 か所の候補地についても同じように行っており、当然市民もその場所にした場合にどういった課題があるのか知る必要がある、というのは以前も言われていた。そのため、こういったものを全て拾い上げて表にした。

市民）
どうも納得がいかない。高得点が 3 か所あったのなら、今さら 20 か所にしなくても、その 3 か所で調査するべきではないか。市民調査などを経て数年かけて 3 か所が高得点であるという結論が出たのではないか。その 3 か所を新聞で公表しておいて、さらに 20 か所に増やして市民調査をするというのは、悪戯に期限を延ばして経費を高騰させているだけというふうに判断するのだが。

市職員）
候補地案の評価表があり、〇や△や▲というふうに評価をつけていて、そこに点数をつけていくと一番高得点だったのが 16 点で、4 か所ある。それ以外に 15 点のところも 2 か所あり、非常に高い点数がついたのはこの 6 カ所だと考えている。

市民）
新聞にそういう発表はなかったが。

市職員）
実際に今資料があるが、そこには 16 点が 4 か所、15 点が 2 か所で計 6 か所となっている。

市民）
なぜ新聞記事にはそれを出さないのか。3 か所に限定されていたが。

市職員）
新聞記者に対しても同じ資料を渡しており、それがどう公表されたのは我々では分からない部分があるが、我々としては市民全員に同じ資料を渡している。

市民）
それなら、新聞社に抗議しなければいけない。6 か所なら 6 か所と。

市職員）
自分の記憶では、その後ワークショップを 3 日間やったが、その時に市民から出た意見が偏っており、3か所が多かったという意味ではないかと思う。配点の点数ではなく、市民からの配点が多かったのが 3 か所だったということではないか。

市民）
自分の記憶違いかもしれないが、確かに点数は書いてあった。了解したが、とにかく悪戯に期限を延ばすと、100 人に意見を聞いたら 100 通りとまではいかなくても 50 通り 60 通りになってしまう。スピードというのも非常に大切ではないかと思う。27%の物価高騰に関しては円安が進んでいるのでもっと高騰すると思うが、事業をやっている我々の感覚では 4 割、電気料金に関しては 5 割は上がっている。27%というのは少し甘いのではないか。当初の 60 億が 90 億になるという換算が誰が考えても出てしまう。税金で作るわけだから、誰か 1 人の考えで延ばしても無意味かなと思う。

市職員）
我々としても少しでも早くという気持ちは持っている。元々庁舎を建て替える原因は庁舎の老朽化であり、今回も能登半島で 2 回大きな地震があり、熊本のときもそうだった。今の庁舎が大きな地震に 2 回耐えられるかというとかなり大きなクエスチョンがつくので、そういったことを考えて、少しでも早く建てた方がよいというのは我々も感じている。市長、副市長とも相談しながら少しでも早く進めていきたいと思っている。

市民）
御嵩はリニアの残土を入れるということで、前の町長が推進していたがひっくり返ってしまった。美濃加茂でも、仮に今回 3 件のうちの 1 件を整備地として決めたとすると、次の市長が代わった時にまた変わるということはあるのか。それは絶対ないのか。

市職員）
非常に難しい話だが、市長を選出するのは我々職員ではなく市民。ただ現実として、滋賀県の事例だったと思うが、基礎工事を始めた段階で市長が交代して、工事をストップさせ、工事を行った会社に違約金を払ってまで止めたという話がある。市長が代われば、そういった可能性はゼロではない。そこは絶対に変わりま

せんとは言い切れない。

市民）
しかし、それには市議会の同意が必要ではないか。

市職員）
もちろんです。

市民）
場所が決まった後の規模などで金額がかなり変わってくるのではないかと思う。自分が聞いた時は工事費が 70 億くらいの規模の金額だったが、選定された場所によって建物の構造が変わってくると思う。その辺はまだ決まっていないと思うが、どういう計画があるのかお聞きしたい。

市職員）
建物の本体工事は 55 億～60 億を見込んでいるという話を市民にはしている。ただ、その中には地盤工事や造成工事、外構工事は含まれていない。当然整備地によって大きく変わってくるし、例えば市有地が 5000 平米あったとしてもそれで建物と駐車場が全て賄えるかといったら難しいので、用地買収も考えなければいけない。それが場所によって大きく変わってくる。実際どれだけかかるのかは今回の 4000 人を対象とした市民アンケートで 3～5 か所に絞り込んだあと、来年度予算で調査をしていきたい。その後、今年の 11 月から 12 月に行うタウンミーティングで、例え同じ建物を建てたとしても候補地ごとに費用が変わるということや、県へ申請するとこれからさらに一年かかるというような課題も出てくると思うので、そういったことも来年度調査してお示ししていきたい。

市民）
公表してもらえるのはありがたいが、1年延びたら経費が何十億増える、2年延びたら何十億増えるということも合算して市民に公表しなければならない。その金額がないと、市長選で争ったわけだから、ここが良かったという人はまた色んなことを言われるし、こっちが良かったという人がこっちに移ったらというような意見が必ず出てくるので、悪戯に市民の意見を聞くだけではいけない。トップが判断できればいいが。情報を開示するなら全て開示して、スピードをもってやらないとお金がいくらあっても足りない。どこかの市町村で入札が全て辞退してしまったところもあったし、そういうこともあり得る。

市職員）
スピードに関しては先程もお話したように、少しでも早くという気持ちを持っている。情報開示については、全て開示したいと考えている。白紙になった時に、原因は情報が届かなかったからだという意見もいただいているので、今言われたようなことについても積極的に出していこうと考えている。

市民）
新庁舎の基金は今いくらあるのか。

市職員）
今年度の積み立てをした状態で約 24 億円になる。

市民）
高騰の話で、丸山ダムの所長から、2000 億円でダムが完成する予定だったが、高騰分を含めると 4000 億くらいかかるという話を聞いた。工事も令和 11 年に完成する予定だったが、10 年は延びるだろうと言われており、働き方改革も含めると、コンクリート打ちが月曜～土曜だったのが月曜～木曜まで行い、金曜は洗って土日は休みということになると、突貫工事もできなくなっている。国のダムでもそういう状況ということを考えると、早くしていかなければいけない。

市民）
もう一つ言うと、候補地の中で、用地買収しなくても良いところがあるのか、100%これから用地買収しなければいけないのかということ。買収しようと思ったらなかなか話がつかない。道路一本作るのに 10 年かかるわけだから、その辺りのことも公表していかなければいけない。ここなら 95%市有地で 5%買い足せば良いとか、ここだったら半分買わなければいけないとか、全部買わなければいけないなど。金額の話ももちろん公表しなければいけないが、用地買収はそう簡単にはいかない。

市職員）
採点表の中で市有地が何平米あるかということを書いている。また、実際に市が必要な土地というのが、駐車場であれば市民は広い駐車場を希望しており、公用車や職員駐車場も必要になるので、少なくとも 1.8 ヘクタール必要。後に同じ敷地の中で庁舎を建替えようとすると、2.1 ヘクタールは必要だろうと考えている。その条件をクリアできるのは 12 か所の中に 2 か所しかない。それ以外の場所は用地買収が必要になってくると考えている。

市民）
その2か所はどこか。

市職員）
一つは山之上のサンスポーツランドで、2 万 3902 平米の敷地がある。かなり低いので埋め立ては必要になるかもしれないが、敷地としてはある。もう一つは前平公園隣の畜産研究所。今は県に貸しているが、約 6 万平米ある。ただ、かなりの造成が必要になるので、用地買収は必要ないが、造成費がかなりかかるだろうと考えている。

市民）
今の市役所のところはどうか。

市職員）

今の市役所の敷地は 7179 平米。現庁舎を見ていただければわかるが、職員のスペースも待合のスペースも狭く、プライバシーの保護もできないような窓口になっており、今のままでは小さい。7000 平米だけでは建てられない状況。

市民）
個人的には、能登の地震もあったし、東北の方で大きな地震もあったし、熊本でも地震があった。東北で地震があった時は市役所も津波でやられてしまって、市役所の機能が全く果たせない状態が 1 週間以上続いたということがあったので、そういうことがあっては困るし、かなり古い庁舎なので、早めに考えなければいけない。また、現在の山手線だが、中部国際医療センターとミツカンとヤマザキマザックの車でものすごい渋滞ができている。畜産研究所で 2.1 ヘクタールの市庁舎ができると、山手通りの混み具合から考えて、4 車線にしないとかなり難しい。山之上の方であれば市庁舎に商店街は必要ないので、渋滞を考えなくても良いと思う。

市職員）
渋滞に関することはワークショップでも何人かの市民から指摘があり、朝も夜も山手線がすごく混むとのことだった。来年度調査する中で、交通量も含めて検討していきたい。能登では庁舎が崩れたという話はあまり聞いていないが、熊本では多くあったようである。美濃加茂では災害が発生した場合、文化の森に災害拠点としての機能を持たせるように整備をしている。現庁舎が地震や水害で使えなくなった場合、文化の森で災害対策本部として使用できたり、罹災証明書を発行できる窓口なども整備をしている。ただ、あくまで代替え施設であり、本庁舎が使用できることが一番だと考えているので、少しでも早く建設することに力を入れていきたい。

市民）
来年度中に決定となっているが、いつまでに作るのかが見えてこない。市議会議員の意見も全然伝わってこないし、その辺りは市としてどう考えているのか。

市職員）
いつ新庁舎が完成するのかについて、ロードマップの 10 ページに整備地が決まってからのプロセスを載せているが、一番下に、整備地や事業手法によって異なりますということを書いている。先程も話があったように、用地買収をしなければいけなくなった時に、スムーズにいかない場合もある。あるいは用途指定を変更しなければいけない場合もある。また、事業手法として今の鉄筋コンクリートなのか、あるいはリースで建てるという手法もある。どういった手法を選ぶかによって新庁舎の完成は早くなったり遅くなったりする。三重県では民間の施設の一部に入っており、そういったことでがらっと変わる可能性はある。今の時点でいつ頃完成するのかを予測するのは難しい。

市民）
ここに作るんだったら完成はこの時期になるというのを説明の中に明記しなければならない。

市職員）
今年の 3 月に候補地を 3 か所から 5 か所に絞った後に、候補地の調査を行う。その後、タウンミーティングで市民に話をして決めていく時に、この場所だったらどれくらいの期間でどのくらいの費用かということが明確になっていく。20 か所全てを調査するというのは時間的にも費用的にも非常に難しいので、市民の意見を聞いて絞り込んだ上で、費用や期間などが明らかになってくると考えている。

市民）
市議会の方はどうなのか。

市職員）
市議会には新庁舎建設特別委員会がある。今年度は 9 回行っており、情報共有という形でお伝えしている。あとはそれぞれの個人または会派で活動されているということは聞いているので、市民の皆さんと情報を共有されている方もいらっしゃるということを確認はしている。

おでかけワークショップ（美濃加茂市の未来を考える市民の会）
ヒアリング結果まとめ

日程：令和６年６月26日（水）
時間：19：00～21：00
場所：生涯学習センター201
出席者：31名（事務局を除く）
事務局：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

（参加者）
新庁舎の候補地決定に予算を考慮しない点やアンケート用紙に建設費の記載がないことに疑問。資料には建物費だけでインフラ費用は不明だが、自分の試算ではインフラに30億円、市民一人当たり約14万5000円の負担が12年続く計算。総工費を無視して決めていいのか、市の説明不足にも不満があり、もっと詳しい情報を求めたい。

（市職員）
皆さんのご意見を聞く場を設けていただいて本当にありがたい。新庁舎整備ロードマップに沿って市民との対話を重視してずっと進めている。令和6年度には一つの候補地に絞るが、皆さんの意見を聞く場として今日は22回目となる。多くの御意見をいただいている。今日も色んな意見をいただきたい。

（市職員）
令和4年度末にロードマップを策定し、ワークショップやアンケートを重ねて市民参加のもと4つの候補地を選定した。方針は総合政策会議を経て決定して議会に報告済み。今年度は候補地の詳細調査を行い、事業費を算出する。大手町公園は代替公園が必要かを検討。現庁舎はリノベーションの可能性や仮設庁舎、駐車場の課題を整理し、プラザちゅうたいは庁舎との一体整備を検討する。今後はタウンミーティングで情報を共有し、住民投票や市民アンケートの実施を議会と協議。議決により整備地を決定し、基本計画と設計を進める。これまでの事業費は約1億1000万円、令和5年度は約2400万円、令和6年度は約6000万円を計上。基金は約24億円を積み立てている。

（参加者）
新市長になった時に、白紙に戻すということで市長になられたが、どのレベルまで白紙に戻したのか。

（市職員）
旧計画は基本構想と基本計画があったが、基本計画は全て白紙となり、基本構想の4つの候補地も全て白紙となった。ただ今まで聞いてきた市民からの意見はそのまま生かしたいという

考え。

（参加者）
言ってることとやってることが違う。市長は20年後、30年後の美濃加茂市をどうしたいのか具体的なプランを示すべき。材料費も建設費も倍になっているのに、進捗状況と言いながら突っ走って市民に責任を押し付けるように見える。市税や市民サービスへの影響についても説明が不足している。未来を見据えた適切な新庁舎の計画が必要だ。

（市職員）
まず人口について。美濃加茂市は当然人口ビジョンについての推測はやっているが、新庁舎だけではなくて美濃加茂市全体で色んな事業があるので、それを含めた上で人口ビジョンがどうなっていくのかということで、2030年をピークとして人口が少しずつ下がっていくと予測している。

（参加者）
ピークは何人なのか。

（市職員）
57600人くらい。

（参加者）
2030年ももうちょっとの話だが、数百人しか増えないとなると、それからどんどん減っていくということは、今の住宅がどんどん空家になるということ。

（市職員）
その可能性もある。

（参加者）
そういった事実しか見えない。美濃加茂市というのはずっと続くわけなので、どこに焦点を当てて建てる予定なのか。

（市職員）
2030年をピークに人口が5万2千人台まで減ると計画されているが、時代の変化に合わせて見直しが必要。今年度、人口ビジョンを改めるため企画課が中心となり、国等のデータを加味して進めている。これに伴い第6次総合計画も前期・後期で5年ごとに見直しを行うタイミングになった。こうした上位計画に基づき、新庁舎整備事業の方向性も修正が必要になる部分がある。現在、見直しが始まったところで、今後の具体的な変化はまだ把握しきれていない。

（参加者）
市長のビジョンが見えず、計画には夢がない。ただ数字を並べるだけでは市民の未来は描けない。加茂野は無計画に住宅が乱立し、三和は過疎化が進む中、都市計画課も形だけで具体的な計画が見えない。このままでは美濃加茂市の未来は何も変わらない。

（市職員）
今ご説明させていただいたのは言われた通り行政の組織としてどういった計画かということを説明させていただいて、市長としてというのは、私は市長の意見を代弁するわけにはいかないので、市長としての考え方を示すというご意見があったということは我々としても市長に伝えていく。

（参加者）
市長がきちんとあなたたちに説明していないんでしょう。

（市職員）
今我々がやっているのはまず市民との対話…

（参加者）
対話をするだけで、そのために市長はこういう美濃加茂市にするからこういうことをするんだというプランが全然無いではないか。

（市職員）
考え方にもよるが、市民から色々な話を聞いた時に、市民と市民が話し合って作り上げていく、あるいは市と市民が話し合って作り上げていく方法と、市がこういう方向性に進みたいってやると一部には誘導だと思われる方もみえるというのが非常に難しいところ。今回は、今までと違うやり方ということで、市民との対話を積み上げていこうという考え方を我々は持っている。

（参加者）
市民は30年後の美濃加茂市を具体的に考える人は少なく、役所を利用する機会も減少している。これからAIやマイナンバーの普及でさらに訪れる必要がなくなる中で、瞬間的な政策では未来は描けない。50年、60年先を見据えた長期的なプランがないなら、市長は白紙に戻して新たな明確なビジョンを市民に提案するべきであり、市役所はそれに基づいてしっかり計画を進めていく必要がある。

（市職員）
その辺りも十分伝えていく。

（参加者）

それも伝えて、例えば次の市報に美濃加茂市の 30 年後はこうだっていうことくらいは言わせるようにしてほしい。

（市職員）
話をしておく。あと、先程事業費実績で指名という言葉があるということだったが、これは指名競争入札で業者を指名したという意味。

（参加者）
他はどこを指名したのか。

（市職員）
そこは正直自分たちの手から離れている。契約関係の担当が指名をするので、そこは把握していない。

（市職員）
指名競争入札は美濃加茂市の指名業者の登録というのがあり、その中でこの業務ならこの会社ができると登録されている。その中でアンケート調査の経験値がある会社を財政課の契約係の方で指名をしていくということになる。

（参加者）
どちらにせよこの人は美濃加茂市の将来を見据えて市役所の色んなことを考えてくれていると思うので、そういった絵くらい描いているのではないか。例えばこういう市にしたいということを市長がしゃべって、リサーチをして、だったらこういう機能がいるとかやるのではないか。

（市職員）
強みは、大学の教授をお呼びして、どういったことが市民が納得できなかったのか分析する作業を一年かけてやったということ。

（参加者）
そんなことを1年かけてやって、2030年に人口が数百人しか上がらないような、大した計画ではないではないか。

（市職員）
2030年に人口が上がるというのは別の業務。

（参加者）
人口が増えれば税負担の軽減や地域の活性化につながるため、7万人を目指すような計画をするべきだ。人口増加が重要なキーワードであり、住宅街を整備して人を呼び込むような具体

的な施策を示すべきだ。ただ市役所を作るような表面的な計画では課題解決にはならない。

（市職員）
今言われたことは、総合計画を委託する業者にとっては生命線かと思う。今回の委託でお願いしたのは、令和3年度まで進めてきたことが白紙になり、市民が理解できなかったのはどこかと検証するための委託業者なので、そこは作業が違ったのかと思う。

（参加者）
市長が総合計画を市役所の職員を集めて作らない限りは、こんなものは全然話にならないと思う。

（参加者）
他の方。どうぞ。

（参加者）
新庁舎の候補地選定は不自然で、人気投票のような方法には疑問がある。大手町公園は都市公園かつ区画整理事業であり、候補地としての可能性は無い。前平公園も現実性が低い。職員の意見を最優先すべき。最も利用する職員からアンケートを取り、無駄な調査を避けて現実的な計画に絞って進めるべき。大手町公園の「中心」という意味も具体的に説明してほしい。大手町公園を中心とする半径500mだったらシティホテルも入るが、そういう意味でいいか。

（市職員）
違います。

（参加者）
前平公園への移転は都市計画や利便性から不適切で、可能性調査は不要。適切な候補地はシティホテル跡地かプラザちゅうたいのみ。現庁舎は水害対応が可能で、新丸山ダム完成後も安全性が向上するため長く使える。大手町公園は防災上守るべきで、無駄な調査は必要ない。

（参加者）
他にございませんか。

（参加者）
初めて参加するが、すごい意見を聞かせてもらった。なぜここに市長がいないのか。なんか不思議に思って。すごくよい意見なので、私も市長のビジョンが見たい。そう思うと、二人のせいとかじゃなくて、市長のビジョンが見たいなと思った。

（市職員）

今日のワークショップには日程が合わず不参加だが、日程が調整できれば直接話を聞いていただく機会もある。

（参加者）
大丈夫です。来月もやってもらいます。来れば。ということで誰か他にご意見ありますか。どうぞ。

（参加者）
議会制民主主義では、執行部が計画を立て、市民が選んだ市議会が最終判断すべきだと考えている。ただ、前回の市長選では「60億円もかけて庁舎を建てる必要はない」が争点だったのに、現在は建物だけで60億円、総額も完成時期も不透明だという。市長交代で白紙に戻る可能性もある中、予算は2割増程度との説明だが、それでは甘く、いくらかかるか分からず使った分だけ支出する計画は市民として受け入れられない。議会にはこうした点を厳しくチェックし、健全な市政を行ってほしい。

（参加者）
他の方。どうぞ。

（参加者）
市は企業ではないのだから、必要のないものを作る必要はない。インフラ整備は当然進めるべきだが、市役所整備についても、市長としてどんなまちを目指すのかという明確な理念やビジョンが必要だと思う。人に優しいまちなのか、子どもに優しいまちなのかを示さなければ、職員の方が大変。その点を市長に伝えてほしい。

（参加者）
ありがとうございます。他に誰か。

（参加者）
この間まち協の会議で副市長がみえて、このことについて説明していただいた。それで4つ案を出し、メリットとデメリットをしっかり出すと。それから経費のこともしっかり話しますということを言われたが、これは確かか。

（市職員）
確かです。

（参加者）
先程言われたようにできるだけ経費を少なくして、他の所に目針が行くような計画にしていただきたいので、経費面はしっかり出していただくことをお願いしたい。

（市職員）
分かりました。

（参加者）
他の方、ご意見はいかがですか。どうぞ。

（参加者）
負債を増やすことで未来に負担を残すべきではない。現庁舎の活用や連絡所の充実という選択肢を優先し、災害時の避難やオンライン対応も考慮すべき。さらに、サーバーの耐震性に固執せず、遠隔地でのバックアップ体制を整えることでコストを抑えられる。美濃加茂市全体を視野に入れた現実的な計画を再検討してほしい。

（参加者）
ありがとうございます。他の方。課長に9時とお願いしたので十分時間はある。

（参加者）
白紙の意味が不明確で、やる・やらないまで戻したのかが曖昧だ。実施前提のまま場所も予算も決まらずにワークショップやアンケートを重ねても意味がなく、却下されれば税金だけがかかり続ける。候補地決定後に調査を行うなどロードマップの順序にも疑問があり、大手町公園が出てきたのも不自然だ。造成費や耐震性など前提条件を整理しないまま場所だけ聞くアンケートは公平ではない。市長は一丁目一番地が耐震なのか水害なのかを明確にし、60億円を超えないという上限条件を示した上で進めるべきだ。

（参加者）
先程立地適正化計画の話があったが、議会でお話されたことをもう一度皆さんに分かるようにお話いただきたい。

（市職員）
立地適正化計画に限らず、総合計画や人口ビジョンなどの計画は、一度作って終わりではなく、分析と評価を行いながら時代に合わせて見直していくものである。立地適正化計画についても、必要な時期が来れば見直す必要があり、市役所の位置が変わるのであれば、誘導区域の扱いも含めて見直しを検討することになる。これは他の計画も同様で、10年、20年と固定したままにするものではない。

（参加者）
さっき分庁舎が。

（市職員）
分庁舎は、今回4つの候補地の中では、本庁舎・西館・分庁舎の3つを1つにする。ワークショップでも市民の方も1つの建物で用事を済ませたいという意見が非常に多かったので、基本的には一つに全部まとめるという方向性で考えている。

（参加者）
ということは今よりも延べ床面積が大きくならなければいけないということか。

（市職員）
建物一つとしてはそう。ただ、本館西館分庁舎を合わせると7，200㎡程度。

（参加者）
駅前は。

（市職員）
現庁舎の床面積は約7，200㎡で、総務省や国土交通省の基準で設計すると、将来整備する庁舎は現在より大きくなる。現在は待合スペースが不足し、窓口で個人情報が聞こえるなど市民に不便をかけているため、待合や窓口を拡充すれば、単純に既存施設を合算したよりも延床面積が増えることは想定している。

（参加者）
予算を考えなければそうなると思うが、欲しいものとできるものは訳が違う。誰だってほしいものは一杯あるけど、我慢しながら生活しているので。

（市職員）
我々もお金をどれだけかけてもいいとは思っていない。どこまで抑えていくかというのは当然である。

（参加者）
どれだけお金がかかるか分からないということをはっきりおっしゃったので。それはお金持ち的な回答というか。恐らく完成までには倍かかる。

（参加者）
会議所から政策提言が出ていると思うが、それに関してはここには全く触れられていないが、市がどのように受け止められているのか聞きたい。

（市職員）
自分は直接公室には入っていないが、中に入っていた者やあるいは市長から直接確認をした

時には、今回の市民アンケートで意向を確認した上で4つの候補地ということで尊重をしたいということでお話をされたと聞いている。

（参加者）
政策提言の意には沿わないということか。

（市職員）
はい。今の状況の中では改めてということはない。

（参加者）
ロードマップで説明をいただいた時気になることがあったので聞きたいのだが、STEP5で新庁舎の複数候補地案を選定、これにワークショップに参加された57名の方で候補地が選定されて、それをもとに4000人のアンケートを行って1500人の回答をもって4候補地を決めたという認識で間違いないか。

（市職員）
STEP5では、市が市有地の中から12か所を候補地として選定し、その条件を説明した上でワークショップを行った。あわせて市民から8か所の提案があり、計20か所を対象に意見を整理したうえで4000人アンケートを実施し、その結果、上位4か所を候補地とした。

（参加者）
ワークショップで選んだ20か所の候補地やアンケートの意義に疑問を感じており、選定方法が間違っていた可能性があると考える。唐突に提示された4候補地も市で通らないものが含まれた点に納得できない。2300万円をかけた結果がこれでは普通の企業なら契約を継続しないはずなのに、来年6000万の予算を確保する矛盾にも不満がある。勇気を持って STEP1からプロセスを見直すべきだと提案したい。

（参加者）
57人の話から20か所を選び、4000人のアンケートで4か所に絞ったが、工事費55～60億円以外の具体的情報がなく、アンケート自体が不信感を抱かせる。市民サービスが低下し、地域で猫の死骸すら処分するような状況になるのではないかと懸念している。

（市職員）
市長の基本方針は、市民の意見に基づいて進めることであり、市のバックデータを活用しながら市民に考えてもらう姿勢がある。調査費がかかっている点は事実だが、一方的な説明ではなく、市民同士で知識を深めるためにワークショップや市民アンケートを実施した。アンケートは無作為に行われ、回答数が1000を超えれば全員に聞いた場合と 3%の誤差しか出ないという理論に基づいている。

（参加者）
市民は市長の生の意見を求めているが、こういうワークショップに市長が不在なのは不自然だ。前市長のように市民の声に直接向き合う姿勢が必要で、忙しければ副市長が対応すべきだった。部長は市長に出席を求めるべきだったと思う。

（市職員）
そこは私の調整不足。

（参加者）
普通こういうワークショップがありますといったら、じゃあ市民の意見を聞かなければいけないなと思うのが最低でも市のトップ3人の役割ではないのか。本当に仕事がやりたければトップが出てくるのが当たり前ではないか。3人集まって全部聞きますとやったら部長課長は楽だと思う。

（参加者）
市民の意見は参考にすべきだが、決定権は行政と議会が持つべきで、今は議会が軽視されていると感じる。新庁舎だけ過剰に市民参加を求めるのは不自然で、白紙撤回後も目的や一丁目一番地が市長から示されていない。耐震なのか水害なのかを明確にしないまま、条件整理もないまま候補地を並べてアンケートを取るのは不公平だ。前平公園や大手町公園は立地や安全、規模の面で不適切で、庁舎は駅周辺で再開発と一体的に進めるべきだ。市民アンケートだけで候補地を決めるやり方はやめてほしい。

（参加者）
市役所職員の方の候補地のアンケートはないのか。

（市職員）
今年行いたいと思っている。

（参加者）
市民のアンケート結果を参考にする前に、市役所職員の候補地意見を示すべきだ。プロとしての意見がないと市民も表面的な判断になりがちで、職員の専門性を反映した決定が重要だ。自分が同じ立場なら、お客さんの意見だけで場所を変えることには抵抗があると思う。

（市職員）
市職員は駐車場の利便性を重視しており、寒い日や雨の日の通勤を考えると役所に近い場所が望ましいとの意見が以前からあった。ただ、今回の候補地では敷地の広さが限られる場合もあるため、周辺施設の活用や用地買収を視野に入れつつ検討が必要。全ての条件を満たせる

わけではないが、経費を抑えつつ実現可能な範囲で進めていく。

（参加者）
場所は市役所の職員に聞いたのか。

（市職員）
聞いていない。

（参加者）
それは職員に聞くべき。市長にちゃんと言った方がいい。俺らが働く場所がお客さんに決められるのか、みたいな。それは自分が社員だったら絶対、というか株主だったら株主総会で言う。それが普通だと思うし、市役所の職員がそこに不満がなかったらだめだと思う。

（参加者）
整備地の決定だが、アンケートでは分散して困難ではないか。市が一つの候補地を決めて、市民に提示するのでいいと思うが。そうしないと決まらないと思う。

（市職員）
議会でも議論をしているが、多数決で決まる場合でも、例えば51対49になったとして、必ずしも51を選ぶべきとは限らない。特にインフラ整備の費用の問題がある時は、将来の市民のために安いほうを選ぶ必要が出てくることもある。最終的には議会で市長が上程した案を議決する形になるが、アンケート結果だけで候補地を決めるわけにはいかない。執行部や市長がしっかり決意を固めて案を出し、それを議会で議論の上で賛成多数で決定する形にしていきたい。

（参加者）
前平になったら問題点が一つある。あそこには森山用水路が通っている。雨が降ると森山用水路が溢れて被害が出る。

（市職員）
畜産試験場の前平の部分だけではなくても、現庁舎以外の候補地には新しく建物が建つことになれば、当然排水計画も全て見直す必要があり、そこにいくら費用がかかるかということも試算をしようと考えているし、試算をしたものを市民に公開していきたいと思っている。

（参加者）
お二人ともすごく苦しい立場だと思うが、今の大手町公園の話は今始めて知ったのか。

（市職員）

駅北区画整理事業は、昭和57年から平成3年まで行われたもので、土地を持っている人が提供した土地を基に進められた。例えば1000㎡で1000万円の土地がある場合、公園や道路など公共施設のために300㎡を減歩として提供してもらい、残りの700㎡を真四角で価値が保たれる形で返す仕組みだった。また、保留地として一部の土地を売却し、事業費に充てた。このように区画整理事業で集められた土地を使い、大手町公園が作られたことは認識している。

（参加者）
今建たないと言っていた。それは分かっているのか。

（市職員）
区画整理事業が今終わって清算して解散している状況で、個人的な感情は別としても、法的には公園でなくすることは不可能ではない。ただ、都市計画公園として県などとの調整、あるいは市民への説明会等で都市計画決定の変更をしていく必要があるので、かなり難しいがゼロではない。

（参加者）
減歩した土地をそんな勝手にできない。区画整理法違反。

（参加者）
都市計画決定しているから外せない。

（参加者）
本当に色んな意見が出ているから市長が出ていないのがもったいないと思うし、今日はすごく勉強になった。来月あったら絶対来ようと思う。今度は絶対に市長と副市長を連れてきてほしい。

（参加者）
先程市職員が最終的には市が上程して、議会の3分の2の賛成があったら通りますよと言った。議員がそれはおかしいと言ったら白紙に戻るのか。もしそうなら議員にもう一度我々の真意を伝えて、その時に3分の2以上の賛成がなければもう一度考え直すのか。

（市職員）
今までも、近いところだと多治見市も上程をしたが通らなかったということがあった。全国でもいくつか情報がある。ただ、白紙に戻すというやり方をしたところもあれば、元々上程したものに対して市民や市議会に何度も説明して通ったというケースもあるので、必ずしも白紙にするかというのは分からない。

（参加者）

行政と議会に市の決定権があるので、ぜひ議員の皆さんに、いい庁舎ができるように頑張っていただいて。我々も色んな方にアクセスをして、意見を言ってもらうことが必要かなと思う。

（参加者）
時間になったのでこれで終わりにしたいと思う。来月も、ぜひ。課長は市としてはこれ以上話すことはないと言われたが、私達は話すことがたくさんある。ぜひこの機会を作っていただきたい。よろしいですか。

（市職員）
今市長の日程を持っていないが、日程の中で公務のないところに上手く合わせられればできると思う。調整させてほしい。

（参加者）
調整したら連絡をいただきたい。

（市職員）
来月になるかは分からないが、調整はしっかりしたい。

（参加者）
分かりました。今日は皆さんありがとうございました。時間がなくて発言できなかった人は申し訳ない。また次回に発言をお願いしたい。これで終わります。ありがとうございました。

おでかけワークショップ（美濃加茂市の未来を考える市民の会）
ヒアリング結果まとめ

日程：令和6年10月7日（月）
時間：19：00～21：00
場所：生涯学習センター201
出席者：30名（事務局を除く）
事務局：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

（参加者）
本日の司会を務めさせていただく。まずは美濃加茂市の未来を考える市民の会の会長から挨拶をいただく。

（参加者）
これまで4回の会で意見を請願書などにまとめ、市に働きかけてきた。市長のビジョンが見えないという声があり、今日は市長にも参加してもらった。明るい未来に向けて、この意見交換を進めたい。

（参加者）
続いて、藤井市長からご挨拶をいただく。

（市長）
以前の会は、スケジュールが合わなかったことを申し訳なく思う。こういった会は美濃加茂市にとって大切だと思うので、タウンミーティングに向けて皆さんからの声を聞きたいし、市として私が何を考えているのかもしっかりお伝えしていきたい。この後、今のビジョンについてもお時間をいただいているので、ご説明をしたい。

（参加者）
続いて、会長より市民の会の活動報告をしていただく。

（参加者）
1ページ目では、新庁舎について8月23日に議長宛てに請願書を提出した内容を記載している。請願の内容は、市民、職員、有識者へのアンケートを実施し、その結果を基に新庁舎建設特別委員会で候補地を選定するというものであり、9月の議会で採択された。3・4ページでは、新庁舎建設特別委員会を傍聴した際の感想をメールで送ったことが記載されている。その内容として、地質調査を含まない点、アンケート作成の期間が十分かどうか、可能性調査の予算について、地方自治法に基づいて進められるか等の質問を行い、回答を得たことが記されている。5ページ目では、請願書採択へのお礼とともに追加のお願いについて触れている。6・7

ページでは、有識者にもアンケートを行う提案について記載があり、市民だけでなく職員や有識者に対しても20候補地に関する調査を実施するべきという内容となっている。以上です。

（参加者）
当会の活動報告に対して、ご質問やご意見はあるか。

（参加者）
議員さんに伺いたいが、今の請願書や意見書などはちゃんと議員に配布されて審議されているか。

（議員）
現物の配布はしていないが、議員と事務局間で意見交換や確認を実施した。職員アンケートについては市で既に実施されており、要望もあるため対応可能との認識である。一方、有識者アンケートについては対象者の選定が必要であり、執行部で検討されるべき事項となる。

（参加者）
議員ありがとうございます。他に誰か。

（参加者）
市長には 10 年前に一度お会いしたが覚えていないかもしれない。本日は市長の考えを直接伺いたい。職員アンケートの結果が市民に十分周知されていなかったように感じるが、新庁舎では職員の働く環境も重要だと思う。また、新聞記事で前市長案との選挙での対立について触れられていたが詳細が気になる。市長が最初の庁舎案の頃に駅前案を持っていたとの話が本当かどうか、さらに前市長案に戻る可能性はないのか伺いたい。

（市長）
駅南案については、昭和58年度の水害を踏まえ、場所を変えるべきという意見があったが、自分が駅前案を推進した事実はない。選挙においては、前市長と新庁舎について意見が一致せず、その結果選挙に至った。現在、候補地を4つに絞り、計画を早急に進める方針だが、駅前案には戻らない。ただし、市民や議会の意見を尊重し、進めていくことを重要視している。

（参加者）
今の内容については課長から後ほど方針の説明もあるため、その後に質疑応答の時間を設ける。続いて、市長の未来の美濃加茂市についてのビジョンについて説明をいただく。

（市長）
ビジョンについて説明する。第6次総合計画は10年のまちづくりの指針であり、簡単に変えるものではないが、今年は中間年として見直しを行っている。これまでの6分野を12分野に拡充

し、残り5年間で何を行うかを明確にした。私が重視しているのは、一人ひとりの市民が活躍できる可能性を引き出す環境づくりと、市政や地域を自分事として考え参加してもらうことの2点である。現状では、地域活力や多文化共生、若者・女性の将来像などの指標が低く、改善が必要だと考えている。人口減少が進む中でも、美濃加茂市は2050年に6万人を確保するという人口増の目標を掲げ、若者や現役世代に選ばれるまちを目指す。言葉だけでなく、より分かりやすくビジョンを伝えていきたい。

（参加者）
非常にボリュームがあったので、また今後動画などで周知されるということでよろしいか。はい。気になるなというところがあったら簡潔にご質問をいただければと思う。

（参加者）
総合計画は10年に固執せず、市長のビジョンを反映できるよう3～5年単位のサイクルに見直すべきだ。指標については策定時からの推移を明示し、新庁舎建設の財政負担も踏まえた現実的な目標設定を求めたい。また、市の産業を支える外国人住民との多文化共生を、より一層充実させてほしい。

（参加者）
ありがとうございました。市長、それに対して何か。

（市長）
総合計画の10年という期間は長く、市長の任期に合わせるなど策定サイクルの見直しの議論が庁内でもある。指標の推移表示については、過去データがある項目を中心に前向きに検討する。 また、外国人住民への対応は本市の重要課題だが、今後は外国人のみならず、名古屋や関西圏からの移住促進にもより注力し、共にまちづくりができる環境を整えていきたい。

（参加者）
市長ありがとうございます。その他にビジョンについてご質問がある方は。

（参加者）
「孫子の代まで住み続けられるまち」というビジョンを、雇用創出など目に見える具体的な形で示すべきだ。また、国や県とのパイプ不足や補助金獲得への影響を懸念する声があるが、過去の事件による影響も含め、実情を伺いたい。

（市長）
国や県との連携不足や過去の事件による悪影響は一切ない。地元国会議員の協力もあり、ダム事業や高速道路の延伸といった大型事業は順調に進捗している。補助金についても、むしろ市独自の先進的な取り組みによって適切に確保できており、市政運営への支障はないと認識

している。

（参加者）
市長ありがとうございました。他に質問がある方もいらっしゃるかと思うが、次に行く。最後に一人一つずつくらい質問をしてほしいと思うので、考えておいてほしい。続いて、新庁舎の計画の進捗と今後の方針について、課長よりご説明いただく。

（課長）
新庁舎整備のスケジュールについて、11 月末までに 4 つの候補地の費用や課題などの調査をまとめる。民間企業への調査や市民ワークショップの結果も踏まえ、12 月にタウンミーティングを開催する。その後、議会との協議や職員アンケート結果を経て、今年度末までに整備地を最終決定する予定。

（参加者）
課長ありがとうございました。今の説明を元に何か気になることや、何かこういったことを聞きたいという方は挙手いただきたい。

（議員）
私は「美濃加茂市の未来を考える市民の会」から提出された請願を紹介した。記載されている一番から三番の事項について、確実な対応を求めたい。これらの請願に対し、市としてどのように対応するのか、見解を伺いたい。

（市長）
請願は議会で可決された重いものと受け止めている。今後は新庁舎建設特別委員会を含め、内容をどう具体化するかを議会と議論していく段階であり、そこでしっかり検討していきたい。

（議員）
よろしいですか。

（参加者）
では、再質問ということで。

（議員）
一番目については、駅南の候補地検討を求める明確な請願であり、議会でしっかり取り上げてほしい。二番目、三番目のアンケートについても市民の声として真摯に受け止め、前に進めることを重ねて求め、意見とする。

（参加者）

他に何か。

（参加者）
候補地に課題があると分かっていながら、なぜ最初に選定したのかが理解できない。市が選んだ12か所には実現性が低い場所や問題の多い場所が含まれており、ばらまき的に入れたように見える。大手町公園やプラザちゅうたい、前平公園はいずれも都市計画、敷地条件、造成費、災害リスクなどから疑問が多い。課題整理を今から行うという進め方自体が不自然で、なぜこれらを候補にしたのか説明が必要だと思う。

（市長）
市の12候補は市有地、8候補はワークショップ提案であり、市民全体の理解を広げた上でアンケートを行い、その結果を踏まえて候補を選んだ。アンケートだけで決めたのではなく、最終決定に向けて今後、造成費や代替手法、既存施設（体育館・図書館）との再編も含めた可能性調査を専門的根拠に基づいて行っている。結果は現時点では未確定であり、市民と議論しながら判断していく考えである。

（課長）
大手町公園については、以前から話をいただいており、現在岐阜県や国の機関と可能性調査を進めている。代替地の確保が条件になる可能性はあるが、都市公園に関する権限が以前は県にあったものの、今は市に降りてきているため、市としての方針をしっかり考えた代替公園であれば問題はなく違法ではないとの回答も得ている。今後、調査をまとめ、市民にしっかりと情報をお伝えしていきたい。

（参加者）
ありがとうございました。

（議員）
市民の会から、新たな候補地調査を新庁舎建設特別委員会で選定・議論するよう要望があった。調査結果や財政状況の情報を市民に開示し、正しい判断を促すことが重要であり、議会としても透明性の確保とタウンミーティングの実施を求めている。執行部は資料作りを徹底し、市民にしっかり説明を尽くすべきだ。

（参加者）
課長お願いします。

（課長）
現在進行中の可能性調査については、スケジュールに沿って11月中に内容をまとめ、市民に分かりやすい資料を作成し、情報提供を進める予定。12月にはタウンミーティングを開催し、

市のホームページでも情報を公表する方針。その後、市民アンケートを実施するか、議会と協議して進めるかを検討する。新庁舎整備は大規模プロジェクトであり、建設費やランニングコストを含む財政面をしっかり示し、市民と共に決定していくことを目指している。

（参加者）
課長ありがとうございます。はい。

（参加者）
可能性調査の後にアンケートを取るか議会で協議するかは未定で、その前にタウンミーティングで市民に情報を伝える予定だが、過去に急ぎ足で進められたこともあり、今回も知らない間に決まるような形にはしてほしくない。時間が足りないなら無理に急がず、中身の濃い計画を市民と共に丁寧に進めるべきだと思う。ここでお願いしたいと思いますが、市長よろしいですか。

（市長）
今の意見はもっともだと思う。新庁舎はこれから何十年もまちの拠点となる場所なので、じっくり考えることが必要だ。ただ、何でもいいから早く進めろという声もあったので、最短距離で進めるために年度内に整備地を決定する方針で議会とも調整してきたが、こうした場で出た意見や、市民の声を踏まえて整備地の決定時期について再考する必要があることは理解している。いただいた意見はしっかり受け止めたい。

（議員）
今日のタウンミーティングでは市議として発言を控えてきたが、確認したいことがある。提示された4候補地は執行部が1つに絞ることはないのか。また、4候補地全ての説明は十分にされるのか。私は40回のタウンミーティングを求めたが、今回も3～4回で終わらせようとしているのではないかと不安を感じる。この場で明確な答えをお願いしたい。

（市長）
タウンミーティングの回数については、最短距離で進めるため限られる可能性があり懸念している。ただ、可能性調査を通じて最適な候補地を市として評価し、市民の理解を深められるよう説明を尽くすべきと考えている。回数やロードマップの変更についても、議会や市民の意見をしっかり汲みながら進めたい。

（参加者）
時間が許す限り何回もやるという回答で良かったですか。ありがとうございます。簡潔にお願いします。

（参加者）

週5日働く職員が快適に働ける環境を整えることが重要だと考えている。市民アンケートも大事だが、現場を知る職員へのアンケートもやるべき。市民の意見は多様なので、議論を通じて妥協点を探りながら進めるべき。土地面積や駐車場台数、事業費などの現実的な条件を周知し、市民との信頼を築く必要がある。総事業費を考えると、用地費や造成費に余裕はないので、その点を踏まえて計画を進めるべき。

（参加者）
この話はすでに幹部と共有済みで、4回聞いている。同じ内容をここで時間を取って話すのではなく、幹部としっかり話をしてもらえばいいと思う。せっかくここに多くの人が集まっているのだから、もっと皆さんの意見を聞きたい。

（参加者）
はい。

（参加者）
皆さん質問しにくいかもしれないが、本当に素朴な質問でも結構なので、せっかく市長をはじめ市の執行部の方がみえているので。このタイミングで聞いておきたい、もしくは私はこう思うとか、そういった意見があればぜひご発言いただければと思う。では簡潔にお願いします。

（参加者）
賛成・反対は一部で、多くの市民は関心が薄い「グレーゾーン」だと思う。行政で100%の合意は不可能で、前市長案も決して極端に悪かったとは思えない。だからこそ、市長は就任当初から「自分はこういう庁舎を作りたい」という明確なビジョンを先に示してほしかった。

（市長）
全ての政策で市民全員の賛同を得ることは不可能であり、その判断を担うのが議会と執行部だと考えている。新庁舎は場所・規模・費用いずれも市の将来に大きく影響するため、過度な投資や長期的な負担増は避けなければならない。一方で、投資する以上は市の将来像を示せる施設にすべきだとも思っている。市長としての考えを早く示すべきだったという指摘はお叱りの通り受け止めたいと思うが、やはり市民の方々にもっと自分事として関わってもらいたいという思いがあった。今後は可能性調査を踏まえ、具体的なビジョンを明確に示していきたい。

（参加者）
皆さん活発なご質問とご回答をありがとうございました。時間管理が行き届かず申し訳ありませんが、まだ発言されていない方に、感想や執行部への要望を一言ずつ伺い、回答は次回の「美濃加茂市の未来を考える市民の会」でまとめて行う形としたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、まだ発言されていない方からお願いします。

（参加者）
商工会議所として、6月に初めて政策提言を行い、10月4日には市長へ要望書も提出した。要望は要望する側とされる側の関係だが、提言は商工会議所の考えを広く示す重いもの。今回、市民の会がこの提言に賛同し行動していることを心強く思っており、当局にはこの動きを真摯に受け止め、実現に向けて取り組んでほしい。

（参加者）
初参加として、直接声をかけてもらい、参加して初めて分かることが多く、大変勉強になった。ホームページや動画が苦手な人には情報が届きにくく、候補地が4か所あることすら知らない市民も多い。広報や自治会に頼らず、地域に出向いて生の声で現状を説明する機会を増やしてほしい。

（参加者）
下米田在住で市役所利用も年に1、2回程度と無関心に近かったが、この会に参加して多くを知れたのは良かった。4候補地決定後に調査が始まった点は、費用が大きいならもっと早く知りたかったと感じる人も多いと思う。将来世代に大きな借金を残してほしくない。こういった厳しい意見が出るところにも市長が来てもらえると本当に嬉しい。ありがとうございました。

（参加者）
皆さんの本当に身近な方についても関心があまりないので、そういうことが皆さんに知れ渡るように周知していただきたいということを思う。あとはいつ頃完成というか利用できるようになるかなということを思っている。以上です。

（参加者）
ワークショップや会合に何度も参加してきたが、市が何を重視し、どこに建てたいのかという軸が見えない。良し悪しの話ばかりで、市としての考えが示されないから市民の関心も高まらない。市長が一定の判断を示し「ここに決めた」と打ち出すべきで、そうすれば関心の薄い層からも意見が出てくると思う。

（参加者）
前市長案は魅力的だったが、決定ありきに見えたため、一度立ち止まって考え直す場を作った藤井市長の姿勢に期待して参加した。一から意見を聞き、議論して決める過程に意味があり、その場に関われたことは良かったと思う。今後は、この会の存在や開催をより広く一般市民に知らせ、参加しやすくしてほしい。失礼しました。

（参加者）
今日はありがとうございました。今日こういう会に初めて参加させていただいたが、市の方は色々と細かい部分まで情報発信をされてみえると思うが、市のことにそこまで集中していなく

て、今日皆さんのお話を聞いてそうだったのかということが多々あったので、また今後も情報を集めて考えさせていただきたいと思う。

（参加者）
もう9時になってしまうが、お時間の許す限りお願いします。2時間お願いします。

（参加者）
今日は本当にみんなの意見を聞いてもらえて、この先この意見を参考に決めてもらえるのかなと、今後を楽しみに見ていきたいと思う。

（参加者）
これまで参加し意見も十分伝えてきたので、ここまで来たら選んだ市長・議員に判断を任せたいという気持ち。アンケートや計画で参加した実感はあり、今後は議会と専門的知見に委ねたい。若い世代は場所に強いこだわりはなく、どこでも前向きに受け止める声が多いと感じている。

（参加者）
勉強不足だったと痛感した。箱モノより人づくりが大事だと思っており、正直どこでもいいという考えだったが、知らなかったことを知れたのは大きな学びだった。今後も機会があれば参加して勉強したい。

（参加者）
初めて参加した。何も分からない。意見が言えるようにもうちょっと勉強をして、次回も参加させていただきたいと思う。

（参加者）
このような会で多様な意見を聞けるのはとても大切だと思うので、一般の方にあまり周知されていないのは残念に感じた。個人的には、庁舎はコンパクトでよく、高齢化を踏まえて連絡所など身近な窓口を充実させてほしいと思う。

（参加者）
最初は近いという理由で前平がいいと思っていたが、費用面を知って現実的に選べる候補地は限られると分かった。今後は専門家や有識者が、将来に借金を残さないよう予算も踏まえて判断すべきだと思うし、市民も家庭と同じように考える必要があると感じた。

（参加者）
無関心ではないが、全然分からなかった。なので私ももっと勉強しなければいけないと思ったし、意見が色々あるんだと思った。ただ一つ、素敵な美濃加茂市役所ができることを楽しみに

している。

（参加者）
地方自治法第 2 条には住民自治が基本とある。その言葉を念頭に置き、幹部にはしっかり対応してもらいたい。特に議会で採択された請願書については、地方自治法に基づき肝に銘じて進めてほしい。素直な感想を言えば、議会軽視、市民軽視だと感じた。市民を代表し、市民のアンケートを取ると言いつつも、実際にはそのような感想を持った。

（参加者）
最後短くて申し訳ありません。次回はお二人に関しては5分とさせていただこうと思うので、よろしくお願いします。それでは最後に会長から一言。

（参加者）
今日はありがとうございました。いろいろな意見が出て良い会だったと思う。ただ一つお願いがある。9月議会中にこの会を代表して意見書を提出したが、議員には配布されていなかったことが非常に残念だった。何のために意見書を出したのかと思ってしまう。9月18日に急いで提出したにもかかわらず、議員に届いていない状況は、せっかくの皆さんの声が反映されていないということになる。市長はこの意見書のことを知っていたのかどうか、確認したい。

（市長）
議会から意見書は来ていないので、今初めて見ました。

（参加者）
市民の声を形にしていただけると信じている。市長さん、議員さんもぜひよろしくお願いします。意見書を出し続けたい。本日はありがとうございました。次回は 11 月の議会前に集まりたいと思うので、住所を教えていただければお便りをお送りします。よろしくお願いします。ありがとうございました。

（参加者）
皆さんありがとうございました。次回は時間に収まるようにしたいと思う。慣れない司会でしたがありがとうございました。

3.中学生ワークショップ結果

3. 中学生ワークショップ結果

学生世代に市の取り組み等に関心を持っていただき、自分ごととして新庁舎整備をはじめとする市政について考えていただくため、以下の通り、中学生ワークショップを開催しました。

また、No.2 東中学校3年生を対象としたワークショップでは、生徒とその保護者の皆様に対し、新庁舎に関するアンケートを実施しました。

No	対象	テーマ	日時	場所	参加人数
1	中学校生徒会(東中・西中) ※一日市長体験と合わせ実施	STEP1「市の役割の見える化」	令和５年 8月17日(木) 14:15～15:45	美濃加茂市役所 第3会議室	12人
2	東中学校3年生 ※総合の授業の一環として実施	「10年後の市の役割」	令和５年 11月22日(水) 13:30～15:30	東中学校 体育館	281人

一日市長体験ワークショップ（中学校生徒会）
ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

一日市長体験をされた中学校生徒会執行部の皆さんとワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP1「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：令和5年 8 月17日（木） 14:15～15:40

場所：美濃加茂市役所　第2議会委員会室

参加者（事務局を除く）：西中生徒会生徒6人（うちピースフォーラム参加2人）

東中生徒会生徒6人（うちピースフォーラム参加2人）

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題：市民が考える「10年後の市の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

（3）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割(第6次総合計画)について情報提供を行い、「市の役割」について考えていただきました。

全体の傾向として、「人と人を繋ぐ」や「多文化共生」を支える存在であることを市に求める傾向がありました。また、市は市役所だけでなく、市民を含めた「みんなでつくる」と認識しているという意見が多くあり、問題を解決するためにも相互理解をすることや繋がりをつくることが求められていました。

また、市が繋げる「人」のイメージとして、普段の生活では関わりあうことが難しい、「若者と高齢者」や「障がいのある人とない人」、「学生と地元の社会人」等、立場や文化の異なる人をイメージした意見が多くありました。

事後アンケートでは市の事業をさらに知りたいと答える参加者が複数おり、学生に市政について興味を持っていただくことができたと思います。また、新庁舎整備に関する情報を家族から得た参加者が多く、学生への周知の方法として家庭内で話題にして頂く重要性が改めて感じられました。

(2)ワークショップ結果の概要

①中学生の考える市の役割について

以下、中学生からのご意見。

カテゴリー	中学生の意見	理由
人と人を繋ぐ	市民同士の関わりを深める	たくさんの人が市にいるので、市の運営を通して、その関わりを深めていくことが市の役割だと思った。
	人と人を繋ぐ (子育て/ダイバーシティ/産業振興)	ダイバーシティを目指そうとしても、市民が1歩踏み出すことを支えてもらえないと行動に移そうと思うことが難しいと思うので、その一歩を支えてくれることが市の役割だと思った。
	人と人が関わる機会をつくる	色々な個性を持っている人と関わる機会があるし、子育てでも保育園に預けたり、いろいろな人の関わりがあるから。
	人と人とをつないでいく	生徒会として学校を引っ張っているが、市役所の仕事はそれよりももっと規模が大きなものだと思うので、市民や企業の間をつなぐ懸け橋のような存在にならないといけないのではないかと思った。
	人と人をつなぐ、みんなを支える	子育てで困ったときに教えてもらえるような存在
	人と人をつなげたり助ける	人が市をつくっていくので、その人たちを助けたり、人と人のつながりをつくっていくことが市の役割だと思った。
	市民同士の関わりを深める	たくさんの人が市にいるので、市の運営を通して、その関わりを深めていくことが市の役割だと思った。
	市民を支援する	美濃加茂市の主役は市民ひとりひとりだと思うので、その主役をサポートすることが市の大きな役割の一つであると思う。人と人をつなげることも含めて支援することが市の役割だと思った。
多文化共生	多文化共生	自分や家族が外国人で、日本との文化の違いで過ごしにくいと感じた経験があるので、10年後の未来では美濃加茂市に住む外国人も住みやすいような市にしたい。
	多文化共生	外国人の方が多い美濃加茂市だからこそ、外国人の方も含めて、みんなでつくる

	多文化共生	美濃加茂市には外国籍の方が多くいることや、その人たちと一緒に生活をしていることを他の市民も理解していかないといけないと思う。
	ダイバーシティ	外国人の方が日本にきてカルチャーショックを抱えることもあると思うが、日本人側は理解をする必要があるし、外国人側も努力をする必要があると思うので、多様性を認め合っていくことが大事だと思った。
	市民を支える	日本国籍ではないひとも過ごしやすいように支え、若者が活躍できる社会になるよう支えることが市の役割だと思った。
女性、若者の支援	女性、若者の活躍	女性・若者、特に若者の活躍を広げたい。その計画にある、「女性や若者が夢を叶えられるまち」ということがすごく良いことだと思った。今、市を支えている世代と若者で意見のすれ違いが起きないように、市が進めていきたいこと等を次の世代にも広めていくことが大事だと思った。
子育て	子育てと働く	姉に子供が生まれて1歳になるが、実家の近くに家を建てて、母に子どもを預けて働いている。もし、住みたいところが実家から遠いと働くことも難しくなって、貯金も貯まらなく大変だと思う。住みたいまちに住んで、市が子育てをサポートしてくれる、どんな人でも働くことができる世の中になればいいなと思う。
	子育て	母が保育士で、たまに母が働く保育園に行って子供をみる機会があるが、子供を育てることは大変で、色々な人が助け合っていかなければ子育てはできないと思う。人と人がもっと気軽に関わりあって助け合えるといいなと思った。
産業振興	産業振興	10年後には産業も発達して、自分たちが美濃加茂市を誇れるまちになったらいいなと思った
市民協働	地域再生　みんなのまちを、みんなでつくる	みんなの美濃加茂市をみんなで作っていくという意識をつくっていくことが大事だと思う。
	みんなを一つにする（まとめる）	市の問題を解決していくためには、市職員の皆さんだけではなく、年齢や文化関係なく、市民全員がひとつになっていく必要があると思うので、市民同士が交流をして関わりを広げていけるようサポートすることが市の役割だと思った。
	みんなでつくる	10年後の未来も美濃加茂市に住んでいくために、美濃加茂市民の一員として美濃加茂市をこれからも守って、再生可能な社会を目指していく。自分たちで復興して、もっと住みやすい町にしていきたい。
支援	市民の願いをくみとる	何をサポートすればいいのかを知るために、市民が何をしたいかを市が知り、願いをくみ取ることも市の役割だと思った。
	支援する、サポートする、守る	若者や子育て、産業復興を考えたときにお金や環境が必要であると思うので、サポートしてくれることが市の役割だと思った。また、そういった支援を通して市を守っていくことも市の役割だと思った。

②市の役割を「人と人を繋ぐこと」と共通認識した理由

意見交換をする中で、「人と人を繋ぐこと」を市の役割としてあげた人が多かったが、なぜ「人と人を繋ぐこと」が多く意見に上がったか考えていただきました。

以下、中学生からのご意見。

・市の役割をイメージする中で、みんなの意識の中に共通して、人をつなぐことが根底にあったので、みんなの意見があっていったと思う。
・問題を解決するためには誰かが動かないといけないと思うので、市がまず動いてもらえると市民も動きやすくなって、みんなで解決しようとできるのではないかと思う
・目指したい姿や目標というのはみんな違うかもしれないが、それを達成するための手段として「人と人の繋がり」が共通しているのだと思う
・人は誰かと一緒ではないと生きていけないので、人とのつながりが大事だという話になったと思う。
・知らない人と関わるには市を介してではないと難しいと思う。色々な人がいるからこそ、つながりを持つために市を頼りたい。
・市のあるべき姿をどう実現するかを考えると、人と人が繋がることが必要だと思う
・何かを協力してやるにあたり、市の中心にある市役所が、人と人をつなぐところになるのかなと思った。

(3)市が繋ぐべき「人」はどのような人か

人と人を繋ぐ仕組みは家族や地域、学校等にもあるが、市が繋ぐべき「人」はどのような人か考えていただきました。

以下、中学生からのご意見。

「人」のイメージ	理由
こどもとこども	こどもはひとりではできないことが多いので、それを大人が支えていって、そのこどもが大人になった時に次のこどもを支えていくような繋がりを実現できたらよいと思う。
文化が違う人	
若者と高齢者	若者と高齢者ではやりたいこと考えていることがひとつひとつ違うので、それぞれの良さを認め合って高めあえると良い
違いのある人	関わりはないけど美濃加茂市に住んでいるという共通点がある
自分自身と自分自身が知らない人	出会いのチャンスを作るのが市の役割だと思う。
市民と行政を繋ぐ	市民と行政が意見を言い合えるような場があるといいと思った
学生と地元の社会人	地元の社会人と学生が関わることで、将来を考えたり地元で活躍できるような人になれる
子育てする人同士	初めてでわからないことがあると思うが、子育ての先輩に話を聞いたり相談に乗ってもらうことができる
障がいのある人とない人	兄が障がいを持っているが、一般的な学校に通っていなかったり、障がいを持っていない人と関わる機会が少ないので、関わる機会があるといい
自分と立場が違う人	
普段あまり関わらない人	今日も普段関わりのない2つの中学校の執行部が関われた良い機会だった。
同じ世代同士	同じ世代でも価値観や違うところがある。

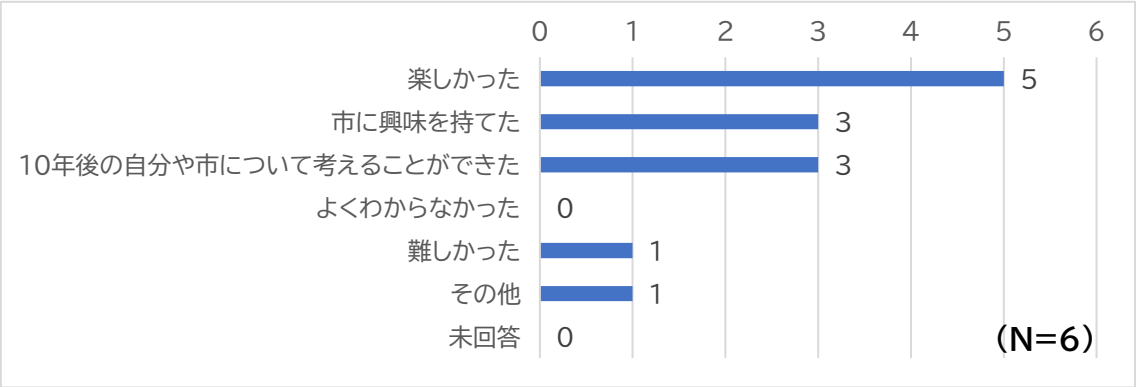
(4)アンケート結果の概要　※回答者数　6名

問1. 本日のワークショップはいかかでしたか？(複数回答)

「楽しかった」が最も多く、次いで「市に興味を持てた」、「10年後の自分や市について考えることができた」が続いた。また、その他の意見として、「藤井市長の考えを学ぶことが出来た」があった。

	回答者数【N=6】
楽しかった	5
市に興味を持てた	3
10年後の自分や市について考えることができた	3
よくわからなかった	0
難しかった	1
その他	1
未回答	0
合計	13

図表 1. ワークショップの充実度について



※複数回答有

◇自由意見

- 藤井市長の考えを学ぶことが出来た

問2. 大切だと思う「市の役割」を1～3位まで教えてください。

「人と人を繋ぐこと」が最も多く、繋がりをもつことで相互理解を深めることを大切だと思う参加者が多かった。また、地域活性化に向けて、市民と共に考えていくこと・一人一人が活躍できるようサポートする役割の重要性についても多く意見が挙がった。

【第1位】

人と人を繋ぐこと	全ての政策の原点はここにあるかなと思った。市にしかできない役割でもあるから。
地域再生	色々な市の目標を達成するためには、市民全員が1つになって取り組んでいく必要があるから。
災害時の動き	災害がおこった時、市の動き、声かけによって市民の行動が変わってくるため、市は柱なのかなと感じたため。
女性・若者の活躍	他の人の発言を聞いて、一人一人が活躍できるようにサポートするためだと思ったから。
市民を守る	経済発展とかももちろん大切だけど、1番は市民の命だと思ったから。
地域再生	もっと美濃加茂市をよくしてほしい。と思ったから。

【第2位】

人と人を繋ぐ	大人と子ども、市と市民、高齢者と若者、外国籍の人々との繋がりを作り住みやすい町にしていく市は必要だと思ったため。
市民の願いをくみとること	「こうしてほしい」があってこその市だと思ったから。その願いを支えたり、サポートすることにつながるから。
女性若者活躍	子育てや、子どもの教育が活性化するまちづくりができるとみんなから愛され、みんなが活躍する市になると思ったから。
あまり関わらない人達をつなげる	交流する場を作ることで、頼れる人ができるし、住みやすくなると思ったから。

【第3位】

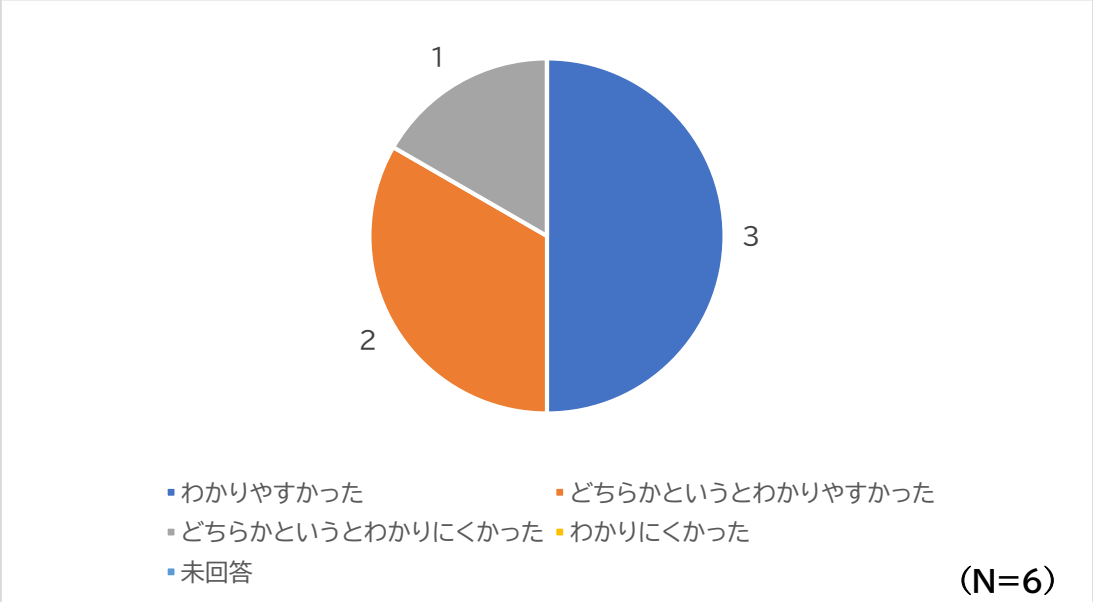
人への支援・サポート	困っている人と解決させられる人を引き合わせたり、その役割を担ってほしいから。
市の地域活性化に向けて	美濃加茂市が住みやすく、笑顔溢れる市にしていくために、市の動きと課題を踏まえたうえで何をすればどんな美濃加茂市が生まれるのか市民と共に考えることができる市は大切だと思ったため。
多文化共生	文化が違う人同士でぶつかりあってしまって住みにくくならないようにするためだと思ったから。
人づくり	藤井市長の言葉に感動したから。

問3. 本日のワークショップの説明はいかかでしたか？

「わかりやすかった」という意見が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」という意見が多かった。また、さらに知りたいこととして、美濃加茂市が普段行っている業務の詳細やファシリテートの方法について知りたいという意見があった。

	回答者数【N=6】
わかりやすかった	3
どちらかというとわかりやすかった	2
どちらかというとわかりにくかった	1
わかりにくかった	0
未回答	0
合計	6

図表 2. ワークショップについて



○わかりにくい、さらに知りたいと思った内容がありましたら教えてください。(自由記入)

◇自由意見

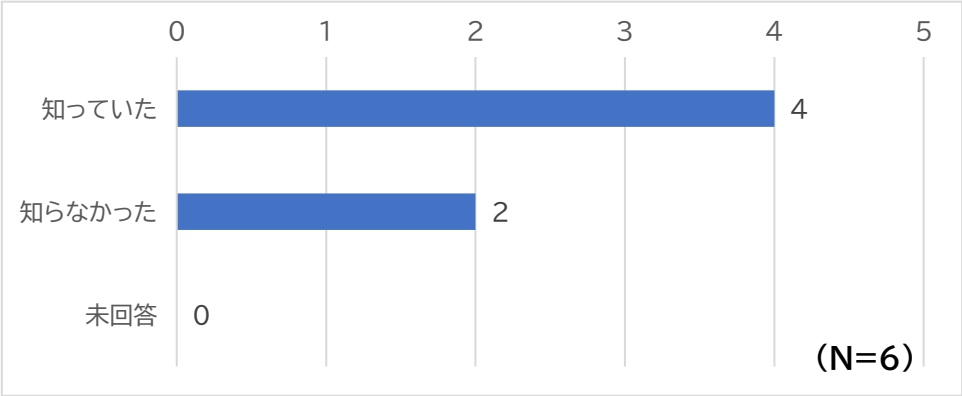
- 現状、市が行ってきた業務や理念について知りたいです。
- テーマなどが少し難しかった。でも、熱心に取り組んで、美濃加茂市についてよく知れたし、少しはこれからの美濃加茂市に関われたので嬉しかったです。だから、この先の美濃加茂市についてもっと知りたいと思いました。
- 普段の会議で美濃加茂市のどのような事を決めているのか、どんなことを軸にして話し合っているのか、より深く知りたいなと思いました！！交流している時に自分の意見がとても言いやすく、どのように話しやすい雰囲気を作られているのか学びたいと思いました。

問4. 美濃加茂市が新庁舎整備を検討していることを知っていましたか？

半数以上が「知っていた」と回答した。また、情報の入手方法は「家族からの紹介」が最も多く、次いで「広報」、「美濃加茂市 SNS」が続いた。家庭内で情報が共有されていることから、親や祖父母等へ周知を行うことで中学生にも情報を得てもらえることが分かった。

	回答者数【N=6】
知っていた	4
知らなかった	2
未回答	0
合計	6

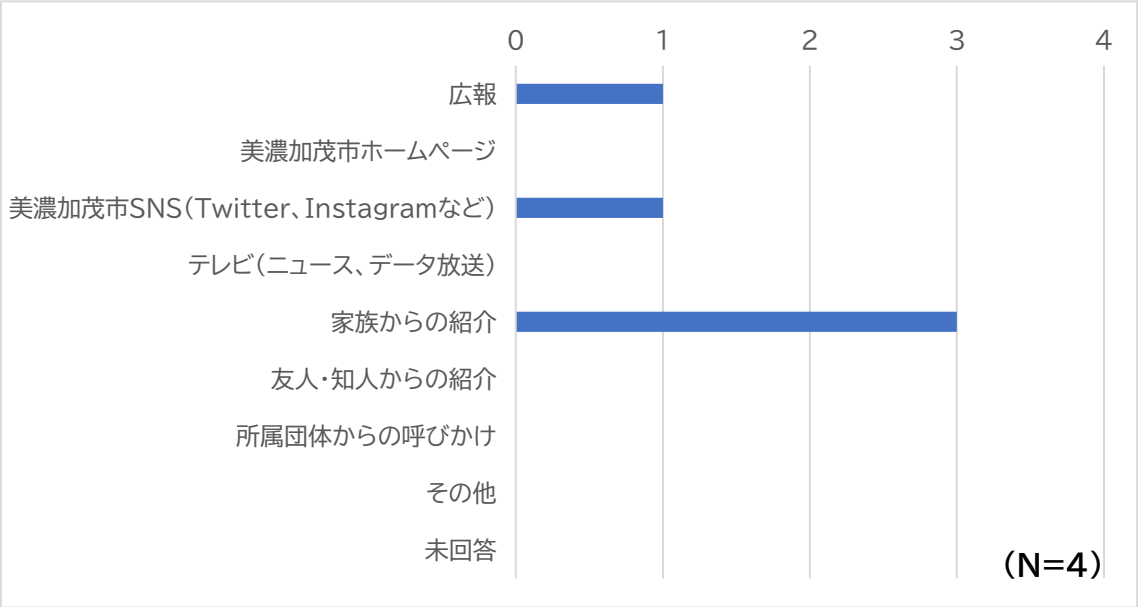
図表 3. 新庁舎整備の認知について



〇「知っていた」を選んだ方は新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか？（複数回答）

	回答者数【N=4】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
美濃加茂市 SNS（Twitter、Instagram など）	1
テレビ（ニュース、データ放送）	0
家族からの紹介	3
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
合計	5

図表 4．新庁舎整備に関する情報の入手方法



※複数回答有

おでかけワークショップ（東中学校3年生）
ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

今回のワークショップでは美濃加茂市立東中学校3年生の総合的な学習の一環として、「10年後の美濃加茂市」について考え、これからの美濃加茂市をより良いまちにするための提案をしていただきました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年 11月 22日（水） 13:30～15:30

場所：東中学校体育館

参加者（事務局を除く）：281人

（2）事務局

美濃加茂市　新庁舎整備推進課

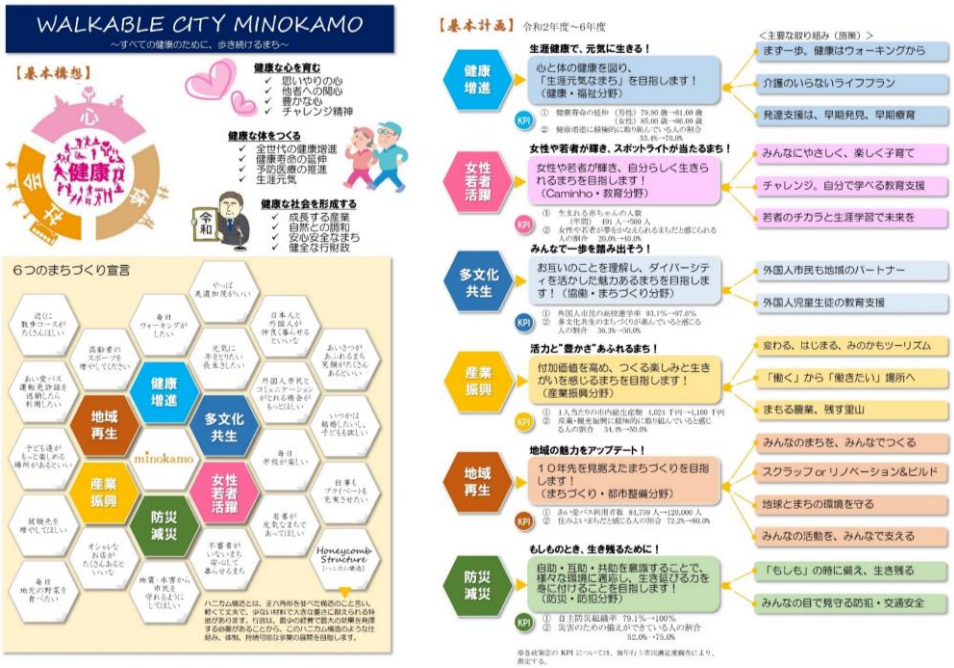
2. ワークショップの概要と結果まとめ

2.1 ワークショップ概要

(1)実施日:11月22日(水)

(2)実施場所:美濃加茂市立東中学校

2.2 ワークショップの流れ



資料:美濃加茂市第6次総合計画

美濃加茂市の第６次総合計画における基本計画の説明

↓

６つの柱から、各グループ１つを選択し、そのテーマに対するこれからの美濃加茂市をより良いまちにするための提案をクラスごとに行った。

↓

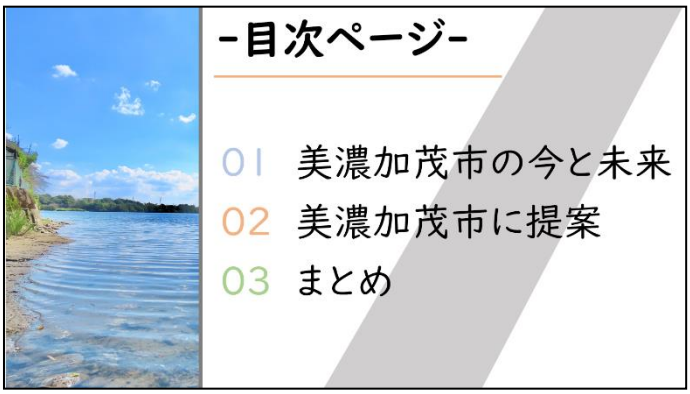
各クラスの代表グループが全体発表（11/22 ワークショップ）

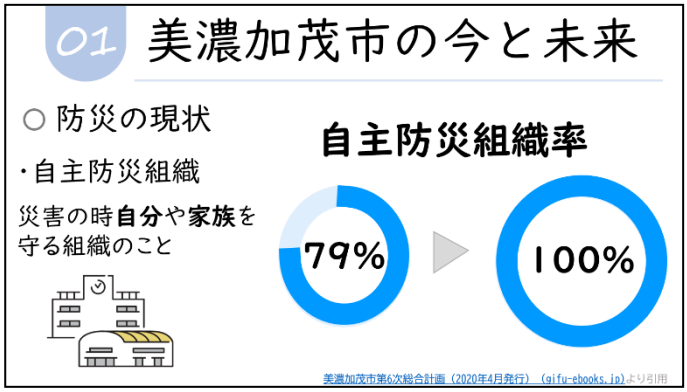
2.3 全体発表のまとめ

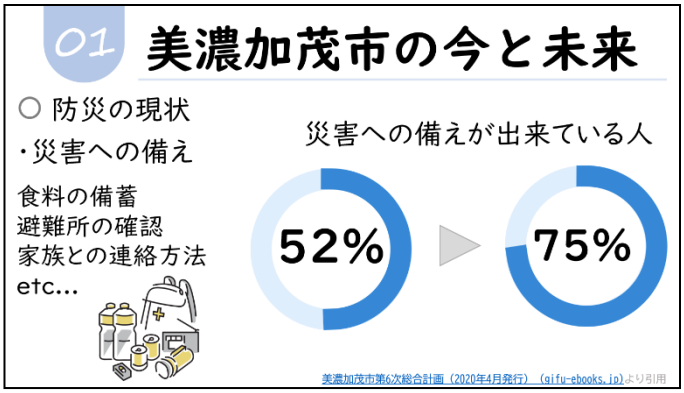
各クラスの代表グループの発表内容を以下のとおりまとめた。

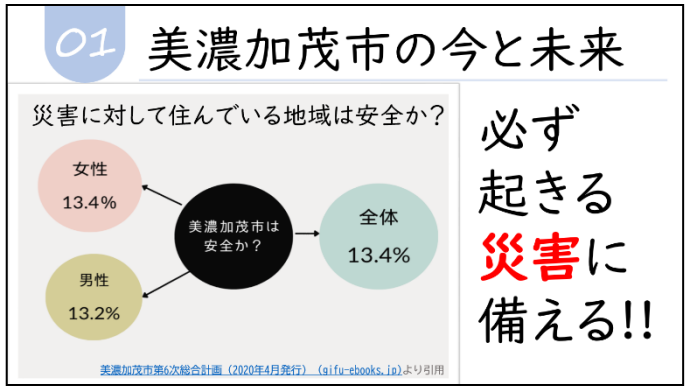
①3年1組の発表内容まとめ

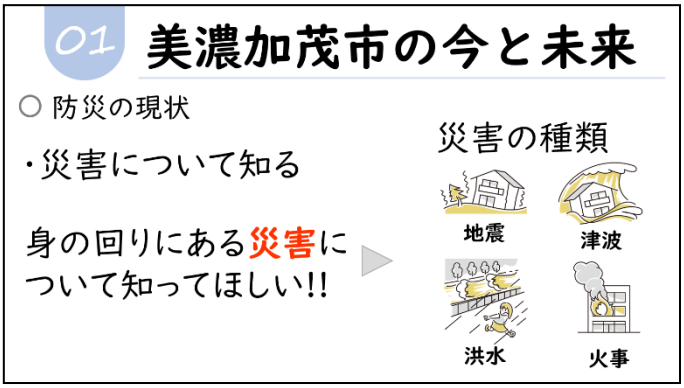
α. スライドの概要

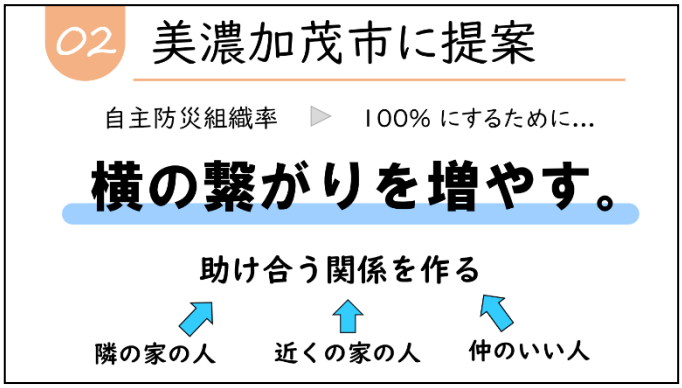


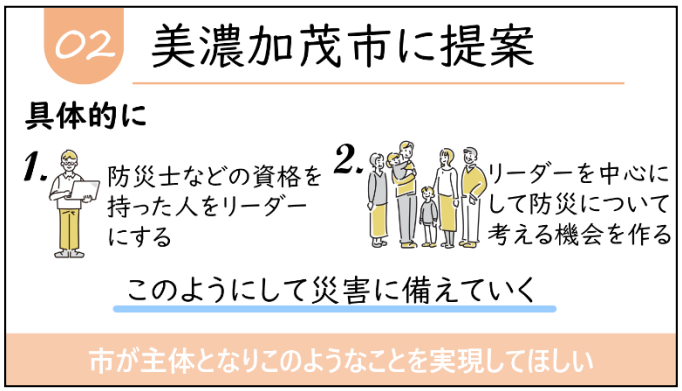


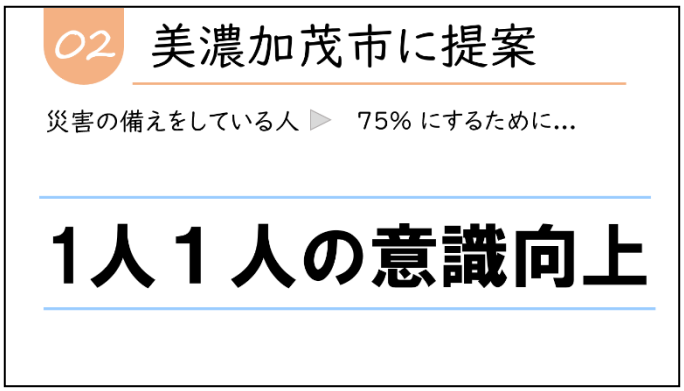


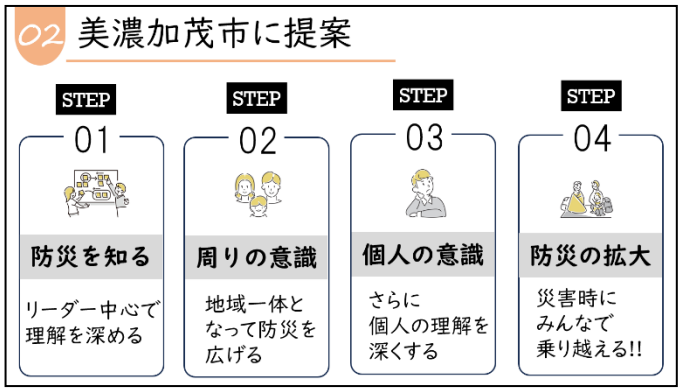










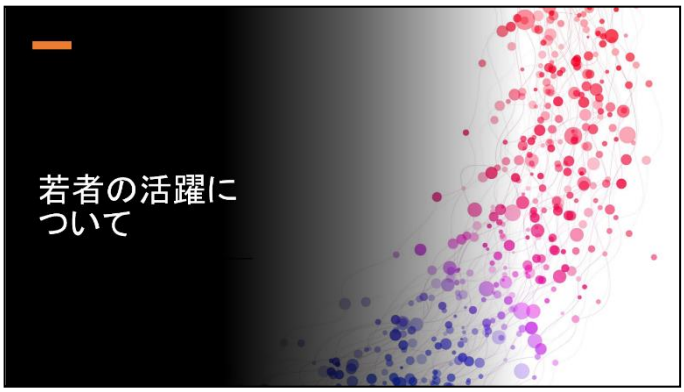


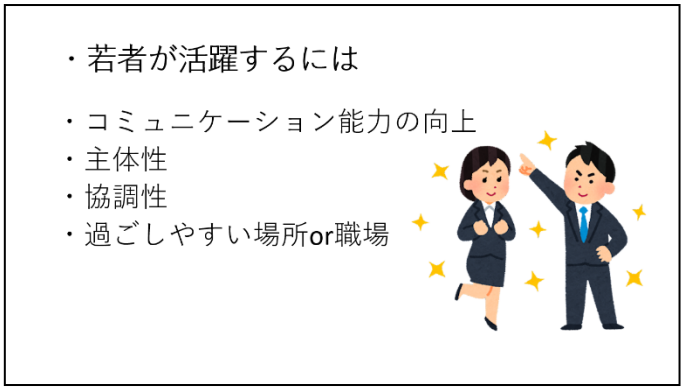
b . 発表内容の概要

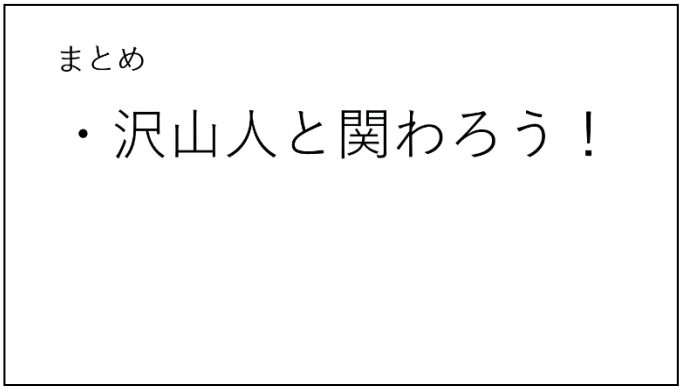
現状の課題	より良くするための提案
・自主防災率が 79%	・自主防災組織率を 100%にする。 →災害について知ってもらう →隣人や、友人など横の繋がりを増やす。 →防災士などの資格を持った人をリーダーと認定して、リーダーを中心にして防災について考える機会を作る
・災害の備えができている人が 52%	・災害への備えができている人を 75%にする →1人1人の意識を向上させる →市が主体となり、上記の実現をしてほしい
まとめ 防災減災をして、10 年後戻ってきたい美濃加茂市にしたい。	

②3年2組発表内容のまとめ

a. スライドの概要





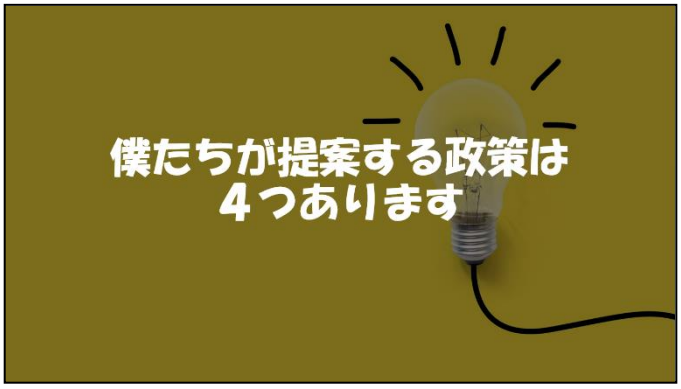


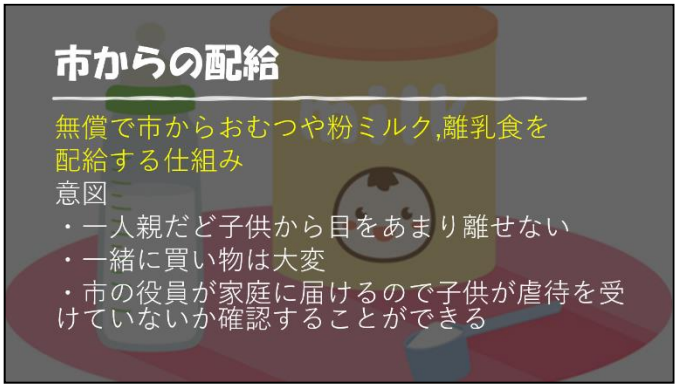
b . **発表内容の概要**

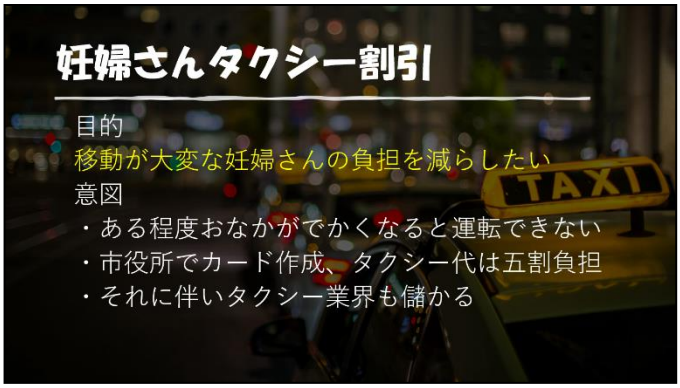
現状の課題	より良くするための提案
・長時間労働 ・医療、社会保険（年金問題含む） ・差別 ・ストレス ・いじめ	・コミュニケーション能力の向上 ・主体性 ・協調性 ・過ごしやすい場所 or 職場
まとめ 沢山の人と関わることが、若手の活躍に大きく繋がると考えられる。	

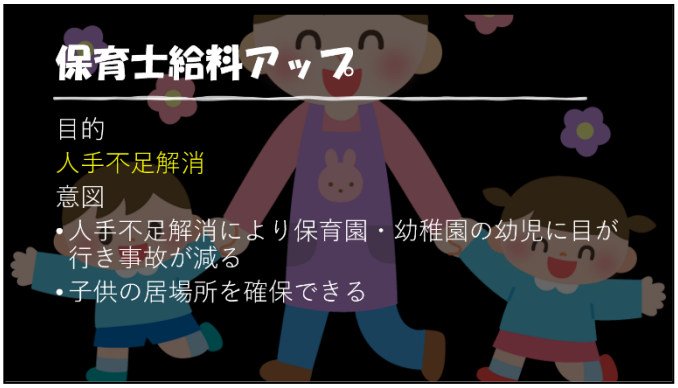
③3年3組発表内容のまとめ

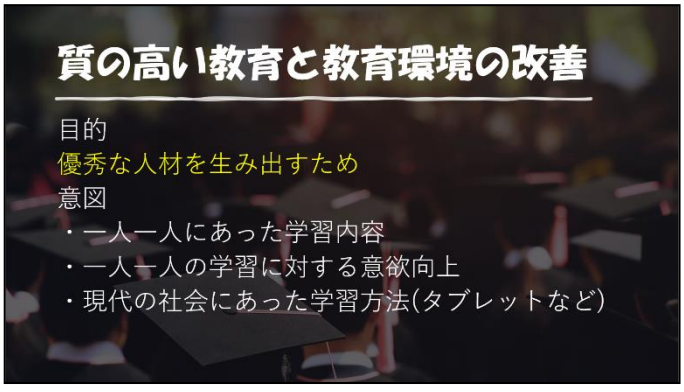
α. スライドの概要

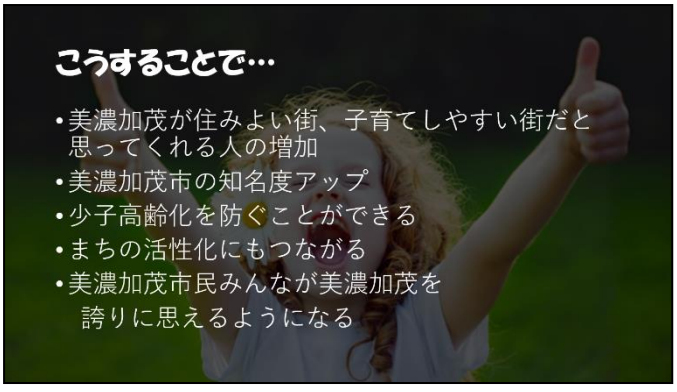










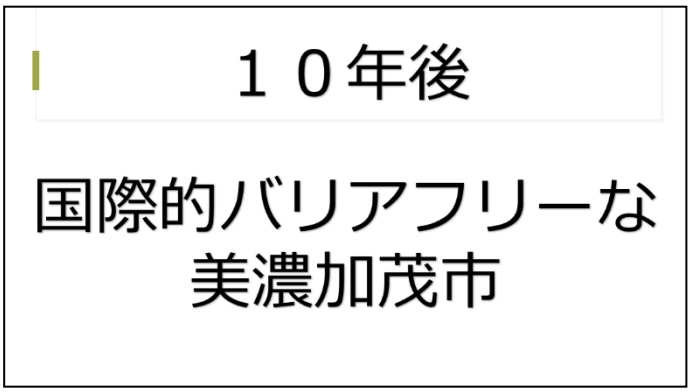


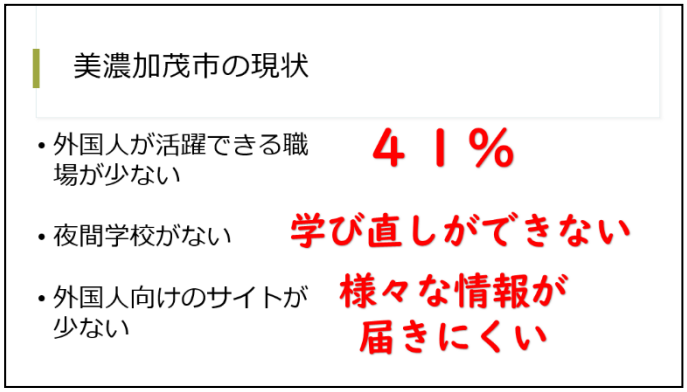
b . **発表内容の概要**

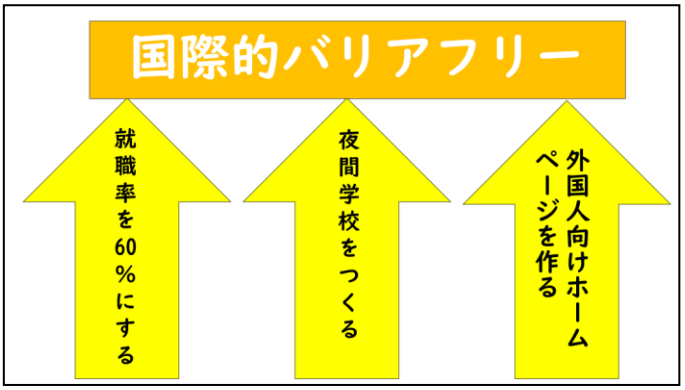
現状	より良くするための提案
・自動発達支援センターカナリヤの家 ・子育て支援センター ・乳幼児学級 ・一時預かり事業 ・病児保育事業 ・みのかもファミリー・サポート・センター	・市からの配給 ・妊婦さんタクシー割引 ・保育士給料アップ ・質の高い教育と教育環境の改善
まとめ ・美濃加茂が住みよい街、子育てしやすい街だとおもってくれる人の増加 ・美濃加茂市の知名度アップ ・少子高齢化を防ぐことができる ・まちの活性化にもつながる ・美濃加茂市民みんなが美濃加茂を誇りに思えるようになる。	

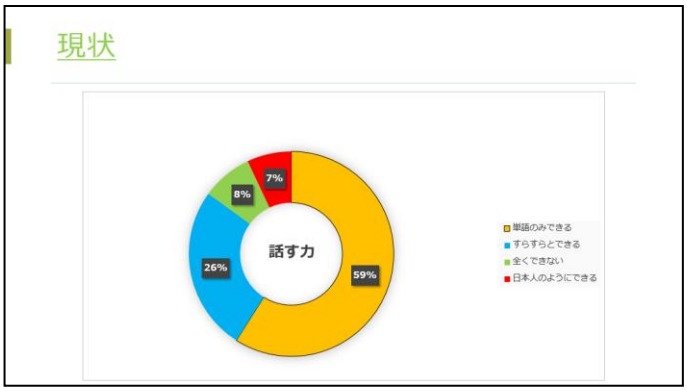
④3年4組発表内容のまとめ

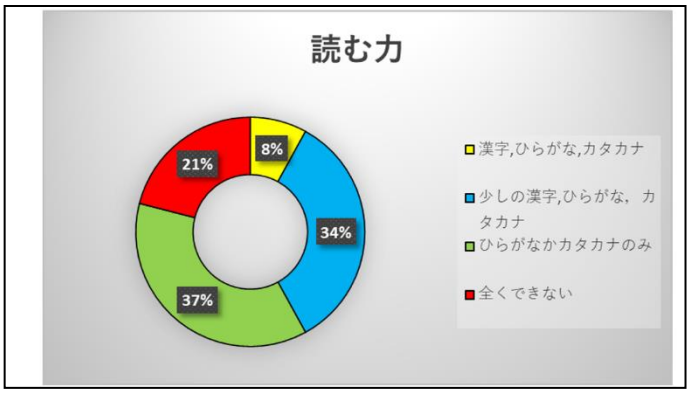
α. スライドの概要

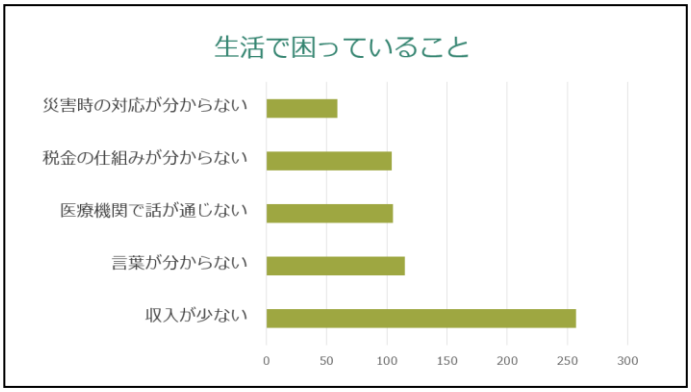










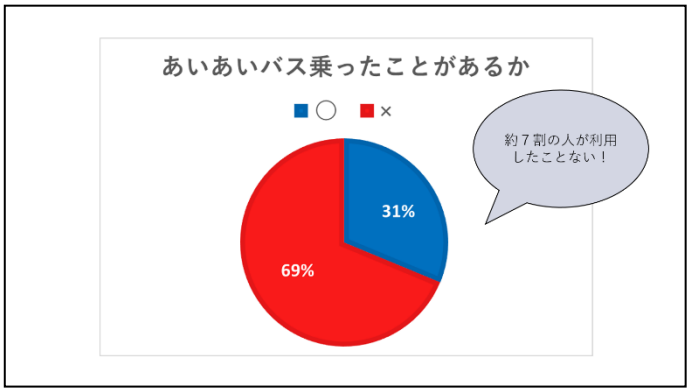


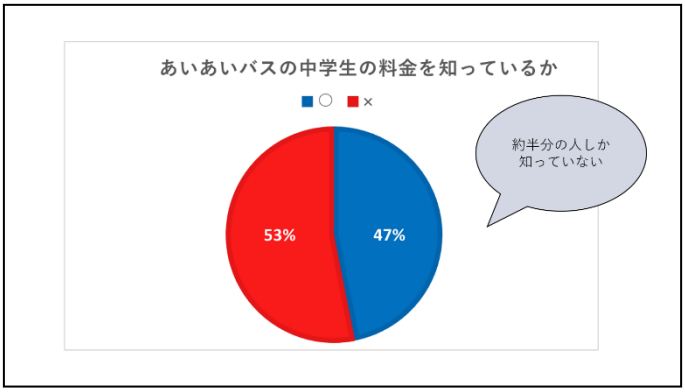
b . **発表内容の概要**

現状の課題	より良くするための提案
・外国人が活躍できる職場が少ない ・夜間学校がない ・外国人向けのサイトが少ない	・就職率を 60%にする ・夜間学校をつくる ・外国人向けホームページをつくる
まとめ 10 年後は、国際的バリアフリーな美濃加茂市を目指したい。	

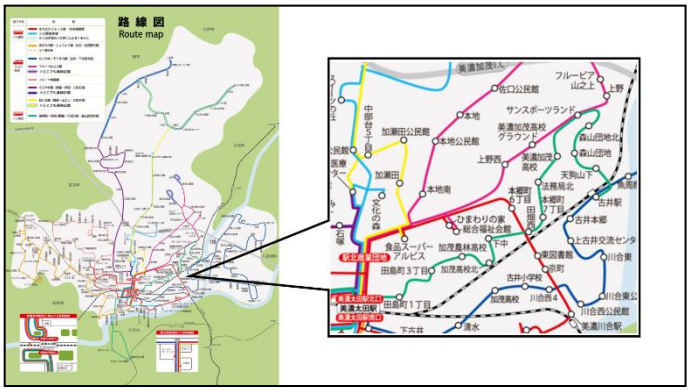
⑤3年5組発表内容のまとめ

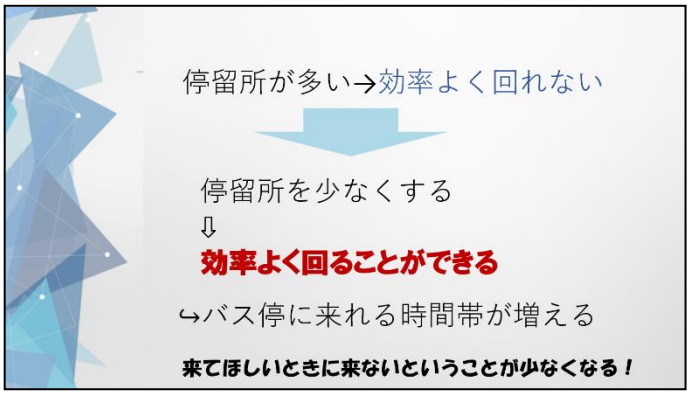
α.スライドの概要





区分	金額	備考
一般	100円	知的、身体、精神障がい者の方は無料（手帳の提示が必要です。） 第1種障がい者の介護者の方は1名まで無料（手帳の提示が必要です。）
中学生以下	無料	バスの運転手に中学生以下であることを伝えてください。
回数券	1,000円	100円券が11枚綴り（1,100円分） 販売場所はバス車内、市役所、総合福祉会館です。
乗り放題定期券（1ヵ月）	2,000円	全路線共通フリーパス券です。購入には申込みが必要です。 申込場所は市役所、連絡所、総合福祉会館です。 （市役所以外での申込みは、お渡しが後日になります。） 乗り放題定期券は、利用開始日の１４日前から購入できます。 ６５歳以上の方は、年齢を証明する公的証明書（運転免許証等）をお見せください。 ※市役所・総合福祉会館での乗り放題定期券・回数券の販売及び連絡所での乗り放題定期券の販売は平日の8時30分から17時15分に行っております。
乗り放題定期券（3ヵ月）	6,000円	
乗り放題定期券（1ヵ月）65歳以上の方	1,000円	



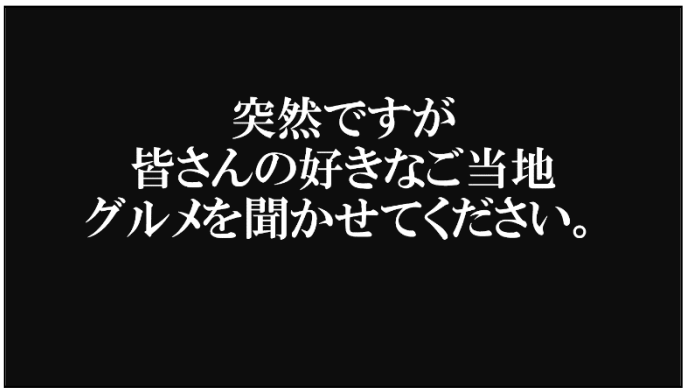


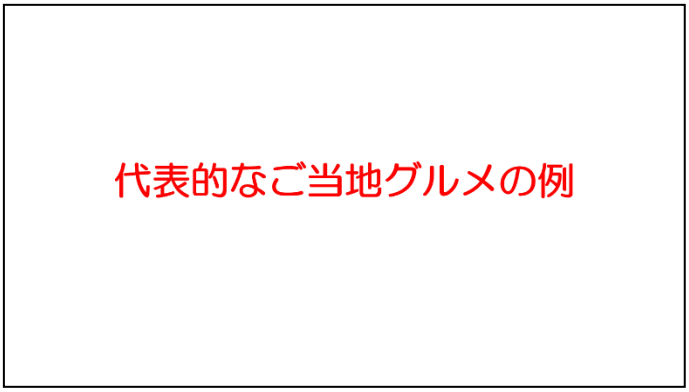
b . **発表内容の概要**

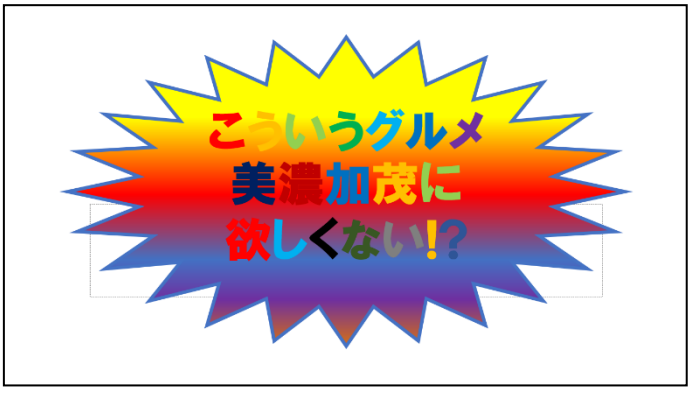
現状の課題	より良くするための提案
・あい愛バスを約７割の人が利用したことがない。 ・あい愛バスを約半分の人しか知っていない。 ・約1億5000万円の赤字 ・停留所が多く、効率よく回れない	・停留所を少なくすることによって 効率よく回ることができる ・バス停に来れる時間帯が増える
まとめ あい愛バスの魅力の発信と停留所の見直しによって、多くの人が便利に過ごせる市にしたい	

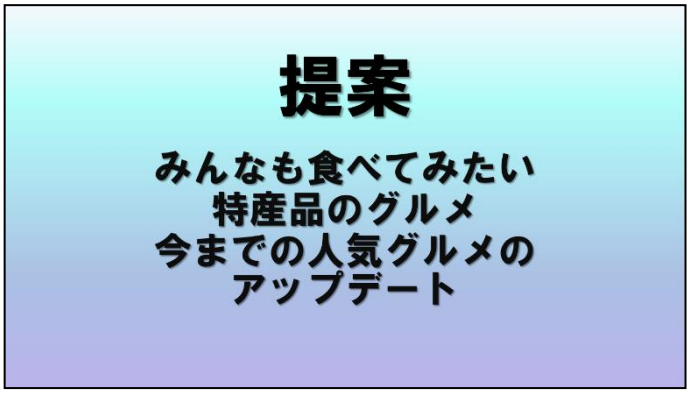
⑥3年6組発表内容のまとめ

α. スライドの概要









梨タルト

イメージ

- 地産地消
- 岐阜の梨が有名になる

↓

市の宣伝・活性化

ただ売っているだけじゃ
地域にしか広まらない

コラボ

メリット

有名店とのコラボ

- 認知度向上
- 話題性がUP!

さといもコロッケ

冷凍食品化計画始動

メリット

- さとコロの宣伝
- 家庭で手軽に
- 美濃加茂への関心

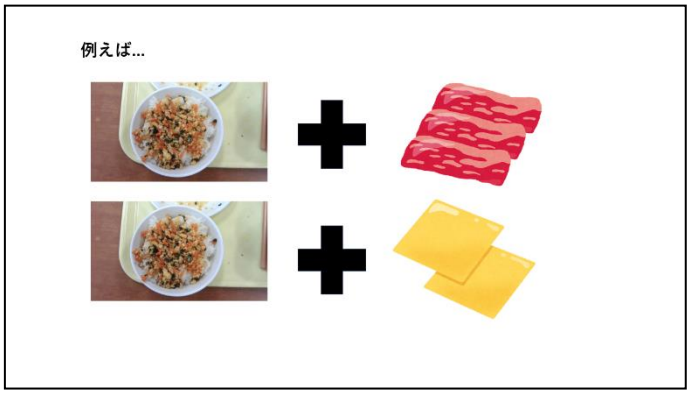
美濃加茂のB級グルメ
ゆうぜんごはんを
全国区で有名にしたい!

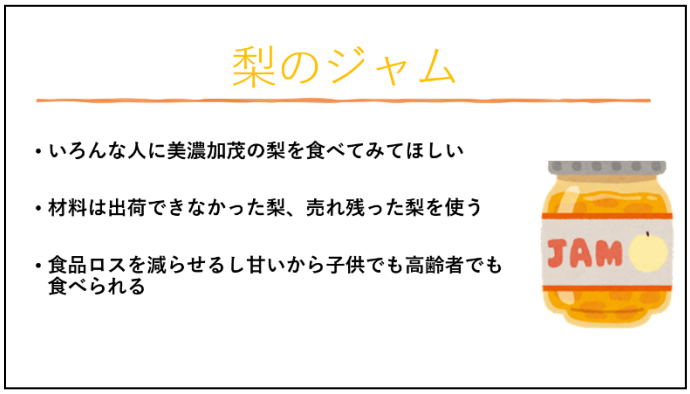
(〇〇〇の虎的な)

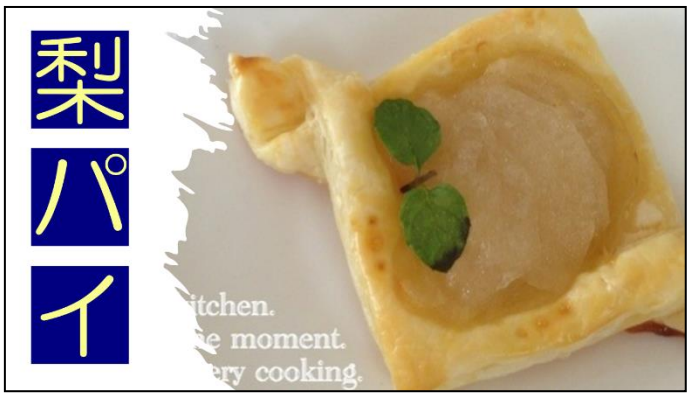
ゆうぜんごはんを満面の笑みで食べる
三浦　脩眞さん(15)

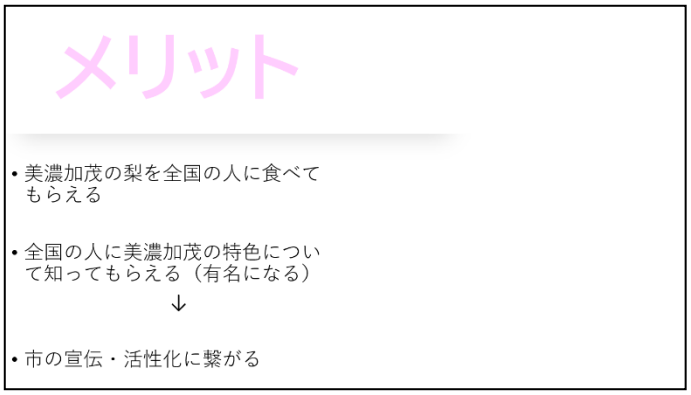
食品アレンジの
代表格といえば!!

味変









b．**発表内容の概要**

現状の課題	より良くするための提案
・美濃加茂市に有名なグルメがない。	・美濃加茂市のＢ級グルメのゆうぜんごはんを有名にしたい。 ・梨を使ってタルトやジャム、パイを作る。 ・さといもコロッケで、さといもの宣伝。
まとめ ・グルメをつくることで、市の宣伝・活性化に繋がる。 ・美濃加茂市の梨を全国の人に食べてもらえる。 ・全国の人に美濃加茂市の特色について知ってもらえる。	

⑦3年7組発表内容のまとめ

α. スライドの概要

どうしたら**レベルアップ**できる？

美濃加茂の外国人人口

約５０００人

そのうちの**約8割**

外国人の美濃加茂市満足度

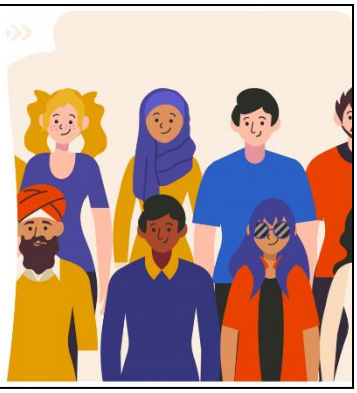
５７%

物足りない・・・

多くの外国人がいる美濃加茂

↓

ダイバーシティこそ進化の近道！



公共施設の文字・音声

四か国語は大事!!!

現　状

理想のカフェ

フィリピン　　ブラジル　　中国

BGM

フィリピン	TOP100
ブラジル	TOP50
中国	TOP50

日本語学校

①

外国人だけの学校!!!

②

中学生が教える!!!

それが.....

新しい日本語学校!!!

b . **発表内容の概要**

現状の課題	より良くするための提案
・外国人の美濃加茂市満足度、57%。	・公共施設の文字・音声で四か国語の対応。 ・中学生が教える、新しい日本語学校。
まとめ 多くの外国人がいる美濃加茂市は、ダイバーシティで進化の近道。	

⑧3年8組発表内容のまとめ

α. スライドの概要

市民がつながる
美濃加茂市

地域再生に向けて

今の美濃加茂市

・教育施設多い

・緑が多い

・歴史的町並みがある

問題提起

・少子高齢化
・環境問題
・空き家の多さ

提案

自然を大切にしつつ
美濃加茂市民全員が
つながる街を造りたい

少子高齢化を
軽減するために

・子育て支援
　１人⇒２０％　２人⇒４０％
　３人⇒７０％　４人⇒９０％
・子育て　・一時保育施設に増設
・美濃加茂市運営の会社を設立
　⇒会社で子供を預かれるように

こどもが集える
複合施設をつくる

教育・遊び・飲食といったことが
すべて可能な施設を建設する

環境を大切に！！

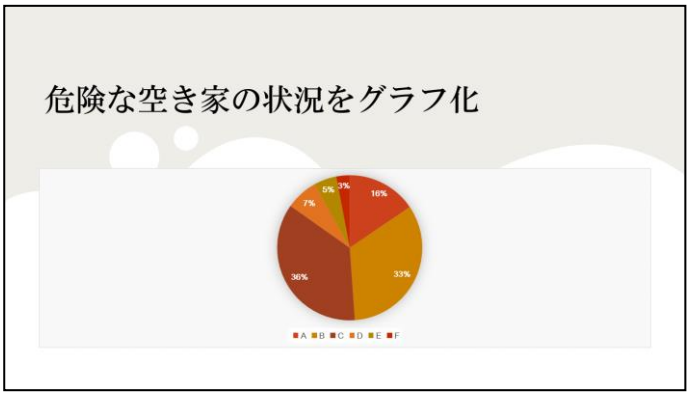
木曽川、飛騨川を大切に！
↳川が汚いと魚がいなくなってしまう

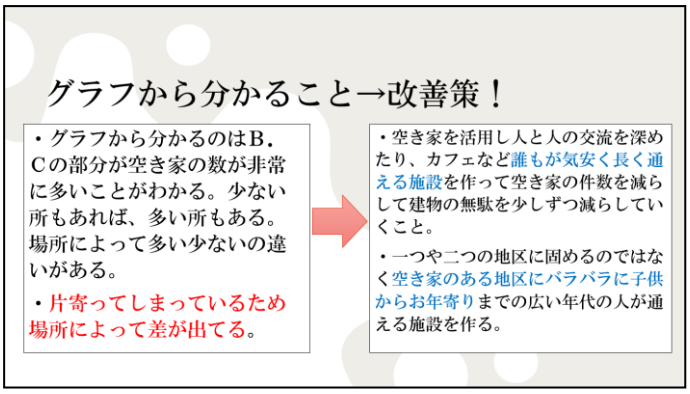
近くの山を大切に！

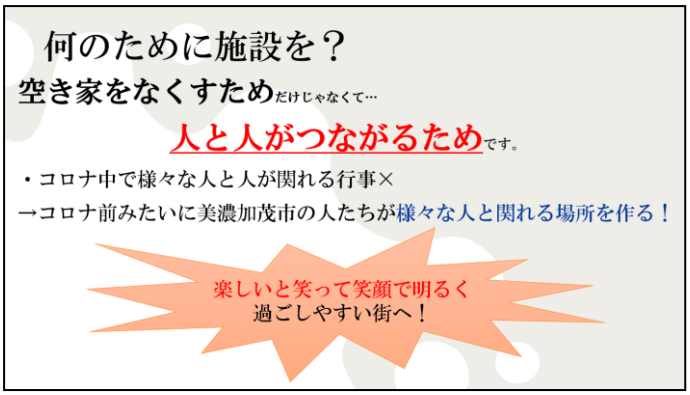
身近な場所をきれいに！
↳クリーンアップ作戦をする(2カ月に1回)

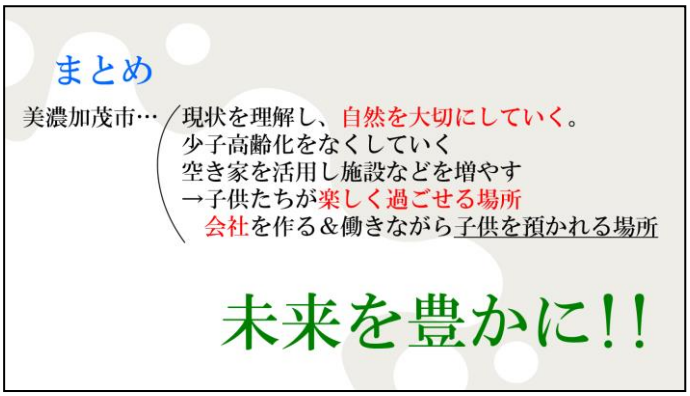
空き家を活用し
未来を豊かに!!

・美濃加茂市には
　空き家が大量にあります。
次のスライドを見てください。









b . 発表内容の概要

現状の課題	より良くするための提案
・少子化高齢化 ・環境問題 ・空き家の多さ	・こども集える複合施設をつくる。 ・環境を大切にする。 ・空き家を活用し未来を豊かにする。
まとめ ・現状を理解し、自然を大切にしていく。少子高齢化をなくしていく。 ・空き家を活用し施設などを増やす→子供たちが楽しく過ごせる場所会社を作る＆働きながら子供を預かれる場所。	

3. アンケート結果の概要

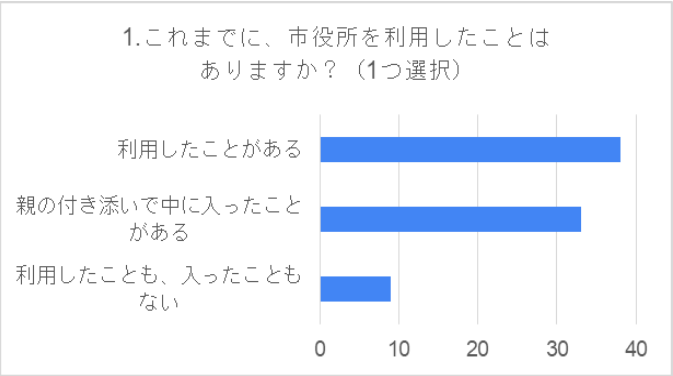
≪生徒の方へのアンケート≫

問1　これまでに、市役所を利用したことはありますか？（1 つ選択）

1. 利用したことがある
   →何をする時に利用しましたか？
2. 親の付き添いで中に入ったことはある
3. 利用したことも、入ったこともない

【結果】

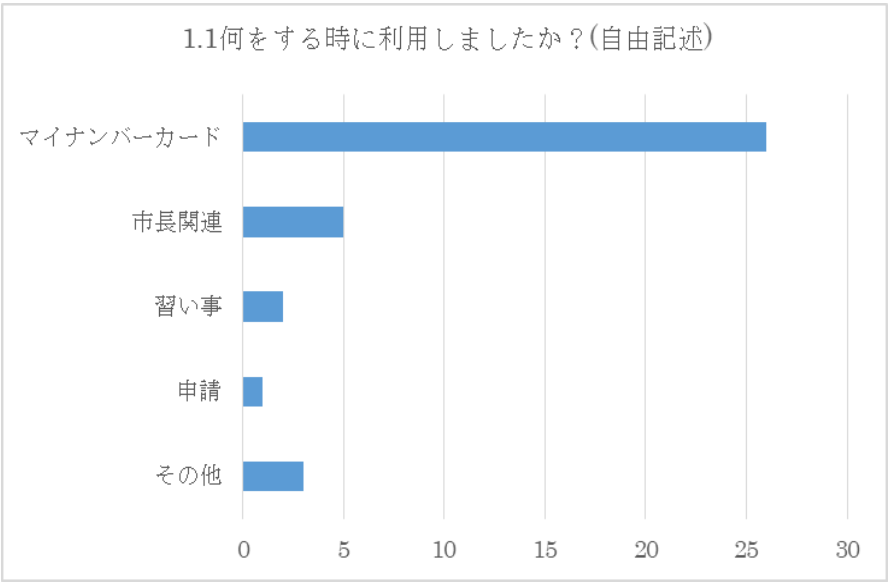
	人数
利用したことがある	38
親の付き添いで中に入ったことがある	33
利用したことも、入ったこともない	9
合計	80



問1.1　何をする時に利用しましたか？（自由記述）

【結果】

カテゴリー	件数
マイナンバーカード	26
市長関連	5
習い事	2
申請	1
その他	3



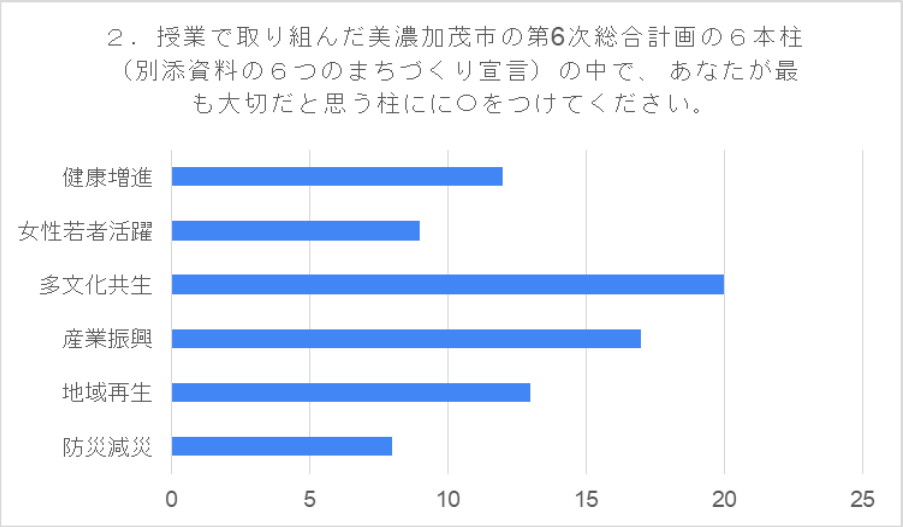
問2　授業で取り組んだ美濃加茂市の第6次総合計画の 6 本柱（別添資料の6つのまちづくり宣言）の中で、あなたが最も大切だと思う柱に〇をつけ、その理由を教えてください。（授業で選んだものでも、それ以外でもかまいません）

1. 健康増進　2. 女性若者活躍　3. 多文化共生　4. 産業振興　5. 地域再生　6.防災減災

選んだ理由（　　）

【結果】

柱	件数
健康増進	12
女性若者活躍	9
多文化共生	20
産業振興	17
地域再生	13
防災減災	8



《選んだ理由》

1. 健康増進

カテゴリー	理由
健康増進	やっぱり健康だと町が明るくみえてより気分も明るくなるから
	健康に対する勢力がないと思ったから
	みんなが健康じゃないと女性若者の活躍も多文化共生も産業振興も地域再生も防災減災もできないから
	やっぱり健康が第一だから
	外に出ない若者が多いから。運動不足の人が多いから。
	市民が健康な状態を保ち、自立して生活をすることは大切だと思うから
	健康のために体を動かす公園とかジムなどをつくってみんなが健康でいられるようにすることが大切だから。
福祉	発達障害に関する知識をもっている人が少ないから。少しの発達障害なら（医師から支援が必要と言われても）支援はいらないと言われてしまうのが現実だから
	おじいちゃんに長生きしてほしい
	福祉に興味があったから

2. 女性若者活躍

カテゴリー	理由
子育て	少子化が進んでいるから
	私も将来子育てをするとなった時にサポートすてもらえると安心することもできると思うし、美濃加茂に住みたいという思いが強くなる。
女性	私たち女性が活躍できる市であってほしいから
	若者が活躍できる市にすることによって、まちづくりが活性化するし、人口増進にもつながると思ったから。
若者	美濃加茂市の未来のためにかつやくできる。もっと楽しく生活できるように
	未来の市を成り立たせるために大切だから

3.多文化共生

カテゴリー	理由
国際交流	グローバル化がすすんできて、いろいろな国籍の方と関わることは重要だと考えだから。
	外国の人とのかかわりを増やすこともいいことだと思うから
	外国人の方とか、外国人の友達もいるから身近に考えなければならないから。
住みよいまちづくり	美濃加茂市にはたくさんの外国人がいて、その人たちも快適に住むことができたらいいと思ったから
	いろいろな国出身の人が住む美濃加茂ではみんなが住みやすい！と思える町づくりをしないといけないと思ったから。
	美濃加茂市は外国人が多いから
	美濃加茂市にはたくさんの外国人の人々がいて、その日本有数の特徴を大事にしたかったから
	美濃加茂市を外国人の方にとって住み良い街にしていきたいと思ったから
	美濃加茂市は外国人市民の方が多く、外国人市民の方が住みやすい市になったらよりよい美濃加茂市になると思うから。
	多くの方々に住みよいと思ってもらうことで 10 年後も多くの人に愛される市を作っていけると思ったからです。

4.産業振興

カテゴリー	理由
地域活性化	もっと美濃加茂市が活性化して、有名になってほしいから
	多くの企業が美濃加茂に入ることで、経済がよくなり市にもお金が入り、バリアフリーなどにそのお金が使えるので、すみやすい町になると思ったから。
	美濃加茂市の活性化を計るために利益を大きくするため
	田舎の方には高齢者が多く必要なものが多いが周辺に店もなく、買えないから
	もっと美濃加茂市の特色を活かせると思うから。
	コレといった観光スポットや特産物があるとは思えないから
	美濃加茂市が豊かなまちになることで若者や、女性も働きやすくなるし、地域再生にもつながると思ったから。
その他	このあたりでは学生が遊ぶ場所が少ないと感じるから
	美濃加茂市は求人は多いのに働く場所があまり知られていないから。交通網は良いのに都市へ行くときの休憩場所として人々から使われているから。
	今の美濃加茂市は若者に人気ありそうな店が少ないから
	近隣の専門的な知識を持った部所を作って今後働きに出る若者の新しい雇用先の選択肢を増やしてほしい。
	産業振興によって得た利益で、他の 1 や 5 などの取り組みができるから。
	美濃加茂市民が楽しく休日などを過ごせると思ったから

5.地域再生

カテゴリー	理由
交通	あい愛バスの利用者が増えてほしいから
	すべての市民が利用しやすいように効率よくバスを回す必要があるから
	あい愛バスの赤字が大変だから
	あい愛バスの利用者が少なかったり、少子高齢化が進んでいるから
住みよいまち	美濃加茂市がよりよい市になることで、魅力ができるから。
	このままだと高齢化で平均年齢がどんどんのびていくだけだから。子育てしやすい町にするべきだと思う
魅力創出	地域がみりょくのあるものでなければ他のことに力を入れることができないから
その他	コンビニが少ないから
	自分にとって考えやすいものだったから。
	美濃加茂市を MINOKAMO にするために大事だと思ったから
	地域再生をすると観光に来た人も地元の人もうれしいことがあるから
	これから、外国人が日本にくる(もしくは逆)ということがふえてくると思うから

6.防災減災

カテゴリー	理由
災害への備え	南海トラフが起こるといわれている中で、いつ地震や災害が起きてもいいように日頃から防災に対する意識を高めたい
	防災は必ずといっていいほどおこるものなので、それにそなえることのできる美濃加茂市にしたいと思ったから
	災害のための備えができている人が約 50%しかおらず、もしものときに対応できないから。
地震や災害	一番身近ではなく、逆に一番危険でもしもの時でその後変わってしまうから。
	日本は地震が多い地域だし、災害も多いからより考えるべきだと思ったから、いつ災害が起きてもおかしくないから
	美濃加茂市は自然が多く、水害など起きるため
	今後必ず起こるから

問3　2で選んだ柱を実現するために新しい市役所に期待することを教えてください。

【意見】

1. 健康増進

カテゴリー	意見
運動施設	市役所の中で、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催していろんな人と交流できるようにしてほしい
	広い運動ができる公園
	誰でも気軽に参加できるイベント→引きこもりがちの人や高齢者の運動不足解消
	どんな人でも運動ができるスペースがほしい。
	誰でも入れるジム、オンラインジム
	それぞれが健康を意識して運動に取り組めるようアプリなどを活用して、ポイントなどを使った企画などがあってもいいと思う。
	運動ししつ、運動クラブ
	年齢関係なく誰もが運動できるジムや公園にエクササイズのものをおいてほしい。
障がい者向け	・もっと市民に親身になって欲しい。・発達障がい者について詳しい人がもっと欲しい。（市役所にも学校にも）・発達障がい者が通える施設や仕事場などが欲しい。
	障がいのある子が自由に遊べる施設がほしい（家族含む）

2. 女性若者活躍

カテゴリー	意見
子育て	もう少しでいいから学校の電力増やしてほしい。集中がしにくい夏はあつい、冬はさむい
	子どもが遊べるスペースがほしい
	保育士さんが働きやすい環境の保育園や託児所を増やしてほしい。そして、子どもを安心して預けたい。
	結婚し、子育てしながらでも、社会で活躍できるよう安心して子育てができる。そして仕事を両立できる環境を整えてほしい
女性	共通点（子どもがいる女性とか）のある人が集まれる機会を作って欲しい
	女性が働ける場をもっと増やしてほしい
若者	若者が活躍できる場を設けたり、考えたりする人がいると良いと思う。

3.多文化共生

カテゴリー	意見
交流の場	いろいろな国の言語が話せるようになって、共生できるようにするために市役所で多文化交流エリアを作っていろんな国の人が関わり合える場をつくる。
	外国人の方と交流する場を増やしたい。外国人の方が住みやすい町づくり
	それぞれの国籍ごとに文化を広める担当者がいてほしい。そうすれば多文化共生に近づくことができると思う。
	勉強スペースがあるようにしてほしい（親といっしょについてきた人がいれる場所）
	互いに外国語の教え合える場
	外国人の方が楽しくすごせる場所や交流できるスペースがあるとよいと思う。

カテゴリー	意見
多国籍対応	日本人と外国人が関われるスペースがほしい。外国人におすすめの美濃加茂にスポットを紹介する看板みたいなやつがほしい
	外国人がすごしやすい環境にする。お店の看板に英語など日本語以外の言語をかくようにお店側にお願いする。
	外国の人も楽しめる施設やレストラン
	日本語学校があるといい。外国人市民の方が自由に日本語を学べるスペースがあるといい。アンケートを行い困っていることなど知ってほしい。
	日本語が分からない方でも快てきに住めるよう色々な国の言語のポスターをおいたりする。
	4 ヵ国語のかんばんをつくってほしい
	外国人たちの母国のことを知らせるためにイベントやマーケットをつくる

4.産業振興

カテゴリー	意見
施設・設備	体育館くらいの広いスペース、バドやバレー、バスケ、たっきゅうなど色々なスペースがあることが運動出来るスペースになるし、交流の場にもなって市役所が市民の身近になると思った。
	季節によって遊べるレジャー施設の活用
	Wi-Fi
	コンビニなど並設して欲しい。「中部国際のように」
	田舎の方に大きなスーパーマーケットを作ってほしい
	働きたいや、求人募集しようとしている人が今より楽に働く場所を知った求人募集したりできるスペース。
	どのような店を置きたいのかなどの地域の声 BOX みたいなものを設置してほしい
	カフェ
	山之上だけでなく、駅の近くや太田や古井などでも梨やかきを売ってほしい。
	地域の特産品などを紹介するなどスペース等がほしい。
	SNS の活用をより活発にする。大手企業や有名人といっしょに何かする
	デパートなど、たくさんの人が楽しめるような場所がほしい。
	いろいろなことを PR してくれるスペース
	親子で一緒に遊べるスペースがほしい
その他	公園でもっとイベントをする
	雇用の専門的な知識を持った部所を作って今働きに出る若者の新しい雇用先の選択肢を増やしてほしい。
	美濃加茂だからこそできる観光業が身近にあり、できること。（川など）

5.地域再生

カテゴリー	意見
交通	バス停の位置やバスの時間表の紹介をしてほしい。
	バスの路面図や運転時間を見直し、すべての市民が利用しやすいように改善してほしい
	あい愛バスの赤字を使って新しいことをしてほしい
	あい愛バスを生かして観光客や、利用者を増やすことを頑張って下さい。応援してます。
施設・設備	学生が楽しめる場所や所々お店がほしいです。
	教育、遊びなどが 1 つにできる複合施設
	カフェの設置
	運動できるスペースがほしい

カテゴリー	意見
施設・設備	フードロスを削減するために、はいき処分される食品の配布などができるスペースがほしい
その他	代表的な物を作ってほしい
	市の支援。児童施設を増やす。学童などを割引する。
	日本人と外国人が交流できるイベント的な何かがほしい

6.防災減災

カテゴリー	意見
災害への備え	自治会での防災リーダーを決めるなど、まとまりが作れるものがほしい
	防災について身から感じられるコーナー。
	災害ボランティアへのトレーニング、防災セミナーや防災訓練
	防災の意識を小さい子供にも高めてもらうために学校などで定期的に防災教室を開く
	起震車で実際に地震の揺れ具合を体験してみる。月 1 で防災、減災について学べる講座をしてみる。
	災害時に使える道具を無料で配る。

問4　3で考えたこと以外で10年後の自分や美濃加茂市を考えた際に、新しい市役所に期待することはありますか？ご自由にアイデアをお書きください。

【意見】

カテゴリー	意見
交通	美濃加茂市は今、名鉄が通っていないので、なんとか通るようにして交通の便を良くしてほしい。そうすれば市民の生活が便利になるだけでなく、他県からの観光客も増えると思う。
	あい愛バスの改善
	あい愛バスの 1 億 5000 万の赤字を他のことにあてる。医療機関を増やす、一時保育施設をつくるなど
交流の場	市民同士がつながることができること。美濃加茂の象徴的存在になること。
	美濃加茂市の市民が今よりもっとつながるかかわりがある、まちにしてほしい。「市民と市民がつながるまちづくり」
	互いに外国語の教え合えるところ
サービス	市民の寄りそった行動、態度を期待する。市役所で避難訓練など等いつもと違う時は教えてほしい。（発達障害者の子どもを連れて来て親子にはなおさら）
	高齢者の働く場所の提供（昔のことを語るなど）しゅみをつくりための講座
	女性、若者の活躍、子育用品や生理用品の支援
	無人市役所
施設・設備	生活で困っている外国人やシングルマザーへ生活支援
	年齢差など関係なく、過ごしやすい施設を作ってほしい
	子どもを育てやすい環境づくり（タクシー割引・公園を多くする）→運動できる所を増やす。
	誰でも気軽に使えるような設備
	若者が楽しめる場所があることを期待しています。
	市役所の隣又は併設で娯楽施設があれば来所する用事がない人も市の情報などを目にする機会が増えておもしろいかも。
	ショッピングモール、近くにあるコンビニ・職場
住みよいまちづくり	美濃加茂市っていいところだったんだなと思わせるような地域づくり
	住民が気軽に意見を言える場所
	どの県よりもうすごしやすい場所をつくってほしい。
	もっと安全で楽しい市
	外国人の方の働きやすい環境づくり、学生は学びやすい場をつくる。（4 組の提案など）
	体が不自由な人でも働ける美濃加茂市にはなっておいてほしいと思いました。
	10 年後も住み続けたいと思えるように美濃加茂市を今よりももっと住みやすい場所にしてほしい
	美濃加茂がくらしやすいまちになって、すてきな人をふやすこと。
	バリアフリー
	住みやすい美濃加茂
	普段の生活がしやすい環境が整っていてほしい。
	働く場所がもっと増えて欲しいので、企業が美濃加茂に来たいと思ってもらえるように土地をやすく売ったり、県と市が支援してほしいです。
	図書館や公園など市民が利用できる施設の増設や充実
	誰でも活躍できるような社会
	定期的にアンケートなどを行って、美濃加茂市民の方がどう思っているのか（困ったり、良くしてほしいこと）を知ってほしい。

カテゴリー	意見
住みよいまちづくり	交通の整備が整っているところ
	国籍や年代関係なく共に支え合いながら生活できるような環境づくり。色んな人の意見を取り入れながら、生かせるものを生かしていけること。
	子育てがしやすいこと。人と人のつながりを大切にすること。
	多くの方々の意見を反映できる市
	市民の意見を反映されやすいことを期待する
	外国人の多くの人が日本語を話せないので、通訳の仕事や英語で話せる人がいると助かると思います。
	給料 UP！！
	引っ越してくる人へのお金のサポート
	保育士や幼稚園教諭など公務員の給料を増やしてほしい。
地域活性化	市役所でイベント。
	古井駅のまつりの屋台すくないからふやしてほしいです。
	小学校や中学校にもっと話をしに来てほしい。そうすればもっと子どもたちの意見を聞くことができると考えます。
	今の美濃加茂市では、一番の大企業といえるものがない気がする。会社をもっと大きくして、誰でもこの市一番の企業を言えるようにしてください。→例えば、会社設立時の費用の負担や不景気の給付金など。
	梨であったり、中山道を利用して犬山城下町のように店舗を並べて食べ歩きをしたりできるようにしてほしい。
	美濃加茂市といったら「〇〇」という印象強いものが欲しいです。
	緑あふれるまち、標識などをつくる
	どこにもないデザイン。未来がよくわかる設備。歴史が1目でわかるデザイン。
	産業がより活発になるようにしてほしい
	地域の特産品を活かした製品の開発
その他	アイデア(発想)がよくなっている
	音楽スタジオの設営

≪保護者の方へのアンケート≫

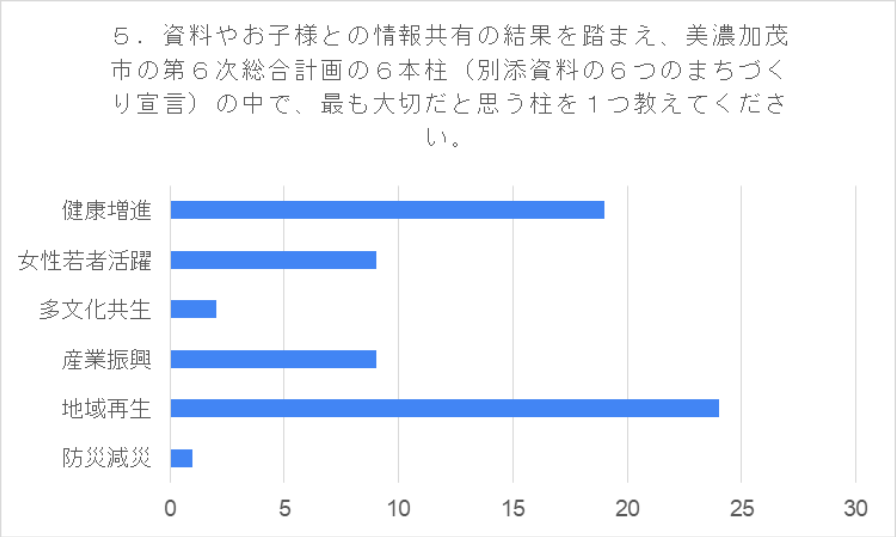
問5　資料やお子様との情報共有の結果を踏まえ、美濃加茂市の第6次総合計画の6本柱（別添資料の6つのまちづくり宣言）の中で、最も大切だと思う柱を1つ教えてください。

1. 健康増進　2. 女性若者活躍　3. 多文化共生　4. 産業振興　5. 地域再生　6.防災減災

選んだ理由（　　）

【結果】

柱	件数
健康増進	19
女性若者活躍	9
多文化共生	2
産業振興	9
地域再生	24
防災減災	1



《選んだ理由》

1. 健康増進

カテゴリー	理由
健康増進	健康であれば何でもできるため気軽に運動できる環境
	便利な世の中になり、またスポーツをする人が減っているので体を動かすことで心も健康になるのではと
	今は核家族が進み、高齢者の1人暮らしが増えている。そのため孤独死だったりという話をまわりで聞くので、そのような事が減らせる良いと思ったから。
	健康が全ての源、健康でないものは十分な活躍やいざ天災があった際も減災にも繋がらない。
	人生 100 年時代なので、健康寿命を出来るだけ長く楽しく過ごしたいので。
	子どもからお年寄りまで、心身共に元気にすごすやめには食事・運動・コミュニケーションと必要。心と体の病気にならないことが大切だと思う。
	心身共に健康に暮らせる事が何より大切だと思うから
	心身共に健康であってこそ、仕事をすることができ税金を収めることができる為、それが人生の充実につながると考える。
	健康寿命を皆が意識してほしい。家庭の中に寝たきり介護人になってしまうと思うように働けなくなったりして、不幸な人が増えると思うので。

カテゴリー	理由
健康増進	健康は人の生活の中で最も重要なものです。病気だと何もできません
福祉	病気の人が増えると医療費が増えてしまう。健康寿命日本一を目標に色々な施策がつながっています。予防医学が大切だと思いました。高齢化が進みサルコペニアフレイル予防も必要
	高齢化社会でも元気に生きるため
	障がい児がいるので充実した福祉
その他	医療費を減らす為に力を入れて欲しいです。
	子供の保険料を18才まで延長してほしい。

2. 女性若者活躍

カテゴリー	理由
子育て	子供がいても仕事をやめなくて良い環境を整えてほしい。
	子育ては大変なので
女性	女性の活躍する制度が少ない為
若者	未来を担う子どもたちが生きやすい環境を整えてあげたい
	将来、社会を支えていく若者の力は大切にしたい。
	若者が活やくしている市町は活気があるから

3.多文化共生

カテゴリー	理由
国際交流	多様な文化を知る方が新しい発見があったり、自分自身を見直すこともできると思うので。
その他	市が成長するためには、良質な労働力が必要であり、移民が都市に貢献しながら長生きできるよう、移民を結び付ける多文化政策を策定する必要があります。

4.産業振興

カテゴリー	理由
地域活性化	人口増加につながり町の活性化に期待が持てる為
	経済の活生は市財政の増加になり、手厚い行政サービスにつながる
	地域が活性化すれば、おのずと皆が集まり、豊かになっていくから
	どれも大切だと思いますが、特に産業振興は自治体における自主財源の確保に重要な要素であると考え選択しました。
	若い人たちが都会へ流出せず地元で働けるともっと人口が増え活気が出ると思います
	美濃加茂市を中心として各都市の発展が今後必要と思う。
その他	ふるさと納税の返礼品をみても、美濃加茂市に魅力を感じた為

5.地域再生

カテゴリー	理由
交通	交通（公共交通機関）の充実は、高齢者や若者（小・中高生）にとって必要だと思うので住みよいと感じられるよう、路線の充実をはかってほしいと考えたため
	森山団地に住んでますが、町へ行くのにバスの本数が少ない
	10 年後、20 年後も自分の足であちこち移動することが可能な市であってほしい。車の運転ができなくなっても、いきいきとしていたい。
住みよいまちづくり	将来の少子高齢化社会に向けてのまちづくりが大切だと思うから

カテゴリー	理由
住みよいまちづくり	子ども達がもっと楽しめる場所があるといい。子どもは校区内しか子ども達だけでは行けないので、他校区にイイ所があっても行けないのでそれぞれは何かあるとイイ。
	自分が老後になった時や子供が自立した時に今よりももっと住みやすい市になってほしい
	住みよくないと人は来ない、出ていってしまう
	家族で楽しめる場所があるといい
	乳幼児だけでなく、小中高生が気軽に利用できる児童センター的な施設があると良い。各学校での授業や行事でも団体としても利用できるようにして子供達が積極的に楽しんで活動できるように、又学校行事がもっと盛んになるようにつなげてもらいたい
	子ども達が大人になった時に美濃加茂が好きで住み続けたいと思える魅力的なまちであって欲しいから。
	高齢化を迎えるにあたり、高齢者も若者も住み良いまちにしてほしい。県外へ出てほしくない。
	人口が増えてきたので多くの人が住み良い町だと環境整備してほしい。
	先を見据えたまちづくりは結果として産業や女性、若者の活躍がなくては先がないように思う。同時に進めることで役所内で共有がはかれより良くなって行くと思う。
地域再生	地域再生-地域が盛り上がってこそだと思う。
	太田駅前に商店街、新しい店など若者が来てくれるようなまちづくり
	商店街などシャッターが降りている店も多く、老若男女が気軽に立ち寄れるお店があると良いのでは
その他	民間企業と連携し市外の人も利用でき、地域活性ができるといい
	色んな支援が手厚いほうがいい
	健康増進、女性若者活躍、多文化共生、産業振興、防災減災すれば地域再生すると思います。
	駅南側がさみしい

6.防災減災

カテゴリー	理由
防災	災害が起きた時に、少しでも多くが助かると日々の生活の不安が減ると思うので。

問6 5で選んだ柱を実現するために新しい市役所に期待することを教えてください。

【結果】

1. 健康増進

カテゴリー	意見
健康増進	市内でスポーツができるクラブの紹介
	楽しみながら、健康にすごせるイベントや施設を紹介してくれる窓口や散歩等のついでにふらりと市役所に立ち寄り楽しめる様な施設の設置
	運動ができるスペースがほしい。人が集まり交流もできる
	健康測定器の設置
	みんなが活用やすいスポーツジムのコーナーがあるといいと思う。誰でも気軽に何でも相談できる雰囲気の窓口があるといいと思う（メンタルヘルス）
	スポーツジムを設置してほしい
	中体のジムを使いやすくしてもらえたら利用するかも
子育て	高齢者を支える子供（若い人）を増やすため、子育て支援の充実をしてほしい。特に現在は小中高生に対する物がない。子供は大きくなってからお金がかかる
	障がいを持っている子が肩身のせまい思いをしなくてもいい遊びの場（小さい子が多い公園等はヒヤヒヤしながら見てないといけないしルールは守れないので連れていけない！）
	医療費の負担を減らしたい（高校まで無料など）
	安心して子育て仕事ができるよう、サービスに充実、相談支援機関の充実
	子どもの発達支援について、支援施設が 1 ヶ所しかないので、入所待ちになったことがありました。支援施設や相談にのってくれる人を増やしてほしいです。
福祉	自治会で民生委員の役職があるけど、大変だからなかなかやりたがる人がいないと聞いた。1人で担当の多くの高齢者をまわるのは、大変だと。何か改策があると良いと思う。
その他	異年齢交流できる場。同年齢が集まる場は子育て支援施設、福祉会館などがあるけれど、異年齢交流できる場はイベント参加する人しかできない。ひきこもっているお年寄り、子供たちが増えているので、そういう人たちを外へ出してみたいと思える取り組みがあったらいいなと思う。
	健康診断が無料で受けられるようにしてほしい
	以前相談で電話した時「こういう決まりですから」と言われるだけで真剣に考えてくれなかったのでもっと市民に寄りそってほしい。決まりはあるのは分かるのですが、わがままでないお願いは変えれないか考えてほしい。

2. 女性若者活躍

カテゴリー	意見
子育て	可児市にあるような子供を預かってくれる施設があるといい。（無料で、見ていてはくれないが、見る人がいる）安心して仕事に出るため。
	不登校の子どもたちが学べる場所や環境を作ってほしい。
	学童、保育園等、条件緩和
	会社に子ども（幼児）をあずけるスペースがほしい
	子育て支援についてももっと分かりやすくしてほしい
若者	若者の挑戦を応援すること。
その他	イベントや行事等、わかりやすく発信してほしい。仕事体験ができる所がたくさんあると、就職の選択肢が広がると思います。
	相談しやすい、にこやかな職員

3.多文化共生

カテゴリー	意見
地域活性化	文化、芸術、食に関するイベント（音楽）とか

4.産業振興

カテゴリー	意見
地域活性化	他の地域から美濃加茂へ行ってみたい！と思うようなイベント企画など。
	柔軟性のある人材
	市職員の人員を充分に確保し、行政業務の健全に遂行できる組織を整えてほしい。不適正な事務処理事案はその担当者の問題で済ませると今後も発生すると思います。
	建築家の手がけた、公共施設や美術館など
	ビジネス環境の構築や企業誘致、地域の魅力や特性をアピールし、投資や訪問者を引き寄せるブランディング活動など
	最新のシステム魅力ある市役所、カフェ併設など（緑・花が多い。岐阜県で一番古くなってしまったので悲しい）なので、どこの市役所よりも New にしてください♪
	交通網の拡充と道路の整備や拡大
その他	仕事を始める前に基礎知識を学べる無料の講座があると良いです。年齢に応じて対応してもらえると嬉しいです。

5.地域再生

カテゴリー	意見
交通の場	加茂野のあまちの森のような皆が集まれる場所を東方面にも作って欲しい。
	人が集まり交流スペースがあると良い
	市役所内だけにとどまらず、人が集う場所に出向いてもらい現場の長所や改善点等を肌で感じてもらいたい。それが市の活性化につながっていくのではと感じる。
住みよいまちづくり	困った時、どこへ相談したら良いか紹介してくれる人がほしい。
	医療の保障の充実や車を手放した後の住みやすさ
	住みやすい町作り
	公園の設備を整えてほしい
	無料で利用できるスペース。子どもが遊べる学べるところ
	手続きなどのオンライン化をどんどん進めてほしいです。
	人口の流出を減らし、新しく人が来たいと思える（一時的な旅行等でも）しくみや、他県での義務教育の制度で取り入れたら都市部とする区分への移住等しやすくなったりすると思う。内容のものを美濃加茂市で行ったらどんな影響があるのかシミュレーションしたりした物を市民に情報発信してほしい（いつでも見られる、手にとれる）
	本格的に公共交通手段の充実についてテコ入れをしてほしい。あい愛バスの本数・・・今のままでは10年後20年後の自分が心配。
地域活性化	インフラ整備
	地域再生にお金を使う
	空き店舗などをそのままにせず安く貸出ししているという情報の発信
	バス路線について考えてほしい
	商店街を夜,歩行者天国にする日を作ってほしい
その他	Walkable City Minokamo 前市長に引き続き進めてほしいです。
	税金のムダをなくしてほしい、市役所の人多すぎる、仕事してない
	美濃加茂市全体の設備（街灯など）の増設

6.防災減災

カテゴリー	意見
その他	一家に一台シェルターがほしいです。

問7　市役所建設や今後の美濃加茂市に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。今後の検討に活用させて頂きます。（自由記述）

【意見】

カテゴリー	意見
交通	あい愛バスを改善していってほしい
子育て	労働人口が増え、皆が税金を納めることで、住民税の負担を軽くして欲しい。所得に関わらず、子が成人するまでは子の医療費を無償化として欲しい。
	もっと子育てがしやすい環境にしてほしい。児童手当を上げるとか。市から住宅補助金みたいなものがあるといい。あい愛バスの時間を増やしてほしい。子どもの送迎が仕事で難しいので子どもがよく行く所にすぐ行けるように
	少人数学級・給食費の無償化。公園遊具の整備、充実。
	高校まで医療費は無償。通学定期の助成。給食費の無料化。
	高校に、もっと簡単に入れるようにしてほしい。なぜかというと、多くの子供たちが十分な経済的状況でないため簡単に入れるようにしてほしい。
災害への備え	堤防が決壊しても影響の無い地域に移転してほしい。
市役所建設	反対意見が出るのは当然と思いますので市民投票ですれば良いかと思います。
	新庁舎の建設をスピーディーに進めてほしいです。
	新庁舎には駐車場は充分確保してほしい。
	新市役所は楽しみですが、第三者から見た時にムダな土地活用には気を付けてもらいたい。Simple is Best に期待しています。
	市役所建設の必要性をかんじない。
住みよいまちづくり	市役所にいろいろな銀行の ATM を設置してほしい。
	手続きや相談等だけでなく、気軽にいけるような場所になるとイイです。
	税金を有効活用して、市民が過ごしやすい町づくりをして頂きたいです。市役所は駐車場をしっかり確保できる場所にするべきだと思う。
	住みやすい街、働きやすい街、手当て等充実された美濃加茂市になってほしい。今の市役所は古いし暗い感じがするので早く新しい市役所になって誰でも行きやすくなるといいです。
	市役所建設＝税金。新しくするなら市役所人数へらしてムダ多い
	市民の為に確実な責任、責務を果して下さい
	子ども達が市外へ出ていきたくないと思える市にして欲しいです。
	子どもからお年寄り、学生も気軽に行ける楽しい図書館があったらいいな・・・。メディアコスモスみたいなカフェもあり、イベントもあり、勉強もしやすい図書館が欲しい。
	市職員が一般市民に寄り添った対応を望みます。6 本柱のまわりにある具体的な事柄を重要視して柱をできあがらせて欲しい。
	駅近が良い。オシャレな感じの建物にしてほしい！JR＆バスをもっと増やしてほしい（団塊ジュニア世代も高齢化になる）・子育て世代の住みたくなる街。（高校生まで医療費無料、給食費無料など遅れている。）ここ数年でいろいろなお店が増えてきたり病院もあたらしくなり市長さんはじめ、市役所の方々が頑張ってみえるのを感じます。私は豊田市から移住してきましたが、豊田市もとても活気があったので美濃加茂の良さをもっと活かしていけたらと思います！！これからもたのしみです。
	美濃加茂市は多文化社会の最良の例となるよう努めるべきであるということです。従業員と社会全般の研修私たちがどのように生きるべきかの調和。
地域活性化	自然環境を生かす活動
	江戸時代の風景が感じられる宿場町、鉄道とともに発展をとげた太田の繁華街、美濃加茂は木曽川から北に向かって様々な町の移り変わりを感じられる独特な特徴を持った街だと思います。うまく市がリードし、街ぐるみで観光に力を入れる事がで、まだまだ発展できる街だと思います。

カテゴリー	意見
地域活性化	美濃加茂市には、観光客を増えるのに誇れるものが必要です。市役所をそのようなものに建て替えることは、美濃加茂市の良い将来に繋がっていると思います。
その他	ムダ使いやめてほしい。
	藤井市長のインスタフォローしてます。いつも楽しく見てますよ。
	Walkable City Minokamo について何が行われていますか？前市長から引き継いで何が行われていますか？
	西体育館のアリーナにエアコンが欲しい。夏場にエアコンをつけてスポーツができる施設をふやしてほしい。（大ホールのエアコン代が高く、小ホールだとせまい）
	先日市役所より新庁舎についてのアンケートが届き、全て記入させていただきました。よろしくお願い致します。
	市民税など有効に使ってほしい
	書いたら実行してもらえます？すみませんが、市役所の職員に方々に期待することは特にありません。市長1人がんばっても意味がないし、市議会の人だけががんばっても意味がないと思います。
	LINE などアンケートをたくさん実施して、今どの人が何が困り事なのか知ってほしい。

4.高校生ワークショップ結果

4. 高校生ワークショップ結果

学生世代に市の取り組み等に関心を持っていただき、自分ごととして新庁舎整備をはじめとする市政について考えていただくため、岐阜県立加茂高等学校と美濃加茂市の地域活性化スクールプロジェクトの一環として、以下の通りワークショップを行いました。

ワークショップを行うまでに複数回にわたり市や行政について学習して頂き、高校生の皆様からみた、「最高の美濃加茂市」について考えて頂きました。

ワークショップは「最高の美濃加茂市」を実現するための「私たちの新庁舎はどんなところ？」をテーマに実施しました。

No	対象	テーマ	日時	場所	参加人数
1	加茂高校２年生 ※地域活性化スクールプロジェクトの一環として実施	「私たちの新庁舎はどんなところ？」	令和５年 12月14日(木) 14:10～16:00	加茂高校	236人

おでかけワークショップ（加茂高校２年生）
ワークショップ結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回、岐阜県立加茂高等学校と美濃加茂市の地域活性化スクールプロジェクトの一環として、高校2年生の皆さんとワークショップを行いました。ワークショップを行うまでに複数回にわたり市や行政について学習して頂き、高校生の皆さんからみた、「最高の美濃加茂市」を考えて頂きました。今回は「最高の美濃加茂市」を実現するために、「私たちの新庁舎はどんなところ？」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

（1）日時・場所・参加人数（事務局を除く）

日時：2023 年 12月 14日（木） 14:10～16:00

場所：岐阜県立加茂高等学校

参加者（事務局を除く）：236人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報共有「これまでのふりかえり」
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題：「私たちの新庁舎はどんなところ？」

5. 全体共有
6. おわりに

（3）事務局

美濃加茂市新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)ワークショップ結果の概要

第2回市民ワークショップの意見との比較のため、決定した8つの「新庁舎の役割」を 10 のカテゴリーに分け、各班でグループ分けした高校生の意見を 10 のカテゴリーに振り分けました。10 のカテゴリーに該当しない意見は、高校生特有の意見として以下の通り、カテゴリーを設けました。

新庁舎の役割		10 のカテゴリー
○誰もが利用しやすく、 必要なサービスがスムーズに提供される		○誰もが利用しやすい
		○スムーズな行政サービス
○こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、 どんな人でも受け入れられる		○どんな人にも対応
○災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	⇒	○災害時の拠点
○業務効率の向上につながる職場環境の充実		○市職員の職場環境の充実
○環境の変化に対応できる庁舎		○環境の変化に対応できる
○平日に働く人もたよりやすい		○平日に働く人も頼りやすい
○申請等の手続きがオンラインでできる		○オンライン化
○行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎		○行政機能を集中 ○建設費を抑える

高校生意見からのカテゴリー			
地域活性化	複合施設	フリースペース	運動施設
遊び場	広場	心地よい空間	自然
交通	まちのシンボル	動物	イベント・賑わい
分散	広々とした空間	勉強スペース	JR と連携
イルミネーション	デジタルサービス	建物のデザイン	眺望
お得なサービス	リラックス	多文化交流	交流の場

新庁舎の役割から分類した10のカテゴリーに該当する意見では、「誰もが利用しやすい」や「どんな人にも対応」に対する意見が多く出ました。特に交通の便に関して、市民ワークショップでは、「駐車場があり、車で行きやすいこと」に関する意見が多い一方、「駅やバス停が近く、歩いて行けること」に関する意見が多く出ました。

高校生意見としては、様々な機能が複合した庁舎の要望が多く出ました。特に、フリースペース・運動施設・勉強スペース・遊び場に該当する意見が目立ちました。具体的には、話しながら勉強ができること等、利用者同士の交流が図られることが求められています。

また、新庁舎が「心地よい空間」であることや外観や内装の「建物のデザイン」が魅力的であることに関する意見が多く出ました。

これら意見の特徴から、気軽に訪れることができ、利用者同士の交流ができる新庁舎が求められていると考えられます。

■新庁舎の役割から分類した意見で多かったもの

カテゴリー	主な意見(重要と思うシールが2枚以上貼られた意見)
環境の変化に対応	最先端技術を導入
市職員の職場環境の充実	議員の眠気覚ましがある
	Worker's がたのしく仲良しに doing!
スムーズな行政サービス	地域の悩みがすべて解決できるような所
	受付
	掲示板があって、様々な情報をすぐに知ることができる
誰もが利用しやすい	行きやすい場所
	交通の便がいい、駅から歩ける距離
	バス→高齢者からこどもまで
	使いやすい
	相談しやすい市役所
	何でも相談できる
どんな人にも対応	ユニバーサルデザインを基盤とした機能性の優れた市役所
	多文化共存
	高齢者の人や障がい者の方にもはいりやすいようなつくり
	多言語表記
	音声案内
	保育施設、介護施設の導入

■新庁舎の役割から分類した意見以外で多かったもの

カテゴリー	主な意見（重要と思うシールが2枚以上貼られた意見）
複合施設	カフェ（スタバ、ペットカフェ、和・洋カフェ、展望台カフェ）
	飲食店（モスバーガー、マクドナルド、ビュッフェ）
	店舗（若者に人気のあるお店）
	さわやか、吉野家、サイゼの全部を設置。
	小藤農園の梨を食べるスペース
	コンビニ
	温泉
	ボーリング場
	図書館
	コンビニ
	ブックストア
	映画館
	ドッグラン
	漫喫
フリースペース	温泉
	周りを気にせず友達と会話できるスペース
	憩いの場になる
	充電スペース
	自由に使える机、イス
	飲食ができるフリースペース
	ゆっくり休めるスペースがある
勉強スペース	個人で勉強できる
	自習スペース
	学生のための勉強スペース
遊び場	市役所をテーマパーク化させる
	観覧車
	公園
	屋上公園
	ゲーセン
	子供が遊べる施設（ボールプール、アスレチック）
運動施設	運動のできる施設がある
	プール
	体育館
	市民が無料で使える体育館
	ジム

カテゴリー	主な意見（重要と思うシールが2枚以上貼られた意見）
広場	写真映えスポット
	イベントができる広い広場
	オーシャンビュー
イベント・賑わい	イベントに参加できたり、イベントをひらけたりできる場所がある新庁舎！
	市役所でいろんなイベントを開催！
	クリスマスやお正月・ハロウィンなど行事に合わせたイベントなどで人が集まる新庁舎！
	人の交流を活発・風通しをよくする→かたいイメージからの脱却
	ロープウェイで美濃加茂市ツアー
イルミネーション	夜、電飾がキレイな市役所
	月1で変わるイルミネーション
	イルミネーションがある
お得なサービス	ドリンク無料提供
	おかしコーナーがある
	市内のお店で使えるクーポン配布（月や週ごとに変わる）
	市役所に何か申請したら焼き肉キング1回無料券もらえる（隣接済）
	きちんと書類など出したら、スイーツやご飯を食べられる（無料）（食堂）
心地よい空間	広い敷地
	内装がきれい
	窓が多い
	木造（木のぬくもりを感じる）
	鳩時計
	とってもキレイな建物
	家以外の安心できる場所
	アットホーム
	入りやすい雰囲気
	おしゃれなうちあわせ場所
	明るいにぎやかな雰囲気
	ガラス張り
	便利
	かた苦しくない雰囲気
建物のデザイン	デザインがいい
	かわいい建物
	バズりそうな見た目
	自慢できるデザインの市役所
	かっこいいデザイン
	ひときわ目立つ新庁舎

カテゴリー	主な意見（重要と思うシールが2枚以上貼られた意見）
建物のデザイン	入りやすくて行きやすい外観
	カラフル新庁舎
	屋上がある
	15 階建て
	オシャレな新庁舎
	木造の庁舎
	入りやすい庁舎
まちのシンボル	高い新庁舎
	町の中心に大きく
	王宮みたいなの
	めちゃでかい新庁舎
	世界遺産に認められる新庁舎
自然	お花いっぱい
	自然の暖かみを感じられる場所
	観葉植物いっぱい
	緑がある
	木が植えてある
交流の場	人との交流がたくさんできる場所
	出会いの場
	たくさんの人が集まる
	色々な人と繋がりをくれる
地域活性化	市役所が観光スポット
	道の駅みたいな新庁舎
	地域の人が育てた野菜売っている
デジタルサービス	デリバリーサービス（出向くサービス）
	VR（VR 内で相談できる）
動物	動植物園
	動物ふれあい広場
	動物がいる
	動物がたくさんいる ⇒オウムに日本語受付やらせる（そこに外国語も）。ニュースになって日本中から人が来る。
リラックス	全身マッサージ機
その他	安全第一
	キャンピングカー的な訳あって外出できない人も出張新庁舎

(2)各グループごとの結果の概要

グループ 1	
タイトル	自然と共存する市役所

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
心地よい空間	大きい	1
	広々としていて圧迫感がない	1
	広々していて人であふれているような場所	–
	広くてキレイ	–
イベント・賑わい	月に1度イベント開催(スポーツ大会・映画上映)	–
	人がたくさんいる	–
	人が多い	1
	楽しい	1
どんな人にも対応／ 複合施設	多文化共生	1
	英会話教室	–
	体育科など含んだ複合施設	–
心地よい空間／複合施設／ 市職員の職場環境の充実／ 勉強スペース	過ごしやすい	1
	市民の憩いの場になれる	–
	職員も働きやすい環境	–
	カフェ(スタバ・タリーズなど)(ペットも一緒に！)	–
	勉強スペース(おしゃべりもできる！)	–
	自由・調べ物もできる(本・PC)	–
心地よい空間	明るい	1
	光がさして雰囲気が明るい	1
	緑がたくさんある	–
	緑あふれる	5
	木造	1

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
誰もが利用しやすい	利用しやすい	1
	バス→高齢者からこどもまで	2
	オンライン申請→高齢者が家からでなくてよくなる	−
	事前予約→待つ時間もなくして効率化	−
	バス→誰でも来やすい	−

グループ 2	
タイトル	みんなが来やすい複合施庁(設)

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
誰もが利用しやすい	地域の人が利用しやすい集まりやすい市役所	–
	過ごしやすいところ	1
	若者が来やすい市役所	–
	話をできる場所	1
	誰もが利用できやすい場所にする	–
	みんなが来やすい	–
	人が集まりやすい施設作り	–
複合施設/運動施設／ 勉強スペース	市民が無料で使える体育館	4
	個人で勉強できる	6
	カラオケ	1
	カフェ	3
心地よい空間	自然、滝、動物	2
	きれい	2
	やわらかい外観	–
誰もが利用しやすい	駅近	1

グループ 3	
タイトル	誰もが利用しやすくにぎやかな新庁舎

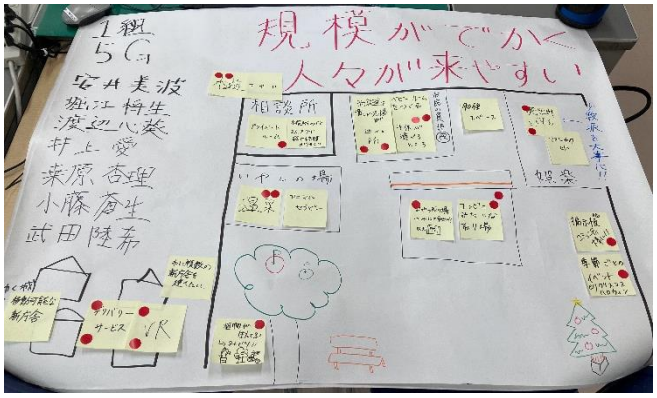
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設／勉強スペース	どの年代の人でも来やすい→本があったり新聞があったり、ゲームがあったり、公園があったり。	4	
	勉強できるスペースをつくる！	2	
心地よい空間	キレイに整備された新庁舎	−	
スムーズな行政サービス/フリースペース	地域の悩みがすべて解決できるような所	−	
	美濃加茂市内の情報を市民が共有できる場所	−	
誰もが利用しやすい	誰でも気軽に利用できる新庁舎！	1	
どんな人にも対応	子供も足を運べて、にぎやかな新庁舎！	−	1
	子供もあずかるスペースをつくる！	1	
誰もが利用しやすい／どんな人にも対応	駅の近くなど	1	
	分かりやすい場所にあって、行きやすい新庁舎	3	
	美濃加茂には色んな高校などあるので人が集まる→美濃加茂市民じゃなくても分かりやすい場所に！	−	
	利用しやすそうな雰囲気がある。	−	
	広い駐車場	2	
イベント・賑わい	イベントに参加できたり、イベントをひらけたりできる場所がある新庁舎！	3	
	市役所でいろんなイベントを開催！		
	クリスマスやお正月・ハロウィンなど行事に合わせたイベントなどで人が集まる新庁舎！		

グループ 4	
タイトル	市民のニーズにそった市役所

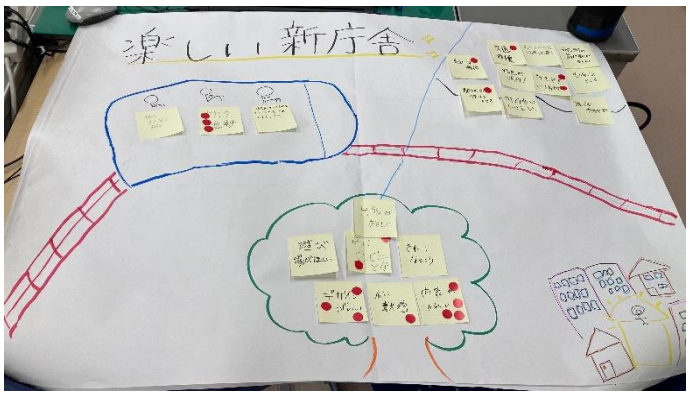
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
JR と連携	美濃太田駅の近くで、JR に関することもまとめて引きうける	–	
勉強スペース	勉強スペース欲しい	–	3
	勉強する場所！	–	
フリースペース	周りを気にせず友達と会話できるスペース	3	
複合施設 (飲食スペース)	さわやか、吉野家、サイゼの全部を設置	–	2
	カフェ欲しい、スタバとか	1	
	スタバは置くな	–	
	スタバが入っている市役所	–	
	犬・猫カフェ	–	
	ご飯屋さんをつくる	–	
	小藤農園の梨を食べるスペース	–	
複合施設	足湯がある！	–	
遊び場	ディズニーランドが併設されている市役所	–	3
	遊べるテーマパークをつくる	–	
心地よい空間	トイレ４ヶ所めっちゃきれいなやつ	–	
	トイレがきれいな市役所	–	
イルミネーション	夜、電飾がキレイな市役所	–	3
	イルミ	–	
複合施設(スポーツ)	運動スペース(バッティングセンター)(ラフティング)	–	3
	スポーツ用品店	–	
	スポーツ、ダンスなどができる場所をつくる	–	
	体を動かせる場所	–	

グループ 5	
タイトル	規模がでかく人々が来やすい

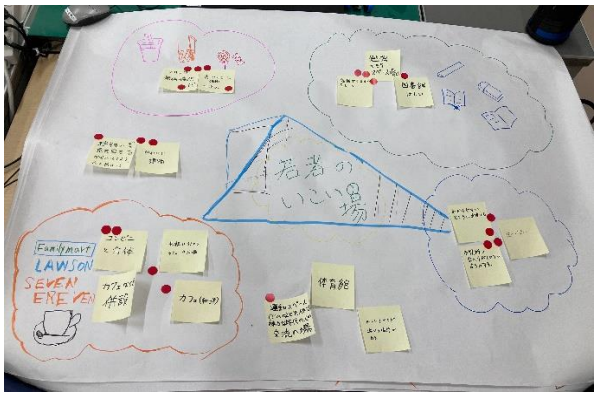
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
どんな人にも対応 （相談所）	プライベートルーム	1
	市役所の人と 2 人きりで話せる部屋がほしい	–
遊び場／勉強スペース どんな人にも対応 （市民の負担減）	遊べる所	2
	子供達を預かる場所	–
	ベビールームをつくる	–
	子供が遊べるところ	2
	勉強スペース	–
建物のデザイン	木造きれい	2
遊び場 （娯楽）	喫煙所を作る←少数派を大事に！	–
	アスレチックとか	2
イベント・賑わい	掲示板コミュニティ大事！	1
	季節ごとのイベント	1
複合施設	おやつ売り場→みんなが幸せ	1
	コンビニみたいな売り場	2
複合施設 （癒しの場）	温泉	2
	アニマルセラピー	–
自然	植物が生えている→みどり	1
誰もが利用しやすい	市に複数の新庁舎を建てたい。	–
デジタルサービス	デリバリーサービス（出向くサービス）	2
	VR（VR 内で相談できる）	2
その他 （動く城）	移動可能な新庁舎	–

グループ 6	
タイトル	楽しい新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
誰もが利用しやすい／ お得なサービス	市民のニーズに応える	–
	ドリンク無料	3
	保健所など様々なサービスを受けられるようにする	–
誰もが利用しやすい	身近な場所	1
	駅からすぐ行けるところ	1
	交通の便	1
	交通が便利	–
	町の中心にほしい	–
	駅とかバスの通るとこ	–
	行きやすい場所	2
	市役所の前は駅がほしい	–
	安全なところ	–
	誰でも行きやすい	–
自然／遊び場／ 心地よい空間／建物のデザイン／複合施設	自然があるところ	–
	遊び場がほしい	–
	デザインがいい	3
	中にコンビニとか	2
	広い敷地	1
	きれいなところ	–
	内装がきれい	4

グループ 7	
タイトル	若者のいこいの場

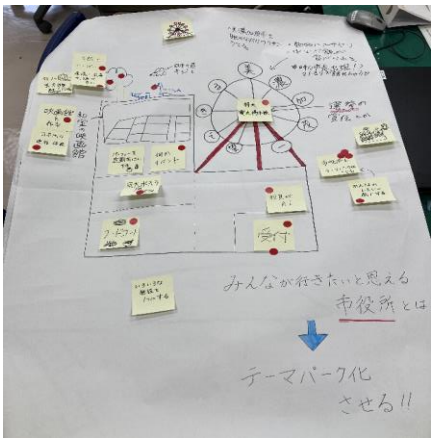
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
お得なサービス	ドリンク無料提供	1	3
	おかしコーナーがある	1	
建物のデザイン	建物の見た目かわいくしよう。人の目につく。	1	–
	かわいい建物	2	
複合施設	コンビニと合体	2	2
	カフェなどを併設	–	
	気軽に行けるカフェや広場	–	
	カフェ(和・洋)	–	
複合施設	運動スペース(ジムなどを入れる)様々な年代の人の交流の場	1	–
	体育館	–	
	小さい子どもが遊べる場所がある	–	
誰もが利用しやすい／どんな人にも対応	わかりやすいところに建てる	4	
	市役所に出入りがしやすいようにする		
	使いやすい		
勉強スペース	勉強できるスペースがある／勉強できるようなところ	3	
	図書館ほしい	1	

グループ 8	
タイトル	なじみやすい新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
建物のデザイン	バズりそうな見た目	−	3
	自慢できるデザインの市役所	−	
	かっこいいデザイン	1	
自然	木を多くしたり農業体験できる→心を落ち着かせる場所	−	
イベント・賑わい	定期的にイベントがある	−	2
	人の交流を活発・風通しをよくする→かたいイメージからの脱却	−	
誰もが利用しやすい／心地よい空間／どんな人にも対応	利用しやすい	1	−
	快適に暮らせる場所	−	
	かた苦しくない雰囲気	2	
業務機能が集中	インフラが整っている	−	
複合施設	公園をつくる	1	
複合施設	名古屋駅みたいにする	1	
複合施設	地下街的なやつ	−	
誰もが利用しやすい	交通がよい　例)美濃加茂市役所前駅をつくる	−	

グループ 9	
タイトル	みんなが行きたいと思える市役所とは⇒テーマパーク化させる！！

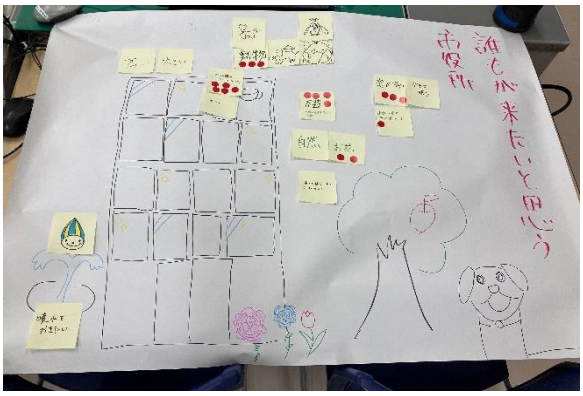
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
自然／動物	自然がいっぱい	1
	環境に良くて、緑が多い	1
	外に日本の生き物	–
	日本の鳥　キジ	–
	動物にエサやり	–
イベント・賑わい	パーティーを定期かいさいする	–
	何かイベント	1
動物	巨大水そう	1
動物	動物にエサやり	–
複合施設／ 建物のデザイン	映画館を作る	1
	日本風な建物施設	1
	和室の映画館	–
複合施設	フードコート	1
複合施設	中でご飯が食べられる	–
複合施設	いろいろな施設を１つにする	–
デジタルサービス	役員が AI	1
スムーズな行政サービス	受付	2
遊び場／ フリースペース	市役所をテーマパーク化させる	3
	みんなの憩いの場にする	1
複合施設／眺望	特大電光掲示板(選挙の宣伝とか)	1
その他	美濃加茂を一望できる	–
その他	中でご飯が食べられる　★時々市長出現！？2人きりで話せちゃう	–
	美濃加茂市を眺めながらワクチン打てる	–

グループ 10	
タイトル	目立つ新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
建物のデザイン／ イルミネーション／ 心地よい空間	イオンくらいかがみがはら	1	
	他より大きい	–	
	ひときわ目立つ新庁舎	3	
	月1で変わるイルミネーション	3	
	広いところ	–	
フリースペース／ 複合施設／勉強スペース 誰もが利用しやすい	憩いの場になる	–	3
	使いやすい	–	
	ボーリング場	–	
	自習スペース	1	
	ユニバーサルデザイン	1	
	カフェ	1	
	屋上にプール	2	
誰もが利用しやすい	親しみのある	–	
	行きやすい	–	
	気軽に行きやすいところ	–	
	駅の近く	3	

グループ 11	
タイトル	誰もが来たいと思う市役所

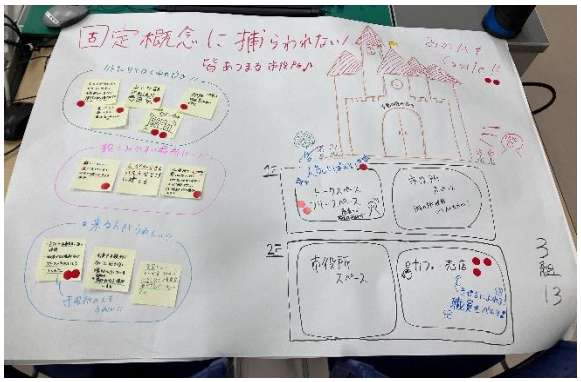
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設	待ち時間がたいくつじゃない！	5	−
	カフェ	−	
建物のデザイン	高い	−	
	大きい	−	
心地よい空間	窓が多い	3	−
	ガラス張り	−	−
	建物の中に光が沢山入る	1	−
心地よい空間	木造(木のぬくもりを感じる)	4	−
動物	動物	3	
自然	自然	−	−
	お花	2	
	木とか植えてある	−	
広場	噴水をおきたい	−	

グループ 12	
タイトル	入りやすくて行きたくなる新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
自然	緑がいっぱい	1
建物のデザイン	入りやすくて行きやすい外観	5
建物のデザイン	雲の上にある新庁舎	1
	天空にあって、東京ドーム 10 個分くらいの大きさの、中身がイオンみたいになっている新庁舎	–
	天井が高くて窓が大きい開放的な空間	–
	めっちゃ固い城みたいな新庁舎	–
フリースペース	自由に使える部屋がある	3
	ゆったりくつろげるスペースがある新庁舎	–
	特に用事がなくても、気軽に立ち寄ることができる場所	–
	学習室がある	3
その他	安全第一	2

グループ 13	
タイトル	固定概念に捕らわれない！皆あつまる市役所♪みのかも catsle!!

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
自然／ 心地よい空間	外と中で分けられているのではなく、中庭をつくるなど開放的な場所にする	1
	中と外観が明るい雰囲気	1
	花とか木が植えてある。雰囲気明るいとこ。	1
	とってもキレイな建物	2
	木目調。殺風景じゃないデザイン	1
誰もが利用しやすい／ どんな人にも対応	駅とかまわりに家がたくさんある。住民が親しみやすい場所	1
	人がたくさんいそうなところに建てる	–
	今の場所だとアクセスは悪くないけど、とても良いわけでもないので微妙、、、でも移動できる場所ある？	1
複合施設／ フリースペース	カフェや図書館、店の併設。勉強できる場所など、フリースペースをつくる。コンビニ	2
	用事や手続きがないと行かない場所になっている→集まりたくなる場所にする	–
	食堂をつくってそこで食べながらいろんな人と意見交流できるスペースをつくる。	–
フリースペース	トークスペース、フリースペース	3
複合施設	カフェ、売店	3

グループ 14	
タイトル	夢のつまった美濃加茂市役所

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設／遊び場／勉強スペース／業務機能を集中 （施設）	市で一番のテーマパークにする。	－	4
	遊園地、カラオケ、ゲーセン、カフェなどを融合する	－	
	寄りたくなるようなお店がある。	－	
	中で勉強できるようにする	－	
	室内で遊べるところをつくる。	－	
	子育ての支援センターを設ける（保育所）	－	
複合施設	みんなで楽しめる場所、行きたくなるような場所	6	
スムーズな行政サービス/誰もが利用しやすい／交流の場（人）	掲示板があって、様々な情報をすぐに知ることができる	－	2
	色々な人と繋がりをくれる	1	
自然／ 心地よい空間 （自然）	秋は紅葉、冬はイルミがきれい！	－	3
	家以外の安心できる場所	－	
	自然の暖かみを感じられる場所	－	
	花畑の中	－	
誰もが利用しやすい （立地）	駅の近く	－	1
	駅から徒歩 10 分以内	－	
	美濃加茂市内どこからでもアクセスが簡単	－	
お得なサービス （得）	市内のお店で使えるクーポン配布。（月や週ごとに変わる）	－	3
	おいしいご飯が食べられる	－	
	市役所に何か申請したら焼き肉キング 1 回無料券もらえる（隣接済）	－	
	きちんと書類など出したら、スイーツやご飯を食べられる（無料）（食堂）	－	

グループ 15	
タイトル	象徴

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
複合施設	中にカフェみたいなゆっくり休めるスペースがある	1
まちのシンボル	美濃加茂のシンボルになるような大きい新庁舎	1
	高い新庁舎	3
	町の中心に大きく	4
どんな人にも対応／ 誰もが利用しやすい	気軽に利用できる	–
	だれでも使いやすい	–
	誰でも利用できる(働ける)	1
心地よい空間	きれいで広くて過ごしやすい	1
	建物がきれい	4
	木造建築	–
建物のデザイン	カラフル新庁舎	4
	金ピカ新庁舎	1
その他／勉強スペース	動く庁舎	–
	勉強できる場所がある。	–

グループ 16	
タイトル	行きたい！働きたい！新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
複合施設／交流の場／ まちのシンボル／ 遊び場 （娯楽）	ドラマに出てくるぐらいの明るいやつ、きれいなやつ	–
	人との交流がたくさんできる場所	4
	カフェなどのゆっくりできる場所	3
	スカイツリー並の高さ	–
	王宮みたいなの	2
	遊園地	–
	ロボット	1
複合施設／ 勉強スペース （学習）	体育館つき	–
	マーノみたいなの	1
	勉強できるところ	–
誰もが利用しやすい／ 複合施設 （憩い）	誰でも来やすい	5
	「とりあえず、、、」で行けるくらい気楽！	–
	キャンプ	–
	憩いの場所	–
	カフェとかがあって、人々がたくさん気軽にこれるやつ	–
運動施設 （健康）	市役所まわりをウォーキングコースにする！健康！	–
自然 （自然）	自然いっぱい	–
	広い庭	–
	緑盛ん	2

グループ 17	
タイトル	全ての人が楽しめる市役所

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設／ 誰もが利用しやすい （市役所周辺）	近くに娯楽施設が多い(カラオケ、体育館、図書館など)	1	
	交通の便がいい	–	
地域活性化／ 建物のデザイン	市役所が観光スポット	2	
	綺麗	–	
	カラフルな市役所	1	
	モダンな建物	–	
どんな人にも対応／ 誰もが利用しやすい/ 動物 （市役所内部）	外人も来れる	1	
	広く迷いにくい	1	
	生き物がたくさんいる市役所	–	
	利用しやすい市役所	–	
	お年寄りも行きやすい。バリアフリーが多く使われている	–	
どんな人にも対応	相談しやすい	–	1
	困ったらお仕事や保険、奨学金など制度について相談できる	–	
複合施設／フリースペース ／地域活性化 （内部施設）	特産品の売店がある	1	
	若者が行きやすいカフェがある	2	
	勉強施設としても機能していて、学生同士や大人の方の交流の場となる。	5	

グループ 18	
タイトル	雰囲気のよい多様性のある市役所

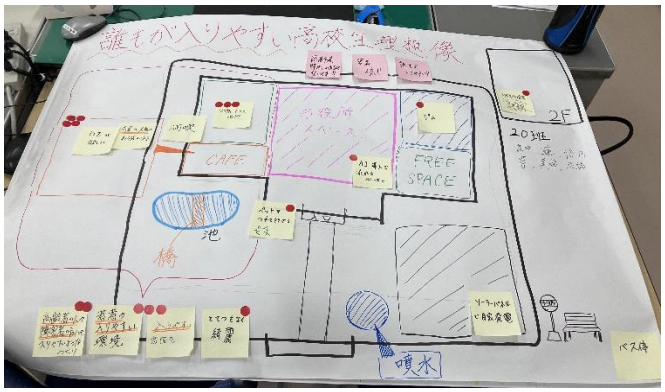
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
フリースペース／複合施設（施設）	水とか充電スペースがある施設	2	
	大きな売店が入っている新庁舎	－	
	無料で遊べる場所	－	
	フリースペース(気軽さ、暇つぶし、にぎやか)	－	
	みのかも特産を活かした食	－	
複合施設／広場（流行）	写真映えスポット	2	
	きらきらカフェ	－	
	韓国語とか英語のカフェ	－	
複合施設／運動施設（健康）	ジム、図書館などフリーな場	－	
	大量のダンベル	－	
	運動イベント体育館付き市役所(健康・にぎわい)	1	
	スポーツするときがある(体が動かせる)	－	
	何かに集中ができて自由な感じ新庁舎	－	
どんな人にも対応（多様性）	ユニバーサルデザインがいっぱいの新庁舎	3	
	障がいがある人も入りやすい	2	
	外国人の来やすさ	－	
誰もが利用しやすい（交通の便）	便が良い	－	
	駅の近くにある新庁舎	－	
まちのシンボル（デザイン）	タワー市役所(省庁、目新しさ、見晴らし)	3	
	城みたいな市役所	－	
	映え市役所。景観。イメージ。	－	
心地よい空間（雰囲気）	落ち着く感じのイメージ	－	4
	アットホーム	－	
	明るくて活気あふれる町	－	
誰もが利用しやすい／複合施設（気軽さ）	みんなが立ち寄りやすい	－	
	誰でも気軽に出入りできる新庁舎	－	
	入りやすい	1	
	展望台　円周まわり→展望スペース、中心部→議員部屋	－	
	美濃加茂のムードメーカー	－	

グループ 19	
タイトル	夢の新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設／遊び場／運動施設（運動施設）	運動できる(皆使えるだけ体育館)	－	4
	運動のできる施設がある	－	
	遊べる場所がある(ボールプール)	－	
	遊べる場所がある	－	
	みんなが運動できる場所をつくる	－	
	無料で遊べる場所	－	
複合施設	展望台カフェ	5	
複合施設／地域活性化	市場的な地元の特産品を使った店	－	
	道の駅みたいな新庁舎	2	
複合施設／心地よい空間（雰囲気）	雰囲気が明るい新庁舎	－	
	きれいな新庁舎	－	
	リラックスできる(カフェとか)	－	
	おいしいものがたべたい！	－	
イルミネーション	夜はライトアップ	3	
まちのシンボル	めちゃでかい新庁舎	4	
遊び場	ボルダリング	－	
遊び場	競馬体験	－	

グループ 20	
タイトル	誰もが入りやすい高校生理想像

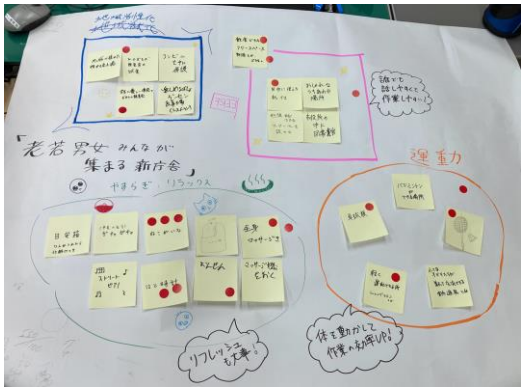
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
複合施設	カフェが欲しい	–	4
	若者に人気のあるお店がある	–	
フリースペース／勉強スペース	満喫	–	
	勉強できる場所	3	
複合施設	映画館	1	
環境の変化に対応	AI 導入で流れをスムーズに	1	
運動施設	ジム	1	
どんな人にも対応	高齢者障がいのある人も使いやすい！	–	
誰もが利用しやすい	誰もが入りやすい！	–	
どんな人にも対応／心地よい空間	高齢者の人や障がい者の方にもはいりやすいようなつくり	2	
	若者の入りやすい環境	1	
	入りやすい雰囲気	2	
	とてつもなく綺麗	1	
動物	ペットつれて行ける	1	

グループ 21	
タイトル	―

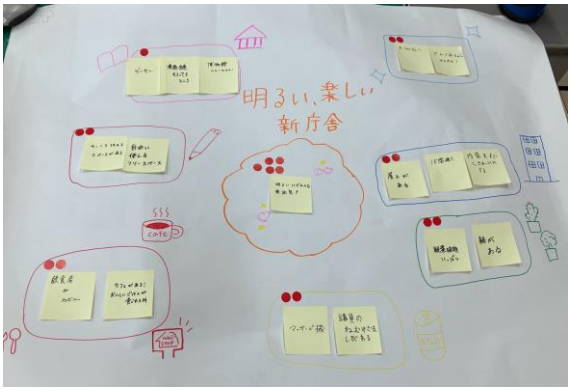
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
どんな人にも対応 （バリアフリー）	音声ガイド	–
	手話	1
	多言語表記	2
	点字、スロープの配置	–
	トイレがきれい	–
	通路広め	–
その他 （行きたくなる市役所）	役員が美男	2
	役員が美人	3
市職員の職場環境の充実／ 業務機能を集中 （子供も市役所）	役員が快適	1
	保育園が中にある	1
	「walking rete」をつくる！	–
複合施設／ フリースペース／広場 （充実した空間）	自主ができる場所	–
	カフェエリアがある	3
	市民食堂	1
	パソコンが使える場所	–
	宿泊が可能	1
	おいしいご飯が食べられる場所	2
	遊べる場所	–
	体育館みたいなところ	–
	自習ブース	2
	イベントができる広い広場	2
	ゲーセンがある	–

グループ 22	
タイトル	老若男女みんなが集まる新庁舎

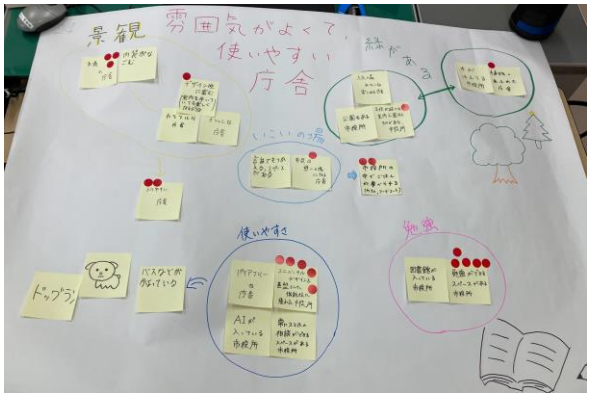
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
地域活性化／複合施設（地域活性化）	地域で採れた物を売る場	–	
	みのかもの飲食店の試食	1	
	コンビニを中に併設	–	
	学生に優しい値段でおかしの販売	1	
	楽しめる場所(ゲーセン、食事場(レストラン))	–	
フリースペース／心地よい空間／勉強スペース（Free）	自由に使える机、イス	1	3
	おしゃれなうちあわせ場所	–	
	勉強ができるスペースを設ける	–	
	市役所の中に図書館	–	
	飲食ができるフリースペース	–	
	勉強とかできる	–	
運動施設（運動）	バドミントンができる場所	1	1
	卓球板	1	
	軽く運動できる場所	1	
	小さな子どもたちが集まって交流できる室内遊具とか	–	
リラックス／動物／心地よい空間（やすらぎ、リラックス）	目安箱　なんか入れたら仕掛けつき	–	
	(市長の名言)ガチャガチャ	–	
	ねこがいる	3	
	マッサージ機をおく	–	
	全身マッサージ機	1	
	ストリートピアノ	–	
	鳩時計	2	
	温泉	1	

グループ 23	
タイトル	明るい楽しい新庁舎

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
遊び場	ゲーセン	–	1
	漫画全巻そろっているところ	–	
	博物館みたいなもの	–	
フリースペース	ゆっくり休めるスペースがある市	–	2
	自由に使えるフリースペース	–	
複合施設	飲食店 or コンビニ	–	2
	カフェがある美味しいごはんが食べられる所	–	
心地よい空間	明るいにぎやかな雰囲気	5	
広場／イルミネーション	オーシャンビュー	–	2
	イルミネーションきらきら	–	
建物のデザイン	屋上がある	–	2
	15 階建て	–	
	内装をすごくきれいにする	–	
自然	観葉植物いっぱい	–	2
	緑がある	–	
リラックス／市職員の職場環境の充実	マッサージ機	–	2
	議員の眠気覚ましがある	–	

グループ 24	
タイトル	雰囲気がよくて使いやすい庁舎

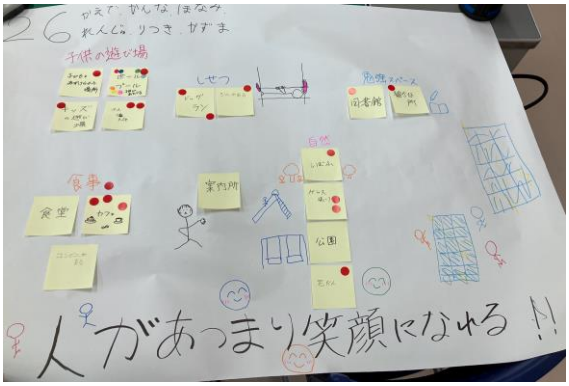
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ
建物のデザイン（景観）	木造の庁舎	3
	内装がなごむ	–
	デザイン性に富む(室内を歩いていても楽しくなるような)	1
	カラフルな庁舎	–
	オシャレな庁舎	–
	入りやすい庁舎	2
フリースペース／複合私設（いこいの場）	誰でも使えるスペースがある	–
	市民の憩いの場になる庁舎	1
	市役所の中でごはんが食べられる(カフェ、フードコート)	2
勉強スペース（勉強）	図書館が入っている市役所	–
	勉強ができるスペースがある市役所	5
自然（緑がある）	木が生えている市役所	1
	植物にあふれた庁舎	–
	文化の森みたいなたのしめる庁舎	–
	子どもが遊べる室内公園的なのがある市役所	1
スムーズな行政サービス／どんな人にも対応（使いやすさ）	バリアフリーな庁舎	–
	ユニバーサルデザインを基盤とした機能性の優れた市役所	5
	AI が入っている	–
	常にスマホの相談ができるスペースがある市役所	–
	バスなどが通っている	–
	ドッグラン	–

グループ 25	
タイトル	誰もがくつろげる新庁舎

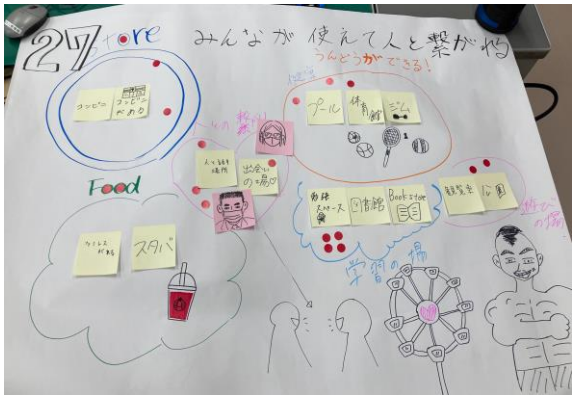
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
誰もが利用しやすい／ まちのシンボル	駅から近い(徒歩で行けるくらい)	1
	市の中心部にある	–
	他の建物よりでかい	–
	一目で分かるほど大きい	–
複合施設	ジムがある	2
複合施設	ファーストフードがある	–
	コンビニが近くにある	–
	カフェなどの飲食店がほしい	5
	飲食店があって気軽に行ける	–
複合施設	映画館	2
	演奏会などができる大きなホールがほしい	1
フリースペース、 複合施設	誰でも使える勉強する場所	1
	図書館	–
自然、広場	広い庭にきれいな花が咲いている市役所	–
	植物など自然がある	–
	外に遊べる広場がある	–
動物	アイドル犬がほしい	–
	動物	1
どんな人にも対応	保育園などの子どもをあずける施設	4
	仮眠室	1

グループ 26	
タイトル	人があつまり笑顔になれる

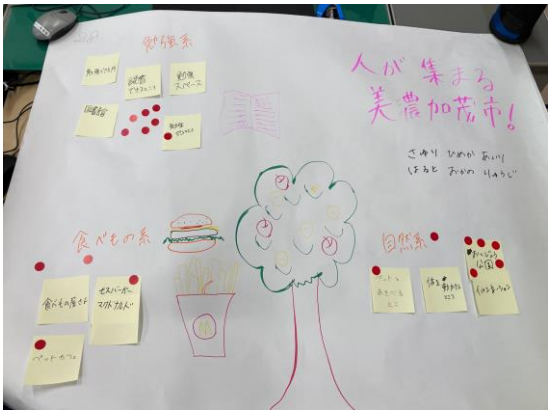
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
遊び場 （子供の遊び場）	子どもを預けられる場所	1
	ボールプール(子どもが遊べる)	1
	キッズの遊び場	1
	観覧車	2
複合施設 （施設）	ドッグラン	2
	ジムがある	1
複合施設／フリースペース （勉強スペース）	図書館	1
	静かな所	1
複合施設 （食事）	食堂	–
	カフェ	4
	コンビニ	–
スムーズな行政サービス	案内所	–
自然／心地よい空間 （自然）	芝生	1
	ガラス張り	2
	公園	–
	花壇	1

グループ 27	
タイトル	みんなが使えて人と繋がれる

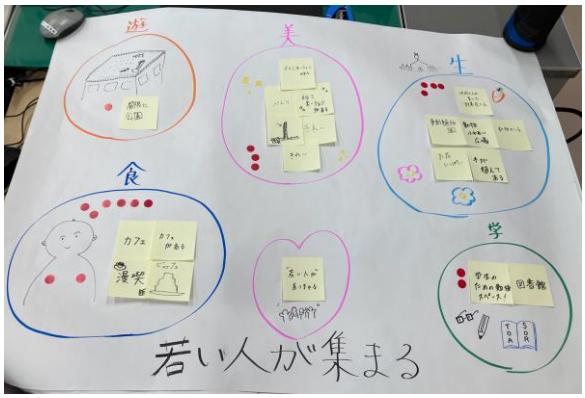
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
運動施設 (運動ができる(健康))	プール	–	3
	体育館	–	
	ジム	–	
複合施設 (Store)	コンビニ	2	
複合施設 (Food)	ファミレスがある	–	
	スタバ	–	
フリースペース／ 交流の場 (人との繋がり)	人と話す場所	1	2
	出会いの場	1	
フリースペース (学習の場)	勉強スペース	–	4
	図書館	–	
	Book store	–	
遊び場 (遊びの場)	観覧車、公園	–	2
	公園	–	

グループ 28	
タイトル	人が集まる美濃加茂市

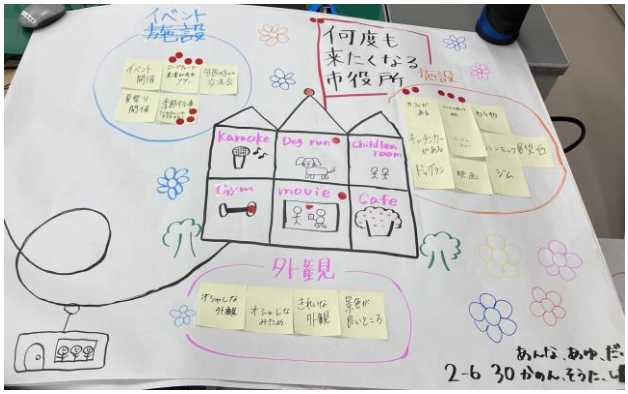
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
フリースペース／複合施設（勉強系）	勉強できる所	–	6
	読書できるところ	1	
	勉強スペース	–	
	図書館	–	
複合施設（食べもの系）	食べもの屋さん	–	2
	モスバーガー	1	
	マクドナルド	–	
	ペットカフェ	1	
複合施設／運動施設／遊び場／イルミネーション（自然系）	ペットとあそべるとこ	1	1
	体を動かせるところ	–	
	屋上公園	5	
	イルミネーション	–	

グループ 29	
タイトル	若い人が集まる

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
遊び場 (遊)	屋根に公園	–	1
イルミネーション／ 心地よい空間 (美)	イルミネーションがある	–	3
	便利	–	
	きれい	–	
地域活性化／動物 ／自然 (生)	地域の人が育てた野菜売っている	–	4
	動植物園	–	
	動物ふれあい広場	–	
	動物がいる	–	
	お花いっぱい	–	
	木が植えてある	–	
フリースペース／ 複合施設	若い人が集まれる	–	
勉強スペース／ 複合施設	学生のために勉強スペース！	–	2
	図書館	–	
複合施設 (食)	カフェ	–	8
	漫喫	–	
	ビュッフェ	–	

グループ 30	
タイトル	何度も来たくなる市役所

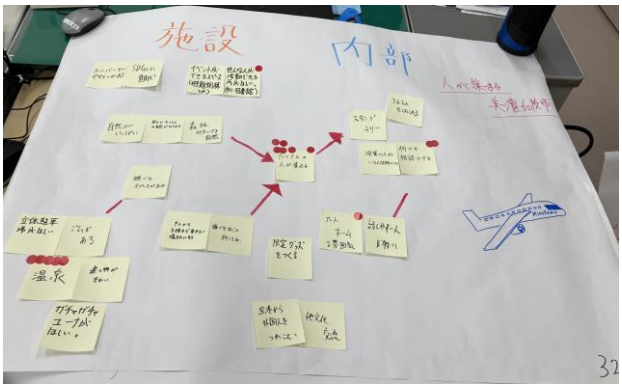
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
イベント・賑わい （イベント）	イベント開催	–
	ロープウェイで美濃加茂市ツアー	4
	外国の方との交流会	–
	夏祭り開催	–
	季節行事(ハロウィンやクリスマス)	3
複合施設／ 遊び場 （施設）	カフェがある	2
	子どもが遊べる施設	3
	カラオケ	–
	キッチンカーがある	–
	コンビニほしい	–
	ハンモック	–
	展望台	–
	ドッグラン	1
	映画	1
	ジム	1
建物のデザイン （外観）	オシャレな外観	–
	オシャレなみため	–
	きれいな外観	–
	景色が良いところ	–

グループ 31	
タイトル	常識とかにとらわれず個性や自由ではみだしていく！！

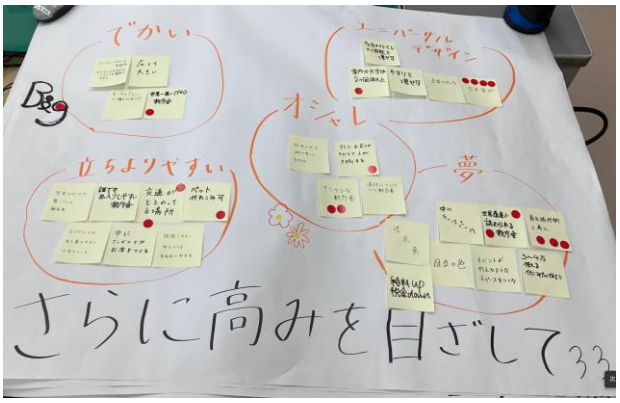
※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと思うところ	
市職員の職場環境の充実／誰もが利用しやすい（ヴェイシック）	Worker's がたのしく仲良しに doing!	4	
	ちゃんと仕事を行う市役所	1	
	相談しやすい市役所	2	
	声を聞き入れる	–	
複合施設／市職員の職場環境の充実（インナー）	楽しめる新庁舎	1	1
	みんなのためになる新庁舎	1	
	楽しい市役所	–	
	市役所の中や近くに手作りの何かが売っている	–	
	パン屋がある	1	
	気持ちよく仕事ができる環境づくり	–	
建物のデザイン／まちのシンボル／自然（ルックス）	ネオン市役所	1	1
	近未来感	–	
	見た目がきれいな市役所	–	
	お金持ちそうな市役所	–	
	高い市役所	–	
	かっこいい市役所	–	
	かわいい市役所	–	
	自然に満ちあふれた市役所	–	

グループ 32	
タイトル	人が集まる美濃加茂市

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
自然	自然がいっぱい	–
	周りにもたくさんの自然がみられる	–
	森林みたいな自然	–
誰もが利用しやすい	大人から子供まで来やすい場所にする	–
	誰でもすぐに行ける	–
どんな人にも対応	ユニバーサルデザインがある	–
	SDGs に貢献	–
どんな人にも対応	アットホームな雰囲気	1
	話しやすい人が多い	–
	限定グッズをつくる	–
多文化交流	空港から外国人をつれこむ	–
	多文化交流	–
イベント・賑わい／ 環境の変化に対応／ 誰もが利用しやすい	スタンプラリー	–
	TikTok をはじめる	–
	役員の人がいろんな所へいく	–
	何でも相談できる	2
フリースペース／ 複合施設	イベントができるスペース(避難訓練とか)	–
	色んな人が活動できる所がほしい(例図書館)	1
交流の場	たくさんの人が集まる	6
複合施設／ 遊び場 (遊べるスペースがある)	立体駐車場がほしい	–
	ジムがある	–
	温泉	5
	建物がきれい	–
	ガチャガチャコーナーがほしい	–

グループ 33	
タイトル	さらに高みを目ざして

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
地域の中心／ まちのシンボル （でかい）	たくさん人がいる市役所→いろんな世代のいろんな意見が出そう	−
	広くて大きい	−
	めっちゃでかい→権力がありそう	−
	世界一高い(でかい)新庁舎	1
複合施設／ 誰もが利用しやすい （立ちよりやすい）	学習スペースが整っている新庁舎	−
	誰でも出入りしやすい新庁舎	−
	交通が整っている場所	1
	ペット連れこみ可	1
	コンビニとか立ち寄りやすいお店をつくる	−
	中にコンビニとかお店をつくる	1
	相談しやすい、安心できる雰囲気の新庁舎	−
複合施設	3～4 万使えるイオンみたいなところ	−
環境の変化に対応 （夢）	最先端技術を導入	3
環境の変化に対応 （夢）	近未来	−
遊び場	中にテーマパーク	−
まちのシンボル	世界遺産に認められる新庁舎	2
建物のデザイン、 自然 （オシャレ）	緑あふれる(自然が豊かな)市役所	−
	外にお花とかを育てて人がきやすくする	1
	オシャレな新庁舎	2
	流行についていく新庁舎	−
建物のデザイン	目立つ色	−
イベント・賑わい	イベントが行えるようなスペースをつくる	−

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
どんな人にも対応 （ユニバーサルデザイン）	多目的トイレの個数を増やす	–
	案内の文字は 8 ヶ国以上	1
	手すりを増やす	–
	点字部ブロック	–
	音声案内	4
その他	給料 Up、税金 down	–

グループ 34	
タイトル	便利でハイテク

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
心地よい空間	とにかくきれい	–
	内装がカラフル	1
	綺麗でピカピカな施設	1
	綺麗⇒治安の良さ	–
動物／その他	動物がたくさんいる →オウムに日本語受付やらせる(そこに外国語も) →ニュースになって日本中から人が来る	4
	移動式の新庁舎	2
	遊牧民	–
	キャンピングカー的な訳あって外出できない人も出張新庁舎	5
建設費を抑える	最小限の機能が行えるだけの小さい新庁舎	–
複合施設	他の施設と併合している	–
	病院の中にある	–
	中に色んな施設がある(図書館、自習室など)←可児の mano みたいな	–
	○○がある市役所×○○の中にある市役所←可児の mano みたいな	–

グループ 35	
タイトル	近未来的かつ機能的

※各意見のグループ分けおよびカテゴリー内()は学生によるもの

カテゴリー	意見	大事だと 思うところ
建物のデザイン （見た目）	かっこいい	–
	スマート	–
	環境に気を使って木材などを使う	1
	きれい	–
どんな人にも対応 （見た目機能・両方の要素）	機械は案内	1
	近未来的かっこいい	1
	人が少ない(人件費削減)	1
	1 階建て、地下がある	–
	外国からやってきた人が気軽に利用できる	1
	利用者がうれしい	–
どんな人にも対応 （機能）	色んな国籍の人が訪れることができる	1
	多文化共生、外国人職員の採用	–
	利用しやすい	1
	保育施設、介護施設の導入	2
	通いやすい(若い者など)	–
	育児との両立ができる	1

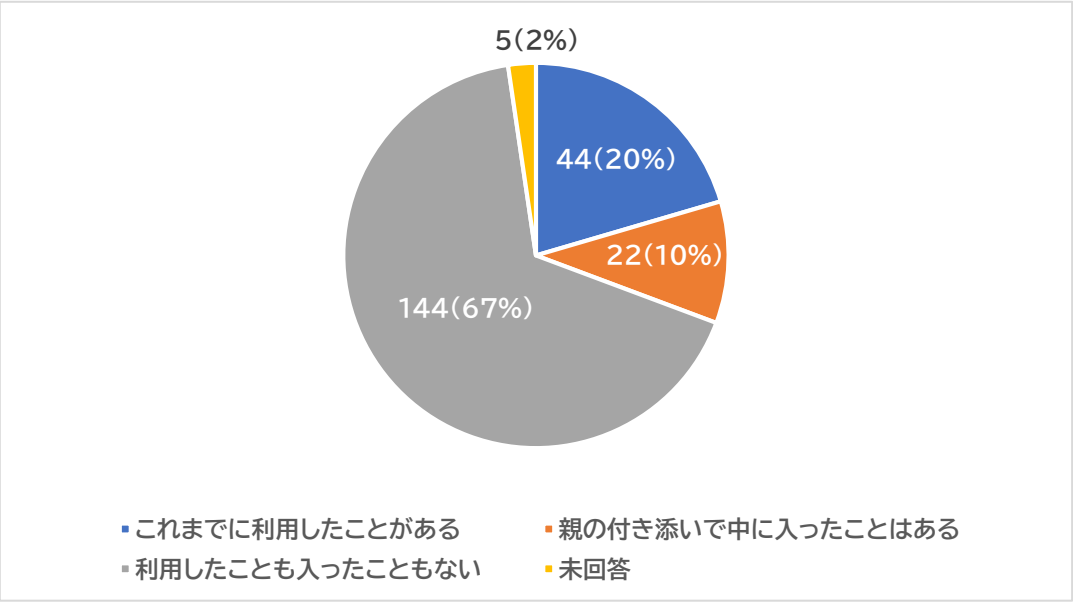
(3)アンケート結果の概要　※回答者数　215 名

問1. これまでに、市役所を利用したことはありますか？

「利用したことも入ったこともない」が67%で最も多く、次いで「これまでに利用したことがある」が20%で続いた。

	回答者数【N＝215】
これまでに利用したことがある	44
親の付き添いで中に入ったことはある	22
利用したことも入ったこともない	144
未回答	5
合計	215

図表１　これまでの市役所利用について



問2. 何をする時に利用しましたか？

「マイナンバーカードの登録の時」が最も多く、次いで「テスト会場」等が続いた。

カテゴリー	回答内容
マイナンバーカード	マイナンバーカードの登録の時（計 30 件）
あい愛バス	あいバスの定期を買った
市のツアー	小学生のとき、なんか市のツアー。みたいなのでいろんな小学校の子と会議室とかいろいろ見学した
	小学生のころ市の美濃加茂一周ツアーみたいなのに参加して、議会をやる所に入らせていただいた経験があります。
テスト会場	岐阜新聞テスト（計 2 件）
	中学の時に模試で
習い事	サッカーのミーティング小学生のとき
	大会の開会式
	習い事
地域活性化スクール	（生涯学習センターの方ですが）地域活性化スクールなど
市長訪問	市長訪問
その他	いとこのお母さんに会いに行った
	ダボ派遣の関係

問3. 新しい市役所に期待する役割や機能を教えてください。

「学習スペース」や「フリースペース」を設けることを期待する意見が多かった。また、これまで市役所を利用したことがない人も多く（問1）、どんなことができるか分からないといった意見や入りやすい外観や雰囲気を求める意見があった。

カテゴリー	回答内容
勉強スペース	話しながら勉強できるスペースがほしい（計 2 件）
	勉強できるスペースがほしい。（計 36 件）
	勉強するスペースがほしい。夜でも明るくしていてほしい（電飾的な）
	テスト時に学習できるスペース（学校帰りの生徒に合わせて）
	勉強できるスペースがほしい→学生が来やすい。
	勉強ができる場所を増やしてほしい。
	誰もが行きやすい。勉強スペースがほしい
	しきりのある勉強スペースがほしい
	きれいな自習スペースが必要だと思う。
	安心して、勉強できる場所がほしい。→電車までの長い待ち時間をうまく活用できるような施設がほしいです。
	個室の勉強スペース。気軽に利用できる。
	学習ができる自習室がほしい。
	勉強できるスペース。（計4件）
	勉強スペースかなり大きめの。
	プログラミングの学習が出来るようなパソコンを数台設置してほしい。
	自習ブース
	勉強したり息抜きできるスペースがほしい（室内）
	塾の機能をもつスペース
フリースペース	ゆっくりくつろげるスペースができたらいいと思います。
	調べものができる。
	ゲームできる場所、Free-Wifi がある所
	作業できるスペース
	休憩スペース、誰でも使えるようなスペースがほしい。
	息ぬきできるような遊べるスペースがほしい。
	誰もが利用しやすい施設（食事、軽く遊べる所など）
	自由に過ごせるスペースがほしい。

カテゴリー	回答内容
フリースペース	コーヒーなどを飲んで一息つける休憩スペースが欲しい。→市役所の順番待ちのときなどに利用。
	気軽に相談できるスペース・場所がほしい。待ち時間をつぶせるような場所もほしい。
	気軽に行くことができるスペースがほしい。
	休けいしたりできるスペースがあることで利用する人も増えると思うし、市民にとってありがたい。誰でも利用できたりしやすい。
	フリースペースがほしい（計 2 件）
	フリースペース（何かを練習したりすることに使える）
	睡眠、読書が出来るスペース
	自由なスペースがほしい（自由にさわいだり、くつろげる）。楽しめる（友達と遊びにいける施設）
	ゆっくりできるスペース。
	新しい美濃加茂市役所には今まではないような、新しい施設がほしいと考えている。例えば、市役所に必要ではないようなものがほしい。くつろげてあたたかい空間的なものがあるといきたくなる。
	カフェ等、ゆっくりできるスペースがほしい。
	カフェやコンビニなどの休憩スペース、自由にすごせるスペース
	イベントができる広場があったらいいと思う。
	ゆったりできるスペースがほしい。
カフェ	カフェ（和、洋）、
	待ち時間タイクツじゃない！（カフェなど）
	カフェなど気軽に立ち寄れる施設。
	カフェとか、若い人がよろこびそうなものを一緒につくってほしい
	カフェがほしい（計 9 件）
	食べ物の店などがある
	飲食店がほしい（カフェかチェーン店）
	カフェなどのスペースが欲しい。勉強ができるとさらにたすかります。
	若者も行きやすい場所がある（カフェなど）
	カフェやゆっくりとくつろげるスペース（計 2 件）
	食事ができる（軽食がとれるカフェなど）
	カフェとか人が集まれるようなお店。

カテゴリー	回答内容
飲食スペース	食べれるスペース。
	食堂(計 2 件)
	コンビニやカフェを併設。
	おいしいご飯が食べれる場所がほしい。
売店	売店がほしい(計 2 件)
	地域の特産品の売店。
	いろんな物があるスーパーおいしいお店とかがほしい。
運動施設	関市にあるような運動用プールの市役所
	スポーツする場所、体を動かせる場所。周りを気にせず友達と話せる場所。
	バスケができるスペース、バスケコートがほしい
	運動が出来る場所。
	運動ができる場所(体育館など)が欲しい！サッカーやギターなどいろんな体験ができるようにしてほしい。
	運動ができるスペース(無料がほしい)。
	運動スペース。
	ジム→若い人もお年寄りも気軽に運動できる場所をつくってみんなの運動不足をなくす。
	体育館
図書館	図書館(計 2 件)
多文化交流	イベント等を行ってほしい。交流できるようなスペース→国際交流、異文化交流
	外国人とふれあえるスペース
	外国人・障がい者・お年寄・子どもの交流
	世代・国籍を超えて交流できる機会・スペース。
遊び場	遊べる場所がほしい。(計 5 件)
	ゲーセンがあるスペースが欲しい。
	遊べる場所がほしい。→新庁舎だけにお金を使うのでなく。町にもっとお金を使ってだれでも来やすい楽しいところ
	遊べる施設を増やして、利用するハードルを下げる。
	楽しくおもしろい場所。
	子どもがあそぶスペースがほしい(計 2 件)
	遊べるスペースがあったりすると人が集まると思います。
	子供(キッズスペース)が遊べる場所。

カテゴリー	回答内容
イベント	幅広い年齢で参加できる楽しいイベントをひらいてほしい。
	子供たちが来たいと思ってもらえるようにイベントを市役所で行ったり
	市役所で祭り(イベント)をしてほしい。
	イベント。
イルミネーション(写真スポット)	イルミネーションほしいです。
	規模が大きいイルミネーションや写真スポットがほしい。
交流の場	交流、コミュニケーションがとれるスペースが欲しい。地域の活動など、イベント発信をいてくれる役割を充実させてほしい。
娯楽施設	娯楽スポット(カフェ、体育館など)がほしい。
	市民が入りやすい、入りたくなる市役所→楽しめる要素も必要一観覧車。
	温泉
	キャンプできる場所→自然を大切にしたい(森林、天体)。防災キャンプ(地域のつながり、防災知識)。
相談・進路相談	困ったときに行けば解決できるような場所であってほしい。
	各世代に寄り添える担当者が必要。
	進路相談(学生とか)
	お仕事を紹介してくれる担当者がいてほしい。(地元に貢献できる、通いやすい)
	将来や進路について専門的な面で相談できる人がいてほしい。
交通面	駅近
	交通の便がいい。(計 2 件)
	交流できる場がほしい
	人々の交流の場所。
情報の共有	美濃加茂市の様々な情報を知らせる。共有できる掲示版が欲しい。
	どんなものがあるか紹介してほしい。
	はじめて来た人に案内してくれる人がほしい。
託児所・キッズスペース	託児所がある。(計 2 件)
	保育所のサービスをうけられる
	一時的に子供を預かってくれる。保育所を設ける
	子供(キッズスペース)が遊べる場所。
	一緒についてきた子どもが遊びながら時間がつぶせるキッズスペース。

カテゴリー	回答内容
誰もが使いやすい	誰もが気軽に入れるような、地域密着型の市役所。
	行きやすい。入りやすい。
	人の集まれる場所。行きたいと思える楽しみがある。
	だれもが使いやすくて、楽しめる場所にしてほしい。
	立場（老若男女：国籍、障がいの有無など）を関係なしにどんな人も気軽におとずれることが出来る。
	美濃加茂市民以外も入りやすい空間。（入れるような仕組み）
建物・空間	固定概念を崩してほしいです。←ただ難しいと思うので、手続きがあるときに行く場所（例：建物（外観）をビルではなく城にする）
	おしゃれ！レンガ調にするなど
	バリアフリー。広く、迷いにくい。
	広い・未来的（3D モニター）。ゆっくりできる
	広々としている。雰囲気が明るい。活発的で市役所だけど入りやすい。
	季節を感じる見た目にするわくわくする。（ツリーとか正月ぽくするとか）
	ユニバーサルデザイン。入りやすい外観。
	建物に行きやすいようにしてほしい。利便性のある内装。デザインにしてほしい。
	入りやすいような外観。
	行ったことがないから分からないが、見た目をかわいくしたり行きやすいところに建ててほしい。
	空調がきいていて快適に過ごせるスペースが欲しい。
	もっとキレイででかい。ひまな時間がない。
	美濃加茂に住んでいなくても利用しやすいできる話題になるくらい大きかったりきれいな市役所。
	美濃加茂の象徴的存在。
	通路が広いと人も通りやすくて小さなストレスもなくなると思う。
その他	デリバリーサービスがほしい。プライベートルームがほしい。
	ドリンク無料提供
	VR ルーム
	市内のクーポン配布（条件付き）スイーツも食べれるような！
	緊急時にも対応できるように職員がしっかりといてほしい。
	近くにいろんなことができる公園
	ペットスペース→ペットも一人ぼっちにならない。
	すてられた犬とかねこをみんなで育てよう！

問4．3 で考えたこと以外で10年後の自分や美濃加茂市を考えた際に、新しい市役所に期待することはありますか？ご自由にアイデアをお書きください。

どの年代も利用しやすく入りやすいことを期待する意見が多かった。利用しやすくするために建物の外観や内装を工夫することやイベントを開催する、複合施設とするといった意見があった。

また、通学路の安全性に関することや戸籍に関することを気軽に相談出来たり、市役所の役割を学べる機会があることに期待する意見があった。

カテゴリー	回答内容
誰もが利用しやすい	みんなが使いやすい新庁舎（計 2 件）
	誰もが気軽に利用できる場所であってほしい（計 5 件）
	誰もが入りやすい市役所（計 2 件）
	「そうだ、市役所に行こう」ってなるようにしてほしい
	親しみやすく誰でもきやすいような市役所になって欲しい。
	どの年代の市民でも気軽に行けるような場であるということ
	色んな世代の人たちが気軽に自由に行ける場所。
	どの年代の人も使いやすくする。
	緑がいっぱいで、幅広い年代の人達が自由に過ごせる市になるといいと思う
	エリアの人が利用したいと思える利用しやすい市役所を期待します。
	アットホーム。利用しやすい（気軽に入れる）
	行きやすく楽しいイベントも開ける（可児市役所の夏祭りみたいに）場所
	気軽に立ち寄ることができるような市役所
	近くに自然や公園があって、誰もが分かりやすく、行きやすい雰囲気の市役所
	今よりももっと使いやすい場所になってほしい。
	人が集まる場所に、市役所を建てる。
	事務的なことじゃなくて、他の理由でも入れるような建物にしてほしい
	使いやすく、行きたくなるような場所であってほしい。
	市役所は硬いイメージがあるので、市民が気軽に市役所を利用できるようになるといいなと思いました。
	行きやすい所（計 2 件）
	便利になる
	話でも楽しめるような、満足できるような市役所
	安心してすごせる

カテゴリー	回答内容
誰もが利用しやすい	市役所が身近になって、ふと「市役所に行ってみようかな」と言えるようになってほしい。
	市役所を今までよりも使っていけるように市役所の必要性があるといいなと思いました。
	市をどんどん進化させてくれる、行きたいと思える新庁舎
	人がたくさん集まる市役所
	もっと若い人や外国籍の方でも利用しやすくなるといいなと思います
	若い人が増えてほしい
	若者向けのなにか。だれでも行きやすい。
	若者がもっと楽しめるスペース。勉強や運動、ゲーム、交流できる場所など
	若者にやさしい
	若い人も行きやすいようなところ。
	若い人も気軽に立ち寄れる市役所
	若者が活用できる
	そもそも市役所を利用することが無いので、私たちが楽しいと思えるものがほしい
	今よりももっと栄えていて若い人がたくさんいる市にしたいので若者が喜びそうな市役所
	若い人いっぱいの楽しく明るい場所
	学生なども行きやすい所にしてほしい
	若い人がたくさん集まれるような町にしたい（計２件）
市民へのサポート	市民へのサポートが手厚い。
	今まで通り（？）みんな優しい方で話しやすい。←市役所の人が
	市民によりそった市役所
	年寄り以外にも優しい
相談窓口	意見を伝える機会をもってつくってほしい。→通学路の危ないところや信号のことについて相談できたりとか。
	老若男女問わず困ったときは、気軽に相談できる場所になっているように期待する。
	色んな悩みが解決できるような相談所
	市役所の役割について説明してくれる人がいて欲しい。また、戸籍等の子どもが大人になるまで知らない関わらないことについて、子どもに教えてくれる機会があるといいと思う。
	どんなことで困っているのかくくってしまうのではなくて「何でも聞いて！！」という人がいるといいなと思います。
	学生も相談しやすいところがあるといい。
	市民と１対１で話せる。市役所のかたいイメージをなくすなごめる場所

カテゴリー	回答内容
勉強スペース	勉強スペースがあると良い(計 4 件)
	勉強や読書がしやすい静かな空間。数人で多少はしゃいでもいい空間
建物のデザイン	多くの人が快適に過ごせるように、バリアフリーの取り組み。(計 2 件)
	ユニバーサルデザインが備わった誰でも居心地のよいと思える場所(計 3 件)
	広いところがほしい。
	動く。高い。大きい。カラフル。
	内装が分かりやすくて誰もが来やすく明るい
	動く、高い。
	デザイン性が高い。
	美しい外景
	市役所に入りやすいように、入口を工夫する
	大きい市役所(計 3 件)
	明るくきれいな市。新しいこともさかんに取り入れる
	希抜なデザイン(美濃加茂市民だけでなく皆が寄りたくなるような)リラックスできる場所。
	まず見た目がきれいでおしゃれで行ってみたいと思える新しい場所。
	とても綺麗な外観。噴水など。
	カラフルな色でやわらかい形をとりいれた庁舎。
	外観や内観が誰がみてもすごいと思える装飾
	市役所だけど市役所ぽくなく、堅くない、気軽に入れるような市役所(デザイン、外観)(緑があったり、明るい色だったり)
	若者が簡単に利用できる所があってほしい、入りやすい外観や施設がほしい
	この街、地球の中心として長く使える市役所になってほしい
	にぎわい。景観
	入りやすくて機能的な空間
心地よい空間	にぎやかな雰囲気(計 2 件)
	きれい(計 3 件)
	明るい(計 2 件)
	居心地が良い
	たくさんのひとが集まっていて明るい場所
	雰囲気のよい場所
	木のぬくもり

カテゴリー	回答内容
心地よい空間	緑が多く自然豊か。
	清潔さ
	ハイテク、便利
	入りにくいような場所ではなく、見たときに親近感のある柔らかい雰囲気
	誰でも入りやすい雰囲気にしたい
	夜の道があかるい、景色がきれいなところ
	美濃加茂市全体を元気にするために、市役所から暗くならないようにする。
	市役所を親しみやすい場所になることです。
	市役所に入りやすい、近づきやすい雰囲気があるといいなと思います。
	植物であふれた、自然豊かな新庁舎(計 3 件)
遊び場	遊びにいけるようにしてほしい
	ラウンドワンのような遊べるスペースがほしい。
	楽しめられるような要素があること。
	サバゲーできる空き地(荒れ地)
	みんなで遊んだり、運動する場所がほしい。
	遊び場(公園等)がほしい。
	楽しい場所
	小さい子どもが遊べるところがあったらいいなと思う。
	市役所で子どもをあずける場所をつくって楽しそうに遊んでいる
	子供が元気に遊べるように
	子どもが遊べるスペースをつくる。
イベント	老若男女集まる市民の憩いの場になるために市役所でイベントをする
	オンラインで申請できる、月に1度人が集まるイベントの開催(映画上映など)
	映画の上映会
	遊び心のある市役所(イルミネーションなどのイベントがあるとおもしろい)
	夜になると光る、イルミネーション的なやつ
	市役所の看板ねこちゃんやわんちゃんがいたり、小さなイベントを開催
	イベントが多い
交流の場	年齢性別関係なく全ての人が平等に接することができる
	老若男女関係なく集まれてみんなで楽しめること
	子どもも大人も高齢者も全員が楽しめる場所になる、交流できる場所

カテゴリー	回答内容
子育て支援	子育ての支援を活性化する。税金管理をきちんと。
	可児の mano みたいなやつ
多文化交流	多種多様な人が集まっている
	外国の方々と交流してその国のついて勉強できる。
	僕は、特に海外の知識などを日本に持ってくると良い市になるとこの学習を通して考えたので、そういう場所を増やしたい。具体的には、外国人と質問をしあうイベントや美濃加茂の問題を外国人に人と一緒に考えることをしてみるといいと思った。
	人が集まりやすく、色々な年代、性別、在住の人と繋がれる場所である。
	多様性の拡大、外国人職員の採用→外国の人の意見も取り入れることができる
地域活性化	市外の人も訪れることができる
	・観光客が増える・若者の数が増える
	来訪者が増え、にぎやかで活発な町
	美濃加茂が活発になるようにしてください。
	もっと、いろいろな人が集まるような市になってほしい。
	広くてきれいで、美濃加茂市のシンボルになるような市役所にする。
	市役所が町の有名なスポットの 1 つになってほしい。
	“ここだからできる”というものがあると良い。他の市にないとか、外じゃできないなど
	美濃加茂を今よりいい町にすること
	人がいっぱいいて、栄えている
	たくさんの人が美濃加茂市に来てくれるような工夫をする（イベントなど）
	他の市にはない美濃加茂市ならではのものを作ってほしい→特産品の紹介やはんばい、料理などの店やテーマパークやでかい公園など
	いろいろな人が身近に感じられる
交通（アクセス）	駅から近い。AI も取り入れる。
	利用できやすい場所にあること。（電車から歩いて〇〇分）
	交通の便
	学生が行きやすいような立地
	あい愛バスを活用
	老若男女すごしやすい町→交通が便利。駅近。安全
	交通が発達した所
	わかりやすい所にある。
	道路の整備

カテゴリー	回答内容
複合施設	カフェが欲しい（計 3 件）
	外観でカフェとかも一緒につくられているとこを期待していたい
	だれもが入れる場所にする→カフェなどをつくる
	カフェが内部にあり落ちつけるような場所。外観から人が集まるような場所。多くのいろんな人が交渉できる場所
	前のやつでいったけど、市役所としての役割以外にカフェなどいこいの場がほしい。
	飲食できるカフェ。
	こどもが楽しめる場所やカフェなど、ゆっくりできる場所があるといいと思います。
	カフェなどのくつろぐことのできるスペースが欲しい。
	市役所の中に、勉強できるスペースやカフェなど楽しめる場所がほしい。
	飲食店
	ご飯が食べれる食堂
	飲食チェーン店・カラオケ・カフェ・遊園地・水族館など諸々を融合しまくる。
	他県からも人が集まる誇りある町にしたい。そのために新しいテーマパークとか市役者に観覧車とかおもしろいと思います。
	ジム（計 2 件）
	映画館（計 2 件）
	動物園
	お年寄り向けに休憩できる場があれば良いと思う。
	色んな施設を持った便利な市役所。
	楽しい新庁舎（計 2 件）
	楽しい所がほしい（計 2 件）
分散	市内に複数の市役所を建てたい。
働きやすい環境	強いて言うなら職員の方が働きやすい市役所になればいいなあと思います。
その他	動物がいる。自然が多い。
	看板犬みたいな愛されるマスコットキャラクターがいたら、好きになります。
	空飛んでいて欲しい。
	山がほしい+空気がきれいになるようになにが何でも
	信号、夜のライトなどを安全にしていけるとうれしい。

カテゴリー	回答内容
その他	スポーツを応援する取組みを期待する
	日本1の〇〇を作って欲しい！
	美濃加茂市出身の人の作品を展示する。
	ほぼ無人
	ロボット、AI をフル活用する

5.市民 1,500 人アンケート結果

5. 市民 1,500 人アンケート結果

第 2 回市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握するために以下の通り、アンケートを実施しました。

対象	住民基本台帳から無作為抽出された市内在住の15歳以上の市民1, 500人
調査方法	郵送配布　郵送回答または Web 回答
実施期間	令和5年11月1日～11月15日
主な 調査項目	①新庁舎の役割 ・新庁舎の役割として重要視するもの ・連絡所の機能 ②新庁舎のコンセプト（新庁舎に期待すること、求める姿） ・新庁舎のコンセプトとして重要視するもの

令和5年度
新庁舎の役割・コンセプトに係る
市民アンケート
結果報告書

令和5年12月

目 次

【1】 調査の概要 1

1 調査の概要 1

1-1 調査の目的 1

1-2 調査の設計 1

1-3 回収結果 1

1-4 報告書の見方 1

【2】 市民アンケート調査の結果 2

1 回答者の属性 2

1-1 年齢 2

1-2 居住地区 3

2 新庁舎整備の認知度 4

3 新庁舎整備について知った媒体 6

4 新庁舎整備事業として利用しやすい媒体 8

5 ワークショップの参加の有無 10

6 新庁舎の役割 11

6-1 相反する役割に対する傾向 11

6-1-1 傾向1（市役所機能を「集中させる」／「分散させる」） 11

6-1-1-1 「集中させる」を選んだ理由 13

6-1-1-2 「分散させる」を選んだ理由 16

6-1-2 傾向2（「人々の交流となる複合的な庁舎」／「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」） 19

6-1-2-1 「人々の交流となる複合的な庁舎」を選んだ理由 21

6-1-2-2 「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由 23

6-2 重要と思う、新庁舎の役割 25

6-3 連絡所でできるようになるとよいこと 28

7 新庁舎のコンセプト 31

8 新庁舎整備事業に関するご意見 36

9 その他自由記述 50

【1】 調査の概要

1　調査の概要

1-1 調査の目的

美濃加茂市では、誰もが使いやすい新たな庁舎を整備するため、施設の機能・規模の検討や候補地の選定など、整備に向けた「新庁舎整備基本構想」を策定中です。

この調査は、令和 5 年9月に行った市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握するために実施しました。

1-2 調査の設計

この調査は、以下の設計で実施しました。

調　査　地　域	美濃加茂市域全域
調　査　対　象	美濃加茂市在住の満 15 歳以上の人
標 本 サ イ ズ	1,500 人
抽　出　方　法	住民基本台帳から無作為抽出
調　査　方　法	郵送配布 郵送回収または Web 回答
調　査　期　間	令和 5 年 11 月1日～11 月 15 日

1-3 回収結果

調査種別	配布数	回収数(回収率)
市民アンケート	1,500(100,0%)	607(40.5%)

1-4 報告書の見方

(1) 指定の回答数を超える回答については無効回答として集計しています。

(2) 比率を求める際の基数は回答件数(件数として掲載)としています。比率は、件数を 100%として算出しています。

(3) 比率は全て%で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が 100.0%にならないことがあります。

(4) 複数回答が可能な設問では、「その項目を選んだ回答数／回答者数」で比率を計算しています。したがって、各項目の比率の合計は通常 100%を超えます。

(5) 図表中において、選択肢は掲載の関係上、一部を省略している場合があります。

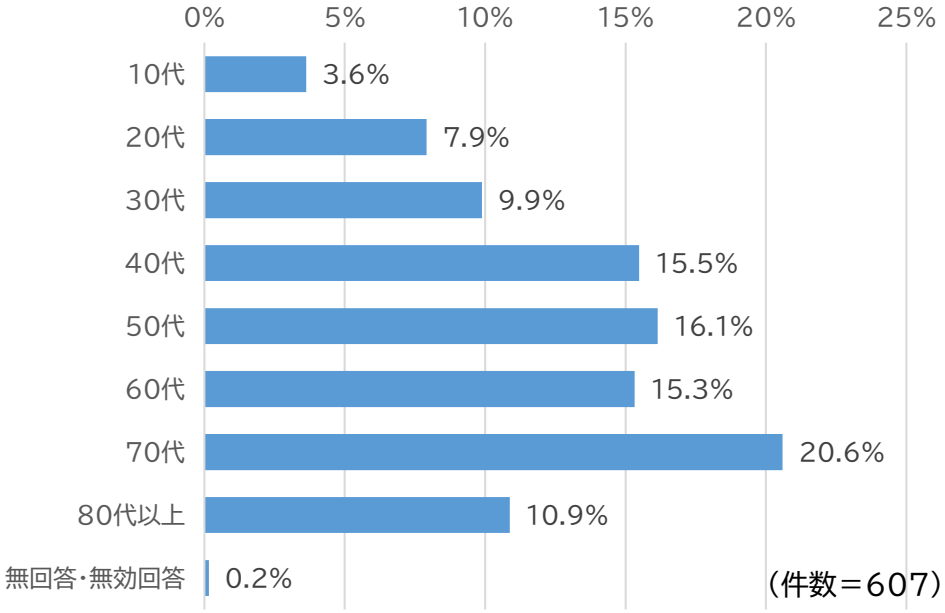
(6) クロス集計表において、黄色(着色)の項目は、全体の第 1 位項目です。また、表中において「その他」の回答は除いています。

【2】 市民アンケートの調査

1 回答者の属性

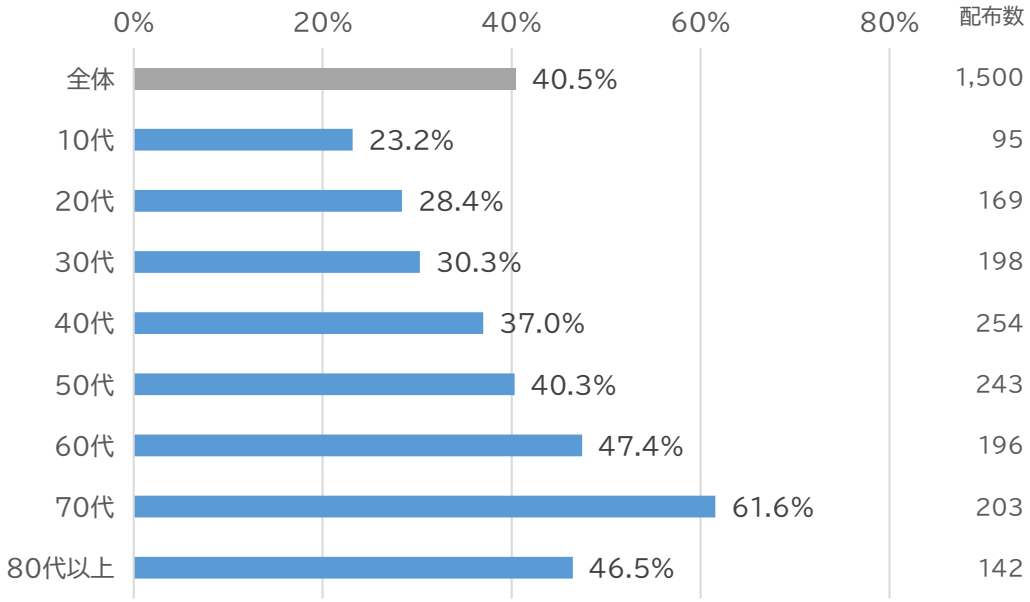
1-1 年齢

回答者の年齢は、「70 代」(20.6%)が最も高く、次いで「50 代」(16.1%)、「40 代」(15.5%)、「60 代」(15.3%)が高くなっています。令和 4 年度アンケートと同様の傾向にあります。



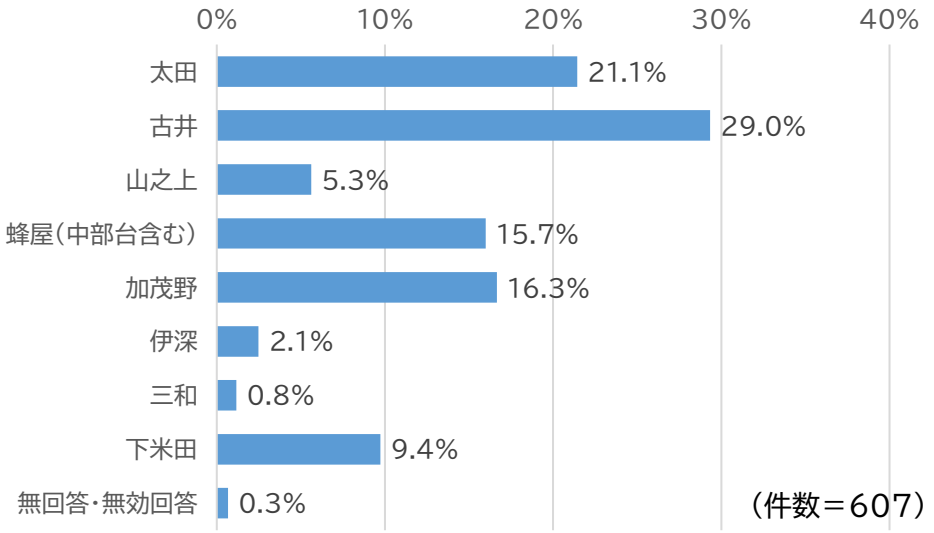
【年代別回収率】

「70代」(61.6%)が最も高く、次いで「60代」(47.4%)、「80代以上」(46.5%)が高くなっています。



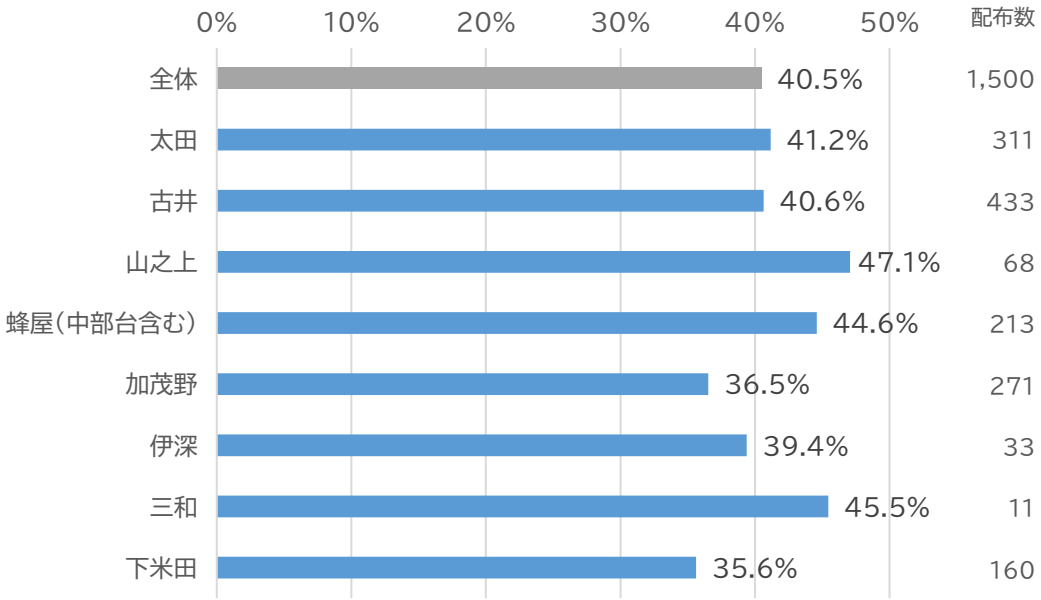
1-2 居住地区

居住地区は、「古井」(29.0%)が最も高く、「三和」(0.8%)が最も低くなっています。



【居住地区別回収率】

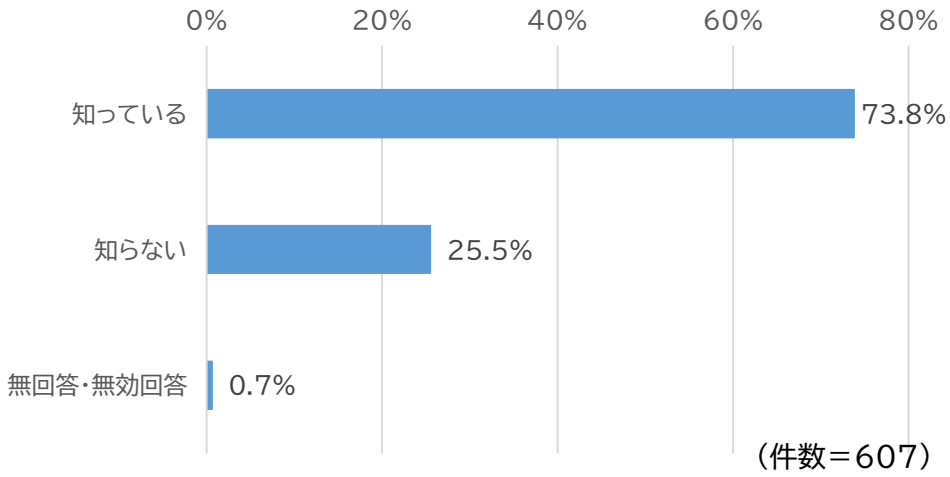
「山之上」(47.1%)が最も高く、次いで「三和」(45.5%)、「蜂屋(中部台含む)」(44.6%)が高くなっています。



2 新庁舎整備の認知度

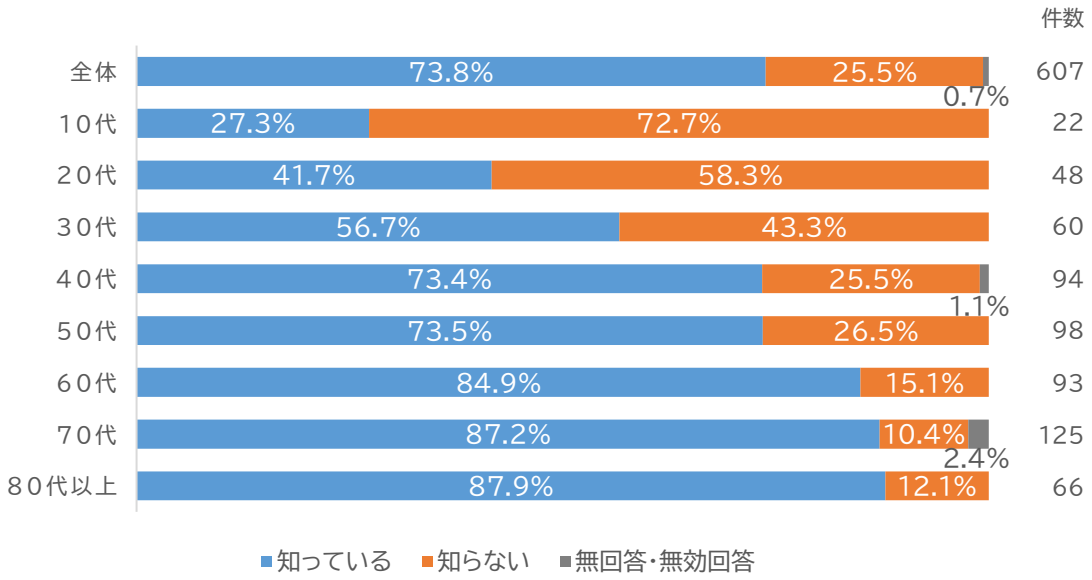
問1－(3)新庁舎整備事業を知っていますか(あてはまる項目1つに○)

新庁舎整備事業について「知っている」が 73.8%、「知らない」が 25.5%となっています。



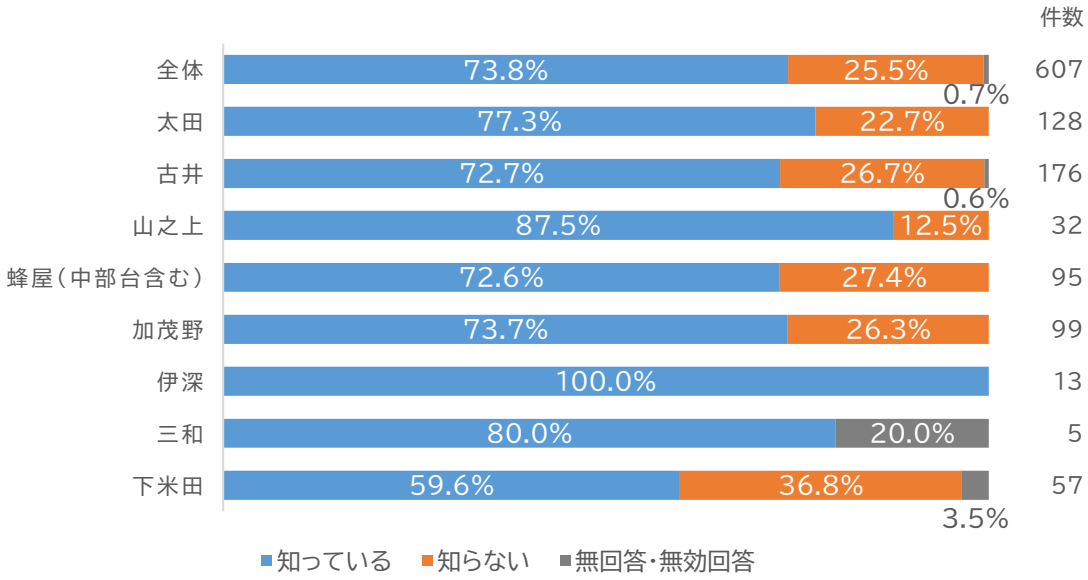
【年代別】

年代別でみると、30 代以上では「知っている」が過半数を占め、年代が上がるにつれて認知度が上がっています。一方、20 代以下では「知らない」が過半数を占めています。



【居住地区別】

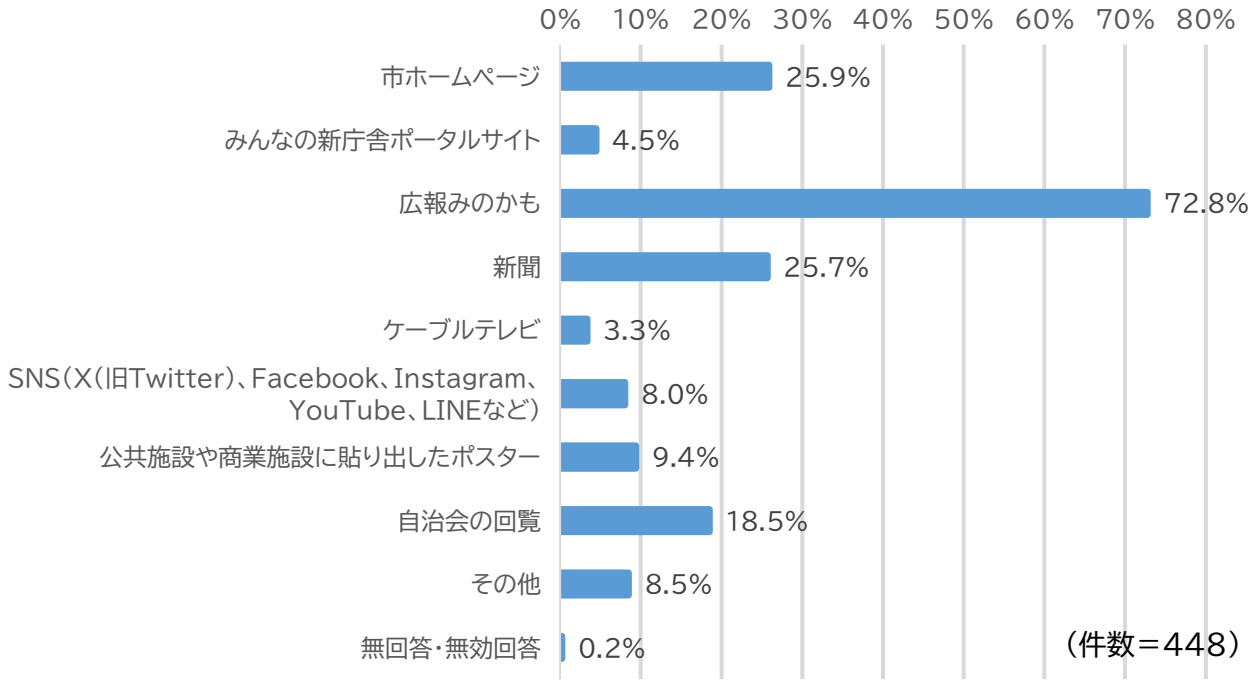
居住地区別でみると、全ての地区で「知っている」が過半数を占め、「伊深地区」は認知度 100%となっています。



3 新庁舎整備について知った媒体

問1－(3)で知っていると回答した方にお尋ねします。
問1－(4)新庁舎整備事業の情報を何で知りましたか。(あてはまる項目すべてに○)

新庁舎整備について知った媒体は、「広報みのかも」(72.8%)が最も高く、次いで「市ホームページ」(25.9%)、「新聞」(25.7%)、「自治会の回覧」(18.5%)となっています。「市ホームページ」を選んだ割合は令和 4 年度アンケートの 4.2%から大幅に増加しました。



【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「広報みのかも」が最も高くなっており、20 代～30 代では「SNS」が 2 位となっています。

年代	1位	2位	3位	4位	5位
10 代 （件数＝6）	広報みのかも （50.0%）	市ホームページ （33.3%）	ケーブルテレビ、SNS、ポスター、自治会の回覧 （同率 16.7%）		
20 代 （件数＝20）	広報みのかも （45.0%）	SNS（30.0%）	市ホームページ、新聞 （同率 15.0%）		自治会の回覧 （10.0%）
30 代 （件数＝34）	広報みのかも （58.8%）	SNS（38.2%）	市ホームページ （26.5%）	新聞（20.6%）	ポスター、自治会の回覧 （同率 17.6%）
40 代 （件数＝69）	広報みのかも （63.8%）	市ホームページ （39.1%）	新聞 （14.5%）	自治会の回覧 （13.0%）	ポスター （10.1%）
50 代 （件数＝72）	広報みのかも （66.7%）	市ホームページ、新聞 （同率 22.2%）		自治会の回覧 （18.1%）	ポスター （15.3%）
60 代 （件数＝79）	広報みのかも （74.7%）	新聞 （27.8%）	市ホームページ （24.1%）	自治会の回覧 （10.1%）	ポスター （8.9%）
70 代 （件数＝109）	広報みのかも （82.6%）	新聞 （34.9%）	自治会の回覧 （26.6%）	市ホームページ （24.8%）	ポータルサイト、SNS （同率 5.5%）
80 代以上 （件数＝58）	広報みのかも （89.7%）	新聞 （32.8%）	自治会の回覧 （25.9%）	市ホームページ （22.4%）	ポスター （6.9%）

【居住地区別】

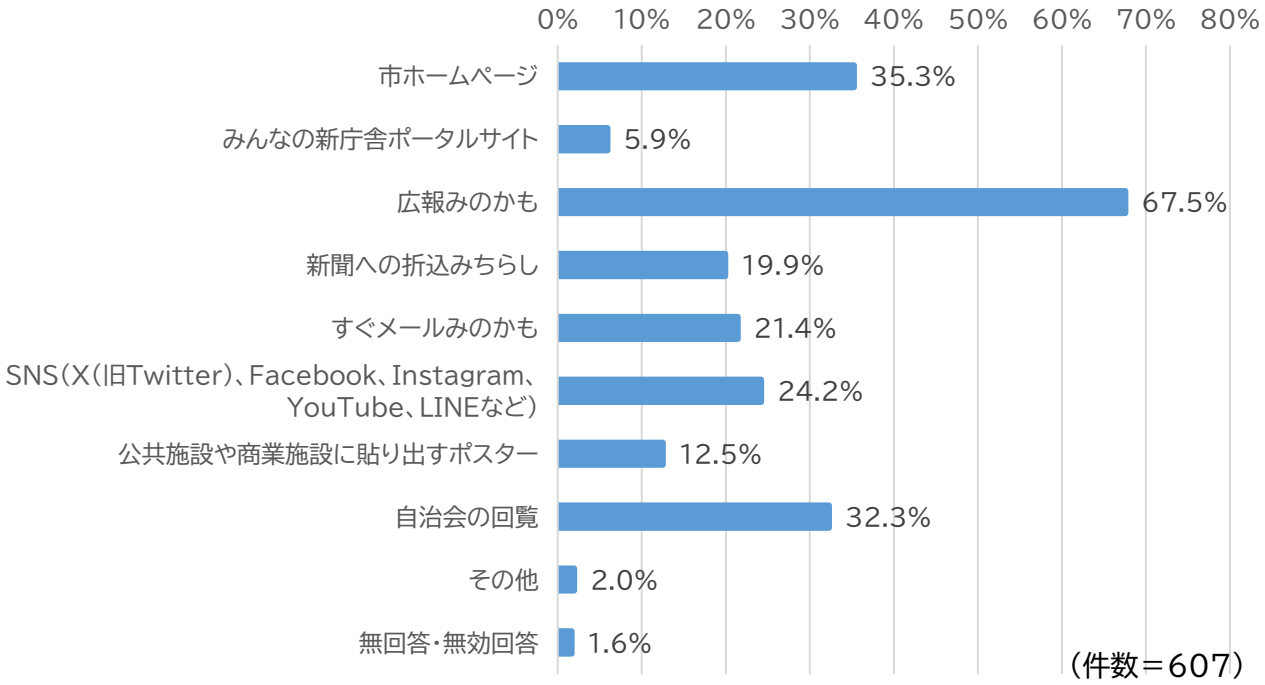
居住地区別にみると、加茂野地区では「自治会の回覧」が 2 位となっています。

居住地区	1位	2位	3位	4位	5位
太田 （件数＝99）	広報みのかも （68.7%）	新聞 （30.3%）	市ホームページ （25.3%）	自治会の回覧 （20.2%）	ポスター （14.1%）
古井 （件数＝128）	広報みのかも （74.2%）	新聞 （27.3%）	市ホームページ （26.6%）	自治会の回覧 （14.1%）	ポスター （11.7%）
山之上 （件数＝28）	広報みのかも （85.7%）	市ホームページ （39.3%）	自治会の回覧 （21.4%）	新聞 （17.9%）	SNS （14.3%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝69）	広報みのかも （73.9%）	新聞 （27.5%）	自治会の回覧 （26.1%）	市ホームページ （20.3%）	SNS （7.2%）
加茂野 （件数＝73）	広報みのかも （67.1%）	自治会の回覧 （20.5%）	市ホームページ （17.8%）	新聞 （13.7%）	SNS （12.3%）
伊深 （件数＝13）	広報みのかも （76.9%）	市ホームページ （38.5%）	新聞、自治体の回覧 （同率 15.4%）		ポータルサイト、ケーブルテレビ、SNS、ポスター （同率 7.7%）
三和 （件数＝4）	市ホームページ、広報みのかも （同率 75.0%）		新聞、自治会の回覧 （同率 50.0%）		ポスター （25.0%）
下米田 （件数＝34）	広報みのかも （76.5%）	新聞 （35.3%）	市ホームページ （32.4%）	ポスター、自治会の回覧 （同率 5.9%）	

4 新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすい媒体

問1－(5)新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすいものは何ですか。(あてはまる項目すべてに○)

新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすい媒体として、「広報みのかも」(67.5%)が最も高く、次いで「市ホームページ」(35.3%)、「自治会の回覧」(32.3%)、「SNS」(24.2%)、「すぐメールみのかも」(21.4%)、「新聞への折込みちらし」(19.9%)となっています。



【年代別】

年代別でみると、30 代以下では「SNS」や「市ホームページ」が最も高く、40 代以上では「広報みのかも」が最も高くなっています。また、40 代では「すぐメールみのかも」が 3 位となっています。

年代	1位	2位	3位	4位	5位
10 代 （件数＝22）	市ホームページ、SNS （同率 40.9%）		広報みのかも、すぐメールみのかも （同率 27.3%）		ポータルサイト、ポスター （同率 18.2%）
20 代 （件数＝48）	SNS （66.7%）	市ホームページ （43.8%）	広報みのかも （37.5%）	ポスター （22.9%）	すぐメールみのかも （18.8%）
30 代 （件数＝60）	SNS （56.7%）	広報みのかも （43.3%）	市ホームページ （36.7%）	自治会の回覧 （30.0%）	すぐメールみのかも （28.3%）
40 代 （件数＝94）	広報みのかも （60.6%）	市ホームページ （41.5%）	すぐメールみのかも （31.9%）	SNS （27.7%）	折込ちらし、自治会の回覧 （同率 16.0%）
50 代 （件数＝98）	広報みのかも （72.4%）	市ホームページ （37.8%）	SNS、自治会の回覧 （同率 25.5%）		すぐメールみのかも （24.5%）
60 代 （件数＝93）	広報みのかも （74.2%）	市ホームページ （37.6%）	自治会の回覧 （35.5%）	折込ちらし （25.8%）	すぐメールみのかも （21.5%）
70 代 （件数＝125）	広報みのかも （84.8%）	自治会の回覧 （47.2%）	市ホームページ、折込ちらし （同率 28.8%）		すぐメールみのかも （15.2%）
80 代以上 （件数＝66）	広報みのかも （86.4%）	自治会の回覧 （53.0%）	折込ちらし （27.3%）	市ホームページ （22.7%）	ポータルサイト、ポスター （同率 9.1%）

【居住地区別】

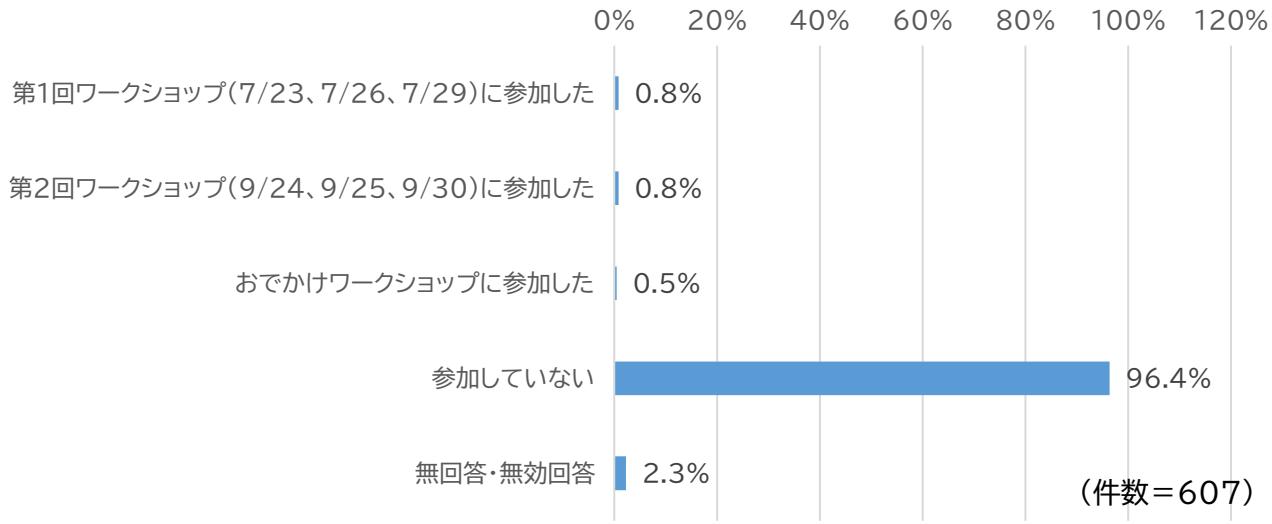
居住地区別にみると、下米田地区では「すぐメールみのかも」が 3 位になっています。

居住地区	1位	2位	3位	4位	5位
太田 （件数＝128）	広報みのかも （66.4%）	市ホームページ （35.2%）	自治会の回覧 （30.5%）	折込ちらし （21.9%）	SNS （21.1%）
古井 （件数＝176）	広報みのかも （68.2%）	市ホームページ （35.8%）	自治会の回覧 （33.0%）	SNS （28.4%）	すぐメールみのかも （25.0%）
山之上 （件数＝32）	広報みのかも （87.5%）	自治会の回覧 （34.4%）	市ホームページ （28.1%）	折込ちらし （25.0%）	すぐメールみのかも （18.8%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝95）	広報みのかも （66.3%）	市ホームページ （33.7%）	自治会の回覧 （32.6%）	SNS （22.1%）	すぐメールみのかも （17.9%）
加茂野 （件数＝99）	広報みのかも （65.7%）	市ホームページ （39.4%）	自治会の回覧 （30.3%）	SNS （27.3%）	すぐメールみのかも （16.2%）
伊深 （件数＝13）	広報みのかも （69.2%）	自治会の回覧、市ホームページ （同率 30.8%）		SNS （23.1%）	折込ちらし （15.4%）
三和 （件数＝5）	広報みのかも （100.0%）	折込ちらし、自治会の回覧 （同率 60.0%）		市ホームページ （40.0%）	すぐメールみのかも、SNS、ポスター （同率 20.0%）
下米田 （件数＝57）	広報みのかも （59.6%）	自治会の回覧 （35.1%）	すぐメールみのかも （33.3%）	市ホームページ （31.6%）	SNS （21.1%）

5 ワークショップの参加の有無

問1－(6)日時指定ワークショップとおでかけワークショップの参加の有無(あてはまる項目すべてに○)

新庁舎整備に関するワークショップは「参加していない」(96.4%)が最も高くなっており、ワークショップに参加した割合は、第１回ワークショップが 0.8%、第２回ワークショップが 0.8%、おでかけワークショップが 0.5%となっています。



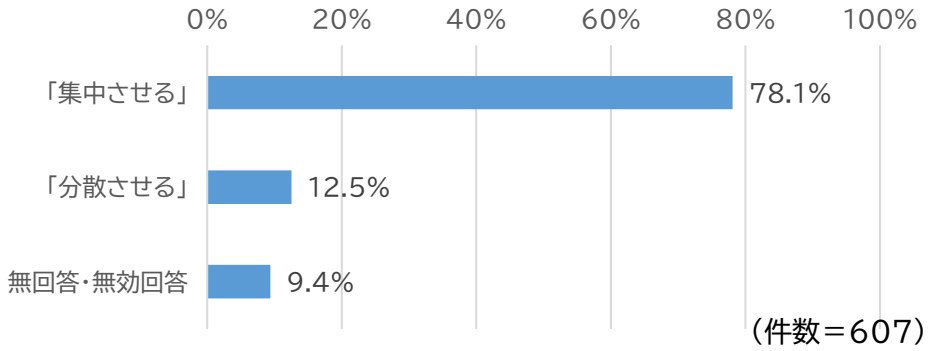
6 新庁舎の役割

6-1 相反する役割に対する傾向

6-1-1 傾向1（市役所機能を「集中させる」／「分散させる」）

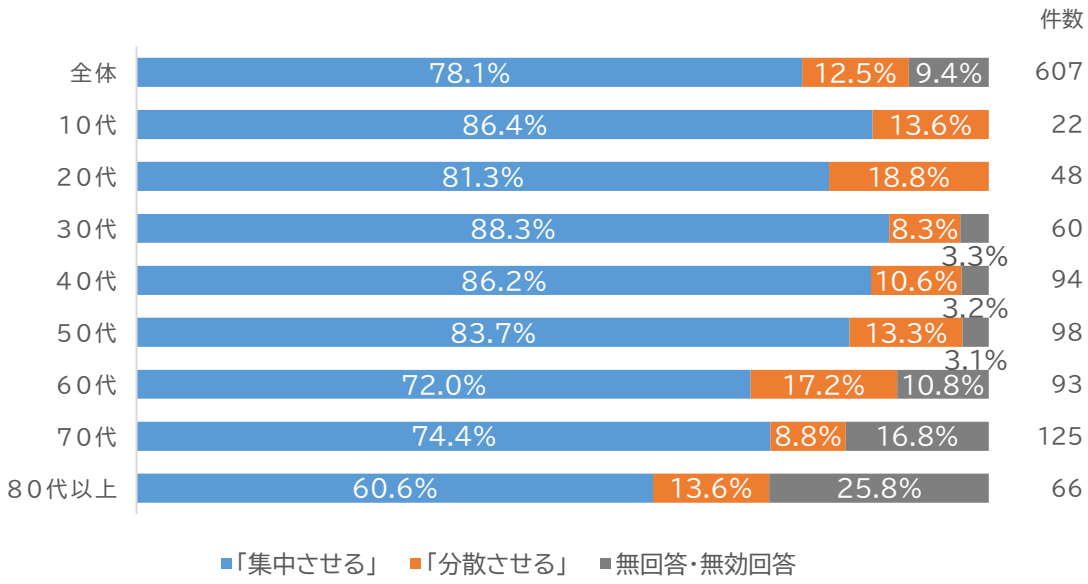
問2－（1） 1. 市役所機能を「集中させる」もしくは「分散させる」（1つに○）

新庁舎機能を「集中させる」（78.1%）が最も高く、過半数を占めます。



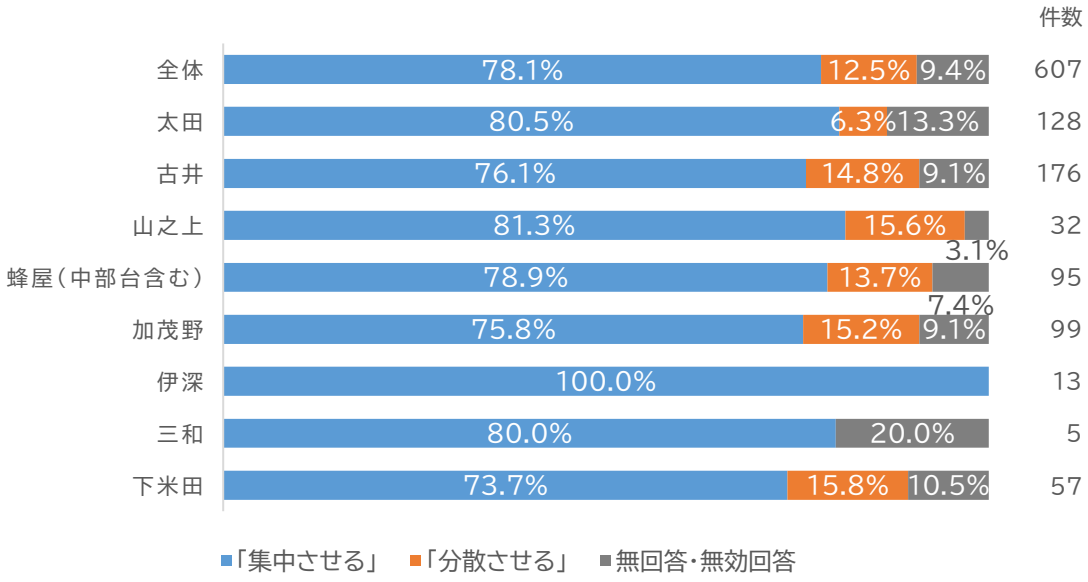
【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「集中させる」が過半数を占めます。



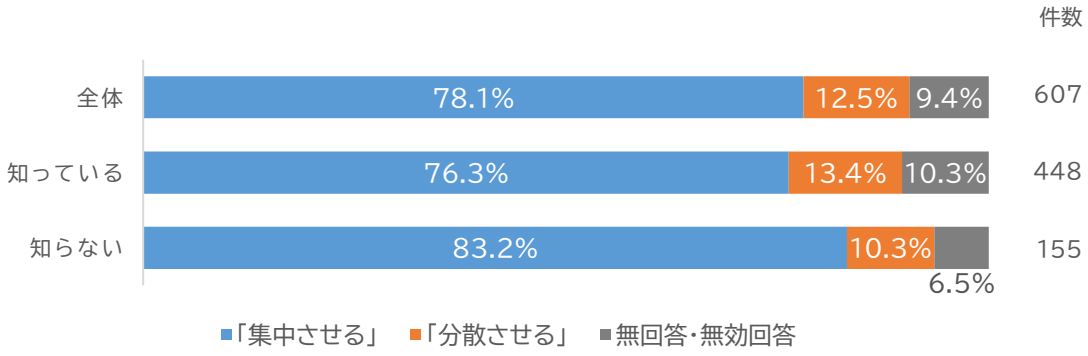
【居住地区別】

居住地区別にみると、すべての居住地区で「集中させる」が過半数を占めます。



【新庁舎整備事業の認知度別】

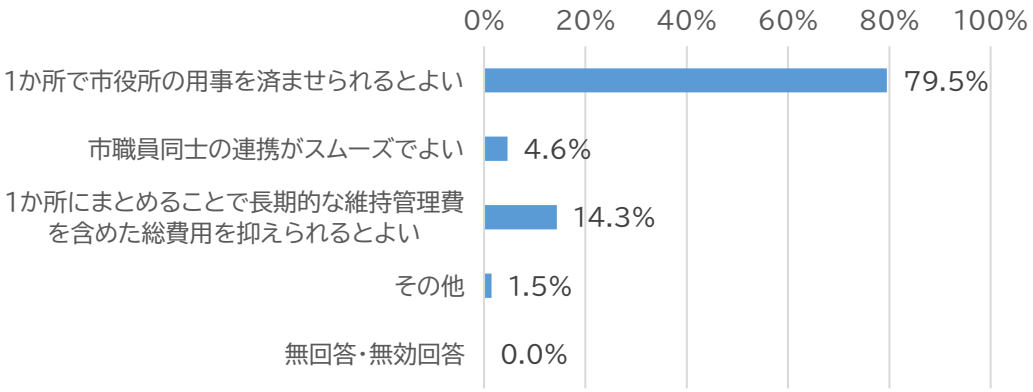
新庁舎整備事業の認知度別にみると、認知度に関わらず「集中させる」が過半数を占めます。



6-1-1-1　市役所機能を「集中させる」を選んだ理由

「集中させる」を選んだ方にお尋ねします。
問2－(1)　1.「集中させる」を選んだ理由(1つに○)

新庁舎機能を集中させる理由として、「1か所で市役所の用事を済ませられるとよい」(79.5%)が最も高くなり、次いで「1か所にまとめることで長期的な維持管理費を含めた総費用を抑えられるとよい」(14.3%)となっています。1 位の「1か所で市役所の用事を済ませられるとよい」と 2 位の「1か所にまとめることで長期的な維持管理費を含めた総費用を抑えられるとよい」は 65.2 ポイントの差があります。



(件数＝474)

【年代別】

年代別にみると 50 代では「市職員同士の連携がスムーズ」が「総費用を抑えられる」を上回り、2 位となっています。

年代	1位	2位	3位
10 代 （件数＝19）	1か所で市役所の用事を済ませられる （84.2%）	総費用を抑えられる （10.5%）	市職員同士の連携がスムーズ （5.3%）
20 代 （件数＝39）	1か所で市役所の用事を済ませられる （92.3%）	総費用を抑えられる （5.1%）	市職員同士の連携がスムーズ （2.6%）
30 代 （件数＝53）	1か所で市役所の用事を済ませられる （88.7%）	総費用を抑えられる （9.4%）	市職員同士の連携がスムーズ （0.0%）
40 代 （件数＝81）	1か所で市役所の用事を済ませられる （80.2%）	総費用を抑えられる （9.9%）	市職員同士の連携がスムーズ （4.9%）
50 代 （件数＝82）	1か所で市役所の用事を済ませられる （80.5%）	市職員同士の連携がスムーズ （9.8%）	総費用を抑えられる （8.5%）
60 代 （件数＝67）	1か所で市役所の用事を済ませられる （76.1%）	総費用を抑えられる （19.4%）	市職員同士の連携がスムーズ （4.5%）
70 代 （件数＝93）	1か所で市役所の用事を済ませられる （71.0%）	総費用を抑えられる （25.8%）	市職員同士の連携がスムーズ （2.2%）
80 代以上 （件数＝40）	1か所で市役所の用事を済ませられる （75.0%）	総費用を抑えられる （17.5%）	市職員同士の連携がスムーズ （7.5%）

【居住地区別】

居住地区別にみると、全ての地区で「1か所で市役所の用事を済ませられる」が最も高くなっています。

居住地区	1位	2位	3位
太田 （件数＝103）	1か所で市役所の用事を済ませられる （85.4%）	総費用を抑えられる （9.7%）	市職員同士の連携がスムーズ （3.9%）
古井 （件数＝134）	1か所で市役所の用事を済ませられる （78.4%）	総費用を抑えられる （15.7%）	市職員同士の連携がスムーズ （5.2%）
山之上 （件数＝26）	1か所で市役所の用事を済ませられる （73.1%）	総費用を抑えられる （15.4%）	市職員同士の連携がスムーズ （7.7%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝75）	1か所で市役所の用事を済ませられる （81.3%）	総費用を抑えられる （9.3%）	市職員同士の連携がスムーズ （5.3%）
加茂野 （件数＝75）	1か所で市役所の用事を済ませられる （76.0%）	総費用を抑えられる （21.3%）	市職員同士の連携がスムーズ （2.7%）
伊深 （件数＝13）	1か所で市役所の用事を済ませられる （84.0%）	総費用を抑えられる （15.4%）	市職員同士の連携がスムーズ、その他 （同率 0.0%）
三和 （件数＝4）	1か所で市役所の用事を済ませられる （100.0%）	総費用を抑えられる、 市職員同士の連携がスムーズ （0.0%）	
下米田 （件数＝42）	1か所で市役所の用事を済ませられる （73.8%）	総費用を抑えられる （16.7%）	市職員同士の連携がスムーズ （7.1%）

【新庁舎整備事業の認知度別】

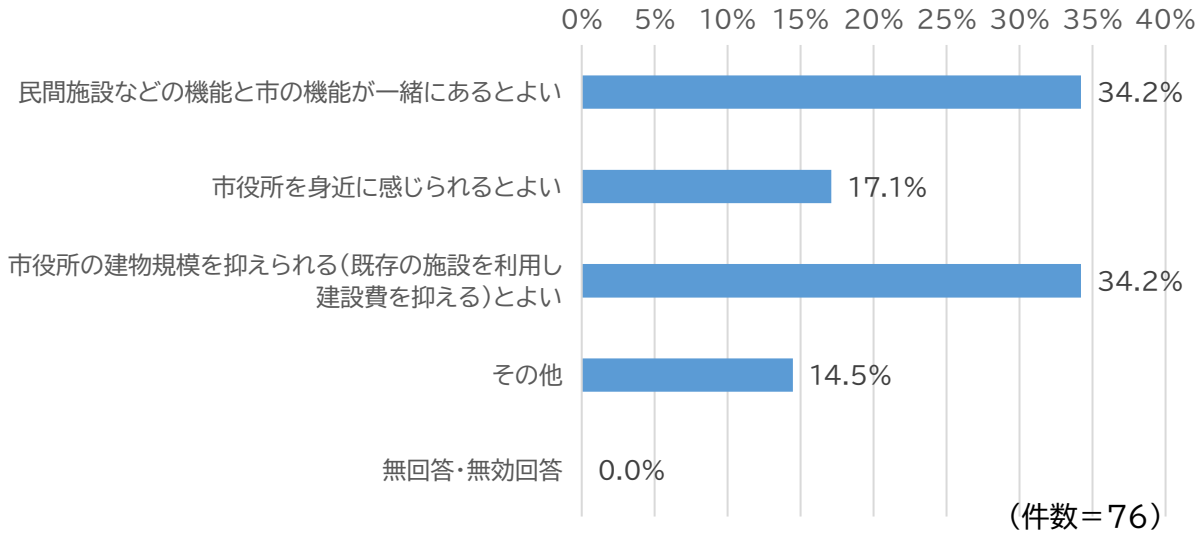
新庁舎整備事業の認知度に関わらず、「1か所で市役所の用事を済ませられる」が最も高くなっています。

認知別	1位	2位	3位
知っている （件数＝342）	1か所で市役所の用事を済ませられる （75.7%）	総費用を抑えられる （17.0%）	市職員同士の連携がスムーズ （5.8%）
知らない （件数＝129）	1か所で市役所の用事を済ませられる （89.1%）	総費用を抑えられる （7.8%）	市職員同士の連携がスムーズ （1.6%）

6-1-1-2 市役所機能を「分散させる」を選んだ理由

「分散させる」を選んだ方にお尋ねします。
問2－(1) 1.「分散させる」を選んだ理由(1つに○)

新庁舎機能を分散させる理由として、「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」と「市役所の建物規模を抑えられる(既存の施設を利用し建設費を抑える)とよい」(同率 34.2%)が最も高く、次いで「市役所を身近に感じられるとよい」(17.1%)となっています。



【年代別】

年代別にみると、10 代では「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」、「市役所を身近に感じられるとよい」が同率 1 位となっています。また、20 代では「市役所を身近に感じられるとよい」、「市役所の建物規模を抑えられるとよい」が同率 2 位となっています。20 代・40 代・50 代では「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」が 1 位となり、60 代以上では「市役所の建物規模を抑えられるとよい」が 1 位となっています。

年代	1位	2位	3位
10 代 （件数＝3）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい、市役所を身近に感じられるとよい （同率 33.3%）		市役所の建物規模を抑えられるとよい （0.0%）
20 代 （件数＝9）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （33.3%）	市役所を身近に感じられるとよい、市役所の建物規模を抑えられるとよい （同率 22.2%）	
30 代 （件数＝5）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい、市役所を身近に感じられるとよい、市役所の建物規模を抑えられるとよい （同率 20.0%）		
40 代 （件数＝10）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （60.0%）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （30.0%）	市役所を身近に感じられるとよい （0.0%）
50 代 （件数＝13）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （38.5%）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （30.8%）	市役所を身近に感じられるとよい （15.4%）
60 代 （件数＝16）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （43.8%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （37.5%）	市役所を身近に感じられるとよい （12.5%）
70 代 （件数＝11）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （45.5%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （27.3%）	市役所を身近に感じられるとよい （18.2%）
80 代以上 （件数＝9）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （44.4%）	市役所を身近に感じられるとよい （33.3%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （11.1%）

【居住地区別】

居住地区別にみると、太田地区・蜂屋地区・加茂野地区では「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」が最も高くなっています。一方で、古井・山之上・下米田地区では「市役所の建物規模を抑えられるとよい」が最も高くなっています。

居住地区	1位	2位	3位
太田 （件数＝8）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （37.5%）	市役所を身近に感じられるとよい、市役所の建物規模を抑えられるとよい （同率 12.5%）	
古井 （件数＝26）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （38.5%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （26.9%）	市役所を身近に感じられるとよい （15.4%）
山之上 （件数＝5）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （60.0%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （20.0%）	市役所を身近に感じられるとよい （0.0%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝13）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （46.2%）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （30.8%）	市役所を身近に感じられるとよい （15.4%）
加茂野 （件数＝15）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （40.0%）	市役所を身近に感じられるとよい、市役所の建物規模を抑えられるとよい （同率 26.7%）	
伊深 （件数＝0）	回答者なし		
三和 （件数＝0）	回答者なし		
下米田 （件数＝9）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （44.4%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （33.3%）	市役所を身近に感じられるとよい （22.2%）

【新庁舎整備事業の認知度別】

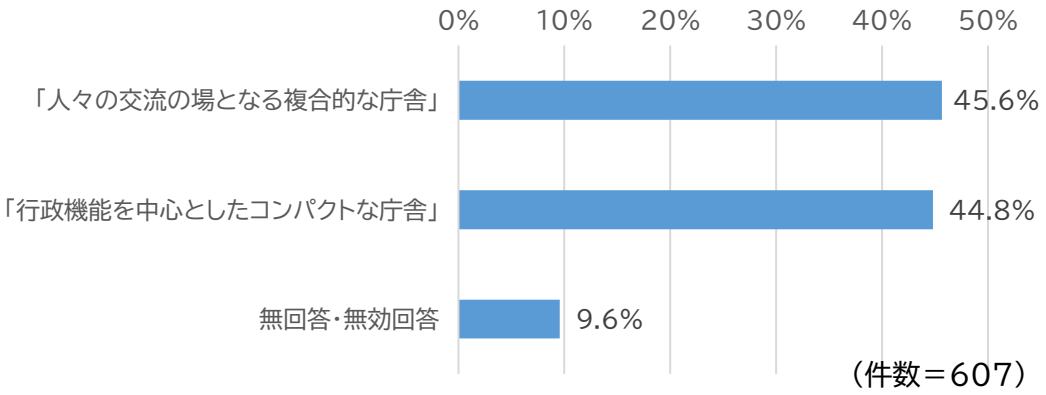
新庁舎整備事業の認知度別にみると、新庁舎整備事業を知らない人では「市役所を身近に感じられるとよい」が1位となっています。

認知別	1位	2位	3位
知っている （件数＝60）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （36.7%）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （35.0%）	市役所を身近に感じられるとよい （11.7%）
知らない （件数＝16）	市役所を身近に感じられるとよい （37.5%）	市役所の建物規模を抑えられるとよい （31.3%）	民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい （25.0%）

6-1-2 傾向 2(「人々の交流の場となる複合的な庁舎」／「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」)

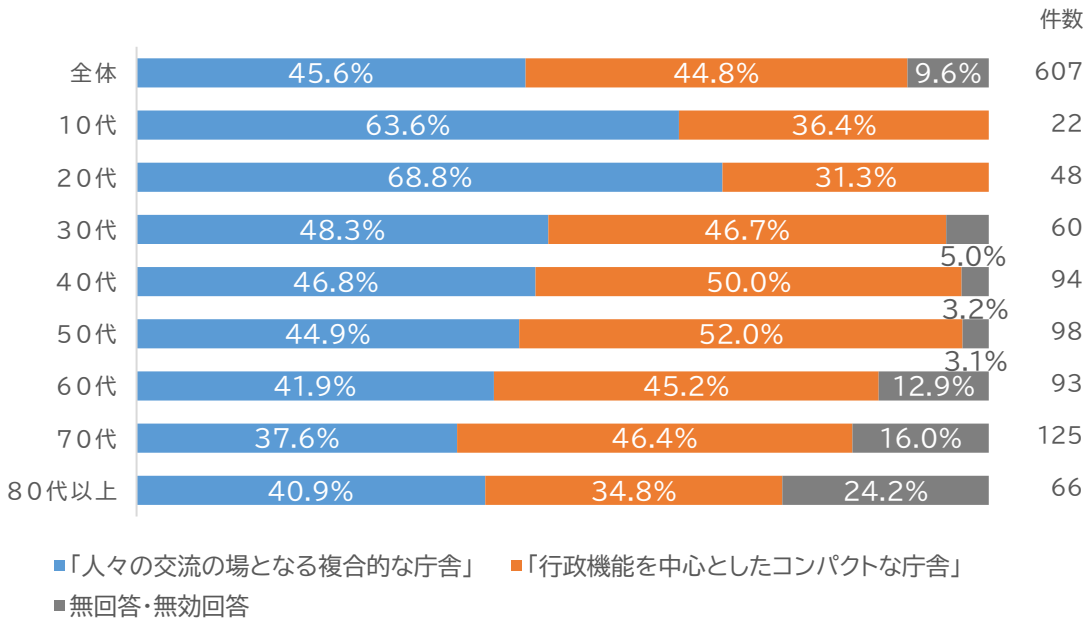
問2－(1) 2.「人々の交流の場となる複合的な庁舎」もしくは「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」(1つに

「人々の交流の場となる複合的な庁舎」(45.6%)と「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」(44.8%)はおおよそ半数ずつとなっています。



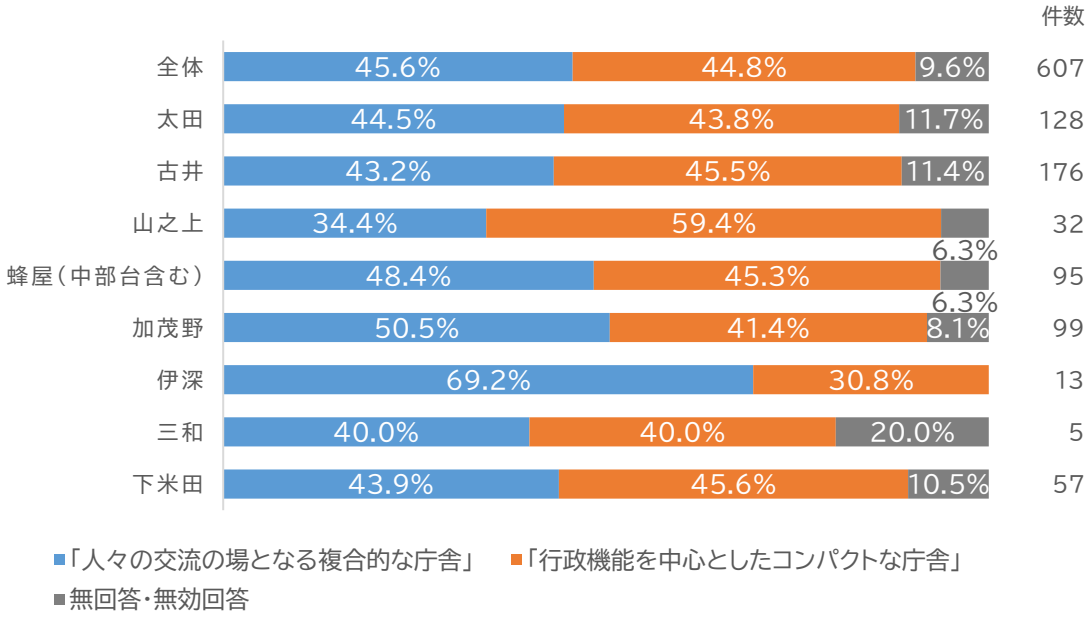
【年代別】

年代別でみると、若年層の 20 代以下では「人々の交流の場となる複合的な庁舎」が過半数を占めています。一方で年代が上がった 30 代以上は 20 代以下と比べると、「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」の割合が大きくなっています。



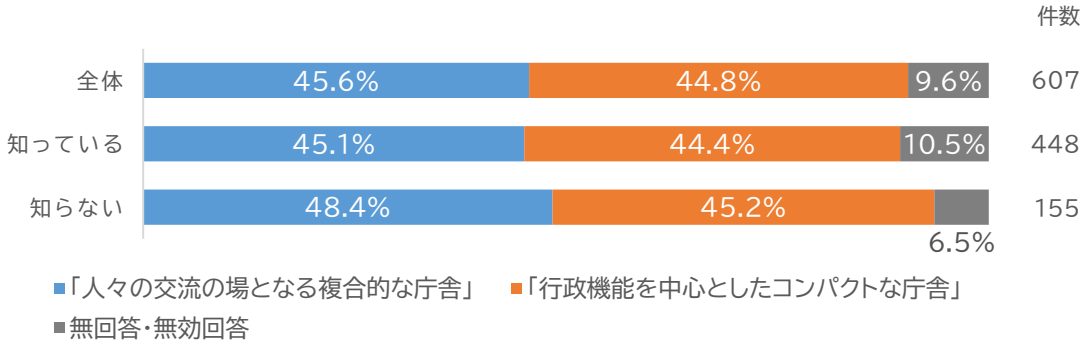
【居住地区別】

居住地区別でみると、「人々の交流の場となる複合的な庁舎」と「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」が拮抗する地区が多いですが、「山之上地区」では 25 ポイント差をつけて「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」が多くなっています。一方で、「伊深地区」では 38.4 ポイント差をつけて「人々の交流の場となる複合的な庁舎」が多くなっています。



【新庁舎整備事業の認知度別】

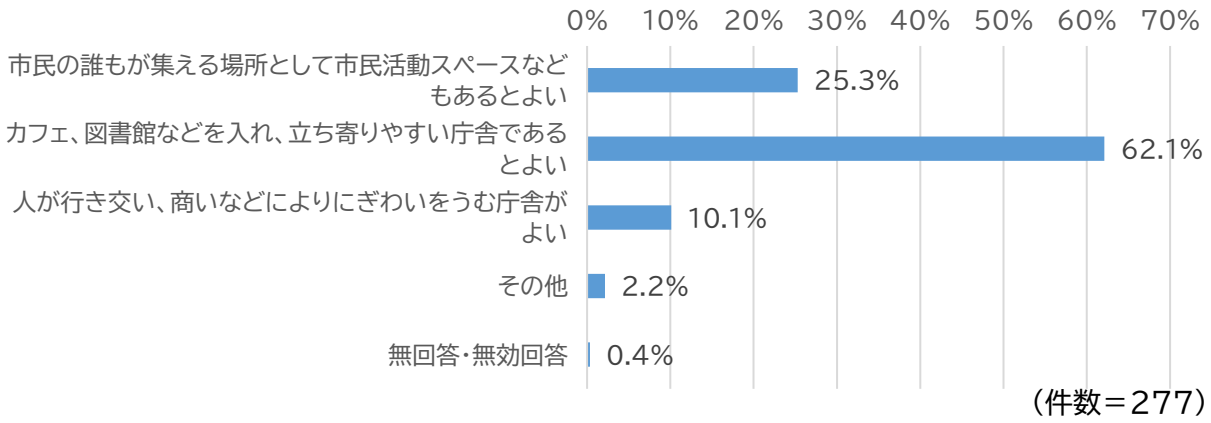
新庁舎整備事業の認知度別でみると、認知度に関わらず、「人々の交流の場となる複合的な庁舎」がおおよそ半数ずつとなっています。



6-1-2-1 「人々の交流の場となる複合的な庁舎」を選んだ理由

「人々の交流の場となる複合的な庁舎」を選んだ方にお尋ねします。
問2－(1) 2.「人々の交流となる複合的な庁舎」を選んだ理由(1つに○)

「人々の交流となる複合的な庁舎」を選んだ理由として、「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎であるとよい」(62.1%)が最も高く、次いで「市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなどもあるとよい」(25.3%)となっています。



【年代別】

年代別にみると、若年層では「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が 2 位以下に大きなポイント差をつけて 1 位になっています。一方で、年代が上がると「市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど」の割合が大きくなっています。

80 代以上では「市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど」が最も高くなっています。

年代	1位	2位	3位
10 代 (件数＝14)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (64.3%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど／人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (同率 14.3%)	
20 代 (件数＝33)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (81.8%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど／人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (同率 9.1%)	
30 代 (件数＝29)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (72.4%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど／人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (同率 13.8%)	
40 代 (件数＝44)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (75.0%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど (11.4%)	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (6.8%)
50 代 (件数＝44)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (61.4%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど (20.5%)	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (15.9%)
60 代 (件数＝39)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (53.8%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど (30.8%)	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (15.4%)
70 代 (件数＝47)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (48.9%)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど (46.8%)	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (4.3%)
80 代以上 (件数＝27)	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど (48.1%)	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 (40.7%)	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 (3.7%)

【居住地区別】

居住地区別にみると、多くの地区で「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が最も高くなっており、山之上地区では「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」と「市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど」が同率１位となっています。

居住地区	1位	2位	3位
太田 （件数＝57）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （68.4%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （17.5%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （10.5%）
古井 （件数＝76）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （65.8%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （21.1%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （10.5%）
山之上 （件数＝11）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎／市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （同率 36.4%）		人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （18.2%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝46）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （60.9%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （32.6%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （6.5%）
加茂野 （件数＝50）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （60.0%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （30.0%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （6.0%）
伊深 （件数＝9）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （66.7%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （22.2%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （11.1%）
三和 （件数＝2）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （100.0%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど／人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （同率 0.0%）	
下米田 （件数＝25）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （48.0%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （32.0%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （20.0%）

【新庁舎整備事業の認知度別】

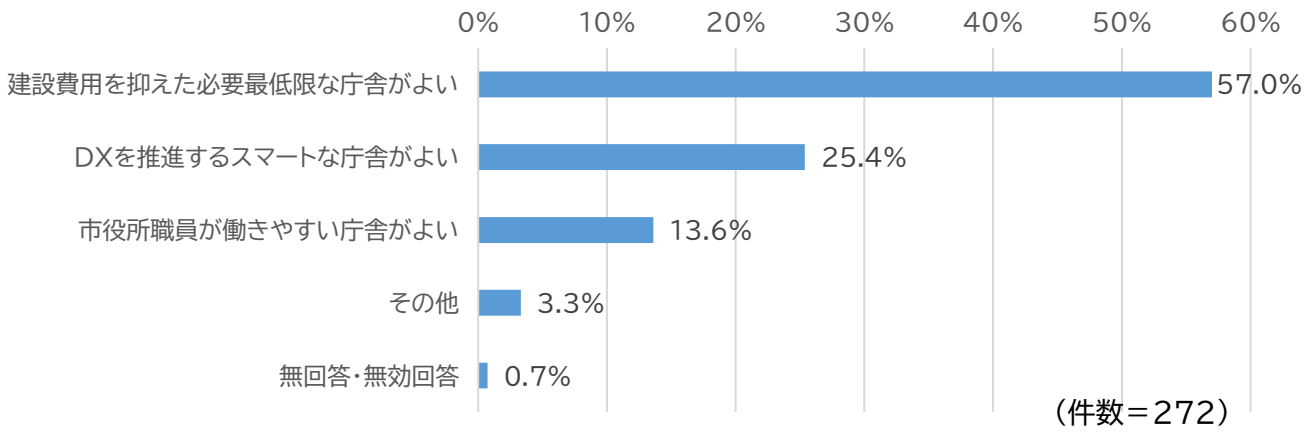
新庁舎整備事業の認知度に関わらず、「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が最も高くなっています。

認知別	1位	2位	3位
知っている （件数＝202）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （60.4%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （25.7%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （10.9%）
知らない （件数＝75）	カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎 （66.7%）	市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなど （24.0%）	人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎 （8.0%）

6-1-2-2 「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由

「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ方にお尋ねします。
問2－(1) 2.「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由(1つに○)

「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由として、「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」(57.0%)が最も高く、次いで「DX を推進するスマートな庁舎がよい」(25.4%)となっています。



【年代別】

年代別にみると、20 代以下では「市役所職員が働きやすい庁舎がよい」や「DX を推進するスマートな庁舎」が上位となっています。一方で、30 代以上は「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎」が 2 位以下にポイント差をつけて 1 位となっています。

年代	1位	2位	3位
10 代 (件数＝8)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (37.5%)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎、DX を推進するスマートな庁舎 (同率 25.0%)	
20 代 (件数＝15)	DX を推進するスマートな庁舎 (60.0%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (26.7%)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (13.3%)
30 代 (件数＝28)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (67.9%)	DX を推進するスマートな庁舎 (28.6%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (3.6%)
40 代 (件数＝47)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (56.9%)	DX を推進するスマートな庁舎 (31.9%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (4.3%)
50 代 (件数＝51)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (56.9%)	DX を推進するスマートな庁舎 (21.6%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (15.7%)
60 代 (件数＝42)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (50.0%)	DX を推進するスマートな庁舎 (33.3%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (16.7%)
70 代 (件数＝58)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (67.2%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい (15.5%)	DX を推進するスマートな庁舎 (12.1%)
80 代以上 (件数＝23)	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 (65.2%)	市役所職員が働きやすい庁舎がよい、DX を推進するスマートな庁舎 (同率 13.0%)	

【居住地区別】

居住地区別にみると、伊深地区では「DX を推進するスマートな庁舎」が「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎」と同率 1 位となっています。三和地区では「市役所職員が働きやすい庁舎がよい」が「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎」と同率 1 位となっています。

居住地区	1位	2位	3位
太田 （件数＝56）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （64.3%）	DX を推進するスマートな庁舎 （16.1%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （14.3%）
古井 （件数＝80）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （57.5%）	DX を推進するスマートな庁舎 （23.8%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （17.5%）
山之上 （件数＝19）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （52.6%）	DX を推進するスマートな庁舎 （31.6%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （15.8%）
蜂屋(中部台含む) （件数＝43）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （41.9%）	DX を推進するスマートな庁舎 （34.9%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （11.6%）
加茂野 （件数＝41）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （63.4%）	DX を推進するスマートな庁舎 （29.3%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （2.4%）
伊深 （件数＝4）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎、DX を推進するスマートな庁舎 （同率 50.0%）		市役所職員が働きやすい庁舎がよい （0.0%）
三和 （件数＝2）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎、市役所職員が働きやすい庁舎がよい （同率 50.0%）		DX を推進するスマートな庁舎 （0.0%）
下米田 （件数＝26）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （57.7%）	DX を推進するスマートな庁舎 （23.1%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （19.2%）

【新庁舎整備事業の認知度別】

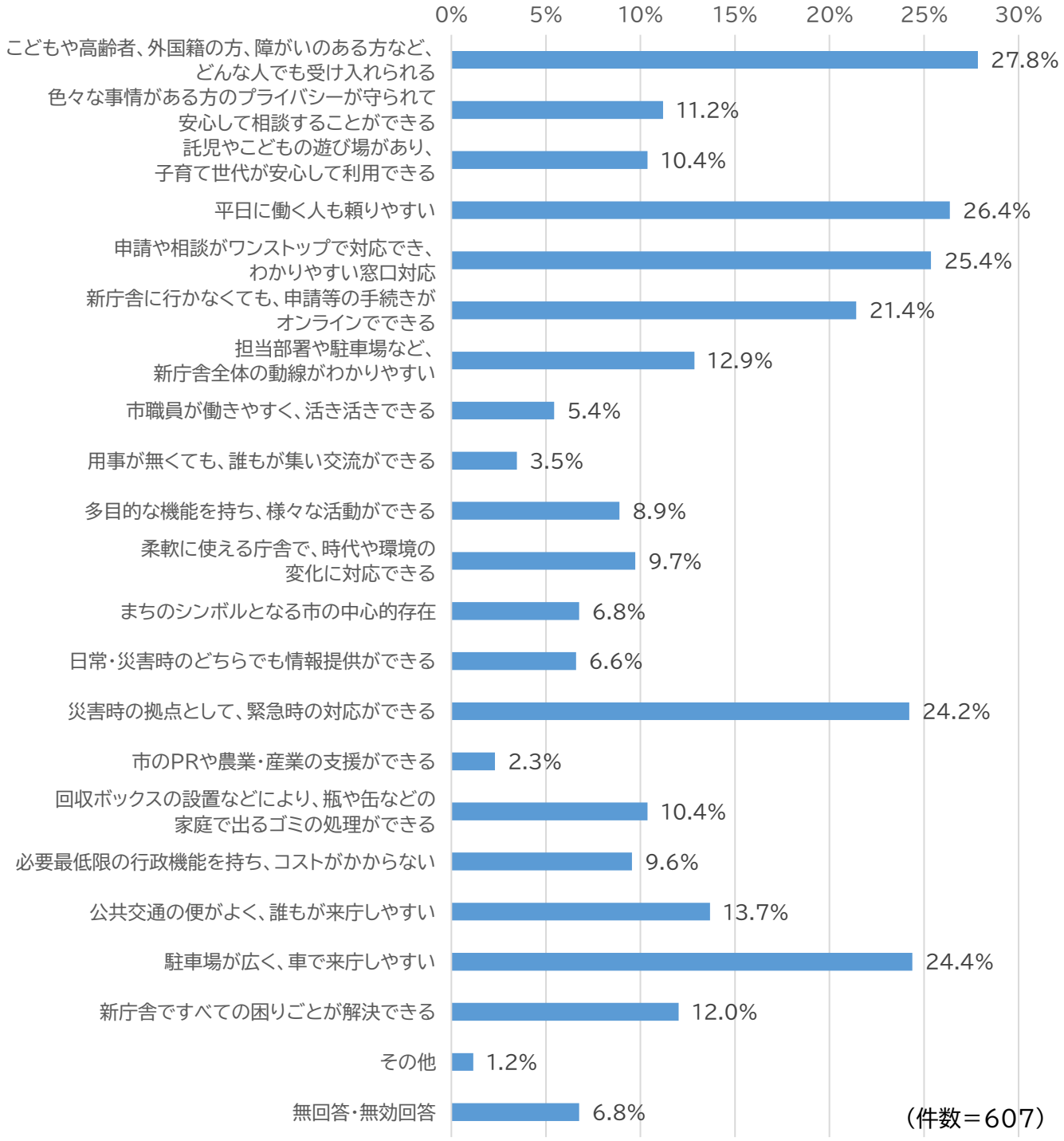
新庁舎整備事業の認知度に関わらず、「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」が 1 位となっています。

認知別	1位	2位	3位
知っている （件数＝199）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （57.8%）	DX を推進するスマートな庁舎 （25.6%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （11.6%）
知らない （件数＝70）	建設費用を抑えた必要最低限な庁舎 （54.3%）	DX を推進するスマートな庁舎 （25.7%）	市役所職員が働きやすい庁舎がよい （18.6%）

6-2 重要と思う新庁舎の役割

（2）第2回ワークショップでは、新庁舎の役割として、別紙1（P3～5）のとおり意見が出されました。新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に〇をつけてください。（あてはまる項目3つに〇）

「こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる」（27.8%）が最も高く、次いで「平日に働く人も頼りやすい」（26.4%）、「申請や相談がワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応」（25.4%）、「駐車場が広く、車で来庁しやすい」（24.4%）、「災害時の拠点として、緊急時の対応ができる」（24.2%）となっています。



【年代別】

全体で最も高い「どんな人でも受け入れられる」は 10 代・80 代以上で 1 位となっており、70 代で 2 位、20 代・30 代・50 代・60 代では 4 位、40 代では 5 位となっています。

20 代～50 代の働く世代では「平日に働く人も頼りやすい」が 1 位となっています。また、30 代以下では「子育て世代が安心して利用できる」が 3 位と全体よりも高い順位となっています。

年代	1位	2位	3位	4位	5位
10 代 （件数＝22）	どんな人でも受け入れられる （59.1%）	プライバシーが守られて安心して相談ができる （27.3%）	子育て世代が安心して利用できる／平日に働く人も頼りやすい （同率 22.7%）		多目的な機能を持つ／災害時の拠点 （同率 18.2%）
20 代 （件数＝48）	平日に働く人も頼りやすい （45.8%）	申請の手続きがオンラインでできる （41.7%）	子育て世代が安心して利用できる （33.3%）	どんな人でも受け入れられる （20.8%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい （18.8%）
30 代 （件数＝60）	平日に働く人も頼りやすい （43.3%）	申請の手続きがオンラインでできる （36.7%）	子育て世代が安心して利用できる （33.0%）	どんな人でも受け入れられる （28.3%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応 （23.3%）
40 代 （件数＝94）	平日に働く人も頼りやすい （39.4%）	申請の手続きがオンラインでできる （27.7%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応／駐車場が広く、車で来庁しやすい （同率 26.6%）		どんな人でも受け入れられる／災害時の拠点 （同率 21.3%）
50 代 （件数＝98）	平日に働く人も頼りやすい （36.7%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい （30.6%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応 （28.6%）	どんな人でも受け入れられる （27.6%）	申請の手続きがオンラインでできる （24.5%）
60 代 （件数＝93）	ワンストップでわかりやすい窓口対応 （33.3%）	災害時の拠点 （29.0%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい （28.0%）	どんな人でも受け入れられる （26.9%）	平日に働く人も頼りやすい（17.2%）
70 代 （件数 125）	災害時の拠点 （35.2%）	どんな人でも受け入れられる／駐車場が広く、車で来庁しやすい （同率 26.4%）		公共交通の便がよい （24.8%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応 （23.2%）
80 代以上 （件数＝66）	どんな人でも受け入れられる （36.4%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応 （27.3%）	災害時の拠点 （24.2%）	公共交通の便がよい／駐車場が広く、車で来庁しやすい （同率 19.7%）	

【居住地区別】

居住地区別にみると、蜂屋地区・加茂野地区・伊深地区では「平日に働く人も頼りやすい」が 1 位となっています。三和地区では「ワンストップで分かりやすい窓口対応（60.0%）が最も高くなっており、2 位と 20 ポイント差があります。

居住地区	1位	2位	3位	4位	5位
太田（件数＝128）	どんな人でも受け入れられる／災害時の拠点（同率 27.3%）		平日に働く人も頼りやすい（25.0%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（24.2%）	全ての困りごとを解決できる（21.9%）
古井（件数＝176）	どんな人でも受け入れられる（29.5%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応（27.8%）	平日に働く人も頼りやすい（23.3%）	申請の手続きがオンラインでできる（22.2%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（21.6%）
山之上（件数＝32）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（31.3%）	どんな人でも受け入れられる（29.5%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応／新庁舎全体の動線がわかりやすい（同率 25.0%）		災害時の拠点／必要最低限の行政機能を持ち、コストがかからない（同率 21.9%）
蜂屋（中部台含む）（件数＝95）	平日に働く人も頼りやすい（30.5%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応（27.4%）	災害時の拠点（26.3%）	どんな人でも受け入れられる（25.3%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（24.2%）
加茂野（件数＝99）	平日に働く人も頼りやすい（30.3%）	災害時の拠点／どんな人でも受け入れられる（同率 29.3%）		申請の手続きがオンラインでできる（28.3%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（26.3%）
伊深（件数＝13）	平日に働く人も頼りやすい（53.8%）	申請の手続きがオンラインでできる（38.5%）	どんな人でも受け入れられる／災害時の拠点（同率 30.8%）		ワンストップでわかりやすい窓口対応／公共交通の便がよい／駐車場が広く、車で来庁しやすい（同率 23.1%）
三和（件数＝5）	ワンストップでわかりやすい窓口対応（60.0%）	災害時の拠点／駐車場が広く、車で来庁しやすい（同率 40.0%）		平日に働く人も頼りやすい／申請の手続きがオンラインでできる／市職員が働きやすい／公共交通の便がよい／すべての困りごとが解決できる（同率 20.0%）	
下米田（件数＝57）	どんな人でも受け入れられる／駐車場が広く、車で来庁しやすい（同率 26.3%）		ワンストップでわかりやすい窓口対応（24.6%）	平日に働く人も頼りやすい／申請の手続きがオンラインでできる（同率 22.8%）	

【新庁舎整備事業の認知度別】

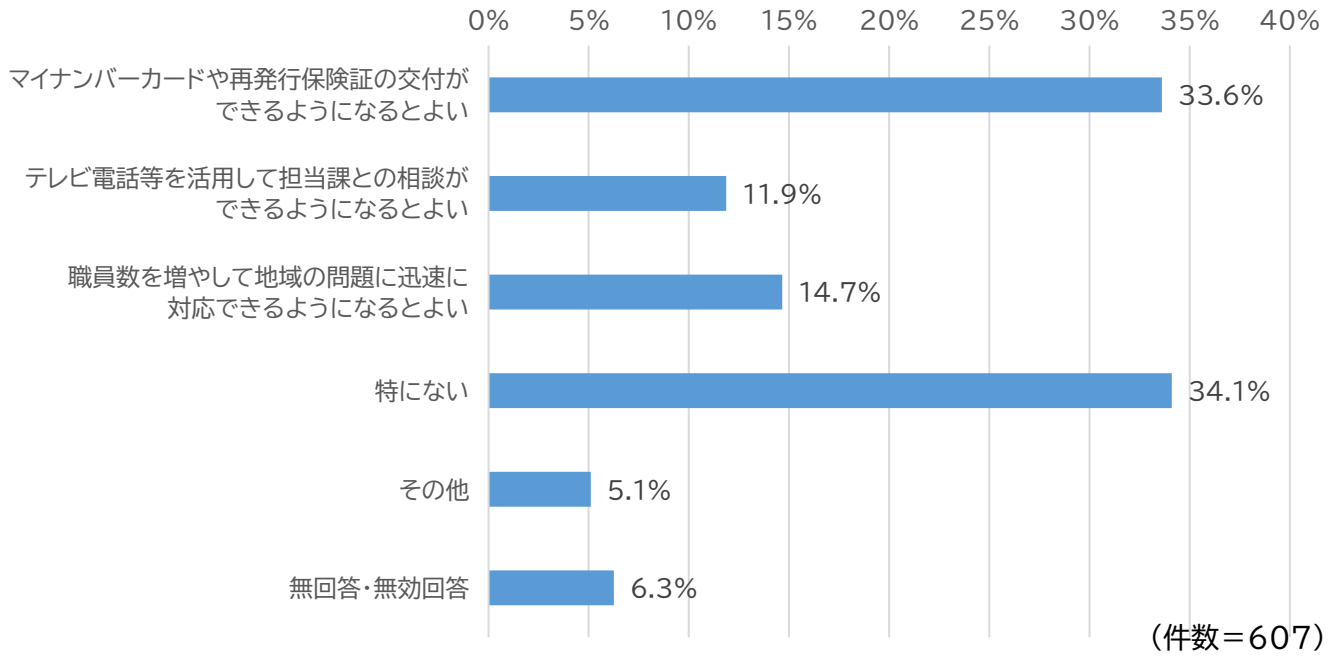
新庁舎整備事業の認知度別でみると、新庁舎整備事業を知っている人では「災害時の拠点として、緊急時の対応ができる」1 位となり、新庁舎整備事業を知らない人では「平日に働く人も頼りやすい」が 1 位となっています。

認知別	1位	2位	3位	4位	5位
知っている（件数＝448）	災害時の拠点（27.9%）	どんな人でも受け入れられる（26.6%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応（26.1%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（25.4%）	平日に働く人も頼りやすい（24.1%）
知らない（件数＝155）	平日に働く人も頼りやすい（33.5%）	どんな人でも受け入れられる（31.0%）	申請の手続きがオンラインでできる（27.1%）	ワンストップでわかりやすい窓口対応（23.9%）	駐車場が広く、車で来庁しやすい（20.6%）

6-3 連絡所でできるようになるとよいこと

(3)ワークショップでは連絡所の機能強化に多くの意見が出されました。連絡所でできるようになるとよいことをお選びください。

「特にない」(34.1%)が最も多く、次いで「マイナンバーカードや再発行保険証の交付ができるようになるとよい」(33.6%)となっています。



【年代別】

年代別にみると、10 代・20 代・40 代では「マイナンバーカードや再発行保険証の交付ができるようになるとよい」が 1 位となっており、2 位と 15 ポイント以上の差があります。

年齢別	1位	2位	3位
10 代 （件数＝22）	マイナンバーカード等の交付 （63.6%）	特にない （22.7%）	テレビ電話等で相談 （9.1%）
20 代 （件数＝48）	マイナンバーカード等の交付 （58.3%）	特にない （22.9%）	テレビ電話等で相談／地域問題の対応 （同率 10.4%）
30 代 （件数＝60）	特にない （40.0%）	マイナンバーカード等の交付 （36.7%）	地域問題の対応 （15.0%）
40 代 （件数＝94）	マイナンバーカード等の交付 （41.5%）	特にない （25.5%）	地域問題の対応 （12.8%）
50 代 （件数＝98）	特にない （41.8%）	マイナンバーカード等の交付 （29.6%）	地域問題の対応 （12.2%）
60 代 （件数＝93）	特にない （43.0%）	マイナンバーカード等の交付／地域問題の対応 （同率 17.2%）	
70 代 （件数＝125）	特にない （34.4%）	マイナンバーカード等の交付 （32.8%）	地域問題の対応 （16.0%）
80 代以上 （件数＝66）	特にない （28.8%）	マイナンバーカード等の交付 （22.7%）	地域問題の対応 （21.2%）

【居住地区別】

居住地区別でみると、山之上地区・蜂屋地区・加茂野地区・伊深地区では「マイナンバーカードや再発行保険証の交付ができるようになるとよい」が 1 位となっています。特に、北部の伊深地区では 1 位と 2 位に 15 ポイント以上の差があります。

地域別	1位	2位	3位
太田 （件数＝128）	特にない （37.5%）	マイナンバーカード等の交付 （30.5%）	テレビ電話等で相談 （11.7%）
古井 （件数＝176）	特にない （35.2 %）	マイナンバーカード等の交付 （23.9%）	地域問題の対応 （16.5%）
山之上 （件数＝32）	マイナンバーカード等の交付 （37.5%）	地域問題の対応 （28.1%）	特にない （25.0%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝95）	マイナンバーカード等の交付 （42.1%）	特にない （25.3 %）	地域問題の対応 （14.7%）
加茂野 （件数＝99）	マイナンバーカード等の交付 （44.4%）	特にない （32.3 %）	地域問題の対応 （15.2%）
伊深 （件数＝13）	マイナンバーカード等の交付 （53.8%）	特にない （38.5 %）	テレビ電話等で相談 （15.4%）
三和 （件数＝5）	特にない （40.0 %）	マイナンバーカード等の交付／地域問題の対応 （同率 20.0%）	
下米田 （件数＝57）	特にない （43.9%）	マイナンバーカード等の交付（31.6%）	地域問題の対応 （10.5%）

【新庁舎整備事業の認知度別】

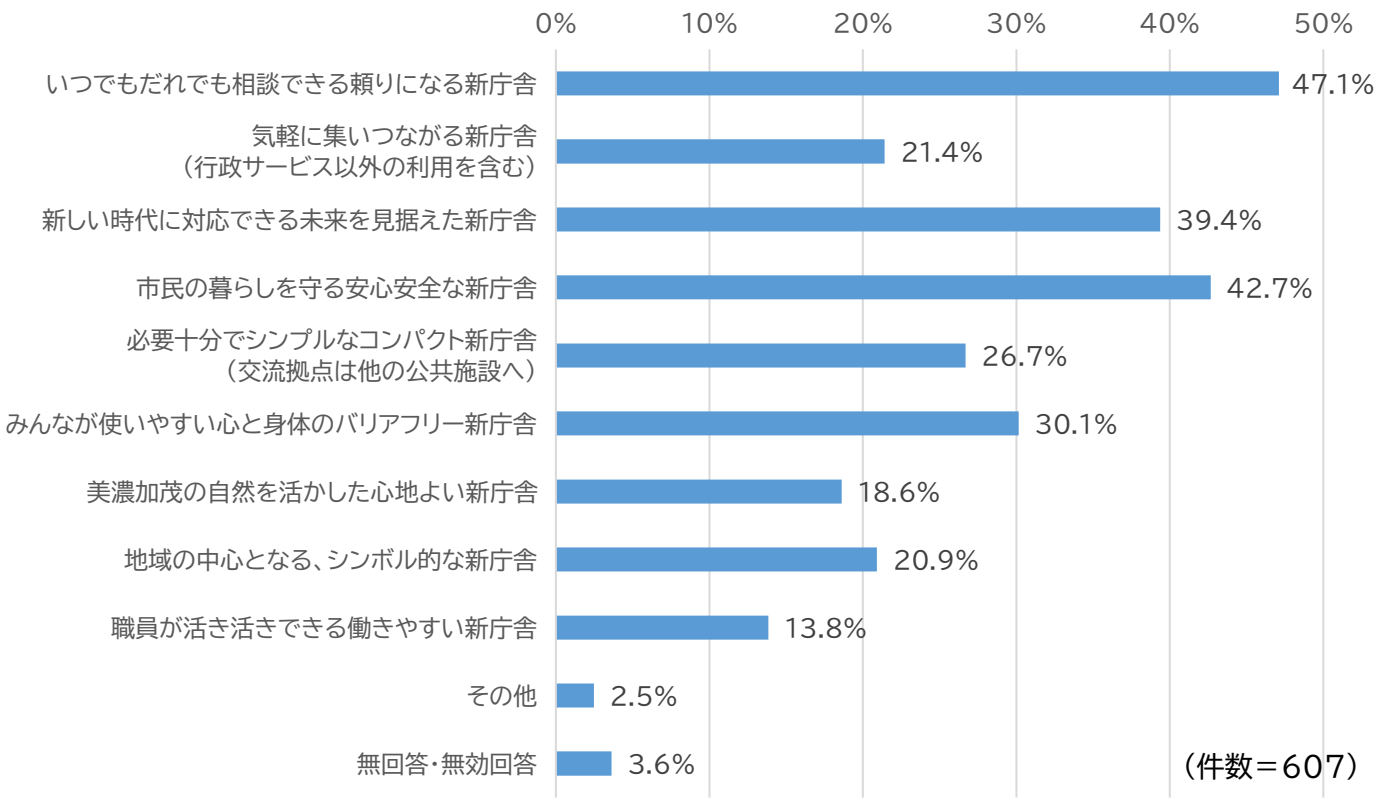
新庁舎整備事業の認知度別でみると、新庁舎整備事業を知っている人では「特にない」が１位となり、新庁舎整備事業を知らない人では「マイナンバーカードや再発行保険証の交付ができるようになるとよい」が１位となっています。

認知別	1位	2位	3位
知っている （件数＝448）	特にない （35.3%）	マイナンバーカード等の交付 （29.2%）	地域問題の対応 （16.1%）
知らない （件数＝155）	マイナンバーカード等の交付 （45.8%）	特にない （31.6%）	地域問題の対応 （10.3%）

7 新庁舎のコンセプト

(1)ワークショップでは、新庁舎のコンセプト(新庁舎に期待すること、どのような姿・存在であってほしいか)として、別紙1(P6～7)のとおり意見が出されました。
コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。
新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。(あてはまる項目3つに○)

「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」(47.1%)が最も高く、次いで「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」(42.7%)、「新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎」(39.4%)、「みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎」(30.1%)、「必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)」(26.7%)となっています。



【年代別】

年代別にみると 20 代以下と 70 代以上では、「地域の中心となる、シンボル的な新庁舎」が 5 位以内となっています。また、10 代では「気軽に集いつながる新庁舎」（45.5%）が 2 位となっています。

年齢別	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
10 代 （件数＝22）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （54.5%）	気軽に集いつながる （45.5%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （40.9%）	地域の中心となる、シンボル的な （31.8%）	市民の暮らしを守る安心安全な （27.3%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた／美濃加茂の自然を活かした心地よい （同率 22.7%）		職員が活き活きできる働きやすい （18.2%）	必要十分でシンプルなコンパクト （9.1%）
20 代 （件数＝48）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／新しい時代に対応できる未来を見据えた （同率 50.0%）		みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （33.3%）	地域の中心となる、シンボル的な （29.2%）	市民の暮らしを守る安心安全な （27.1%）	気軽に集いつながる／必要十分でシンプルなコンパクト （同率 18.8%）		美濃加茂の自然を活かした心地よい （16.7%）	職員が活き活きできる働きやすい （10.4%）
30 代 （件数＝60）	市民の暮らしを守る安心安全な （50.0%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （45.0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （40.0%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （31.7%）	必要十分でシンプルなコンパクト （26.7%）	気軽に集いつながる （25.0%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （21.7%）	地域の中心となる、シンボル的な （13.3%）	職員が活き活きできる働きやすい （6.7%）
40 代 （件数＝94）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （43.6%）	市民の暮らしを守る安心安全な （42.6%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （38.3%）	必要十分でシンプルなコンパクト／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （同率 26.6%）		気軽に集いつながる （24.5%）	地域の中心となる、シンボル的な （18.1%）	職員が活き活きできる働きやすい （17.0%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （13.8%）
50 代 （件数＝98）	市民の暮らしを守る安心安全な （50.0%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （49.0%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （34.7%）	必要十分でシンプルなコンパクト （33.7%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （29.6%）	気軽に集いつながる （25.5%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （18.4%）	地域の中心となる、シンボル的な （12.2%）	職員が活き活きできる働きやすい （11.2%）
60 代 （件数＝93）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （49.5%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （41.9%）	市民の暮らしを守る安心安全な （40.9%）	必要十分でシンプルなコンパクト （33.3%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （26.9%）	地域の中心となる、シンボル的な （22.6%）	気軽に集いつながる （19.4%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （17.2%）	職員が活き活きできる働きやすい （15.1%）
70 代 （件数＝125）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （48.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な （42.4%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （41.6%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （29.6%）	地域の中心となる、シンボル的な （27.2%）	必要十分でシンプルなコンパクト （26.4%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （20.8%）	気軽に集いつながる （16.0%）	職員が活き活きできる働きやすい （15.2%）
80 代以上 （件数＝66）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （54.5%）	市民の暮らしを守る安心安全な （45.5%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （37.9%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （22.7%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい／地域の中心となる、シンボル的な （同率 21.2%）		必要十分でシンプルなコンパクト （19.7%）	職員が活き活きできる働きやすい （16.7%）	気軽に集いつながる （15.2%）

【居住地区別】

居住地区別にみると、北部にあたる山之上地区・伊深地区では「地域の中心となる、シンボル的な新庁舎」、山之上地区では「職員が活き活きできる働きやすい新庁舎」、伊深地区・三和地区では「美濃加茂の自然を活かした心地よい新庁舎」が 5 位以内となっています。

地域別	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
太田 （件数＝128）	市民の暮らしを守る安心安全な （47.7%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （45.3%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （同率 33.6%）		必要十分でシンプルなコンパクト （28.9%）	気軽に集いつながる （23.4%）	地域の中心となる、シンボル的な （21.9%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （17.2%）	職員が活き活きできる働きやすい （10.2%）
古井 （件数＝176）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （55.1%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた／市民の暮らしを守る安心安全な （同率 39.8%）		みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （31.3%）	必要十分でシンプルなコンパクト （26.7%）	気軽に集いつながる （20.5%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい／地域の中心となる、シンボル的な （同率 19.9%）		職員が活き活きできる働きやすい （13.1%）
山之上 （件数＝32）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （43.8%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （40.6%）	必要十分でシンプルなコンパクト／地域の中心となる、シンボル的な／職員が活き活きできる働きやすい （同率 34.4%）			市民の暮らしを守る安心安全な （28.1%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （18.8%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （15.6%）	気軽に集いつながる （9.4%）
蜂屋 （中部台含む） （件数＝95）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （45.3%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／市民の暮らしを守る安心安全な （同率 37.9%）		みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （27.4%）	気軽に集いつながる （24.2%）	必要十分でシンプルなコンパクト （23.2%）	地域の中心となる、シンボル的な （18.9%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （17.9%）	職員が活き活きできる働きやすい （15.8%）
加茂野 （件数＝99）	市民の暮らしを守る安心安全な （52.5%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （45.5%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （38.4%）	必要十分でシンプルなコンパクト／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （同率 24.2%）		気軽に集いつながる （22.2%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （20.2%）	地域の中心となる、シンボル的な （19.2%）	職員が活き活きできる働きやすい （12.1%）
伊深 （件数＝13）	市民の暮らしを守る安心安全な （61.5%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （46.2%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （38.5%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （30.8%）	必要十分でシンプルなコンパクト／美濃加茂の自然を活かした心地よい／地域の中心となる、シンボル的な （同率 24.2%）			気軽に集いつながる／職員が活き活きできる働きやすい （同率 7.7%）	
三和 （件数＝5）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （80.0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた／市民の暮らしを守る安心安全な／必要十分でシンプルなコンパクト／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー／美濃加茂の自然を活かした心地よい （同率 40.0%）					気軽に集いつながる／地域の中心となる、シンボル的な／職員が活き活きできる働きやすい （同率 0.0%）		
下米田 （件数＝57）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （47.4%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （40.4%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた／市民の暮らしを守る安心安全な （同率 36.8%）		必要十分でシンプルなコンパクト （28.1%）	気軽に集いつながる （24.6%）	地域の中心となる、シンボル的な （22.8%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい／職員が活き活きできる働きやすい （同率 15.8%）	

【新庁舎整備事業の認知度別】

新庁舎整備事業の認知度別にみると、新庁舎整備事業を知っている人では「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」が 1 位となっています。

新庁舎整備事業を知らない人では、「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」が 2 位の「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」と 16.8 ポイント差をつけて 1 位となっており、全体よりも大きいポイント差があります。

認知別	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
知っている （件数＝448）	市民の暮らしを守る安心安全な （44.0%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （43.8%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （40.2%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （29.0%）	必要十分でシンプルなコンパクト （27.2%）	地域の中心となる、シンボル的な （22.5%）	気軽に集いつながる （21.9%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （19.4%）	職員が活き活きできる働きやすい （13.6%）
知らない （件数＝155）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （56.8%）	市民の暮らしを守る安心安全な （40.0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （36.1%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （32.9%）	必要十分でシンプルなコンパクト （25.2%）	気軽に集いつながる （20.6%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい/地域の中心となる、シンボル的な （同率 16.1%）		職員が活き活きできる働きやすい （13.5%）

【重要と思う新庁舎の役割別（P.25 回答別）】

重要と思う新庁舎の役割別（P. 25回答別）にみると、「申請等の手続きがオンラインでできる」や「新庁舎全体の動線がわかりやすい」といった、行政サービスの利便性に関する役割や「災害時の拠点として、緊急時の対応ができる」といった、災害に関する役割において、「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」が 1 位となっています。また、「まちのシンボルとなる市の中心的存在」の役割では「地域の中心となる、シンボル的な新庁舎」が 1 位となっている他、公共交通や駐車場といった交通の利便性に関する役割や産業振興に関する役割で 1 位となっています。

「どんな人でも受け入れられる」や「用事が無くても、誰もが集い交流ができる」といった、相談・交流に関する役割において「気軽に集いつながる新庁舎」が3位以内となっています。

「まちのシンボルとなる市の中心的存在」や「市の PR や農業・産業の支援ができる」といった役割では、「美濃加茂の自然を活かした心地よい新庁舎」が 3 位以内となっています。

役割	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
どんな人でも受け入れられる（件数＝169）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（59.2%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（13.6%）	気軽に集いつながる（13.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な（7.1%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（2.4%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい（1.8%）	必要十分でシンプルなコンパクト／職員が活き活きできる働きやすい（同率 0.6%）		地域の中心となる、シンボル的な（0.0%）
プライバシーが守られ相談することができる（件数＝68）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（48.5%）	気軽に集いつながる（17.6%）	市民の暮らしを守る安心安全な（13.2%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（7.4%）	必要十分でシンプルなコンパクト（5.9%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（4.4%）	地域の中心となる、シンボル的な（1.5%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい／職員が活き活きできる働きやすい（同率 0.0%）	
子育て世代が安心して利用できる（件数＝63）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（27.0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（23.8%）	気軽に集いつながる（20.6%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（12.7%）	市民の暮らしを守る安心安全な（7.9%）	必要十分でシンプルなコンパクト／地域の中心となる、シンボル的な／職員が活き活きできる働きやすい（同率 1.6%）			美濃加茂の自然を活かした心地よい（0.0%）
平日に働く人も頼りやすい（件数＝160）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（23.8%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（21.9%）	市民の暮らしを守る安心安全な（18.1%）	気軽に集いつながる（9.4%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（7.5%）	必要十分でシンプルなコンパクト（6.3%）	地域の中心となる、シンボル的な（1.9%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい（1.3%）	職員が活き活きできる働きやすい（0.0%）
ワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応（件数＝154）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（24. 0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（19.5%）	市民の暮らしを守る安心安全な（16.9%）	必要十分でシンプルなコンパクト（11.7%）	気軽に集いつながる（10.4%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（6.5%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい（3.2%）	地域の中心となる、シンボル的な／職員が活き活きできる働きやすい（同率 0.6%）	
申請等の手続きがオンラインでできる（件数＝130）	市民の暮らしを守る安心安全な（20.8%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（20.0%）	必要十分でシンプルなコンパクト（10.8%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（7.7%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（6.9%）	気軽に集いつながる（6.2%）	地域の中心となる、シンボル的な（4.6%）	職員が活き活きできる働きやすい（3.8%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい（2.3%）
新庁舎全体の動線がわかりやすい（件数＝78）	市民の暮らしを守る安心安全な（24.4%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（23.1%）	必要十分でシンプルなコンパクト（12.8%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（11.5%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（6.4%）	気軽に集いつながる／地域の中心となる、シンボル的な（同率 5.1%）		美濃加茂の自然を活かした心地よい（2.6%）	職員が活き活きできる働きやすい（1.3%）
市職員が働きやすく、活き活きできる（件数＝33）	必要十分でシンプルなコンパクト／職員が活き活きできる働きやすい（同率 18.2%）		新しい時代に対応できる未来を見据えた／市民の暮らしを守る安心安全な（同率 12.1%）		美濃加茂の自然を活かした心地よい（9.1%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／地域の中心となる、シンボル的な（同率 6.1%）		気軽に集いつながる／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（同率 3.0%）	
用事が無くても、誰もが集い交流ができる（件数＝21）	いつでもだれでも相談できる頼りになる（28.6%）	気軽に集いつながる（19.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な／地域の中心となる、シンボル的な（同率 14.3%）		新しい時代に対応できる未来を見据えた／必要十分でシンプルなコンパクト／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー／美濃加茂の自然を活かした心地よい（同率 4.8%）				職員が活き活きできる働きやすい（0.0%）
多目的な機能を持ち、様々な活動ができる（件数＝54）	市民の暮らしを守る安心安全な（25.9%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（18.5%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（14.8%）	気軽に集いつながる（13.0%）	必要十分でシンプルなコンパクト／地域の中心となる、シンボル的な（同率 5.6%）		美濃加茂の自然を活かした心地よい（3.7%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／職員が活き活きできる働きやすい（同率 1.9%）	
時代や環境の変化に対応できる（件数＝59）	新しい時代に対応できる未来を見据えた（22.0%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい（13.6%）	市民の暮らしを守る安心安全な／地域の中心となる、シンボル的な（同率 10.2%）		みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー（8.5%）	職員が活き活きできる働きやすい（6.8%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／気軽に集いつながる／必要十分でシンプルなコンパクト（同率 5.1%）		

役割	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
まちのシンボルとなる市の中心的存在 （件数＝41）	地域の中心となる、シンボル的な （24.4%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （19.5%）	気軽に集いつながる／新しい時代に対応できる未来を見据えた （同率 14.6%）		市民の暮らしを守る安心安全な （7.3%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （同率 4.9%）		職員が活き活きできる働きやすい （2.4%）	必要十分でシンプルなコンパクト （0.0%）
日常・災害時のどちらでも情報提供ができる （件数＝40）	市民の暮らしを守る安心安全な （25.0%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （20.0%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （15.0%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （12.5%）	必要十分でシンプルなコンパクト （10.0%）	地域の中心となる、シンボル的な （5.0%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （2.5%）	気軽に集いつながる／職員が活き活きできる働きやすい （同率 0.0%）	
災害時の拠点として、緊急時の対応ができる （件数＝147）	市民の暮らしを守る安心安全な （19.7%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （14.3%）	必要十分でシンプルなコンパクト／美濃加茂の自然を活かした心地よい （同率 12.9%）		地域の中心となる、シンボル的な （7.5%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （6.8%）	職員が活き活きできる働きやすい （6.1%）	気軽に集いつながる （4.1%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （2.7%）
市の PR や農業・産業の支援ができる （件数＝14）	地域の中心となる、シンボル的な （28.6%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （21.4%）	市民の暮らしを守る安心安全な／必要十分でシンプルなコンパクト／みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー／美濃加茂の自然を活かした心地よい／職員が活き活きできる働きやすい （同率 7.1%）					いつでもだれでも相談できる頼りになる／気軽に集いつながる （同率 0.0%）	
瓶や缶などの家庭で出るゴミの処理ができる （件数＝63）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （19.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な／美濃加茂の自然を活かした心地よい （同率 15.9%）		新しい時代に対応できる未来を見据えた／必要十分でシンプルなコンパクト／職員が活き活きできる働きやすい （同率 6.3%）			いつでもだれでも相談できる頼りになる （4.8%）	気軽に集いつながる／地域の中心となる、シンボル的な （6.3%）	
必要最低限の行政機能を持ち、コストがかからない （件数＝58）	必要十分でシンプルなコンパクト （22.4%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （19.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な （12.1%）	地域の中心となる、シンボル的な （8.6%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （6.9%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （5.2%）	職員が活き活きできる働きやすい （3.4%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／気軽に集いつながる （同率 1.7%）	
公共交通の便がよく、誰もが来庁しやすい （件数＝83）	地域の中心となる、シンボル的な （15.7%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （14.5%）	職員が活き活きできる働きやすい （12.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な／必要十分でシンプルなコンパクト （同率 10.8%）		新しい時代に対応できる未来を見据えた （7.2%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （4.8%）	気軽に集いつながる （2.4%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる （1.2%）
駐車場が広く、車で来庁しやすい （件数＝148）	地域の中心となる、シンボル的な （22.3%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （18.2%）	市民の暮らしを守る安心安全な （10.8%）	職員が活き活きできる働きやすい （10.1%）	必要十分でシンプルなコンパクト／美濃加茂の自然を活かした心地よい （同率 9.5%）		新しい時代に対応できる未来を見据えた （3.4%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／気軽に集いつながる （同率 0.7%）	
新庁舎ですべての困りごとが解決できる （件数＝73）	必要十分でシンプルなコンパクト （20.5%）	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー （17.8%）	職員が活き活きできる働きやすい （15.1%）	地域の中心となる、シンボル的な （13.7%）	美濃加茂の自然を活かした心地よい （11.0%）	市民の暮らしを守る安心安全な （8.2%）	新しい時代に対応できる未来を見据えた （1.4%）	いつでもだれでも相談できる頼りになる／気軽に集いつながる （同率 0.0%）	

8 新庁舎整備事業に関するご意見

問 4. 新庁舎のあり方、整備の進め方についてご意見などありましたら、ご記入ください。
（自由意見・要望など）

【規模】

- 美濃加茂市の将来人口規模をどの程度と考えているのか。それによって事務員数及び庁舎の規模も決まってくるのでは。又庁舎の位置については、現在及び将来人口分布によって検討しては。なお美濃太田駅を使って市役所来庁される方限定的、やはり自動車での利用者が多いのでは。
- 新庁舎は広々とした所が良いと思います。出来たら野外でのんびり出来る。もちろん交通の便も大事です。災害の事も考えて。

【立地】

- 太田町中心に片寄らないで頂きたい！
- 災害時、大病院と共働できるように、近い位置（歩いて情報交換ができる距離）に建てると良いと思います。
- 新庁舎は、中部国際医療センターの方に移転して、今の市役所は太田連絡所として残して欲しいです。
- 中部国際医療センターのように坂の上にできると高齢者の方は行きづらいので、やめていただきたい。美濃太田駅周辺に作って頂きたいです。
- 駅北（大手町公園の辺り）に新庁舎はできれば、もっと遠くの方たちが使いやすい市役所になると思う。ご検討よろしくお願いします。
- 駅北側の公園内に地下駐車場もつくり、高層ビルにして建設すると良い。太田駅に近いことが大切。
- 年をとっても行きやすい場所に建ててほしい。
- 新庁舎を建設する場所は市民の人たちが一番行きやすい、道がわかりやすい場所を選んだ方がいいと思います。できれば駅から行きやすいところがいろんな人に来てもらいやすいと思います。
- 美濃加茂市中心部にあり、どの地区からでも不便のない場所にあるとよい。必要最低限の建物で良いが美濃加茂らしいインパクト仕様にしてもよいと思う。
- 新庁舎は前平のプール跡地がいいです。公園も近くにあるので、子育て世代も利用しやすく、高齢者の方の健康作りの取り組みにもつなげることができるのではないでしょうか。自然豊かな環境であることを働きやすさ、行きやすさ、いやし空間となりよいと思います。
- 現場の場所に市役所の建て替えになればいいと思う。あまり、お金がかからないようにしてほしいです。
- 太田町、古井町内にこだわる必要は無く土地代の安い山之上町、下米田町で広々とした敷地が必要と思う。
- 新庁舎の建設地選びは非常に関心があります。多数の意見があると思いますが、市民が安全で安心して出向くことのできる場所であってほしいと願います。（この先の未来までも）
- 先ずは、新庁舎の場所を早期確保、土地が狭ければ立体駐車場等も考慮しつつ、以前話しがあった駅前は反対します。
- 新庁舎の場所ですが、現在、伊深、三和、山之上等イノシシ、サル等に荒らされ農業離れの人が増えてきたそんな事も考えて、頭のスミにおいていただいてもよい。伊深の私共はわずかの畑をやっていましたが、すぐ動物にやられ何も作れなくなりました。
- 現在地利用して駐車場確保の上、高層ビル
- 新庁舎はコンパクトな高層階（土地）にすれば今の場所でも良いのでは（太田駅前再開発）障がい者福祉（身体、知的）に強い市であってほしい。

- 美濃太田駅に近い所がよいです。できれば南側、最近北側が発展しすぎて、、、！！！
- ワークショップの意見は新庁舎に関する内容がズレかけている様に見えます。(単なる市民要望の感じ)広い土地にゆったりとした庁舎の計画を望みます。
- 交通のいい所に一目で誰でもわかるバリアフリーな作りがいいと思う。申請や災害時に迅速な判断(手続き)ができるワンストップ型
- 新庁舎建設するにあたって新しく土地を考えるのもありですが今の場所に新しく立て直すのもありだと思います。
- 駅前に建設は反対。美濃加茂市の未来を見据えた建設地を考えて欲しい。
- 新庁舎の建設地は加茂野町日立工場の北側の農地にお願いします。その見本は関市役所であり、建物、駐車場は申し分のない広さで建物も最適だと思います。太田駅前の建設は絶対反対です。今の交通手段は車であり最適だと思います。
- 木曽川の氾濫が(昭和 58 年 9 月 28～29 日)ありました。ハザードマップ、100 年に1回程度の降雨で美濃太田駅(高山線)南側まで浸水が発生する場合があるので新庁舎は高山線より北側が好ましいと考えられます。
- 移転先→場所の移転が前提にあると思いますが、候補地として前平が良いと思います。①木曽川が大洪水で内水排除が不能となって市街地や低地が浸水しても市の機能を失うことはない。市民の避難場所にできる。②前平駅と太田駅を連携させ列車の本数を増やせば交通の便はそう悪くない。駅が近ければ店も出来てくる。近くには前平公園もあり自然環境もよい。③庁舎の屋根には太陽装置を高齢者のためにエスカレーターを設置されたい。
- 災事や災害の時の物資の輸送や車や人の動きを考えると今の駅前は適切とは考えづらいです。たとえば、前平公園付近だと水害に心配も無く近くの企業の駐車場等をヘリポートとして使用仮設テントの設置・東西南北どこからでも車を利用する人数が多いと思います。時代の流れを考えるとバス等の公共交通機関を利用する人より車を利用する人数が多いと思います。
- 駅前周辺では建設費、将来の維持費ともに高くなるから郊外型の新庁舎を望む。

【交通】

- 移動が容易いというのは建物の内だけの事では無いと思います。新庁舎まで移動できなければ、利用しやすいとは言えないと思います。
- また、移動できない人の事も考えた行政を執り行って頂きたいと思います。
- 私は伊深町に住んでいます。今の市役所は美濃加茂市北部からはあまり便がよくありません。今はこどもも大きくなりましたが、赤ちゃんだった頃は連れて市役所に行くのは大変でした。今も隣の生涯学習センターに行くことがありますが、行きにくいです。また歳をとった時にも訪れにくいなぁと思うので、美濃加茂市北部からも便がよく、用事がなくても訪れたいなぁと思える新庁舎になると嬉しいです。
- 交通便が良い所にして下さい。
- 交通渋滞が起きにくい場所に新庁舎を建てて下さい。
- 交通の便については、車利用が主になると思う。
- 公共交通機関の乗り入れを是非。高齢者でも利用できるように、交通アクセスを整備、思い切って郊外へ。
- 年をとると車も運転ができない。新しい新庁舎に行くにもやっぱりバスだけとなるだろう、行き方が楽な方法を考えて欲しい。市役所への用事なんて決まっている支所で十分終わるから新ためて必要性はわからないといっても1度は行きたいので何か考えて欲しいでもどこに出来るのかな？今の所に作るのかな。
- 役所の方だけわかっていても、外から来た人にわかりやすく(誰が見ても)。地域密着とまでは無理としても私には、小さい子供がいる訳でもないので、つながりが出来づらい(途中から移住者にはリスクは高すぎ)まして

先日バスに乗り銀行行きましたが、帰りのバスがなく、結局タクシーでこれでは、バスの利用は無理。右回り、左回り？？わかりませんでした。もっとだれにもわかる様にしてほしい、のりづらい。

【駐車場】

- 駐車場が広いとありがたいが、今後高齢者になったときでも利用しやすい庁舎であって欲しいです。
- 来庁は車使用が多くなると考えられます。今後高齢になり町中、混雑した場所への移動には不安を感じます。庁舎周辺道路及び駐車場は広くして欲しいです。
- 美濃加茂市又は岐阜県所有の土地を利用し、安価で広い駐車場があると良いと思います。太田駅前は狭く行き辛い。
- 駐車場を広くとってほしい。
- 北部地域の人が、利用しやすい場所であってほしい。駐車場が広く、車での利用がしやすい。
- 交通の便が良い場所、駐車場が広く取れる場所※公共交通を使って訪れる人は少ないと思うから。
- 道も広く、駐車場が多い事を願います！！楽しみにしております！
- 駐車場を広くして、職員も無料で利用できるように。
- 駐車場を広くしてほしい。
- 車の駐車場にはEV用の接続があるとよい（有料）
- 庁舎の前に広い駐車場があること。

【災害】

- 多少不便でも災害マップの警告エリア外にて建築するのが良いと思っている。蜂屋など山の方になってしまうが、関市役所のように市街地にこだわる必要はないと思える。その分、地域交通を充実したり、DX 推進にて手続きのデジタル化と簡素化で対応するべきであると思っている。駐車場が必要なのは災害時の避難場所、自衛隊・海外救援隊の駐屯場所、給水場所など多用途に使えるようにするべきであると言う観点から賛成した。
- 市役所の最大の役割は、災害時の拠点になることだと思います。なので、災害に強い場所、建物であるべきだと思います。カフェやみんなの集える場所なんてのは民間に任せるべきで二の次の事だと思います。市でしかできない事を意識してほしい。また、費用を抑える必要はあるものの、将来も長く使える建物（設計）であれば、多少の費用増加は致し方ないと思います。将来のことを考えたプロジェクトにしてほしいです。
- 太田地区は、大災害時に洪水被害になるのではないかと思います。西町より北側、いわゆる一段上の地区に建てるのが理想では？また、できるなら将来防災機能（警察、消防）も近くに移転できるように広い土地を確保できるならしておいてほしい。
- 昨今の自然現象の事象は想定外なものが多く発生している。その意味で 50 年～100 年度を見据えて自然災害に強い新庁舎の建設を望みます。
- 災害時に機能を果たせる安心な場所へ。
- 災害の影響を受けにくい場所の選定・屋上にヘリポートの設置。
- 年々各地での災害も多くなっているので、そうゆう場合でも新庁舎で対応しやすく市民の為にある場所であってほしい。
- 防災拠点として高台につくって下さい。
- 有事、災害発生時に確実に対応できる立地。
- 市役所は、災害時にきちんと活動できる様な場所にあってほしい。何年か前、牧野が断水した時大変でした。
- 災害の影響を受けない地盤の硬い安全な場所に建設するのが大切だと思います。

- 自然災害が年々ひどくなっているので災害があっても行政が停滞しない場所（洪水で機能できなかった前回）。市民が避難出来る場所（特に水害等）。
- まず第一に自然災害に強い庁舎であることが大事です。それでないと何も始めることができません。（立地条件が大事）。

【利便性】

- 手続きの待ち時間が短くなるとうれしいです。
- 庁舎内がわかりやすいことが一番です。
- 市民に寄り添う、何事もわかりやすい。市民に優しい市役所になれば良い。確かに今の庁舎は暗く未来が見えないと感じる。職員もそれでは明るくふるまえないのではないのだろうか。
- （迷いがない）受付での分かりやすい窓口案内、わかりやすい動線のレイアウト。
- 高齢者としては、新庁舎が完成しても利用することは限られていると思います。自宅で、介護や国保等の生活関連の行政手続きが高齢者でも簡易に出来るシステムを希望します。
- 交通の便が良く、新庁舎内がわかりやすく誰もが目的の課にすぐに行ける。
- 様々な手続きを待ち時間無く、平等で丁寧に行う。

【複合用途】

- 市役所は用事がない限り行かない場所です。ですから、たまに行くと、不便さを感じます。なぜなら、そこには役場の機能しかないから、役場に行って、役場の用事のみで引き返すのみだからです。何か飲食ができる施設や、外国語を学べるスペース（美濃加茂市は多文化）、自然を感じられる場所などがあれば、市役所に行くではなく、立ち寄った先に市役所がある、といった複合要素であると、さらに身近に感じられます。
- 利用出来るのが市民だけでは無く、美濃加茂市に遊びに来た方や近隣の方にも美濃加茂市をアピール出来る場所になるようにしたい。
- 図書館や託児所、学生達が気軽に勉強が出来るフリースペースなどあるといい。学生が利用出来るとあいあいバスの利用も増えて、利用者が増えればバスの本数も増えるから、行き来もスムーズになるのかなとも思う。
- 子供から大人まで誰もが利用出来る安心な場所だといい。
- 関市の庁舎を参考にして欲しいです。図書館、育児スペース、学習スペース、テレワークスペース、喫茶店　など、充実しているため、気軽に立ち寄れる庁舎となっているため、理想的です。
- 最新の市庁舎（各務原）を参考にしたら・市民ギャラリー併設（関市）・（文化創造）
- 市民の人や他の町から来る人も集えるような、美濃加茂が中心的な新スポットになる新庁舎があると良い。例えば、隈研吾さんの様な近未来チックな建物であるとより、インパクトを強く持たせることができると思う。
- 地域のこども会、敬老会、婦人会などの活動の様子を展示するスペースや小さめのコンビニくらいの売店があってもよいと思う。
- 「複合商業施設を含む魅力ある新庁舎」マイカーや公共交通機関でアクセスしやすい場所に、斬新な設計の市民の誇りになる様な新庁舎を建てていただきたい。
- 勉強できるスペースをつくってほしいです。
- こどもと遊べる。こども用トイレの設置。体育館がほしい。
- 現在の庁舎へは、事務手続きで訪問するのみなので、新庁舎になったら気軽に子供と訪れることができるような場所になるとうれしいです。
- 不登校の子やその親が集える場所があると良い。また LGBT の人の集える場所など。学生でも分かりやすい新

庁舎のしくみなどの講座があると良いと思う。

- はじめに、市民の意見を聞く場をつくってくださり、また、意見を聞いてくださり、ありがとうございます。とても感謝しています。理想の新庁舎は、①まわりに公園があり緑がある→照り返し防止で気温上昇をおさえる・待合室から緑を見る→リラックス効果、椅子を座り心地のいいものにする→精神的に落ち着いて相談ができるようにするといい。音楽も流す。②公園は、ウォーキング、ランニング、体操ができる→健康促進になる。さらに、防災公園にする。マンホールトイレ、かまどベンチ、井戸、テント設営できる→災害時拠点とする③職員駐車場も近くにちゃんとある→地下駐車場を貯水や地下シェルターに利用する④魅力ある建物にする→魅力ある建物や、公園があれば、人が集まり、お店ができてくると思います。⑤社食をつくる、市の食材を使って健康食を作る、市民も利用できる→職員、市民の健康維持、食事をしながら相談など、交流の場になる。『人が利用してこそ建物は生きる』と思います。まわりに人っ子 1 人もいないさみしい市役所より、公園で子連れが遊んで、ベンチでお年寄りがお話ししていて、ランニングしている若者がいて、車椅子の方が 1 人で入っていける、そんな新庁舎だったらいいなー「住んでみたい！」と思える街になると思います。
- 趣味広場を作り、いつでも誰でも気軽に楽しめる環境作り、運営はボランティアの方へ、任せ活き活きと過ごせる所であって欲しい。老々介護の補助、学童保育の補助、場所を分けずお互いコミュニケーションとれる雰囲気をつくる。
- 誰もが気軽に利用できて、カフェや食堂・展望台を兼ね備えた施設がいい。
- 今の市役所は暗く古い感じなので早く新しくなってほしいです。（職員が活気よくなってほしい）文化の森をもっと活用できると良いと思います。ので、文化の森周辺に図書館、公園、音楽広場など市民が集まる場所あるといいですね。
- コストや無駄をおさえるため大規模な交流スペースは必要ないと思うが普段から市役所の中身を知るきっかけとなるよう、そこで働く人や用事があって訪れる人はもちろん、一般市民も外から気楽に利用する事ができるような食事、喫茶の店、あるいはコンビニ、市の特産品店など併設しているとよいかと。
- こどもから高齢者が気軽に過ごせるペース・場所があり、市の職員が中心となり、交流やコミュニケーションができ、美濃加茂市に住んでいくことで安心して過ごせることを感じられる。居場所の提供づくりお願いしたいです。新庁舎の役割について、市民の意見を催しを開催しながら結果をまとめていることを知る事ができました。これからも市民に寄り添い、素敵な美濃加茂市作り、宜しくお願いします。
- 市民の交流の場となる複合的な新庁舎を希望しますので安価で購入できる広い土地が必要と考えます。
- 地元企業で地元の資材そして雇用を創出出来る店舗等誘致して欲しいです。
- 今はいろんな庁舎が最上階にレストランやカフェなど併設していて市民や市外の人も楽しめるようになっていますよね。そんな感じにして下さい。そして図書館も併設されるとうれしいです。普通の図書館は今のままで何かに特化した図書館を作って下さい。例えば世界の絵本や外国語で書かれた小説などいくつかテーマを決めてそれに特化した本を置いて下さい。そして大人も子供ももっと外国語に触れ合える場を作って下さい。英語はもちろんポルトガル語や中国語やフランス語、ドイツ語、ロシア語などもっと外国語にふれることのできる機会を作ってあげて下さい。（サークル活動としてではなく）

【シンプルな用途】

- 庁舎と交流場所は分けた方が良いと思う。
- 必要最低限でよい。市役所に交流の場は必要ない。
- 建物の老朽化により、新庁舎を建てると聞いています。市役所にワクワクを求めていませんし、集う必要もないかと思います。色々な手続きがスムーズに出来ること、交通の便がよく（公共交通機関でしか行けない人）あとバリアフリーであればいいかと。市役所のそばに住んでいる方にとっては便利で楽しいという事にならないと

いいです。自分自身、離婚により市役所を訪問する事も度々ありましたが、わからない事を丁寧に教えていただいたり、本当に助かりました。働く方々の働きやすい市役所でもあるといいですね。

- 今の美濃加茂は隣接する市とくらべると、ぜんぜん活気がありません。そして稼ぐ力が不足していると思います。なぜ企業誘致にもっと積極的にならないのですか？熊本や北海道は企業誘致に成功し、小さな町がどんどん発展し人口も増え、賃金も上がっています。美濃太田の駅は所詮、通過点にすぎません。昔からそうです。市役所は美濃加茂でも唯一発展している駅北にもっていくべきだと思います。（保健所もある事だし）どんな人も一生懸命働いて納めている税金をもっと大切に使って下さい。ネット社会は今後もどんどん発展していくでしょうから、コンパクトな市役所でいいと思います。
- デザイン費用をかけず、シンプルで機能的な庁舎が良い。また、清潔感、明るさを大切にし、市民が安心して利用できるだけでなく「そこで働きたい！」と思う若者が多くなるような職員の方目線での職場環境の充実も必要かと思います。次代を担う意欲のある若者が就職先をみつける一つに職場環境の良さもあると思いますので、ぜひ頑張ってください。
- シンプルでコンパクト、動線に工夫を体育館や集会場は別の場所で計画を。

【集約】

- 点在する行政機能を集約してほしい。手続きするのに車移動しなくてはいけない現状は論外。他の市に比べあまりにも不便。実家がなければ他の市に現状は転籍したいと考えている。
- 駅前はアクセスが悪いし、土地も狭いのでよろしくない。広い庁舎が使い勝手がよいと思う。不便は分散化よりも便利な一元化がよい。健康課とか子ども課が一元化されると便利。
- 日常の行政サービス等においては、電子化を進め、コンパクト化する。・危機管理や災害対応では、大きな迅速に動けるマンパワーが必要。市役所機能の分散は、少ない職員を分散し、脆弱化させることになるため、連絡所や特定目的の部署は別として、可能な限り集中させた法が良い。
- 必要なサービスが新庁舎１ヶ所で利用できると良いです。
- 行政機能がまとまっていて利用する市民と市職員双方にとって使いやすい庁舎が望ましいです。
- 手続きの場所が今みたいに一カ所になっていると利用しやすい。
- 今は、暗く、せまく、分かりづらいから、もっと広くて分かりやすく明るい場所だと行きやすくなるかなと思います。1ヶ所で全てのことが済むと小さい子供がいる私はすごく助かりますし、オンラインで出来ることがふえるとなお助かります。
- 申請や相談事が「ここに行けば全て OK」的な市役所がよい。
- 庁舎一つで用事が済ませられること。

【分散】

- それぞれ 8 つの分庁をお金をかけて、交流スペースなどを作って使用する。日常の書類などは分庁でできるようにする。高齢や子育て中の人にも優しい。
- 町内にあるコミュニティーセンターで色々な手続きが可能。市役所に出向く事は非常に少ないかと思われます。コンパクトでお金がかからない庁舎にとの意見に共感します。
- 1）・昭和 29 年の町村合併を前提の市役所・連絡所の位置関係は今後の人口の分布と車での移動時間で決める。・連絡所は本社（市役所）―支社（総合連絡所）―営業所（一般連絡所）に分ける、総合連絡所の機能を高める。2）「たらいまわしを防ぐ」→「困ったことがあったら市役所へ」・申請、相談の窓口は1か所にし、担当課とネットでつなげる。・場所は1階メインの位置とする。・年金要約相談システムも良いのでは、相談員は OB の活用。内

容により相談員を分けても良い。1)の総合連絡所も一定の機能を持つ。3)駅前商店街の活性化は市役所があればできるのか？ 商店街のテーマ性(例えば、食のストリート)と駐車場が必要ではないか(現市役の位置の駐車場活用) 4)相談者の子供あずかりは保育の活用。あい愛バスは将来AI化で変化すると思われる。

【デジタル化】

- 極力 WEB、分散
- 高齢者で IT 音痴ですので役所の全ての機能を集中して、ワンストップで対応できることが理想ですが、多くの自治体が将来人口減になると予想されている中、大きな庁舎は、膨大なコストや時代の変化に対応しにくいのではないでしょうか？
- このアンケートも QR コードで回答しましたが、20年前では考えられない手法であり、コストカットと事務省力化が期待できます。
- とても難しい事ですが、このような急速な時代の変化(DX)を見据えて対応し易い庁舎を考えたいです。
- 時代の潮流は極めて早く激しい。まちづくりの基本として考えるべき、また加茂郡との協調の合併についても考えることも。現在市役所を含め約 50 ほどの施設がありデジタルの進展による市役所と市民の日常生活とのつながりは大きく変化する。
- 保育園の入園手続きがネットで申し込めるのは出かけなくていいのでありがたい。他の手続きもネットが増えてくれると嬉しいです。
- 申請や交付などは全てwebで手続きができ、わざわざ市役所や連絡所に行かなくてできるようにして下さい。また、web 手続きはとても複雑になっているので簡素化して下さい。(たぶんどこでも同じ)

【職員の働きやすさ】

- 市民だけではなく、市役所で働く職員の方もスムーズに仕事が出来るように他部署と連携しやすい職場になれば、色々な手続きもスムーズに進むから結果的に良くなると思う。
- 市民としては税金を払っているので市民ファーストであって欲しいと思うが、職員の方たちが働きやすい庁舎であることも必要だと思います。コストを抑えつつ市民が期待するような庁舎を作るのは大変だとは思いますが頑張って下さい。
- 前市長時の案との違いを明確にし、現市長の案で良かったと思えるとよいと思います。市民が市役所を訪ねる目的は課によって違うので、それぞれの特徴に応じサービスの提供がしやすい庁舎だとよいですね。市役所の職員の皆さんが充実して仕事ができる環境であることを願っています。
- ド素人の私などが意見を言える立場でありませんが職員様が働きやすく市民の気持ちに寄りそって明るい自慢の新庁舎が出来ることを祈っています。
- 市職員にとっても快適な職場・新庁舎であって欲しい。

【窓口等の対応】

- 相談した場合、プライバシーが守られるよう個室で対応できると良い・手続きに必要な事は丁寧に説明してほしい・市民ファーストの気持ちも持ってほしい。
- 若い人から高齢者までの人が行きやすく、なんでも相談しやすい所にして欲しいです。
- 年齢それぞれの方が分かりやすく、利用でき困った場合にもスムーズに対応してもらえるような市民の方々にやさしい新庁舎であってほしい。

- 最新バージョンの全部がいいわけではないと思うので臨機応変に対応してもらえるような感じにしてもらえると利用もしやすくなると思います。
- あまり人と接することが好きではないため非対面式で対応できるとうれしいです。
- 真に市民へのサービスを心掛ける職員で構成している組織であって欲しい。
- 外国人も多くなっており、行政サービスの行き届く親切な庁舎であってほしい。
- 高齢者はカタカナ語に弱い、やたらと英語？を使わないで。役所は申請。
- 窓口でのたらいまわし等のないように職員の拡充も良いのではと思います。利用する側としての視点に立った時に職員が多い方が間違いやミス、窓口での対応者が増え、円滑に手続きが回るのではと考えるからです。普段も大変助かっていますが、今後の市を考えるとやはり人手というものが必要になるのではと思います。円滑に業務を進めるためにもマンパワーは必要だと思います。日々の業務お疲れ様です。何かとご苦労様だと思いますが市民生活を豊かにするためご尽力いただきます様お願いします。

【高齢者・障がい者のサポート】

- 障がい者や高齢者で複数の相談（申請）がある場合は来所者が移動するのでなく、１ヶ所で手続き（相談）が済むようなシステムに是非してほしい。→職員が移動する。
- 高齢者や障がい者の方も行きやすい設備や場所を望みます。
- 高齢者が増える中、利用者が利用しやすいように、施設のバリアフリー化や車椅子での利用、休憩出来る場所の設置やトイレの位置なども考えたり、利用される方の手続きのサポートをする方も常駐しているとスムーズだと思う。

【子育て世代のサポート】

- 新庁舎のあり方として高齢者はもちろん、小さなこどもを持つ親世代に対して利用のしやすい形が良いと考えます。今後人口減に対して第一歩目へのアプローチとして、頼りやすく利用しやすいということがよいのではと思います。

【休日の開庁】

- 平日休みにしてもよいので土日開けるとよいと思う。日本全国へ先がけてアピールになると思う。まだまだ平日に有給使って市役所に行くということは歓迎されない社会である。いつでもいけるのは高齢者だけ。
- 土日休みの人でもいつでも行けるようになってほしいです。
- コンパクトな庁舎。バリアフリー。皆が行きやすくどこに何の課があるのかわかるように。仕事している者にも使いやすい庁舎であってほしい。平日の時間の延長もしくは土曜日開庁。
- 土・日・祝日の営業を行う。

【費用】

- 物価高騰で予算が膨れ上がる事が予想されるのでしっかりとした予算を提示して議論してほしいです。
- どんな物が出来るにせよ、我々市民の血税によって建設され、運営される事を、関係各所は、決して忘れていただきたくない。
- 現存するビルなどの再利用も含め、あまりお金をかけず、市民サービスにお金を使ってください。

- 新庁舎には緑や花は必要ない。顔を上げれば山がみえる、都会ではないので自然は力を取り入れる必要もない。そのためのコストがかかるし整備、維持の人件費もかかります。
- 必要最低限な投資で良いと思う。他にもお金を投資すべきところはあると思う→子育て世帯、高齢の方が使えるような施設への投資。→公園やコミュニティ施設（市民の意見を集めると良いと思う）
- 市議会議員の個人室は必要なし、なるべく大きな部屋で仕事ができるような配置を希望する。・コストは削減重要です。
- 新庁舎にお金をかけるなら、水道代をもう少し安くできませんか？美濃加茂市水道料金高すぎると思いませんか。毎月毎月 5、6 千円、正直痛いです。結局税金なので、なるべく費用をおさえてもらいたいです。
- シンプルベスト、お金をかけないように。現時点で新庁舎が必要と思いません。市のお金市税をムダに使わないでください。物価高は続いています。そんな時に新庁舎はいりません。
- 建築費（万博と同じ様になるか？）使用できるものは何とか利用する。旧庁舎はその後どうなるか
- 新庁舎は市民の税金が使われ建てられると思いますが、必要最低限の行政機能で建設費用、今後の維持費を抑えてもらいたいです。
- 建設費をおさえてほしい。市民も利用できる食堂があるといいな～

【市のアピール】

- 美濃加茂市の良いところ、眠っているところ（観光、農業等）をアピールして美濃加茂市にお金を落としてくれる方法を見出す。
- 美濃加茂は東濃の玄関口でもあり歴史ある地でもあり、大きな川あり、街道あり素晴らしい地でもあります。国際医療センターもでき、それにまけないような市役所をつくって下さい。自慢できるようなものであってほしい。
- 美濃加茂市を出た人達、又は外から庁舎を見た時、はずかしくない様な姿。ブルーグリーン系のガラス張りのビル。
- どこにでも誇れる庁舎を望みます。
- お金がかかっても、他の市町村や他府県等からすごいと思われる庁舎を作ってほしい。
- まちの特産品を PR できるコーナーがあってもよい。→（市内産業の PR コーナー等も）

【環境配慮】

- 省エネ、再生エネルギーを重視すること。気候変動対策に連動するコンセプトを全面に出す。環境科学の専門家の意見を取り込むこと。
- ソーラー発電は必要不可欠と思います。
- 庁舎の電気などソーラー等で自家発電してほしい（雨水利用も）。

【ごみ処理】

- 自治会に入っていないので不燃物（カン・ビン等）の処理に困っています。庁舎に回収ボックスを設置していただきたいです。
- ごみ捨てを忘れることがあるので資源回収や金物回収がいつでもできるところが欲しい。
- ゴミのリサイクルコーナーを設けてほしい

【整備の進め方】

- 高齢者にはワークショップ等は気が引けますし、場所や時間の事を考えると参加しづらいです。ですが高齢者にも思うところは有りますので、若い世代の人や声の大きい人の意見だけに片寄らない様に進めて頂きたいと思います。
- 考え方ですが美濃加茂市が将来どのような市になりたいのか市民にわかりやすく、5 項目くらいにまとめ、ここに住んでいる市民が心に美濃加茂市が入ったメッセージを作っては！！やはり見える化がいちばん大切です。コンセプト作り、業者発注、建設、完成、運用、会計、採用、年次報告などもっと美濃加茂市民にわかりやすい発信方法を確立して下さい。
- 新庁舎は造るのですか？それとも建設中止なのですか？新庁舎にしなければいけないのなら、ニュースになるような「市長室にシャワールーム」とか「市長・副市長、議員専用エレベーター」とか市民目線から外れた施設でなければ OK だと思う。そこで働く人たちの意見も知りたい。ワークショップに時間とお金をかけるのも必要なのかもしれないが、遅れることにより、建設コスト、人件費が増えるのではないかと心配になる。予算は大丈夫ですか？
- 何回も何回もやることが正しいのか。パブリックコメントの進め方がおかしい気がする。ちょっとお金かけすぎ、議会で OK じゃなかったのか？じゃ議会いらないよ。
- 市民の税金（大きなお金が動く）事により、不正欠陥とない様にしていただきたいです。
- 庁舎はあくまでそこで働く市職員の方と、利用する市民のもの。地元の有力者によって在り方が左右される事だけは避けていただきたい。
- 前回の市長選をふまえ、最後には市長に決めて頂きたい。（公約どおりに）
- 早期実現を！
- 今、新庁舎建設について様様な意見がなされていますが、大変かとは思いますが、下下の意見を何らかの方法により広く聞き取る方法はないでしょうか。新しい庁舎が全国的にも感心が集まるような素晴らしい庁舎を建設して下さい。
- いったい何年かかって、結論を出すつもりなのか疑問に思います。
- 一部の方の意見で動かず市民の意見をよく聞いて進めた方が良い。
- 新庁舎の場所を決めることが、最初だと思います。それの場所が駅南か駅北かによっても違いますし、面積等によっても違うと思います。市民アンケート（投票）によって、場所を特定していただきたい。
- 市民の意見を聞くことも大切だとは思いますが、美濃加茂市周辺町村の今後を見すえ大向の判断を下すのはやはり首長、行政であろうかと思われます。あまり市民、住民の声に惑わされることなく美濃加茂市100年の時に立ち返って決められたら良いと思います。
- いつも市民のためにありがとうございます。1 点だけ意見させていただきたいです。内容は市長さんの考えが入っているように見えない進め方についてです。市民の意向を聞くことはとても大事だということ、全市民の意見を網羅することは不可能なこと両方理解しております。こうなると最終決定権があるのは市長さんだと思うのですが、これまでの話し合いの中で【市長さんがどうしていきたいのかが全く見えない】です。市長さんが「未来への五か条」を掲げて政策を進めていくのであれば市役所もそれに沿って進めないと、市長さんの想いと異なる方向に進んでしまいます。今の進め方ではみんなの市役所として進めて、何かあった時に『みんな』に逃げるような中途半端な市役所になりかねません。最後に求められるのは市長さんのリーダーシップなのではないでしょうか。リーダーシップをとりこの市役所を建ててよかったと市民から長年言われるようなものができるのを期待しています。

＊ なおいつまでに何を決めるなどというロードマップはあるとは存じていますが、時間をかければかけるほど市の予算が発生していると思います。これはもったいない予算だと思いますので現在のロードマップより短縮できるといいかと思います。”

- 新庁舎候補地（出来てしまえば市民は利用します。）
- 市民アンケート調査は非常に良い事だと思います。市民の声を聞いていただけるから。
- あまりあわてる必要はなく、今回のようによく議論し考えてから建ててほしい。
- 一人よがりの新庁舎にならないようにして下さい。
- 若い人達の意見をどんどん聞いて進めてほしいです。
- 新庁舎の建設・整備へより多くの民意を反映できる様に市の催事やリパーポートパーク、清流の里山公園などで市長などとディスカッションイベントをして欲しい！現庁舎の建物老朽化や庁舎内の設備環境は先に行く未来を据えた庁舎として相応しくはない。
- 1 日でも早く新庁舎を作ってほしい。
- 全体的にスピード感が感じられない。特に新庁舎をどこに作るのか（土地確保）早く市民に公表すべきと思います。
- ワークショップに参加している人の年齢層が高いのでもう少し若い人の意見も聞きたい。

【その他】

- 今の市役所は職員とのコミュニケーションが取りづらい、話しかけづらい雰囲気があります。もうすこし市民と職員との距離感が縮まる仕組みを考えてください。新庁舎は外観よりも内部や職員の動きが改善されるようにお願いします。
- 365 日 24 時間対応可能な、時間外窓口を設けること（地銀・ゆうちょ・JA バンクなどと連携して、土日対応窓口を設ける）新庁舎整備による増税は反対します。（宗教法人、反社（左翼含む）から取ってください）
- 新庁舎と駅前商店街とは一緒にしないこと。
- 新たな建物は必要ない。そもそも市役所は行かなければならない時（マイナンバー交付等）以外行くことはないので必要最低限の設備でよい。
- 市民と職員双方にとって、良い新庁舎を楽しみにしています。
- 色々な意見があると思いますが、新庁舎の整備が円滑に進むことを願っています。
- 当初の計画通り、太田の駅前に早急に進めて新庁舎を作って下さい。議論は済んでいるはずです。
- 未来の予測が難しい時代なので、現在の要望に応えようとしすぎて保守的になりすぎると将来的に不満の声が増えてしまうと思います。新庁舎は完成してから何年先の人が使うときに「あの頃は新しすぎてよくわからなかったけど、これで良かったね」と言えるような新庁舎になると嬉しいです。
- 美濃加茂市民によりそう安心して頼れる場所にして下さい。
- 完成を楽しみにしています。
- 対人対応は職員の気分によるムラがある為（対応に不快に思うことあり）統一した対応もしくは AI による対応。優れた人材の配置、対応の悪い職員や出来ない職員は配置転換もしくは排除し無駄な経費等（人件費）の削減を。他の地域がやっていることを導入することは比較的容易だが他の地域にない（他の地域が真似るような）新庁舎を希望します。
- P3 の（2）で 20 に〇をつけました。20.新庁舎ですべての困りごとが解決できる頼りにしているのは市役所からの「お知らせ」郵便だけです。困った困った。つまり私はパソコンを持っていません「お知らせ」郵便の内容をもっともっとわかりやすくお願いします。 例えば、マイナンバーカードの保健所利用の「お知らせ」ですが全然わかりません。困った困った。マイナンバーカードの更新の時もそうでした全然わかりません。困った困った。水道料

金の基本料金減免が終了してしまいました。困った困った。それからマイナポイントって何？困った困った。ガス代はどうなるの？困った困った。サバとさんま高い。困った困った。

- 市民の皆さんの役に立つ新庁舎が良いと思います。
- 豪華な設備は不要と思います。
- ワークショップで出された意見は、それぞれなるほどと思える。多くの意見をまとめていくことは、たいへんな作業です。ご苦労さまです。岐阜市のメディアコスモスなど、全国にお手本になる市庁舎があるので、美濃加茂市に一番参考になる庁舎があると思います。参考になる庁舎を3つぐらいにしぼっていくとよい。
- 今の庁舎で使えると思います。
- 建物より利便性を重視して欲しい。市民にとってあたたかい所であってほしい。近隣の市町村との災害時の連携しやすさ※私の家の前は市の竹藪です。毎年定期的に草刈りを行って頂くよう約束しました。毎年 TEL しないと行って頂けません。毎回場所の確認から説明をさせられます。年に4回程父が行っていて、市側からは1回の草刈りもこのような状況です。どんな立派な庁舎より美濃加茂市民に寄り添った暖かい所であってほしいです。
- 美濃加茂市全体で 20～50 年先までのあり方を含む、長期的な立地、市民へのサービス対応ができる事を望む（目先の考えはやめてください）。
- 今の市役所ができて間もなく勤務しておりました。出かけてトイレとか裏の方に行くと涙が出る程懐かしくなります。でも新庁舎はすごく期待しております。場所がどこになるかすごく期待しております。
- 今、10代20代の人が関わった人が、50年にあの時にやったことが良かったと思える新庁舎をお願いします！！美濃加茂新庁舎が他の自治地区の見本になると良いと思います。
- きれいな庁舎を作って下さい。
- 行政は全てにわたってコンパクトに。しかしいざというときには判り易く、仕事が進むよう文化施設、スポーツ施設は他に設置する管理運営は業務委託すればいいと思う。
- 大変おつかれさまです。ありがとうございます。子供が活躍できる新庁舎っていうのもおもしろいです。
- 新庁舎の候補地（4 つ）について、大まかな地域（地図上の〇）だけではよくわかりません。もっと詳しく地図上のどこになるのか、具体的に示してください。場所やおおよその面積がわからないと、どんな機能をつけるかという議論が進んでいかないと思います。
- コロナや世界の状態から建設費、ネジ一本から上がっているので予算が心配、大阪万博も予算が大上がりしている。でも明るくて、これが美濃加茂市市役所？と市民がほこれる新しい感じの市役所が完成するといいですね。アンケートなのでいろいろ書きましたが次世代に通用する新庁舎を望みます。回答番号が記入してあるのがおかしい。これはアンケートだから自由に書きましたが、市長頑張ってください。貴方なら出来る！
- 明るい庁舎（現在の庁舎は玄関からして暗い）

【自治会】

- 自治会の負担が増大しています。新庁舎より自治会加入を促進してほしい。。美濃加茂市在住職員は 100%自治会加入お願いしたい。 ゴミ集積所管理が大変辛いです。
- 自治会に加入しない家が増えて、近所の人の顔も名前もわからなくなっています。交流センターをもっと利用して町の交流を作るべきです。
- 自治会のまとまりがコロナ以降、特に弱まっている。周囲に外国籍の人が住んでいてもまとまったつながりがない。防災訓練なども市がリードして真剣に取り組みたい。

【駅前再開発】

- さびれた駅前を再開発してほしい（にぎやか）（活発に）

【その他（新庁舎以外）】

- 庁舎も大事なことと思いますが、老朽化したインフラ（市道農道、カーブミラー、通学路）など市民生活に直結した事業を優先的に行ってほしいと思います。
- 新庁舎や整備についてではないですが、いくつか要望があります。①ごみ処理…ビンは少ししか出ないので袋を使うことはないのですが、回収ボックス・使用済み電池の回収ボックスも希望②祝金や助成金…他の地域では子育て支援や結婚祝金など人口や働き手を確保している。この辺りなら関市は祝金やこどもの支援が手厚いので引っ越しを検討中③お年寄りの運転…コノミヤやゲンキに突っ込んだり運転が下手というかやばいのが多い。何かしら対策してほしい。④ワークショップの話し合いの写真を見る限り、高齢者しかおらん。これからを作るのは若い子だから、高校生～40 代まで沢山意見を聞いた方がいい。⑤ハザードマップとかもう少し分かりやすくしてほしい。できれば南海トラフが美濃加茂でおきたらこうなる的な映像がみたい。
- 後期高齢者です。幸い健康な為働ける間、会社へ仕事に行っていますが少ない給料でも生活の量となる為頑張っていますが、年金から引かれる額が多すぎます。今まで頑張って来た者でも十分活用出来る役所にしてほしいです。新しい考え方は未来に伺って行くるは当り方ですが今迄やって来た者達にも暖かい市役所になる様、市長から事務員迄勉強し考えてください。市庁舎の中身の問題です。
- 多文化共生もすばらしい事だと思いますが、市人口の 1/10 以上の外国人を増やさないでほしい。
- 市の職員が美濃加茂市に住んでいないのはなぜですか？そこに答えがあると思います。聞いてみて下さい。（特に若い職員で結婚した方）
- 次世代住民、市民にとって持続可能地域を目指す。
- 職員が働きやすい環境＝職員の増員と安易に考えてほしくない。増員したら人件費が増える事を忘れないでほしい。
- コンセプト問3の項目の9、働きやすい新庁舎ですが、働きやすい方が良いと思いますが、それは職員の方の問題だと思うので求められるのは違うと思いました。新庁舎は賛成ですが、前平や古くなっている建物も考えて欲しいです。
- 今回のアンケートとは違いますが、、、。意見があります。側溝掃除が年 1 回ありますが、歩いてもゴミが少ない気がします。それよりも草がすごいです。運転していても気になります。道路にはみ出していたり歩く人が気持ちよく歩けないと思います。ゴミプラス除草作業にしてはいかがですか。誰かの土地だからその人に聞いてからじゃないと、、、とかいう事がかりしていたら先に進んでいかないと思います。このようにアンケートをお願いされて書いているわけです。市の方も市民の声をもっと知ってください。こういう話しを誰にしたらいいかわかりませんので、間違った事をしている様でしたら申し訳ないです。よろしくお願いします。

- 住民税の使い方の詳細新庁舎、ボーナスカット＆給与、職員の給与の公開。
- 全国的にシャッター商店街が増えていることに憂いています。太田駅南側もさびしいかぎりです。新庁舎移転だけでは到底活性化はできないでしょう。大胆かつ意外な発想の転換が必要でしょう。現あい愛バス交通網は収支を除いてはすばらしいと思いますが、近隣自治体との連携、適材適所のような軽いフットワークにて活用したり、ネット環境を活用し、困っている所、必要な所への瞬時の対応。最大限の安全網を確保し、日本ライン下りの復活（犬山市、各務原市との連携）。現サイクリングロードをもっと充実させ、愛知県とも連携し、例えば木曽川へ伊勢湾南側～北側、キソイチチャリンコ健康フェスティバルの開催（月1回程度）。兵庫県明石市は規模は多少違いますが、街全体が活気があり、市民の方、観光客の方の顔も明るく感じられます。各自治体のすばらしい所も取り入れたり、マネをすることも必要かと思います。CO2削減、SDGsが叫ばれる中、本気度もって取り組んでいただければ将来目標とされる自治体となれると良いですね。
- 例えば給付等の案内を広報だけではなく、受ける権利のある市民に郵送等で直接知らせる、児童手当他。
- 太田駅南の商店街の開発について今回の趣旨とは違いますが、高齢者が多い町です。大変な事はわかりますが、トイレの設置は無理でしょうか。何かの折に検討よろしくお願いします。
- 国や県ではなく市町村であり市民（国民・県民）に一番近い行政府ということを前面に出すことが最重要でありほとんどの市町村でやられていないことだと思う。
- ○○課等同じ部署から 3 通同じ内容の物が届いたはずが一緒の封書で 3 通送付されたら送料が浮くのにと思います。書類の書き方等わからなくて時々市役所に出向きますが、皆さん親切に教えてくださり不快な思いしたことはありません。マイナンバーカード、通帳と店で使うカードにポイント分けていれてくださるはずがカードに全部入れられました。通帳ポイントを楽しみにしていたのに、市役所へ確認に行きましたが○○へ TEL して下さい等、よく分からず、あきらめました。
- 子育て、福祉事業を充実させてほしい。

9. その他自由記述

問1－(4)新庁舎整備事業の情報を何で知りましたか。

新庁舎整備事業の情報を何で知ったかの「その他」回答一覧

【友人・知人から聞いた】

- 知人から
- 知人から聞いた
- 友達を通じて知る
- 友人
- 知合いから聞いた
- 知人から
- 知人から聞いた
- 知人に聞いた
- 友人から聞いた
- 友人
- 知人の口から

【家族から聞いた】

- 家族
- 妻からきいた
- 家族との会話
- 親から聞いた

【会社等の同僚から聞いた】

- 職場の上司から聞きました
- 以前に勤めていた会社で

【学校で聞いた】

- 学校

【人から聞いた】

- 人に聞く
- 人の話
- 人づて
- 地元の方の話し
- 人から
- お客さんから
- 人づて

【噂で聞いた】

- 近所のうわさ

- 噂
- 世間の噂話
- 何か議会で駅前とか他の方の土地とかで議論があるとうわさを聞いた
- うわさ話
- 口コミ
- みんなの話し、口コミ

【議員から聞いた】
- 市会議員から数年前に！
- 市会議員の報告会

【市長の活動等で知った】
- 市長選挙
- 市長の Instagram

【その他】
- ラジオ
- 何年か前に市役所に行った時アンケートで知った
- 説明会等
- 美濃加茂市の方の会話で 2 年前くらいに知りました
- 市職員のため
- 高校卒業後結婚まで市役所に勤めていて市庁舎に関しては大いにあります。

問1－(5)新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすいものは何ですか。

新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすいもの「その他」回答一覧

【各戸配布】
- 住民票のある世帯への折り込みチラシ
- 月 1 でポスティングされている地域の雑誌にのせる。

【新聞】
- 新聞、記事ならお金がかからない

【ラジオ】
- ラジオ

【人から聞く】
- 友人伝え
- 知人の口から
- 近所の人から

【その他】

- うわさ
- 自治会に入ってないため情報がない。かやの外
- 興味がなく知らない。
- ない

問2－（1） 1.「集中させる」を選んだ理由（1つに○）

市役所機能を「集中させる」を選んだ理由の「その他」回答一覧

【災害対応のため】

- 災害時に機能を一点集中しやすい。
- 危機管理や災害対応に良い。
- 大規模災害に対応し防災機能重視の施設

【わかりやすさのため】

- 用事ごとに場所が違うより「ここに行けば全て OK」なわかりやすさ

問2－（1） 1.「分散させる」を選んだ理由（1つに○）

市役所機能を「分散させる」を選んだ理由の「その他」回答一覧

【家から近くなるため】

- 家から遠い人が便利になるといい。
- 少し種類を増やす、高齢者も近い方が行きやすい。
- 在宅事務員が便利

【建設に必要な土地を減らすため】

- 一箇所にまとまるとその分土地面積の下限が肝になってくるので、連携がある課をまとめて一つの施設に統一したほうが良い。むしろ廃校を利用して市役所機能を市全体に分散したほうがいいのではないか。一般市民の利用が少ない課を三和町の学校に農林課・土地改良区・土木課等、一般市民利用が多い課を一箇所にまとめて現市役所に税務課・福祉課 etc。等横の連携が必要な課をまとめて充実させたほうがいいのではないか。

【災害対応のため】

- 災害時等、集約しすぎていると危険なのでは。

【デジタル化】

- IT化の急速な進化を考慮すると。

【その他】

- 現在すでに分散されているから。

- ８つの地域の分所を作り、本庁を少なめに。
- 連絡所の活用、利便性
- ②「市役所を身近に感じられるとよい」と③「市役所の建物規模を抑えられる」両方
- なんとなく

問2－（1） 2.「人々の交流となる複合的な庁舎」を選んだ理由（1つに○）

「人々の交流となる複合的な庁舎」を選んだ理由の「その他」回答一覧

【規模】

- 広い庁舎がよい

【複合用途】

- それぞれの地域にミニ庁舎をつくって・人の交流をつくる。
- 緊急時の市民避難場所
- キッチンなどを兼ね備えたりして料理教室などのワークショップをできるスペースや、少年団の合宿に使用できる施設などを作り、緊急時には避難所として使用できるようにしても面白い。となると、建設場所は前平公園あたりになる（グラウンドあるから）。

【立地】

- バロー等に隣接させて買い物も済ますことができるとよい。駐車場も広くとれる。

【その他】

- 何となく

問2－（1） 2.「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由（1つに○）

「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」を選んだ理由の「その他」回答一覧

【行政機能を充実】

- あくまでも、行政のための市役所なので、市民の憩いの場は、他でできそう。
- 市民と職員がフラットに話しができる場
- 市民に対して機能する場良い

【デジタル化】

- 人々が交流するための場所が庁舎である必要性があるのかないのか、と考えた時に一緒である必要性がいまいちわからない。それは私の理解不足によるものかもしれない。一緒がいいとする人はなぜそう思うのか聞いてみないとわからない。また、今後必要な手続きは電子化が進むと思うので庁舎に行く機会もかなり減っていく（のでコンパクトでいいのでは）。また周辺との合併がまたあります、といった場合結局コンパクトで分散したものの方が良いかも。

【その他】

- ①～③すべて大切
- 時代の進展
- ①に近いが必要な機能を備えるため、費用はかかってもよい。
- 市民活動等は別の場所で
- 庁舎内で迷子にならないよう案内が分かりやすいと嬉しいです。

問2－(2)新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に〇をつけてください。

新庁舎の役割として、重要と思う項目の「その他」回答一覧

【休日の開庁】

- 土日は営業日として平日 2 日間閉庁する・日本で唯一の市役所とすればよい。全国へアピールできる！！
- 平日仕事をしている為、書類を休んで取りに行かなくてはならない。土曜日やってもらえると助かります。

【アナログ対応】

- 今まで以上のアナログ対応でいてほしい。

【情報開示】

- 議案など重要な資料を市民も見られるように。

【バリアフリー】

- バリアフリー

【その他】

- 職員の能力向上、今いろいろあるから！
- 新しい時代へのまちづくりの中で考える。
- お金もかけないようにやり直しで 5 割くらい建築費があがる気がする
- 自分自身が行くことはこれまでもこれからもありません。

問2－(3)ワークショップでは連絡所の機能強化に多くの意見が出されました。連絡所でできるようになるとよいことをお選びください。

連絡所でできるようになるとよいことの「その他」回答一覧

【書類の交付／提出や振り込み・支払い等】

- 防犯灯設置要望書
- 現在連絡所で交付出来ない項目で、利用頻度の多いものは、連絡所で出来る様になるといい。
- 証明自動交付機、郵便ポスト、ATM、土地改良会費納入、国民年金保険料納付、普通自動車税納付
- 国保年金課、環境課で交付できるようになるとよい。
- 連絡書で交付できないものを 1 件でも交付できるよう推進してほしい。
- 連絡所の機能充実。別紙 2 は全ての手続きができる。

- 私自身、役所や連絡所の機能を把握できていないので、これという要望が明確ではありませんが、市民ワークショップの結果を読んで新庁舎への期待ももちろんですが、既存の連絡所を更に活性化させ、役所と同等の対応をしてもらえたらと感じました。人は必ず年をとり、新庁舎に出向くことが困難になるので、自宅近くの連絡所で全ての手続き等が行えれば、市民も職員の方も負担が最小限で、スムーズに行えるのではと思います。新庁舎への期待の一方で既存の公共施設をいかにうまく利用できるかも重要になってくるのではないかと感じました。
- 書類の提出
- 金融機関への振り込みなど（郵送など）

【デジタル化】
- インターネットで完結する役所
- SNS やネットでも手続きや問い合わせができるとよい。
- 上記に関して②ができるようになる理想的だと思いますが、そのためには、③を行う必要があると思います。
- テレビ電話等は、相談窓口につながる。

【学校や地域との連携】
- 不登校のこどもたちが集える場所になれば、、、定年された教職員が対応。
- 学校との地域連携の中心となってつなぎ役の機能を持って子供をもっと地域で育てて子育てしやすい市になるとよい。
- 地元全体の仕事の調整（祭り関係も）

【高齢者・障がい者のサポート】
- 特にないが、わたしが30代なので今は車も運転でき自由に移動できるが、高齢者、独居、障がい者などの人たちは困ることがあるのでサポートは人それぞれ必要なのかなと思う。

【休日の開所】
- 土・日・祝日対応

【屋内体育館】
- 中体等に行かなくとも、屋内体育館があると良い（昼に使用出来る）

【避難所】
- 避難所として機能できるだけのキャパシティ

【機能強化は不要】
- 今現在でいいと思います。
- 連絡所の機能（できること）を強化（増やす）必要がそもそもあるのか考えなおしたい。
- ネット環境が充実していて、仮に電波が切れてネットが使えなくても交通インフラが充実しているので、連絡所はいらないのではないかと。美濃加茂市の土地柄的に。
- 別紙2で助かっています。
- 連絡所の機能強化の話が出るのは遊んでいるようにしか見えないからです。アルバイトは不要。所長一人で充分。

- これまでに連絡所が必要だと感じたことがない。廃止していいと思う。

【その他】
- わかりません。
- 市役所より、連絡所の方が親しみやすい
- 本庁舎に行く必要が無い事が望ましい。
- 広報が全然開きづらいです。まったくわかりません。
- 左翼の排除に関する相談
- 時代は大きくかわるので良く検討してください。
- そもそも連絡所でできる事・できない事があるのが知らなかった。連絡所の役割を市民に分かりやすく情報提供することからでは。
- 職員数を増やさなくても、迅速にしかも市民と直に対応してほしい。（市役所で待つのではなく必要に応じて市中に出かけて）
- 処理できる機能は少なくて良いと思いますが、親切、判り易い対応をしていただきたい。

問3－(1)コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。
新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに〇をつけて下さい。

新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードの「その他」回答一覧

【規模】
- 広々とした新庁舎

【交通】
- 交通の便、バスの回数と多ルート旋回

【ショップ誘致】
- シェアカー配置や、たまにキッチンカー、そして、無印良品などの知名度のあるショップ誘致でワクワクする庁舎

【ごみ処理】
- ゴミ(缶・ビン)がいつでも出せる

【災害】
- 有事の際に心強い新庁舎
- 被災時に活躍出来る庁舎

【費用】
- 今より財政負担が少なくなること。（建設、維持管理費 etc）
- 市民が納得できる無駄のない（金銭面含む）新庁舎

【材料】

- 北欧などで実用化されている木造高層建築物も考えたら良い。地元の木材を使用。日本でも東京など、建築例あり。

【分散】

- これまでの価値観を一度捨て、あたらしい考えを採用してほしい。空き家再利用など、分散型市役所機能。
- 美濃加茂は、地域ごとに色が違うし、高齢化で細かい悩みも多い。1 つの本庁にまとまるので、対応できない。それぞれの地域に連絡所（分庁）をつくって機能を拡大し、本庁が補助的な役割をすることが現実的だと思う。

【その他】

- 頼りになる職員を作ることであって庁舎ではない。デイサービス併設か？心のバリアフリーは職員の質の問題です。お城でも作るの？行政の機能が果たせればよい。災害耐える庁舎。
- 間違いがないように何回間違えるの？
- 道の駅　美濃加茂市役所

新庁舎整備に係る市民アンケート調査
ご協力のお願い

日頃より美濃加茂市の行政運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

美濃加茂市では、誰もが使いやすい新たな庁舎を整備するため、施設の機能・規模の検討や整備候補地の選定など、整備に向けた「新庁舎整備基本構想」を策定中です。

今回お願いするアンケートは、市民ワークショップの結果（別紙 1）を踏まえ、新庁舎の役割等について、市民全体の傾向を把握するために実施するものです。特に多いご意見を中心に選択肢を作成しました。（市民ワークショップでいただきました市政に関する様々なご意見につきましては、今後の市政運営に活用させていただきます。）

アンケートのご回答をお願いする方は、本市在住の 15 歳以上の市民の中から、無作為に選ばせていただいております。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答は WEB でご入力いただくか調査票を同封の返信用封筒でご返送ください。（**切手は不要です**。）

回答期限：11 月 15 日（水）必着

令和 5 年 10 月

美濃加茂市

――【記入上の注意】――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。何らかのご事情によりご本人が記入できない場合には、家族の方などが代筆してください。

◎誠に勝手ながら、質問によっては、回答できる数を指定させていただいております。必ず、指定の数を守ってお答えください。（指定数を超える回答をされた場合、その回答は無効扱いとなります。）

◎回答は、このアンケート用紙へのご記入、または、WEB にてお願いいたします。

◎アンケート用紙にてご回答いただく場合は、同封の返信用封筒にて郵便ポストへご投函ください。（下記窓口にお持ちいただいても結構です。）

◎WEB にてご回答いただく場合は、下記 URL または右記の QR コードよりアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。

URL：https://forms.gle/eVFKHFY9tSmE8NJU9

WEB 回答の場合は紙面右上の回答者番号を入力してください。

【窓口・お問い合わせ先】

〒505－8606　美濃加茂市太田町 3431-1

美濃加茂市役所　総務部新庁舎整備推進課

TEL：0574-66-1099　FAX：0574-28-1106　E-mail：shinchosha@city.minokamo.lg.jp

問合せ時間：8：30～17：15（土・日・祝日を除く）

アンケート回答票

問１．**あなたご自身のこと**についておたずねします。

（１）年齢（あてはまる項目１つに○）

１．１０代	２．２０代	３．３０代	４．４０代
５．５０代	６．６０代	７．７０代	８．８０代以上

（２）お住まいの地区（あてはまる項目１つに○）

１．太田	２．古井	３．山之上	４．蜂屋（中部台含む）
５．加茂野	６．伊深	７．三和	８．下米田

（３）新庁舎整備事業を知っていますか（あてはまる項目１つに○）

１．知っている	２．知らない

（４）（３）で知っていると回答した方にお尋ねします。新庁舎整備事業の情報を何で知りましたか。
（あてはまる項目すべてに○）

１．市ホームページ
２．みんなの新庁舎ポータルサイト
３．広報みのかも
４．新聞
５．ケーブルテレビ
６．SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube、LINE など）
７．公共施設や商業施設に貼り出したポスター
８．自治会の回覧
９．その他（　　）

（５）新庁舎整備事業の情報発信として利用しやすいものは何ですか。（あてはまる項目すべてに○）

１．市ホームページ
２．みんなの新庁舎ポータルサイト
３．広報みのかも
４．新聞への折込ちらし
５．すぐメールみのかも
６．SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube、LINE など）
７．公共施設や商業施設に貼り出すポスター
８．自治会の回覧
９．その他（　　）

（６）日時指定ワークショップとおでかけワークショップの参加の有無（あてはまる項目すべてに○）

１．第１回ワークショップ（７/２３、７/２６、７/２９）に参加した
２．第２回ワークショップ（９/２４、９/２５、９/３０）に参加した
３．おでかけワークショップに参加した
４．参加していない

問２．**新庁舎の役割**についておたずねします。

（１）第２回ワークショップでは、新庁舎の役割として別紙１（Ｐ２～　２．結果の概要）のとおりの意見が出されましたが、相反する意見もありました。例を参考にして、重要と思う項目に○をつけ、選択した理由に該当する番号をご記入ください。**（１～２で各１つずつ回答欄に○、また、その理由に該当する番号を１つ選んで記入）**

例

例：買い物は「総合デパートに行きたい」もしくは「商店街に行きたい」

	回答欄			回答欄
買い物は総合デパートに行きたい	○		買い物は商店街に行きたい	
理由（１つ選択）	③		理由（１つ選択）	
①１か所で用事を済ませられる ②総合デパートに行けば困りごとを解消できると思える ③デパートの雰囲気が好き ④その他（　　）		⇔	①家の近くにお店があれば便利 ②身近に感じられる ③商店街の雰囲気が好き ④その他（　　）	

１．市役所機能を「集中させる」もしくは「分散させる」

	回答欄			回答欄
市役所機能を集中させる			市役所機能を分散させる	
理由（１つ選択）			理由（１つ選択）	
①１か所で市役所の用事を済ませられるとよい ②市職員同士の連携がスムーズでよい ③１か所にまとめることで長期的な維持管理費を含めた総費用を抑えられるとよい ④その他（　　）		⇔	①民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい ②市役所を身近に感じられるとよい ③市役所の建物規模を抑えられる（既存の施設を利用し建設費を抑える）とよい ④その他（　　）	

２．「人々の交流の場となる複合的な庁舎」もしくは「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」

	回答欄			回答欄
人々の交流の場となる複合的な庁舎			行政機能を中心としたコンパクトな庁舎	
理由（１つ選択）			理由（１つ選択）	
①市民の誰もが集える場所として市民活動スペースなどもあるとよい ②カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎であるとよい ③人が行き交い、商いなどによりにぎわいをうむ庁舎がよい ④　その他（　　）		⇔	①建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい ②DX※を推進するスマートな庁舎がよい ③市役所職員が働きやすい庁舎がよい ④その他（　　）	

※DX…DX とはデジタルトランスフォーメーションの略称。デジタル技術を用いて人々の生活をよりよいものへと変革すること。

（2）第2回ワークショップでは、新庁舎の役割として、別紙１（P3～５）のとおり意見が出されました。
新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に〇をつけてください。（あてはまる項目３つに〇）

1. こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れ**られる
2. 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて**安心して相談することができる
3. 託児やこどもの遊び場があり、**子育て世代が安心**して利用できる
4. **平日に働く人**も頼りやすい
5. 申請や相談が**ワンストップで対応**でき、わかりやすい窓口対応
6. 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
7. 担当部署や駐車場など、新庁舎全体の**動線がわかりやすい**
8. **市職員が働きやすく**、活き活きできる
9. 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
10. 多目的な機能を持ち、**様々な活動**ができる
11. **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
12. **まちのシンボル**となる市の中心的存在
13. 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
14. **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる
15. 市の PR や**農業・産業**の支援ができる
16. 回収ボックスの設置などにより、瓶や缶などの家庭で出る**ゴミの処理**ができる
17. 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
18. **公共交通**の便がよく、誰もが来庁しやすい
19. **駐車場**が広く、車で来庁しやすい
20. **新庁舎で**すべての困りごとが解決できる
21. その他（　　）

（3）ワークショップでは連絡所の機能強化に多くの意見が出されました。現在、連絡所やコンビニで行える手続きは別紙２のとおりです。連絡所でできるようになるとよいことをお選びください。

1. マイナンバーカードや再発行保険証の交付ができるようになるとよい
2. テレビ電話等を活用して担当課との相談ができるようになるとよい
3. 職員数を増やして地域の問題に迅速に対応できるようになるとよい
4. 特にない
5. その他（　　）

問３．**新庁舎のコンセプト（新庁舎に期待すること、求める姿）**についておたずねします。

（１）第２回ワークショップでは、新庁舎のコンセプト（新庁舎に期待すること、どのような姿・存在であってほしいか）として、別紙（P6～7）のとおり意見が出されました。

コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。

例：リバーポートパーク美濃加茂（美濃加茂市）　コンセプト⇒「まちなかアウトドア」

岐阜県新庁舎（岐阜県）　コンセプト⇒「県政の拠点」「清流の国ぎふの象徴」

岐阜市新庁舎（岐阜市）　コンセプト⇒①にぎわいを生む魅力ある新庁舎、②都市や歴史、自然と調和する新庁舎、③快適で安全な新庁舎、④いのちと暮らしを守る新庁舎、⑤持続可能で長寿命な新庁舎

新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。**（あてはまる項目３つに○）**

1. いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎
2. 気軽に集いつながる新庁舎（行政サービス以外の利用を含む）
3. 新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎
4. 市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎
5. 必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎（交流拠点は他の公共施設へ）
6. みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎
7. 美濃加茂の自然を活かした心地よい新庁舎
8. 地域の中心となる、シンボル的な新庁舎
9. 職員が活き活きできる働きやすい新庁舎
10. その他（　　）

問４．新庁舎のあり方、整備の進め方についてご意見などありましたら、ご記入ください。

（自由意見・要望など）

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函して下さい（期限：11 月 15日必着）

別紙1

第2回 市民ワークショップ 結果概要
テーマ:「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第２回のワークショップは「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに、全３日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1 日目	2 日目	3 日目
日時	令和 5 年 9 月 24 日（日） 14:00～17:00	令和 5 年 9 月 25 日（月） 18:00~21:00	令和 5 年 9 月 30 日（土） 14:00～17:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	22 人	23 人	22 人

(2)開催内容

1．あいさつ
2．情報提供
3．ワークショップガイダンス
4．ウォーミングアップ
　お題：「情報提供資料の説明を聞いて気付いたこと」
5．グループワーク
　お題：「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」
6．全体発表
7．おわりに

(3)参加者募集の概要

●対象：市内在住・市内在勤の中学生以上
●定員：36 名
●申込方法：応募用紙にて参加申込（電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール）
●申込期限：９月 18 日（月）〆切
●募集方法：広報折込チラシ、市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、連絡所・市内施設（47 か所）へのポスター・チラシの設置。

(4)事務局

●事務局：美濃加茂市　新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」について考えていただきました。

全体の傾向として、「新庁舎の役割」は窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点として対応や情報提供を行うこと及び連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。また、「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」や「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等の相反する意見が出されました。

「新庁舎のコンセプト」は「頼りになる／バリアフリー／便利」といった、すべての市民のサポートを円滑に行うことに関するご意見や「つながる／集う／多様性／気軽さ／多目的」といった、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。一方で「コンパクト／お金がかからない」といった、庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

(2)全開催日の結果の概要

①新庁舎の役割の概要　★は特に多いご意見

カテゴリー	新庁舎の役割
どんな人にも対応	・ハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる ・高齢者にやさしく、わかりやすい ・誰でも気軽に利用できる ・来庁者の立場に立った対応 ★どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど） ★色々な事情がある人の相談の受け入れ ・自己承認感をもらえる所 ・どんな自分でも受け入れてもらえる場所 ・ほっとできる場所 ・多様性を受け入れる環境 ・外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように ★弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所
困りごとを解決する場所	・市民が相談したいことを解決できる ・そこに行けば何かしらの結果が得られる場所 ・手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。 ・困ったことをスカッと解決できる所
相談	・相談者が安心して相談できる ・相談しやすい ・相談に気軽に行ける。 ・専門的な相談機能。
プライバシー確保	★プライバシーが守られる ・プライバシーの確保 ・話す内容が他人の耳に入らないこと
子育て世代も使いやすい環境	・こどもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる ★相談者などがこどもを預かってもらえる場所 ・こどもを見守りながら居る場所 ・子育てに手厚い。 ★子育てに関する相談ができて、安心できる場所 ・安心して妊産婦がいける場所 ・妊婦さんが静かにゆっくりできるところ ★子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ
勤労世代も頼りやすい環境	・サラリーマンは平日日中に市役所にいけない ★（平日に）働く人も頼りやすい庁舎
高齢者支援	・高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい
わかりやすい動線	・トイレがわかりやすい ・シンプルで目的を遂げやすい。 ・目的の場所がわかりやすい。 ・どの課に行けば良いかすぐわかる。 ・来庁者の利便性を高める機能 ・総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。 ★駐車場の位置が分かりやすいこと
わかりやすい窓口対応	・申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。 ・どこに相談してよいかわかりやすく、たらい回し× ★たらいまわしにされない ・窓口など案内をわかりやすく ・タライ回しにされないような対応
交通の便が良い庁舎	・公共交通機関で便利に行くことができる ・学校や保育園からも使いやすくする ・交通面で便利な市役所 ★交通の便がいいこと ★駐車場が広いこと ・車、バス、自転車、徒歩で行きやすい ・周囲の交通状況への影響が少ない
暮らしの拠点	・暮らしの拠点

カテゴリー	新庁舎の役割
市民協働	・議会の様子が分かる庁舎 ・食糧などを提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。 ・安心・安全　モラルの確立のリーダー ・自治力アップする所 ・市民の声をより気軽に市政に届けられるサービス
交流の拠点	★市民も職員も誰もが集える場所 ・誰もが集いやすい交流の場 ・年齢、国の壁を越えて交流できる場所 ・市民活動しやすい。 ・交流拠点になる。 ・市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。（例：岐阜メディアコスモス） ・イベントもできる。→交流 ・集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方がある
憩いの場	・こども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために） ・市役所に用事がなくても利用できる場・歩いて散歩がてら立ち寄れるところ ★こどもが行きたいという場所（ヒマつぶしに行ける場所） ・こども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある
わくわくできる場所	・わくわくできる場所 ・ワクワクを生み出す場所に
学ぶことができる庁舎	・教育の充実 ・市民が自然環境について学ぶことができる庁舎
情報発信・集約	・様々な情報を市民へ ・発信力 ・情報共有の場 ★受けられる支援をすべての市民に知らせる ・支援が必要な人に情報が届く ・情報の集約機能 ・市内、市外への市の情報発信の中心
市の PR	・特産品のＰＲができる ・目につく場所に市のＰＲ（庁舎 1F など） ・観光の拠点、市のＰＲ ・関係人口を増やすために外に対して情報を発信
産業振興	・農業産業を支援する役割 ・観光振興はやってほしい！
企業・起業支援	・起業相談 ・商工会と連携 ・企業誘致
働きやすい環境	★そこで働く人たちが働きやすい庁舎 ・市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎 ★市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！ ・職員の業務が遂行しやすく、ストレスなく働ける ・職員が自発的に動ける。 ・職員の働きがいがある庁舎 ・職員の声が届く。 ★働く人が活き活きできる場所 ・働きやすい→モチベーションにつながる ・職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によいサービスを提供できるようになる ・役所内の情報共有がスムーズにできている。業務の連携が取れている
集約	・バラバラな市役所は不便。健康課は不便。 ・分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる） ・庁舎は分散しない方がいい。本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる ・用件が 1 箇所で処理できること
分散	・連絡所など強力なサポート ★連絡所で解決できる幅を増やす ・「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出回れるようになること。 ・新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。

カテゴリー	新庁舎の役割
行かなくても良い仕組み	・庁舎に行かなくても手続きができる ★手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。 ・家から申請して入手できる ・庁舎に来たくても来れない人の相談にのる
デジタル化	・デジタルの拠点 ・一緒にデジタルに慣れる。 ・デジタルが苦手な人も困らない仕組み
低コスト	・コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え ・市民が自由に過ごせたり自由に使えるスペースは不要。コストが増えるから ・あまりお金がかかっていないこと ・お金のかからない新庁舎にしたい ・庁舎は小さく予算をかけすぎない
フレキシブルに変化	・将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作ってほしい。 ・何が起こるかわからない→変化への対応できるように ・時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること ★変化に対応できる、多目的に使える
まちづくり	・総合的な事業展開できる新庁舎 ・多目的に展開できる土地 ・新庁舎周りのまちづくり ・新しいまちづくり拠点。 ・市の中心的存在。
まちのシンボル	・美濃加茂市のシンボル的な場所 ・美濃加茂市のランドマーク　みんなが集まる場所 ・まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。 ・他市の人が「美濃加茂」をわかるような場所を作ってほしい。 ・市のイメージＵＰ ・位置を真ん中にしてハブにする ・市民が誇れるなにかひとつ
シンボル化しないこと	・シンボル化しない
災害時の拠点	・災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。 ・災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。 ★災害時も市民を守る司令をできる役割 ・災害時に真っ先に市民を救済できる ・緊急時のすばやい発信ができるように ★災害時の拠点、緊急時の対応ができる ・防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望 ・全国から応援に来てくれた時に受け入れられる ・災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎 ★市民が災害時に行ける
環境配慮・SDGs	・環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携
ゴミ処理	★ゴミ処理（ビン、カンなど） ・ゴミを便利に出せるように常時回収ボックスを設置してほしい。
山間部への援助	・太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある

②新庁舎のコンセプトの概要

キーワード	コンセプト
頼りになる	・とりあえず庁舎に ・まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。 ・「市民相談所」 ・市民に寄り添う新庁舎 ・1人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎 ・おれがやっとくわ、みのかも新庁舎 ・困りごとも普段もまかせときゃーえーて、えか！ ・雨が降っても晴れの日も優しい、いつでも集える「テントな新庁舎」 ・すぐ"やる"市役所 ・市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所 ・市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う） ・市民に寄り添う市役所
バリアフリー	・「見えるバリアフリー」「動くバリアフリー」「コミュニケーションバリアフリー」 （障がいを持った人も誰もがわかりやすく、動きやすく、コミュニケーションができる。）
便利	・一つの地に、一つの建物を。 ・生活に便利な新庁舎 ・すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎 ・利便性わかりやすい案内板 ・Compact City(Ciudad)
つながる	・人と人の関わりの拠点「つながる美濃加茂」 ・でっかく「つながる」「つなげる」（広くつながりたい。） ・職員だけでなく、ボランティアや有志など市民全員、いろんな人と出会える「たよりになる人、ここにいます」 ・さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所 ・デジタル化してもみのかもでみんなとつながる ・コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト ・いざという時自然とみんなで助け合える市
集う	・日本の中心である美濃加茂市に、全ての人が集う新庁舎 ・ゆりかごから墓場まで来続けられる市民の拠点 ・すべての市民の集いの場
多様性	・「主役は〇〇」（美濃加茂市の全員、職員、企業、市民） ・若者と高齢者の共生な町 ・だれもが笑顔で共存できる中心となる新庁舎 ・みぃんながよりそえる新庁舎 ・多文化交流があり安心・安全な新庁舎
気軽さ	・バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。老若男女、異国の人手も障がいの有無に限らず、誰でも。公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 ・気軽に、コーヒータイム的に
多目的	・いつでも！誰でも！何にでも！（公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも）
地域の中心	・ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか ・美濃飛騨の結節点として育てる（特徴を生かす、育てる）
ワクワク	・ショッピングモールのようにワクワクする所で人が自然に安心して集まる「市民モールみのかも」 ・相談にきて、ワクワクして帰る「みんなの新庁舎」 ・遊園地のような庁舎（ワクワクする場所） ・あじさいの花のようにそれぞれが咲く、「わくわく集まるあじさいタウン」
働きやすい	・市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）
時代に対応	・時代に合った便利な新庁舎 ・新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎 ・時代に柔軟に対応できる新庁舎 ・ミニマム・シンプル＆フレキシブル。将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。 ・将来用途に対応可能な新庁舎
未来	・「まちがつながる、みらいにつなぐ」 ・今だけではなく、未来を見据えた「次世代新庁舎」「未来へつなぐ新庁舎」 ・多様性を大事にし、色々な人が安心して暮らせるまち「今日と明日をつなげる場所」 ・「未来が集まる場」 ・共に歩み安心な未来へつなぐ拠点
連絡所との連携	・連絡所の充実 ・出かける市役所 ・行かなくてもいい新庁舎

キーワード	コンセプト
連絡所との連携	・どこでも新庁舎（1 つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する） ・新庁舎の輪
デジタル化	・どこにでも市役所
コンパクト	・シンプルな安心コンパクト新庁舎 ・必要十分な新庁舎 ・市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
お金がかからない	・税金でつくるので、安く作るため、市の土地を有効活用
安心安全	・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎 ・粘り強く、しなりのある、「内外強靭」 ・有事の際、心強い新庁舎 ・市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎 ・他の行政機関と円滑な災害対応できる ・再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる） ・安全・安心な新庁舎 ・市民の安全を守る市役所
自然・環境豊	・高台から見渡せるように、広い公園の一角に建つ新庁舎 ・自然の中の新庁舎 ・自然を大切にしたゆとりのある環境、共存しあう（つどう）夢のある新庁舎 ・山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市 ・四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる
日本一	・日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎 ・日本一の市になる為の新庁舎
その他	・「水のような市役所」 ・「道の駅　美濃加茂市役所」 ・アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎 ・笑顔のつながり ・市民、市（庁舎）がお互いに支えあえる、サポーターとしての新庁舎 ・「よく」わかる新庁舎（市のやること、動線、市の動き） ・（公と私の）メリ・ハリのはっきりした庁舎 ・のんびりそこそこ ・住んで良かった幸せと感じられる市 ・市民の想い、期待を具現化する新庁舎

(3)各開催日のグループごとの結果の概要

■9/24　A 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	バリアフリーの新庁舎	施設のハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる庁舎。	
	高齢者にやさしい庁舎、わかりやすく	情報の入手手段や伝え方などソフト面においてもバリアフリーであること	2
	（ハード面）バリアフリー。聴覚障がい者対応。会議や議場はヒアリングループを設置		1
	ソフト＆ハード面で各窓口での対応。音声翻訳ソフトなど。		
	ハード面でバリアフリー（エレベーターや車いす対応）	どんな人にもやさしい庁舎	
	そこに行けば何かしらの結果が得られる場所。	相談したいことなどが解決できることが大切。	
	窓口などの見える化。待ち順などが分かる窓口。	どこにどの窓口があるのか？や申請の手順が庁舎内で導線が見える化されている。	2
	こどもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる。		
	議会の様子が分かる庁舎。	現在は議場の入り口が狭かったり傍聴がしづらかったりしているので、傍聴がしやすい。距離感が近く様子が見れるようにする。	1
	そこで働く人たちが働きやすい庁舎	市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎。職員が働きやすい環境づくりが出来ている。	2
地域のまとまり	自治会の加入を促進する	市からの情報は自治会を通じて住民に周知されるので、自治会に加入してもらいたい。	1
		現状として、自治会に加入するメリットが感じられずに退会される人もいる。	
		自治会のありかたを見直す必要もあるだろう。	
	外国の方への地域ルールの指導（ゴミの出し方やルール）がされる		
魅力ある市をつくる	誰でも参加しやすい設備の整った会議室（フリースペース） プロジェクターやオンライン会議システム、補聴機器などがある。	誰でもが気軽に利用できるスペースや機器が揃っている	
	年齢、国の壁を越えて交流できる場所であってほしい	誰もが集いやすい交流の場づくりがあるとよい。	
産業振興	（なし）		

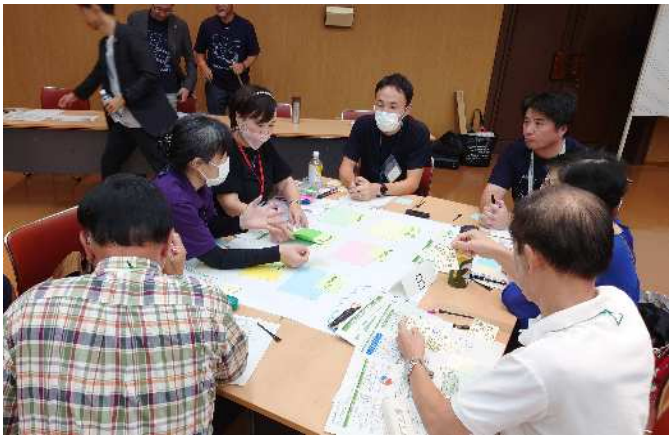
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	常にホームページは新しく（台風時の休校などの情報をアップしてほしい）	台風や災害などが発生したときの学校判断の休校措置など対応がバラバラな場合、ホームページを見れば各校の対応が見れるようになるとよい。（現在は、そうした情報がどこにも公開されていないので分からない）	
便利なまち	公共交通機関で便利に行くことが出来る。	駅や市役所など公共施設を中核にした路線図などを考える。	
	バスの充実。学校や保育園などで使いやすくする。		
	庁舎に行かなくても手続きができる。オンライン窓口がある。	相談ごともオンラインでできるとよい。	
	手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。	高齢の方にとってはデジタル化、オンライン化は対応が難しい。オンラインとオフライン（窓口）が併用されてどちらでも利用できる。	4
	手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。	申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。	1
新庁舎建設の費用（※）	コンパクトに小さく。民間に任せられるところは任せて。	現在は庁舎外に賃貸で入居している課もある。全ての事業課が庁舎内に入れるようになる。	1
	コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え		1
こんな設備があるとよい（※）	サロンや展望室など集える場所があると行きやすい。		
	子育てに手厚い。庁舎内に一時預かりができる、本が読めるような場所があるとよい		
	みんなの冷蔵庫の役割（貧困対策）	食糧など提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。	
	美濃加茂市のシンボル的な場所		

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
まちがつながる、みらいにつなぐ	まちがつながれば、人がつながる。人がつながり未来につながる。
	さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所
いつでも！誰でも！何にでも！ バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。 老若男女、異国の人でも、障がいの有無に限らず、誰でも。 公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。 市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 建材にアベマキを使ってほしい。	アクセスとしてあい愛バスが乗り入れ、利用が増えるとサービスが充実し、更に利用者が増える好循環になる。
・見えるバリアフリー ・動くバリアフリー ・コミュニケーションバリアフリー	障がいを持った人にも分かりやすく（見える）、ハード面でも動きやすく（車いす対応など）、市民と職員のコミュニケーションが気軽に行える
たよりになる人、ここにいます	たよりになる人は職員に限らない。ボランティアや有志など市民全員。ここにくればいろんな人と出会える。
つかいやすい	
メリ・ハリのはっきりした庁舎	公と私のメリハリ（区別）がついている。職員への個人的/感情的な攻撃（クレーム）などが生じない。
気軽に、コーヒータイム的に	コーヒータイムのような気軽さで。
とりあえず庁舎に	
まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。	

■9/24　B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	バラバラな市役所は不便。健康課は不便。		1
	たくさんの相談スペース（小部屋）でプライバシーがある。	申請より相談が大事	
	来庁者の立場に立った対応		
	子育てに関する相談ができて、安心できる場所。	・保健センターの場所が悪い。 ・職員が安心！市民も安心して妊産婦が行ける場所に！	2
地域のまとまり		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	交流センターを活用すればいい！	・連絡所を兼ねている。 ・各学区毎くらいにある。→近さが一番！	1
	公民館の役割は？	館長はいない。	
	自治会の存在感はあるが、加入者は減少中である。	・入会金を無料にしてほしい。 ・外国人は自治会に入っていない。 ・楽しい行事を自治会で作る。 ・「楽しい人」がいる自治会でないと入らない。	
魅力ある市をつくる		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	こども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために）		
	市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！	市民の憩いの場は、既存の交流センターや公民館を活用しよう！	4
	市民が自由に過ごせたり、自由に使えるスペースは不要	コストが増えるから	
	駅前再開発について、先回の再開発は投資しただけで、金銭的に困った店舗の人が多くいた。慎重に考えてほしい。		2
	いずれ撤去されるシティホテル跡地は、森に近い公園として整備してほしい。		1
	将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作ってほしい。		
産業振興	農業・産業を支援する役割	許認可・助成金・補助金のこと以外の市の役割は、新庁舎には不要である。	1
	観光振興はやってほしい！		

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。		1
	災害に強い立地、建物の造り、ランニングコストがかかりにくいものにしてほしい。		3
	災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。そのために、水がついてはダメで、広い駐車場があってほしい。		1
	避難する時に広い道路が必要。	緊急車両が通れるために広い道路が必要！建物よりもまず道路！！	
	災害時も市民を守る指令をできる役割	・市長から部下たちにスムーズに指令できるように。 ・連絡方法を整備する必要もある。	
便利なまち	証明書の発行のデジタル化。家から申請して入手できるようにしてほしい。	・市役所に市民は行かなくて良い。 ・マイナンバーカードと連携すれば良い。 ・各課に行く必要はない。	
	職員の業務が遂行しやすい。福利厚生（例：休憩スペース・コンビニ・カフェ）を充実してほしい。	職員にストレスなく働いてほしい！	1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
内外強靭	ねばり強い。しなりがある。
必要十分な新庁舎	
有事の際心強い新庁舎	
市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎	
アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎	
新しい市役所は「市民相談所」	市民をまもり支える
時代に合った便利な新庁舎	
新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎	
日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎	
時代に柔軟に対応できる新庁舎	

■9/24　C班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	相談窓口	どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど）	4
		スマホアプリなどを活用して、事前予約ができたり、障がいがある人でもスムーズに適切な相談窓口に行けるようなシステムを作る	
	リモートオンラインで相談できる　庁舎に来られない方もいる		
	相談者が安心して相談できる場・人	たらいまわしにされない工夫として、相談の事前予約ができるように	2
	老人ホーム	老人ホーム自体は庁舎になくてもＯＫ 高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい	
		子育て世帯が使う保健センターと物理的に近くに設置し、連携すれば、庁舎も利用してもらえるようになる（子育てしていてもなかなか庁舎に行く予定はないため）	
地域のまとまり	安心・安全　モラルの確立のリーダー	警察など別の機関と連携して、何かトラブルがあったときの対応をしてほしい 例）自治会でもめたときの対応など	
魅力ある市をつくる	公園・カフェ・図書館など市役所に用事がなくても利用できる場	一方で、予算的には難しいので、機能としてはシンプルでありつつ利用したくなるような工夫が必要	3
産業振興		特産品のＰＲができる	
		企業相談	
		商工会と連携	
安心安全なまち	災害時に真っ先に市民を救済できる	避難場所としての機能（川の氾濫時）	
		立体駐車場→避難所として利用 地下駐車場→遊水地として利用（水を貯める）	
	ＦＭ放送局設置	緊急時のすばやい発信ができるように	
	ケーブル放送		
	防災拠点	防災公園の機能	4
		本部として機能できるように	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	市民サービス　ゴミ処理（ビン、カンなど）	ゴミを便利に出せるように 具体的には、わざわざビニール袋に入れなくても、常時回収ボックスを設置していてほしい 関市や富加町の例を見てほしい	4
	モバイルバッテリー回収ボックス設置		
		ゴミ処理については、受け入れる市側も使いやすい（負担にならないような）サービスであるべき	
その他の意見（※）	企業誘致	働く場を増やすことが産業振興につながる	
	お金がないからできない　は説明じゃない	以前、ゴミの回収ボックスに関する要望を市職員にしたところ、「お金がないからできない」という回答があった。考える姿勢を見せてほしかった。	

（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
日本一の市になる為の新庁舎	市が目指す最終目標
	魅力や住みやすさについての情報の発信
	住みやすいまちの日本一
	ＷＳで皆さんの意識が高いと感じた→日本一になる可能性がある
市民に寄り添う新庁舎	STEP2 で相談窓口についての話が盛り上がったことを考えても、市民に寄り添うということが重要
サポーターとしての新庁舎	市民・市（庁舎）がお互いに支えあえる
・生活に便利な新庁舎 ・若者と高齢者の共生な町（新庁舎）	高齢化に対応していけるモデル的な市を目指す
1 人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎	・防災の視点 ・弱者を守るという視点
すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎	

■9/24　D 班

1)ワークショップの様子

2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	市役所職員の環境整備 「現場主義」		2
地域のまとまり	総合的な事業展開できる新庁舎 図書館、体育館、コンビニ、喫茶店、市役所	面の一つととらえる	1
	一団の土地として考え、機能する。 多目的に展開できる土地		
	自己承認感もらえる所	コミュニティ	1
	どんな自分でも受け入れてもらえる場所		
	わくわくできる場所 学校、施設 高齢者、障がい者ごちゃまぜ		
	ほっとできる場所		
	教育の充実 ・待機児童 ・学童保育		
	まちづくり、自治会、ボランティア団体の発展、リーダーシップ		
	自治力アップする所		
魅力ある市をつくる	情報発信機能 様々な情報を市民へ	存在が学びになる	1
	市民が自然環境について学ぶことができる庁舎		
	美濃加茂市のランドマーク みんなが集まる場所	美濃加茂といえばとなる場	1
産業振興	ケア部門の仕事は市が担当して働く人を保証し、確保する	福祉部門	1
安心安全なまち	災害時の拠点 緊急時の対応ができる		3
	災害時に重要な拠点となるべき →それには人材の育成が必要	ハードだけでなくソフトも （人材、リーダーシップ）	1
	防災に優れた市民生活を守る市民の命を守る立場に立つ		2
	人材を市に求めるだけか。 ほかの関係機関に求めるのか。 職員にたよるだけでなく人材を育てる		
	防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望		2

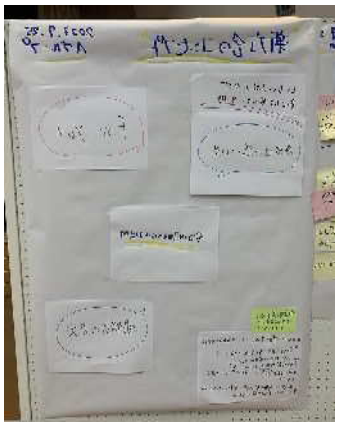
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	歩いて散歩がてら立ち寄れるところ	各地に権限機能を充実	
	市の役割は 10 年でいいが、建物は土地と共に 30 年先を見越したまちづくり		
	便利な市役所 交通面、機能面		
	連絡所など強力なサポート 連絡所ができること増		1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
広い公園の一角に立つ新庁舎	高台から見渡せるように
わくわく集まるあじさいタウン	あじさいの花のようにそれぞれが咲く
・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎	安心、安全
・みんなの新庁舎 ・みんな尊い存在と認め合い のんびり聴いて話そう 川、森、山を愛でながら もうワクワク止まらない新庁舎	相談に来て、ワクワクして帰る
・次世代新庁舎 ・未来へつなぐ新庁舎	今だけではなく、未来を見据えて
安心コンパクト新庁舎	庁舎はシンプル、ほかに予算を

■9/25 A 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

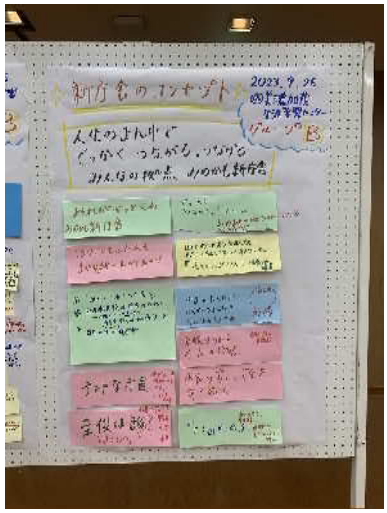
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	発信力		
	対応の均一化	担当者が違うと対応が変わる	1
	たらい回し×	どこに相談してよいかわかりやすく	2
	窓口の一本化		
	一人高齢者		
	駆け込み寺		
	弱い存在の強みを活かす	子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ	2
地域のまとまり	IT 化（DX）	IT で連絡所の機能充実など	6
魅力ある市をつくる	ワクワクを生み出す場所に		
	本庁舎よりも連絡所の機能充実	相談しやすい	4
	住民福祉の充実・向上		
産業振興	新自由主義に負けるな！職員が怯えている	商工会議所に市役所が負けている	
	新庁舎周りのまちづくり		
安心安全なまち	安心安全な防災拠点		1
便利なまち	ペーパーレス		
新庁舎の機能（※）	交流の拠点		
	食堂があると言い		
	ミニ県庁のようなものはどうかと	物や形に拘らない	
	広いスペース、明るい空間	プライバシーの確保	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
今日と明日をつなげる場所	
→多様性の思いの場	
→いろんな人々が安心して暮らせる街	
→For　You	
→連絡所の充実	
皆さんが集まることに拘る意味が分かりません	市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
防災に本当に関心があるのか疑問です	

■9/25 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	明るくきれいで入りやすい。		
	市民の誰もが集える場所	市民も、職員も！	5
	休憩できる場所。	社食・食堂	
	待ち合わせスポット・カフェ・広場等	妊婦さんが静かにゆっくりできるところ。	
	こどもの待機場所	こどもを見守りながら居る場所	
	相談に気軽に行ける。	市民活動しやすい。	
地域のまとまり	職員が自発的に動ける。		
	職員の働きがいがある庁舎		
	職員の声が届く。		
	職員が活力ある庁舎		1
	取り上げられない市役所は、一つの建物場所であるべき。		
	新しい庁舎建設が、そこで働く職員の意識改革を求める。		
	にぎやかなまちづくりのために庁舎計画を立て、強引に推し進めたことは何人なのか？		
	いろいろ出される市民の要望は、縛ることになる。（意見は意見として列挙して施策として活かしてほしい。）		
魅力ある市をつくる	まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。	他市の人が「美濃加茂」をわかるような場所を作ってほしい。	
	こどもがいても手続きしやすい。		
	新しいまちづくり拠点。市の中心的存在。	・将来を見据えて用地を決めよう！！ ・50 年先、100 年先を見据えた建物	1
	図書館と新庁舎を一緒にできませんか？	・交流拠点になる。 例：岐阜メディアコスモス ・市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。	
産業振興	起業相談、企業サロン	既存の組織としては「姫 biz」がある。	
	商談の場	商工会を新庁舎に入れる。	
	サテライトオフィス	既存のものは、商店街にはある。	

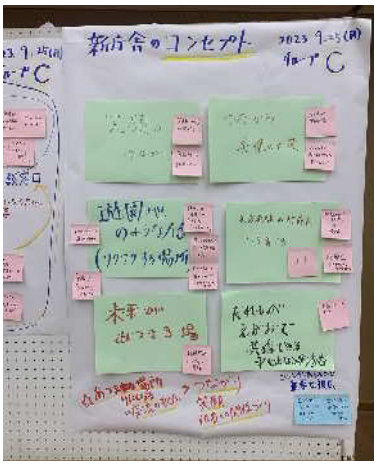
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	避難所	市民が災害時に行ける！	3
	防災拠点	絶対もちこたえる！	1
	駐車場でイベントができる。	イベントもできる。 →交流	
	大きな駐車場	全国から応援に来てくれた時に受け入れられる。	4
	テポドンから身を守れる。	地下を作る。 →災害時のシェルターになる。	
	新庁舎は安全安心な防災拠点となることが大前提。		
	自動車社会に適応した広い駐車場	旧計画業務基本は概ね集約されているのに、なぜ実行計画でできないのか。	
便利なまち	駐車場から庁舎へベルトコンベアで行ける。	車椅子が通れる広い廊下を作ってください。	
	ドライブスルー		
	バリアフリー		1
	トイレがわかりやすい	トイレを広くしてほしい。 天井を高くしてほしい。	
	分かりやすい動線	バリアフリー	
	シンプルで目的を遂げやすい。		
	目的の場所がわかりやすい。		
	どの課に行けば良いかすぐわかる。		
	デジタルの拠点	・人間の価値を出していくべきだ。 ・いかに人が幸せに暮らせるかを軸にしよう！！	
	一緒にデジタルに慣れる。	・交流のきっかけになる。 ・気軽に尋ね合える。	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
おれがやっとくわ、みのかも新庁舎	
困りごとも普段もまかせときゃーえーて、えか！	
安心して暮らせる町を	
新庁舎建設は市民のために	一つの地に、一つの建物を。（分庁舎方式は市民が望んでいない。）
自然の中の新庁舎	
テントな庁舎	・雨が降っても晴れの日も優しい。 ・いつでも集える。
主役は誰でしょう？「主役は〇〇」	・美濃加茂市の全員 ・職員 ・企業 ・市民
でっかく「つながる」「つなげる」	・広い駐車場→場がきっかけにつながる。 ・広くつながりたい。
全ての人が集う新庁舎	日本の中心である美濃加茂市に。日本人を含め（世界の人が集まる）庁舎。
ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか	生から死までの真ん中にある新庁舎
来続けられる市民の拠点	ゆりかごから墓場まで
市民の安心安全を守り抜く	
「よく」わかる	・市のやること ・動線 ・市の動き ・わかる→わかりやすい

■9/25 C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	市民とつながる		
	市民に寄り添う	庁舎に来たくてもこれない人の相談にのる 例）DX、職員が外に出ていく	1
	多様性を受け入れる環境	色んな人を受け入れられるように	
	暮らしの拠点	子育て、相談窓口、福祉、介護など様々な分野における拠点	1
	相談機能の充実 安心して相談できる場の設定	色々な事情がある人の相談の受け入れ	3
		プライバシーが守られる	
		たらいまわしにされない	
		相談者などがこどもを預かってもらえる場所	
		相談機能を充実するうえで、仕組みばかり整えても意味がない 対応する職員のスキルが大事であり、職員のキャリアアップ（スキルアップ）が重要	
地域のまとまり（庁舎の役割以外）		外国の方は新庁舎に関心を持っているか 人口の 10%近くの外国人がいるため、その意見も重要	
		自治会に加入する人が少ない	
魅力ある市をつくる	市のイメージＵＰ	建物自体に魅力がある 例えば、ただの箱のような形の建物だと行きたいと思えない、市産材を使用するなど特色を生かした魅力ある建物にしてほしい	1
	市のシンボル的建物		
	働く人が活き活きできる場所	働きやすい→モチベーションにつながる	5
		働く人の笑顔が増える	
	ハード（建物・外形）よりソフト	魅力ある市をつくるためには、ソフト（サービスの質等）の方が重要である	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
魅力ある市をつくる	こどもが行きたいという場所 （ヒマつぶしに行ける場所）	新庁舎建設について、無関心な市民が多いという現状は、普段から庁舎に足を運ぶ機会がないことに要因の一つがあると思う。こどもの頃から何度も足を運んでいれば、庁舎への関心をもてるようになるはず	2
		庁舎に関心が持てるような工夫の例 ・１Ｆにレストランやテナントなどがあって、庁舎のある建物に入りやすい工夫をする ・ガラス張りにした議会を１Ｆや２Ｆに置いて、市政に興味を持たせる工夫をする ・庁舎のレストランやカフェなどで、議員さんとつながれる（話す機会などがある）	
産業振興		目につく場所に市のＰＲ（庁舎 1F など）	
		市に関わってくれる企業とのつながり（オンラインなども活用して、より広く自由につながってほしい）	
安心安全なまち	防災の中心（ハード的）	災害時にびくともしない	3
	災害時の司令塔		
便利なまち	交通の便がいいこと 駐車場が広いこと	車社会なので、庁舎を建設するうえで必須の条件となる	2
その他（分散と集中について）（※）		証明書の発行は支所やコンビニでもできるため、機能としては分散しても OK	
		来庁者の利便性を考えて一か所に集中するべき部署もある （例えば相談をしにいってその担当課が別の場所にあるとなると大変）	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
笑顔のつながり	笑顔が新たな笑顔をつくり、笑顔のつながりが広がっていく
	笑顔のつながりがある庁舎は、災害時にもホッとできる
つながる美濃加茂	人と人がつながる
	人と人の関わりの拠点として
遊園地のような庁舎（ワクワクする場所）	働く人のイキイキがこどもの「行きたい」につながる
	遊園地は楽しく遊ぶために乗り物の管理などをしっかりしている 市庁舎も、楽しく遊べるための管理が重要
	だからと言って、お金をかけて大きいものをつくってほしいわけではない
	いろんな人が集まる場所
	「関わり」「つながり」のきっかけになる場所であってほしい
未来が集まる場	ずっと未来を考え続ける場所　持続可能にもつながる
美濃飛騨の結節点として育てる	美濃加茂市の地理的な特徴が川と鉄道の結節点があるということ
	結節点という特徴を生かす、育てる
だれもがえがおで共存できる中心となる新庁舎	お互いに支えあえるまち

■9/25 D 班

1. ワークショップの様子

2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	住人の期待、相談によりそう行政であってほしい	相談安心	2
	なぜそうなるか立場をよくみて小さなことでも考え取り合ってほしい		
	こどもがいても安心な待合場所		
	こども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある		
	職員がフットワークが軽く外へ行ける組織づくり	解決までのスムーズさ	
	市役所の仕事の見直し		
	困ったことをスカッと解決できる所		
	職員も安心して働くことができる		
	市民中心、市はサポート		
	誰もが安心して相談に行けること		1
	情報共有の場	意見の分析、理解	
地域のまとまり	加茂野の連絡所はこどもが集まっている	連絡所との関係性	2
	連絡所で解決できる幅を増やす		
魅力ある市をつくる	時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること →柔軟なレイアウト		
	あまりお金がかかっていないこと →他のことにお金が使えるから	予算	
	お金のかからない新庁舎にしたい		1
	庁舎は商売ではない。 にぎわいづくりは別		
	会議室やミーティングが気軽に無料でできる場所		1
	明るいフロア		
	アベマキを使用した木造		
	ホッと一息コーヒーを飲める場所がある		
	影色をながめながらゆっくりと食事がとれる場所		
	安全な場所、みんなが集まりやすい場所（車社会で）		
	観光の際のパーキングになる		
	人が集まるところを作って、そこの一角に市役所があるといい	シンボル化しない	1
	公園の中にある庁舎		1
	市役所は市の顔であってはいけない。 市役所は市民のためのもの。市の顔は市民		2

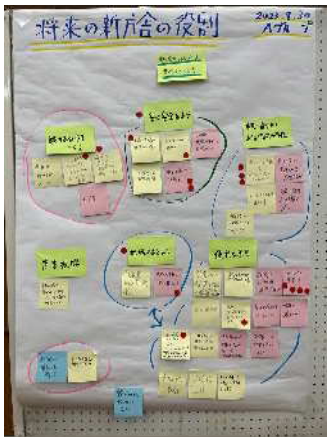
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
産業振興	イベントホールを庁舎に		
	城にする		
	ホテル機能 バイキングの朝食も食べられる		
安心安全なまち	災害時に対策本部として機能すること （電源、水、強い建物）		
	防災対策本部 被災時にしっかりと動ける		
	お金を安くする方法 ①前平公園は市の所有 ②すべて条件がそろっている 【疑問】前平の年間の利用者数		
	市民が納得できる場所 市所有の前平公園		
	位置を真ん中にしてハブにする	ゾーニング （庁舎→商業地・住居→生産地）	
便利なまち	車、バス、自転車、徒歩で行きやすい （逃げ場としてふさわしい）		

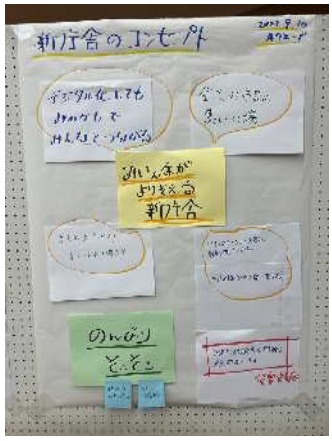
(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
自然を大切にしたゆとりのある環境 共存し合う（つどう）夢のある新庁舎	アベマキ、杉、松、木材建築の活用 代替、再利用できる
道の駅 美濃加茂市役所	・アベマキ造りの道の駅 ・そこで農作物を売る農家、新しい店 ・周りにある里山公園で遊ぶこども ・その一角にあるアベマキ造りの新庁舎 ・自然と人が集まる場所
水のような市役所	・普段意識しない。でも必要なもの ・すぐそばにある ・形を自由に変えられる ・人が集まるオアシス ・時代や技術に合わせた柔軟なレイアウト ・みんなにとって大事なところ でもそんなに肩肘張らないゆるやかな場所
市民モールみのかも みんなで のんびり かかわって もりあげよう	・ショッピングモールのようにワクワクする所がたくさんあって、人が自然に集って、かつ、安心できる場所 ・アベマキを使ってあたたかな雰囲気で
①安全な場所 ②税金で作るため安く作る →結果前平公園につくる	市の土地を有効活用

■9/30　A 班

1. ワークショップの様子





2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

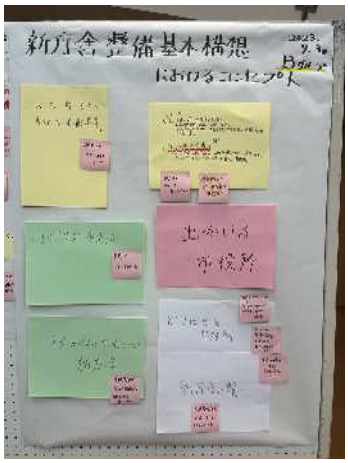
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い守る行政の存在	受けられる支援をすべての市民に知らせる	声なき声が聞き取れる	3
	社会的弱者の見守り	支援が必要な人に情報が届く	
	相談の多様化に対応する		
地域のまとまり	自治会加入率が低い	地域の活動が下火になっている	2
魅力ある市を作る	市民が誇れるなにかひとつ		
	ふらっと立ち寄り話ができるアゴラのような広い場所（集会所）		1
	相談やおしゃべりに立ち寄りやすい明るいデザイン		1
産業振興	美濃加茂の農地がなくなっていく中、今後の食料は問題ないか		
安心安全なまち	生活を守るための防災はどうする		1
	新庁舎建設は 10 年後で確定か？	10 年間地震が来ないとは限らない	1
	防災拠点としての機能	安全な場所に庁舎を	2
便利なまち	弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所	ユニバーサルデザイン	4
	来庁者の利便性を高める機能	来庁者がわかりやすく説明してほしい	
	多言語対応	外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように	
	職員はサービス業だと認識してほしい	窓口など案内をわかりやすく	1
	一般の市民が多文化共生を受け入れられるのか	外国籍の方が戸建住宅に住むようになったが自治会には加入しない	
	市職員、一般市民、年齢隔たりなく使いやすい		1
	窓口の一本化		
	DX 化（IT）		
	DX が進む中全員が使うことができるか	デジタルが苦手な人も困らない仕組み	

（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
みぃんながよりそえる新庁舎	
→デジタル化してもみのかもでみんなとつながる	
→すべての市民の集いの場	
→多文化交流があり安心・安全な新庁舎	
→コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト	
→利便性わかりやすい案内板	
のんびりそこそこ	基本なんでもそこそこできる
	でも保守的
他の行政機関と円滑な災害対応できる	災害対応

■9/30 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	新庁舎をなるべく一か所にまとめてもらいたい。来庁するのに便利		
	窓口が一本化されている。ワンストップに集約されている。		
	総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。	床に行先を示すラインが引かれている、など。	
	各連絡所の格上げを望む。支所に格上げをして本庁への確認などなく決定権を持たせてもらいたい。	連絡所で判断/決定ができるようになる。	4
	「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出回れるようになること。	顔が分かる職員が支所にいる状態を望む。	1
	新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。	現場に近いところで職員が働くことで、より具体的/実働的になる。	
		新庁舎に求める役割が申請から相談に変化していくのであれば、連絡所の方が充実していくことが良いのでは？	
	作業ではなく、仕事をしてほしい（＝価値を生み出す）		1
	職員が行きやすい、働きやすい職場環境や配置を考える。	職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によいサービスを提供できるようになる	1
	職員の働きやすさ	職員も楽しく働けることが大切。	
	議員の方が住民とワークショップなどを開催し、その声を拾って議会に届けられるようになるとよい。		
地域のまとまり	太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある		
魅力ある市をつくる	環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携	新庁舎のありかたとして SDGs を意識したもの、そうしたコンセプトを大切にする	
	連絡所や支所の充実において、空き家などをリノベーションして活用するなども SDGs 的な取り組みになる		
	既ににぎわいがある場所、拠点になっているところに新庁舎を建設するのも良い。		
	新庁舎が拠点になって、周辺がにぎわい活性化していくということも考えられる		
産業振興	企業誘致に力を入れて市税を潤してほしい。		1
	農業に従事する高齢者への対応	田畑の継承問題や農業振興に力を入れる	

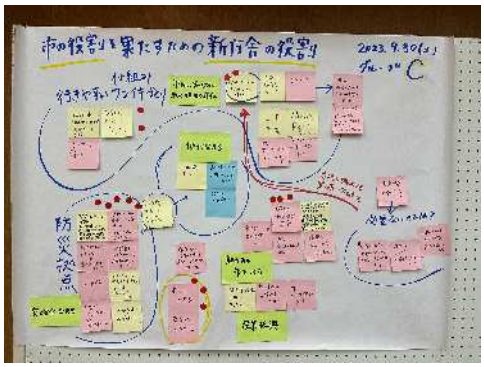
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	防災拠点	災害時にも機能する新庁舎	
安心安全なまち／便利なまち	災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎	役割が明確になっており、災害時に機能する	1
	高齢者の人と市役所が連絡が取れる	日ごろから顔が見える関係づくり	
	DX 化。庁舎にいかなくても良い。		1
便利なまち／新庁舎に求められる役割やサービス（※）	横ぐしの情報連携	役所内の情報共有がスムーズにできている。業務の連携が取れている	
	機能的にも複雑ではない庁舎		
	時代に合わせてフレキシブルに変形できる庁舎		1
	乗合タクシーサービスがある		
	一家に一台 PC を配布し、市役所とつながるようにする。市役所サービスが受けられるアプリを開発する		
	防災の司令塔としての機能（対応のまとめ役）		
新庁舎に求められる役割やサービス（※）	横断的に連携することが必要な業務		
	専門的な相談機能。情報の集約機能		
	音声で話したことが意見として AI で文字化・集約され、市民の意見としてまとめられる。	市民の声をより気軽に市政に届けられるサービスとして	4

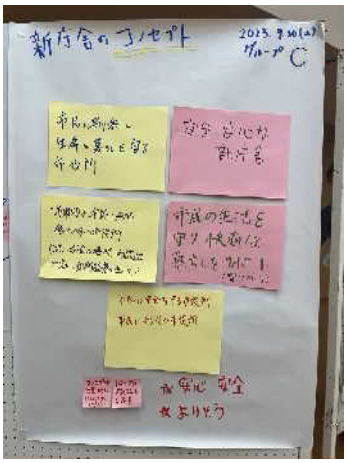
(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市	自然豊かな立地にあるとよい。
すぐ”やる”市役所	実行力がある市役所、すぐに行動する
出かける市役所	市民が市役所に行くのではなく、市が市民・地域に出てくる。 →市役所機能の分散・地域化
行かなくてもいい新庁舎	連絡所や支所などで相談でき、必要なときには新庁舎に訪問できる。
ミニマム・シンプル＆フレキシブル。 将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。	大きな道路に面しているなど、交通が確保できることは大切。
どこでも新庁舎 1 つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する	新庁舎はひょっとするとなくてもよいのかもしれない。
どこにでも市役所	必要な情報が安全な場所にクラウド化され、どこからでもアクセスできるようになると、ハード（建物）がなくなっても、どこでも市役所の機能を担うことができるようになる。
	再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる）
新庁舎の輪	各連絡所や支所がネットワークでつながり、全体として「新庁舎の輪」ができている

■9/30　C班

1. ワークショップの様子





2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割　※は新しくでた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	対応が優しい（話しやすい雰囲気）電話などの応対	何でも聞きやすい	2
	気軽に相談できる（行きたくなるような）		
	利便性の高い行政サービスを提供		2
	自宅で申請できる	デジタル化 一方で、市役所は市の思いを受け止める場であってほしい。「ＨＰにあります」とかではなく、一人ひとりのできること、できないことに寄り添ってほしい	
	土・日営業	第２土曜はやっています等	
	時間を長くしてほしい	サラリーマンは平日日中に市役所にいけない	
地域のまとまり	意見なし		
魅力ある市をつくる	分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる）	庁舎は分散しない方がいい 本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる	
		職員が働きやすい庁舎＝市民にとって利用しやすい	3
産業振興	観光・市民交流の拠点、市のＰＲ	関係人口を増やすために外に対して情報を発信	
安心安全なまち	防災拠点となる市役所（広い駐車場、広いスペースで変化への対応、来場しやすい場所で利便性も確保、自然災害に耐えられる）	温暖化、水害、地震、台風、集中豪雨など様々な災害に耐えられるように	5
		何が起こるかわからない→変化への対応できるように	
		消防署を水が付かないところでかつ市役所の近くに置くべき	
	スムーズに安全対策対応ができる（物資がすぐ届く）	司令塔	
	いざという時の防災拠点	庁舎がしっかりした作りだと気持ち的に安心	
便利なまち	交通の便が良い		
	駐車場を広く　交通スムーズ		
	その他の意見	あい愛バスを増やしてほしい	
		タクシーパスポートを高齢者に配ってほしい	

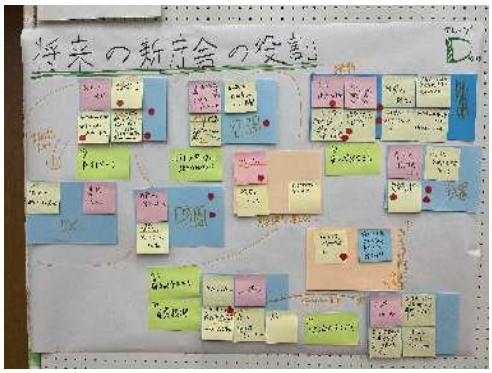
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
その他 （※）	庁舎に交流の場は必要？→必要ない	庁舎は小さく予算をかけすぎない	
		市役所以外に遊べる交流の場はある	
		逆に市役所以外の使われていない施設を有効活用すべき	
		新庁舎には、交流の場よりも質の高いサービスを求めたい	
		庁舎で市民の人の文化活動を紹介してあるような場あるとよい（集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方）	
	変化に対応できる、多目的に使える	その時々によってニーズや必要な機能は変わっていくため、変化に対応できて多目的に使える庁舎であることが重要	3

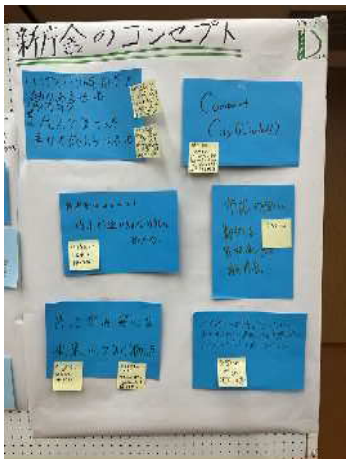
（2）新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所	
市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）	
安全・安心な新庁舎	
市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う）	
・市民の安全を守る市役所 ・市民に寄り添う市役所	

■9/30 D 班

1. ワークショップの様子





2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	（平日に）働く人も頼りやすい庁舎	時間的アクセシビリティ	2
	すぐやる課 （松戸のようにワンストップで解決できる課の新設）	窓口の 1 本化	2
	用件が 1 箇所で処理できること		1
	タライ回しにされないような対応		1
	周囲の交通状況への影響が少ない		
	DX 推進による小さい新庁舎 （各連絡所が相談窓口として機能）	空間的アクセシビリティ	1
	話す内容が他人の耳に入らないこと	プライバシー	1
	個別ブース		
	「すぐやる課」の多文化対応		1
地域のまとまり	自治会退会による地区連携減少への対応	自治のルールづくり	
	自治会と氏子を分けてほしい		
	近くのごみ収集場所を利用しても良い規約づくり		
魅力ある市をつくる／産業振興	市のシンボル化		
	高台 （遠くからでもどこにあるか分かる）		
	展望台		
	市内、市外への市の情報発信の中心	市内への発信が自治へつながる。 市外への発信が市の魅力アップにつながる。	1
安心安全なまち	位置		2
	防災の拠点		2
	地盤的に高い場所		
	災害時に応援物資運搬車両がアクセスできる場所		
	防災上安全であること	司令塔となる	
	水害に強い新庁舎 （洪水に強い場所、建物）	洪水の経験を活かす	1
	周りにあまり建物がないところ	空き地を利用した避難が可能	
	駐車場の位置が分かりやすいこと		3
便利なまち	（便利なまちを実現するために） 行政職員が働きやすい庁舎	・庁舎内の動線 ・リモートワーク	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
1．いざという時自然とみんなで助け合える市 2．住んで良かった幸せと感じられる市	市民の連携があって、隣の人も大切にしあえる市であってほしい。 人生で衣食住がそろうこと。その中で「住」は場所、 環境（精神的ムード）で大切で提供できる市
Compact City(Ciudad)	優しい街 日本語のコンパクトシティではなく、英語のほうが意味合いが強い。 多文化共生を兼ねて。（）内はスペイン語
将来用途に対応可能な新庁舎	何十年先でも不自由なく事務が万能
市民の想い、期待を具現化する新庁舎	今後もずっと。 （新庁舎自体が想いを具現化された場所ということではなく、想いを具現化する存在として新庁舎がある）
共に歩み安心な未来へつなぐ拠点	共に歩み＝多文化共生（外国人の方とも）。 安心な未来へつなぐ＝災害時でも安心。ずっと未来まで住みやすいまちを守る拠点
四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる	自然の中にとけ込める建物、位置！

別紙2

【連絡所及びコンビニエンスストアで行える手続き一覧表】

○連絡所で交付（取得）できるもの

担当課	様式・申請書等の名称
市民課	住民票・住民票記載事項証明書
	戸籍証明書（戸籍謄本等）
	印鑑証明書
	住居表示関係証明書
	印鑑登録
税務課	市県民税納税証明書
	固定資産税納税証明書
	法人市民税納税証明書
	軽自動車税納税証明書
	完納証明書
	所得証明書
	所得・課税証明書
	固定資産評価証明書
	固定資産評価通知書
防災安全課	美濃加茂市防災ラジオ貸与

○連絡所で受付はできるが交付はできないもの

担当課	様式・申請書等の名称
農林課	鳥獣被害防止対策補助金　交付申請書
	農業用資源保全管理活動補助金　申請書
スポーツ振興課	体育施設使用許可申請書
生涯学習課	美濃加茂市生涯学習施設使用許可申請書
福祉課	福祉医療費支給申請書
土木課	土木課備品借用申込書
国保年金課	後期高齢者医療高額療養費支給申請書
	後期高齢者医療療養費支給申請書
	国民年金保険料免除・納付猶予申請書
環境課	犬の死亡届
	美濃加茂市家庭廃棄物処理機器購入補助金交付申請書
	地域ごみ清掃実施計画
	ガレキ処分届申請書
防災安全課	自主防災事業補助金交付申請書
	防犯灯設置要望書

○コンビニで交付（取得）できるもの

証明書の種類	利用時間
住民票の写し	毎日　6：30～23：00
印鑑登録証明書	毎日　6：30～23：00
所得証明書	毎日　6：30～23：00
所得・課税証明書	毎日　6：30～23：00
戸籍の附票の写し	平日　9：00～17：00
戸籍全部（個人）事項証明書	平日　9：00～17：00

6.市民 4,000 人アンケート結果

6. 市民 4,000 人アンケート結果

第3回市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能および複数候補地案について、市民全体の傾向を把握するために以下の通り、アンケートを実施しました。

対象	住民基本台帳から無作為抽出された市内在住の15歳以上の市民4，000人
調査方法	郵送配布　郵送回答または Web 回答
実施期間	令和6年2月19日～3月6日
主な 調査項目	①新庁舎の機能 ・新庁舎に必要だと思う機能 ②新庁舎の候補地 ・新庁舎の候補地として良いと思う場所

令和5年度
新庁舎の機能・複数候補地に係る
市民アンケート
結果報告書

令和6年3月

目 次

【1】 調査の概要 1

1 調査の概要 1

1-1 調査の目的 1

1-2 調査の設計 1

1-3 回収結果 1

1-4 報告書の見方 2

【2】 市民アンケートの調査結果 3

1 回答者の属性 3

1-1 年齢 3

1-2 居住地区 4

2 新庁舎整備の認知度 5

3 ワークショップの参加の有無 7

4 新庁舎の機能 8

5 新庁舎の候補地 12

1-1 新庁舎の候補地 12

1-2 新庁舎の候補地に関する自由意見 24

6 新庁舎整備事業に関するご意見 31

7 その他自由記述 60

【1】 調査の概要

1　調査の概要

1-1 調査の目的

美濃加茂市では、誰もが使いやすい新たな庁舎を整備するため、施設の機能・規模の検討や候補地の選定など、整備に向けた「新庁舎整備基本構想」を策定中です。

この調査は、令和5年12月に行った市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能および複数候補地案について、市民の皆様の全体的な傾向を把握するために実施しました。

1-2 調査の設計

この調査は、以下の設計で実施しました。

調　査　地　域	美濃加茂市域全域
調　査　対　象	美濃加茂市在住の満 15 歳以上の人
標 本 サ イ ズ	4,000 人
抽　出　方　法	住民基本台帳から無作為抽出
調　査　方　法	郵送配布 郵送回収または Web 回答
調　査　期　間	令和6年 2 月19 日～3 月 6 日

1-3 回収結果

調査種別	配布数	回収数(回収率)
市民アンケート	4,000(100.0%)	1,504(37.6%)

1-4 報告書の見方

（1）指定の回答数を超える回答については無効回答として集計しています。

（2）比率を求める際の基数は回答件数（件数として掲載）としています。比率は、件数を 100%として算出しています。

（3）比率は全て%で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が 100.0%にならないことがあります。

（4）複数回答が可能な設問では、「その項目を選んだ回答数／回答者数」で比率を計算しています。したがって、各項目の比率の合計は通常 100%を超えます。なお、例外として、問3（1）における候補地の選択理由と不安な点は「その項目を選んだ回答数／全回答数」で比率を計算しています（合計は100%）。

（5）本報告書中の表、グラフ及び文章における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。

（6）クロス集計表において、着色の項目は、全体の第 1 位項目が黄色、第2位が青色、第3位が緑色、第4位が赤色です。また、表中において「その他（自由記述）」の回答は除いています。

（7）問2（新庁舎の機能）において、選択肢1～34のうち6つ以上選択している場合は無効としています。選択肢1～34のうちで5つ選択し、加えて「その他」を選択した場合は有効としています。

（8）問3（1）（新庁舎の候補地）において、候補地1つめ～3つめの回答欄全体で候補地の合計が4つ以上の場合は無効としています。

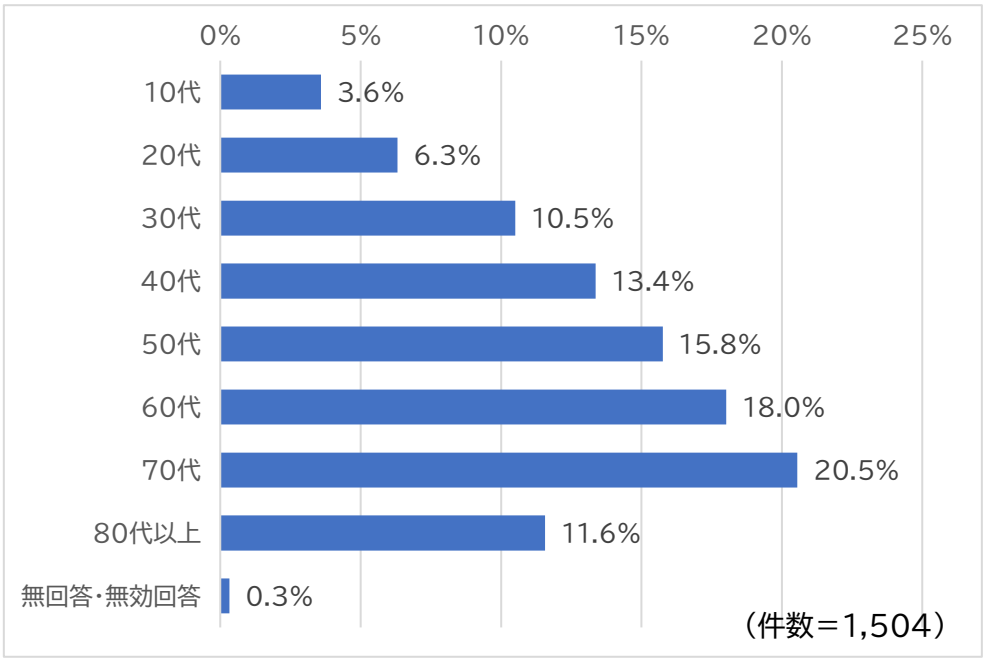
（9）問3（1）において、その他の理由および補足に選択肢の記号が記入されている場合は、選択理由／不安な点として採用しています。

【2】市民アンケートの調査結果

1　回答者の属性

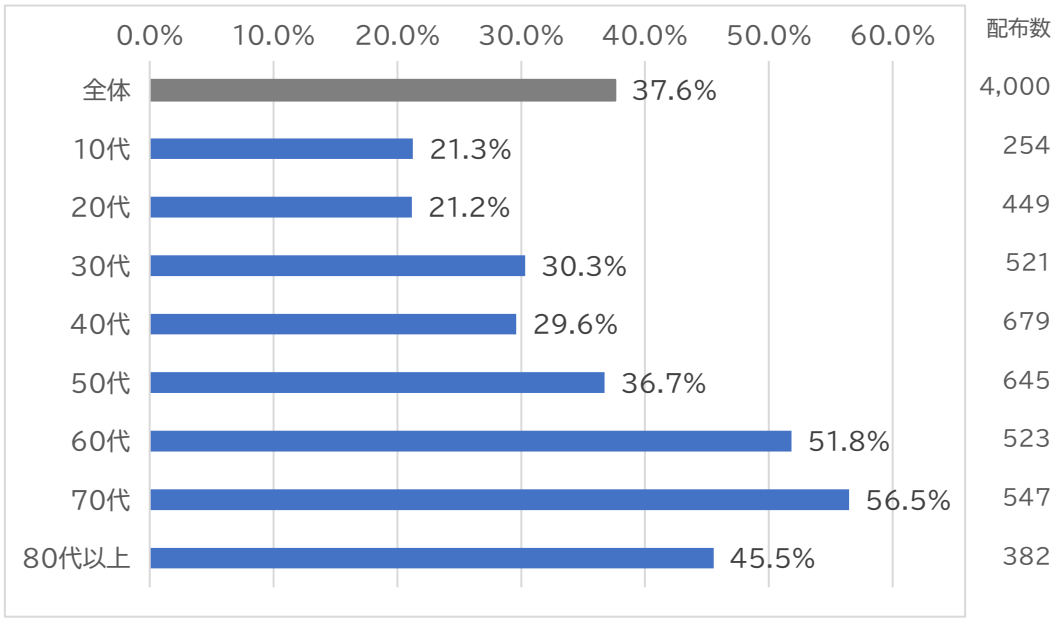
1-1　年齢

回答者の年齢は、「70 代」(20.5%)が最も高く、次いで「60 代」(18.0%)、「50 代」(15.8%)、「40 代」(13.4%)が高くなっています。



【年代別回収率】

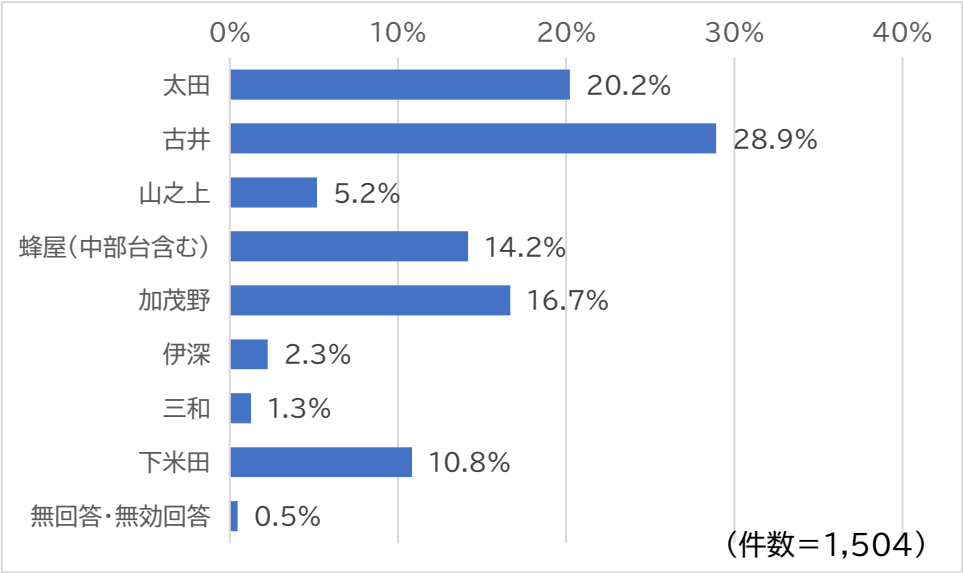
「70 代」(56.5%)が最も高く、次いで「60 代」(51.8%)、「80 代以上」(45.5%)が高くなっています。



（年代無回答・無効回答を除く）

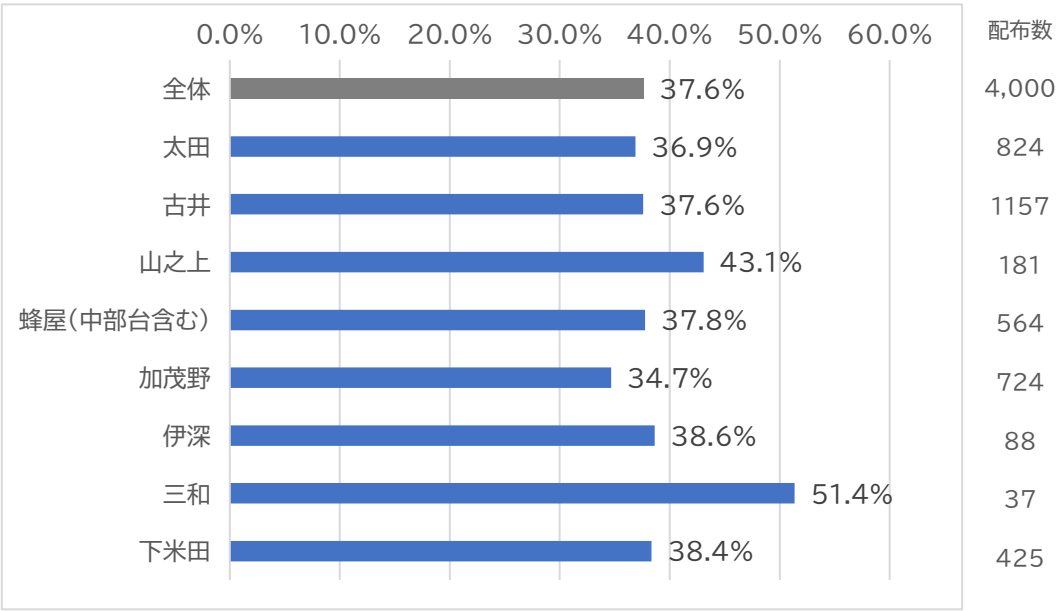
1-2　居住地区

居住地区は、「古井」(28.9%)が最も高く、「三和」(1.3%)が最も低くなっています。



【居住地区別回収率】

「三和」(51.4%)が最も高く、次いで「山之上」(43.1%)が高くなっています。

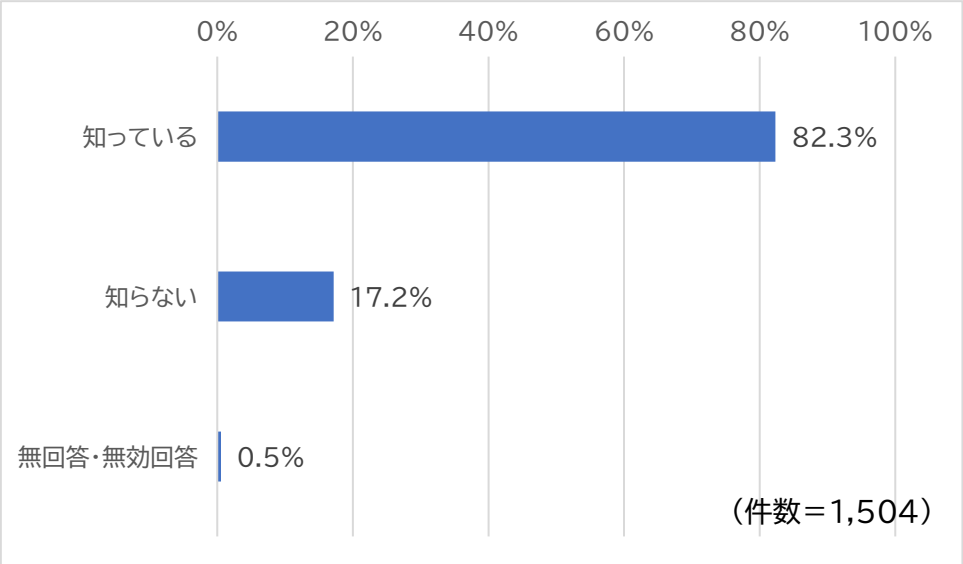


(居住地区無回答・無効回答を除く)

2 新庁舎整備の認知度

問1(3) 新庁舎整備事業を知っていますか(あてはまる項目1つに○)

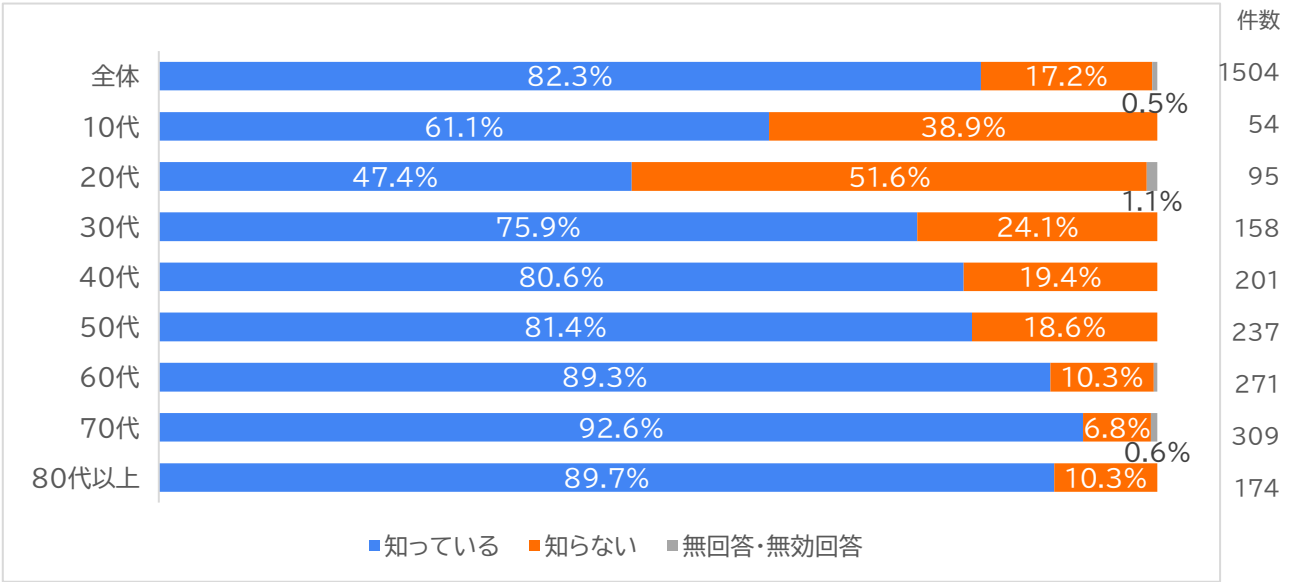
新庁舎整備事業について「知っている」が 82.3%、「知らない」が 17.2%となっています。「知っている」の割合は、前回アンケート(令和5年11月実施)から8. 5ポイント上昇しています。



【年代別】

年代別でみると、10代および 30 代以上では「知っている」が過半数を占め、年代が上がるにつれて認知度が上がっています。一方、20 代では「知らない」が過半数を占めています。

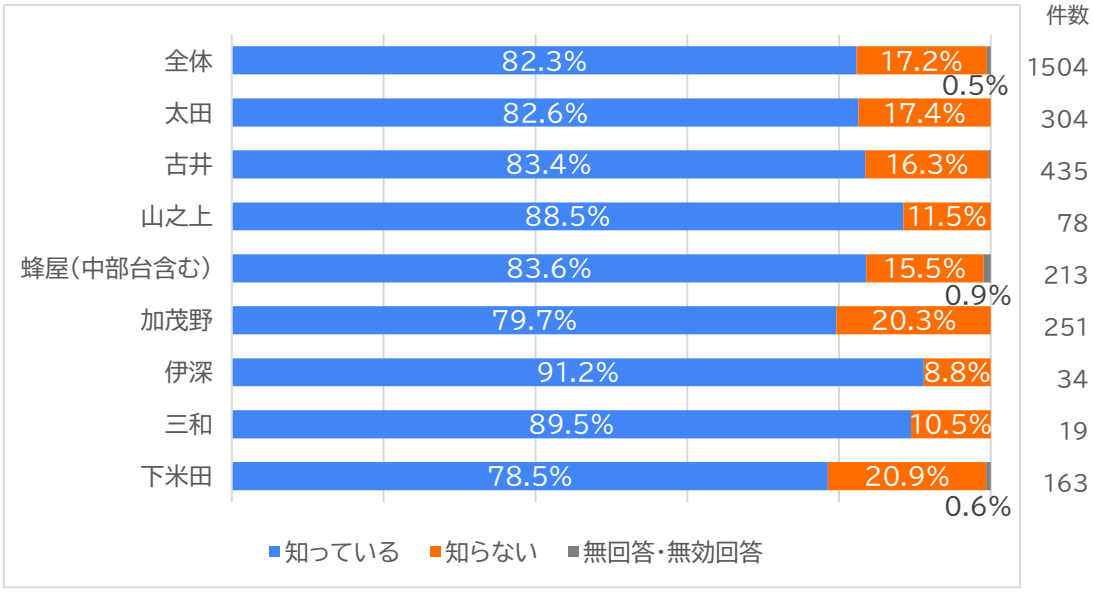
特に、中高生向けのワークショップを開催したこともあり、前回アンケート(令和5年11月実施)から10代の認知度が33. 8ポイント上昇しています。



(年代無回答・無効回答を除く)

【居住地区別】

居住地区別でみると、全ての地区で「知っている」が過半数を占めています。

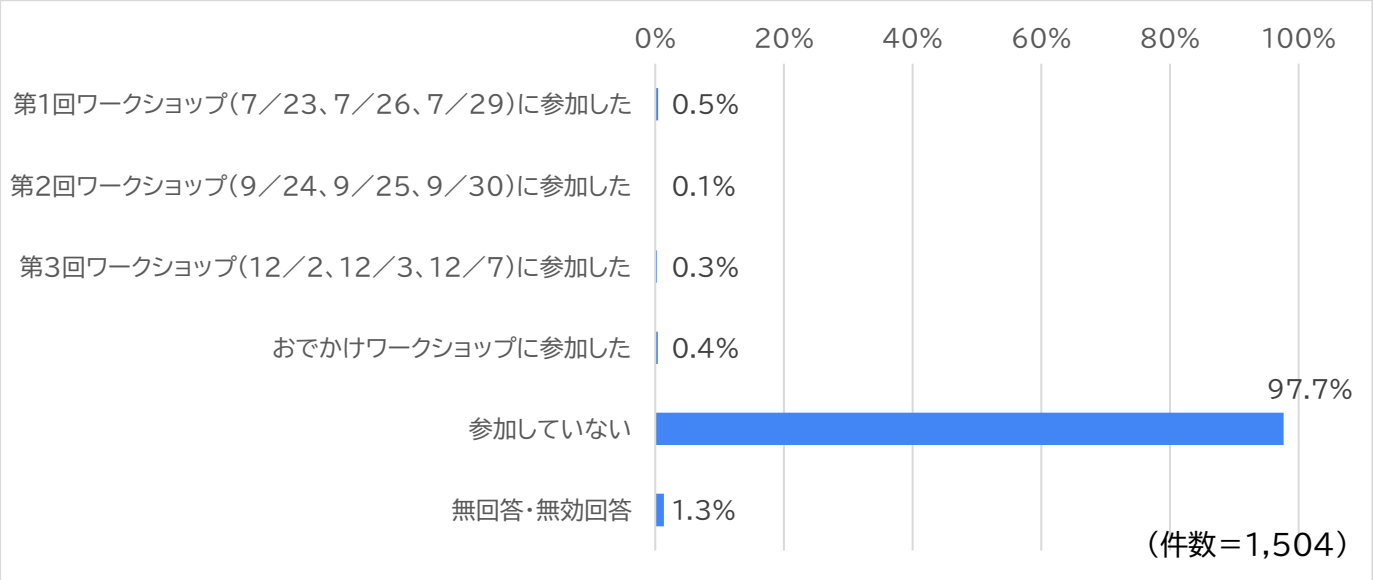


（居住地区無回答・無効回答を除く）

3　ワークショップの参加の有無

問1(4)　日時指定ワークショップとおでかけワークショップの参加の有無(あてはまる項目すべてに○)

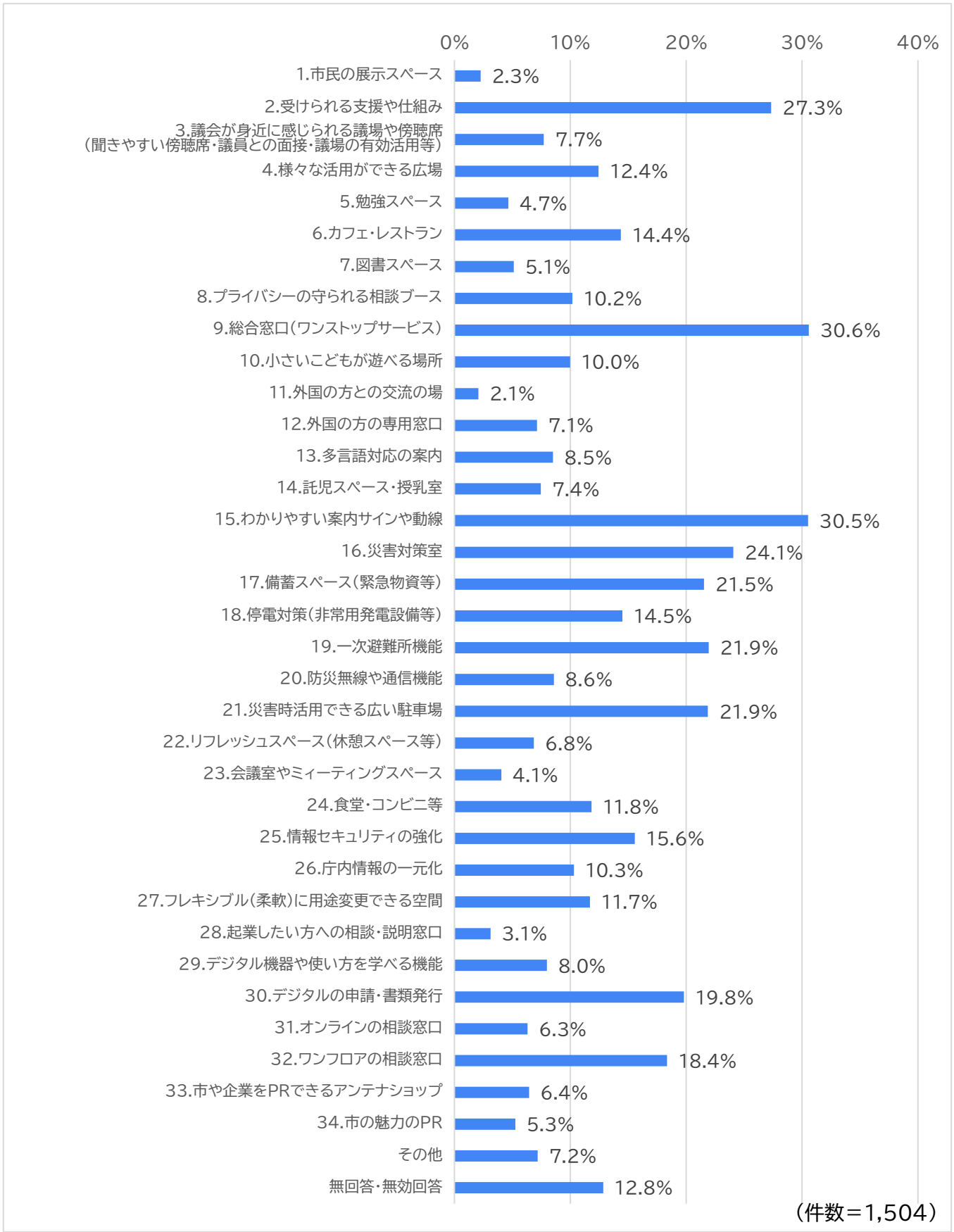
新庁舎整備に関するワークショップは「参加していない」(97.7%)が最も高くなっており、ワークショップに参加した割合は、第1回ワークショップが 0.5%、第2回ワークショップが 0.1%、第3回ワークショップが 0.3%、おでかけワークショップが 0.4%となっています。



4　新庁舎の機能

問2 「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。(あてはまる項目 5 つに○)

「総合窓口(30.6%)」が最も高く、次いで「わかりやすい案内サインや動線(30.5%)」、「受けられる支援や仕組み(27.3%)」が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、10 代では「勉強スペース」が 1 位になっています。また、20 代・30 代では「小さいこどもが遊べる場所」、30 代では「託児スペース・授乳室」が 5 位以内となっています。

年代	1位	2位	3位	4位	5位
10 代 （件数＝54）	勉強スペース （44.4%）	カフェ・レストラン （33.3%）	備蓄スペース （29.6%）	災害対策室/食堂・コンビニ （同率 24.1%）	
20 代 （件数＝95）	受けられる支援や仕組み （32.6%）	総合窓口 （29.5%）	小さいこどもが遊べる場所 （26.3%）	カフェ・レストラン/ わかりやすい案内サインや動線/備蓄スペース （同率 22.1%）	
30 代 （件数＝158）	デジタルの申請・書類発行 （38.0%）	小さいこどもが遊べる場所 （31.0%）	総合窓口 （29.7%）	託児スペース・授乳室 （27.8%）	受けられる支援や仕組み （27.2%）
40 代 （件数＝201）	総合窓口 （34.3%）	受けられる支援や仕組み （27.9%）	わかりやすい案内サインや動線/ デジタルの申請・書類発行 （同率 27.4%）		備蓄スペース （26.9%）
50 代 （件数＝237）	総合窓口 （38.0%）	受けられる支援や仕組み （29.5%）	わかりやすい案内サインや動線 （28.3%）	災害対策室 （26.6%）	災害時活用できる広い駐車場 （26.2%）
60 代 （件数＝271）	わかりやすい案内サインや動線 （34.3%）	総合窓口 （32.8%）	災害対策室 （26.6%）	受けられる支援や仕組み/一次避難所機能 （同率 25.8%）	
70 代 （件数＝309）	わかりやすい案内サインや動線 （34.6%）	受けられる支援や仕組み （27.8%）	総合窓口 （27.2%）	災害時活用できる広い駐車場 （24.3%）	ワンフロアの相談窓口 （23.9%）
80 代以上 （件数＝174）	わかりやすい案内サインや動線 （36.2%）	受けられる支援や仕組み （27.6%）	総合窓口 （25.9%）	災害対策室 （25.3%）	ワンフロアの相談窓口 （23.0%）

（年代無回答・無効回答を除く）

【居住地区別】

居住地区別にみると、蜂屋地区、伊深地区、下米田地区では「わかりやすい案内サインや動線」が 1 位となっています。

居住地区	1位	2位	3位	4位	5位
太田 （件数＝304）	総合窓口 （31.3%）	受けられる支援や 仕組み （30.3%）	わかりやすい 案内サインや動線 （29.6%）	災害対策室/一次避難所機能 （同率 22.4%）	
古井 （件数＝435）	総合窓口 （30.6%）	わかりやすい 案内サインや動線 （30.3%）	受けられる支援や 仕組み （25.1%）	災害対策室 （24.1%）	備蓄スペース （23.0%）
山之上 （件数＝78）	総合窓口 （30.8%）	わかりやすい案内サインや動線/ 災害対策室 （同率 29.5%）		受けられる支援や 仕組み （26.9%）	災害時活用できる 広い駐車場 （25.6%）
蜂屋（中部台含む） （件数＝213）	わかりやすい 案内サインや動線 （31.0%）	総合窓口 （29.6%）	受けられる支援や 仕組み （28.6%）	一次避難所機能 （26.3%）	災害時活用できる 広い駐車場 （25.4%）
加茂野 （件数＝251）	総合窓口 （29.9%）	わかりやすい 案内サインや動線 （28.3%）	受けられる支援や 仕組み （26.7%）	災害時活用できる 広い駐車場 （25.5%）	備蓄スペース （25.1%）
伊深 （件数＝34）	わかりやすい 案内サインや動線 （55.9%）	総合窓口 （41.2%）	災害時活用できる 広い駐車場 （35.3%）	受けられる支援や仕組み/ デジタルの申請・書類発行 （同率 32.4%）	
三和 （件数＝19）	総合窓口 （42.1%）	受けられる支援や仕組み/わかりやすい案内サインや動線/備蓄スペース/ 災害時活用できる広い駐車場/ワンフロアの相談窓口 （同率 31.6%）			
下米田 （件数＝163）	わかりやすい 案内サインや動線 （31.3%）	総合窓口 （29.4%）	災害対策室 （28.8%）	受けられる支援や仕組み/ 災害時活用できる広い駐車場 （同率 27.0%）	

（居住地区無回答・無効回答を除く）

【新庁舎整備事業の認知度別】

新庁舎整備事業の認知度別にみると、新庁舎整備事業を知っている人では「わかりやすい案内サインや動線」が 1 位となり、新庁舎整備事業を知らない人では「受けられる支援や仕組み」が 1 位となっています。

また新庁舎整備事業を知らない人は「カフェ・レストラン」や「小さいこどもが遊べる場所」が 5 位以内となっています。

認知別	1位	2位	3位	4位	5位
知っている （件数＝1238）	わかりやすい 案内サインや動線 （32.5%）	総合窓口 （32.3%）	受けられる支援や 仕組み （27.7%）	災害対策室 （25.6%）	一次避難所機能 （22.9%）
知らない （件数＝258）	受けられる支援や 仕組み （26.4%）	備蓄スペース （24.8%）	カフェ・レストラン （24.4%）	小さいこどもが 遊べる場所 （23.3%）	総合窓口 （22.5%）

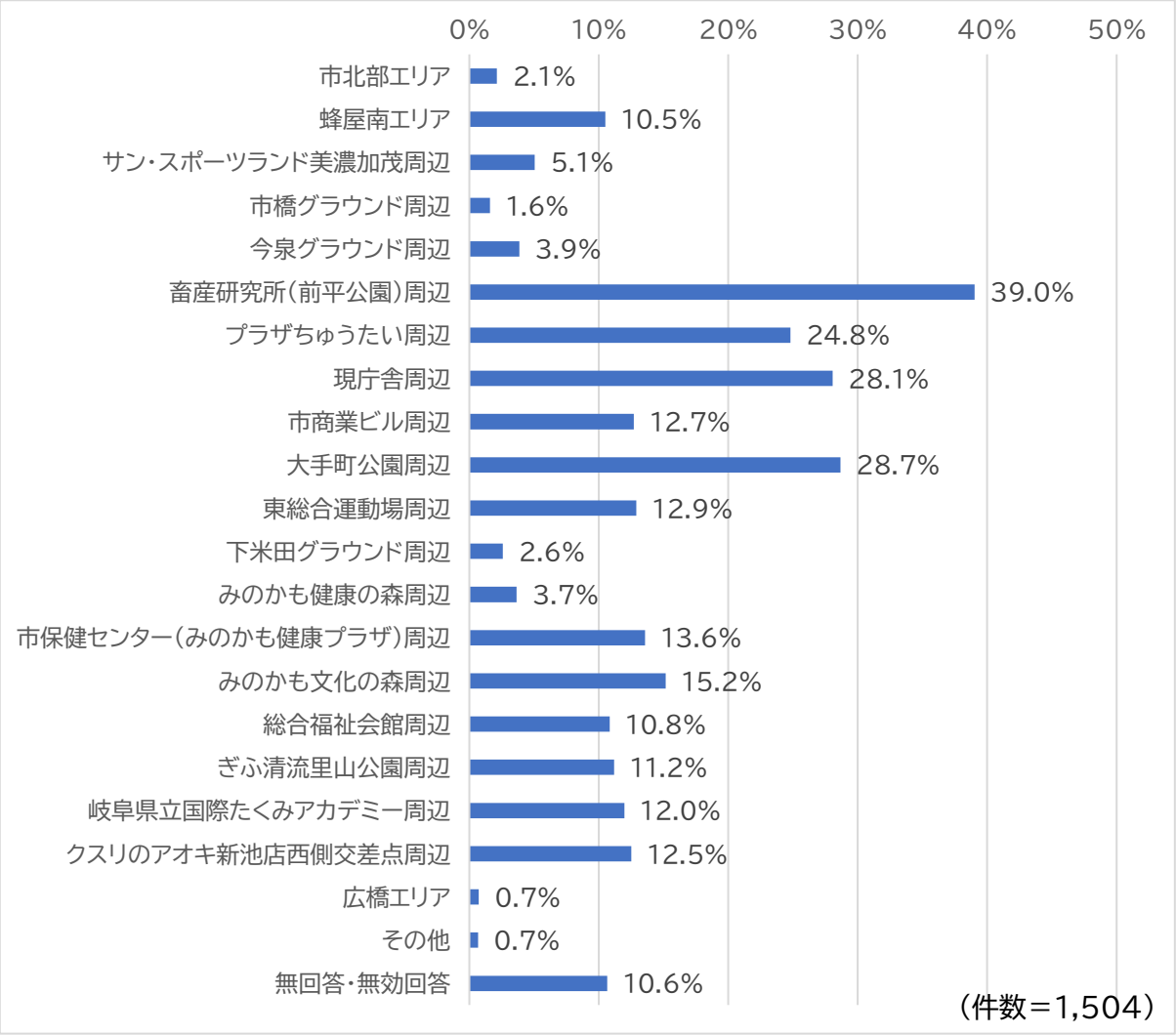
（認知度無回答・無効回答を除く）

5 新庁舎の候補地

1-1 新庁舎の候補地

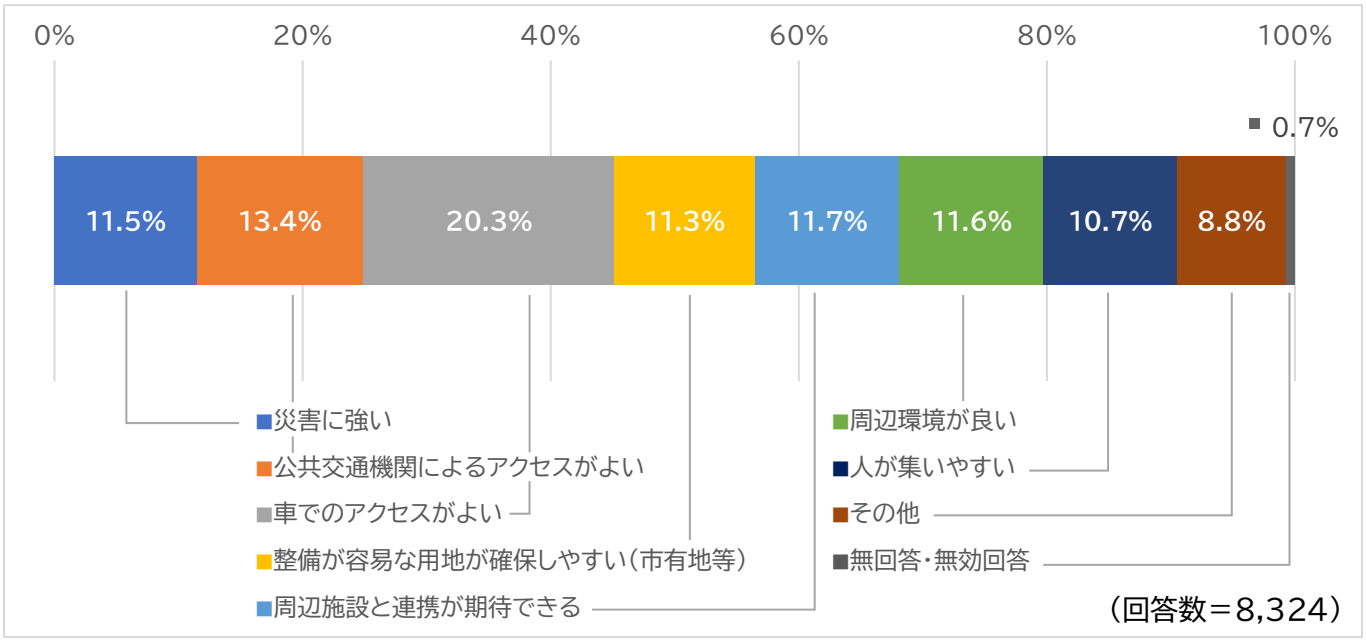
問3(1) 今までの市民ワークショップで出たご意見を踏まえ、新庁舎の候補地として特に良いと思う候補地を選択してください。(候補地 3 つと、その候補地の選択理由としてあてはまる記号をすべて記入、不安な点がある場合は同様に記入)

「畜産研究所(前平公園)周辺」(39.0%)が最も高く、次いで「大手町公園周辺」(28.7%)、「現庁舎周辺」(28.1%)、「プラザちゅうたい周辺」(24.8%)が多くなっています。



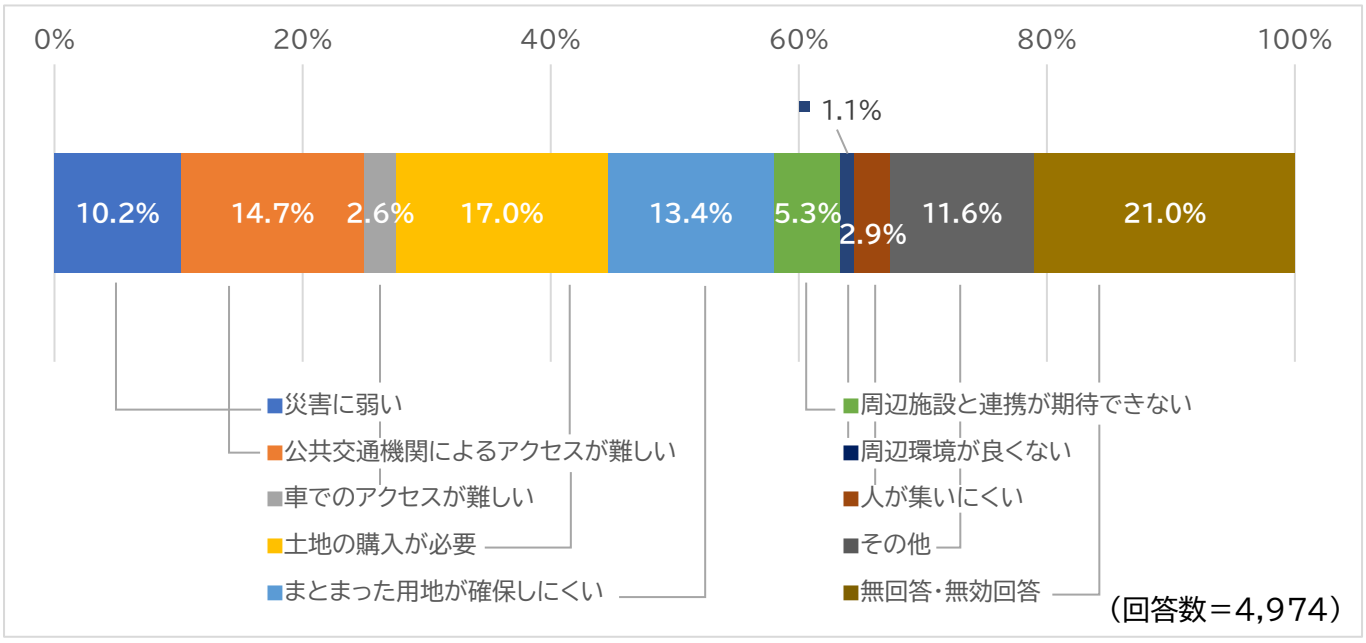
【選択理由】

回答者全体における候補地の選択理由として、「車でのアクセスがよい」(20.3%)が最も高く、次いで「公共交通機関によるアクセスがよい」(13.4%)となっています。



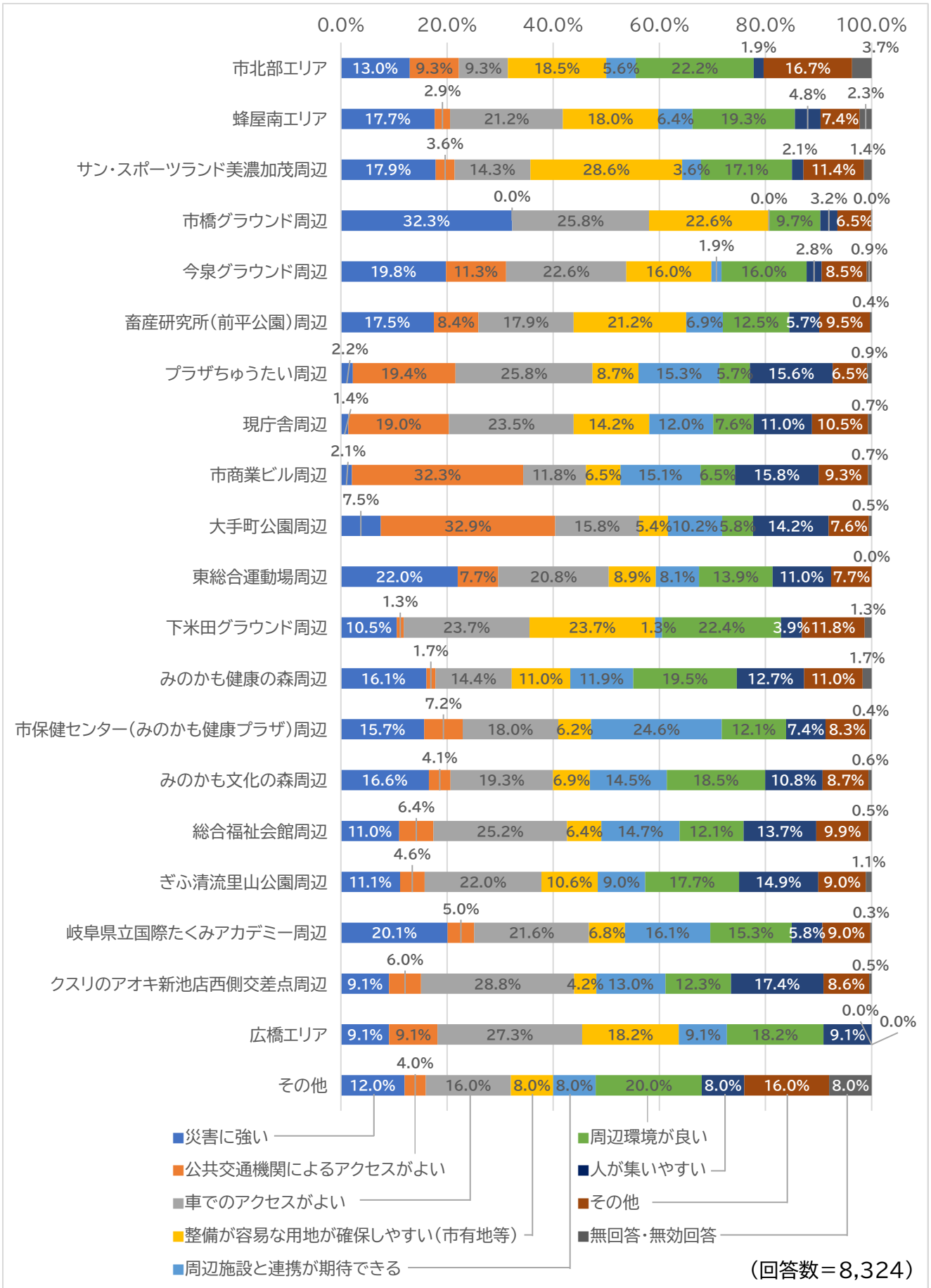
【不安な点】

回答者全体における候補地の不安な点として、「土地の購入が必要」(17.0%)が最も高く、次いで「公共交通機関によるアクセスが難しい」(14.7%)、「まとまった用地が確保しにくい」(13.4%)となっています。



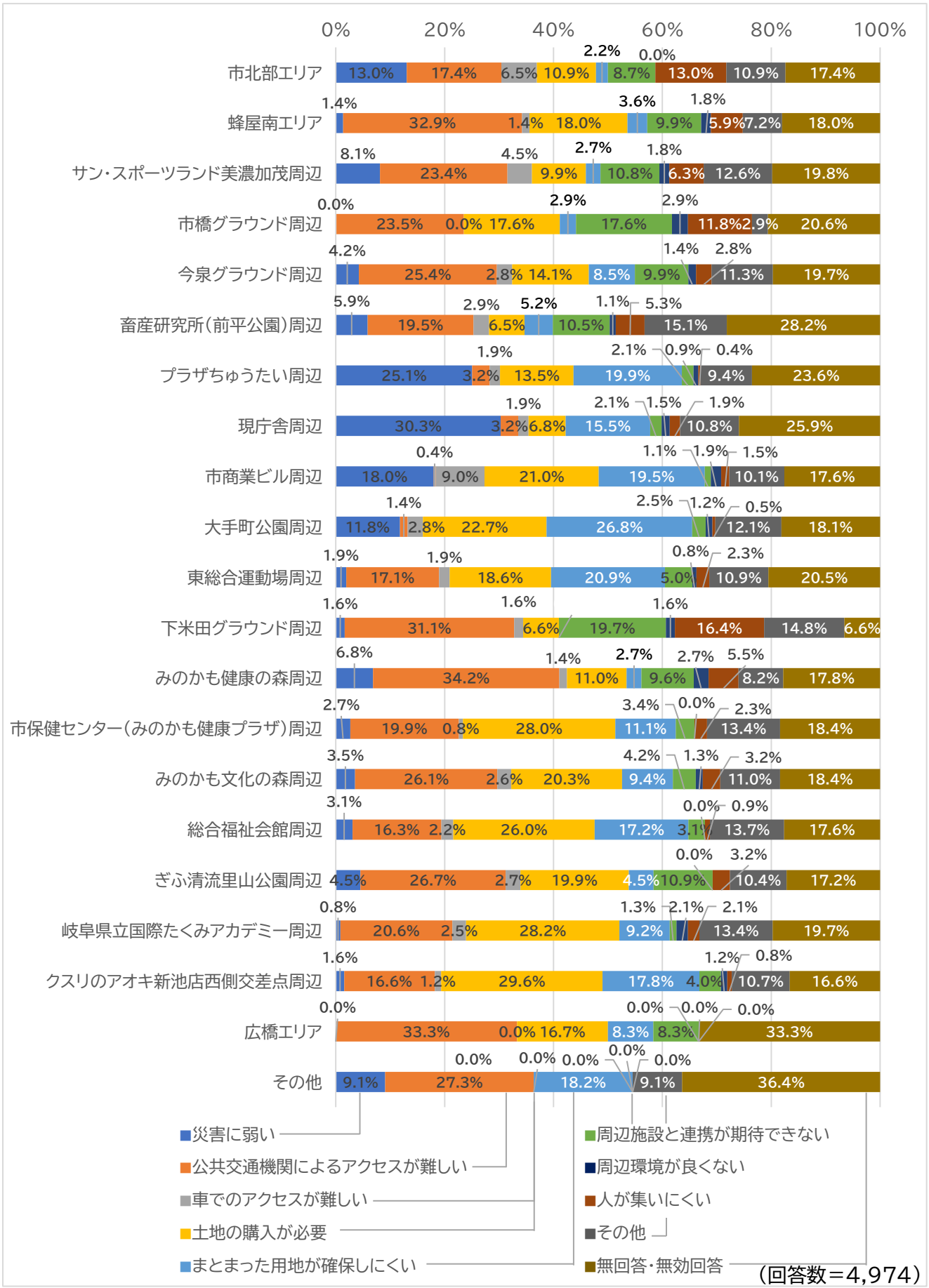
【候補地別(選択理由)】

「公共交通機関によるアクセスが良い」は駅周辺の候補地で高く、特に市商業ビル周辺、大手町公園周辺でそれぞれ30%以上となっています。「周辺施設と連携が期待できる」は「市保健センター(みのかも健康プラザ)周辺」(24.6%)で最も高くなっています。



【候補地別(不安な点)】

「公共交通機関によるアクセスが難しい」は蜂屋南エリア・下米田グラウンド周辺・みのかも健康の森周辺・広橋エリアが高く、30%を超えています。「土地の購入が必要」はクスリのアオキ新池店西側交差点周辺・岐阜県立国際たくみアカデミー周辺・総合福祉会館周辺・市保健センター(みのかも健康プラザ)周辺が高く、25.0%を超えています。



【年代別/候補地】

全体で最も高い「畜産研究所(前平公園)周辺」は 10 代・50～80 代以上で 1 位となっており、20 代・30 代で 3 位、40 代では2位となっています。

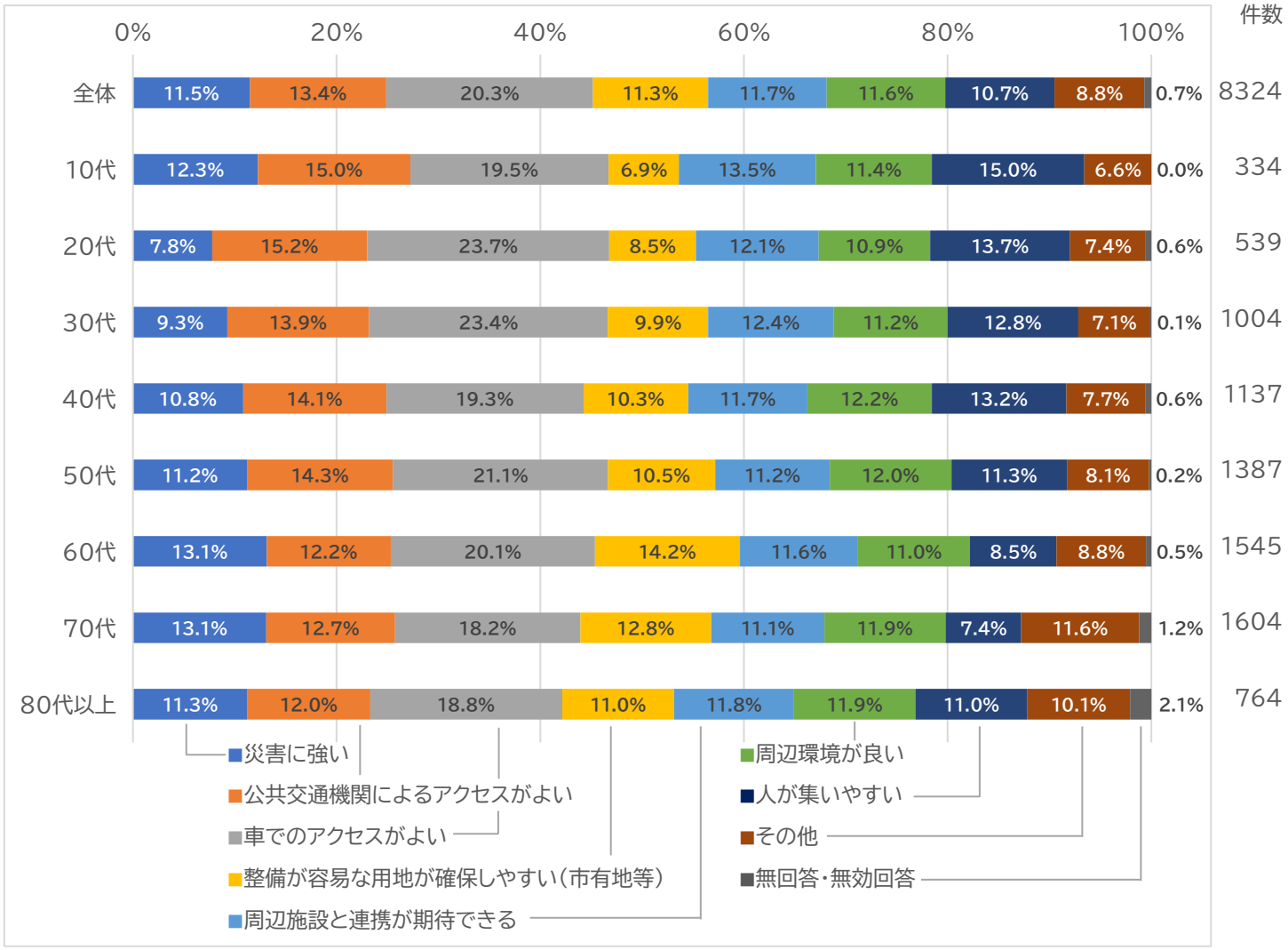
20 代・30代では現庁舎周辺が1位となっており、40代では大手町公園周辺が1位となっています。

年代別	1位	2位	3位	4位	5位
10 代 (件数＝54)	畜産研究所(前平公園)周辺/現庁舎周辺/ プラザちゅうたい周辺 (同率 25.9%)			みのかも 文化の森周辺 (22.2%)	市保健センター(みのかも健康プラザ)周辺/ぎふ清流里山公園周辺 (同率 20.4%)
20 代 (件数＝95)	現庁舎周辺/プラザちゅうたい周辺 (同率 40.0%)		畜産研究所 (前平公園)周辺 (35.8%)	大手町公園周辺 (26.3%)	市商業ビル周辺 (17.9%)
30 代 (件数＝158)	現庁舎周辺 (39.9%)	プラザちゅうたい周辺 (31.6%)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (31.0%)	大手町公園周辺 (29.7%)	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺 (20.9%)
40 代 (件数＝201)	大手町公園周辺 (36.8%)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (34.3%)	現庁舎周辺/プラザちゅうたい周辺 (同率 26.9%)		みのかも文化の森周辺 (18.4%)
50 代 (件数＝237)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (38.0%)	大手町公園周辺 (34.6%)	現庁舎周辺 (30.4%)	プラザちゅうたい周辺 (26.6%)	みのかも文化の森周辺 (17.7%)
60 代 (件数＝271)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (43.9%)	大手町公園周辺 (26.9%)	現庁舎周辺 (22.9%)	プラザちゅうたい周辺 (19.9%)	市保健センター(みのかも健康プラザ)周辺 (18.5%)
70 代 (件数＝309)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (45.0%)	大手町公園周辺 (24.6%)	現庁舎周辺 (23.9%)	プラザちゅうたい周辺 (21.7%)	みのかも文化の森周辺 (11.7%)
80 代以上 (件数＝174)	畜産研究所 (前平公園)周辺 (41.4%)	現庁舎周辺 (25.9%)	大手町公園周辺 (24.7%)	プラザちゅうたい周辺 (19.0%)	東総合運動場周辺 (13.8%)

(年代無回答・無効回答を除く)

【年代別/選択理由】

いずれの世代も「車でのアクセス性がよい」が最も高くなっています。「公共交通機関によるアクセスがよい」は 10 代・20 代で比較的高くなっています。「災害に強い」は 10 代・60 代・70代で比較的高くなっています。

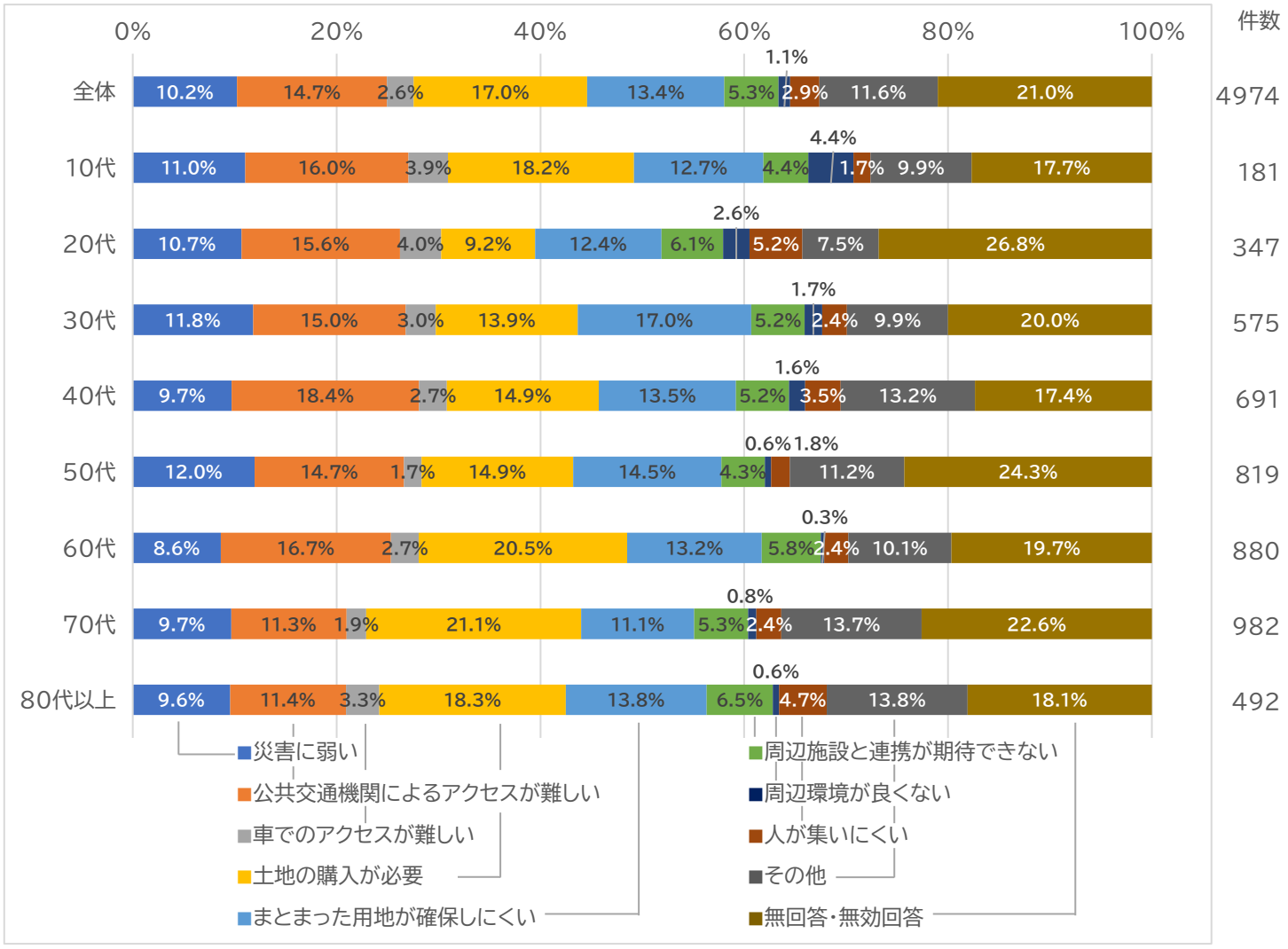


（年代無回答・無効回答を除く）

【年代別/不安な点】

「土地の購入が必要」が 60 代・70 代で20%以上と高くなっています。「公共交通機関によるアクセスが難しい」は 40 代が最も高く、全ての年代で10%以上となっています。

また、「まとまった用地が確保しにくい」は全ての年代で10%以上となっています。



（年代無回答・無効回答を除く）

【居住地区別/候補地】

居住地区別にみると、全体で最も高い「畜産研究所（前平公園）周辺」は山之上地区・蜂屋地区（中部台含む）・加茂野地区・伊深地区・三和地区・下米田地区で１位となっており、太田地区・古井地区では３位となっています。

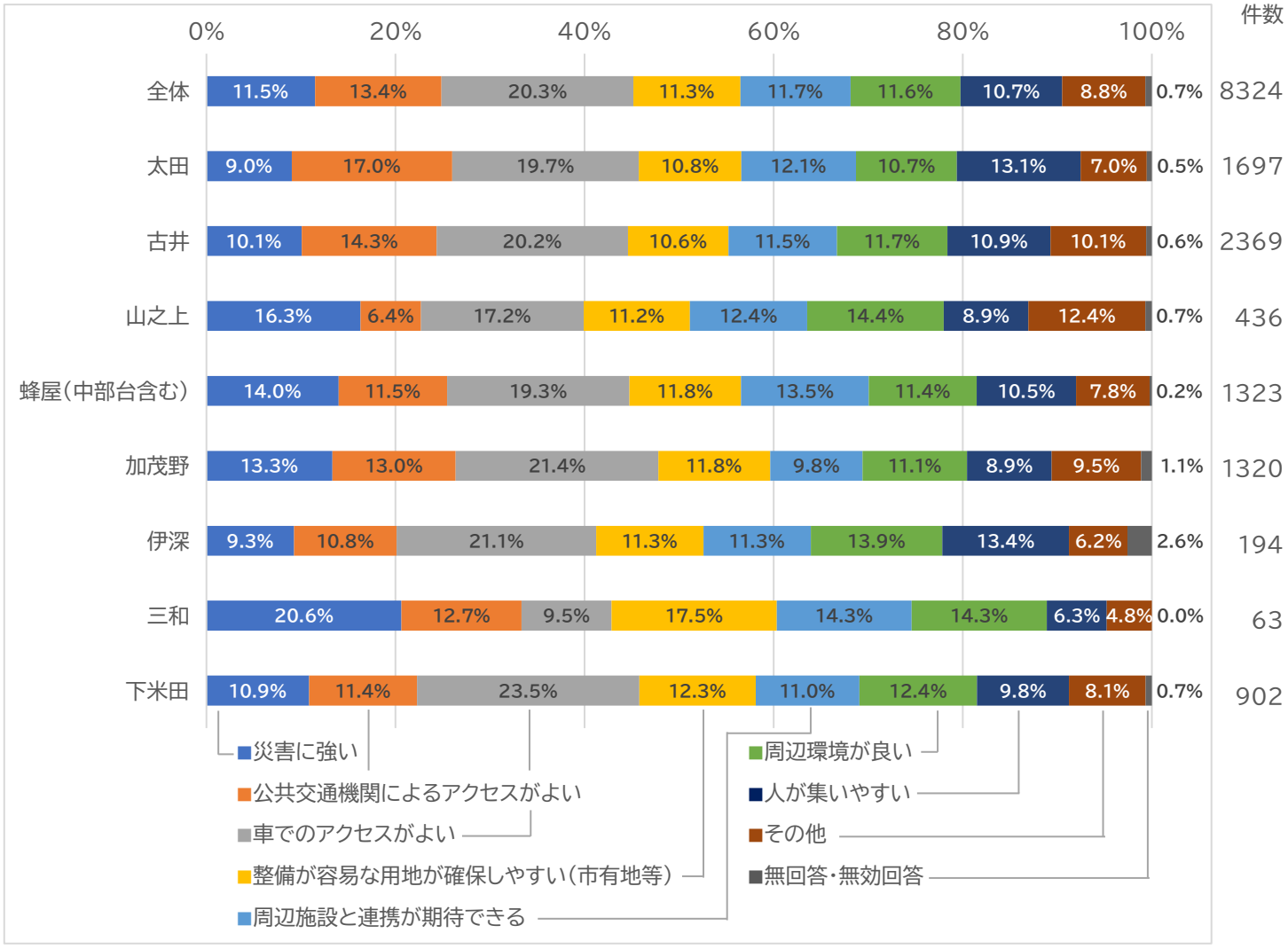
山之上地区では「みのかも文化の森周辺」と「ぎふ清流里山公園周辺」が2位、蜂屋地区では「岐阜県立国際たくみアカデミー周辺」が2位、三和地区では「蜂屋南エリア」が2位となっており、比較的居住地から近い候補地が選ばれています。

地区別	1位	2位	3位	4位	5位
太田 （件数＝304）	現庁舎周辺 （43.8%）	プラザちゅうたい周辺 （41.1%）	畜産研究所（前平公園）周辺 （40.1%）	大手町公園周辺（37.2%）	市商業ビル周辺 （22.4%）
古井 （件数＝435）	大手町公園周辺 （35.2%）	現庁舎周辺 （28.7%）	畜産研究所（前平公園）周辺 （27.6%）	東総合運動場周辺（24.1%）	プラザちゅうたい周辺 （23.9%）
山之上 （件数＝78）	畜産研究所（前平公園）周辺 （33.3%）	みのかも文化の森周辺/ぎふ清流里山公園周辺 （同率 28.2%）		大手町公園周辺（17.9%）	現庁舎周辺/総合福祉会館周辺/クスリのアオキ新池店西側交差点周辺 （同率 16.7%）
蜂屋（中部台含む） （件数＝213）	畜産研究所（前平公園）周辺 （52.6%）	岐阜県立国際たくみアカデミー周辺 （23.9%）	蜂屋南エリア （23.5%）	大手町公園周辺（22.5%）	みのかも文化の森周辺 （22.1%）
加茂野 （件数＝251）	畜産研究所（前平公園）周辺 （51.8%）	現庁舎周辺 （26.7%）	プラザちゅうたい周辺 （25.1%）	大手町公園周辺（21.1%）	市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺 （17.5%）
伊深 （件数＝34）	畜産研究所（前平公園）周辺 （38.2%）	大手町公園周辺 （26.5%）	みのかも健康の森周辺 （23.5%）	プラザちゅうたい周辺 （20.6%）	現庁舎周辺/蜂屋南エリア/市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺 （同率 17.6%）
三和 （件数＝19）	畜産研究所（前平公園）周辺 （47.4%）	蜂屋南エリア （26.3%）	大手町公園周辺/市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺/岐阜県立国際たくみアカデミー周辺 （同率 15.8%）		
下米田 （件数＝163）	畜産研究所（前平公園）周辺 （31.9%）	現庁舎周辺 （25.8%）	東総合運動場周辺 （25.2%）	大手町公園周辺（22.7%）	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺 （21.5%）

（居住地区無回答・無効回答を除く）

【居住地区別/選択理由】

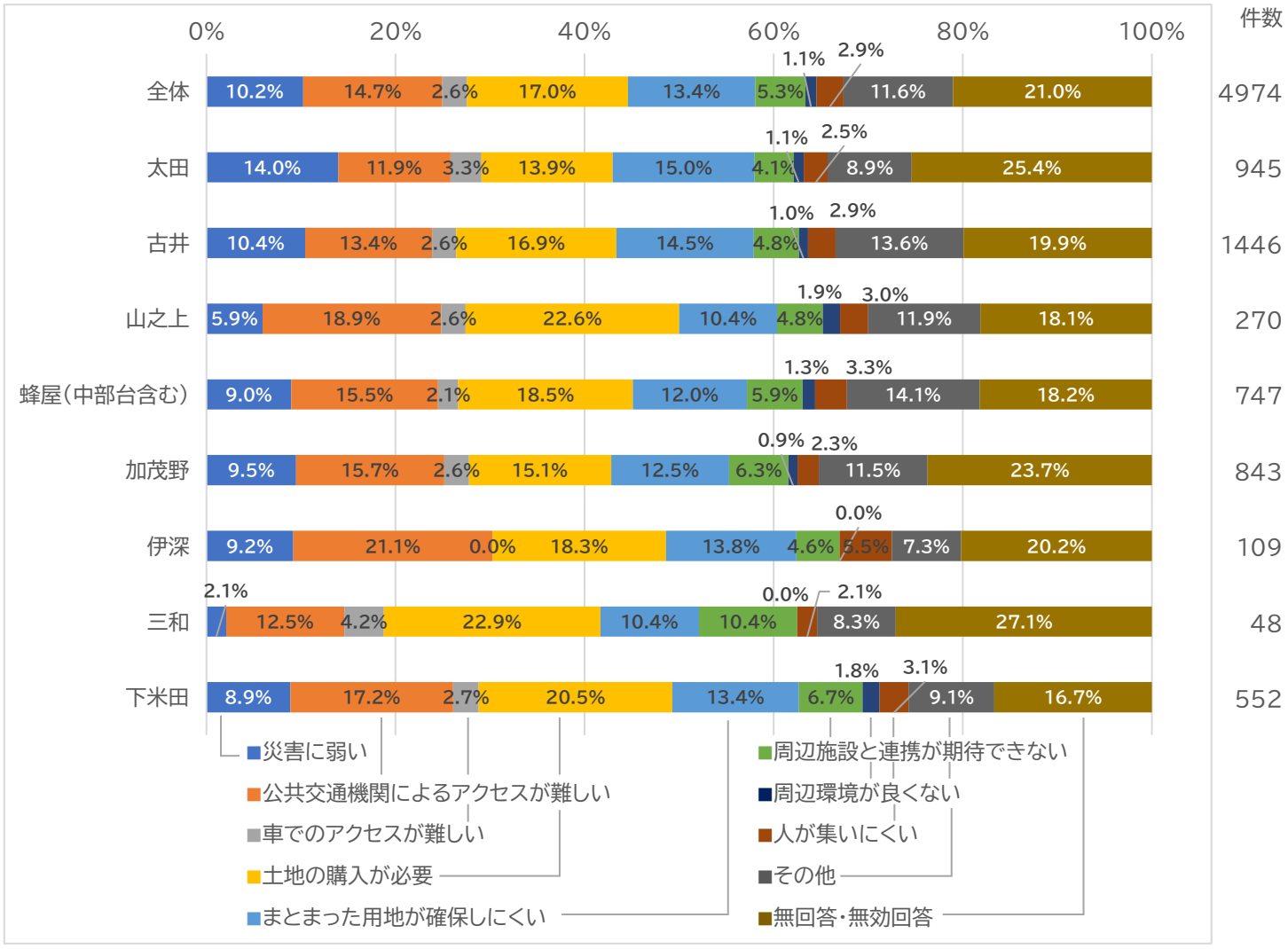
三和地区以外では「車でのアクセスがよい」が最も高くなっています。三和地区では9.5%で低く、「災害に強い」(20.6%)が最も高くなっています。



(居住地区無回答・無効回答を除く)

【居住地区別/不安な点】

全ての地区で「土地の購入が必要」の割合が高くなっています。また、伊深地区では「公共交通機関によるアクセスが難しい」（21.1%）が最も高くなっています。



（居住地区無回答・無効回答を除く）

【新庁舎整備事業の認知度別】

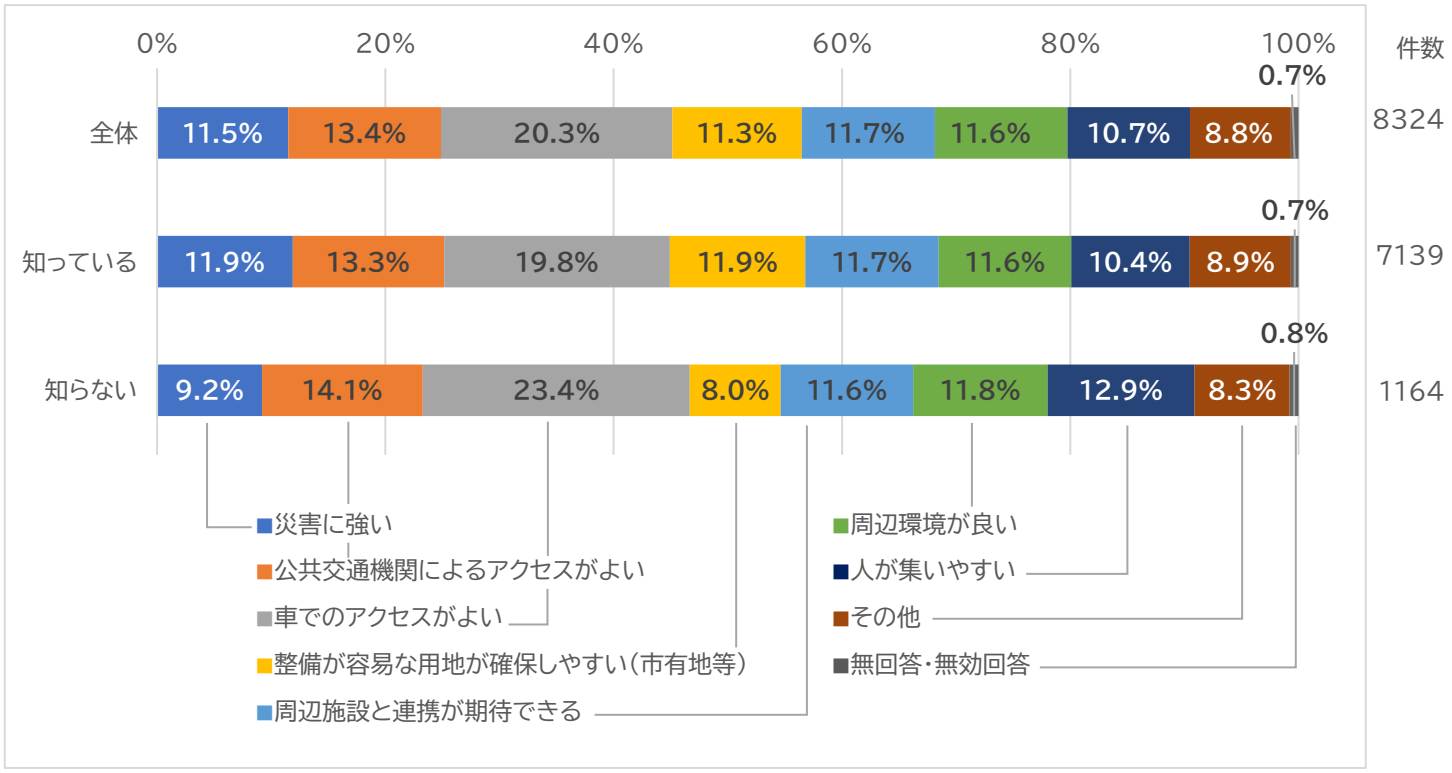
新庁舎整備事業の認知度別でみると、新庁舎整備事業を知っている人では「畜産研究所（前平公園）周辺」が１位となり、新庁舎整備事業を知らない人では「現庁舎周辺」が１位となっています。

認知度別	1位	2位	3位	4位	5位
知っている（件数＝1238）	畜産研究所（前平公園）周辺（41.2%）	大手町公園周辺（30.3%）	現庁舎周辺（27.1%）	プラザちゅうたい周辺（23.5%）	みのかも文化の森周辺（14.6%）
知らない（件数＝258）	現庁舎周辺（33.7%）	プラザちゅうたい周辺（31.4%）	畜産研究所（前平公園）周辺（29.1%）	大手町公園周辺（21.3%）	みのかも文化の森周辺（17.8%）

（認知度無回答・無効回答を除く）

【認知度別/選択理由】

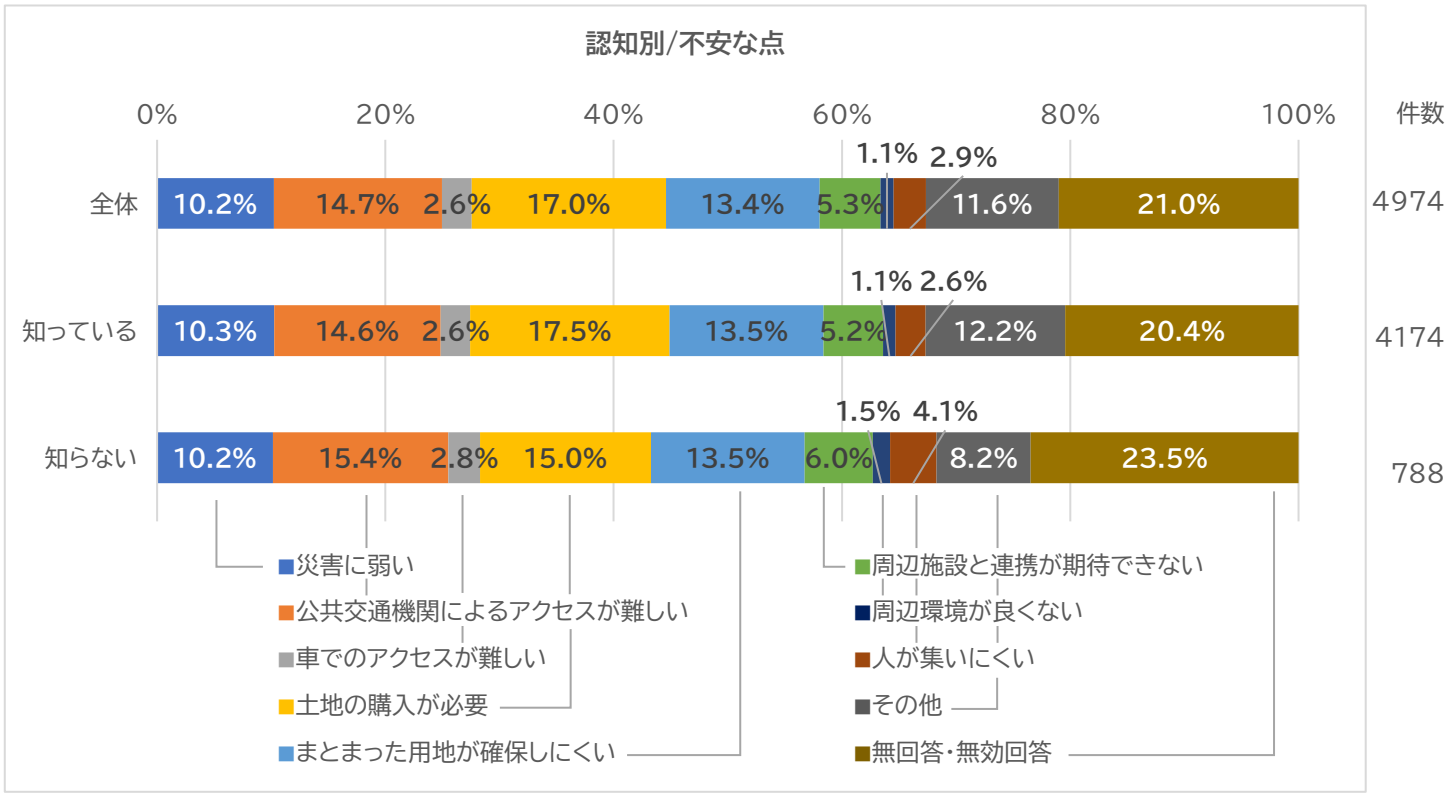
新庁舎整備事業を知らない人では「整備が容易な用地が確保しやすい（市有地等）」（8．0%）の割合が低くなっています。その他の項目は全体の傾向と同様となっています。



（認知度無回答・無効回答を除く）

【認知度別/不安な点】

全ての項目で全体の傾向と同様となっています。



（認知度無回答・無効回答を除く）

1-2 新庁舎の候補地に関する自由意見

問3（2） 候補地についてその他ご意見などございましたら、ご記入ください。
（自由記述）

【候補地案】

- 岐阜清流里山公園付近に新庁舎を置く事で、まず高速道路との利便性が高くなる。次に、周りには自然豊かな環境があるので自然を活かした心地よい新庁舎が実現できる。里山公園付近に新庁舎を置くことで、少し南下すれば中部国際病院があり、また南下すれば美濃加茂の市街地がある。この縦の繋がりを目指す大きな道など整備し、あい愛バスのようなシャトルバスを配置すれば、美濃加茂市の中心が栄えると考える。
- 太田駅前南側ロータリーまで、過去に水が来ていたことを覚えている。ここに建設するなら、移転する必要性はない。出来るなら、過去に被害があった場所は避けるべきである。新たな美濃加茂市を作るつもりで、しがらみのない所に建設してほしい。
- やはり、市民が利用しやすいアクセスと、道路事情が良いことが必要だと思う。災害時の活用、建物周辺に大きな駐車場、防災拠点としての機能が十分に発揮できる事が重要。
- 現庁舎周辺でいいと思います。
- 6の前平公園周辺を第一候補としましたが、旧火葬場・旧プール跡に庁舎を建てて現グランドを駐車場とする案はいかがでしょうか。高校野球の地区予選も可児市の坂戸グランドに移りあまり活用されていないので、もうグランドはなくてもいいのではないでしょうか。
- 市民が市役所への鉄道利用は少ないので、地価の高い駅周辺を避けて、車やバスで行ける郊外が良いと思います。市役所駐車場や緊急、災害時の応援団体が利用出来る大きなスペースの確保が出来る場所選定を希望します。
- 工事費は、とても大きな額なので、各候補地のトータルコストを算出して、比較することも必要なので、分かるようにして欲しい。
- 災害に強い、公共交通機関によるアクセスが良い、人が集いやすい場所が良いと思います。
- 過去の災害を考えると、被害を受けにくい土地で、かつ、人も集まりやすい山手線沿線が適所と考えます。庁舎と同時に道路整備が必要ですので、様々な条件を検討する必要があります。市民が使いやすいを重点に考えると、駅周辺や商業施設付近は不適です。美濃加茂市民は車が1番ですので、寄り付き易さを大切にする必要があります。
- 市役所には美濃加茂市民が利用しやすいことが第一だが、それ以外の人も利用する事もある。アクセスしやすい事が重要だと思うが、場所の確保が難しい時には全体の連携が必要ではない課は分離しても良いのではないか。その方が災害時にも対応しやすい事もあるかと思う。
- 東図書館周辺も良いと思う。
- 土地の権利等については分かりかねますが、①ある程度の広さ（特に駐車場は狭くて混雑すると行くのが嫌になる、広ければ災害時に利用できる）②電車より車やバスでの利用者が多いことを想定（あい愛バスの拡充が必須だけど高齢者にバスが浸透すればバス利用者が増えて高齢者の事故も減るかも）③行くのが億劫にならないくらいの位置④現庁舎やその近隣以外の場所（せっかくなら心機一転） あたりが利用者拡大に繋がるのではと考えました。どこに置いても文句は出るので、できればポジティブな意見を中心に決定されると嬉しいです。市内に中部国際医療センターができて（市内の人の評判はわかりませんが…）前向きに考えるなら人の流通があるのだから、その周辺を活性化させ発展させる方向で整えるのはありだと思った。人口増にも繋がるのでは。
- 市役所を横にした街づくりがみえてこない。スモールシティにする必要がある。
- 市有地に建設しコストを抑える事が一番大切だと思う。市街地から遠方でも各連絡所もあるしあい愛バスもある。それに将来はネット社会が益々加速するので庁舎に行かなくても用事が完結出来ると思われる。

- 美濃加茂シティホテルは、絶対今のまま残して下さい。今の場所でなんとか新築建て替えして欲しい。
- 前市長が、長年かけて候補地を選定した結果に対する検証もなく新たに始めることに疑問がある。
- 人が集う場所であることを前提に考えると、駅前南エリアはここ 10～20 年活気がなく、商店街のようにシャッターも目立ちます。勿論新庁舎をキッカケに開発も期待できますが、商業施設ではないので、やはり周辺の影響はそこまでないのでは…、となると盛り上がりを見せている駅北（駅～バロー美濃加茂）エリアに据えるのが妥当だと思います。
- 電車で来るのは難しい。土地の確保も難しい。
- 美濃太田駅から歩いて行けるのが希望。
- 日数がかかりすぎている。最終判断は誰がするのか。皆が一番行きやすく、気軽に来れる場所。
- 本来の人々にも使いやすい、行きやすい場所にしてもらい市政の赤字を増やさない用に。
- 美濃太田駅北側、蜂屋地区
- 現庁舎近くに住んでいます。この辺りがいいです。
- 用地確保し易い土地があるかと大変な困難な時代になってしまい太田駅中心に拡大することが最大の問題点となってしまった。これを乗り切るには、市民の思いをどう対処するかが問題と考えられます。
- 候補地は b（市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺）がすごくいいと思います。朝と夕方の周辺道路は混雑しますが、庁舎利用は昼間が多いので大丈夫だと思います。
- 太田地区が良いです。
- 添付資料にもあった様に⑨（市商業ビル周辺）と⑩（大手町公園周辺）エリアを連携する選択で良いのでは？
- 市の所有する施設を活かした（稼働）させるための連携に期待する。
- 美濃加茂市の中心が全て北部エリア（駅裏）に集中してしまっているように感じます。なので、市役所だけでも現在地もしくは近いところで考えてほしいです。
- 現庁舎周辺の方が認知度が高く通い慣れていて良いと思う。
- 山に近い方はダメ。お金がかからない用にする。21 号線沿いが良い。
- 色んな候補地を見せられても分かりませんが、私個人の意見としたら今の所に高いビルを作った方が良いかと思います。太田の町がほとんど上に上がってしまって元々の町が寂れるばかりで今はコノミヤと市役所、警察が下の町を守っているだけだと思います。昔ながらの太田の町を守るためにも今の所で考えていただきたいと思います。上で土地を買うのであれば今の市役所の近所をお願いする考えも有りかと思います。他へ行くのはぜひ止めていただきたいと心の底から願っています。アンケートの事は分かりませんのでごめんなさい。
- 新庁舎は太田駅前がベストだと思います。候補地名として「市商業ビル周辺」となっているのが、どこだかわかりづらく、「太田駅前周辺」とか「シティホテル周辺」とするべきだと考えます。
- 太田（現・市役所）が馴染みがありよいと思っていたが、中部国際の病院ができてからあの場所は、わりと市内から近く駐車場も広く出入りがしやすい。多治見方面（R248）の道からも高台に映え分かりやすく町のイメージがぐんと良くなった、スケールの大きい建物を思い切り建てられるということは市政の力でもあると感じるので“今までの”思考はおき、新しいやり方に大担に進めてほしい。
- 土砂災害の恐れはありませんし、もし水害にあったとしても、備えを十分にしておけば（備蓄品や避難所は安全な場所に設置する、建物を頑丈につくる等）問題ないと思います。
- 駅前の再開発にからめて、シティホテルにかわるコンベンション施設も含め、多目的型庁舎の建設を計画していただきたい。美濃加茂市の中心はどう考えても美濃太田駅であり、周辺の市町村からもハブとしてなりえる太田駅前、もしくは北にするのが、美濃加茂市が地域でのイニシアチブをとるためにも必要である。
- 新市役所ができれば、その周辺の開発も進み人も増えると思うのである程度土地に余裕がある所がいいと思う。浸水の恐れがあるところは問題外、今後の異常気象は目に見えている。

- 車移動が多いことを考えれば、国道 21 号、41 号、418 号と JR 駅と離れていないことが望ましいと思われます。加えてある程度の駐車スペースが必要だと思われます。土砂災害の危険のある山間部、浸水害の危険のある木曽川、飛騨川沿いは避けた方が良いと思います。人口が多い場所である必要はあると思いますが、市の端部にしてしまうと利便性が損なわれると思います。JR 高山線長良川鉄道以北、東海環状道以南の中心に寄った地域が良いと思います。
- 候補地 6（畜産研究所（前平公園）周辺）について。①公園に接して広い用地が取れ、庁舎・駐車場・広場等将来を見据えた適切な規模とする。②ハザードマップで浸水害の影響が少ないが、二段造成など検討し上段に庁舎等、下段に道路・駐車場等を整備し、更に浸水害の影響を少なくする。③職員の駐車場を整備し、前平公園の憩いの場としての利用など職員の働き易い環境を整える。
- 美濃太田駅前あたり
- 上記候補地で良いです。
- 第一に災害に強いこと。第二に車でのアクセスがよいこと。太田駅の北側であれば、広い土地もあるし、太田駅南部の方々もアクセスしやすい。
- 市民の行動エリアが山手に集中してきているので庁舎も同様に移設した方が便利だと思う。但し限られたエリアなので工夫が必要かと思う。
- 災害に弱い心配があれば、対応を考えればよい。人口集中地域に建設し、市民との繋がりを、得やすくする事が必要だ。当面もこれからも、最大の課題の少子高齢社会に対応することが、未来に対応する新庁舎建設だ。
- 職員が働きやすい場所で、職員の駐車場借用の負担軽減、市の車の駐車場確保が出来る場所。高速道路からのアクセス。市の中心的位置等、公平な場所とする。（そこで働く人の事が一番大事です）
- 市内の一部の不動産に片寄らない方法で土地の確保をしてほしい。借地権の無い土地を確保してほしい。 現在の市役所は、一部の不動産業者の駐車場に金を払って駐車している所が有り、広い駐車スペースを取ってほしい。災害時に使える臨時トイレスペースを確保してほしい。
- とても気候が良く（雪が少なく、晴天の多い空の広い地域）住み易さと、その昔からの、木曽路と飛騨路の合流点（木曽川と飛騨川の合流点）の地の利を活かして、外部からの来訪者を、奥美濃や飛騨地方へ素通りさせてしまうのではなく、足留めして頂くランドマークを充実。「ライン下り」等、惜しまれる。坪内逍遥大賞等文化面から見れば、多くの人が驚く実績がほとんど活かせれていないと思われる。
- 新庁舎は、美濃加茂市の中心になる場所です。人が集まりやすい場所で、交通の便が良いところがいいと思います。
- 1.まず災害に強く、駐車場が広いこと。2. 車でのアクセスが良いこと。
- 現在の人の動きは市の北部に偏在し、市の発展を阻害している。今の所で、ビルを高層化し、地下に駐車場とし、中体を南庁舎として整備する。中体の機能は別途考える。（車での利用者が多いと考えられるので、市外地でも OK と思う）
- 現庁舎とあまり遠くない方が良いと思う。
- ご高齢者の立場を考えた場所が最も良いのでは、と感じた。
- 駅北側が発展してきたので、北側を希望します。ジャパレンの近くのトヨペットの跡地。
- 道路が狭くなくきちんと整備させている事。利便性があること。広く避難所としての役割も果たせる事。駐車スペース確保しやすい。
- あい愛バスでどこかにいこうと思う時、古井の方は太田駅で乗り換え、駅からどこかにいくとなっているので駅周辺でもいいのかもと思った。でも駅にすると駅での大学のバスや太田駅利用者が困るのかと思うと、プラザの方か今までの所がいいのかも。保健センターか中部国際医療センターの中と思うと駅周辺かな。
- 太田・古井地区の人口が多いため、太田・古井から遠いのは困る。太田・古井地区にすべき。

- 現在の市役所ぐらいなら、歩いて行ける高齢者が、利用しやすい場所を望む。車での利用が便利でも、これから先駐車場を広く取れて、現在は住宅が多い。しかも土地確保し易い場所。
- 今の市役所は大変気に入っている。災害による避難所は山之上の方で確保し、バスで連携してみては。
- 駐車場が広くとれる場所、現庁舎周辺が総合的に考えると理想。
- 家から近いところがありがたい。
- 場所は今のままでいいと思います。新庁舎の予算をかけるくらいなら他に予算をかけなければならないところがあります。子育て支援への活用や起業したい方への援助や住宅、インフラ整備など、美濃加茂がさらに豊かにそして幸せな市になるよう、住みやすく若者が増えるように予算をかけるところを今一度検討していただきたいです。

【災害対策】

- 蜂屋小学校から伊瀬辺りまで一帯の蜂屋南エリアは多くの面積が確保できていいと思います。蜂屋川があるのが難点ですが、洪水にならぬようまた市民が憩いの場になるよう整備できればいい。また西総合グラウンドを無くすことも考えられると思います。西体育館もあり災害時の拠点となり得ると考えます。
- 水災害の時高いとこにすぐ逃げたいので、河川に近いとこに逆に高く建ててほしい。
- 里山公園周辺の山之上町や蜂屋町の地盤データは、丘陵であり比較的ゆれにくい地域であり、液状化しにくい地盤となっております。ところが資料3の液状化によりますと、全域で可能性がある、の赤色表示になっており、違和感を覚えました。昔から岩盤の上の硬い土地とも聞いております。どちらのデータが正しいのでしょうか。
- 過去に水害があった地域は候補から外した方がよいのでは。
- 災害の被害に関しては、災害の種類によってはどの候補地を選んでもそれ相応の被害を受ける可能性はあると思う。それ中心で考えるべきではないのでは？
- 浸水が想定される地域は論外。
- 近年災害が多発しており、浸水被害が既に想定される駅南エリアは候補から除外するべき。せっかく多額の資金を投入して建設するのであれば、今後長期で活用できるよう災害対策は万全にすべきと思う。
- 災害があった時に、被害が出ないところを選択してほしい。
- 災害によるリスクは多かれ少なかれどの場所にもあるため、ある程度は許容し、建物の構造でカバーしていく方が良い。
- 水害が恐い。
- 災害に強い庁舎を望みます。高台、ヘリポートの活用など、前平公園周辺がよいと思います。能登半島地震の教訓を活かした庁舎にしてください。
- 今はどの地域でも災害については考える必要があると思う。
- 近年の異常気象、過去の水害の記憶から災害時の拠点としての庁舎を考えると不安のある場所は避けてほしい。

【周辺環境】

- 公共施設を密集してほしい。
- 敷地は広いと良い。雨の日に過ごせるスペースがあると良い。人が集まる庁舎であって欲しい。
- 駐車場から、信号で出入りが出来るといい。
- 緑が多い場所が良い。
- これから新しい庁舎を作るときは、災害に強い庁舎を作らないといけないと思います。そうなると高台の所で今の市役所周辺ではいけないと思います。近くにあったほうがいいけど、、、、
- とにかく車で行けて駐車場が確保出来る所がいいです。

- 静かな場所がいいと思います。安全安心な場所。高齢な人には使いやすい新庁舎である事を望みます。
- 今後もこの地域では個人所有の自動車による移動の社会は変わらないと思います。また、自動運転等の技術が発達すればさらに個人所有の自動車は増えると思います。そのため駐車場が大きい市役所を建設できる場所が良いと思います。
- 将来的展望に立って地域を整備して、新しい町づくりをすべきである。
- 駅からもそんなに遠くなく、子育て世代も集いやすい場所に作ってほしいです。現庁舎周辺は、道幅も狭く、ごちゃごちゃしており、子供たちだけで歩かせるのも危険を感じます。若い世代も多く、周辺環境も充実しているG(クスリのアオキ新池店西側交差点周辺)・D(総合福祉会館周辺)・C(みのかも文化の森周辺)は浸水リスクも少なく、道も整備されており、子供たちの安全面からも良いと思います。
- 現状の美濃加茂市は駅裏に人が集い、駅前には人があまり集まらない。それを考えると駅裏に市役所を建設する方が市民の為になると思う。
- 新庁舎の近くに大きな体育館も欲しい。

【交通】

- 当初の計画に近いですが、駅と併合しているような施設が良いのかなと思います。
- 高齢化もふまえ、どのコミュニティバス経路でも、常に市役所を経由地にする事が必要。
- 行きやすい場所が最優先だと考えます。車や電車、歩く距離も最短。高齢者にも優しい場所。
- 具体的な場所というよりはどの地区からも来庁しやすい様、古井、太田、蜂屋辺りであい愛バスなどの公共交通機関が移動しやすい場所が望ましいと考えます。
- 車を持つ人を基準にするのではなく、高齢者やこどもなど自力で行かないといけない人を考えて作るとよいのでは？
- 駐車場は広めに確保して、車で来庁される方も利用しやすくすると良いです。場所としては、駅から近い方が利用しやすいかなと思います。また報道にもあったように、喫煙場所をきちんと定めてほしいです。訪れる方々が安心して利用しやすい市庁舎になってほしいです。
- 駐車場確保が必要な候補地は少し離れた場所に駐車しシャトルバスを活用することも考えられるのではないか。
- どこに決まっても車でのアクセスは多いと思います。駐車料金は必要無いようにして欲しいです。
- 分散型は手続に不便なので、一箇所にまとめてほしい。交通アクセスが便利なところがいい。
- 周辺道路での渋滞が懸念される。
- 公共交通機関のアクセスが良ければ良い。
- 蜂屋地区や新池地区では住宅商業店ができているが北部は道路が進んでおらず道路の拡大を求む。
- 山手線より北に庁舎をつくった場合、山手線は今よりさらに渋滞。
- 美濃太田駅南側は既に飽和状態のため北の山手線沿線が交通環境的によい。
- 近隣町村とアクセスがよい。
- 美濃加茂市自体、公共交通機関のアクセスがあまり良くないため、選択が難しい。
- 環境に配慮した取り組みとしても、公共交通機関によるアクセスのよい場所が選ばれる事は良い事ではないかなと思います。高齢者の方達にも安心して利用して頂けると思います。
- 高齢化しているので公共交通機関によりアクセスできることが絶対的条件です。免許証を返納推奨される昨今では、人口密集地に建築するしかないと思います。
- あい愛バスで１人でも行けるところ。

【反対意見】

- 市商業ビル付近は絶対にダメだと思う。災害時に周りの民家からの火災などで、二次災害が起こりやすい。一次避難場所も出来ないし車では道路が狭いし職員も通勤に不便で渋滞するため。
- 浸水のおそれがあるような所では、災害の時どのように対応できるのか心配です。一度浸水したところに、新庁舎は、ありえない！
- 現庁舎のままでいいと思います。費用もかかる上、庁舎以外にも駐車スペースを取る場所となると少ないから。また、そんなところに費用を使うなら別に使ってください。
- シティホテルをリフォームして作ったらという意見も聞きました。やはり駅前がいいのでは？坂の上は車に乗れない人では無理です。まして歩いていく人のことを考えればもっと無理です。
- 前回候補地になったシティホテルは絶対に反対です。車社会の現在で十分な駐車場が確保できない。確保するにしても、余分な税金が浪費される。
- 太田はない。
- 元々街の機能を駅北側にしようとしていたはずなのに候補地として市郊外を選択肢に入れている理由が分からない。
- 庁舎は災害時に稼働できないと困りますので今までに被災した現庁舎付近、大きな河川近くの土地は、市内でより不適切だと思います。
- 土地が無い。
- ⑥(畜産研究所(前平公園)周辺),⑬-B(市保健センター(みのかも健康プラザ)周辺),D(総合福祉会館周辺),G(クスリのアオキ新池店西側交差点周辺)など駅北の道路は行通量が多く渋滞ができるためやめた方がいいと思う。
- 市商業ビル周辺反対！市民の行動を重視した場所選択がなされていません。①市民活動サポートセンターが移ってから駐車スペースが近くになく荷物の搬入もしにくい為足が遠のいてしまった。ボランティアしたい人、登録したい年配の方達もほとんどが行きにくくなりコロナ禍＋場所が悪い事で市民活動の質が低迷してきた様に感じる。皆が市民活動センターに行きやすい場所だったらもっと市民協働アップに繋がると切に願う。市民力をアップするのも場所次第！！②ファミリーサポートセンターの場所が悪く駐車所も少なく赤ちゃん子連れのママには危険すぎて可哀想です。なぜ？！子育て支援の場がそこなのか？！手続きをするママはほとんどが赤ちゃんと一緒です！！
- 太田駅南側は難しいと思う。
- 北部エリアは住宅でも建てることができないので庁舎はありえないと思う。
- 人口の分布から考えるとあまり山間部になると利便性が問題になる。

【費用】

- 用地買収などに時間がかかり建設が長引くと建設費も値上がりしそうです。
- 職員が働きやすく、仕事がしやすい場所でよい。年に 1 回行くかどうかの大多数の意見を聞くべきでない。必要があれば、どこにあろうが行くのは変わらない。場所にコストをかけるよりは、仕事がしやすくなる環境にコストをかけるべき。それが何より市民のためになる。
- 資料 15 ページ②。他の市役所の床面積や工事費が載り、見込みの床面積 9,150m2、建物本体の工事費約 55～60 億円とありました。土地や駐車場に費用がかからなくしたい。
- 用地獲保に多額の経費をかけないことが肝用です。
- 建物費の高騰が気になります。

【早期実現】

- どこでもいいので早く決めてください。

【用地確保】

- 費用を少なくする為に市所有の土地がありましたらその土地を候補にするのも良いと思います。
- 年をとってからの事を思うと遠くの公園や市街地から離れた場所は不安があります。便利がいいところは土地の確保等難しいとは思います。
- 費用や時間を考えると市有地が含まれていた方が良い。

【その他】

- 同封資料に経費がかかりすぎているので、紙媒体でなくてもよいと思いました。
- 最近たまたま市役所に手続きで行く機会が何度かあって、トイレを利用したときや他の市役所（各務原市役所）に行ったときに今の美濃加茂市役所の古さを感じて、やはり新しくて綺麗で便利な新庁舎への建て替えが待ち遠しくなりました。それに今は課によっては全く別の建物にあるので、ひとつの建物の中にすべての課があった方がいいと思います。また、窓口で対応する職員以外の職員は同じフロアではなく別のフロアで業務をするようにして欲しいです。手続きのために窓口に行くと他の職員の方の視線が気になってなんとなく気まずい気分で居心地が悪いです。そもそも市民が市役所に行くと言う状況は主に何かの手続きのため、と言うのが多いと思うので、それ以外に市役所を利用することがない自分にとっては多額の費用を使って新庁舎を建てるメリットは感じづらいです。ただ、新庁舎になって市役所という枠にとらわれず気軽に利用できる何かしらの設備やスペースや店舗などができて利用頻度が増えれば、新庁舎や美濃加茂市に対してもっと関心が持てたりするような気がします。
- 西町に来て 5 年地理もよくわからないです。朝の走っているバスの使い方もよくわからないです。高齢者にもわかるように色々して欲しいです。
- 市の中心部にある事が大切だと思います。
- 地方自治法第四条 2 項によって決定すること。
- 候補地案で挙がっている場所がわかりづらいため、写真などで場所がわかりやすく示されていると良かった。
- これから 10 年～20 年と考えたとき、今の利便性も大切でしょうが、これから作っていけばよいことも多いと思います。近隣合併の可能性も考えておくべき。
- 今までのワークショップなどの資料を見せていただき大変な事業だと思います。どこの市でも町でも 100%の住民にすべて完璧とはいかないと思います。市民の方がこれらの資料等を見られて、賛成の多い所で進めていただければ一市民としてありがたいです。問題は皆さんの税が利用される事を忘れない様にしてほしいです。
- 一長一短で考慮するのにとても悩みました。ご苦労様でございます。
- これから何十年も利用する拠点として、十分検討をお願いします。
- 候補地を絞り込む段階になると、課題の精査（土地、建物代、広さ等）をオープンにする必要があると思います。次のステップでは消去法により、候補地を絞り込みされる事を望みます。

6 新庁舎整備事業に関するご意見

問4 新庁舎のあり方、整備の進め方についてご意見などありましたら、ご記入ください。
（自由意見・要望など）

【災害】

- 災害は来るので、その時に対応できる場所が良い。むしろそうでないと意味がないと思います。
- 木曽川に近いと水害に弱い。特に最近はゲリラ豪雨が多いので、高台、災害時に安心出来る場所。
- 災害時を考え住民が困らないような設備をとり入れていただきたいです。
- 災害に強いことが最優先ですので、市民の声を大事に早急に進めてほしいです。
- 美濃加茂市は木曽川が近く、災害がおこる可能性が高いと思われます。新庁舎は市民の中枢であるので災害に巻き込まれない場所を選択が希ましいと思います。
- 広く市民の意見を聞きながら進めていることはとても良いこと。災害の多い日本です。これまでの地震、水害等をみていても、市庁舎は非常に重要な役割を果しています。目の前の利益ではなく、10 年先 100 年先を見据えて、じっくり、しっかり取り組んでいただきたいと思います。
- 中部台の様な高い所に地盤のしっかりした所に土地を確保していただきたい。田や畑の後は地盤沈下が有りうるのでしっかりと調査してほしい。
- 災害に強く広くて使いやすい駐車場があるといい。
- オーソドックスで金のかからない災害に強い庁舎を作る。（飾り、見栄は必要ない…）
- もしもの災害の時に、1 番に動けるような体制を整えてほしい。
- 災害時に強い建物。とんでもなく山の中や川のそばには作らないで下さい。
- 災害に強く。
- 災害時の電力，水道，食糧等の確保ができる環境があるといいと思います。
- 災害面では、石川を見ていると同じ（どこも）に感じる。⑩（大手町公園周辺）が唯一安全かなと思う。（資料を見ると）
- 災害があると思う。早めに考えて安心して避難できる所であってほしい。
- 災害がいつ発生するのか不安。災害時に最も期待する消防署の移転の話は？新庁舎と合せて消防署移転も議論すべき！今の市政には疑問多い！
- 今年初めの北陸地震のような災害が、この地区でも起こった場合、市民の避難場所。衣食住の確保がスムーズにできる機能を十分に備えた庁舎であってほしいです。
- 非常事態（災害時等）に対応出来る設備、施設、人員（余剰人員及び OB）等の確保。
- 災害に関しては浸水害を受け易い地域の方が円滑に避難出来る場所となる様に立地し、浸水害が起きない様に池の側面も整備する。
- 災害時に避難場所として対応出来る施設。バリアフリーで年配者にやさしい配慮。
- 新庁舎の災害対策の強化をお願いしたい。災害が起ったとき、多数の人が良い環境で過ごせるような場所があるように。新庁舎が災害の時でも通常と変わらず機能する。
- 利便性の問題はあい愛バスなどを使い、どうにでもなるのでそれより、災害に強い場所にしてほしい。
- 有事の際に対応出来る、耐震性（水害）のある場所への整備が良い。
- 被災しない場所の選定が第一優先とすべき。自然エネルギー等が活用出来るように水や光を容易に取り入れることが可能な立地条件、とされたい。災害時にも庁舎が被災、又はアクセス道が被災し陸の孤島とならない立地を選択されたい。

- 新・本庁舎は、災害に強い建物とする。特に耐震、浸水災害等に重点を置く。災害時の処点として、非常用電源、通信回線の確保。また、駐車場の一画に非常用（フレキシブル対応）ヘリポートの用地を確保する　建物は高層階は必要ないと思われる。現行の 3～4 階では、「シンプルイズベスト」 各出先の連絡所機能を充実してはどうか
- 災害（水害）の影響に強い庁舎をお願いします。
- 水害、地震に弱い市役所では将来が不安。
- 災害時に機能する市役所が良い。
- 水対策なら 1F は駐車場にすれば良い。沖縄はそうなっている。水の確保の為、屋上に水タンクを設置してはどうか。
- ⑥の畜産研究所で作るならば、市民が集いやすく憩いの場としても使える様、前平公園とつなげて、災害時の避難場所としても使え、多目的広場にシェルターも作れるし、備蓄倉庫も多く作れると思います。いつ、どこで何がおきるか分からない世の中、災害時に充分対応できるものを作って下さい。
- 本件とは関係ないが、堤防を高くして欲しい。または、対岸の可児市のように整備をして欲しい。庁舎よりも優先的に。被災した時の影響が大きいのではないでしょうか。地震よりも水害の被災の確率が高いような気がします。
- 1F や地下駐車場等で災害対策と面積の確保は出来ますでしょうか。
- 防災拠点にしっかりとなるように進めていってほしい。
- 9.28 豪雨（昭和 58 年）を経験しており、近年においても堤防の最上部付近まで増水することも度々有るので、浸水する可能性のある場所は絶対に避けて欲しい。
- 能登半島地震もありました。災害に強い庁舎の建設を希望します。
- 現庁舎に足りないものは何か。1 番に求める機能を最優先すべき。災害に強い場所だと思う。
- 水災害に対応するなら高台になるところ、サンスポ周辺でも液状化現象はあるのが信じられない（山上）なのに地震災害に対応するなら地盤強化は必須。市庁舎内に市民の憩いの場は必要かな？職員の仕事場に行政以外のことの負担になる場所は近くにいらない。（人が集まるとやかましい）（入口を分かれるとか）
- 耐震構造など災害に強く、安全な新庁舎を希望します。

【交通】

- 関市の市役所のように、街から離れたところに新庁舎を作っても、何も問題ないようにおもわれる。あい愛バスを走らせればよいと思います。
- ほとんどの人は市役所に行かないし、今後オンラインでより行かなくなるのでほとんどの人は建設費に関心があってもどこにあろうが気にしないし、小さな街なので市のどこにあっても車の人は利便性は変わらない。であれば公共交通機関があるところがいいのでは。
- 美濃太田駅周辺は交通の利便性が良いのでオススメである。駅からは近いことは良いことである。
- 立てる場所によっては、バス等の公共交通機関の本数や経路が確保できると良い。
- JR 線の北からも南からも利用しやすいように、JR をまたぐ橋を作り、そこからそのまま市庁舎に入れるようになるといい。美濃太田駅の高架ともつながって、そのまま市庁舎に入れると、なお利用しやすくなると思う。⑦（プラザちゅうたい周辺）or⑨（市商業ビル周辺）+⑩（大手町公園周辺）で、うまく利用できないだろうか？
- バスやタクシー乗り場も広いと良いです。
- 新庁舎を進めるにあたっては、車以外のアクセス、特に「あい愛バス」の路線、運用時間等を考えてほしい。
- （要望）市内循環タクシーを考えてほしい。福祉会館の利用が大変不便です。例　駅→図書館→太田宿→福祉会館→太田宿→図書館→駅　1 時間に 1 本位。
- 高齢の方など車がなくてもアクセスできる様な手段の整備は必要だと思います。

- 美濃加茂は若い時は車で移動でき特に気にしないと思うが車運転しなくなった時を考えると不便で不安になる。
- バスを利用したいですがもう少し運行時間を増して欲しいです。
- 車でのアクセスがよいといいと思います。
- 市民が行きやすい環境づくりが必要だと思います。あい愛バスがあれば中心地から離れても行きやすいので公共交通機関の問題は、改善されると思う。
- 交通などの多少の不便は受け入れる。バスなどの別の手段を充実させてもらえたら良い。
- 市役所行くのに交通機関の便利さが必要。
- 建築にあたり交通の便利な所が良い方がよいと思います。老人のいこいの場所を作って下さい。
- とにかく広い駐車場があり災事の時は利用が出来る事がいい又道路のアクセスを良くする為四方八方から出はいりができると良い。
- 車社会ですので、車の便が良ければ良いと思う。
- とにかく使いやすい駐車場やバスや交通機関の設備を重要視してもらいたい。
- 交通便が良い。道路事情はどこでも同じ。
- 多少費用がかかっても道路状況(広い道)
- 乗用車を所有する人も多いのだから、市街地から多少離れても問題ないと思われる。今後の高齢化に伴い、免許を返納する人が増える分は、市内巡回バスの路線を充実させることで対応して欲しい。

【高齢者・障がい者のサポート】

- 美濃加茂市も高齢自治体になるので、高齢者市民に優しい DX が進めば、市役所の職員の業務削減が出来ると思います。
- 高齢者が自ら行きやすい庁舎
- バリアフリー化
- 本庁舎をあまり大型化せず、高齢者の利用しやすい、地域分庁舎の内容をよくしてほしい。特に下古井コミュは今も更地で、文化会館までは遠く、困っています。
- “カンタン”であってほしい。ご高齢の方でもわかりやすいようなそんな施設であってほしい。
- 障がい者が利用しやすいようにお願いします(車椅子など)。電動車椅子のレンタルとかもあるといいです。
- わかりやすい構造で、高齢者も利用しやすい、段差の少ない建物であってほしい。
- 高齢者が行きやすい場所であること、高齢者が 1 人で行ける交通環境であること
- 今後、高齢化が進む中、高齢者の使いやすい施設になるとよい。
- 高齢者や利便性を考え各地区に支所を置き手続きなどは出来るようにする。
- 市民の高齢化に向け、バリアフリー、スロープ(非常時 EV は不可)及避難者受入れスペース等避難対策を盛り込む。
- 高齢者の方が行きやすい交通機関が良くなれば駅周辺でなければいい。
- 高齢者人口が多くなることを考慮してほしい。
- 高齢者の私は、字が小さく(図面含む)読みきれません。添付資料、若者対象にした資料ですが字が細かく、理解が難かったです。高齢者に優しい市にして下さい。
- 一言でいうと、「弱者にやさしい」新庁舎であってほしい。
- とても楽しみにしています。65 才の主婦です。心配なのは大分、足が悪くなりつつあり、広すぎる場所の場合、車イスの利用までは、したくありませんので、休めるイスとか、手スリとか、数、多くあれば助かります。(あとは、そんなに足が悪いなら来るなよ!!と思われたくありません。人様にご迷惑もかけたくありません。)
- 若者だけではなく高齢者、及び海外居住者が安心して利用出来る行政サービスにしてほしい。

- 今後高齢化が進んでくることから、交通機関の充実や、バリアフリー化も必要。しかし、高齢者のみ優遇するのみでは若い世代にとって使用しづらい空間になる恐れがあるため、バランスに配慮もして欲しい。どうせなら全国で一番の庁舎にして欲しいです。
- 災害時、障がい者の人の受け入れ方。
- 高齢の方もわかりやすいように伝えて。
- 高齢者に優しい施設にして欲しい。例えば高齢者が集い易い。

【子育て世代のサポート】

- 子供と出かけやすい場所、施設にしてほしい。
- 現庁舎は子供を遊ばせる施設がない。特に、親子一人ずつで行く場合、子供から目が離せないので職員さんとの対話に集中できない。子供を一時的に預けられる、そういった場所があると嬉しい。
- 小さな子をつれて、市役所と健康プラザにあるこども未来課に行くのが大変なので、ある程度のことが一つの場でできるとありがたいです。
- 子育て等オープンな憩いの場があればと思う。
- 子供達が楽しめる遊園地など。
- 現庁舎で、鯉にエサをあげられるサービス（ふをもらえるサービス）を、こどもがとても喜んでいました。私も、それをきっかけに市役所をとても身近に感じることができました。新しい、キレイな庁舎になっても、そうしたあたたかいサービスを提供してもらえたら、とても嬉しいです。（この場を借りて、お礼申し上げます）
- 子育て世帯にも利用しやすい場所であって欲しい。
- こども（小さな）たちが過ごせる場所があるといいです。
- 高齢者人口が確実に増えていく中で、活気ある街作りの為に子育て世帯が定住したくなる様な施策に予算を廻した方が良い。
- 車いすやベビーカー（双子用も含む）でもためらうことなく来館できる余裕を持ち、スロープを設置するなど工夫されていると良い。
- こどもが保護される。
- 子育て中だが、正直市役所に子供を遊ばせる為に行かないと思う。
- 休日でも子供たちが集える場所があるといいですね。
- 子育て世代（外観はメディアコスモスのように木目が美しい建物（予算と相談で。）内観は美濃加茂の木を使ってぬくもりを感じる施設になるといい。）はおしゃれでこどもが遊べるスペースもあればいいと思うが、年配の人はそれを求めていないかもしれない。沢山議論してより良い美濃加茂市になりますように。
- 藤井市長になり色々と改善されて、子育て面が良くなりつつある美濃加茂です。ですが、改善されているのはご自身のお子さんの世代の保育園世代までが多く、その上の小学校・中学校・高校の世代にも目を向けて改善してほしと思います。

【市役所の対応】

- 誰もが入りやすい環境であってほしい。
- 待ち時間に外出可能な設備。
- 開かれた庁舎を目指すべき。いわゆる市民が気軽に入れる市役所であるべき。
- 何をやっているか、どんなことを行っているか、しっかり発信してほしい。→「見える化」してほしい。
- オンライン申請などできる様にしてほしいが、できなかった時に、やり方を教えてくれる窓口を作ってほしい。

- 多様化の時代、時代の変化についていけない市民がこれから、増え、悩みを抱えて孤立になりやすいと思います。いつでも相談できる、コミュニティを企画し、市民が集い、心開ける場があると、嬉しいです。新庁舎、期待しています。感謝申し上げます。
- 外国人の方が増加していて、(受け入れる)ための窓口は必須　自治会の加入率も減少していると思いますから地域コミュニティとしてまとめていく窓口(相談しやすい)を 1F に設けてほしい。環境・観光等課題は山積の中、建築コスト削減に努めてほしいです。
- 外国の方が多いため、サポートに力を入れてほしい。
- 人が入りやすい雰囲気を作ってほしい。
- 外国の方への対応ができる場があった方が良い。
- 市民が立ち寄りやすい親しみのある庁舎を望む
- 新庁舎は、明るい雰囲気だと行きやすいです。
- 緊急召集や事務の簡略化出来る体制の確立
- 内装に関しては、温かみのある雰囲気にしてほしい。市役所って、冷たい感じするから(雰囲気が)。
- 美濃加茂市民が受けられるサービス等をより早く多くの人に知ってもらえたり、利用出来ると良い。こう言う場合はどこに相談するのかわからない事もどこへ行ってどうすればわかるか提示して欲しい。
- 市政業務について、市民に寄り添った対応をする庁舎となるようハード面及び、ソフト面ともに充実させる。
- 市民への情報発信とともに、スピード化をめざし、防災に強い市をアピールして下さい。
- 何か申請に行く場合、すべてオープンなので、しきりや、プライベートが守られて書類が出せる場所や、病院やチェーン店のように予約順や番号で待つとよいと思います。
- 岐阜の市役所は窓口が多く分かりやすいので、あのように分かりやすいといいなと思いました。
- 職員が、働き易い環境・整備
- だれでも気軽に行ける場所にして欲しいです。
- 新庁舎も大事ですがまずは市役所の方のスキルアップをお願いします。
- 若者が暮らしやすい街。市民が集いやすい場所
- 開発にかかった費用等は公開し、後に検証をお願いします。
- 市民の生活について、色々な情報も発信してもらえる魅力ある新庁舎にしてもらいたいので、必要な手続きに寄る場所だけでなく「ふらっと行ったら、こんな情報があった」と思える所にしてもらいたい。それが、住み易さにもつながるのではないかと思います。
- オンライン化も含めて分かりやすい(高齢者にも優しい)体制を作ってほしい。
- 最終決定の話し合いの様子も公開してほしい。
- 気軽に立ち寄れるような新庁舎であってほしいです。(相談しやすかったり、アクセスがよかったり)

【シンプルな用途】

- 建設費が高騰しているので、好き勝手言う市民の意見を聞くのはやめて機能追加しすぎないで、無駄のないシンプルな庁舎がいいと思います。
- 市の規模(6 万人弱)に合った、最低限の機能を持った設備、施設で良い。人口は必ず減ることを頭に置いて考えられることを切に願う。
- 高層ビルは極力低くする。(利用しやすい事に傾注)
- ネットの時代、人不足の時代になっていくので、小さくても、ネットで繋げていけばよいと思う。
- 市の土地があり、安全な場所、便利であること、費用の面では後世に負債を残さないように。これからは、人口が減少していきます。

- オンライン申請を充実してもらえば、窓口に行く機会も減るので大きな庁舎でなく、必要機能を備えたコンパクトな庁舎に。
- 議場はいらない。年数回しか使用しないため不用。多目的ホールを作り、議会以外は市民のホールとして使用。会派室はいらない。リモートオンラインで出来るのでムダ不用。必要最低限の施設でよい。
- 市内中心部は商業スペースです。市役所に人が集まる施設は必要ありません。
- 華美な市庁舎は必要ではなく、必要最小限のものにして下さい。
- 利用価値の低い及び頻度の低い施設や部屋を設ける必要は無い。
- 庁舎に訪れることは滅多に無く、市の HP を充実させれば更に訪れる機会は減るはず。スモール庁舎を目指しましょう。税金の無駄遣いを止めましょう。
- この先、20 年後を考えた時、市役所は大きな物はいらないと思う。大きな建物は不要になると思います。
- 庁舎に出向く機会が無く、必要な手続きもデジタル化により、更に必要が無くなっている。
- 無駄なお金を使い必要以上に立派な建物にする必要性を感じない。常に市民の税金の上に成り立っている事を頭に置いて欲しい。
- 機能中心の市役所
- 生れてからずっと美濃加茂市に生活していますが市役所に行く機会がありません。ですから新庁舎も最低減の仕事(職場)でよいと思います。それよりも連絡所をよくしていただいた方が有難いです。
- 便利、あった方が良いもので、大きくするのではなく、最低、必要なものでコンパクトな庁舎にする。IT 化、仕事の見直しで人を少なくする。市民がつどう庁舎にする。
- 機能を満たす、シンプルなつくり。
- 新庁舎に集客は不要であり、切り離して考えて欲しい。
- 新庁舎は必要無い。現在の庁舎の強化手直しを完全にして、大きな美しい庁舎などは美濃加茂には必要無い。古い庁舎で良い(手直しはする必要ありです。)

【複合用途】

- 新庁舎のあり方とすれば、やはり様々な年代の方々が気軽に行きたいと思えるような場所であって欲しいと思う。単に書類発行、手続きなど事務窓口のために行くのではなく、集いを目的に行けると良い。
- ただ役所の手続きで訪れる場所ではなくて集まって楽しい場所。カフェやランチできるとか運動できるとかイベントも開催できる。ワークショップとか。
- 東海市にいたとき市役所に食堂があったので作ってほしい。
- 山や高台が多い土地に、天文台や科学館などの併設があると、市民が集まる場所となる。
- 新庁舎にするのであればあると当たり前よりあったら面白いっていうような所になると若い人や他の市民からの影響が大きそう。今は必要な人しか立ち寄らないイメージがある。それかもっと立ち寄ってお得やメリットがあるといろんな世代に受け入れやすそう。
- 図書館や勉強スペースがあると若い世代に使いやすい。
- 普段、用事がなければ近づかない場所なので図書館やカフェなどの場所があると行きやすいです。その場所で美濃加茂の紹介や、展示などすれば人は見るし読むと思う。
- 普段から様々な活動ができる施設(広場)などをお願いしたい。
- 役所のそれぞれの課の用事だけでなく気軽に市民が遊びに来れるような場所にすると良いかも。安城市の JR 駅前にあるコミュニティープラザがありますが一階は人がくつろげ、店も入っていて、気軽に大人も子供も集まれる場所、2 階には学習ができるスペース、大人も学生も仕事・勉強ができるスペースがある。そんなスペースもあるといいのではないか。市民だけでなく他の町の人も気軽に使える場所がいいと思う。
- 市民同士の交流の場を増やしてほしい。(市外の人とも交流があると良い)ゆっくりできる場所もあって欲しい。

- 市民でも利用しやすい、食堂やスペースがあると嬉しいです。市役所へ行くことが、めんどくさいな…と思う(手続きや色々な部署をめぐったり)ことがあり、行きやすい、行ったら楽しい様な所だと利用したくなります。
- JR 美濃太田駅北側に郵便(局)施設が皆無である。高齢者は WEB 通信が不得意な人が多く、手紙等の郵便物や小荷物の発送や受け取りに是非とも、新庁舎に併設するか、近くに誘致してもらいたい。
- 緊急時に即対応できる広いスペースの確保が必要。
- 市民が集いやすい新庁舎が出来る事を願っています。新庁舎の周辺に行くとリラックス出来て楽しく思える空間が出来ると良いと思います。
- 美濃加茂といえば「〇〇」という魅力あるものにしたい。例えば、図書館はどの土地よりも充実していて、子供が学習しやすく、学んだことから成長していく未来が描ける施設へ。
- 新庁舎を最終決定する際住民投票を導入しては？郵便局を市役所の建物の中に設けては？ドライブスルーの受付窓口を設けては？内装の一部は市民のボランティアで建設工事しては？
- 市民が憩いの場となれる様な、公園型の施設的な役所になればいいと思う。
- 新庁舎は都市の一部の重要な担い手としての役割を果たすべく存在にならなければならない。多くの市民に集える場所を提供していただきたい。例としてミュージアム、ショッピング、遊園地など等々市民がいつでも集まれる様な場所にしてほしい。
- 図書館を併設し、利便性を計る。駐車場を 1 ヶ所にまとめれば、用地の確保も容易になるのでは。例えば立体駐車場など。
- 市役所周辺に映画館とか遊園地等作る。
- 関市のような複合施設になるといいと思う　気楽に行け、ここで市のイベントなどがわかるといい。
- 新庁舎のあり方について、分散型(既に現在が不便)とか、コンパクトな庁舎とかは考えられません。新庁舎は最上階に市民のための多目的展望ロビーなど備えた夢のある少しでも市民が憩いの出来る地域の中心となるシンボル的な新庁舎になることを望みます。
- 国際交流、外国語を学べる、活用できる施設やイベントがあると良い。若者が集まって学べるところがあると興味を持つ。
- 人々が集まりくつろげる空間があり、職員たちもストレスのないスペースなどを設けるなど明るい新庁舎になってほしい。
- 憩いの場(遊べる、カフェ、本や PC ありなど)岐阜市のメディアコスモスのミニサイズ的なところがあると嬉しい。
- 中央図書館の機能を新庁舎に移すと、人が来るきっかけにもなり新庁舎の利活用の面でより良いと思います。
- 集まって話し合う場所
- 学生としては、綺麗で雰囲気のよい勉強ができる場所が欲しいです。スタバなどのカフェもあると最高です。
- 前平公園は夕方とても暗く物騒で怖いです。公園が無駄に広すぎるので市役所を公園と併設するのが明るくなりいい案だと思います。管理事務所もあるので市役所も一緒に管理してもらえていいと思います。かわいいかるがもが泳ぐ池があり他の市役所にはない景観と雰囲気が美濃加茂市の強みになると考えます。
- できる事なら、土、日、朝市をやったり、平日でもレストランなどがあればそこでモーニング、ランチ等できたらいい。その収益を新庁舎に当ててほしい。
- 人が集まれる施設(岐阜市庁舎のような)があれば良いかな？
- 広場が有ると良いと思う。他多目的にも人が集まれるから。

【環境配慮】

- 広くて周辺の環境が良いこと。

【整備の進め方】

- 透明性の高い整備計画を公表してほしい。
- 美濃加茂市として今後誰に向けた市政を行なっていくのかを明確にしてその年代に絞ったワークショップを開催してはどうでしょうか。また、垂井町のように現在使用されていない建築物を利用していくのもありなのかなと思います。
- 新庁舎は太田、古井の平地ではなく、河岸段丘上に建てるのが自然だと思います。関市役所のように広い敷地が確保できればいい。ワークショップは意見がまとまらないため止めたほうがいい。アンケート結果を踏まえて行政で案を作ってそれを示しながら進めればいいと思います。
- 新庁舎整備について、知らない市民の方が多いと思う。将来のためにだったら、子供が通う学校、園にもっと協力お願いして何の為にするのか市の意志をもっと語って意思疎通した方が良いと思う。
- 建築期間中の一時的にかもーるを使うか、プレハブ仮庁舎での運営も検討してみては！
- 進め方としては地元の人達の雇用も創出できるように地元の企業や人を募集して進める。
- 職員駐車場が必須で検討されているが、自家用車での出勤が認められていない職場もあることから、それを見直せば候補地の選択肢も増えるのではないか。その分市内の公共交通機関の整備と併せて検討したらどうか。10～30 代のこれからの美濃加茂市を支えていく人達の意見をもう少し聞いてみたい。
- 駅西ビルの建設設計が進みつつあり、ここに市役所機能の一部が入居するという構想の計画が進みつつあるので、もう「駅前」が既定路線になっているのではないか、このアンケートは単なるガス抜きにすぎないのではないかという疑念があります。
- ワークショップの開催について、自分は仕事の関係等で参加出来ません。どの様に参加者を募っているか分かりませんが、間違ってもいつも同じメンバーであったり、市（市役所職員）の何らかの関係者、または知人同士のグループ参加というのはやめていただきたいと考えます。市民の意見というより、同じ考えを持つ人同士の偏った考えになりかねません。色々な地区の市民（老若男女）の意見が反映されるようなものにしていただきたいと思います。新庁舎に関して反対意見はありません。機能に関しては他の市町村役場の施策等で既に参考にしようとされておられる事もあると思います。まず、やるのは決定でしょうか？もしそうなら、時期は未定にしてもそれを市民に周知していただき、早く実行に移していただける事を希望します。あと第一には職員の方の教育をもっと徹底していただきたいと思います。まだ受付にいっても知らん顔し、パソコンか何かの作業をしている職員の方がいます。立場ある人であろうとそうでなかろうと私達には関係ありません。対応日本一と誇れる美濃加茂市にまずはしていただける事を願います。
- ⑧（現庁舎周辺）と、更に現市役所に建て替えすることも考えてほしい。工事期間は NTT 若宮ビルや駅前則竹ビルに部課ごとに振り分けて一時的に入居することなどで対応出来ると思う。また駐車場もあり、土地取得費や造成費がかからず、低予算で建設できる利点もある。
- 長期的展望に立って、地域の整備をすべきである。予算が不安であるが、必ず実行すべき価値があると思います。
- 広い敷地内での、整備。分庁舎など作らず老朽化した時に地内での建て替え出来るよう
- 整備の進め方についての意見については大き過ぎてこれをすれば大問題を解決するには市民に対しての合意なしで前進することはよくよくの説明と市民の協同意識の向上になることを基本として、市民の最大の理解の上で前進出来る体制作りが基本と思います。
- 各々の地区に交流センターがあるので市役所まで行かなくてもよほどの事はセンターとデジタル、オンライン化で用が足せる様な仕組みになれば。あえて新しい場所に高額な施設を建設する事が重要なのか？！市職員も出張して市役所まで（交流センター）来られない住民をサポートする体制等で補っていければ…と思う。今でも充分に機能していると思える所はそのままでいいと思う。無駄に新しくする必要があるのでしょうか？！

- 何年か、あるいは何十年か先に災害があった時、今の市の財政状況などから費用第一に考えたりすることは避けなければと思います。子供、あるいは孫達に何故あんな場所に建てたんだ！というような負の遺産を残すことはしてはならないと思います。
- 岐阜市役所…メディアコスモスという立派な大スケールの図書館をはじめ一気に新庁舎が建った。ついで岐阜県庁もあっという間の建設。気づけば各務原、可児、近辺市町村は新しい時代へ向かって館からスタートさせている。一担ゴーサインは出た我が美濃加茂市、藤井市長の再チャレンジ。スピードをあげて新庁舎を建てなければいけないと思う。僕たち 10 代が U ターンしてもらう第一歩の取り組みだと思う。早く踏み切ってほしいです。アンケート取る時間はない程だ。
- まとまった用地が確保出来ない場合は、建物の高さを高くすると街のシンボルになるかもと思います。
- 県内の自治体の工事費が羅列されているが、同じ床面積なら、同程度の費用がかかると試算しているようだが、3 階建てにせず、広い土地に平屋で建てた方が安くなるのではないか。また、木造にすれば特色になるのでは。県内だけでなく、全国の成功例を参考にして、真似した方がいい。自分達で考えるのは限界がある。もっと若い人、高校生からの意見を取り上げては？無印良品＋図書館のようなアイディアを期待します。
- 市庁舎は、市民のシンボル、市政の中枢であり、将来に渡り市民が誇りと希望が持てることが大切です。庁舎建設には、多額の経費がかかり大切な市民の税金が使われ、一度建てたら長年建て替えはできません。この為、場所、施設規模等は、幅広く市民の意見を取り入れ、慎重に適切に整備推進をお願いします。
- 市のリーダーが方針を決めないことには前に進まない。市民に聞く前にまずはリーダーがどうしたいのかを決めるべき。
- ワンフロアで高齢者も歩きやすいようにすることと休憩の場所も必要で、子供から高齢者まで楽しく過ごせる場所にしてほしい。
- 早く完成しないと建設費用かかると思う。
- 各地区でワークショップをやれば、我田引水、近くに欲しいという事に決まっている。論点がよりボケた！もっとスピーディに新庁舎建設を進めるべき！！無作為のアンケートとしながら、回答者番号が、割当てられている個人を特定する意図が、明白なアンケートであまり公平性が考えられていない。
- 最後の候補地決定は全市民（有権者）の住民に問う事が、大事と思います。
- 市民の意見を聞きながら、手順をふんでの進め方は賛成です。市役所は市の顔です。市民が誇れる庁舎になることを期待しています。
- 新しい岐阜市役所をモデルにしては！
- 市民のすべての合意など、ありえ無い事であり、整備の進め方は多少強引になるしかないでしょう。
- 現庁舎は狭く、他自治体は建て替えが次々と行なわれている。スピードアップして取組まれたい。
- いろんな意見があって、まとめるのは大変だと思います。が、この様に市民を巻き込んでオープンに議論するのは良いと思います。
- 美濃加茂市は、将来の人口予測が流入出データにおいても上位です。これは市役所というより、利便性、発展性、コミュニティに魅力を感じた結果かと思います。その期待（何に期待しているか）を忘れず、進めて頂きたいです。
- 都市計画は見直しも含めこの先、10 年 20 年…先に美濃加茂市全体をどの様に発展させていくのか考え現在の利便性等の判断基準だけでなく将来のビジョンを作成も含めて進めて頂きたいです。
- 初心に返り無駄を省きスピード感をもって下さい。
- 私はあまり現庁舎に行く機会がありません。素敵な取り組みも庁舎を中心に行っていることも知りませんでした。特に理由がなくても、ふらっと入れるような新庁舎であると色んな人が利用して、もっと活発な市になるだろうと感じます。今まで市政などについて深く考えることが無かったので、アンケートが出来なかったです。私

の知り合いに理由なしに新庁舎に否定的な人がいます。紙だけに限らず、アンケートや資料を配布（メールや公式ラインなど？）されては、いかがでしょうか。いつも市を支えて下さりありがとう！

- 広く意見を集めて、候補地を挙げ、利点、狙い、弱点等を整理されており、大変良い活動だと思います。期限を定めてスケジュールされた上で、決められると良いです。
- 特にありません。出来れば早く決定して頂ければ！！
- 新庁舎建設には道路整備も考慮して欲しい。
- 新庁舎は一気に建設整備しなくても（予算、規模を見て）長期的に計画しても良いのでは。
- 進め方が遅いように感じます。市民が寄りやすく、落ち着いた庁舎であってほしいです。市民の声をもっと幅広く聞いてほしいです。今回このようにアンケートを頂いて、意見を言わせてもらったように。
- 一定の人だけでは決めてはいけない。
- 長期的なビジョンで進めていってほしい。（工事費にこだわらないで）
- 皆が納得した新庁舎にしてほしい。
- 次世代の負担にならないよう、コスト、規模を充分検討する必要と思う。
- アンケート等、積極的に市民の意見を反映してほしい。
- 色々な意見を一つの場所にまとめあげなくてはなりません。それも一度決まりかけたところを変えるのですから、どんな決定もある程度の幅というか含みが出てくると思います。アンケートの結果を含め、決定に至る開かれた公表を希望します。頑張ってください。
- 最近の他市の新庁舎から大いに学ぶべき。多治見も駅前の北庁舎の使い方が上手く、今の庁舎の環境に近く、真似してもよいのでは。
- 新庁舎建設検討委員会の設立
- これまでに整備された他の庁舎などを参考にして具体的な建造方法などもタイムリーに周知してほしい。
- 過去のしがらみなどにとらわれずに考えてほしい。
- 全員投票で決める事。
- 全員投票。
- 岐阜県庁、関市役所、可児市役所等は、元々、田・畑を整備して建てられました。その後周囲の発展が著しいです。100 年先を見越してください。太閤検地、刀狩り、400 年前の話しですが、現在で、大変素晴らしい業績であると見直されています。市役所もこうあってほしいです。
- 一部の人の私利私欲で決定してはダメ！！　市民全員のことを考えてほしい。政治的圧力に負けないようお願いします。
- 日本の人口減少や景気の後退も含めた庁舎造りをしてほしい。市民に近い市民に寄り添う庁舎や行政を目指してほしいです。
- 添付資料集とても見やすかったです。アンケートに答えている人以外の人にも共有出来たらいいと思います。
- 密室で決めるのではなく、オープンで決めて頂きたい。市長の公約通りにやって頂きたい。
- 現在有る所で 1 階を駐車場にし、2 階以上を新庁舎としてはどうか？
- 将来を考え、美濃加茂市全体が住み良く成る事を考えて。
- 今の国会（日本）のような、不透明な進め方だけは避けて欲しいです。結果、一部の方が得するようなのはやめて下さい。トイレだけの発注で億するとか…。ガラス張りの進め方。
- あまり意見を聞きすぎると、いつになっても出来ないので市長が決めれば良いと思います。また議員は、市長が若いと思って口出しはしない事。
- できるならば、新しく建てるのではなく、今ある建物を利用していただきたいです。あと、宿場があった事など歴史的な価値も考慮していただけたら良いなと思います。大変だと思いますが、よろしくお願い致します。

- 多数決で上位 3 つくらいを候補に、造成などの見積りをして、できるだけコストを抑えていってほしいです。可能・不可能はあると思いますが、できるだけ、美濃加茂市の事業者に工事を行ってもらうと地域活性化にもなると思います。
- 市民目線に常になって進めて頂きたい。市民目線に常になって色んな方面で考えていただきたい。
- 費用がかかる。とよく耳にしますが、財政に応じて全て兼ね備えるのは難しいと理解している。無駄は省いて効率の良い新庁舎にしていただきたい。
- 災害に備えた新庁舎、アンケートが届いて具体的な考えが一週間では思いつかない。他の市役所を参考し、どんな工夫をされているか？阪神の新庁舎(新かわからないけど)は地震を経験されて、どの様にされているか？経験したからこそ分かる事があると思うので聞いてほしい
- このアンケートが無駄にならない様、市民の声をよく聞いて、今後の新庁舎への反映に少しでも役立てて頂きたい。未来を見据えた庁舎が出来ますように願っています。
- 早急に決定が必要。物価上昇の為、市長の決断、資料集等無駄な予算が使われている。(アンケート必要ない)
- 10 年、20 年先を見据えて急がず取組んで下さい。
- 私のような高齢者が新庁舎の今からのアンケートで新庁舎を見ることが出来るでしょうか。もっと若い人の…。
- 箱物にしない様にする
- 評価が高騰して行くから早く計画を進めるとよい
- 庁舎の本来のあり方と共にこれから庁舎をどのように考え、活用していくのか 30～50 年先まで見込んで高齢の方を大切にすることも大事だが 50 才以下の人がどう考えているのか何を必要とするのかより多くの方の意見を聞き、現実的に何をしたらよいのか検討していただければと思います。
- 旧庁舎は西館や分庁舎等不便な所もあるので早く便利な庁舎を建ててほしい
- 私はあまり市役所に行く事はありません。よく利用する人の意見を取り入れた方がいいと思います。
- ウェルカム機能は、存続が危ぶまれるシティホテルを改装して利用する。
- 拙速な進め方は厳禁
- わざわざワークショップという言い方で何の事やら分かりにくくする必要は無いと思う。講習会研修会等の方が分かる。高齢者の受給関係は連絡所でも手続き出来ると良いと思う。
- 新庁舎のコンセプトを明確に表示する。
- IT が進むと思うため、職員の増員を抑えられると考え、現在古い施設と統合させてはどうか？例えばプラザちゅうたい、図書館
- 早急な決定・着工を希望。
- 今少し速度を早くしてほしい。市民の意見を聞くことも良いが、ある程度の段階で、市当局と議会主動で進めることが必要。とにかく結論を早く出してほしい。
- 箱もの行政や利権につながるような整備はやめていただきたい。
- 必要なハードのみ。ソフトは民間支援で。
- どんなことも賛否両論、こっちが O.K であれば、あっちは N.G！！すべて O.K は難しいと思います。大切なのは客観的に見て、機能・サービス質・災害に強いが大切だと思います。問 2 の所も大切だと思います。
- 美濃加茂市を支えるのは声の大きい権力者や、昔から住んでいる人達ではありません。旧態依然で、何事も実施することは簡単ですが、市役所新庁舎は「市が変わるチャンス」と捉えています。どの案でも賛否あるかと思いますが、未来を支える子供たちのために、思いきった決断を期待しています。よろしくお願いいたします。
- 新庁舎は美濃加茂市民のための場所であることを第一に考えてほしい。庁舎で働く人のためのものではなく市民が使いやすい市民のための庁舎をお願いします。
- 市報に建築予定図面、および、交通道路図面(予定)を 3～5 箇所わかりやすく、そして完成予算案を掲載して頂くといいと思います。

- 私利私欲で意見を通そうとする議員の方々がいると聞くが丁寧に一般市民の希望を叶えて下さい。便利で親切な仕事が出来る、庁舎を希望します。
- あわてなくてもよい。ゆっくり、知恵をしぼって決めてほしい。
- 私利私欲だけは捨てたい。
- 私は高期高齢者になり、市役所を利用する事もほとんどなくなりました。今後は次世代の方達に魅力ある役所にして頂ければと思います。
- 将来的には社会情勢に合うことが良い。（自動車社会の変化、人口減少の社会）
- 色々な意味で、決められない美濃加茂市と言われています。ご苦労は多いかと思いますが、これから先の美濃加茂市を考え、移転してよかったと、後世の人が思える場所へぜひ！
- 一生懸命働いている市職員のため、少しでも早く新庁舎を望んでいる住民のため、トップダウンで決めて下さい。みんなの意見を大事にすることは、どんどんおくれるばかりです。特定の住民が不満を示すなら真を問う選挙を！！
- 市民の声を多く聞く事が大事。
- 人のためになる庁舎を目指して下さい。
- 評価は次世代
- 庁舎の建物の規模、事業費など全体のデザイン、構想はあると思われるので発表してほしい。
- 候補地の投票
- 不当なピンハネ等が起きないように慎重に進めていただければと思います。
- 現市長の１期目の時からこの話は出ていた。何年もの時間をかけて、何回もアンケート調査をしたり、ワークショップを開いてもこの状態ですか？どれだけ時間をかけても同じだし、税金の無駄遣いだと思う。市長がリーダーシップをとって、早急に結論を出すべき。
- 白紙化されて1年以上たつが何も決まっていないことに驚いた。もっとスピード感を持ってやってもらいたい。市民の意見を聞きながらやるのは大切なことだがある程度市としての意見で進めないといつまでも決定できないと思う。
- ここまで来たら焦らずゆっくりと進めて欲しい。
- 今のように市民の意見を丁寧に聞きながら進めて下さい。孫の代に「どうしてこんな所にこんな市役所つくったの」言われないよう。市民皆が胸をはって「これが私たちの市役所だ」と言えるような市役所をつくりましょう。簡素だが、いい市役所が理想です。
- 整備の進め方が遅いと思います。いつ災害がおこるかもしれないので庁舎が機能できなくなることだけは避けていただきたいと思います。
- できる限り早く決めて実現してほしい。
- 添付資料も詳細に纏められていて参考になりました。ある程度候補地が、絞られてきていると思います。そろそろスピード感を持って新庁舎予定地を決定してほしいと思います。
- 沢山の意見があると思いますが、長い目で見て、決定してほしいと思います。
- 急ぐ必要はない。よく検討すること。
- 大人になっても、今のこどもたちが住み続けたいと思えるような市を目指すだけでなく、具体的に行動し、つくっていってほしいと思う。全市民が納得することは難しいと思うが、その中でも、利用する中で居場所となったり住み続けたいと感じられることが重要だと思う。よろしくお願いします。
- 今やっていることが無駄！サッサとやることが良いわけではないが早く決めた方が良い。時間、お金がもったいない。コンパクトで良い。
- 地震などで耐震についても不安が大きいためなるべく早急に進めていただきたいと思います。
- 新しい時代に対応できる未来を見据えた人材育成と経験者（発想の凄い、アイデアマンなど）の声が聞きたい。

- 2040 年問題を見越して、今の子供や中高生の意見を聞いてほしい。ワークショップなどに参加する人は、高齢者や自分の意見を主張したい人が多いので、その人たちの意見ばかり聞くと一般市民が本当に理想とするものではない。
- 既存の建物を再利用するのはやめてほしい。「お金をかけずに」も立派な事ではあるが今の子らが大人になるまで機能を充分はたせる様目先のことにとらわれず納得いく市役所をたててくれる様希望する。
- 以前の候補地選定の進め方は知らないが（ここ最近引っ越してきたので）、市民の意見を聞きながら進めていくことで皆納得できるのではないかと思う。
- 権力者の意見で決めないでほしい。
- アンケート調査で絞り込み、上位 3 つぐらいから市民投票？
- 少々お金が高くなっても良いのではと考える。楽しめる庁舎にしてほしい。
- 市長に決断する時がきている。
- 現在より将来を見すえて市庁舎建てる事。
- 一度白紙に戻した事で候補地がこんなにたくさん出るとは思いませんでした。行政としての庁舎のあり方をしっかり示した方が良いかと思います。市民の意見を聞いていると、最終決定時に、市民から、色々と賛否の意見が出てくると思いますので、とにかく規模、予算などは早目に方向性を出すべきかと思います。
- 今後、我が国、我が市の人口は現人口から 40%程減少すると予測される中で、大きな建物が必要であろうか？色々な局面を考えて計画をしてほしい。市民の為になる庁舎を建設されるよう希望します。
- 市報にアンケートを入れる。（回収方法は？です）アンケート項目を絞り、ワークショップに出られない人の意見を取り込むなど
- 災害時の拠点は複数あった方が、被害状況に応じて活用できると思うので、新庁舎に本当に必要な機能を見極めた方がよいと思います。そして各拠点間で情報の共有ができるような設備を備えておくことが必要かと思います。※回答者番号で個人が特定されるようでは、回答しづらいかなと思います。
- 先の項目に記載してしまいました。庁舎を考える前に市役所員や部署のあり方を考える事で、必要なスペースが見えてきます。現状維持で考えるのはナンセンスです。集約や分散など十分に検討されて進めていただきたいです。
- 今回のアンケートのように広く市民の意見を聞いて建設候補を決定してほしい。
- プラザちゅうたいが老朽化しているのと、体育館としては少し狭いので…前平の方に移転して…市のスポーツ系を固めると良いと思います。そのちゅうたいの跡地に新庁舎を建てると良いと思います。
- 前市長も別に市民の意見を聞いていなかったわけではなく、広報にかける費用の差しか見えてこない。市のトップとして市長のリーダーシップに期待したいが、今のままでは前と全く変わらない。選挙に勝つだけの言葉ではなく責任感を持って決め切って欲しい。市民のためにもよろしくお願いします。
- 市街地であることが、庁舎選定のポイントとなってあります。庁舎がある事で周辺地区は変わっていくものではないでしょうか。交通の便に関してはあい愛バスの循環線の利用などである程度解消できるでしょうから、現庁舎付近についてのポイントを高くすることはおかしいと思います。
- 使用する方の意見を取り入れて新庁舎の整備を進めていただきたいと思います。加茂野連絡所の内装を決める際に、建築士さんが使用者の意見を反対し配置を決めたため、完成してから使い難いという話も出ています。よろしくお願いいたします。
- 市民の意見を取り入れてもらうことと同様に、庁舎で働く人たちの働きやすさも大事だと思います。全国の新庁舎整備の事例の成功例失敗例を多く集めて、進め方を検討できるといいと思います。
- 公共交通機関の活性化も踏まえ、職員の通勤方法の在り方などの工夫により、駐車場用地は現計画より縮小が可能となり、候補地の選択肢も増えると思います。

- 何年も前に既に議論は尽くされているし、みんなが納得することは不可能なので、市民の代表である議員と市長の議論で早急に決めた方が良い。
- 「役所に行かなきゃ」のとき以外でも行くタイミングを増やしてもらえるといいなと思った。託児スペースのある〇〇教室が開催されるとか。ついでに市での催し物の告知ポスターとかあれば知るタイミングも増え（HP だと見方がわからない高齢者もいる＋若い人は興味ないと見ない）活性化に繋がるのではないかと思った。HP のイベント情報の閲覧数が少ないのが気になったので…。拡散力のある若い人や若い家族が動くことで市が盛り上がると思うので、「ついでに」が色々叶うような新庁舎はその起点になったらいいなと思った。
- あまり長い時間、話合うことは、とっても大切なことだと思いますが、少しずつ、絞って行くのも大切だと思います。
- 以前は知らない間に話が進んでいた感が有るので、一度白紙に戻してからの丁寧な議論の進め方には好感が持てます。このまま丁寧に議論を重ねて進めて下さい。多くの市民の方にクドい程の周知をお願いします。
- 少数派の考え、意見を聞く機会があると良い。例えばですが、うちの主人は視覚障がい者で暗い場所が苦手です。様々な施設（公的、商業等）で昨今、節電で照明が暗いです。せめて、節電と合わせて人感センサー付けて明るくしてもらえたら・・と思うことがあります。というように少数派であるが故での困り事からくる意見があると思います。少数派（例・障がい者、ジェンダー等々）の考え、意見だからこそ、皆にも同じで繋がっていくことがあると思います。ぜひ、少数派、その家族が集って新庁舎のあり方、整備の進め方を話せる場所を作っていただきたいです。
- ワークショップにはご高齢の方の参加が多いように感じます。若い世代の意見をもっと集める機会を作って欲しいです。調整等大変だとは思いますが、1 日でも早く新庁舎ができる事を望んでいます。

【市のアピール】

- 周辺からの人口流入を起こせるような美濃加茂のモチーフになれると良い。
- 自慢のできる庁舎にしたい。（豪華とか、お金がかかっているではなく）
- 新庁舎と街の活性化をセットで考えたい。外部からの人々にも足を運んでもらえるような。（高山の入り口という場所の良さを活用できていない）
- 美濃加茂市は他県、他市などからもっと人々が遊びや買い物に来れる市になるといいと思います。広い土地に企業が来てもらえるといいと思います。財源があるなら、夜になると暗い道に街灯が増えるといいと思います。
- これからの美濃加茂市のシンボルとなるような場所
- 美濃加茂のおみやげなどを常に売っている場所があると市の売上にもなるからよい。
- 新庁舎にあったら良い役割は多くあるが、全てを担うのは難しいと思うので、周囲の施設やお店との連携・委託していく方が良いと考える。そうすることで、美濃加茂市の産業の活用になると考える。

【集約】

- 全てを 1 ヶ所にまとめてほしい。こども関係で 2 ヶ所に分かれているのは不便
- 車（足）がない人が太田町の市役所へ行き手続きをして又中部台のファミリーサポートセンターや健康課、こども課へ関連手続きをしに行くとなると一日がかりで不便な思いをされる人も少なくないと聞いています。（オールマイティ的役割を担う）そうならない為に 1 ケ所（周辺環境が整う）方向で進めてほしいと願います。
- 各課がバラバラの場所にではなく市役所に行けば全て完結できる庁舎の一元化。
- こども未来課が中部国際医療センターに変わり、本庁舎、分庁舎があり、必要に応じて手続きが分かれることに手間を感じています。特に小さい子供を連れていると、何度も移動するのは不便です。
- 1 つの建物もしくは、敷地内で済ませられる場所。
- 図書館などあらゆる施設を集約してほしい。

- 本庁のまわりに、今、庁舎として色々造らないで一回の訪問で用事を済ませたい。
- 起業相談などの場所を商工会議所と一緒に窓口を作ってほしい。（行政と商業の意見が一緒に聞けるから）
- 分散して施設があるのでまとめる。アンケートの設問がわかりにくかった。問 2 など
- 場所的には問題があると思いますがあまり分散せず本庁所で全てが出来る機能の庁舎が良い。新庁舎遠方の方は各支所のフル活用対応とする

【職員の働きやすさ】

- 今回のワークショップやアンケートはとても良い試みです。前市長の時に市役所の建設が決定していたら、他人事で終わっていました。希望としては、市の職員がのびのびと楽しく働ける場所が第一希望です。市のために勤めてくださる彼らの思いを第一に考えれば、今後の市政にとって良い市役所が創れると思います。
- 職員さんが働きやすい庁舎にしてサービスの向上に努めてください。
- どの様な事業体でも、職員の満足度は高い優先順位に置くべきと考える。間取り、設計の段階から若い職員も含め意見を取り入れる形を考えていただけると良い。
- 市民はもちろんですが、役所の職員の方々が通勤しやすいなども大切と思います。いつも市民のためにありがとうございます！
- 職員が働きやすい新庁舎
- 場所の事は色々気になりますが、庁舎の内の事、機能の事は日々市役所で働いて対応して下さる皆さんの意見が一番大事かなと思います。やりにくさやもどかしさを感じている部分も改善できたらいいなと。建物が古いからだと思いますが、なんだか市役所の中が暗いので明るく働きやすい設備、配置になったらいいと思います。いつもありがとうございます。よろしくお願いします。
- コロナとは共存が必須となります。目に見えない感染は恐怖へと発展していきます。感染対策を十分に考えてすすめていただきたいです。感染用品の備蓄もお願いします。新庁舎の話を進める上で市民の意見を吟味していただけること大変ありがたいです。それ同様に市役所勤務の職員の方々その御意見も同じものを質問していただいているのか気になります。働いていただいている職員の方々の心がスッキリしながら多忙な業務がこなしていただけるように職員の声もしっかり聞いて下さい。市外からの通勤の方もあると思うので通勤の混雑など市外の方からの意見も是非聞いていただきたいです。
- スピード感をもって取り組んでいただきたい。何年かかるの？いつに完成するのか、デッドラインを設けてもいいのではないか。市民と共に、長時間市役所で過ごす職員にも目を向けた施設を。（市役所に来庁する人の数は、今後減っていくと予想されるから。デジタル申請等で）
- 人口減少になりますので必要十分でシンプルなコンパクトな新庁舎。職員さんが働きやすい新庁舎に！
- 職員が働きやすく、自分の意見が出しやすい環境であるように。

【駐車場】

- 新庁舎は駐車場を広めにとってほしいです。
- 駐車場が広く取れる場所が良い
- 立体駐車場は安全面を考えるとやめた方がいい
- 駐車場を多くしてほしい。
- 立体駐車場などを整備して収容台数に余裕を持たすといいと思います。
- 駐車場も広く使いやすい市役所を作ってほしい。
- 駐車場はできれば今より増やしてほしい。停められずぐるぐるすることが多々あるため。
- 駐車場を広くとってほしい。
- 駐車場が広いと良いと思います

- 駐車場に余裕が欲しい
- 駐車場確保は必須。
- 車で行く人が多いと思うので駐車場を広く作ってもらいたいです。
- 今の庁舎は古く、駐車場も狭いため、なるべく早期に新庁舎を建てる方が望ましい。
- 広い駐車場が重要
- 駐車場に困らないようにしてほしいです。
- 災害対策の為に駐車場を広く
- 駐車場が必要なため借地ではなく確保する。※職員の駐車場は別場所でも可なのではないか。なるべく安く、無駄な金は使わないで。警察署も近くにあるとよい
- 駐車場は広い方が良い（立体駐車場でも可）
- 市内主要道路に面した、駐車場が多め
- 美濃加茂市は長良川鉄道、美濃太田駅と鉄道の利便性が悪くほとんど自家用車などの利用になると思います。駐車場の確保をお願いしたいです。
- 来客者の駐車場が容易にあること。無断駐車が出来ないよう（有料化するなど検討要）
- 現庁舎、美濃太田駅南、付近は、駐車場が無く、家が建て込んでいるのでぜったい嫌です。
- 車社会であるため駐車場が広く取れる所が良い
- 駐車場がしっかり確保できることはとても大切と思う。
- 美濃太田駅の前では駐車場が狭すぎる
- 駐車場の負担がかからないところがよいと思うと G（クスリのアオキ新池店西側交差点周辺）の場所がよいかもしれません。（市役所使った人に駐車券出すとか余分な手間がふえそう）
- 十分な駐車場、駐輪場の確保
- 駐車場を有料化すれば、無断駐車も減る。市営の駐車場を関市みたいに造ったほうが、色々便利だと思う。
- 次はアクセスが良い場所。日常利用するにあたっては、初めて行っても分かりやすい駐車場にしてほしい。（みのかも健康プラザの駐車場が停めにくすぎる）
- 広い駐車場

【デジタル化】

- 高齢化が進むもののネット利用が可能な高齢者も増えており、更にリモートを活用するなどデジタル化の促進により、各種申請・書類発行等 市役所に行かなくても済む案件も多くあると思われます。
- オンラインで維持管理を最小限にする
- 今後、益々デジタル化が進むと予想されているので、多少予算をかけてもデジタル化に対応した設備を導入していただきたい。
- 郵送でのアンケートでデジタル化を進めれるのでしょうか？紙の質もよくカラーで郵便での返送、こんな事してる企業ないですよ。アンケートならハガキに QR コード印刷すればできませんか。
- デジタル化を図り、庁舎並びに職員のスリム化を推進して下さい。
- デジタル化を進め、映像などで、配信してわかりやすくして下さい。
- オンライン手続きを進める。分かりやすく PR する。そのあたりを目指して進めていただきたいです。
- デジタル化の推進
- 美濃加茂市のシンボルとしての市庁舎は職員にとってはよくても、市民には必要なし。市機能を各地域に分散化させ、そのため最先端の DX を充実し、①窓口および支所でワンストップ化②休日の利用可③AI の活用④災害時のリスクヘッジ体制拡充。

- AI を早急に広範囲に導入することで事務の効率化、事務ミスの削減を図る。こうした最先端の DX を導入することで、全国に発信でき、人口増とつなげる。
- 一番良いのは、休日でも申請出来るオンライン化にしてもらえれば時間を有効に使える。
- IT を利用した、安全、安心な街づくり

【費用】
- コストをあまりかけないでほしい。
- 多くの意見を取り入れ議論、検討することは大切だがその準備工数、資料に掛かる費用が増大していないかが心配。ここに税金を注ぐのであればその分を工事費に充てることが有意義ではないか。
- 市民の声を広く拾って下さり、ありがとうございます。莫大な費用がかかることですので、低コスト重視で進めて頂き、教育や医療等、手薄にならないことを望みます。
- 無駄に税金が掛からないようにして欲しい。
- たぶん 50 年ぐらいのスパンで建て替えを検討しないといけないと考えられるのでそれ程建設費に最初からお金をかけない建物にする。もしくはお金をかけて百年もつデザインなども凝ったものにし観光に訪れるような庁舎にする　中途半端な庁舎にしない。
- 無駄な費用を発生させないように。例えば、ガス管・水道管の地中工事を一括して、何度も掘ったり埋めたりしない等。
- お金を大切に使ってほしい。こんなに良い紙を使わなくてもいい。そういうところ！！
- 既設建物は取壊しが基本ですか。再利用等は費用のため考えていませんか。
- 美濃加茂市は他に比べ無駄な事にお金を使っているイメージです。
- 景気が悪いので税金を沢山使ってほしくない！！
- 借金を若い世代に残さないためにも工事費は安く。
- 出来るだけお金をかけない建物としてほしい。
- 財源問題をしっかり取組まないと、後世に大きなツケとなります。
- 将来、人口減が確実なのに新庁舎の様な、ハコ物に税金を投入する必要性が本当にあるのか？市民のためになるのか？それより、雇用の場をどんどん増やすことが最優先課題だと思うが？
- 多額の税金を投じることとなります。長い将来を見据えて、必要な所に必要額の納得できる運用をお願いしたい。
- いずれにしても多額の資金が必要となる。市の将来に資する有効な投資としてほしい。
- 新庁舎を現庁舎、老朽化の為に移転する方向で検討されていますが、そもそも、新庁舎建設費は、どれ程になるのか、そんな経費が美濃加茂市にあるのかが疑問です。器より市民への奉仕を考えて下さい。
- (過去)今まで議論されたことを白紙に戻したということは、それだけの税金を使ったことになる。調査費や人件費など。理想論だけで市政を進めることはできないので、現実的な着地点を早く見つけることが大切だと思う。
- 住んでいる地域によって候補地を選ぶので人口が密集している所、費用がかからない所を選んで早く決めてほしい。先に延ばす程費用が高くなるのではないかと思う。
- 決めるなら早くして欲しい　物価が上がるばかりです。
- なるべくお金をかけずに進めて頂きたい。
- 新庁舎整備は一大事案であるので、候補地を含め慎重に進めなければならないことは当然なことではありますが、今の現状ではなく将来を見据えて進めていくならば、多少の費用がかかることは問題ではないと思います。
- 土地代金にお金をかけない様に、たとえば市、県などの所有地を使用すると良いと思います。
- 費用は長期で返せば良い。
- 市有地、国有地等の利用をし、市民の税金を、少なくして、移転出来るように。

- 建設費を有効に活用した工事計画及び施工とする。
- 市民の負担増とならない建設費計画。
- できる限りの無駄を省きコストカットした上で必要なサービスや働きやすさなどの工夫を実際に働いている人の意見を聞くことで合理的な庁舎にしてほしい。
- 個人私有地を使用は反対、税金の無駄使い。
- 建設コストを下げるのが、一番必要であるので、華美な施設にならないように検討してください。
- 建築費の上昇に心配しております。次世代へのツケがどうなるか？なるべくコストダウン出来るようお願いします。
- できるだけ建屋を大きくせずに設備環境に投資をする。庁舎を建てるにあたり外国人に過度に配慮する必要はないと思う。
- 市の財産、予算に見合ったものであってほしい。
- できるだけ低コストで皆が利用しやすい場所がよいです。
- 新庁舎をたてるということは、お金がかかること。あるものは、なるべく使って、余計に出費がないようにしてほしい。
- 新型コロナの前後で建築費は 1.3～2 倍になっていると思います。決めるのはさらに難しくなってくると考えます。人口を増やす方向に費用は回しつつ、様々な手段で目標を達成されることを願います。
- 外観デザインにお金をかけすぎないでほしい。
- 整備完成までの時期（期間）を含め、総合的なコストを比較し、より財政負担の軽減を計って欲しい。
- 工事費はどこから出るのですか。市民に負担はかかりますか。
- 少しぐらい建設費が高くとも、他市から見学が来るような建物・内部施設の充実。
- 税金なので費用がかからないよう進めて欲しい！！
- 予算を抑えたコンパクトな新庁舎を希望します。予算をかけすぎて将来の負担にならないようにしてほしいです。

【分散】
- 新庁舎の規模は無理に大きくする必要はなく、各々の連絡所を今以上に有効活用出来るよう見直しして貰いたい。
- 庁舎を分散し各候補地に充当。
- 北部エリアにも分庁舎があると近くの人は助かると思う。
- 新庁舎に業務を全て集約するのではなく、各連絡所の機能 up を図って欲しい。
- 「連絡所」を、その機能も含めてグレード up して下さい！
- 分散できる施設部所は分散し大きな庁舎でなく、コンパクトで機能的な庁舎で十分だと思う。
- 最近は色々の災害があるので気にはなるが、前回市が受けた浸水の問題を参考に書類等の保管と災害時の対応をする場所は安全な場所に作り、日々の行政、福祉は新庁舎で行う。
- オンライン NET 社会の時代、庁舎が 1 ケ所に固まっている必要は無い。機能毎に 4 つか 5 つに大きく分散して設置すれば良い。
- 連絡所があれば、ほとんどの事はできる。市役所でしかできない事を明確化して、市民に周知すれば、コンパクトな市役所を建てられると思う。
- 新庁舎に全て集中では無く現在の市役所（跡地）、連絡所など活用、分散型
- 新庁舎は一極集中の必要ないと思う、地域周辺の活性化も含めて分散型が望まれる。

【駅前再開発】

- 新庁舎は美濃太田駅前再開発計画とリンクして進めるべきと考えます。美濃加茂市の玄関である美濃太田駅前を復活させ、街を発展させるべき。人口増加、来訪者増加、そして税収増加を目指しましょう。

【規模】

- 人が集まりやすい新庁舎になってほしいと思うため、敷地や施設の内容を充実させて欲しいと思う。なので、充分な土地が確保できる所が良い。
- 広い場所
- 在宅勤務を増やし大きなビルは必要ないと思います。
- 新庁舎はコンパクトで良いと思う。
- 市役所の新庁舎だけでなく周辺の施設・交通網の整備等を充実させ駐車場の管理もしっかりすれば広いスペースは不用です。トータル的な公共施設の集合体にしてほしいです。

【休日の開庁】

- 土日、祝祭日も対応して頂ける窓口が欲しい。
- 平日の夜、休日対応の窓口を強く要望します。（平日の昼間のみの行政運営では利用しづらいため）
- 土日にも利用できるとありがたい。
- 土曜日の業務，午前中だけでも行える様窓口業務を行ってほしい。
- 休日の窓口、時間外の窓口を広げてほしい

【窓口等の対応】

- 各窓口をもっと広くする
- 市民に愛される庁舎になる様工夫し立ち寄り易く１ヶ所で全ての目的が達せられる様な窓口にして下さい。
- 誰でも気楽に行ける所であってほしい。皆、年をとり体が動きにくくなります。複雑な事はわかりません。マイナンバーの時も少々大変でした。これから色々な事、相談事が出来る庁舎であってほしい。災害があると思う。早めに考えて安心して避難できる所であってほしい。
- 市民が来庁したとき、窓口がわかりやすい。
- 市役所には何を相談してよいか、よくわからないし、相談しづらい雰囲気もあるので、そういった部分をわかりやすく相談しやすい雰囲気にしてほしい。
- 窓口での手続き等が楽にできるように。
- 窓口対応を改善してほしい。市民に寄り添ってほしい。

【立地】

- 美濃加茂市の中心の場所がいいとおもう。全ての事が１ヶ所の場所で出来ると助かる。
- 利便性や周辺施設の連携を考えると、駅周辺が好ましいですが、災害が心配です。前平辺りか、市保健センター周辺のひとつ上がった土地で、市を見渡せる広々した所の方が落ち着いていて、行きやすい気がします。
- 一部の人間の利権に関わらない土地選びをお願いします。また、周辺環境と合わせて美濃加茂市がもっと発展することを考えて下さい。
- 整備の仕方について、中部国際医療センターや大きな公園、市街地、駅などを経由した道を軸にして、新庁舎や新しい企業などが立地していくと良いと考える。
- 現庁舎周辺や美濃太田駅南側の現状を考えると、これ以上に閑散としてしまうのに不安を感じる。反対に美濃太田駅南側の発展や中部台や蜂屋エリアの人口集中を考えれば駅の北側での建設が望ましいのでないか。

- 皆さんの意見を全て聞き入れる事は困難だと思いますので、個人的にはどこになってもかまいません！
- 通常時のアクセスよく
- 駅南が本当はいいと思いますが、木曽川があるから発展する事は出来ないと考えますが、川辺、坂祝、富加などといつかは合併するやもしれないなーと思うと、駅北の方がいいのではないかなとも考えますが、、、。
- 市街地又はその周辺が良い
- 駅南はインフラ的に難しい。駅北が栄えだした今、山手線沿い前平が一番綺麗。
- 前平公園周辺に建設がよいと思う。
- F、岐阜県立国際たくみアカデミー周辺土地が有りそうで、美濃加茂市人口比率からすると中心ぽいです。
- 第一に便利な場所安全な場所を選んで欲しいです。年を取ると移動範囲が少なく出かけるのが大変のみです。誰でもすぐに行けて安心安全な所がいいです。
- 行きやすい所がいいと思います。
- 車のアクセス、交通便など整備してよりよい新庁舎を作ってほしいです。（用地問題が難しいと思いますが！）
- 立地の面でも、気持ちの面でも市民が“行きやすい”と思える場所であってほしい。
- 本庁舎は今と変わらない場所の方が嬉しい。
- 今の所又は近くがよい。
- 開発しやすい土地であること
- このアンケートを取って頂き、多くの人の賛成される場所に決められる事で良いと思います。
- 現庁舎を取壊し、建て直すのがいちばん好ましいのではないかと思う。
- 不便な場所（何もない場所）につくるより、中心街付近につくって下さった方が、ついでに他の用事や買い物ができるので助かる
- 市の極端に端より、真ん中、付近がよい。
- 前平周辺には、企業もあり新庁舎が近くにある事でさらに企業を誘致したり発展するのではないか。前平公園も整備して人も集まりやすくなると思う。昔からあって古くなっているから、これを機に新しくするのも良いと思う。
- なるべく土地は市有地を使用すべき
- 未来の子供達が不便とならない場所に建設することが望ましく、現存の一部の市民に利得となるような考え方は、排除して考えていくべきと考える。
- 市民ワークショップで様々な意見が出されていることが知れてよかった。市民の意見を反映した新庁舎が楽しみです。候補地選びが大変ですが、多くの人が集いやすい場所に決まるといいなあと思います。
- 土地の確保、建築資材の高騰、人件費の値上がりなどを考慮して出来るだけ安価でしかも災害に強い、強い新庁舎を作るべきである。それには、広く平地な土地を利用できる地域を選ぶべきである。体育館も現在のものを売却して新庁舎に近い場所で広く大きな体育館を総合体育館として若者が集まり易い場所であってほしい。（多治見市、中津川市等の体育館を参考）（人口増を見込む）（若者の定住）（近隣町村との合併）
- 当初案の駅前開発ありきの建設地案には、失望しかない。今後、市を継続的な発展を牽引できるのは、駅前地区ではないと考える。
- 市役所は、やはり美濃加茂市太田町にあるのが基本だと思います。
- 美濃加茂市民が平等で行ける所に
- 建築に向けた再構築は選挙公約でもあり、非常に良い事だと思います。場所の選定は難しい事ですが、次は 10 年 20 年先を見据えた余裕有るスペースを確保して欲しいものですね。
- まとまった用地の確保
- 市の土地以外は無理だと思う。地権者が多いとまとまらないと思う。
- 新庁舎は周りから無理なく行く事が出来る場所がいいと思います。

- 土地の確保の為、費用が多くかかる事は好まない。
- 候補地はワークショップ参加者の提案から選択するべきと考えます。（市民の意見だから）
- 市民も市外の方も分かりやすい場所にあると良いですね！明るく（陽が入る）、利用しやすい場所になる事を願っています！
- お金持ちが得する土地とかに市役所を建築してほしくないので市民平等でお願いします。新庁舎楽しみにしてます。
- 様々な年齢の方でも行きやすい場所で見当をして頂きたい。
- 関市役所のような、少しくらい市街地から離れてても良いんじゃないか？道が混雑するよりは良い。
- 候補地 3 ヶ所選ぶだけで、本当に悩みました。いい新庁舎が出来ることを願っています。
- 美濃加茂市の今後百年を考えるなら土地は広く取るべき。県庁の建替えは県庁内の駐車場に建て余分に土地を買わずにすんでる。駐車場として広く取るべき。中部国際医療センターを見てもわかるように次に建てるスペースを取っている。
- 市の代表的建物は市の中心地にあるのがどこからも誰からも行きやすく便利であるから。まして大きな医療関係が近くにあれば「ついでに」が可能だから。
- 市民が行きやすい場所であってほしい
- 美濃太田駅前エリアは、土地も少なく、一般地主の土地等買入しなければいけない為手間、金もいり、不適と思う。又、大地主の土地を買入又は借地の必要有り、それは、ダメと思います。市民は、太田駅など、一年の内に何回程利用するか、考えてください。利用する人は、ほんの少しです。今は車、社会です。JR 利用はごく少数の人のみと考えます。
- 市街地に近い方が利便性はよいが、今後の美濃加茂市発展を考えると①のエリアに新庁舎を移動させた方がよい。しかし、交通面の整備が必要でお金がかかる。また、高齢者が利用しにくくなってしまう。居住地域によって年代層が片寄り住みにくくなってしまうかも…。トータル面で考えると①のエリアが災害面に強く、土地も確保しやすいのでよいのでは？利便性をよくするために交通の整備が必要。
- 現在住んでいる場所から近くなるといいな～と思います。市民の方みなさんが利用しやすい場所、特に年齢を重ねていらっしゃる方にも通いやすいようにお願いしたいです。
- 美濃加茂庁舎の場所は地図上中央付近で広い用地の確保出きる所が、いいと思います。
- 駅北がいろいろ建物が出来（店も）道路が混雑します。もっと早い時期から土地確保も出来たと思いますが…。混雑しない用地確保しやすい場所が…と思います。
- 色々な年代の市民が集まり、色々な情報の発信地とともに行政も行える　総合的な場所が出来ると良いと思います。駅周辺を除けば、どこでもアクセスは悪いのであまり気にしなくても良いと思います。
- 市の庁舎だから辺鄙な所では困る。
- 市保健センター周辺（たくみアカデミー周辺含む）に公共施設を連携するのが良いと思います。土地も安価に購入できると思います。
- 今ある静かな環境の場所（住宅地が多い場所）は、今住んでいる方たちのストレスになるのではないかと心配です。
- できれば自宅から近い所が良いが…。だれもがそう思う。色んな意見があると思うが…。むつかしいと思うが…、早く新庁舎、期待したい。
- 駅前（南）の密集地をさける
- 新庁舎を新しく作るには、広い駐車場、交番の便利な場所を考えて、市民が行きやすい、場所が良いと思います。
- 現庁舎を改修工事できるのならば新たに場所を考える必要はない。トップのゆかりの場所であるからという理由での移転の考えは非常によろしくない。銀座通り周辺の再開発にもっと力を入れるべき。

- 9 番(市商業ビル周辺)と 10 番(大手町公園周辺)を合わせる様な型式もあるのでは…。岐阜駅や多治見駅の様に駅を中心に建物をつないで利用する方法も。駅の上に新庁舎を作るのは？
- 駅の上に造るのも良いのでは。前年度の時の案では駅と駅前ホテルを通路で継ぐ案もあったと思うが
- 不安な点イ. 公共交通機関によるアクセスが難しいという点はコミュニティーバスを増便させることで、ある程度はどこに建設しても大丈夫ではないかと思う。 新丸山ダムができれば、木曽川の水害は防げると思う。
- 高額になるのは仕方ないとはいえ、負担する市民の気持ちも考えてほしい。庁舎だけ立派になっても、中身がともなわなければ意味がない。市役所の次は、可茂総合庁舎もとならないか？
- 庁舎は市民のための場所であることが前提ですが他の地域からこられた人に対する PR の意味合いも持つことも大切だと思う。県外からの観光客も多い E(ぎふ清流里山公園周辺)地域に建てることで移住したいと思える人が増えるのではないかと思います。里山公園内の散歩ルートなど walkable city を体現するにも良い場所と感じる。新庁舎に加えて簡易的な出張所などが中部国際の中にあると良い(主に高齢者向け)以上家族の意見も混じえて回答させて頂きました。その他、新庁舎に合わせ市章が新しくなると更に市のイメージ up になるのではないでしょうか。
- 市民が誰でも知っている所。美濃太田駅にあまり人がこない？
- 候補地選定は人口比率から多数決はおのずと結果は見えている。検討のあり方に疑問がある。誘導に近いと感じるため〇〇ありきは無しで考えて下さい。
- 庁舎は市のシンボルであるため、人が集いやすい場所へ建築するのがいいと思う。
- 庁舎は災害対策の本部として病院と近い方が良いと思う。
- 今は、ICT や未来都市を目指すなら、現在の交通の便を考えるだけでなく、周りに土地があり、開発できるような、余裕がある場所がよい。再開発よりよいと思う。駅より南側はありえないと思う。
- 町中は開発に必要以上の公金を使う事になるので、郊外での建設が望ましいと思う。
- 候補地は美濃加茂市の中央周辺＆便の良い所を希望。便の良所、平地、災害に強い、高齢者、子供達の安全性を考えた地
- 前平公園周辺が最適。
- 関市の様におもいきった所に作ってほしい。
- 広い場所考えては･･･。
- 新庁舎周辺が発展してもらいたい。『わざわざ庁舎にだけ行く』ではなく、『庁舎周辺に行ったついでに庁舎で過ごせる』が嬉しい。
- 現庁舎はもう限界に近いので早く作れる場所に作ってほしい。これまでの市のシンボルは川な所があったが、中部国際医療センター建設後はそこを中心に街が成り立ち始めている。そこの近くでなくとも、これからの街のカタチも見据えて決めてほしい。

【利便性】

- 市民の人が自由に使えるスペース、オシャレな空間があると若い人も市役所を知ることが出来るし、立ち寄ると思う。カフェやご飯が食べられる所、芝生など仕事がしやすい WiFi 完備、コンセントあり、電子レンジやウォーターサーバーなどあると小さい子も来れるかもしれない。文化の森内とかなら駐車場も広いから良いかも知れないです。市役所のトイレも使いやすくして欲しいです。
- 職員さんの働きやすい庁舎も大事なのかとは思いますが、一番はやっぱり市民のための市民が利用しやすい庁舎を考えて頂きたいです。美濃加茂に住んでいて、あまり市民に還元されている感じがしないので…。
- 市民が使いやすい、理解が得られるようなものだといいと思います。
- 年齢に関係なく(高齢者も行きやすく)便利な場所、人が集いやすい場所。美濃太田駅前周辺
- 自転車を使う母世代が山の上は嫌だと言います。

- 美濃加茂市は、車社会などで、車のアクセスのしやすさは、必須かと思います。
- 床面に行先表示があると便利
- 行く課(所)に玄関から色分けラインをゆか(廊下)につけると自分の行く所がわかりやすい。
- 平面的な建物(土岐市役所など)の方が、利用者にとっては便利と考える。
- 私たち市民のために日々働いてくださる職員の皆様に感謝しています。現庁舎も古くなってきている為、新庁舎を試みる事には賛同致します。また、周辺環境が狭く感じるので、もっと広い場所にあっても良いのではないかと思うのと、国道へ出る際や、横断する際、危険な感じがある。市民も職員も利用しやすい方が良い。老人になることを踏まえ、公共交通アクセスが簡単で利用しやすくなると、ありがたい。ミニバスとかミニタクシーとか(安く利用したい)
- 使いやすく、機能性を特に考えて進めてほしい。
- 明るく、わかりやすく便利　何よりも、「市民のため」
- 人が集まりやすい所が良い。道路が多い所の方が良いと思った。
- 近くにお店があると市民の人が寄ろうとすると思う。
- 高齢になり外出も少なくなりました。住みよい町になったらと思います。地図を見ると美濃加茂市も広い町なので、皆都合のいい様にならないと思います。若い人が働きやすい町になるといいですね。
- いつでも行きやすい様に。
- 57000 人の市民の利便性を第 1 に考えて欲しい。工事費の高い安いだけでは、決められない。建築方法も鉄筋、鉄骨、木造等色々ある為知恵を出すと良い。
- 新庁舎と交流センター(地区の窓口)をどうするか、市民の利便性を考えて新庁舎の規模を決める。
- 新庁舎を作ることを全く知らなかった。サービスがスマートに受けれるような体制を期待します。
- 現在の庁舎はかなり古く、設備、トイレなども使いづらく利用しにくい。
- 鉄道駅からの距離→今はほとんど車又は市のバスを使うのでそれは考えないほうがいい。利便性、長い目でみるとずっとその場にある場合は広くてゴミゴミした場所ではなく、建物、駐車場が広い所が良い。

【自治会】

- 自治会組織が弱体化していること。

【防災】

- 防災面は、下流域の自治体と比較すれば、当市ならクリア可能ではないか
- 防災機能は市内の小中学校(太田小は浸水の危険が高いので、西グランド体育館)の体育館等の強化(自家発電、トイレ、空調、備蓄スペース)、グランドの強化(駐車場、ヘリポートへの転用可能な整備)を行う。指令室は「文森」の強化

【その他】

- 日中、働いている人が利用しやすくしてほしい。
- 情報は常に開示してほしい。このアンケートは色んな世代の人に答えてほしい。
- 新庁舎をきっかけとし、美濃加茂市に人が集まるような取り組みになると良いと思います。
- 今は思いつかない。
- 木材を基調としたおしゃれなデザインの建屋が良い。
- 人が集まる庁舎であって欲しい。
- 時間、お金、人を使いすぎ。こういうことが無駄だという考えにならない市役所であることが残念。
- 全国から注目されるような憧れの市役所を望みます。市民も力を合わせて頑張ります。

- 資料やワークショップの数から市役所の方々のご尽力が伺えます。資料に目を通した一市民の意見を取り入れてくださるのもありがたいです。本当に公益を考えてくださる方の意見が通ることを願っています。
- 街活性化と若い世代が住み続けるのが大切である。
- 市民の意見を聞いてくださりありがとうございます。
- 作る必要性がわからない
- ユーチューブで情報を発信してほしい。
- 子供達を遊ばせつつ母親が交流できる、高齢者や障がい者が集う事ができる。保健婦さんやケースワーカーさん等、堅苦しい雰囲気ではなく、雑談感覚で話すことができるスペース設備。市民と距離の近い設備を期待したいです。
- 駅北側から、市保健センターの方にかけては、これから人口も、お店なども、広がって行くので、全世代を大切にしてもらえる美濃加茂市であって欲しい。
- 堅苦しくない、木材を使うなど、明るい雰囲気、柱は角ではなく丸みをおびたものでもいいのかなと思いました。絵画や陶器などよく価値がわからない物は必要ないですし、そこにお金を使うくらいなら市民へ商品券配布など市民がここに住んでいて良いと思えるものをお願いします。
- 集まりたい市民は何%で、月に何回、年に何回集まるのか？具体的な数値を市民に知らせても良いのでは？どれほどのスペースに集まるつもりなのか？行政が用意した場所に行くのは生活に困ってもいない人ではないのか？支援が必要な人が行きにくくなるのではないか？よく想像してほしい。
- 市民の盛り上がりがない中、首長の意向で、新庁舎問題をリスタートさせることに疑義がある
- 新庁舎は必要無い現在のままで良い
- 資料がもう少し読みやすかったらいいかと思います。それと新庁舎には関係ないですが・・・広報が聞きにくく、全くわかりません。大事な事もわからないと困ります。何か改善してほしいです。
- 明るい室内と広さが欲しいです。
- 市民ワークショップや市民アンケートなど市民の声を取り入れようと工夫されているのがわかり”自分たちの市役所”として市民の意識が高まっていると感じます。手間ではありますが、市民が納得する形で新庁舎が整備されることを願っております。（担当課、係の方ありがとうございます）
- 仕事で可児の市役所をよく利用するのですが、明るく広いですし、会議室もたくさんあります。総合窓口を広くするといいと思います
- 市民が気軽に集まる庁舎をめざしてほしい。そのための安心安全はかかせない。税金を使うので将来「みのかもし」「住みたい、住んで良かった」と思えるといいですね。子供・大人・高齢者・外国人まるっと幸せになりますように。
- 60 年以上太田町に住んでいます。新庁舎楽しみにしています。
- 市民の意見をきいてくださりありがとうございます。今後も広報やアンケートをよろしくお願いします。
- 広報みのかもでも拝見していましたが、今回このような資料をいただけて嬉しく思っております。市民の意見をきいていただけてありがとうございます。応援しています。
- 外国人との繋がりを大切にしてほしい
- 新庁舎が何処に決まっても、責任は市長にあると思います。もっと仕事をして下さい。→※市民に伝わって来ません “初心忘るべからず”
- 地方自治法第四条 2 項を原則にすること。
- 私は美濃加茂が大好きです。ただ私や周りの友達も含め、いずれ美濃加茂を出ていく、既に出て他の市町村で住んでいる子が多くなりました。今、考えないといけないことは新庁舎を建てることを考えることなのでしょうか？多くの若者をいかに美濃加茂で永く住んでもらうかを、外国の方々に住みやすさを提供することなどを考えることがやるべきことではないですか？新庁舎はとんでもなくグレードアップする必要はないと思います。

- こうして色々な意見を聞いて下さる事は、ありがたい事だと思います。
- 美濃加茂市は市役所を中心とした城下町でも作りたいのですか？
- アンケート（質問）の仕方、回答の仕方、もっと簡単にして下さい。意味がわからない。わかりづらい。
- 今回は、色々な人の意見を、聞いてくれる事が嬉しく思います。美濃加茂市民の為の新庁舎になってくれれば幸いです。色々大変だと思いますが頑張って下さい。
- 今のまま市民と一緒に考えることは良いことと思うがいつになったら決まるのかという不安はある。
- 今回いただいた資料で候補地に関して分かり易くまとめてありとても参考になりました。様々な市民の意見をまとめるのは大変かと思いますが頑張っていただきたいと思っています。
- 持ち家ではない、自治会に入っていない者は情報が入ってこない。
- 衛星の中心となればいい。
- 現在、市長はまるなげ（市民、職員）しています。白紙にした責任感が感じられない。ダラダラと時期も市長を続けたいだけ！！職員のみなさん、御苦労様です。
- 1 階だけでも窓ガラスを多用したりすれば、内側の混み具合がわかりやすくなると思います。そして明るいイメージがつくと思います。白のコンクリートの建物だと暗いイメージがつくと思います。綺麗な建物にすることで周辺の治安の悪さがなくなるといいと思います。最近建物が増えて、治安が悪くなった気がするかなと思います。
- 美濃加茂市は豊かな自然には恵まれているが、子供達に将来の夢を持たせる施設がない。
- いつまでアンケートを行っているのですか？時間がかかりすぎです。デジタル化の時代に業務はどこでもできます。
- 市民での選挙にすべき。
- 個人の利益で考えてはいけない
- この件に関しての論議の時間、流れ、決め方は今後各地で「新規事業」を行う際のモデル・ケースとなり、時間をかけて、なかなか施行できないという事態を招くおそれがあると思う。市役所にどういう機能を持たせるかによって候補地や建物仕様が決まってくると思う。また、外部コンサルタントに調査を丸なげしているが、経費や内容、結果（効果）を 100%開示できる自信はあるのかお尋ねしたい。
- 先見の明を持って、将来の本市の発展を軸に、庁舎と連絡所のあり方を導いてほしい。「市民の考え」などは、一本化できるものではないし、多様に広がることはあっても収れんはしません。「市民」と抽象概念におもねっていては、政治とはいえません。
- 遊ぶ場所もないし孫をつれていく楽しみが少ない。若い人の意見をたくさん取り入れて発展できる新庁舎にしてほしい。（年配ばかりの意見はいらない古すぎます）
- さっぱり分かりません　もっとわかりやすいアンケート内容にするべきです。
- 未来のこどもたちに繋がっていく、市民も職員も活かされていける（いやされるも入る）建物であってほしいです。※市民ワークショップに参加していませんでしたが、このアンケートに参加して添付資料をみてとても勉強しました。未来の発展の美濃加茂市に栄光あれ！！
- 過疎地域の事も考えて進めてほしい。昭和村マラソンで外出が出来ないなど不自由な事だけされて何にもいいことがない。
- 正直外国籍の人はそこまで配慮する必要があるのか。日本に稼ぎに来ているのにポルトガル語やフィリピン語などで通そうとする方がおかしい。稼ぎ先の国の言葉を覚えてからか学びながら働くとか意識のある高い能力のある人間はそうするしそういう外国人に来てほしい。
- 行きたいと思える場所にして下さい。
- お役に立てずすみません。

- 職員さんの教育もしっかりお願いします。パソコンばかりみていて市民が入ってきてもすぐに立って対応してくれないから。
- 新庁舎については興味はありましたが、自分からの参加まで考えてなかった。今回アンケート調査があり、自分の考えが記入出来てとてもよかったです。市民の為により良い物を考えて下さい。決して地主の利益より市民の利益を考えてほしい。添付資料よかったです。ありがとう。当たり前ですが特に、汚職等に注意して下さい。はめられないように。
- あまり必要性を感じていない。
- 回答者番号は必要ですか？　大水に対する対策を先に
- 大切なふるさと美濃加茂市。よりよくなることを祈ります。作業、ご苦労様です。
- 市役所の職員の事務的なミスが続いていること。外国籍の人々との連携のむずかしいこと。
- がんばってください。
- 第 2 回目 WS 参加者の年代別表を見ると若年層が増えていますが、将来を担う若い人達がもっともっと感心を持っていただけることを期待します。
- 木々のある広場を備えた建物にしてほしいものです。
- 現在の庁舎は「昭和建築」として文化財になるぐらい使いたおす。昭和時代のドラマや映画のロケが呼べるぐらい机等の調度品も大切に使い続ける。
- 外観、内装ともデザインにはこだわっていただきたいです。古さを感じる現庁舎から、最新になるだけでなく、市のイメージが良くなる、明るい雰囲気の建物になると良いです。
- 今とあまり変わりないのであれば、このままで良いです。変わりに高校生以上の医療無料化など、にあてていただきたいです。
- 行政によって都市計画をはっきりしてほしい。市民の話を聞いてばかりではまとまりがむずかしい。
- 土木、水道が別の場所にあるが、まとめられないか。
- 美濃加茂市の新庁舎と言うことで、何かと問題が出て来ると思います。
- 皆の意見が全て同意を得ることがむずかしいとは思いますが、推進課の皆様が一所懸命動いて下さることを信じています。頑張って下さい。
- アンケート回答者の選出方法は？
- DX を充実させることで職員の減員、そのかわり①非常勤職員の時間単価の大幅 UP、②職員の一括採用の廃止
- アンケートを受け取ってから期限までの日数が少な過ぎる。もっと早く郵送してほしかった。（忙しいので）
- ご苦労様でございます。80 過ぎ明日の命もわからない私にアンケートに答える資格はありません。でも子供や孫達にすてきないい新庁舎ができる事を願っています。皆様体調にお気をつけ下さい。よろしくお願いします
- 詳しい資料を、付けて頂きありがとうございました。素晴らしい庁舎ができるのを楽しみにしています。
- 備蓄が出来る倉庫があると良い。例えばワンフロアを全て倉庫とする。天井は低くても内装が最低限でよいので 3F は全て倉庫とする。（ミサワホームの蔵のある家のような）
- 屋上にヘリポート及びソーラーパネル
- 建物も大事ですが、庁舎で働く公務員の人格教育も欠かせないと思われます。
- また、建築や広場のデザインにも気をつかうことで人が集まる場として新庁舎が機能することを希望します。見た面・機能がともに魅力的な市のシンボルとしての新庁舎の誕生に期待しています。
- 古い物にも歴史があるので活かして欲しい。市民が使いやすい庁舎にして下さい。
- アンケートがわかりにくい。
- 美濃加茂市らしい緑あふれる自然いっぱいの未来ある新庁舎が作られること楽しみにしています。

- 市窓口に用地がなくても気軽に立ち寄ったり、ほっと一息つけるような、木のぬくもりがある内装が良いのではないかと思う。
- 私自身は書類の申請以外で市役所を訪れることはほぼありません。デジタル化が進むことによって、益々足が遠のくように思います。美濃加茂市には、市民は気軽に集える場所がないと思います。この先起こるであろう災害に強く、書類申請が目的でなくても足を運びたくなるような市役所になることを希望します。
- 美濃加茂市が発展するよう、心より願って居ります。
- 広々とした場
- 大阪万博のようにならないようにスケジュールをちゃんと計画し、シェアしてほしい。
- 美濃加茂と漢字で書くのが面倒なので、変更してほしい。
- 里山公園の美濃加茂のへそのような所ですのでぜひ来て下さい。
- 時代と共に市のシンボルでもある庁舎は変わって来ていると思います。広大な土地によそからお越しの方々に対してでも明確な建物であり印象が残る存在であって欲しい。最新式な機器等の導入は必要不可欠であると思うが、人が創る市である以上、子供からお年寄の方までの事を大切に考えた上での設備や工夫が分段に含まれた庁舎であって欲しいを思います。
- 新庁舎は、市の規模に応じた（縮小化が可能ではないかと感じる）役割認識するべきで、将来の人口現象や IT 化の対応などに対応した機能維持できる持続可能を考えること。
- 新庁舎の建設の必要性を感じません
- 虫対策をおねがいします。
- 人が集まりやすい。交流の場となる場所になってほしいと思います
- 基礎工事の時になるべく災害に強い建物建てないといけませんネ。
- みんなが気軽に行きたくなるような市役所になるといいです。今の市役所も味があり入口の階段がおしゃれで好きです。
- 見学していないのでわからないけど自分としての意見は、新庁舎はみんなが仲よく集まる所にしてほしいと思う。
- ＜35.その他＞に記述した様に、DX 完全移行後の将来に於いて、新庁舎に対するニーズが大きく変化する可能性の検討も必要。現在の延長線での発展で進むとはかぎらない。欧州の銀行の本店の変化の様子が一例。
- 緑（木など）多く取り入れると感じが良い。
- 問 2 の新庁舎の機能はすべて必要な事がらで 5 個選べという事は大変でした。
- 他の市町村の良い所を参考にする
- 新庁舎にするのであればなぜこども課だけ中部国際医療センターに移設したのか知りたい。（新庁舎+こども課移設で費用がかかりすぎでは？）
- 問 2 で書いたように、他の市や県にも素晴らしい複合施設が沢山あるので心から利用したいと思える場所にしてほしい。
- カルチャーセンター（多種類）を庁舎の中に作って欲しいです。
- 関市など田んぼの中に移転して良かったと聞いています。関係者に意見を聞いてはいかがでしょうか。
- 市商業地帯は不適格
- 未来の子供たちのため、費用は度外視して建ててよかったと思える新庁舎を建てて下さい。よく資料がまとめてありました。
- 明るく開放的で市民の交流の場にも適する庁舎にして下さい。
- 私は 57 年前遠く東北から美濃太田駅へ降り立ちました。いくら東北でも県庁所在地でしたので近所に牛小屋があったりいちご畑があったりびっくりしました。縁あってミタケに嫁ぎ 30 年前に下米田に居を持ちました。美濃加茂市は大きく発展して工場が沢山出来スーパーが沢山増え私宅の近所にも若い人たちの住居も沢山立

ち並び随分元気な街になりました。これから新庁舎が出来ても今迄以上に窓口に気軽に相談に行ける様に御願いします。ガンバレ！美濃加茂

- この先どのようなタイミングで決定を行うのかみえなく、また、沢山の候補地をあげた事でより決定がしにくくなっているのではないかと思う。
- 今後のスマートシティ化とこの「新庁舎の機能」の項目の乖離があると思います。
- 90 才をこえるばあさんではなにもわかりません。
- ワークショップに参加しておりませんが、皆さんの意見を参考にし、解答させていただきました。

【その他（新庁舎以外）】

- 耐震をして直して使えばいい。新しく作る必要はないと思います。それより福祉に税金使って下さい。いらないという意見も聞く必要があると思います。これから人口が減るのです。新しいものなど必要がなくなります。
- 小さなこどもの為の施設を増やして頂いてありがとうございました。小学校低学年くらいまでの児童が遊べる室内施設が充実してくれると雨の日や、真夏、真冬に小さいこどもを連れて上の子も遊べるので、とても助かります。（小牧市のこども未来館のような施設）これからも長く住んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。
- 行政からこのようなアンケートで私たち市民の意見を聞いてくださるのがとても良いと思います。新庁舎の件のみならず、幅広くこのようなアンケートで市民の意見を聞きながら物事を進めてくださることをこれからも期待しております。
- 美濃太田駅前の空中電線を無くして下さい。あれはヒドイ！！
- 深田の田を上げて作った方がいい。
- 近隣の自治体は、この 2～3 年で何度か交付金、商品券など申込み不要な形で住民に還元してます。
- 商業ビルはどうする？
- スポーツ市設・特にプール水泳がしたいのですが遠くていけません。加茂野町に温泉施設を作って下さい。
- 前平公園の現使い方は勿体ない。中途半端な球場、サッカー場も整備して公式戦でもできる様にしてほしい。（KYB 球場の様に）集客が望め市の収入も見込める。新庁舎関連施設も整備したい。消防本部も移転してほしい。市有地広い面積工事しやすいと思う。霊苑、テニスコート、プールはどうなっているんでしょう？
- そんなアンケートよりもっと大事な、生活を脅かしている事、検討して下さい！！！60 才～65 才迄の生活、何とも借金だらけで生きていくのが精一杯！！学生ばかりに還元せず何とかして欲しい！！そこに財政を少しでも回してほしい。皆待ってます！！！
- このアンケートだれが記入したか番号でわかるようになっていますね？？？
- この度はアンケート作成をしてくださいましてありがとうございます。こんなにも膨大なワークショップ結果をきめ細やかにまとめてくださり頭が下がります。私ごとですが先般、義母を在宅で看取りました。その最期の姿は尊いものでした。それまでの 2 週間ほとんど食べられず、その後 8 日間は飲むことも出来ずただ唇をお茶で濡らすだけ。医療処置もしなかったので家族の心も揺れたのですが、その姿は自然そのものだと感じました。あちらに逝く準備をして身を浄め軽くし戻らぬ旅へと立ったのです。人は自然そのものなんだと強く感じたことで市の里山千年構想は宝であると心より思いました。自然を尊ぶことは人を尊ぶこと、人を尊ぶことは自然を尊ぶこと、、このことはどんな時代でも、千年経っても変わらないこと、、。安らかに逝った義母が気づかせてくれました。長文失礼しました。新庁舎整備推進課の皆さまの熱い想いに心より感謝申し上げます。
- 前「市民の声」で街灯のお願いをしたら、「自分の近所は自分の家の光で明るくしろ。」と言われた。「何か言いたいなら自治会長を通して。」とそういう職員ばかりだと市民も市に対して上の人が勝手に決めてさらに無関心になり政治と同じ状態になると思う。市長は若いし違うと期待している。そういう市にしてほしい。

- 太田小など150年の歴史を祝うのはいいが、子供たちに新しい建物で生活して欲しい。小学校を建て直しを考えて欲しい。古すぎるし、駐車場など、狭すぎて、車社会に対応していない。運動場も狭すぎる。運動会などできない満足に。
- 大型商業施設を作ってほしい。
- 乗合タクシーがあると便利で買物やサークルなど色々な行動が出来る様になると思います。
- 西町にスーパーマーケットがあると良いと皆(高齢者の人など)特に耳にします。
- 岐阜市のメディアコスモスのような、それ単体で魅力がある施設を作ってほしい。
- 一部地域の発展が市の発展にならず、市として多くの箇所が発展していくことで市が盛り上がっていくと思う。他の方が来た時に、多くの観光するスポットを一箇所に集中させるより、点在することで色々な場所に経済効果が発生すると思います。

7 その他自由記述

問2 「新庁舎の機能」について、その他必要だと思う機能があれば、ご記入ください。

「35.その他」回答一覧

【施設】

- 市内を一望できる展望台スペース
- バーベキュースペース
- 可児市の mano のような世代関係なく充実して使用できる施設を作ってほしい。
- 天文台、プラネタリウム、科学館などのスペース
- バスケットコート
- 大きい道路からの複数進入路、災害時の備え。
- ATM コーナー
- あい愛バスの全コースの停留所設置、FM ららのサテライトスタジオの設置と活用。
- 託児スペース、授乳室、停電対策(非常用発電設備等)
- 文化的な様々な団体が楽しんで学びあえる空間もあると良いかも。
- 高齢者が災害時に避難できる空間。
- 中高年が利用(相談・支援)できるスペース希望。私たちはこども手当も受けることなく生きてきた世代です。子育てにお金をかけた後、即、親の介護の為、支出があり生活が苦しくなってきたと実感し、自分の将来が凄く不安です。
- 高齢者の集い場。
- コワーキングスペース、チョコザップ
- 災害時にペット(犬猫)も一緒に避難できる場所を準備してほしい。
- 災害時の避難場所、仮設土地などの確保。
- 市民の憩いの場があれば良い。
- 医療費控除を e-tax で行えるようにブースをお願いします。確定申告も。
- 複合施設との併用できる施設。病院やスーパー、スポーツジム、幼稚園、市役所に行けば用事が全て済むのが理想です。
- 国、県、市の全ての公的機関を一か所に統合。税務署、県事務所、法務局など。
- 行政機能以外の役割を充実させてほしい。診療所オープンキッチンマルシェスタバ

【サービス】

- 手続き、スペース、全てにおいて高齢者が利用しやすいように。
- 新庁舎と連絡所の業務の拡大と充実化、業務連携図る。各窓口(本庁)の知識と資質を高める→質問事項(保健課)に知識不足で適切な回答もらえず(3 人交代した)(TEL 対応者)
- 新庁舎もありがたいが、各連絡所で対応できる窓口業務で済む体制が欲しい。(高齢で市役所まで行かなくても済む)
- マイナンバーカードを作っているだけの人を見受けられます。市役所内にマイナンバーカードを活用できる部署を作っていただきたいです。
- 各地連絡所の役割を充実させる。
- 各部署での連携がスムーズにできるシステム
- 高齢化社会に対応できる行政窓口となるように、環境設備及び業務対応を。

- 支所以外は本庁舎用に全ての部署を置く事。(現在建設部は不便)
- 例えば、失業や家族が亡くなってからの手続がいくつかしなければならない時、どこへ行って手続きするかなどの案内を手伝ってほしい。特に高齢者に。
- AI の時代なのでワンストップサービスは必要。市のアピールポイントになる。
- デジタルや web について行けない高齢者にも親切対応であって欲しい。
- 会議室やミーティングスペースを使用団体により無料にしてほしい。
- 資源リサイクル PR を回収
- 待たせない対応(すぐに対応できる職員であってほしい。誰かが対応するだろうはやめてほしい。)
- 市民と密接に繋がる行政を市民の立場に立って、実行する組織。
- 市内八カ所にある連絡所の事務機能の向上。このことの方が地域にとって重要!(本庁舎は、土日祝日のオープン課を増やしたい。「太田は来やすいな」の気持ち高めたい。)
- 窓口での順番待ちの空間を広く、わかりやすく番号表示するなどしてください。
- 各自治ごとの災害備蓄物資場所の案内地図とか相談所
- イベント会場の会地やボランティア活動や会議会場する時借りやすくしてほしい。

【休日の利用】

- 土日祝日、早朝夜間の行政サービス(窓口業務)の充実拡充
- 土日祝等、休日における各種申請、受理、交付窓口の設置
- 土曜日や祝日にも利用出来る。
- 休日窓口及び夜間窓口
- 土曜(隔週くらい)半日でよいので開所できると良い。(連絡所 1 回/月　日曜あるが…)
- 平日に働く人の為に、土日祝日にも庁舎を開設して欲しい。
- 土曜日曜日にも利用出来る窓口を設ける。
- 平日若しくは土曜日の総合窓口開設

【トイレ】

- 綺麗なトイレ
- 災害時に利用できるトイレ
- バリアフリーで使いやすい庁舎へ。①使いやすいトイレを実現する(様式トイレの拡充多目的トイレの拡充)②エレベーターの拡充
- 多目的トイレ(必ず音姫(おとひめ)トイレ用擬音装置をとりつける)オムツ交換代→トイレは職員用と外来者用と分ける。感染対策に備えて自動手指消毒ジェルタイプの設置　各部屋にコロナ対策の空気清浄機をあらかじめとりつけておく。

【バリアフリー】

- バリアフリー
- 高齢者や障がいのある方に配慮したバリアフリー化
- 優しい日本語を案内。書類等に完全導入してほしい。難聴者(特に高齢者)に対応できる設備人材等を配置してほしい。

【その他】

- 余分な機能は不要。5 つも選ばせるのがおかしい。
- 美濃加茂に来て 5 年、来た時市役所に行っただけであとは、仕事もあり、市役所も新庁舎もよくわかっていない。
- よく考えて頂いた上で無駄な施設は作らないでほしい。税金を大切に使ってほしい。
- 自宅から離れた場所の話なので関係ない。
- 新聞ニュースで時々、無法者、暴れ込む事件聞きます。それらの対策も
- 全部必要では？(1～34 全て)答えが出ている。
- 市制 70 周年を迎えて建物の変化が楽しみです。
- 関市はなぜか市民が市役所を身近に感じ市役所へ遊びに行こうというような役割だそうです。市役所の魅力を考える！！遅い！！早く決めないと土地がなくなる！！
- 多種多様な生きづらさを抱えている人達が、少しでも生きる力になる細かい支援、配慮があると助かります。相談する人はいますが聞いて頂くだけで終わってしまうので、具体的に市長さんまで伝えていただいて改善し、弱い立場の人々に希望のもてる美濃加茂市になると嬉しいです。
- 今の高齢化に対応するだけでなく将来を見据えて機能、役割を考えてほしい。
- 理想ではなく、もっと市民に寄り添った形にして下さいネ。
- なぜ選択が 5 つなのかがわからない。新庁舎の機能は色々あるべき！
- 情報化社会高齢化少子化社会に対応出来る庁舎にお願いします。
- デジタル機器の進化を見据えた庁舎
- 高齢者社会を迎えるにあたり、健康寿命を延す各地方での活動を参考にして美濃加茂市ならではの取組をしてもらいたい。気軽に参加出来ること、市役所に来ることで行政に関心を持ってくる
- 美濃加茂市民が使える制度がもっと分かりやすくわかるようにできる場所。市民が市民としてここが他の市よりいいと言えればもっと発展すると思う。それが分かりにくい。市民がもっと市役所に入りやすくなるように。今はまだ必要な時しか行かないかな。
- 市役所に出向くのは年に数回。この先の高齢化社会を考えると新庁舎とセットで各コミュニケーションセンターの機能を高めるべきである。
- 議場は、他の会議室と同様の仕様とするべき。経費をかけない。
- 議場の専用スペースはいらない。有効活用。
- 有料でも可。
- もし整備するなら、防災機能だけ特出して整備する。
- 現在の庁舎で市民が一番活用されている項目への利便性＋付加価値
- 24.(食堂・コンビニ等)について、各市内のスーパーやコンビニからフードロスやゴミにしない為に仕入れて安く販売したり、食堂で使い SDGs に貢献することがよい。社協だけじゃなく、環境課やこども課なども協力して市民を助けられて、環境にも優しくできてなお良いと思います。
- DX 完全移行後(そうとう先の将来)は市庁舎内のレイアウトが想定できない程に変更される必然性が生ずる可能性があるので、フレキシブルな対応可能な庁舎基本設計すること。
- 美濃加茂市は、他市に比べて特徴がない。ミモザを植えてミモザの市はどうですか？
- 美濃加茂市は、R21、R41、R248BP、東海環状、東海北陸が交差しており、災害時の緊急輸送には有利であることから、災害対応の拠点となる市役所は、それらが有効に使え、地域の拠点病院に近く、岐阜県営水道施設から応急給水が受けられる場所が良いと思います。
- 災害の時、水道について考えて頂きたい。
- 市役所の事務室は、増大する膨大な事務を迅速且つ効率良く処理できる施設とする。具体的には、書類を効率

良く分類保管使用できるスペースと機能のある設備とする。事務処理を迅速効率良く処理できる AI 機器等の設備を整備する。

- コンベンションホールがあれば良いと思うが無理なら仕方ない。新庁舎の建設にあたって他の市町村と連携しながら必要な物を貸し借り出来るような仕組があればと思う。人口減少を想定しつつ（自治会加入率を含む）市民の負担が少ない建設コストを考えてほしい。
- 岐阜のメディアコスモスのように、空きがあれば誰でも使える空間があれば楽しくて便利になると思う。10（小さいこどもが遊べる場所）、美濃加茂市には室内で遊べる場所が少ない。あったとしても狭いので（こまきこども未来館（小牧市）ぐりんぐりん（春日井市）ぎふ木遊館（岐阜市）各務原パークブリッジ（各務原市））上記のような遊べる、学べる施設ができたらワクワクするし嬉しい。27（フレキシブル（柔軟）に用途変更できる空間）、みんなのギャラリー／おどるスタジオ、かんがえるスタジオ／あつまるスタジオ etc。7（図書スペース），可児のヨシヅヤの中の無印のように、買い物もできて、本も借りられる（図書館一体型の施設）で、こどもも多少騒いでよければ毎日通いたい。
- ①徹底的な DX 化②AI の早期導入③窓口支所のワンストップ化④休日窓口の拡充
- 井戸水があると良い
- 市内に点在する各所特産品販売店文化施設等多様な地域資源にアクセスしやすい場があると、美濃加茂市全体の魅力発信に寄与すると思います。※単に 34，市の魅力の PR に留まってしまうのはもったいないと思います。地域資源を介して人と人とのつながりを感じる場づくりが必要と思います。
- 誰もが入りやすい場にしてほしい
- 他県から人が集まる魅力的な建屋が良い。
- きまった人達が出入りして見えますが、我々高齢者には、寄り辛いです。
- 周辺市町村に見劣りしない庁舎の建設を望む。
- こども～高齢者まで気軽に市民が立寄れる様なスペースがあってもいいと思う。多国籍従来の役所っぽくない開放的な雰囲気で（市役所の業務だけの目的+αの部分）用事以外に帰りに寄れる居場所スペース（市民共有できる場）。

問3(1) 新庁舎の候補地　その他の候補地

- 美濃加茂高校の手前
- 太田駅北側付近
- 太田西公園付近
- 加茂野町稲辺地区
- JAめぐみのみのかも東支店周辺
- あじさいヶ丘

問3(1) 新庁舎の候補地 選択理由 その他の理由

【災害】

- 水害がある可能性が高い地域だから新庁舎が大きな避難の所として活用できたら凄いと思う。
- 災害の影響を受けにくい候補地の中で、徒歩での避難を比較的し易い場所だと思います。
- 浸水害の影響がない。
- 風水害に強い
- 堤防により、水害リスクも低いのではないか。
- 堤防があり、丸山ダムも整備され水害の影響はないと思う。
- 液状化の心配がなく、9.28 災害級の洪水では災害は無い。
- 浸水害の影響がない。駐車場が確保できる道路が整備されている。
- 浸水や崖崩れがない。
- 前平公園は高台であり、浸水害の影響がない。公園自体広く土地がある。
- 高台の為、災害に強い。
- 浸水害の影響がない(災害に強い)山林が多くまとめて用地確保ができる。
- 耐災害性は期待。車アクセス有利
- 地盤がしっかりしているから、災害に強い。山からも少し離れている。
- 土地が広く、災害拠点として期待がもてる。民家が少ない。
- 災害が発生しにくい
- 災害に強い
- 駅北地区の災害に強い
- 土地が安定している。便が良い。
- 太田町、太田本町よりは浸水害の影響が少ない。
- 勾配が少なく、冬場に安全。
- 用地が少ない、水害の軽減になる。
- 浸水害の影響が少ない。公園に近く環境が良い。広い敷地が取れる。アクセスが良い
- 浸水害の影響がない。アクセスが良い
- 地盤がしっかりしているから、災害に強い。山からも少し離れている。
- 災害の心配がない、駅が近い。
- 大雨が降ることが多く、災害が不安。浸水しなくて液状化もない
- 高台のため災害の不安少なく、駐車場広くとれると良い。
- 100 年内浸水害なし、公園土地、JR土地利用可。
- 地震による液状化の心配が少ない。
- 計画規模降雨を上回る災害対策
- 浸水害の影響がなく、公園の環境を活かし人々が集える。
- 現庁舎よりは浸水被害が低い。
- 水害に強い
- 災害の危険性が少ない。
- 地盤がしっかりしているから、災害に強い。山からも少しはなれている。
- 駅北地区の災害に強い。
- 水害の可能性が無く、液状化も少ない。
- 高台のため災害の不安少なく、駐車場広くとれると良い。

- 高い所にあるので水害が少ない。
- 100 年内浸水害なし
- 勾配が少なく、冬場に安全。
- 災害に強く、スペースが十分ある。

【交通】

- 前平駅から近く、公園も近く環境が良い。
- 太田駅近く、かつ、駅北でより市の中心に寄っている。
- 公園に近く環境が良くアクセスも良い。広い敷地に庁舎駐車場のほか関連施設も整備できる。
- 中心部で、駅に近くアクセスしやすい。
- 川のそばでない事、その他災害を考えにくい。市街からのアクセスが便利、好環境と思う。
- 街の中心部で人口が多く、多くの人が利用しやすい為。
- 車のアクセスが良い
- バス利用し易い
- 緊急時のアクセスが良い。
- 高齢者でも電車、バス、タクシーでいける。
- 市街地で駅にも近い。徒歩で行ける。
- 交通の便が良い。車がないので駅の近くが良い。
- 駅に近い。あい愛バス集結、駅南より成長
- 公共交通機関、車のアクセスが良いため。
- 高齢化が進んでいるので、交通が便利で静かな所で、休憩もゆっくりできそう。
- 徒歩圏内で便利
- 既に交通環境は整っている。
- 山手線の渋滞に引っかからないように思う。
- 色々な用事で便利
- 発展していっている場所なので、ついでに寄れる。
- 中部国際センターに行く人がついでに利用できる、一元化になる、高齢者の足である EV バス、駅からも出ていることも課があるから。
- 平坦な土地が多いので、歩きや自転車の人も来やすいと思う。ほどよい田舎。
- 周辺に多数空き地あり。山手線の道路整備してあるので、移動に便利だと思う。
- 中心地
- 中心地だと感じる。
- 美濃加茂市の中央の位置
- 平野部中心だから
- 交通量がさほど多く無い。
- 場所が変わらないから皆知っている。
- 電車、車でのアクセスは良い。近くに前平公園があるので良い。
- 徒歩圏内、車でのアクセスも良い。
- 駅に近くアクセスしやすい。
- 市内どの位置からも行きやすい。
- 高齢者でも電車、バス、タクシーで行ける。
- 公共交通機関の便がよい。

- 駅近くは利用者が助かる。
- 公共(あい愛バスなど)交通便が良い。
- 美濃太田駅に近い。相定最大規模降雨のみ浸水害が心配であるが計画規模降雨△問題ナシ。
- 現庁舎に近い。
- 車のアクセスは便利。自然が多い。
- あい愛バスなどで行きやすい。
- 交通の便が良い。車がないので駅の近くが良い。
- 公共交通機関、車のアクセスがよいため。
- 駅に近いから、町の発展のため。
- 前と同じ場所だから迷わない。
- 徒歩で行ける。
- 自宅から近く、子供が遊べる公園からも近い。
- 美濃太田駅に近いので利便性が良い。バスも運行されているので良い。
- 高速乗口が近い。公園にも人が増える。
- 駅の北側は車のアクセスも良く、商業施設もある。災害(水害)の影響も低い。
- 今までの場所なら、高齢の方も迷わず行けるかなと。
- 市北部エリアに住んでいる方も来やすい。
- 地理的に高低差がない。
- 現庁舎場所なので、場所が変わらないのがいいと思った。
- 既に場所として認知されており、混乱が少ない。(新庁舎に関しては現在の様な分庁舎は無くし、一ヶ所にまとめて欲しい。)
- 位置として場所がよさそう、ついでに周辺が開拓されたらいいなと思った。
- 公園も近く、駅も近いので交通によい。
- 市内どの位置からも行きやすい。
- 公共交通機関のアクセスが最も良い。
- 駅裏で周辺施設の中間地点(現市役所中部台)
- 市の中心でアクセス良い。
- 人が集まる周辺をチョイス。中部国際から色々なバスで色々な市や町から人がやってくる。
- 現庁舎地で慣れている。
- 交通の便が良い。車がないので駅の近くが良い。
- 市民になじみのあるエリアである。
- 車でのアクセスは良い気がするのと、駅からも歩ける。
- 土地があって 4 号線に近い。自然豊か、中心地にも近い。道路が広い＝災害に強い
- 22 号や駅への道も通っている。メイン道路に近い。

【わかりやすさ】

- わかりやすい。
- 他地方から来てもわかりやすい。
- 総合的なバランスが良さそう。
- 場所が分かりやすい。
- 現庁舎周辺で慣れている。
- 市民になじみのあるエリアである。

- 慣れているから
- 自宅から近い
- 慣れ親しんだ場所のため。
- 今と同じ場所だと分かりやすい。
- 慣れ親しみがあり利便性が良い。周辺施設と連携が良い。市有地駐車周辺確保可能
- ずっとこの場所に市役所があるので違和感がないし、この場所に市役所があって不便だと感じたことがないです。
- 元々あった場所の方が利用しやすいのでは。公平、不公平感がないと思う。

【周辺施設との連携】

- 大規模災害時やイベント時に前平公園に近い方が良いと思う。
- 広い敷地が確保でき、かつ市街地に近く中部国際センターとも連携がとれる距離にある。駅も近いため、アクセスしやすい。
- 高台にあり水災害の心配は薄い。近くに大きな病院があり、特に災害時は安心感あり。
- 色々な事務所が近くにあるから。（警察県事務所等）
- 市保健センター病院に近いこと。
- 中山道太田宿から近くて利便性が良い。バスも運行されているので良い。
- 総合的にバランスがよく、前平公園と一体化することで親しみやすい市役所になる。
- 美濃太田駅の近くで、コンビニ、カフェ等はあるので利便性は良い。
- 周辺に施設が多く環境が良い。待ち時間にスーパーやスタバなどに寄れる。
- 総合点として一番適地。前平公園との共用活用により公共施設集中拠点として将来的に発展する。
- 災害時、インターとのアクセス、（前平公園）ヘリポート確保、（中部国際）医療機関との連携が良い。
- 市の中心であり、発展が進んでいる。スタバがある。
- 医療機関があり、駅も近く便利である。市の中央で便利である。
- 市保健センターに隣接。
- 公園、病院が近くにある。
- 小中高校が近い為、子供の為のスペースを利用しやすく、活用しやすいと感じる。
- スーパー等も多く、個人的にはこの辺りを多く利用している。
- 病院が近くにある、購入が必須だとしても広い土地がある、図書館がない地域なので図書スペース＋勉強スペースもできたら訪れる人が増えるかも。
- 大人も楽しめる健康的な公園の整備と庁舎の連携
- 他の施設が近い図書館学校など
- 市業務の連携と簡素化ができる。
- 災害時、インターとのアクセス、（前平公園）ヘリポート確保、（中部国際）医療機関との連携が良い。
- 前平公園を活かしながらの整備を希望。ゆとりをもった庁舎ができそう。
- 近場に銀行スーパー等があり行きやすい。
- 保健センターが近いので、連携がうまくできそう。病院も近いし。
- 周辺への移動がしやすい。 病院への通院などに各々に近い方が良い。
- 学校が周りに多いので災害の時良いかも。
- 災害時に美濃加茂 IC があり、他県から支援をうけやすい。支援拠点、基地になる。
- 市の保健センターがある。
- 健康課が入って身近に感じよい。

- 災害が少なそう、駅近く、便利で来やすい、則武ビルに市の課が入っているから。
- 前平公園が近くにあり集まりやすい。
- こども課があるから。他の課も同じような近くの場所にあると便利。あちこち行かなくてもよいため。
- 商業施設が多く利用しやすい。
- 東図書館、学校など、周辺環境がよい。利便性
- 福祉会館に人がよく集まるから、どんな人も行きやすい。
- 高台にあり水災害の心配は薄い。近くに大きな病院があり、特に災害時は安心感あり。
- 病院に近く、災害時の対応
- 人口の重心点あたりだと思われる。商業施設等の開設が盛んで賑わいの真っただ中に位置すると期待できる。
- 中部医療国際センターにも近く、例えば高齢者の方も通院と一緒にあい愛バスを利用しながら、用事もまとめて済ませる事も出来るし、その利用率のアップによる市の財政の向上の可能性という相乗効果、または災害時等の場合の医療機関との迅速な連携が可能となる為。
- 警察署が近いので安心できる。
- 災害拠点病院が近い、高齢者等の施設から近く、訪問介護が出来る可能性が考えられる。文化の森を被災者支援に使える可能性がある。
- 市の中央である。医療機関があり、駅も近く便利である。
- こども課があるから、他の課も同じような近くの場所にあると便利。あちこち行かなくてもよいため。
- 駅南の活性化
- 新しくお店ができていて活気がある。
- 中部国際医療センターと市の連携がしやすい。
- 近くに病院があるので、帰りに介護保険などの手続きができるので良いと思う。
- 高校や小学校があり、連携ができる。
- プラザと近いと連携できるのでは？
- 周辺施設が多い
- 公園が近くにあると行きやすい。
- 施設が多いので、助け合いはできそう。
- 保健センターに近いのが利点と（中部国際医療センターよりはなれた方が良い）
- 文化の森も近く、子供も遊ばせやすい。
- 福祉会館が近くにある為。
- 病院と近いのは良いのでは？ヘリポートも共同で活用できるのでは？
- 駅近なので巡りツアーが出来る。
- 商業施設で買い物してもらい相乗効果があると思う。
- 中部国際医療センターや市民ミュージアムに近く、連勝に期待。
- 利便性。山手線沿い。駅からも距離は少しあるがあい愛バスの利用が期待できる。静か。のんびり。総合福祉会館の土地が広い。福祉会館との連携
- 文化の森の利用率が上がる。
- 庁舎と連絡所の役割分担

【自然環境】

- 周辺に緑が多い。
- 浸水害の心配がない。周辺に緑が多く前平公園との融合ができ環境がよい。

- 浸水害の影響がない。緑が多い。
- 自然との調和がある。便利で快適な市役所だけではなく、美濃加茂らしさのある誇りを持てる市役所になりそうな期待感。
- 緑が多く環境がよい。
- 土地が高い。緑が多い。
- 周辺に緑が多く環境が良い。
- このエリアは商業施設も少なく静かな場所である為。
- 市民の憩いの場所に
- 周辺に緑が多く、待ち時間が長い時など気分転換にもなる。
- 緑が多く、広々とした空間がある。あい愛バスがあるから。
- 人が集まる周辺をチョイス。中部国際から色々なバスで色々な市や町から人がやってくる。周辺に緑が多く、現在中部国際医療センターに近いが周辺の道路の交通の整備もかねてもらえるとなお良い。人が多い。
- 大きい建物があると目印になる。
- 自然との共生。話題性→知名度 UP。ふるさと納税。
- 緑が多いのが良い。
- 浸水害の影響がない。緑が多い
- 浸水の影響がない。緑が多く環境が良い
- 文化の森との連携が取れるのと、自然が多いので良い。
- 自然に囲まれる場所でありますのでそこに調和する建物を建てられます　またそれは里山千年構想に繋がると思います。
- 災害に強い。緑がある
- 文化自然との長生市民の憩いの場としても妥当。
- 公園、緑が多い。
- 広い土地で新たな森をいかした発信の点とする。

【駐車場】

- 浸水害がなさそう、駐車場も確保できそう。
- 災害に強い、広い駐車場の確保。
- 駐車場が広く取れそう。お店や建物が密集していない点が良い。
- 駐車場が出来る。
- 駐車場が沢山ある。
- 駐車スペースが確保しやすい。
- 駐車スペースが多くとれる。
- 駐車スペースが多くとれそう。
- 駐車場の確保が出来る。
- 平面で車の駐車が確保でき、災害時には、必要なスペースが提供できる。
- 土地費用と造成費がいらない。敷地外で駐車場を確保出来る。
- 車をもっている人が多く、駐車場所があればそのまま避難できる。無指定の地域

【用地確保】

- まとまった用地が確保しやすい。
- 公園に近く、用地が広い。

- 市有地の面積大、前平駅に近い。
- 土地が広い、市有地である。
- 土地が広い。
- 周辺は歩道が広いので安全平地
- 土地が広い。道路が広い。人が集まりやすい。
- 用地確保の心配がない。
- すぐに建てられる
- 土地が広く出来る市の中心地
- 市有地が広い
- 浸水害の影響がなく、土地の確保がしやすい。
- 水につからない。運動グランドを他に移せば広い土地になる。
- 伊深小前の田んぼ北部活性化、用地確保しやすい。
- 県の土地で理解がえられる。
- これから発展していく土地
- 広大な避難場所になる土地がある。
- 市有地のみで駐車場確保可能
- 土地もありそうで、周辺環境が良い。
- 駐車場も確保できそう。
- 土地の確保が容易と思われる。
- P15①の土地を確保できると思う。
- 駐車場が広く取れそう。お店や建物が密集していない点が良い。
- 駐車場がある。
- 今ある土地が使える。
- 市有地周辺である。
- 市有地で駐車場の確保できる。
- 広い駐車場が確保できそう。
- 二村グランド含む周辺の土地は入手しやすいと思います。
- すぐに建てられる。
- 周辺の土地確保がしやすそうだ。
- 駐車場が広く取れそう。お店や建物が密集していない点が良い。
- ⑨(市商業ビル周辺)+⑩(大手町公園周辺)で市有地確保できそう。JR 線をまたぎ新庁舎につながれば、南北の人々の利用がしやすくなる。
- 土地が安い。
- 市有地の有効活用が可能。
- 駐車場を確保しやすそう。
- 費用の面で良さそう。
- 土地が確保しやすい。周辺環境が良い。
- 公園の土地が広く、子供たちも遊べる。

【費用】

- 必要な行政機能を集中させた建設が充分とれて安価にできる。
- 浸水害の影響がなく地価が安い。

- 建設事業費が抑えられる
- あい愛バス自動運転によりアクセスを良くする。体育館も併設可能。市の用地もある。土地が安価。
- 工事費用が安く済む。交通の渋滞がない。
- すぐに建てられる
- 土地の買収不要
- 市所有地がコストが掛からない事
- 商業発展地区拡大
- 市有地があるので、買収の必要がない。
- 設備費経費が少なく済む
- 水田等安価な土地がある。
- ほぼ中心。商業地より、土地が安い。
- 浸水害の影響がなく地価が安い
- 地価が安/風水害が少ない

【現状維持】

- 現状でよい。
- 昔からの美濃加茂を残す。
- 今までと変わらない方が楽。
- あえて場所を移す理由がない。今の場所に建てればいい。
- 今のところで良いと思います。

【市の活性化】

- ぎふ清流里山公園とコラボができそうだから
- 北部の活性化を狙い。
- 図書館もあるので人が集まりやすい。
- 駅に近いから、駅南の発展のため。
- 人が集まる周辺をチョイス。中部国際から色々なバスで色々な市や町から人がやってくる。
- 太田駅南部の活性化市の中心地
- 前平公園に近くいきやすくなる。
- 駅が栄えると市が発展すると思う。
- 太田駅が近い駅前を復活させたい
- 駅前開発に繋がる。多治見市のような…。
- 駅周辺は、年齢、性差なく市民が集まりやすい。
- 駅周辺は人が集いやすい
- 市外の方達も利用しやすく、市を PR できる。
- 前平公園との一体化
- 山手線はこれから益々栄えていくので新庁舎ができれば更に栄える。
- 開発途上だからいいかも。
- 商業施設の商地により発展が見込まれる
- 環境もよく、長良川鉄道との連携により地域の発展が望める。
- 駅(前平)の名称変更により知名度アップ。環境良。水害に強い。シンボル的な場所。駐車場 OK。

【その他】

- 市役所に人が集う必要がない。
- 通勤、通学等で他方面から駅を利用する方は多いと思います。駅前の活性化は、若い人達へのアピールにもなると思います。また、駅前であれば高齢者にもわかりやすく利用しやすい。
- 保健センターの近くにあってほしい。
- 市の理念の一つ里山千年構想を示す建物になるのではないかと私は思います。
- 従前からの場所であり多くの市民から違和感を持たれないと思う。又多くの商業施設、会社等が高台に事業所を構える中、市役所までが高台に移転するとなれば太田地区は見捨てられた感が否めない。このようなことは避けたい。
- プラザちゅうたいの改築、有効利用も検討できる。
- 市役所の用事は１ヶ所で済ませたいので、こども課や保健センター近くがよい。
- 公園を残しつつ、公舎を作れば人が集まる。
- 市民税が上がらない。
- 公園と庁舎の連携を期待する。
- 既に市の保険センターがあるのでまとまればいいと思う。
- プラザ中体の施設が老朽化している為建替の検討を要する
- 保険センターの近くの方が子供連れは助かる。
- 国道沿いが一番よい。
- ⑩(大手町公園周辺)と抱き合せで利用し易くする。市を象徴するランドマークとならないか。
- 保健センターと近い方が連携できて良いと思う。
- 土地の価格等を考えると
- 保健センター、こども課とちゃんと連携してほしい。
- 市街地は渋滞があるので、郊外を希望する。
- 国道側に建てその後旧役所を壊せば良い。
- ちゅうたいもそろそろ建て直しかなと思ったので駐車場も広いですし、機能を一つにするのはどうか。
- こども課だけ別はやめてください。
- 新庁舎が北に行ったら南は過疎化する
- 発展性有地区を整備して広域性にする
- 普段の利用のしやすさを優先していただければと思います。
- 美濃太田駅南側の町を残す。
- 米田白山　さくらの森は市の誇りでありますしそこに行けば地元愛が上がると思います。また、その美しい自然に調和した建物にすることで里山千年構想を広げて確かなものにできると思います
- 普段の利用のしやすさを優先していただければと思います。
- 土地が足りなければ、⑨(市商業ビル周辺)と⑩(大手町公園周辺)と分庁舎にすればいいと思う。
- 周辺環境とともに整備すれば美濃加茂の魅力アップとなる
- できれば駅の上でもよい。
- 市の巡回バスコース
- 前平公園も見直しをしたらいいと思います。
- 下半田に大きな施設が少なく思う為災害時等の不安を軽減できる。
- 長良川鉄道存続の足掛りになると良いと思ったから。
- 場所はありますか？

- 商業ビル周辺に、駐車場を確保できればよいのでは？
- 今の場所で不便を感じていない。
- 他に選ぶところがなかった。市有地が充分ならなお良かった。
- 自然体のバランスを考えて、1 つの場所に集中しないように。
- 夢がある。未来が明るい。
- 駅周辺の活性化が必要だと思います
- 普段の利用のしやすさを優先していただければと思います。
- 移転する必要性がない
- 駅南側の町を死なせない
- 駅南を希望
- 商業発展地区の拡大
- 幼児高齢者の活性化
- 高齢社会にとってアクセス（車以外）が絶対的要素
- 総合福祉会館の一体運用、将来の福祉社会への展望
- 無指定地域であること
- 市図書館も市役所の中に入れたらいいと思います。
- 交差点の北側ではダメなのか。
- 建替理由の要因の1つである耐震面の心配がなくなれば、現在の場所で大きな問題はない。
- 美濃加茂市の中心の方へ来てはどうかなと。
- 駅前の活性化

問3（1） 新庁舎の候補地　不安な点　その他の理由

【災害】

- 液状化が心配
- 液状化に少し弱い
- 一部液状化の可能性がある。市役所付近での渋滞が予測される。
- 浸水害の心配もあるが、人の利便性を考えたい。
- 能登地区をみると液状化対策に不安が残る。
- 土砂くずれには心配
- 中小河川の洪水対策
- 高い為、風が強い。
- 地震の際、液状化の懸念がある。
- 災害発生時に徒歩での避難時に遠い。
- 水害、加茂町
- 土砂、液状化の可能性があるかも。
- 中小河川の洪水対策
- 周りが民家のため火災の時巻き添えになる。
- 浸水害が心配だが、それ以外は良いと思う。
- 地盤が心配
- 浸水害の心配がある。
- 液状化のおそれが少しある。

- 液状化の恐れあり
- 浸水害の影響がある。
- 過去の浸水害
- 川の周辺土地
- 加茂川が近い。
- 一局集中する、災害時に周辺が混雑する。
- 加茂川が氾濫するおそれがある。
- 浸水害の影響があるが、1F を駐車場にすることで回避できる。
- 浸水が心配なので、地下1階を駐車場にする。
- 災害に耐えられる建物を作る
- 高台地という印象

【交通】

- 車でのアクセスが良い反面、周辺道路が狭く、車等の混雑を招く可能性がある。
- ラッシュ時の交通量
- 道路が混み合う
- 周辺地域の交通渋滞
- 渋滞等の心配があり、道路の整備が必要になるのか。
- アクセスはいいが道が細い。
- 車の交通量は多いので、渋滞は起きやすい。土地の確保は難しいと思う。
- 道路を広くする必要がある。
- 道路拡幅に時間要
- 道が細く、車 1 台分の道幅しかない。
- 災害時、混雑の可能性が高い。
- 交通機関によるアクセス
- 公共機関からのアクセスが悪い。
- 交通の便をもう少し増やせばよい。
- どこ行くにも車ないと無理。
- 公共交通が少ない。
- 医療センターが近いので道路が混む。
- 車を持っていない人は難しい？バスなどがまわれば大丈夫かな？
- 自宅から遠いのが難点
- 車の運転ができなくなった場合の利用交通手段があまりない。
- 山のため車が必要
- 大きな道路がない。
- 土地の面積が充分でなく、車での出入りが危険。
- 周辺道路の整備は必要。
- 車でのアクセスでないと難しい。
- 高齢者などが歩いては大変。
- 駅から遠い。
- 駅からは離れている。
- 地形が心配市の中心部から少し遠い人が多くなる。

- 体育館が遠い。
- 周辺は斜面が多い。
- 施設自体周りにない。
- 平地が少ない。
- 公園周辺の土地(たとえば JR の事務所周辺とか)
- 周りが田んぼばかりなため。
- 平地でないのが残念。
- 渋滞する
- 周辺道路の交通渋滞(普段から夕方等が既にそうである。)
- 市街地から距離がある。
- 時間帯(夕方など)によっては道路が渋滞している。
- 人が集いやすいので渋滞が発生する可能性がある。
- 子供たちが通る道があるので交通量が増えるのは良くない。
- 公共交通が美濃加茂市便
- 駅からは遠い。
- 公共交通のアクセスが難しい。
- 鉄道が通っていないので輸送に難
- 坂道があり、歩きや自転車の人は大変。病院の前の道が渋滞しそう。
- 長良川鉄道がなくなった時にアクセスがしづらい。(最寄り駅が遠い)
- 学生の登下校の道などマザックの坂が危険。
- 県道 207 号線は、人にも車にも良い道とは言えない。危ない。
- 学生さんの往来が多いので、交通事故が心配だ。
- アクセスは良いが道路整備が必要。
- 渋滞しやすくなる。
- 市街地から遠い。
- JR 沿線ではないこと。
- 駅北外エリアに集中し混雑が予想される。
- 中心部から離れることでアクセスが悪くなる。
- 公共交通機関のアクセスが難しく、免許のない人の利用が不便。
- 山手線が渋滞しやすい。
- 輸送道路から離れている。
- 年配の方には不便
- 駅から遠い
- 道が少なく、交通機関が遠い。
- 坂道が多い、朝夕のラッシュにかかると大変そう。
- 市中心地ではない。車意外の交通は不便。
- アクセス道路を広げた方が良いかも。
- 人は集まりやすいが電車等がないため、免許証返納等した方は行きにくい理由の可能性も。
- 病院があるため、車の交通量が増える。
- 市外からのアクセスは良さそうだけど、市役所は市内向けの施設。
- 中部国際医療センターなどがあり車の流れ渋滞が多い。
- 里山公園でイベントがあると駐車場周辺が混雑する

- 歩いていくにはやや遠い。設備の必要な土地
- 道路整備／国の補助活用
- 駅北になると渋滞が気になる

【費用】

- 工事期間中、別の場所に仮庁舎を設けなければいけない。費用面が懸念。
- 土地代が高い。
- 交通の便費用が心配
- 土地の造域に費用がかかる。
- 山の為、土壌整備に費用がかかる。
- 造成費用がかかる？
- 周辺の土地購入が必要になると経費がかかるかなと。
- 計画の内容によりコストアップの可能性有。
- 今、美濃加茂市内の一番土地希望の大きい場所で、投資大きくなる？水害の心配は資料から残る。
- 傾斜地のため、土地造成が必要。
- 土地の取得、台地で造成に費用がかかる。市の所有地があるか。
- 土地の購入費用がかかりそう。
- 液状化対策に費用がかかる。
- 進入路等道路整備に費用がかかる。
- 山のため造成が必要
- 地盤改良が必要
- 土地の購入が必要－平坦地
- 土地が狭い
- 用地の確保と価格
- 土地の造域に費用がかかる。
- 森林が多く、費用がかかる。
- 既に色々建っているから、土地購入の必要がかも…。
- 土地を買わないといけない。その場合、とび地だとめんどくさい。
- 土地の造成に費用がかかる
- 体育館の造りなおし費用がかさむ。
- 土地の取得、造成に費用がかかる。後世に負債を残したくない。市の所在地であるか。
- 商業施設の買収
- 駐車場がバラバラだったりして購入が必要。（田舎なので駐車料金が無料だとよい）
- 体育館、図書館はどうなるのか？移転となれば多額の費用がかかる。
- 施設の移動土地の購入
- 再開発に膨大な費用必要
- 水害対応水害対応の設計に工費の拡大化
- 土地購入費が多額
- 山の造成に費用がかかる。
- 駐車場用地確保の為にさらに費用がかかる。
- 市の所有地があるか。土地の取得、造成に費用がかかる。借地だと後世に負債を残す。
- 購入に費用がかかる。

- 土地代高そう。
- 土地の造成必要
- 土地買収など金がかかる。
- 第一第二種住居地域であるため建設には条件が付く。
- 環境アセスメント評価およびその対策コスト
- 用地買収山林の造成
- 3 階にすれば対応可と見る。建設費の減少が出来る。
- 購入は当り前だから良とする？
- 市有地がない、用地取得に時間と費用がかかる。
- 周辺の公共施設の再構築の費用が必要になる。（近くなので昨日分割の可能性有）
- 用地の問題で費用がかかることが心配。
- 公共交通機関から離れている。土地の買収がネックになる。

【用地確保】

- 土地確保に大変かも。
- 駐車場の確保
- もう少し広くあるとよい。
- 現在使用されているので、まとまった用地の確保が難しい。
- 住宅が多く建っているので土地を確保できるかな…
- 広大な場所を購入しなければならない
- 駐車場が沢山確保できるか不安
- 駐車場の確保（立体駐車場）
- 民家等が密集していて確保できるのか。駐車スペース。
- 空き地が少ないため難しい。
- もっと広い道があるといい。
- 市民が集う拠点として狭い。1つめ将来発展への夢はない。
- 市有地が極少
- 市有地が狭い
- 駐車場スペースを含むと狭い。
- 公園を残すことを考えると土地の確保は難しいかもしれない。
- 用地取得に時間とお金（費用）がかかる。市有地がない。
- 土地が狭いため、用地の確保が難しい。
- 田、畑等が多くまとまった用地確保が難しい。
- お店がありすぎて、どこに土地広く使うか場所が分からない。
- まとまった用地が確保しにくい。
- 市有地が小さいため、用地の確保がいる。
- グラウンドや、小さい公園を潰すことになる。

【周辺施設との連携】

- 周辺のお店は少ないので、カフェ、レストランコンビニ等の施設はあった方が良い。
- 市場やマルシェ、など催し物などができる外広場を確保して、参集の気持ちを高める。
- 周りに何もないんじゃないかと思う。

- 他の施設と少々遠い。
- シャッター街に近いのは印象が良くない。農業振興地からも離れる。
- 周辺に施設がない為孤立している。
- 少し市役所にするには場所が離れている所が気になります。
- 土地区画整理の折規定によってつくられた公園の扱い。
- 周辺施設と連携が期待できない。

【駐車場】

- 駐車場の確保
- 駐車場の確保駐車場はパーキング有料化の設備が必要になる（利用時間に応じて利用券付）
- 駐車場の確保（他に土地確保しシャトルバス運行）
- 駐車場、中高層住居専用地域
- 駐車場が地下立体など
- 駐車場や用地や確保に困難。
- 駐車場は広くとれるようにしてほしい。
- 駐車場の確保
- 土地代駐車場
- 駐車場が確保できるか不安。
- 駐車場の確保（他に土地を確保しシャトルバス運行）
- 道路の北側に駐車場を。
- 駐車場が分散し一ケ所にできない。
- 駐車スペースが取りにくい。
- 周辺道路、駐車場の整備は必要。
- 駐車場が有料にならないか不安。

【その他】

- 県の畜産研究所がある
- 臭い汚い
- 土地の購入は全てでなく里山公園の使われていない所を県から借りてはどうか。
- 南側に発展性がないのかな？
- 今と別の場所に新庁舎が建つとすれば、新庁舎が完成するまで現庁舎で業務ができるでしょうが、同じ場所で建て直すとなるとその間の業務をどこでやるのか心配です。
- 現庁舎の駐車場に新庁舎を建設してはどうですか？
- カバーすることが可能だと思います。
- 他への移転だと町が寂れる
- 郊外へ機能転換
- 郡上や高山下呂へ素通りするのではなく、その中継点に目と足を留めてもらう。
- 周辺の公共施設が少ない
- 前平公園の存続活用一体として検討必要。狭い所で選択せず将来の夢を含めて決定されたい。
- 公園がなくなるのは困る
- 田畑を手放したい人が多い。案外容易い。
- 田畑だから買収が楽かも？

- 人が集まりすぎる
- 市場やマルシェ、など催し物などができる外広場を確保して、参集の気持ちを高める。
- 歳を取ってから困る可能性あり
- 公園を潰して良いのか。
- 分庁方式になる事
- 大震災が起きたらどこでも同じ！！
- 土地の購入も心配ですが、分散小規模してもらえれば解決。
- 1983 年 9 月 28 日台風 10 号による大洪水が記憶から離れませんが今は整備もされているので、大丈夫かなと思います。
- どのくらいの広さがあるかわからない。
- 人が集まる場所にあればよい。
- 町の中で、難しい。
- 土地もまだたくさんあるので駐車場も広くとれるし移転して頂く必要もない。
- 市の体育館が減ってしまう。別の場所に建替えてくれるならよい。
- なんといっても経費削減になる、駐車場の確保が大切。老人が多く車の足の不安。バスを走らせてほしい。
- 各地区からあい愛バスを出せば解決できると思う。
- 新庁舎の高さ等について
- 周りの環境も含めて、明るいイメージに繋がる場所作りになればいい。（緑をうまく利用）
- 虫が…（自分が苦手）
- 市内どこでもアクセスが悪いから気にならない。
- 災害に耐えられる建物を作る。
- 今ある公園を活かした形でできると良い。
- どこの場所でも不安は残る。
- 弱いとまでは思わない。選択肢が不適
- 公共交通機関から離れている為利用しやすいと考えたい。
- 夜道が暗い
- 駐車場が地下立体など
- できるだけコンパクトなものにする必要があるのか。
- 新庁舎ができるだけの土地があるのか？
- サンスポーツランドまでの坂道が封鎖されてしまった場合、困る。
- 活用されていない場所を見直してほしい。
- どの地点にも災害の危険はある。まちづくり次第
- 畜産研究所なるものを知らない。
- 設置場所によって色々異なると思う。
- 液状化の危険性が少ない場所に建てて欲しい。
- こども課との連携対策をしてほしい。駐車場を広くしてほしい。
- 果樹園が少なくなると活気がなくなる。道路のトンネルがどこを通っているか？
- もう少し周辺住宅と関わりを増やすべき。
- 大震災が起きたらどこでも同じ！！
- 建てかえの間の市役所機能をどうするか。
- 現庁舎より良くしたい
- 第一第二種住居地域であるため建設には条件が付く。

- 地名に水に関する文字がある。
- 新庁舎の高さ等について
- 高層な建物になるのでは。
- 災害に耐えられる建物を作る。
- 畜産研究所に近く条件はほぼ同じ。だったら市有地の有る畜産研究所の方が良い。
- あまりにも駅北ばかりに商業、役所が集まってしまうのも良くない。
- タクミアカデミーの土地は代替で可能ではないでしょうか。
- 老朽化が心配
- 高齢者は不安があるかも。
- 大震災が起きたらどこでも同じ！！
- 駅で待つ人の留まり場になりそう。
- 駅の名前は変えないで！！市のイメージがもっと悪くなる。
- 新庁舎の高さ等について
- アオキの信号より北の方が良い。山がある所

―あなたの声が未来を創る―

新庁舎整備に関するアンケート調査

日頃より、美濃加茂市の行政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
現在、美濃加茂市では市民の皆様の声を聞きながら新庁舎の整備を進めています。

今回のアンケートは、第３回市民ワークショップの結果（添付資料集Ｐ２２～Ｐ２７）を踏まえまして、新庁舎の機能および複数候補地案について、市民の皆様の全体的な傾向を把握するために実施するものです。

このアンケートの結果から、３～５箇所の新庁舎整備候補地を決定しますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

回答期限３月６日（水）必着

令和６年２月

美濃加茂市

【同封した資料について】
・これまでの主な取り組みをまとめた資料（ＳＴＥＰ１～３）
　資料１～３（添付資料集Ｐ１～Ｐ５）
・第３回市民ワークショップで提供した候補地に関する資料
　候補地案資料１～４（添付資料集Ｐ６～Ｐ２１）
・第３回市民ワークショップ（ＳＴＥＰ４～５の進捗）のまとめ
　ＷＳ資料１～３（添付資料集Ｐ２２～Ｐ２７）

　アンケートのご回答をお願いする方は、本市在住の１５歳以上の市民の中から、無作為に選ばせていただいております。
　現在までの新庁舎整備事業における取組みについては添付資料または新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」をご確認ください。

ポータルサイト QR コード

――【記入上の注意】――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。何らかのご事情によりご本人が記入できない場合には、家族の方などが代筆してください。

◎質問によっては、回答できる数を指定させていただいております。必ず、指定の数を守ってお答えください。
（指定数を超える回答をされた場合、その回答は無効扱いとなります。）

◎回答は、このアンケート回答票へのご記入、または、WEB にてお願いいたします。

◎アンケート回答票にてご回答いただく場合は、同封の返信用封筒にて郵便ポストへご投函ください。
切手は不要です。（下記窓口にお持ちいただいても結構です。）

◎WEB にてご回答いただく場合は、下記 URL または右記の QR コードよりアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。
WEB 回答の場合はアンケート回答票上の回答者番号を入力してください。

WEB 回答 QR コード

【窓口・お問い合わせ先】

〒505－8606　美濃加茂市太田町 3431-1
美濃加茂市役所　総務部新庁舎整備推進課
TEL：0574-66-1099　FAX：0574-28-1106　E-mail：shinchosha@city.minokamo.lg.jp
問合せ時間：8：30～17：15（土・日・祝日を除く）

回答者番号	1

アンケート回答票

問１．**あなたご自身のこと**についておたずねします。

（１）年齢（あてはまる項目１つに〇）

１．１０代	２．２０代	３．３０代	４．４０代
５．５０代	６．６０代	７．７０代	８．８０代以上

（２）お住まいの地区（あてはまる項目１つに〇）

１．太田	２．古井	３．山之上	４．蜂屋（中部台含む）
５．加茂野	６．伊深	７．三和	８．下米田

（３）新庁舎整備事業を知っていますか（あてはまる項目１つに〇）

１．知っている	２．知らない

（４）日時指定ワークショップとおでかけワークショップの参加の有無（あてはまる項目すべてに〇）

１．第１回ワークショップ（7/２３、7/２６、7/２９）に参加した
２．第２回ワークショップ（9/２４、9/２５、9/３０）に参加した
３．第３回ワークショップ（１２/2、１２/3、１２/7）に参加した
４．おでかけワークショップに参加した
５．参加していない

問２．**新庁舎の機能**についておたずねします。

第３回市民ワークショップで出された「新庁舎の機能」に関するご意見を「新庁舎の役割」ごとにまとめました。

下記（１～３４）の「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。**（あてはまる項目５つに○）**

その他必要だと思う機能があれば、「３５．その他」にご記入ください。

ＷＳ資料１（添付資料集Ｐ２２）を参考にご回答ください。

新庁舎の役割： **誰もが利用しやすく、** **必要なサービスが、** **スムーズに提供される**	**新庁舎の役割：** **こどもや高齢者、外国籍の方、** **障がいのある方など、** **どんな人でも受け入れられる**	**新庁舎の役割：** **災害時の拠点として、** **緊急時の対応ができる**
新庁舎の機能： １．市民の展示スペース ２．受けられる支援や仕組み ３．議会が身近に感じられる議場や傍聴席（聞きやすい傍聴席・議員との面接・議場の有効活用等） ４．様々な活用ができる広場 ５．勉強スペース ６．カフェ・レストラン ７．図書スペース ８．プライバシーの守られる相談ブース ９．総合窓口（ワンストップサービス）	新庁舎の機能： １０．小さいこどもが遊べる場所 １１．外国の方との交流の場 １２．外国の方の専用窓口 １３．多言語対応の案内 １４．託児スペース・授乳室 １５．わかりやすい案内サインや動線	新庁舎の機能： １６．災害対策室 １７．備蓄スペース（緊急物資等） １８．停電対策（非常用発電設備等） １９．一次避難所機能 ２０．防災無線や通信機能 ２１．災害時活用できる広い駐車場
新庁舎の役割： **業務効率の向上につながる** **職場環境の充実**	**新庁舎の役割：** **平日に働く人も頼りやすい**	**新庁舎の役割：** **行政機能をできる限り集中させた** **建設費を抑えた庁舎**
新庁舎の機能： ２２．リフレッシュスペース（休憩スペース等） ２３．会議室やミィーティングスペース ２４．食堂・コンビニ等 ２５．情報セキュリティの強化 ２６．庁内情報の一元化	新庁舎の機能： ２８．起業したい方への相談・説明窓口	新庁舎の機能： ３２．ワンフロアの相談窓口
	新庁舎の役割： **申請等の手続きがオンラインでできる**	**新庁舎の役割：** **その他**
新庁舎の役割： **環境の変化に対応できる庁舎**	新庁舎の機能： ２９．デジタル機器や使い方を学べる機能 ３０．デジタルの申請・書類発行 ３１．オンラインの相談窓口	新庁舎の機能： ３３．市や企業を PR できるアンテナショップ ３４．市の魅力の PR
新庁舎の機能： ２７．フレキシブル（柔軟）に用途変更できる空間		
３５．その他 （　　）		

問３．**新庁舎の候補地**についておたずねします。

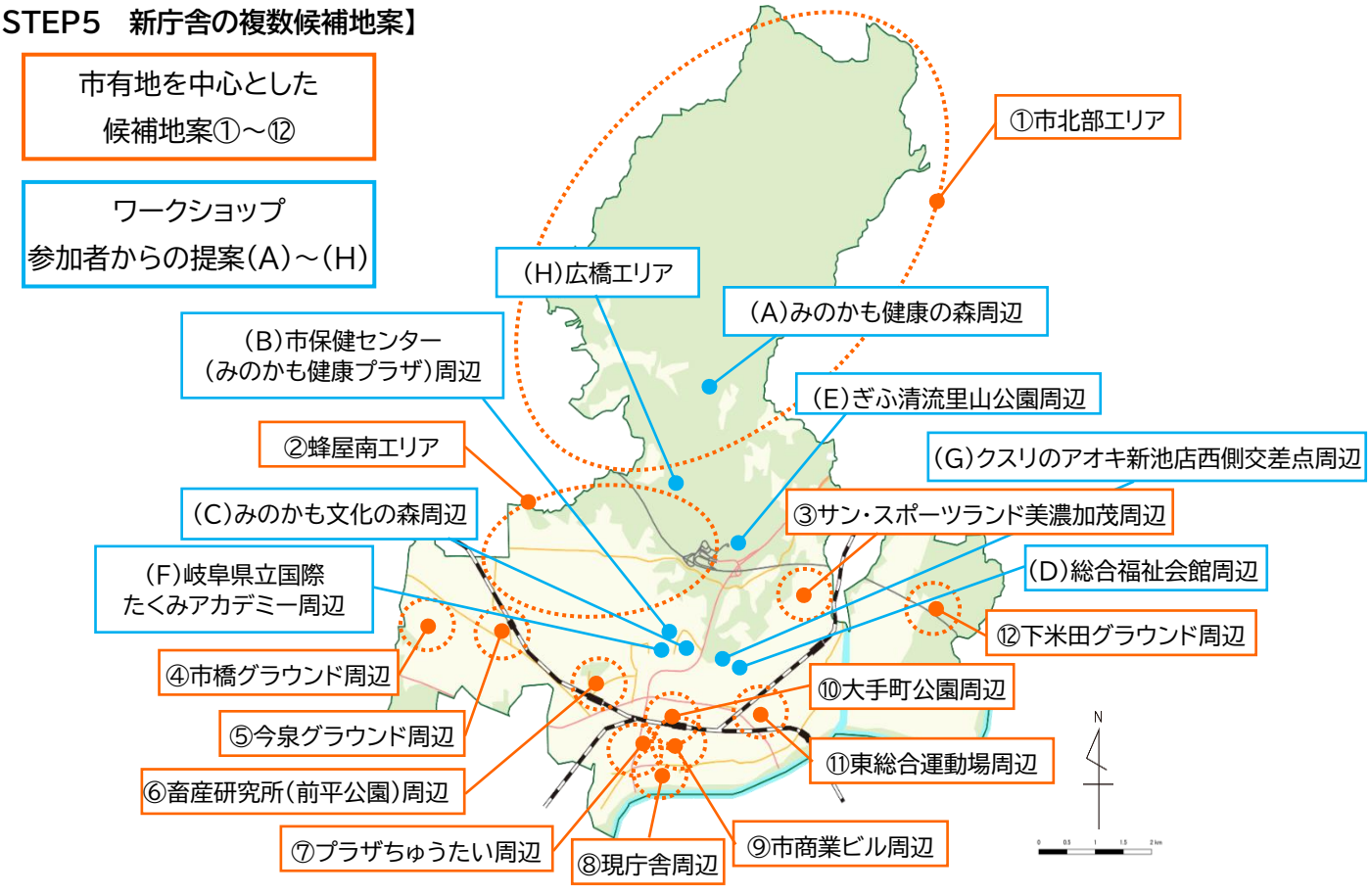
（１）第３回市民ワークショップでは、下記①～⑫の複数候補地案を市が提示し、評価しました。また、市民ワークショップ参加者からの提案⑬（Ａ～Ｈ）もいただきました。今までの市民ワークショップで出たご意見を踏まえ、新庁舎の候補地として特に良いと思う候補地を選択してください。**（下の表から、候補地を３つと、その候補地の選択理由としてあてはまる記号をすべて記入、不安な点がある場合は同様に記入）**

候補地案資料１～４（添付資料集Ｐ６～Ｐ２１）、今までの市民ワークショップで出たご意見（添付資料集Ｐ１～Ｐ５、Ｐ２２～Ｐ２７）を参考にご回答ください。

●複数候補地案	
①市北部エリア	⑦プラザちゅうたい周辺
②蜂屋南エリア	⑧現庁舎周辺
③サン・スポーツランド美濃加茂周辺	⑨市商業ビル周辺
	⑩大手町公園周辺
④市橋グラウンド周辺	⑪東総合運動場周辺
⑤今泉グラウンド周辺	⑫下米田グラウンド周辺
⑥畜産研究所（前平公園）周辺	
⑬その他（ワークショップ参加者からの提案）	
A. みのかも健康の森周辺	
B. 市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺	
C. みのかも文化の森周辺	
D. 総合福祉会館周辺	
E. ぎふ清流里山公園周辺	
F. 岐阜県立国際たくみアカデミー周辺	
G. クスリのアオキ新池店西側交差点周辺	
H. 広橋エリア	

●選択理由	●不安な点
a. 災害に強い	ア. 災害に弱い
b. 公共交通機関によるアクセスがよい	イ. 公共交通機関によるアクセスが難しい
c. 車でのアクセスがよい	ウ. 車でのアクセスが難しい
d. 整備が容易な用地が確保しやすい（市有地等）	エ. 土地の購入が必要
	オ. まとまった用地が確保しにくい
e. 周辺施設と連携が期待できる	カ. 周辺施設と連携が期待できない
f. 周辺環境が良い	キ. 周辺環境が良くない
g. 人が集いやすい	ク. 人が集いにくい
h. その他	ケ. その他

【STEP5　新庁舎の複数候補地案】



回答例

	候補地	選択理由/不安な点		その他の理由　および補足
例	番号：（⑬） ⑬その他は記号または場所を記入：A	選択理由	a、h	浸水害の影響がない。周辺に緑が多く環境がよい。
		不安な点	エ、カ、ケ	山のため、土地の造成に費用がかかる。

●回答欄（３つ候補地を選んで回答）

	候補地	選択理由/不安な点		その他の理由　および補足
1つめ	番号：（　） ⑬その他は記号または場所を記入：	選択理由		
		不安な点		
2つめ	番号：（　） ⑬その他は記号または場所を記入：	選択理由		
		不安な点		
3つめ	番号：（　） ⑬その他は記号または場所を記入：	選択理由		
		不安な点		

（２）**候補地**についてその他ご意見などございましたら、ご記入ください。

問４．新庁舎のあり方、整備の進め方についてご意見などありましたら、ご記入ください。
（自由意見・要望など）

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函して下さい（期限：３月６日必着）

新庁舎整備に係る市民アンケート
添付資料集

新庁舎整備に係る市民アンケートの参考資料として、現在までの主な取り組みについてまとめました。ぜひ、アンケートと合わせてご覧ください。
おでかけワークショップ等、その他取り組みは「みんなの新庁舎　ポータルサイト」にて掲載しております。※下記QRコードもしくはURLからご覧いただけます。

目次

■ **資料（これまでの主な取り組みをまとめた資料（ＳＴＥＰ１～３））**

資料１　かわらばんvol.１（第１回市民ワークショップ（ＳＴＥＰ１））・・・・・・１
資料２　かわらばんvol.２（第２回市民ワークショップ（ＳＴＥＰ２・３））・・・・３
資料３　1,500人市民アンケートの実施および役割・コンセプトの決定について
（ＳＴＥＰ２・３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

■ **候補地案資料（第３回市民ワークショップで提供した候補地案に関する資料）**

候補地案資料１（市内全域における基本的な立地の条件を整理した資料）・・・・・・６
候補地案資料２（ワークショップにおける対話のため提示した複数候補地案（図））・１８
候補地案資料３（ワークショップにおける対話のため提示した複数候補地案評価表）・１９
候補地案資料４（候補地案資料３の評価基準）・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

■ **ＷＳ資料（第３回市民ワークショップ（ＳＴＥＰ４～５の進捗）のまとめ）**

ＷＳ資料１（第３回市民ワークショップ意見
（「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」））　・・・・・・・・・・・２２
ＷＳ資料２（「新庁舎の複数候補地案」に対して出たワークショップのご意見）・・・２３
ＷＳ資料３（ワークショップ参加者から提案された候補地案評価表）・・・・・・・・２６

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎
ポータルサイト

資料1

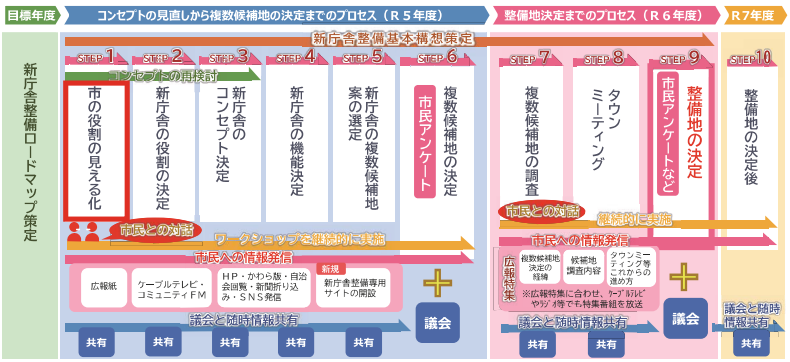
美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.1
第１回市民ワークショップ

第１回みんなの新庁舎ワークショップを開催しました！

新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、内容を見直すこととといたしました。

新庁舎整備基本構想の再策定は「新庁舎整備ロードマップ」に沿って進めていきます。

今回、第１回みんなの新庁舎ワークショップを開催いたしましたので、その結果をお知らせいたします。



【今後の新庁舎整備の進め方（新庁舎整備ロードマップより）】

第１回は７月 23 日（日）、26 日（水）、29 日（土）に開催しました。今回は STEP１「市の役割の見える化」を行うため、「10 年後の市の役割」をテーマに、事前応募頂いた合計 88 名の参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。おでかけワークショップは８月末までに８回実施し、合計 129 名の方と意見交換をさせていただきました。

「10 年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・

①	②	③	④	⑤	⑥
市民に寄り添い、まもる行政の存在	地域のまとまり	魅力ある市をつくる	産業振興	安心安全なまち	便利なまち
市と市民の協働・声が届く 福祉・厚生・多文化共生・議会	自治会・まちづくり協議会 人口減による機能低下への対応 まちづくり意識	こども・若者・挑戦する人 文化・自然との共生・人口増 地域の盛り上げ・憩い・交流	企業・農業・地元産業 税収アップ・雇用	防災・平和・情報が得られる 生活を守る・命を守る	DX（デジタル化）推進・交通 見える化・連携 スムーズな行政サービス

第２回　みんなの新庁舎ワークショップのお知らせ

○日程：2023 年 9 月下旬予定　　○場所：生涯学習センター

新庁舎整備情報サイト

新庁舎整備の最新情報はこちら　　https://minokamochosha.jp/

発行日：2023 年 8 月 31 日　　発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

【第１回ワークショップ参加者のご意見　詳細】

①市民に寄り添い、まもる行政の存在

●市と市民の協働
・市と市民が協働する（市民のつながりを強化する）
●声が届く
・市民や地区の希望を公的機関として、限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在。
・困った時にスムーズに助けてくれる存在。
・市民に寄り添う市の職員。
●福祉・厚生・多文化共生
・市民の生活を守る・護る存在
・介護や健康を安心して提供すること。
・こどもや子育て世代から高齢者・障がい者が共存できるまち。
●議会
・市議員の定数を減らす。
・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

②地域のまとまり

●自治会・まちづくり協議会
・自治会が減ることへの対応
・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化をはかる。
●人口減による機能低下への対応
・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応
●まちづくり意識
・若い人達が市を作っていくことが必要。
・生きがいを持って暮らせるまちづくり。

③魅力ある市をつくる

●こども・若者・挑戦する人を支援する
・こどもの健康を守る存在であってほしい。
・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿を見て、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市
・挑戦したい人を全力で応援する。
●文化・自然との共生
・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。
●人口増
・人口が増加するような魅力のある市としたい。
・こどものある世帯が増えるような市にする。
●地域の盛り上げ
・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）
●憩い・交流
・市民が憩いの場として使える場所がほしい。
●その他
・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。
・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。

④産業振興

●企業・雇用
・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。
●農業・地元産業
・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。
●税収アップ
・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。
・工場誘致に力を入れてほしい。

⑤安心安全なまち

●防災・生活を守る・命を守る
・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。
・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要
・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。
・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。
・防災に強い体制づくりが必要である。

⑥便利なまち

●DX（デジタル化）推進
・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにする。
・デジタル化を推進して、オンライン手続きやハンコ廃止等で市役所に出向かず申請できる。
●交通
・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。
●連携・スムーズな行政サービス
・市役所機能を１か所にコンパクトに集約して、使いやすいようにして欲しい。
・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、１つの窓口でわかるようにしてほしい。
・市の行政サービスについて、周知してほしい

資料2

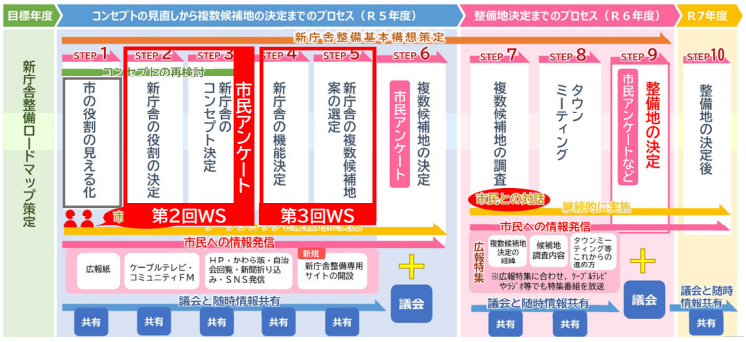
美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol. 2
第２回市民
ワークショップ

みんなの新庁舎 第2回市民ワークショップを開催しました！

7月下旬に開催した第1回市民ワークショップでは皆さんから市の役割についてご意見をいただきました。今回、新庁舎整備ロードマップに沿って、第2回市民ワークショップを開催しましたので、その結果をお知らせいたします。

第2回市民ワークショップのテーマである「新庁舎の役割」・「コンセプト」については、1,500人を対象とした市民アンケートでもお聞きし、市民全体の傾向を把握します。

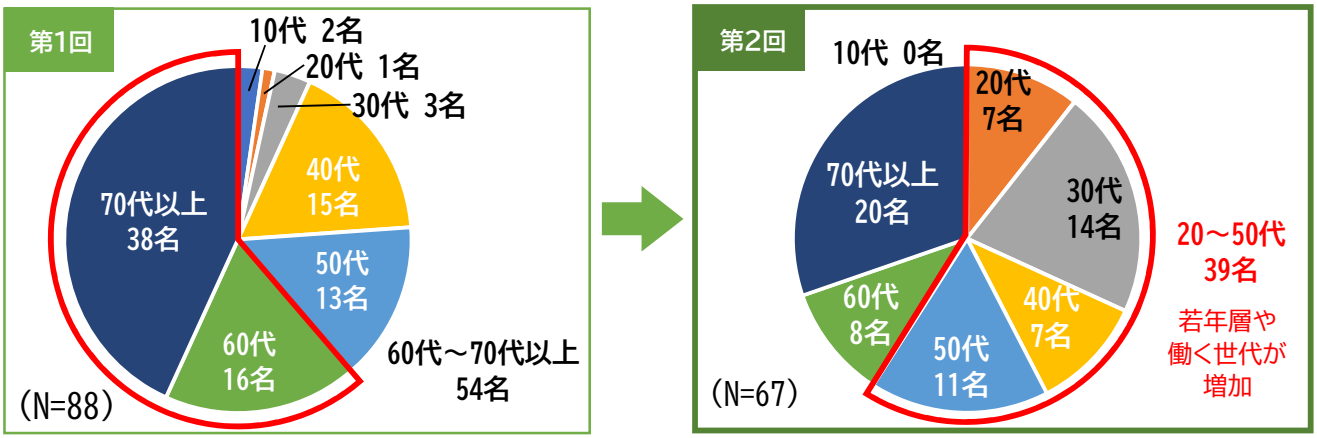
12月にはアンケート結果も踏まえ、STEP4「新庁舎の機能」・STEP5「新庁舎の複数候補地案」についての第3回市民ワークショップを行います。



【新庁舎整備ロードマップ 】

第2回市民ワークショップ　実施状況・参加者数

- 第2回は9月24日(日)、25日(月)、30日(土)に開催しました。
  今回はSTEP2「新庁舎の役割」、STEP3「新庁舎のコンセプト」をテーマに、事前応募いただいた合計67名の参加者のみなさんと意見交換を行いました。
- 第2回は、民間の店舗などにもポスターを貼り、より幅広い世代の方にお越しいただけるよう周知した結果、第1回と比較し、若年層や働く世代が増加しました。



STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに、新庁舎に必要な役割を考えました。

前回 ■ 第１回市民ワークショップの結果「市の役割」

① **市民に寄り添い、まもる行政の存在**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② **地域のまとまり**
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ **魅力ある市をつくる**
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ **産業振興**
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ **安心安全なまち**
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ **便利なまち**
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

STEP2　全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

代表的なご意見は裏面⇒

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

今回　STEP2【代表的なご意見】（抜粋）

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく**、活き活きできる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

STEP3「新庁舎のコンセプト」概要

- 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。（下記抜粋）

STEP3　全体の傾向

- すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】（抜粋）

- **いつでもだれでも相談**できる**頼り**になる新庁舎
- **気軽に集いつながる**新庁舎（行政サービス以外の利用を含む）
- **新しい時代に対応**できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプルなコンパクト**新庁舎（交流拠点は他の公共施設へ）
- みんなが使いやすい**心と身体のバリアフリー**新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした**心地よい新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボル的**な新庁舎
- **職員が**活き活きできる**働きやすい**新庁舎

第2回市民ワークショップまとめ

第2回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- すべての市民が円滑に行政サービスや相談が受けられること（「市民に寄り添い、まもる行政」・「便利なまち」の実現）や、災害時の拠点となること（「安心安全なまち」の実現）、これらを担う職員が働きやすい環境であることが求められています。
- 様々な人が共存するため、人々が交流することも求められている一方、「シンプルで必要最低限」といった、相反する意見も出されています。
  新庁舎はどこまでの役割を担うべきか、連絡所の機能強化やほかの場所で補えることはないか、などについても考える必要があります。

資料3

新庁舎整備ロードマップ　STEP2・3
1,500人市民アンケートの実施および新庁舎の役割・コンセプトを決定しました！

「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」について、ワークショップのご意見を踏まえ、市民全体の傾向を把握するため、1,500人を対象とした市民アンケート（令和5年11月）を行いました。
市民ワークショップ・市民アンケートの結果をもとに、「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」を決定しましたので、お知らせいたします。

新庁舎の役割・コンセプトに係る市民アンケート（対象1,500人）概要

美濃加茂市在住の満15歳以上のうち1,500人を対象とした市民アンケートを、令和5年11月に実施し、607人の市民の皆様にご回答いただきました。（回答率40.5%）
アンケートでは、市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握しました。

新庁舎の役割

Q. 新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に○をつけてください。

※回答率20%以上の項目を記載

1位	こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	27.8%
2位	平日に働く人も頼りやすい	26.4%
3位	申請や相談がワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応	25.4%
4位	駐車場が広く、車で来庁しやすい	24.4%
5位	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	24.2%
6位	新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる	21.4%

新庁舎のコンセプト

Q.コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。
新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。

※回答率30%以上の項目を記載

1位	いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎	47.1%
2位	市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎	42.7%
3位	新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎	39.4%
4位	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎	30.1%

新庁舎の役割・コンセプトの決定

第2回市民ワークショップのご意見や1,500人市民アンケートの結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept 新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る
未来を見据えた新庁舎

8つの役割

安心

1つ　誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
2つ　こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
3つ　災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
4つ　業務効率の向上につながる職場環境の充実

未来

5つ　環境の変化に対応できる庁舎
6つ　平日に働く人も頼りやすい
7つ　申請等の手続きがオンラインでできる
8つ　行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

STEP5
基本条件の整理

情報提供資料

- この資料は、STEP5のグループワークで複数候補地案を考えるにあたって、市内全域における基本的な立地の条件を表したものです。

●目次

利便性

① 〔基礎知識〕立地に関する法律 P7
② 主要な施設の立地 P7
③ 人口分布 P8
④ 人口集中地区（DID） P9

災害

① 想定浸水深（計画規模降雨） P10
② 想定浸水深（想定最大規模降雨） P11
③ 土砂災害の恐れのある地域 P12
④ 液状化の恐れのある地域 P13
⑤ 緊急輸送道路網 P14

参考

① 建設地・規模 P15
② 工事費 P15
③ 立地適正化計画 P16
④ 都市計画区域　用途地域 P16
⑤ 農業振興地域内　農用地区域 P17

候補地案資料１

利便性① 〔基礎知識〕立地に関する法律

●地方自治法

・第４条第２項〔事務所の設置又は変更〕
　前項の事務所（※市役所）の位置を定め又はこれを変更するに当っては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

- 庁舎の立地は、法律により、**利便性を考慮**することが定められています。

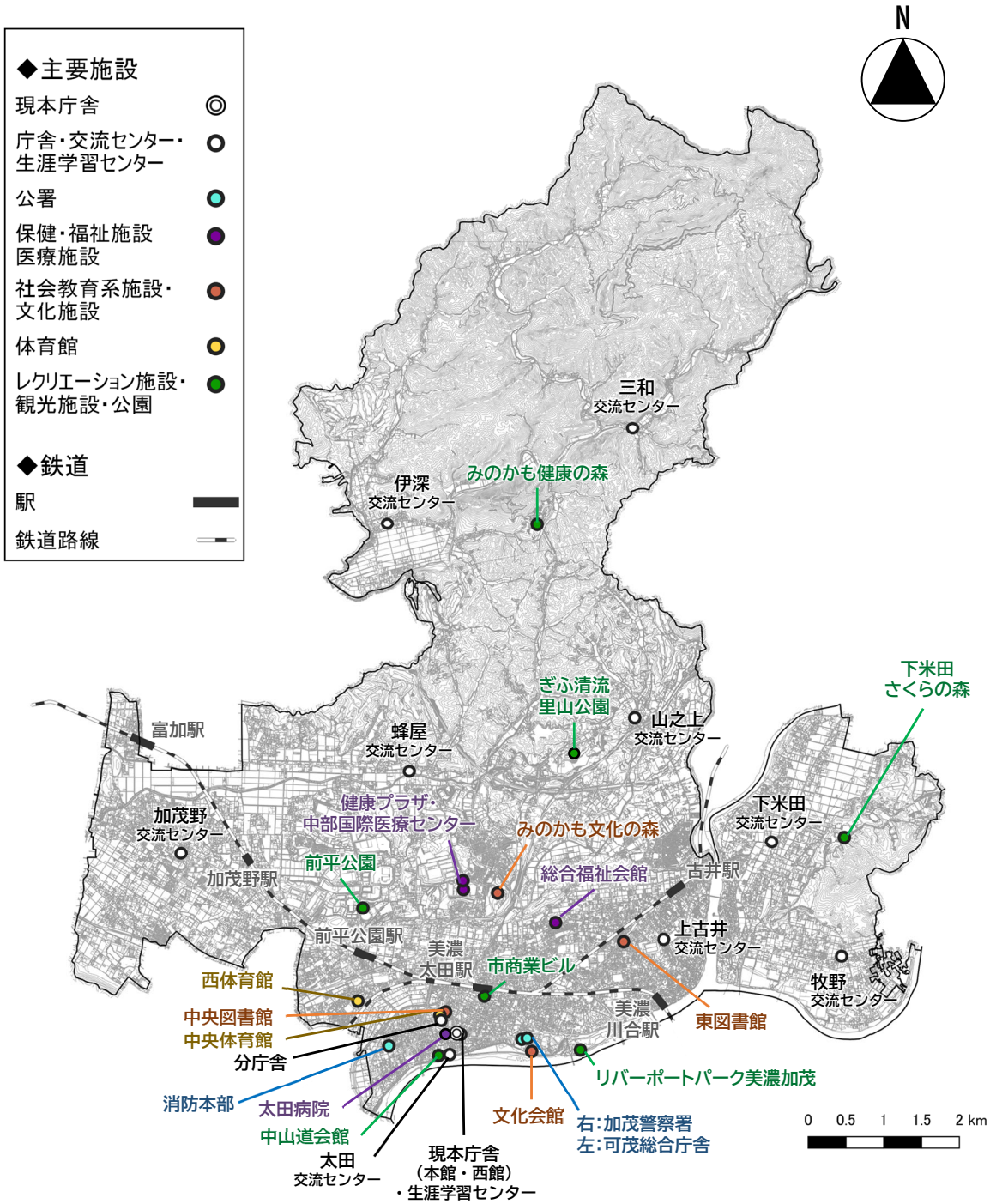
○（参考）官公庁施設の建設等に関する法律

・第１条〔目的〕
　この法律は、国家機関の建築物の位置、構造、営繕及び保全並びに一団地の官公庁施設等について規定して、その災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進とを図ることを目的とする。

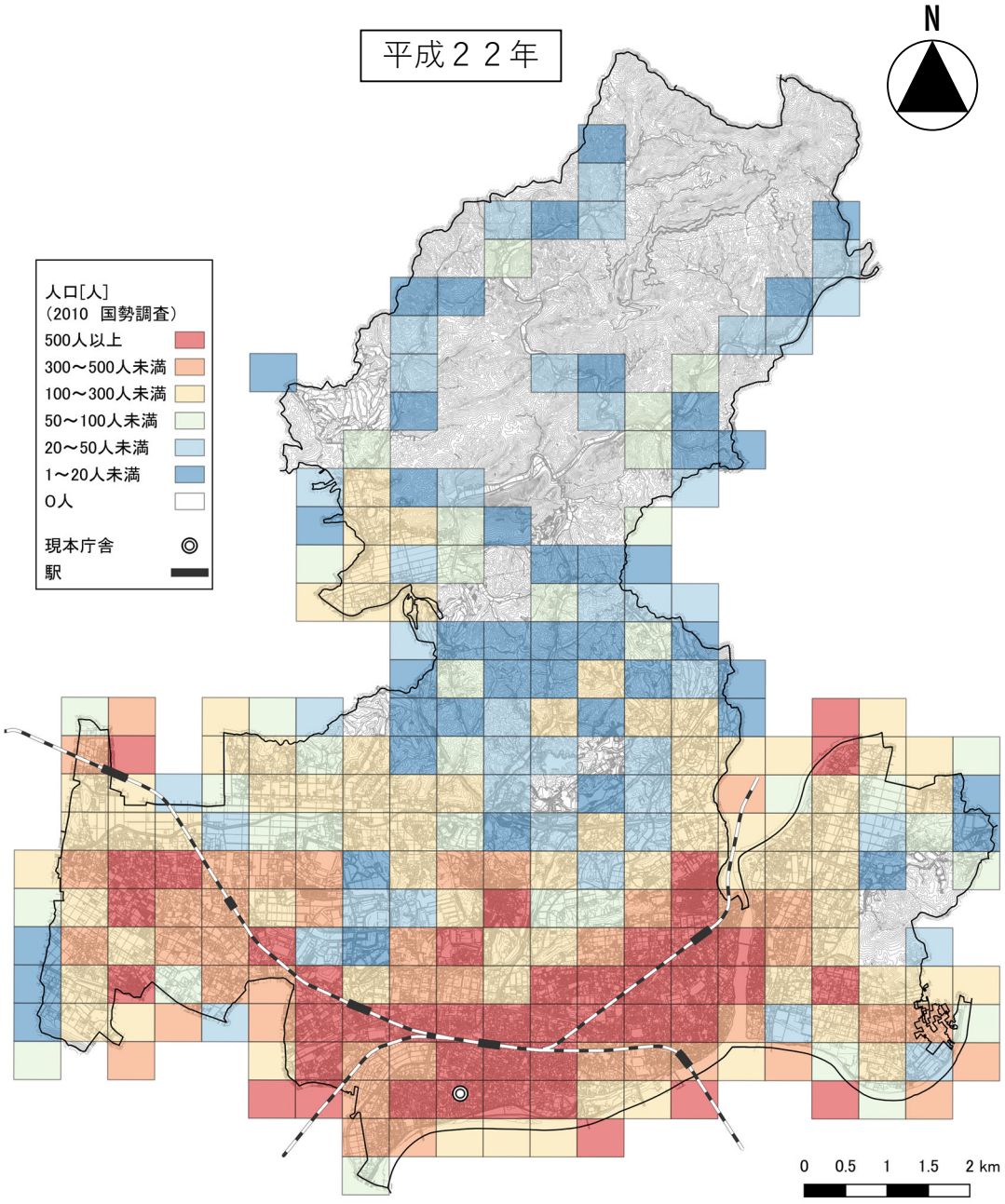
・第５条第１項〔庁舎の位置〕
　庁舎は、それぞれの用途に応じて、公衆の利便と公務の能率上適当な場所に建築しなければならない。

- 官公庁施設の建設等に関する法律は、**国家機関の建築物について**定めた法律ですが、庁舎の立地について、地方自治法と同じく**住民の利便性**に加え、**職員の働きやすさ**を考慮することが定められています。

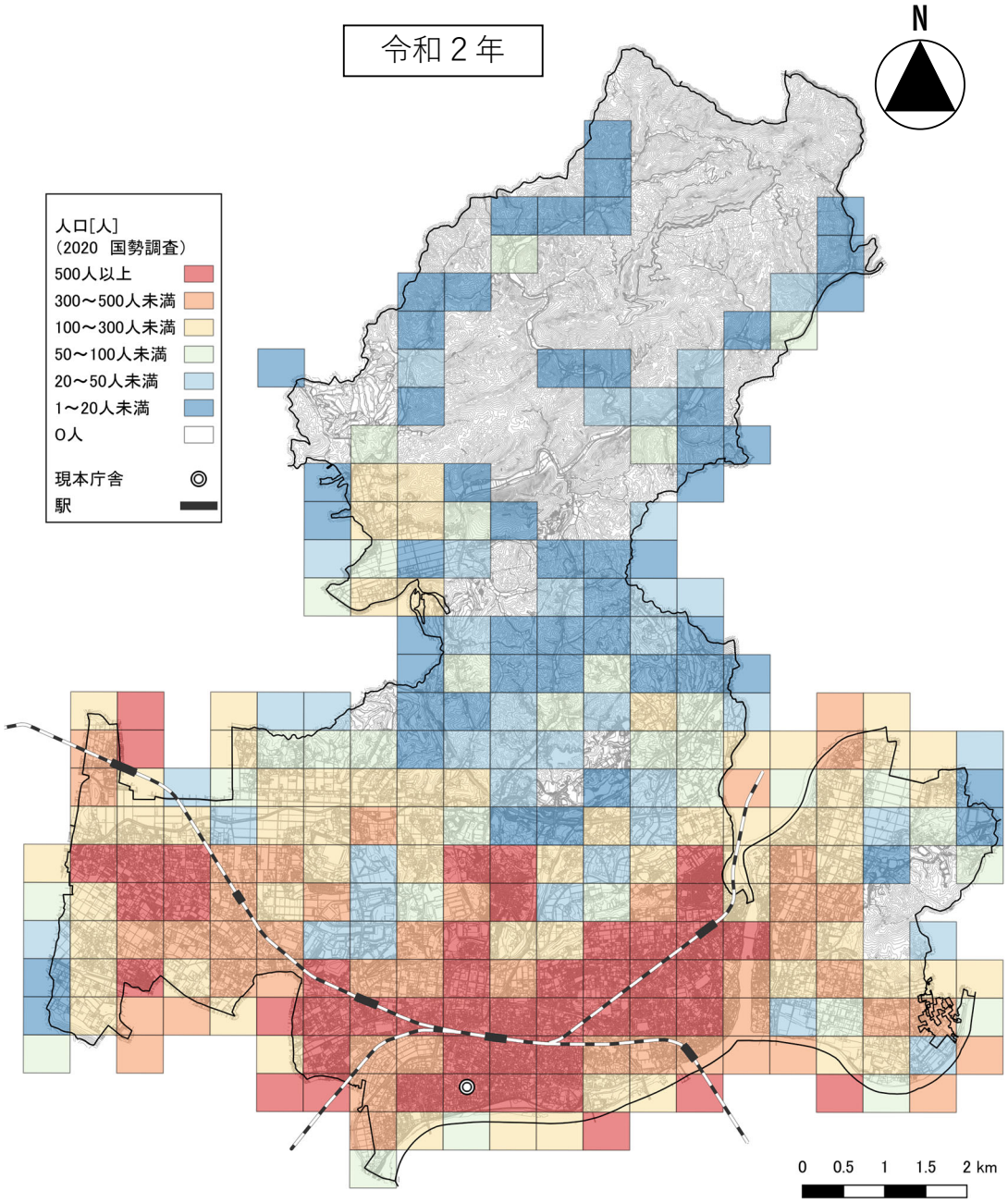
利便性② 主要な施設の立地



利便性③ 人口分布



出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロード－小地域-国勢調査-2010年-4次メッシュ(500mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[2023/11/16に利用]



出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロード－小地域-国勢調査-2020年-4次メッシュ(500mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[2023/11/16に利用]

利便性④ 人口集中地区（DID）

●人口集中地区（DID）とは

- 人口密度が1㎢当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のことです。

●市の人口集中地区

- 人口集中地区は、美濃太田駅の北側に広がっており、近年徐々にその面積は増加しています。

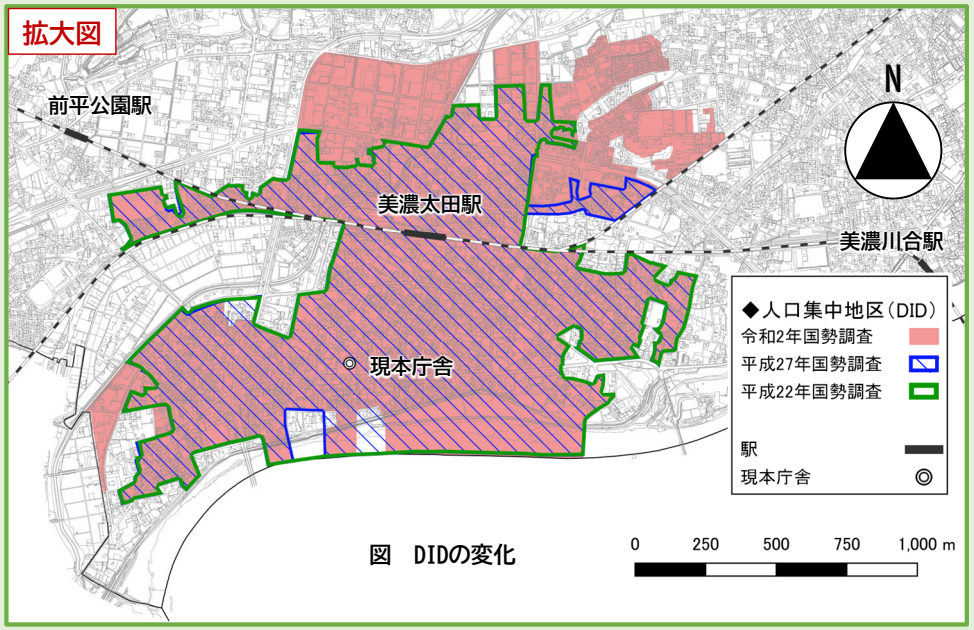


図　DIDの変化

出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロード-小地域-国勢調査のうち、
2020年・2015年・2010年の、人口集中地区-世界測地系平面直角座標系・
Shapefileを利用して作成[2023/10/17に利用]

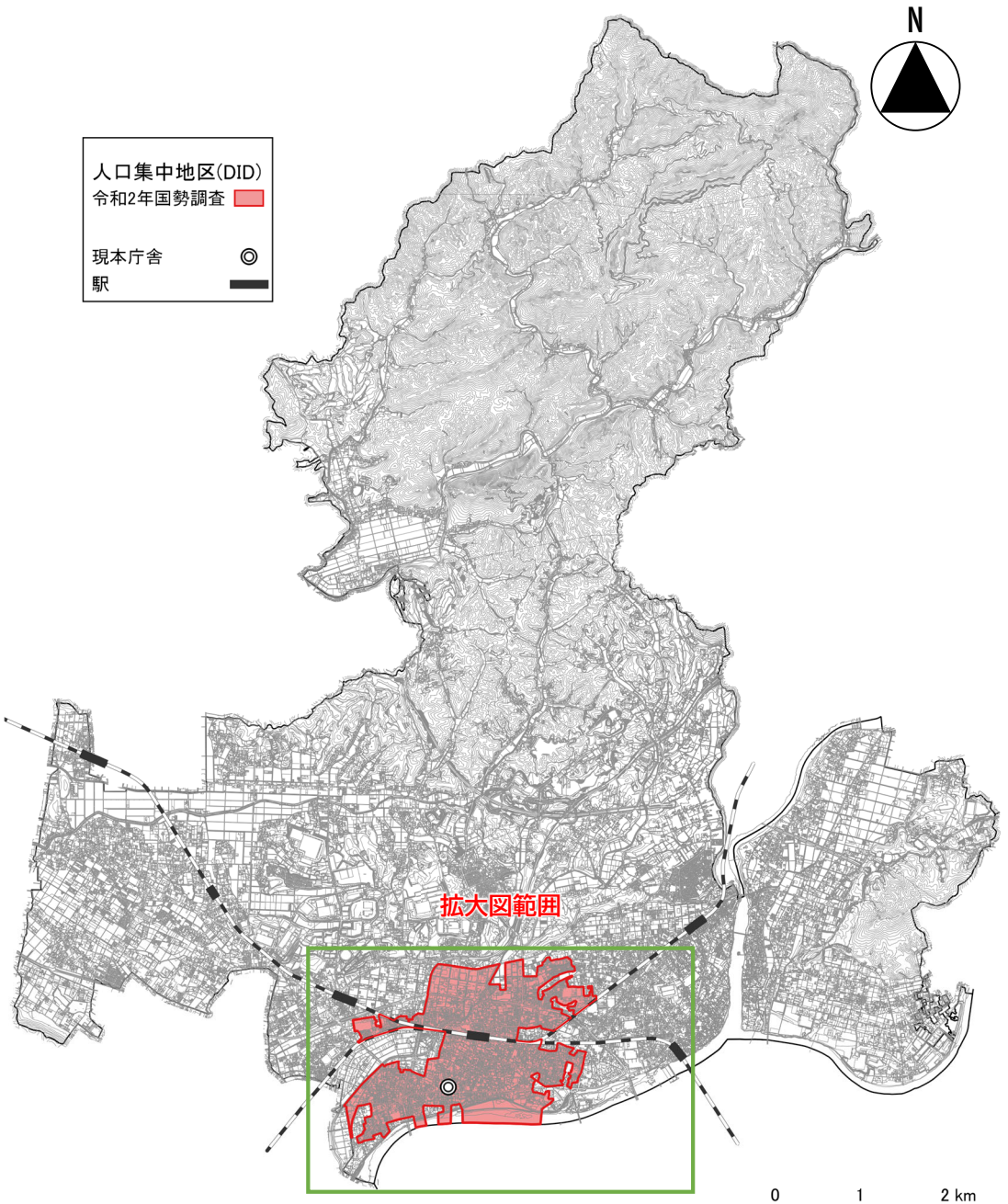


図　現在の市のDID

災害① 想定浸水深（計画規模降雨）

●計画規模の降雨とは

- その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。
- 河川の流域の大きさや、氾濫が想定される範囲などを考慮して定めたもので、河川毎に個別に定めています。

●木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

- 木曽川の**計画規模降雨は**、100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。

- 右上地図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。**現本庁舎**では**0.5～3.0m**の浸水が想定されています。
- 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間※は4時間未満**と想定されています。

※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

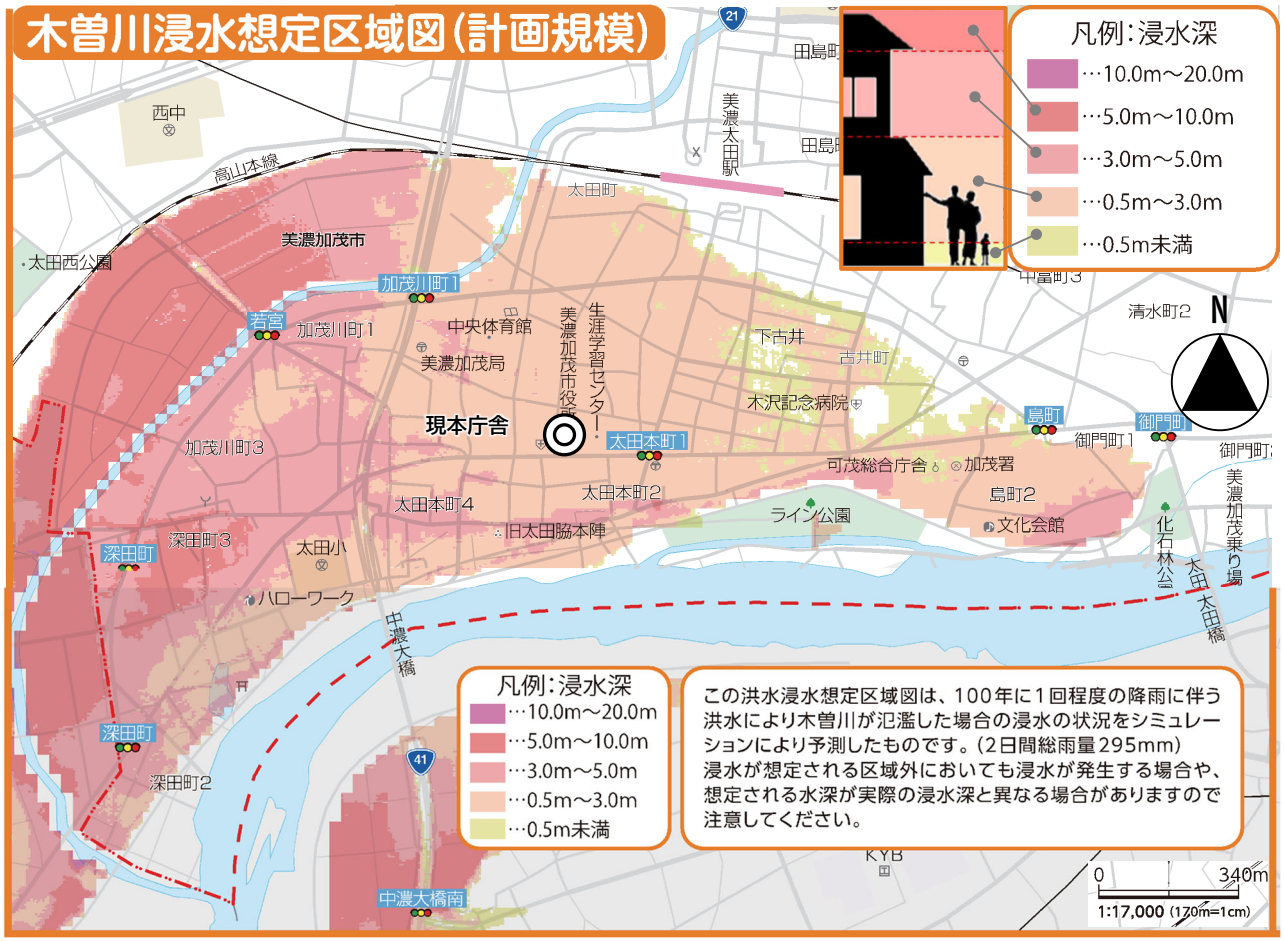
- 建設が予定されている新丸山ダムは、9・28水害と同規模の河川水量においても安全に水を流すことを目標としており、今渡ダム下流地点では約2.7mの水位低下効果が見込まれています。

- 木曽川以外の河川の情報は、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。

・飛騨川　・太市川
・加茂川　・納古川
・蜂屋川　・深渡川
・詰田川　・飯田川
・大洞川　・川浦川
・廿屋川

想定の前提となる流域

計画規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。



出典：美濃加茂市ハザードマップ、水害ハザードマップ作製の手引き（国土交通省）を加工して作成

災害② 想定浸水深（想定最大規模降雨）

●想定最大規模の降雨とは

- 想定しうる最大規模の降雨のことです。「想定最大規模」の降雨規模は、基本的には**1000年に1回程度**（1年の間に発生する確率が1/1000(0.1%)以下の降雨）を想定しています。

●木曽川の洪水浸水想定区域（想定最大規模）

- 例として、木曽川の想定最大規模降雨による浸水が想定される区域は右上の図の通りです。
  これは、木曽川流域の範囲で平均して2日間で527㎜の雨が降ることを想定しています。

- 右上地図は想定最大規模で氾濫した場合の浸水想定です。
  現本庁舎では**10.0～20.0m**の浸水が想定されています。
- 想定最大規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間※は21時間未満**と想定されています。

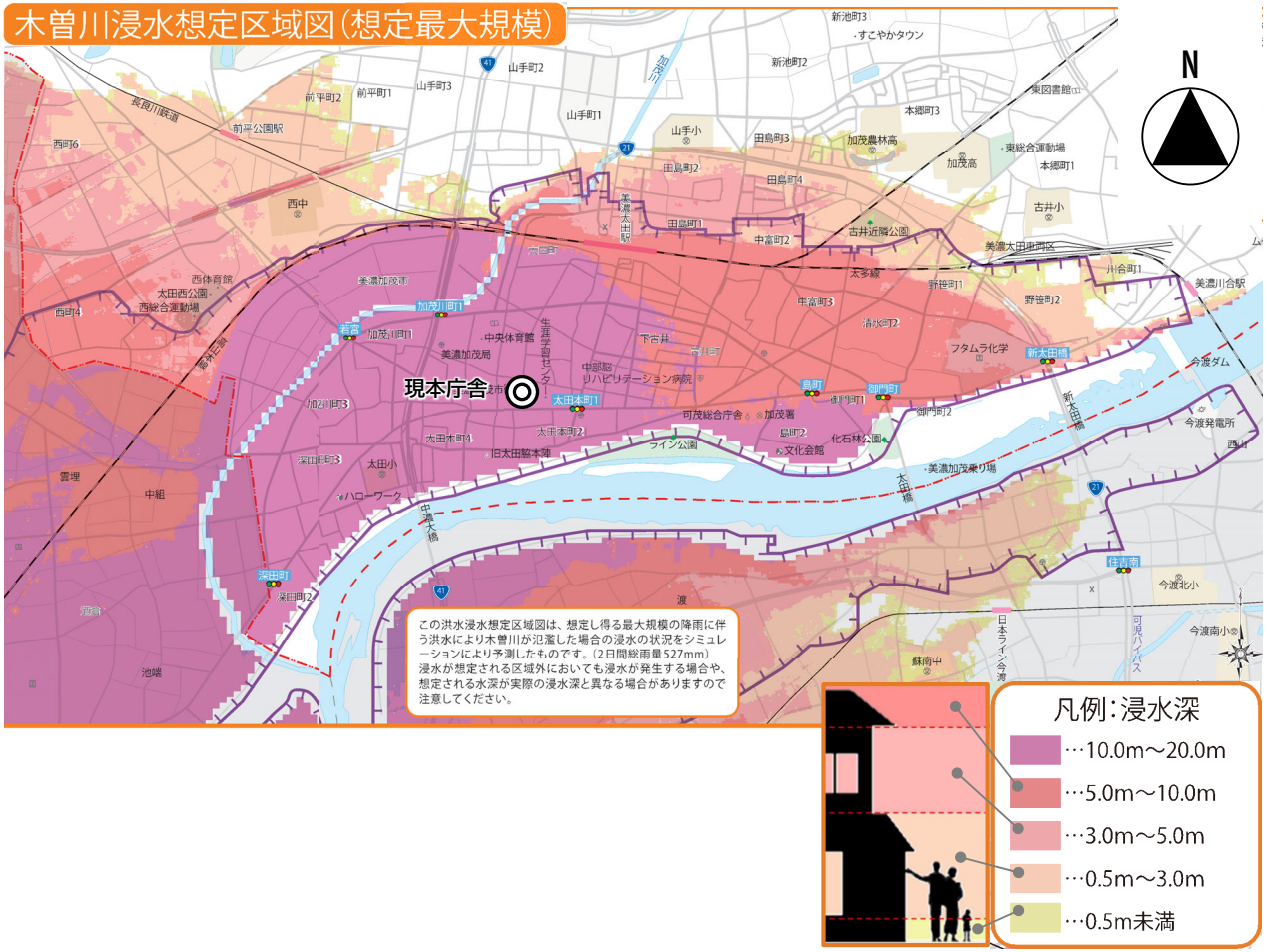
※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

- 木曽川以外の河川の情報は、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。

・飛騨川　・太市川
・加茂川　・納古川
・蜂屋川　・深渡川
・詰田川　・飯田川
・大洞川　・川浦川
・廿屋川

想定の前提となる流域

想定最大規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で527㎜の雨が降ることを想定しています。

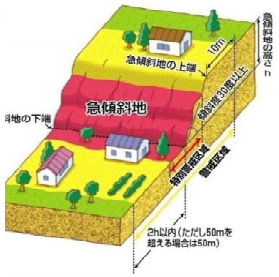


災害③　土砂災害の恐れのある地域

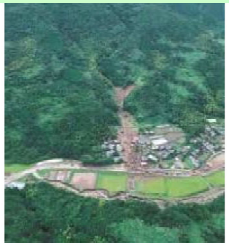
●土砂災害とは

- 大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりする自然災害のことです。
- このうち、右の地図では「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の恐れのある地域を示しています。

急傾斜地の崩壊
※傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象



土石流
※山腹が崩壊して生じた土石等または渓流の土石等が一体となって流下する自然現象



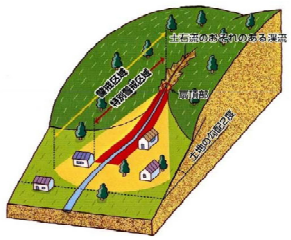


図　急傾斜地の崩壊と土石流の説明

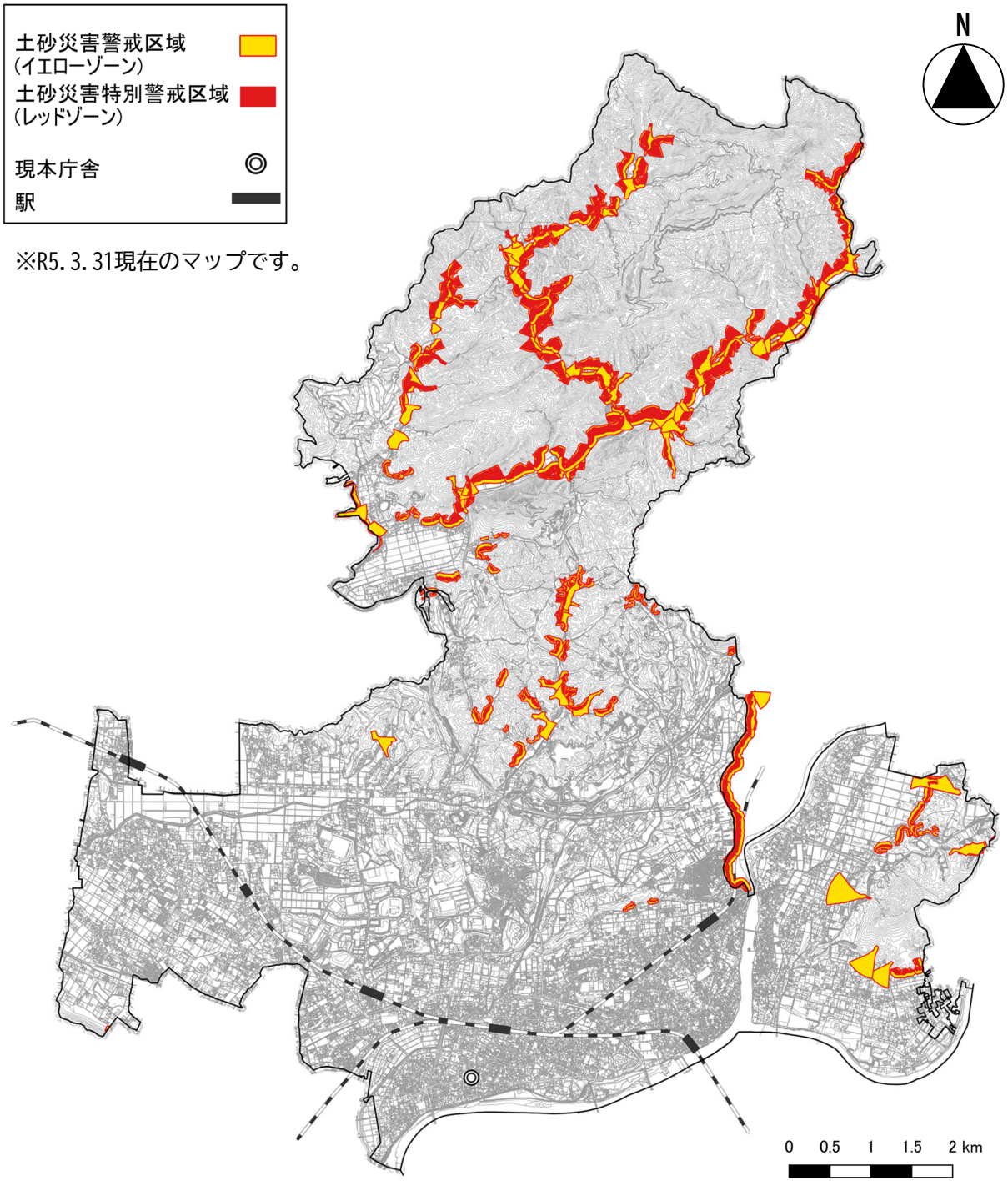
出典：「土砂災害防止法の概要」（国土交通省,H23.8）より抜粋
https://www.mlit.go.jp/river/sabo/dosyahou_review/01/110803_shiryo2.pdf

●レッドゾーン・イエローゾーン

- 土砂災害のおそれのある地域は、土砂災害防止法に基づきイエローゾーンとレッドゾーンに分けられます。
- どちらの区域内にも新庁舎は建設しないことが望ましいと考えられます。

表　各ゾーンに対する新庁舎建設の考え方

区域	［イエローゾーン］ 土砂災害警戒区域	［レッドゾーン］ 土砂災害特別警戒区域
説明	土砂災害のおそれがある地域	土砂災害の恐れのある地域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある地域
土砂災害防止法上の方針	危険の周知、警戒避難体制の整備	特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等
新庁舎建設における考え方	この区域内には建設しないことが望ましいと考えられます。	



災害④ 液状化の恐れのある地域

●液状化とは

- 地震が発生して地盤が強い衝撃を受け、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことです。
- 液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、また、それまで安定していた地盤が急に柔らかくなるため、その上に立っていた建物が沈んだり（傾いたり）、地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんできたり、地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生します。

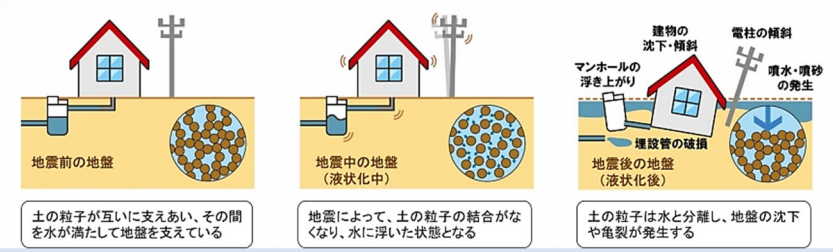


図　液状化のしくみ

出典:「液状化現象について」(国土交通省)より抜粋
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html[2023.5最終更新]

●液状化対策

- 液状化の「可能性が高い」地域、「可能性がある」地域に建設する場合は、地盤改良などの対策を講じる必要があります。

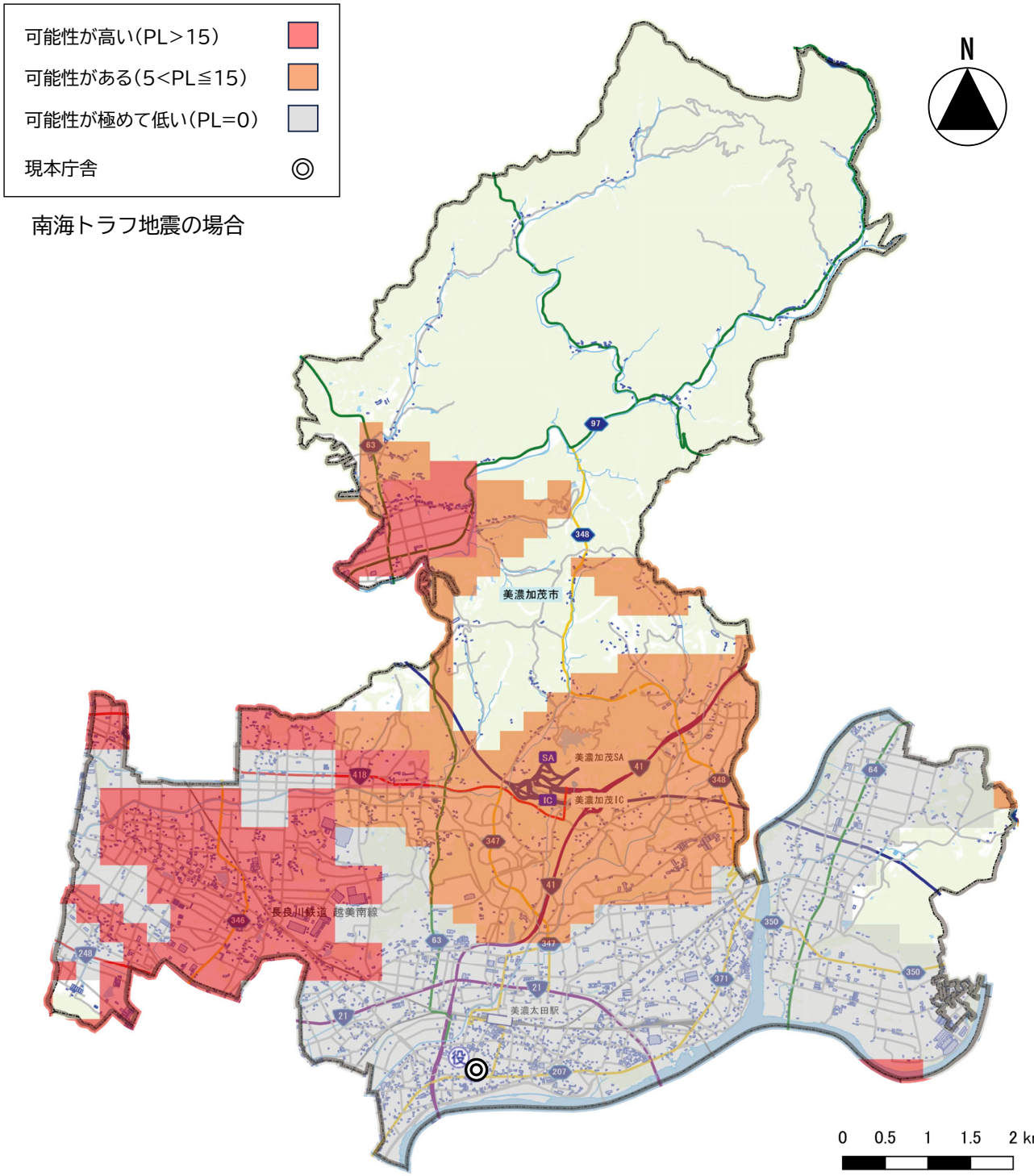
写真 1-1　住宅地の噴砂の状況

写真 1-2　地下埋設物の浮き上がり

写真 1-3　建物の傾斜被害

図　液状化の被害

出典:「市街地液状化対策推進ガイダンス【本編】」(国土交通省都市局都市安全課,R1.6)より抜粋
https://www.mlit.go.jp/common/001123039.pdf



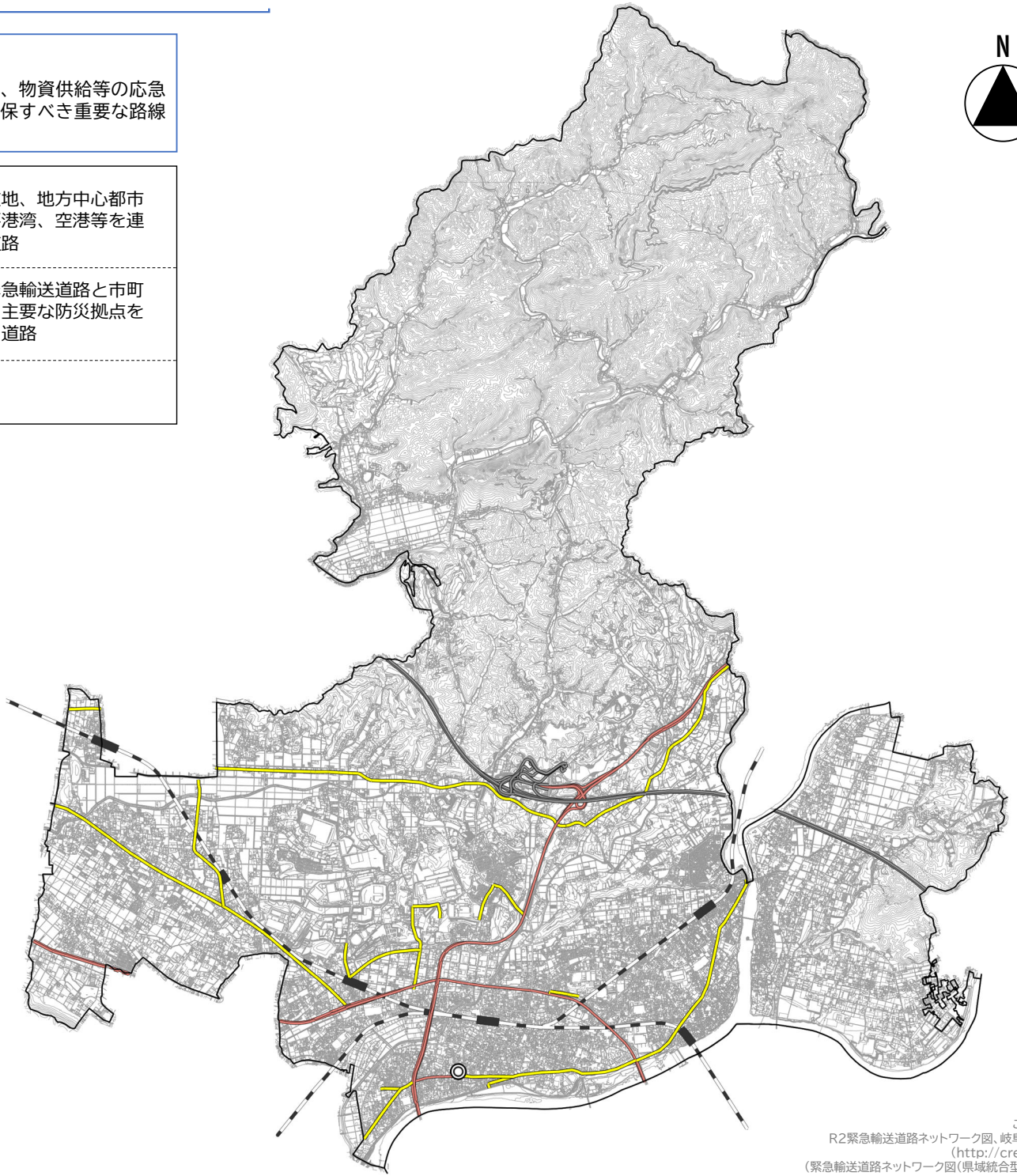
出典:岐阜県地震危険度マップ　液状化危険度分布図(県域統合型GISぎふ)を加工

災害⑤ 緊急輸送道路網

●緊急輸送道路

- 災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のことです。

第1次		県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路
第1次(高速道路)		
第2次		第１次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点を連絡する道路
現本庁舎	◎	



この地図は以下の著作物を改変して利用しています
R2緊急輸送道路ネットワーク図、岐阜県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 2.1
(http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/)
(緊急輸送道路ネットワーク図(県域統合型GISぎふ)[2023/11/10に利用]に基づき加筆)

参考① 建設地・規模

●建設地

- 新庁舎の建設地は、市有地であればコストを抑えることができます。

●必要な規模

- 新庁舎は、本庁舎（本館・西館）・分庁舎を統合した規模を想定します。
- 駐車場は、来庁者用及び公用車、職員用（計 約570台）を想定します。すべて平面駐車場で確保する場合、面積は約1.4ha必要となります。

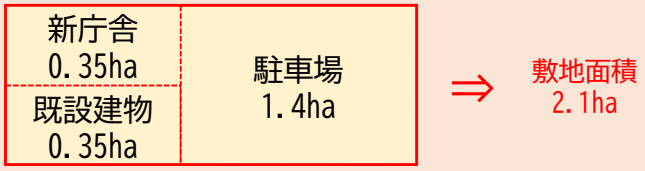
駐車場面積の算定

	台数	×基準面積※	＝駐車場面積
来庁者用・公用車	230台	25㎡/台（通路部分を含む）	5,750㎡
職員用	337台		8,425㎡
合計	567台		**14,175㎡**

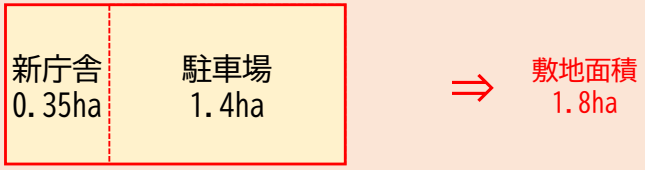
※基準面積は「平成22年度地方債同意等基準運用要綱」（総務省）による

- 新たな敷地において、敷地内で建替えを考えた場合、
  駐車場面積（1.4ha） ＋ 新庁舎面積（3階建てを想定）（0.35ha） ＋ 既設建物面積（0.35ha）
  より、**2.1ha**程度の敷地面積が必要となります。

  ※既設建物は新庁舎建設後に取壊し、新庁舎工事中も必要駐車台数は確保するものと想定します。



- 新たな敷地において、庁舎建設と駐車場確保を考えた場合、
  駐車場面積（1.4ha） ＋ 新庁舎面積（3階建てを想定）（0.35ha）
  より、**1.8ha**程度の敷地面積が必要となります。



参考② 工事費

●工事費

- 建物本体の工事費は、概ね55～60億円を見込んでいます。算定根拠は下に示します。

  （この金額には、地盤改良、造成工事、外構工事のほか、庁舎建設の周辺環境に伴う道路や水路等の基盤整備、現庁舎の解体工事、防災拠点機能、市民交流機能、備品購入、職員駐車場の確保に関する費用は含まれません）

＜算定根拠＞

① **床面積**
国土交通省及び総務省の基準に基づき算出すると、約8,500～9,800㎡となります。ただし、防災拠点機能や市民交流機能はここに含まれません。
※今後、現庁舎の実態調査等により面積は増減する可能性があります。

② **床面積あたりの工事費**
近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価は平均で約47万円、最大で約51万円です。
事例の工事時期から現在までに工事費は約1.27倍高騰していることから、
（約47～51万円）×1.27＝約60～65万円を想定します。

近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価

	完成	建物本体の工事費 ※	÷床面積	＝床面積当たり工事費	（参考）人口（令和5年4月）
土岐市役所	R1	約40億円	9,703㎡	**約41万円**	55,514人
大垣市役所	R1	約104億円	20,806㎡	**約50万円**	158,676人
各務原市役所	R5	約76.9億円	16,238㎡	**約47万円**	145,311人
羽島市役所	R3	約49.4億円	9,706㎡	**約51万円**	66,729人

※市町村によっては、本体工事費に
地中熱設備や液状化対策工事などが含まれている

床面積当たり工事費： 平均値～最大値 約47～51万円/㎡
工事費高騰分（1.27倍）を見込み （約47～51万円）×1.27＝約**60～65万円/㎡**

③ **建物本体の工事費**
①床面積の平均×②床面積当たり工事費より、概ね55～60億円の見込みとなります。

①床面積	×②床面積あたり工事費	＝建物本体の工事費
9,150㎡	約60～65万円/㎡	**約55～60億**

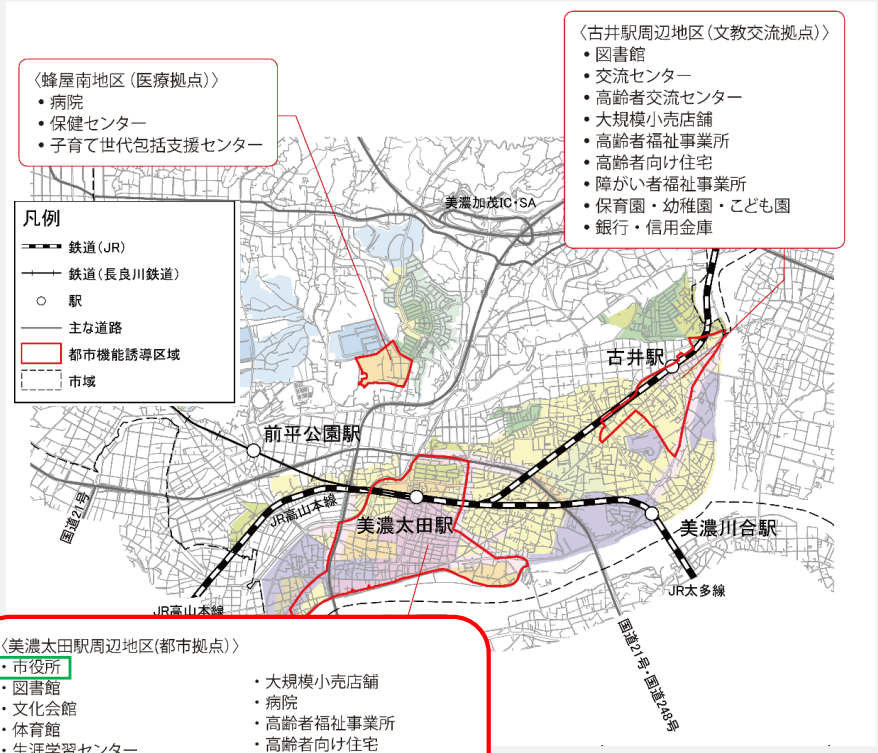
参考③　立地適正化計画

●立地適正化計画とは

- 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で、住宅と生活サービスに関連する医療、福祉、商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りながら、公共交通と連携したまちづくりを進めるものです。
- 現計画は2020～2040年の20年後を展望した計画です。5年をめどに見直します。

●都市機能誘導区域とは

- 医療・福祉・商業などの都市機能を誘導・集約し、効率的な都市サービスの提供を図る区域です。
- 美濃加茂市では、美濃太田駅周辺、古井駅周辺、蜂屋南地区の３エリアを位置づけ、都市の活力（にぎわい・回遊性など）を向上させる機能を備えた都市拠点となることを目指しています。
- 現行の計画では、市役所は美濃太田駅周辺地区に誘導することとしています。
- 新庁舎を都市機能誘導区域外に建設する場合、立地適正化計画の変更・見直しの必要性を検討することとなり、多くの時間と労力がかかります。



出典：美濃加茂市立地適正化計画

図　都市機能誘導区域とそれぞれの誘導施設

参考④　都市計画区域　用途地域

●都市計画区域とは

- 都市計画法に基づき、市街地を中心として、一つのまとまった都市として整備・開発または、保全する必要のある地域です。

●用途地域とは

- 計画的な市街地を形成するために、建築できる建物の種類や用途の制限を定めた地域です。
- 美濃加茂市では、１２の用途地域の他、特別用途地区（用途地域に重ねて地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護などの実現を図る地区）と特定用途制限地域（用途地域が定められていない区域の良好な環境を形成・保持するための区域）が指定されています。

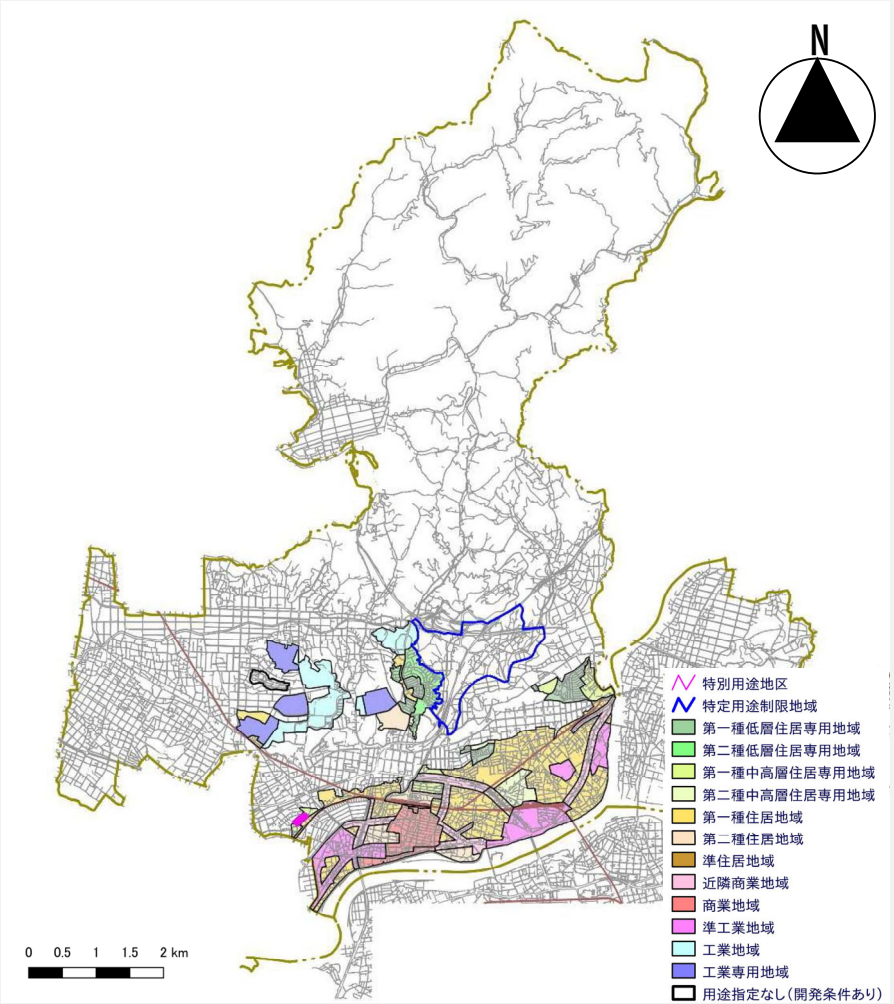


図　都市計画総括図

参考⑤ 農業振興地域内　農用地区域

●農業振興地域とは

- 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の振興を図るべき地域として都道府県知事が指定する地域です。

●農用地区域とは

- 農業振興地域のうち、今後10年以上の長期にわたり農業上の利用を確保し、農業振興を図っていこうとする土地の区域です。
- 農用地区域に指定された土地は原則、農業上の用途以外に利用できません。
- 新庁舎を農用地区域に建設しようとする場合、一定の条件を満たしたうえで手続きを行う必要があります。

新庁舎の複数候補地案

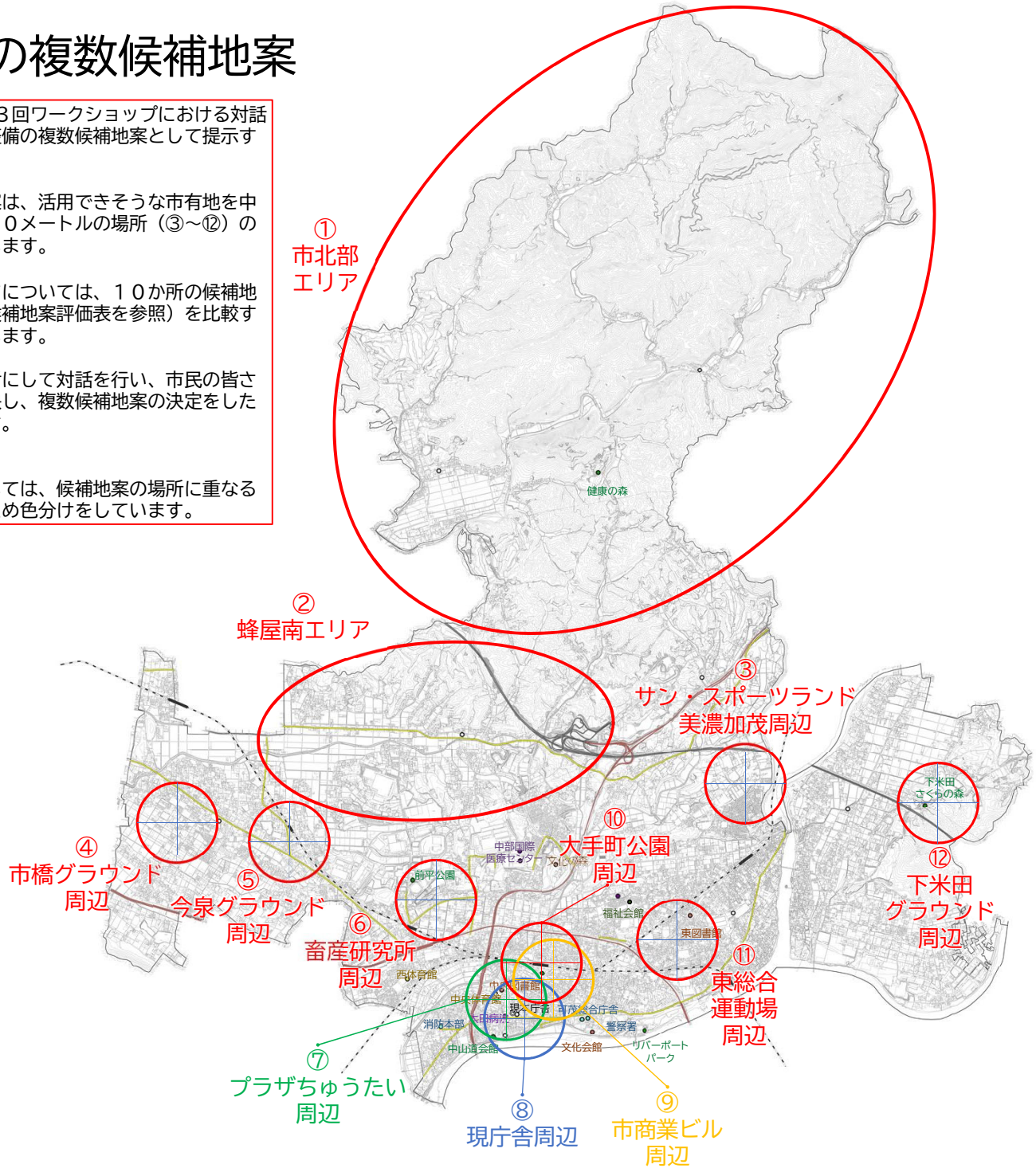
この資料は、第３回ワークショップにおける対話のため、新庁舎整備の複数候補地案として提示するものです。

なお、候補地案は、活用できそうな市有地を中心にした半径５００メートルの場所（③～⑫）の１０か所としています。

①・②のエリアについては、１０か所の候補地案と情報（複数候補地案評価表を参照）を比較するため掲載しています。

この資料を参考にして対話を行い、市民の皆さんからの声を反映し、複数候補地案の決定をしたいと考えています。

※　⑦～⑩については、候補地案の場所に重なる部分があるため色分けをしています。



候補地案資料２

候補地案資料３

複数候補地案評価表

			① 市北部エリア	② 蜂屋南エリア	③ サン・スポーツランド美濃加茂周辺	④ 市橋グラウンド周辺	⑤ 今泉グラウンド周辺
総合評価 ○：１５点以上 △：１０～１４点 ▲：　９点以下			▲ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎を建てられる市有地がない	▲ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	△ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	△ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	△ ・市街地からやや離れるが、鉄道駅が徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要
利便性	市街地（ＤＩＤ地区）からの距離		▲ 市街地から離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている	▲ 市街地からやや離れている
	２車線道路との接道		△ 場所が決まっていないため	△ 場所が決まっていないため	△ 市道南上野池下線から離れている	△ 市道若宮加茂野線から離れている	△ 市道若宮加茂野線から離れている
	鉄道駅からの距離		▲ 離れている	▲ 離れている	▲ 離れている	▲ 離れている	△ 加茂野駅から800m圏内
災害	浸水害	計画規模降雨	△ 一部影響あり 大洞川、廿屋川、川浦川	△ 一部影響あり 蜂屋川、詰田川	○ 影響なし	○ 影響なし	○ 影響なし
		想定最大規模降雨	△ 一部影響あり 大洞川、廿屋川、太市川、川浦川	△ 一部影響あり 蜂屋川、詰田川	○ 影響なし	△ 一部影響あり 蜂屋川	△ 一部影響あり 蜂屋川
	土砂災害		▲ 警戒区域が広域に分布	△ 警戒区域が一部あり	△ 警戒区域が一部あり	○ 影響なし	○ 影響なし
	液状化（南海トラフ地震）		△ 一部で可能性あり	▲ 広域で可能性あり	▲ 全域で可能性あり	△ 一部で可能性が高い	▲ 全域で可能性が高い
	緊急輸送道路		▲ 離れている	△ 整備されている（２次道路）	▲ 離れている	△ 整備されている（２次道路）	△ 整備されている（２次道路）
用地	市有地		▲ 市有地なし	▲ 市有地なし	○ サン・スポーツランド美濃加茂（23,922㎡）	△ 市橋グラウンド（7,963㎡）	△ 今泉グラウンド（約9,000㎡）
	用途地域		○ 無指定地域	○ 無指定地域、第二種低層住居専用地域、第一種住居地域、工業地域、工業専用地域 ※一部建設不可の地域あり	○ 無指定地域	○ 無指定地域	○ 無指定地域
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		▲ 用地取得が必要	▲ 用地取得が必要	○ 市有地のみで平面駐車場が確保可能	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要
評価点			6	7	12	12	12

※評価基準の△・▲は、新庁舎建設の際に配慮（費用、時間等）が必要になる可能性があることを示したものであり、建設できないことを表すものではありません。

⑥ 畜産研究所 （前平公園） 周辺	⑦ プラザ ちゅうたい 周辺	⑧ 現庁舎周辺	⑨ 市商業ビル 周辺	⑩ 大手町公園 周辺	⑪ 東総合運動場 周辺	⑫ 下米田 グラウンド 周辺
○	○	○	○	○	○	▲
・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地があり、駐車場も周辺で確保可能	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地があり、駐車場も周辺で確保可能	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・市有地以外で駐車場の確保が必要	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響が小さく、緊急輸送道路も整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・駐車場の確保の検討が必要
△	○	○	○	○	△	▲
市街地周辺	市街地	市街地	市街地	市街地	市街地周辺	市街地からやや離れている
△	○	○	○	○	○	△
市道西町作り洞線から離れている	市道島深田線と接道する	県道２０７号線（各務原美濃加茂線）と接道する	市道美濃太田駅南線と接道する	市道田島飛鹿線と接道する	神明森山線と接道する	市道今８７号線、市道今２４３号線から離れている
△	○	○	○	○	△	▲
前平駅から800m圏内	美濃太田駅から800m圏内	美濃太田駅から800m圏内	美濃太田駅から800m圏内	美濃太田駅から800m圏内	美濃川合駅から1,600m圏内	離れている
○	▲	▲	▲	▲	○	△
影響なし	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	影響なし	一部影響あり 深渡川、飯田川
△	▲	▲	▲	▲	△	△
一部影響あり 木曽川	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	影響あり 木曽川、加茂川	一部影響あり 木曽川	一部影響あり 深渡川、飯田川
○	○	○	○	○	○	▲
影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	警戒区域が広域に分布
△	○	○	○	○	○	○
一部で可能性が高い	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし
△	○	○	○	○	○	▲
整備されている（２次道路）	整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	離れている
○	△	△	△	△	△	△
畜産研究所 （約60,000㎡）	プラザちゅうたい （12,748㎡）	現庁舎 （7,179㎡）	市商業ビル （3,608㎡）	大手町公園 （約7,700㎡）	東総合運動場 （11,348㎡）	下米田グラウンド （9,000㎡）
○	○	○	○	○	▲	○
無指定地域	第二種住居地域、近隣商業地域	第二種住居地域、商業地域	商業地域	第二種住居地域	第一種住居地域 第二種中高層住居専用地域 ※事務所等の床面積が1,500㎡を超えるものは建設不可	無指定地域
○	△	△	▲	△	△	△
市有地のみで平面駐車場が確保可能	・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・現庁舎敷地、分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	市有地以外で敷地確保など検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要
16	16	16	15	16	15	9

候補地案資料４

評価基準

評価視点	選定指標		評価基準		
			○：２点	△：１点	▲：０点
利便性	市街地からの距離		エリアの50%以上が市街地（ＤＩＤ地区）に属する。	エリアの中心が市街地（ＤＩＤ地区）まで2㎞圏内。	市街地から離れている。
	２車線道路との接道		市有地が２車線道路と接道している。	市有地が２車線道路と接道していない。	ー
	鉄道駅からの距離		エリアの中心からＪＲの駅までの距離が800ｍ以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からＪＲの駅までの距離が1,600ｍ以内（徒歩20分以内）、長良川鉄道の駅までの距離が800ｍ以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からＪＲの駅までの距離が1,600ｍ超（徒歩20分超）、長良川鉄道の駅までの距離が800ｍ超（徒歩10分超）
災害	浸水害	計画規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
		想定最大規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
	土砂災害		エリア全域で土砂災害の影響がない。	エリア内の一部に警戒区域が分布する。	エリア内の広域に警戒区域が分布する。
	液状化（南海トラフ地震）		エリア全域で液状化の影響がない。	エリアの50%未満に液状化の可能性がある。	エリアの50%以上に液状化の可能性がある。
	緊急輸送道路		第一次緊急輸送道路（高速道路の場合はＩＣ）がエリア内に整備されている。	第二次緊急輸送道路がエリア内に整備されている、または、エリアの中心から第一次緊急輸送道路まで1㎞圏内。	緊急輸送路道路がエリア内に整備されていない。
用地	市有地		エリア内に2.1ha以上の市有地がある。	エリア内に2.1ha未満の市有地がある。	エリア内に庁舎を建てられる規模の市有地がない。
	用途地域		庁舎建設に影響する用途制限なし。	ー	庁舎建設に影響する用途制限あり。
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		エリア内の市有地のみで平面駐車場（1.8ha）が確保できる。	エリア内の市有地では平面駐車場が確保できないが、立体駐車場の整備や周辺敷地（現在の職員駐車場）で駐車場が確保できる。	用地の取得が必要。

第3回市民ワークショップ意見
（「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」）

WS資料1

【STEP4　新庁舎の機能】　■第3回市民ワークショップでは、下記機能（例）や機能に関するご意見を出していただきました。そのご意見を「新庁舎の役割」ごとに整理しました。

新庁舎の役割：誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに 提供される

新庁舎の機能（例）
- 受けられる支援の情報が必要な人に届く仕組み
- 市外へ市の魅力を発信する仕組み
- 市へ伝えたいことを伝えられる機能（例：音声の自動文字起こしで聴取等）
- 市民の文化活動を紹介するような展示スペース
- オンラインの相談窓口
- プライバシーの保護
- 本庁舎より連絡所が機能充実
- 庁舎内の動線を明確にする
- 駐車場でイベント開催
- 新庁舎と図書館を一緒にする

機能に関する意見
- 議会が近い存在になる工夫（聞きやすい傍聴席・議員との面接・議場の有効活用等）
- 受けられる支援や仕組みの発信
- 必要な情報を各自が取りにいける機能・仕組み
- 市や、市民のこころのシンボルになるもの・建築
- 交通の便が良い新庁舎
- 他の施設との併設
- 市民の展示スペース
- 人が集まり、くつろげる広場
- リラックスできるカフェや勉強スペース
- 交流の場は既存施設を用いる／併設しない
- 自然がある
- イベント開催
- 相談にタイムリーに対応できる（人員配置の工夫・集約など）
- プライバシー保護の仕組み・工夫
- 相談の総合窓口・コンシェルジュ

新庁舎の役割：こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる

新庁舎の機能（例）
- 多言語対応 ／・ 視覚・聴覚障がい対応
- 子育て世代も利用しやすい（子どもの遊び場併設等）
- 高齢者も移動しやすく、わかりやすい
- ユニバーサルデザイン
- 誰もが気軽に利用できるスペース

機能に関する意見
- 連絡所や地域の核となる施設（学校等）での相談などの対応
- 外国の方の専用窓口
- 託児スペース
- 案内役コンシェルジュやタブレット
- どんな人でも行きたくなる・行きやすい
- 目的地に行きやすい工夫・動線
- 困りごとの相談ができる
- たらい回しされない
- 大人だけでなく、子供も集まり助けられる場所
- 小さい子供が遊べる場所
- 外国の方との交流の場

新庁舎の役割：災害時の拠点として、緊急時の対応ができる

新庁舎の機能（例）
- 災害対策本部
- 災害時に拠点として活用できる大きな駐車場
- 浸水対策
- FM放送局
- シェルター
- 災害時の電源確保

機能に関する意見
- 災害時、拠点として機能が発揮できる
- 他拠点・他地域と連携する仕組み
- 災害時活用できる広い敷地
- 避難場所・シェルターとしての活用
- インフラ（電気・水等）の確保
- 無線・衛星
- 災害時に安全な道路交通の確保
- その他防災対策（かまどベンチ・マンホールトイレ・テント等）
- 災害時の事業継続の計画（BCP）

新庁舎の役割：業務効率の向上につながる環境の充実

新庁舎の機能（例）
- 職員がストレスなく働けるよう、多目的な要素をいれる（休憩スペース・コンビニ・カフェ等）
- 横ぐし（部署間）の情報連携を取りやすくする
- リモートワークの導入

機能に関する意見
- 職員の求める庁舎環境
- 部・課を超えた連携のしくみ
- 機能の集約
- 職員も市民も利用できる食堂・コンビニ等
- 職員のリフレッシュになる機能・環境（休憩スペース・自然と共生した環境）
- 職員の教育・スキルアップ
- デジタル化に対応できる職員
- 業務のデジタル化（押印廃止・セキュリティ強化）

新庁舎の役割：環境の変化に対応できる庁舎

新庁舎の機能（例）
- リモートワークの導入

機能に関する意見
- フレキシブルに使える建築
- 50年100年先を想定して諸問題を考えたい
- SDGsの拠点・モデル化を通じて市内へ発展

新庁舎の役割：平日に働く人も頼りやすい

新庁舎の機能（例）
- 事前予約ができる、便利な相談窓口
- 起業相談
- 商工事業者と連携した機能

機能に関する意見
- 起業したい外国人の方への相談や説明窓口
- オンライン相談・書類確認

新庁舎の役割：申請等の手続きがオンラインでできる

新庁舎の機能（例）
- LINE等のSNSやホームページとの連携
- デジタル化と合わせた連絡所の活用
- デジタルが苦手な人も困らない仕組み（一緒にデジタルに慣れることができるスペース）
- オンライン申請（自宅でも申請可）

機能に関する意見
- オンライン相談・オンラインで書類確認
- デジタルになじめる機能・仕組
- リモートの活用による集約された窓口
- デジタルが苦手な人でも困らない機能・仕組み

新庁舎の役割：行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能（例）
- ワンフロアの総合窓口

機能に関する意見
- 全ての機能がコンパクトで一か所に集まっている。
- リフレッシュ機能は庁舎内でなく近くに設ける
- 連絡所について、各地域で対応できるように整備
- 市の負担がどれくらいになるのか見える化してほしい
- 建設費に対する財政計画

その他

- 市の魅力のPR ・PRを上手にする（アンテナショップなど）
- 美濃加茂のマークを作り特産物に貼る、庁舎にちりばめる
- 5年以上先の新庁舎を待たず、できるものは実現して

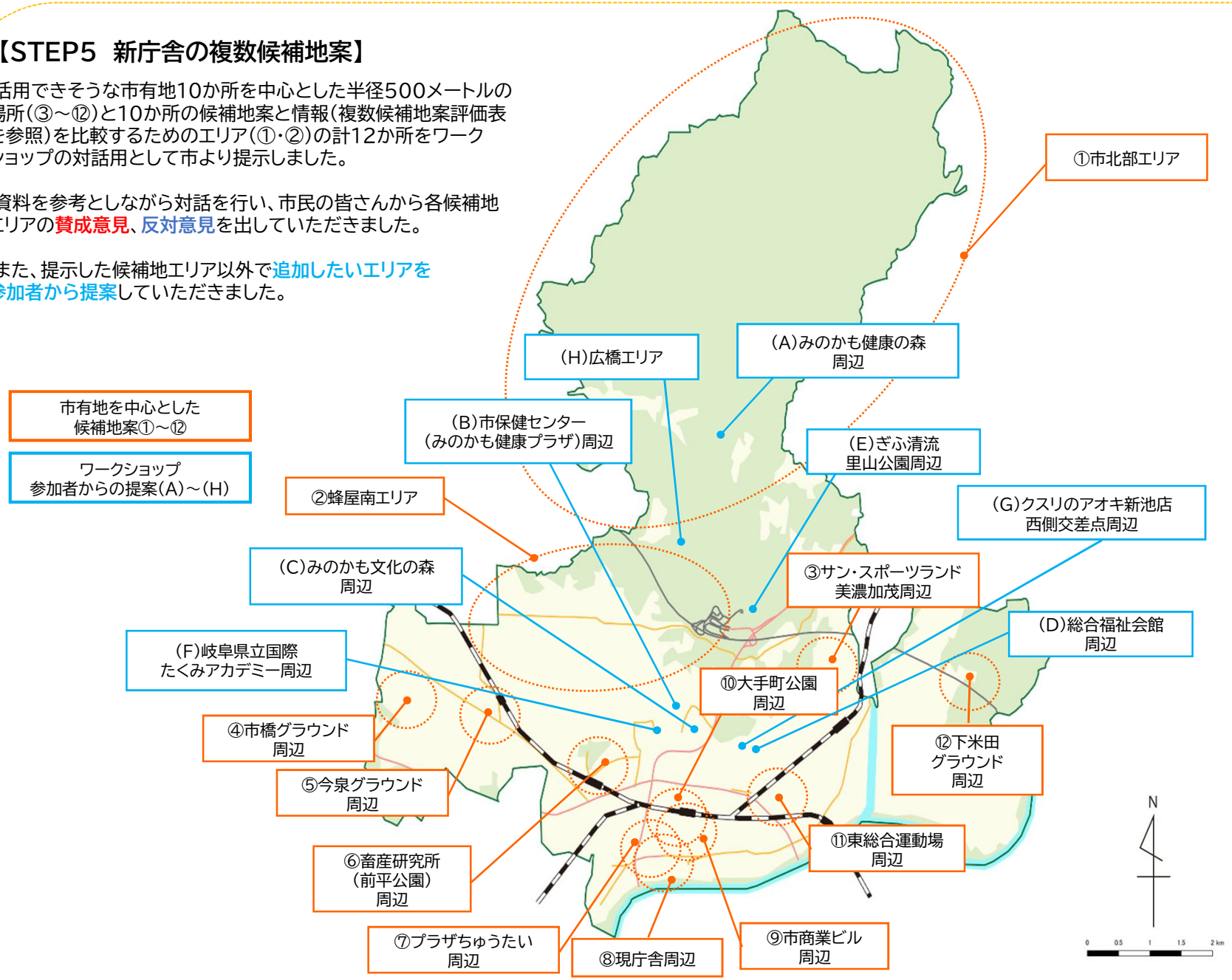
第3回市民ワークショップ　新庁舎の複数候補地案に対して出たご意見

【STEP5　新庁舎の複数候補地案】

◇活用できそうな市有地10か所を中心とした半径500メートルの場所(③～⑫)と10か所の候補地案と情報(複数候補地案評価表を参照)を比較するためのエリア(①・②)の計12か所をワークショップの対話用として市より提示しました。

◇資料を参考としながら対話を行い、市民の皆さんから各候補地エリアの**賛成意見**、**反対意見**を出していただきました。

◇また、提示した候補地エリア以外で**追加したいエリアを参加者から提案**していただきました。



WS資料2

■ワークショップ参加者のご意見　一覧(重複意見を除く)

番号	エリア	市民の意見
1	市北部エリア	〈賛成意見〉 ・田んぼが多く、土地が十分にある。(市有地ではないが。あまり北へは行かないあたりがよいのでは。) ・移住も見込める ・伊深地区(将来の人口減少による市町村合併を考えての立地) ・自然が豊かで森がみえるので、庁舎に行く度に心が癒される。 〈反対意見〉 ・設置場所を決めにくい ・土砂災害のリスクがあるのではないか？
2	蜂屋南エリア	〈賛成意見〉 ・土地が安く、大きく空いている。 ・地盤が硬く、液状化もしにくい。 ・浸水の心配がない。 ・人口増加も北へ移動しており、市の発展になる。 ・環境が良く、里山を体感できて里山千年構想とつながる。 ・緊急輸送道路や国道、高速道路が近く、交通の便が良い。 ・中部国際医療センターが近い。 ・堂上蜂屋柿のPR 〈反対意見〉 ・設置場所を決めにくい ・交通はあとから整備される ・新たに土地購入が必要 〈その他〉 ・ヤマザキマザックの周辺の農地はどうか？
3	サン・スポーツランド美濃加茂周辺	〈賛成意見〉 ・保健センターが近い。 ・高位段丘にあり、水害が少ない。 ・高速道路が近い。 ・市有地が広い。 ・放棄地の果樹園が多い。(買収しやすいのではないか。)
4	市橋グラウンド周辺	〈反対意見〉 ・敷地面積が狭い
5	今泉グラウンド周辺	〈賛成意見〉 ・平地で造成・建築費用を抑えることが出来る。 ・浸水や土砂崩れが少なく、災害の心配がない。 ・都市部を避ければ、災害時などに混乱しない。 ・今泉周辺は人口増加中(加茂野地区には1万人／5万5千人が住んでいる。) ・駅が近い(美濃太田駅から2駅でいける) ・穏やかな風景が広がっている。 〈反対意見〉 ・敷地面積が狭い。 ・今の中心部からは少し離れているのではないか？ ・土地が十分に確保できるだろうか？
6	畜産研究所(前平公園)周辺	〈賛成意見〉 ・市有地で広い敷地面積が確保できる →交流の拠点でも使いやすく、災害に強く、駐車場も十分に確保できる。 →敷地面積が確保できるから市役所機能を集約でき、仕事がしやすい。 ・災害対策一番重視。 ・道路整備もしやすい。 ・地盤が強固で高台のため、浸水害等の災害に強い。 ・中部国際医療センターや公園からも近いので、市の主要な施設が集約される。 ・自然環境が良い。 ・駅にも近くアクセスが良い。 ・輸送路が近く、災害時の対応に適している。 ・緑が多く、来訪者や職員が気持ちよく過ごせる。ストレスが減り、こころのゆとりが増す。 ・消防本部も移動できるほどの広さ。 ・中部国際医療センターに近い。 ・前平グラウンドを含む公園と一体化。 ・インターや工業団地が近いから、企業・産業支援もしやすいのでは。 ・公園やスポーツ施設があるエリアのため交流の拠点にもなる。 ・前平公園単独でも考えられるが、畜産研究所と一体的に市庁舎関連施設として整備することもできる。 〈反対意見〉 ・一部、液状化の可能性がある。 ・道が狭く、渋滞がひどいエリアなので避けたい場所。→道路の整備が必要・斜面なので造成費用心配。 ・国の道路を整備しない限りNO！交通量がものすごい。 ・公園がなくなると現在の利用者はさみしいと感じるだろう。 ・前平公園は都市公園なので、無くすとなると新たに公園を別の場所に作る必要がある。
7	プラザちゅうたい周辺	〈賛成意見〉 ・道路がきちんと整備されているし、人口も多くたくさんの人が行きやすい。 ・体育館も含めた複合施設になるといい。 ・災害を恐れるよりも普段の使いやすさを考えたい。 〈反対意見〉 ・現状、浸水害の影響あり、危険性が高い。
8	現庁舎周辺	〈賛成意見〉 ・現庁舎周辺の人が逃げ込める場所としての避難所の機能。 ・市有地があるので、買収の必要がない。 ・近くに病院があり、利便性が高い。 〈反対意見〉 ・浸水害の影響あり→災害対策本部としての機能を果たせるか心配。 ・駐車場面積が少なく確保しにくい。 ・交通が混雑。 〈その他〉 ・市合併時の各連絡所の充実を図る前提ならOK。 ・再建中の庁舎移転が可能かどうか？
9	市商業ビル周辺	〈賛成意見〉 ・交流の拠点として、駅が近いのはプラス ・買収の必要がない。 ・駅前の活性化。 ・ランドマーク的な高層ビル。駐車場や市役所スペースの他、賃貸スペースを取り企業などの誘致をするなど柔軟に活用する。 ・大型のコンベンション施設としても活用する。そのためにも駅に近い方が良い。 〈反対意見〉 ・狭いから駐車場が確保できない。 ・交流の拠点としては、今の状況をみると人が集まらないから難しい。 ・浸水害の影響あり、災害時に情報発信等の機能を発揮できないのでは ・道路拡張などの整備が必要 〈その他〉 ・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
10	大手町公園周辺	〈賛成意見〉 ・広い市有地の土地があるから、買収の必要がない。 ・道路からのアクセスが良く、駅に近い。市の真ん中。→多治見を参考に再開発を見越した開発をする。 ・商工会が近くにあり連携しやすい。 ・現庁舎周辺より標高が高く、災害が少ない ・利便性が高い。 ・コンパクトにすることで、小さな土地でも十分に収まるのではないか。 〈反対意見〉 ・駐車場が確保できるか？ ・美濃太田駅の再開発が必要ではないか？ ・災害の拠点には狭い。 ・駐車場の購入費用が心配である。 〈その他〉 ・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
11	東総合運動場周辺	〈賛成意見〉 ・利便性。 ・災害の危険性少ない。 ・広い市有地がある。 ・人口が多いので、便利になるといい。 〈反対意見〉 ・用途地域的に難しい。 ・交通量の増加が心配。 ・建物＋駐車場の確保は難しい。
12	下米田グラウンド周辺	〈賛成意見〉 ・自然豊かで庁舎に行く度に心が癒される。 ・里山千年構想とつながっている。 〈反対意見〉 ・市街地から離れすぎている。

■ワークショップ参加者のご意見　一覧（重複意見を除く）

番号	エリア	市民の意見
9＋10	9（市商業ビル周辺）＋10（大手町公園周辺	〈賛成意見〉 ・買収の必要がない。 ・広い土地があるから。
A	みのかも健康の森周辺	〈賛成意見〉 ・自然豊かな場所
B	市保健センター（みのかも健康プラザ）周辺	〈賛成意見〉 ・山だから土地代が安い。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。 ・市役所への相談が多い子育ての関連施設近くが良い。 ・保健センターが近い。 〈反対意見〉 ・市有地が無いので、新たな土地購入が必要。 〈その他〉 ・中部国際医療センターの北西部・マザック第二工場の北側が良い。 ・みのかも文化の森周辺が良い。 ・中部国際医療センター「以外」が良い。（絶対ダメ！）
C	みのかも文化の森周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センター付近である。 ・災害が少なく、利便性がたかく、医療も充実している。
D	総合福祉会館周辺	〈賛成意見〉 ・福祉会館に近い。 ・福祉関連の相談が多いので関連施設近くに。 〈反対意見〉 ・用途指定あり。 ・文教地区。

番号	エリア	市民の意見
E	ぎふ清流里山公園周辺	〈賛成意見〉 ・市街地から近く、利便性も悪くない。 ・美濃加茂のシンボル＝自然というイメージに一致している。 ・斜面のままの建物で良い。 ・自然との調和を大事にしたい。 ・自然豊かな場所。 ・SDGs、今は森の中に施設ができる時代。 ・ぎふ清流里山公園とのコラボで令和の楽市に。 ・ぎふ清流里山公園と駐車場の共用。 ・里山と庁舎の融合にチャレンジ。 ・ヤギを飼う。 ・ビオトープ。 ・中部国際医療センターやみのかも文化の森とEVの公共交通機関で結ぶ。 ・森や山と共生する里山の役場。 ・交通の要（東海環状道、R41）で周辺自治体と連携しやすい。 ・家族で行く身近な場所。 ・里山の役場。 ・低層階の木造建築 ・駅から遠くても公共交通を整備すれば良い。 〈反対意見〉 ・ぎふ清流里山公園自体は県の都市公園のため使用できない。 ・土地が十分にあるが、買収などの必要があるだろう
F	岐阜県立国際たくみアカデミー周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センターの横　幹線道路がある。 ・広い土地がたくさんありそう。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。
G	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺	〈賛成意見〉 ・土地が広い　田んぼなので土地代も安い　排水ができる ・ちょうど市の中心の場所なので、どこからでも行き来しやすい ・主要道路からのアクセスはよさそう。 〈反対意見〉 ・市の所有地ではないので、土地買収などにお金がかかる 〈その他〉 ・山之上町　クスリのアオキ北側の田んぼのエリア。 ・クスリのアオキ北側の林エリア

番号	エリア	市民の意見
H	広橋エリア	〈賛成意見〉 ・自然がある。

WS資料３

ワークショップ参加者から提案された候補地案評価表

			A みのかも健康の森 周辺	B 市保健センター （みのかも健康 プラザ） 周辺	C みのかも文化の森 周辺	D 総合福祉会館 周辺
総合評価 ○：１５点以上 △：１０～１４点 ▲：　９点以下			○ ・市街地及び鉄道駅から離れている ・液状化の危険性がある ・緊急輸送道路から離れている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	△ ・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響はないが、液状化の危険性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	▲ ・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	△ ・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の可能性がある ・緊急輸送道路から離れている ・駐車場の確保の検討が必要
利便性	市街地（ＤＩＤ地区）からの距離		▲ 市街地から離れている	△ 市街地周辺	△ 市街地周辺	○ 市街地
	２車線道路との接道		○ 県道３４８号（山之上古井線）と接道している	○ 市道井口石橋線、市道矢田３１０号線と接道している	○ 市道石塚３４７号線と接道している	△ 市道山手線から離れている
	鉄道駅からの距離		▲ 離れている	△ 美濃太田駅から1600m圏内	△ 美濃太田駅から1600m圏内	△ 美濃太田駅から1600m圏内
災害	浸水害	計画規模降雨	○ 影響なし	○ 影響なし	△ 一部影響あり 加茂川	△ 一部影響あり 加茂川
		想定最大規模降雨	○ 影響なし	○ 影響なし	△ 一部影響あり 加茂川	△ 一部影響あり 加茂川
	土砂災害		○ 影響なし	○ 影響なし	△ 警戒区域が一部あり	△ 警戒区域が一部あり
	液状化 （南海トラフ地震）		△ 一部で可能性あり	▲ 広域で可能性あり	▲ 広域で可能性あり	△ 一部で可能性がある
	緊急輸送道路		▲ 離れている	○ 整備されている（１次道路）	○ 整備されている（１次道路）	△ 整備されている（１次道路から1km圏内）
用地	市有地		○ ・みのかも健康の森（約40,000㎡） ・みのかも健康の森は市有地のみではない ・入口付近は市有地ではないため、用地取得が必要	△ ・市保健センター（みのかも健康プラザ）は市有地のみではない ・周辺にある市有地：中部台パーク（約6,000㎡） ・中部台パークを活用する場合でも用地取得は必要	▲ ・市有地なし ・用地取得が必要	△ 総合福祉会館（約17,000㎡）
	用途地域		○ 無指定地域	▲ 第二種低層住居専用地域、第二種住居地域 ※一部建設不可の地域あり	▲ 無指定地域、第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、特定用途制限地域 ※一部建設不可の地域あり	▲ 第二種中高層住居専用地域 ※床面積が1,500㎡を超えるものは建設不可
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		○ 市有地のみで平面駐車場が確保可能	△ ・中部台パークを活用する場合でも立体駐車場など検討が必要 ・中部台パーク以外で駐車場を確保する場合は用地確保の検討が必要	▲ 用地取得が必要	△ ・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保の検討が必要
評価点			15	14	9	11

※評価基準の△・▲は、新庁舎建設の際に配慮（費用、時間等）が必要になる可能性があることを示したものであり、建設できないことを表すものではありません。

E ぎふ清流里山公園 周辺	F 岐阜県立国際 たくみアカデミー 周辺	G クスリのアオキ 新池店 西側交差点周辺	H 広橋エリア
△	○	▲	▲
・市街地及び鉄道駅から離れている ・液状化の危険性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・液状化の可能性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の可能性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	・市街地及び鉄道駅から離れている ・土砂災害、液状化の可能性がある ・緊急輸送道路から離れている ・庁舎を建てられる市有地がない
▲	△	△	▲
市街地からやや離れている	市街地周辺	市街地周辺	市街地からやや離れている
○	○	△	△
国道４１８号線と接道している	市道矢田３１０線と接道している	場所が決まっていないため	場所が決まっていないため
▲	△	△	▲
離れている	美濃太田駅から1600m圏内	美濃太田駅から1600m圏内	離れている
○	○	△	○
影響なし	影響なし	一部影響あり 加茂川	影響なし
○	○	△	○
影響なし	影響なし	一部影響あり 加茂川	影響なし
○	○	△	△
影響なし	影響なし	警戒区域が一部あり	警戒区域が一部あり
▲	△	△	△
全域で可能性あり	一部で可能性がある	一部で可能性がある	一部で可能性がある
○	○	○	▲
整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	整備されている（１次道路）	離れている
▲	▲	▲	▲
・市有地なし ・用地取得が必要	・市有地なし ・用地取得が必要	・市有地なし ・用地取得が必要	・市有地なし ・用地取得が必要
○	○	▲	○
無指定地域、特定用途制限地域	無指定地域、第二種住居地域、工業地域、工業専用地域	無指定地域、第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、近隣商業地域、特定用途制限地域 ※一部建設不可の地域あり	無指定地域
▲	▲	▲	▲
用地取得が必要	用地取得が必要	用地取得が必要	用地取得が必要
12	15	9	9

7.4 候補地の可能性調査結果

7.4 候補地の可能性調査結果

市民ワークショップや市民アンケート結果にもとづき選定された4候補地周辺における庁舎建設の可能性を調査しました。

調査では候補地周辺の土地利用状況等の把握、庁舎建設に係る諸条件の整理、土地利用計画の作成や概算事業費の算出を行いました。

4候補地は以下の通りです。なお、①現庁舎周辺と②プラザちゅうたい周辺は立地特性から各 2 パターンの整備内容について取りまとめ、合計 4 候補地 6 パターンの整備内容について調査を行いました。

<table>
<tr><td colspan="2">①現庁舎周辺</td><td colspan="2">②プラザちゅうたい周辺</td><td rowspan="2">③畜産研究所周辺</td><td rowspan="2">④大手町公園周辺</td></tr>
<tr><td>A 建替え</td><td>B リノベーション</td><td>A 庁舎単体</td><td>B 体育館との複合</td></tr>
</table>

※「①現庁舎周辺 A 建替え」は現庁舎(本館・西館)・分庁舎を解体し、現庁舎(本館・西館)敷地内で建替えを行う計画。

※「①現庁舎周辺 B リノベーション」は現庁舎(本館・西館)を耐震補強した上で活用し、不足する面積分を敷地内に増築する計画。

※「②プラザちゅうたい周辺 A 庁舎単体」は現プラザちゅうたいを解体し、体育館機能は移設することを前提に、敷地内に庁舎のみを新築する計画。

※「②プラザちゅうたい周辺 B 体育館との複合」は現プラザちゅうたいを解体し、庁舎機能と体育館機能が一体となった複合施設を敷地内に新築する計画。

次項より調査結果をもとに作成した4候補地の情報資料を掲載します。

みんなの新庁舎　４候補地の情報資料

令和6年11月27日作成

美濃加茂市では、令和５年度を通して市民ワークショップや市民アンケートを経て新庁舎整備における４つの候補地を選定しました。
今年度、４候補地の新庁舎整備可能性調査を行いました。本資料は調査結果をもとに作成されており、この資料を参考に整備地を選定します。
今回のタウンミーティングでは、整備地を決めるための情報として、市民のみなさんと対話し、各候補地のメリット、デメリットを一緒に共有しましょう。

美濃加茂市
新庁舎整備情報サイト

１．令和５年度に市民から寄せられた候補地に対する主な意見

❶ 第３回市民ワークショップ（令和５年１２月実施）

現庁舎 周辺	〈賛成意見〉 ①　現庁舎周辺の人が逃げ込める場所としての避難所の機能。 ②　市有地があるので、用地買収の必要がない。
	〈反対意見〉 ①　浸水害の影響あり。 　→災害対策本部としての機能を果たせるか心配。 ②　駐車場面積が小さく、駐車台数が確保しにくい。
プラザ ちゅうたい 周辺	〈賛成意見〉 ①　道路がきちんと整備されているし、人口も多くたくさんの人が行きやすい。 ②　体育館も含めた複合施設になるとよい。
	〈反対意見〉 ①　現状、浸水害の影響がある。
畜産研究所 （前平公園） 周辺	〈賛成意見〉 ①　市有地で広い敷地面積が確保できる。 ②　高台のため、浸水害に強い。 ③　中部国際医療センターや公園から近い。
	〈反対意見〉 ①　道が狭く、渋滞がひどいエリアなので避けたい場所。 　→道路の整備が必要。 ②　斜面なので造成費用が心配。
大手町公園 周辺	〈賛成意見〉 ①　道路からのアクセスが良く、駅に近い。利便性が高い。
	〈反対意見〉 ①　駐車場が確保しにくい。 ②　防災の拠点には狭い。

車でのアクセスのよさが共通理由

❷ ４,０００人市民アンケート（令和６年２月実施）４候補地の選択理由

現庁舎 周辺	１位.車でのアクセスがよい ２位.公共交通機関による アクセスがよい ３位.用地が確保しやすい （市有地等）	畜産研究所 （前平公園） 周辺	１位.用地が確保しやすい （市有地等） ２位.車でのアクセスがよい ３位.災害（浸水害）に強い
プラザ ちゅうたい 周辺	１位.車でのアクセスがよい ２位.公共交通機関による アクセスがよい ３位.人が集いやすい	大手町公園 周辺	１位.公共交通機関による アクセスがよい ２位.車でのアクセスがよい ３位.人が集いやすい

（対象：美濃加茂市在住の満15歳以上のうち4,000人）

２．新庁舎に必要な延床面積

基本の面積は9,500㎡

❶ 庁舎

新庁舎は、現庁舎（本館・西館）・分庁舎を統合した規模を想定します。
２つの国の基準※に現庁舎（本館・西館）および分庁舎の職員数を照らし合わせると、約９,０００㎡の面積が庁舎に必要となります。
ただし、９,０００㎡には、これまでの検討の中で市民のみなさんからご意見をいただいた「市民交流スペース」や「多目的スペース」等の面積は含まれていません。今後の検討のため、余剰施設等として５００㎡（本館１フロアの執務スペース程度）を加算した、９,５００㎡を基本の規模とします。

また、各候補地に次の内容を加算します。
① 庁舎建物１階または地下部分に駐車場を設ける場合、駐車場から庁舎内への付属施設（階段、エレベーターなど）として２００㎡を加算します。
② プラザちゅうたい敷地では、隣接する中央図書館が東図書館へ統合を検討する時期となっていることから、地域の図書コーナーとして２００㎡を加算します。
③ プラザちゅうたい敷地で体育館機能を複合させる場合、体育館＋専用エントランスに必要な面積として６,０００㎡を加算します。

※国土交通省及び総務省の基準

庁舎面積内訳(㎡)		現庁舎	ちゅうたい	ちゅうたい (複合)	畜産研究所	大手町公園
庁舎	庁舎	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
	駐車場からのアクセス	200	200	200	-	200
	図書コーナー	-	200	200	-	-
	小計	9,700	9,900	9,900	9,500	9,700
体育館(複合)		-	-	+6,000	-	-

❷ 駐車場

約570台分必要

新庁舎に想定する**必要駐車台数（来庁者用及び公用車、職員用）は合計約５７０台**です。
すべて平面駐車場で確保する場合、面積は約１.４ｈａ必要となります。
プラザちゅうたいにおいて、体育館機能を複合させる場合、体育館利用者の駐車場として、追加で１６０台程度が必要となります。
駐車場は敷地内で確保ができない場合、立体駐車場の建設や、候補地から半径５００ｍ圏内での確保を検討します。（借地の場合もあり）

用語の解説

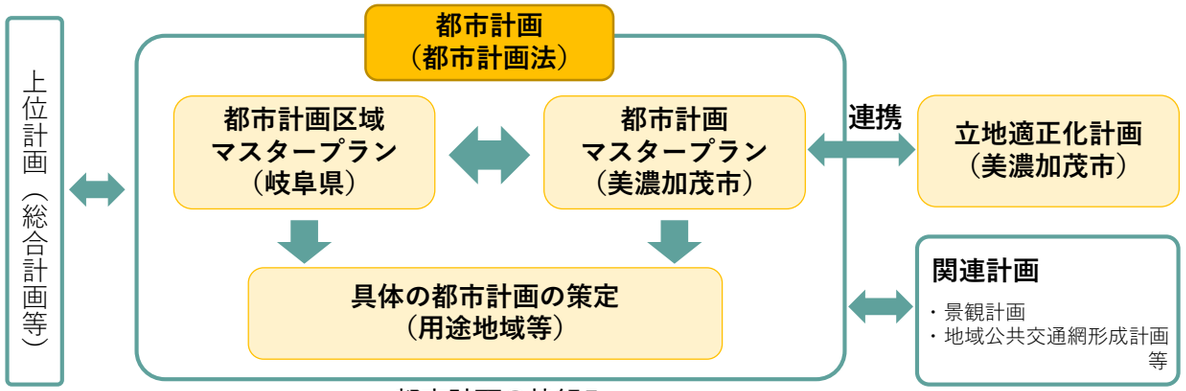
1．都市計画

❶ 都市計画とは

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために策定される計画で、「土地利用」、「都市施設」及び「市街地開発事業」に関する計画を都市計画マスタープラン（右の説明参照）に基づいて総合的・一体的に定めることにより、市民が「安全で、住みやすく、働きやすい都市」をめざして策定するものです。

❷ 都市計画法とは

都市計画を実現するために都市計画の内容及びその手続、都市計画制限、都市計画事業、その他都市計画に関し必要な事項を定めています。



都市計画の枠組み

2．立地適正化計画

美濃加茂市
立地適正化計画

❶ 立地適正化計画とは

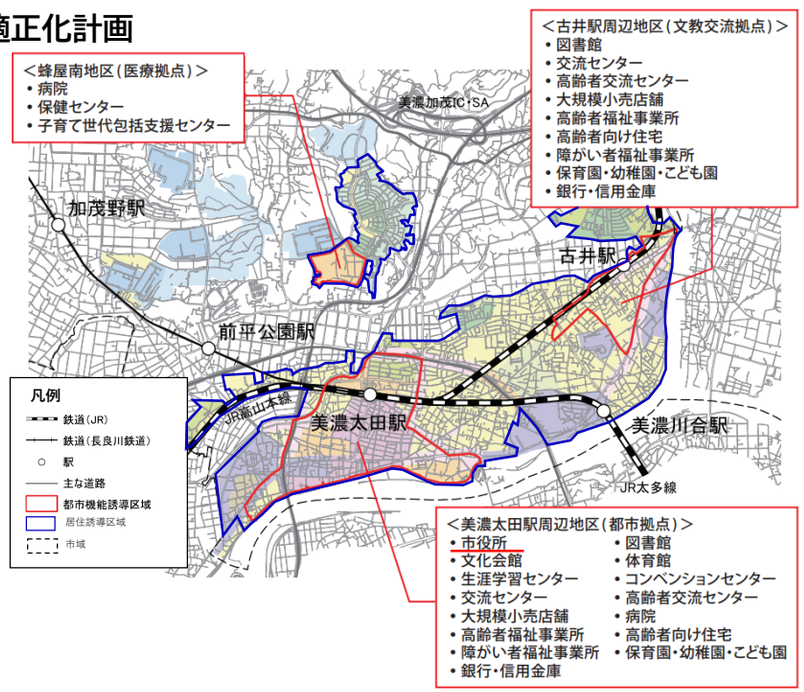
「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基づき、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとするあらゆる世代の住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等に容易にアクセスできるよう誘導するための計画です。

計画的に施設を誘導するために、集約化を図る区域（**都市機能誘導区域**）および居住を誘導して、生活サービスや地域コミュニティの維持・確保を図る区域（**居住誘導区域**）を設定します。

❷ 美濃加茂市における立地適正化計画

美濃加茂市では、美濃太田駅周辺、古井駅周辺、蜂屋南地区の３エリアを「都市機能誘導区域」に位置づけ、都市の活力（にぎわい・回遊性など）を向上させる機能を備えた都市拠点となることを目指しています。現行の計画では、市役所は美濃太田駅周辺地区に誘導することとしています。

新庁舎を都市機能誘導区域外に建設する場合、立地適正化計画の変更・見直しを検討することとなり、時間と労力がかかります。



3．都市計画マスタープラン

美濃加茂市都市計画
マスタープラン

❶ 都市計画マスタープランとは

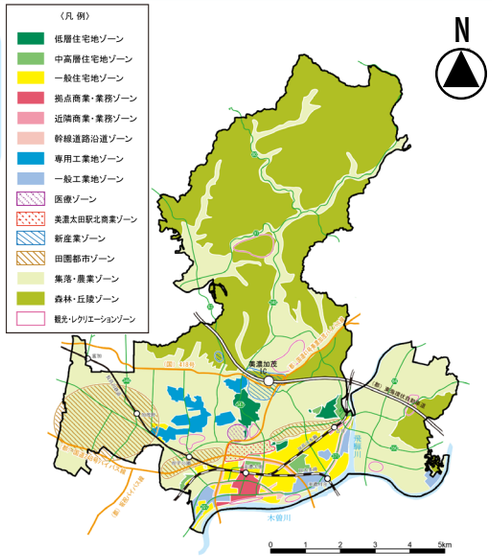
市の将来像や整備方針を明確にして、行政と市民や団体がそれらを共有しながら実現していくことを定めた、市の都市計画に関する基礎的な方針となるもので、都市計画法に基づき作成されます。

現計画では「みんな笑顔で、安全・安心、健康に暮らすことができるまち～みんなの夢がかなう、堂々、美濃加茂～」をまちづくりの目標としています。

❷ 土地利用の方針

都市計画マスタープランにおいて、「ゾーン」を設定し、市域全体の土地利用の方針を定めています。

活力とにぎわいづくりにつながる商業施設や事業所が集まったゾーンである「拠点商業・業務ゾーン」は現庁舎を含む、中心市街地周辺に設定されています。



土地利用方針図

4．用途地域

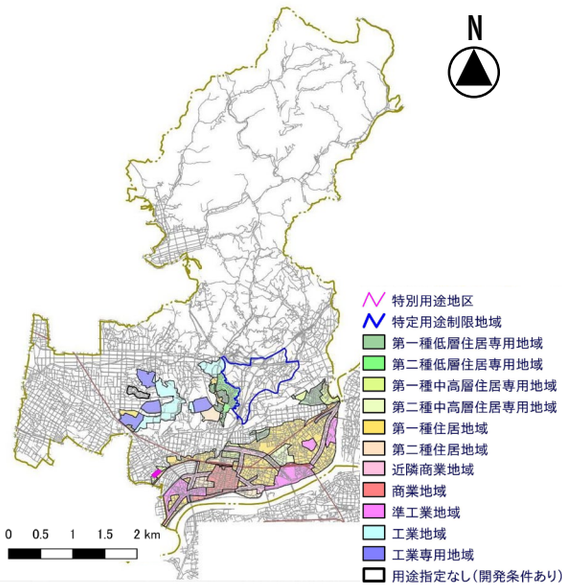
❶ 用途地域とは

計画的な市街地を形成するために、建築できる建物の種類や用途の制限を定めた地域です。

美濃加茂市では、市南部を中心に１１の用途地域の他、特別用途地区（用途地域に重ねて地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護などの実現を図る地区）と特定用途制限地域（用途地域が定められていない区域の良好な環境を形成・保持するための区域）が指定されています。

❷ 庁舎を建てられる地域

建築基準法により、各用途地域に建築可能な建物用途が定められています。庁舎は第二種住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域および用途地域指定のない区域の７つの地域区分で建設可能です。



都市計画総括図（用途地域等の指定状況）

5．公共施設等総合管理計画

美濃加茂市
公共施設等
総合管理計画

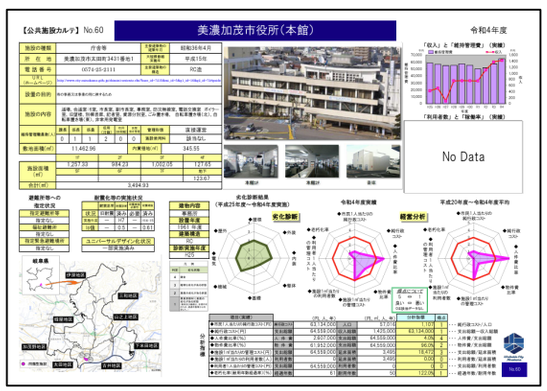
❶ 公共施設等総合管理計画とは

公共施設等総合管理計画とは、公共施設及びインフラ施設を総合的・長期的な視点をもって管理・更新していくための基本的な考え方を取りまとめたものです。

❷ 公共施設の総数・総量削減の３大方針

以下の3大方針に基づき、可能な限り公共施設の総数･総量削減を図ります。

- 原則として更新以外の新規整備（建設）は行わない
- 建替え時は統合･複合化を検討し、施設の総数を圧縮する
- 施設の総量（延床面積）は現況以上に増やさない



公共施設カルテ（現庁舎本館）

4 候補地の事業費・比較評価表

令和6年11月27日作成

※各候補地の詳細情報は5ページ以降

新庁舎の役割

令和5年度に決定した「新庁舎の役割」との整合を評価

新庁舎の役割との整合性		①現庁舎周辺 A. 建替え	①現庁舎周辺 B. リノベーション	②プラザちゅうたい周辺 A. 庁舎単体	②プラザちゅうたい周辺 B. 体育館との複合	③畜産研究所周辺	④大手町公園周辺
総合評価		○	△	○	○	○	○
	評価点 ○:2点 △:1点 ▲:0点	15/16	10/16	15/16	15/16	14/16	15/16
安心	誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される	○	△	○	○	○	○
		現庁舎および分庁舎の機能が1棟に集約され、スムーズにサービスを提供可能。	分棟(4棟)型となるため、庁内の移動が複雑になり、スムーズにサービスを受けることが困難。	現庁舎および分庁舎の機能が1棟に集約され、スムーズにサービスを提供可能。	現庁舎および分庁舎の機能が1棟に集約され、スムーズにサービスを提供可能。	現庁舎および分庁舎の機能が1棟に集約され、スムーズにサービスを提供可能。	現庁舎および分庁舎の機能が1棟に集約され、スムーズにサービスを提供可能。
	こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	○	△	○	○	△	○
		バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた庁舎を計画可能。	分棟(4棟)型となるため、庁内の移動が複雑になり、分かりにくい。	バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた庁舎を計画可能。	バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた庁舎を計画可能。	山手線からのアクセス道路のバリアフリー対応が困難	バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた庁舎を計画可能。
	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	△	△	△	△	○	△
		想定浸水深(計画規模・木曽川)が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	想定浸水深(計画規模・木曽川)が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	想定浸水深(計画規模・木曽川)が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	想定浸水深(計画規模・木曽川)が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	災害リスク(浸水、液状化等)が低い。	想定浸水深(計画規模・加茂川)が0m～3.0mのため、浸水害対策が必要。
	業務効率の向上につながる職場環境の充実	○	△	○	○	○	○
		1棟のため、機能が集約され、業務の効率化につながる。	分棟(4棟)型となるため、庁内の移動に時間がかかる。	1棟のため、機能が集約され、業務の効率化につながる。	1棟のため、機能が集約され、業務の効率化につながる。	1棟のため、機能が集約され、業務の効率化につながる。	1棟のため、機能が集約され、業務の効率化につながる。
未来	環境の変化に対応できる庁舎	○	△	○	○	○	○
		レイアウト変更等が行いやすい庁舎を計画可能。	現庁舎は既存の柱スパンにより、レイアウト変更に制限がある。	レイアウト変更等が行いやすい庁舎を計画可能。	レイアウト変更等が行いやすい庁舎を計画可能。	レイアウト変更等が行いやすい庁舎を計画可能。	レイアウト変更等が行いやすい庁舎を計画可能。
	平日に働く人も頼りやすい	○	○	○	○	○	○
		候補地によらないため全て○とする					
	申請等の手続きがオンラインでできる	○	○	○	○	○	○
		候補地によらないため全て○とする					
	行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎	○	△	○	○	△	○
		現庁舎および分庁舎の機能を1棟に集約可能。大規模な造成等の必要がない。	分棟(4棟)型となるため、行政機能が分散される。	現庁舎および分庁舎の機能を1棟に集約可能。大規模な造成等の必要がない。	現庁舎および分庁舎の機能を1棟に集約可能。大規模な造成等の必要がない。	造成・道路工事が必要であり、他候補地と比べて事業費が高くなる。	現庁舎および分庁舎の機能を1棟に集約可能。大規模な造成等の必要がない。

凡例 ○:役割との整合性が期待できる
△:役割との整合性に少し課題がある
▲:役割との整合性に大きな課題がある

事業費

		①現庁舎周辺 A. 建替え	①現庁舎周辺 B. リノベーション	②プラザちゅうたい周辺 A. 庁舎単体	②プラザちゅうたい周辺 B. 体育館との複合	③畜産研究所周辺	④大手町公園周辺
総事業費		○	○	○	○	△	○
		71.1億円	48.0億円	78.9億円※3	78.6億円※4 (109.2億円)	111.1億円	83.9億円※5
建築	建築工事費(RC造で免震構造の場合) ※1	60.1億円	44.6億円	62.7億円	62.7億円 (91.2億円)	65.4億円	65.3億円
	新庁舎設計・調査・工事監理費	5.2億円	3.4億円	5.4億円	5.4億円 (7.5億円)	5.6億円	5.2億円
	既存建物解体費 ※2	2.6億円 現庁舎・分庁舎	–	5.0億円 現庁舎・分庁舎・プラザちゅうたい・図書館	5.0億円 現庁舎・分庁舎・プラザちゅうたい・図書館	2.6億円 現庁舎・分庁舎	2.6億円 現庁舎・分庁舎
	立体駐車場整備費 ※2	–	–	–	–	–	8.7億円 351台分
	小計	67.9億円	48.0億円	73.1億円	73.1億円 (103.7億円)	73.6億円	81.8億円
造成・インフラ	用地取得・補償	–	–	–	–	2.4億円	–
	造成費 ※2	3.2億円	–	5.8億円	5.5億円	28.0億円	2.1億円
	道路整備費 ※2	–	–	–	–	7.1億円	–
	小計	3.2億円	–	5.8億円	5.5億円	37.5億円	2.1億円

(参考)

(維持管理費(30年))	維持管理費(運営費を除く)	37.1億円	34.7億円 ※6	37.6億円	37.6億円 (62.3億円)	36.7億円	37.1億円
	駐車場管理・借地料	4.3億円	3.3億円 ※6	2.4億円	2.5億円 (4.7億円)	–	12.2億円
	計	41.4億円	38.0億円 ※6	40.0億円	40.1億円 (67.0億円)	36.7億円	49.3億円

※1 ＲＣ造とは、鉄筋コンクリート構造の略で、柱や梁などの主要構造部に鉄筋とコンクリートを組み合わせた建築構造です。
免震構造とは、建物と地盤の間に免震装置を設けて、地震時に免震装置が自身の揺れを吸収することで建物自体の揺れを軽減する技術です。
※2 設計・調査・工事監理に関わる費用を含みます。
※3 プラザちゅうたいの建築工事費として約３７.８億円が別途必要となります。
※4 （ ）内の金額は複合建物全体の事業費となります。
※5 代替公園の整備費として約２億円と用地取得費用が必要となります。
※6 建物の残存耐用年数が２０年程度であるため、維持管理費も２０年間としています。

※ 令和６年度現在の単価で算出しているため、今後の物価上昇等によって金額が変更となる場合があります

4 候補地の比較・評価表

令和6年11月27日作成

※各候補地の詳細情報は5ページ以降

比較評価

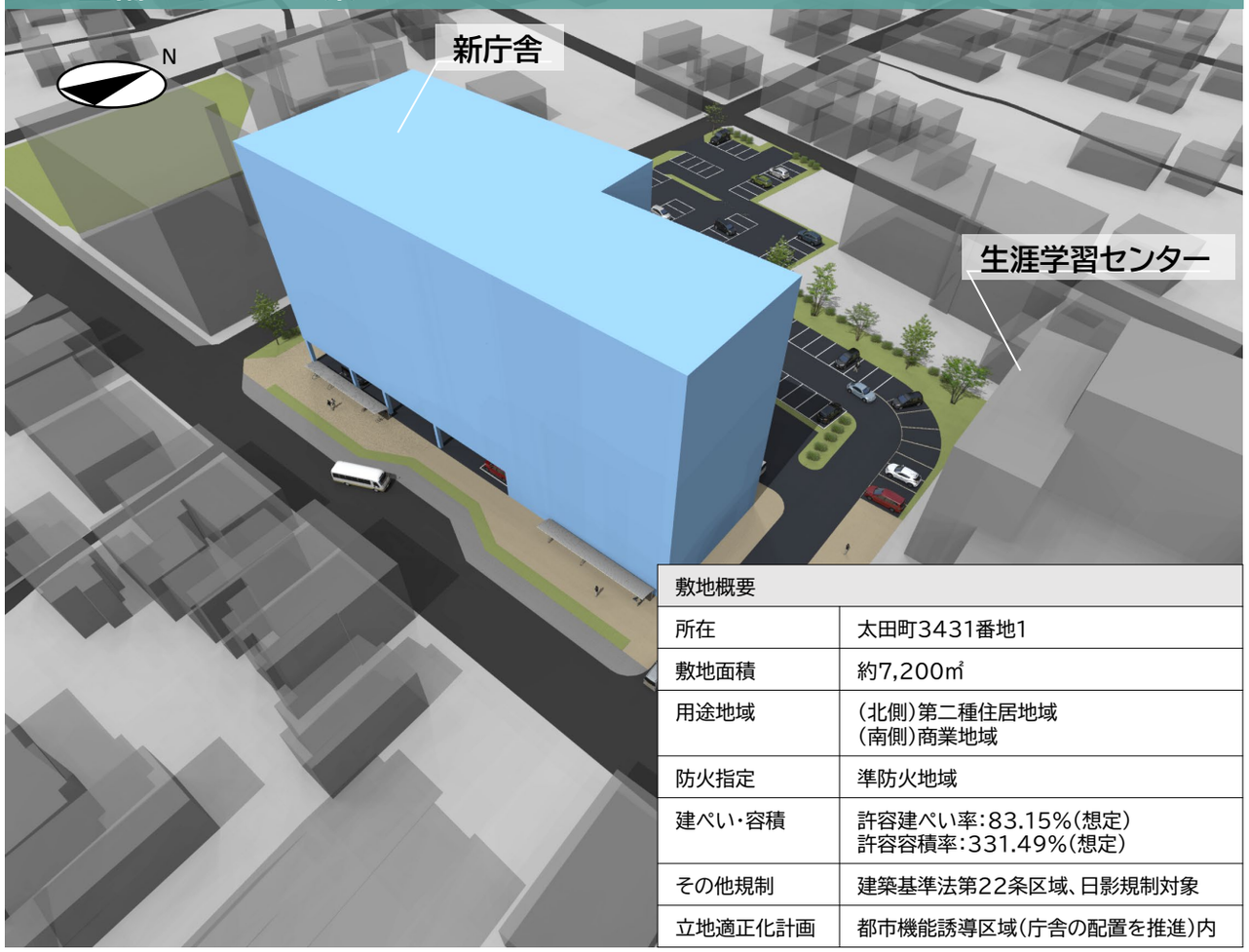
		①現庁舎周辺 A. 建替え	①現庁舎周辺 B. リノベーション	②プラザちゅうたい周辺 A. 庁舎単体	②プラザちゅうたい周辺 B. 体育館との複合	③畜産研究所周辺	④大手町公園周辺
評価点合計		41 /46	32 /46	42 /46	40 /46	33 /46	37 /46
新庁舎の役割		15	10	15	15	14	15
概算事業費		○	○	○	○	△	○
計画性（まちづくりとの整合性）	都市計画法	○ ・都市計画マスタープランにおいて、拠点商業・業務ゾーン内に位置する。	○ ・都市計画マスタープランにおいて、拠点商業・業務ゾーン内に位置する。	○ ・都市計画マスタープランにおいて、一般住宅地ゾーン内に位置する。	○ ・都市計画マスタープランにおいて、一般住宅地ゾーン内に位置する。	△ ・都市計画マスタープランにおいて、集落・農業ゾーンに位置する。都市計画マスタープランを変更する可能性がある。 ・都市計画法第29条開発許可申請を要する。	○ ・都市計画マスタープランにおいて、拠点商業・業務ゾーン内に位置する。
	用途地域	○ ・都市計画区域内商業地域および第二種住居地域に位置する。	○ ・都市計画区域内商業地域および第二種住居地域に位置する。	○ ・都市計画区域内近隣商業地域および第二種住居地域に位置する。	○ ・都市計画区域内近隣商業地域および第二種住居地域に位置する。	○ ・都市計画区域内無指定地域に位置する。	○ ・都市計画区域内第二種住居地域に位置する。
	立地適正化計画 ※市役所は誘導施設	○ ・都市機能誘導区域内に位置する。	○ ・都市機能誘導区域内に位置する。	○ ・都市機能誘導区域内に位置する。	○ ・都市機能誘導区域内に位置する。	▲ ・都市機能誘導区域外に位置するため、立地適正化計画の変更が必要。	○ ・都市機能誘導区域内に位置する。
	公共施設等総合管理計画	○ ・本館、西館、分庁舎を統合可能。	▲ ・必要規模の確保には新館の建設が必要であり、公共施設が増加する。	○ ・本館、西館、分庁舎を統合可能。	○ ・本館、西館、分庁舎およびプラザちゅうたい（築52年）を統合可能。	○ ・本館、西館、分庁舎を統合可能。	○ ・本館、西館、分庁舎を統合可能。
利便性（市民サービスの向上）	2車線道路の確保	○ ・既存有（2車線片側歩道有）	○ ・既存有（2車線片側歩道有）	○ ・既存有（2車線両側歩道有）	○ ・既存有（2車線両側歩道有）	▲ ・敷地への接道道路が無いため、道路工事が必要	○ ・既存有（2車線両側歩道有）
	駐車場台数	△ ・必要駐車台数567台を確保可能（敷地外駐車場含む） 敷地内駐車場（平面）：130台 敷地外駐車場　　：437台 （追加借地必要なし）	△ ・必要駐車台数567台（分庁舎含む）を確保可能（敷地外駐車場を含む） 敷地内駐車場（平面）：104台 敷地外駐車場　　：402台 分庁舎駐車場　　：61台 （追加借地必要なし）	△ ・必要駐車台数567台を確保可能（敷地外駐車場含む） 敷地内駐車場（平面）：275台 敷地外駐車場　　：292台 （追加借地必要なし）	△ ・必要駐車台数730台を確保可能（敷地外駐車場含む） 敷地内駐車場（平面）：261台 敷地外駐車場　　：469台 （追加借地必要なし）	○ ・必要駐車台数567台を確保可能 敷地内駐車場（平面）：657台	△ ・必要駐車台数567台を確保可能（敷地外駐車場含む） 敷地内駐車場（平面）：89台 敷地内駐車場（立体）：351台 敷地外駐車場（借地）：127台
	交差点対策	○ ・現況の道路形状で問題なし。	○ ・現況の道路形状で問題なし。	○ ・現況の道路形状で問題なし。	○ ・現況の道路形状で問題なし。	△ ・前平公園駅北交差点において、朝のピーク時に最大55mの右折渋滞ができるため、交差点改良が必要。	○ ・現況の道路形状で問題なし。
安全性（災害等への安心・安全の確保）	浸水害対策	▲ ・想定浸水深（計画規模・木曽川）が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	▲ ・想定浸水深（計画規模・木曽川）が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	▲ ・想定浸水深（計画規模・木曽川）が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	▲ ・想定浸水深（計画規模・木曽川）が0.5m～3.0mのため、浸水害対策が必要。	○ ・浸水害のハザード指定なしのため、浸水害対策不要。	▲ ・想定浸水深（計画規模・加茂川）が0m～3.0mのため、浸水害対策が必要。
	液状化	○ ・液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。	○ ・液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。	○ ・液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。	○ ・液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。	○ ・地質調査の結果により液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。	○ ・液状化の可能性は極めて低いため、液状化対策不要。
実現性（法規制、整備の難易度）	建築基準法	△ ・敷地北側の第二種住居地域は日影規制の対象となり、建設可能範囲が限られる。	▲ ・敷地北側の第二種住居地域は建築基準法による日影規制の対象となり、建設可能範囲が限られる。 ・現庁舎は既存不適格であるため、増築や大規模修繕を行う場合は既存不適格の解消が必要。	○ ・敷地北側の近隣商業地域は建築基準法による日影規制の対象となり、建設可能範囲が限られるが、庁舎面積に対して敷地面積が大きいため、課題とならない。	△ ・敷地北側の近隣商業地域は建築基準法による日影規制の対象となる。敷地面積に対して、複合施設に必要な面積が大きいため、建設可能範囲が限られる。	○ ・用途地域無指定地域で日影規制の対象となるが、庁舎面積に対して敷地面積が大きいため、課題とならない。	△ ・第二種住居地域は建築基準法による日影規制の対象となり、庁舎面積に対して敷地面積が小さいため、建設可能範囲が限られる。
	仮設庁舎の必要性	○ ・敷地内駐車場での新築のため、仮設庁舎不要。（敷地外での駐車場確保が必要）	○ ・新棟増築の場合、新棟と既存棟を活用することで仮設庁舎不要	○ ・現庁舎と別敷地での新築のため、仮設庁舎不要。	○ ・現庁舎と別敷地での新築のため、仮設庁舎不要。	○ ・現庁舎と別敷地での新築のため、仮設庁舎不要。	○ ・現庁舎と別敷地での新築のため、仮設庁舎不要。
	用地確保	○ ・用地確保の必要なし。	○ ・用地確保の必要なし。	○ ・用地確保の必要なし。	○ ・用地確保の必要なし。	▲ ・庁舎へのアクセス道路新設および既存道路の交差点改良のため、用地確保が必要。	○ ・用地確保の必要なし。
	都市公園法	○ ・現在、公共施設用用地のため対象外	○ ・現在、公共施設用用地のため対象外	○ ・現在、公共施設用用地のため対象外	○ ・現在、公共施設用用地のため対象外	○ ・現在、公共施設用用地のため対象外	▲ ・現在、都市計画公園のため、同規模の代替公園の用地確保・整備（整備費：約2.0億円）および、都市計画の変更手続きが必要。
想定スケジュール		○ 令和12年度供用開始想定	△ 令和13年度供用開始想定	○ 令和12年度供用開始想定	△ 令和13年度供用開始想定	▲ 令和14年度以降供用開始想定	▲ 令和14年度以降供用開始想定
その他事項		・駐車場は令和14年度完成想定。 ・再建替え時は敷地内では日影規制等により建替えが困難なため、周辺用地の確保が必要。	・構造体耐久性調査の結果、現庁舎の供用可能年数は約20年のため、20年後には現庁舎の建替えが必要となる。 ・再建替え時は敷地内では日影規制等により建替えが困難なため、周辺用地の確保が必要。	・体育館の移転が必要。 ・図書コーナー（200㎡）を設ける。	・図書コーナー（200㎡）を設ける。	・再建替え時は敷地内駐車場への建替えが可能。	・再建替え時は敷地面積不足により敷地内での建替えが困難であるため、用地の確保が必要。

凡例　○：課題がないもの（2点）　△：課題が小さいもの（1点）　▲：課題が大きいもの（0点）

①A. 現庁舎 周辺

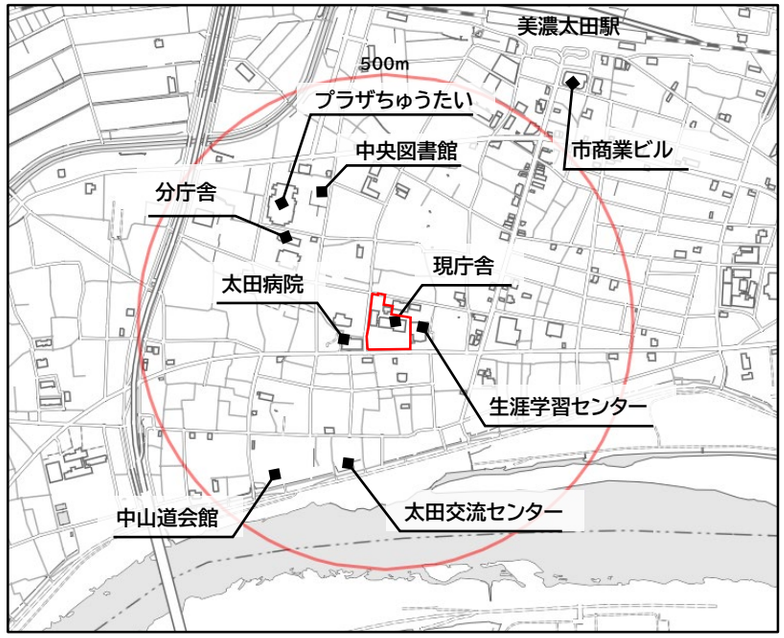
この情報は整備地を選定するために情報整理・概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1. 整備のイメージ案



敷地概要	
所在	太田町3431番地1
敷地面積	約7,200㎡
用途地域	(北側)第二種住居地域 (南側)商業地域
防火指定	準防火地域
建ぺい・容積	許容建ぺい率:83.15%(想定) 許容容積率:331.49%(想定)
その他規制	建築基準法第22条区域、日影規制対象
立地適正化計画	都市機能誘導区域(庁舎の配置を推進)内

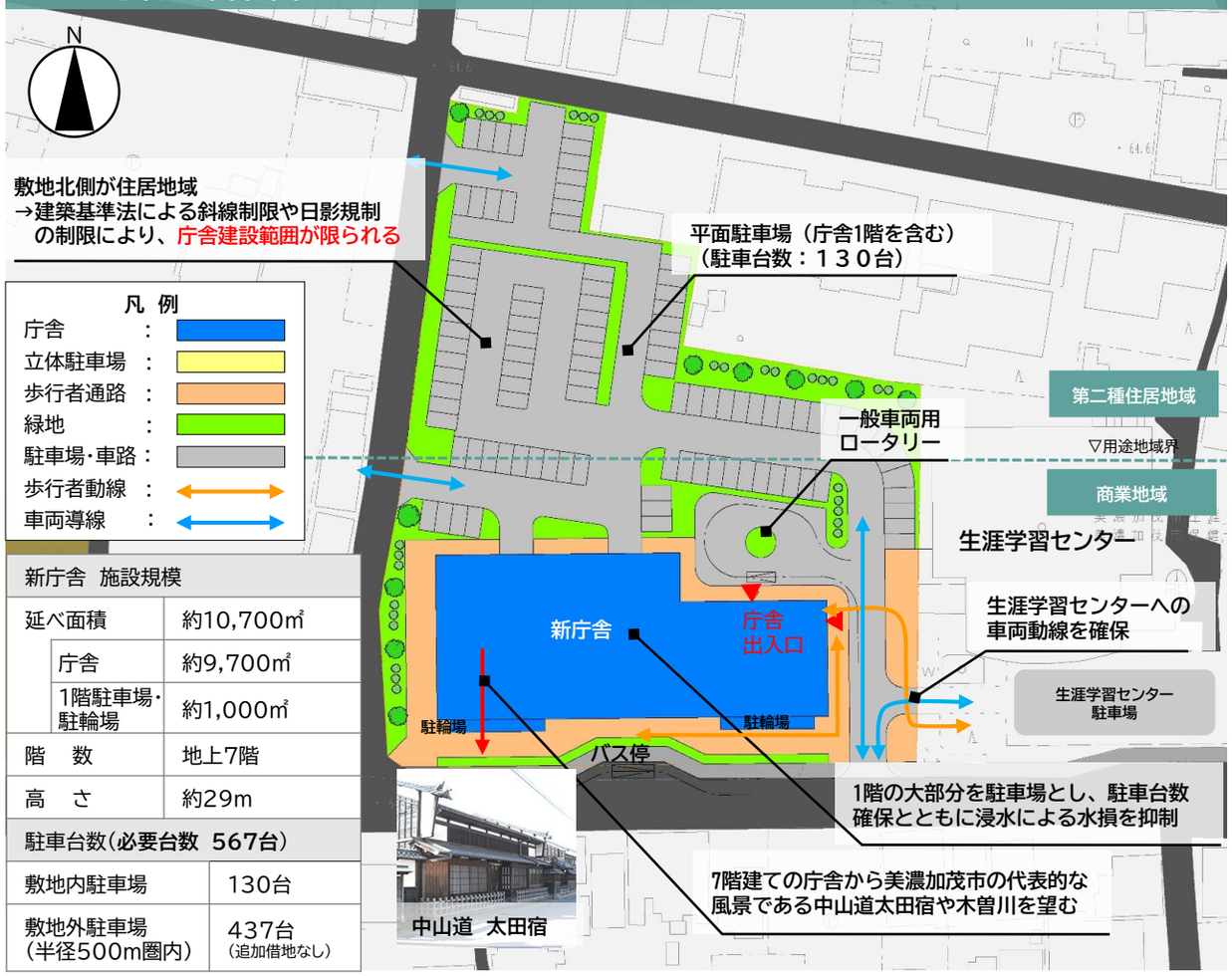
2. 周辺図



周辺には「生涯学習センター」「プラザちゅうたい」「中央図書館」等の公共施設が多数位置しています。

徒歩約１２分の距離に美濃太田駅があり、公共交通でのアクセスにおいて利便性が高い候補地です。

3. 土地利用計画案



新庁舎 施設規模	
延べ面積	約10,700㎡
庁舎	約9,700㎡
1階駐車場・駐輪場	約1,000㎡
階 数	地上7階
高 さ	約29m
駐車台数(必要台数 567台)	
敷地内駐車場	130台
敷地外駐車場 (半径500m圏内)	437台 (追加借地なし)

※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。(駐車可能台数80台)

4. 災害に対するリスク

浸水想定区域図
(計画規模・木曽川)

❶ 計画規模の降雨とは

① その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。

❷ 木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

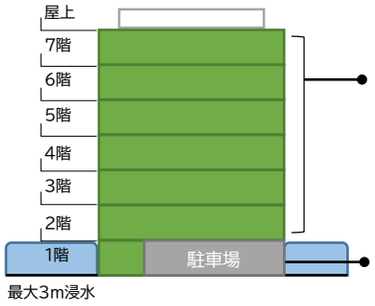
① 木曽川の**計画規模降雨は**、100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。

② 左図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。現庁舎敷地では**0.5～3.0m**の浸水が想定されています。

③ 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎敷地の浸水継続時間※は約4時間**と想定されています。

※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

⇒ 対策　水損を防ぐ配置計画（１階駐車場）



２階以上の階（主幹設備は屋上も可）に電気設備、空調設備、熱源設備等の主幹設備およびサーバー室を設け、浸水時も水損せず、機能を発揮できる計画とします。

１階は駐車場とし、１階建物部分の開口部に止水シャッター等を設けることで、３．０mの浸水時も建物への浸水を防ぐ計画とします。

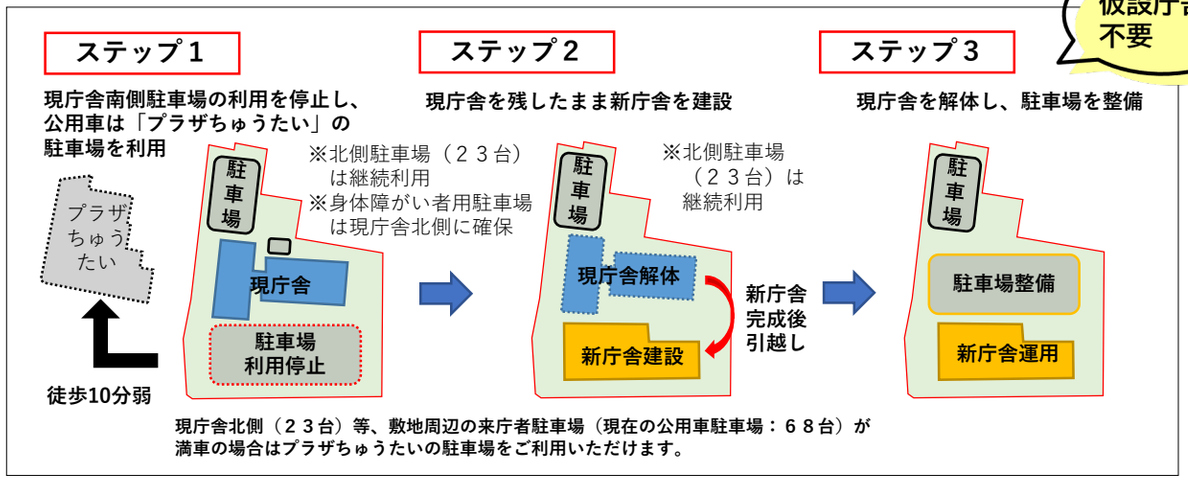
①A. 現庁舎 周辺

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

5. 新庁舎の建替え手順

下図ステップ１～３の通り、現庁舎を残したまま、現庁舎の駐車場位置に新庁舎を整備することで、仮設庁舎を建設すること無く、庁舎機能を維持したまま新庁舎の整備が可能となります。

仮設庁舎は不要



6. 事業費

概算事業費	建築	建築工事費(RC造で免震構造の場合)	６０．１億円
		新庁舎設計･調査･工事監理費	５．２億円
		既存建物解体費(現庁舎･分庁舎)	２．６億円
		立体駐車場整備費	－
		小計	６７．９億円
	造成･インフラ	用地取得･補償	－
		造成費	３．２億円
		道路整備費	－
		小計	３．２億円
合計			**７１．１億円**

造成費の抑制

（参考）

維持管理費（30年間）	維持管理費(運営費除く)	３７．１億円
	駐車場管理･借地料	４．３億円
	計	４１．４億円

借地料が必要

8. サウンディング調査結果

❶ サウンディングの目的・内容

新庁舎の建設にあたり、民間活力導入の可能性を検討するため、多業種の民間事業者への直接の対話により、立地および周辺環境についての魅力や課題について意見を伺いました。

❷ 事業者の考える魅力・メリット

中山道から近い

① 造成費が抑えられるため、コストメリットがある。
② 認知度が高く、市内各所からのアクセス性もよい。
③ 人口集積地であり、にぎわいの創出が期待できる。
④ 用途地域による建築物の制限が少ない。
⑤ 既存インフラの活用ができる。
⑥ 観光スポットである中山道太田宿から近く、観光客の立ち寄りの可能性もある。

❸ 事業者の考える課題・デメリット

敷地面積が小さい

① 工事中の安全・工期（長期化）に対するリスクがある。
② 浸水など災害への不安がある。
③ 敷地面積が小さい。
④ 日影規制が建物配置に大きく影響する。

9. まとめ【メリット／デメリット】

❶ 現庁舎周辺における新庁舎整備のメリット

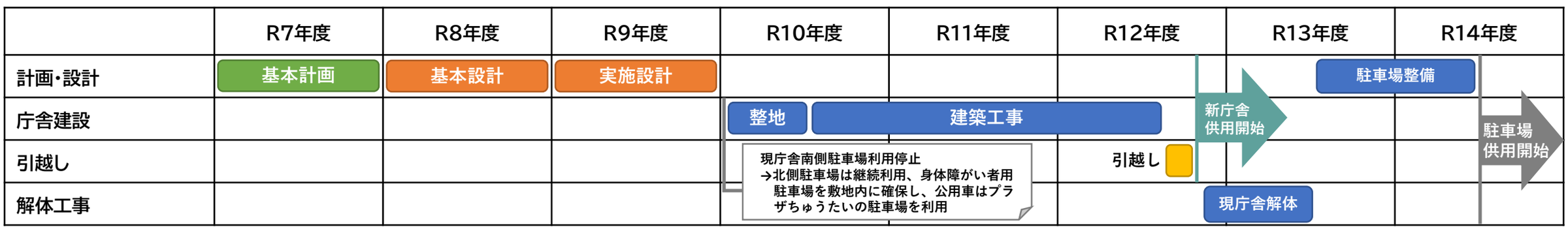
① 庁舎機能を維持したまま工事ができ、完成後の引越しに必要とする期間・費用も抑えることができる。
② 大きな造成工事を必要とせず、造成費を抑えることができる。
③ 周辺に駐車場用地として借地している敷地が多いため、駐車場の確保が比較的容易である。

❷ 現庁舎周辺における新庁舎整備のデメリット

① 現在の駐車場位置に新庁舎を建設するため、工事中は敷地外に来庁者用の駐車場を確保する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地北側が住居地域であるため、高さ制限や日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。

7. 想定事業期間

※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。



①B. 現庁舎 周辺(リノベーション案)

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1.現庁舎の現状

１９６１年に建てられた現庁舎は、（1）建物の老朽化、（2）市民の利便性、（3）市職員の職務環境、（4）防災機能の不足といった課題を抱えています。

	現庁舎	
	本館	西館
竣工年	昭和36年(1961年)	昭和54年(1979年)
築年数 (令和6年現在)	63年	45年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
耐震性	旧耐震基準で建設されたが、平成15年(2003年)に耐震補強工事を実施	
	Is値 0.61	Is値 0.73

※Is値:構造耐震指標のこと。数値が大きいほど強い構造物となります。

課題（1）建物の老朽化

現庁舎本館は築後６３年、西館は築後４５年が経過しています。修繕を行いながら庁舎機能を維持していますが、今後も庁舎を使い続けるためには、建築および設備機器等の大規模修繕が必要となります。

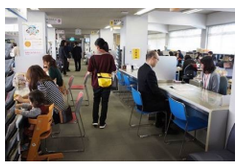
鉄筋コンクリート造の耐用年数

物理的 耐用年数	代表値 60年 下限値 50年 範囲 50年～80年
経済的 耐用年数	事務所用途 50年

課題（2）市民の利便性

現庁舎は建築当初からの時代の変化により、現在求められる利便性への要求が満たされていません。

現庁舎の状況
- 窓口混雑時に通路幅の確保が困難
- 待合が少ない
- プライバシーの保護ができていない



課題（3）市職員の職務環境

現庁舎では、執務スペースが手狭であり、打合せスペースや休憩スペースの確保ができていません。

現庁舎の状況
- 休憩時に使用するランチルームの席数が足りていない

課題（4）防災機能の不足

現庁舎は耐震補強を施しているものの、躯体の損傷や設備機器類の老朽化が著しく、大規模地震があった際に災害対策の中枢拠点としての役割が果たせないおそれがあります 。

国土交通省は平成２５年に官庁施設の特性ごとに大地震動に対して官庁施設が持つべき耐震安全性の目標を定めています。災害時の状況に応じて災害対策本部業務や災害対応を実施する拠点としての機能が求められる庁舎では、Ｉs値を０．９以上確保する必要があります。**現庁舎のＩｓ値は０．６程度であり、Is値０．９とするためには、耐震補強が必要です。また、耐震補強を行う場合、現行の建築基準法に適する（既存不適格解消）必要があります。**

耐震安全性の分類及び目標(「官庁施設の総合耐震･対津波計画基準」(国土交通省 平成25年制定)より)

分類	重要度係数	耐震安全性の目標	対象施設	目標Is値
Ⅰ類	1.5	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる。	拠点庁舎 拠点病院	0.9以上
Ⅱ類	1.25	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られる。	学校施設等	0.75以上
Ⅲ類	1.0	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られる。	上記以外の一般公共建築物	0.6以上

※重要度係数:建物を設計するときに地震の力を割り増すための係数のこと。重要度係数が大きいほど大きな地震に対し安全な建物となります。

2.想定されるリノベーションパターン

庁舎の建替えを行わず、現庁舎を活用する場合、下記のリノベーションパターンが想定されます。

リノベーション（増築含む）で現庁舎敷地に分庁舎機能を合わせた庁舎の整備は、建築基準法による高さ制限等および敷地内駐車場の確保、リノベーション後に必要となる現庁舎建替え時の工事範囲確保の観点から現実的ではありません。分庁舎（Ｓ造）の築年数は３４年であり、美濃加茂市における目標使用年数（ＲＣ造 ６５年、Ｓ造 ６５年）に満たないことから、リノベーション対象としないこととします。

パターン	内容	改善される課題
①	耐震補強を行わず(Is値0.6)、老朽化している建築および設備機器等の修繕を行い、現状の庁舎の機能･レイアウトを維持する。	課題(1)建物の老朽化
②	①に加え、拠点庁舎としての機能確保のため、耐震補強(Is値0.9)を行う。その他の機能やレイアウトは現状を維持する。	課題(1)建物の老朽化 課題(4)防災機能の不足
③	拠点庁舎としての機能確保のため、耐震補強(Is値0.9)を行った上で、増築を含め、現在の庁舎に求められる機能･面積を確保する。	課題(1)建物の老朽化 課題(2)市民の利便性 課題(3)市職員の職務環境 課題(4)防災機能の不足

パターン①　現在の耐震性能のまま使い続ける

構造体耐久性調査報告書によると、構造体（コンクリート）の今後の残存耐用年数は「予防保全により２０年程度」という結果となりました。

庁舎の機能を２０年程度維持していくためには、経年による劣化や損傷・故障等が生じた箇所の修繕に加え、空調・給排水等の建築設備の更新を行う必要があり、工事費・維持管理費(２０年)合わせて約２４．４億円かかります。

しかし、約２４．４億円の費用をかけて２０年の延命を図ったとしても、市民の利便性や市職員の職務環境、防災機能の不足を改善することはできず、加えて、２０年を迎えず建替えが必要となる可能性も高いと考えられます。

工事費	8.5億円
20年間の維持管理費	15.9億円
合計	24.4億円

20年後に建替えが必要

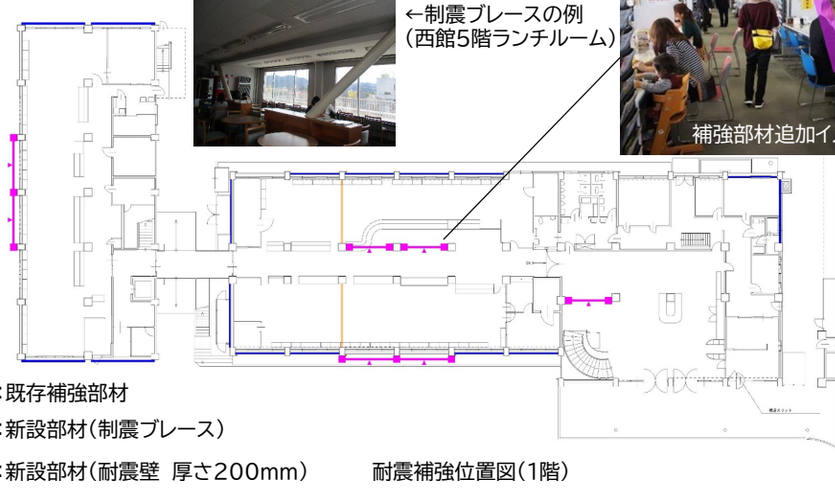
床面積が不足する

パターン②　耐震補強＋そのまま使い続ける

庁舎としてIs値０．９を確保するための耐震補強計算の結果、本館・全９か所、西館・全８か所に追加補強部材が必要となります。特に本館は市民窓口及び執務室である１階の中央位置に補強部材を追加する必要があり、現状の機能やレイアウトを維持することができません。耐震補強を施し、庁舎としての機能を維持していくためには、建物を増築し、不足する床面積を補う必要があります。

←制震ブレースの例
(西館5階ランチルーム)

補強部材追加イメージ



:既存補強部材
:新設部材(制震ブレース)
:新設部材(耐震壁 厚さ200mm)

耐震補強位置図(1階)

追加数	本館	西館
1階	7か所	2か所
2階	1か所	2か所
3階	追加なし	2か所
4階	1か所	1か所
5階	ー	1か所

各階耐震補強か所数

①B. 現庁舎 周辺(リノベーション案)

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

パターン③　耐震補強＋求められる機能確保（増築）

20年後に建替えが必要

1. 現庁舎（本館・西館）に最低限必要な面積

増築が必要

建替え案と同様、職員数を国の基準に照らし合わせて算定すると、リノベーション後に最低限必要な規模は約８，２００㎡です。現庁舎（本館・西館）面積（約４，５００㎡）と比較すると、３，７００㎡程度、現庁舎の面積が不足しており、３，７００㎡程度の増築が必要となります。

なお、これらは１棟の庁舎を建てた場合の試算であり、複数棟にわたる場合、階段・廊下等の通行部分やトイレ等の各棟に分散して必要な機能の面積が増えるため、さらに面積が必要となります。

単位:㎡	事務室	議会	付属室	倉庫	共用部	車庫	合計
地方債同意等基準運用要綱等（総務省）の面積構成(H22年)	2,745	560	2,401	357	2,201	125	8,389
新営一般庁舎面積算定基準（国土交通省）の面積構成	2,220	560	2,148	262	2,602	90	7,882
算定基準の平均値の面積構成	2,482	560	2,274	310	2,402	108	8,135
現庁舎(本館･西館)の面積	1,703	622	918	160	1,020	52	4,475
算定面積と現況の差	▲ 779	62	▲ 1,356	▲150	▲ 1,382	▲ 56	▲ 3,660

現庁舎（本館・西館）に最低限必要な面積の算定

2. 事業費

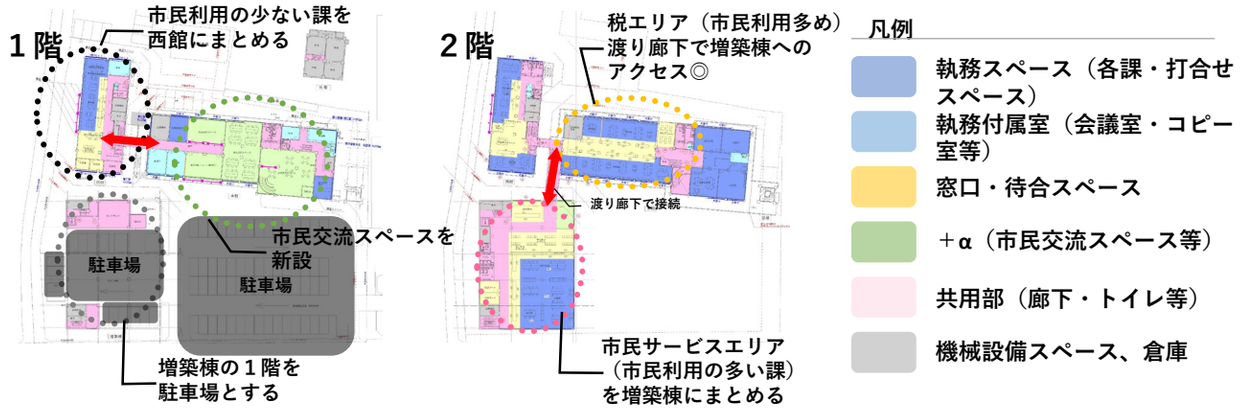
現庁舎の構造体（コンクリート）の耐用年数は約２０年であるため、リノベーションの工事費及び２０年間の維持管理費を算出します。また、分庁舎は継続使用するため、分庁舎の２０年間の維持管理費を合わせると、約７９．３億円の事業費となります。

分庁舎機能も含めた新庁舎への建替えの場合、２０年間の維持管理費も含めた事業費は約８４．７億円となり、リノベーションの方が５．４億円安価ですが、リノベーションの場合は２０年後には構造的な懸念から建替えが必要となり、約６０．１億円の工事費がかかります。

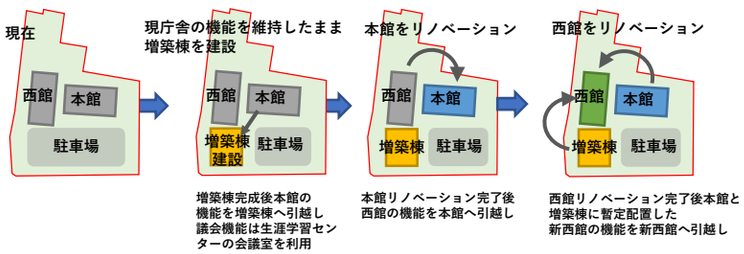
	リノベーション	建替え
工事費（リノベ増築棟及び建替えは免震構造）	４４．６億円	６０．１億円
現庁舎の維持管理費（２０年間）	２２．９億円	２４．６億円
分庁舎の維持管理費（２０年間）	１１．８億円	－
合計	７９．３億円	８４．７億円

※維持管理費は駐車場管理・借地料を除く

3. 平面計画案



4. 工事計画



増築棟建設とリノベーション工事を順に行うことで仮設庁舎なしで庁舎機能を維持したまま工事が実施可能です。

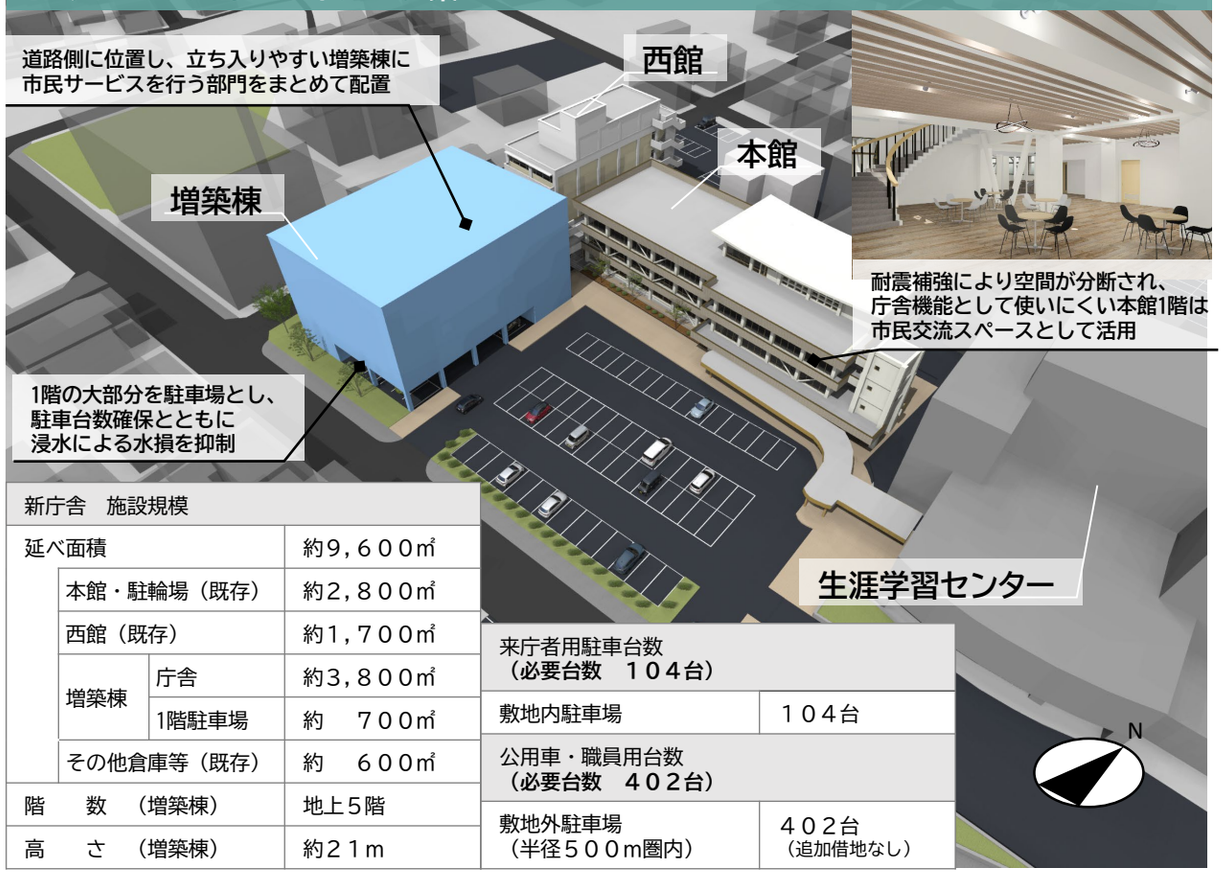
将来的な本館や西館の建て替え時の工事作業範囲の確保のため、平面駐車場を残します。

5. 想定事業期間

※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。
なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
計画･設計	基本計画	基本設計	実施設計					
庁舎建設				増築工事		本館リノベ	西館リノベ	全館供用開始
引越し				現庁舎駐車場(南側)利用停止	引越し	引越し	引越し	

6. リノベーションのイメージ案

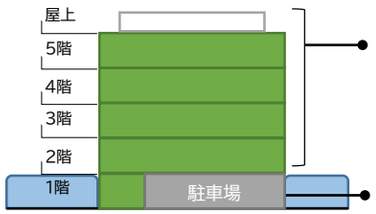


新庁舎　施設規模		
延べ面積		約９，６００㎡
本館・駐輪場（既存）		約２，８００㎡
西館（既存）		約１，７００㎡
増築棟	庁舎	約３，８００㎡
	1階駐車場	約　７００㎡
その他倉庫等（既存）		約　６００㎡
階　数　（増築棟）		地上５階
高　さ　（増築棟）		約２１m

来庁者用駐車台数（必要台数　１０４台）	
敷地内駐車場	１０４台
公用車・職員用台数（必要台数　４０２台）	
敷地外駐車場（半径５００m圏内）	４０２台（追加借地なし）

7. 災害に対するリスク

Ｐ５①Ａ．現庁舎周辺の４．災害に対するリスクと同様ですが、水損を防ぐ配置計画（１階駐車場）は増築棟のみの対策となります。



２階以上の階（主幹設備は屋上も可）に電気設備、空調設備、熱源設備等の主幹設備およびサーバー室を設け、浸水時も水損せず、機能を発揮できる計画とします。

１階は駐車場とし、１階建物部分の開口部に止水シャッター等を設けることで、３．０mの浸水時も建物への浸水を防ぐ計画とします。

8. まとめ【メリット／デメリット】

新築より整備費用が安い

❶ リノベーションのメリット

① 庁舎機能を維持したまま工事ができ、完成後の引越しに必要とする期間・費用も抑えることができる。
② 市民に馴染みのある庁舎を活用できる。
③ 完全新築と比較すると整備費用が抑えられる。

近い将来に建替えが必要

❷ リノベーションのデメリット

① 耐震補強、リノベーションした場合も現庁舎は２０年後に建替えが必要となる。
② 現在の駐車場位置に増築棟を建設するため、駐車場の必要台数を確保できない。
③ 浸水想定区域のため、水害対策が必要だが、既存棟は対策が難しい。
④ 現庁舎（本館・西館・増築棟）＋分庁舎の維持管理が必要となるため、維持管理コストが高くなる。

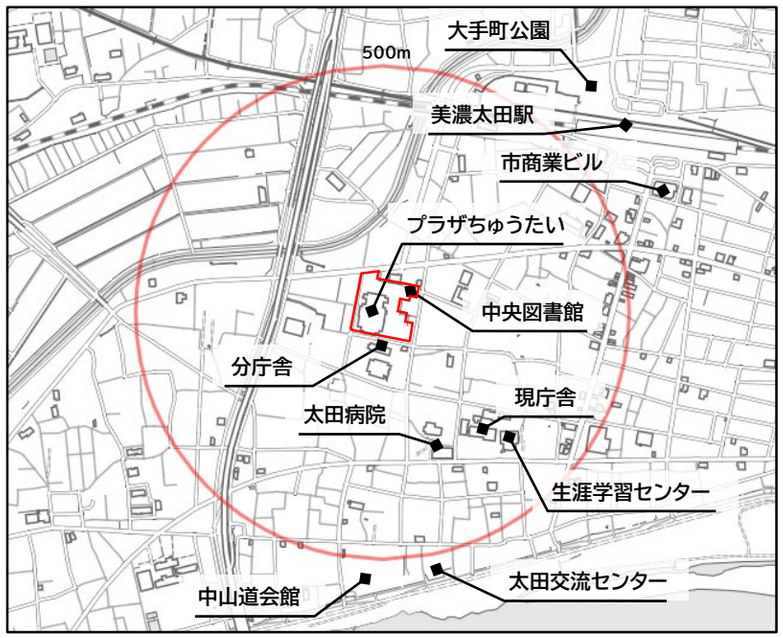
②A. プラザちゅうたい 周辺

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1. 整備のイメージ案

敷地概要	
所在	太田町1916番地1
敷地面積	約13,000㎡(図書館敷地含む)
用途地域	(北側)近隣商業地域 (南側)第二種住居地域
防火指定	なし
建ぺい･容積	許容建ぺい率:75.55%(想定) 許容容積率:200%(想定)
その他規制	建築基準法第22条区域、日影規制対象
立地適正化計画	都市機能誘導区域(庁舎の配置を推進)内

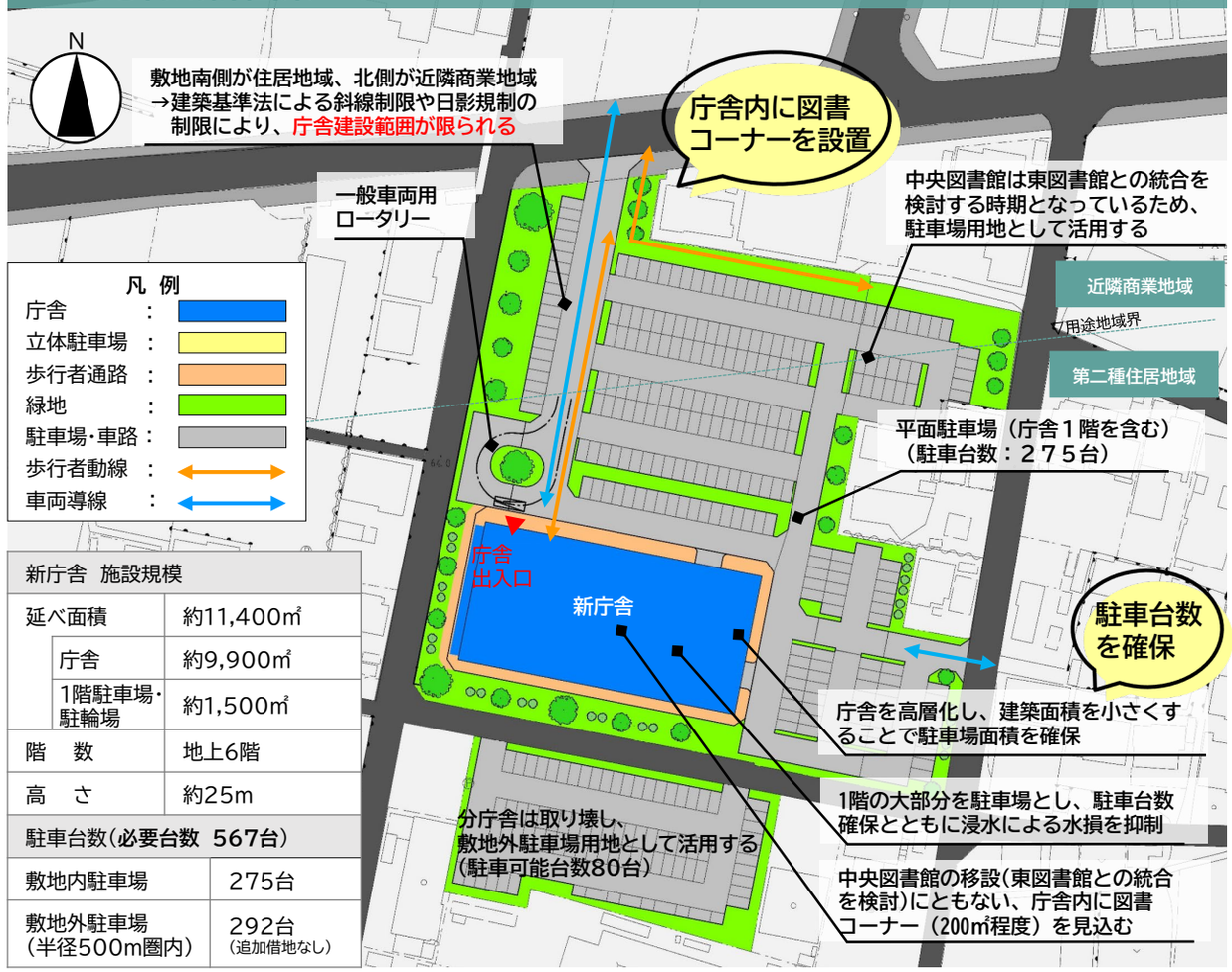
2. 周辺図



周辺には「生涯学習センター」「中央図書館」等の公共施設が多数位置しています。

徒歩約１１分の距離に美濃太田駅があり、公共交通でのアクセスにおいて利便性が高い候補地です。

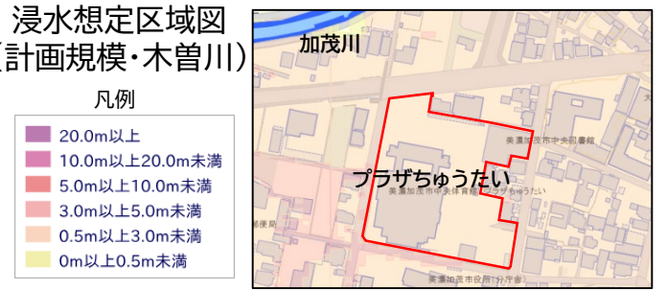
3. 土地利用計画案



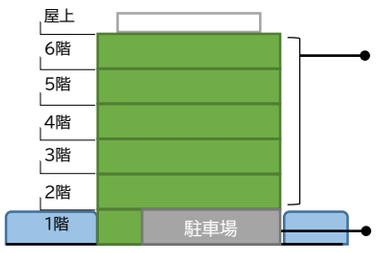
新庁舎　施設規模	
延べ面積	約11,400㎡
庁舎	約9,900㎡
1階駐車場･駐輪場	約1,500㎡
階　数	地上6階
高　さ	約25m
駐車台数(必要台数　567台)	
敷地内駐車場	275台
敷地外駐車場 (半径500m圏内)	292台 (追加借地なし)

4. 災害に対するリスク

浸水想定区域図
(計画規模･木曽川)



⇒ 対策　水損を防ぐ配置計画（１階駐車場）



２階以上の階（主幹設備は屋上も可）に電気設備、空調設備、熱源設備等の主幹設備およびサーバー室を設け、浸水時も水損せず、機能を発揮できる計画とします。

１階は駐車場とし、１階建物部分の開口部に止水シャッター等を設けることで、３．０ｍの浸水時も建物への浸水を防ぐ計画とします。

❶ 計画規模の降雨とは

① その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。

❷ 木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

① 木曽川の**計画規模降雨は**、100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。

② 左図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。プラザちゅうたい敷地では**0.5～3.0m**の浸水が想定されています。

③ 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**プラザちゅうたい敷地の浸水継続時間※は約4時間**と想定されています。

※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

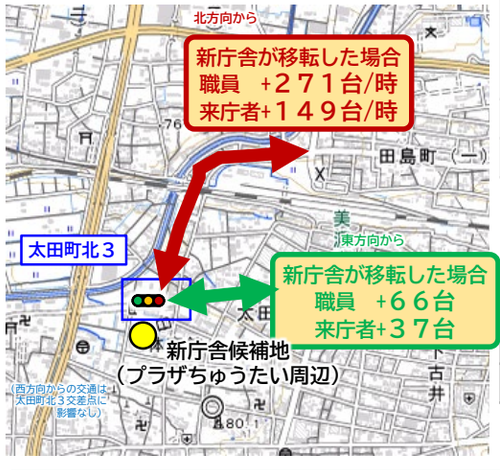
②A. プラザちゅうたい 周辺

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

5. 交差点影響分析結果

プラザちゅうたい周辺に新庁舎が移転した場合、職員の通勤や来庁者により、近接する「太田町北３」交差点の交通量が増加することから、移転後に同交差点での交通処理に問題がないか検証した結果、**いずれの方向からも現在の車両構成・信号処理で円滑に交通を処理できる**ことが確認できました。

現在の交通量（調査実施時（令和6年7月））に、移転により増加する交通量を加算して交差点影響を検討



移転後に必要な右折車線長の検討

問題なし

方向	現在の右折車線長	移転後に必要な右折車線長			評価
		通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	
南行き	50m	47.0m	29.3m	35.3m	＜50m OK
西行き	50m	4.1m	18.7m	4.3m	＜50m OK

移転後の交差点需要率の検討

問題なし

移転後の交差点需要率			評価
通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	
0.829	0.643	0.516	＜0.9 OK

※交差点需要率が0.9を下回ると1サイクルの信号処理で交差点内の車両を円滑に処理することが可能

6. 事業費

概算事業費	建築	建築工事費（RC造で免震構造の場合）	６２．７億円
		新庁舎設計･調査･工事監理費	５．４億円
		既存建物解体費（現庁舎･分庁舎･プラザちゅうたい･図書館）	５．０億円
		立体駐車場整備費	－
		小計	７３．１億円
	造成･インフラ	用地取得･補償	－
		造成費	５．８億円
		道路整備費	－
		小計	５．８億円
合計			**７８．９億円**

（参考）
プラザちゅうたいは築後５２年が経過しており、新庁舎の建設にかかわらず近い将来建替えを検討する必要があります。
プラザちゅうたい敷地全体を庁舎機能として利用するため、プラザちゅうたいは別敷地に移転させる計画となります。

（参考）

維持管理費（30年間）	維持管理費（運営費除く）	３７．６億円
	駐車場管理･借地料	２．４億円
	計	４０．０億円

借地料の抑制

7. 想定事業期間

※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
計画･設計	基本計画	基本設計	実施設計				
庁舎建設				建築工事			
引越し						引越し	
解体工事（現ちゅうたい）				ちゅうたい解体・整地			

新庁舎供用開始

8. サウンディング調査結果

❶ サウンディングの目的・内容

新庁舎の建設にあたり、民間活力導入の可能性を検討するため、多業種の民間事業者への直接の対話により、立地および周辺環境についての魅力や課題について意見を伺いました。

❷ 事業者の考える魅力・メリット

適度な敷地面積

① 造成費が抑えられるため、コストメリットがある。
② 市内各所からのアクセス性がよい。
③ 人口集積地であり、にぎわいの創出が期待できる。
④ 用途地域による建築物の制限が少ない。
⑤ 面積的にも、周辺の行政施設用地を考慮しても、最適。
⑥ 複合的な公共施設整備が期待できる。

❸ 事業者の考える課題・デメリット

他公共施設との調整が多数必要

① 体育館・図書館の取り扱い、取壊し、複合化など、検討事項が多数ある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 周辺を古い住宅に囲まれ、防災面に課題がある。
④ 周辺道路の幅員が狭く、車の交通網が脆弱。

9. まとめ【メリット／デメリット】

❶ プラザちゅうたい周辺における新庁舎整備のメリット

複合的な施設整備の可能性

① 立体駐車場を整備せずに敷地内及び敷地外で駐車台数を確保することができる。
② 複合的な公共施設整備が期待できる。

❷ プラザちゅうたい周辺における新庁舎整備のデメリット

水害対策が必要

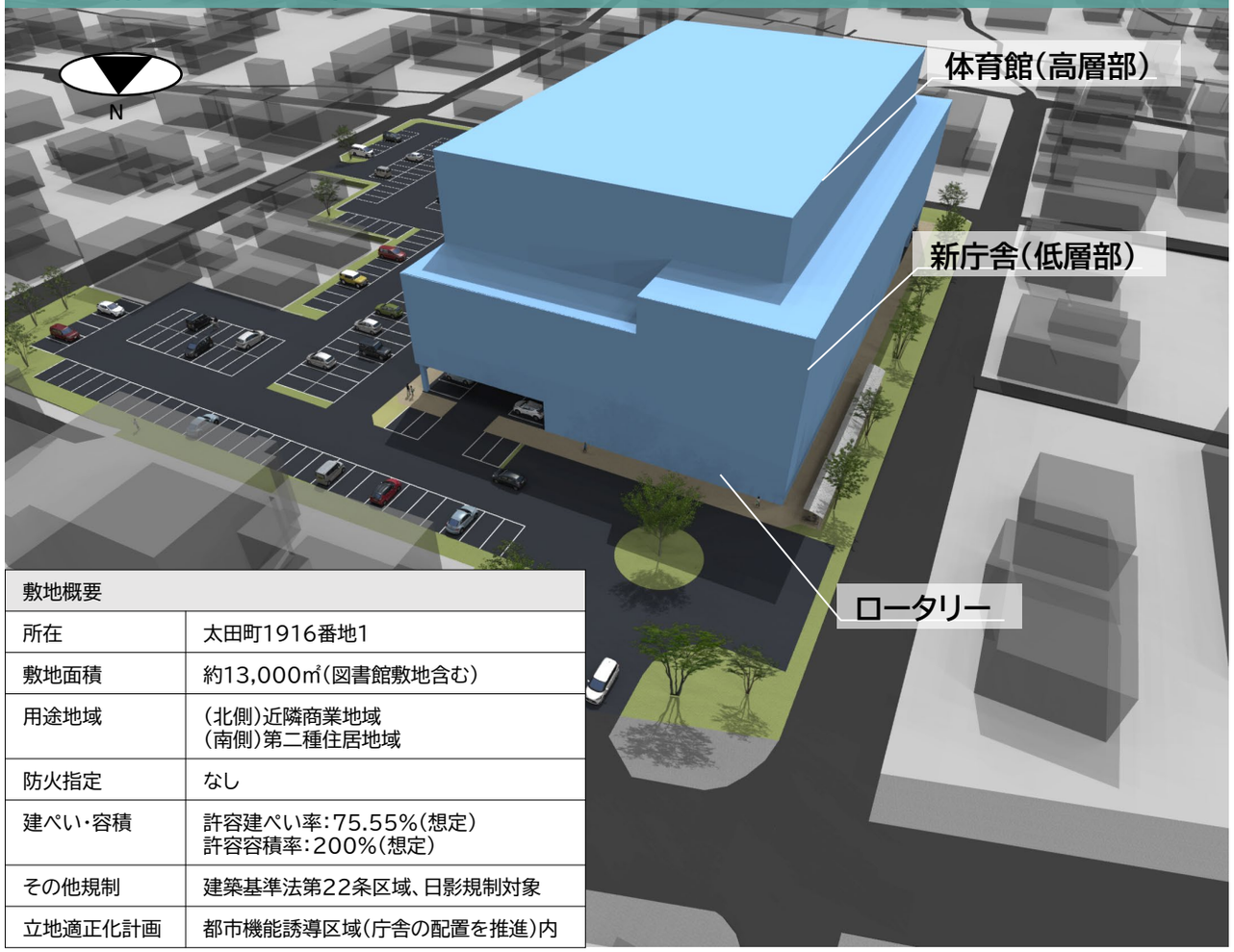
① 敷地内に地下調整池の設置を検討する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地南側の住居地域における高さ制限（建築基準法）や敷地北側の近隣商業地域における日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。

②B. プラザちゅうたい 周辺 （体育館複合）

既存のプラザちゅうたいを解体し、庁舎と体育館の複合施設を建設するパターン

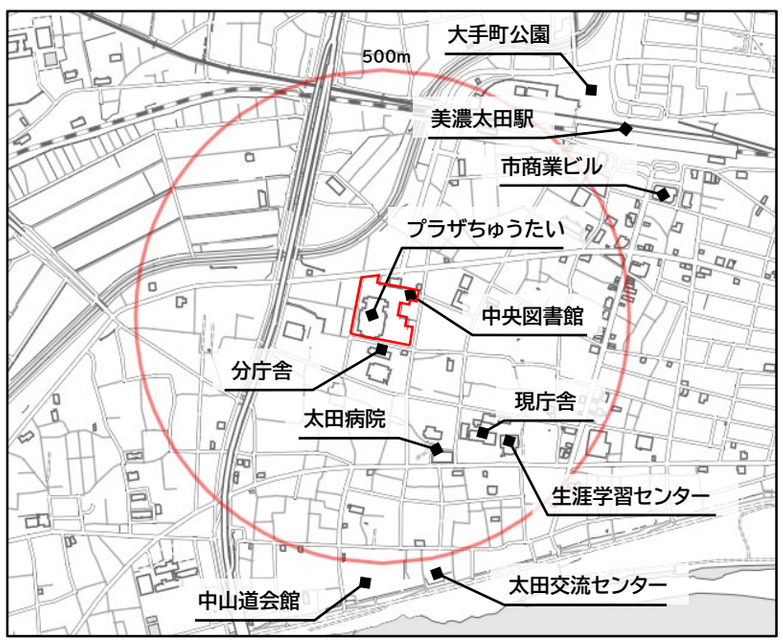
この情報は整備地を選定するために情報整理・概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1. 整備のイメージ案



敷地概要	
所在	太田町1916番地1
敷地面積	約13,000㎡（図書館敷地含む）
用途地域	（北側）近隣商業地域 （南側）第二種住居地域
防火指定	なし
建ぺい・容積	許容建ぺい率：75.55%（想定） 許容容積率：200%（想定）
その他規制	建築基準法第22条区域、日影規制対象
立地適正化計画	都市機能誘導区域（庁舎の配置を推進）内

2. 周辺図



周辺には「生涯学習センター」「中央図書館」等の公共施設が多数位置しています。

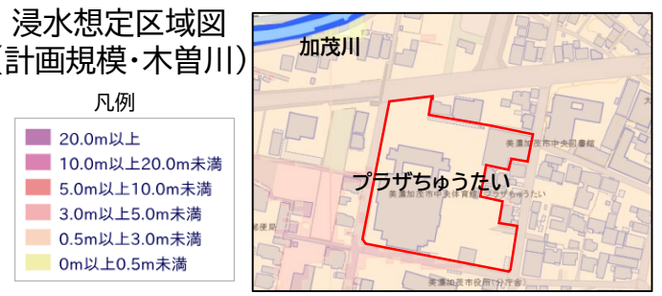
徒歩約１１分の距離に美濃太田駅があり、公共交通でのアクセスにおいて利便性が高い候補地です。

3. 土地利用計画案

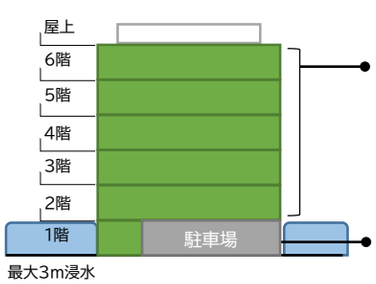
新庁舎　施設規模	
延べ面積	約18,300㎡
庁舎	約9,900㎡
体育館	約6,000㎡
1階駐車場・駐輪場	約2,400㎡
階　数	地上6階
高　さ	約28m
駐車台数（必要台数 730台） （内訳）庁舎　567台 体育館 163台	
敷地内駐車場	261台
敷地外駐車場 （半径500m圏内）	469台 （追加借地なし）

4. 災害に対するリスク

浸水想定区域図
（計画規模・木曽川）



⇒ 対策　水損を防ぐ配置計画（１階駐車場）



２階以上の階（主幹設備は屋上も可）に電気設備、空調設備、熱源設備等の主幹設備およびサーバー室を設け、浸水時も水損せず、機能を発揮できる計画とします。

１階は駐車場とし、１階建物部分の開口部に止水シャッター等を設けることで、３．０mの浸水時も建物への浸水を防ぐ計画とします。

❶ 計画規模の降雨とは

① その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。

❷ 木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

① 木曽川の**計画規模降雨は**、100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295㎜の雨が降ることを想定しています。

② 左図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。プラザちゅうたい敷地では**0.5～3.0m**の浸水が想定されています。

③ 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**プラザちゅうたい敷地の浸水継続時間※は約4時間**と想定されています。

※浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

②B. プラザちゅうたい 周辺 （体育館複合）

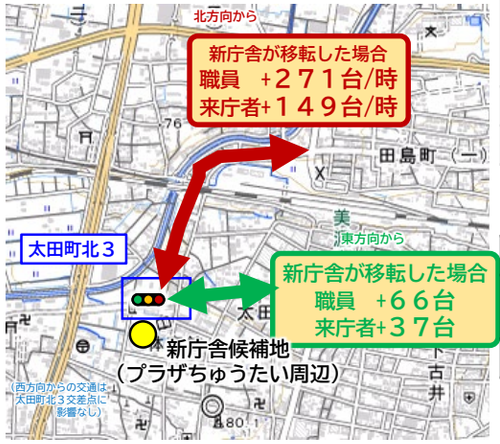
既存のプラザちゅうたいを解体し、庁舎と体育館の複合施設を建設するパターン

この情報は整備地を選定するために情報整理・概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

5. 交差点影響分析結果

プラザちゅうたい周辺に新庁舎が移転した場合、職員の通勤や来庁者により、近接する「太田町北３」交差点の交通量が増加することから、移転後に同交差点での交通処理に問題がないか検証した結果、**いずれの方向からも現在の車両構成・信号処理で円滑に交通を処理できる**ことが確認できました。

現在の交通量(調査実施時(令和6年7月))に、移転により増加する交通量を加算して交差点影響を検討



移転後に必要な右折車線長の検討

問題なし

方向	現在の右折車線長	移転後に必要な右折車線長			評価
		通勤朝ピーク	通勤タピーク	来庁者ピーク	
南行き	50m	47.0m	29.3m	35.3m	<50m OK
西行き	50m	4.1m	18.7m	4.3m	<50m OK

移転後の交差点需要率の検討

問題なし

移転後の交差点需要率			評価
通勤朝ピーク	通勤タピーク	来庁者ピーク	
0.829	0.643	0.516	<0.9 OK

※交差点需要率が0.9を下回ると1サイクルの信号処理で交差点内の車両を円滑に処理することが可能

6. 事業費

			庁舎整備分	複合施設全体
概算事業費	建築	建築工事費(RC造で免震構造の場合)	６２．７億円	９１．２億円
		新庁舎設計･調査･工事監理費	５．４億円	７．５億円
		既存建物解体費(現庁舎･分庁舎･プラザちゅうたい･図書館)	５．０億円	５．０億円
		立体駐車場整備費	－	－
		小計	７３．１億円	１０３．７億円
	造成･インフラ	用地取得･補償	－	
		造成費	５．５億円	
		道路整備費	－	
		小計	５．５億円	
合計			**７８．６億円**	

（参考）

維持管理費（30年間）	維持管理費(運営費除く)	３７．６億円
	駐車場管理･借地料	２．５億円
	計	４０．１億円

（参考）
体育館を単体で建設する場合の建築工事費は約３７．８億円となります。庁舎と体育館の複合施設を建設する場合は約９１．２億円となり、庁舎整備分（６２．７億円）＋２８．５億円で体育館を整備することができるため、建築工事費を約９．３億円削減することができます。

7. 想定事業期間

※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
計画･設計	基本計画	基本設計	実施設計					
庁舎建設					建築工事			
引越し							引越し	
解体工事（現ちゅうたい）				ちゅうたい解体・整地				

新庁舎供用開始

8. サウンディング調査結果

❶ サウンディングの目的・内容

新庁舎の建設にあたり、民間活力導入の可能性を検討するため、多業種の民間事業者への直接の対話により、立地および周辺環境についての魅力や課題について意見を伺いました。

❷ 事業者の考える魅力・メリット

適度な敷地面積

① 造成費が抑えられるため、コストメリットがある。
② 市内各所からのアクセス性がよい。
③ 人口集積地であり、にぎわいの創出が期待できる。
④ 用途地域による建築物の制限が少ない。
⑤ 面積的にも、周辺の行政施設用地を考慮しても、最適である。
⑥ 複合的な公共施設整備が期待できる。

❸ 事業者の考える課題・デメリット

他公共施設との調整が多数必要

① 体育館・図書館の取り扱い、取壊し、複合化など、検討事項が多数ある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 周辺を古い住宅に囲まれ、防災面に課題がある。
④ 周辺道路の幅員が狭く、車の交通網が脆弱。

9. まとめ【メリット／デメリット】

❶ プラザちゅうたい周辺（体育館複合）における新庁舎整備のメリット

庁舎、体育館を単体で建てるより安価

① 立体駐車場を整備せずに敷地内及び敷地外で駐車台数を確保することができる。
② 体育館との複合とすることで、各々を単体で建設するよりも安価に建設することができる。
③ 庁舎と体育館は利用者のピークの時間帯が異なる（庁舎は平日昼間の利用が多く、体育館は休日や平日夕方以降の利用者が多い）ため、施設や駐車場を効率的に活用できる。

❷ プラザちゅうたい周辺（体育館複合）における新庁舎整備のデメリット

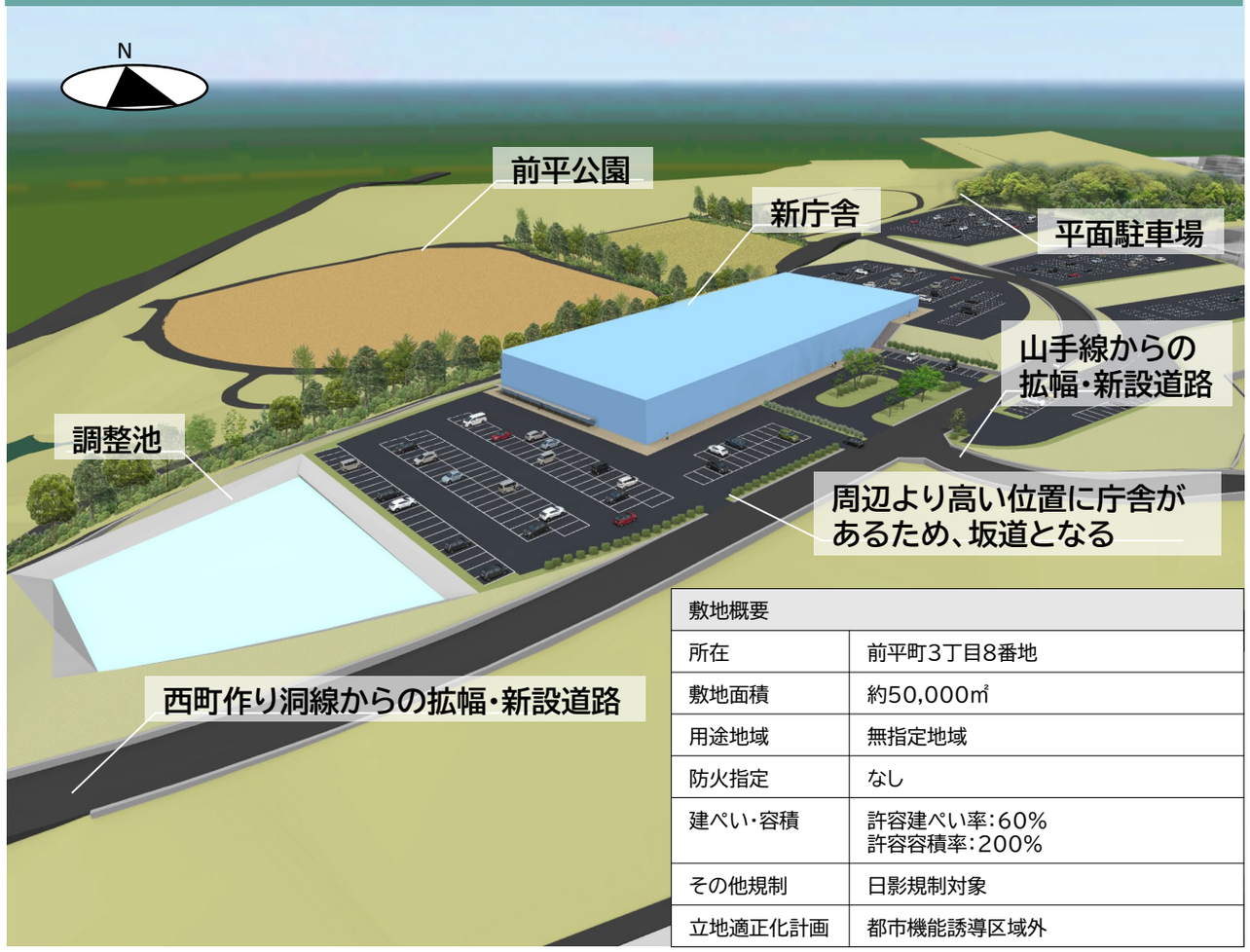
水害対策が必要

① 敷地内に地下調整池の設置を検討する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地南側の住居地域における高さ制限（建築基準法）や敷地北側の近隣商業地域における日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。
④ 庁舎の利用者に加え、体育館の利用者数も想定した駐車台数の整備が必要。

③ 畜産研究所 周辺

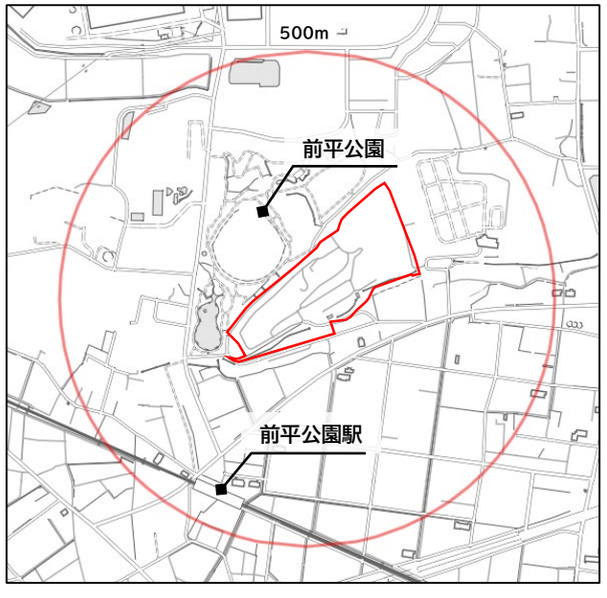
この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1. 整備のイメージ案



敷地概要	
所在	前平町3丁目8番地
敷地面積	約50,000㎡
用途地域	無指定地域
防火指定	なし
建ぺい･容積	許容建ぺい率:60% 許容容積率:200%
その他規制	日影規制対象
立地適正化計画	都市機能誘導区域外

2. 周辺図



「前平公園」に隣接し、緑豊かな周辺環境がある。
丘陵地に位置するため、敷地内外の高低差が大きい。
徒歩約10分の距離に前平公園駅がある。

3. 災害に対するリスク

❶ 浸水想定区域図（ハザード指定なし）

❷ 液状化

岐阜県公表の液状化危険度分布図では、液状化の「可能性が高い」でしたが、令和６年度に市が行った地質調査（ボーリング調査）では、対象敷地は「液状化の可能性は極めて低い」ことが分かりました。

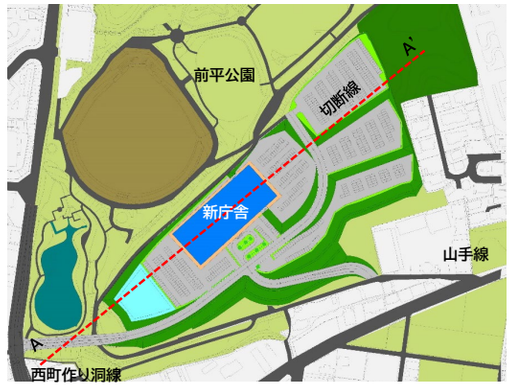
4. 造成計画

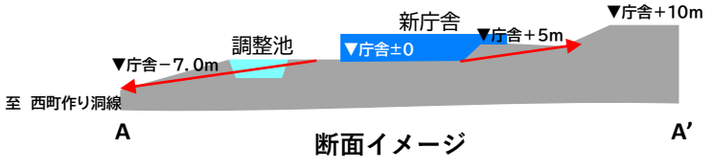
造成計画は、造成費を抑えるために現況地形の山に合わせ切土と盛土を行い、西から東に段差を設け、「調整池」「庁舎」「駐車場」「道路」を配置しています。これ以上造成費を抑える計画とすると、西町作り洞線からの取付道路勾配が５%を超えてしまい、歩行や車椅子でのアクセスが困難となります。また、庁舎建物に段差を設けると「建物の１フロア面積の減少」「建物構造の複雑化による工事費の増」「斜路・階段の設置による利便性の悪さ」「法面の増加による来庁者駐車場の減少」など工事費の増加や利便性の低下につながります。

5. 土地利用計画案

新庁舎 施設規模	
延べ面積	約9,600㎡
庁舎	約9,500㎡
駐輪場	約100㎡
階　数	地上2階
高　さ	約9m
駐車台数(必要台数 567台)	
敷地内駐車場	657台
敷地外駐車場（半径500m圏内）	0台

6. 断面イメージ





❶ 大規模な造成工事

現在の畜産研究所敷地は敷地内の高低差が大きく、庁舎建設が可能な平場の敷地が無いこと、十分なアクセス路が整備されていないことから、大規模な造成工事が必要となります。

造成工事により、大量の残土が排出されるため、残土処分に費用がかかります。

❷ 大規模な調整池

敷地面積が１ha以上であり、開発にあたるため、大規模な調整池が必要となります。

❸ バリアフリー未対応の道路勾配

畜産研究所は丘陵地に位置しており、周辺との高低差が大きくなっています。庁舎へのアクセス路確保のため、新設道路が必要となりますが、周辺との高低差により、西町作り洞線からの取付け道路勾配は５%ですが、南側との取付道路は９.８%となります。また、敷地周辺の既存道路（主に西町作り洞線）も５%を超えており、**高齢者や車いす使用者等は自力での歩行・車いすによる庁舎へのアクセスが困難**となります。

（バリアフリー法（努力義務）：歩道の縦断勾配は原則、５%以下）

車いす使用者と勾配の関係

③ 畜産研究所 周辺

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

7．交差点影響分析結果

畜産研究所周辺に新庁舎が移転した場合、職員の通勤や来庁者により、近接する「前平公園駅北」交差点の交通量が増加することから、移転後に同交差点での交通処理に問題がないか検証した結果、ピーク時も円滑に交通処理を行うためには、**西行きの右折車線長を延長する必要があります**。

現在の交通量（調査実施時（令和6年7月））に移転により増加する交通量を加算して交差点影響を検討

移転後に必要な右折車線長の検討

交差点改良必要

方向	現在の右折車線長	移転後に必要な右折車線長 通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	評価
南行き	40m	7.7m	36.4m	17.0m	＜40m OK
西行き	40m	55.0m	19.2m	40.1m	＞40m NG（15.0m不足）
東行き	—	—	—	—	（右折車線なし）

移転後の交差点需要率の検討

問題なし

移転後の交差点需要率 通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	評価
0.418	0.434	0.420	＜0.9 OK

※交差点需要率が0.9を下回ると1サイクルの信号処理で交差点内の車両を円滑に処理することが可能

8．事業費

概算事業費	建築	建築工事費（ＲＣ造で免震構造の場合）	６５．４億円
		新庁舎設計・調査・工事監理費	５．６億円
		既存建物解体費（現庁舎・分庁舎）	２．６億円
		立体駐車場整備費	－
		小計	７３．６億円
	造成・インフラ	用地取得・補償	２．４億円
		造成費	２８．０億円
		道路整備費	７．１億円
		小計	３７．５億円
合計			１１１．１億円
（参考）			
維持管理費（３０年間）		維持管理費（運営費除く）	３６．７億円
		駐車場管理・借地料	－
		計	３６．７億円

造成費が高い

畜産研究所周辺は造成工事が必要なこと、また、庁舎までのアクセス確保のため、新設道路が必要なことから造成･インフラ整備に多くの費用が必要となります。

10．サウンディング調査結果

❶ サウンディングの目的・内容

新庁舎の建設にあたり、民間活力導入の可能性を検討するため、多業種の民間事業者への直接の対話により、立地および周辺環境についての魅力や課題について意見を伺いました。

❷ 事業者の考える魅力・メリット

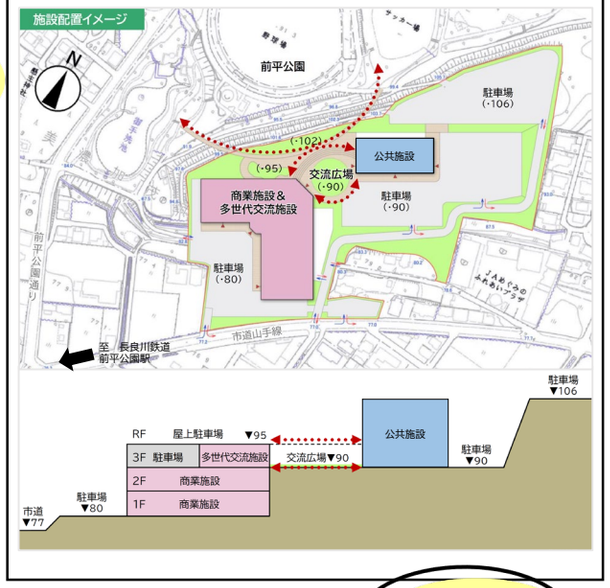
広大な敷地

① 広大な敷地と開発の柔軟性・他候補地と比べ敷地面積を確保できる。
② 水害のリスクが低いため、防災拠点としても機能する。
③ 前平公園との連携により事業の幅が広がる。
④ 緑と高低差を利用した計画により、他にない庁舎整備が可能。
⑤ 中部国際医療センターが近く、連携が容易。

❸ 事業者の考える課題・デメリット

① 既成市街地から遠く、アクセス性に課題がある。
② 敷地高低差があり、造成費がかかる。
③ 敷地の高低差と利用者動線の調整に課題がある。
④ 渋滞が懸念され、道路の整備が必要となる可能性あり。
⑤ 用地の取得や造成工事等、スケジュールが読みにくい。
⑥ ＤＩＤ地区から外れていること等から民間施設の立地は難しい。

事業者からの提案の一例



11．まとめ【メリット／デメリット】

十分な駐車場

❶ 畜産研究所周辺における新庁舎整備のメリット

① 敷地内に平面で必要駐車台数を確保することができるため、立体駐車場や民地借上げに比べ、駐車場の維持管理費を抑えることができる。
② 敷地が広いため、建物の配置計画の自由度が高い。
③ 前平公園の隣地のため、緑豊かな周辺環境である。

整備が長期化する可能性

❷ 畜産研究所周辺における新庁舎整備のデメリット

① 敷地が広く、勾配も大きいため、他の候補地に比べ膨大な造成費がかかる。
② 幹線道路に接続するための道路を整備する必要があり、民地を含めた用地取得が必要となる。用地取得の進捗により新庁舎整備が長期化する恐れがある。
③ 開発許可や造成工事に時間を要する。
④ 土壌調査により、新庁舎整備の長期化および対策費用が必要となる可能性がある。
⑤ 隣接する県有地に豚コレラにより廃棄処分された豚が埋設されているため、道路敷地等として活用する場合には対策が必要。

9．想定事業期間

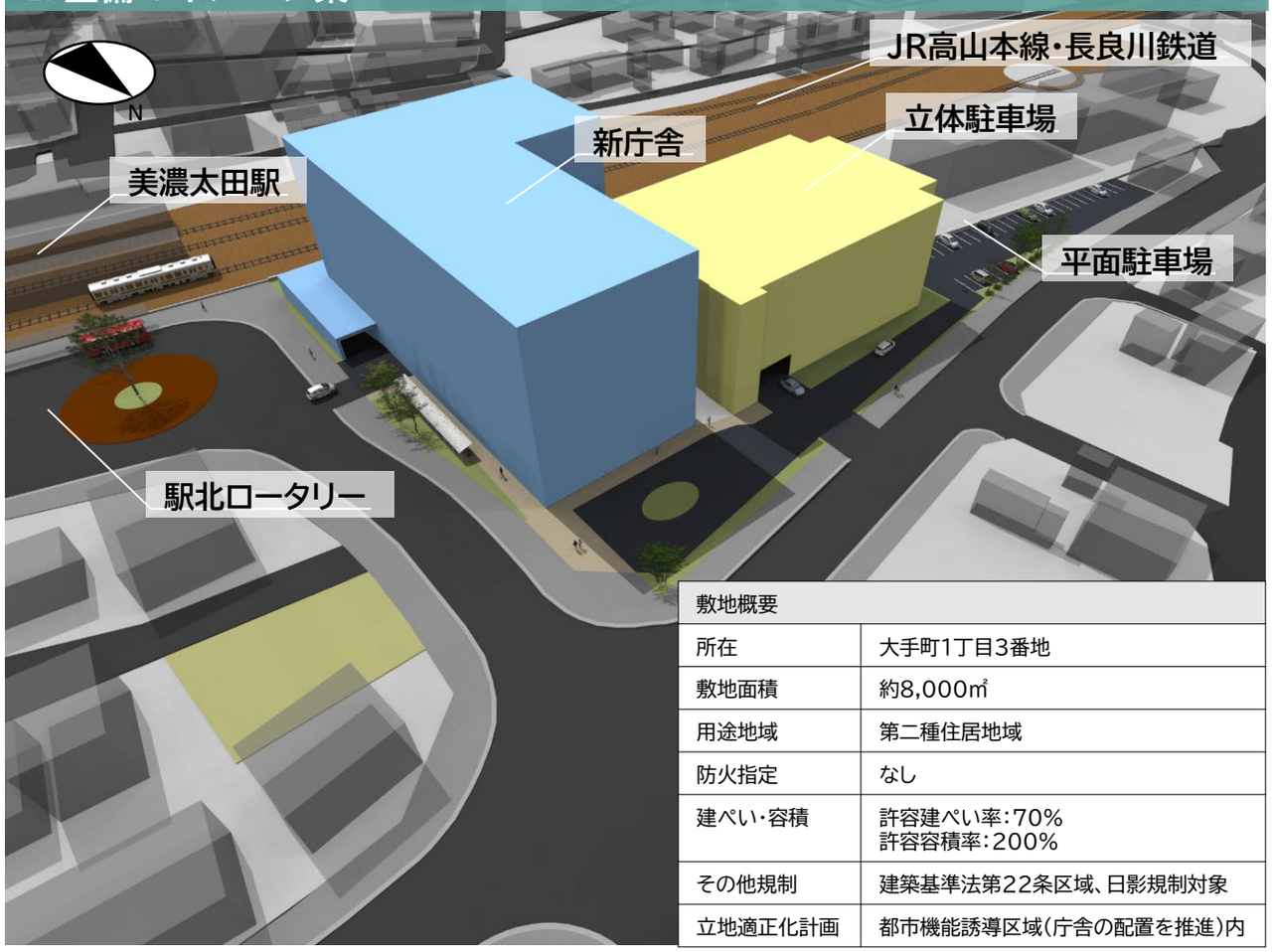
※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
計画･設計	基本計画	基本設計	実施設計 造成設計・開発許可						
用地取得		道路整備用地交渉・買収		※用地取得状況により事業期間は延長する可能性があります。					
庁舎建設				造成・道路整備工事		建築工事			
引越し	造成工事開始までに既存施設解体							引越し	新庁舎供用開始
解体工事									
その他		用途地域・立地適正化計画変更							

④ 大手町公園 周辺

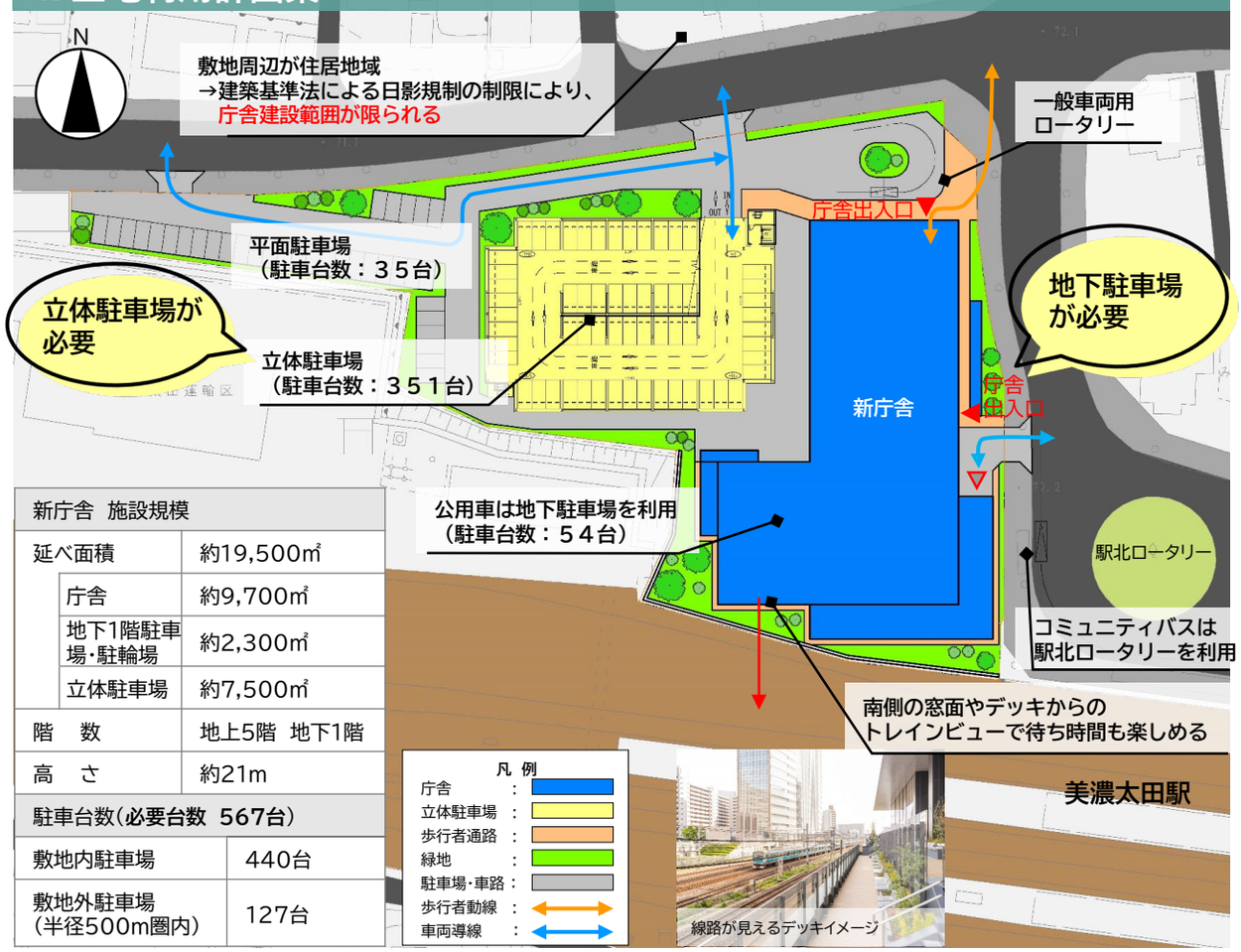
この情報は整備地を選定するために情報整理・概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

1. 整備のイメージ案



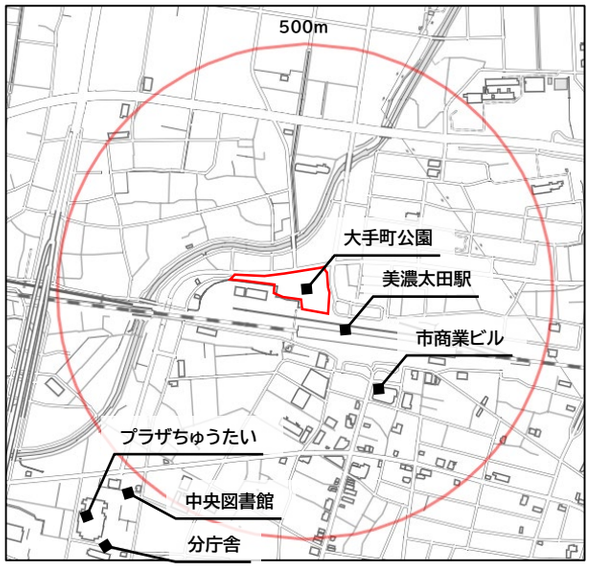
敷地概要	
所在	大手町1丁目3番地
敷地面積	約8,000㎡
用途地域	第二種住居地域
防火指定	なし
建ぺい・容積	許容建ぺい率:70% 許容容積率:200%
その他規制	建築基準法第22条区域、日影規制対象
立地適正化計画	都市機能誘導区域(庁舎の配置を推進)内

4. 土地利用計画案



新庁舎　施設規模		
延べ面積		約19,500㎡
	庁舎	約9,700㎡
	地下1階駐車場・駐輪場	約2,300㎡
	立体駐車場	約7,500㎡
階　数		地上5階　地下1階
高　さ		約21m
駐車台数(必要台数　567台)		
敷地内駐車場		440台
敷地外駐車場 (半径500m圏内)		127台

2. 周辺図



美濃太田駅に隣接し、公共交通機関でのアクセスにおいて利便性が非常に高くなっています。

3. 災害に対するリスク

浸水想定区域図
(計画規模・加茂川)

凡例

- 20.0m以上
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0m以上0.5m未満

❶ 計画規模の降雨とは

① その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。

❷ 加茂川の洪水浸水想定区域（計画規模）

① 加茂川の**計画規模降雨は、**30年に1回程度の確率で発生する降雨であり、加茂川流域の範囲で1時間に84㎜の雨が降ることを想定しています。

② 左図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。**大手町公園**では**0～3.0m**の浸水が想定されています。

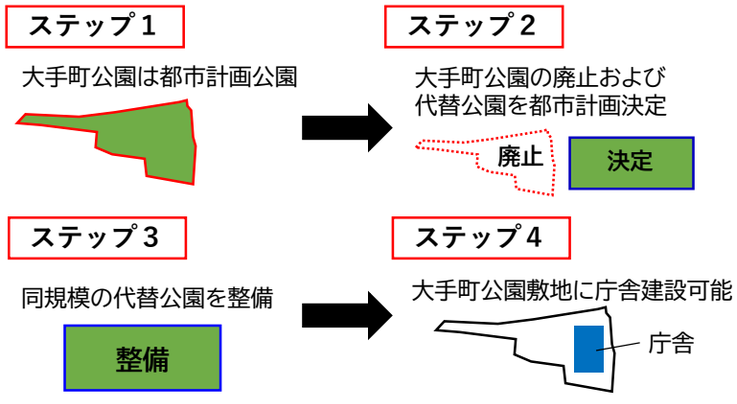
大手町公園は高さ制限や容積率の関係上、庁舎１階を駐車場にできない、かつ、地下駐車場を設置するため、以下の対策をします。

⇒対策　建物への浸水を防ぐ止水板の常備
　　地下駐車場への浸水を防ぐ止水シャッターの設置

止水板のイメージ

止水シャッターのイメージ

5. 都市計画公園の廃止／代替公園の整備



大手町公園は都市計画公園として都市計画決定されています。（都市計画法）

大手町公園敷地に新庁舎を整備するにあたり、同規模の代替公園の敷地の確保と整備および都市計画決定の手続きが必要となります。（期間：用地取得後３年から５年程度）

④ 大手町公園 周辺

この情報は整備地を選定するために情報整理･概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等を確定したものではありません。

6. 交差点影響分析結果

大手町公園周辺に新庁舎が移転した場合、職員の通勤や来庁者により、近接する「大手町１」交差点の交通量が増加することから、移転後に同交差点での交通処理に問題がないか検証した結果、**いずれの方向からも現在の車両構成・信号処理で円滑に交通を処理できる**ことが確認できました。

現在の交通量(調査実施時(令和6年7月))に、移転により増加する交通量を加算して交差点影響を検討

移転後に必要な右折車線長の検討

問題なし

方向	現在の右折車線長	開庁後に必要な右折車線長			評価
		通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	
南行き	50m	40.2m	13.6m	24.3m	<50m OK
西行き	50m	4.0m	6.4m	2.7m	<50m OK
北行き	50m	3.5m	3.3m	2.5m	<50m OK
東行き	50m	6.9m	4.8m	3.7m	<50m OK

移転後の交差点需要率の検討

問題なし

開庁後の交差点需要率			評価
通勤朝ピーク	通勤夕ピーク	来庁者ピーク	
0.829	0.829	0.222	<0.9 OK

※交差点需要率が0.9を下回ると1サイクルの信号処理で交差点内の車両を円滑に処理することが可能

7. 事業費

概算事業費	建築	建築工事費（ＲＣ造で免震構造の場合）	６５.３億円
		新庁舎設計・調査・工事監理費	５.２億円
		既存建物解体費（現庁舎・分庁舎）	２.６億円
		立体駐車場整備費	８.７億円
		小計	８１.８億円
	造成・インフラ	用地取得・補償	－
		造成費	２.１億円
		道路整備費	－
		小計	２.１億円
合計			**８３.９億円**

立体駐車場の整備費が高い

（参考）

維持管理費（３０年間）	維持管理費（運営費除く）	３７.１億円
	駐車場管理・借地料	１２.２億円
	計	４９.３億円

大手町公園周辺は市有地敷地が狭く、駐車場用地が確保できないことから、立体駐車場の整備・維持管理が必要となります。
また、現在都市公園であるため、庁舎建設にあたり、代替公園の整備が必要です。

8. 想定事業期間

※従来の発注方式の場合です。事業手法により期間は異なるため、基本計画策定時に改めて公表します。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更します。

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
計画･設計	基本計画	基本設計	実施設計						
庁舎建設						撤去整地	建築工事		
解体工事									
引越し								引越し	
代替公園整備		代替公園の敷地確保および整備／都市計画変更手続き（都市公園の廃止および新設）							

新庁舎供用開始

9. サウンディング調査結果

❶ サウンディングの目的・内容

新庁舎の建設にあたり、民間活力導入の可能性を検討するため、多業種の民間事業者への直接の対話により、立地および周辺環境についての魅力や課題について意見を伺いました。

❷ 事業者の考える魅力・メリット

美濃太田駅との連携

① 駅前であることから利便性が良い。
② 駅南側の再開発地区と一体的な賑わいを創出する可能性を秘めている。
③ 鉄道利用者を対象にした事業展開の可能性がある。

❸ 事業者の考える課題・デメリット

建物設計の自由度が低い

① 敷地面積が小さい。
② 駅南からのアプローチが悪い。
③ 日影規制が建物配置に大きく影響する。

10. まとめ【メリット／デメリット】

❶ 大手町公園周辺における新庁舎整備のメリット

駅近でアクセス◎

① 駅に近接しており、公共交通（電車、バス等）でのアクセス性に優れる。
② 敷地内に既存建物が少ないため、建物撤去や造成費を抑えることができる。

❷ 大手町公園周辺における新庁舎整備のデメリット

公園整備が必要

① 都市公園であるため、同規模の代替都市公園を新たに整備する必要がある。
② 周辺に市有地が少ないため、必要駐車台数を確保するためには敷地内に大規模な立体駐車場を整備する必要がある。
③ 敷地が狭いため、立体駐車場も整備すると容積率が厳しくなり、庁舎機能以外の用途を入れる余地がない。

8.タウンミーティング結果

8. タウンミーティング結果

整備地を決めるための情報として、市民の皆様と対話し、各候補地のメリット・デメリットを共有することを目的としたタウンミーティングを全4日間の日程で実施しました。

タウンミーティングは市民の皆様と対話をするために、各候補地の情報提供を行った上のグループワーク形式で行われました。

グループワーク内容		日時	場所	参加人数
新庁舎整備の候補地の調査結果と評価案	1日目	令和6年 12月7日(土) 15:30～18:00	生涯学習センター201	25人
	2日目	令和6年 12月8日(日) 13:30～16:00	生涯学習センター201	25人
	3日目	令和6年 12月12日(木) 18:00～20:30	生涯学習センター201	33人
	4日目	令和6年 12月17日(火) 18:00～20:30	生涯学習センター201	22人

タウンミーティング　結果概要

美濃加茂市では、令和5年度に4つの新庁舎整備の候補地を決定し、令和6年度には、各候補地でどのような庁舎が整備可能か調査を行いました。

今回、整備地を決めるための情報として、市民のみなさんと対話し、各候補地のメリット・デメリットを共有することを目的としたタウンミーティングを全4日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

（1）開催日時・場所・参加人数

	1日目	2日目	3日目	4日目
日時	令和６年12月７日（土）15:30～18:00	令和６年12月８日（日）13:30～16:00	令和６年12月12日（木）18:00～20:30	令和６年12月17日（火）18:00～20:30
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	25人	25人	33人	22人

（2）開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ウォーミングアップ
   お題：「情報提供に対する感想」
4. グループワーク
   お題：「新庁舎整備の候補地の調査結果と評価案」
5. 全体共有
6. おわりに

（3）参加者募集の概要

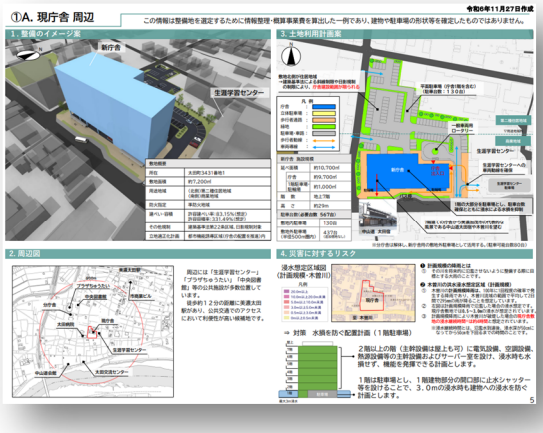
●対象：市内在住又は市内在勤・在学の中学生以上
●定員：36名／回×4回（複数日程参加可能）
●申込方法：応募用紙にて参加申込（電話、WEBフォーム（QRコード）、持参、郵送、電子メール）
●募集方法：広報折込チラシ、市HPへの掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、公共施設・民間事業者36ヶ所への掲示、SNS

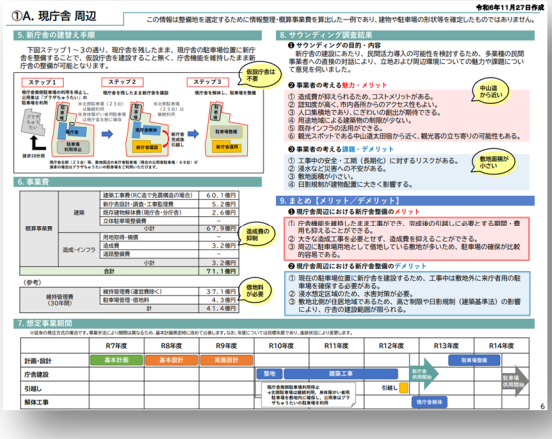
（4）事務局

●事務局：美濃加茂市　総務部　新庁舎整備推進課

2. 情報共有内容

タウンミーティングでは、令和5年度に実施したワークショップおよび市民アンケート結果から、4つの候補地を決定した経緯の説明を行い、令和6年度に実施した調査結果をもとに4つの候補地における新庁舎整備の特徴やメリット・デメリット、整備地決定に向けての今後の予定等の情報を共有しました。





資料の一例

配布資料：「みんなの新庁舎　4 候補地の情報資料」
「みんなの新庁舎　かわらばん vol.1～4」

3. 結果の概要

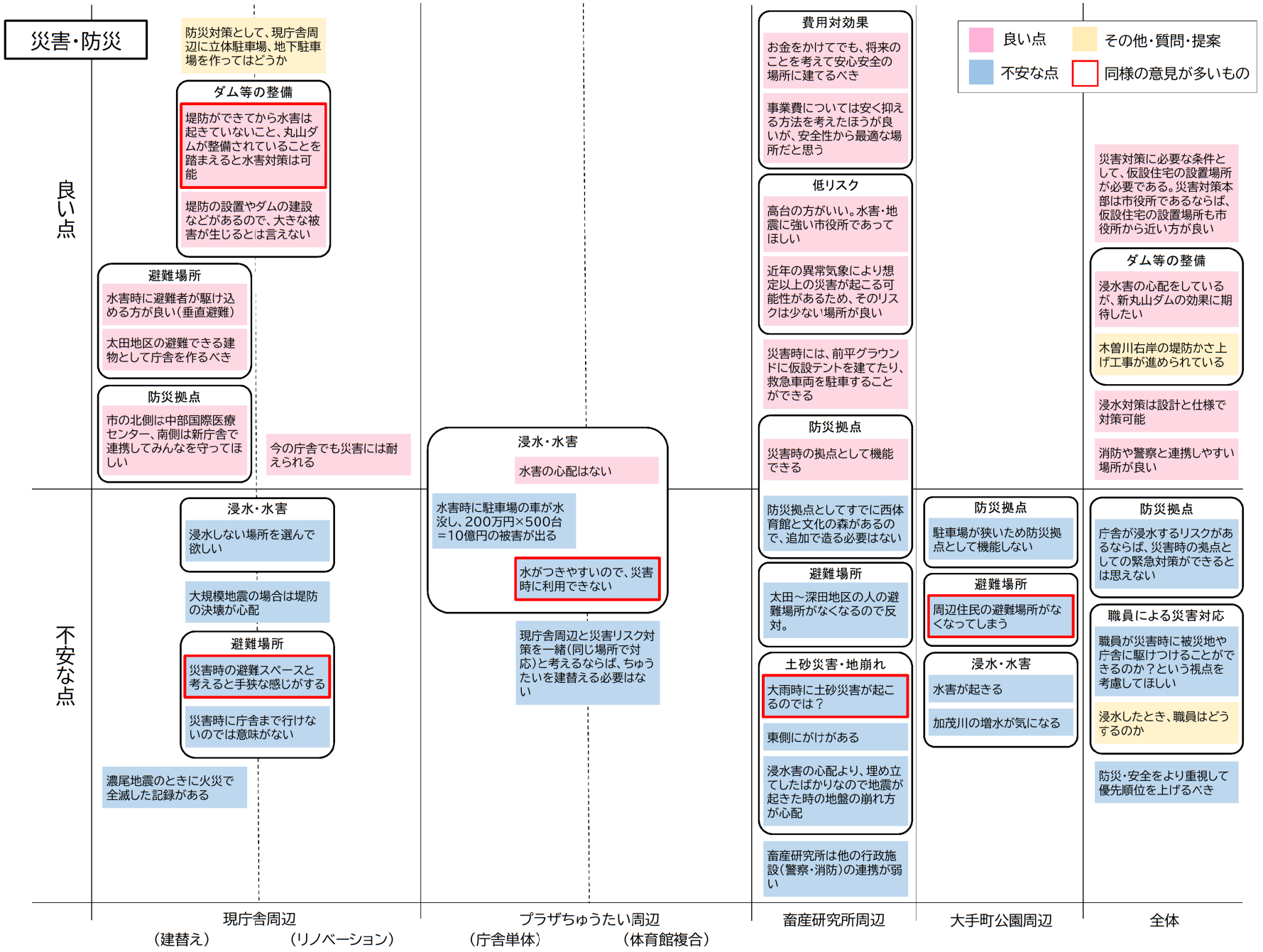
参加者の意見をカテゴリーおよび候補地ごとに分類しました。

参加者の関心が多いカテゴリーとして以下があげられます。

（1）災害・防災
（2）事業費
（3）立地条件
（4）駐車場
（5）交通・アクセス
（6）市全体のまちづくり
（7）公共施設の配置
（8）土地利用計画
（9）事業の進め方

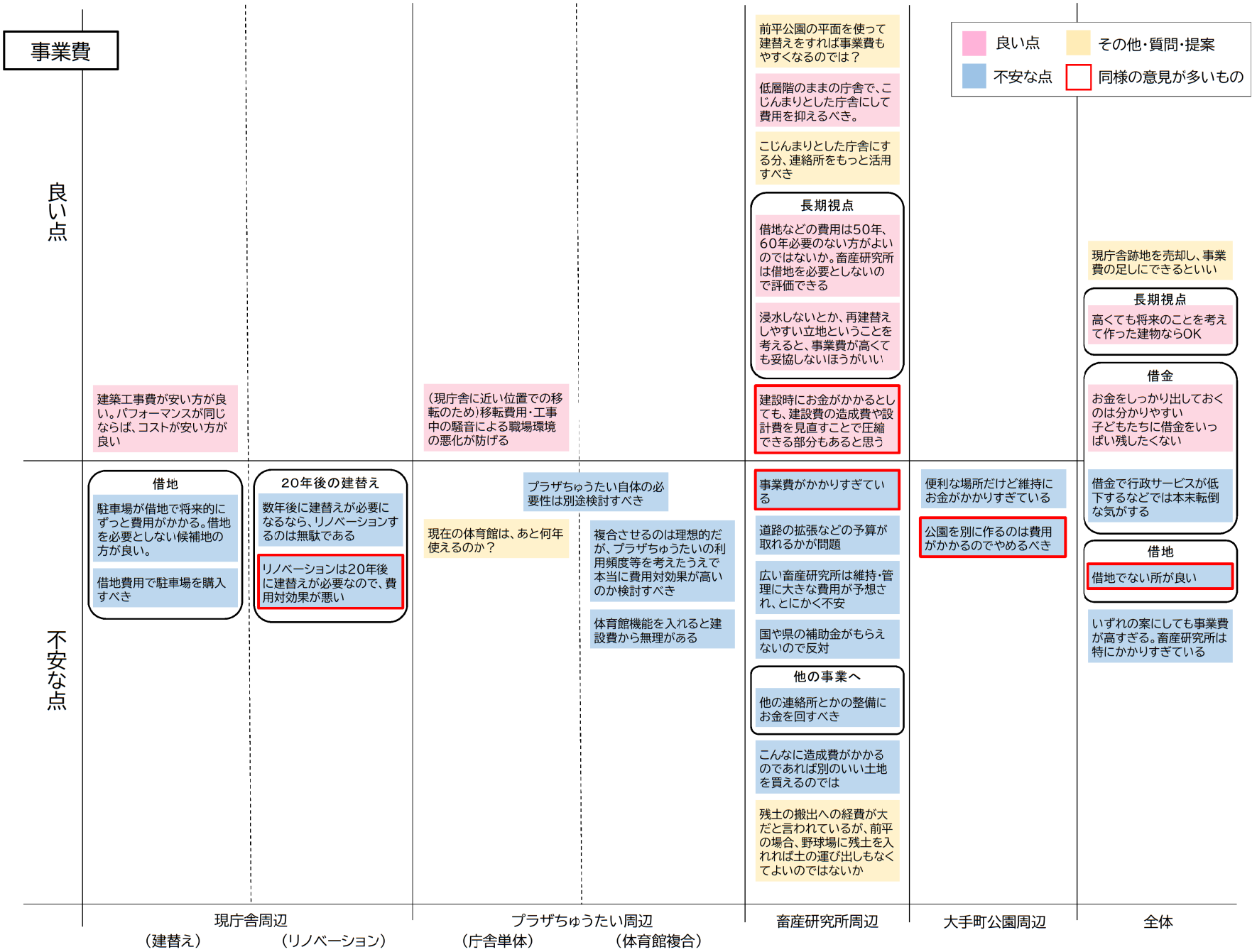
（1）災害・防災

- 現庁舎周辺、プラザちゅうたい周辺、大手町公園周辺において、「浸水・水害」の不安に対する意見がありました。畜産研究所では丘陵地にあることから、「土砂災害・地崩れ」の不安に対する意見がありました。
- 「避難場所」に対しては、水害時の垂直避難場所（現庁舎周辺）として新庁舎を求める意見と現在の避難場所（大手町公園）を無くしてはならないとの意見がありました。
- 「浸水・水害」に対しては、不安の声がある一方で、対策（工事中の新丸山ダムや堤防）が講じられているため、問題ないとする意見がありました。
- 「防災拠点」としては、浸水リスクの低い畜産研究所周辺がふさわしいという意見がある一方で、新庁舎を現庁舎周辺とすることで、北側の中部国際医療センターと南北で連携をより強化してほしいという意見がありました。


災害・防災
良い点
不安な点
良い
その他・質問・提案
不安な
同様の意見が多いもの
防災対策として、現庁舎周辺に立体駐車場、地下駐車場を作ってはどうか
ダム等の整備
堤防ができてから水害は起きていないこと、丸山ダムが整備されていることを踏まえると水害対策は可能
堤防の設置やダムの建設などがあるので、大きな被害が生じるとは言えない
避難場所
水害時に避難者が駆け込める方が良い（垂直避難）
太田地区の避難できる建物として庁舎を作るべき
防災拠点
市の北側は中部国際医療センター、南側は新庁舎で連携してみんなを守ってほしい
今の庁舎でも災害には耐えられる
浸水・水害
浸水しない場所を選んで欲しい
大規模地震の場合は堤防の決壊が心配
避難場所
災害時の避難スペースと考えると手狭な感じがする
災害時に庁舎まで行けないのでは意味がない
濃尾地震のときに火災で全滅した記録がある
浸水・水害
水害の心配はない
水害時に駐車場の車が水没し、200万円×500台＝10億円の被害が出る
水がつきやすいので、災害時に利用できない
現庁舎周辺と災害リスク対策を一緒（同じ場所で対応）と考えるならば、ちゅうたいを建替える必要はない
費用対効果
お金をかけてでも、将来のことを考えて安心安全の場所に建てるべき
事業費については安く抑える方法を考えたほうが良いが、安全性から最適な場所だと思う
低リスク
高台の方がいい。水害・地震に強い市役所であってほしい
近年の異常気象により想定以上の災害が起こる可能性があるため、そのリスクは少ない場所が良い
災害時には、前平グラウンドに仮設テントを建てたり、救急車両を駐車することができる
防災拠点
災害時の拠点として機能できる
防災拠点としてすでに西体育館と文化の森があるので、追加で造る必要はない
避難場所
太田～深田地区の人の避難場所がなくなるので反対。
土砂災害・地崩れ
大雨時に土砂災害が起こるのでは？
東側にがけがある
浸水害の心配より、埋め立てしたばかりなので地震が起きた時の地盤の崩れ方が心配
畜産研究所は他の行政施設（警察・消防）の連携が弱い
防災拠点
駐車場が狭いため防災拠点として機能しない
避難場所
周辺住民の避難場所がなくなってしまう
浸水・水害
水害が起きる
加茂川の増水が気になる
災害対策に必要な条件として、仮設住宅の設置場所が必要である。災害対策本部は市役所であるならば、仮設住宅の設置場所も市役所から近い方が良い
ダム等の整備
浸水害の心配をしているが、新丸山ダムの効果に期待したい
木曽川右岸の堤防かさ上げ工事が進められている
浸水対策は設計と仕様で対策可能
消防や警察と連携しやすい場所が良い
防災拠点
庁舎が浸水するリスクがあるならば、災害時の拠点としての緊急対策ができるとは思えない
職員による災害対応
職員が災害時に被災地や庁舎に駆けつけることができるのか？という視点を考慮してほしい
浸水したとき、職員はどうするのか
防災・安全をより重視して優先順位を上げるべき
現庁舎周辺
（建替え）
（リノベーション）
プラザちゅうたい周辺
（庁舎単体）
（体育館複合）
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

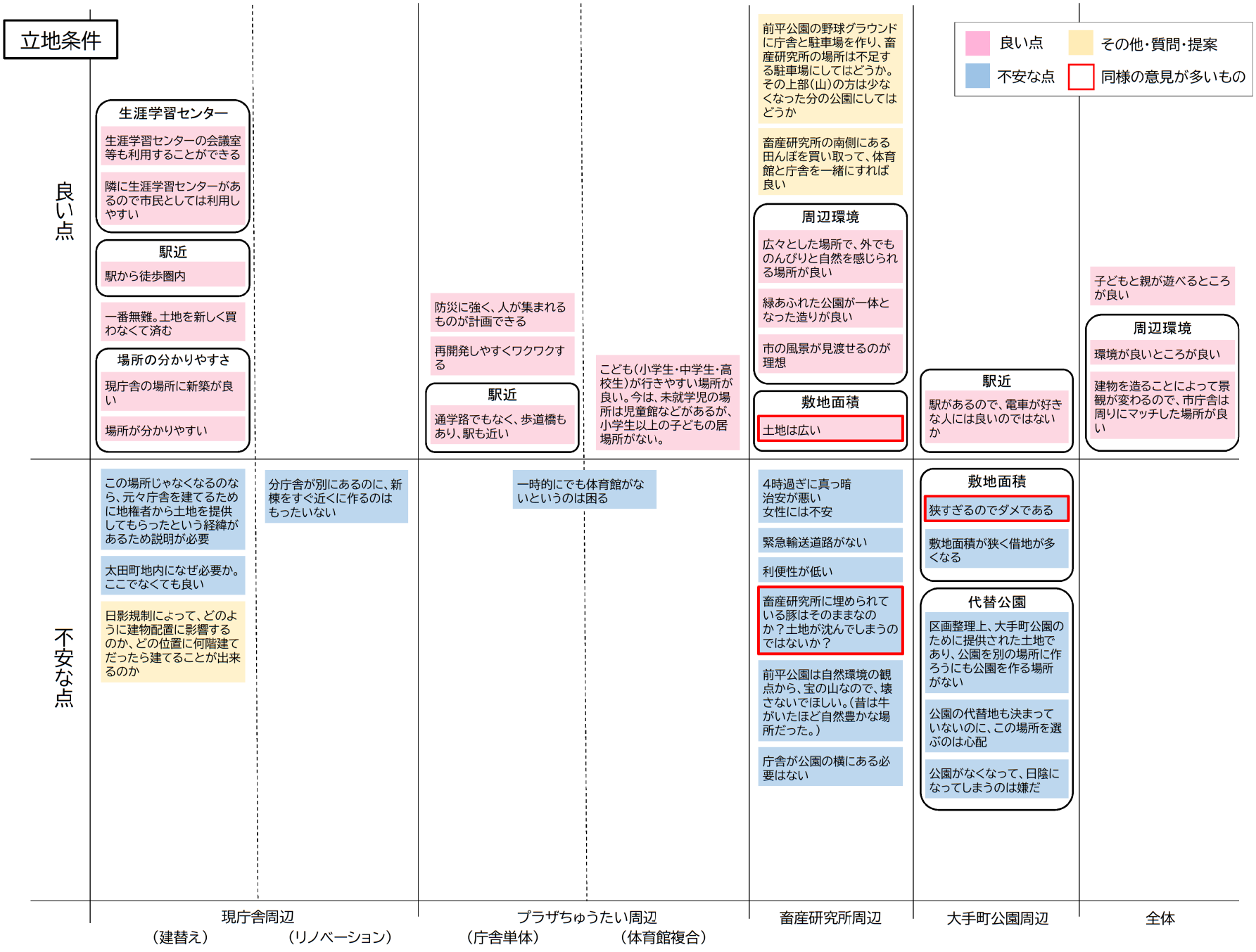
（2）事業費

- 最も事業費が高い畜産研究所周辺は事業費に関する意見が多く、他の候補地よりも高い分を畜産研究所以外の土地の取得費用にあてることや他の施設の整備にあてることができるという意見がありました。一方で、浸水リスクの低さや敷地面積が広く借地を要さないことから、長期視点では事業費が高くても問題ないという意見がありました。
- 最も事業費の低い現庁舎周辺（リノベーション）は20年後に現庁舎部分の建替えが必要となることから費用対効果が低いとの意見がありました。


事業費
良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
建築工事費が安い方が良い。パフォーマンスが同じならば、コストが安い方が良い
借地
駐車場が借地で将来的にずっと費用がかかる。借地を必要としない候補地の方が良い。
借地費用で駐車場を購入すべき
20年後の建替え
数年後に建替えが必要になるなら、リノベーションするのは無駄である
リノベーションは20年後に建替えが必要なので、費用対効果が悪い
(現庁舎に近い位置での移転のため)移転費用・工事中の騒音による職場環境の悪化が防げる
現在の体育館は、あと何年使えるのか？
プラザちゅうたい自体の必要性は別途検討すべき
複合させるのは理想的だが、プラザちゅうたいの利用頻度等を考えたうえで本当に費用対効果が高いのか検討すべき
体育館機能を入れると建設費から無理がある
前平公園の平面を使って建替えをすれば事業費もやすくなるのでは？
低層階のままの庁舎で、こじんまりとした庁舎にして費用を抑えるべき。
こじんまりとした庁舎にする分、連絡所をもっと活用すべき
長期視点
借地などの費用は50年、60年必要のない方がよいのではないか。畜産研究所は借地を必要としないので評価できる
浸水しないとか、再建替えしやすい立地ということを考えると、事業費が高くても妥協しないほうがいい
建設時にお金がかかるとしても、建設費の造成費や設計費を見直すことで圧縮できる部分もあると思う
事業費がかかりすぎている
道路の拡張などの予算が取れるかが問題
広い畜産研究所は維持・管理に大きな費用が予想され、とにかく不安
国や県の補助金がもらえないので反対
他の事業へ
他の連絡所とかの整備にお金を回すべき
こんなに造成費がかかるのであれば別のいい土地を買えるのでは
残土の搬出への経費が大だと言われているが、前平の場合、野球場に残土を入れれば土の運び出しもなくてよいのではないか
便利な場所だけど維持にお金がかかりすぎている
公園を別に作るのは費用がかかるのでやめるべき
現庁舎跡地を売却し、事業費の足しにできるといい
長期視点
高くても将来のことを考えて作った建物ならOK
借金
お金をしっかり出しておくのは分かりやすい
子どもたちに借金をいっぱい残したくない
借金で行政サービスが低下するなどでは本末転倒な気がする
借地
借地でない所が良い
いずれの案にしても事業費が高すぎる。畜産研究所は特にかかりすぎている
現庁舎周辺
(建替え)
(リノベーション)
プラザちゅうたい周辺
(庁舎単体)
(体育館複合)
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

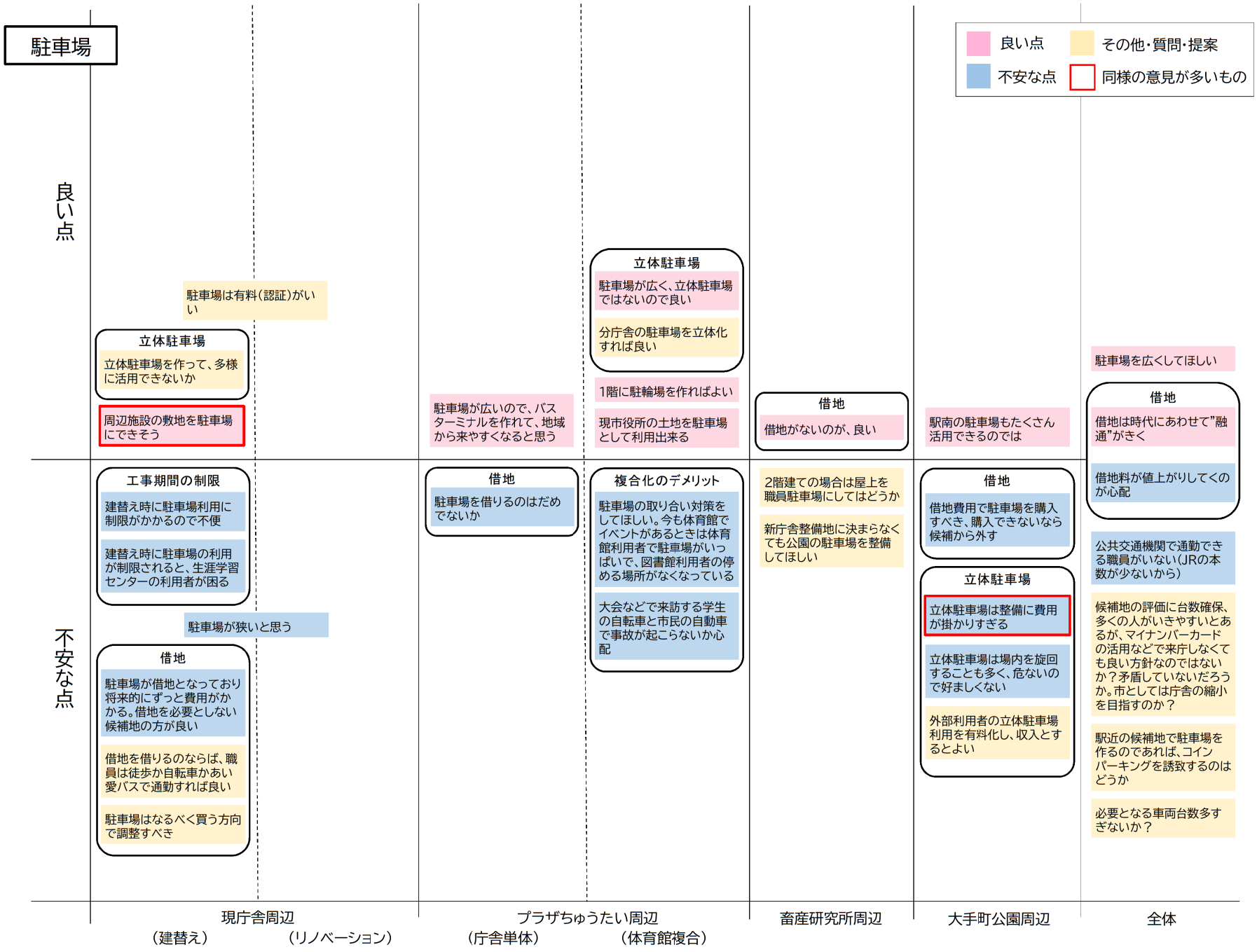
（3）立地条件

- 現庁舎周辺は既に庁舎として利用されていることから、場所が分かりやすいという意見がありました。また、生涯学習センターと隣接しているため、会議室や市民スペースを利活用できるという意見がありました。
- 畜産研究所周辺は敷地面積が広いことがメリットとして多く意見がありました。
- 大手町公園は駅に隣接している一方で、敷地面積が小さいことが不安な点として多く意見がありました。また、大手町公園廃止にともなう代替公園整備の実現性や費用に対する不安および大手町公園が無くなることに対する意見が不安な点としてありました。


立地条件
良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
生涯学習センター
生涯学習センターの会議室等も利用することができる
隣に生涯学習センターがあるので市民としては利用しやすい
駅近
駅から徒歩圏内
一番無難。土地を新しく買わなくて済む
場所の分かりやすさ
現庁舎の場所に新築が良い
場所が分かりやすい
この場所じゃなくなるのなら、元々庁舎を建てるために地権者から土地を提供してもらったという経緯があるため説明が必要
太田町地内になぜ必要か。ここでなくても良い
日影規制によって、どのように建物配置に影響するのか、どの位置に何階建てだったら建てることが出来るのか
分庁舎が別にあるのに、新棟をすぐ近くに作るのはもったいない
防災に強く、人が集まれるものが計画できる
再開発しやすくワクワクする
駅近
通学路でもなく、歩道橋もあり、駅も近い
こども(小学生・中学生・高校生)が行きやすい場所が良い。今は、未就学児の場所は児童館などがあるが、小学生以上の子どもの居場所がない。
一時的にでも体育館がないというのは困る
前平公園の野球グラウンドに庁舎と駐車場を作り、畜産研究所の場所は不足する駐車場にしてはどうか。その上部(山)の方は少なくなった分の公園にしてはどうか
畜産研究所の南側にある田んぼを買い取って、体育館と庁舎を一緒にすれば良い
周辺環境
広々とした場所で、外でものんびりと自然を感じられる場所が良い
緑あふれた公園が一体となった造りが良い
市の風景が見渡せるのが理想
敷地面積
土地は広い
4時過ぎに真っ暗
治安が悪い
女性には不安
緊急輸送道路がない
利便性が低い
畜産研究所に埋められている豚はそのままなのか？土地が沈んでしまうのではないか？
前平公園は自然環境の観点から、宝の山なので、壊さないでほしい。(昔は牛がいたほど自然豊かな場所だった。)
庁舎が公園の横にある必要はない
駅近
駅があるので、電車が好きな人には良いのではないか
敷地面積
狭すぎるのでダメである
敷地面積が狭く借地が多くなる
代替公園
区画整理上、大手町公園のために提供された土地であり、公園を別の場所に作ろうにも公園を作る場所がない
公園の代替地も決まっていないのに、この場所を選ぶのは心配
公園がなくなって、日陰になってしまうのは嫌だ
子どもと親が遊べるところが良い
周辺環境
環境が良いところが良い
建物を造ることによって景観が変わるので、市庁舎は周りにマッチした場所が良い
現庁舎周辺
(建替え)
(リノベーション)
プラザちゅうたい周辺
(庁舎単体)
(体育館複合)
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

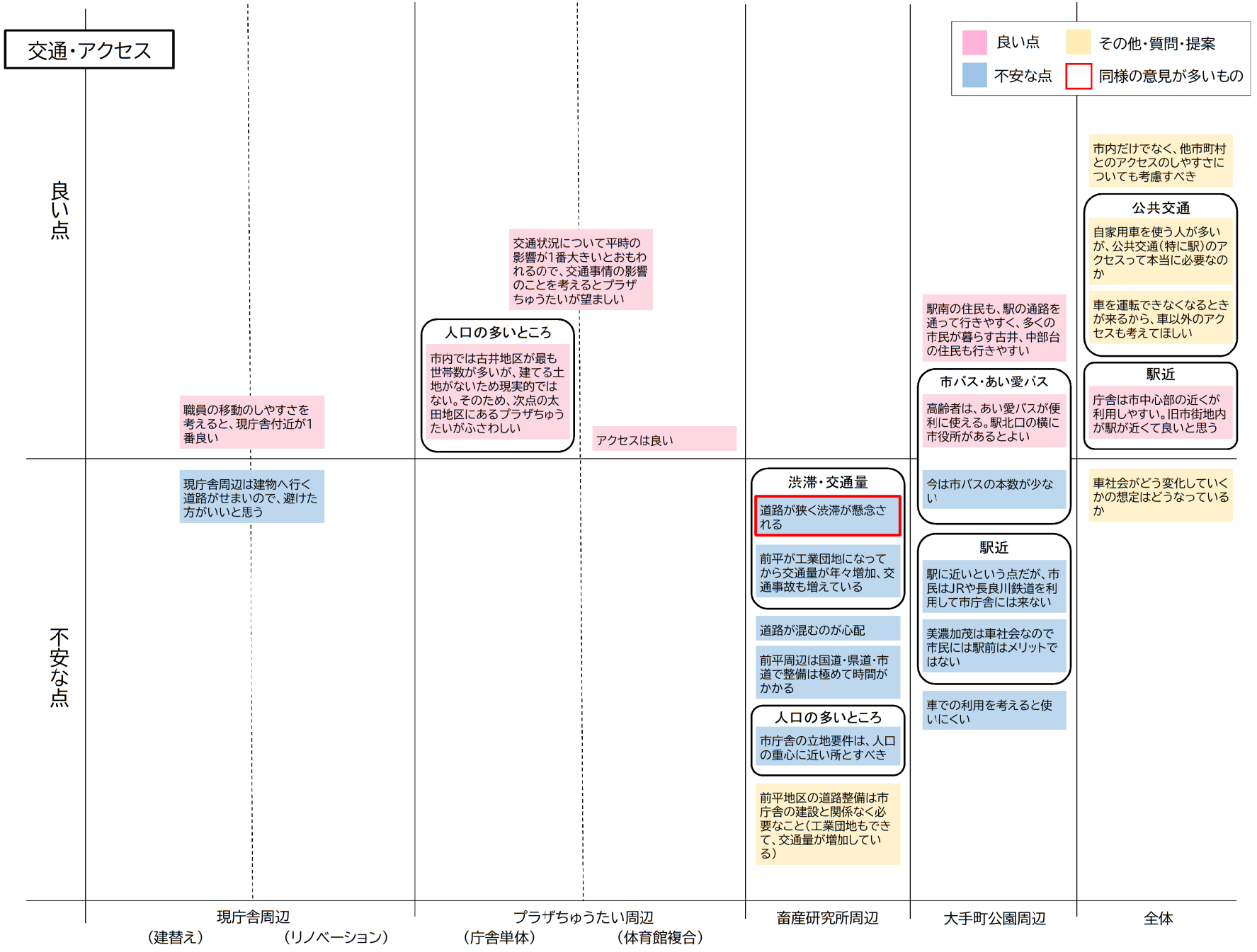
（4）駐車場

- 全体を通して、駐車場用の借地に関する意見が多くありました。借地は費用がずっとかかるため無くしたいという意見がある一方で、時代のニーズに合わせて借りる・借りないの選択があることから融通が利くという意見がありました。
- 立体駐車場は整備費用・維持管理費用がかさむこと、駐車の難易度が不安な点として多く意見がありました。
- 現庁舎周辺は新庁舎の建設期間は駐車場利用に制限があるため不便とする意見がありました。
- プラザちゅうたい周辺（体育館複合）は、庁舎単体よりも施設利用者が多く、多様となることから、駐車場不足の心配や交通事故の心配に関する意見がありました。


駐車場
良い点
不安な点
良い
その他・質問・提案
不安な
同様の意見が多いもの
駐車場は有料（認証）がいい
立体駐車場
立体駐車場を作って、多様に活用できないか
周辺施設の敷地を駐車場にできそう
工事期間の制限
建替え時に駐車場利用に制限がかかるので不便
建替え時に駐車場の利用が制限されると、生涯学習センターの利用者が困る
駐車場が狭いと思う
借地
駐車場が借地となっており将来的にずっと費用がかかる。借地を必要としない候補地の方が良い
借地を借りるのならば、職員は徒歩か自転車かあい愛バスで通勤すれば良い
駐車場はなるべく買う方向で調整すべき
駐車場が広いので、バスターミナルを作れて、地域から来やすくなると思う
借地
駐車場を借りるのはだめでないか
立体駐車場
駐車場が広く、立体駐車場ではないので良い
分庁舎の駐車場を立体化すれば良い
1階に駐輪場を作ればよい
現市役所の土地を駐車場として利用出来る
複合化のデメリット
駐車場の取り合い対策をしてほしい。今も体育館でイベントがあるときは体育館利用者で駐車場がいっぱいで、図書館利用者の停める場所がなくなっている
大会などで来訪する学生の自転車と市民の自動車で事故が起こらないか心配
借地
借地がないのが、良い
2階建ての場合は屋上を職員駐車場にしてはどうか
新庁舎整備地に決まらなくても公園の駐車場を整備してほしい
駅南の駐車場もたくさん活用できるのでは
借地
借地費用で駐車場を購入すべき、購入できないなら候補から外す
立体駐車場
立体駐車場は整備に費用が掛かりすぎる
立体駐車場は場内を旋回することも多く、危ないので好ましくない
外部利用者の立体駐車場利用を有料化し、収入とするとよい
駐車場を広くしてほしい
借地
借地は時代にあわせて”融通”がきく
借地料が値上がりしてくのが心配
公共交通機関で通勤できる職員がいない（JRの本数が少ないから）
候補地の評価に台数確保、多くの人がいきやすいとあるが、マイナンバーカードの活用などで来庁しなくても良い方針なのではないか？矛盾していないだろうか。市としては庁舎の縮小を目指すのか？
駅近の候補地で駐車場を作るのであれば、コインパーキングを誘致するのはどうか
必要となる車両台数多すぎないか？
現庁舎周辺
（建替え）
（リノベーション）
プラザちゅうたい周辺
（庁舎単体）
（体育館複合）
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

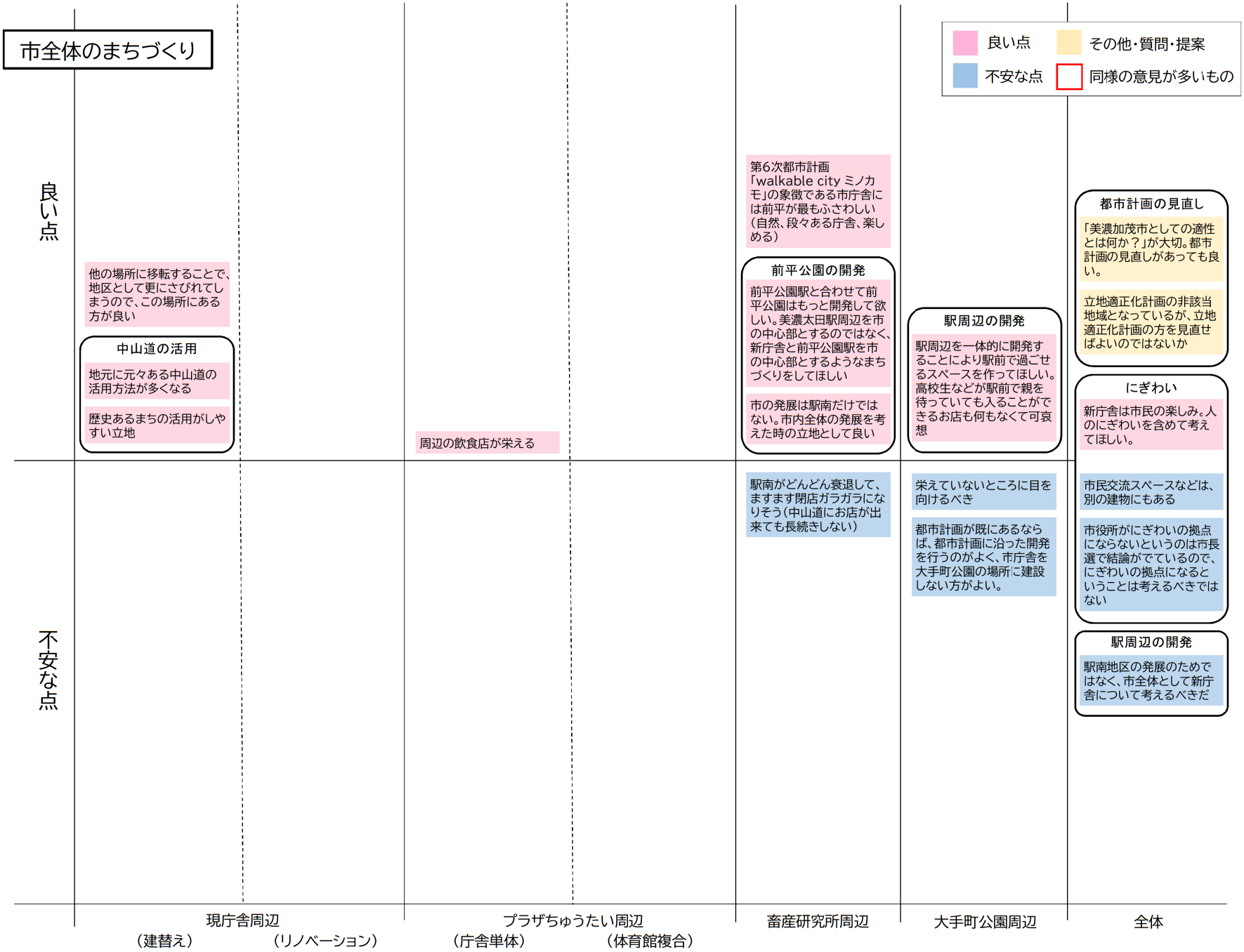
（5）交通・アクセス

- 畜産研究所周辺は既に交通量が多く、新庁舎が設けられた場合の交通渋滞に対する不安な意見が多くありました。
- アクセスを考えると、人口の多いところに新庁舎があるとよいという意見がありました。
- 自家用車を利用する市民が多いことから、公共交通によるアクセスの必要性に対する疑問の意見がある一方で、車を運転できない場合のアクセスが必要という意見がありました。


交通・アクセス
良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
職員の移動のしやすさを考えると、現庁舎付近が1番良い
現庁舎周辺は建物へ行く道路がせまいので、避けた方がいいと思う
交通状況について平時の影響が1番大きいとおもわれるので、交通事情の影響のことを考えるとプラザちゅうたいが望ましい
人口の多いところ
市内では古井地区が最も世帯数が多いが、建てる土地がないため現実的ではない。そのため、次点の太田地区にあるプラザちゅうたいがふさわしい
アクセスは良い
渋滞・交通量
道路が狭く渋滞が懸念される
前平が工業団地になってから交通量が年々増加、交通事故も増えている
道路が混むのが心配
前平周辺は国道・県道・市道で整備は極めて時間がかかる
人口の多いところ
市庁舎の立地要件は、人口の重心に近い所とすべき
前平地区の道路整備は市庁舎の建設と関係なく必要なこと（工業団地もできて、交通量が増加している）
駅南の住民も、駅の通路を通って行きやすく、多くの市民が暮らす古井、中部台の住民も行きやすい
市バス・あい愛バス
高齢者は、あい愛バスが便利に使える。駅北口の横に市役所があるとよい
今は市バスの本数が少ない
駅近
駅に近いという点だが、市民はJRや長良川鉄道を利用して市庁舎には来ない
美濃加茂は車社会なので市民には駅前はメリットではない
車での利用を考えると使いにくい
市内だけでなく、他市町村とのアクセスのしやすさについても考慮すべき
公共交通
自家用車を使う人が多いが、公共交通（特に駅）のアクセスって本当に必要なのか
車を運転できなくなるときが来るから、車以外のアクセスも考えてほしい
駅近
庁舎は市中心部の近くが利用しやすい。旧市街地内が駅が近くて良いと思う
車社会がどう変化していくかの想定はどうなっているか
現庁舎周辺
（建替え）
（リノベーション）
プラザちゅうたい周辺
（庁舎単体）
（体育館複合）
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

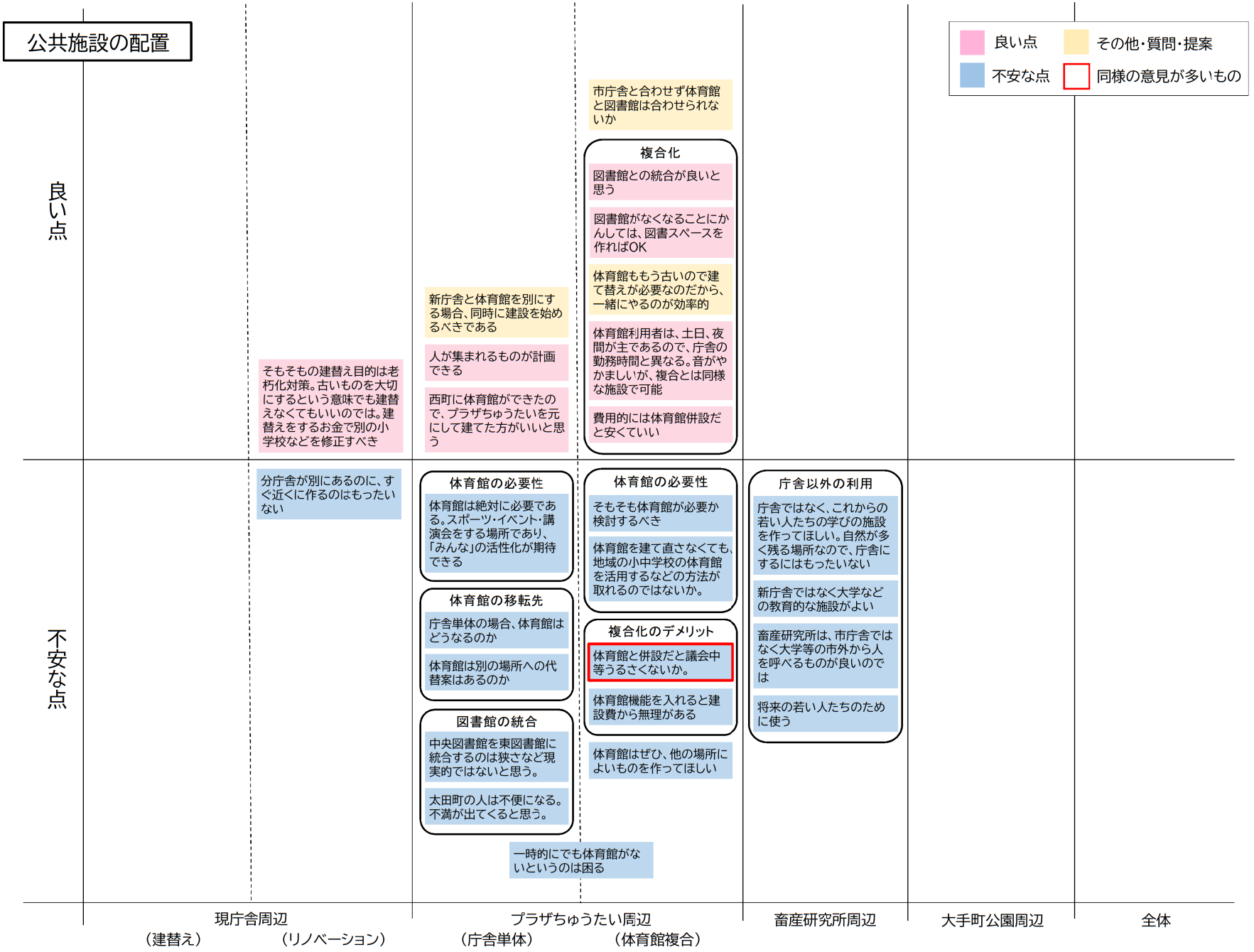
（6）市全体のまちづくり

- 現庁舎周辺は中山道、畜産研究所周辺は前平公園、大手町公園周辺は美濃太田駅周辺が庁舎と一体的に活用・開発できるのではないかという意見がありました。
- 都市計画（立地適正化計画等）と対応していない場合は、都市計画の見直しを行えばよいという意見がありました。


市全体のまちづくり
良い点
不安な点
良い
その他・質問・提案
不安な
同様の意見が多いもの
他の場所に移転することで、地区として更にさびれてしまうので、この場所にある方が良い
中山道の活用
地元に元々ある中山道の活用方法が多くなる
歴史あるまちの活用がしやすい立地
周辺の飲食店が栄える
第6次都市計画「walkable city ミノカモ」の象徴である市庁舎には前平が最もふさわしい（自然、段々ある庁舎、楽しめる）
前平公園の開発
前平公園駅と合わせて前平公園はもっと開発して欲しい。美濃太田駅周辺を市の中心部とするのではなく、新庁舎と前平公園駅を市の中心部とするようなまちづくりをしてほしい
市の発展は駅南だけではない。市内全体の発展を考えた時の立地として良い
駅南がどんどん衰退して、ますます閉店ガラガラになりそう（中山道にお店が出来ても長続きしない）
駅周辺の開発
駅周辺を一体的に開発することにより駅前で過ごせるスペースを作ってほしい。高校生などが駅前で親を待っていても入ることができるお店も何もなくて可哀想
栄えていないところに目を向けるべき
都市計画が既にあるならば、都市計画に沿った開発を行うのがよく、市庁舎を大手町公園の場所に建設しない方がよい。
都市計画の見直し
「美濃加茂市としての適性とは何か？」が大切。都市計画の見直しがあっても良い。
立地適正化計画の非該当地域となっているが、立地適正化計画の方を見直せばよいのではないか
にぎわい
新庁舎は市民の楽しみ。人のにぎわいを含めて考えてほしい。
市民交流スペースなどは、別の建物にもある
市役所がにぎわいの拠点にならないというのは市長選で結論がでているので、にぎわいの拠点になるということは考えるべきではない
駅周辺の開発
駅南地区の発展のためではなく、市全体として新庁舎について考えるべきだ
現庁舎周辺
（建替え）
（リノベーション）
プラザちゅうたい周辺
（庁舎単体）
（体育館複合）
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

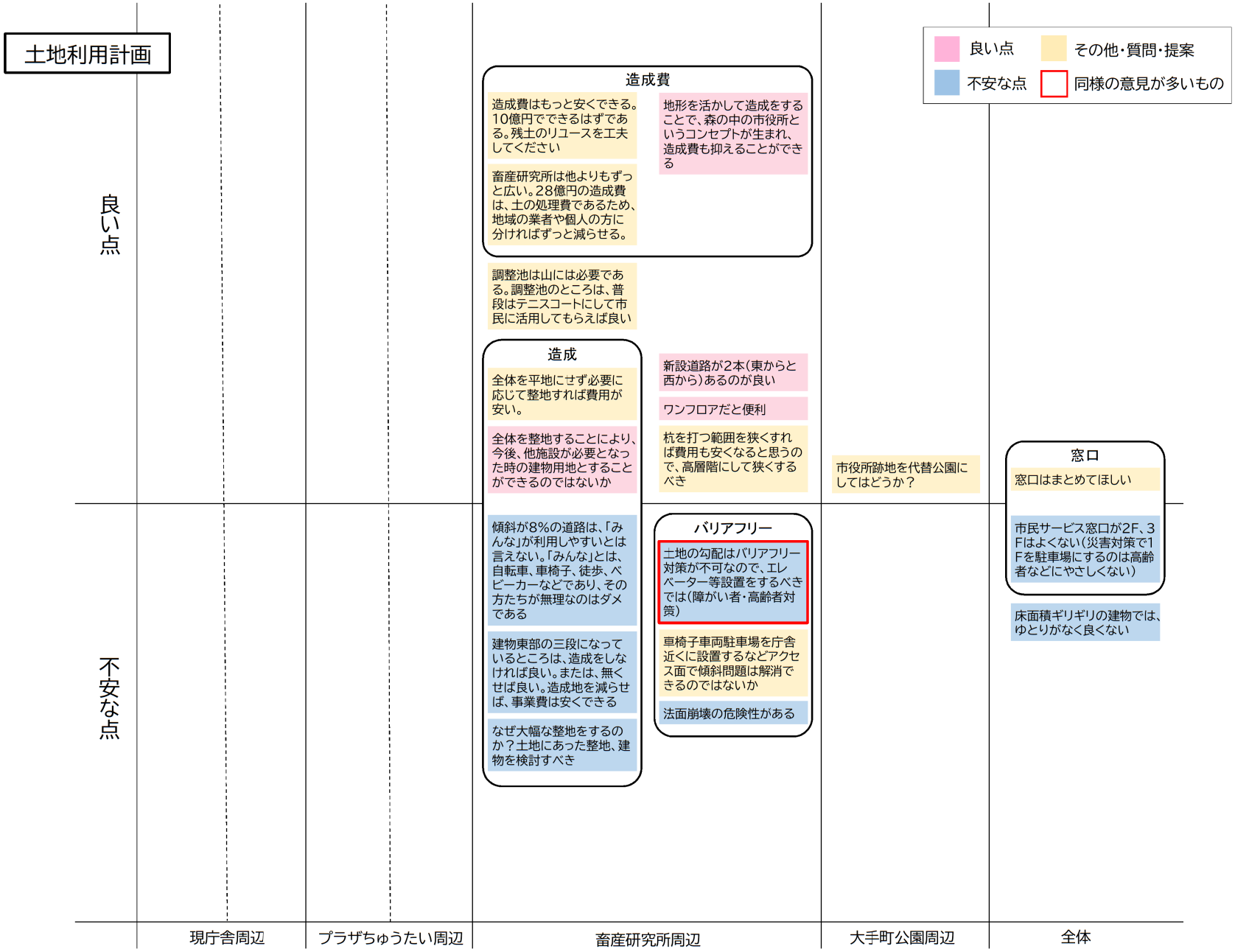
（7）公共施設の配置

- プラザちゅうたい周辺（体育館複合）は、費用面や体育館の建替え時期、庁舎利用者と体育館利用者の利用時間の違いを考慮して複合化に賛成的な意見がある一方で、振動騒音等に対する不安や建設費が高くなることに対する意見がありました。
- 体育館の必要性や移転する場合の移転先、図書館の統合等、公共施設全体の見通しに対する意見が多くありました。
- 畜産研究所周辺は大学施設や若い世代に向けた施設等、他の利用をすべきとする意見がありました。


公共施設の配置
良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
そもそもの建替え目的は老朽化対策。古いものを大切にするという意味でも建替えなくてもいいのでは。建替えをするお金で別の小学校などを修正すべき
分庁舎が別にあるのに、すぐ近くに作るのはもったいない
新庁舎と体育館を別にする場合、同時に建設を始めるべきである
人が集まれるものが計画できる
西町に体育館ができたので、プラザちゅうたいを元にして建てた方がいいと思う
体育館の必要性
体育館は絶対に必要である。スポーツ・イベント・講演会をする場所であり、「みんな」の活性化が期待できる
体育館の移転先
庁舎単体の場合、体育館はどうなるのか
体育館は別の場所への代替案はあるのか
図書館の統合
中央図書館を東図書館に統合するのは狭さなど現実的ではないと思う。
太田町の人は不便になる。不満が出てくると思う。
一時的にでも体育館がないというのは困る
市庁舎と合わせず体育館と図書館は合わせられないか
複合化
図書館との統合が良いと思う
図書館がなくなることにかんしては、図書スペースを作ればOK
体育館ももう古いので建て替えが必要なのだから、一緒にやるのが効率的
体育館利用者は、土日、夜間が主であるので、庁舎の勤務時間と異なる。音がやかましいが、複合とは同様な施設で可能
費用的には体育館併設だと安くていい
体育館の必要性
そもそも体育館が必要か検討するべき
体育館を建て直さなくても、地域の小中学校の体育館を活用するなどの方法が取れるのではないか。
複合化のデメリット
体育館と併設だと議会中等うるさくないか。
体育館機能を入れると建設費から無理がある
体育館はぜひ、他の場所によいものを作ってほしい
庁舎以外の利用
庁舎ではなく、これからの若い人たちの学びの施設を作ってほしい。自然が多く残る場所なので、庁舎にするにはもったいない
新庁舎ではなく大学などの教育的な施設がよい
畜産研究所は、市庁舎ではなく大学等の市外から人を呼べるものが良いのでは
将来の若い人たちのために使う
現庁舎周辺
（建替え）
（リノベーション）
プラザちゅうたい周辺
（庁舎単体）
（体育館複合）
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体

（8）土地利用計画

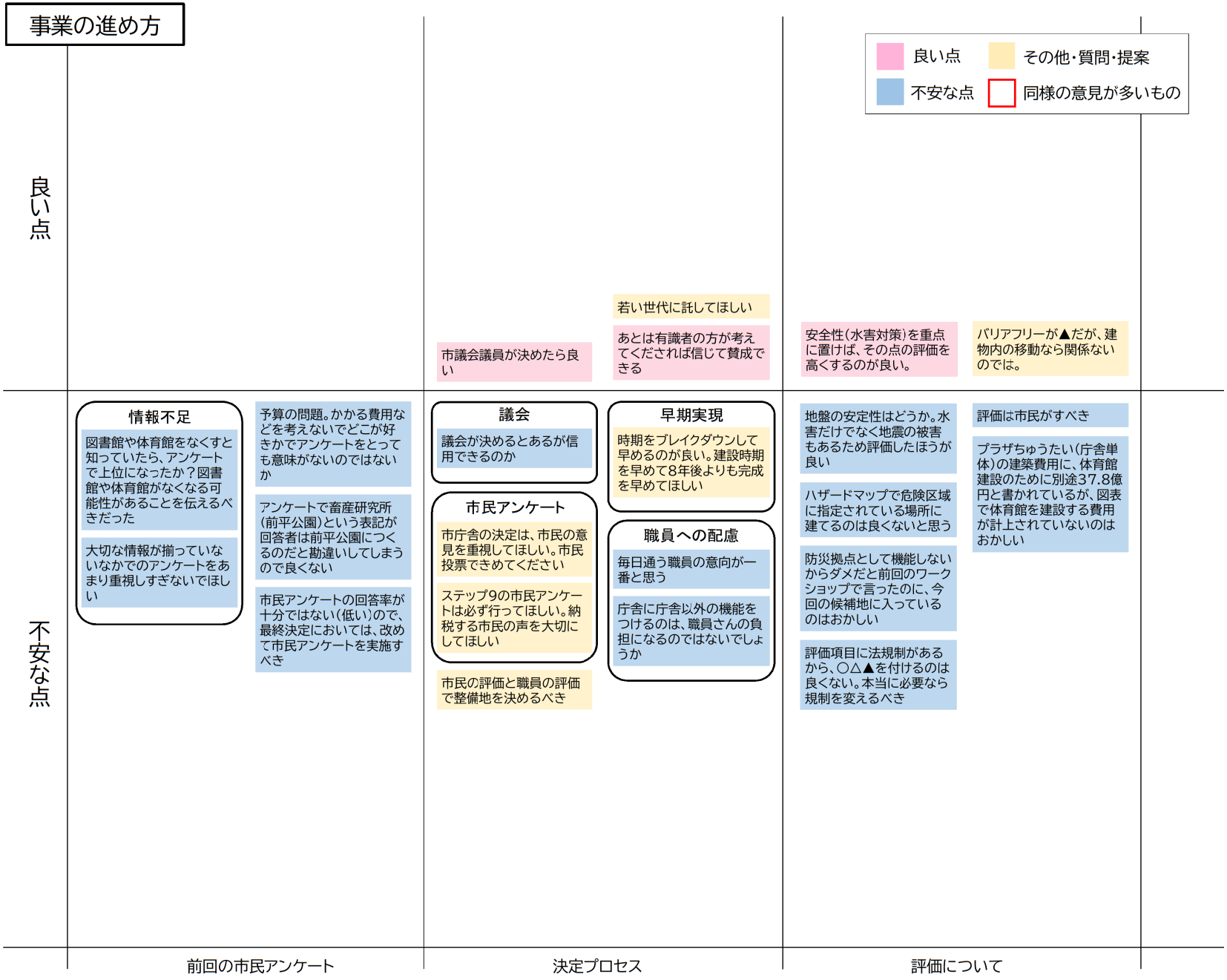
- 畜産研究所周辺では、大規模な造成が必要な事について不安とする意見が多くありました。また、丘陵地のため周辺道路から庁舎までの傾斜が大きいことを不安とする意見がありました。
- 浸水被害が想定される候補地では、1階を浸水対策として駐車場としているが、窓口は1階がよいとする意見がありました。


土地利用計画
良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
造成費
造成費はもっと安くできる。10億円でできるはずである。残土のリユースを工夫してください
地形を活かして造成をすることで、森の中の市役所というコンセプトが生まれ、造成費も抑えることができる
畜産研究所は他よりもずっと広い。28億円の造成費は、土の処理費であるため、地域の業者や個人の方に分ければずっと減らせる。
調整池は山には必要である。調整池のところは、普段はテニスコートにして市民に活用してもらえば良い
造成
全体を平地にせず必要に応じて整地すれば費用が安い。
新設道路が2本(東からと西から)あるのが良い
ワンフロアだと便利
全体を整地することにより、今後、他施設が必要となった時の建物用地とすることができるのではないか
杭を打つ範囲を狭くすれば費用も安くなると思うので、高層階にして狭くするべき
傾斜が8%の道路は、「みんな」が利用しやすいとは言えない。「みんな」とは、自転車、車椅子、徒歩、ベビーカーなどであり、その方たちが無理なのはダメである
バリアフリー
土地の勾配はバリアフリー対策が不可なので、エレベーター等設置をするべきでは(障がい者・高齢者対策)
建物東部の三段になっているところは、造成をしなければ良い。または、無くせば良い。造成地を減らせば、事業費は安くできる
車椅子車両駐車場を庁舎近くに設置するなどアクセス面で傾斜問題は解消できるのではないか
法面崩壊の危険性がある
なぜ大幅な整地をするのか？土地にあった整地、建物を検討すべき
市役所跡地を代替公園にしてはどうか？
窓口
窓口はまとめてほしい
市民サービス窓口が2F、3Fはよくない(災害対策で1Fを駐車場にするのは高齢者などにやさしくない)
床面積ギリギリの建物では、ゆとりがなく良くない
現庁舎周辺
プラザちゅうたい周辺
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
全体
(建替え)(リノベーション)(庁舎単体)(体育館複合)

（9）事業の進め方

- 整備地決定のプロセスに対し、市民アンケートの必要性や職員意見の反映に対する意見がありました。
- 情報資料内の評価について、防災の評価に対する意見が多くありました。また、安全性に重点をおいて、その点の評価を高くすると良いという意見がありました。

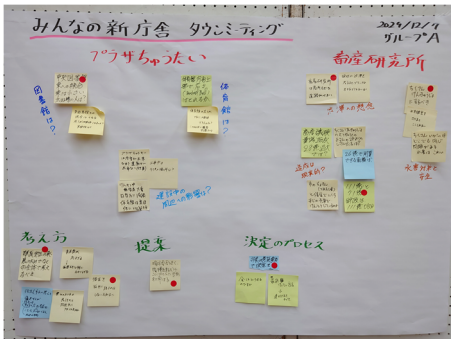
事業の進め方


良い点
不安な点
良い点
その他・質問・提案
不安な点
同様の意見が多いもの
市議会議員が決めたら良い
若い世代に託してほしい
あとは有識者の方が考えてくだされば信じて賛成できる
安全性（水害対策）を重点に置けば、その点の評価を高くするのが良い。
バリアフリーが▲だが、建物内の移動なら関係ないのでは。
情報不足
図書館や体育館をなくすと知っていたら、アンケートで上位になったか？図書館や体育館がなくなる可能性があることを伝えるべきだった
大切な情報が揃っていないなかでのアンケートをあまり重視しすぎないでほしい
予算の問題。かかる費用などを考えないでどこが好きかでアンケートをとっても意味がないのではないか
アンケートで畜産研究所（前平公園）という表記が回答者は前平公園につくるのだと勘違いしてしまうので良くない
市民アンケートの回答率が十分ではない（低い）ので、最終決定においては、改めて市民アンケートを実施すべき
議会
議会が決めるとあるが信用できるのか
市民アンケート
市庁舎の決定は、市民の意見を重視してほしい。市民投票できめてください
ステップ9の市民アンケートは必ず行ってほしい。納税する市民の声を大切にしてほしい
市民の評価と職員の評価で整備地を決めるべき
早期実現
時期をブレイクダウンして早めるのが良い。建設時期を早めて8年後よりも完成を早めてほしい
職員への配慮
毎日通う職員の意向が一番と思う
庁舎に庁舎以外の機能をつけるのは、職員さんの負担になるのではないでしょうか
地盤の安定性はどうか。水害だけでなく地震の被害もあるため評価したほうが良い
ハザードマップで危険区域に指定されている場所に建てるのは良くないと思う
防災拠点として機能しないからダメだと前回のワークショップで言ったのに、今回の候補地に入っているのはおかしい
評価項目に法規制があるから、○△▲を付けるのは良くない。本当に必要なら規制を変えるべき
評価は市民がすべき
プラザちゅうたい（庁舎単体）の建築費用に、体育館建設のために別途37.8億円と書かれているが、図表で体育館を建設する費用が計上されていないのはおかしい
前回の市民アンケート
決定プロセス
評価について

(3)各グループごとの結果の概要

■12/7　A 班

1)タウンミーティングの様子



2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地等	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害対応		災害時に本当に対応できるのか？		1
	にぎわい	他の場所に移転することで、地区として更にさびれてしまうのでこの場所にある方がよい			1
①B 現庁舎（リノベーション）	リノベの妥当性	本館、西館、増築棟の 3 庁舎を行き来することになるのは不便。加えて 20 年後に建替えが必要なのであえればリノベ案は無意味			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館			体育館はぜひ、他の場所によいものを作ってほしい	0
	図書館		中央図書館を東図書館に統合する案になっているが、十分な広さが確保されるのか？実現性はどうなっている？		1
		中央図書館を東図書館に統合する案になっているが太田町の人は不便になる。不満が出てくると思う。			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	住民への影響	建設中、住民は日当たり問題など大変そう			0
	体育館		庁舎の上に体育館を設置して、十分な広さが確保できるのか？バスケットボールコートなど確保できるか？		0
				中濃地区にとっても大切な体育館なので、しっかり整備してほしい	0
			工事中、運動や事業はどこで行うのか？		0
③畜産研究所	事業費	事業費がかかりすぎている。			1
			28 億円の造成費は過大な見積もりではないだろうか？		0
			28 億円の試算方法は？		0
			28 億円で購入できる土地の面積はどのくらいの広さか？		0
			市の積立金と借金を合わせて、いくらまでの予算で検討しているのか？		0
			111 億円は市として負担できるのか？		1
	渋滞	現状の渋滞を考えると、計画案では不十分だと感じる			0

候補地等	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		道路が狭く渋滞が懸念される。			1
	水害対策	水害被害を避けるならば、この場所しかない			1
		水害は怖い。畜産研究所以外の場所はどこも水害のリスクがあるので同じ。			0
④大手町公園周辺	代替公園整備	代替公園の選定、整備に４年は長すぎるのではないか。もっと迅速に進める方がよい。			0
	駐車場	大手町公園はせますぎる。加えて立体駐車場は整備に費用が掛かりすぎる。			1
		岐阜市役所の立体駐車場をみると、立体駐車場は場内を旋回することも多く、あぶないので立体駐車場は好ましくない。			0
	避難場所		公園がなくなったとき、災害発生時に避難する場所が確保できるのか？新庁舎に避難することになるのか？		0
	立地			岐阜県や地域の中心を意識して、シティホテルも含めて大手町公園周辺として検討するのが良い。	1
その他	議論の進め方		駅南開発と新庁舎を切り離して考えてよいのか？別々に考えるのならば、開発そのものを中止することも検討する必要があるのではないか？		0
				建設が遅れた(白紙になった)経緯を今一度説明してほしい。	0
	決定のプロセス			市民の意見を重視した決定をしていただきたい	1
				透明性を持って、決定のプロセスを示してほしい	0
	候補地		そもそもアンケート結果の上位４か所で決めてよいのか？		0
			事業予算などを考慮すると、上位４か所から漏れたものにも良い案があったのではないか？		0
		ハザードマップで危険区域に指定されている場所に建てるのは良くないと思う。			0
	周辺地域への影響			市民の声を優先するべきだが、周辺市町のことも考慮するのがよい。	0
				周辺地域への影響を考え、新庁舎も含めて美濃加茂市の良さを周辺市町にアピールするほうがよい。	0
	新庁舎の設計			規模をできるだけコンパクトにし、議場と会議室を兼用するなど共用利用できるようにする。	1
	ビジョン			駅南地区の発展のためではなく、市全体として新庁舎について考えるべきだ	1
	災害時の拠点	美濃加茂市内の森林、田畑が広くあったが、昨今の開発による水害発生が心配。庁舎は駅周辺が好ましいと思う。(現庁舎、プラザちゅうたいはリスクがある)			1
		庁舎は市中心部の近くが利用しやすい。旧市街地内は駅が近くて良いと思う。			0

候補地等	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		市内の森林が減少することは水害が心配される。以前は田が多くあった。調整池など懸念が残る。			1
	事業予算	いずれの案にしても事業費が高すぎる。畜産研究所は特にかかりすぎている。			0
				借金を後世に残すようなことはしない方がよい。	1
			事業費の確保はどうするのですか？（借金や返済計画など）		0

(2)グループ発表内容

○　全体

・事業費などを考えると、上位4か所以外に良い所があるのでは？本当に4か所の中から決めて良いものか
・市全体の発展も踏まえて市役所の位置付けをもう少し考えたい
・コンパクトに建設するにあたって、もう少し設計・デザインなど考えた方が良い
・借金を後世に残したくないので、できるだけ事業費を抑えたい
・市民の意見を尊重して決定してほしい

○　現庁舎(建替え・リノベーション共通)

・市役所を現庁舎位置から移動させてしまうと、現庁舎周辺地域が更に寂れて活性化に影響が出てしまわないか

○　現庁舎(リノベーション)

・20 年後に建替えを考えなければいけないのならば無意味でないか
・リノベーションで事業費を抑えられるが、機能が分散されて不便にならないか

○　プラザちゅうたい(庁舎単体・体育館複合共通)

・図書館はどうなってしまうのか、2つの図書館を東図書館に統合させる案があるが、東図書館で十分な広さを確保できるのか

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・庁舎単体にした場合、体育館を移設する土地はあるのか

○　畜産研究所

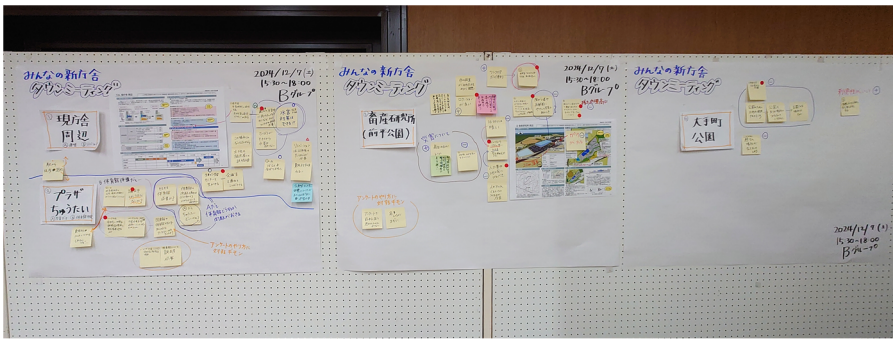
・現在、周辺道路は渋滞が起きやすいが、対策はちゃんとできるのか
・総額 100 億を超える事業費を市は負担できるのか
・水害対策面では一番安全だと思う

○　大手町公園

・立体駐車場は費用がかさむのではないか
・立体駐車場は場内を旋回する必要があるので事故の危険性が上がると思う
・敷地面積が狭いので、シティホテルの敷地も含めて考えてはどうか
・公園がなくなった場合、避難場所は確保できるのか。新庁舎に避難するのか？

■12/7　B 班

1)タウンミーティングの様子



2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害	浸水対策の是非、ピロティーの是非			0
		S58 水害では、降水量はそんなに多くなかったのに大きな水害となった。なぜ水がついたのかの説明が必要。(つまり、人為的災害であったということを説明してほしい)			1
		堤防ができてから水害は起きていないことや、丸山ダムが整備されていることを踏まえても、水害対策はできる			0
	他施設との連携	生涯学習センターを活かせる＝生涯学習センターの会議室等も利用することができる			1
	地権者への説明	この場所じゃなくなるのなら土地の提供者への説明必要(もともと庁舎を建てるために地権者から土地を提供してもらったという経緯があるため)			0
	日影規制		日影規制の説明不足(どのように建物配置に影響するのか、どの位置に何階建てだったら建てることが出来るのかなど説明してほしい)		0
	立地	場所が分かりやすい			0
		駅から徒歩圏内			0
①B 現庁舎（リノベーション）	事業費	リノベーションは 20 年後に建替えが必要なので、費用対効果が悪い			0
②プラザちゅうたい	体育館	費用的には体育館併設だと安くていい			0
		体育館施設は防音・振動の問題から地下や下層がいいのでは。			0
		体育館と併設だと議会中等うるさくないか。			1
		庁舎単独で整備する場合、体育館がなくなるのでどこでスポーツをやるのか(一時的にスポーツができる場所がなくなってしまうのはよくない)			0
		そもそも体育館が必要か検討するべき			0
			庁舎単独の場合、ちゅうたいはどこにいくの？		0
		体育館をどこにするかという問題を解決してからでないと決められない			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	図書館	図書館を解体する理由を明確にすべき			0
		図書館について説明必要			0
	体育館・図書館	図書館と体育館を解体する理由に市庁舎建設するのか(市庁舎建設するから図書館・体育館をなくすのではなく、それぞれの必要性を検討するべき)			1
	アンケートのやり方	図書館や体育館をなくすと知っていたら、アンケートで上位だったか？(図書館や体育館がなくなる可能性があることをアンケートで伝えるべきだった)			0
③畜産研究所	景観	4つの中では一番ロケーションが良いと思います			0
		市の風景が見渡せるのが理想			0
		誰でも一度は行ってみたいと思うような市役所であってほしい			1
	事業費	道路の拡張などの予算が取れるかが問題			0
		かかる費用がとても大きい			1
			豚コレラの殺処分された豚の死骸が含まれた土地の処理は予算に含まれているのか？		2
	構造	ワンフロアだと便利			0
	立地	治安が悪い			1
		16 時には暗い(若い女性の職員さんが暗い中一人で帰ったりするのが危ない)			0
		DID 外。人口集中地域に作るべき。人がたくさん来るところに作るのが庁舎			1
		緊急輸送道路がない			0
	災害	高台の方がいい。私は防災士です。水害・地震に強い市役所であってほしい。			0
			大雨時に土砂災害が起こるのでは？		0
		予定地の東側にがけがある			0
	バリアフリー	20m の落差がある			0
		障がい者や高齢者にやさしい庁舎であるべき(畜産研究所は勾配がきついためやさしくない)			1
		土地の勾配はバリアフリー対策が不可なので、エレベーター等設置をするべきでは(障がい者・高齢者対策)			0
	アンケートのやり方	アンケートで前平公園と思わせたのはよくない。畜産研究所(前平公園)という名称がまずい(前平公園と書いてあると、回答者は前平公園につくるのだと勘違いしてしまう)			0
④大手町公園	立地	区画整理上の問題がある(意図は下の行)			1
		大手町公園のために土地が提供されたところ→公園を別の場所につくらないといけない→公園を作る場所はない			0
	災害	大手町公園につくると周辺住民の避難場所がなくなってしまう			0
その他				今建替えをしても、鉄筋で作れば(コンクリートの寿命的に)また 60 年後には建替えが必要となることを分かった上で整備計画を立てるべき	0

(2)グループ発表内容

○　現庁舎(建替え)

・堤防やダム等があるので水害対策はできる

・日影規制が建物配置に影響することに関して詳しい説明が欲しい

・元々、庁舎の為に市民から提供された土地なので、移設する際に提供者への説明が必要なのではないか

・会議室を使う等、隣接している生涯学習センターを有効活用できる

○　現庁舎(リノベーション)

・20年後に建替えが必要なので費用対効果が悪い

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・体育館をどこへ移設するのか、そもそも必要なのか等、体育館をどうするのかを知ってからでないと決めにくい

○　プラザちゅうたい(体育館複合)

・体育館を併設すると、単独とするよりも費用は抑えられるが、体育館からの騒音問題が生まれないか

・防音・騒音問題から、体育館は地下や下層にした方が良いのでは

○　畜産研究所

・市の風景が見渡せる場所なので誰もが一度は行ってみたいと思える庁舎ができるのではないか

・地域の人口が少なく、16 時には真っ暗になるため、「人がたくさん来る場所に作る」という点においてはふさわしくない

・場所によっては 20m の高低差があるのに、障がい者・高齢者に優しい庁舎と言えるのか

・高台なので水害には強いが、崖があるので土砂災害に弱いのでは

○　大手町公園

・区画整理時につくられた公園なので、周辺に代替地がないのでは

・駅から近く、利便性が良い

・周辺住民の避難場所が無くなるのは困る

■12/7　C 班

1)タウンミーティングの様子

2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害対策	災害時に庁舎まで行けないのは、意味がない。→「みんな」の災害時の安全安心は確保してほしい。			0
	土地活用	職員の駐車場にすれば良い。	現庁舎の跡地はどうなるのか？		1
①B 現庁舎（リノベーション）	災害対策	災害時が心配である。市庁舎が災害時に対応できない。市庁舎まで市民がいけないのでは困る。			1
	事業費	リノベーションはどちらにしても事業費が高くかかる。数年後に建替えが必要になるなら、リノベーションするのは無駄である。			1
	立地	分庁舎が別にあるのに、すぐ近くに作るのはもったいない。			1
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	事業費		ちゅうたいとは別に、体育館を新築するということですか？その事業費はどこに計上されていますか？		1
			体育館を別に建設した場合、その場所や維持費はどのようになっていますか？		0
	体育館	体育館は絶対に必要である。近くにあるか、同一の建物内かを問わず、とにかく必要である。→スポーツ・イベント・講演会をする場所であり、「みんな」の活性化が生まれる場所だから、必要である。			1
		新庁舎と体育館を別にする場合、同時に建設を始めるべきである。			0
			体育館の代替地や建設時期はどうなっていますか？令和 9 年までにできるのですか？		1
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	体育館		体育館が上階に作られますが、それで大丈夫ですか？		0
	駐車場	分庁舎の駐車場を立体化すれば良い。			0
		体育（運動部など）の大会に、自転車で来訪する。学生の自転車と市民の自動車で事故が起こらないか心配である。→「みんな」の交通安全を守ってほしい。			0
		1 階に駐輪場を作れば良い。			0
	立地	庁舎建物部分が、①現庁舎よりも狭い。			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
③畜産研究所	事業費	事業費が高く、お金がかかる。			1
		造成費だけで 30 億円は、無駄ではないか。			1
	造成・建物	傾斜が 8%の道路は、「みんな」が利用しやすいとは言えない。→「みんな」は、自転車、車椅子、徒歩、ベビーカーなどであり、その方たちが無理なのはダメである。			0
	立地	土地は広い。			0
		利便性が低い。			0
		緑あふれた公園が一体となった造りが良い。			0
		中部国際医療センターと市庁舎は「行く目的」が違うので、近さを考える必要はない。(関係ない。)			0
		美濃加茂市全体が見えて良い。			0
		畜産研究所の南側にある田んぼを買い取って、ちゅうたいと庁舎を一緒にすれば良い。			0
④大手町公園	立地	「駅」にこだわる必要はない。			1
		市バスの終点地である。→「みんな」が利用しやすい。			0
		今は市バスの本数が少ない。→駐車場は必要である。(美濃加茂市は、車社会であるから。)			0
		美濃太田駅は、市外から来る人が使う駅である。			0
		駅があるので、電車が好きな人には良いのではないか。			0
その他	造成・建物		基本面積の 9500 ㎡のもう少し詳しい内訳を教えてください。		0
	駐車場		駐車場570台の内訳を教えてください。		1
		公共交通機関で通勤できる職員がいない。(JR の本数がないから。)			0
	立地	「太田地区」にこだわらなくて良い。			0
		「太田のまち」の中心地は、もう少し今よりも北でも良いのではないか。			1
				「周辺」ってどこまでを指すのかがわかりにくい。	0
		建物を造ることによって景観が変わるので、市庁舎は周りにマッチした場所が良い。			0

（2）グループ発表内容

○　全体

・太田地区にこだわる必要はあるのか、「まち」の中心はもう少し北の方でも良いのでは

・「みんなの新庁舎」と題しているので、「みんなの災害時の安全安心の確保」、「みんなの活性化」、「みんなの交通安全の確保」、「みんなが利用しやすいこと」を大事に庁舎づくりをしてほしい

○　現庁舎（建替え・リノベーション共通）

・JR の本数が少ないので公共交通機関で通勤できる職員がいない

・別の候補地に移設した場合、職員駐車場を現庁舎の跡地に作ってはどうか

○　現庁舎（リノベーション）

・分庁舎は別のままであるのにリノベーションするのは勿体ない

・数年後に建替えが必要で再度費用がかかるのであればリノベーションは無駄だと思う

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・体育館を別にするのであれば、庁舎と同時に建設を進めるべきだと思う

○　プラザちゅうたい（体育館複合）

・体育館と庁舎を同一の建物にした場合、体育館が上階にあるのは建物として大丈夫なのか

・分庁舎の敷地を立体駐車場としてはどうか

・大会などで来る学生の自転車と市民の車で事故が起こる可能性があるので、1 階に駐輪場を作るのはどうか

○　畜産研究所

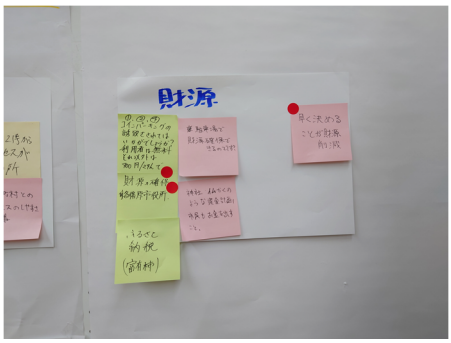
・事業費が高い

・傾斜があるため、車椅子やベビーカーの方など「みんな」が利用しやすいとは言えない

・市バスの本数が少なく、車利用の人が多いので駐車場は必要

■12/7　D 班

1)タウンミーティングの様子



2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①現庁舎	交通状況		現庁舎付近での交通事情(朝/夕)はどれほどのものか？		0
②プラザちゅうたい	交通状況	交通状況について平時の影響が 1 番大きいとおもわれるので、交通事情の影響のことを考えるとプラザちゅうたいが望ましいかもしれない。			0
③畜産研究所	維持費	30 年で維持費は上がるかもしれない			0
	交通状況	道路事情(ラッシュ帯)は気になる。			0
			移転した場合の交通事情への影響はどれほどなのか？		0
	災害対策	庁舎建設には災害につよい場所でなければならない。			0
		お金をかけてでも、将来のことを考えて安心安全の場所に建てるべきである。			2
		災害時には、前平グラウンドに仮設テントを建てたり、救急車両を駐車することができる。			2
		他の候補地でも水害対策は行っているが、近年の異常気象により想定以上の災害が起こる可能性があるため、そのリスクは少ない場所が良い			1
その他	アクセス			鉄道の駅を中心としたまちづくりは時代と違うのではないか。	0
				市内だけでなく、他市町村とのアクセスのしやすさについても考慮すべき(41 号線とのアクセスの良い場所)	0
	決定プロセス			市全体をどうしたいかを中心に考えるべき	1
	財源			建築工事費を安くするだけでなく、追加の財源を確保できる方法はないか(「富有柿」のふるさと納税など)	0
				みんなで作るのであれば、神社や仏閣のように市民や企業がお金を出し合ってもいいのではないか？(クラウドファンディングのような仕組みを活用)	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				早く決めることが 1 番の財源削減である	1
	他市町との比較		各務原市役所の建替えなどはどのように財源を確保していたのか？		2
	建物			デザイナー案にこだわらず、実用性を重視してほしい。すぐに劣化したり、維持管理が難しいのは避けてほしい。	1
				建替えが前提。20 年後の税収や予算がわからないし、かえってお金がかかるかもしれない。	1
				コンクリート造りよりも、市内、県内の木造の活用をすること。木造であれば、300 年保つだけでなく、CO2 削減で、環境にも配慮できる	1
	駐車場			①、②、④の駅近の候補地で駐車場を作るのであれば、コインパーキングを誘致するのはどうか？（利用者は無料でそれ以外は 400 円/24 時間）	0
	働きやすさ		市職員はどのような環境で仕事がしたいのか？		0
	若者参画			若い人の参加が少ないので、もっと参加してほしい。また、声を聞きたい。	0
				藤井市長が SNS のショート動画などで広報すれば、もっと若い人が集まるのではないか	0

（2）グループ発表内容

○　全体

・若い世代に向けて庁舎づくりをしてほしい

・コンクリートではなく木造にすることで、CO2 削減など環境問題に配慮できないか

・庁舎駐車場へのコインパーキングの誘致やふるさと納税などで財源を増やすことはできないか

・市長が SNS やショート動画などで発信することでタウンミーティングにも若い人が集まるのではないか

○　現庁舎（建替え）

・リノベーションでは 20 年後に現庁舎の建替えが必要となることを考えると、建替えの方がすべての整備を早く完了できる

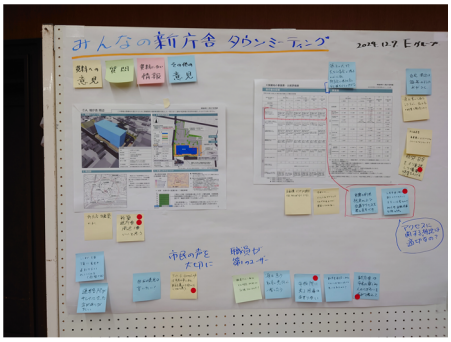
○　畜産研究所

・どの場所も水害対策はされているが、一番災害リスクが低い

・グラウンドに仮設テントなどを置けるので、災害時の避難所になるのでは

■12/7　E 班

1)タウンミーティングの様子



2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	立地	現庁舎の場所に新築がよい			0
		現庁舎周辺に新築が一番いいと思う			2
②プラザちゅうたい	機能		図書コーナーの設置って、そもそも必要なの？		0
③畜産研究所周辺	交通アクセス	道路が混むのが心配			2
	災害	浸水害の心配より、埋め立てしたばかりで地震が起きた時の地盤の崩れ方が心配			0
	事業費		中部国際の造成費 5 億円くらいであった(8 万㎡)。畜産研究所 6 万㎡で 28 億円も必要でしょうか？		1
	造成工事	畜産研究所の残土は北側や東側へのばせばよい。			0
	立地	4 つの候補地のうち、3 つはだめ。水害が心配なので、畜産研究所のみが安心。			0
	にぎわい	駅前(南)がどんどん衰退して、ますます閉店ガラガラになりそう(中山道にお店が出来ても長続きしない)。			0
	不安	畜産研究所は反対。豚コレラで埋めたところがそのままになっている。			0
			畜産研究所に埋められている豚はそのままなのか？土地が沈んでしまうのではないか？		0
			埋め立てが必要だが、地盤が弱くないのか？		0
④大手町公園	立地	公園がなくなって、日陰になってしまうのは嫌だ。			0
			大手町の公園は全てなくなるのか？		0
		公園の代替地も決まっていないのに、この場所を選ぶのは心配。			0
その他	意思決定			アンケート 4000 人の声は市民の声である。民主主義の方針に沿うべきだと思う。	1
				職員アンケートはどの程度、利用 or 反映されるのか	0
				毎日通う職員の意向が一番と思う	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	交通アクセス			実際の利用を想定した上で、交通アクセスを考え直すべき。	0
			公共交通(特に駅)のアクセスって本当に必要なの？みんな、自家用車を使う。		1
	災害			自宅周辺は毎年のように水がつく	0
		浸水害の心配をしているが、新丸山ダムの効果を期待したい。			0
		防災・安全をより重視して優先順位を上げるべき			1
	事業費	事業費に引きずられることにならないか。			0
				孫子の代まで大きな借金が残るのが心配。新庁舎に使うお金の分でサービスが低下しないか？	0
	選定基準			全体として、メリット＆デメリットそれぞれあるので選定しきれない。	0
	その他			連絡所がキレイになった方がありがたい	0
	庁舎の面積	床面積ギリギリの建物では、ゆとりがなくよくない			0
	にぎわい			新庁舎建設にあたり、人のにぎわい etc.への想いはあるのか？	0
				新庁舎は市民の楽しみ。人のにぎわいを含めて考えてほしい。	1
	プロセス			ここまで、大変丁寧に意見や道筋を立ててやってこられた(感想です)	0
				自分の意見は言いたい！	0
	利用頻度			市役所に来る用事はあまりない	1

(2)グループ発表内容

○　全体

・車での来庁が多いので、公共交通を使って来る想定がおかしい。実際の利用状況を把握して交通アクセスを考えるべき

・事業費も大事だが、一番は安心・安全な場所であること

・第一のユーザーは職員なので、職員の意見をしっかりと聞いてほしい

○　畜産研究所

・浸水害対策という点では一番安心・安全な場所

・造成費など費用が多くかかることが心配

・豚コレラによる豚の埋立地なので地盤が弱くなっていないか不安

○　大手町公園

・大手町公園は駅前の開けた場所となっており、雰囲気が良いので、駅前から公園をなくすのはどうなのか

・公園の代替地も決まっていないのに話を進めるのは不安

■12/7　F 班

1)タウンミーティングの様子

2)タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	庁舎の機能			地下駐車場の1階には熱中症対策サロンを作ってほしい	1
				子どもたちが休める場所	0
				立体駐車場を仮設住宅に利用する	0
	防災			防災対策として、現庁舎周辺に立体駐車場、地下駐車場を作ってはどうか	1
				立体駐車場は水害時の避難者救済所にしてほしい	1
		防災に強いまちづくりとして、下側の防災拠点としての利点を期待したい			0
		上側は中部国際、下側は新庁舎で連携してみんなを守ってほしい			0
		浸水害に対して何を怖がっているのか？その不安に向き合う必要はないのか？			2
		若い世代からの声、現庁舎やちゅうたいは防災拠点にしてくれたら安心とよく耳にする			0
①B 現庁舎（リノベーション）	リノベの妥当性	リノベーション案は利点がない			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	立地	再開発しやすくワクワクする			2
		アクセスしやすい			0
		図書館を移動して良いと知らなかった			0
		通学路でもなく歩道橋もあり駅も近い			0
		防災に強くて人が集まれるものが計画できる			0
		周辺の飲食店が栄える			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	体育館		4,5 階に体育館を設置する理由は？		0
③畜産研究所	災害	災害に強い点において有効でないか			0
	渋滞	前平が工業団地になってから交通量が年々増加、交通事故も増えている			2

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		前平周辺は国道・県道・市道で整備は極めて時間がかかる			0
	庁舎以外の利用	庁舎ではもったいない		大学のキャンパスを誘致してほしい	1
				市内の小中高生、高齢者と大学生が関わりを持てるカリキュラム	0
				公園とかプールで利用してほしい	0
				将来の若い人たちのために使う	0
				子どもたちのワクワクする事業を考えたい	1
	不安	豚コレラの時に 3000 頭の豚を埋めた			0
		駐車場が段々畑はバリアフルすぎる			0
			土砂崩れは発生しないのか？		0
その他	意思決定			若い世代に託してほしい	0
	防災			ピンチはチャンス、下側の対策をしてほしい	0
				水害って何？	1
				正しく恐れたい	0
				今こそ災害に強い新庁舎を	0

(2)グループ発表内容

○　全体

・水害に対して正しい情報を流してほしい

・若い世代に考えることを託したい

○　現庁舎(建替え)

・立体駐車場、地下駐車場を作ることによって避難場所になる等、防災設備とならないか

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・再開発しやすく、アクセスも良い

○　畜産研究所

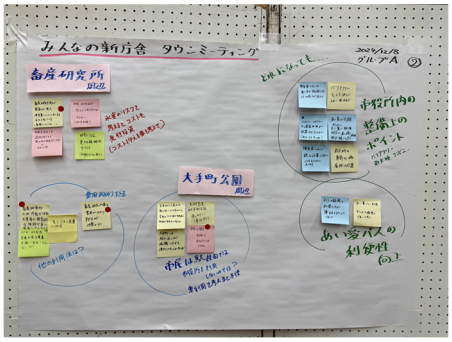
・豚コレラの時に豚たちを埋めたが土壌は大丈夫なのか

・現在も交通量が多く、渋滞や事故が発生しているがどうするのか

・庁舎に使うのはもったいない。公園やプール、大学のキャンパスを誘致する等子ども達の将来に使った方がよい

■12/8 A 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	借用地費用		現在の借用地の費用はいくらか？		0
	水害対策	現庁舎は水の災害について危険であり、駐車場も狭く問題がある。			0
	駐車場			現庁舎に立体駐車場や地下駐車場をつくり、平日は職員や来庁者用として、休日はイベント用の中山道やリバーポートちゅうたいの行事に使用するなど開放してほしい。災害時は避難場所として利用する。	2
①B 現庁舎（リノベーション）	水害対策	現庁舎は水の災害について危険であり、駐車場も狭く問題がある。			0
	リノベの妥当性	20 年後に建替えが必要であるならば、また今回と同じような議論をすることになり、繰り返しになってしまうので妥当ではない			2
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		体育館を別の場所に建築することは考えていますか？		0
		体育館の場所が決定するということを条件に広さなどプラザちゅうたい案が良いと思う。			0
				体育館は庁舎と分けて考え、体育行事に特化させて、この競技なら美濃加茂市の体育館と言われるようなしっかりとしたものをつくるのがよい。	1
	図書館	中央図書館を東図書館に統合するのは狭さなど現実的ではないと思う。			0
③畜産研究所	災害想定	事業費については安く抑える方法を考えたほうが良いが、安全性から最適な場所だと思う。			1
		地形を活かして造成をすることで、森の中の市役所というコンセプトができる。加えて造成を抑えることができる。			0
	事業費	50 年後、100 年後を考えると安全性が確保されるならば、将来への先行投資と考えると高いとは言えない。			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		単純に事業費がかかりすぎるので、他の案が良い			1
	土地活用	新庁舎ではなく大学などの教育的な施設がよい。食と子どもの発達のための研究などを行う。			1
		農業に関する研究機関などを誘致し、50 年後、100 年後に美濃加茂市が農業を主軸に発展していけないか。			0
④大手町公園	利便性	駅に近いという点だが、市民は JR や長良川鉄道を利用して市庁舎には来ない。			1
		便利かもしれないが、駅が近いので混雑しすぎる。			0
		車での利用を考えると使いにくい。			0
事業費	事業費	事業費のみで安い方がよいという判断ではなく、内容を吟味して判断するのがよい（安物買いの銭失いになってしまう）			0
			予算がいくらかかってもよいのか？市としてはいくらを想定しているのか？		0
			借金の返済に市民の負担はどれくらいと試算されているか？月々や一世帯当たりなど。		3
		借金で行政サービスが低下するなどでは本末転倒な気がする。			0
水害対策	水害対策	現庁舎とプラザちゅうたいは浸水対策が十分とは言えないので候補地としてよくない。			0
その他	あい愛バス			全ての路線であい愛バスが新庁舎に停まるようにしてほしい	0
				あい愛バスのデマンドサービスの整備（現在検討中）は良いと思う。	0
	雨除け			雨天時の車寄せの場所に屋根を設置して濡れない対策をとってほしい。	0
	一元化			分庁舎方式で、あちこちに移動しないといけないのは反対。一本化してほしい。	0
	環境			職員の笑顔が少ない。冬は寒い。現状は暗い。朝いちばん明るい職場づくりを目指す。	0
	候補地	決まってしまったものは仕方ないが。結局市の中心ではない場所になってしまった。市民のアクセスを考えると美濃加茂インター周辺などの代替案があっても良かった。			0
	職員の意見	市役所職員の意見が重要で、働きにくい、動きにくいは問題外			1
	店舗			コンビニやレストラン、喫茶店などが設置されているとよい。出かけるきっかけになる。	0
	バリアフリー			障がい者トイレは車いすが旋回できるくらいの広さが欲しい	0
				障がい者トイレに鏡を設置してほしい。バックするときに使う。	0
				入口から出口までバリアフリー化してほしい	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	ビジョン		市としては何年先のビジョンを見て、新庁舎建設に臨んでいますか？		1
駐車場	駐車場		台数確保、多くの人がいきやすいとあるが、マイナンバーカードの活用などで来庁しなくても良い方針なのではないか？矛盾していないだろうか。市としては庁舎の縮小を目指すのか？（市の方針、ビジョンから新庁舎の役割を考えたほうがよい）		1

（2）グループ発表内容

○　全体

・どんな庁舎にしたいのか市としてのビジョンを知りたい

・職員の意見が重要、職員が働きやすい環境にするべき

・あい愛バスが停まるようにしてほしい

○　現庁舎（建替え）

・建替えで駐車場が広くなるのなら、休日やイベント等に利用出来る等、柔軟性がほしい

・浸水害が心配

○　現庁舎（リノベーション）

・結局 20 年後に建替えが必要では議論の繰り返しになってしまう

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・体育館を移設するならしっかりと整備し、イベントをするなら美濃加茂市！くらいのアピールができるようちゃんとしたものを作ってほしい

○　畜産研究所

・広い土地なので他の使い方ができるのでは

・造成にお金がかかりすぎる

・土地を利用する形でコストを抑えつつ、自然の中にある新庁舎という形はとれないか

・浸水害に強いというメリットがある

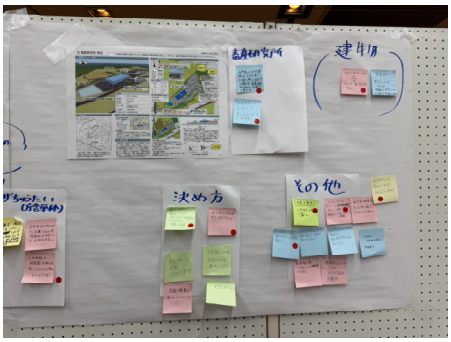
・費用はかかるが災害のリスクに備えた先行投資と考えるならば妥当である

○　大手町公園

・市民は車を使う事が多いため、渋滞問題などを考えると駅前である必要はないのでは

■12/8 B 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	アクセス	職員の移動のしやすさを考えると、現庁舎付近が１番良い。			0
	工事	工事中の騒音によって、市民や職員に悪影響が及ぶことが心配			0
	事業予算	建築工事費が安い方が良い。パフォーマンスが同じならば、コストが安い方が良い。			1
			現在、市としての借用地支払などはどれ位あるか？（買い上げることは可能か？）		0
	駐車場		現庁舎工事中にプラザちゅうたいの駐車場に仮設事務所を建てると費用はどれくらい必要か？		0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	アクセス	美濃加茂市内では古井地区が最も世帯数が多いが、建てる土地がないため現実的ではない。そのため、次点の太田地区にあるプラザちゅうたいがふさわしい。			0
	事業費	移転費用・工事日における騒音による職場環境の悪化が防げる			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	体育館	市庁舎の上に体育館を作ると、体育館利用時の騒音が階下の市庁舎に影響が出る可能性がある。体育館自体は建て直さなくても、地域の小中学校の体育館を活用するなどの方法が取れるのではないか。			1
③畜産研究所	アクセス	市庁舎の立地要件は、人口の重心に近い所とすべき。			1
	地域活性化	市の発展は駅南だけではない。市内全体の発展を考えた時の立地として良い			1
その他	決定プロセス			岐阜市庁舎の建築など、他の市の決め方をもっと知りたい。	1
				予算額に関わらず、将来に向った構成にしてほしい。	0
				安全性・災害・アクセスのしやすさを重視してほしい	0
				最終候補地を議会が決めるのはいかがなものか？ 多くの議員がすでにプラザちゅうたいに決めているのではないか。	1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				30 年後、50 年後の市役所の役割についても考える必要がある。	0
				WS の結果は公表されているが、知らなかった。WEB だけでなく参加者の手元に届くようにしてほしい。	0
				市長の夢や目指すところをもっと知りたい	1
	建物			市庁舎とは別に防災センターを建設すれば、防災についての心配がなくなるのではないか。	0
				市庁舎のロビーを広くして、チャリティイベントを行うなど人が集まれるスペースにしてほしい	1
	土地			100 年後も安心して使える土地を十分確保できるか	1
			借地予定の土地を市が買い取ることは可能か？（借地代が減って、維持費を安く済ませることが可能になるのではないか？）		0
	事業費	新庁舎を作った時借有地はどれくらいか。借地分は今後金がかかる。			1

（2）グループ発表内容

○　全体

・ワークショップの結果を公表するだけでなく、参加者の手元に届けてほしい

・他の市の事例を知りたい

・市長がどんな場所を目指しているのか知りたい

・実際にかかる金額や財源などを詳しく知りたい

・とにかく安全で災害の無い庁舎を作ってほしい

・ロビーを広くしてイベントを行えるようにすれば自然と人が集まるのでは

○　現庁舎（建替え）

・建築費の安さが何より大事

・将来の職員の数に沿った駐車場の規模を考えれば、費用を削減できるのでは

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・体育館を庁舎の上にしてしまうと騒音などが起こるため、単体の方が安全で費用も抑えられるのでは

・体育館は既存の小中学校のものを使えば新設する必要はないのでは

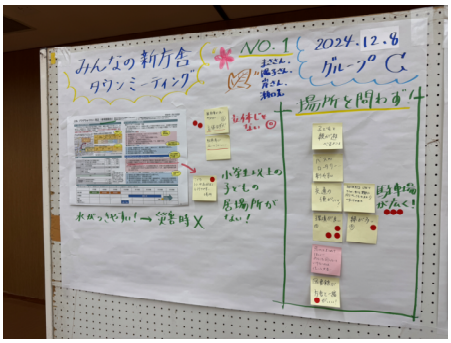
○　畜産研究所

・市内全体の発展を考え、人口が集中していない地域にも人が集まる仕組みを作る

・人口の中心地の方が利便性があるため、畜産研究所は不適切だと思う

■12/8 C 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①B 現庁舎(リノベーション)	事業費	20 年後に建替えになるのでダメ。			0
②プラザちゅうたい	災害対策	水がつきやすいので、災害時に利用できない。			0
②プラザちゅうたい(体育館複合)	駐車場	駐車場が広いのが良い。立体駐車場ではないので良い。(立体駐車場はダメ。)			2
	立地	こども(小学生・中学生・高校生)が行きやすい場所が良い。→今は、未就学児の場所は児童館などがあるが、小学生以上の子どもの居場所がない。			1
③畜産研究所	人材活用	業者が勝手に決めないで、市民になんでも相談してほしい。→専門家が美濃加茂市の市民の中にいる。市民の活用が不足している。			1
		市民ボランティアで草刈りをする。		草刈りの草の再利用の方法もある。	1
	造成・建物	新庁舎を造る、造らないを問わず、道路整備はしてほしい。			0
		道路の確保は、評価対象にするべきではない。庁舎と関係なく、土木行政で解決することである。			1
		造成費 28 億円は、もっと安くできる。(工夫が足りない!)10 億円でできるはずである。残土のリユースを工夫してください。→アスファルト代のコストを下げられる。(美濃加茂市の社長に聞けばいい。中部国際医療センター建設時の工事では 5 億円だった。)			1
	立地	高台なので災害時にも安心である。→災害拠点としての機能を重視し、市民の安全を最優先してほしい。			3
		前平公園は自然環境の観点から、宝の山なので、壊さないでほしい。(昔は牛がいたほど自然豊かな場所だった。)		自然環境は保護してほしい。SDGs の観点からも重要である。	0
④大手前公園	立地	狭すぎるのでダメである。			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
その他	コンセプト	「みのかもでいのちを守る」①災害拠点として機能し、安全確保する。「みんな」である市民すべての命を最優先で守る！②「みんな」である小・中・高の学生の居場所づくりで心身を育み守る！③自然との共生で、「みんな」である緑も人も守る！			0
	サービス	窓口はまとめてほしい。			0
		あちこち回らないといけないのは、結構大変である。			0
	次世代	子どもと親が遊べるところが良い。			0
	造成・建物	図書館が庁舎と一緒の建物が良い。			1
	立地	バスのロータリーが乗りやすいところが良い。			0
		交通の便が良いところが良い。			0
		環境が良いところが良い。			3
		緑が多いところが良い。			1
		駐車場を広くしてほしい。			3

（2）グループ発表内容

○　全体

・駐車の難易度を考えると、駐車場は広い方が良い、立体駐車場はは危ないのでダメ

・図書館と庁舎が一緒だと良いのでは

・市民の命を守れる新庁舎にしてほしい

○　プラザちゅうたい（庁舎単体・体育館複合共通）

・水がつきやすいので災害時が心配

○　畜産研究所

・前平公園は自然豊かで宝の山なので壊さないでほしい

・自然環境は保護してほしい

・工夫が足りない、アスファルトのコストを下げるなど造成費を減らす方法はある

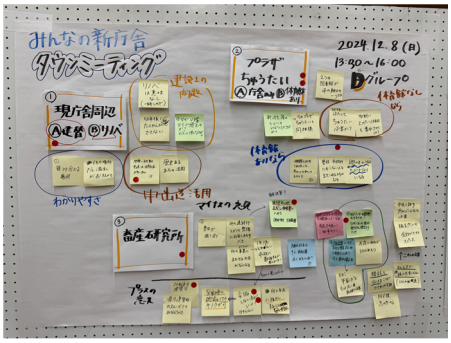
・高台なので災害時の拠点にできる

・庁舎をつくる、つくらないに関わらず、周辺道路の整備をしてほしい

・業者が勝手に決めるのではなく、市民の中にも専門家がいるので聞いてほしい

■12/8 D 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	再建替え	50 年後に同じ場所での建替えができない			0
	まちづくり	地元に元々ある中山道の活用方法が多くなる			1
		歴史あるまちの活用がしやすい立地			0
	立地	誰でも分かる場所。他の場所だと混乱が起きるかも			0
①B 現庁舎（リノベーション）	事業費	リノベは意味なし、一時しのぎ			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		そもそもはたしてちゅうたいが必要なのか		0
				牧野にスポーツ施設を集中させては？	0
	図書館	2つの図書館が市の魅力の一つだった			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	体育館	①体育館を利用される方にも市のことを知ってもらえる。②普段市役所に来ない人も巻き込めるようになる。③興味もってもらうきっかけづくりになる。			1
			新体育館の規模はどのような大きさか？→今のプラザちゅうたいと同規模（その場での職員の方の回答）		0
③畜産研究所	構造			木造平屋とする 市内の業者・大工他で在来の工法でつくることで、市の資源を有効活用できるし、木造であれば 300 年持つ	0
				（↑のつづき）ただ、平屋だともっと広い面積が必要	0
				（↑のつづき）庁舎の機能を別の場所に分けることが出来れば可能（窓口サービスは本庁舎、防災課は高台の場所など）	0
	災害	災害時の拠点としての機能が可			0
	再建替え	50 年後も建替え可			1
	事業費	費用が掛かりすぎ			0
		他の連絡所とかの整備にお金を回すべき			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		他の人が集まるようなイベントとかを行う事業に回せるお金がなくなる			0
		高い事業費が、どれくらい市政に影響するか考えるべき			0
		現庁舎跡地を売却し、事業費の足しにできるといい			1
		浸水しないとか、再建替えしやすい立地ということを考えると、事業費が高くても妥協しないほうがいい。ケチらないのが大切 何十年先に後悔することがないように			2
	土地利用		なぜ大幅な整地をするのか？土地にあった整地、建物を検討すべき		1
	立地	高齢化社会の中で、前平公園近くはきつくないか（人口が集中している場所にあった市役所あった方がいいと思う）			0
		県庁建替え時のスムーズさをみならうべき（県庁が今の位置になったとき、周りになにもない田舎に建てたと思われていたが、今は便利な場所になっている。便利な場所に広大な土地があったので、同じ場所の建替えもスムーズだった）			0
④大手町公園	災害	水害が起きる			0
	広さ	場所が小さい			0
	立地	駅との関係何が必要か			0
		駅を中心としたまちづくり難しい			0
		高い建物を作ると日陰が大きくなってしまう（駅北が暗くなるのはよくない）			0
	まちづくり	そこよりももっと目を向けるべきでは（最近衰退している駅南側に目を向けるべき）			0
		栄えていないところに目を向けるべき			0
		駅南側がさみしい			0
共通	計画全体			事業費、はじめに総予算を決定し、問題点・課題を出し、解決するのが基本	1
	再建替え			50 年後の建替え、100 年後の建替えを考えているのか、再建替えのことを考えて候補地を選ぶべき	0
	事業期間			急げ　計画ブレイクダウンせよ	0
	市役所の機能			（↑のつづき）そもそも ICT も発達していてそんなに大規模な庁舎はいらない	0
				職員間での会話ができるスペースや市民と話すプライベートルームは必要	0
	にぎわい		賑わいの創出とは何のことか？必要ないのでは？余剰施設分の 500 ㎡とる必要あるのか？		0
				市民交流スペースなどは、別の建物にもある（交流センターなど）	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①現庁舎 ②プラザちゅうたい	災害	防災拠点としては全く機能しない			0
①現庁舎 ②プラザちゅうたい ④大手町公園	災害	当初から水害ありとしている　水害とは予想以上のものが全国で起きている（そもそも浸水被害を受ける可能性がある場所を候補地とすることがよくない。対策をしたとしても、それを超える災害が起きる可能性がある）			0
		水害は想定外のことが起きる			0
		（↑のつづき）丸山ダムの対策はある			0
			災害拠点として不適切である。水につかったときの対応はどうするの？		0
	バリアフリー	市民サービス窓口が2F、3Fはよくない（災害対策で　1Fを駐車場にするのは高齢者などにやさしくない）			0

（2）グループ発表内容

○　全体

・災害対策が重要である

・庁舎の面積設定に「にぎわいの創出」とあるが、そもそも必要なのか？他の施設にその機能があるのでなくても良いのでは

・新庁舎ができた後、次の建替えについても考えるべき

○　現庁舎（建替え・リノベーション共通）

・誰でも分かるし混乱しないので、今ある場所で良い

・歴史のある町を活用するならこの場所が良い

○　現庁舎（リノベーション）

・リノベーションは最終的には建替えが必要なので一時しのぎで意味が無い

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・そもそも、プラザちゅうたいは必要なのか？

・下米田に新しくできたグラウンドにスポーツ施設を集中させるのはどうか

○　プラザちゅうたい（体育館複合）

・普段市役所に来ない人にも興味を持ってもらえるし、市の事を知ってもらえるきっかけづくりになる

○　畜産研究所

・費用がかかりすぎている

・災害時の拠点としては一番良いので、費用がかかるとしても妥協はしない方が良い

○　大手町公園

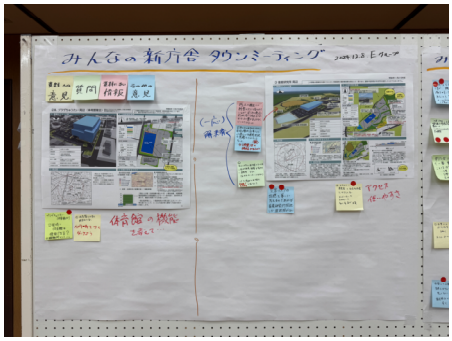
・場所が狭く、水害が心配

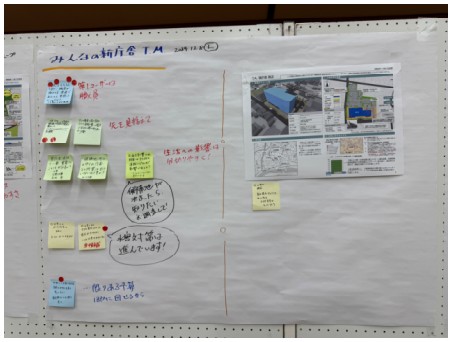
・駅を中心としたまちづくりは、他の事例を見ても難しいのではないか

・駅の北側よりも南側に力を入れてほしい

■12/8 E 班

1. タウンミーティングの様子





2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害	駅が浸水するような雨の時は、市内で土砂災害が起こるリスクがある（浸水しない場所を選んで欲しい）			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	機能		プラザちゅうたい（体育館複合）の場合、災害時に体育館は使用できるのか？※ 避難所として使うことは可能か？		1
		体育館との複合案は現実的ではない。同時に建設するのではなく、分けて考えたほうがよい。			0
③畜産研究所	災害	災害リスクの回避を第一に考えるのであれば、畜産研究所周辺しか選択肢がない。			2
	造成工事	残土の搬出への経費が大だと言われているが、前平の場合、野球場に残土を入れれば土の運び出しもなくてよいのではないか。			0
		前平の土を出すのではなく全体を整地することにより、以降起こりうる建物用地も準備できるのではないか。※敷地全体を整地することにより、今後、他施設が必要となった時の建物用地とすることができるのではないか			0
			知人のゼネコン関係者に聞いたところ「用地取得補償が高すぎる」「造成費が安すぎる」（他はだいたいこんなもの）と言われた。２点について、詳細と内容は公表すべき。		0
	利便性	お年寄りや障がい者の社会的弱者にやさしくない。エレベーターやエスカレーター、動く歩道が必要			1
その他	意思決定			市民はもちろんですが、職員が働きやすい環境であることを重視してよいのでは？（士気が上がる環境）	4
	交通アクセス			（候補地が絞られたらでよいので）交差点影響分析結果について、その他の周辺道路にどれほど影響があるかは知りたい。シミュレーションを可視	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				化するなどして分かりやすくしてほしい。	
	災害			(災害リスクを示しすぎると)水害への風評被害をまねくのではないか。 リバーポートもあるのに・・・	0
				(昭和 58 年の)水害のあと、大きな堤防ができた。堤防ができてから、一切水害は起きていない。	1
	事業費			外国人の子どもに対する支援にかかるお金をあまり考えてくれていない。新庁舎はできる限り安く(その分を外国人の子ども支援に回す)	1
	将来計画			この先 50 年～を見据えての計画をまず考えての意見を集めるべき	2
				多くの資金を投入するのだから、安物買いの損失にならないような計画が必要	0
	立地		候補地4つの中での庁舎 2 箇所案(庁舎を分ける案)は出ていないのですか？		0
	優先順位		新庁舎建設で一番重要なことは何ですか？ ・予算 ・災害対策 ・立地　等		0

(2)グループ発表内容

○　全体

・どの地域でも水害・土砂災害のリスクはあるが、実際どのくらいの確率で災害が起こるのかを想定し、対策を考えた方が良い

・場所が決定して建替えた後、どのように市民の生活に影響がでるのか知りたい

・移転した場合の交通量の変化など生活への影響を分かりやすく示してほしい

・第一のユーザーは職員なので、職員の意見を大切にしてほしい

・限られた市の予算全てを庁舎に回すのではなく、他の事に回せると良いと思う

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・庁舎は庁舎、体育館は体育館で別の機能として考えた方が良いのでは

○　プラザちゅうたい(体育館複合)

・現在体育館が避難所に指定されているが、庁舎の上に作った場合でもそのまま避難所として使えるのか

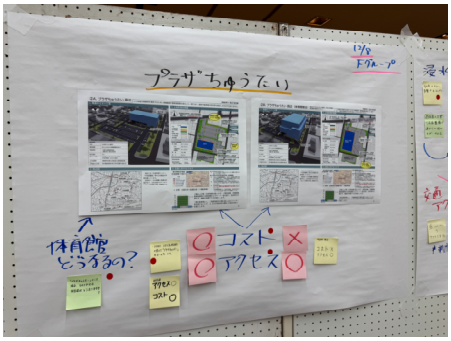
○　畜産研究所

・一番災害リスクが低くてよい

・駐車場が広くなる分、駐車してから庁舎までが遠く、高低差がある等、厳しいのでは

■12/8 F 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	駐車場			周辺の土地を駐車場敷地に活用できないか	2
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		庁舎単体の場合、体育館はどうなるのか？		1
		アクセス、コストから良い			2
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	アクセス	アクセスは良い			0
	費用	コストが問題			1
③畜産研究所	費用			階段状なら造成費用がもっと安くできるのでは	1
		シンプルに事業費が高い			1
その他	アクセス			車を運転できなくなるときが来るから、車以外のアクセスも考えてほしい	0
				あい愛バスの路線	0
	浸水		浸水害は本当に影響があるのか？		1
				浸水被害は市役所庁舎だけの問題でない	0
				木曽川右岸の堤防かさ上げ工事が進められている	0
	評価方法			評価はその選定基準を明らかにしてほしい	0
	現庁舎			実際に働いていると不便	1
	他の候補地			駅前案が良かった	1
				連絡所機能の充実が不可欠では？	1

（2）グループ発表内容

○　全体

・浸水害は地域全体の問題であり、現在もダム等の整備が進められているが本当に影響が出るのか

・どの場所になってもあい愛バスなど公共交通機関でアクセスできるようにしてほしい

・評価表の基準を明確に表示してほしい

・実際に働いている人からすると、現庁舎は非常に不便なので早く建替えてほしい

○　現庁舎（建替え・リノベーション共通）

・駐車場が足りないので、周辺施設の土地を借りることはできないか

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・コストを考えると庁舎単体で建てるのが良い

・単体の場合、体育館をどうするのか明確にしてほしい

○　プラザちゅうたい（体育館複合）

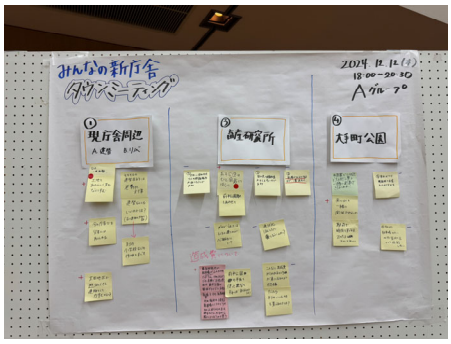
・体育館ありでもコストを抑えられるならそれが一番良い

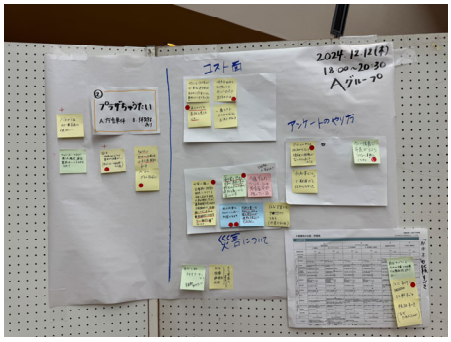
○　畜産研究所

・費用が高い

■12/12　A 班

1. タウンミーティングの様子





2. ワークショップの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害	太田地区で避難できる建物として庁舎を作るべき			0
	立地	一番無難。土地を新しく買わなくて済む			1
①B 現庁舎（リノベーション）	災害	今の庁舎でも災害には耐えられる			0
	まちづくり	そもそもの建替え目的は老朽化対策。古いものを大切にするという意味でも建替えなくてもいいのでは。建替えをするお金で別の小学校などを修正すべき			0
②プラザちゅうたい	事業費		ちゅうたいを別で建てた場合、建設費用はいくらかかるのか？		0
		理想的だけど費用対効果が…(ちゅうたいの利用頻度)（補足)複合させるのは理想的だが、ちゅうたいの利用頻度とかを考えたうえで本当に費用対効果が高いのかは検討すべき			1
		A･B の議論をする前、ちゅうたい自体の必要性は別途検討すべき			1
	立地	バスが来るので交通の便はいい			0
③畜産研究所	災害	液状化本当にしないのか心配			0
	事業費	国や県の補助金がもらえないので反対			0
		前平公園の平面を使って建替えをすれば事業費もやすくなるのでは。			0
		こんなに造成費がかかるところが案になるのが不思議。だったら別のいい土地を買えるのでは？			0
	周囲への影響	渋滞がひどくなるので一番迷惑			0
	立地	太田～深田地区の人の避難場所がなくなるので反対　※水害に合いやすい太田～深田地区周辺に避難場所としても機能するように作るべき			0
		前平公園駅と合わせて前平公園はもっと開発して欲しい　※美濃太田駅周辺を市の中心部とするのではなく、新庁舎と前平公園駅を市の中心部とするようなまちづくりをしてほしい			1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		畜産研究所の駐車場が山の上の方で、高低差が 5,10m あるようでは危険で不便だと思う。私は前平公園の野球グラウンドに庁舎と駐車場を作り、畜産研究所の場所は不足する駐車場にしてはどうか。その上部(山)の方は少なくなった分の公園にしてはどうかと思う。			0
		豚が埋まっているところに建つのが心理的に嫌			0
④大手町公園	災害	駐車場が狭い→防災拠点として機能しない			0
	事業費	便利な場所だけど維持にお金がかかりすぎている			0
	まちづくり	(上記の付箋の意図として)駅周辺を一体的に開発することにより駅前で過ごすスペースを作ってほしい ※今は、高校生などが駅前で親を待っていても入ることができるお店も何もなくてかわいそう			0
	立地	市商業ビル付近(シティホテル)と大手町公園を一緒に計画できないのか。南と北を一緒に開発できないか。 ※一体的に開発して欲しい			0
その他	計画方針			今は庁舎の立地だけが議論になっているが、庁舎を決めるにあたっては、立地・設備・仕様・施設のすべてを考慮して考えるべき	0
	災害			浸水害を恐れていますが本当ですか。(本当に起こると思いますか。)新丸山ダム工事あり、堤防も高いから安心です	1
				今渡ダムのコントロールは名古屋市が持っている→昭和58 水害は人災だった	0
				浸水対策は設計と仕様で対策できます	2
				行政の第一の目的は市民の命を守ることで、建物を守ることではない	0
				市の南側に庁舎を作るのは水害が怖いという意見の人はいるが、水害以外にも地震や土砂災害などもあるし、どんな災害であるとしても想定外になりうる。	0
	事業費			他にも改修が必要な建物はあるので、庁舎だけに費用を使いすぎるべきではない	0
				孫子の代の負担を考えるべき	1
				岐阜市の人口と比較してもオーバースペックすぎるのでは ※美濃加茂市の人口が岐阜市の人口の〇%かを算出し、美濃加茂市の新庁舎の計画規模と岐阜市の新庁舎の規模を比較すると、人口の%よりも大きくでる	1
				一番コストがかからない方法でやるべき	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	情報の出し方			アンケートのやり方をはじめからもっと情報に誤解がないようにするべきだった	1
				例えば、「市商業ビル」という選択肢名では駅南のシティホテルだと伝わらなかった	0
				多くの情報で市民が迷うことのないようにしてね	1
	駐車場		必要となる車両台数多すぎないか？根拠が知りたい		0
①現庁舎 ②プラザちゅうたい ④大手町公園	災害		水害に強い　災害時に防災の拠点になりうる庁舎を求める市民の声が多かったが、畜産研究所以外の3候補地は水害に弱いので、本来は候補地になりえない場所ではないのか		1

（2）グループ発表内容

○　全体

・他にも改修が必要な建物があるので、庁舎にだけ費用をかけるべきではない

・災害はどの場所でも起こりうるので、水害のことを考えすぎる必要はないのでは

・前回の市民アンケートで「市商業ビル」が駅南地区だと分からなかったので、誤解が生まれない様に情報を出してほしい

・前回の候補地として挙がった場所も含め、もっと理解を深め比較検討すべきでないか

○　現庁舎（建替え・リノベーション共通）

・土地を新しく買わずに済むので良い

・今の庁舎でも災害に耐えられると思う

○　現庁舎（リノベーション）

・新庁舎整備は老朽化対策が目的なので、建替えなくても良いのでは？他の公共施設を修理すべき

○　プラザちゅうたい（庁舎単体・体育館複合共通）

・庁舎単体、体育館複合の議論をする前にプラザちゅうたい自体の必要性について議論すべき

○　畜産研究所

・造成費が高い

・前平公園の平面を使って建替えを行えば整備費が安くなるのでは

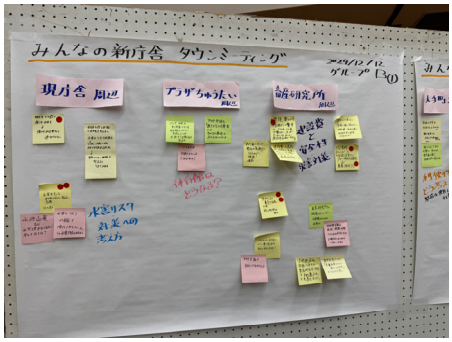
・造成費が多くかかるのであれば別の場所で良い

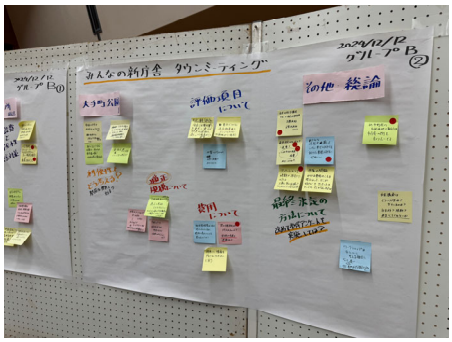
○　大手町公園

・駅の北側と南側を同時に開発できないか、また、駅前で過ごせるスペースを作ってほしい

■12/12　B 班

1. タウンミーティングの様子





2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	借地	駐車場が借地となっており将来的にずっと費用がかかる。借地を必要としない候補地の方が良い。			1
	広さ	災害時の避難スペースを考えると手狭な感じがする。			0
	リスクの見直し			水害リスクはもっと包括的に見直した方が良い。水源涵養など水管理の方法を包括的に見直し、水害のリスクの有無で候補地を考えたくない。	2
	立地	3 年前の大雨でも、木曽川の水位がかなり上昇した。想定外の大雨のリスクが高まっていることを考えると、現庁舎の立地はリスクがある。			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		体育館は別の場所への代替案はあるのか？なければ適切な選択肢とは言えない。		0
		プラザちゅうたいも建て替えが必要なのか。必要であるならば、新庁舎のみの建設はありえない（選択肢として適切ではない）のではないか。			0
			プラザちゅうたいの利用者の方々は、体育館をどの程度利用されているのか？		0
③畜産研究所	開発			造成などの開発による負の効果（残土処理の影響など）についても検証したほうがよい。	2
	調整池		調整池はどうしてこれだけの規模が必要なのか？		0
	バリアフリー	バリアフリー対策について、車椅子の方で歩きの方（敷地内を移動する方）はいるのか。車でのドアツードアであるなら傾斜は大きな問題にならないのではないか。			0
		車椅子車両駐車場を庁舎近くに設置するなどアクセス面で傾斜問題は解消できるのではないか。			0
	費用の評価	借地などの費用は 50 年、60 年必要のない方がよいのではないか。（畜産研究所は借地を必要としないので評価できる）			1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		建設時にお金がかかるとしても、建設費の造成費や設計費を見直すことで圧縮できる部分もあると思う。			0
			畜産研究所周辺につくる際の造成などの費用は全て税金を投じることになるのか？		0
	立地	未来のことを考えると災害に強いところが良い。災害の際に前平公園に仮設住宅を設営することができるのでは。近い場所に市庁舎があるのが良い。			0
		災害時、ヘリポートや仮設住宅などの利用に広い場所が確保できる畜産研究所が良い。			2
④大手町公園周辺	アクセス	駅前の庁舎は利便性は大切ではない。電車で市庁舎を利用する人は少ない。			0
		駅の近くである必要は、外からの来庁者のためでしょうか。美濃加茂は車社会なので市民にはメリットではない。			0
			車社会がどう変化していくかの想定はどうなっているか。その想定からアクセスを考えたほうが良い。		0
	立体駐車場			外部利用者の立体駐車場利用を有料化し、収入とするとよい。	0
その他	議員の参加		市議会議員はどういう理由で参加されているのか？自主的な参加か？強制的な参加か？大切な議論の場なので全員が参加するべきではないか。		0
	比較		今回の 4 つの候補地と類似した立地や使い方をしている他市町村の市庁舎の利用例を知りたい。		1
	ワークショップの意義			ワークショップは市について考える機会になってとても良い。だけど専門的な視点も大切にした方がよい。	0
	維持管理費		維持管理費がどれも同じ想定になっているが、建物の高さなどによっても異なるのではないか？		0
	財源		国の補助金などは何があるのか？全体の予算と返済計画はどのようになっているか？		1
	事業予算			将来に借金を残さない方がよいと思う。	0
	決定方法			市民の考えを優先するという市長の言葉でもあったので、市民が納得する選択肢を優先する必要があるのではないか。	1
				最終決定においては選挙や住民投票、はがきを使っての市民投票などで市民の意見を収集するのが良いのではないか。	2
	計画の見直し	「美濃加茂市としての適性とは何か？」が大切。見直しがあっても良い。			0
		無指定地域となっているが、適正化計画の方を見直せばよいのではないか。			0
	水害対策	安全性（水害対策）を重点に置けば、その点の評価を高くするのが			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		良い。畜産研究所だけが〇と評価されている。			
	地盤の安定性	地盤の安定性はどうか。水害だけでなく地震の被害もあるため評価したほうが良い。			0
	波及効果			費用面だけでなく、周辺の経済効果や人の導線など市庁舎ができることでの波及効果も評価しスコアにしてほしい。	0
	適性規模		美濃加茂市として適正と考える人口は何人？その人口に適した行政職員や議員定数は何人という想定をしていますか？その想定に基づいた市庁舎の大きさを考えるのが良い。		0
				9000 ㎡は、現状での想定面積だが、将来ビジョンを考えたときの適性を考えたほうが良い。	0
				市庁舎は大きくなくてもよいかもしれない。DX 化などで市庁舎の機能も変わることでよりコンパクトになるだろう。	0
	結果	大切な情報が揃っていないなかでのアンケートをあまり重視しすぎないでほしい			1
		アンケートをとる時期が早すぎたのではないか。工事費などが出揃ってからのアンケートをとるべき。			1
		予算の問題。かかる費用のこととかを考えないでどこが好きかでアンケートをとっても意味がないのではないか。			0

(2)グループ発表内容

○　全体

・今回の候補地の特徴に似た他市町村の事例があると、想像しやすくて良い

○　現庁舎(建替え・リノベーション共通)

・水害リスクを最小化した上で災害対策をすれば良いのでは

○　畜産研究所

・造成費はかかるが、災害リスク、避難所としての機能を考えると先行投資として考慮できる

・造成の仕方によってはコストを抑えられないか

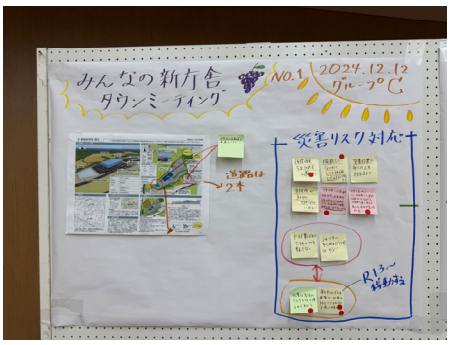
・造成による残土の処理など、開発による負の効果をもっと考えるべき

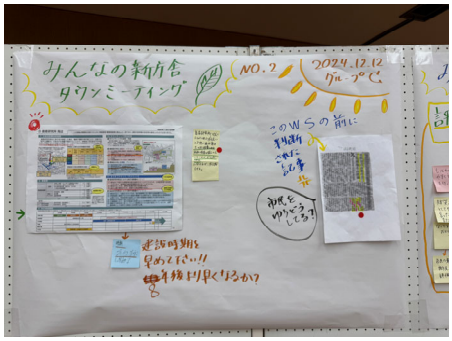
○　大手町公園

・車社会なので、駅前であることは市民にとってメリットにはならないのではないか

■12/12　C 班

1. タウンミーティングの様子





2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		プラザちゅうたいの建築費用に、体育館建設のために別途 37.8 億円と書かれている。体育館の費用が図表に計上されていないが、図表で体育館を建設する費用が計上されていないのはおかしい。	体育館を「別途」として計上するのではなく、表に含めて計上してください。	0
③畜産研究所	時間		時期をブレイクダウンして早めるのが良い。→建設時期を早めて 8 年後よりも完成を早めてほしいが可能だろうか？		0
	造成・建物		調整池の必要性を教えてください。		0
		道路が 2 本(東からと西から)あるのが良い。		(市からの回答)西側からのスロープは傾斜が 5 度なので、車椅子やベビーカーや自転車などの方は西側から登るようになっている。東側からの傾斜が 8 度の道路は、健脚の方や自動車・バイクなどの方が利用する。	0
		畜産研究所は広く、6 万平米で他よりもずっと広い。28 億円の造成費は、土の処理費である。地域の業者や個人の方に分ければ、ずっと減らせる。			1
その他	災害対策	防災拠点として機能しないからダメだと前回のワークショップで言ったのに、今回の候補地に入っているのはおかしい。	市民の意見を無視して評価されているのではないか？→誰が評価しているのか？勝手な評価をしているのではないか？		0
		仮設住宅を建てられる公園があるといい。			1
		災害拠点として機能していないのに、しているような評価になっている。	災害対策で多くの人を救えるのかを考えてほしい。市役所が、市民を助けに行かないといけないということを考えてほしい。		1
		水害対策ばかりで、南海トラフ巨大地震など地震対策について考えていないのではない。	水対策ばかりでシャッターを閉めるだけではいけない。		0
		新丸山ダムの建築で、水害は防止できるのではないか。	新丸山ダムは令和 13 年から稼働する。新庁舎が完成予定が 8 年後であるので、ほぼ同時期であるが、それまではどのように対応するのだろうか？		2
		水害は本当にリスクとなりえるのかがわからない。			1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	事業費		建築費はどこから支出されるのか？市が 100 億も用意できるのか？100 億はどこから捻出するのか？国・県・市の負担の割合はどうなっているのか？		3
			相見積もりをとった予算なのか？		0
	造成・建物		新庁舎に必要な延床面積として、どのように算出されているのか？9500 ㎡はどこから来た数字なのか？（測量面積か？）		2
		全体を平地にせず必要に応じて整地すれば費用が安い。			0
			庁舎と体育館は同じ建物にできるのか？		0
	評価方法	もっとわかりやすく資料を作ってください。			0
		意見としての評価がされていない。			0
		4000 人アンケートの重みが、評価表のどこに反映されているのかがわからない。			3
	プロセス	前回のワークショップの内容が、今回に反映されていない。			0
			前市長時代に調査した結果は活かされているのか？以前の新庁舎の調査では、美濃太田駅前になったと思うが、どうなったのか？		0
			このタウンミーティングが開催される前の 12 月 4 日岐阜新聞に掲載された記事について。このタウンミーティングが開催される前なのに、「美濃加茂市新庁舎、2 候補地に高評価」と書かれている。「プラザちゅうたい」と「現庁舎」の 2 拠点と書かれている。これは、どうして掲載されたのか？市民を誘導している記事であり行動であるのではないか？		1
	立地	災害対策に必要な条件として、仮設住宅の設置場所が必要である。災害対策本部は市役所であるならば、仮設住宅の設置場所も市役所から近い方が良い。			1
		未来を見つめて考えるならば、70 年後にまた建設問題が持ち上がるだろう。70 年後の建て替えも考えると、用地が広い方が良い。			1

（2）グループ発表内容

○　全体

・前回のワークショップやアンケートの結果を反映して評価表を作っているのか気になる

・事業費算出の細かな詳細が知りたい

・災害時に備え、広い用地が必要だと思う

○　現庁舎（建替え・リノベーション共通）

・建設中の新丸山ダム等で水害対策はできるのでは

○　畜産研究所

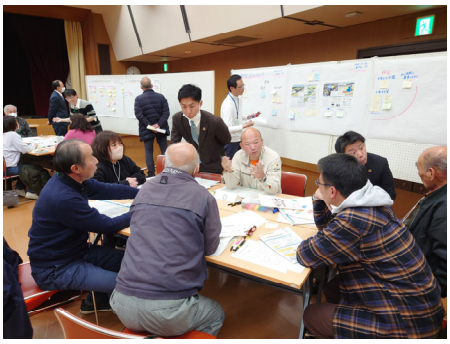
・造成による土の処理方法の工夫等で事業費を少なくできないか

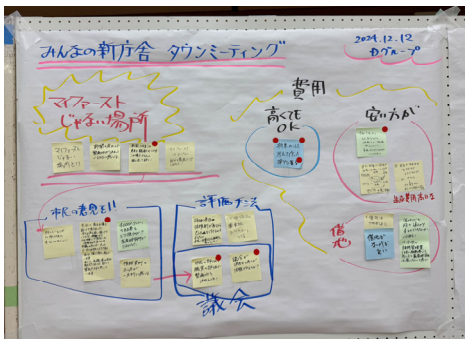
・段差を細かく活かした造成ができないか

・市民の窓口は市民が行きやすい場所にしてほしい

■12/12　D 班

1. タウンミーティングの様子





2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害対策			水害対策として現庁舎の場所もよいのでは。	1
③畜産研究所	アンケート			4000 人市民アンケートで今回の情報が出ていたらアンケート結果が違っていたのでないか	0
	造成		造成面積は建物面積の 9500 ㎡で良いのでは？		1
	その他			以前の新庁舎計画時に畜産研究所は不適切候補とされた理由が、今回の資料で理解できた	1
	費用			今後の維持管理費（駐車場）を考えると畜産研究所は高くない	0
	面積	借地じゃなくて土地が広いから良い			1
		広々とした場所で、外でものんびりと自然を感じられる場所が良い			1
④大手町公園	その他	現実的でない。100年先は良いかも			0
	面積	敷地面積が狭く借地が多くなる			0
その他	議会決定	市民の評価と職員の評価で整備地を決めるべき			1
		議会が決めるとあるが信用できるのか			1
	評価項目	評価項目に法規制があるから、〇△▲を付けるのは良くない。本当に必要なら規制を変えるべき			0
		評価項目に濃淡をつける			0
	みんなの意見を			マイファーストは良くない、自分の意見だけじゃなく	0
				新聞の見出しで整備地が決まっているように感じる	0
				新聞の意見を鵜呑みにせずこの場所でちゃんと話し合ってほしい	1
				タウンミーティングに多くの人が参加してほしい	0
				十分に考える場を設けていただきました。全ての声を拾い続けていくのはもう十分していただきました。信頼する市長さんや市議の方がきっと良いまとめ方をしてくださると	1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				考えています。あとは有識者の方が考えてくだされば信じて賛成できる。	
				4000 人アンケートをどう扱うのか。畜産研究所が 1 位だった	0
				情報資料の出し方が一方的に感じる	0
	機能			市役所をコンパクトにして機能を支所に分散する	2
				デジタル化が進んでいる	0
				新庁舎や連絡所は行政にためだけの場所じゃない。みんなが集える場所	3
	借地	借地でない所が良い			0
				借地料が値上がりしてくのが心配	0
	費用	高くても将来のことを考えて作った建物なら OK			3
		負担は小さくするのが良い			1
		造成が必要なところをわざわざ選ばなくても			0
	防災			一番のリスクは水害でなく南海トラフ(地震)では。その対策をメインに考えるべき	0
				消防や警察と連携しやすい場所が良い	0
				避難できる場所があると良い	0
	連絡所			連絡所は全て不要でないか。バスで市役所に行けるようにすれば良い	0
				各地域に連絡所は必要。避難所としても必要	0

(2)グループ発表内容

○　全体

・議会で決めるとのことだが、市民や職員の意見やタウンミーティングの結果をもとに決めてほしい

・事業費が高くても将来を見据えた計画ならよいという意見と事業費は抑えるべきという両論があった

・借地が必要無い候補地が良い

・水害より地震対策を優先した方が良い

・市全体として連絡所機能と庁舎機能を今後どう計画していくかも考えていきたい

○　畜産研究所

・造成費をもう少し安くできるのではないか

・前回の基本計画で整備地として不適切とされた理由が今回の評価表で理解できた

・借地がなく土地も広いので良い

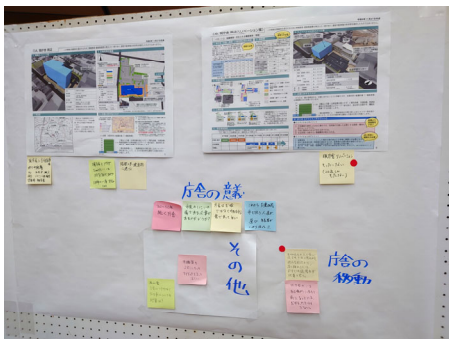
○　大手町公園

・敷地面積が小さく、借地面積が大きくなってしまうのは良くない

・50年100年先の人口が減っている頃ならありだと思う(まちをコンパクトにする必要があるため)

■12/12　E 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	建物	階数の多い建造物は避けるべき			0
	駐車場	現庁舎に立体駐車場を作る。地下駐車場で平日→来場者職員が利用、休日→イベント来場者利用、災害時→被災者利用			1
	防災	防災面で危うい			0
①B 現庁舎（リノベーション）	リノベの妥当性	現庁舎リノベーションもったいない（20 年しかもたない）			1
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	周辺施設			（図書館と体育館の複合案について）図書館を立て替えるなら、公園セットでお願いします。	1
	建物	図書館との統合が良いと思う			1
			市庁舎と合わせず体育館と図書館は合わせられないか		0
		体育館は庁舎を合わせる等、中途半端な物にせずきちんとした物にする（1 競技特化で集客する）			2
			体育館との複合について、どの程度の体育館を想定しているか。インターハイや社会人の大会はできるのか？		0
③畜産研究所	景観	公園の近くで広くて環境が良いと思います。			1
	交通整備			西町住民としては、前平地区の道路整備は市庁舎の建設と関係なく必要なこと（工業団地もできて、交通量が増加している）	1
	造成費			前平公園の野球場のグラウンドに残土を運べば、残土処理の経費が下がる。また、残土処理後はグラウンドが大きくなるように造成する。	0
				前平の造成費（28 億円）は安くできる。（造成の工夫や場内舗装の工夫、残土や樹木のリユース、市民ボランティア参加）	1
	建物			前平の庁舎は 1 階建ての木造で建築できる。職員駐車場は砂利にする	0
	都市計画	第6次都市計画「walkable city ミノカモ」の象徴である市庁舎には前平が最もふさわしい（自然、段々ある庁舎、楽しめる）			1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	地域活性化			公園が造成されれば、幼児達の遊具とかも色々設置することにより市民の利用度が広がる	1
	駐車場			前平に決まらなくても公園の整備してほしい(駐車場)	0
	土地活用			前平の整地により色々な将来に必要な物件ができた時の対処できる。	1
		畜産研究所は、市庁舎ではなく大学等の市外から人を呼べるものが良いのでは？			1
	バリアフリー		畜産研究所の道路のバリアフリーができなくても問題はないのですか？		0
	防災	他の候補地だと水害対策しても孤立した時寄りつけない			0
		市庁舎は災害の基点、利便性の２つが最も重要			1
		線状降雨帯になると、加茂川流域はすべて(道も)浸水するので(前平周辺以外は)不適格である。			0
④大手町公園	周辺環境	大手町公園周辺が良いが、緑が少ないことが気になります。			0
	建物			大手町の場合、学生が立ち寄れるスペースを１階に作ってほしい	2
	都市公園		都市公園どこにうつすのか決まってます？(候補はあるか？)		0
その他	アンケート			市庁舎が現庁舎のある場所にあることが市民にとって当たり前になっている。アンケートの回答結果が少なかったのもそのせいではないか。いざ場所を変えるとなれば、新たな反対意見も出るかもしれない。	0
	決定プロセス			美濃加茂市の人口重心は、古井・太田地区だと思われる。現庁舎周辺から遠く離れるには、よほどの説得力が必要と思う。	1
	市庁舎の意義			市庁舎は 30～50 年続く庁舎であるべき。	0
				市庁舎が市民の憩いの場である必要はあるか？	0
				これから美濃加茂市を担う人達が選び、年長者がしっかり建てる。	0
				市庁舎はお城ではなく、市民を守る砦であってほしい。	0
	職員への要望			公園に手をつける事は禁止であると言われているが、それを突破する国に対しての申請をする。国民の意見を届けるのも最大の発信である。	1
				市職員に上から「ダメと言われたから」と諦めるのではなく、もっと上司に解決するようなアイディアを言ってほしい。	0
	防災		浸水害で庁舎に行けなくなることへの対策は？(現在の水害対策状況)		0

（2）グループ発表内容

○　全体

・憩いの場を庁舎に設ける必要はあるのか

・前回の市民アンケートに回答しなかった人達は今のままで良いから意見をしなかったのでは？庁舎が変わる想定をしていないため変わると不満が出るのではないか

・移転した場合、現庁舎の跡地はどうなるのかも含めて議論した方が良い

○　現庁舎（建替え）

・階数が多いものは避けてほしい

○　プラザちゅうたい（体育館複合）

・図書館と複合させ、一つの建物として成立させるのはどうか

○　畜産研究所

・水害対策を考えると災害時の起点となり、利便性が良い

・前平公園の野球場に残土を再利用するなど、処理費を減らす方法はあるのではないか

・周辺の交通量が多く、渋滞が酷いので、道路整備は別途行えば、庁舎の事業費に含めなくても良いのでは

・walkable city minokamo の理念に一番合っているのではないか

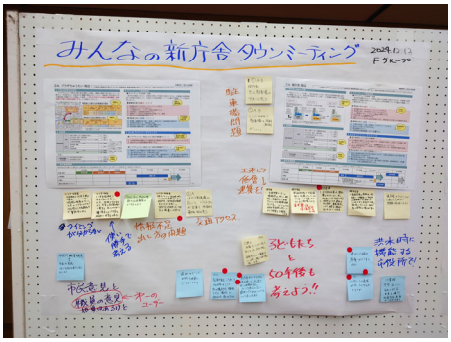
・公園隣接で綺麗な場所であるからこそ、庁舎以外の用途としたら若い人や市外から人を呼ぶことができるのではないか

○　大手町公園

・駅前のため、迎えを待つ学生が多いので、子ども達が休める場所を作ってほしい

■12/12　F 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害			昭和 58 年水害は、降雨量が少ないのに、ダム放流による災害(人災)	1
				堤防ができ、新丸山ダム完成、事前放流により、水害は極めてなくなったと言えます	0
	その他			現駐車場の南側は、40 年前に地権者から市役所の駐車場として買収した土地であり、市役所以外の施設になることは、地権者の理解が得られない！	0
	駐車場	現庁舎の場所では、きっと駐車場が狭いと思う。			0
				現庁舎になるのなら、駐車場は有料(認証)がいい。	0
	低層化	生涯学習センターの稼働率が低く、新庁舎の会議室として利用することにより、規模を縮小できる。以上のことから、水害の可能性が低いことから 7 階案を 5 階案にできる。			0
				斜線制限や日陰規制が問題となっているが、7 階建てから 5 階になることにより解消される。	0
①B 現庁舎（リノベーション）	その他		現庁舎のリノベーションを考える意味は？ 問題の先延ばしでは？		0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	選定の経緯			市民アンケートで候補地にしたのはプラザ周辺であって体育館、図書館を解体することではない。図書館を解体したいため、市の偽善としか思えない。	1
	体育館		ちゅうたい周辺の際、新たな体育館はどうするのか？		0
	駐車場	これだけ駐車場が広いと、バスターミナルが出来て、地域から来やすくなると思う			0
	評価基準	庁舎単体が何故点数が一番高いのかわからない。体育館の移転がないと庁舎ができないのでは？体育館より庁舎建設の方が緊急性がある。			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	利用方法	体育館利用者は、土日、夜間が主であるので、庁舎の勤務時間と異なる。体育館利用の音がやかましいが、庁舎の利用時間と異なるため、複合と同様な施設で可能である。			1
③畜産研究所	安心	治安が悪い。4 時過ぎに真っ暗。女性には不安。			1
	事業費	工事費が高すぎる			0
	造成工事	法面崩壊の危険性がある。			0
	立地	鳥瞰図が平坦性に見えるのでまずい。（本当はもっと傾斜がある）			0
		いいところが一つも無い。DID（人口密集）区域でない。			0
		緊急自動車道から離れている。			0
		駅から遠い。			0
		車しか行くことはできない。			0
	利便性	高低差が 20m あり、バリアフリーにならない。			0
④大手町公園	災害	駅北の避難場所がなくなる。行政として問題である。			0
	選定の経緯	元々候補地にした市の失態。良い事がない。			0
	立地	（公園の）代替地がないと思います。			0
その他	意思決定			市役所職員の意見と市民の意見。同じ方向を見ていないのでは？（相違はあるが、職員が第一のユーザーであり、尊重すべき）	0
	交通アクセス			（バスターミナルがあるとよい、という意見に対し）土地、対応できる広さが必要ではないか。	1
	災害		浸水したときの職員はどうするのか。		2
			浸水。ハザードマップに危険地域 3 箇所なぜ入るのか。		1
				災害時、庁舎近くに市民に対応出来る場所。仮設住宅、職員が対応出来る（しやすい）	0
	事業費	こうやって、お金をしっかり出しておくのは分かりやすい。子どもたちに借金をいっぱい残してあげたくないです。			0
	将来計画			50 年後もこうやって悩まないように、次の場所も確保できる場所で決めるのも良いのでは。	1
				新庁舎ができてから何年か後には、また建て替えの時期が来る。そのことを考えると、広い敷地の所がよいのではという考えもある。	2
	選定の経緯			候補地の出し方に問題。候補地にならないような場所がありすぎる。事前に調査すること。	0
				前平公園と書くと公園の敷地を使うと思ってしまう。	0
			借地までして 3 地点にもって行くのか？		0
	耐用年数		新庁舎の耐用年数は？		0
				建築物の対応年数	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	評価基準			先回のミーティングまとめ（かわらばん）をしたのに市民の意見がとり入れないのか	0
				点数が0点から2点だと差がつかない	1
				○2 点、△1 点、▲0 点はざっくり分けすぎでは？5 段階くらいでしたら点数は変わるのでは。	2
				△▲の点数にしてはいけないと思う。○の数のみでよいのでは。理由。問題の検討が必要なため（マイナス要素であり）点数に入れるべきでない。	0
				評価項目が少なすぎる（例えば実現性がないプラザちゅうたいの移転）	0
				アンケートに際して候補地の評価も取り入れて実施すべき	0
			造成費について高い。面積割にしたらどうなるのか？ ※ 余剰地が広い		0
	プロセス			今までのタウンミーティングは理想的なことばかりがテーマになっていた。もっと現実的に予算的な面も含めて話題にするべきではなかったか。	1
				アンケートの集計の面で資料に賛成	0

（2）グループ発表内容

○　全体

・前回のアンケートで、この候補地ではどんな庁舎か等、条件を絞ったり、情報の出し方に正確性がほしい

・浸水時に水密シャッターを閉めたとしても、浸水しているのであれば市役所が機能しないのではないか

・新庁舎を作った50年後等、次の建替えも考慮して考えるべき。

・費用や予算額等をしっかり出してあり、分かりやすくて良い

・子ども達に負の遺産を残したくない

・交通アクセス・公共交通や、駐車場の改善をしてほしい

○　現庁舎（建替え）

・生涯学習センターの稼働率が低いので、会議室として活用することにより規模を縮小できるのでは

→庁舎の会議室を減らして 7 階案から 5 階案にするなど工夫できるのではないか

○　プラザちゅうたい（庁舎単体・体育館複合共通）

・体育館との複合は可能であると思うが、なぜプラザちゅうたいの点数が高いのか分からない

○　畜産研究所

・パースはフラットに見えるが、実際はすごく高低差がある

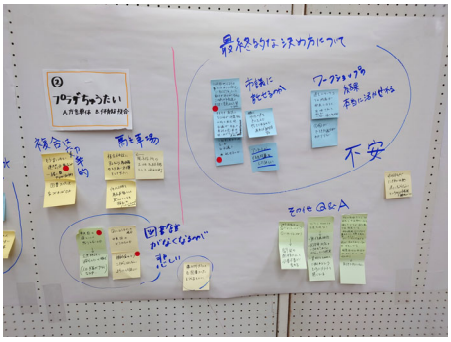
・高低差があり、傾斜が大きいので解決できる状況にしてほしい

○　大手町公園

・公園の代替地が無いのでは

■12/17　A 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	駐車場	駐車場はなるべく買う方向で調整すべき			0
	立地	隣に生涯学習センターがあるので市民としては利用しやすい			1
		生涯学習センターの空いている施設を利用すれば市民との話し合いの場もかねることができる			0
②プラザちゅうたい(庁舎単体)	図書館		中央図書館は残りえないのか(美濃加茂市は図書館が２つあることが魅力なので残してほしい)		1
②プラザちゅうたい(体育館複合)	体育館	体育館ももう古いので建て替えが必要なのだから、一緒にやるのが効率的			1
	駐車場	複合施設にするのなら駐車場のとりあい対策をしてください　※現時点で、なにか体育館でイベントがあるときは体育館利用者の駐車場がいっぱいで、図書館利用者が停める場所がなくなるということが起きている			0
		現市役所の土地を駐車場として使用できる			0
	図書館	図書館がなくなることに関しては、図書スペースを作ればOK			0
③畜産研究所	階数	杭を打つ範囲を狭くすれば費用も安くなると思うので、高層階にして狭くするべき			0
		建物を高くして、駐車場と建物を近づけたい。建物を2F ではなく3～4F くらいにして、駐車場からの移動をスムーズにしたい			2
		水からの安心安全という点からいえば、③しかないが、2階建てではなく4階5階だてにすれば建築費はもっと少なくなるはず			0
	事業費	そもそも費用が掛かりすぎ			0
			③は2階建てなのに建築工事費が高いのはなぜ？(2階建てなのになぜ高いのか？)		0
		低層階のままの庁舎で、こじんまりとした庁舎にして費用を抑えるべき　※そもそもの必要面積を狭くした方がいい			1
		こじんまりとした庁舎にする分、連絡所をもっと活用すべき			2

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	土地利用計画	建物を高くした分、余った土地は公園として活用されたい。前平公園周辺はサクラがきれいなので、そのエリアを広げる。			0
①現庁舎 ③畜産研究所 ④大手町公園	図書館		②にならなかった場合、中央図書館はどうなるのか？		0
				③以外だとしても図書コーナーをつくるといい	0
その他	アンケート		アンケート4000人の抽出方法は？回答率について市としてどういう評価をしている？（十分だと思っている？）		0
	決定方法			4候補地以外の「シティホテル跡地に市役所を」という動きがあるが、それはこの前の市長選の結果で否定されたはずですね。そもそも駅前になる話が前市長の時にあったとき、市議が市民の反対の意見を吸い上げていれば混乱しなかったのではないか。その市議に託せるのか。	2
				本当に市民の声を聞いたうえでやってくれるのであれば納得するけど、過去の経験から不安がある。	0
				アンケートか住民投票によって決めてほしい。	0
	市役所の規模			どこが庁舎だとしても、来庁者数が少なくなることを想定したサイズにすべき。広すぎても逆に大変	1
				美濃加茂市はマイナンバーカード使用率が高い（市長のインスタライブ談）ので、庁舎の窓口に行く人も少ないはず＝コンパクトでOK	0
				ただし、職員の人が使いやすいスペースは必要	0
			1人あたりの面積を少なくすることはできないか？		0
	調整池		地下調整池は②だけでよいのか？①にはいらないのか？		0
	図書館			補助金の取りこぼしはしないようにしてほしい　※なるべく図書館を残す方向に動いてほしいという気持ちからの発現	1
	にぎわい			市役所がにぎわいの拠点にならないというのは市長選で結論がでているので、にぎわいの拠点になるということは考えるべきではない　※市長選で、駅前に庁舎を建てることによってにぎわいも生まれると考えていた前市長がしりぞかれたということは、市民がにぎわいは必要ないと判断したということ	0
	ワークショップの結果の活かし方			過去のワークショップでの内容が反映されていないような気がする。 ※②④の候補地の話は昨年のワークショップではまったく出てきてなかったのに、今年になっていきな	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				り出てきたような感じがする。	
	ワークショップ結果の取り扱いについて		平日の夜間だけですが、去年も４回参加しました。候補地④も？ですが、候補地②に関しては初耳です。平日の夜間ばかりなので、集まる人に偏りはあると思いますが、タウンミーティングの話が活かされているのか疑問です。結果ありきの形ばかりのものになっていませんか？		0

（2）グループ発表内容

○　全体

・ちゃんと市民の声を吸い上げているのか不安。市議に任せるのは怖い為アンケートや住民投票を行ってほしい

・以前のワークショップの結果が本当に繋がっているのか分からない

○　現庁舎（建替え）

・生涯学習センターが隣接しているので市民の話し合いの場にする等活用できる

・借地は長期的に費用が必要なため、駐車場のための敷地を買えるなら買ってもらいたい

○　プラザちゅうたい（体育館複合）

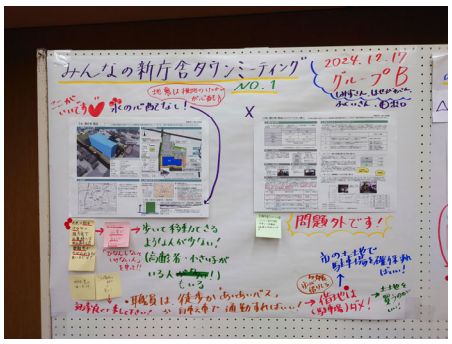
・体育館も長年使われてきたものなので、同時に作り直してはどうか

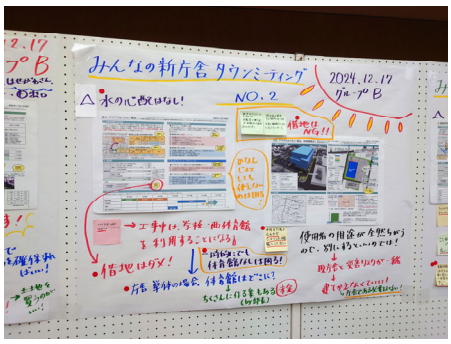
・図書館も体育館も複合となると駐車場の取り合いが起きかねないので、駐車場用の敷地が買えるなら買ってほしい

・図書館が無くなるのは悲しい。無くすにしても図書スペースを複合するか、別の場所に作ってほしい

■12/17　B 班

1. タウンミーティングの様子





2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害対策	市民を守るなら、現庁舎で、水害時には中山道からの避難者が駆け込める方が良い。→駆け込む必要がある人が行ける場所であるべきである。「避難しないといけない人」を守ってほしい。徒歩で移動できるような人（高齢者や小さな子どもがいるような人）もいるような地域に造るべきである。			3
		水害の心配はありません。			1
		ただし、南海トラフ巨大地震などの大規模地震の場合は、堤防の決壊心配です。			0
	駐車場	借地を借りたいのであれば、職員は徒歩か自転車か「あい愛バス」で通勤すれば良い。特に 3km 以内に住む職員を対象に検討してほしい。→毎日 3km 程度歩けば、職員の健康維持につながる。			0
		駐車場を「借地」で確保するのはダメです！→市が所有している土地で、駐車場を確保すれば良い。なければ、土地を買うのが良い。借地はダメです。			1
	立地	ここがいいです！			0
		現庁舎案が一番良いと思います。			0
		この場所のままでいい。→早く作るのが大事である。			0
		効率良く、早く工事してください！			0
①B 現庁舎（リノベーション）	建物	コンクリートの耐久年数が 50 年と言われており、修理の金額が増大になるので、「問題外」です！			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館		体育館はどうするのでしょうか。		0
		一時的にでも体育館がないというのは困る。			1
		体育館は避難所となりえる。避難所としても使えなくなるのは一時的でも困る。			0
			庁舎単体の場合、体育館はどこに作る予定ですか？		1
	土地	借地はダメです！とにかくダメ！			1

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	災害対策	庁舎と災害リスク対策を一緒(同じ場所で対応)と考えるならば、ちゅうたいを建て替える必要はない。→ここに庁舎を造る必要がない！			0
		水害の心配はありません。			0
	体育館	ちゅうたいは、庁舎と合体させずに、単体でしっかりした構造・役割の体育館にしてほしい。			1
		庁舎と体育館は、来る使用者の使用用途(目的)が全然違う(異なる)ので、別にするといいのではないか。			0
③畜産研究所	災害対策	防災拠点はすでにある。西体育館と文化の森があるので、追加で造る必要はない。			0
	事業費	費用がかかりすぎる。高い！			0
	次世代	庁舎ではなく、これからの若い人たちの学びの施設を作ってほしい。自然が多く残る場所なので、庁舎にするにはもったいない。→庁舎である必要はない、という場所である。			2
	造成	建物の東部の三段になっているところは、造成をしなければ良い。または、無くせば良い。→造成地を減らせば、事業費は安くできる。			0
		調整池は山には必要である。調整池のところは、普段はテニスコートにして市民に活用してもらえば良い。			0
	建物	庁舎を 2 階建ではなく、4 階建にしてください。			0
	立地	ここがいい。広い！			0
		借地がないのが、良い。			1
		庁舎が公園の横にある必要はない。			0
④大手町公園	立地	土地が狭いので、必ず借地が増える。議論するまでもない。			0
その他	職員の役割	庁舎に庁舎以外の機能をつけるのは、職員さんの負担になるのではないでしょうか。			0
	土地	借地料の発生する場所は NG です。借地は結局のところ、市民の財産にならないので、ダメです。			1
	プロセス	市議会議員が決めたら良い。			0
	立地	前回のワークショップの成果から、駅前になると思っていたのに、今回は別の場所になっている。			0
			プラザちゅうたいの案は、いったいいつから出てきたのでしょうか。		0

（2）グループ発表内容

○　全体

・庁舎に庁舎以外の機能をつけるのは職員の負担を増やすことにならないか

○　現庁舎（建替え）

・災害時、周辺の人が避難できる場所にした方が良い

・高齢者や小さい子どもがいる人など、歩いて移動しづらい人達も行けるようにしてほしい

・借地はダメ、駐車場用の土地を買えないか

○　現庁舎（リノベーション）

・今後の修理の金額が増大となるので、問題外だと思う

○　プラザちゅうたい（庁舎単体）

・一時的でも体育館が無いのは避難所として活用できないので困る

・体育館はどこへ行くのか、どうするのか知りたい

・体育館を作るならばしっかりしたものが良いので、庁舎と別にして丈夫で安定したものを作ってほしい

・体育館は今のままで良い

○　畜産研究所

・防災拠点の機能は西体育館、文化の森と既にあるので別に考えなくても良い

・高低差がある部分は開発しなくて良いのでは

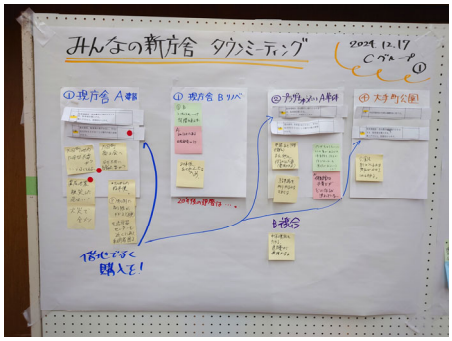
・調整池は水害対策として必要だと思う。水の調整が必要でないときは、テニスコート等として市民に活用してもらえるのでは

○　大手町公園

・土地が狭いので、論外だと思う

■12/17　C 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	借地	借地費用で駐車場を購入すべき。購入できないなら候補から外す。			0
	駐車場	建て替え時に駐車場利用に制限がかかり不便			0
		生涯学習センターも近くにあり、建て替え時に利用者が困る			0
	防災	水害時に駐車場の車が水没し、200 万円×500 台＝10 億円の被害が出る			1
		濃尾地震のときに火災で全滅した記録がある			1
	立地	太田町地内になぜ必要か。ここでなくても良い			1
		太田町商工会へ。なぜ太田に庁舎が必要か。			0
①B 現庁舎（リノベーション）	建物	20 年後に建替なければならないのはだめ			0
	防災		ユーティリティは何階にあるのか？→3m 以上のところにあるが、自家発電は 1 階にある		0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	借地	借地費用で駐車場を購入すべき。購入できないなら候補から外す。			0
		駐車場を借りるのはだめでないか。			0
	体育館		プラザちゅうたいに 2 つの案があるのは体育館を作る、作らないの選択肢があるのか？→体育館は必要だがどこに作るか決まっていない。		0
		体育館をまた他に作るのは費用がかかる			0
	防災	水害時に駐車場の車が水没し、200 万円×500 台＝10 億円の被害が出る			0
②B プラザちゅうたい（体育館複合）	費用	体育館機能を入れると建設費から無理がある			0
③畜産研究所	安全	安全なところに庁舎を建てた方が良い			0
		前平に建てたらどうか			1
	公園			前平公園を含めて配置計画を見直し、公園に囲まれた庁舎を提案（参考図面あり）	4

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				公園利用者がトイレや雨宿り、カフェに使用できる	0
	事業費			2 階建てを 5 階建てに変更すれば事業費が安くなるのでは	0
	進入路			スカイロードから前平公園北口、畜産研究所跡地に入る進入路を作ってはどうか	0
	その他			ネーミングライツを実施する	1
	建物		なぜ 2 階建ての建物なのか？→昨年のワークショップでワンフロアで完結する庁舎という要望が多かったから。		0
	駐車場			2 階建ての場合は屋上を職員駐車場にしてはどうか	0
	費用		2 階建ての建物なので建設費が半額になるのでは？→杭が必要なため費用がかかる		0
			造成工事 28 億がかかりすぎ。以前の 18 億と違うのはなぜ？→バリアフリーの考え方や、この数年の建築費用増加によるもの。		0
				必要十分な費用と、先行費用を分けて見積もるべき	0
	評価	バリアフリーが△だが、建物内の移動なら関係ないのでは。			0
	立地			現在の野球場に庁舎を建設し、畜産研究所跡地に野球場を移設する	0
④大手町公園	代替公園	市役所跡地を代替公園にしてはどうか。			0
	駐車場	借地費用で駐車場を購入すべき。購入できないなら候補から外す。			0
	費用	公園を別に作るのは費用がかかるのでやめるべき			0
その他	その他			議員としっかり話す必要あり	0
	評価表について			評価表のポイントを傾斜配分に（安全＋5とか、広い駐車場＋5とか）	3
	アンケート		庁舎決定の方法から、住民投票や住民アンケートがなくなった理由は？		0
	将来		20 年後の美濃加茂市の人口重心はどこか？		0
	職場環境			職員の普段の利用しやすさを優先	0
	評価表について		▲は可能か？		0

(2)グループ発表内容

○　全体

・借地ではなく土地を購入して駐車場にしてほしい

・議員の人にも市民の意見を聞いてほしい

・職員の普段の利用しやすさを優先してほしい

○　現庁舎(建替え)

・太田町地域に必要なのか、別の地域でも良いのでは

・建替えの際、駐車場利用に制限がかかるが、隣に生涯学習センターがあり、利用者がいるので困るのでは

○　現庁舎(リノベーション)

・結局20年後に建替えとなると微妙だと思う

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・体育館を改めて作るのは大変であり、どこに作るかも決まっていないので不安

○　プラザちゅうたい(体育館複合)

・建設費から無理があるのでは

○　畜産研究所

・災害を考えると安全だと思う

・前平公園にある野球場に庁舎を作り、候補地の場所に野球場を移設してはどうか

・2階建て等にするならば屋上を駐車場にすれば造成面積を小さくできるのでは

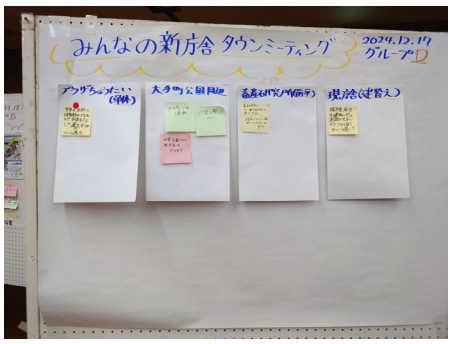
○　大手町公園

・公園を別で作るのは費用がかからないか

・市役所の跡地を公園の代替地にするのはどうか

■12/17　D 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	道路	現庁舎周辺は建物へ行く道路がせまいので、避けた方がいいと思う。			0
	防災	万が一水害の時もお年寄りが避難する時に現庁舎は非常に便利(垂直避難できる)			0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館	ちゅうたいは西町に体育館ができたので、ちゅうたいを元にして建てた方がいいと思う。			1
③畜産研究所	財政	人口や税収が令和９年をピークに下がる見込み。広い畜産研究所は維持・管理に大きな費用が予想され、とにかく不安			0
	バリアフリー	非常時に坂をのぼって避難する畜産研究所は高齢者・障がい者に優しくない。バリアフリー化に大きな予算をかけるので、わざわざそこにしなくてもよい。			0
	防災	畜産研究所は他の行政施設との連携が弱い。災害時に警察・消防との連携がダメ			0
④大手町公園	公園	代替公園がない			0
			代替公園として、現庁舎の土地は使えないか？		0
	防災	加茂川の増水が気になる			0
その他	アンケート			２月のアンケート調査 2,184,000 円が無駄。	1
				自治会にはタウンミーティングのお知らせがきていない。	0
		アンケートの回答が少なかったことについて、発信の仕方はどのようになっていたか。			0
				そもそも 4000 人のアンケートは失敗です。候補地のことを明確にせず、市民を馬鹿にしているとしか思えない。	0
				最初のアンケートの際に現庁舎や畜産研究所はある程度の調査経費はわかっていたはず。畜産研究所は不適切という結果があった。その結果がアンケートに盛り込まれていれば畜産研究所は候補にならなかった。この調査結果を見れば、畜産研究所はお金をかけるメリットがないのは明らか。	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
	議会		市議会議員の方、特に畜産試験場推しの議員の方の傍聴がないのはなぜでしょう？		0
				一度もタウンミーティングに出席していない市議会議員は市民の声を聞こうという姿勢がないのではないか。議員間に意識の違いが大きい。	2
				立地適正計画は時代と共に変えて行くと令和 6 年 6 月に部長が発言していたと思います。	0
	行政サービス			開庁時間も短くなり、既に不便な思いをした。更にサービス低下するか不安です。	0
	候補地			現庁舎内の土地で 60 年おきに「遷都」すればいい。	0
	財政		2040,2050 年と生産人口が減少していく。どのように税収増にするのか？		2
			100 億以上の事業費において市の財政支出が大きすぎる。支出の内訳を教えてください		1
				孫子の世代まで借金を！になりませんか。	1
				物価の高騰によって、予算の変動はある。	0
				新庁舎計画は老朽化に対する建設計画ですね。金をかけないこと	0
				市役所の駐車場は市民の私有地を借りて、収入にして頂けば良い。やがて税収となって市に入ってくる	0
				借地は時代にあわせて”融通”がきく。令和 9 年をピークに美濃加茂市は人口減少見込みなので、数十年後はコンパクトな市役所になるかもしれない。	0
				「プラザちゅうたい」「かもーる」「前平公園」「学校」など直すところやお金をかける所は山ほどある。	1
				各務原みたいにもっと DX を進めるべき。	0
				DX の遅れによって、新庁舎を広くする必要があるのではないか。	0
				市役所の将来的な利用者は減っていく。新しく使うよりもとにかくあるものを使うべき。	0
				岐阜市庁舎に行ったら、立派な建物なのに周辺を歩いているのは数人だけだった。大きなものは必要なく、コンパクトにすること。	0
	市役所の意義			市役所はお金を生みにくい施設。だから、なるべく費用をかけない計画をしていただきたい。	0
				市役所に行くのは 1 年に1回程度(町の役割で行く人も「メールで済むのであれば、メールで済ませたい」)	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				岐阜市の庁舎と比べるとオーバースペックです。計画を見直すこと	0
	市長へ		前市長の時に市民と合意できなかったとの事ですが、現市長は本当に合意できますか？		1
	建物			建物はまた老朽化するから 50,100 年後の新庁舎の土地確保をしていくべき。	1
	防災			昭和 58 年のような浸水災害は新丸山ダム工事や堤防工事しているので、起きないのではないか。	1
				堤防が完成してから 30 年水害は発生していない。	0
				水害対策もした現庁舎、プラザちゅうたい、大手町公園ともにリスクは非常に小さい。本当に対策する必要はあるのか。水害対策は万全すぎる。	0
				太田駅の南は 9.28 の時、ボランティアや応援する人が集まることができなかった。駅より北側にしてほしい。	0

(2)グループ発表内容

○　全体

・将来のことを考えると借金は残したくないので、いかにコンパクトに作れるかが大事だと思う

・DX化を進めて庁舎へ行かなくても市民サービスが受けられるようにしていくべき

・昭和58年から水害は起こっておらず、整備も進んでいるのでそこまで気にしなくても大丈夫では

・市民は庁舎へ年に1～2回行くか行かないかなので、庁舎をコンパクト化することで利用者が減って、その分の駐車場の借地を徐々に返していけるのでは

・50年後100年後を見据えた庁舎を作ってほしい

○　現庁舎(建替え)

・建物へ行く道が狭いのでそこを変えた方が良い

○　プラザちゅうたい(庁舎単体)

・西町に体育館が出来たのでそこを利用すれば良い

○　畜産研究所

・災害面では強いかもしれないが、行政施設との連携が悪くなるのでは

○　大手町公園

・加茂川の増水が心配

・代替公園地を現庁舎の跡地にするのはどうか

■12/17　E 班

1. タウンミーティングの様子

2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に 1 人 3 枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	立地	現庁舎周辺がいい！			0
				コンパクトな市役所に。人口もそれほど増えないとききました。	0
②A プラザちゅうたい（庁舎単体）	事業費		現在の体育館は、あと何年使えるのか？		0
③畜産研究所	事業費		高層建築と 2 階建て建築とで杭打ちや基礎工事にどの程度の違いが出るのか明確にしてほしい。		0
			平地の杭打ちと畜産研究所の造成地の杭打ちとが、どの程度違うのか。		0
			建築工事が、2 階建ての基礎と高層の場合の建築費が、なぜほぼ同じなのか。		0
		畜産研究所はお金がかかりすぎる。			0
	土地の処理		豚コレラで豚を埋めたあとに関しては、県の責任で行うべき。		0
			畜産研究所の土地に関して、県に返却する部分がある。返却時に原状復帰することが基本になるはずだが、どのように考えているか。		0
	立地	この先の市の発展を考えると、畜産研究所周辺がよい。			0
		8～9年後の市をどうするかも含め場所を考えるべき。市を発展させるための場所がどこかを考えてほしい。			0
④大手町公園	愛着	大手町公園に新庁舎を建てると、せっかく植えたあじさいがなくなってしまう。			0
	立地	初めから大手町はありえないのではないか。いつまでも候補地にあるのはおかしいと思う。			0
	駐車場	大手町公園だと、駅南の駐車場もたくさん活用させれば問題解決になるのではないか。			0
	利便性	大手町公園は、駅南の住民も、駅の通路を通って行きやすく、多くの市民が暮らす古井、中部台の住民も行きやすい。			0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
		個人的には、大手町がよい。お年寄りは、あい愛バスが便利に使える。駅北口の横に市役所があるとGood。			0
その他	評価方法		評価表で、〇△▲はどのような判断で決めたのか。		0
		評価は市民がすべき			1
	工期	建設期間の短縮を！！早く早く。			0
	プロセス		どういう経緯で市民アンケートや各地区ごとの説明会がなくなったのか？		1
				3月の整備地決定までに、各地区ごとの説明会は必要だと思う。市議会だけで決めてしまうことは反対。	0
				事業費を明記した資料でアンケートを取らないと意味がないのではないか。	0
				はじめから、候補地をしぼって、事業費を明記してアンケートをとればよかった。	1
				候補地を決めるまでに時間と費用がかかりすぎ。どこが好き？というアンケートには意味はなかったと思う。	0
	意思決定			整備決定は、なぜ市議会特別委員会になってしまったのか。	0
				市民意見を聞く為、市民投票で決めるべき！！	0
				広報「みのかも」にも情報は載っているが、気を付けていないと読み落としてしまう。広く市民の声を集めるには「市民アンケート」も必要だと思う。	1
				職員の意見を大切に。	1
				市職員へのアンケート結果は市民に知らされない？ ※職員アンケートの結果を先に知りたかったです。	1
	予算			次世代の子ども達に借金を残したくない	0
				予算がどれくらいあって、借金がどれくらいになっていくかを示してほしい。	0
			事業費の説明は細かいが、予算とかはどうなっているのか。将来へのツケはどの程度になるのか。		0
			建設用地として田圃を購入した場合、予算的にどうか？（新規の提案として）		0
	連絡所			連絡所をもっと充実させた方がいい。	2
	予算の使途			市庁舎以外にもお金を使ってほしいところが沢山ある。教育や介護	3
	その他			予算を決定し、その中でどのような庁舎を作るか考えるのは職員の仕事。自分たちの仕事としてちゃんと実行してほしい。	1

（2）グループ発表内容

○　全体

・評価表は市民が作るべきでは？どのような判断基準で作成したのか示してほしい
・次世代の子ども達に借金を残したくない
・庁舎以外にもお金をかけなければいけない場所があるのでそれらも含めて考えてほしい
・連絡所をもっと充実させてほしい
・事業費など詳細を明記した資料を提供した上でアンケートをとらないと意味が無いのでは
・ここまで一生懸命丁寧にやってきたのに最終決定を議会に任せるのはやめてほしい
・一番庁舎を使うのは職員なので、職員の意見をきちんと聞いた上で決定してほしい

○　現庁舎

・よりコンパクトな庁舎づくりをしてほしい

○　プラザちゅうたい

・体育館があと10年ほどで建替えなければいけないことを含めて考えなければいけないと思う

○　畜産研究所

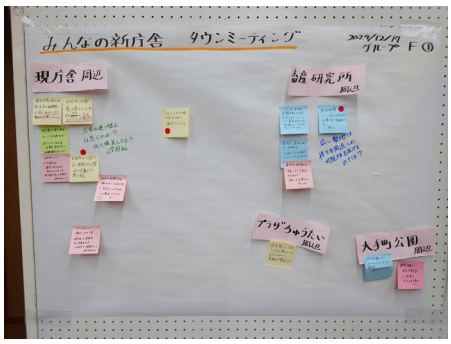
・豚コレラの関係で豚達を埋めた場所の土壌は大丈夫なのか

○　大手町公園

・現在も公園整備が進んでおり愛着もあるため残してほしい
・利便性が高く人が集まることを考えれば良い場所だと思う
・駅片側に駐車場を集中させるのではなく、線路を跨いで作っても良いのでは

■12/17　F 班

1. タウンミーティングの様子



2. タウンミーティングの結果

(1)各候補地に対する意見

※赤字:利点・肯定的な意見　青字:不安な点・懸念点
※重要だと思う評価内容に１人３枚シールを貼付。

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
①A 現庁舎（建替え）	災害リスク	災害リスクは水害だけでなく、どの場所においてもリスクはあると言える。新庁舎周辺も昭和 58 年の水害以降、堤防の設置やダムの建設などがあるので、大きな被害が生じるとは言えない。候補地として適切であろう。			0
	事業期間		本庁舎の建て替えはいつが適切か？早々に建て替える必要があるのか？		0
		市役所の雨漏りや壁、床の破損等がない限り、慌てて建て替える必要はない。			0
		市役所は耐震工事をして 20 年程度なので、いま建て替える必要はない。			0
				市役所よりも前に古い小学校の建て替えが必要だと思う。（市庁舎の建て替えを急ぐ必要はないのではないか）	1
①B 現庁舎（リノベーション）	妥当性	リノベーションをしたとしても 20 年後に建て直しが必要であるならば論外（候補として不適切）			1
②プラザちゅうたい（庁舎単体）	体育館	体育館はバスケットの公式戦ができるようにするため、単独が望ましい。			0
③畜産研究所	事業費			建材や建物の構造の違いで費用は変わるので安く抑える方法はあるのではないか。	0
	敷地面積	敷地面積が広いので、今後の対応（整備）にも多様性（可能性）が増すので、評価が高い。			1
	バリアフリー対策			バリアフリー未対応道路の勾配は、市役所の玄関をロータリーにして、車椅子利用者は入口まで乗り入れられるようにしたら、勾配は気にならないのではないか。	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
④大手町公園	都市計画法	都市計画が既にあるならば、都市計画に沿った開発を行うのがよく、市庁舎を大手町公園の場所に建設しない方がよい。			0
その他	情報公開	4000 人市民アンケートの結果がホームページで見つからない。市民の要望がどのようなものだったのかを把握することができないので公開してほしい。			0
	駅南の開発			まちづくりが駅北に集中しているが、駅南の開発について見直しをした方がよいのではないか。駅南は産業の拠点として整備・開発を考えていくのがよい。	0
	意見の反映	過去のワークショップで話された内容についての確認が十分にできていないように思う(例:新庁舎の役割が本当に新庁舎に必要な機能なのか？など客観的な評価もした方が良かったのではないか)			1
				市の役割、市庁舎の役割についての評価への反映が十分に出来ていないのではないか。新庁舎は美濃加茂市の顔としての庁舎であってほしい。	0
	概算事業費		水害対策に必要な費用はどのくらいと想定されているか？		0
		借地がなぜ必要なのか。借地はずっと費用がかかるものなので、借地が必要ない場所を候補地にするべきであろう。			1
	災害時の安全性	庁舎が浸水するリスクがあるならば、災害時の拠点としての緊急対策ができるとは思えない。災害が発生したときに機能するか？で評価しないといけない。			1
				昭和 58 年の水害が起こりうるリスクが現庁舎でどれくらいあるか。は再度調査をした方がよい。	0
	浸水害対策		3候補地はハザードマップで水没が想定されている。浸水が装置されている土地を候補地にしているのはなぜか？		0
				木曽川や加茂川の問題を考慮してほしい。堤防やポンプで回避できると考えられているが、はたしてそれだけでよいのか。他県の事例なども参考に十分に検討してほしい。	0

候補地	カテゴリ	情報資料等に対する意見	情報資料等に対する質問	その他	重要だと思う評価内容
				災害時のリスクは個人で負うものと公が負うものとがあるが、職員が災害時に公務員として動く(対処する)ことができるのか？被災地や庁舎に駆けつけることができるのか。という視点を考慮してほしい。この点から考えると浸水しない候補地の方がよいと思う。	0
	立地			候補地の人口密度は立地の選考には関係しないので、利用者のアクセスの良さを考えて場所選びをしてほしい。	0
	市民アンケート	市民アンケートの回答率が十分ではない(低い)ので、最終決定においては、改めて市民アンケートを実施すべき。			0
		市庁舎の決定は、市民の意見を重視してほしい。市民投票できめてください。			3
		市庁舎は市民のもので、血税を大切に扱い、将来を見越して目先で考えないという価値観を大切にする。			0
		ステップ 9 の市民アンケートは必ず行ってほしい。納税する市民の声を大切にしてほしい。			0
		当初の計画にあった、市議会での議論、住民投票、市民アンケートを全部実施して最終決定するのがよい。			0
				たとえ費用(予算)がかかっても、市民が選ぶなら、それを尊重するのがよい。	0
				今回公開されている情報も含めて、全ての情報を市民に共有したうえで、市民が考え選択しなければいけない。	0
				4000 人市民アンケートの回答率の低さをふりかえると、市民側もちゃんと関心をもたなければならない。	0
	職員アンケート		職員アンケートは全職員が回答しているのか？		0
				職員アンケートは正職員、非正規職員の区別なく市庁舎を利用している全員を対象にした方がよい。	0
	住民説明会			この議論をまだ知らない市民も多くいる。各地区を回って、今回の結果を説明する住民説明会をする必要がある。それでも関心のある/なしの地域差はあるだろう(関心の高い地区と低い地区の差はあるだろう)	0

（2）グループ発表内容

○　全体

・災害時でも必要な機能が果たせるかどうかで評価した方が良かったのでは

・昭和 58 年の水害が今後どのくらいの確率で起きるのかなど、リスクを加味した未来への評価になっているのか

・借地が必要ない場所が良い

・庁舎は市の顔であり市民のものでもあるので大切にしてもらいたい

・多少コストをかけてでも、最終決定時はアンケートや住民投票を行い、市民の意見を優先してほしい

○　現庁舎（建替え）

・現状維持のためには建替えた方が良いのではないか

○　現庁舎（リノベーション）

・リノベーション後にまた建替えるということを考えると論外だと思う

○　畜産研究所

・敷地面積が広いので様々な用途を考えるとポテンシャルが高くて良い

9.職員アンケート結果

9. 職員アンケート結果

新庁舎整備事業の各取り組みの結果を踏まえ、新庁舎の整備地に対する職員全体の傾向を把握するために以下の通り、アンケートを実施しました。

目的	4候補地の可能性調査の結果を踏まえ、新庁舎の整備地にふさわしい候補地について職員全体の傾向を把握する。
対象	美濃加茂市正職員351人
調査方法	Web 回答
実施期間	令和6年12月3日～12月16日
主な 調査項目	① 新庁舎整備地として最もふさわしい候補地

令和６年度
職員アンケート
結果報告書

令和７年１月

目 次

【1】 調査の概要 1

1 調査の概要 1

調査の目的 1

調査の設計 1

回収結果 1

報告書の見方 1

【2】 職員アンケート調査の結果 2

1 回答者の属性 2

1-1 年齢 2

1-2 居住地 2

1-3 交通手段 3

1-4 部署 3

2 新庁舎の候補地について 4

2-1 新庁舎整備地として最もふさわしい候補地 4

2-2 新庁舎整備地として最もふさわしい候補地 理由 9

2-3 新庁舎整備地として選択しなかった候補地 理由 15

【3】 職員アンケート調査票 21

【1】 調査の概要

1 調査の概要

調査の目的

美濃加茂市では、新たな庁舎の整備に向けて「新庁舎整備基本構想」を策定中です。令和5年度に市民ワークショップや市民アンケートから4つの候補地を決定し、令和6年度に各候補地でどのような庁舎が整備可能か調査(可能性調査)を行いました。

このアンケート調査は、可能性調査の結果を踏まえ、新庁舎の整備地にふさわしい候補地について職員全体の傾向を把握するために実施しました。

調査の設計

この調査は、以下の設計で実施しました。

調　査　対　象	美濃加茂市正職員全員
標 本 サ イ ズ	351 人
調　査　方　法	Web 回答
調　査　期　間	令和6年12月3日～12月16 日

回収結果

調査種別	回収数(回収率)
職員アンケート	322(92%)

報告書の見方

(1) 比率を求める際の基数は回答件数(件数として掲載)としています。比率は、件数を 100%として算出しています。

(2) 比率は全て%で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が100.0%にならないことがあります。

(3) 本報告書中の表、グラフ及び文章における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。

(4) 全設問において無効回答・無回答はありませんでした。

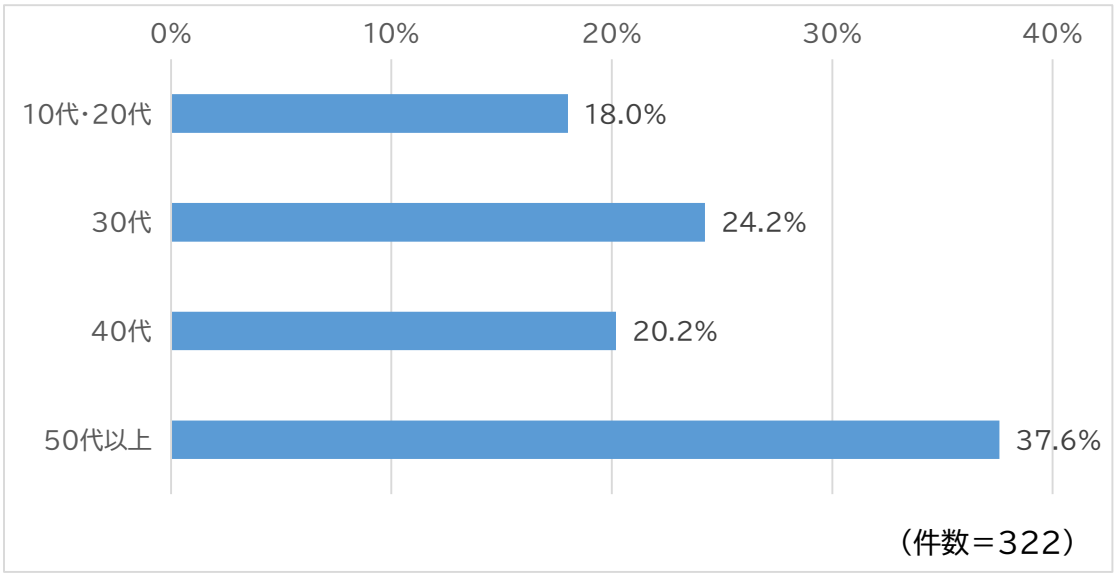
(5) 調査対象において、市長・副市長・教育長の特別職および休職中の職員、会計年度任用職員は除いています。

【2】　職員アンケート調査の結果

1　回答者の属性

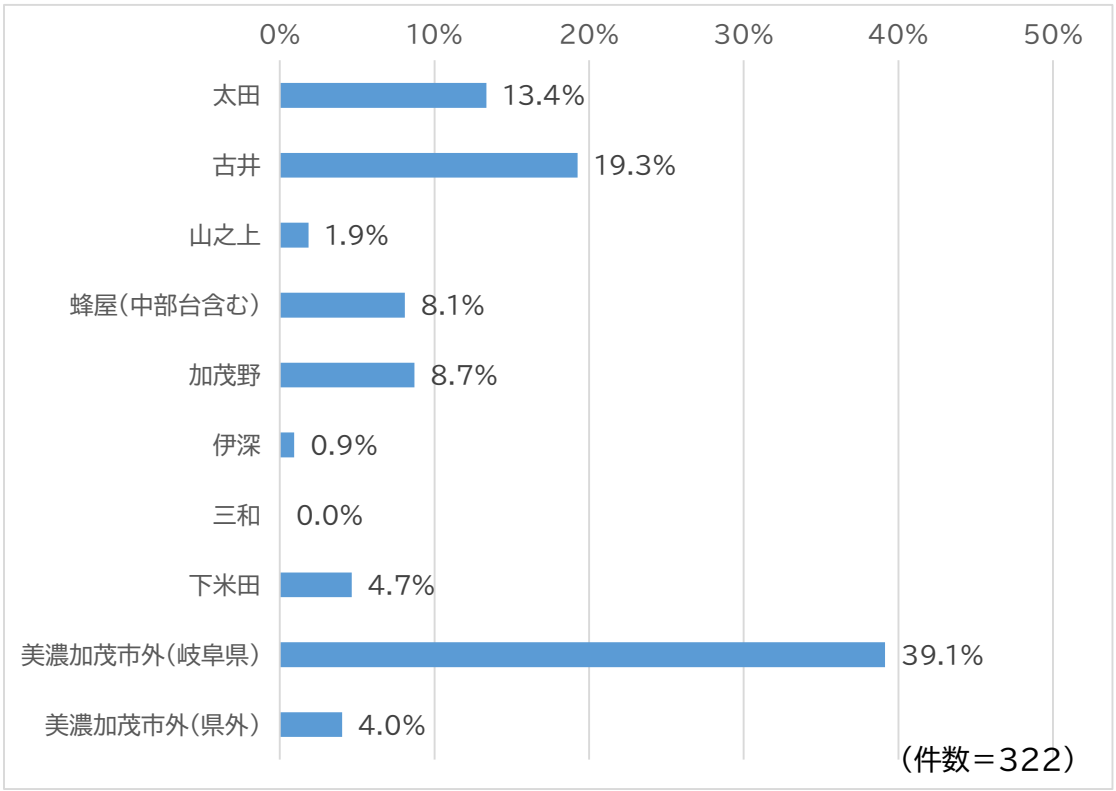
1-1　年齢

回答者の年齢は、「50 代以上」(37.6%)が最も高く、次いで「30 代」(24.2%)が高くなっています。



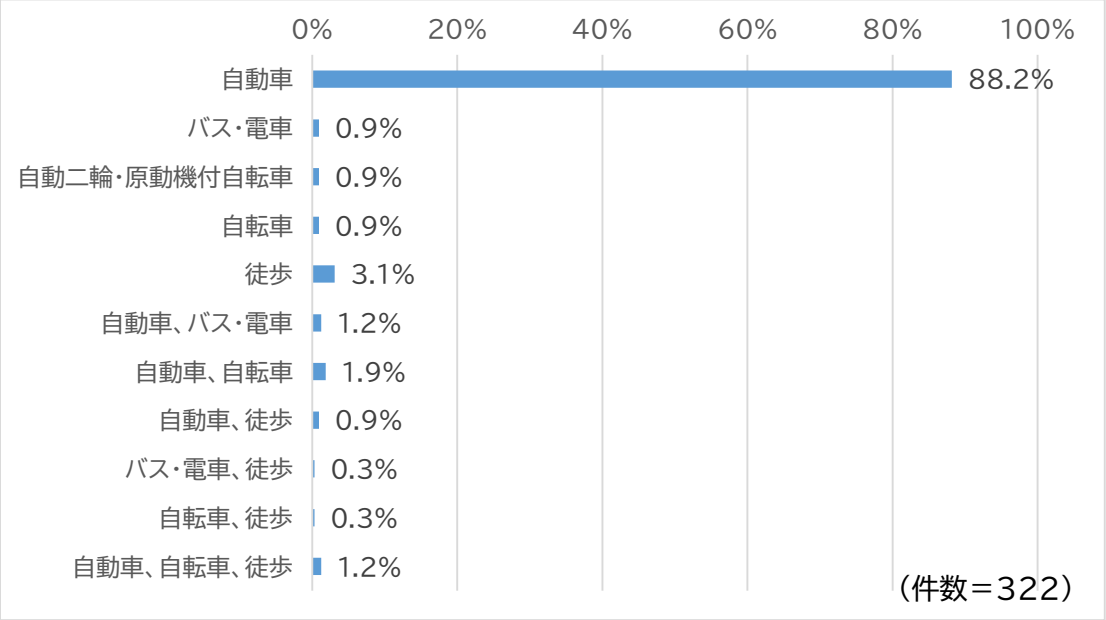
1-2　居住地

居住地は「美濃加茂市外(岐阜県)」(39.1%)が最も高く、次いで「古井」(19.3%)、「太田」(13.4%)が高くなっています。



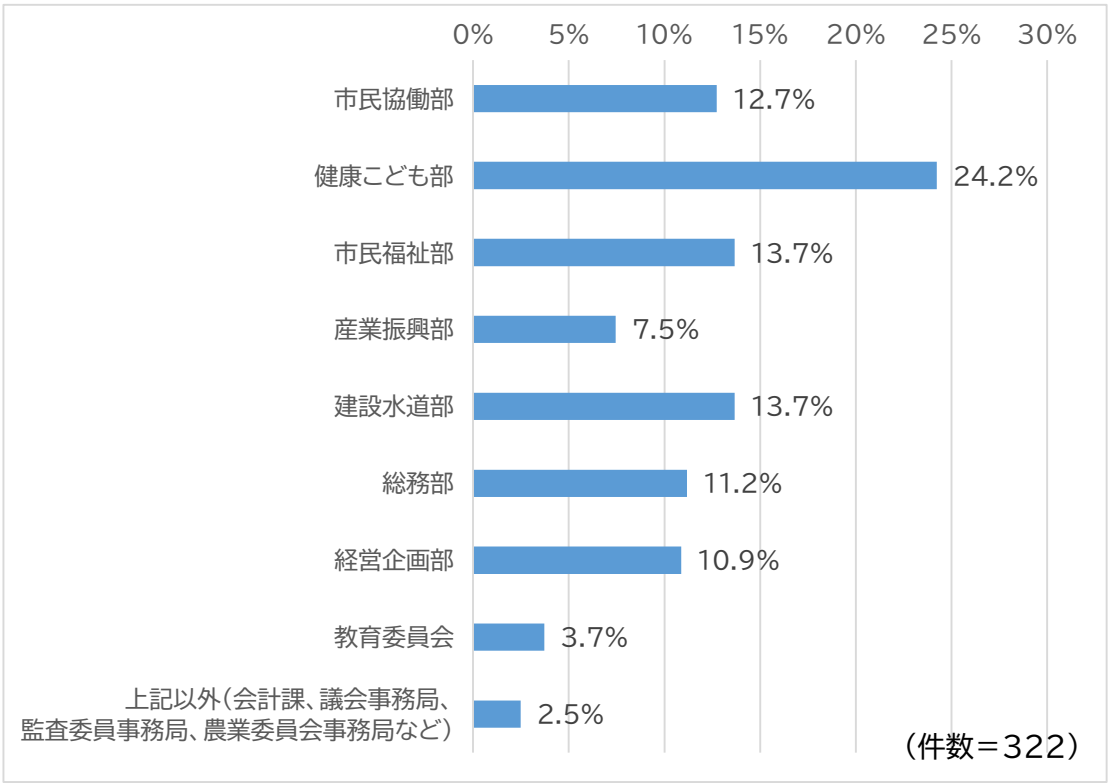
1-3　通勤手段

庁舎への通勤手段は「自動車」(88.2%)が最も高くなっています。



1-4　部署

部署は、「健康こども部」(24.2%)が最も高く、「上記以外(会計課、議会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局など)」(2.5%)が最も低くなっています。

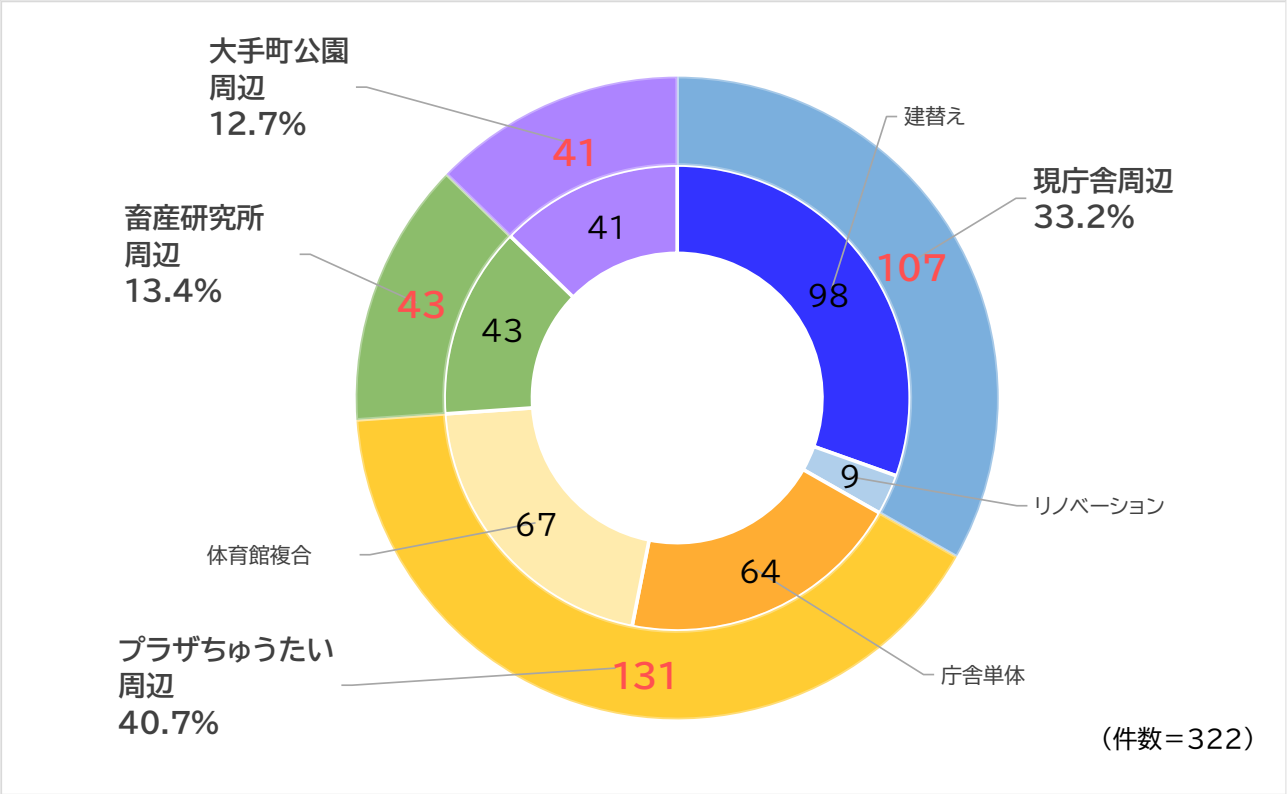


2　新庁舎の候補地について

2-1　　新庁舎整備地として最もふさわしい候補地

問 2(1)-1 4候補地における庁舎の整備可能性について、調査結果を情報紙(別紙1)にまとめました。情報紙を確認の上、新庁舎整備地として最もふさわしい候補地を一つ選んでください。

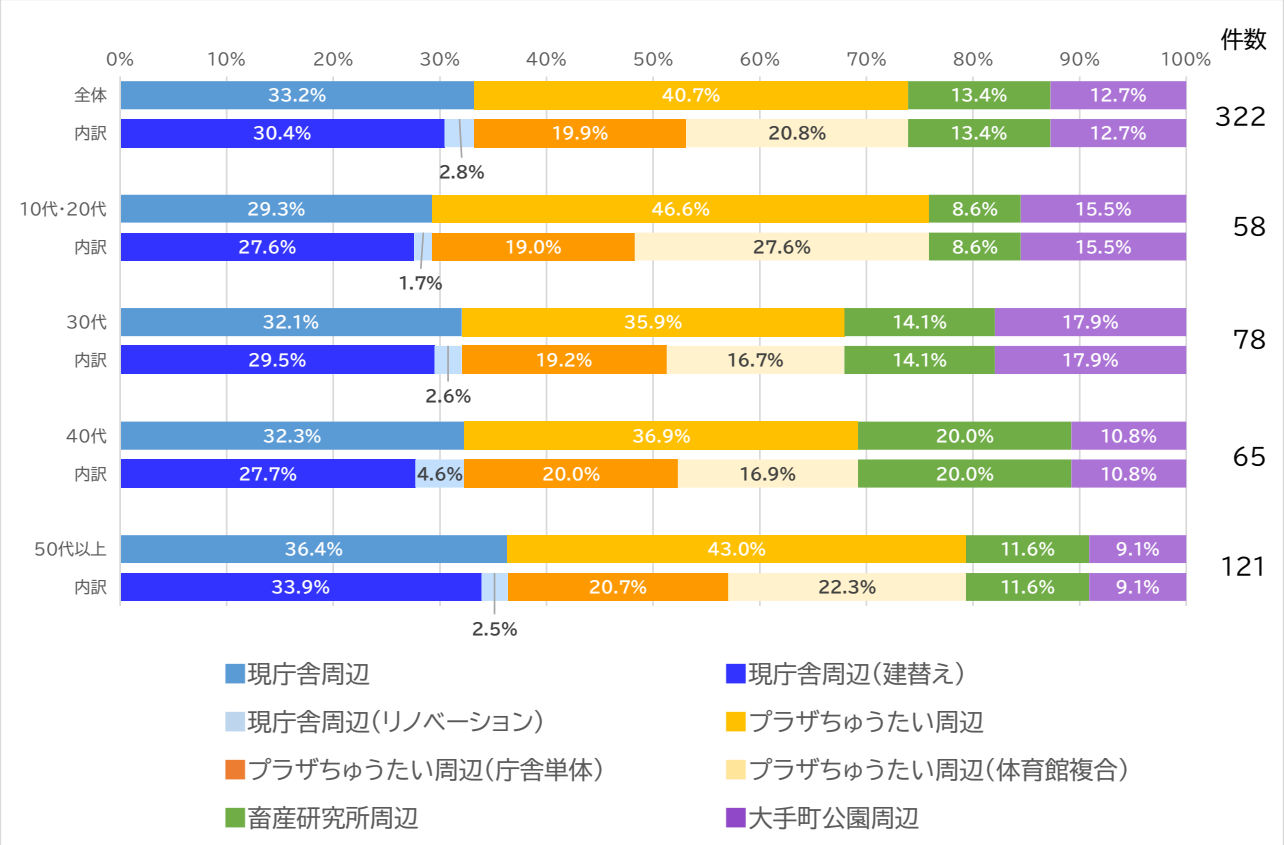
プラザちゅうたい周辺(40.7%)が最も高く、次いで現庁舎周辺(33.2%)となっています。



【年代別】

10代・20代は全体と比較すると、「プラザちゅうたい周辺」（46．6％）の割合が高く、「畜産研究所周辺」（8．6％）の割合が低くなっています。

30代、40代は全体と比較すると「プラザちゅうたい周辺」の割合が低く、「畜産研究所周辺」の割合が高くなっています。

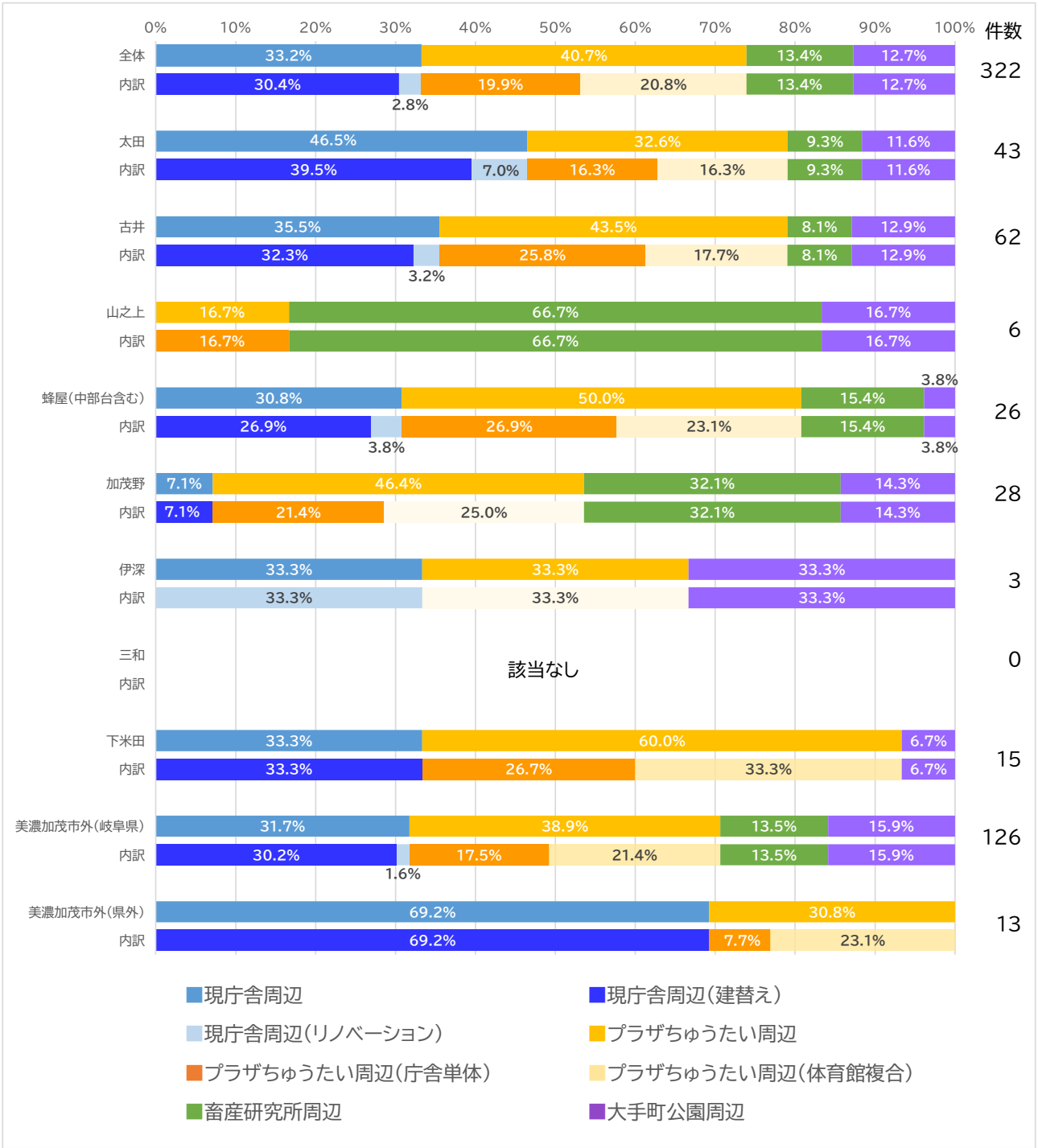


【居住地別】

太田地区および美濃加茂市外(県外)は全体と比較すると、「現庁舎周辺」の割合が高くなっています。

蜂屋地区、加茂野地区および下米田地区は全体と比較すると、「プラザちゅうたい周辺」の割合が高くなっています。

山之上地区および加茂野地区は全体と比較すると、「畜産研究所周辺」の割合が高くなっています。

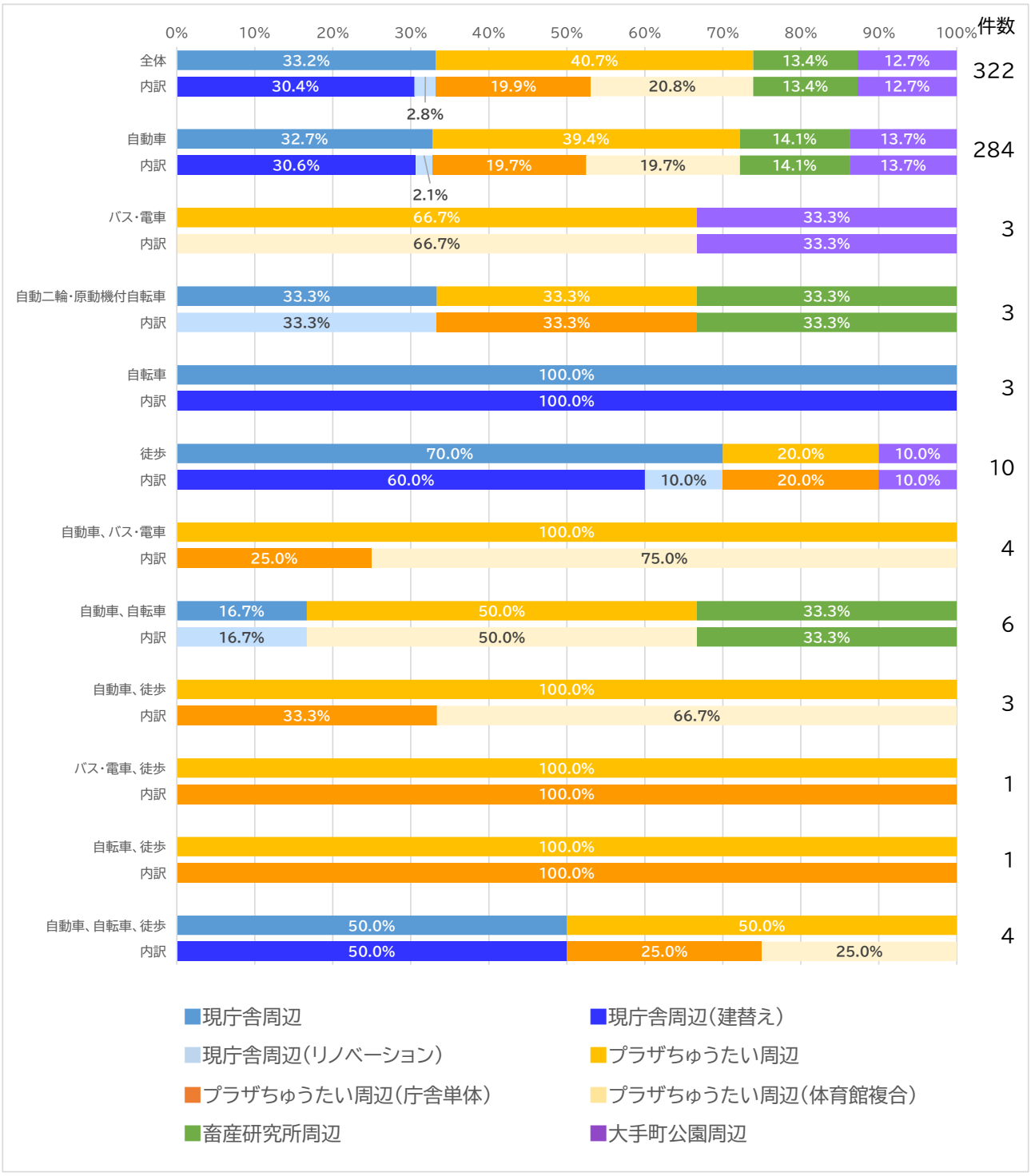


【通勤手段別】

通勤手段のうち、最も多い自動車は全体と同じ傾向となっています。

通勤手段が徒歩、自転車の人は「現庁舎周辺」の割合が高くなっています。

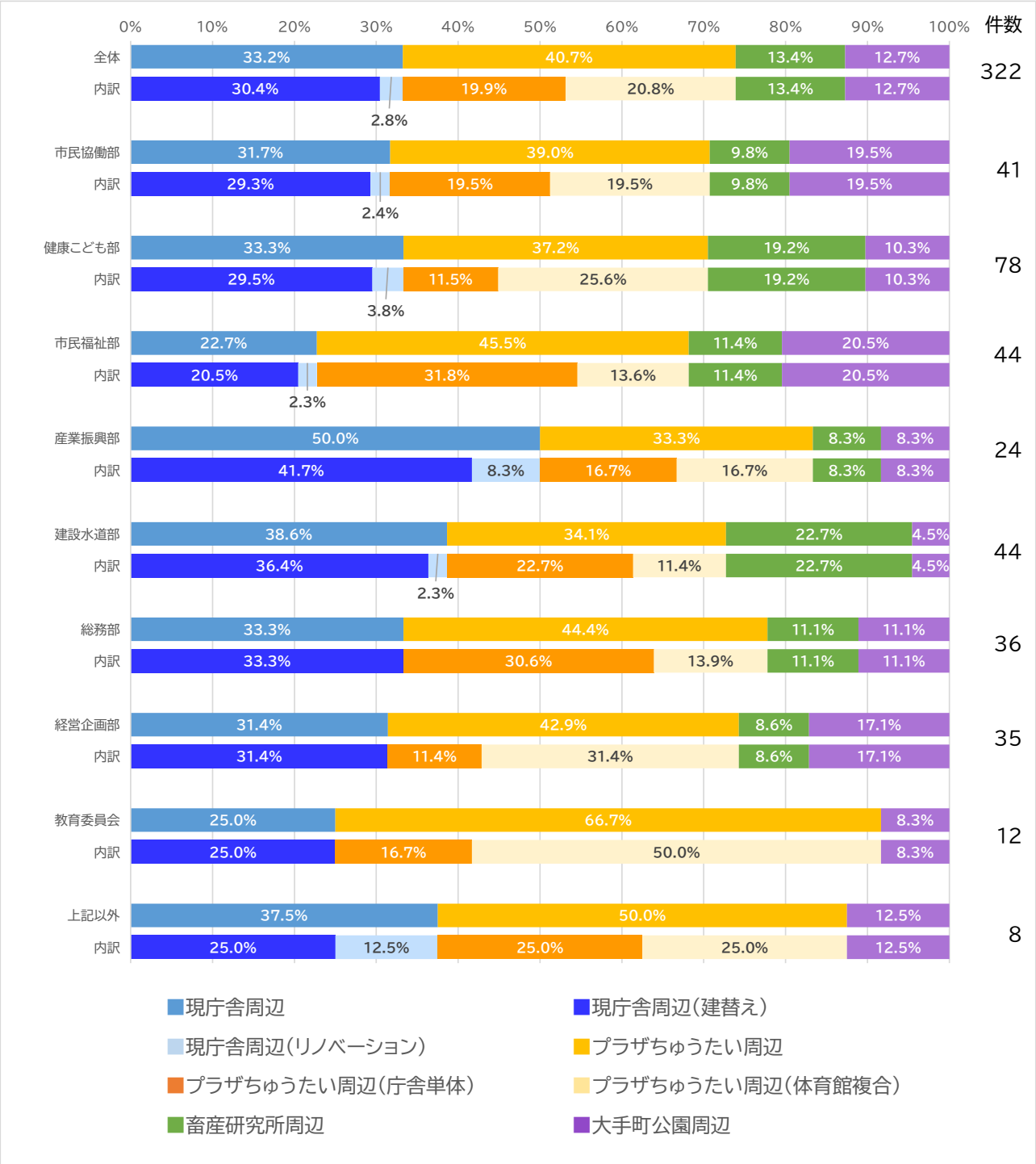
通勤手段に、バス・電車が含まれる人は「プラザちゅうたい周辺」の割合が高くなっています。



【部署別】

産業振興部、建設水道部は「現庁舎周辺」の割合が最も高くなっています。

市民協働部、健康こども部、市民福祉部、総務部、経営企画部、教育委員会、上記以外は「プラザちゅうたい周辺」の割合が最も高くなっています。



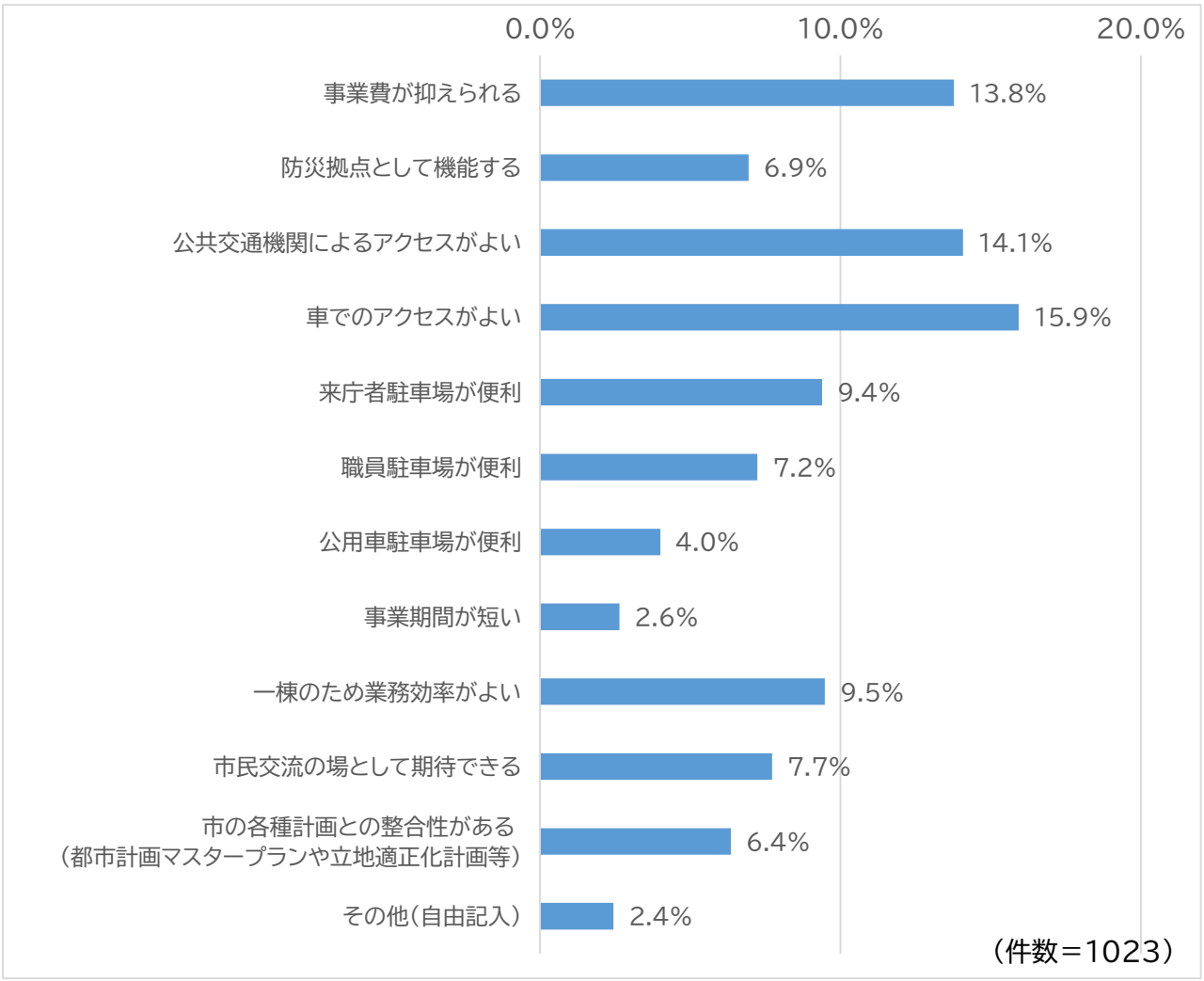
2-2　新庁舎整備地として最もふさわしい候補地　理由

問 2(1)-2 (1)-1 で選択した新庁舎整備候補地として最もふさわしい候補地について、その理由を選択肢から選んでください。(複数回答)

【全体】

回答件数全体における候補地の選択理由として、「車でのアクセスがよい」(15.9%)の割合が最も高く、次いで「公共交通機関によるアクセスがよい」(14.1%)、「事業費が抑えられる」(13.8%)となっています。

新庁舎へのアクセス性の良さが選択理由の上位となっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

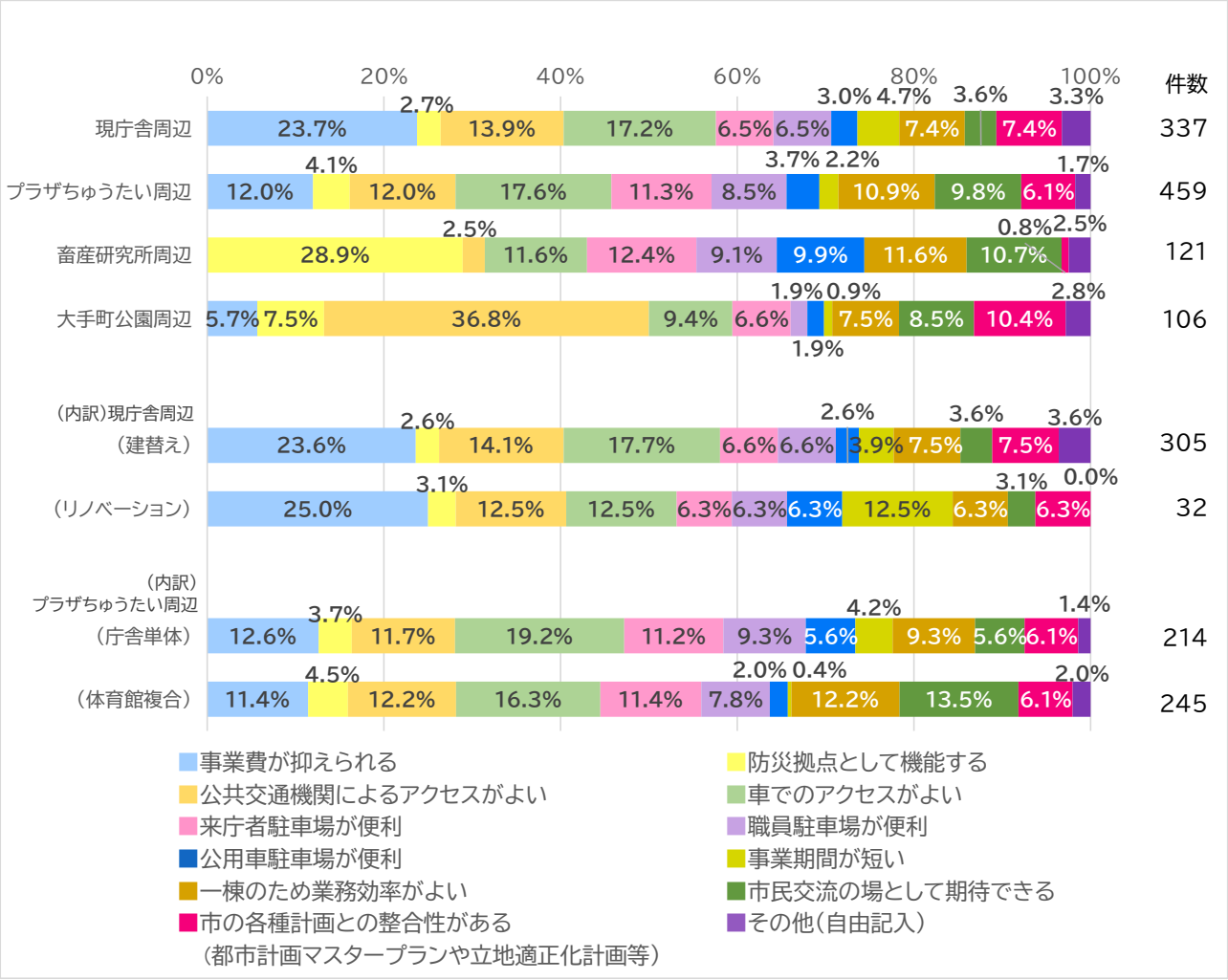
【候補地別】

候補地別の選択理由として、現庁舎周辺（建替え　および　リノベーション）では、「事業費が抑えられる」の割合が最も高く、次いで「車でのアクセスがよい」、「公共交通機関によるアクセスがよい」となっています。

プラザちゅうたい周辺（庁舎単体　および　体育館複合）では、「車でのアクセスがよい」の割合が最も高く、「事業費が抑えられる」、「公共交通機関によるアクセスがよい」、「来庁者駐車場が便利」の割合も高くなっています。また、体育館複合では「一棟のため業務効率がよい」、「市民交流の場として期待できる」の割合が庁舎単体よりも高くなっています。

畜産研究所周辺では、「防災拠点として機能する」の割合が最も高く、その割合は他の候補地と比較し、高くなっています。一方で、「事業費が抑えられる」、「事業期間が短い」は選択されませんでした。

大手町公園周辺では、「公共交通機関によるアクセスがよい」の割合が最も高く、その割合は他の候補地と比較し高くなっています。また、「市の各種計画との整合性がある」が他の候補地と比較し高くなっています。

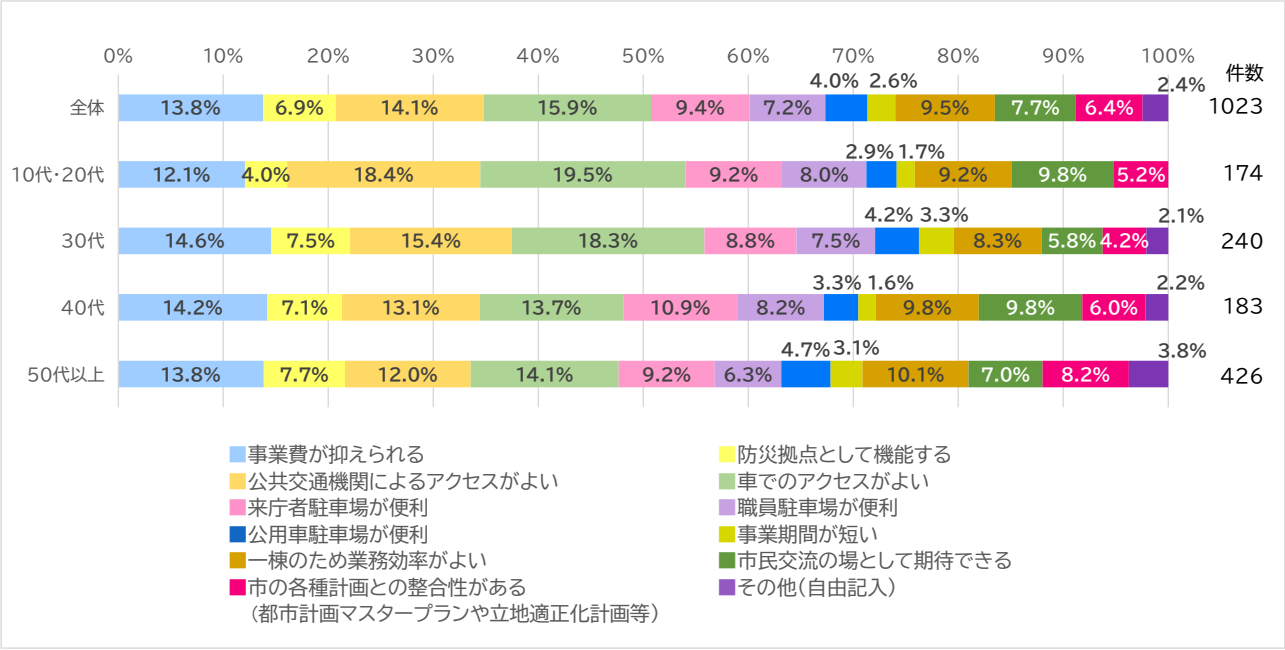


※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【年代別】

どの年代においても、「車でのアクセスがよい」、「公共交通機関によるアクセスがよい」、「事業費が抑えられる」の割合が上位3位となっています。

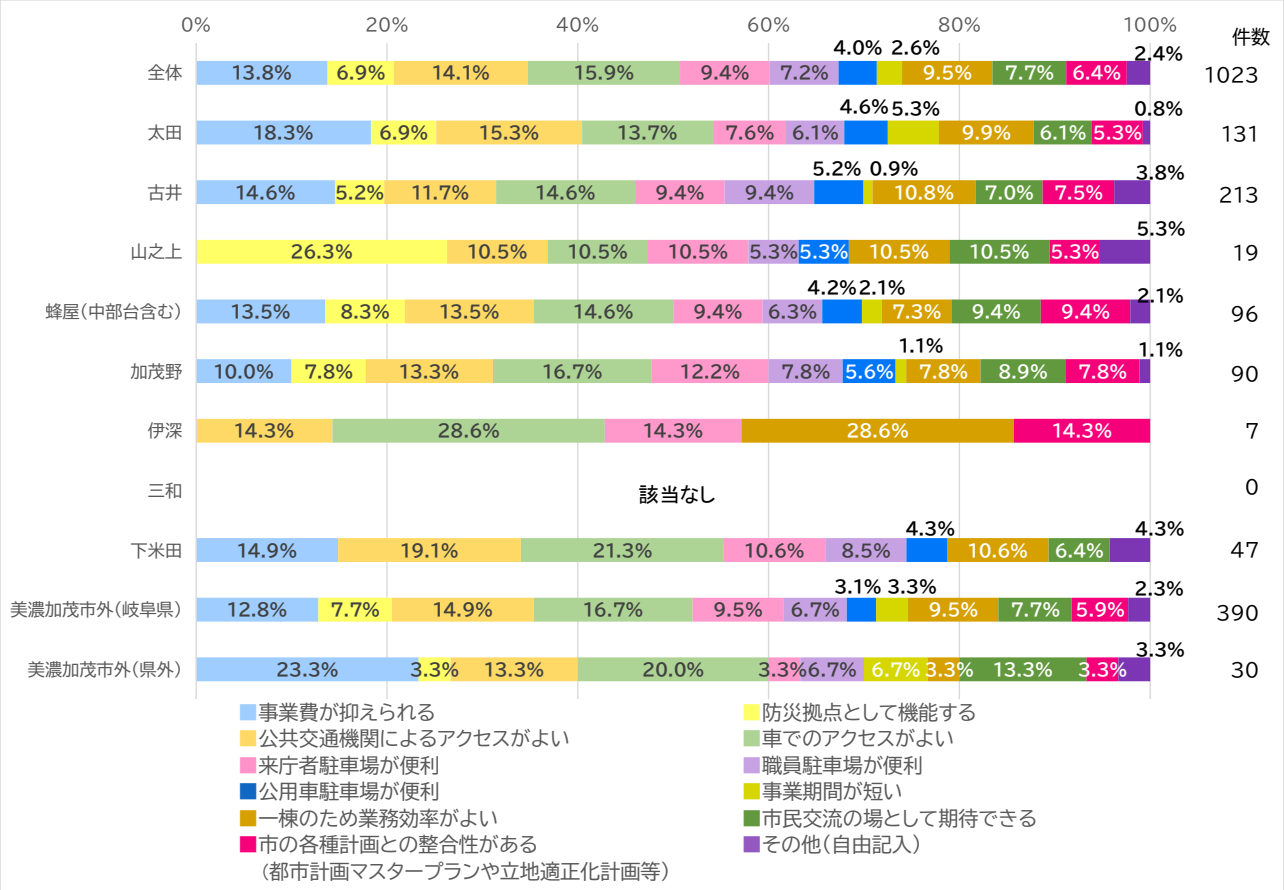
10代・20代、30代は「車でのアクセスがよい」および「公共交通機関によるアクセスがよい」の割合が40代、50代よりも多くなっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【居住地別】

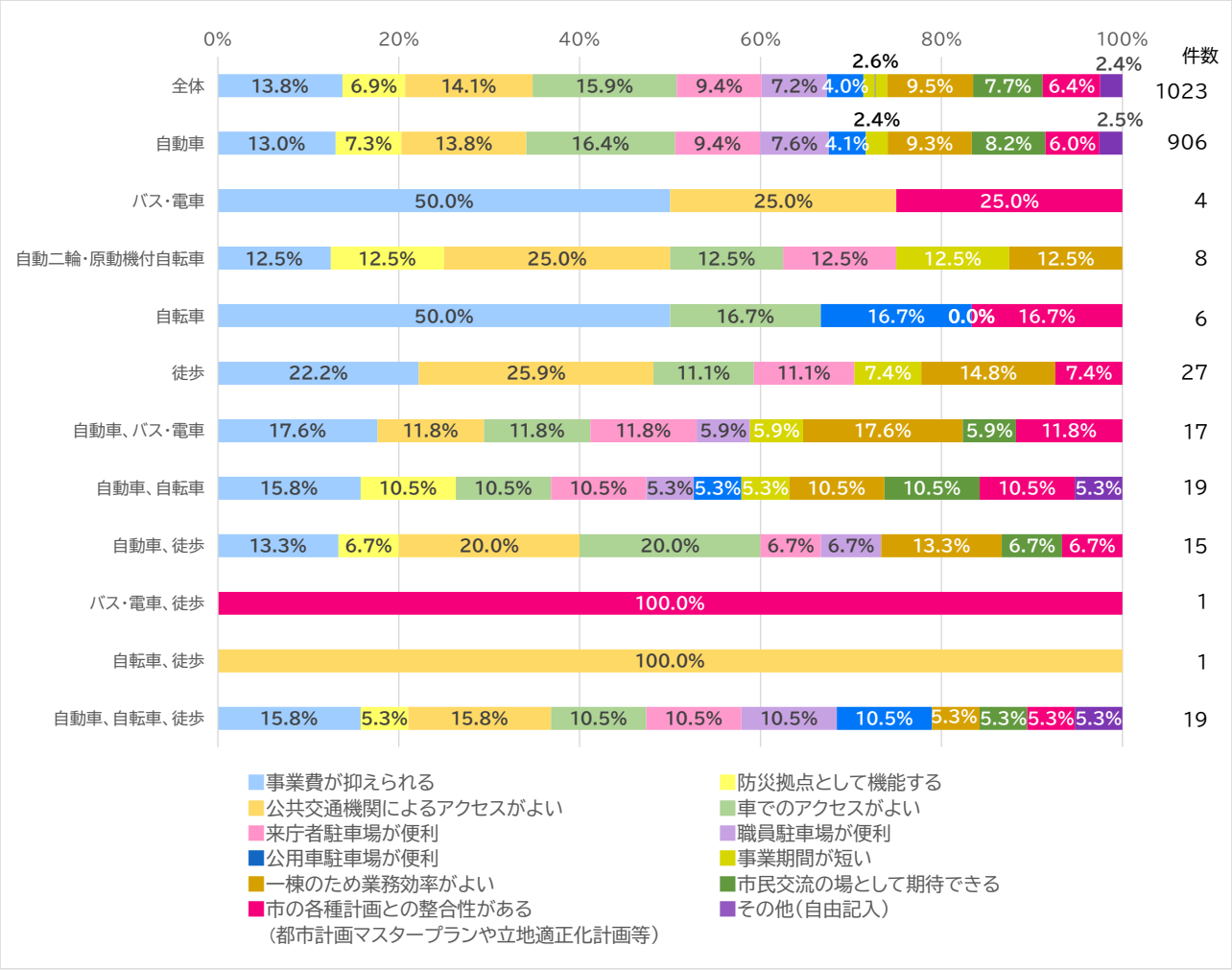
最も居住の多い、美濃加茂市外(岐阜県)では「車でのアクセスがよい」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「公共交通機関によるアクセスがよい」(14.9%)となっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【通勤手段別】

通勤手段のうち、最も多い自動車では、「車でのアクセスがよい」、「公共交通機関によるアクセスがよい」、「事業費が抑えられる」の割合が上位3位となっており、全体と同じ傾向にあります。

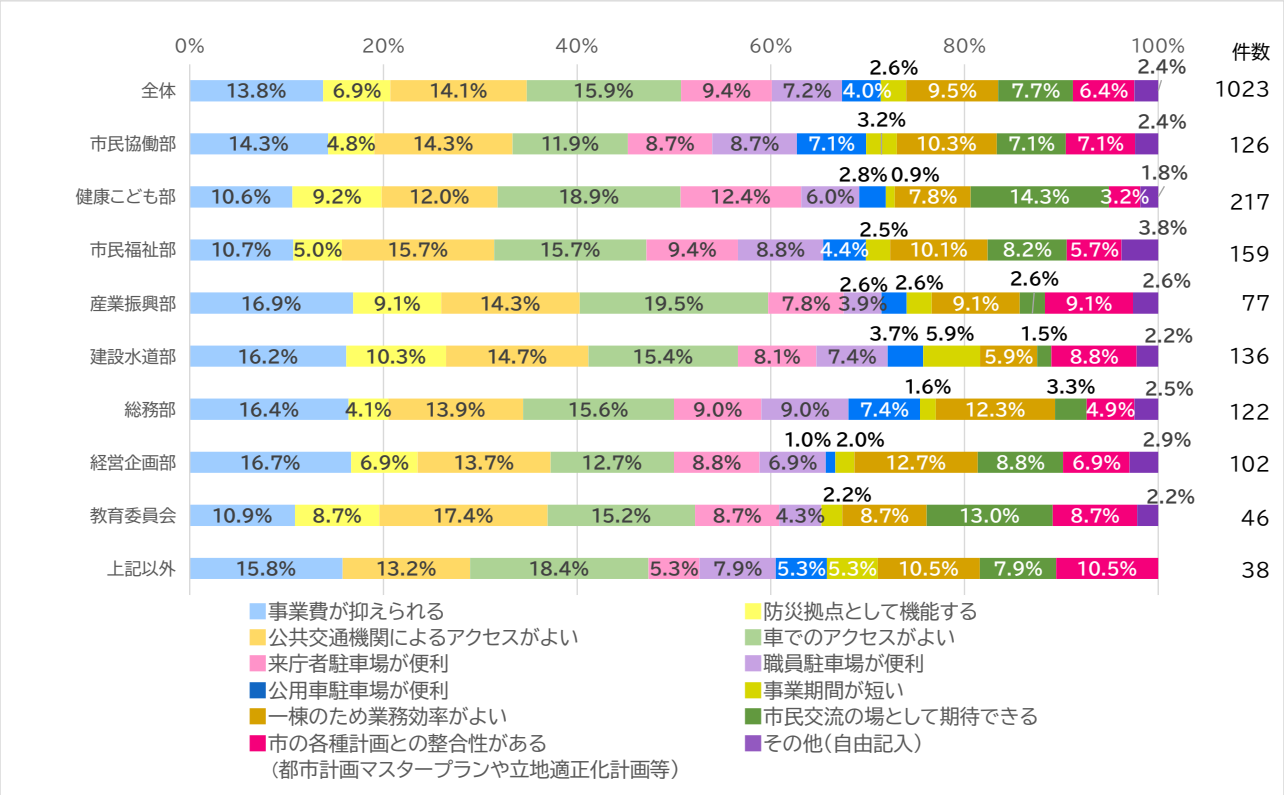


※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【部署別】

すべての部署において、「車でのアクセスがよい」、「公共交通機関によるアクセスがよい」、「事業費が抑えられる」の割合が 10%を超えています。

最も人員の多い健康こども部では、「市民交流の場として期待できる」（14．3%）の割合が全体における割合よりも高くなっています。



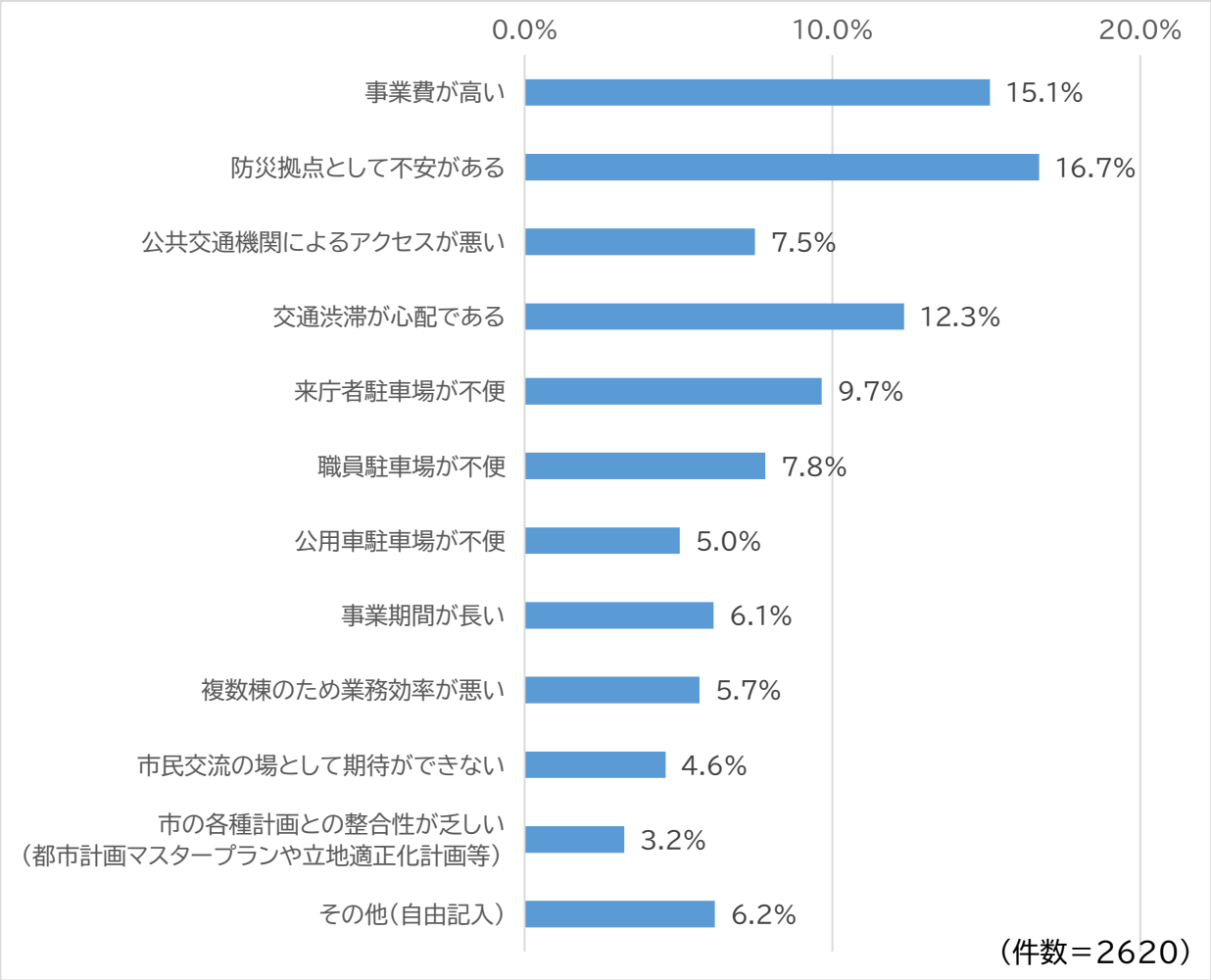
※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

2-3　新庁舎整備地として選択しなかった候補地　理由

問2(2)(1)-1 で選択しなかった候補地について、その理由を選択肢から選んでください。(複数回答)

【全体】

回答件数全体における候補地を選択しなかった理由として、「防災拠点として不安がある」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「事業費が高い」(15.1%)、「交通渋滞が心配である」(12.3%)となっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

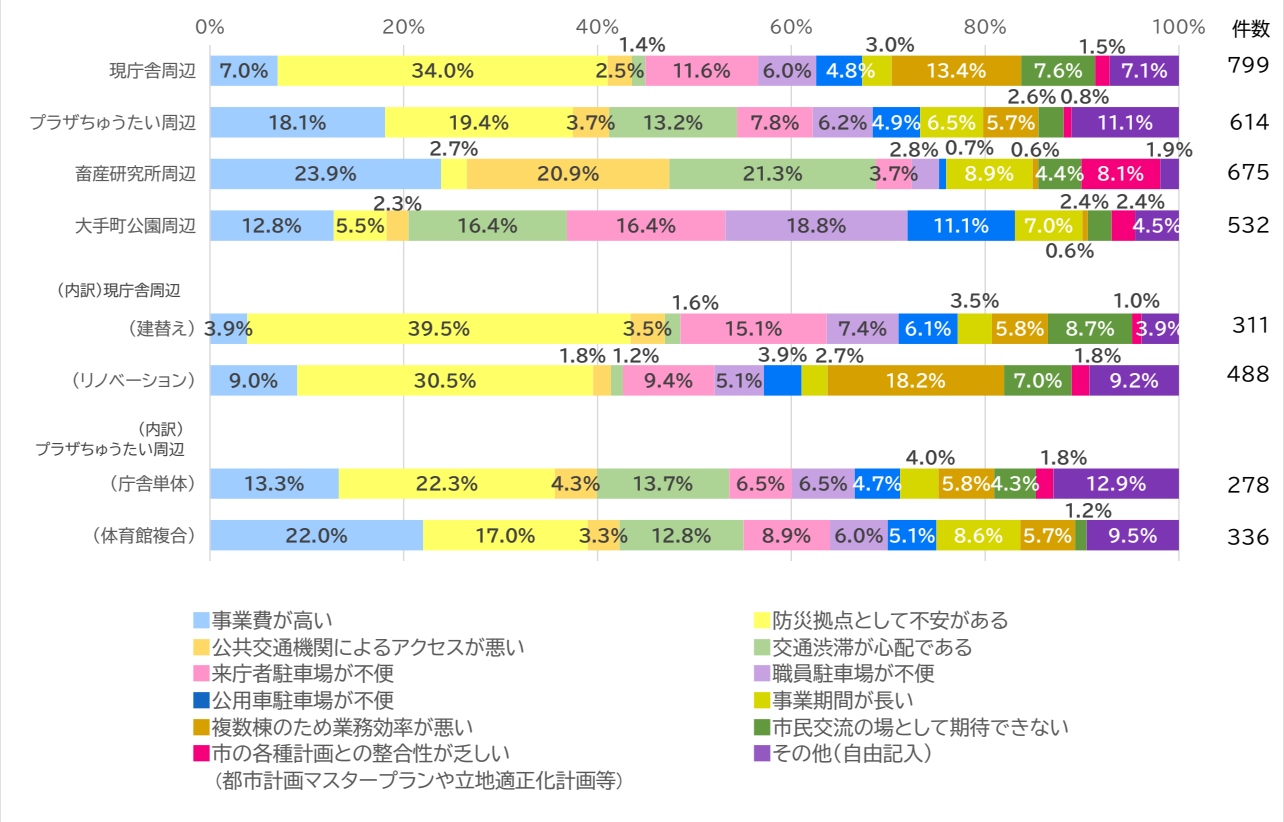
【候補地別】

候補地別の選択しなかった理由として、現庁舎周辺（建替え および リノベーション）では、「防災拠点として不安がある」の割合が最も高くなっています。建替えでは、「来庁者駐車場が不便」が他の候補地と比較し高くなっており、リノベーションでは、「複数棟のため業務効率が悪い」の割合が高く、その他として「20年後に建替えが必要なこと」に関する意見が多くなっています。

プラザちゅうたい周辺（庁舎単体 および 体育館複合）では、「事業費が高い」、「防災拠点として不安がある」、「交通渋滞が心配である」の割合が高くなっています。庁舎単体では、その他として「プラザちゅうたいの移転先」に関する意見が多くなっています。体育館複合では、「事業期間が長い」の割合が高く、その他として「複合施設のデメリット」に関する意見が多くなっています。

畜産研究所周辺では、「事業費が高い」、「公共交通機関によるアクセスが悪い」、「交通渋滞が心配である」の割合が高くなっています。また、他の候補地と比較して、「市の各種計画との整合性が乏しい」の割合が高くなっています。

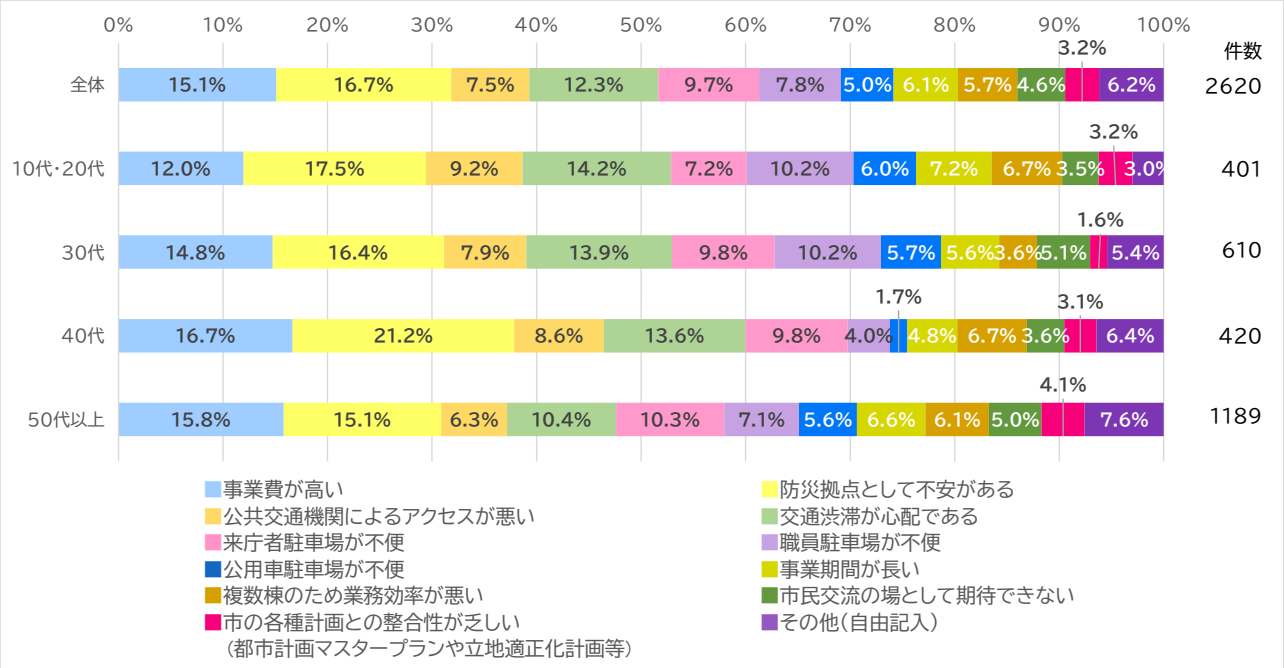
大手町公園周辺では、「職員駐車場が不便」、「公用車駐車場が不便」の割合が他の候補地と比較して高くなっています。職員駐車場および公用車駐車場が立体駐車場となることが懸念されています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【年代別】

40代は全体と比較して、「防災拠点として不安がある」(21.2%)の割合が最も高くなっています。

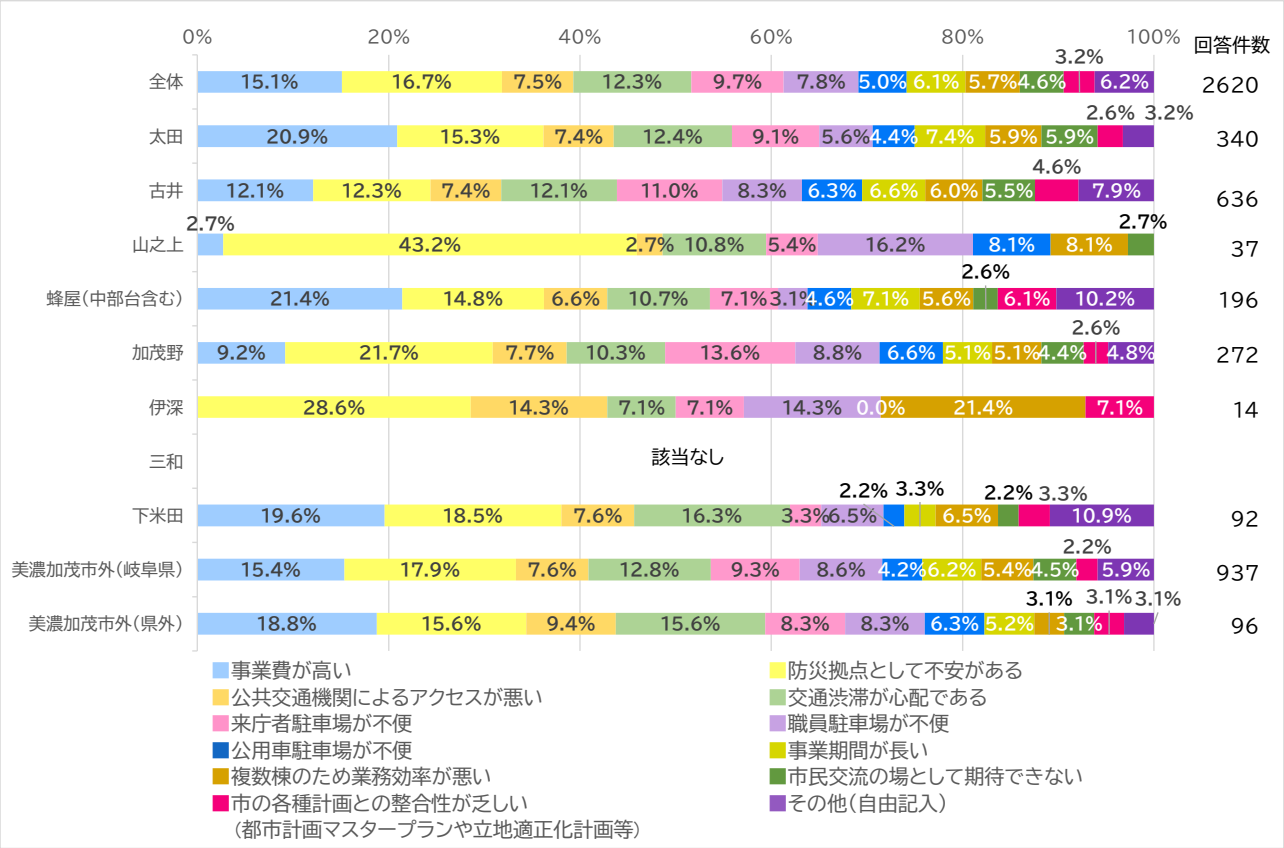


※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【居住地別】

蜂屋地区は全体と比較して、「事業費が高い」(21.4%)の割合が高くなっています。

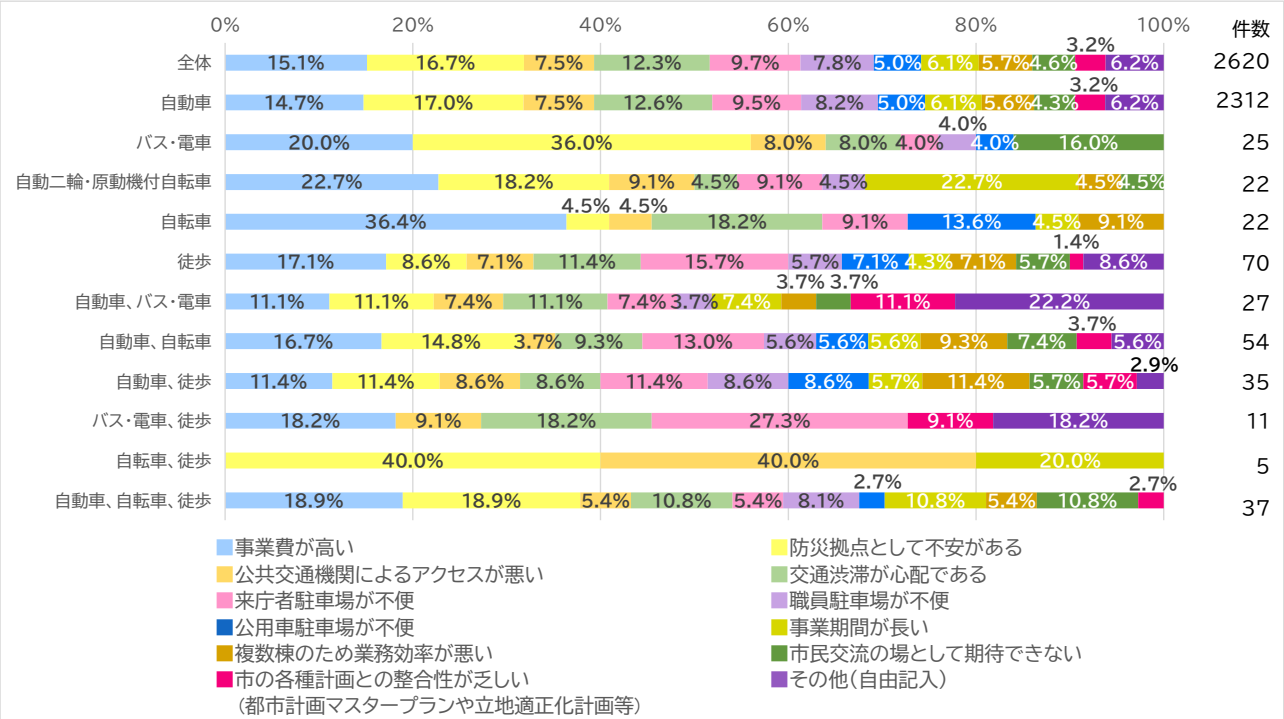
山之上地区は全体と比較して、「防災拠点として不安がある」(43.2%)、「職員駐車場が不便」(16.2%)の割合が高くなっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【通勤手段別】

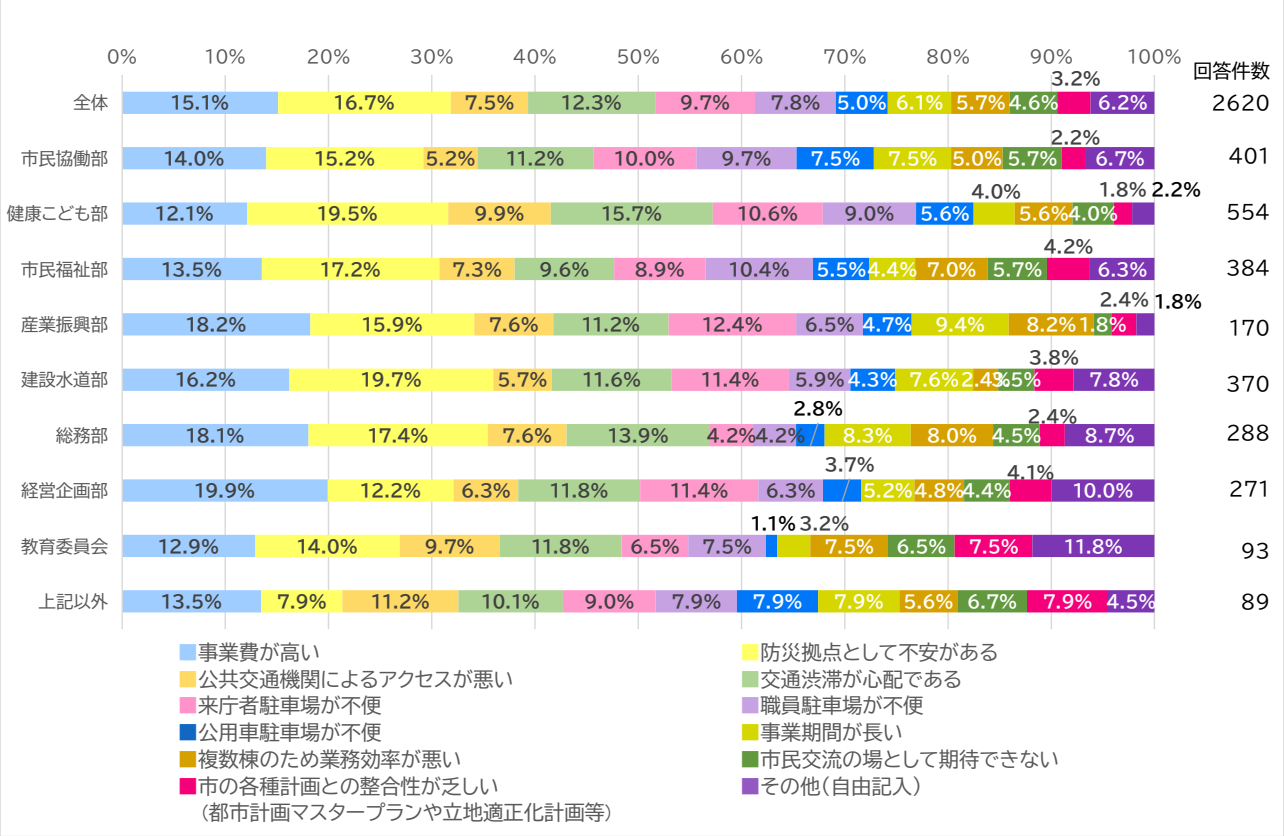
通勤手段で自動車を使わない人(バス・電車、自動二輪・原動機付自転車、自転車、徒歩)は全体と比較して、駐車場に関する理由の選択の割合が小さくなっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【部署別】

産業振興部、建設水道部、総務部、経営企画部は全体と比較して、「事業費が高い」の割合が高くなっています。



※職員数ではなく回答の件数に占める割合です。

【3】 職員アンケート調査票

令和５年度に決定した４つの新庁舎整備候補地に対し、令和６年度には、各候補地でどのような庁舎が整備可能か調査を行い、情報紙(別紙1)にまとめました。

１２月には、タウンミーティングを複数回開催し、市民の方々に対し調査結果の共有と市民目線による各候補地のメリット・デメリットを共有します。

今回、可能性調査の結果を踏まえ、４つの候補地に対するご意見をいただきたいと思います。

このアンケートの結果を新庁舎整備地決定の参考情報として活用させていただきたいと考えておりますので、ご協力の程お願いいたします。

問１．あなたご自身のことについておたずねします。

（１）あなたの年齢は？

1. 10 代～20 代　2. 30 代　3. 40 代　4. 50 代以上

（２）あなたのお住まいの地域は？

1. 太田　2. 古井　3. 山之上　4. 蜂屋（中部台含む）　5. 加茂野
6. 伊深　7. 三和　8. 下米田　9. 美濃加茂市外（岐阜県）　10. 美濃加茂市外（他県）

（３）あなたの通勤手段は？（複数回答）

1. 自動車　2. バス・電車　3. 自動二輪・原動機付自転車　4. 自転車　5. 徒歩

（４）あなたの部署は？

1. 市民協働部　2. 健康こども部　3. 市民福祉部　4. 産業振興部
5. 建設水道部　6. 総務部　7. 経営企画部　8. 教育委員会
9. 上記以外（会計課、議会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局など）

問２．新庁舎の候補地についておたずねします。

（１）－１　４候補地における庁舎の整備可能性について、調査結果を情報紙(別紙１)にまとめました。

情報紙を確認の上、新庁舎整備地として最もふさわしい候補地を一つ選んで、その理由を選択肢から選んでください。(必須回答)

候補地		最もふさわしい候補地（一つ選んで○）	理由（複数選択可）
①現庁舎周辺	A　建替え		
	B　リノベーション		
②プラザちゅうたい周辺	A　庁舎単体		
	B　体育館との複合		
③　畜産研究所周辺			
④　大手町公園周辺			

（１）－２【理由の選択肢】

１．事業費が抑えられる　２．防災拠点として機能する
３．公共交通機関によるアクセスがよい　４．車でのアクセスがよい
５．来庁者駐車場が便利（別紙２参照）　６．職員駐車場が便利　（別紙２参照）
７．公用車駐車場が便利（別紙２参照）　８．事業期間が短い
９．一棟のため業務効率がよい　１０．市民交流の場として期待できる
１１．市の各種計画との整合性がある（都市計画マスタープランや立地適正化計画等）
１２．その他（自由記入）
（例.周辺に自然がある、店舗があるなど周辺環境にも魅力を感じる。）

（２）（１）―１で選択しなかった候補地について、その理由を選択肢から選んでください。(任意)

候補地		理由（複数選択可）
①現庁舎周辺	A　建替え	
	B　リノベーション	
②プラザちゅうたい周辺	A　庁舎単体	
	B　体育館との複合	
③　畜産研究所周辺		
④　大手町公園周辺		

【理由の選択肢】

１．事業費が高い	２．防災拠点として不安がある
３．公共交通機関によるアクセスが悪い	４．交通渋滞が心配である
５．来庁者駐車場が不便（別紙２参照）	６．職員駐車場が不便 （別紙２参照）
７．公用車駐車場が不便（別紙２参照）	８．事業期間が長い
９．複数棟のため業務効率が悪い	１０．市民交流の場として期待ができない
１１．市の各種計画との整合性が乏しい（都市計画マスタープランや立地適正化計画等）	
１２．その他（自由記入） （例.周辺に店舗がなく周辺環境に魅力は感じられない。）	

問３．新庁舎整備事業に関するご意見についてお聞かせください。

（自由記述）

10.市民 8,000 人アンケート結果

10. 市民 8,000 人アンケート結果

「プラザちゅうたい敷地」を新庁舎整備地とする市の方針に対し、市民の皆様の意見を精度高く把握するために、無作為抽出した 15 歳以上の 8,000 人を対象にアンケートを実施しました。

対象	住民基本台帳から無作為抽出された市内在住の15歳以上の市民 8，000人
調査方法	郵送配布　郵送回答または Web 回答
実施期間	令和 7 年10 月10 日～10 月 30 日
主な 調査項目	①新庁舎の整備地について ・「プラザちゅうたい敷地」を新庁舎の整備地とする市の方針について

令和7年度
新庁舎整備地に関する市民アンケート
結果報告書

令和7年11月

目 次

【1】 調査の概要 1

1 調査の概要 1

1-1 調査の目的 1

1-2 調査の設計 1

1-3 回収結果 1

1-4 報告書の見方 1

【2】 市民アンケートの調査結果 2

1 回答者の属性 2

1-1 年齢 2

1-2 居住地区 2

2 新庁舎の整備地について 3

2-1 『プラザちゅうたい敷地』に対する考え 3

2-2 「反対」の場合の整備地（問 2-1 で「反対」を選択した方のみ回答） 5

【1】 調査の概要

1　調査の概要

1-1　調査の目的

現在、美濃加茂市では市民の皆様の声を確認しながら新庁舎の整備を進めていますが、市議会では、令和7年第1回定例会において、市の方針を踏まえた「美濃加茂市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例について」に対し、議員16名中賛成8名、反対6名、退席2名の結果により否決されました。出席議員の半数の賛成はあるものの、議決に必要な出席議員の3分の2の賛成数に達していない状況です。

従いまして、今回のアンケートは『プラザちゅうたい敷地』を新庁舎整備地とする市の方針に対し、市民の皆様の意見を精度高く把握するために、無作為抽出した15歳以上の8,000人を対象に実施したものです。

1-2　調査の設計

この調査は、以下の設計で実施しました。

調　査　地　域	美濃加茂市全域
調　査　対　象	美濃加茂市在住の満 15 歳以上の人
標 本 サ イ ズ	8,000 人
抽　出　方　法	住民基本台帳から無作為抽出
調　査　方　法	郵送配布 郵送回収または Web 回答
調　査　期　間	令和 7 年 10 月10 日～10 月 30 日

1-3　回収結果

調査種別	配布数	回収数(回収率)
市民アンケート	8,000(100.0%)	4,078(50.98%)

1-4　報告書の見方

(1) 指定の回答数を超える回答については無効回答として集計しています。

(2) 問 2-2 は問 2-1 で「2.反対」を選択した場合のみ集計しています。

(3) 比率を求める際の基数は回答件数(件数として掲載)としています。比率は、件数を 100%として算出しています。

(4) 比率は全て%で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が 100.0%にならないことがあります。

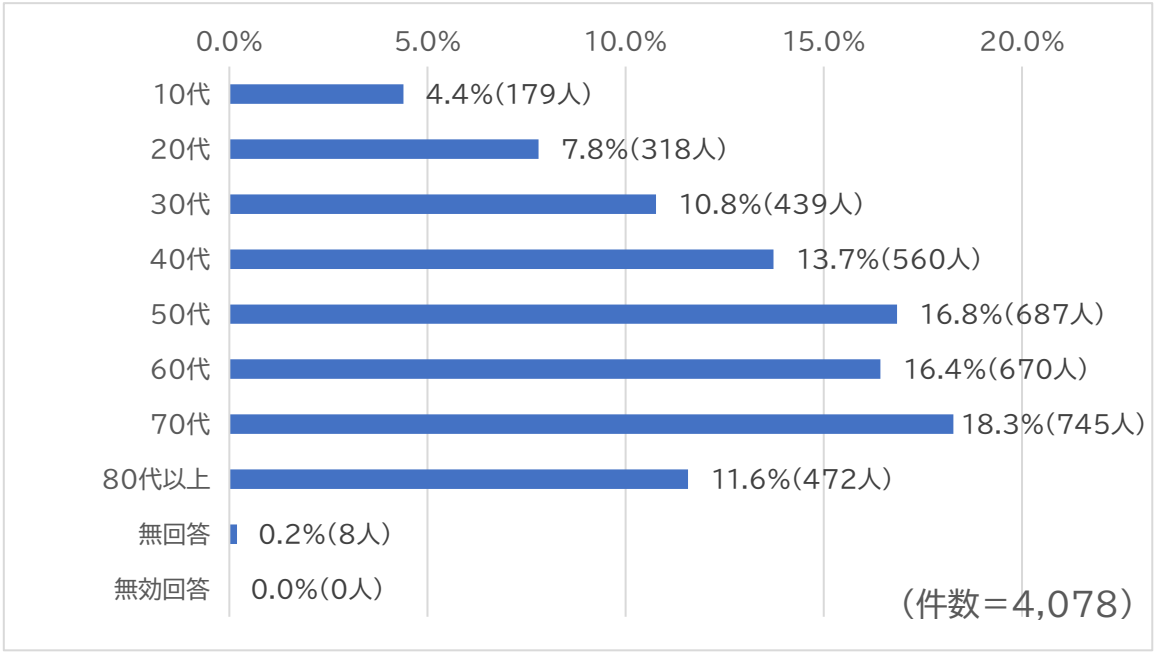
(5) 本報告書中の表、グラフ及び文章における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。

(6) 問 3.新庁舎整備事業に関するご意見(自由記述)については、今後の市の方針形成に活用させていただきます。

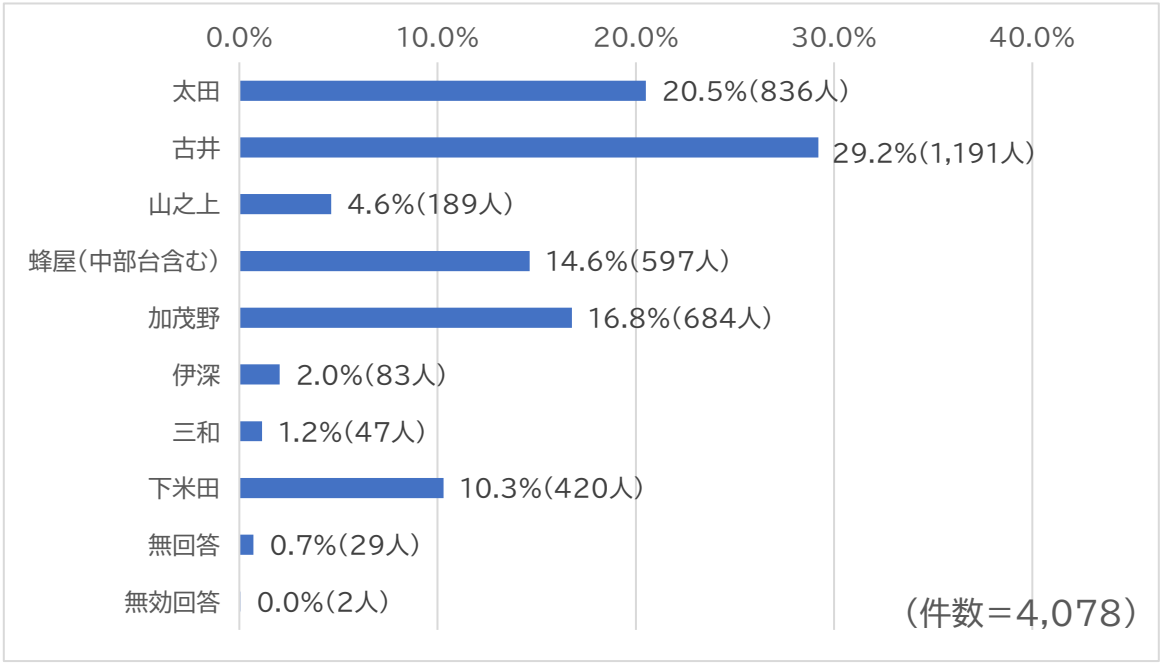
【2】市民アンケートの調査結果

1　回答者の属性

1-1　年齢



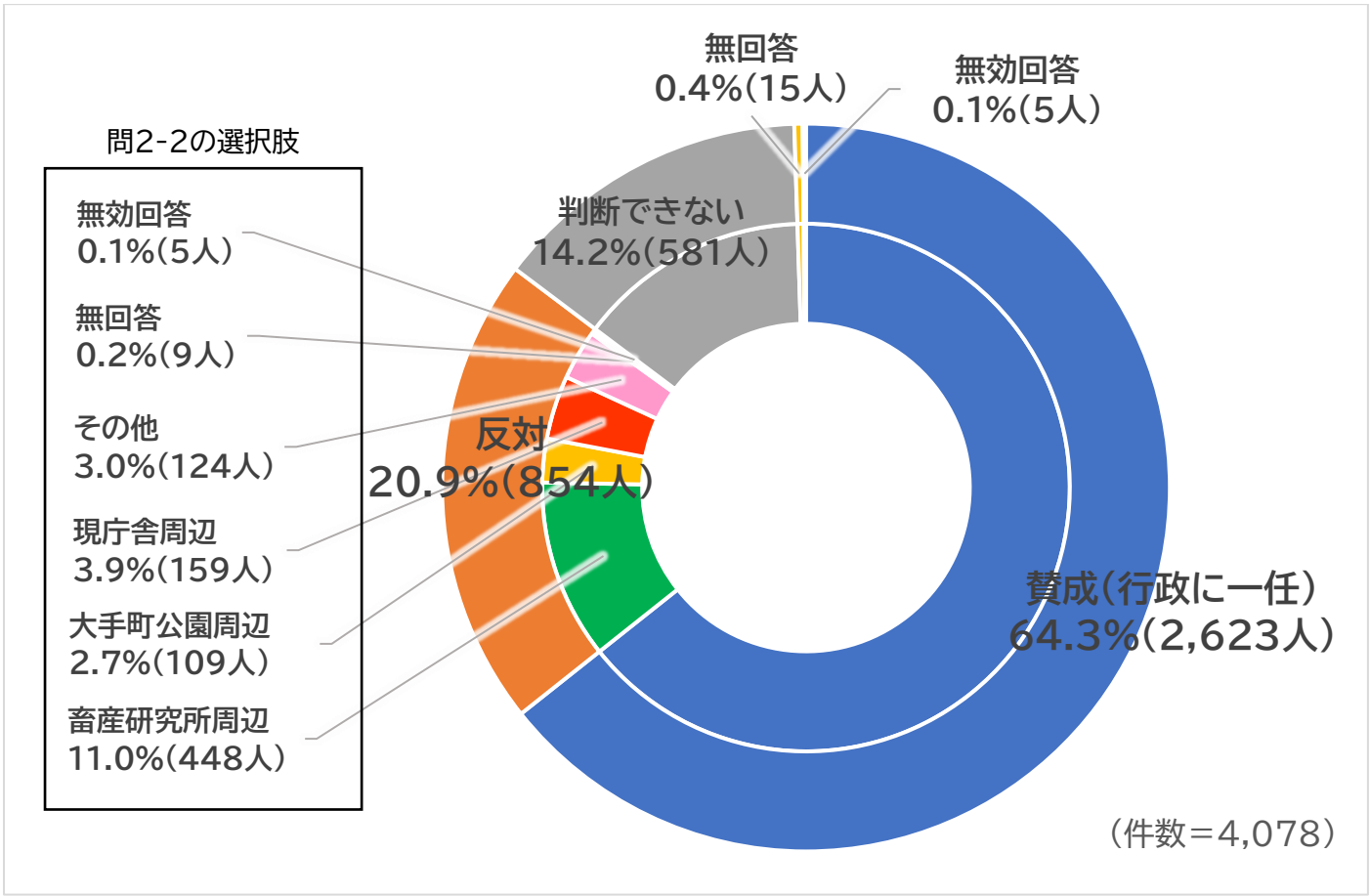
1-2　居住地区



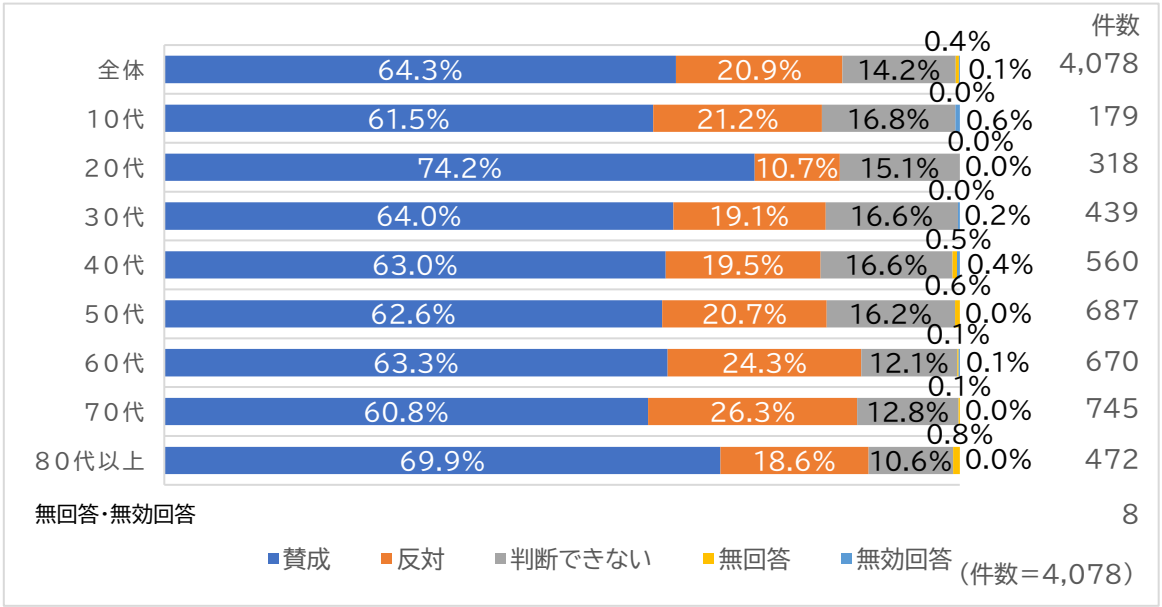
2　新庁舎の整備地について

2-1　　『プラザちゅうたい敷地』に対する考え

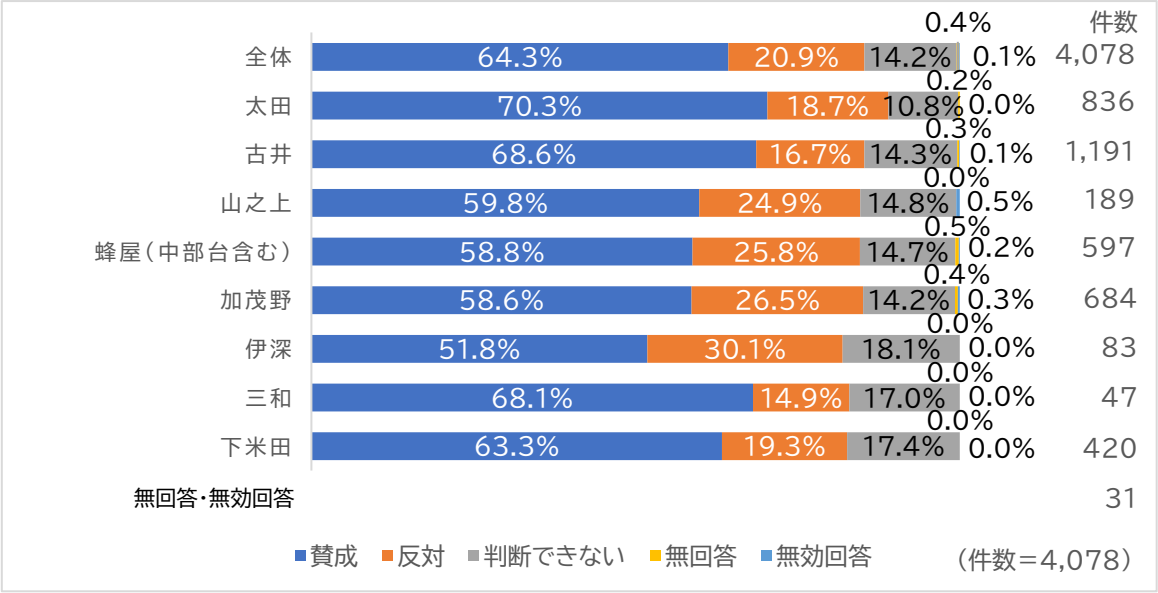
問 2-1『プラザちゅうたい敷地』を新庁舎の整備地とすることについて、あなたの考えを次の選択肢から選んでください。(あてはまる項目1つに○)



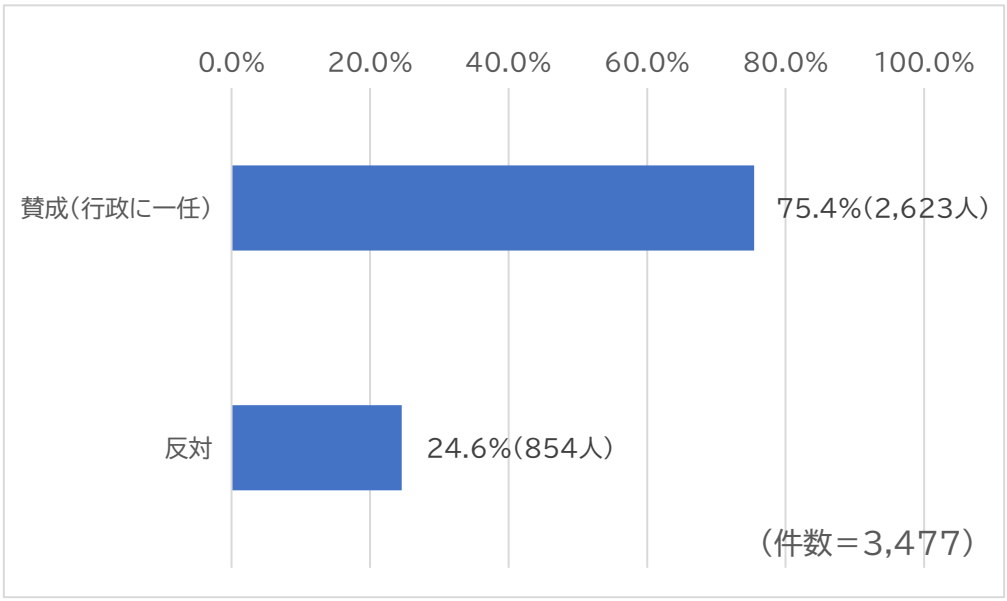
【年代別】

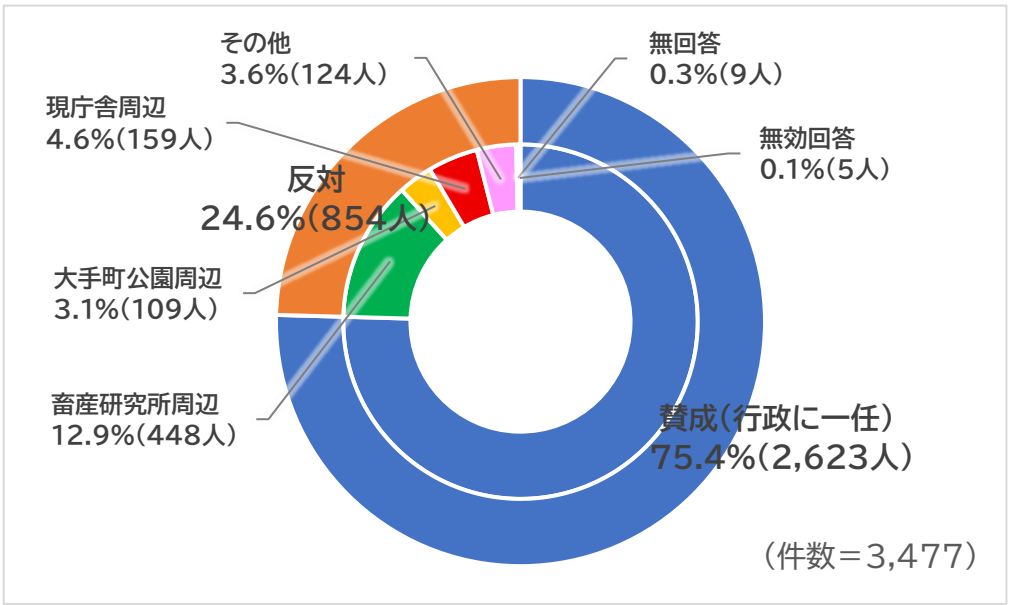


【居住地区別】



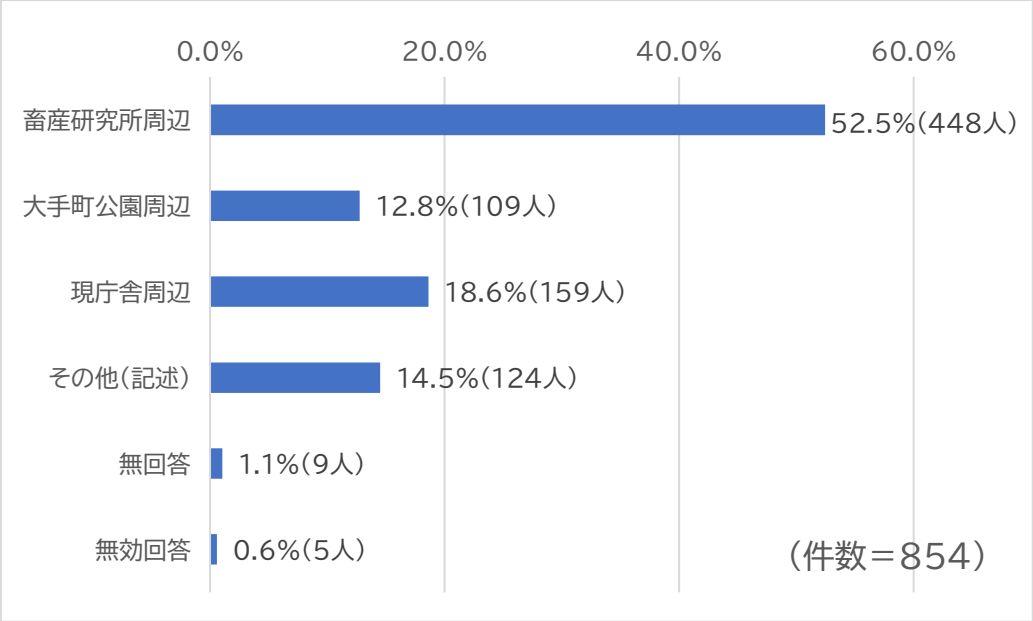
【賛成・反対のみ】





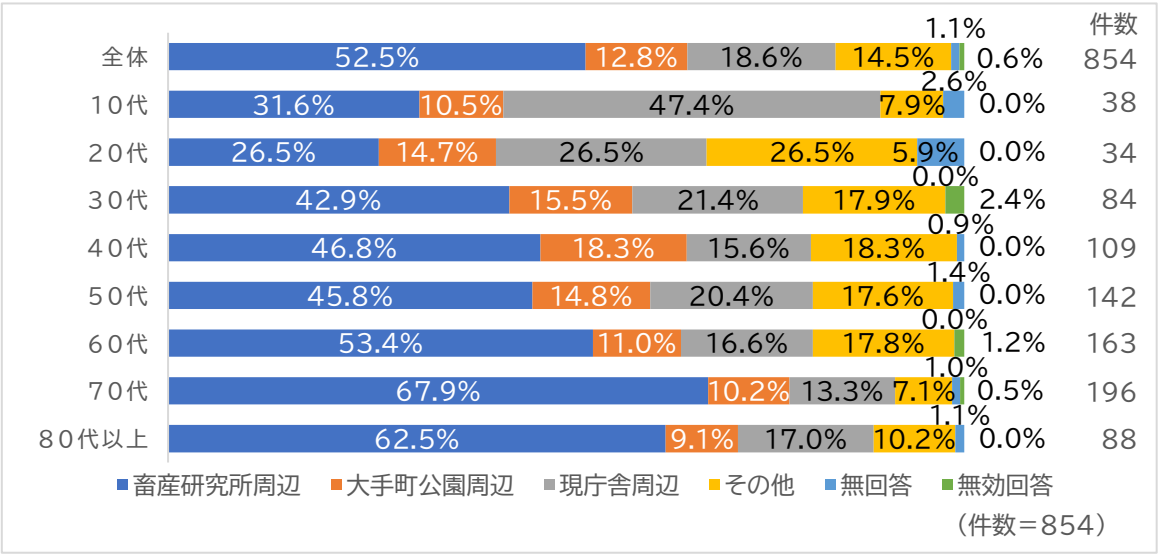
2-2　「反対」の場合の整備地（問 2-1 で「反対」を選択した方のみ回答）

問 2-2　問2-1で「反対」を選択した方におたずねします。あなたが考える新庁舎の整備地を選んでください。（あてはまる項目1つに○）

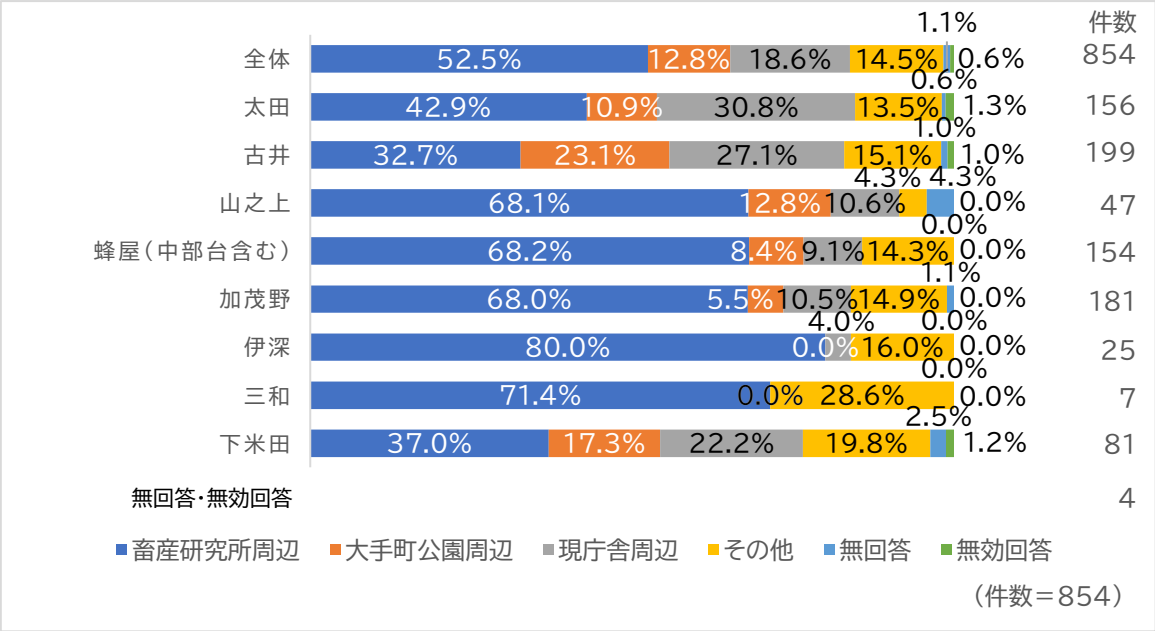


※問 2-1 で「プラザちゅうたい敷地」に賛成（行政に一任）を選択した人数＝2,623 人

【年代別】



【居住地区別】


件数
全体 52.5% 12.8% 18.6% 14.5% 0.6% 1.1% 0.6% 854
太田 42.9% 10.9% 30.8% 13.5% 1.3% 1.0% 156
古井 32.7% 23.1% 27.1% 15.1% 1.0% 4.3% 4.3% 199
山之上 68.1% 12.8% 10.6% 0.0% 0.0% 47
蜂屋（中部台含む） 68.2% 8.4% 9.1% 14.3% 0.0% 1.1% 154
加茂野 68.0% 5.5% 10.5% 14.9% 0.0% 4.0% 0.0% 181
伊深 80.0% 0.0% 16.0% 0.0% 0.0% 25
三和 71.4% 0.0% 28.6% 0.0% 2.5% 7
下米田 37.0% 17.3% 22.2% 19.8% 1.2% 81
無回答・無効回答 4
畜産研究所周辺
大手町公園周辺
現庁舎周辺
その他
無回答
無効回答
（件数＝854）

―あなたの声が未来を創る―

新庁舎整備地に関するアンケート調査

日頃より、美濃加茂市の行政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、美濃加茂市では市民の皆様の声を確認しながら新庁舎の整備を進めていますが、市議会では、市の方針を踏まえた美濃加茂市役所の位置を定める条例に対し、議員１６名中賛成８名、反対６名、退席２名の結果により否決されました。半数の議員の賛成はあるものの、議決に必要な１１名（議員の３分の２）に達していない状況です。

従いまして、今回のアンケートは『プラザちゅうたい敷地』を新庁舎整備地とする市の方針に対するご意見について、市民の皆様の意見を精度高く把握するために、無作為抽出した１５歳以上の８,０００人を対象に実施するものです。

このアンケートの結果を新庁舎整備地決定の方針形成に活用させていただきたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

回答期限１０月３０日（木）必着

令和７年１０月

美濃加茂市

【同封した資料について】

・みんなの新庁舎　かわらばん vol.６

　アンケートのご回答をお願いする方は、本市在住の１５歳以上の市民の中から無作為に抽出しております。

　現在までの新庁舎整備事業における取組みについては添付資料または新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」をご確認ください。

ポータルサイト二次元コード

――【記入上の注意】――

◎アンケート回答票に記載の数字（回答者番号）は二重回答を防止するために割り振られたものであり、個人を特定するものではありません。

◎回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。何らかのご事情によりご本人が記入できない場合には、家族の方などが代筆してください。

◎回答できる数を指定させていただいております。必ず、指定の数を守ってお答えください。（指定数を超える回答をされた場合、その回答は無効扱いとなります。）

◎回答は、同封のアンケート回答票へのご記入、または WEB フォームよりお願いいたします。

◎アンケート回答票にてご回答いただく場合は、同封の返信用封筒にて郵便ポストへご投函ください。
切手は不要です。（下記窓口にお持ちいただくことも可能です。）
※本アンケート調査は、美濃加茂市が株式会社テイコクに委託して実施しています。

◎WEB フォームにてご回答いただく場合は、アンケート回答票に記載の URL または二次元コードよりアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。

【窓口・お問い合わせ先】

〒505－8606　美濃加茂市太田町 3431-1

美濃加茂市役所　総務部新庁舎整備推進課

TEL：0574-25-2111（内線 246）　FAX：0574-25-3917　E-mail：shinchosha@city.minokamo.lg.jp

問合せ時間：8：45～16：45（土・日・祝日を除く）

アンケート回答票

回答者番号：[redacted]

問１．あなたご自身のことについておたずねします。

WEB 回答はコチラから▼
URL：
[redacted]

WEB 回答二次元コード

[redacted]

※WEB 回答用の URL および二次元コードは二重回答を防止するため、回答者ごとに付与されています。必ず上に記載の URL もしくは二次元コードからご回答ください。

（１）年齢（あてはまる項目１つに〇）

1. 10 代　2. 20 代　3. 30 代　4. 40 代
5. 50 代　6. 60 代　7. 70 代　8. 80 代以上

（２）お住まいの地区（あてはまる項目１つに〇）

1. 太田　2. 古井　3. 山之上　4. 蜂屋（中部台含む）
5. 加茂野　6. 伊深　7. 三和　8. 下米田

問２-１．新庁舎の整備地についておたずねします。

（１）『プラザちゅうたい敷地』を新庁舎の整備地とすることについて、あなたの考えを次の選択肢から選んでください。（あてはまる項目１つに〇）

1. 賛成（行政に一任）　2. 反対　3. 判断できない

問２-２．問２-１で「反対」を選択した方におたずねします。

（１）あなたが考える新庁舎の整備地を選んでください。（あてはまる項目１つに〇）

▲各候補地の情報（かわらばん vol.5）はこちらから

1. 畜産研究所周辺　2. 大手町公園周辺　3. 現庁舎周辺　4. その他（　　）

問３．新庁舎整備事業に関するご意見についてお聞かせください。

（自由記述）

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

お手数ですが、この回答票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函して下さい（期限：10 月 30 日必着）
なお、本アンケートの結果は新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」及び、市ホームページで公表します。

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.6
新庁舎整備地の
市の方針決定

新庁舎整備地を現在のプラザちゅうたいの位置とする市の方針を決定！

美濃加茂市は新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を決定しました。なお、庁舎の位置は条例で定める必要があり、「美濃加茂市役所の位置を定める条例」の改正により、正式決定となりますが、条例の改正案は令和7年3月19日に市議会定例会で否決されました。
本号では市の方針決定の経緯や理由、市民の皆さんの疑問点についてご説明します。

市の方針決定の経緯

令和5年度を通し、市民ワークショップや市民アンケートを経て、新庁舎整備における4つの候補地を選定しました。
令和6年度には、4つの候補地における新庁舎整備の可能性調査を行った上で、タウンミーティングによる市民の皆さんからのご意見や市職員の声を確認し、新庁舎整備に関する方針を決定しました。

プラザちゅうたいに方針決定！

整備のイメージ案

新庁舎　施設規模（想定）		
敷地面積		約13,000㎡（図書館敷地含む）
延べ面積		約11,400㎡
	庁舎	約9,900㎡
	1階駐車場・駐輪場	約1,500㎡
階　数		地上6階
高　さ		約25m
駐車台数（**必要台数　567台**）		
敷地内駐車場		275台
敷地外駐車場（半径500m圏内）		292台（追加借地なし）

※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。（駐車可能台数80台）

コンセプトとの整合性と体育館移転のメリット

市の方針決定の理由

新庁舎のコンセプトとの整合性、および体育館移転のメリットから、新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を決定しました。体育館は前平公園（前平プール跡地又は畜産研究所敷地を想定）に移転し、総合公園としての機能を強化します。

新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

- **“新庁舎”**の防災拠点に加え、浸水の恐れがある場合には、事前に高台の**“文化の森”**に**本部機能**を移設し、災害に対して柔軟に対応します。
- **体育館**を前平公園に移転することで、より**安全かつ浸水害にも対応できる避難所や、災害時の拠点**として機能させます。

未来を見据えた新庁舎

- **まちづくりの拠点**の一つとして、市の活性化につなげていきます。
- 現庁舎敷地よりも**広い敷地**を、**新たなニーズや災害対応、イベント**等に活かします。
- **将来同一敷地内**で庁舎の**建替え**が可能です。
- 人口集積地で、市内各所からの**アクセス性**に優れています。

体育館移転のメリット

- 既存の運動施設に体育館機能を加えることで、美濃加茂市唯一の**総合公園**として機能を強化します。
- 現在のプラザちゅうたいは**老朽化**により、**建て替え等を検討する時期となっていますが、都市公園内**に整備することで**有利な国の補助金**の活用を見込むことができます。

体育館移転の対応

プラザちゅうたいを解体して新庁舎を整備するため、新体育館を整備するまでの間に休館期間が発生します。体育館の休館期間については、できる限り短縮できるように努めます。また、休館期間中は、市内の施設や近隣自治体等の体育館をご利用いただくなど、体育館利用者の皆さんに配慮した対応に努めます。

みんなに愛される庁舎

新庁舎・新体育館の未来像（ビジョン）

災害時にも機能する体育館

新庁舎の未来像

① 新庁舎では総合窓口等を設け、1か所で手続きが完了するような設計としていきます。
② 図書コーナーを併設することにより、多くの市民の方に利用される庁舎としていきます。
③ 会議室を中高生のスタディルーム（勉強部屋）として開放していきます。

新体育館の未来像

① 前平公園（野球場、大型遊具）と一体的に活用できる、魅力ある体育館としていきます。
② 駐車場不足を解消していきます。
③ 空調の効いた広いホールで活動できるようにしていきます。
④ 体育館周辺にテナントを設けるなど、前平公園利用者の憩いの場としても活用していきます。

新庁舎や新体育館の未来像を具現化するためには、基本計画の策定が必要です。そのため、少しでも早く「美濃加茂市役所の位置を定める条例」を可決し、夢のあるまちづくりを進めていきましょう。

新庁舎整備Q＆A

タウンミーティング等で市民の皆さんや市議会新庁舎建設特別委員会から多く寄せられたご質問についてお答えします！

Q **市の方針**はどのようにして決まったのですか。

A 市民の皆さんからのご意見や市職員の声を確認し、**市の総合政策会議**を経て、プラザちゅうたいの位置を新庁舎の整備地にすることを市の方針として決定しました。
総合政策会議とは、市長・副市長・教育長・各部長で構成され、市政の基本方針や重要施策等について政策的な方向性を判断する会議です。

Q **中央図書館**はどうなりますか。

A **中央図書館は東図書館との統合を検討**する時期となっているため、中央図書館敷地は駐車場用地として活用し、**庁舎内に図書コーナーを設置**することを見込んでいます。

Q **プラザちゅうたい以外の候補地**はどうなるのですか。

A 美濃加茂市のさらなる活性化のため、**有効活用を図ります。**

畜産研究所（前平公園）周辺

【体育館を整備するなど、総合公園としての機能をさらに充実】
・前平公園拡張の検討

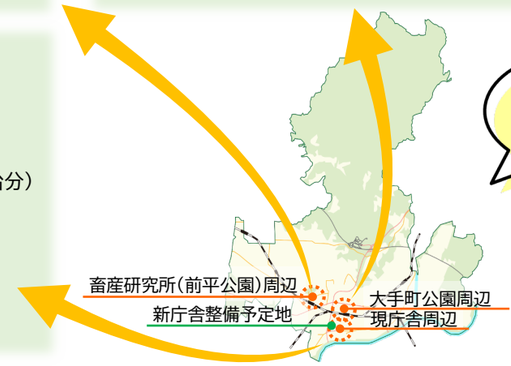
大手町公園周辺

【民間活力導入も視野に入れ大手町公園のリニューアルを推進】
・立地環境のよさを活かし、集客力アップ

現庁舎周辺

【貴重な公有資産として跡地利用】
活用案①　財源確保・民間活力の活用
・民間企業等への有料借地
活用案②　経費削減
・職員、公用車駐車場の一部として利用（約200台分）
→現在の駐車場借地料を一部削減
（※令和5年度借地料実績：約1，700万円）

他の候補地も有効活用



新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp
発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

新庁舎整備Q＆A

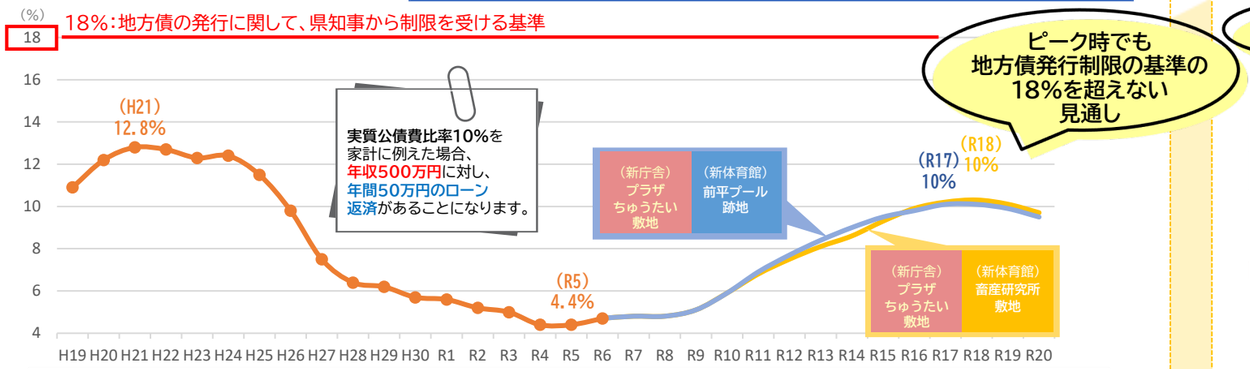
4候補地を比較した財政の詳細情報は、下の二次元コードからご確認ください

Q 新庁舎と体育館を建て替えた時、**市の財政の見込みは。**

A 財政状況を判断する基準として、健全化判断比率や財政力指数、経常収支比率等、様々な指標が用いられています。その中で、財政の健全性を図るための指標である「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められた「実質公債費比率」と「将来負担比率」の将来見込みについて、お答えします。
実質公債費比率及び将来負担比率は、現時点で想定される事業を見込みながら算定しております。現在の状況と比べて厳しい財政運営にはなりますが、それぞれの指標のピーク時でも、実質公債費比率では、地方債の発行が県知事から制限を受ける基準である18%や、将来負担比率では早期健全化基準である350%を超えない見通しです。プラザちゅうたいは築53年が経過しており、建て替え等を検討する時期となっています。**体育館を都市公園内に建設すると、有利な国の補助金の活用**を見込むことができます。市民の安心・安全の視点や、今後必要となるプラザちゅうたいの維持管理費用や更新費用、活用が見込める補助金などを総合的に考えると、このタイミングでの**一体的な移転が効果的**であると考えています。

実質公債費比率の見通し

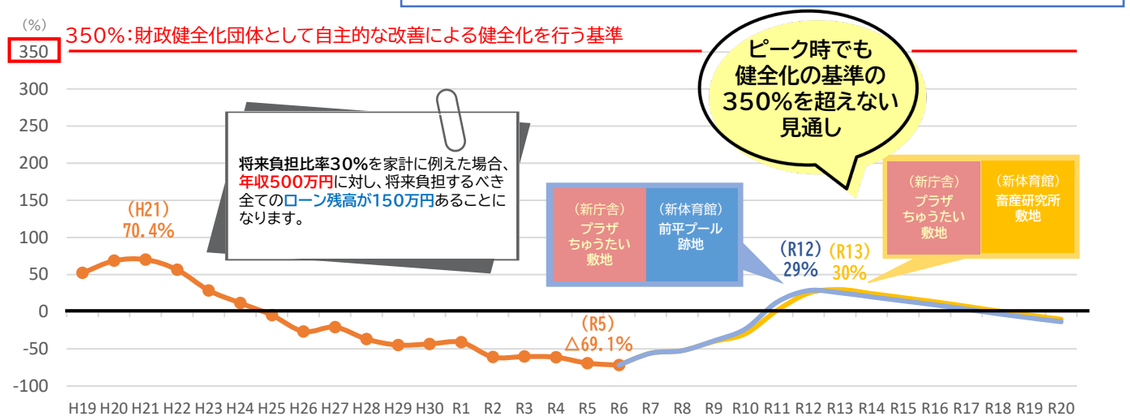
※実質公債費比率
市の年間収入に対して、どれくらいの割合を借金の返済に充てているかを示す指標です。この比率は、一般的に１５%が警戒ラインと言われており、１８%以上になると地方債の発行に関して、県知事から制限を受けることになります。



【基準等】
35%以上：財政再生団体として国等の関与による再生が行われる　18%以上：起債時に県知事の許可が必要となる
25%以上：財政健全化団体として自主的な改善による健全化を行う　15%以上：警戒ライン

将来負担比率の見通し

※将来負担比率
市の年間収入に対して、何倍の借金があるかを示す指標です。この比率が年間収入の３．５倍（比率では３５０%）以上になると「財政健全化団体」となり、自主的な改善努力による財政健全化を進めなくてはなりません。



※1. 見通しは、令和7年2月現在で把握している条件で算出しているため、今後の整備内容や、物価上昇、国等の制度変更等により大きく変わる場合があります。
※2. 新庁舎の建設費等は、令和6年11月27日作成「みんなの新庁舎 4候補地の情報資料」に掲載の事業費としています。
※3. 新体育館を「前平プール跡地」または「畜産研究所敷地」に建設する場合で想定した見通しです。建設場所は、体育館利用者の皆さんの声などを踏まえて今後決める予定です。

財政に関する情報の詳細はこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/report/report-5600/

Q 水害が心配です。

A 昭和58年に発生した9.28災害の時と比較して、現在は**堤防や護岸**が整備されているほか、**新丸山ダム**の建設も進んでおり、水害への備えが進んでいます。また、事前に高台である**文化の森に本部機能を移設する**ことにより、市民の生命と財産を守る行動ができると考えています。

木曽川の堤防

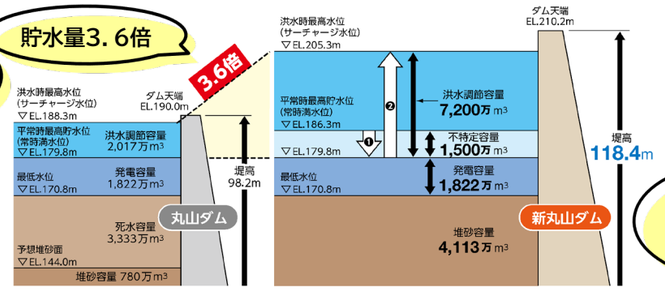
改修工事により木曽川の堤防や護岸を整備したことで、破堤等の危険性は低くなっています。

新丸山ダムの建設

新丸山ダム建設により、丸山ダムの3.6倍の水を貯めることができます。新丸山ダムを建設することにより、木曽川で戦後最大となる被害をもたらした、昭和58年の9．28災害と同規模の洪水を安全に流下させることができ、大きな被害を受けた美濃加茂市、可児市付近の今渡地点下流で約2.7mの水位低下が見込まれ、河川氾濫による浸水被害をなくすことができます。現時点では、新丸山ダムは令和18年度に完成する見込みです。

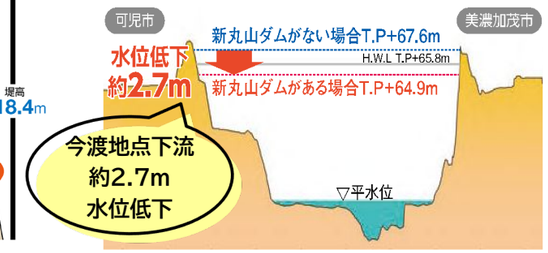
堤防などで水害を抑制

貯水量3．6倍



❶. 洪水貯留（洪水調節）の準備をするため事前に水位を下げる操作（予備放流）
❷. 洪水貯留（洪水調節）を行う操作　出典：国土交通省　中部地方整備局　新丸山ダム工事事務所「新丸山ダムの建設に向けて」2024.8, p.2-p.3を加工して作成

● **今渡地点下流**（河口から約67.0km付近）



新丸山ダムの詳細はこちらから（新丸山ダム工事事務所HP）
URL:https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/

市の方針が市議会で否決
賛成8名、反対6名、退席2名

Q これからどのように進めていくのですか。

A 現在は、市の方針として新庁舎の整備地を「プラザちゅうたい」の位置として決定している段階であり、正式決定している状態ではありません。
庁舎の位置は「地方自治法」により条例で定める必要があります。庁舎の位置を変更する場合は、**市議会における**出席議員の3分の2以上の**同意が必要**ですが、条例の改正案は令和7年3月19日に市議会定例会で否決されたため、**市議会との協議**を重ねていきます。

Q 新庁舎は**いつ完成**しますか。

A 令和7年3月に議決した場合、令和12年度から供用開始する予定でしたが、今後の市議会との協議で決めていきます。

令和4～6年度までの経緯

これまでの新庁舎整備事業の詳細は「みんなの新庁舎　ポータルサイト」（二次元コード）に掲載しています。

新庁舎の整備地に関する記者説明会資料（令和7年3月3日）はこちらから
URL:https://minokamochosha.jp/report/report-5546/

令和4年度までの経緯はこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/about/

令和5・6年度の取り組みはこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/report/report-5598/
・かわらばんvol.1　第1回市民ワークショップ
・かわらばんvol.2　第2回市民ワークショップ
・かわらばんvol.3　新庁舎の役割・コンセプトの決定/第3回市民ワークショップ
・かわらばんvol.4　市民4000人アンケート/新庁舎の機能・複数候補地の決定
・かわらばんvol.5　4候補地の新庁舎整備可能性調査結果

11.かわらばん vol.1～6

11. かわらばん

新庁舎整備事業の進捗を市民の皆様へ周知するため、以下の通り、進捗の概要をまとめたかわらばんを作成しました。

号数	広報折込	テーマ
vol.1	令和5年10月号	第１回市民ワークショップ
vol.2	令和5年12月号	第２回市民ワークショップ
vol.3	令和6年2月号	新庁舎の役割・コンセプトの決定/第３回市民ワークショップ
vol.4	令和6年5月号	市民 4,000 人アンケート/新庁舎の機能・複数候補地の決定
vol.5	令和7年1月号	４候補地の新庁舎整備可能性調査結果
vol.6	令和7年7月号	新庁舎整備地の市の方針決定

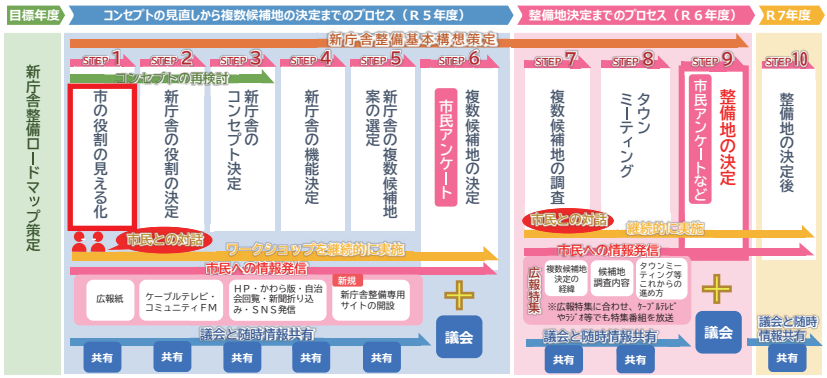
美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.1
第１回市民
ワークショップ

みんなの新庁舎 第１回市民ワークショップを開催しました！

新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、基本構想を見直すこととといたしました。

新庁舎整備基本構想の再策定は「新庁舎整備ロードマップ」に沿って進めていきます。

今回、みんなの新庁舎 第１回市民ワークショップを開催いたしましたので、その結果をお知らせいたします。



【今後の新庁舎整備の進め方（新庁舎整備ロードマップより）】

第１回は７月 23 日（日）、26 日（水）、29 日（土）に開催しました。今回は STEP１「市の役割の見える化」を行うため、「10 年後の市の役割」をテーマに、事前応募頂いた合計 88 名の参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。おでかけワークショップは９月６日時点で９回実施し、合計 152 名の方と意見交換をさせていただきました。ワークショップ後に実施したアンケートの回答結果については、回答いただいたうちの 89%の方が「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」と回答し、市の役割について多くの市民の皆様と共通認識を持つことができました。

「10 年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

① 市民に寄り添い、まもる行政の存在
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

② 地域のまとまり
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③ 魅力ある市をつくる
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④ 産業振興
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤ 安心安全なまち
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥ 便利なまち
DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

ワークショップ参加者の主なご意見は裏面をご覧ください。

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp/

新庁舎整備情報サイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

【第１回市民ワークショップ参加者の主なご意見】

①市民に寄り添い、まもる行政の存在

●市と市民の協働
・市と市民が協働する（市民のつながりを強化する）
●声が届く
・市民や地区の希望を公的機関として、限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在。
・困った時にスムーズに助けてくれる存在。
・市民に寄り添う市の職員。
●福祉・厚生・多文化共生
・市民の生活を守る・護る存在
・介護や健康を安心して提供すること。
・こどもや子育て世代から高齢者・障がい者が共存できるまち。
●議会
・市議員の定数を減らす。
・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

②地域のまとまり

●自治会・まちづくり協議会
・自治会が減ることへの対応
・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化をはかる。
●人口減による機能低下への対応
・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応
●まちづくり意識
・若い人達が市を作っていくことが必要。
・生きがいを持って暮らせるまちづくり。

③魅力ある市をつくる

●こども・若者・挑戦する人を支援する
・こどもの健康を守る存在であってほしい。
・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿を見て、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市
・挑戦したい人を全力で応援する。
●文化や自然との共生
・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。
●人口増
・人口が増加するような魅力のある市としたい。
・こどものある世帯が増えるような市にする。
●地域の盛り上げ
・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）
●憩い・交流
・市民が憩いの場として使える場所がほしい。
●その他
・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。
・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。

④産業振興

●企業・雇用
・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。
●農業・地元産業
・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。
●税収アップ
・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。
・工場誘致に力を入れてほしい。

⑤安心安全なまち

●防災・生活を守る・命を守る
・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。
・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要
・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。
・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。
・防災に強い体制づくりが必要である。

⑥便利なまち

●DX（デジタル化）推進
・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにする。
・デジタル化を推進して、オンライン手続きやハンコ廃止等で市役所に出向かず申請できる。
●交通
・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。
●連携・スムーズな行政サービス
・市役所機能を１か所に集約して、使いやすいようにして欲しい。
・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、１つの窓口でわかるようにしてほしい。
・市の行政サービスについて、周知してほしい。
●コンパクトな新庁舎
・新庁舎は、機能性をコンパクト(県庁、他市はスッキリした庁舎になっている)とする。
・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

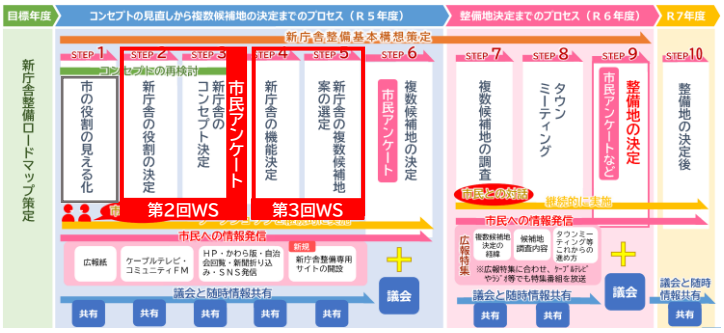
美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.2
第２回市民
ワークショップ

みんなの新庁舎 第2回市民ワークショップを開催しました！

7月下旬に開催した第1回市民ワークショップでは皆さんから市の役割についてご意見をいただきました。今回、新庁舎整備ロードマップに沿って、第2回市民ワークショップを開催しましたので、その結果をお知らせいたします。

第2回市民ワークショップのテーマである「新庁舎の役割」・「コンセプト」については、1,500人を対象とした市民アンケートでもお聞きし、市民全体の傾向を把握します。

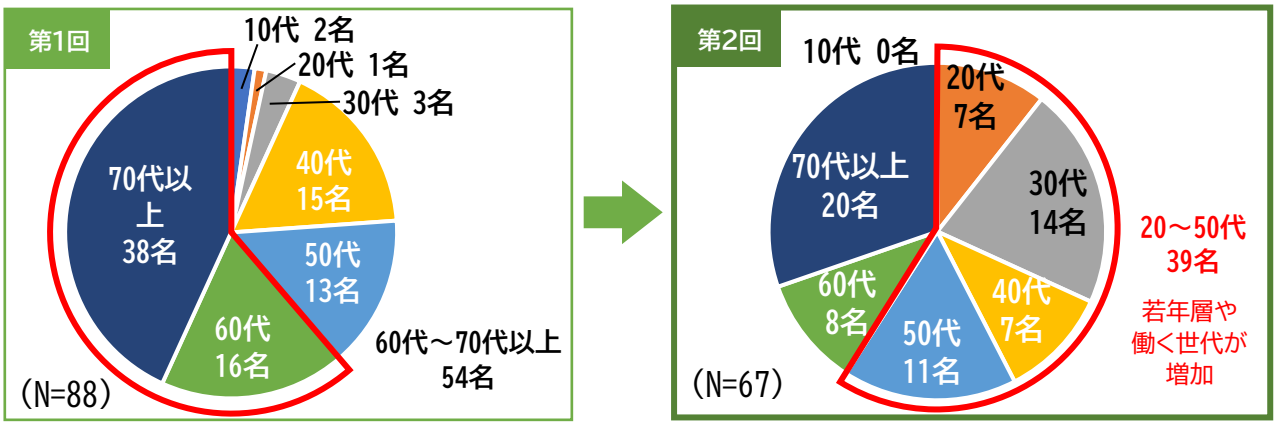
12月にはアンケート結果も踏まえ、STEP4「新庁舎の機能」・STEP5「新庁舎の複数候補地案」についての第3回市民ワークショップを行います。



【新庁舎整備ロードマップ 】

第2回市民ワークショップ　実施状況・参加者数

- 第2回は9月24日(日)、25日(月)、30日(土)に開催しました。
  今回はSTEP2「新庁舎の役割」、STEP3「新庁舎のコンセプト」をテーマに、事前応募いただいた合計67名の参加者のみなさんと意見交換を行いました。
- 第2回は、民間の店舗などにもポスターを貼り、より幅広い世代の方にお越しいただけるよう周知した結果、第1回と比較し、若年層や働く世代が増加しました。



STEP2「新庁舎の役割」概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに、新庁舎に必要な役割を考えました。

前回 ■ 第１回市民ワークショップの結果「市の役割」

①	②	③	④	⑤	⑥
市民に寄り添い、まもる行政の存在	**地域のまとまり**	**魅力ある市をつくる**	**産業振興**	**安心安全なまち**	**便利なまち**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会	自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識	こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流	企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用	防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る	DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

STEP2　全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

代表的なご意見は裏面⇒

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

みんなの新庁舎ポータルサイト

今回 STEP2【代表的なご意見】（抜粋）

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく**、活き活きできる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

STEP3「新庁舎のコンセプト」概要

- 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。（下記抜粋）

STEP3　全体の傾向

- すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】（抜粋）

- **いつでもだれでも相談**できる**頼り**になる新庁舎
- **気軽に集いつながる**新庁舎（行政サービス以外の利用を含む）
- **新しい時代に対応**できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプルなコンパクト**新庁舎（交流拠点は他の公共施設へ）
- みんなが使いやすい**心と身体のバリアフリー**新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした**心地よい新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボル的**な新庁舎
- **職員が**活き活きできる**働きやすい**新庁舎

第2回市民ワークショップまとめ

第2回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- すべての市民が円滑に行政サービスや相談が受けられること（「市民に寄り添い、まもる行政」・「便利なまち」の実現）や、災害時の拠点となること（「安心安全なまち」の実現）、これらを担う職員が働きやすい環境であることが求められています。
- 様々な人が共存するため、人々が交流することも求められている一方、「シンプルで必要最低限」といった、相反する意見も出されています。
  新庁舎はどこまでの役割を担うべきか、連絡所の機能強化やほかの場所で補えることはないか、などについても考える必要があります。

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.3
新庁舎の役割・コンセプトの決定／第３回市民ワークショップ

新庁舎の役割・コンセプトの決定および第3回市民ワークショップを開催しました！

第2回市民ワークショップまでのご意見を踏まえ、市民全体の傾向を把握するため、1,500人を対象とした市民アンケートを行いました。 今回は、ワークショップ・1,500人市民アンケートを踏まえ、新庁舎の役割・コンセプトを決定しましたのでお知らせいたします。

また、令和5年12月に「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに第3回市民ワークショップを開催しました。今後は、「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、4,000人を対象とした市民アンケートを行う予定です。

新庁舎の役割・コンセプトに係る市民アンケート（対象1,500人） 概要

美濃加茂市在住の満15歳以上のうち1,500人を対象とした市民アンケートを、令和5年11月に実施し、607人の市民の皆様にご回答いただきました。（回答率40.5%）

アンケートでは、市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握しました。

新庁舎の役割

Q. 新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に○をつけてください。 ※回答率20%以上の項目を記載

1位	こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	27.8%
2位	平日に働く人も頼りやすい	26.4%
3位	申請や相談がワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応	25.4%
4位	駐車場が広く、車で来庁しやすい	24.4%
5位	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	24.2%
6位	新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる	21.4%

新庁舎のコンセプト

Q.コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。
新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。

※回答率30%以上の項目を記載

1位	いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎	47.1%
2位	市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎	42.7%
3位	新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎	39.4%
4位	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎	30.1%

新庁舎の役割・コンセプトの決定

第2回市民ワークショップのご意見や1,500人市民アンケートの結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

concept 新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

未来を見据えた新庁舎

8つの役割

安心

1つ 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される

2つ こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる

3つ 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる

4つ 業務効率の向上につながる職場環境の充実

未来

5つ 環境の変化に対応できる庁舎

6つ 平日に働く人も頼りやすい

7つ 申請等の手続きがオンラインでできる

8つ 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎整備の最新情報はこちら https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

STEP4 「新庁舎の機能」 概要

第3回市民ワークショップでは、STEP2で出された主な「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」を、例をもとにご意見を出していただきました。
全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。主な意見は以下の通りです。

主な意見

●「働きやすい環境」に対する機能について
庁内の縦割りをなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。

●「災害時の拠点」に対する機能について
拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所等の市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見が出されました。

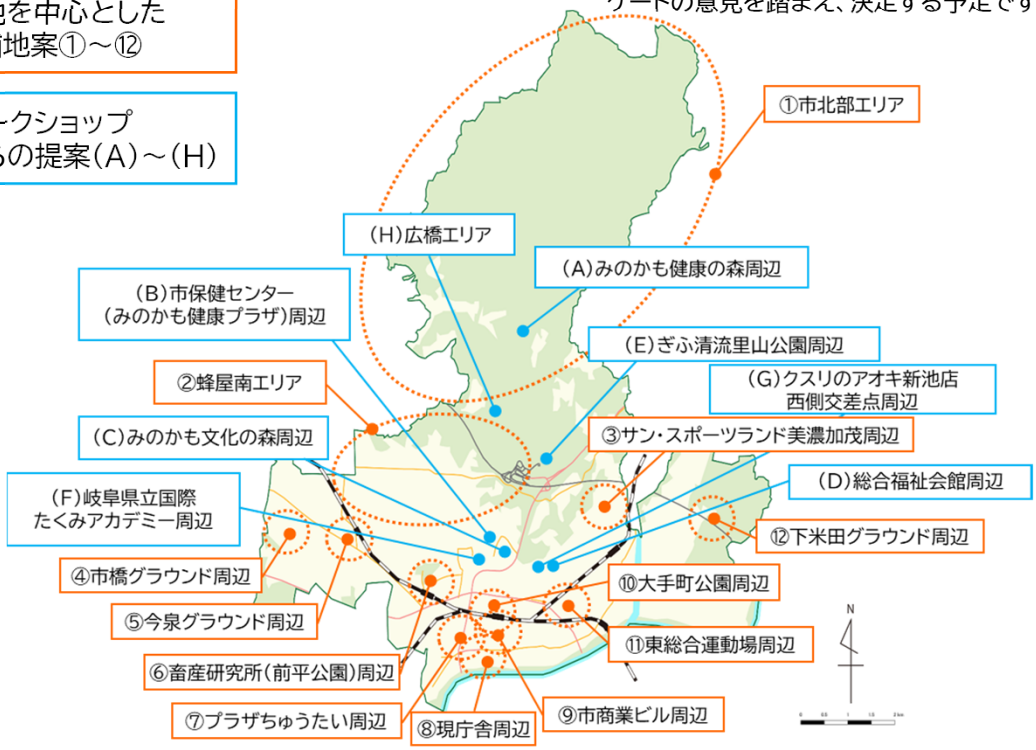
●「デジタル化」に対する機能について
デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

STEP5 「新庁舎の複数候補地案」 概要

市内全域における立地の条件や主な市有地周辺のエリア(オレンジ)をもとに「新庁舎の複数候補地案」を考えていただきました。また、市民の方から候補地の提案(水色)をしていただきました。候補地はワークショップや今後予定している市民アンケートの意見を踏まえ、決定する予定です。

市有地を中心とした
候補地案①～⑫

ワークショップ
参加者からの提案(A)～(H)



第3回市民ワークショップまとめ

第3回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- 「新庁舎の機能」 については、全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。
- 「新庁舎の複数候補地案」には、「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からのご意見が多く出されました。利便性については公共交通機関だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかについても議論がされました。
- 市民からの提案として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設(みのかも健康の森、市保健センター(みのかも健康プラザ)、みのかも文化の森、総合福祉会館、ぎふ清流里山公園、岐阜県立国際たくみアカデミー)周辺などが提案されました。

今後は「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、市民4,000人を対象とした市民アンケートを行い、市民全体の傾向を把握します。

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.4
市民4,000人アンケート/新庁舎の機能・複数候補地の決定

市民4,000人アンケートの実施および新庁舎の機能・複数候補地を決定しました！

市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地案等について、市民全体の傾向を把握するため、市民4,000人アンケートを実施しました。また、市民ワークショップ・市民4,000人アンケート・職員ワークショップ・職員アンケートを踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地を決定しましたのでお知らせいたします。

今後は、複数候補地において新庁舎立地に関する可能性調査を行った後、市民の皆さんと対話し情報共有を図るために、各8地区を回る「タウンミーティング」を行い、その後に整備地の決定を行う予定です。

STEP4「新庁舎の機能決定」

ワークショップやアンケートにより、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度（重要度）の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ

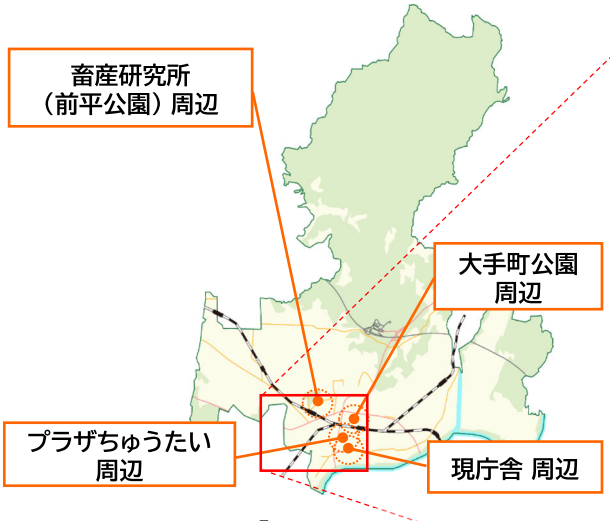
コンセプト：市民の安心な暮らしを守る 未来を見据えた新庁舎

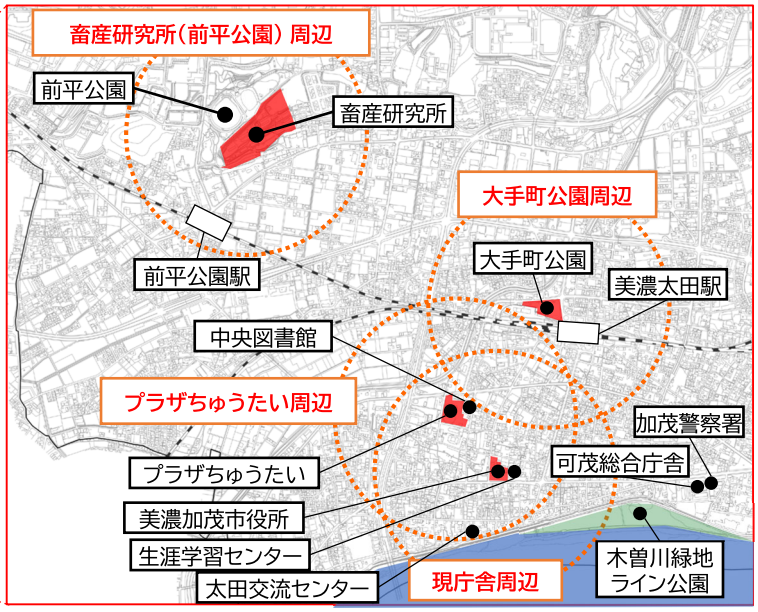
	役割	重点機能
安心	誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される	・総合窓口 ・受けられる支援や仕組みのわかりやすさ ・プライバシーの守られる相談ブース
安心	こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	・わかりやすい案内サインや動線
安心	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	・災害対策
安心	業務効率の向上につながる職場環境の充実	・情報セキュリティの強化 ・会議室やミーティングスペースの充実
未来	環境の変化に対応できる庁舎	・フレキシブル（柔軟）に用途変更できる空間
未来	平日に働く人も頼りやすい	・デジタルの申請・書類発行
未来	申請等の手続きがオンラインでできる	
未来	行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎	・ワンフロアの相談窓口

STEP6「複数候補地の決定」

第3回市民ワークショップ結果をもとに整理した複数候補地案のうち、市民4,000人アンケート結果の上位4候補地を新庁舎整備の複数候補地として決定しました。

半径500mの円の中心にある市有地に本庁舎を整備することを想定し、可能性調査を実施します。なお、必要な市有地が確保できない場合は、駐車場などの本庁舎を補完する施設を円内で整備することを検討します。





※半径５００ｍは「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省)における、高齢者の一般的な徒歩圏内である。

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

みんなの新庁舎ポータルサイト

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

市民4,000人アンケート・職員ワークショップ・職員アンケートの概要

市民4,000人アンケート

市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地案等について、市民全体の傾向を把握するため、市民4,000人アンケートを実施しました。

市民4,000人アンケートは、美濃加茂市在住の満15歳以上のうち4,000人を対象に令和6年2月に実施し、1,504人の市民の皆様にご回答いただきました。（回答率37.6%）

※この回答人数は統計学上3%未満の誤差で対象市民全体の傾向が把握できるものとなります。

職員ワークショップ・アンケート

現在市役所で勤務する職員から、新庁舎の機能についての意見聴取を行うため職員ワークショップ及びアンケートを実施しました。

職員ワークショップは、令和6年2月に実施し、44人の職員が参加しました。

また、職員アンケートを令和6年3月に実施し、308人の職員が回答しました。

新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果（1～10位）

1位	総合窓口 （ワンストップサービス）	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース（緊急物資等）	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果（1～9位）

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 （ワンストップサービス）	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策（非常用発電設備等）	15.9%
9位	フレキシブル（柔軟）に用途変更できる空間	15.6%

新庁舎の複数候補地に係る結果の抜粋

Q.今までの市民ワークショップで出たご意見を踏まえ、新庁舎の候補地として特に良いと思う候補地を選択してください。

市民4,000人アンケート結果（1～10位）

1位	畜産研究所（前平公園）周辺	39.0%
2位	大手町公園周辺	28.7%
3位	現庁舎周辺	28.1%
4位	プラザちゅうたい周辺	24.8%
5位	みのかも文化の森周辺	15.2%
6位	市保健センター （みのかも健康プラザ）周辺	13.6%
7位	東総合運動場周辺	12.9%
8位	市商業ビル周辺	12.7%
9位	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺	12.5%
10位	岐阜県立国際たくみアカデミー周辺	12.0%

上位4か所の選択理由

畜産研究所 （前平公園）周辺	1位.用地が確保しやすい（市有地等） 2位.車でのアクセスがよい 3位.災害に強い
大手町公園 周辺	1位.公共交通機関によるアクセスがよい 2位.車でのアクセスがよい 3位.人が集いやすい
現庁舎 周辺	1位.車でのアクセスがよい 2位.公共交通機関によるアクセスがよい 3位. 用地が確保しやすい（市有地等）
プラザちゅうたい 周辺	1位.車でのアクセスがよい 2位.公共交通機関によるアクセスがよい 3位.人が集いやすい

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.5
４候補地の新庁舎整備可能性調査結果

４候補地の新庁舎整備可能性調査を実施しました！

美濃加茂市では、令和５年度を通して市民ワークショップや市民アンケートを経て新庁舎整備における４つの候補地を選定しました。そして、今年度、４候補地の新庁舎整備可能性調査を行いましたので、その結果概要をお知らせします。詳細情報については「みんなの新庁舎　ポータルサイト」（右下二次元コード）よりご確認ください。

４候補地の事業費・比較評価

事業費

※　令和６年度現在の単価で算出しているため、今後の物価上昇等によって金額が変更となる場合があります

	①現庁舎周辺		②プラザちゅうたい周辺		③畜産研究所周辺	④大手町公園周辺
	A. 建替え	B. リノベーション	A. 庁舎単体	B. 体育館との複合		
総事業費	○	○	○	○	△	○
	71.1億円	48.0億円	78.9億円 ※3	78.6億円 ※4 （109.2億円）	111.1億円	83.9億円 ※5
建築 ※2	67.9億円	48.0億円	73.1億円	73.1億円 （103.7億円）	73.6億円	81.8億円
内 建築工事費（RC造で免震構造の場合） ※1	60.1億円	44.6億円	62.7億円	62.7億円 （91.2億円）	65.4億円	65.3億円
造成・インフラ ※7	3.2億円	ー	5.8億円	5.5億円	37.5億円	2.1億円

（参考）

維持管理費（30年）	41.4億円	38.0億円 ※6	40.0億円	40.1億円 （67.0億円）	36.7億円	49.3億円

※1 ＲＣ造とは、鉄筋コンクリート構造の略で、柱や梁などの主要構造部に鉄筋とコンクリートを組み合わせた建築構造です。
　免震構造とは、建物と地盤の間に免震装置を設けて、地震時に免震装置が自身の揺れを吸収することで建物自体の揺れを軽減する技術です。
※2 設計・調査・工事監理に関わる費用および既存建物の解体費、立体駐車場がある場合はその整備費を含みます。
※3 プラザちゅうたいの建築工事費として約３７．８億円が別途必要となります。
※4 （　）内の金額は複合建物全体の事業費となります。
※5 代替公園の整備費として約２億円と用地取得費用が必要となります。
※6 建物の残存耐用年数が２０年程度であるため、維持管理費も２０年間としています。
※7 道路整備費や用地取得・補償がある場合は、その費用を含みます。

比較評価

凡例　○:課題がないもの（2点）△:課題が小さいもの（1点）▲:課題が大きいもの（0点）

		①現庁舎周辺		②プラザちゅうたい周辺		③畜産研究所周辺	④大手町公園周辺
		A. 建替え	B. リノベーション	A. 庁舎単体	B. 体育館との複合		
評価点合計		41/46	32/46	42/46	40/46	33/46	37/46
新庁舎の役割		15	10	15	15	14	15
概算事業費		○	○	○	○	△	○
計画性（まちづくりとの整合性）	都市計画法	○	○	○	○	△	○
	用途地域	○	○	○	○	○	○
	立地適正化計画 ※市役所は誘導施設	○	○	○	○	▲	○
	公共施設等総合管理計画	○	▲	○	○	○	○
利便性（市民サービスの向上）	2車線道路の確保	○	○	○	○	▲	○
	駐車場台数	△	△	△	△	○	△
	交差点対策	○	○	○	○	△	○
安全性（災害等への安心・安全の確保）	浸水害対策	▲	▲	▲	▲	○	▲
	液状化	○	○	○	○	○	○
実現性・整備の難易度（法規制）	建築基準法	△	▲	○	△	○	△
	仮設庁舎の必要性	○	○	○	○	○	○
	用地確保	○	○	○	○	▲	○
	都市公園法	○	○	○	○	○	▲
想定スケジュール		○	△	○	△	▲	▲

可能性調査の前提条件

新庁舎に必要な延床面積

基本の面積は9,500㎡

❶ 庁舎

新庁舎は、現庁舎（本館・西館）・分庁舎を統合した規模を想定します。
２つの国の基準※に現庁舎（本館・西館）および分庁舎の職員数を照らし合わせると、約９，０００㎡の面積が庁舎に必要となります。ただし、９，０００㎡には、これまでの検討の中で市民のみなさんからご意見をいただいた「市民交流スペース」や「多目的スペース」等の面積は含まれていません。今後の検討のため、余剰施設等として５００㎡（本館１フロアの執務スペース程度）を加算した、９，５００㎡を基本の規模とします。

また、各候補地に次の内容を加算します。
① 庁舎建物１階または地下部分に駐車場を設ける場合、駐車場から庁舎内への付属施設（階段、エレベーターなど）として２００㎡を加算します。
② プラザちゅうたい敷地では、隣接する中央図書館が東図書館へ統合を検討する時期となっていることから、地域の図書コーナーとして２００㎡を加算します。
③ プラザちゅうたい敷地で体育館機能を複合させる場合、体育館＋専用エントランスに必要な面積として６，０００㎡を加算します。

※国土交通省及び総務省の基準

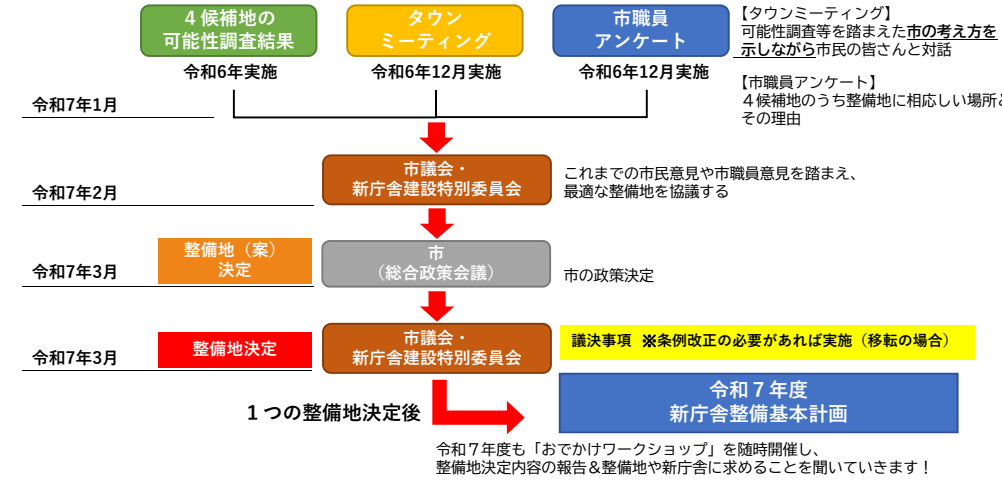
庁舎面積内訳（㎡）		現庁舎	ちゅうたい	ちゅうたい（複合）	畜産研究所	大手町公園
庁舎	庁舎	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
	駐車場からのアクセス	200	200	200	-	200
	図書コーナー	-	200	200	-	-
	小計	9,700	9,900	9,900	9,500	9,700
体育館（複合）		-	-	+6,000	-	-

❷ 駐車場

約570台分必要

新庁舎に想定する**必要駐車台数（来庁者用及び公用車、職員用）は合計約５７０台**です。
すべて平面駐車場で確保する場合、面積は約１．４ｈａ必要となります。
プラザちゅうたいにおいて、体育館機能を複合させる場合、体育館利用者の駐車場として、追加で１６０台程度が必要となります。
駐車場は敷地内で確保ができない場合、立体駐車場の建設や、候補地から半径５００m圏内での確保を検討します。（借地の場合もあり）

整備地決定に向けての今後の予定



整備地に対する市民の皆さんのご意見を募集しています！

今後の新庁舎整備において参考とさせていただきますので、本資料に対するご意見をお寄せください。
住所及びご氏名（公表はしません）、ご年齢を添え、郵送、ご持参（任意様式）またはメールにてご提出ください。

提出期限：令和７年１月２７日（月）

提出先
美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課（本館３階）
開庁時間８：４５～１６：４５（土日祝を除く）
〒５０５－８６０６　岐阜県美濃加茂市太田町３４３１番地１
メール：shinchosha@city.minokamo.lg.jp

新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp

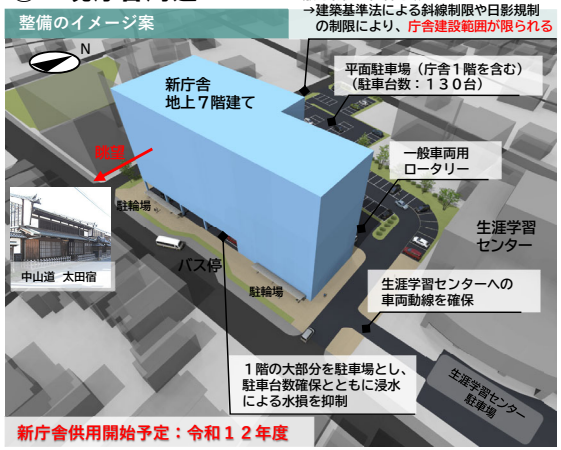
発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

みんなの新庁舎ポータルサイト

この情報は整備地を選定するために情報整理・概算事業費を算出した一例であり、建物や駐車場の形状等で確定したものではありません

①A 現庁舎周辺

敷地北側が住居地域
→建築基準法による斜線制限や日影規制の制限により、庁舎建設範囲が限られる



新庁舎 施設規模			駐車台数(必要台数 567台)	
敷地面積		約7,200㎡	敷地内駐車場	130台
延べ面積		約10,700㎡		
	庁舎	約9,700㎡		
	１階駐車場・駐輪場	約1,000㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	437台（追加借地なし）
階　数		地上7階	※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。（駐車可能台数80台）	
高　さ		約29m		

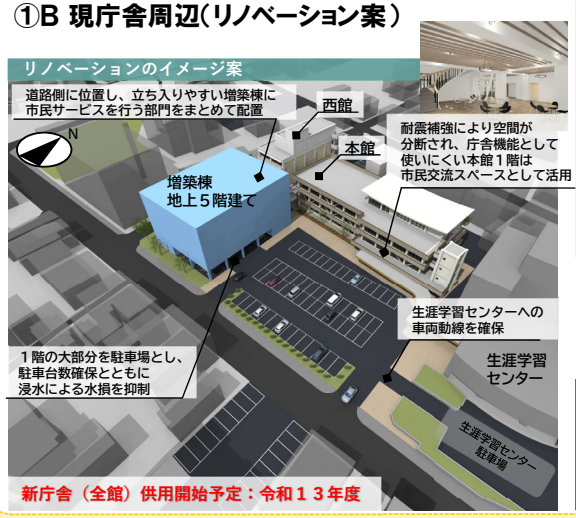
❶ 現庁舎周辺における新庁舎整備のメリット

① 庁舎機能を維持したまま工事ができ、完成後の引越しに必要とする期間・費用も抑えることができる。
② 大きな造成工事を必要とせず、造成費を抑えることができる。
③ 周辺に駐車場用地として借地している敷地が多いため、駐車場の確保が比較的容易である。

❷ 現庁舎周辺における新庁舎整備のデメリット

① 現在の駐車場位置に新庁舎を建設するため、工事中は敷地外に来庁者用の駐車場を確保する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地北側が住居地域であるため、高さ制限や日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。

①B 現庁舎周辺（リノベーション案）



新庁舎 施設規模			来庁者用駐車台数(必要台数 104台)	
敷地面積		約7,200㎡	敷地内駐車場	104台
延べ面積		約9,600㎡		
	本館・駐輪場（既存）	約2,800㎡	公用車・職員用台数(必要台数 402台)	
	西館（既存）	約1,700㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	402台（追加借地なし）
	増築棟 庁舎	約3,800㎡		
	増築棟 １階駐車場	約700㎡		
	その他倉庫等（既存）	約600㎡		
階　数（増築棟）		地上5階		
高　さ（増築棟）		約21m		

❶ リノベーションのメリット

① 庁舎機能を維持したまま工事ができ、完成後の引越しに必要とする期間・費用も抑えることができる。
② 市民に馴染みのある庁舎を活用できる。
③ 完全新築と比較すると整備費用が抑えられる。

❷ リノベーションのデメリット

① 耐震補強、リノベーションした場合も現庁舎は２０年後に建替えが必要となる。
② 現在の駐車場位置に増築棟を建設するため、駐車場の必要台数を確保できない。
③ 浸水想定区域のため、水害対策が必要だが、既存棟は対策が難しい。
④ 現庁舎（本館・西館・増築棟）＋分庁舎の維持管理が必要となるため、維持管理コストが高くなる。

②A プラザちゅうたい周辺

新庁舎 施設規模			駐車台数(必要台数 567台)	
敷地面積		約13,000㎡（図書館敷地含む）	敷地内駐車場	275台
延べ面積		約11,400㎡		
	庁舎	約9,900㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	292台（追加借地なし）
	１階駐車場・駐輪場	約1,500㎡		
階　数		地上6階	※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。（駐車可能台数80台）	
高　さ		約25m		

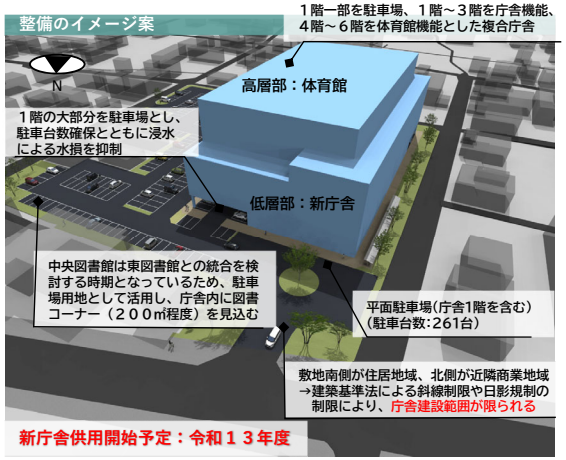
❶ プラザちゅうたい周辺における新庁舎整備のメリット

① 立体駐車場を整備せずに敷地内及び敷地外で駐車台数を確保することができる。
② 複合的な公共施設整備が期待できる。

❷ プラザちゅうたい周辺における新庁舎整備のデメリット

① 敷地内に地下調整池の設置を検討する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地南側の住居地域における高さ制限（建築基準法）や敷地北側の近隣商業地域における日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。

②B プラザちゅうたい周辺（体育館複合）



新庁舎 施設規模			駐車台数(必要台数 730台)（内訳)庁舎　567台 体育館 163台	
敷地面積		約13,000㎡（図書館敷地含む）	敷地内駐車場	261台
延べ面積		約18,300㎡		
	庁舎	約9,900㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	469台（追加借地なし）
	体育館	約6,000㎡		
	１階駐車場・駐輪場	約2,400㎡		
階　数		地上6階	※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。（駐車可能台数80台）	
高　さ		約28m		

❶ 体育館複合における新庁舎整備のメリット

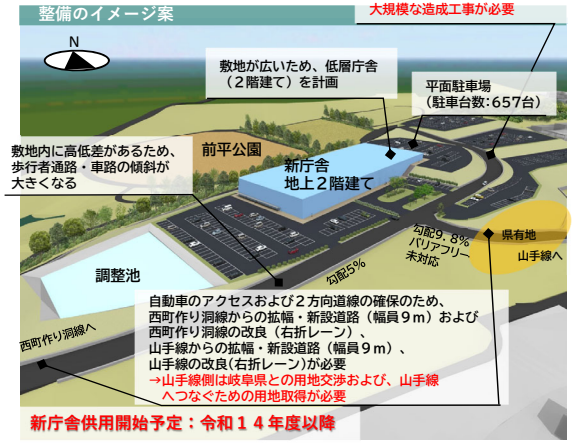
① 立体駐車場を整備せずに敷地内及び敷地外で駐車台数を確保することができる。
② 体育館との複合とすることで、各々を単体で建設するよりも安価に建設することができる。
③ 庁舎と体育館は利用者のピークの時間帯が異なる（庁舎は平日昼間の利用が多く、体育館は休日や平日夕方以降の利用者が多い）ため、施設や駐車場を効率的に活用できる。

❷ 体育館複合における新庁舎整備のデメリット

① 敷地内に地下調整池の設置を検討する必要がある。
② 浸水想定区域のため、水害対策が必要。
③ 敷地南側の住居地域における高さ制限（建築基準法）や敷地北側の近隣商業地域における日影規制（建築基準法）の影響により、庁舎の建設範囲が限られる。
④ 庁舎の利用者に加え、体育館の利用者数も想定した駐車台数の整備が必要。

③ 畜産研究所周辺

現状、丘陵状の敷地であり、庁舎建設・駐車場整備のため大規模な造成工事が必要



新庁舎 施設規模			駐車台数(必要台数 567台)	
敷地面積		約50,000㎡	敷地内駐車場	657台
延べ面積		約9,600㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	0台
	庁舎	約9,500㎡		
	駐輪場	約100㎡		
階　数		地上2階		
高　さ		約9m		

❶ 畜産研究所周辺における新庁舎整備のメリット

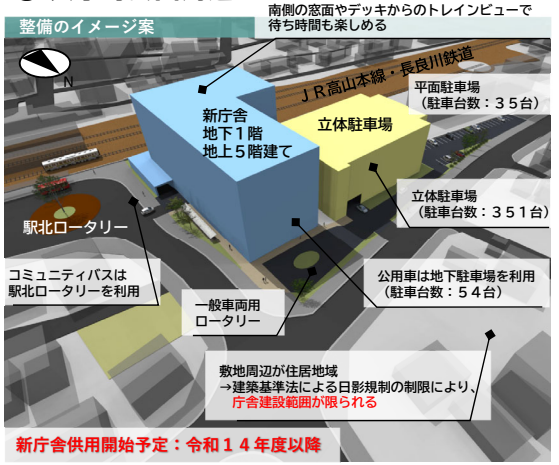
① 敷地内に平面で必要駐車台数を確保することができるため、立体駐車場や民地借上げに比べ、駐車場の維持管理費を抑えることができる。
② 敷地が広いため、建物の配置計画の自由度が高い。
③ 前平公園の隣地のため、緑豊かな周辺環境である。

❷ 畜産研究所周辺における新庁舎整備のデメリット

① 敷地が広く、勾配も大きいため、他の候補地に比べ膨大な造成費がかかる。
② 幹線道路に接続するための道路を整備する必要があり、民地を含めた用地取得が必要となる。用地取得の進捗により新庁舎整備が長期化する恐れがある。
③ 開発許可や造成工事に時間を要する。
④ 土壌調査により、新庁舎整備の長期化および対策費用が必要となる可能性がある。
⑤ 隣接する県有地に豚コレラにより廃棄処分された豚が埋設されているため、道路敷地等として活用する場合には対策が必要。

④ 大手町公園周辺

南側の窓面やデッキからのトレインビューで待ち時間も楽しめる



新庁舎 施設規模			駐車台数(必要台数 567台)	
敷地面積		約8,000㎡	敷地内駐車場	440台
延べ面積		約19,500㎡	敷地外駐車場（半径500m圏内）	127台
	庁舎	約9,700㎡		
	地下１階駐車場・駐輪場	約2,300㎡		
	立体駐車場	約7,500㎡		
階　数		地上5階 地下1階		
高　さ		約21m		

❶ 大手町公園周辺における新庁舎整備のメリット

① 駅に近接しており、公共交通（電車、バス等）でのアクセス性に優れる。
② 敷地内に既存建物が少ないため、建物撤去や造成費を抑えることができる。

❷ 大手町公園周辺における新庁舎整備のデメリット

① 都市公園であるため、同規模の代替都市公園を新たに整備する必要がある。
② 周辺に市有地が少ないため、必要駐車台数を確保するためには敷地内に大規模な立体駐車場を整備する必要がある。
③ 敷地が狭いため、立体駐車場も整備すると容積率が厳しくなり、庁舎機能以外の用途を入れる余地がない。

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.6
新庁舎整備地の
市の方針決定

新庁舎整備地を現在のプラザちゅうたいの位置とする市の方針を決定！

美濃加茂市は新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を決定しました。なお、庁舎の位置は条例で定める必要があり、「美濃加茂市役所の位置を定める条例」の改正により、正式決定となりますが、条例の改正案は令和7年3月19日に市議会定例会で否決されました。
本号では市の方針決定の経緯や理由、市民の皆さんの疑問点についてご説明します。

市の方針決定の経緯

令和5年度を通し、市民ワークショップや市民アンケートを経て、新庁舎整備における4つの候補地を選定しました。
令和6年度には、4つの候補地における新庁舎整備の可能性調査を行った上で、タウンミーティングによる市民の皆さんからのご意見や市職員の声を確認し、新庁舎整備に関する方針を決定しました。

プラザちゅうたいに方針決定！

整備のイメージ案

新庁舎　施設規模（想定）		
敷地面積		約13,000㎡（図書館敷地含む）
延べ面積		約11,400㎡
	庁舎	約9,900㎡
	1階駐車場・駐輪場	約1,500㎡
階　数		地上6階
高　さ		約25m
駐車台数（**必要台数　567台**）		
敷地内駐車場		275台
敷地外駐車場（半径500m圏内）		292台（追加借地なし）

※分庁舎は解体し、新庁舎用の敷地外駐車場として活用する。（駐車可能台数80台）

コンセプトとの整合性と体育館移転のメリット

市の方針決定の理由

新庁舎のコンセプトとの整合性、および体育館移転のメリットから、新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を決定しました。体育館は前平公園（前平プール跡地又は畜産研究所敷地を想定）に移転し、総合公園としての機能を強化します。

新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

- **“新庁舎”**の防災拠点に加え、浸水の恐れがある場合には、事前に高台の**“文化の森”**に**本部機能**を移設し、災害に対して柔軟に対応します。
- **体育館**を前平公園に移転することで、より**安全かつ浸水害にも対応できる避難所や、災害時の拠点**として機能させます。

未来を見据えた新庁舎

- **まちづくりの拠点**の一つとして、市の活性化につなげていきます。
- 現庁舎敷地よりも**広い敷地**を、**新たなニーズや災害対応、イベント**等に活かします。
- **将来同一敷地内**で庁舎の**建替え**が可能です。
- 人口集積地で、市内各所からの**アクセス性**に優れています。

体育館移転のメリット

- 既存の運動施設に体育館機能を加えることで、美濃加茂市唯一の**総合公園**として機能を強化します。
- 現在のプラザちゅうたいは**老朽化**により、**建て替え等を検討する時期となっていますが、都市公園内**に整備することで**有利な国の補助金**の活用を見込むことができます。

体育館移転の対応

プラザちゅうたいを解体して新庁舎を整備するため、新体育館を整備するまでの間に休館期間が発生します。体育館の休館期間については、できる限り短縮できるように努めます。また、休館期間中は、市内の施設や近隣自治体等の体育館をご利用いただくなど、体育館利用者の皆さんに配慮した対応に努めます。

みんなに愛される庁舎

新庁舎・新体育館の未来像（ビジョン）

災害時にも機能する体育館

新庁舎の未来像

① 新庁舎では総合窓口等を設け、1か所で手続きが完了するような設計としていきます。
② 図書コーナーを併設することにより、多くの市民の方に利用される庁舎としていきます。
③ 会議室を中高生のスタディルーム（勉強部屋）として開放していきます。

新体育館の未来像

① 前平公園（野球場、大型遊具）と一体的に活用できる、魅力ある体育館としていきます。
② 駐車場不足を解消していきます。
③ 空調の効いた広いホールで活動できるようにしていきます。
④ 体育館周辺にテナントを設けるなど、前平公園利用者の憩いの場としても活用していきます。

新庁舎や新体育館の未来像を具現化するためには、基本計画の策定が必要です。そのため、少しでも早く「美濃加茂市役所の位置を定める条例」を可決し、夢のあるまちづくりを進めていきましょう。

新庁舎整備Q＆A

タウンミーティング等で市民の皆さんや市議会新庁舎建設特別委員会から多く寄せられたご質問についてお答えします！

Q **市の方針**はどのようにして決まったのですか。

A 市民の皆さんからのご意見や市職員の声を確認し、**市の総合政策会議**を経て、プラザちゅうたいの位置を新庁舎の整備地にすることを市の方針として決定しました。
総合政策会議とは、市長・副市長・教育長・各部長で構成され、市政の基本方針や重要施策等について政策的な方向性を判断する会議です。

Q **中央図書館**はどうなりますか。

A **中央図書館は東図書館との統合を検討**する時期となっているため、中央図書館敷地は駐車場用地として活用し、**庁舎内に図書コーナーを設置**することを見込んでいます。

Q **プラザちゅうたい以外の候補地**はどうなるのですか。

A 美濃加茂市のさらなる活性化のため、**有効活用を図ります。**

畜産研究所（前平公園）周辺

【体育館を整備するなど、総合公園としての機能をさらに充実】
・前平公園拡張の検討

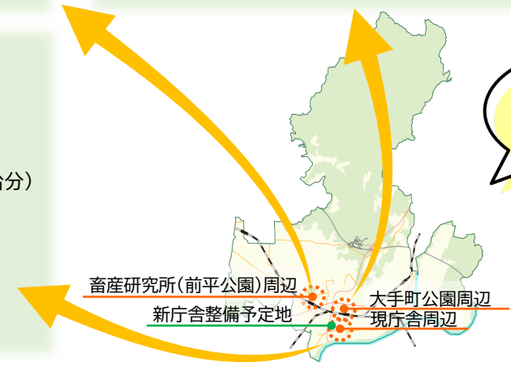
大手町公園周辺

【民間活力導入も視野に入れ大手町公園のリニューアルを推進】
・立地環境のよさを活かし、集客力アップ

現庁舎周辺

【貴重な公有資産として跡地利用】
活用案①　財源確保・民間活力の活用
・民間企業等への有料借地
活用案②　経費削減
・職員、公用車駐車場の一部として利用（約200台分）
→現在の駐車場借地料を一部削減
（※令和5年度借地料実績：約1，700万円）

他の候補地も有効活用



新庁舎整備の最新情報はこちら　https://minokamochosha.jp
発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

新庁舎整備Q＆A

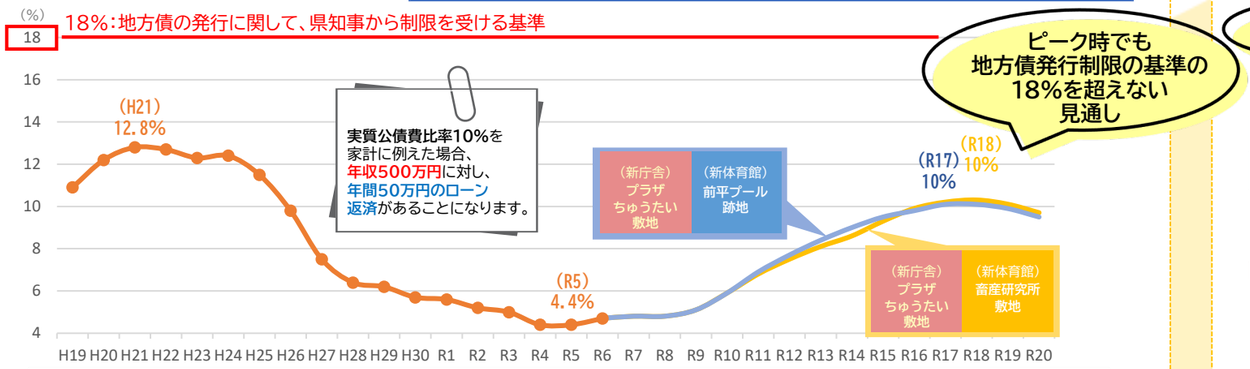
4候補地を比較した財政の詳細情報は、下の二次元コードからご確認ください

Q 新庁舎と体育館を建て替えた時、**市の財政の見込みは。**

A 財政状況を判断する基準として、健全化判断比率や財政力指数、経常収支比率等、様々な指標が用いられています。その中で、財政の健全性を図るための指標である「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められた「実質公債費比率」と「将来負担比率」の将来見込みについて、お答えします。
実質公債費比率及び将来負担比率は、現時点で想定される事業を見込みながら算定しております。現在の状況と比べて厳しい財政運営にはなりますが、それぞれの指標のピーク時でも、実質公債費比率では、地方債の発行が県知事から制限を受ける基準である18%や、将来負担比率では早期健全化基準である350%を超えない見通しです。プラザちゅうたいは築53年が経過しており、建て替え等を検討する時期となっています。**体育館を都市公園内に建設すると、有利な国の補助金の活用**を見込むことができます。市民の安心・安全の視点や、今後必要となるプラザちゅうたいの維持管理費用や更新費用、活用が見込める補助金などを総合的に考えると、このタイミングでの**一体的な移転が効果的**であると考えています。

実質公債費比率の見通し

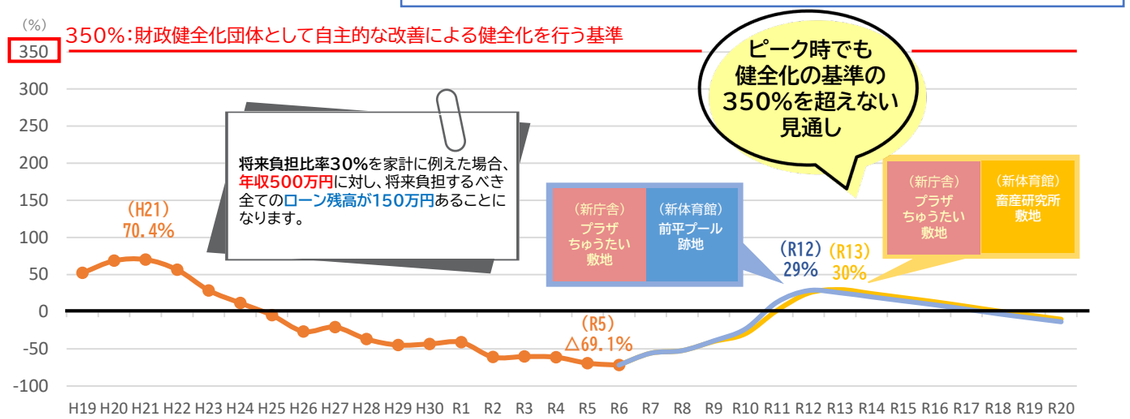
※実質公債費比率
市の年間収入に対して、どれくらいの割合を借金の返済に充てているかを示す指標です。この比率は、一般的に１５%が警戒ラインと言われており、１８%以上になると地方債の発行に関して、県知事から制限を受けることになります。



【基準等】
35%以上：財政再生団体として国等の関与による再生が行われる　18%以上：起債時に県知事の許可が必要となる
25%以上：財政健全化団体として自主的な改善による健全化を行う　15%以上：警戒ライン

将来負担比率の見通し

※将来負担比率
市の年間収入に対して、何倍の借金があるかを示す指標です。この比率が年間収入の３．５倍（比率では３５０%）以上になると「財政健全化団体」となり、自主的な改善努力による財政健全化を進めなくてはなりません。



※1. 見通しは、令和7年2月現在で把握している条件で算出しているため、今後の整備内容や、物価上昇、国等の制度変更等により大きく変わる場合があります。
※2. 新庁舎の建設費等は、令和6年11月27日作成「みんなの新庁舎 4候補地の情報資料」に掲載の事業費としています。
※3. 新体育館を「前平プール跡地」または「畜産研究所敷地」に建設する場合で想定した見通しです。建設場所は、体育館利用者の皆さんの声などを踏まえて今後決める予定です。

財政に関する情報の詳細はこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/report/report-5600/

Q 水害が心配です。

A 昭和58年に発生した9.28災害の時と比較して、現在は**堤防や護岸**が整備されているほか、**新丸山ダム**の建設も進んでおり、水害への備えが進んでいます。また、事前に高台である**文化の森に本部機能を移設する**ことにより、市民の生命と財産を守る行動ができると考えています。

木曽川の堤防

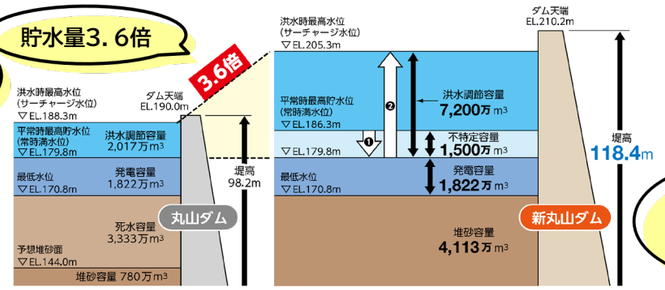
改修工事により木曽川の堤防や護岸を整備したことで、破堤等の危険性は低くなっています。

新丸山ダムの建設

新丸山ダム建設により、丸山ダムの3.6倍の水を貯めることができます。新丸山ダムを建設することにより、木曽川で戦後最大となる被害をもたらした、昭和58年の9．28災害と同規模の洪水を安全に流下させることができ、大きな被害を受けた美濃加茂市、可児市付近の今渡地点下流で約2.7mの水位低下が見込まれ、河川氾濫による浸水被害をなくすことができます。現時点では、新丸山ダムは令和18年度に完成する見込みです。

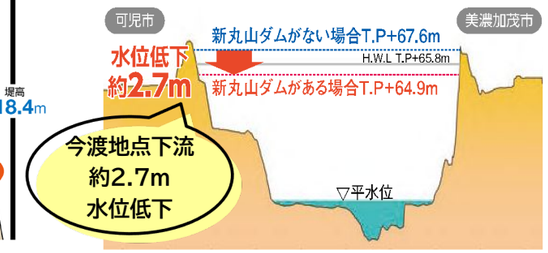
堤防などで水害を抑制

貯水量3．6倍



❶. 洪水貯留（洪水調節）の準備をするため事前に水位を下げる操作（予備放流）
❷. 洪水貯留（洪水調節）を行う操作　出典：国土交通省　中部地方整備局　新丸山ダム工事事務所「新丸山ダムの建設に向けて」2024.8, p.2-p.3を加工して作成

● **今渡地点下流**（河口から約67.0km付近）



新丸山ダムの詳細はこちらから（新丸山ダム工事事務所HP）
URL:https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/

市の方針が市議会で否決
賛成8名、反対6名、退席2名

Q これからどのように進めていくのですか。

A 現在は、市の方針として新庁舎の整備地を「プラザちゅうたい」の位置として決定している段階であり、正式決定している状態ではありません。
庁舎の位置は「地方自治法」により条例で定める必要があります。庁舎の位置を変更する場合は、**市議会における**出席議員の3分の2以上の**同意が必要**ですが、条例の改正案は令和7年3月19日に市議会定例会で否決されたため、**市議会との協議**を重ねていきます。

Q 新庁舎は**いつ完成**しますか。

A 令和7年3月に議決した場合、令和12年度から供用開始する予定でしたが、今後の市議会との協議で決めていきます。

令和4～6年度までの経緯

これまでの新庁舎整備事業の詳細は「みんなの新庁舎　ポータルサイト」（二次元コード）に掲載しています。

新庁舎の整備地に関する記者説明会資料（令和7年3月3日）はこちらから
URL:https://minokamochosha.jp/report/report-5546/

令和4年度までの経緯はこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/about/

令和5・6年度の取り組みはこちらから
URL: https://minokamochosha.jp/report/report-5598/
・かわらばんvol.1　第1回市民ワークショップ
・かわらばんvol.2　第2回市民ワークショップ
・かわらばんvol.3　新庁舎の役割・コンセプトの決定/第3回市民ワークショップ
・かわらばんvol.4　市民4000人アンケート/新庁舎の機能・複数候補地の決定
・かわらばんvol.5　4候補地の新庁舎整備可能性調査結果

12.新庁舎整備情報

12.新庁舎整備情報

新庁舎整備事業の進捗状況について、市民の皆様にお知らせするため、毎月発行される「広報みのかも」にコラムを掲載しました。

年度	発行月	テーマ
令和５年度	５月	新庁舎整備情報サイト「みんなの新庁舎」を開設しました
令和５年度	６月	これまでの進め方との違い
令和５年度	７月	庁内検討部会を開催しています
令和５年度	８月	「市の役割の見える化」について
令和５年度	９月	「第１回市民ワークショップ」とこれからのワークショップについて
令和５年度	10 月	令和５年度における今後の進め方について
令和５年度	11 月	「みんなの新庁舎　第２回市民ワークショップ」を開催しました
令和５年度	12 月	これからの進め方
令和５年度	１月	市民アンケートの結果をお知らせします
令和５年度	２月	第３回市民ワークショップを開催しました
令和５年度	３月	新庁舎の役割・コンセプトが決定しました！
令和６年度	４月	令和６年度以降の進め方について
令和６年度	５月	新庁舎の機能が決定しました
令和６年度	６月	外国人・障がい者・子育て世代対象のワークショップを開催します！
令和６年度	７月	複数候補地の可能性調査を実施します
令和６年度	８月	可能性調査の追加調査項目について
令和６年度	９月	子育て世代対象ワークショップを開催しました！
令和６年度	10 月	外国人市民対象ワークショップを開催しました！
令和６年度	11 月	障がい児者にやさしい　新庁舎整備ワークショップを開催しました！
令和６年度	12 月	みんなの新庁舎　タウンミーティングを開催します！
令和６年度	１月	みんなの新庁舎　タウンミーティングを開催しました！
令和６年度	２月	これまでの動きと今後の予定について
令和６年度	３月	新庁舎整備事業のこれまでの経過について
令和７年度	４月	新庁舎整備事業の令和６年度の経過について

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

新庁舎整備情報サイト「みんなの新庁舎」を開設しました

▲新庁舎整備情報サイト「みんなの新庁舎」（https://minokamochosha.jp）　※右下の二次元コードからアクセスできます

このコラムでは、現在、市が進めている新庁舎整備事業の進捗状況について、皆さんにお知らせしていきます。今回は、新たに開設した新庁舎整備情報サイト「みんなの新庁舎」についてです。

市では、令和5年3月に「新庁舎整備ロードマップ」を策定し、今後の新庁舎整備事業の進め方を定めました。市民の皆さんからのアンケートなどを改めて集計し、分析し直したところ、新庁舎に関わる情報発信として利用しやすい媒体は、広報みのかもが最も高く、次いで自治会の回覧、市ホームページ、SNSと続きました。また、アンケートなどからは、「新庁舎整備の情報をよく知らない」「どこで情報が得られるのか分からない」といった声が多くあることも分かりました。

そこで、新庁舎整備事業の進捗状況について、広報紙で連載を行いながら常に情報を発信するとともに、市のホームページとは別に、新規に新庁舎整備情報を集約するポータルサイトを立ち上げました。

このポータルサイトでは、今までの新庁舎整備の経緯はもちろんですが、これから実施する予定のワークショップのスケジュールや、市民アンケートの結果などを随時掲載していく予定で、このサイトを見れば、新庁舎整備事業のことが分かるようになっています。

トップページには、最新情報を随時掲載する「お知らせ」をはじめ、「新庁舎整備事業とは」というリンクからは、本事業に関するこれまでの経緯をまとめて掲載しており、今まで何があったのか知ることができます。この他にも「進捗状況・事業報告」や「ワークショップ・タウンミーティング」といったリンクがあり、これから開催する予定のワークショップや、タウンミーティングなどのご案内を随時掲載していく予定です。

また、皆さんからお問い合わせの多い内容については、「よくある質問」というリンクからご確認いただけるようにまとめました。

「みんなの新庁舎」はできたばかりのポータルサイトですが、これからも皆さんの声をもとに、より分かりやすく、進捗状況に合わせた最新の情報を掲載していきたいと思っています。ぜひご覧いただき、お気づきの点がございましたら、新庁舎整備推進課までご意見をお寄せください。皆さんの声をお待ちしております。

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

これまでの進め方との違い

市では、令和5年3月に『新庁舎整備ロードマップ』を策定しました。本号では4ページから5ページにかけて、新庁舎整備ロードマップを特集しましたが、ご覧いただけたでしょうか。

新庁舎整備ロードマップは、特集でもご紹介したとおり、これからの新庁舎整備の進め方についての手順を定めたものであり、市民の皆さんと共有して、新庁舎整備を一緒に進めていく指針となるものです。そこで今回は、新庁舎整備ロードマップの中から『これまでの進め方との違い』についてご紹介します。

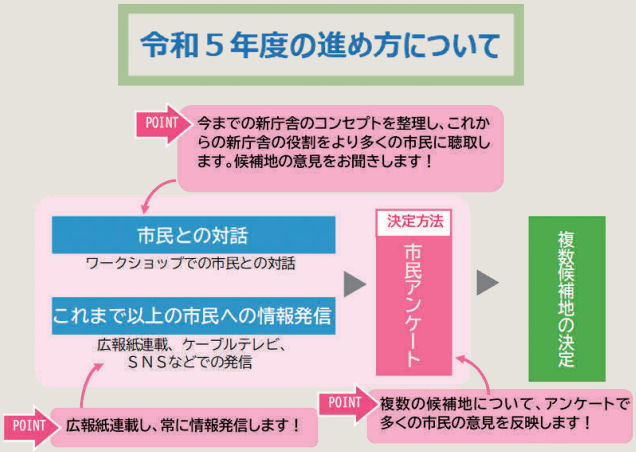
令和4年度に行った旧新庁舎整備事業における検証で、これまでいただいた意見を改めて整理・分析しました。その結果、見直すべきところや、その反省をどう生かしていくべきなのかが検証結果として示されました。

▲新庁舎整備事業プロジェクトチーム「検証部会」での検証の様子

まず、これまでの新庁舎整備事業における課題として、市民意見の聴取不足が挙げられ、「対話」や「市民参加」がとても重要であるということが、検証によって改めて示されることになったのです。

そこで、これからは「ワークショップ」を土台に、市民の皆さんとの対話を重ねていきます。今までの新庁舎のコンセプトを見直し、これからの新庁舎の役割について、より多くの市民の皆さんから聴取していくほか、候補地の意見に関しても、ワークショップやアンケートなどで多くの意見を反映していきます。

また、整備地選定までのプロセスが不透明だと感じた人が多かったという検証結果を受け、今後は新庁舎整備の進め方においては全て、市民の皆さんと市で意見聴取や対話を重ねていきながら決定していくことになりました。市民の皆さんと一緒にワークショップの場で新庁舎について考えていき、その場で出たご意見や決定したことは、その都度、広報紙や新庁舎整備情報ポータルサイト、SNSなどを通じて情報発信をしていきます。



これまでは、新庁舎整備の情報発信についても大きな課題であったため、市民の皆さんに対して情報の根拠を明確に示し、分かりやすい方法でお伝えするために、候補地ごとの課題や自治体経営などの情報を、誰もがアクセスできる形で共有することが重要だと考えました。そのため、新たな新庁舎整備事業の進め方については、広報紙コラムの連載や新庁舎整備情報ポータルサイトをはじめ、自治会の回覧やケーブルテレビ、SNSや市ホームページなどを活用し、さまざまな世代の皆さんにより広く情報を伝えられるようにしていきます。

市民の皆さんと共に新庁舎を作っていくため、これからも改善を重ねていきます。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

庁内検討部会を開催しています

4月から、市では新たに「新庁舎整備プロジェクト庁内検討部会」を立ち上げました。これは、新庁舎整備における「現時点での市の考え方」を整理するためのもので、係長・課長補佐級の市職員6人に加え、民間の視点を取り入れるため、今年度、民間企業から出向していただいている2人の職員を含む計8人で構成された組織です。

▲新庁舎整備プロジェクト庁内検討部会の様子

ところで、「現時点での市の考え方」とは一体何でしょうか。

市では、去年までの検証を通じて、市民の皆さんと合意形成ができなかった理由の一つとして、市民の皆さんに正しく検討していただくための情報提供が不足していたことを検証結果として結論づけました。そして、その反省からの改善策として、「正しい情報を提供すること」を、今後に必要な進め方として定めています。そのことが、今回ご紹介する「現時点での市の考え方」につながります。

新庁舎整備には、市の財源や防災に対してなど、さまざまな角度での考え方があります。あくまで一例にすぎませんが、新庁舎の建設費用をいくらまでにするのか、新庁舎にどんな防災機能を設けるのかなど、これらの視点に対し、市が責任を持って市民の皆さんからご意見をいただくため、市としての新庁舎に関する「現時点での考え方」を改めて整理する必要があると考えています。

そしてこの考え方は、市が主導するのではなく、市民の皆さんと一緒に考えていくものでもあります。

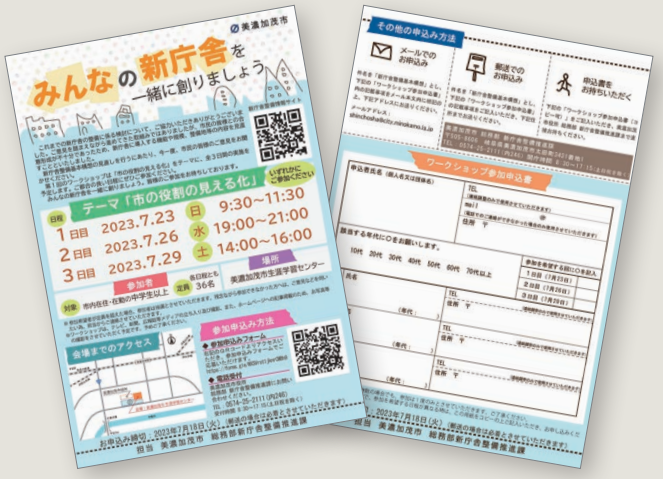
それは、新庁舎の建設には多くの費用が必要となり、そこで使われるのは皆さんから受け取った貴重な税金であるからです。

市の事業でお金がかかるのは、新庁舎のことだけではありません。しかし、お金を使う以上は「なぜお金のかかる新庁舎を建てる必要があるのか」「いくらくらいが新庁舎の整備費用として適切と考えるのか」といった市の考えを、皆さんに正しくお伝えする必要があります。

もちろん、これらの考えが絶対ということではありません。皆さんにご検討いただく一助としてや、対話の核として、現時点での市の考えや計画、方針などがどのようなものであるかをまとめておくことが大切だと考えているのです。

このような理由から、庁内検討部会では各課としての考え方や各種計画との関係など、さまざまな議論を行っています。

そしてこれらの情報は、今後開催を予定している市民の皆さんとのワークショップ(本号折り込みチラシ)や市民アンケートなどで、活用していきたいと考えています。



▲本号折り込みのチラシ

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

「市の役割の見える化」について

現在市は、令和5年3月に策定した「新庁舎整備ロードマップ」に基づき、基本構想の見直しを行っています。市民の皆さんとワークショップによる対話を行いながら、今後の新庁舎の在り方を考えていきます。

前号に折り込みをしたチラシで皆さんにご案内した第1回目のワークショップ(7月開催)では、「新庁舎整備ロードマップ」のステップ1である「市の役割の見える化」をテーマに、これまでの経緯や今後の進め方、ワークショップの意図や目的など、改めて基本となる情報を共有しました。その後、新庁舎が整備された10年後の「自分や家族、友人、地域、美濃加茂市の未来」に意識を向け、その未来における「市の役割」を描いていただきました。

このワークショップでは、市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割についてのディスカッションを行うことで、市民と市職員の考えのギャップについて学び合う機会を設け、市の役割について共通認識を持つことを目的としています。

また、今回のワークショップに先立ち、市では若手職員による「新庁舎整備事業プロジェクト・ワークショップ部会」を立ち上げました。メンバーは、さまざまな課に所属する若手の市職員12人で構成。ワークショップでは各テーブルの「ファシリテーター(進行役)」を務めるため、市民の皆さんとの合意形成についての理解を深めるための研修も受講しています。

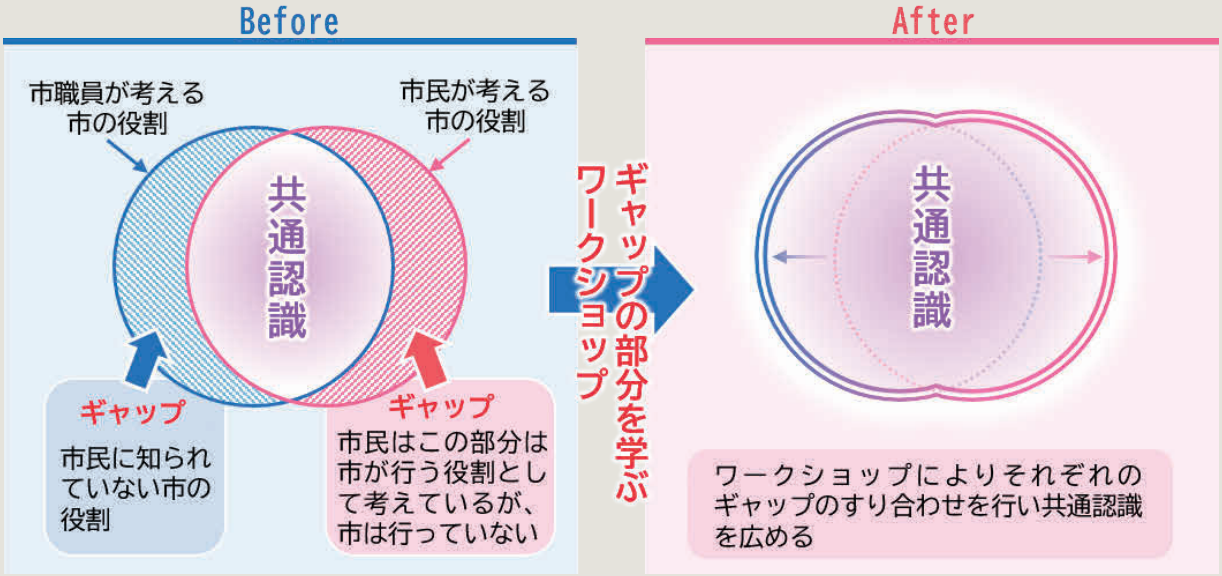
この「ファシリテーター」とは、ワークショップなどで対立した複数の人の意見を丁寧に聞き、その意見を満たす選択肢を作成したり、コミュニケーションを促進したりする人を指します。

今回のワークショップでは、その役割を市の職員が担い、市民の皆さんとの相互理解を深め、議論をより良いものにしていこうと考え、進行しています。

今後も「新庁舎の役割」や、「新庁舎のコンセプト」など、さまざまなテーマをもとに、ワークショップを行っていく予定です。「前回のワークショップには参加しなかったけれど、このテーマなら参加してみたいな」という人も大歓迎ですので、今後のワークショップについて、ぜひ参加をご検討ください。

他にも、新庁舎整備事業に関しては、市民ワークショップと並行して、ワークショップを希望する団体へ伺う「おでかけワークショップ」や「市民アンケート」なども予定しています。令和3年度までの検討の中でいただいたご意見も大切にしながら、今後もより多くの皆さんのご意見を伺っていきます。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます



問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

「第１回市民ワークショップ」とこれからのワークショップについて

前号に引き続き、7月に開催した第1回目のワークショップの様子をお知らせします。

「市の役割の見える化」をテーマに実施したこのワークショップでは、3日間で合計88人もの皆さんにご参加いただくことができました。

▲第1回目のワークショップの様子

今回のワークショップの内容やいただいたご意見については、内容をとりまとめ次第、新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」などでご紹介しますので、ぜひご確認ください。

また、第2回目のワークショップは、新庁舎整備ロードマップのステップ2の「新庁舎の役割」とステップ3の「新庁舎のコンセプト」をテーマに開催します。

「新庁舎の役割」では、1回目のワークショップで考えた「市の役割」を踏まえたうえで、「新庁舎の役割」を検討するため、コロナ禍を経た社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスの在り方を踏まえ、見直しを行います。

そして「新庁舎のコンセプト」では、「市の役割」「新庁舎の役割」を明示したうえで「新庁舎のコンセプト」を再検討していきます。

▲本号折り込みのチラシ

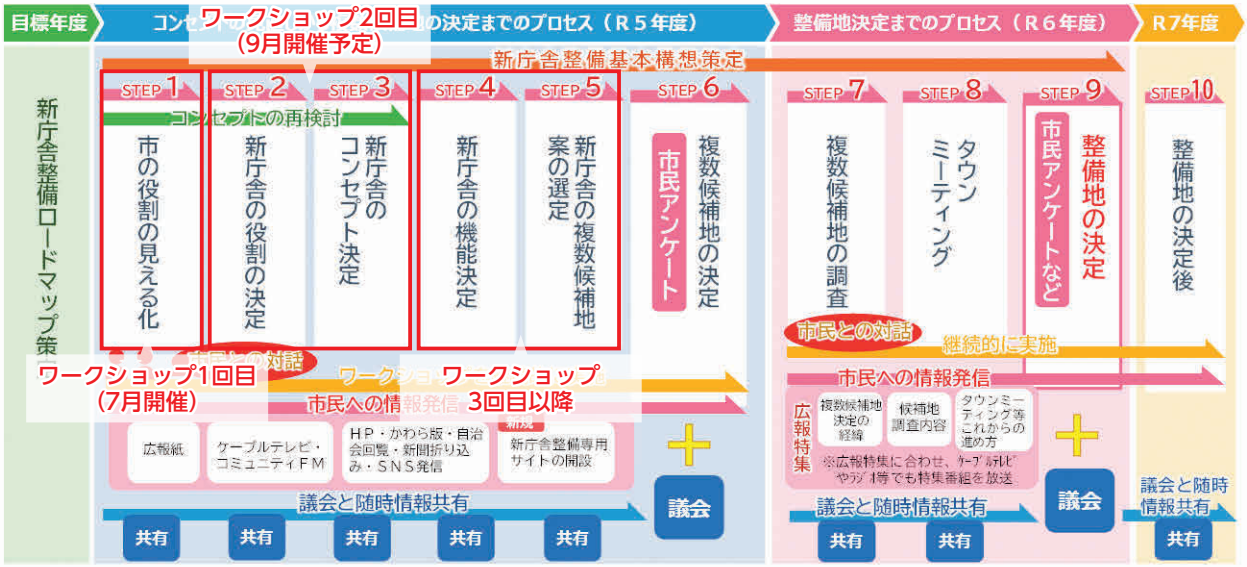
第2回ワークショップについて詳しくは、本号折り込みのチラシをご覧いただき、ぜひご参加いただければと思います。

なお、新庁舎の役割や新庁舎のコンセプトについては、2回目のワークショップを行った後、無作為抽出した1500人を対象に市民アンケートを行います。これは、ワークショップのまとめを、アンケートという形で多くの市民の皆さんに提示し、その内容に対するご意見と意見全体の傾向を確認するためのものです。このアンケートによって、より多くの市民の皆さんのご意見を把握し、今後の新庁舎整備に生かしていきたいと考えています。

ワークショップやアンケートは、皆さんのご意見をいただける貴重な機会となります。ぜひご参加・ご協力いただき、皆さんの思いをお聞かせください。お待ちしています。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

ワークショップの実施計画



問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

令和５年度における今後の進め方について

現在、市では、市民の皆さんとのワークショップを通じて、新庁舎に関するご意見を収集しています。

先月行った第2回のワークショップでは、「新庁舎整備ロードマップ」におけるステップ2の「新庁舎の役割」と、ステップ3の「新庁舎のコンセプト」をテーマに、第1回に引き続き、たくさんの人にご参加いただき、それぞれ活発な意見交換をしていただくことができました。

7月に行った第1回ワークショップの内容や、いただいたご意見については、本号折り込みの「みんなの新庁舎　かわらばんvol.1」に掲載しているほか、新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」や市ホームページでも順次公開していきます。

また、第1回のワークショップの様子についても、新庁舎整備ポータルサイト「みんなの新庁舎」に掲載し、市公式YouTubeでも当日の様子を投稿していますので、ぜひご覧ください。

▲市公式YouTubeチャンネルで公開している動画
（右の二次元コードからもご覧いただけます）

さて今回は、今年度における今後の進め方について「新庁舎整備ロードマップ」のステップ4からステップ6までの内容をご紹介します。

次回以降のワークショップでは、ロードマップのステップ4「新庁舎の機能」と、ステップ5「新庁舎の複数候補地案の選定」をテーマに、今までのワークショップでいただいたご意見を生かしながら、さらに皆さんのご意見を伺いたいと思っています。

ステップ4では、第1回と第2回のワークショップで皆さんからご意見をいただいた「市の役割」「新庁舎の役割」「コンセプト」を踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討します。そしてその時点で一度、「現時点での市の考え方」を提示し、その上で皆さんと対話をしたいと考えています。例えば、「新庁舎整備に対し、財政上どの程度の支出を考えているのか」「防災上、どのような新庁舎の在り方がいいと考えているのか」などが挙げられます。

そしてステップ5では、新庁舎の機能や課題を解決するための方法の実現性、市の方針を踏まえ、市が検討した複数候補地案を提示します。

そこで複数候補地案を吟味していただき、必要であれば皆さんから別の候補地案を市に提言いただきたいと考えています。

その後、ステップ5のご意見を踏まえて市が選定した複数候補地案について、幅広い層から各候補地に対する意見を聴取するため、ステップ6として「市民アンケート」を実施。その結果を踏まえ、今年度末に複数候補地を決定するとともに、市議会へ報告していきます。

今年度はこのような動きを予定していますが、来年度には、決定した複数候補地の調査やタウンミーティングなどを経て、新庁舎の整備地を決定したいと考えています。

皆さんからのご意見を丁寧にお聞きし、新庁舎整備に反映していきたいと考えていますので、引き続き皆さんからのご意見を募集するとともに、ワークショップやアンケートへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

「みんなの新庁舎　第２回市民ワークショップ」を開催しました

9月24日㈰、25日㈪、30日㈯に「みんなの新庁舎 第2回市民ワークショップ」を開催し、3日間で延べ67人の皆さんに参加いただきました。今回は、そのワークショップの様子についてご紹介します。

今回のワークショップでは、4つのグループに分かれて「新庁舎の役割」と「新庁舎のコンセプト」について考えていただきました。「新庁舎の役割」とはつまり、「新庁舎にどんな場であることを期待するのか」ということです。

最初に第1回市民ワークショップのまとめを共有した後に、「新庁舎に期待すること」を付箋に書いていただきました。その結果、窓口対応や相談機能の充実に関することや市職員の職場環境の向上に関すること、災害時の拠点として対応や情報提供を行うことや連絡所の機能強化に関することなどの意見をはじめ、「機能を1カ所に集中する⇔機能を分散する」や「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」などの相反する意見が挙がりました。

▲第2回ワークショップの様子

その後、全体で各グループの意見を発表し、「新庁舎のコンセプト」を考える作業へと移行。一人につき一つのコンセプトを考えていただきました。

コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。例えば、リバーポートパーク美濃加茂のコンセプトは「まちなかアウトドア」です。また、令和3年3月に完成した岐阜市新庁舎では、「①にぎわいを生む魅力ある新庁舎、②都市や歴史、自然と調和する新庁舎、③快適で安全な新庁舎、④いのちと暮らしを守る新庁舎、⑤持続可能で長寿命な新庁舎」をコンセプトとしています。

今回のワークショップでは、「頼りになる／バリアフリー／便利」といった、円滑にサポートを行うことや、「つながる／集う／多様性／気軽さ／多目的」といった、交流を主軸とした意見が挙がった一方で、「コンパクト／お金がかからない」といった、庁舎は必要最低限の機能を持たせるのみで、交流拠点は他の公共施設に分けるなどの意見も挙がりました。

これらの結果は、まとまり次第、広報みのかもや市ホームページ、「新庁舎整備情報ポータルサイト」などを通じて公表する予定です。

また、現在、無作為抽出した市民1500人を対象に、アンケートを実施しています。今回のワークショップでいただいた意見をもとに、市民全体の傾向を把握するためのアンケートです。アンケート用紙が届いた人は、ぜひご協力をお願いいたします。

次回のワークショップは、12月2日㈯、3日㈰、7日㈭に開催を予定しており、テーマは、「新庁舎の機能・新庁舎の複数候補地案」です。今年度末に予定している「新庁舎の複数候補地案の選定」に向けて、より具体的な内容に入っていきますので、ぜひ多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。詳しくは、本号折り込みの「みんなの新庁舎　第3回市民ワークショップ」のチラシをご覧ください。

これからも、皆さんのご意見をもとに新庁舎整備を進めていきたいと考えています。今まで参加していなかった人も大歓迎ですので、ぜひワークショップへの参加をご検討ください。お待ちしています。

本号折り込みのチラシ▶

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

これからの進め方

9月に開催した「みんなの新庁舎　第2回市民ワークショップ」には多くの人にご参加いただきありがとうございました。また、今月開催の「みんなの新庁舎　第3回市民ワークショップ」にも多くの人に参加申し込みをしていただくことができました。

今回は、皆さんからいただいたご意見を踏まえ、これからどのように新庁舎整備を進めていくのかを改めてご紹介します。

これまで、1回目の市民ワークショップでは「市の役割の見える化」を、2回目では「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに、参加者の皆さんで話し合っていただきました。また、2回目の市民ワークショップ終了後には、いただいたご意見を踏まえ、10月末から11月15日までの期間、無作為抽出した市民1500人を対象とした、アンケートを実施しました。

このアンケートでいただいたさまざまなご意見を踏まえ、今月の3回目の市民ワークショップでは、「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに設定し、ご参加いただく皆さんから、多様なご意見をいただくこととしました。

いずれもワークショップの結果については、新庁舎整備情報ポータルサイト「みんなの新庁舎」にて順次公開していきますので、市ホームページに掲載している「みんなの新庁舎」のバナーもしくは、右下の二次元コードからぜひご覧ください。

複数候補地の決定に向けて

今後は「新庁舎整備ロードマップ」のステップ6「複数候補地の決定」に向けた市民アンケートを実施します。このアンケートは市民4000人を対象としたもので、今までの市民ワークショップまでにいただいたご意見を参考に、各候補地（エリア）案への市民全体の傾向を把握するために実施するものです。

その結果を踏まえて、今年度末に複数候補地（エリア）を決定し、議会へ報告することを考えています。ここまでが今年度末までの目標として、新庁舎整備ロードマップに掲載しているところです。

その後、令和6年度以降では、複数候補地について、整備地とする上で必要な調査を実施し、具体的かつ詳細な整備費用などを算出していく計画となっています。

「（旧）新庁舎整備基本計画（案）」における、合意形成ができなかった理由の一つに、候補地別費用の算出に指摘意見が多くあったことが挙げられており、ここでは透明性があり、納得のいく候補地調査と整備地費用算出を行います。これらの詳細な内容は随時お伝えしていきますので、本コラムや新庁舎整備情報ポータルサイトなどをご確認ください。

そして調査が終了した後は、タウンミーティング（対話型の集会）を開催し、皆さんと対話する形で、令和5年度に実施してきた市民ワークショップの内容や、複数候補地の調査などから、皆さんと候補地について情報共有していきます。このタウンミーティングは、継続的に複数回実施し、より多くの人の参加機会を作り、皆さんと対話していきたいと考えています。

皆さんとの情報共有を大切に

そのほか、これまでの情報共有においては、説明不足であるというご意見や市民の声を聞くべきというご意見が多かったことから、常に情報発信を行うことで情報を共有する機会を増やします。そして、整備地の決め方を市議会と相談し、整備地を決定します。

以上を、新庁舎の整備地が決定するまでの流れとして考えています。これからもロードマップに沿って、皆さんからのご意見をお聞きしていきたいと思いますので、アンケートやワークショップ、タウンミーティングなどにぜひ、ご参加、ご協力ください。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

市民アンケートの結果をお知らせします

10月末から、市民の皆さん1500人を対象とした市民アンケートを実施しました。今回は、その市民アンケートの結果についてお伝えします。

このアンケートの設問は、9月に開催した「みんなの新庁舎　第2回市民ワークショップ」で出された「新庁舎の役割・コンセプト」に関する意見を前提として設定しました。ワークショップ全体の傾向として、「新庁舎の役割」では窓口対応や相談機能の充実に関する意見や市職員の職場環境の向上に関する意見をはじめ、災害時の拠点としての対応や情報提供の充実に関する意見、連絡所の機能強化に関する意見などが多く出された一方で、「機能を1カ所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔行政機能を中心としたコンパクトな庁舎とする」など、相反する意見も出されました。

また、「新庁舎のコンセプト」については、すべての市民のサポートを円滑に行うことや、さまざまな人が共存するため、人々が交流することが求められていました。一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

このような結果を踏まえて、いただいた意見を前提とし、市民全体の傾向を把握するための市民アンケートを実施しました。

回答の傾向について

相反する意見として出された、市役所機能を「集中させる」か「分散させる」かという問いには、「集中させる(78.1%)」が全年代・全地域において過半数を占めました。「集中させる」を選んだ理由は「1カ所で市役所の用事を済ませられるとよい」が1位となっています。また、「分散させる(12.5%)」を選んだ理由は「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」と「市役所の建物規模を抑えられる(既存の施設を利用し建設費を抑える)とよい」が1位となっています。

また、同じく相反する意見であった「人々の交流の場となる複合的な庁舎(45.6%)」か「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎(44.8%)」については、おおよそ半分ずつに意見が分かれました。20代以下では「複合的な庁舎」が過半数を占め、30代以上は20代以下と比べると、「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」の割合が大きくなりました。「複合的な庁舎」を選んだ理由は「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が1位となっています。また、「コンパクトな庁舎」を選んだ理由は「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」が1位となっています。

重要と思う新庁舎の役割についてもお聞きしたところ、多く選ばれたのは「どんな人でも受け入れられる」「わかりやすい窓口対応」「平日に働く人も頼りやすい」「申請等の手続きがオンラインでできる」「災害時の拠点」「駐車場が広く、車で来庁しやすい」でした。全体で最も高い「どんな人でも受け入れられる」は10代・80代以上で1位となっており、20代～50代の働く世代では「平日に働く人も頼りやすい」が1位となっています。そして、30代以下では「子育て世代が安心して利用できる」が3位と、全体よりも高い順位となっています。

また、「重要と思う新庁舎のコンセプト」として多く選ばれたのは「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」「新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎」「みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎」「必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎」でした。

なお、このアンケート結果の詳細は、市ホームページおよびみんなの新庁舎ポータルサイトに掲載していますので、ご覧ください。

今後、ご回答いただいた皆さんの意見をしっかり活用していくと共に、市民の皆さんと一緒に新庁舎整備を進めていきます。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

第３回市民ワークショップを開催しました

12月2日、3日、7日に開催した「みんなの新庁舎　第3回市民ワークショップ」では、3日間で57人の皆さんにご参加いただきました。今回は、ワークショップで出された主な意見についてお伝えします。

第3回市民ワークショップのテーマは「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」の二つです。参加者には、まず「新庁舎にはどんな機能があると良いと思うか」を話し合っていただき、その後、皆さんから出された意見を踏まえて「新庁舎の複数候補地」について意見を出し合っていただきました。

▲ワークショップ当日の様子

「新庁舎の機能」で出された意見の全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携、市民同士の交流や市民と職員の関わり方に関する意見が多かったです。

特に新庁舎の役割のうち「働きやすい環境」に対しては、庁内の縦割り的な組織体制をなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。また、新庁舎の役割のうち「災害時の拠点」に対しては、拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所などの市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見をいただきました。

また、「デジタル化」に対しては、デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

続いて「新庁舎の複数候補地案」で出された意見の全体の傾向として、各候補地に対して「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からの意見が多くありました。

利便性については公共交通機関による来庁だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかどうかについても議論がされました。挙げられた意見として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設周辺（みのかも健康の森・市保健センター（みのかも健康プラザ内）・みのかも文化の森・総合福祉会館・ぎふ清流里山公園・岐阜県立国際たくみアカデミー・前平公園内など）という提案がなされました。

皆さんからいただいた意見の詳細は、順次市ホームページおよびみんなの新庁舎ポータルサイトに掲載していきますので、ご覧ください。

アンケートを実施

今月から、無作為抽出した市民4,000人を対象に、今年度2回目の市民アンケートを実施します。

新庁舎の複数候補地を選定するため、「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」についてお聞きします。ワークショップで出た意見のまとめや当日の配布資料などをアンケートに添付しますので、お手元にアンケートが届いた場合は、ぜひ資料をご覧いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

今回のワークショップと市民アンケートの結果を踏まえて、今年度末での複数候補地決定を目標に進め、来年度末には整備地を決定することを目標に進めていきます。引き続き市民の皆さんの声を大切にしながら、新庁舎整備を進めていきます。

※新庁舎整備情報ポータルサイトは、右の二次元コードからご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

新庁舎の役割・コンセプトが決定しました！

今回は、新庁舎の役割・コンセプトが決定しましたのでお知らせします。

新庁舎の役割・コンセプトについては、昨年の9月に実施した第2回市民ワークショップで、多くの人に意見を出し合っていただきました。

そして、その意見を元に、市民全体の傾向を把握するため、昨年の11月に市民1,500人を対象としたアンケートを実施。「新庁舎の役割」と「新庁舎のコンセプト」に関する設問では、以下のような結果となりました。

市民アンケート結果

新庁舎の役割として重要と思う項目

1	こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	27.8%
2	平日に働く人も頼りやすい	26.4%
3	申請や相談がワンストップで対応でき、分かりやすい窓口対応	25.4%
4	駐車場が広く、車で来庁しやすい	24.4%
5	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	24.2%
6	新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる	21.4%

※回答率20%以上の項目を記載

新庁舎のコンセプトとして重要と思うキーワード

1	いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎	47.1%
2	市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎	42.7%
3	新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎	39.4%
4	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎	30.1%

※回答率30%以上の項目を記載

※結果の詳細は、「新庁舎整備情報ポータルサイト」でもご確認いただけます

このアンケートをはじめ、前述のワークショップや市職員へのヒアリングを踏まえ、新庁舎の役割とコンセプトは、右のように決定しました。

新庁舎の8つの役割

① 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
② こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
③ 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
④ 業務効率の向上につながる職場環境の充実
⑤ 環境の変化に対応できる庁舎
⑥ 平日に働く人も頼りやすい
⑦ 申請等の手続きがオンラインでできる
⑧ 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎のコンセプト

コンセプトは、**「市民の安心な暮らしを守る 未来を見据えた新庁舎」**に決定しました。市民の皆さんが安心して頼れる、日々変化する未来を見据えた庁舎を目指すものとなっています。

皆さんに多くの意見をいただいたことで、新庁舎の役割とコンセプトを決定することができました。今後はこの役割とコンセプトを軸として、より具体的な検討に進んでいきます。

また、先月号でもお伝えした通り、2月中旬から、無作為抽出した市民4,000人を対象に市民アンケートを実施しています。このアンケートは、新庁舎の複数候補地を決定するため、「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」についてお聞きしています。結果の集計ができましたら、改めてお知らせします。

今後も、市民の皆さんから積極的に意見をお聞きし、新庁舎整備に反映していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト(右の二次元コード)」からご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

令和６年度以降の進め方について

今月号では、令和6年度の新庁舎整備事業の進め方についてお伝えします。

令和6年度からは、新庁舎整備ロードマップに基づき、ステップ7からステップ9までの計画を進めていきます。

ステップ7では、整備地とする上で必要な調査を実施し、具体的かつ詳細な整備費用などを算出するため、決定した複数候補地を詳しく調査します。

詳細な調査が必要な理由として、“以前の計画では候補地別費用の算出について指摘意見が多くあり、市民の皆さんとの合意形成ができていない原因の一つとなった”という検証結果があります。そこで、このステップ7では、透明性があり市民の皆さんが納得のいく候補地調査と整備費用算出を行っていきます。

次にステップ8では、ステップ7の調査結果に基づき、「タウンミーティング」の実施を予定しています。

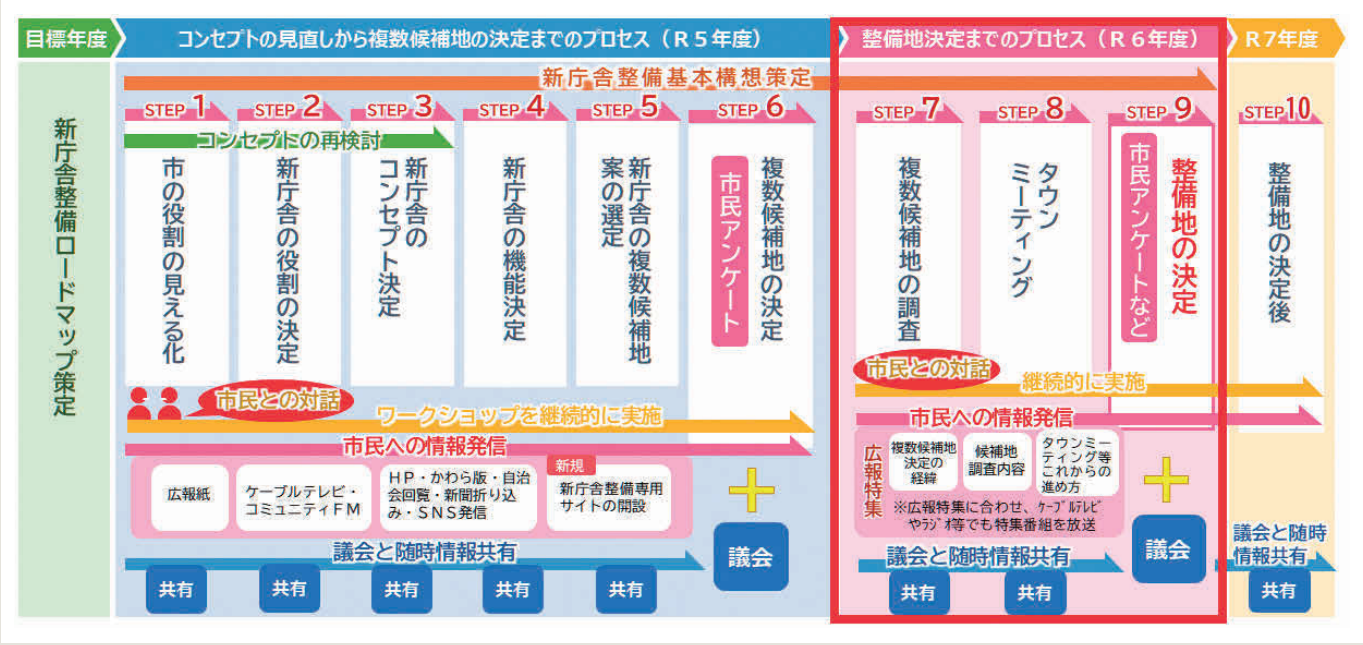
タウンミーティングとは対話型の集会のことで、ワークショップの内容や複数候補地の調査などから、市民の皆さんと候補地についての情報共有を行うものです。

以前の計画の策定では、説明不足であるという意見や市民の声を聞くべきという意見が多かったことから、常に情報発信を行うことで情報を共有する機会を増やし、皆さんと対話をしたいと考えています。そのため、継続的に複数回タウンミーティングを実施し、より多くの人の参加機会をつくっていきます。

そしてステップ9として、市民の皆さんのご意見などを踏まえて整備地案を決め、その後の市議会において整備地の決定を行います。ここまでが、令和6年度の流れとなります。整備地決定後（令和7年度以降）は、速やかに新庁舎の建設に係る基本計画策定に着手します。決定した複数候補地については、今後の広報みのかもでもお伝えしますので、ぜひご確認ください。

なお、複数候補地や整備地が決定した後も、市民への詳細な情報発信に努めていきます。詳しい情報は「みんなの新庁舎　ポータルサイト」に随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます



問新庁舎整備推進課　☎内線246

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

新庁舎の機能が決定しました

今月号では、令和6年2月に実施した市民アンケートの結果を踏まえて決定した「新庁舎の機能」についてお伝えします。

市民アンケートでは、令和5年12月に実施した市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能と複数候補地についてお聞きしました。

そしてそのアンケートをもとに、新庁舎に特に必要な機能として「総合窓口」「受けられる支援や仕組みのわかりやすさ」「プライバシーの守られる相談ブース」「わかりやすい案内サインや動線」「災害対策」「情報セキュリティの強化」「会議室やミーティングスペースの充実」「フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間」「デジタルの申請・書類発行」「ワンフロアの相談窓口」を重点機能として位置づけて、今後の新庁舎整備を進めていきます。

また、具体的な機能について多様な意見をいただくため、子育て世代や障がい者、外国人の皆さんに向けたワークショップを令和6年度に行う予定です。

なお、5人以上の各種団体を対象に、市長や職員が皆さんのもとへおでかけしてワークショップを執り行う「新庁舎整備おでかけワークショップ」についても随時開催しています。具体的な時間・場所をご相談いただいた上で皆さんのもとへ「おでかけ」しますので、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

※決定した複数候補地については、今月号に折り込んでいる「みんなの新庁舎　かわらばん」でお伝えしています

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード)」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 181　アスパラガスとパプリカの焼きびたし

■ 調理品の材料(2人分)

アスパラガス …… 6本
赤パプリカ …… 1/2個
黄パプリカ …… 1/2個
カニ風味かまぼこ … 5本
オリーブオイル‥大さじ1
(A)
白だし …… 大さじ2/3
水 …… 25ml
ショウガ(すりおろし)
…… 小さじ1

■1人分の栄養価
エネルギー：110kcal
塩分：1.0g／野菜：130g

焼いて調味液に浸すだけで簡単に作ることができます。冷蔵庫にある野菜や旬の野菜で作ってみませんか。

① アスパラガスは根元の皮をピーラーでむき、4等分に切る。
② パプリカは、くし切りにする。
③ カニ風味かまぼこは、半分に割く。
④ フライパンにオリーブオイルを熱し、中火で①、②を焼き、火が通ったら油を切る。
⑤ ボウルに(A)を混ぜ合わせ、③、④を加え、味をなじませたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局(健康課)　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

外国人・障がい者・子育て世代対象のワークショップを開催します！

今月号では、今年度に実施予定の「外国人・障がい者・子育て世代対象のワークショップ」についてお伝えします。

令和5年度の7月、9月、12月に実施した市民ワークショップでは、たくさんの人にご参加いただき、新庁舎の役割・コンセプトをはじめ、機能や複数候補地を決定することができました。複数候補地は、先月号のかわらばんでもお伝えしたように、「畜産研究所（前平公園）周辺」「大手町公園周辺」「現庁舎周辺」「プラザちゅうたい周辺」となりました。

今後、これまでにいただいたご意見を踏まえた上で、より具体的な機能について多様な意見をお聞きするため、外国人・障がい者・子育て世代の皆さんを対象としたワークショップを実施します。対象の人は、ワークショップにぜひご参加いただき、新庁舎の機能に対する率直なご意見をお聞かせください。ワークショップの日程や詳細な内容については、決まり次第このコラムやホームページなどでお知らせします。

また、5人以上の各種団体などを対象とした「新庁舎整備おでかけワークショップ」についても随時開催しています。具体的な場所や時間は、相談して決定いたしますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひ新庁舎整備推進課へお問い合わせください。

今後も、より多くのご意見を伺っていきます。詳しい情報は「みんなの新庁舎　ポータルサイト」に随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 182　電子レンジで作る　ツナと野菜のナポリタン風パスタ

■ 調理品の材料（1人分）

スパゲティ（乾）……100g
タマネギ……1/6個
ニンジン……1/10本
ピーマン……1/4個
ブロッコリー……1房
ミニトマト……3個
ツナ缶……35g
水……250cc
粉チーズ……少々
（A）
砂糖……大さじ2
ケチャップ……大さじ2
ウスターソース…大さじ1
オリーブオイル…小さじ1
塩コショウ……少々

■1人分の栄養価
エネルギー：646kcal
塩分：2.9g／野菜：120g

お湯もフライパンも使わず、簡単にできるパスタをご紹介。野菜もタンパク質もとれる一品です。
※ゆで時間が3分間のパスタを使っています

① パスタは半分に折り、タマネギは薄切り、ニンジン、ピーマンは千切りにする。
② ブロッコリーは小房にわけ、ミニトマトは半分に切る。
③ 耐熱容器に、①、水を加えて、ラップをして電子レンジ（600W）で6分加熱する。
④ ③を混ぜ合わせ、②、ツナ缶、（A）を加えてラップをし、電子レンジ（600W）で2分加熱する。
⑤ ④を取り出しよく混ぜ、器に盛り、粉チーズをかけたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

複数候補地の可能性調査を実施します

今月号では、今年度に実施予定の「複数候補地の可能性調査」についてお伝えします。

新庁舎の複数候補地は、「畜産研究所（前平公園）周辺」「大手町公園周辺」「現庁舎周辺」「プラザちゅうたい周辺」の4カ所となりました。

今年度は、この4候補地について、庁舎建設の可能性を調査していきます。

庁舎建設には、それぞれの候補地において異なる条件があります。今回は、それぞれの条件を明確にし、市民の皆さんに提示できるよう調査するものです。

今回の調査で明らかにする主な内容は、「土地利用計画」「概算事業費」「課題抽出」を予定しています。

「土地利用計画」とは、その土地を利用してどのような庁舎を建てることができるかを調査するものです。これにより、より具体的に、「この候補地ではどんな庁舎が建つか」を候補地ごとに提示することができます。

次に「概算事業費」とは、建物の建設費の他、土地の造成費やインフラ整備費などの概算費用を算出するもので、他の候補地と比較できるようになります。

そして「課題抽出」では、それぞれの候補地が抱える課題や、その解決方法を調査していきます。

これらの情報は、12月頃に実施予定の「タウンミーティング」で、市民の皆さんと対話を行う際に提示すると同時に広く周知していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 183　ナスのシソ肉巻き　夏野菜添え

■ 調理品の材料（2人分）
豚モモスライス……6枚
ナス……1/2本
トマト……1個
ピーマン……1個
青ジソ……6枚
豆腐……1/5丁（60g）
片栗粉……小さじ2
サラダ油……小さじ2
（A）
しょう油……大さじ2／3
酒……大さじ2／3
みりん……大さじ2／3

■1人分の栄養価
エネルギー：187kcal
塩分：0.9g／野菜：110g

シソの風味で食欲をそそります。豆腐に豚肉のうま味がしみて暑い時期におすすめのレシピです。

① ナスは縞（しま）目に皮をむき、6等分にする。
② トマト、ピーマン、豆腐は1口大に切る。
③ 豚肉を広げて片栗粉を両面にまぶし、青ジソと①を巻く。
④ フライパンに油を熱し、③の肉の巻き終わりを下にして入れ、ふたをして、中火で2分程度蒸し焼きにする。
⑤ ④に②を加えて（A）の調味料を回し入れてふたをし、弱火で焼く。
⑥ 具材に火が通って照りがついたら器に盛り、お好みで青ジソの千切りを乗せたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

問食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

可能性調査の追加調査項目について

前月号では、4カ所の候補地に対し、「土地利用計画」「概算事業費」「課題抽出」の3項目について、今年度に「可能性調査」を行う旨をお知らせしました。今月号では、この3項目に加える追加調査項目についてお知らせします。

6月の補正予算において、「可能性調査」として追加する二つの調査項目が予算化されました。これは、昨年度末に決定した4カ所の候補地に関する調査で、交通量や地盤などを具体的に調査するものです。

一つ目は「候補地直近の交差点交通量調査および交差点解析」です。新庁舎が開庁した際、その周辺では現状と比較して交通量の増加が予想されます。この調査は、「畜産研究所」「大手町公園」「プラザちゅうたい」直近の交差点において、交通量調査や交差点解析を行うことで、庁舎移転に伴う増加交通量を把握し、渋滞対策の必要性を調査するものです。

二つ目は「地質ボーリング調査」で、この調査は「畜産研究所周辺」のみ実施します。「畜産研究所」がある土地は、岐阜県公表の液状化危険度分布図において、敷地の一部で液状化の可能性が高い場所となっているため、地盤の液状化解析を行い、液状化の可能性があるかどうか、可能性があるのであればどのような対策が必要になるのかを調査するものです。

これらの情報は、12月に予定しているタウンミーティングにおいて、市民の皆さんとの対話を行う際に提示すると同時に広く周知していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 184　カラフル野菜の　即席ピクルス漬け

■ 調理品の材料（4人分）
キュウリ……1本
ニンジン……1/2本
カラーピーマン……3個
新ショウガ……1片
ミニトマト……4個
ローリエ……1枚
(A)
砂糖……大さじ3
塩……小さじ1/4
水……大さじ4
酢……1/2カップ

■1人分の栄養価
エネルギー：52kcal
塩分：0.4g／野菜：90g

電子レンジを使うことで漬け時間を短縮でき、酢の酸味もまろやかになりますよ。

① 耐熱ボウルに調味料(A)とローリエを混ぜ合わせる。
② キュウリは皮をピーラーで縞模様にむき、厚めの輪切りにする。
③ ニンジン、ピーマンは太めの千切りにする。
④ 新ショウガは薄切りにする。
⑤ ①に、②、③、④を加え、ラップをして電子レンジ(600W)で2分加熱する。
⑥ ⑤にミニトマトを入れ、冷蔵庫で30分漬けたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

子育て世代対象ワークショップを開催しました！

本号では、7月10日㈬に実施した「子育て世代」を対象としたワークショップについてご紹介します。

「子育て世代対象ワークショップ」は、子育て世代の皆さんがより参加しやすいように、お子さんを預けて参加していただける環境を整えました。

その結果、託児サービスを活用いただき、10人の子育て世代の皆さんにご参加いただき、建物や設備などの「ハード面」、利用方法やサポートなどの「ソフト面」、そして思いや考え方などの「ハート面」の三つの観点からご意見をいただくことができました。

まずハード面では、駐車場の歩道スペースを広くすることや移動のしやすさといった安全面のご意見に加え、ワンフロアで手続きが完結でき、移動しなくてもよい窓口の配置や、小さな子どもを一緒に連れていくことができる託児スペースやキッズスペース、親同士や子ども同士の交流場所の整備といったご意見がありました。

次にソフト面では、オンラインでスマホから手続きできるシステムの充実や、本庁舎で手続きや相談が全てできるよう整備してほしいといった、相談機能の充実や窓口の集約に関するご意見をいただきました。

そしてハート面では、職員に話しかけやすい雰囲気づくりや、子育て世代が安心して行ける雰囲気づくりといった、職員に対するご意見が出されました。

引き続きたくさんのご意見を確認して、新庁舎の整備に反映していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 185　ツナとコーンの落とし焼き

■ 調理品の材料（2人分）
ツナ缶 …… 1缶（70g）
ホールコーン缶 …… 80g
タマネギ …… 1/4個
ピーマン …… 20g
卵 …… 1個
サラダ油 …… 大さじ1
レタス …… 4枚
ミニトマト …… 4個
（A）
小麦粉 …… 大さじ3
牛乳 …… 大さじ1
塩こしょう …… 各少々

■1人分の栄養価
エネルギー：286kcal
塩分：0.9g／野菜：130g

防災月間に合わせ、今回は備蓄品の缶詰を使ったおかずをご紹介。缶詰や乾麺などの常温保存できる食材を上手にローリングストックしましょう。

① ツナとホールコーンは、缶汁を切っておく。
② タマネギとピーマンは粗いみじん切りにし、卵は溶きほぐしておく。
③ ボウルに、①、②、（A）を加えてよく混ぜる。
④ フライパン油を熱し、③を4等分にして小判型にまとめ、両面色づくまで焼く。
⑤ お皿に④を盛り付け、レタスとミニトマトを添えたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

外国人市民対象ワークショップを開催しました！

今回は、7月27日㈯に実施した「外国人市民対象ワークショップ」についてご紹介します。

より多くのご意見をいただくため、資料は翻訳し、掲示物には「やさしい日本語」を使ったほか、会場に通訳職員を配置するなど、言葉の壁の影響が出ないような環境を整えて実施しました。その結果、今回も、建物や設備などの「ハード面」、利用方法やサポートなどの「ソフト面」、思いや考え方などの「ハート面」の三つの観点からご意見をいただきました。

まずハード面では、複雑で多種多様な手続きを要する市役所において、外国人市民がより分かりやすく手続きを行えるように、ワンストップ窓口などを設置をしてほしいという意見が多く出されたほか、日本語や日本文化について学んだり、日本人との交流スペースなどを求める意見も全体として出されました。

ソフト面では、多言語対応のための翻訳機などを設置してほしいという意見と、災害放送など市からの情報が現状として届いていない、あるいは多言語対応されていないことへの不安の声があがり、安心して暮らすために整えて欲しいという意見が出されました。

そしてハート面では、多国籍の人が住む美濃加茂市だからこそ、それぞれの文化を理解し、配慮して欲しいといった意見が出されました。

全体を通して、現状の問題や課題を踏まえた上で、より分かりやすい案内や窓口対応、安心して暮らすための設備を見直してほしいとの意見が出されました。

引き続きご意見を新庁舎整備に反映していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 186　秋の味覚「サツマイモ」を使った　鬼まんじゅう

■ 調理品の材料（10個分）
サツマイモ
…… 2本程度（400g）
薄力粉 …… 100g
砂糖 …… 80g
レーズン
…… 大さじ2（20g）

■1人分の栄養価
エネルギー：123kcal
塩分：0.1g／野菜：0g

市では県とともに「ぎふ野菜ファースト」に取り組んでおり、野菜の摂取量増加を推進するほか、郷土料理の普及啓発も行っています。

今回は、この地方でも食べられている郷土菓子「鬼まんじゅう」を紹介します。レーズンやリンゴ、チーズなどでアレンジしてもおいしいですよ。

① サツマイモは角切りにする。
② ①を塩水（分量外）に浸してあく抜きをし、しっかり水をきる。
③ ボウルに②、砂糖を加えてなじませ、水分が出てくるまで少し待つ。
④ ③に、レーズンを加えて混ぜる。薄力粉を2回に分けてふるい入れ、その都度よく混ぜる。
⑤ カップに④を入れて形を整え、蒸し器で15分蒸したら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

障がい児者にやさしい　新庁舎整備ワークショップを開催しました！

今回は、8月27日㈫に実施した「障がい児者にやさしい　新庁舎整備ワークショップ」を紹介します。

より多くのご意見をいただくため、事前に難聴や歩行困難などの配慮が必要な事項をお聞きし、聴覚を補助するヒアリングループを配置したり、車椅子でも移動しやすいように机の間隔を整えたりして実施したところ、参加者の皆さんから三つの観点についてご意見をいただきました。

まず建物や設備などの「ハード面」では、駐車場からの移動に関する意見が多く出されました。例えば、音声案内を設置したり、通路幅を広くしたりするなど、駐車場や建物内を安全に移動できる配慮が欲しいといった意見が多く出されました。

利用方法やサポートなどの「ソフト面」では、申請書の簡潔化やデジタル化に関する意見が出されました。今の手続きでは書類が多すぎることや、同じ内容を何度も記載しなければならないため、体への負担があることなどの意見があがりました。

そして思いや考え方などの「ハート面」では、デジタル化が進む中で、便利な機能の中にも障がい児者への配慮を忘れないで欲しいといった意見が出されました。

今年度実施した「子育て世代」「外国人市民」「障がい児者」を対象とした三つのワークショップでは、それぞれに多くのご意見をいただくことができました。今後の新庁舎整備にあたり、ご意見をしっかりと活用していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 187　フライパンで作る　五平餅

■ 調理品の材料（2人分）

ごはん …… 200g
落花生 …… 20g
白ごま …… 大さじ1
サラダ油 …… 大さじ1
(A)
砂糖 …… 大さじ1
みりん …… 大さじ1
みそ …… 大さじ1
水 …… 大さじ1
しょう油 …… 小さじ1

■1人分の栄養価
エネルギー：289kcal
塩分：1.6g／野菜：0g

五平餅は中部地方の山間部発祥の郷土料理です。ホットプレートで焼いたり、バーベキューのメニューにしたりするのもおすすめです。

① (A)を鍋に入れて煮溶かす。
② すり鉢に落花生と白ごまを入れ、すりつぶす。
③ ごはんをよくつぶし、二つに分けて割り箸を包むように小判型に形を整える。
④ フライパンにサラダ油を熱し、③の両面を焼く。
⑤ ④に、①のタレをつけ、両面を焼き、焦げ目がついたら完成。

市では県とともに「ぎふ野菜ファースト」に取り組んでおり、野菜の摂取量増加を推進するほか、郷土料理の普及啓発も行っています。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

みんなの新庁舎　タウンミーティングを開催します！

市では、令和5年度に四つの新庁舎整備の候補地を決定し、令和6年度からは各候補地でどのような庁舎が整備可能か調査を行ってきました。その調査結果の共有と各候補地のメリット・デメリットの確認を目的として、12月に以下の日程で、「みんなの新庁舎　タウンミーティング」を開催します。

と　き	ところ
12月7日㈯　午後3時30分～6時	生涯学習センター201集会室
12月8日㈰　午後1時30分～4時	
12月12日㈭　午後6時～8時30分	
12月17日㈫　午後6時～8時30分	

これまでの結果などから、新庁舎の複数候補地は「畜産研究所（前平公園）周辺」「大手町公園周辺」「現庁舎周辺」「プラザちゅうたい周辺」の4カ所となりました。今年度はこの4候補地について、主に「土地利用計画」「概算事業費」「課題抽出」の三つの観点から庁舎建設の可能性を調査してきました。

今回のタウンミーティングでは、それらの調査結果を分かりやすくまとめた資料を提示します。そして、市民の皆さんとグループワークを通じて対話し、各候補地のメリット、デメリットを一緒に確認したいと考えていますので、ぜひご参加ください。

なお、このタウンミーティングの結果は、整備地決定の参考情報として活用していきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 188　体ぽかぽか　かみなり汁

■ 調理品の材料（2人分）

もめん豆腐 …… 1丁
ダイコン …… 80g
ニンジン …… 20g
コンニャク …… 1/4枚
油揚げ …… 1/2枚
長ネギ …… 1/4本
ゴマ油 …… 小さじ2
だし汁 …… 400ml
(A)
しょう油 …… 小さじ1
塩 …… 小さじ1/6

■1人分の栄養価
エネルギー：186kcal
塩分：1.2g／野菜：70g

野菜をゴマ油で炒める時の音が雷の音のようなのでこの名前が付きました。体調を整える冬野菜やコンニャクが取れ、体が温まりますよ。

① 水気を切った豆腐と下ゆでしたコンニャクは一口大にちぎる
② ダイコン、ニンジンはイチョウ切りにする
③ 油抜きした油揚げは横半分に切ってから千切りにする
④ 長ネギは小口切りにする
⑤ 鍋にゴマ油を熱し①②③を炒め、だし汁を加えて煮立たせる
⑥ 野菜に火が通ったら、Aを加えて味を整える
⑦ 器に盛り④を散らしたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

みんなの新庁舎　タウンミーティングを開催しました！

市では、令和5年度に四つの新庁舎整備の候補地を決定し、令和6年度からは各候補地でどのような庁舎が整備可能か調査を行ってきました。

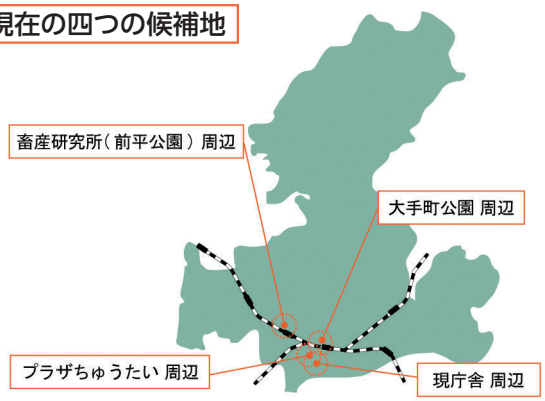
その調査結果の共有と、各候補地のメリット・デメリットの確認を目的として「みんなの新庁舎　タウンミーティング」を12月7日㈯、8日㈰、12日㈭、17日㈫の4日間にわたって開催しました。

多くの人にご参加いただき、グループワークを通じて活発に意見交換をしていただくことができました。

今後は、令和5･6年度に実施した計12回の市民ワークショップや、計23回のおでかけワークショップ、計2回の市民アンケートなどでお聞きしたご意見などを踏まえ、市議会議員の皆さんと協議を行い、令和6年度末に向け、整備地の決定を目指していきます。

今後の動きは、このコラムや美濃加茂市公式ホームページ、「新庁舎整備ポータルサイト」などで随時掲載していきますので、ぜひご確認ください。

現在の四つの候補地



※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 189　サトイモで作る　カラフル「イモモチ」

■ 調理品の材料（16個分）
精白米 …… 2合
サトイモ ‥ 中8個（300g）
好きな具材（※） …… 適量

※今回は次の材料を使用しました
エダマメ(ゆで) …… 20粒程度
コーン …… 大さじ1程度
チーズ …… 20g程度
ベーコン …… 1枚程度
塩昆布 …… 5g程度
黒ゴマ …… 少々
パセリ …… 少々

■1人分の栄養価
エネルギー：74kcal
塩分：0g／野菜：0g
※好きな具材なしの栄養価です

各地で知られる郷土料理イモモチ。この地域ではサトイモが使われます。ショウガじょう油やみそだれを付けてもおいしいですよ。

① サトイモは皮をむき、一口大に切る。
② 炊飯器に洗った米を入れて①を乗せ、2合分の水加減で炊く。
③ 炊きあがったら、スリコギでつぶす。
④ ③を16等分にして、一つずつ丸めて平らにし、お好みの具材をトッピングする。
⑤ フライパンで④を両面焼き、焦げ目をつけてお皿に盛り付けたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

これまでの動きと今後の予定について

今回は、整備地決定に向けたこれまでの動きと今後の予定について、改めてお伝えします。

令和6年実施の「4候補地の可能性調査」では、各候補地の建設などにかかる事業費をはじめ、メリット・デメリットを調査しました。そして、それらの情報をもとに、各候補地で庁舎を建設した時のイメージ案や施設規模、事業費などを記載した情報資料を作成し、令和6年12月に実施した「タウンミーティング」で市民の皆さんとそれらの情報を共有しました。4日間で延べ105人にご参加いただき、活発な意見交換を行うことができました。情報資料の概要は、広報みのかも1月号に折り込みをした『かわらばんvol.5』でも掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、同じく12月には市役所で働く市職員にアンケートを実施し、4候補地のうち整備地にふさわしい場所とその理由を聴取しました。

これまでにいただいた市民の皆さんからの意見や職員から出た意見を踏まえ、最適な整備地について市議会と協議を行い、令和7年3月末までに一つの整備地を決定することを目標としています。そして、令和7年度からは、決定した整備地を軸とした新庁舎整備基本計画を策定する予定です。

令和7年度以降も「おでかけワークショップ」を随時開催し、整備地決定内容の報告や、新庁舎整備に求めることをお聞きしていきます。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 190　野菜ごろごろ　電子レンジを使った簡単ポトフ

■ 調理品の材料（4人分）
鶏モモ肉 …… 180g
ダイコン …… 50g
ジャガイモ …… 小1個
ニンジン …… 1/3本
カブ …… 小1個
タマネギ …… 1/4個
レンコン …… 30g
ブロッコリー …… 2房
水 …… 500cc
顆粒コンソメ … 大さじ1
塩コショウ …… 少々

■1人分の栄養価
エネルギー：119kcal
塩分：1.0g／野菜：70g

電子レンジを使った簡単ポトフです。忙しい朝やさっと一品作りたいときにもおすすめですよ。

① ダイコン、ジャガイモ、ニンジン、カブ、レンコンは5mm程度のイチョウ切り、タマネギは薄切り、ブロッコリーは小房に分ける。
② 鶏肉は一口大に切る。
③ 大きめの耐熱ボウルに、①、②を火が通りにくい順に入れる。
④ コンソメと塩コショウを水に入れて溶かす。
⑤ ③に④を合わせ、ふんわりとラップをかける。
⑥ 電子レンジ(600W)で13分加熱し、その後そのまま庫内で10分置いて予熱で火を通し、味をなじませたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

新庁舎整備事業のこれまでの経過について

今回は、令和4年度から進めてきた新庁舎整備事業のこれまでの経過についてお伝えします。

令和3年度以前までに進めていた計画が、整備地決定の過程において市民意見の聴取が不十分であり、市民との合意形成ができていないことを理由として、令和4年度にこの計画を見直し、これまでの候補地を白紙としました。そして庁内に情報整理部会・検証部会を設置し、以前の計画の検証を進め、令和3年度までの新庁舎整備事業で見直すべきところや、その反省をどう生かしていくべきなのか検証しました。

その結果、「市民意見の聴取が不足していたこと」「機能・規模・候補地などの課題の情報提供不足」「整備地選定までのプロセスが不透明だと感じた人が多かったこと」「情報発信が不十分だったこと」の四つが課題として挙げられました。

これを踏まえ、令和5年度は積極的に市民意見を聴取するため、生涯学習センターでワークショップを9回実施するとともに、各種団体のもとへ市長や職員が向かう「おでかけワークショップ」を29回行い、市民の皆さんとの対話の機会を設けてきました。

また、あわせて市民アンケートを2回行い、ワークショップやアンケートで集まった意見を元に、市役所の役割やコンセプト、複数候補地を決定しました。

その他、市民の皆さんに情報が伝わるよう、「みんなの新庁舎　ポータルサイト」を立ち上げたり、広報紙に新庁舎の情報をまとめたかわらばんを折り込んだりするなど、情報発信にも努めています。

※新庁舎整備に関する情報は、「新庁舎整備情報ポータルサイト（右の二次元コード）」からご覧いただけます

問新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 191　豚肉と野菜の重ね蒸し

■ 調理品の材料（2人分）
豚ロース肉 …… 120g
もやし …… 100g（1/2袋）
カニかまぼこ … 2本（30g）
キャベツ …… 100g
シュンギク …… 20g
ニンジン … 1/4本（30g）
味付けポン酢 … 小さじ4
（A）
塩・黒コショウ …… 少々
酒 …… 大さじ1

■1人分の栄養価
エネルギー：166kcal
塩分：1.4g／野菜：125g

野菜の水分だけで蒸し上げるレシピです。少なめのお肉でも野菜たっぷりで食べ応えがあります。

① 豚肉は食べやすい大きさに切り、（A）で下味をつける。
② キャベツはざく切り、ニンジンは薄めの半月切り、シュンギクは5cm程度に切る。
③ 浅めの皿に割りばしを格子状に並べ、数ヵ所穴をあけたクッキングシートをその上に乗せる。
④ ③に②、もやし、割いたカニかまぼこを乗せ、その上に広げた豚肉を並べ、ラップをかけて電子レンジ（600w）で4分加熱する。
⑤ 食べる前に味付けポン酢をかけたら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

問食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365

Public office

新庁舎整備情報

New public office project office

※新庁舎整備に関する情報は、こちらから発信しています ▶

新庁舎整備事業の令和６年度の経過について

今回は、新庁舎整備事業の令和6年度の経過についてお伝えします。

令和5年度は積極的に市民意見を聴取し対話するため、生涯学習センターでワークショップを9回実施しました。そして令和6年度では、より多様な意見をお聞きするため、従来のワークショップでは参加が難しかった子育て世代・外国人市民・障がい児者を対象としたワークショップを開催しました。それぞれのご意見や困り事など、貴重な声をいただく機会となりました。

そして、昨年12月には生涯学習センターで、「みんなの新庁舎　タウンミーティング」を4回実施しました。これは、市が可能性調査結果を踏まえて作成した候補地についての情報資料を市民の皆さんと共有し、対話することを目的としたものです。多くの人に積極的なご参加いただき、各候補地についてさまざまなご意見をいただくことができました。また、同時に市職員を対象とした候補地に関するアンケートも実施しました。これまでにいただいた多くのご意見を踏まえ、新庁舎整備事業を推進していきます。

なお、令和７年市議会第１回定例会における追加議案として、プラザちゅうたい敷地を新庁舎整備地とする『美濃加茂市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例』を提出しましたが、賛成８人、反対６人、退席２人という結果により、出席議員の3分の2の賛成を得られず、否決されました。

本コラムは今号で終了しますが、引き続き「新庁舎整備情報ポータルサイト」にて、新庁舎整備に関する最新情報をお知らせしますのでご覧ください。

※サイトは右上の二次元コードからアクセスできます

㊐新庁舎整備推進課　☎内線246

Cooking

食改さんのおすすめレシピ

Recipe File 192　野菜たっぷり　カラフルピザ風オムレツ

■ 調理品の材料（4人分）
タマネギ …… 1/4個
ウインナー …… 2本（60g）
スナップエンドウ …… 10本
ミニトマト …… 10個
卵 …… 3個
塩コショウ …… 少々
サラダ油 …… 小さじ1
ケチャップ …… お好みで

■1人分の栄養価
エネルギー：144kcal
塩分：0.6g／野菜：90g

野菜が不足しがちな朝食におすすめの一品です。卵料理に野菜をプラスして、手軽においしく野菜を補いましょう。

① タマネギは薄切り、ウインナーは輪切りにし、スナップエンドウはゆでておく。
② フライパンに油を熱し、①を炒める。
③ 材料に火が通ったら、溶きほぐした卵をフライパンに流し込み、塩コショウを軽くふり、ふたをして蒸し焼きにする。
④ 蒸し上がる前に、四つ切りにしたミニトマトを乗せ、再度ふたをして加熱する。
⑤ 食べやすい大きさに切り分け、器に盛ったら完成。

右の二次元コードから各種レシピを動画でもご覧いただけます。

㊐食生活改善連絡協議会事務局（健康課）　☎66-1365